

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 22 年版 (2009.1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界のその年の一年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されても変わることなく受けつがれてきました。この平成22年版の刊行は、その第67冊目となりますが、平成21年(2009年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承していますが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも調査・採録すべき事項が急増しているため、各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状です。そのため、平成14(2002)年版からは、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査して一部構成を改めましたが、今回もそれを継承しました。

昨年3月に発生した東日本大震災からは、文化財に関わる者にとっても多くのことを考えさせられました。被災地の様子や文化財の被災状況を目の当たりにし、あるいはその情報を得る中で、文化財とはなにか、それを守る意義とはなにか、といった根源的な問いに直面せざるを得ない場面も多々ありました。一方で、文化財の保存と活用のために、作品それ自体の保存とともに、その価値と意義を人から人へ、時代や国境を越えて伝えていく営為が必要であることを切実に感じました。そのためには資料の蓄積と調査研究、その成果の公開が継続的に行なわれることが重要であるの言うまでもありません。

私たちはこの美術年鑑を、そうした研究の基礎資料の一つとして76年間、編集し続けて参りました。近年の情報化の成果を取り入れ、データベースの公開にも積極的に努めております。文化財に関わる過去と現在と未来をつなぐ資料としての『日本美術年鑑』が、今後とも広く活用されることを望んでいます。

この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成24年3月

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所

所長 亀井伸雄

凡 例

- 1 本年鑑は、平成21(2009)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分をこえた展覧会增加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を()内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、74頁の一覧を参照されたい。
- 9 採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に〔 〕を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。
- 10 本年鑑は、山梨絵美子(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(同部部長)、塩谷純(同部文化形成研究室長)、綿田稔(同部広領域研究室長)、小林達朗(同部主任研究員)、江村知子(同部主任研究員)、皿井舞(同部研究員)、河合大介(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆に当たっては、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、中村明子(当研究所企画情報部特別研究員)の協力を得るとともに、荒川正明(学習院大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、土屋貴裕(東京国立博物館)、原田一敏(東京芸術大学大学美術館、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、増田玲(東京国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)、安來正博(国立国際美術館)、山崎剛(金沢美術工芸大学、当研究所無形文化遺産部客員研究員)の7氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、内山美代子、梅田真代、久保田智史、篠崎未来、神野祐太、高瀬真弥、瀧川美生、平松まい、山本由梨の9氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

目 次

序	i
凡 例	iii
目 次	iv
平成21(2009)年美術界年史	1
美術展覧会	7
企 画 展	7
作 家 展	35
団 体 展	62
美術文献目録	69
凡 例	69
収録定期刊行物誌名	70
定期刊行物所載文献	77
目 次	77
美術展覧会図録所載文献	405
企 画 展	405
作 家 展	434
団 体 展	452
物 故 者	453

平成 21 (2009) 年 美術界 年 史

1 月

○朝日賞受賞者決定 08年度朝日賞(朝日新聞文化財団主催)の受賞者が1日に決定した。美術関係では漫画家の水木しげるが「妖怪や戦争を題材とした幅広い創作による漫画文化への貢献」により受賞した。

○毎日芸術賞受賞者決定 芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞(主催:毎日新聞社)の第50回目の受賞者が発表され、美術関係では、映像Ⅱ(写真)部門で石内都(「石内都展 ひろしま Strings of Time」広島市現代美術館、写真集『ひろしま』(集英社)に対して)が、美術Ⅰ(絵画・彫刻)部門で舟越桂(「舟越桂 夏の邸宅」展(東京都庭園美術館)に対して)が受賞した。

○「京都御所ゆかりの至宝」展開催 御物をはじめ宮内庁、京都御所に伝わる品々や寺院・社寺へ下賜された書画、工芸品、旧御所障壁画などにより宮廷文化をふりかえる「御即位二十年記念 京都御所ゆかりの至宝一甞る宮廷文化の美」展が10日から京都国立博物館で開催された(2月22日まで)。第一章「京都と天皇の遺宝」、第二章「桂宮家と桂離宮」、第三章「宮廷と仏教」、第四章「宮廷の装束」、第五章「御所の工芸」、第六章「紫宸殿の荘厳」、第七章「御所を飾った障壁画」、第八章「御所の障屏画」の構成で、平安時代から明治時代に至る130点が出品された。

○第16回 VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励する VOCA 賞の第16回目の受賞作品は三瀬夏之介の「J」に決まった。VOCA 奨励賞は榎木とも子「屋上公園」「ふくろのウサギ」、竹村京「dancing N.N. at her room and at the same time in a library in Berlin」、佳作賞は今津景「COSMOPOLITAN」、櫻井りえこ「あやとり」「金魚のおほか」、大原美術館賞は浅井祐介「人」「今日は今日」「植物」、府中市美術館賞は高木こずえ「ground」にそれぞれ贈られることとなった。受賞作などを展示する VOCA 展2009は3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。

○重要有形民俗文化財指定の答申 文化審議会(石沢良昭会長)は16日、京都市の三宅八幡神社に奉納された

「子育て祈願絵馬」を重要有形民俗文化財に指定するよう塩谷立文部科学相に答申した。これで重要有形民俗文化財は207件になった。

○「歴史まちづくり法」補助対象決定 自治体による歴史的な町並みの整備を国が補助する「歴史まちづくり法」が2008年に施行されたのを受け、国土交通省、農林水産省と文化庁は19日、石川県金沢市、岐阜県高山市、滋賀県彦根市、山口県萩市、三重県亀山市の5市を補助対象に認めた。整備にかかる費用の三分の一から二分の一を国が補助するもので、国の重要文化財や史跡などに指定され既に国の補助を受けているものは対象から除く。

○「妙心寺」展開催 臨済宗で最大規模の宗派である妙心寺派の大本山、妙心寺にまつわる絵画、書などを展観する「妙心寺」展が20日より東京国立博物館で開催された(3月1日まで)。同寺開山として迎えられた関山慧玄禅師(無相大師)の650年遠諱を記念したもので、Ⅰ臨済禅、Ⅱ妙心寺の開創、Ⅲ妙心寺の中興、Ⅳ禅の空間Ⅰ、Ⅴ遠諱の風景、Ⅵ妙心寺と大檀越、Ⅶ近世の禅風、Ⅷ禅の空間Ⅱ、の8章による構成で、建武4(1337)年に開山してから江戸時代までの同寺の歴史を名僧の書画や肖像、塔頭の障壁画など220点が出品され、6世紀半以上におよぶ禅文化の変遷を跡付ける充実した展観となった。同展は京都国立博物館に巡回した(3月24日から5月10日)。

○京都の寺院で仏像盗難多発 31日、京都市東山区の建仁寺の方丈にあった「木造十一面観音坐像」が盗まれているのを僧侶が発見し東山署に届けた。2008年9月には仁和寺で十一面観音像が、同年10月には山科区の毘沙門堂で毘沙門天像が盗まれており、京都の寺院で盗難が多発している。2008年3月にニューヨークの競売で鎌倉時代の仏師運慶の作品とされる「木造大日如来坐像」が高額で落札されたことなどが背景として指摘された。

2 月

○第53回ベネチアビエンナーレ金獅子賞受賞者決定 現代美術の国際展であるベネチアビエンナーレの事務

局は、24日、同展の受賞者を発表した。日本人の受賞者はオノ・ヨーコ(76)が生涯業績部門の金獅子賞受賞者に選ばれた。「世界的美術界に新たな表現の可能性を与えた」というのが受賞理由。6月6日の同ビエンナーレ開会式で授賞式が行われた。

3 月

○**芸術選奨文部科学大臣賞受賞者決定** 文化庁は6日、2008年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では、彫刻家舟越桂(57)、写真家水越武(70)、メディア芸術部門ではメディアアーティスト岩井俊雄(46)、芸術振興部門ではアサヒビール芸術文化財団事務局長の加藤種男(60)が受賞。同新人賞美術部門では洋画家丸山直文(44)、芸術振興部門ではアーティストNPO、BEPPU PROJECT代表理事の山出淳也(38)、メディア美術部門では漫画家井上雄彦(42)が受賞した。贈呈式は16日、都内で行われた。

○**旧東京中央郵便局再開発工事の方針決定** 日本郵政は13日、旧東京郵便局の再開発問題で、従来の予定から保存部分を二倍に拡大することで文化庁と合意したと発表した。旧局舎の保存をめぐる議論され、中断していた工事を再開し、2011年度内の改築完成を目指す。地上38階建ての超高層ビルへの立替予定は変更せず、低層部の保存部分を当初計画の約二倍とし、現在の局舎を三割程度残してJR東京駅丸の内側に面した部分はほぼすべて保存されることとなった。

○**第34回木村伊兵衛賞受賞者決定** 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村伊兵衛賞(朝日新聞社主催)の第34回目の受賞者は浅田政志(29、写真集『浅田家』(赤々舎)に対して)に決定した。

○**平成21年度文化庁予算決定** 平成21年度予算案が28日、成立した。文化庁予算は1020億1200万円となり前年度より0.3パーセント、2億5700万円の増額となった。「『芸術文化立国』の実現と文化発信」を目指して、Ⅰ「文化芸術創造プランの推進」、Ⅱ「文化財の次世代への継承」、Ⅲ「日本文化の戦略的発信」の3つを柱とし、Ⅰでは「美術館・博物館活動基盤整備支援事業」に新規に1億800万円が充てられた。Ⅱでは「保存修理・防災施設等の推進」など、文化財の修理保存が重視されている。Ⅲでは特に海外への戦略的発信のための予算が増額されている。

○**第28回土門拳賞受賞者決定** 前年度に優れた作品を発表した写真家に送られる土門拳賞の第28回目の受賞者は今森光彦に決定した。「昆虫4億年の旅」展(東京都写真美術館 2008年7月5日から8月17日)と写真

集『昆虫4億年の旅』(新潮社 2008年7月)が評価されたもの。

○**日本学士院賞受賞者決定** 日本学士院は12日、学術上優れた業績に対して贈る2009年度の日本学士院賞の受賞者10名を発表した。美術関係の受賞者はなかった。

○**重要文化財指定の答申** 文化審議会(西原鈴子会長)は19日、青森県八戸市風張1遺跡出土土偶(同市蔵)と与謝蕪村の紙本墨画淡彩夜色楼台図(兵庫県・個人蔵)を国宝に、昨年ニューヨークの競売において約14億円で落札された鎌倉時代の木造大日如来坐像など計38件の美術工芸品を重要文化財に指定するよう塩谷文部科学相に答申した。同時に美術工芸品1件、学習院南一号館などの建造物105件を登録有形文化財として登録するよう答申した。

○**日本芸術院賞受賞者決定** 日本芸術院(三浦朱門院長)は20日、2008年度の芸術院賞受賞者を発表した。美術関係では小山やす子(84、書、2008年日展出品作「更級日記抄」に対して)が恩賜賞・日本芸術院賞を、薮野健(65、洋画、2008年二紀展出品作「ある日アッシジの丘で」に対して)、宮瀬富之(本名宮瀬富夫、67、彫塑、2008年日展出品作「源氏物語絵巻に想う」に対して)が日本芸術院賞を受賞した。授賞式は6月15日、東京上野の日本芸術院会館で行われた。

○**第24回平櫛田中賞受賞者決定** 日本の彫刻界の振興と平櫛田中の業績の後世への継承を期して設けられた平櫛田中賞(主管：井原市)の第24回目の受賞者は石松豊秋に決定した。近年の制作、活動が評価されたもの。

○**「国宝阿修羅」展開催** 興福寺創建1300年を記念して、31日から6月7日まで東京国立博物館で「国宝阿修羅展」が開催された。阿修羅像を含む八部衆と十大弟子像、中金堂の鎮壇具と諸仏など75点が展示され、94万人を超える入場者があり、近年の仏像ブームの広がりを印象付けた。同展は7月14日から9月27日まで九州国立博物館でも開催された。

4 月

○**朝日陶芸展休止** 陶芸単独の公募展としてはもともと長い歴史を持つ朝日陶芸展を今年度から休止すると同展を主催する朝日新聞社が発表した。陶芸の発展と新進陶芸作家の育成を目的としてきたが、昨年の第46回展までで一定の役割を果たした、との理由。

○**聖地チベット展開催** ヒマラヤ山脈の麓チベット高原に位置し、7世紀はじめに吐蕃王国が成立して以降、様々な仏教文化を受容してチベット仏教を築いたチベットの文物を紹介する「聖地チベットーボタラ宮と天空の至宝」展が11日から九州国立博物館で開催された

(6月14日まで)。序章「吐蕃王国のチベット統一」、第1章「仏教文化の受容と発展」、第2章「チベット密教の精華」、第3章「元・明・清との往来」、第4章「チベットの暮らし」の構成で、触れる機会の少ないチベットの歴史と文化を123点の作品によって紹介する展観となった。同展は北海道立近代美術館(7月11日から8月23日)、上野の森美術館(9月19日から2010年1月11日)、大阪歴史博物館(1月23日から3月29日)、仙台市博物館(4月20日から5月30日)に巡回した。

- 「**尼門跡寺院の世界**」展開催 皇女・公家や将軍家など高い身分の女性が住持を務めてきた尼門跡寺院13か寺の信仰や儀礼、生活などを紹介する「皇女たちの信仰と御所文化 尼門跡寺院の世界」展が14日から6月14日まで東京藝術大学大学美術館で開催された。Ⅰ「信仰の世界」では「歴史の中の皇女尼僧たち」「尼門跡の崇拜・荘厳・儀式」を柱に尼門跡の仏教信仰を紹介し、Ⅱ「御所文化の世界」では「暮らしの中の御所文化」「教養とあそび」「尼門跡を支えた女性たち」を柱に調度品や衣装、人形、香道具などを展観した。男性を中心に語られがちな日本の仏教文化に、女性が果たしてきた役割を明らかにする意義深い展観となった。

- 重要文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(西原鈴子会長)は17日、東京日本橋の百貨店高島屋東京店や沖縄県名護市の津嘉山酒造所施設など8件(新規7件、追加1件)を新たに重要文化財に、石川県輪島市黒島地区と福岡県黒木町黒木のふたつを「重要伝統的建造物群保存地区」に指定するよう、塩谷文部科学相に答申した。百貨店建築の重要文化財指定は今回が初めてとなった。

- 「**躍動する魂のきらめき 日本の表現主義**」展開催 明治後半期からの日本の造形作品を、西洋概念の移植という視点から離れて日本固有の必然性に基づく展開として把握し、「表現主義」をキーワードとして跡づけようとする「躍動する魂のきらめき 日本の表現主義」展が26日から6月15日まで栃木県立美術館で開催された。序章「予兆」、第Ⅰ章「表現Ⅰ—生命主義」、第Ⅱ章「表現Ⅱ—影響と呼応」、第Ⅲ章「表現Ⅲ—生活と造形」、エピローグの5章で構成され、日本画、洋画、工芸、建築、舞台芸術を含む1910年から1930年代の作品が展示された。同展は兵庫県立美術館(6月23日から8月16日)、名古屋市美術館(8月25日から10月12日)、岩手県立美術館(10月20日から11月29日)、松戸市立博物館(12月8日から10年1月24日)に巡回した。

5 月

- 史跡・名勝指定の答申** 文化審議会(西原鈴子会長)は15日、豊臣秀吉が16世紀末に築いた「宇治川太閤堤跡」

(京都府宇治市)など10件を史跡に、首里城書院・鎖之間庭園(那覇市)など4件を名勝に指定するよう、塩谷文部科学相に答申した。また、西洋美術館園地(東京都台東区)など2件を新たに登録記念物に登録するよう答申した。

- あをによし賞受賞者決定** 保存科学・修復の現場で優れた業績を上げた個人・団体を顕彰する「読売あをによし賞」(主催：読売新聞、特別協力：文化財保存修復学会)の第3回目の受賞者は和釘鍛冶の白鷹幸伯(73)、本藍染の森義男(67)に決定した。また国宝修理装演師連盟(岡興造理事長)が特別賞を受賞した。表彰式は31日、大阪市内で行われた。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(西原鈴子会長)は19日、米国の建築家ヴォーリズの設計になる関西学院大学時計台(兵庫県西宮市)など23都道府県に所在する116件の建造物を登録有形文化財にするよう塩谷文部科学相に答申した。これで登録有形文化財は7628件になった。

7 月

- 「**ゴーギャン展**」開催 日本の近代美術に大きな影響をもたらしたポール・ゴーギャンの作品約50点を展観する「ゴーギャン展」が3日から9月23日まで東京国立近代美術館で開催された。1880年代以降、都市文化の対極にある野生に興味を抱き始めてからの画業を中心に、「内なる「野性」の発見」「熱帯の楽園、その神話と現実」「南海の涯て、遺言としての絵画」の3章で構成し、晩年の大作「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」が日本で初めて公開される機会となった。

- 「**写楽 幻の肉筆画—ギリシャに眠る日本美術—マノスコレクションより**」展開催 東アジア美術の収集家で、19世紀後半20世紀初頭に外交官として活躍したグレゴリオス・マノスがギリシャ国立コルフ・アジア美術館に寄贈した日本美術コレクションを紹介する展覧会が4日から9月6日まで東京都江戸東京博物館で開催された。数千点におよぶ日本美術品の中から浮世絵師写楽による肉筆扇面画、狩野山楽筆「牧馬図屏風」を含む絵画・版画126点が出品され、話題となった。

- 「**道教の美術**」展開催 日本、中国をはじめ東アジアの文化に道教が深く根ざしているさまを紀元前2世紀から現代に至る中国、日本の彫刻、書画、工芸品410点で明らかにする「知られざるタオの世界—道教の美術」展が11日から9月6日まで三井記念美術館で開催された。老子を祖とし、神仙思想、風水、星宿、易学をはじめ仏教とも結びついて展開してきた道教の歴史を「中国古代の神仙思想」「老子と道教の成立」「道教の信

仰と尊像」「陰陽道」「地獄と冥界・十王思想」「北斗七星と星宿信仰」「禅宗と道教」「仙人／道教の神々と民間進行」「道教思想のひろがり」「近代日本と道教」「拡散する道教のイメージ」の12章の構成で展観する大規模な企画となった。同展は大阪市立美術館(9月15日から10月25日)、長崎歴史文化博物館(2010年1月23日から3月22日)に巡回した。

- 「聖地寧波」展開催 遣唐使の時代から日本へ中国大陆の文物が送られる窓口となった港湾都市寧波に焦点を当て、この地の仏教文化が日本にどのように受容されたかを175点の作品で明らかにする「聖地寧波—日本仏教1300年の源流—すべてはここからやって来た」展が18日から奈良国立博物館で開催された(8月30日まで)。第一章「聖地を行き交う人・もの」、第二章「阿育王寺—仏舍利への崇敬」、第三章「延慶寺—天台浄土教の隆盛」、第四章「普陀山—観音の住む島」、第五章「天台山の五百羅漢」、第六章「東銭湖—神仏が降臨する聖地」、第七章「海を渡る禅律文化」、第八章「遣明使が訪れた町」の構成で、中国の仏教の聖地として古くから憧憬され、最澄、鑑真らに始まり、日宋・日明貿易を通じて新たな仏教文化が日本にもたらされた歴史を跡づける大規模な展観となった。

9 月

- 「若冲ワンダーランド」展開催 18世紀に京都で活躍した伊藤若冲の絵画世界を紹介する「若冲ワンダーランド」展が1日から12月13日までMIHO MUSEUMで開催された。第一章「プロフィール」、第二章「版画」、第三章「動植綵絵への道」、第四章「若冲ワンダーランド」、第五章「若冲をめぐる人々」、第六章「象と鯨図屏風」、第七章「ワンダーランドの共住者たち」、第八章「面白き物好き」の構成で、与謝蕪村、曾我蕭白ら同時代の絵師の作品を含む127点が展示された。新たに存在が明らかになった「象と鯨図屏風」も紹介され、意表を突く独自の画風を浮き彫りにする充実した展観となった。
- 第21回世界文化賞受賞者発表 優れた芸術の世界的創造者たちを顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催：財団法人日本美術協会)の第21回受賞者が24日発表された。美術部門では、絵画部門で杉本博司(61)、彫刻部門でリチャード・ロング(64 英国)、建築部門でザハ・ハディド(58 英国)が受賞した。
- 登録有形文化財登録の答申 文化審議会(西原鈴子会長)は25日、日本学園一号館(東京都世田谷区)や香川県善通寺五重塔(香川県善通寺市)など19都府県の建造物129件を登録有形文化財にするよう川端文部科学相に答申した。これで登録有形文化財の総数は7747件と

なった。

- 第30回ジャポニスム学会賞受賞者決定 ジャポニスムに関する優れた研究を顕彰するジャポニスム学会賞(主催：同学会)の第30回目の受賞者は「ガレとジャポニスム展」を企画した土田ルリ子(サントリー美術館)に決定した。

10 月

- 山種美術館移転 優れた日本画のコレクションで知られる山種美術館(山崎妙子館長)が東京都千代田区から渋谷区広尾へ移転し、1日に開館した。地上6階地下1階建のビルの地上1階地下1階部分が同館施設となる。開館記念展として「速水御舟—日本画への挑戦」(10.1-11.29)を開催。同館創設者山崎種二の「美術を通じて文化のために貢献する」という意志の継承を目指す。
- 「皇室の名宝」展開催 天皇即位20年を記念して「皇室の名宝—日本美の華」展が6日から東京国立博物館で開催された。正倉院や三の丸尚蔵館など宮内庁が所蔵する作品を第一期「永徳、若冲から大観、松園まで」、第二期「正倉院宝物と書・絵巻の名品」と題して二期に分けて展観。第一期は「近世絵画の名品」「近代の宮殿装飾と帝室技芸員」の2章にわけ、狩野永徳・常信筆「唐獅子図屏風」や伊藤若冲筆「動植綵絵」など約80点が展示され11月3日まで、第二期は「古の美 考古遺物・法隆寺献納宝物・正倉院宝物」「古筆と絵巻の競演」「中世から近世の宮廷美」「皇室に伝わる名刀」の4章に分け、11月12日から29日まで展観された。
- 第21回国華賞受賞者決定 日本・東洋美術に関する優れた研究に対して贈られる国華賞の第21回目の受賞者は小川裕充『臥遊—中国山水画 その世界』(中央公論美術出版 平成20年)に決定した。国華賞(展覧会図録賞)は塚本鷹充「崇高なる山水—中国・朝鮮、李郭系山水画の系譜」展図録(平成20年10月、大和文華館)、国華奨励賞は森實久美子「華嚴海會諸聖衆曼荼羅についての一考察—図様の源泉と思想背景を中心に」(『国華』1362号 平成21年4月)に贈られることに決まった。
- 根津美術館改装オープン 2006年から改装のため3年半にわたり休館していた財団法人根津美術館(根津公一館長)が7日、「東洋の美と伝統を次世代に伝えるために—」をコンセプトに掲げ、「新創」を謳って開館した。建物は隈研吾の設計になり、地上2階地下1階、敷地面積約21625平方メートル、延床面積約4014平方メートル。室内の透明性、自然素材の探求、日本の伝統の再生をテーマとしてきた隈の集大成と位置づけられる。新創記念特別展が一年間に8回予定され、その

第一部として「新・根津美術館展—国宝那智瀧図と自然の造形」(10月7日から11月8日まで)が開催された。

○「近代の東アジアイメージ」展開催 日本の近代画家、写真家たちがアジアをどのようにとらえてきたかを明治期から現代まで跡づける「近代の東アジアイメージ」展が10日から12月27日まで豊田市美術館で開催された。第1章「明治期段階—文人画・歴史画から現実へ」、第2章「エキゾチシズムの諸相」、第3章「アジアの女性像」、第4章「東アジアで開花した「日本美術」」、第5章「カメラアイを通して」、第6章「場末への眼差し」、第7章「内的荒野・大地からの幻影」、第8章「現代にて」、の8章構成で107作家の作品を展覧し、日本にとっての東アジアという場を近代から現代まで跡づける意義深い機会となった。

○国宝・重要文化財指定の答申 文化審議会(西原鈴子会長)は16日、旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)を国宝と重要文化財に同時指定し、内外大神宮(茨城県筑西市)、旧鶴岡警察署庁舎(山形県鶴岡市)など建造物7件を重要文化財に新指定するよう川端文部科学相に答申した。明治以降の近代建築を国宝指定するのは初めて。これで建造物分野の重要文化財は2359件(うち国宝215件)となった。また、西予市宇和町卯之町(愛媛県)を重要伝統的建造物群保存地区に選定するとともに、既に選定されている大田市温泉津(島根県大田市)の同保存地区を拡大することも答申した。

○メセナ大賞受賞者決定 芸術文化振興に寄与した企業を顕彰するメセナアワード2009(主催:企業メセナ協議会)が9月30日に発表された。美術関係では多摩川アートラインプロジェクト実行委員会が地域ネットワーク賞を受賞した。

○第4回西洋美術振興財団賞受賞者決定 西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第4回目の受賞者が決定した。個人に贈られる学術賞は新畑泰秀(「セザンヌ主義 父と呼ばれる画家への礼賛」展(横浜美術館)に対して)、土田ルリ子(「ガレとジャポニスム展」(サントリー美術館)に対して)が、団体に贈られる文化振興賞は「三宅一生デザイン文化財団」(「U_Tsu_Wa/うつわ」展(21_21 DESIGN SIGHT)に対して)が受賞した。

○野呂介石展開催 池大雅に学び、優れた文人画家として18世紀後半から19世紀初頭に郷里の紀州で活躍した野呂介石の画業を編年的に跡づける「野呂介石—紀州の豊かな山水を描く」展が27日から12月6日まで和歌山県立博物館で開催された。師の鶴亭、大雅や弟子たちの作品を含む187点が展示され、文人画の隆盛が地方に及んださまを浮き彫りにする展覧会となった。

○文化勲章受章者、文化功労者決定 政府は27日、2009

年度の文化勲章受章者5名を決定した。美術関係では、日本画家の岩沢重夫(81、日展で多くの秀作を発表し、日展役員を歴任し美術界の発展に寄与したことに対して)と、現代美術家の草間弥生(80、独創的で優れた作品を発表し、国際的に活躍したことに対して)が文化功労者に選ばれた。

11 月

○第31回サントリー学芸賞受賞者決定 サントリー文化財団は6日、第31回サントリー学芸賞受賞者を発表した。美術関係では「芸術・文学部門」で藤原貞朗『オリエンタリストの憂鬱』(めこん、2008年)が受賞した。

○第21回倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催:公益信託倫雅美術奨励基金)の第21回目の受賞者が6日、発表され、角田拓朗(「五姓田のすべて」展(神奈川県立歴史博物館 2008年)の企画と図録論文に対して)、速水豊(『シュルレアリスム絵画と日本』(NHKブックス 2009年)に対して)が受賞者となった。

○史跡・天然記念物指定の答申 文化審議会(西原鈴子会長)は20日、東禅寺(東京都港区)や辰巳用水(金沢市)など11件を史跡に、琴ノ浦温山荘庭園(和歌山県海南市)など2件を名勝に、志布志のカワゴケソウ科植物生息地(鹿児島県志布志市)を天然記念物に指定し、西禅院庭園(和歌山県高野町)など6件を登録記念物に登録するよう川端文部科学相に答申した。これで国の史跡は1661件、名勝は357件、登録記念物は52件となった。

○芸術院新会員決定 日本芸術院(三浦朱門院長)は27日、芸術活動に顕著な功績があったとして新たに7名を同院新会員に選出したと発表した。美術関係では日本画家の土屋礼一(63)、福田千恵(63)、洋画家の薮野健(66)が選ばれた。12月15日付で川端文部科学相により発令された。

12 月

○登録有形文化財登録の答申 文化審議会(西原鈴子会長)は11日、現存最古のレンガ造り灯台「菅島灯台」(三重県鳥羽市)、「鶴の湯温泉本陣」(秋田県仙北市)など21都県の建造物135件を新たに登録有形文化財にするよう川端文部科学相に答申した。これで登録有形文化財は7865件となった。また、「金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化」(石川県金沢市)など4件を新たに重要文化的景観に選定するよう答申した。

美術展覧会

企画展

(ア)

アーキニアリング・デザイン展
2009 9.28—10.12 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

アーツ・アンド・クラフツ展(イギリス・アメリカ) ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで 6.2—7.5 郡山市立美術館

アーツ・チャレンジ2009 2.17—3.1 愛知芸術文化センター
陶説 674 井上隆生

アーティスト・イン・スクール 2009—アーティストが学校にやってきた!— 10.22—11.23 川口市立アートギャラリー・アトリア

アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち— 3.4—5.6 国立新美術館
朝日 3.28 高階秀爾
産経 3.25 渋沢和彦
東京夕刊 3.27 内田真由美
日経 4.8 宝玉正彦

街かど美術館2009 アート@つちざわ(土沢) 10.3—11.3 岩手県花巻市東和町土沢商店街と晴山商店街を中心とした地域75カ所

アートアワードトーキョー丸の内 2009 4.29—5.31 行幸地下ギャラリー

アート&デザインフェアプロジェクト 6.24—6.28 アートコンプレックス・センター

Art Cocktail 2009 in笠間 アートとあそぶ夢の散策 10.10—10.24 茨城県笠間市内18ヶ所
美術の窓 316 編集部

移動美術館展 アートにこんには!! 福岡県立美術館所蔵品巡回展 平成21年度 5.30—6.21 新宮コミュニティセンター・そびあし

んぐう

アートの今・岡山2009 11.3—11.15 岡山県天神山文化プラザ(高梁市歴史美術館、奈義町現代美術館)

アートの遠近 福島県立美術館のすべて 開館25周年記念 7.18—9.27 福島県立美術館

アートの玉手箱 2009コレクション展II 7.4—8.30 福岡県立美術館

クロスアート2 Artのメリーゴーランド 11.10—1.24 岐阜県美術館

アートプログラム青梅2009 空間の身振り 11.7—11.23 青梅織物工業協同組合施設/東京都立青梅総合高等学校・講堂/青梅市立美術館/吉川英治記念館/青梅市街
毎日夕刊 11.10

アートプログラム青梅2009 PREMIUM ONE 4 大学学生展プログラム 11.7—11.23 青梅市街

アートランドコミュニケーション'09 the Cloth Park—公園を布で彩る— 上野タウンアートミュージアム2009 10.3—10.12 上野恩賜公園

アール・ヌーヴォーの銀製手鏡とガラス工芸 3.11—9.6 ポーラ美術館

藍染に見る絵と文様—筒描の輝き— 10.31—12.23 姫路市書写の里・美術工芸館

愛知県立芸術大学卒業・修了制作展 平成20年度 3.10—3.15 愛知芸術文化センター/愛知県立芸術大学芸術資料館
美術手帖 921 清水穰

会津の上杉景勝・直江兼続と関ヶ原の戦い 9.19—11.15 若松城天守閣郷土博物館

愛と美の女神ヴィーナス ギリシア神話から現代へ 7.18—11.23

名古屋ボストン美術館

愛についての100の物語 開館5周年記念 4.29—8.30 金沢21世紀美術館

ART iT 24 内田伸一
美術手帖 923 深沢慶太

アイヌの美—カムイと創造する世界— ロシア民族学博物館・オムスク造形美術館所蔵資料 7.18—9.6 市立函館博物館(北海道立帯広美術館、帯広百年美術館、京都府京都文化博物館)

I BELIEVE: 日本の現代美術 10.10—11.29 富山県立近代美術館
美術手帖 932 藪前知子

葵の会 9.14—9.19 銀座スルガ台画廊

仰げば尊し1人と5人の漆芸家展 7.11—8.30 安曇野市高橋節郎記念美術館
新美術新聞 1188 佐野順子

青葉緑日3 アップトップ遊技場 7.19—8.23 せんだいメディアテーク

国宝青不動ご開帳 9.18—12.20
天台宗青蓮院門跡
芸術新潮 718

青山ご開帳2009 11.6—11.15 青山一帯
東京夕刊 11.7

赤い服—日本と世界のさまざまな赤— 7.7—9.30 文化学園服飾博物館

赤坂離宮を彩った華麗なる宮廷家具 明治村開村45周年記念 11.28—6.30 博物館明治村

灯りの情景—灯りと人の物語— 10.24—1.11 川崎市市民ミュージアム
芸術新潮 720

秋の所蔵名品展 9.4—11.3 岐阜県美術館

秋の万葉日本画展 10.2—12.23 奈良県立万葉文化館

朝香宮家への贈りもの 5.25—8.1

徴古館

あざみ野写真EXPO 視覚の冒険

1.30—2.14 横浜市民ギャラリー

あざみ野

アジアとヨーロッパの肖像 2.7—

3.29 神奈川県立近代美術館(葉山)／神奈川県立歴史博物館

朝日夕刊 2.4 吉田憲司

朝日夕刊 3.11 大西若人

国宝 阿修羅展 興福寺創建1300

年記念 3.31—6.7 東京国立博物

物館(九州国立博物館)

新美術新聞 1180 丸山士郎

朝日 2.28 平野圭祐

飛鳥の考古学 2008 展 2.3—3.1

奈良文化財研究所飛鳥資料館

アスカヤマ・遊山弁当箱プロジェク

ト 伝えたい日本の美 3.22—

5.10 北区飛鳥山博物館

朝日夕刊 4.22 宮代栄一

明日への贈りもの一珠玉の中国・日

本美術—開館75周年記念 9.5—

11.29 白鶴美術館

えがく アトリエインカーブ展

4.25—6.14 高梁市成羽美術館

アトリエの末裔あるいは未来5回

上野タウンアートミュージアム

2009 10.14—10.25 旧平櫛田

中邸／台東区立書道博物館

あなたが選ぶこの一点 PART 2

3.1—5.31 足立美術館

油絵事始め リアリズムを求めて

日本近代洋画への道 4.11—5.11

新潟県立近代美術館

アフリカの仮面と美術—生命と創造

の大地— 5.22—7.5 下関市立

美術館

アフリカの造形 躍動するかたち

芹沢銈介の収集品より 1.4—

5.17 静岡市立芹沢銈介美術館

アフリカの美—ピカソ、モディリア

ーニたちを魅了した造形— 7.11

—9.8 MOA美術館

芸術新潮 715

視覚の現場 四季の綻び 3 大

久保恭子

新美術新聞 1188 吉田憲司

アボリジニアート展 6.19—6.27

ギャラリー上原

東京 6.27

尼門跡寺院の世界 皇女たちの信仰

と御所文化 4.14—6.14 東京芸

術大学大学美術館

芸術新潮 714

美術の窓 309 奥田勲

朝日夕刊 10.20 天野幸弘

産経 5.2

産経 5.2 パトリシア・フィス

ター 談／田窪桜子

産経 5.3

産経 5.4

産経 5.4

産経 5.5

産経 5.8、15 大家俊夫

産経 5.12

産経 5.14

雨とNIPPONと森と人 OJISAN

NAGURIKOMI EXHIBITION 11.

20—11.25 フリュウ・ギャラリ

ー

アメノヒボコの考古学 7.11—9.6

但馬国府・国分寺館

アメリカの見た夢 1920—30年代

の絵画、写真、デザインと日本

1.2—3.9 島根県立石見美術館

アメリカをめぐる 4.25—5.31

和歌山県立近代美術館

アメリカン・ハイアメリカ美術の

20世紀—あの頃すべてが輝いて

いた 7.18—8.30 滋賀県立近代

美術館

「あら、尖端的ね。」—大正末・昭和

初期の都市文化と商業美術—

2.14—3.29 岡崎市美術館

新たな区のためから 収蔵品展 4.18

—6.28 板橋区立郷土資料館

アルバム 美術館で作る楽しみ 描

く喜び 開館25周年記念 12.5

—1.31 福島県立美術館

阿波刀の世界—刃、刀装具の美・刀

剣を愉しむ— 9.5—10.18 徳島

市立徳島城博物館

阿波の木偶門付け芸 6.27—7.12

徳島市立徳島城博物館

世界遺産 アンコールワット展—ア

ジアの大地に咲いた神々の宇宙—

8.21—9.30 パラミタミュージア

ム(美術館「えき」TOKYO、三越(日

本橋))

朝日夕刊 9.17 西岡一正

大友良英 ENSEMBLES09 休符だ

らけの音楽装置 10.10—11.3

旧千代田区立練成中学校

美術手帖 931 榎木野衣

6+アントワープ・ファッション

4.11—6.28 東京オペラシティア

ートギャラリー

(イ)

明日への夢展—美を継ぐ者たちII—

「EAST × 4 & WEST × 4」展

7.14—7.19 兵庫県立美術館 原

田の森ギャラリー

美術の窓 310 佐久間智香子

e-space 東京09展 55人のイラス

トレーターが描く東京のすがたか

たち 10.15—10.26 山脇ギャラ

リー

東京 10.15 井上幸一

読売 10.20

e-mit 4 12.14—12.19 銀座スル

ガ台画廊

異界の風景 東京芸大油画科の現在

と美術資料 10.2—11.23 東京

芸術大学大学美術館

毎日夕刊 11.2

医学と芸術展 生命と愛の未来を探

る—ダ・ヴィンチ、応挙、デミア

ン・ハースト 11.28—2.28 森

美術館

芸術新潮 722

美術手帖 933 水田由紀

産経 12.16 渋谷和彦

閾—THRESHOLD— 上野タウン

アートミュージアム2009 10.19

—11.7 旧坂本小学校／ギャラリ

ー空／いろは会商店街

いくさ場の光景—大阪城天守閣収蔵

戦国合戦図屏風展— 3.20—5.6

大阪城天守閣

池田光政 林原美術館開館45周年

池田光政生涯400年記念 11.22

—1.31 林原美術館

いけばな 歴史を彩る日本の美

11.23—1.17 江戸東京博物館(京

都府京都文化博物館)

毎日夕刊 12.28

アイコン—聖像画の世界 玉川学園創立80周年記念 11.2—1.29 玉川大学教育博物館
産経 10.28

石空間展 6 '09夏 8.12—8.18 高島屋(日本橋)

石橋美術館展 子どもたちに残したい名画 7.18—8.30 宮崎県立美術館

春季「石山寺と紫式部」展 源氏物語をつむぎ出す和歌の力—付・石山寺の秘仏公開 3.18—6.30 石山寺豊浄殿
日経 3.30

石山寺の美 観音・紫式部・源氏物語 3.7—3.29 そごう美術館(富山県水墨美術館、浜松市美術館、北九州市立美術館)

維新とフランス—日仏学術交流の黎明 日仏交流150周年記念 3.28—5.31 東京大学総合研究博物館
日経 3.29
毎日夕刊 4.2 鈴木英生

FROM IZUSHI 出石の磁器、純白「しろ」から広がる無限の世界 12.12—2.28 兵庫陶芸美術館

出雲国誕生と奈良の都 平城遷都—三〇〇年 10.9—12.13 島根県立古代出雲歴史博物館

伊勢型紙と江戸小紋展 3.18—3.22 三重県立美術館

伊勢神宮と神々の美術 7.14—9.6 東京国立博物館(大阪歴史博物館)

伊勢物語 狩の使と斎宮 開館20周年・国史跡斎宮跡指定30周年記念 10.17—11.23 斎宮歴史博物館

いただきます—食の文化史— 7.18—8.30 埼玉県立歴史と民俗の博物館

イタリア美術とナポレオン展 9.10—9.28 大丸ミュージアム(東京)(鹿児島市立美術館)
毎日 9.9 岸桂子
毎日夕刊 9.10

イタリアボローニャ国際絵本原画展 2009 7.11—8.16 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、高浜市やきものの里かわら美術館、石

川県七尾美術館)

—葉祭 11.21—11.24 台東区立—葉記念館

—丁倫敦と丸の内スタイル 三菱—号館竣工記念 9.3—1.11 三菱—号館
毎日夕刊 9.8 岸桂子

糸あやつりの万華鏡—結城座375年の人形芝居— 12.3—2.20 INAXギャラリー1 (INAXギャラリー大阪、INAXギャラリー名古屋)

移動と表現 変容する身体・言語・文化 美術館開館1周年記念 1.31—3.29 沖縄県立博物館・美術館
朝日夕刊 3.18 菅野みゆき

いとへん展 8.8—8.11 きらっ都プラザ(京都産業会館)3F展示場
瓜生通信 48 渡辺剛史

挑む—漆芸の創造2回 新霽シリーズ8 1.20—1.26 竹柳堂

命の認識 12.19—3.28 東京大学総合研究博物館

祈り—足利の絵馬と伝説の神仏たち— 10.24—12.13 足利市立美術館

祈りと造形—韓国仏教美術の名品— 10.13—11.28 大谷大学博物館

いのりのかたち—善光寺信仰展 善光寺御開帳記念 4.4—5.31 長野県信濃美術館

祈りのかたち 冬の収蔵品展 12.8—2.7 平塚市美術館

茨城県の装飾古墳 11.7—12.27 熊本県立装飾古墳館

いばらきデザインセレクション 2009 12.14—12.16 イーアスつくばイーアスホール(茨城県立図書館、茨城県庁)
陶説 683 外館和子

今のうつわ これからのうつわPart II 12.19—1.31 ギャラリーヴォイス
陶説 684 井上隆生

IMAGE×INAGE イメージ×イナゲ 千葉大学普通教育科目「展示をつくるb」 1.14—1.25 千葉市民ギャラリーいなが

平成21年美術展覧会(企イ、ウ)

イメージをめぐる冒険 20世紀巨匠たちの挿絵本 ピカソ、マティス、シャガール… 10.17—11.23 山梨県立美術館

イリス150周年—近代日本と共に歩み続ける或るドイツ商社の歴史 4.6—6.7 横浜美術館

岩手県所蔵美術作品選 1.10—2.22 岩手県立美術館

岩野平三郎製紙所+IWANO Project 展 3.16—3.28 文房堂ギャラリー—
朝日夕刊 3.18

インシデンタル・アフェアーズ—うつろいゆく日常性の美学— 3.7—5.10 サントリーミュージアム「天保山」
美術手帖 921 大森俊克

印象・いわて—7人の画家の表現—芸術監督就任記念／斎藤純セレクション 4.25—7.5 石神の丘美術館

インド近代美術の夜明け—カンパニー絵画 ニューデリー国立近代美術館コレクションによる 3.5—3.29 福岡アジア美術館

インド大衆宗教画の世界 あでやかな石版画の魅力 6.22—7.10 東海大学湘南キャンパス3号館文学部展示室
芸術新潮 716

インドネシア 島々の布 1.6—2.22 姫路市書写の里・美術工芸館

(ウ)

静物画の秘密展 ウィーン美術史美術館所蔵 1.6—3.29 兵庫県立美術館
産経 1.31、2.1、3、4 押田雅治

ビデオを待ちながら—映像、60年代から今日へ 3.31—6.7 東京国立近代美術館
STUDIO VOICE 402 山辺冷
美術手帖 922 平倉圭
朝日夕刊 5.16 大西若人
東京夕刊 5.8 岡村恵子
毎日夕刊 4.14 三田晴夫
読売 5.14 前田恭二

ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開 5.23—7.20 原美術館
STUDIO VOICE 404 暮沢剛巳
美術手帖 925 戴前知子
朝日夕刊 7.1 大西若人
産経 6.24 猪谷千香
東京夕刊 7.10 児島やよい
日経 7.9 平野啓一郎
毎日夕刊 6.23 岸桂子
読売 6.25 高野清見

WOOLS—ひとつじてつながる—ウールクラフト 11.27—12.2 フリュウ・ギャラリー

上野の森美術館大賞展27回 明日をひらく絵画 4.28—5.11 上野の森美術館(福岡県立美術館、彫刻の森美術館、京都府京都文化博物館)
産経 4.29

作家の視展2009 上野の森美術館大賞展受賞者展 9.8—9.13 上野の森美術館

VOCA展2009 現代美術の展望—新しい平面の作家たち 3.15—3.30 上野の森美術館
ART IT 24 ドナルド・ユーバンク
朝日夕刊 3.25 大西若人
産経 3.18 浅沢和彦
東京夕刊 3.27 内田真由美

浮世絵に見る子どもの情景 公文浮世絵コレクション・水田コレクションより 4.7—4.25 城西国際大学水田美術館

浮世絵の雪景色 12.1—12.20 太田記念美術館

浮世絵版画—江戸の錦・大坂の華—久保恒彦父子コレクション第二期 受贈記念 10.4—11.29 和泉市久保惣記念美術館

浮世絵百華—平木コレクションのすべて— 11.21—1.11 たばこと塩の博物館

北海道立近代美術館所蔵高橋博信浮世絵コレクションII部 浮世風俗—美人画の三絵師 国貞・国芳・英泉— 6.13—7.5 北海道立帯広美術館

丑—古今東西ウシづくし— 1.21—2.26 天理大学付属天理参考館

うしろの正面—アーティストたちの誠実な遊戯— あいちトリエンナーレ2010プレイベント 8.8—9.23 愛知芸術文化センター

宴の器 4.7—7.3 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

うたのほん—箏・三味線音楽を中心に— 天理ギャラリー137回展 5.17—6.14 天理ギャラリー

歌麿とその時代展—浮世絵にみる美人画の世界— 5.16—6.28 とちぎ蔵の街美術館

宇陀 悠久のとき 2.7—3.22 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

美しきアジアの玉手箱—シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展 7.25—9.6 サントリー美術館(神戸市立博物館、山梨県立美術館、MOA美術館、福岡市美術館)

趣味の水墨画 244
新美術新聞 1190 三戸信恵
毎日夕刊 8.12 高階秀爾

写された満州—デジタルアーカイブから甦る哈爾濱(ハルビン)都市空間— 10.6—10.17 日本大学文理学部

馬とともに—作品の中の馬たち— 4.16—7.5 香川県立ミュージアム

馬のサーカス・大曲馬 10.10—11.29 馬の博物館

うみのいろ うみのかたち—モネ、シスレー、青木繁、藤島武二など 7.11—10.25 ブリヂストン美術館
毎日 8.12 河嶋浩司

海のエジプト展—海底からよみがえる、古代都市アレクサンドリアの至宝— 6.27—9.23 パシフィコ横浜 展示ホールD
朝日 7.13 宮尾登美子

海に見える杜美術館至宝展 The STORY 偉才のコレクター梅本禮暉の軌跡 8.23—9.27 海の見える杜美術館
新美術新聞 1193 森議弘

海を越えた中世のお金 “びた1文”に秘められた歴史 10.10—3.14 日本銀行金融研究所貨幣博物館

浦上蒼穹堂30周年記念展 5.18—5.24 浦上蒼穹堂

漆塗りの妙技—めくるめく変塗(かわりぬり)の世界をご覧あれ— 9.4—10.18 石川県輪島漆芸美術館

漆の考古学 7.17—9.23 地底の森ミュージアム

美しの和紙—天平の昔から未来へ— 9.19—11.3 サントリー美術館
芸術新潮 719

うるわし花々 3.26—5.10 石川県輪島漆芸美術館

(エ)

映画資料でみる映画の中の日本文学 Part 2—昭和の始まりから終戦期まで— 4.3—6.18 東京国立近代美術館フィルムセンター

栄華の時代 3.7—3.22 斎宮歴史博物館

栄光のオランダ絵画展 日蘭通商400周年記念 秘蔵の名品アートコレクション展15回 8.4—8.30 ホテルオークラ

栄光のルネサンスから華麗なロココ 1.4—2.11 石川県立美術館(尾道市立美術館、熊本県立美術館、宇都宮美術館)

映像文化の足跡—光学玩具から映画まで— 7.18—9.13 南丹市立文化博物館

8 batons—都内アート・デザイン系専門学校作品展— 10.6—11.29 NHKふれあいホールギャラリー

描いた女性たち 美術のウーマンパワー 11.19—2.7 青梅市立美術館
毎日 12.13 袴田貴行

絵が生まれるとき—洋画家たちの油彩とデッサン— 10.29—12.23 神戸ゆかりの美術館

描かれた紀伊山地の霊場と参詣道 世界遺産登録五周年記念 11.3—12.6 和歌山県立近代美術館

描かれた城下町—水都発見—
10.24—11.29 徳島市立徳島城博物館
描かれた能—絵で楽しむ、文様が語る— 国立能楽堂コレクション
12.19—2.14 細見美術館
絵かきの町・大王 絵めぐり めでみてきいてあじわって 7.20—8.20 志摩市大王町
エカテリーナ2世の四大ディナーセット—ヨーロッパ磁器に見る宮廷晩餐会 国立エルミタージュ美術館所蔵 4.16—7.5 東京都庭園美術館(いわき市立美術館、大丸(心斎橋)、海の見える杜美術館)
エコ&アート 近くから遠くへ—アートを通して地球環境を考える— 7.4—9.23 群馬県立館林美術館 朝日夕刊 9.2 西田健作 産経 9.2 渋谷和彦
エコール・ド・パリ展—パリにきらめく画家たち 4.26—9.23 松岡美術館
えころじ—江戸学 7.11—9.6 城陽市歴史民俗資料館
絵皿は語る—陶磁器で楽しむ明治・大正・昭和の世相と風俗— 4.11—6.28 町田市立博物館(渋谷史料館、豊田市民芸館)
吉村作治の新発見! エジプト展—国立カイロ博物館所蔵品と— 2.7—4.5 長崎歴史文化博物館(岡山市立オリエント美術館、島根県立美術館、鹿児島県歴史史料センター黎明館、青森県立美術館、古代オリエント博物館)
絵図に描かれた名山—霊山信仰の世界— 7.23—10.4 名古屋市蓬左文庫
越後妻有アートトリエンナーレ2009 大地の芸術祭4回 7.26—9.13 越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町)
ART iT 24 白坂ゆり 朝日 8.3 大西若人 産経 8.12 渋谷和彦 日経 8.20 河尻定 毎日夕刊 7.7、8.25 岸桂子

読売 8.6 市原尚士
絵地図でタイムトラベル!!—館蔵地図総覧— 2.13—4.5 佐賀県立名護屋城博物館
江戸浮世絵巻 5.16—6.21 千葉市美術館
江戸園芸花尽し 10.1—11.26 太田記念美術館
江戸時代を旅してみよう 7.1—8.26 太田記念美術館
江戸・東京発達史—その変遷と災害— 12.5—12.24 日本大学文理学部
江戸と明治の華 皇室侍医ベルツ博士の眼 3.28—5.10 MOA美術館(高岡市美術館)
新美術新聞 1180 佐久間哲也
江戸の長編読みもの—読本・実録・人情本— 9.25—10.23 国文学研究資料館
江戸のデザイン・千社札—其角堂コレクション— 1.3—2.28 平木浮世絵美術館 UKIYO—e TOKYO 芸術新潮 711
江戸の幟旗—庶民の願い・絵師の技— 7.28—9.13 渋谷区立松涛美術館
江戸の華 今西コレクションの肉筆美人画 熊本県立美術館所蔵名品展 4.24—5.31 八代市立博物館 未来の森ミュージアム
江戸のMODE—浮世絵美人の総合ファッションガイド— 9.18—11.23 那珂川町馬頭広重美術館
えどはくでおさらい! 江戸時代—教科書で見たあの人、この絵— 10.6—11.29 江戸東京博物館
江戸文学の世界 町制55周年記念企画展 10.31—12.13 朝日町歴史博物館
絵の力—絵の具の魔術—武蔵野美術大学80周年記念 7.8—8.15 武蔵野美術大学美術資料図書館
絵の中の神と仏展 7.13—7.28 羽黒洞
恵比寿映像祭1回 オルタナティブ・ヴィジョンズ“映像体験の新たな次元” 2.20—3.1 東京都写真美

術館
朝日夕刊 2.25 大西若人 東京夕刊 2.27 (寿)
ゑびす大黒—笑顔の神さま— 9.5—11.19 INAXギャラリー大阪 (INAXギャラリー名古屋、INAXギャラリー1)
第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展 日英友好150年の礎を築く 10.10—11.8 神奈川県立歴史博物館
円空大賞展5回 創造の原野を切りひらく 2.24—3.20 岐阜県美術館
(オ)
オアハカマヒカ—紙と土のちから— 10.16—10.28 マキイマサルファインアーツ
おいでよ! 絵本ミュージアム2009 7.23—8.16 福岡アジア美術館
老いるほど若くなる 百歳現役 内服薬は芸術です 松本市美術館 70歳以上公募 入賞・入選作品展3回 3.20—5.6 松本市美術館
ルネサンスからバロック 黄金時代のヴェネチアン・グラス展 4.18—11.3 箱根ガラスの森美術館 毎日 4.17、7.20 高橋咲子
インカ帝国のルーツ 黄金の都シカン 7.14—10.12 国立科学博物館(熊本県立美術館、富山県民会館、高知県立美術館、福岡市博物館)
王朝歌物語の世界 5.20—6.25 日本大学文理学部
王朝国家の光芒—各地に花開く宮廷文化— 4.25—6.28 兵庫県立考古博物館
お江戸見参 麻藍布 9.20—9.27 三木武夫記念館
おおいだ発! 幕末文化維新—賀来家・華麗なる一族— 10.16—11.29 大分県立歴史博物館
大型建物から見えてくるもの—弥生時代のまつりと社会—弥生建物から探る 4.25—6.14 滋賀県立安土城考古博物館

移動美術館展 大きなクスの木の下
で 福岡県立美術館所蔵品巡回展
平成20年度 1.24—2.22 宗像
ユリックス・美術ギャラリー
大倉喜八郎と大倉集古館—事業と美術
品蒐集の軌跡 7.4—7.28 大
倉集古館
大坂夏の陣と明石藩成立 明石市市
制90周年・明石築城390周年記念
7.25—8.23 明石市立文化博物館
おおさかのおもちゃ—紙と土の郷土
玩具たち— 3.20—5.17 高槻市
立しろあと歴史館
大阪の宝物 出土品が歴史を語る
9.12—11.15 大阪府立弥生文化
博物館
大信楽焼(Oh!Shigarakiyaki)展—出
土資料を中心に— 1.31—3.29
滋賀県立安土城考古博物館
大谷大学のあゆみ—大学の前身・学
寮の時代— 4.1—5.16 大谷大
学博物館
大野五郎収蔵作品展 1.14—1.18
北とびあ
毎日 1.10 澤圭一郎
大浜てらまち 9.12—10.25 碧南
市藤井達吉現代美術館
大原總一郎の美術館創造 大原總一
郎生誕100年記念展 7.29—9.27
大原美術館
読売 9.17 高野清見
大原美術館コレクション展 名画に
恋して 10.10—11.29 福岡県立
美術館
大原幽学顕彰展 7.14—12.20 大
原幽学記念館
おかざきの考古学—身近な遺跡をた
ずねてみよう— 7.18—9.6 岡
崎市美術博物館
お金って何だろう?—貨幣の歴史ロ
マン 7.14—8.30 お札と切手の
博物館
岡本太郎現代芸術賞展12回 2.7—
4.5 川崎市岡本太郎美術館
読売夕刊 3.30 (清)
岡本豊彦から小野竹喬展—岡山にお
ける四条派の系譜 2.7—3.15
笠岡市立竹喬美術館
おがわ是苦集に見る鉄砲小道具の用

と美 1.31—3.22 板橋区立郷土
資料館(設楽原歴史資料館)
国宝 沖縄・琉球王国の美 10.10
—12.6 兵庫県立歴史博物館
お鯉さん—ありし日の面影— 7.18
—8.30 徳島市立徳島城博物館
おれで旅する世界遺産 1.6—3.8
お札と切手の博物館
お釈迦さまの美術 6.4—7.12 鎌
倉国宝館
おそばで猪口と豆皿展 6.5—6.17
マキイマサルファイナーツ
おどり衣裳のコスモロジー—日芸コ
レクション—伝六代目尾上菊五郎
の衣裳を中心に 芸術学部
ORCNANAプロジェクト交流展
10.30—11.27 日本大学文理学部
私とほか7人—(尾道大学)大学院1
年油画コース進級制作展— 1.17
—2.19 尾道白樺美術館
尾道大学美術学科卒業・修了制作選
拔展2009 2.26—3.8 尾道白樺
美術館
尾道大学美術学科教員展 3.23—
5.10 尾道白樺美術館
Curriculum 授業作品展 尾道大学
美術学科 7.16—8.23 尾道白樺
美術館
おひなさま 2.17—4.5 愛媛県歴
史文化博物館
おひなさま展 2.3—3.8 中野区立
歴史民俗資料館
おひなさまと装束・調度 1.30—
3.14 文化学園服飾博物館
オブジェの方へ—変貌する「本」の世
界 開館10周年記念 11.14—1.
24 うらわ美術館
朝日夕刊 12.2 小川雪
お水取り 2.7—3.15 奈良国立博
物館
おもしろやつら 人間像で見る関西
の美術 7.18—8.30 徳島県立近
代美術館
オランダデザイン展—挑発する色と
かたち 日蘭交流400周年記念
8.1—9.23 佐倉市立美術館
阿蘭陀とNIPPON—レンブラントか
らシーボルトまで— 日蘭通商
400周年記念展 10.31—1.11

長崎歴史文化博物館(たばこと塩
の博物館、岡崎市美術博物館)
オルセー美術館展 パリのアール・
ヌーヴォー—19世紀末の華麗な
技と工芸— 9.12—11.29 世田
谷美術館(長崎県美術館、広島県
立美術館)
新美術新聞 1195 遠藤望
日経夕刊 11.5 海野弘
尾張徳川家の雛まつり 2.7—4.5
徳川美術館
尾張名所めぐり 1.4—2.15 名古
屋市蓬左文庫
おん祭と春日信仰の美術 12.8—
1.17 奈良国立博物館

(カ)

カーデザインの歴史—NISSAN 情
熱と機能の美— 10.3—11.29
平塚市美術館
ガールズ イラスト プロジェクト
6.24—6.28 アートコンプレッ
ス・センター
絵画考 一色ちか子 島洲一 箕原
正 吉澤美香 5.9—5.31 双ギヤ
ラリー
絵画と写真の交差—印象派誕生の軌
跡 1.30—3.25 北海道立帯広美
術館(札幌芸術の森美術館、ひろ
しま美術館、松本市美術館)
新美術新聞 1179 岡部昌幸
絵画と写真の交差—印象派誕生の軌
跡 10.24—12.20 名古屋市美術
館
毎日夕刊 11.16 高階秀爾
絵画の、あつみ—日本の絵画はうす
っぱらか? コレクションによる
企画展 7.25—8.23 練馬区立美
術館
絵画・墨蹟と李朝の陶芸 館蔵 秋
の優品展 8.28—10.18 五島美
術館
毎日夕刊 9.17
横浜開港150周年記念—Part 1 絵
地図・浮世絵にみる開港場・横浜
の風景 5.23—7.5 横浜市歴史
博物館
海賊—室町・戦国時代の東京湾と横
浜—横浜開港150周年記念 4.4

—5.10 横浜市歴史博物館
地方史研究 343 風間洋
貝塚に学ぶ—考古学者・酒詰仲男と
地球環境— 10.10—12.13 板橋
区立郷土資料館
甲斐道をゆく—交流の文化史—
10.3—11.30 山梨県立博物館
甲斐の国のたからもの 新指定文化
財展 1.30—3.2 山梨県立博物
館
火焰土器の国 5000年前のメッセ
ージ 4.25—6.14 新潟県立歴史
博物館(大阪府立弥生文化博物館)
香の大文化—旧高崎藩主・安藤家
の至宝 4.12—6.14 高崎市タワ
ー美術館
画家の眼差し、レンズの眼 近代日
本の写真と絵画 6.27—8.23 神
奈川県立近代美術館(葉山)
芸術新潮 718
美術手帖 927 平倉圭
日経夕刊 8.11 窪田直子
読売 8.13 前田恭二
かがやきにこめた権威と荘厳—金と
銀の考古学— 10.10—11.23 茨
城県立歴史館
「Brilliant Noël」—輝きのガラス—
12.5—12.27 ポーラミュージア
ム アネックス
産経 12.23 (和)
輝きははじめた女性たち 旅する化粧
道具 ポーラ・コレクション
10.24—11.23 福井県立美術館
輝く出雲ブランド—古代出雲の玉作
り— 3.7—5.17 島根県立古代
出雲歴史博物館
輝ける女性像 12.5—3.26 笠間日
動美術館
香川漆芸の至宝 あゆみと指導者た
ち 香川県漆芸研究所移転開所記
念 4.11—5.10 香川県文化会館
学生CGコンテスト14回受賞作品展
文化庁メディア芸術祭協賛事業
2.4—2.15 国立新美術館
革命とファッション 亡命ロシア、
美の血脈 アレクサンドル・ワシ
リエフコレクション 4.25—5.24
多摩美術大学美術館
日経夕刊 5.19 小川敦生

神楽面と衣装 広島城収蔵品展
2.21—4.19 広島城
崖の上のポニョ展 エンピツで映画
をつくる 5.23—5.9 三鷹の森
ジブリ美術館
美術手帖 923 山内宏泰
錆 かざり—建築装飾にみる金工技
法— 8.17—9.25 竹中大工道具
館
鍛冶屋のあゆんだ幕末・明治—乞田
鍛冶からひょうたん鍛冶へ—
3.20—7.6 パルテノン多摩
春日懷紙・春日万葉集とふるさと
の文芸 重要文化財指定記念
7.18—8.31 石川県立歴史博物館
Catastrophe!—イラク文化遺産の
破壊と略奪—展 1.26—5.8 国
士館大学イラク古代文化研究所展
示室
朝日夕刊 5.2 池澤夏樹
毎日夕刊 3.11 伊藤和史
かたちは、うつる 国立西洋美術館
所蔵版画展 7.7—8.16 国立西
洋美術館
甲冑 西と東—西洋甲冑と日本甲冑
・南蛮胴具足— 7.18—9.27 板
橋区立郷土資料館
金沢美術工芸大学教員作品展 平成
21年度 11.11—11.15 金沢21世
紀美術館
五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009
奏でるかたり—竹をきく 竹とあ
そぶ 12.12—12.23 大崎市民ギ
ャラリー 緒絶の館
狩野派—四〇〇年の栄華— 10.10
—11.23 栃木県立博物館
朝日夕刊 10.14 田中三蔵
狩野派の世界—2009— 9.10—10.
18 静岡県立美術館
趣味の水墨画 246
朝日夕刊 10.14 田中三蔵
歌舞伎と文楽の世界—愛媛の伝統芸
能— 7.14—8.31 愛媛県歴史文
化博物館
CAF. ネビュラ展2009 11.18—11.
29 埼玉県立近代美術館
鎌倉の至宝—国宝・重要文化財—
4.25—5.31 鎌倉国宝館
鎌倉の日蓮聖人—中世人の信仰世界

— 10.17—11.29 神奈川県立歴
史博物館
鎌倉・室町時代の意匠と装飾
10.17—11.15 黒川古文化研究所
釜師 大西清右衛門の目—それぞ
れの館蔵品から—国立民族学博物館
共催企画「千家十職×みんなく」
3.12—6.28 大西清右衛門美術館
紙のための紙 その2—引札—
12.12—2.28 紙の博物館(東京)
神・人・財[たから]—広島県の神社
の至宝— 4.24—6.14 広島県立
歴史博物館
CAMERA事始め—古典カメラから
国産カメラへの変遷— 6.13—
7.6 尼崎市総合文化センター
ガラス工芸の精華—ガレから現代ま
で—北海道立近代美術館ガラスコ
レクション 6.13—7.20 瀬戸市
美術館(日田市郷土博物館、石川
県能登島ガラス美術館、はつかい
ち美術ギャラリー)
「Story of...」カルティエクリエ
ション—めぐり逢う美の記憶 3.
28—5.31 東京国立博物館表慶館
日経 2.21
日経夕刊 3.27
毎日 5.13 馬場直子
毎日夕刊 4.14 永田晶子
彼らは人生の方向を誤った。 12.7
—12.11 東京芸術大学音楽学部
川上澄生と民芸—浜田庄司・芹沢銈
介・塚田泰三郎・棟方志功と共に
— 6.5—8.30 川上澄生美術館
川越を描くピエンナーレ4回
6.26—7.5 川越市立美術館
川崎・縄文・一万年—大地に刻まれ
た生活と温暖化— 8.29—10.12
川崎市市民ミュージアム
河内平野の集落と古墳 謎の4世
紀を探る 10.10—12.13 大阪府
立近つ飛鳥博物館
変わりゆく広島の町並み 城下町か
ら近代都市へ 9.11—10.18 広
島城
館所蔵名品展(コレクション展 III)
5.28—7.3 京都工芸繊維大学美
術工芸資料館
国宝 鑑真和上 唐招提寺金堂平成

大修理記念 4.4—5.24 奈良国立博物館
顔真卿特集 中村不折コレクション
10.6—12.23 台東区立書道博物館
観世家のアーカイブ—世阿弥直筆本
と能楽テキストの世界—東京大学
教養学部60周年記念 10.10—11.
29 東京大学駒場博物館
館蔵セクション展—後世に伝えたい
8年の軌跡— 12.23—1.24
松本市美術館
ガンダーラ—仏像のふるさと—新館
開館1周年記念 7.5—12.13
平山郁夫シルクロード美術館
翰墨の縁—贈答・合璧の書画—
9.13—12.13 澄懷堂美術館

(キ)

消えた「おかぶと」—節供人形カナカ
ンブツの謎を追う— 3.11—4.13
山梨県立博物館
菊池ビエンナーレ展3回 現代陶
芸の〈今〉 3.28—6.14 菊池寛実
記念智美術館
寄贈寄託資料 小特集 5.15—7.6
土佐山内家宝物資料館
北川原コレクション 9.19—12.20
神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)
吉祥—福・禄・寿を中心に— 1.7
—2.15 茶道資料館
キトラ古墳壁画四神—青龍白虎—
4.17—6.21 奈良文化財研究所飛
鳥資料館
木に潜むもの 3.14—6.7 東京国
立近代美術館
朝日夕刊 4.1 大西若人
夔神〔キノカミ〕降臨! 神か? 獣
か? 12.9—1.25 山梨県立博物
館
木の文化II—古墳時代の木器— 10.
8—11.29 下関市立考古博物館
岐阜県のやきもの 資料紹介展
1.24—3.22 岐阜県博物館
人、和して楽しむ—岐阜の文豪—
9.15—11.15 岐阜県博物館
九州ゆかりの日本画家たち 10.10
—12.6 熊本市現代美術館
旧富岡美術館の近代画 11.28—2.4

早稲田大学會津八一記念博物館
狂歌の世界 2.18—4.5 名古屋市
蓬左文庫
京都画壇の華 京都市美術館所蔵名
作展 8.29—10.4 宮城県美術館
プロフェッショナル 建築・デザイ
ンの現在—京都工芸繊維大学造形
系教員展— 7.27—9.18 京都工
芸繊維大学美術工芸資料館
京都御所ゆかりの至宝—甞る宮廷文
化の美— 1.10—2.22 京都国立
博物館
京都市立芸術大学制作展 2008年
度 2.11—2.15 京都市立美術館
／京都市立芸術大学
美術手帖 921 清水穰
京都造形芸術大学 卒業制作展
2.25—3.1 京都市美術館
瓜生通信 46 藤居典子
郷土新潟の絵画・工芸展 1.6—
3.23 敦井美術館
郷土にむけるまなざし 4.10—7.5
北海道立帯広美術館
郷土の作家展 7.10—8.9 富岡市
立美術博物館・福沢一郎記念美術
館
郷土の土人形 節句を飾る土人形た
ち 2.21—4.26 南丹市日吉町郷
土資料館
京都美術文化賞受賞記念展21回
1.27—2.1 京都文化博物館
陶説 673 梅田稔
玉と王権 国際交流展 10.9—12.
13 宮崎県立西都原考古博物館
巨匠展—今そして未来2009 5.13
—5.19 三越(日本橋)(三越(高
松)、三越(名古屋栄))
新美術新聞 1183 高岡忠雄
近代巨匠が描いた クレパス画名品
展 7.9—8.30 とちぎ蔵の街美
術館
きらめく朝鮮の技—螺鈿漆器と象嵌
青磁 4.3—6.28 高麗美術館
ギリシアの古代美術 天理ギャラ
リー—138回展 10.5—11.28 天理ギ
ャラリー
世界遺産 金閣・銀閣 寺宝展—墨
蹟・絵画・茶道具の名品— 12.
13—3.22 承天閣美術館

緊急アートアクション2009 「アト
ミックサンシャイン」沖縄展の検
閲に抗議する美術展 7.18—8.1
GALLERY MAKI
金工の技と美 金属製品にみる一乗
谷 7.18—8.31 福井県立一乗谷
朝倉氏遺跡資料館
金GOLD 黄金の国ジパングと甲斐
金山 4.25—6.15 山梨県立博物
館
近世の瀬戸内海を往来した人と船
瀬戸内海歴史民俗資料館コレク
ションIII 12.17—4.18 香川県立
ミュージアム
近世版木展 2.16—3.6 立命館大
学アート・リサーチセンター
金属彫刻作家新鋭展8回—ディメ
ンションX—小室貴裕、佐々木速
人、塩野太郎、圖子哲哉 7.4—
8.2 メタル・アート・ミュージ
アム光の谷
近代絵画、セザンヌから梅原・安井
まで 3.28—6.21 永青文庫
芸術新潮 714
読売 6.11
近代教育をささえた教科書 東書文
庫コレクションを中心として
7.18—10.12 印刷博物館
芸術新潮 717
近代工芸の名品—花 所蔵作品展
3.7—5.10 東京国立近代美術館
工芸館
近代皇族の記憶—写真が語る山階宮
家三代の暮らし— 10.1—11.30
学習院大学史料館
近代日本絵画のあけぼの—風薫る讃
岐の美とともに— 10.8—12.6
香川県立ミュージアム
近代日本絵画名品展 吉野石膏コレ
クション 1.4—2.8 天童市美術
館
近代日本の花鳥画—花と鳥の肖像—
5.23—7.20 講談社野間記念館
近代日本の残像—幕末明治から大正
へ 横浜美術館コレクション展
9.19—11.23 横浜美術館
近代日本の美意識—人物と風景を描
く—大阪市立近代美術館コレク
ション 4.29—7.5 大阪市立近代

(ケ)

慶応義塾をめぐる芸術家たち 慶応義塾創立150年記念 6.20—9.23 国立国際美術館
警視庁職員美術展54回 11.18—11.23 三越(日本橋)
毎日 11.19 内橋寿明
芸大アートプラザ大賞入賞作品展4回 11.25—12.20 芸大アートプラザ
朝日 11.26 小石勝朗
芸大コレクション展 春の名品選 4.14—6.14 東京芸術大学大学美術館
激動の明治国家建設特別展 11.5—11.27 衆議院憲政記念館
ゲバゲバサマーショー 6.22—7.19 MISAKO&ROSEN
産経 7.15 (和)
現在の美術—7人の試み— 12.8—12.13 新田文化会館
源氏千年と物語絵—最高の源氏学者、細川幽斎— 1.10—3.15 永青文庫
源氏物語 薄雲の世界—新出資料を中心に— 5.24—6.21 実践女子学園香雪記念資料館
日経 6.16
国宝源氏物語絵巻 竹河一・東屋一 11.21—11.29 徳川美術館
源氏物語千年紀 石山寺の美 観音・紫式部・源氏物語 3.7—3.29 そごう美術館
源氏物語と宮廷文化へのあこがれ 2.10—3.15 徳島市立徳島城博物館
源氏物語の世界 静嘉堂の古典籍8回 9.12—10.12 静嘉堂文庫美術館
現代茨城陶芸展 モノトーン・グラデーション 12.9—2.14 茨城県陶芸美術館
現代絵画の展覧—12人の地平線— 12.8—3.22 東京ステーションギャラリー
現代芸術DRAWING—景— 10.14—10.24 東京芸術大学大学美術館 陳列館

美術館(仮称)心斎橋展示室
近代日本の洋画 9.5—10.18 講談社野間記念館
近代日本美術の煌き 日本画と工芸の巨匠たち 5.15—7.6 MOA美術館
近代日本美術の精華 東京芸大美術館コレクションを中心に 4.26—5.31 石川県立美術館
近代日本美術の精華—大観から清方、松園、玉堂まで 東京富士美術館所蔵 10.10—11.29 高梁市成羽美術館
近代日本洋画の華—愛知県美術館所蔵品展— 4.25—6.21 平塚市美術館
毎日夕刊 5.25
近代の詩歌 5.27—7.20 名古屋市蓬左文庫
近代の東アジアイメージ—日本近代美術はどうアジアを描いてきたか 10.10—12.27 豊田市美術館
芸術新潮 720
近代の屏風絵 煌めきの空間 1.10—3.15 泉屋博古館分館
近代の風俗画—女性表現を中心として 3.20—5.10 笠岡市立竹斎美術館
金の卵 学校選抜オールスターデザインショーケース 第4回 8.27—9.6 AXISギャラリー
AXIS 142 横山美和

(ク)

Digital Public Art in Haneda Airport
「空気の港—Please watch your step—」 テクノロジー×空気で感じる新しい世界 10.9—11.3 羽田空港第1・第2旅客ターミナル
日経 10.29
久世光彦展 時を呼ぶ声 9.19—11.29 世田谷文学館
久津川古墳群の衰退と新勢力の台頭—黒土1号墳とその時代— 1.24—3.22 城陽市歴史民俗資料館
GOOD DESIGN EXHIBITION 2009 10.1—11.8 東京ミッドタウン・デザインハブ

朝日夕刊 10.28 大西若人
国の花、華やぐ 3.28—6.14 宮内庁三の丸尚蔵館
KU・BI・RE—容器たちの美しき曲線— 12.23—1.30 生活工房ギャラリー
東京 12.29 沢田一朗
熊谷博人コレクション 和更紗展 4.6—4.18 更紗の部屋
毎日 4.14 合田月美
熊野三山の至宝—熊野信仰の祈りのかたち— 9.8—10.18 和歌山県立博物館
熊野文化のはじまり—縄文人がやってきた—三重県埋蔵文化財展28回 12.12—2.11 三重県立熊野古道センター
くらべてみよう! 墨と色 8.31—11.30 足立美術館
クリティカルデザインラボ展 4.21—4.30 ウルトラファクトリー
瓜生通信 47 堤拓也
グループ墨28回 8.25—8.30 銀座座かねまつホール
美術の窓 314 編集部
黒い風景 6.13—9.23 東京国立近代美術館
読売夕刊 8.24 (市)
クロ—9人展 2.16—2.22 ギャラリー八重洲・東京
黒川古文化研究所名品展 4.18—5.17 黒川古文化研究所
黒船・開国・社会騒乱—日記にみる150年前の横浜— 1.31—3.15 横浜市歴史博物館
シリーズ高槻の村と町 郡家村の歴史 1.4—2.22 高槻市立しろあ歴史館
くんち375年展 9.12—10.18 長崎歴史文化博物館
群馬に仏教がやってきた?—仏像・荘厳具と馬具のデザイン、古墳から飛鳥時代へ— 10.25—12.6 高崎市観音塚考古資料館
群馬の美術1941—2009—群馬美術協会の結成から現代まで— 9.19—11.15 群馬県立近代美術館

現代工芸への視点—装飾の力

11.14—1.31 東京国立近代美術館工芸館

陶説 684 外館和子

美術手帖 934 沢田眉香子

産経 12.16 (和)

毎日夕刊 12.22 岸桂子

現代作家茶碗特集 8.19—9.1 三越(日本橋)

陶説 679 唐澤昌宏

現代作家の表現 新春の所蔵品展

1.4—2.22 平塚市美術館

現代につづく洋画 6.3—7.12 青梅市立美術館

毎日 6.25 袴田貴行

現代日本彫刻展23回 UBEビエンナーレ'09 10.3—11.15 宇部市ときわミュージアム

毎日夕刊 10.15 石川健次

現代日本の彫刻 木を素材とした作品を中心に 千葉市美術館の所蔵作品展示 9.14—10.21 千葉市美術館

現代の絵画 碧南市藤井達吉現代美術館所蔵作品展 3.28—5.10 碧南市藤井達吉現代美術館

現代の水墨画2009 水墨表現の現在地点 4.21—5.31 練馬区立美術館(富山県水墨美術館) 芸術新潮 714

朝日夕刊 5.20 田中三蔵

現代美術も楽勝よ。 8.29—10.12 水戸芸術館現代美術ギャラリー

現代琉球漆芸作家展2回 3.5—3.22 浦添市美術館

建築以前・建築以後展 8.1—8.29 小山登美夫ギャラリー 美術手帖 928 松井みどり

建仁寺—高台寺・圓徳院・備中足守藩主木下家の名宝とともに 7.17—8.23 岡山県立美術館

(コ)

工芸のいま 伝統と創造—九州・沖縄の作家たち— 1.1—3.15 九州国立博物館

陶説 673 外館和子

朝日 1.10 中村俊介

日経 3.4 竹田博志

広告跳躍時代 昭和の広告展[III]

7.29—10.3 アド・ミュージアム 東京

日経夕刊 8.18 田村広済

皇室の衣裳展 2.11—4.12 薩摩伝承館

皇室の名宝—日本美の華 御即位20年記念特別展 10.6—11.29

東京国立博物館

趣味の水墨画 247

東京夕刊 10.30 藤田一人

日経 9.19

日経 3.31、10.3、11.19 宝玉正彦

日経夕刊 10.20 赤瀬川原平

日経夕刊 10.22 星野知子

日経夕刊 10.24 根津公一

日経夕刊 10.29 辻惟雄

講談社野間記念館の名品展 10.24—12.20 講談社野間記念館

黄庭堅・伏波神詞詩巻—中国大書家の氣に触れる— 9.19—12.27 永青文庫

神戸ビエンナーレ2009 港で出合う芸術祭 10.3—11.23 神戸市内各所

美術手帖 932 小吹隆文

工房集とその仲間たち展 2.6—2.25 マキイマサルファイナーーツ

光芒の再生—赤羽刀のきらめき— 12.12—2.14 一関市博物館

大本山光明寺と浄土教美術—法然上人八百年大御忌記念— 10.23—11.29 鎌倉国宝館

高野山大宝蔵展30回 高野山の名宝 7.18—9.27 高野山霊宝館

黄金町バザール2009 9.1—9.27 京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」の間の高架下スタジオ2棟、その他のスタジオ12か所と近隣の店舗、駅、大岡川、他

朝日夕刊 9.10

読売夕刊 9.14 (市)

古唐津に魅せられたもの達—9人の挑戦 5.12—5.22 佐賀県立九州陶磁文化館

陶説 677 森孝一

国際漆展・石川2009 1.21—1.26

めいてつエムザ(石川県輪島漆芸美術館)

国際公募国際墨画会展9回 6.24—7.6 国立新美術館

新美術新聞 1191 (智)

国際交流デザイン展3回 Sixth sense 1.10—1.18 東京芸術大学大学美術館陳列館

国際水墨芸術大展2009 8.5—8.11 東京都美術館

美術の窓 313 高山淳

国立美術館名作選 明治・大正・昭和100年の名画 9.12—10.12 香川県立ミュージアム(徳島県立近代美術館)

御城下絵図に見る佐賀のまち 9.14—11.21 徴古館

特別公開「御所参内・聚楽第行幸図屏風」 9.12—10.4 上総市立総合博物館

芸術新潮 718 狩野博幸

不来方会美術展15回2009 8.9—8.15 ギャラリーおでつて

五姓田GOSEDA—明治新潟の人々を描いた絵師—展 4.25—6.7 新潟市歴史博物館

KOSODE 百・華・緑・乱—丸紅所蔵衣裳名品展— 6.5—7.12 石川県立歴史博物館

小袖 江戸のオートクチュール 松坂屋京都染織参考館の名品 初公開 4.14—5.31 大阪市立美術館 日経 5.16

古代カルタゴとローマ展—きらめく地中海文明の至宝— チュニジア世界遺産 10.3—10.25 大丸ミュージアム(東京)(仙台市博物館、石川県立美術館、岡山市デジタルミュージアム、岩手県民会館、京都府京都文化博物館、浜松市美術館、宮崎県総合博物館、松坂屋美術館) 芸術新潮 718

古代九州の国宝 九州国立博物館開館4周年記念 10.20—11.29 九州国立博物館

古代祭祀の世界 10.3—11.29 兵庫県立考古博物館

古代の出雲と吉備の名宝—青銅と鉄

と玉とー 10.3—11.23 広島県立歴史民俗資料館
 古代の猪名野 伊丹台地に刻まれた開発の歴史 10.3—11.22 伊丹市立博物館
 古代の筑波山信仰—内海をめぐる祭祀の源流— 10.31—12.13 土浦市立博物館
 古代のロマン北南—三内丸山VS上野原— 9.19—11.3 鹿児島県歴史資料センター黎明館
 古代ローマ帝国の遺産 9.19—12.13 国立西洋美術館(愛知県美術館、青森県立美術館、北海道立近代美術館)
 芸術新潮 719
 東京 9.7 青柳正規
 東京 9.18 飯塚隆／青柳正規
 東京 10.5 松山聡
 東京夕刊 9.24—26、28—10.3、5 芳賀京子
 東京夕刊 10.26 稲葉千寿
 東京夕刊 11.10 上村清雄
 毎日夕刊 10.13 高階秀爾
 古地図の楽しみ—江戸時代の町を歩く— 静嘉堂文庫の古典籍7回 2.14—3.22 静嘉堂文庫美術館
 ことばのかたち工房 装いの場、体験の場、振り返る場 4.21—5.15 武蔵野美術大学apmg
 朝日 5.10 中野真也
 子どもアートinみえ ネコの目、トリの目、わたしの目—写真で見つけた私のまち 12.23—2.14 三重県立美術館
 こども+おとな+夏的美術館 まいにち・アート!! 7.18—9.6 群馬県立近代美術館
 こども工芸館 い!コレクション／おとな工芸館 涼しさ招く 7.7—8.30 東京国立近代美術館工芸館
 コドモノクニと童画家たち 手のひらのモダン 6.27—8.23 横須賀美術館
 こどものとも 絵本原画展 10.31—12.20 川越市立美術館
 この壁を飾るのは誰、この台上を埋めるのは君 12.14—1.16 早稲田大学／ビジュアルアーツギャラ

リー・東京
 丹後国一宮 籠神社の至宝展 4.21—5.31 京都府立丹後郷土資料館
 この世界とのつながりかた 10.24—3.7 ボーダレス・アートミュージアムNO—MA／尾賀商店
 美術手帖 934 栗田大輔
 個の地平3回 8.26—9.1 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 1192 本江邦夫
 この場所で—終わりと始まりをつなぐ、しずおか— 11.14—12.20 静岡アートギャラリー
 新美術新聞 1202 青木良平
 彩の国埼玉 古墳時代の優品 3.20—5.31 埼玉県立さきたま史跡の博物館
 カラーズ一切断と再構築による創造 1.20—3.8 東京国立近代美術館
 コレクション 10.10—12.13 国立国際美術館
 Collection 1000—6 コレクションの発展—21世紀を迎えて 2.28—4.12 佐久市立近代美術館
 新美術新聞 1178 小山雅比古
 コレクションの誕生、成長、変容—芸大美術館所蔵品選— 7.4—8.16 東京芸術大学大学美術館
 芸術新潮 717
 「これって絵なの?」—ピカソな気分—でちょっとゲンダイびじゅつ—美術コレクションⅡ 7.25—9.6 香川県立ミュージアム
 コレクション展Ⅱ コロタイプで蘇る法隆寺金堂壁画展 1.19—2.14 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 国宝金銅馬具類はどのように復元されたか—レプリカの世界— 1.16—3.15 宮城県立西都原考古博物館

(サ)

采展3回 12.7—12.12 銀座スルガ画廊
 再考・幻の画聖たち—故・大川栄二館長追悼展— 10.2—12.20 大川美術館
 最古の土器 盛岡の縄文時代草創期

—早期の土器文化 10.22—1.24 盛岡市遺跡の学び館
 西大寺会陽500年と観音院寺宝展 1.16—2.22 岡山市デジタルミュージアム
 埼玉県歴代芸術院会員油彩画展—川口で初めて出会う四人の巨匠— 9.16—9.23 川口総合文化センター・リリア
 サイボーグ009“守れ地球の未来”展 8.8—8.23 パナソニックセンター東京
 産経 8.14
 桜・さくら 2.18—4.5 名古屋市蓬左文庫
 桜さくらサクラ・2009—さようなら、千鳥ヶ淵— 3.7—5.17 山種美術館
 新美術新聞 1178 高橋美奈子
 朝日夕刊 4.8 西田健作
 桜島と鹿児島ゆかりの画家たち展—鹿児島市立美術館・鹿児島県歴史資料センター黎明館所蔵による— 11.14—12.13 尼崎市総合文化センター
 佐倉・房総ゆかりの作家たち—版画作品を中心として 3.28—5.24 佐倉市立美術館
 朝日夕刊 4.15 西田健作
 The Collection of 禿庵 TOKUAN—大谷瑩誠と京都の東洋学— 12.15—2.13 大谷大学博物館
 ザ・女流展 10.24—11.8 ギャラリー大蔵
 新美術新聞 1197 鋳持邦弘
 ヴァンクリーフ&アーペル ザスピリットオブビューティー展 時空を超える美の真髄 10.31—1.17 森アーツセンターギャラリー
 芸術新潮 720
 札幌第二中学の絆—本郷新・山内壮夫・佐藤忠良・本田明二—展 4.25—6.28 札幌彫刻美術館
 サッポロ未来展8回 / LABORATORY 3.16—3.21 札幌時計台ギャラリー
 美術の窓 308 磯部靖
 さつまの学び 6.9—9.27 鹿児島県歴史資料センター黎明館

里のひな祭り 受け継がれた贈りもの 2.28—5.10 南丹市立文化博物館

佐野ルネッサンス 鑄金展5回 10.24—11.8 佐野市文化会館

THEハブスブルク 華麗なる王家と美の巨匠たち 9.25—12.14 国立新美術館(京都国立博物館)

サムライの美学—甲冑師明珍宗恭とそのコレクション— 9.24—10.18 早稲田大学會津八一記念博物館

収蔵美術品展—Sayama Art Collection— 10.10—12.6 狹山市立博物館

狭山池復活—慶長の改修にみる先端技術— 9.26—11.29 大阪府立狭山池博物館

アリットフェスタ2009 狹山茶の歴史と現在 “故きを温ねて新しきを知る” 9.19—11.15 入間市博物館

THE YOSHIDA FAMILY展 世界をめぐる吉田家4代の画家たち 8.29—10.12 三鷹市美術ギャラリー

朝日 9.25 松村康史

朝日夕刊 9.30 西田健作

山水に遊ぶ 江戸絵画の風景250年 3.20—5.10 府中市美術館
芸術新潮 713

趣味の水墨画 240

朝日夕刊 4.30 大西若人

日経 4.22 宝玉正彦

山水の美術—あこがれと神秘の山々— 8.11—9.23 和泉市久保惣記念美術館

三峰窯の思い出—宮様とやきもの 1.6—3.8 宮内庁三の丸尚蔵館

(シ)

五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009 塩釜ナイトミュージアム—陰翳礼讃— 12.16—12.27 菅野美術館

史学は死学にあらず 地方史へのまなざし—『近江愛智群志』と中川泉三 中川泉三没後70年記念 10.17—12.6 愛荘町立歴史文化博物館

史学は死学にあらず 中川泉三と蒲生郡 中川泉三没後70年記念 9.8—12.6 滋賀県立安土城考古博物館

史学は死学にあらず 中川泉三と里内文庫 中川泉三没後70年記念 9.12—11.23 栗東歴史民俗博物館

史学は死学にあらず 中川泉三の生涯・交友と地方史編さん 中川泉三没後70年記念 9.5—10.18 長浜市立長浜城歴史博物館

史学は死学にあらず 中川泉三の履歴書 中川泉三没後70年記念 10.24—12.6 米原市近江はにわ館

しが子ども文化芸術祭 美と音と光の祭典—美しい地球へ びわ湖から願いを込めて— 1.8—1.11 しが県民芸術創造館

鹿と人のアンソロジー—神になった鹿、人と共生した鹿— 7.18—9.6 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

色彩は踊る 巨匠たちのパレットと作品—梅原龍三郎からピカソまで— 4.16—6.28 富山県立近代美術館
日経 6.22

時空の街—街の音—彫刻アートプロジェクト 上野タウンアートミュージアム2009 11.17—12.20 テブコ浅草館

東京 11.20 丹治早智子

刺繍でつづる母の愛—少数民族の刺繍工芸— 1.23—2.22 日中友好会館美術館

「刺繍でつづるモン族の物語」展 2.3—2.21 馬喰町ART+EAT
毎日 2.16 柴田真理子

資生堂・サントリーの商品デザイン展 企業のデザイン展3回 over a century of design by Shiseido & Suntory 5.13—6.1

東京芸術大学大学美術館陳列館

朝日夕刊 5.27 大西若人

産経 5.20 渋谷和彦

読売 5.25

自然のこえ 命のかたち—カナダ先

住民の生みだす美 9.10—12.8 国立民族学博物館
芸術新潮 719

時代を創った日本画家たち 岐阜・愛知・三重 三県立美術館共同企画NO.4 7.17—8.30 岐阜県美術館

自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展 9.8—11.8 和歌山県立近代美術館
日経 11.3

漆芸の巨匠たち 6.26—8.30 石川県輪島漆芸美術館

疾走する日本車[アート]—1960年代を主軸とする国産車の軌跡— 12.23—2.14 島根県立石見美術館(福井県立美術館)

七宝 色と細密の世界 9.3—11.21 INAXギャラリー1 (INAXギャラリー大阪、INAXギャラリー名古屋)

実録! “漫画少年”誌—昭和の名編集者・加藤謙一伝— 10.24—12.6 文京ふるさと歴史館

四天王寺新春名宝展平成21年 重要文化財金銅風鐸修理完成記念 1.1—2.15 四天王寺宝物館

志野・黄瀬戸・織部のデザイン 10.3—11.29 愛知県陶磁資料館
陶説 681 井上隆生

渋谷栄一にまつわる、建築写真—明治から大正期の建築をたずねて— 10.3—11.28 渋谷史料館

渋谷家の雛祭り 2.21—5.6 渋谷史料館

コレクション展 shift—揺らぎの場 9.12—4.11 金沢21世紀美術館

写真と幻想 ベルギー近代の美術コレクションでたどる姫路市立美術館の25年 3.14—4.15 姫路市立美術館

写真にみる戦後の和歌山—復興と人々のくらし— 7.18—9.6 和歌山市立博物館

ニューアート展2009 写真の現在・過去・未来—昭和から今日まで— 10.9—10.28 横浜市民ギャラリー

ジャパニーズ・ビューティー—浮世絵

にみる日本女性の美— 4.1—
4.26 太田記念美術館
トしゃぼん玉飛んだ 170人のイラ
ストレーターが描く日本の童謡・
唱歌 8.24—9.18 クリエイショ
ンギャラリーG8
毎日夕刊 9.7
写楽 幻の肉筆画 ギリシャに眠る
日本美術—マノスコレクションよ
り 日本・ギリシャ修好110周年
記念 7.4—9.6 江戸東京博物館
新美術新聞 1188 我妻直美
写楽、夢二、そして房総ゆかりの作
家たち 新収蔵作品展 2.3—3.1
千葉市美術館
「上海演劇の精華」展 日中文化交流
6.1—6.30 早稲田大学演劇博物
館
集団N39 1962年—1969年 9.19—
12.23 萬鉄五郎記念美術館
読売 12.3 高野清見
十二支の考古学 寅—寅トラ虎の巻
12.12—1.17 奈良県立橿原考
古学研究所附属博物館
酒器19回 1.13—2.14 万葉洞七
丁目店
珠玉の古美術収蔵品展 7.9—10.4
香川県立ミュージアム
珠玉のヨーロッパ油彩画展 バロッ
ク美術から十九世紀へ 1.11—
3.8 静岡アートギャラリー
祝祭の衣装展 ロココ時代のフラン
ス宮廷を中心に 2.11—3.29 目
黒区美術館
日本の新進作家展vol.8 出発—6
人のアーティストによる旅 尾仲
浩二+百瀬俊哉+石川直樹+百々
武+さわひらき+内藤さゆり
12.19—2.7 東京都写真美術館
出発進行!「のりもの」本めぐりへ
7.18—2.7 国立国会図書館国際
子ども図書館
朱と墨—根来が繋いでくれた縁
10.4—12.1 正木美術館
日経 11.21
将軍綱吉と元禄の世—泰平のなかの
転換— 12.15—2.7 江戸東京博
物館
清浄華院の名宝 10.26—11.7 仏

教大学アジア宗教文化情報研究所
少女の友展 10.1—12.23 弥生美
術館
東京 10.28 中里宏
読売 11.1
正倉院展61回 御即位二十年記念
10.24—11.12 奈良国立博物館
読売 10.14、15 関口和哉/藤
岡博之/早川保夫
読売 10.30 上野誠
肖像画にみる加賀藩の人々 4.18—
5.26 石川県立歴史博物館
肖像の100年 ルノワール、モディ
リアーニ、ピカソ 3.14—9.6
ポーラ美術館
日経 6.3 竹田博志
毎日 3.10
焦土からの復興 戦中・戦後を生き
た市民たち 10.10—11.23 水戸
市立博物館
ロビー展 湘南の彫刻 1.14—5.24
平塚市美術館
松伯美術館花鳥画展 公募展15回
2.11—3.29 松伯美術館
招福扇絵展—末広がりのおめでたさ
・鴻池コレクションより— 1.3
—1.25 太田記念美術館
称名寺の庭園と伽藍 4.16—6.7
神奈川県立金沢文庫
上毛三山—赤城・榛名・妙義の歴史
と信仰— 10.23—1.31 安中市
ふるさと学習館
縄文人の道具箱 野首遺跡 8.1—
9.13 十日町市博物館
縄文の躍動—海と生きた人々の文化
— 9.26—11.23 千葉県立中央
博物館
縄文はいつから!?—1万5千年前
になにがおこったのか— 10.14
—1.24 国立歴史民俗博物館
逍遙と『早稲田文学』展 3.21—4.29
早稲田大学(美濃加茂市民ミュー
ジウム)
昭和少年SF大図鑑展—S20—40'ぼ
くたちの未来予想図— 7.3—
9.27 弥生美術館
朝日夕刊 8.12 大西若人
昭和女子大学図書館貴重書展 5.15
—6.13 昭和女子大学光葉博物館

昭和浪漫 7.18—9.23 秋田県立博
物館
食の文化写真 世界の食の情景—食
材・つくる・食べる— 5.1—
6.20 味の素食の文化センター
食の文化写真 世界の食の情景
Vol.2—食材・つくる・食べる—
日本・韓国・ロシア・エジプト・
フランス 10.1—12.5 味の素食
の文化センター
女子美からのメッセージ1回作品
展 アートの旗手 11.12—12.13
杉並区民ギャラリー
女子美術大学・女子美術大学短期大
学部 卒業・修了学年選抜学外展
2.11—2.15 BankART Studio
NYK
女子美術短期大学部 卒業制作
2008年度 3.13—3.15 女子美術
大学 杉並キャンパス
叙情と幻想のイメージ—古賀春江、
神原泰、北脇昇、三岸好太郎、伊
藤久三郎、鶴岡政男、藤井令太
郎、小山田二郎— 1.3—3.29
大川美術館
女性アーティストと、その時代 資
生堂ギャラリー開廊90周年記念
8.25—10.18 資生堂ギャラリー
産経 9.2 (和)
毎日夕刊 9.8 岸桂子
女性の美—近代美人画名作展 福富
太郎コレクション 11.7—12.6
唐津市近代図書館
書と語る 12.1—1.31 福岡市美術
館
書の名品をたずねて 4.11—5.24
徳川美術館
女流陶芸43回 11.21—11.29 京
都市美術館
陶説 682 井上隆生
白岩焼 4.25—7.5 秋田県立博物
館
白樺派の愛した美術 『白樺』誕生
100年 9.13—10.25 ひろしま
美術館(京都府京都文化博物館、
宇都宮美術館、神奈川県立近代美
術館(葉山))
日経夕刊 10.5 郷原信之
白洲次郎と白洲正子展 真っ直ぐに

生きる、ということ。 1.2—1.22
そごう美術館
白洲正子と細川護立—最後の目利き
から学んだもの— 6.27—9.13
永青文庫
毎日 8.24
知られざる日赤の歴史展—すべては
熊本から始まった— 12.19—
2.14 熊本市現代美術館
知られざる畠山コレクション—唐三
彩から秀吉像まで— 8.1—9.23
畠山記念館
知られざる四日市の面影 8.1—
8.30 四日市市立博物館
シルクロード 文字を辿って—ロシ
ア探検隊収集の文物— 7.14—
9.6 京都国立博物館
日経 7.22 竹田博志
神宮奉納美術—心とかたち—V
9.9—10.18 神宮美術館
信州伊那高遠の四季展4回 全国
公募 8.1—9.13 信州高遠美術
館／高遠町総合福祉センター／地
域間交流施設／市立伊那図書館／
伊那市生涯学習センター／かんで
んぱホール／竹内轍美術館
新収蔵品展平成20年度 2.27—4.5
天童市美術館
新収蔵品展 4.11—5.24 平塚市美
術館
新収蔵品展 12.5—1.31 徳島市立
徳島城博物館
信州の歴史遺産III—諏訪地域の‘い
のり’と‘まつり’— 12.12—2.28
長野県立歴史館
新収品'05—'08 交流する文化の
かたち 9.30—11.8 九州国立博
物館
新春の万葉日本画展 1.5—3.15
奈良県立万葉文化館
新世紀の顔・貌・KAO 30人の自画
像 2009 4.28—5.10 神田日勝
記念美術館
人生儀礼の世界 10.10—11.29 松
戸市立博物館
日中韓現代陶芸VI 新世代の交感
8.1—9.27 愛知県陶磁資料館
陶説 679 井上隆生
『死んでもプレストを』原画展—その

時、隅田電話局では何が起こった
か— 2.25—4.5 東京大空襲・
戦災資料センター
毎日 3.2 前谷宏
新・根津美術館展 国宝那智瀧図と
自然の造形 新創記念特別展 第
1部 10.7—11.8 根津美術館
芸術新潮 719
毎日夕刊 10.13 岸桂子
新派展 館蔵品でたどる新派百二十
年の歴史 10.1—11.15 早稲田
大学演劇博物館
新発見・再発見・初公開—人文ミ
ュージアム2009— 4.25—6.15
栃木県立博物館
しんりょく! 平成20年度新収蔵
品を中心に 4.11—6.21 豊田市
美術館
神話—日本美術の想像力— 10.24
—12.24 奈良県立美術館

(ス)

水中考古学の世界—びわこ湖底の遺
跡を掘る— 7.18—9.6 滋賀県
立安土城考古博物館
水都大阪2009 8.22—10.12 大阪
市内
朝日夕刊 10.7
水墨画・古筆と陶芸 4.4—5.10
五島美術館
日本の美・発見1 水墨画の輝き
—雪舟・等伯から鉄斎まで 4.25
—5.31 出光美術館
朝日夕刊 5.13 西田健作
スウェーディッシュ・ファッション
—新しいアイデンティティを求め
て 10.31—1.17 東京都現代美
術館
姿を変えた着物たち 10.26—11.21
昭和女子大学光葉博物館
Scuola展 10.12—10.20 青木画廊
菅生神社の文化財 2.17—3.22 堺
市立みはら歴史博物館
ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸
で描くわたし 7.18—9.27 東京
都庭園美術館
芸術新潮 717
美術手帖 930 秋元康、川島な
お美 談／山内宏泰 構成

東京夕刊 9.18 内田真由美
日経 9.16 宝玉正彦
日経夕刊 7.28 小川敦生
毎日 8.24 永田晶子
読売夕刊 8.10 (前)
気まぐれ美術館 洲之内コレクショ
ン展 4.11—6.7 宮城県美術館
すべては触ることからはじまる
10.3—10.25 ギャラリーTOM
産経 10.21 三品貴志
住友コレクションの中国絵画 3.14
—4.26 泉屋博古館

(セ)

世阿弥の時代—義満をめぐる芸能と
丹後— 能「丹後物狂」智恩寺上演
記念 9.19—10.25 京都府立丹
後郷土資料館
世阿弥発見100年—吉田東伍と能楽
研究の歩み— 3.1—3.25 早稲
田大学演劇博物館
生—歌会始御題によせて— 2.18—
3.22 神宮美術館
青淵 表紙絵の世界 3.7—5.30
渋沢史料館
生活と芸術—アーツ&クラフツ展
ウィリアム・モリスから民芸まで
1.24—4.5 東京都美術館
芸術新潮 711
新美術新聞 1175 真室佳武
朝日夕刊 1.22 秋山亮太／カレ
ン・リビングストン
朝日夕刊 2.19 ルパート・フォ
ークナー／西村令奈
日経 3.11 宝玉正彦
政治の時代—井伊直弼と幕末の群像
— 10.30—11.29 彦根城博物館
静寂と色彩：月光のアンプラマン
ス 10.10—1.11 川村記念美術館
精神生理学研究所 1969—1970
6.1—6.6 ギャラリー檜
美術手帖 925 榎木野衣
菁菁会展1回 5.20—5.30 銀座
アルトン
美術の窓 310 瀧梯三
聖地チベット—ポタラ宮と天空の至
宝— 4.11—6.14 九州国立博物
館(北海道立近代美術館、上野の
森美術館、大阪歴史博物館、仙台

市博物館)
聖地寧波 日本仏教1300年の源流
 ―すべてはここからやってきた―
 7.18―8.30 奈良国立博物館
 日経 8.24
西洋家具の美―18世紀の英国を中心― 6.23―8.16 日本民芸館
 芸術新潮 716 宮脇彰
西洋版画の愉しみ―ゴヤからシャガールまで 2.21―3.22 群馬県立近代美術館
世界難民写真展 8.6―8.22 ギャラリー・しらみず美術
世界のアートな玩具たち 春日明夫玩具コレクション 11.21―1.11 八王子市夢美術館
 毎日 12.5 青木純
世界の土器の始まりと造形―ドキドキ!土器って面白い!― 9.19―11.29 古代オリエント博物館
世界の鳥の巣展 4.11―5.18 ギャラリー樺
 産経 5.4 篠原知存
 読売 5.16
世界へのアプローチ―子どもも大人も見てみよう!― 4.11―5.17 いわき市立美術館
世界報道写真展2009 6.13―8.9 東京都写真美術館(ハービスホール、三越(札幌)、立命館アジア太平洋大学)
世界ポスタートリエンナーレトヤマ9回 2009 7.18―9.27 富山県立近代美術館
 日経夕刊 8.18 田村広済
脊振山の南と北で―吉野ヶ里遺跡をとりまく国々と伊都国 10.10―11.23 伊都国歴史博物館
芹沢銈介が集めた世界の絵画 芹沢銈介の収集品より 9.12―12.6 静岡市立芹沢銈介美術館
京都学 前衛都市・モダニズムの京都 1895―1930 京都新聞創刊130年記念 6.9―7.20 京都国立近代美術館
 AXIS 141 暮沢剛巳
 日経 6.23
前衛のみやぎ―昭和期芸術の変革に挑んだ表現者たち― 6.20―8.16

宮城県美術館
 朝日夕刊 8.8 田中三蔵
 読売 8.10 市原尚士
1970年 大阪万博の軌跡2009 in 東京 1.22―2.8 国立科学博物館
 美術手帖 920 榎木野衣
善光寺信仰―流転と遍歴の勸化― 4.11―6.7 長野県立歴史館
戦国INBA―変遷する城と館― 12.12―6.30 印旛郡市文化財センター
戦国の城―安土城への道 9.19―11.8 滋賀県立安土城考古博物館
戦国ふあっしょん―武将の美学― 10.10―11.15 徳川美術館/名古屋市蓬左文庫
戦国武将と茶の湯―信長・秀吉ゆかりの品々― 10.10―12.20 畠山記念館
戦後高知の美術シーン 3.8―4.5 高知県立美術館
戦後の日本画 愛知県美術館所蔵作品展 7.7―8.30 碧南市藤井達吉現代美術館
戦後美術の多用な表現 秋の収蔵品展 9.18―11.29 平塚市美術館
戦争と芸術 III―美の恐怖と幻影― 1.16―2.5 ギャラリー・オーブ
 瓜生通信 46 高橋洋介
戦争と芸術 IV―美の恐怖と幻影― 9.28―10.12 ギャラリー・オーブ
 瓜生通信 48 高橋洋介
視覚の現場 四季の綻び 3 吉村良夫
 美術手帖 931 熊本拓矢
兵庫の陶磁'09 煎茶の器展 8.29―9.27 明石市立文化博物館
煎茶の美術―雅な友との出会い― 12.13―1.31 和泉市久保惣記念美術館
千年の祈り 石見の仏像 9.18―11.16 島根県立石見美術館
線のヴァリエーション 7.14―11.11 北海道立帯広美術館
線の迷宮〔ラビリンス〕・番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情―70年代の版画集を中心に 8.1―9.27 目黒区美術館
特別公開 千利休 泪の茶杓 2.21

―3.1 徳川美術館
1800年前、エジプトに生きた女性たちの肖像 7.18―12.19 ルーヴルDNPミュージアムラボ
 ギャラリー* 294

(ソ)

増上寺 徳川家霊廟 10.25―11.29 港区立港郷土資料館
蔵書票展 関根悉治コレクション 6.5―8.30 川上澄生美術館
創造する子ども展52回 11.14―11.25 川崎市市民ミュージアム
創造都市はままつ絵画公募展1回 1.10―2.1 浜松市秋野不矩美術館(浜松市美術館)
相馬の馬 10.3―12.6 南相馬市博物館
相馬の武士 町に住む武士・村に住む武士 1.24―3.15 南相馬市博物館
染付―藍が彩るアジアの器 7.14―9.6 東京国立博物館
 朝日夕刊 8.12 西田健作
染野夫妻陶芸コレクション―リーチ・浜田・豊蔵・壽雪― 9.4―11.3 東京国立近代美術館工芸館(山口県立萩美術館・浦上記念館)
 毎日夕刊 10.22 岸桂子
それぞれの美女・美少女たち 4.18―5.24 川口市立アートギャラリー・アトリア
損保ジャパン美術財団選抜奨励展第28回 3.7―3.29 損保ジャパン東郷青児美術館
 産経 3.6

(タ)

ターナーから印象派へ―光の中の情景― 7.3―8.16 豊橋市美術館(府中市美術館)
大・開港展 徳川將軍家と幕末明治美術 9.19―11.23 横浜美術館
 芸術新潮 719
 新美術新聞 1199 沼田英子
 毎日 9.18 岸桂子
代官川崎平右衛門―時代が求めた才覚の人― 1.24―3.8 府中市郷土の森博物館

大正期・再興院展の輝き—大観・親山・靱彦・古径・御舟—日本画創造の苦悩と歓喜— 9.12—10.25 滋賀県立近代美術館(栃木県立美術館)
新美術新聞 1194 國賀由美子
大正ロマン・昭和モダン 大衆芸術の時代展—竹久夢二から中原淳一まで 7.11—8.30 茨城県天心記念五浦美術館
大蔵経と東アジア 東京大学総合図書館所蔵嘉興蔵の世界 8.25—9.15 東京大学総合研究博物館
タイの美しい布 祈りをつづる染と織 瀧沢久仁子コレクション 6.27—8.9 千葉市美術館
タイ・ベトナムの陶磁 本多コレクションを中心に 2.10—3.29 福岡市美術館
大名家秘蔵の名刀展—源平の武将から維新の志士たちまでの愛刀—富山県水墨美術館開館10周年記念 7.31—9.23 富山県水墨美術館
日経 8.12 竹田博志
大名の装束—生活の美— 2.1—3.22 林原美術館
大名庭園展 知られざるサムライ・アート 4.21—5.31 広島県立美術館
高岡の金工・漆芸 ものづくりリウムトラベル 3.28—7.3 高岡市美術館
—鳳凰鳴き文化の華ひらく—高岡の名宝展—前田家と瑞龍寺・勝興寺を中心に— 9.25—10.25 高岡市美術館
高岡美術百科—先人たちの近代—高岡開町400年記念・高岡市美術館開館15周年記念 7.31—9.13 高岡市美術館
高島屋史料館所蔵名品展 7.18—9.27 泉屋博古館分館
東京タ刊 8.28 草薙奈津子
毎日タ刊 7.30 岸桂子
「鷹の井戸」を廻る輪舞曲—フェノロサと能— 9.25—10.16 早稲田大学演劇博物館
竹展—しなやかな空間への招待— 3.14—6.14 ミュージアムパーク

茨城県自然博物館
竹の世界 創る、出会う、拓く 9.17—10.11 大分県立芸術会館
竹久夢二と大正ロマン・昭和モダン 3.10—5.10 とちぎ蔵の街美術館
太宰治展 生誕100年 開館20周年記念 5.2—6.28 山梨県立文学館
dadacha 7.20—7.25 銀座スルガ台画廊
多田等観とチベットと花巻と 6.6—7.12 花巻市博物館
TOUCH WOOD—森に 贈 ろ う！ “more trees”チャリティ写真展— PARCO 40th Anniversary 9.4—9.23 パルコファクトリー
毎日 9.5 佐藤岳幸
館林でつつじの絵を 世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて 4.18—6.21 群馬県立館林美術館
伊達政宗とみちのく文華 仙台市博物館・神奈川県立金沢文庫交流 10.9—12.6 神奈川県立金沢文庫
田中本家 雛の宴 2.6—4.20 田中本家博物館
セター星にこめる願い— 5.27—7.20 名古屋市蓬左文庫
コレクション展第1部「旅」 東方へ 19世紀写真術の旅 5.16—7.12 東京都写真美術館
産経 6.3
コレクション展第2部「旅」 異郷へ 写真家たちのセンチメンタル・ジャーニー 7.18—9.23 東京都写真美術館
コレクション展第3部「旅」 異邦へ 日本の写真家たちが見つけた異国世界 9.29—11.23 東京都写真美術館
旅—作家と巡る場所— 5.30—8.2 西宮市大谷記念美術館
旅へ。 所蔵品でめぐる異国の風景 5.30—6.28 武蔵野市立吉祥寺美術館
ダブル・ファンタジー：韓国現代美術展 7.12—10.12 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
美術手帖 928 小勝禮子
読売 10.1 市原尚士

多摩川で／多摩川から、アートする アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964—2009 9.19—11.3 府中市美術館
朝日タ刊 10.14 大西若人
読売 10.15
だまし絵 4.11—6.7 名古屋市美術館(兵庫県立美術館)
芸術新潮 715
だまし絵 6.13—8.16 Bunkamura ザ・ミュージアム
美術手帖 925 編集部
朝日タ刊 7.22 西田健作
東京タ刊 6.12 木島俊介
東京タ刊 7.10 赤瀬川原平
東京タ刊 7.16 中野京子
東京タ刊 7.17 山下裕二
東京タ刊 7.18 宮下規久朗
毎日タ刊 6.22 岸桂子
読売タ刊 7.4
読売タ刊 8.1 池辺晋一郎
エコール・ド・渋谷NHKアートギャラリー—2009 タマビハンガカ大学院テンランカイ 4.28—5.31 NHKふれあいホールギャラリー
多摩美術大学博士課程展2009 3.9—3.23 多摩美術大学美術館
こどもワークショップ展2009 たんけん！ぼくのわたしの美術館 7.25—8.23 練馬区立美術館
誕生 武蔵武士 1.31—3.15 埼玉県立歴史と民俗の博物館
Made in TAMBA 丹波の里のやきものづくり 6.6—8.30 兵庫陶芸美術館
丹波美術大賞展4回 12.5—12.20 丹波市立植野記念美術館
(チ)
小さな从一ひととひととのあいだ— 3.14—3.24 羽黒洞
チェコの絵本と原画展—チャベック、トゥルンカから21世紀の作家まで— 蔵で楽しむ美しい絵本の世界 9.8—11.8 とちぎ蔵の街美術館
近くてなつかしい昭和展—夢・希望・未来を見つめた日々— 4.11—

5.10 香川県立ミュージアム
地球の上に生きる2009 フォトジャーナリズム写真展『DAYS JAPAN』5周年記念 10.16—11.2
ギャルリ・オーブ
瓜生通信 48 増田是能
地球の上に生きる2009 11.21—12.5 早稲田大学
チベット ポン教の神がみ 4.23—7.21 国立民族学博物館(国文学研究資料館)
茶器を楽しむ—花生・茶碗・釜— 2.15—3.29 和泉市久保惣記念美術館
茶人 逸翁—茶の湯文化と小林一三— 10.4—11.29 逸翁美術館
CHACHACHA—茶処三様お茶めぐり—MACHI—YATAI PROJECT 2009 上野タウンアートミュージアム2009 10.23—11.1 台東区下町風俗資料館/谷中防災広場初音の森/玉林寺脇路地
茶道具取合わせ展 12.5—2.14 五島美術館
茶の湯の美 出光美術館コレクションの至宝 1.25—3.15 栃木県立美術館
茶の湯のものづくりと世界のわざ 千家十職×みんぱく 3.12—6.14 国立民族学博物館
新美術新聞 1184 八杉佳穂
陶説 676 梅田稔
美術手帖 921 沢田眉香子
茶の湯を愉しむ—所蔵 茶道具展— 11.28—12.24 MOA美術館
茶碗一名碗のかたち—サンリツ服部美術館コレクションの鑑賞 9.9—12.13 サンリツ服部美術館
シリーズ山東文物8 中華のかがやき—中国山東省古玉器— 12.19—2.21 山口県立萩美術館・浦上記念館
国宝中空土偶と函館の文化財 平成21年度中空土偶展 4.25—5.17 市立函館博物館
中国現代美術との出会い—一日中当代芸術にみる21世紀の未来— 7.5—9.6 栃木県立美術館
中国書画精華 9.15—10.12 東京

国立博物館
毎日夕刊 10.5
中国陶磁—仰韶期から清代まで— 7.4—9.14 早稲田大学會津八一記念博物館
中国陶磁の世界—景德鎮窯を中心に— 10.2—11.3 ふくやま美術館
中国の工芸—唐・宋時代の陶磁と金工— 7.3—8.16 大和文華館
中国の陶俑—漢の加彩と唐三彩— 8.1—9.6 出光美術館
抽象への飛躍—京都から世界へ— 3.13—6.14 京都府立堂本印象美術館
忠臣蔵 近代木版画でたどる物語 6.9—7.4 城西国際大学水田美術館
新発見! 忠臣蔵と旗本浅野家—旗本の職務と川海の役割— 10.17—12.6 たつの市立龍野歴史文化資料館
中世の港湾都市六浦 6.11—8.2 神奈川県立金沢文庫
彫刻—労働と不意打ち 8.8—8.23 東京芸術大学大学美術館陳列館 芸術新潮 718
彫刻家の眼—平櫛田中コレクションより— 6.26—9.27 井原市立田中美術館
彫刻の森の40年 1969—2009 7.17—9.27 彫刻の森美術館
産経 7.29
長三賞現代陶芸展ビエンナーレ29回 12.11—12.17 常滑市民俗資料館/常滑市立陶芸研究所
陶説 683 井上隆生
趙之謙とその時代—趙之謙生誕180年記念展— 8.4—9.27 東京国立博物館/書道博物館
朝鮮王朝の絵画と日本—宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美 2.17—3.29 静岡県立美術館
日経 3.18 竹田博志
朝鮮王朝の絵画と日本—宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美 6.5—7.12 岡山県立美術館
朝日夕刊 7.30 千宗屋
朝鮮の住まいと調度—木工家具にみる美意識 10.3—12.23 高麗美

術館
朝鮮の陶磁器 5.3—12.20 石洞美術館
朝鮮の美術工芸—福寿・吉祥の文様 1.6—3.29 高麗美術館

(ツ)

追憶の羅馬展 館蔵日本近代絵画の精華 1.2—3.15 大倉集古館
伝えゆく典籍の至宝 大東急記念文庫創立六十周年記念 10.24—11.29 五島美術館
土と火のオブジェ—縄文の土器・土偶から現代備前焼まで— 10.9—11.15 岡山県立博物館
陶説 682 外館和子
土×炎=?つちとほのおでだろな—古代を夢見るやきものアート— 12.20—2.11 北海道立近代美術館
土と炎の饗宴—オレゴンから陶芸作家を迎えて— 北海道陶芸会40周年記念 9.12—9.27 札幌芸術の森美術館
簡描 9.8—11.20 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
椿会展2009 Trans—Figurative 4.7—6.21 資生堂ギャラリー
朝日夕刊 6.3
日経 5.13 宝玉正彦
読売夕刊 6.1 (清)
国宝鶴岡八幡宮古神宝 9.10—10.18 鎌倉国宝館

(テ)

庭園の記憶—与謝野晶子の「松戸の丘」と園芸学校の絵画— 11.21—12.23 松戸市戸定歴史館
DAYSの5年 戦争と混乱の時代—フォトジャーナリストは何を伝えてきたか 11.21—12.5 早稲田大学
美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 4.4—5.17 埼玉県立近代美術館
帝展期の東京画壇 近代日本画の輝かしい足跡 1.17—3.8 講談社野間記念館

手紙 9.12—10.25 成田山書道美術館
荻泉翁コレクション—芸に遊ぶ—
10.31—11.29 世田谷区立郷土資料館
DESIGNEAST00 9.18—9.20 中之島パルクスEAST棟
視覚の現場 四季の綻び 4 藤本英子
デザインの力 たばこにみる日本デザイン史 4.18—5.29 たばこと塩の博物館
手漉き和紙の今—日本の心2000年紀『和紙総鑑』— 9.12—11.29 紙の博物館
てつそん2009 3.4—3.8 Bank-ART Studio NYK
AXIS 139 高橋美礼
手で創る 森英恵と若いアーティストたち 7.11—8.16 水戸芸術館
現代美術ギャラリー(ハナエ・モリビル(表参道))
朝日夕刊 8.8 菅野俊秀
産経 7.14
産経 7.15
日経夕刊 7.28 小川敦生
手の上の渺渺展 2.8—3.8 羽黒洞
テル・ゼロール遺跡—日本調査隊の軌跡— 4.8—6.8 天理大学付属天理参考館
照沼コレクション展 4.22—7.5 茨城県近代美術館
天球極 漆と現代アートの饗宴 10.10—12.27 豊田市美術館
10's Green 3.27—4.25 エモン・フォトギャラリー
毎日 4.8 橋本政明
天体観測と時計 7.18—8.30 町田市立博物館
天地人—直江兼続とその時代—NHK大河ドラマ特別展 5.30—7.12 サントリー美術館(新潟県立歴史博物館)
伝統九谷焼工芸展32回 3.27—4.5 金沢市文化ホール
陶説 674 外館和子
伝統と革新 日本画の時代 10.31—11.23 滋賀県立近代美術館
伝統と現代 刷りもの・摺りもの—

伝統の未来形— 上野タウンアートミュージアム2009 11.13—11.18 台東区立浅草公会堂/旧坂本小学校

(ト)

東海道五拾三次—あの浮世絵がやってきた— 4.1—5.10 江戸東京博物館
十果会31回 7.1—7.7 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋(京都)、高島屋(名古屋))
新美術新聞 1188 宝木範義
東京芸術大学卒業・修了作品展 平成20年度 2.21—2.26 東京都美術館/東京芸術大学大学美術館/東京芸術大学
東京芸術大学大学院美術研究科取手校地修了内覧展 平成20年度 1.24—1.25 東京芸術大学取手キャンパス
東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程博士審査展 平成21年度 12.8—12.20 東京芸術大学大学美術館
ICHIKENTEN—東京芸術大学日本画第一研究室発表展 8.29—9.6 東京芸術大学大学美術館
東京芸術大学日本画第二研究室 素描展—日常の断片[カケラ]— 7.1—7.13 東京芸術大学大学美術館陳列館
東京五美術大学連合卒業・修了制作展32回 多摩美術大学・女子美術大学・東京造形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術大学 2.19—3.1 国立新美術館
東京サテライト2009 2.23—3.1 ギャラリーくぼた
道教の美術 TAOISM ART—道教の神々と星の信仰— 知られざるタオの世界 7.11—9.6 三井記念美術館(大阪市立美術館、長崎歴史文化博物館)
芸術新潮 717
朝日夕刊 8.12 宮代栄一
東京フォト 2009 9.4—9.6 ペルサル六本木
朝日夕刊 9.9 西田健作

毎日夕刊 9.3 高橋咲子
全国公募2009陶芸財団展 6.24—7.6 国立新美術館
新美術新聞 1191 (智)
陶・現代の名匠 —軸一 盤展 12.30—1.12 三越(日本橋)
陶説 684 外館和子
唐三彩と古代のやきもの 華麗なる貴族文化の遺宝 5.30—7.26 静嘉堂文庫美術館
東寺五重塔の歴史と美術 春期特別公開 3.20—5.25 東寺宝物館
東寺曼荼羅の美—マンダラワールド— 9.20—11.25 東寺宝物館
銅鐸—弥生時代の青銅器生産— 10.3—11.23 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館
銅版画大賞展 浜口陽三生誕—〇〇年記念 9.12—12.22 ミュゼ浜口陽三
東京夕刊 11.6
陶片は語る—窯跡出土遺物から解明されるやきものの新知見— 1.24—3.8 兵庫陶芸美術館
東北芸術工科大学 卒業/修了研究・制作展 2.11—2.15 東北芸術工科大学/悠創館(東京都美術館)
東北の群像—みちのく祈りの名宝— 9.19—11.1 東北歴史博物館
東洋の漆器—飲食器から仏教工芸まで— 6.7—7.26 和泉市久保惣記念美術館
東洋の風景画—理想郷への旅路— 5.22—6.28 大和文華館
東洋美術学校卒業制作展 60回 2.18—3.1 国立新美術館
道楽絵はがき—コレクターたちの粹すぎた世界— 3.6—4.19 大津市歴史博物館
芸術新潮 713
十日町石彫シンポジウム 第15回 8.1—8.23 新潟県十日町市総合体育館北側広場
日経 9.2 竹田博志
トールペイントコレクション展—絵筆の魔法— 12.23—12.27 三越(日本橋)
トキワ荘のヒーローたち—マンガにかけた青春— 10.24—12.6 豊

島区立郷土資料館
国宝 土偶展 文化庁海外展 大英博物館帰国記念 12.15—2.21
 東京国立博物館
 新美術新聞 1203 井上洋一
 毎日 12.9 伊藤和史
 毎日 12.15
徳川四天王 井伊家の至宝展—関ヶ原から幕末まで・武と風雅の歴史絵巻— 10.24—11.23 香川県立ミュージアム
徳川義直と儒教 7.23—10.4 名古屋市蓬左文庫
独創性への道標—ロダン・高村光太郎・本郷新—展 7.4—8.30 札幌彫刻美術館
床の間の美—掛軸と花器 11.14—12.27 田原市博物館
所沢ビエンナーレ美術展1回 引込線 8.28—9.23 西武鉄道旧所沢車両工場
 AXIS 142 暮沢剛巳
 美術手帖 931 沢山遼
 朝日夕刊 9.16
 産経 9.16 沢沢和彦
 日経 9.13 小川敦生
 毎日夕刊 9.8
 読売 9.10 菅原教夫
土佐藩 維新の群像 11.13—1.25 土佐山内家宝物資料館
土佐藩歴代藩主 7.10—9.14 土佐山内家宝物資料館
歳徳神を招く—吉兆幡勢揃い— 12.22—1.17 島根県立古代出雲歴史博物館
どすこい 出雲と相撲 松江開府四〇〇年祭 7.17—9.23 島根県立古代出雲歴史博物館
栃木の遺跡—最近発掘調査の成果から— 4.18—6.15 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館(栃木県立博物館、栃木県立なす風土記の丘資料館)
独起会展20回 7.6—7.11 銀座スルガ台画廊
徳利・油壺と吉向焼—用と美と窯—くらしに息づいた民窯と須坂藩窯 7.28—8.23 須坂市立博物館
DOMANI・明日展2009 未来を担

う美術家たち 文化庁芸術家在外研修の成果 12.12—1.24 国立新美術館
 新美術新聞 1205 野口玲一
富岡重憲の蒐めたもの 5.12—6.29 早稲田大学會津八一記念博物館
豊臣期大坂図屏風—大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭締結記念 10.2—11.23 大阪城天守閣
豊橋の仏典 5.26—6.21 豊橋市美術博物館
トリック・アートの世界 8.22—9.23 豊橋市美術博物館(北海道立釧路芸術館、三重県立美術館、ふくやま美術館、損保ジャパン東郷青児美術館、長野県信濃美術館、宮崎県立美術館、八戸市美術館、高松市美術館)
トリノ・エジプト—イタリアが愛した美の遺産— 8.1—10.4 東京都美術館(宮城県美術館、福岡市美術館、神戸市立博物館、静岡県立美術館)
ドロ잉—思考する手のちから 10.31—12.12 武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
永遠[とわ]に花咲く庭 17—19世紀の西洋植物画 12.12—4.4 名古屋ボストン美術館
 新美術新聞 1204 井上瞳
とんぼ玉100人展 掌から無限の世界へ 11.21—12.20 大阪府立弥生文化博物館

(ナ)

直江兼続と信濃侍 直江兼続のルーツをさぐる! 8.1—9.6 長野県立歴史館
長湊会 愛知県立芸術大学2009 2.10—3.22 名都美術館
 新美術新聞 1175 武田厚
長野県工芸展29回 9.30—10.4 松本市美術館
 陶説 681 外館和子
長野県の遺跡発掘2009 長野県埋蔵文化財センター速報展 6.20—7.20 長野県立歴史館(長野県伊那文化会館)
名古屋市美術館20年のあゆみ展

開館20周年記念 2.21—3.29 名古屋市美術館
よみがえる四〇〇年前の輝き—名古屋城本丸御殿障壁画復元模写展 9.19—11.23 名古屋ボストン美術館
那須の横穴墓 9.19—11.23 栃木県立なす風土記の丘資料館
夏の万葉日本画展 5.28—9.28 奈良県立万葉文化館
浪華[なにわ]文人蒐集家[コレクター] 10.10—12.6 辰馬考古資料館
鍋島家の婚礼調度—鹿島鍋島家資料を中心に— 2.13—3.22 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
奈良県万葉日本画大賞展4回 3.19—5.24 奈良県立万葉文化館
南篠文雄と近代仏教学 9.7—9.26 大谷大学博物館
ナントカエイト—関— 上野タウンアートミュージアム2009 10.19—11.7 旧坂本小学校/上野恩賜公園/隅田公園/台東区内各所
何の意ぞ碧山に栖む—祖母・傾山系の弥生社会— 4.17—6.21 宮崎県立西都原考古博物館

(ニ)

新潟県立近代美術館 巡回ミュージアム上越展 7.25—8.30 小林古径記念美術館
にいがた水と土の芸術祭 2009 7.18—12.27 新潟市全域
 朝日 8.3 大西若人
 日経 8.15 小川敦生
 読売 9.4 市原尚士
肉筆浮世絵と江戸のファッション—町人女性の美意識— 10.3—11.23 ニューオータニ美術館
 毎日 11.16
肉筆浮世絵の美—氏家浮世絵コレクション— 1.4—2.15 鎌倉国宝館
 東京 1.31 斎藤裕仁
錦絵はいかにつくられたか 2.24—5.6 国立歴史民俗博物館
 歴博 156 伊藤紫織
 朝日夕刊 4.8 小川雪

日経 4.21
読売 3.27 鷺見一郎
手にこだった14人の表現 21世紀・絵画・手の仕事 10.8—11.4
行幸地下ギャラリー
毎日夕刊 10.1 岸桂子
21世紀の目展14回 目—それぞれの
かたち 11.18—11.24 高島屋
(日本橋)(高島屋(京都))
二十一世紀を担う女性陶芸家たち
1.2—2.26 パラミタミュージアム
陶説 672 井上隆生
20世紀のはじまり ピカソとクレ
ーの生きた時代 ノルトライン＝
ヴェストファーレン州立美術館所
蔵 1.2—3.22 Bunkamuraザ・
ミュージアム
朝日夕刊 2.18 古賀太
東京夕刊 1.6 木島俊介
東京夕刊 2.2 小澤征悦
東京夕刊 2.3 中野京子
東京夕刊 2.4 千足伸行
東京夕刊 2.5 松浦寿夫
東京夕刊 2.6 寺門臨太郎
美のプロムナード 20世紀フランス
絵画の精髓 山形美術館・服部コ
レクション 10.3—11.8 明石市
立文化博物館
日常／場違い 12.16—1.23 神奈
川県民ホールギャラリー
日仏現代美術展13回 4.2—4.10
東京都美術館
新美術新聞 1186 (元)
日米国際作家交流展2回 Cross-
current 8.21—8.30 東京都美
術館／マサキファインアーツ(ア
ート・コア・ギャラリー(L.
A.))
日蓮と法華の名宝—華ひらく京都町
衆文化— 10.10—11.23 京都国
立博物館
日経 10.17
日経 10.18 田村広済
日光の社寺 世界遺産の造形 登録
10周年記念 11.28—1.11 小杉
放庵記念日光美術館
日清戦争と広島城 12.5—1.24 広
島城

日中芸術交流展 3.13—3.22 筑波
大学ギャラリー
日中美術交流合同展7回 9.1—
9.6 京都市美術館
新美術新聞 1194
日中米の近代化と実業家 6.6—
7.31 渋沢史料館
日中友好の架け橋 郭沫若展 6.5
—8.23 岡山県立美術館
日彫会選抜展 具象彫刻それぞれの
序章 4.29—5.5 三越(日本橋)
日展会館所蔵作品展—旅ごろとと
もに— 10.22—1.13 石川県輪
島漆芸美術館
日本画 10.2—11.15 京都府京都
文化博物館
日経 10.30
文化勲章受章 日本画家三十八人展
4.4—5.10 明石市立文化博物館
(駿府博物館、高岡市美術館)
日本画★大冒険 META II 2009 in
Takasaki 8.8—9.9 高崎市タワ
ー美術館
日本画探検—古い絵と新しい絵—
子どもびじゅつかん 3.5—3.29
板橋区立美術館
読売夕刊 3.21
日本画にみる世界遺産の旅 10.17
—11.23 茨城県天心記念五浦美
術館
新美術新聞 1198 中田智則
日本近代洋画への道—山岡コレク
ションを中心に— 1.24—3.8 茅
ヶ崎市美術館(福井市美術館、大
分市美術館)
日本芸術院所蔵作品展 天皇陛下御
在位二十年記念 7.18—8.16 東
京芸術大学大学美術館
日本建築は特異なのか—東アジアの
宮殿・寺院・住宅— 6.30—8.30
国立歴史民俗博物館
歴博 158 林部均
朝日夕刊 8.19 大西若人
毎日夕刊 7.6 伊藤和史
エコール・ド・渋谷NHKアートギ
ャラリー2009「日芸」 日本
大学芸術学部学生・大学院生によ
る展示 1.27—3.22 NHKふれ
あいホールギャラリー

N+N 日本大学芸術学部美術学科
教職員展 4.3—4.14 練馬区立
美術館
日本陶芸展20回 4.9—4.20 大丸
ミュージアム(東京)(大丸ミュー
ジウム(大阪))
陶説 675 唐澤昌宏
陶説 675 光井玄空
毎日 4.9 岸桂子
日本陶芸展20回 7.11—9.6 茨城
県陶芸美術館
朝日夕刊 8.26 西田健作
毎日夕刊 7.13 竹内順一
日本陶磁協会賞受賞作家展50回
1.8—1.17 和光並木ホール
陶説 672 唐澤昌宏
朝日夕刊 1.14 秋山亮太
日本の海洋画展24回 現代日本画
壇の海洋画を一堂に集めて 7.30
—8.12 東京芸術劇場(北九州市
立美術館分館)
日本の自画像 写真が描く戦後
1945—1964 5.2—6.21 世田谷
美術館(土門拳記念館、愛知県美
術館、清里フォトアートミュージ
アム)
新美術新聞 1185 高橋直裕
毎日夕刊 6.9 高橋咲子
館蔵品展 日本のシュルレアリスム
幻惑の板橋—近現代編—開館30
周年記念 5.16—6.28 板橋区立
美術館
朝日夕刊 5.28 田中三蔵
日本の書物 かたち・とじかた
4.20—5.13 日本大学文理学部
日本の宝・斎宮 8.1—8.30 斎宮
歴史博物館
『日本の建物』第四部 建物のカケラ
—木努コレクション—江戸東京
たてもの園開園15周年記念 1.4
—3.1 江戸東京たてもの園
芸術新潮 711
読売 1.22 高野清見
日本の春—華やごとと侘び— 1.24—
3.22 畠山記念館
日本の美 国宝との出会い—京都国
立博物館所蔵品展— 10.2—11.8
富山県水墨美術館
日本の美術館名品展 美連協25周

年記念 4.25—7.5 東京都美術館
新美術新聞 1183 中原淳行
美術手帖 921 藤田千彩
産経 5.13 渋谷和彦
毎日夕刊 5.12 永田晶子
読売 4.19 酒井忠康
読売夕刊 5.23 荻野アンナ／高野清見
読売夕刊 6.16 鈴木美潮

日本の“美術”の愛し方—美への扉—
5.30—7.12 徳川美術館

日本の美と出会う—琳派・若冲・数寄の心—細見美術館開館10周年記念 6.3—6.15 高島屋(日本橋)(高島屋(名古屋))

日本の民画—大津絵と泥絵— 1.6—3.22 日本民芸館
美術手帖 921 榎木野衣
朝日夕刊 1.17 古賀太

「日本のわざと美」展—重要無形文化財とそれを支える人々— 9.19—10.25 長野県信濃美術館(高知県立美術館)

日本美術家連盟新会員奨励展'09
5.25—6.6 美術家連盟画廊
美術の窓 311 小森佳代子

日美展13回 1.13—1.23 ギャラリーせいほう

日本・ロシア芸術交流作品展2009
10.26—10.31 東邦画廊

仁徳陵古墳築造—百舌鳥・古市の古墳群からさぐる— 9.20—11.8 堺市博物館

(ヌ)

沼尻墨僊—城下町の教育者— 3.21—5.10 土浦市立博物館

(ネ)

ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション 5.20—7.15 上野の森美術館

STUDIO VOICE 404 小口尚思
美術手帖 925 松井みどり

産経 5.19

産経 5.20、30、6.24 猪谷千香

産経 5.21

産経 6.27

産経 7.1

東京夕刊 6.5 内田真由美

日経 5.27 宝玉正彦

neoneo展Part1[男子] ネオネオ・ボーイズは草食系? 8.1—10.18 高橋コレクション日比谷
読売夕刊 9.28 (市)

ねこまみれ アートになったネコたち 8.1—10.12 東御市梅野記念絵画館

根来 10.3—12.13 大倉集古館
日経 11.21

毎日夕刊 10.15

練馬区民美術展 第40回 2.6—2.15 練馬区立美術館
毎日 2.8 澤圭一郎

寝るひと・立つひと・もたれるひと 6.13—9.23 東京国立近代美術館
年賀 festa! 11.17—12.13 通信総合博物館

年中行事をたのしむ 4.25—6.15 島根県立石見美術館

(ノ)

能に見る日本の女性像 能装束・能面の世界 8.22—11.8 田原市博物館

'09ノー・ウォー横浜展 8.10—8.16 神奈川県民ホールギャラリー
NO BORDER 4 高知のアーティスト・カタログ第四章 7.1—8.9 高知県立美術館

No Man's Land 創造と破壊@フランス大使館 最初で最後の一般公開 11.21—2.18 在日フランス大使館旧庁舎

ギャラリー* 297

東京 11.26 松村裕子

のだめカンタービレワールド 4.30—5.6 丸ビルホール
毎日 5.1 松谷譲二

(ハ)

Heart Art in TOKYO 2009 エイズチャリティー美術展12回 1.22—2.2 国立新美術館

郷土の美術をみる・しる・まなぶ vol.1 博多工芸ぶらぶら散歩 12.12—1.31 福岡県立美術館

白鷗楼文庫 墨跡展 10.3—3.28 瑞巖寺宝物館

幕末浮世絵 大江戸の賑わい—北斎・広重・国貞・国芳らの世界—中右コレクション 9.12—10.12 静岡アートギャラリー

幕末・明治期の川崎とニッポン 横浜開港150周年 4.18—6.7 川崎市市民ミュージアム

幕末明治の諸相—岡コレクションより— 4.16—6.28 川崎市市民ミュージアム

幕末明治の横浜・金沢 横浜開港150周年記念 8.6—10.4 神奈川県立金沢文庫

愛知県立芸術大学陶磁専攻 柏録会 9.22—9.30 長久手町文化の家
陶説 681 唐澤昌宏

はじめての美術館 ムムムッ?→ソウカ!→オモシロイト 2.14—4.12 滋賀県立近代美術館

新美術新聞 1176 平田健生
芭蕉 〈奥の細道〉からの贈りもの 9.19—10.18 出光美術館

産経 9.19

芭蕉 新しめは俳諧の花 柿衛文庫開館25周年記念 10.3—11.23 柿衛文庫

日経夕刊 10.31 宮川匡司
蓮の清香—君子の花 浄土の花— 7.3—9.27 高麗美術館

長谷川等伯展 信春から等伯への軌跡 生誕地・没後400年記念前年祭 4.25—5.31 石川県七尾美術館

趣味の水墨画 241
長谷寺縁起絵巻 10.10—11.23 長谷寺宝物館

畠山記念館名品展—季節の書画と茶道具—開館45周年記念 4.11—6.21 畠山記念館

旗本がみた忠臣蔵—若狭野浅野家三千石の軌跡— 12.12—2.7 江戸東京博物館

旗本御家人—江戸を彩った異才たち— 4.4—4.23 国立公文書館

地方史研究 342 坂本達彦
バックスたちのから騒ぎ—版画が語るパリ・ロンドンの酒事情—

4.18—6.14 伊丹市立美術館
 発掘された日本列島2009 6.20—
 8.2 江戸東京博物館(大阪府立近
 つ飛鳥博物館・大阪府立弥生文化
 博物館、高知県立歴史民俗資料
 館、さくら市ミュージアム、安城
 市歴史博物館)
 初春—祝いと香り 12.14—1.30
 徴古館
 はな展 四季の花・幻想の華
 11.20—1.13 北海道立帯広美術
 館
 花図鑑—日本画に咲く花ばな—
 6.1—8.30 足立美術館
 花づくし展 常設展 花の美術
 4.23—5.27 三溪記念館
 花づくし展 三溪園の植物 4.25—
 5.25 三溪記念館
 花と文人趣味 清雅の美 2.20—
 4.1 大和文華館
 花・華—日本・東洋美術に咲いた花
 — 館蔵品展 8.4—9.27 大倉
 集古館
 花展—美と生命のイメージ 近代日
 本美術の名品でたどる 4.11—
 5.31 横須賀美術館
 花・風景 モネと現代日本のアーテ
 ィストたち—大巻伸嗣、蜷川実
 花、名和聡子— 7.4—9.23 熊
 本市現代美術館
 華やかな古活字版の世界 印刷博物
 館コレクション展 10.21—1.17
 印刷博物館
 ハニワの世界 10.10—11.29 松山
 市考古館
 ハプスブルク帝国の栄光 華麗なる
 オーストリア大宮殿展 10.31—
 1.17 東京富士美術館
 毎日 10.29 岸桂子
 毎日 11.1 クーデンホーフ=カ
 レルギー 談
 毎日 11.23 本名陽子
 毎日 11.30 藤本ひとみ
 毎日夕刊 10.31
 原三溪と美術—蒐集家三溪の旧蔵品
 横浜開港一五〇周年記念 10.31
 —11.30 三溪記念館
 芸術新潮 719 橋本麻里
 原美術館コレクション展 8.1—

10.12 原美術館
 パリに咲いた古伊万里の華 日本磁
 器ヨーロッパ輸出350周年記念
 10.10—12.23 東京都庭園美術館
 (九州国立博物館、MOA美術館、
 兵庫陶芸美術館)
 日経 11.21
 日経夕刊 11.13 竹田博志
 パルケット・エディションズ 美術
 誌パルケットと現代アーティスト
 達のコラボレーション25年の歩
 み 9.4—9.26 金沢21世紀美術
 館市民ギャラリーA
 読売 9.17
 春に笑む 2.21—3.28 茶道資料館
 哈爾濱[ハルビン]金代文化展—12
 世紀の中国、北方の民族が建国す
 る— 9.12—11.8 新潟市歴史博
 物館
 春爛漫 江戸の絵どころ 4.3—
 5.24 林原美術館
 パレットのある展覧会—ピカソ、マ
 ティスから地域ゆかりの作家まで
 — 9.5—10.12 うらわ美術館
 「ハロー・ディア・エネミー!」80
 作品展—平和と寛容の国際絵本展
 — 10.17—11.30 飛騨絵本美術
 館ボレボレハウス
 毎日 11.25 木村葉子
 版画がつくる驚異の部屋へようこ
 そ! 8.8—9.23 町田市立国際
 版画美術館
 東京 8.9 堂畑圭吾
 版画・水彩・素描を楽しむ 8.27—
 9.13 笠間日動美術館
 版画に見る印象派—陽のあたる午
 後、天使の指がそと— 6.20—
 8.16 埼玉県立近代美術館(北海
 道立釧路芸術館)
 版画にみる戦後ドイツの美術—E.
 マタレーからA.D.クリスチャン
 — 2.14—6.7 Fuji Xerox Art
 Space
 版画の魅力 コレクションでたどる
 姫路市立美術館の25年 2.7—
 3.8 姫路市立美術館
 反復するかたち—一部分から全体へ
 2.11—5.17 茨城県陶芸美術館
 コレクション探検 版!—魅惑の近

現代版画— 1.2—2.23 島根県
 立美術館

(ヒ)

ビエンナーレOME 2009 3.7—3.
 29 青梅市立美術館
 東アジア・海のシルクロードと“福
 建”—陶磁器 茶文化 東西交易
 水中考古— 4.13—5.18 明治大
 学博物館
 日経 5.12
 東アジアの海とシルクロードの拠点
 “福建”—沈没船、貿易都市、陶磁
 器、茶文化— 4.13—5.18 学習
 院大学史料館
 学習院大学史料館紀要 16 荒川
 正明
 日経 5.12
 儒・仏・道・神—東アジアの宗教と
 文化— 6.2—8.3 大谷大学博物
 館
 東日本伝統工芸展49回 4.21—4.
 26 三越(日本橋)
 陶説 675 外館和子
 ピカソと20世紀美術の巨匠たち
 ルートヴィヒ美術館所蔵 10.1—
 11.8 愛媛県美術館(広島県立美
 術館、浦添市美術館、そごう美術
 館、宮城県美術館、鹿児島市立美
 術館)
 光と光とが会おうところ 府中市美
 術館近年の所蔵作品—現代の美術
 を中心に 2.14—3.15 府中市美
 術館
 樋口一葉と甲州 開館二十周年記念
 9.19—11.23 山梨県立文学館
 箱館—函館 ビジュアル時間旅行
 開港150年記念 7.18—9.6 北
 海道立函館美術館
 珠玉のコレクション 美術館はぼく
 らの宝箱—子どもたちの視点がく
 れるもの— 6.6—9.6 神奈川県
 立近代美術館(鎌倉別館)
 東京夕刊 6.26 結城昌子
 美術のクラシック—久保保コレクションの国宝・重文— 4.7—5.24
 和泉市久保保記念美術館
 美術の祭典東京展35回 9.18—10.
 3 東京都美術館

新美術新聞 1198 (元)
 美術の中の動物たち 7.16—9.6
 鎌倉国宝館
 美術のみ・か・た 油絵と日本画
 11.20—3.31 北海道立帯広美術館
 美術飛行 なつやすみ企画展 7.3—9.6 メナード美術館
 美術を変えた9人の画家 10.3—10.25 ポーラミュージアム アネックス
 産経 10.21 (知)
 飛翔する輪島の漆芸作家たち 全国展15回入選作品 10.22—1.13
 石川県輪島漆芸美術館
 美人画の系譜 錦木清方と東西の名作 福富太郎コレクション 7.18—8.30 北九州市立美術館
 肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城 10.9—11.23 佐賀県立名護屋城博物館
 筆墨の美—水墨画展 第一部 中国と日本の名品 4.4—5.17 静嘉堂文庫美術館
 朝日夕刊 5.13 西田健作
 筆墨の美—水墨画展 第二部 山水・人物・花鳥 10.24—12.20 静嘉堂文庫美術館
 人 5.28—6.28 尾道白樺美術館
 〈人々のものがたり〉Part 1 人の私たち、人の想い 5.1—7.12 世田谷美術館
 雛と人形 2.7—3.15 茨城県立歴史館
 特別展ひな人形 2.19—4.12 鎌倉国宝館
 ひな人形の世界 3.20—4.29 徳島市立徳島城博物館
 美の視点 記憶のかたち 5.2—6.21 新潟県立万代島美術館
 卑弥呼死す、大いに冢をつくる—前方後円墳の成立— 4.25—6.28 大阪府立近つ飛鳥博物館
 百万石の大名展 前田育徳会・尊經閣文庫の所蔵品から 2.15—3.22 石川県立美術館
 百花繚乱 郷土の美術—工芸と洋画— 6.13—7.12 滋賀県立近代美術館

百鬼夜行の世界 7.18—8.30 国立歴史民俗博物館／国文学研究資料館
 屏風絵の世界—集う人々— 1.2—2.12 静岡県立美術館
 Beyond the Wall—アートで、超える。 9.1—3.3 秋吉台国際芸術村
 広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで 2.7—3.29 高崎市タワー美術館(うらわ美術館、愛媛県歴史文化博物館)
 城下のくらしをちょっと拝見! 広島城下絵屏風に描かれた人々の生活 4.24—6.7 広島城
 広島湾頭をめぐる歴史群像 広島市制施行一二〇周年記念事業・広島城築城四二〇周年記念事業 10.24—11.29 広島城

(フ)

フィナーレ展その1—かわさきIBM市民文化ギャラリーから世界へ— 6.3—6.16 かわさきIBM市民文化ギャラリー
 フィナーレ展その2 8.28—9.10 かわさきIBM市民文化ギャラリー
 読売夕刊 9.7 (清)
 フィルムで人間を記録する 3.17—3.22 アート・スペース・モーター
 毎日 3.21 明珍美紀
 風景画コレクション 町景色・水辺の色どり 6.6—9.27 神戸ゆかりの美術館
 風景画に描かれた《水》 文人画館蔵作品展 5.23—7.5 田辺市立美術館
 風景・四季彩々 4.4—5.31 茅ヶ崎市美術館
 フェノメナ '09ファイナル 1.8—1.18 銀座アートギャラリー
 PHOTO Communication 10.23—11.8 横浜市民ギャラリーあざみ野
 フォトシティさがみはら9回2009受賞写真展 10.9—10.26 相模原市民ギャラリー

平成21年美術展覧会(企ヒ、フ)

五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009
 フォトシンセシス 光の梢 12.23—12.27 東北工業大学
 フォルムベルメル展 PALL—MALL 7.29—8.8 フォルム画廊(銀座5丁目)
 富嶽ビエンナーレ展19回 1.2—1.25 静岡県立美術館
 福岡アジア美術トリエンナーレ4回 2009 9.5—11.23 福岡アジア美術館
 朝日夕刊 8.27 菅野みゆき
 朝日夕刊 11.11 大西若人
 毎日夕刊 10.7 渡辺亮一
 読売 9.18 白石知子
 福岡県美術展覧会65回 平成21年度 9.4—9.30 福岡県立美術館(大牟田文化会館、宗像ユリックス、北九州市立美術館、サルビアパーク)
 福岡市美術展43回 2.3—2.15 福岡市美術館
 福岡と雲谷派—城郭襖絵「梅に鴉図」の謎— 1.6—2.8 福岡市美術館
 福澤諭吉展 未来をひらく 慶應義塾創立150年記念 1.10—3.8 東京国立博物館表慶館
 歴史学研究 860 森田喜久男
 朝日 2.5 高階秀爾
 産経 1.9 鷲塚泰光／鈴木隆敏
 産経 2.6
 福澤諭吉と神奈川—すべては横浜にはじまる— 8.22—9.23 神奈川県立歴史博物館
 産経 8.20 対馬好一
 福を招く—吉祥のデザイン— 1.4—2.1 徳川美術館
 布穀会展 33回 10.16—10.21 朝日ギャラリー(有楽町)
 富士川を渡る歴史 3.21—5.10 富士市立博物館
 ブシュロン×バービーミュージアム 3.20—3.29 ブシュロン銀座
 芸術新潮 713
 国宝武人ハニワ、群馬へ帰る!—これが最後、東と西の埴輪大集合—開館30周年記念 7.4—8.30 群馬県立歴史博物館
 不折の愛した龍門二十品 5.2—

7.26 台東区立書道博物館
東京 5.2 中里宏
日経 6.17 竹田博志
二つのモダン—江戸文化とフランス革命—専修大学図書館特別展
11.17—11.22 東京芸術劇場
ブック・アート展 12.1—12.10
ギャラリー砂翁
仏像展 8人のアーティストによる新しい仏像創造 8.1—8.12
マキイマサルファインアーツ
筆の美 木村陽山コレクションを中心にして 2.21—3.29 五島美術館(筆の里工房)
趣味の水墨画 239
芙蓉・鳴門・鳴鶴 徳島藩御用絵師鈴木家の画業 4.25—6.21 徳島市立徳島城博物館
フライラウム17イン浅草橋 11.27—12.9 マキイマサルファインアーツ
フランス絵画の19世紀 3.6—5.31 島根県立美術館
日経 3.21
フランス絵画の19世紀 6.12—8.31 横浜美術館
新美術新聞 1186 新畑泰秀
日経 6.20
日経 7.18
日経夕刊 7.27 小倉和夫
日経夕刊 7.28 鈴木杜幾子
日経夕刊 8.7
毎日夕刊 6.30 永田晶子
読売 7.23 前田恭二
フランス・バイユー戦争報道特派員受賞作品・野外展 11.16—12.19 早稲田大学
brilliant wing 3展 7.14—7.19 アートコンプレックス・センター
プレス・カメラマン・ストーリー 5.16—7.5 東京都写真美術館
朝日夕刊 6.10 徳山喜雄
Fresco 時を航るフレスコII ユーラシアのフレスコ技法と現代へのアプローチ 7.30—9.6 多摩美術大学美術館
‘文化’資源としての〈炭鉱〉展 11.4—12.27 目黒区美術館
あいだ 166 編集部

芸術新潮 722
朝日 11.25 大塚晶
朝日夕刊 12.5 大西若人
産経 12.9 渋谷和彦
東京夕刊 11.20 (和)
日経夕刊 12.14 窪田直子
毎日 11.23 小林多美子
毎日夕刊 11.17 三田晴夫
読売 12.9 高野清見
文化庁メディア芸術祭12回受賞作品展 2.4—2.15 国立新美術館
朝日 2.11 大西若人
産経 2.7 堀晃和
文化のカー福島と近代美術 開館25周年記念 10.10—11.23 福島県立美術館
読売 11.16 高野清見
Bunkamuraの軌跡展1「創業」 6.4—6.10 Bunkamuraギャラリー
Bunkamuraの軌跡展2「邁進—I」 7.2—7.8 Bunkamuraギャラリー
Bunkamuraの軌跡展3「邁進—II」 8.5—8.11 Bunkamuraギャラリー
Bunkamuraの軌跡展4「転換そして飛翔」 8.28—9.6 Bunkamuraギャラリー
蔵出し! 文京ゆかりの絵画—逸品・珍品、勢ぞろい— 2.14—3.22 文京ふるさと歴史館
文人画の世界 11.14—12.27 田原市博物館
文房具 書院を飾る 6.20—9.23 茶道資料館
文明開化と近代競馬 横浜開港150周年記念 4.25—6.7 馬の博物館

(ヘ)

平家一門の栄華と瀬戸内海—海原を駆けぬけた清盛の夢— 10.16—11.23 広島県立歴史博物館
平家物語絵巻のすべて 林原美術館開館45周年記念 8.9—9.27 林原美術館
平成群馬の名宝 4.25—6.14 群馬県立歴史博物館／かみつけの里博物館／高崎市染料植物園／相川考古館／太田市立新田荘歴史資料館

(旧東毛歴史資料館)／館林市第一資料館／渋川市北橋歴史資料館／藤岡歴史館／榛東村耳飾り館／嬬恋郷土資料館／雲越家住宅資料館／玉村町歴史資料館／大泉町文化むら埋蔵文化財展示室
HEKINANからそれぞれのスピリッツ 5.26—6.14 碧南市藤井達吉現代美術館
別府現代芸術フェスティバル2009 混浴温泉世界 4.11—6.14 大分県別府市内各所約20ヶ所
朝日夕刊 4.22 菅野みゆき
東京夕刊 5.22 山出淳也
日経 5.17 小川敦生
横浜開港150周年記念—Part 2 瓦版・絵巻にみるペリー来航と横浜開港 7.18—8.30 横浜歴史博物館
ベルギー近代絵画のあゆみ ベルギー王立美術館コレクション 4.18—7.5 山梨県立美術館(鳥取県立博物館、損保ジャパン東郷青児美術館、松坂屋美術館)
ベルギー幻想美術館 クノッッフからデルヴォー、マグリットまで 姫路市立美術館所蔵 9.3—10.25 Bunkamuraザ・ミュージアム
ヘルシンキ・スクール写真展 風景とその内側 6.27—8.9 資生堂ギャラリー
美術手帖 927 山内宏泰
ベルリンの壁 崩壊20周年記念写真展 9.29—11.27 ドイツ大使館
読売 9.30
(ホ)
放課後のほらっぱ 樫田伸也とその教え子たち 8.22—10.18 名古屋市美術館
朝日夕刊 9.16 小林裕子
読売 10.1 高野清見
放課後のほらっぱ 樫田伸也とその教え子たち 8.28—10.25 愛知県美術館
美術手帖 930 小西信之
萌春の美—重要文化財 豊公吉野花見図屏風とともに— 2.13—4.19

細見美術館
 法帖と帖学派 3.3—4.26 東京国立博物館／台東区立書道博物館
 豊穣なる色彩 ウズベキスタンの布と器 3.8—6.28 平山郁夫シルクロード美術館
 報道写真展 50回 2009 12.17—12.27 三越(日本橋)
 蓬萊—延命長寿の願いをこめて— 11.21—1.31 徳川美術館
 北摂の戦国時代 高山右近 10.10—11.29 高槻市立しろあと歴史館
 北宋汝窯青磁—考古発掘成果展 国際交流特別展 12.5—3.28 大阪市立東洋陶磁美術館
 美術手帖 933 清水穰
 墨東まち見世2009 11.21—12.6 主に曳舟・京島・東向島・八広・押上エリア
 毎日 11.23 田村彰子
 菩薩たちの夢 12.10—2.14 神奈川県立金沢文庫
 ポスター&ポスター ロートレック、ミュシャから現代グラフィックまで 4.10—5.6 北海道立帯広美術館
 細見美術館アートキャンパス2009—日本美術の見方— 7.11—9.13 細見美術館
 ぼち袋と袱紗 贈る心を包むもの—豊田コレクション— 1.25—2.15 大田区立郷土博物館
 北海道・北東北の縄文—ひと・くらし・まつり・交流— 10.20—11.23 青森県立郷土館
 ポップ・アート 1960's→2000's 10.31—12.20 長野県信濃美術館(北海道立帯広美術館、岩手県立美術館、高知県立美術館)
 北方騎馬民族のかがやき—三燕文化の考古新発見— 10.16—11.29 奈良文化財研究所飛鳥資料館
 仏たちの物語 7.11—8.16 MIHO MUSEUM
 山中俊治ディレクション 「骨」展 5.29—8.30 21__21 DESIGN SIGHT
 芸術新潮 716

朝日夕刊 6.17 大西若人
 産経 7.22 渋谷和彦
 毎日夕刊 6.15 永田晶子
 読売夕刊 7.13 (清)
 掘り出された信仰—長谷寺出土品の諸相— 4.11—5.11 長谷寺宝物館
 ボルゲーゼ美術館展 10.31—12.27 京都国立近代美術館(東京都美術館)
 THE LIBRARY 「本」になった美術 現代美術作家45名の手に取れる本の世界 10.24—12.20 静岡アートギャラリー
 新美術新聞 1202 青木良平
 朝日夕刊 12.2 小川雪

(マ)

前田の時代と城 10.14—12.3 富山県埋蔵文化財センター
 松浦家とオランダ残照 平戸・オランダ通商四〇〇周年記念 5.16—6.21 五島美術館
 松岳山古墳群を探る 7.11—9.6 柏原市立歴史資料館
 マッキアイオーリ イタリアの印象派 10.3—11.29 ふくやま美術館(東京都庭園美術館)
 読売 11.5 高野清見
 松平家名品展—うけつがれる美と心— 2.6—4.12 香川県立ミュージアム
 まつりだ! まつりだ!!—描かれた祭礼・八代妙見宮と藤崎八幡宮— 7.17—8.23 八代市立博物館未来の森ミュージアム
 まつりのそなえ 御食[あえ]たてまつるもの 11.2—12.12 国学院大学伝統文化リサーチセンター資料館
 真冬の花畑 札幌美術展 11.29—1.31 札幌芸術の森美術館
 魔法の美術館 ようこそ。ここは光のワンダーランド 11.15—1.11 高崎市美術館
 幻の京焼 京都瓢箪園 9.1—10.12 泉屋博古館(泉屋博古館分館)
 一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子 3.28—5.17 サントリー美術

館(神戸市立博物館)
 日経 3.21
 マンガ百花繚乱—いわての漫画家50の表現— 7.18—9.6 萬鉄五郎記念美術館／石神の丘美術館
 万華鏡の視覚 ティッセン・ボルネミッサ現代美術財団コレクションより 4.4—7.5 森美術館
 美術手帖 925 松井みどり
 朝日夕刊 6.17 西田健作
 産経 4.15 渋谷和彦
 日経 6.11 平野啓一郎
 万葉コレクション 新しき仲間たち 1.5—3.15 奈良県立万葉文化館
 万葉コレクション 新しき仲間たち 2 8.8—9.28 奈良県立万葉文化館
 万葉のこころを描く 奈良県立万葉文化館所蔵 万葉集1250年記念 4.25—6.7 茨城県天心記念五浦美術館(浜松市秋野不矩美術館)

(ミ)

ミース・ファン・デル・ローエ賞展 1.21—2.11 新宿パークタワーギャラリー1
 産経 2.6 渋谷和彦
 国宝三井寺展 智証大師帰朝1150年、狩野光信没後400年特別展 2.7—3.15 サントリー美術館
 新美術新聞 1175 瀬山里志
 東京夕刊 2.27 三品信
 毎日 2.5 川俣享子
 毎日夕刊 2.7
 三重県立美術館所蔵名品展 浅井忠から松本竣介まで 4.23—6.14 笠間日動美術館
 三河に興りし牧野一族—戦国から幕末への軌跡—豊川市桜ヶ丘ミュージアム開館15周年記念 9.26—11.8 豊川市桜ヶ丘ミュージアム
 水田コレクション浮世絵名品展 特集 美人画 10.31—11.21 城西国際大学水田美術館
 瑞穂の会 9.21—9.26 銀座スルガ台画廊
 道草—彫刻の風景— 彫刻アートプロジェクト 上野タウンアートミュージアム2009 9.8—9.13 上

野の森美術館(台東区下町風俗資料館)
ミチクサゴヤプロジェクト 上野タウンアートミュージアム2009
9.17—9.27 上野恩賜公園/浅草寺
未知へのまなざし—シュルレアリスムとその波紋—大阪市立近代美術館コレクション展 9.19—11.23
大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
三井記念美術館 茶の湯の名品—利休の道具と国宝志野茶碗卯花塙—
10.4—11.15 林原美術館
三井家伝来 茶の湯の名品 4.15—6.28 三井記念美術館
三井家のおひなさま きもの—明治のシック・大正ロマン・昭和のモダン 2.4—4.5 三井記念美術館
三井家のきものと下絵—円山派がもたらしたデザインの世界—
10.22—12.19 文化学園服飾博物館
毎日夕刊 12.3
水戸市立博物館コレクション展 水戸藩開藩400年 8.28—10.1 水戸市立博物館
水戸藩ゆかりの絵師 4.7—5.17 茨城県立歴史館
エコロジーの先駆者 南方熊楠の世界 10.10—11.23 和歌山市立博物館
みなとHAKODADIハイカラ展 9.19—10.25 市立函館博物館
南九州アートライン展 霧島の見える美術館から 10.23—11.29 都城市立美術館
みほとけの貌[かたち]—熊本県南部の仏像— 10.16—11.23 八代市立博物館未来の森ミュージアム
三保谷硝子店—101年目の試作展 10.27—11.8 AXISギャラリー
AXIS 143 川床優
産経 10.30
読売 11.4
雅なる香りの世界 住友コレクション 5.2—6.28 泉屋博古館
ミュンヘン国際児童図書館 架空の絵本展—世界の絵本画家72人が

描いた、本のない絵本— 3.1—5.10 ちひろ美術館(安曇野ちひろ美術館)
妙見祭の華・笠鉦—受け継がれてきたまちの宝— 2.6—3.22 八代市立博物館未来の森ミュージアム
妙心寺 開山無相大師650年遠諱記念 1.20—3.1 東京国立博物館(京都国立博物館)
毎日夕刊 2.5
現代工芸作家がつくる 未来へのタカラモノ 高島屋美術部創設百年記念 8.19—8.25 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋(新宿)、高島屋(京都))
ミリオンセラーの絵本原画と世界の絵本画家たち 7.11—8.30 損保ジャパン東郷青児美術館
芸術新潮 718
民芸と仏教美術—柳宗悦のこころうた— 9.2—10.25 大山崎山荘美術館
みんなお宝、みんなのお宝—今も輝く貴重な資料が集結— 4.25—5.31 中野区立歴史民俗資料館
みんなが見たい優品展パート6—中村不折コレクションから—
1.4—2.22 台東区立書道博物館
みんなのアート・ミュージアム2009 1.11—2.22 富山県立近代美術館
みんなのアート・ミュージアム2010 12.12—2.14 富山県立近代美術館
みんなの紙芝居 10.9—11.23 姫路文学館

(ム)

昔のくらし・今のくらし2009 1.27—4.5 川崎市市民ミュージアム
とつげき!おもしろはくぶつかん2009 わかしをたんけん!こどもの世界 6.27—8.30 東北歴史博物館
向付 茶の湯を彩る食の器 6.27—7.26 五島美術館
読売 7.9 前田恭二
武蔵野美術大学卒業・修了制作展平

成20年度 1.23—1.26 武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
もの語る 大学院修了展'08 武蔵野美術大学80周年記念 2.21—2.26 東京都美術館
武蔵野美術大学造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展平成20年度 4.6—4.22 武蔵野美術大学美術資料図書館
武蔵府中と鎌倉街道 歴史の道を歩く 4.25—6.21 府中市郷土の森博物館
虫プロOB達による感謝展 手塚治虫先生ありがとう 2.14—2.15 豊島区立勤労福祉会館
産経 2.14
無声時代ソビエト映画ポスター 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《袋—平コレクション》より 1.8—3.29 東京国立近代美術館フィルムセンター(京都国立近代美術館)
日経夕刊 8.18 田村広済
ムラから見た古墳時代—古墳時代前期・中期を中心として— 9.12—12.6 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館

(メ)

名画と出会う 印象派から抽象絵画まで 1.24—4.12 プリヂストン美術館
名優たちの系譜—幕末・明治の歌舞伎と現在— 9.1—9.26 太田記念美術館
メキシコ20世紀絵画展 日本メキシコ交流400周年記念 7.4—8.30 世田谷美術館
美術手帖 928 秋元康、宇津井健 談/山内宏泰 構成
朝日夕刊 7.22 大西若人
産経 7.15 渋谷和彦
東京夕刊 7.31 堀尾真紀子
日経 7.15 宝玉正彦
目覚めぬ夢—アール・ブリュットの表現者たち— 7.4—7.26 O美術館
朝日夕刊 7.8 西田健作
メディアとアート 歪んだ瞬間—未

来派、構成主義、バウハウス、現代作品から探る— 10.10—1.17
川崎市市民ミュージアム

めでた尽くし—よろこびのこころと
かたち— 2.7—3.22 茨城県立
歴史館

CAMKコレクションvol.3 メリー
・ゴー・ラウンド—煌めきと黄昏
—熊本市収蔵作品展 熊本市制
120周年記念 12.19—2.14 熊本
市現代美術館

眼をとじて—“見ること”の現在
10.31—12.13 茨城県近代美術館
日経 11.25 小川敦生

(モ)

もう一つの青銅器世界—変わる銅鐸
への想い— 7.11—8.31 荒神谷
博物館

TAKE ME OUT TO THE WONDER
FOREST もうひとつの森へ
4.18—7.10 メルシヤン軽井沢美
術館
日経 5.16
読売夕刊 6.29 (清)

毛利氏vs天下人—瀬戸内の戦乱、そ
して平和— 2.20—3.29 広島県
立歴史博物館

文字の力・書のチカラ—古典と現代
の対話 1.10—2.15 出光美術館
日経 1.28 竹田博志
読売 1.20 笠嶋忠幸
読売 1.15 菅原教夫

百舌鳥・古市 大古墳群—巨大古墳
の時代— 1.17—3.15 大阪府立
近つ飛鳥博物館

MOTOKO WORKSHOP 2008 EX-
HIBITION 「いま むかし これ
から」 3.7—3.29 KANZANあき
ち
美術手帖 919 阿部謙一

物語と絵画—文学と美術の出会い—
8.21—9.27 大和文華館

物語の生成と受容 11.9—11.23
国文学研究資料館

物語の森へ—眼で楽しむ日本の古典
— 9.5—10.4 徳川美術館

物語る絵画 収蔵品展 2.3—3.22
豊橋市美術館

ものと人は船に乗って—ひょうごの
港めぐり— 1.24—3.22 兵庫県
立歴史博物館

もの・ワザ・情報—古の匠に挑む—
古墳時代金工品の復元 10.25—
11.8 元興寺文化財研究所

桃山・江戸の絵画—華やかなる絵画
の展開— 4.5—5.17 大和文華
館

桃山・江戸の美—百花繚乱の近世美
術—出光美術館所蔵 10.1—11.9
島根県立美術館

MOLASモラ パナマ先住民のテキ
スタイル・アート—エリザベス・
ハント・コレクション— 6.9—
6.21 たばこと塩の博物館

森鷗外展—近代の扉をひらく—
4.25—6.7 神奈川近代文学館
日経 5.18

天理ギャラリー136回展 モンス—
ンアジアの竹文化—素朴な技術と
造形の美— 2.16—3.28 天理ギ
ャラリー

国宝文選集注と唐物玩味 2.19—
4.12 神奈川県立金沢文庫

(ヤ)

やきもの歳時記 1.17—4.5 石洞
美術館

躍動する魂のきらめき 日本の表現
主義 4.26—6.15 栃木県立美術
館(兵庫県立美術館、名古屋市美
術館、岩手県立美術館、松戸市立
美術館)

朝日夕刊 5.28 田中三蔵
毎日夕刊 6.2 岸桂子
読売 5.21 前田恭二

躍動と静謐の美—林原美術館蔵やき
ものの名品—林原美術館開館45
周年記念 6.2—7.26 林原美術
館

屋島焼—型に生きる— 12.17—2.
21 香川県立ミュージアム

やすらぎのオーストリア カフェと
たばこにみるウィーンの文化史
9.12—11.3 たばこと塩の博物館
芸術新潮 719

毎日夕刊 10.26

野鳥を知るバードカービング展

平成21年美術展覧会(企メヘユ)

6.2—6.7 新宿御苑インフォメー
ションセンターアートギャラリー
産経 5.27

シリーズ直弼発見! 巻の5 弥千
代の雛と婚礼調度 2.6—3.10
彦根城博物館

八ヶ岳山麓 縄文の土偶と祭祀の造
形—考古館レブリカコレクション
— 7.18—11.29 茅野市尖石縄
文考古館

柳川・立花家の至宝 1.10—2.15
福岡県立美術館

柳宗悦の世界—生誕120年記念—
9.8—11.19 日本民芸館
美術手帖 933 沢山遼

山内家の兜 3.7—5.11 土佐山内
家宝物資料館

山内家のひな道具 2.6—3.3 土佐
山内家宝物資料館

ながさき地域シリーズ 邪馬台国へ
の道 壱岐 6.26—7.26 長崎歴
史文化博物館

山寺—歴史と祈り— 8.8—10.19
山形県立博物館

日本の美・発見2 やまと絵の譜
6.6—7.20 出光美術館

倭人がみた龍—龍の絵とかたち—
1.24—3.15 大阪府立弥生文化博
物館

大和を掘る27 2008年度発掘調査
速報展 7.18—9.6 奈良県立橿
原考古学研究所附属博物館

山梨に眠る秘蔵の日本美術 開館三
十周年記念 2.7—3.29 山梨県
立美術館

山梨にやってきた「青い目の人形」た
ち 7.11—9.7 山梨県立博物館

二峯 山本悌二郎の眼 3.1—6.7
澄懷堂美術館

山を越え川に沿う—信州弥生文化の
確立— 9.26—11.23 長野県立
歴史館

弥生建築—卑弥呼のすまい— 4.25
—6.7 大阪府立弥生文化博物館

弥生の都・吉野ヶ里遺跡 4.23—
6.14 広島県立歴史民俗資料館

(ユ)

ユートピア—描かれし夢と楽園

10.31—12.20 出光美術館
東京夕刊 11.27 (寿)
読売 11.26 前田恭二
優品でたどるヨーロッパ・モード
4.15—6.13 文化学園服飾博物館
EurAsia3000年 海と陸のシルクロード 9.19—1.11 横浜ユーラシア文化館
ユーラシアの風 新羅へ 8.1—9.6 古代オリエント博物館(MIHO MUSEUM、岡山市立オリエント美術館)
朝日夕刊 8.29 宮代栄一
ゆかいな私たち 7.11—9.23 岐阜県現代陶芸美術館
愉快なクリーム—朝鮮民画 開館20周年記念特別展I 4.12—5.25 高麗美術館
油彩画—描くということ—練馬区立美術館コレクション 2.21—4.14 練馬区立美術館
豊かな日本画の世界 3.14—4.8 富山県立近代美術館
ゆめいろのパレットIV—野間国際絵本原画コンクール入賞作品 アジア・アフリカ・ラテンアメリカから— 3.14—7.5 国立国会図書館国際子ども図書館
夢と追憶の江戸—高橋誠一郎浮世絵コレクション名品展—慶応義塾創立150年記念 9.19—11.23 三井記念美術館
日経 8.15
市民公募 夢美エンナーレ入選作品展 3.4—3.26 八王子市夢美術館
夢みるアジア—アジアの伝統的大衆芸術と現代美術— 福岡アジアコレクション 5.17—7.12 高知県立美術館
夢みる女たち 11.13—1.31 メナード美術館
ゆらめく日常 アートの交差展—新進アーティストの視点— 7.18—8.30 郡山市立美術館

(ヨ)

夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史II. 中部・近畿・中国地方編

3.7—5.10 東京都写真美術館
産経 3.24 生田誠
妖怪展—神・もののけ・祈り— 8.28—10.12 青森県立郷土館
妖怪天国ニッポン—絵巻からマンガまで— 4.25—6.14 兵庫県立歴史博物館
歴史学研究 862 榎村寛之
養蚕指導の妙技—高山社と文教場— 10.23—12.13 藤岡歴史館
揺籃展 11.26—12.13 尾道白樺美術館
ヨーロッパ絵画 バロックから近代へ 1.2—2.12 静岡県立美術館
館蔵 ヨーロッパのガラス展 11.10—1.24 町田市立博物館
所蔵作品展 ヨーロッパの工芸とデザイン アール・ヌーヴォーから現代まで 5.16—6.28 東京国立近代美術館工芸館
ヨーロッパ美術史の変遷 宮廷絵画からバルビゾン、そしてアール・ヌーヴォーへ 山寺 後藤美術館
所蔵 7.18—11.29 メルシヤン 軽井沢美術館
産経 9.9 猪谷千香
ヨーロッパ・ポスター芸術の開花 アール・ヌーヴォーから20世紀初頭まで 宮城県美術館・三浦コレクションによる 4.25—6.21 徳島県立近代美術館
横浜浮世絵—近代日本をひらく— 横浜開港150周年記念 5.20—6.2 高島屋(横浜)
横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流— 4.25—6.14 神奈川県立歴史博物館
かながわの遺跡展2009 横浜開港の考古学 12.12—1.11 神奈川県立歴史博物館(愛川町郷土資料館)
ヨコハマ国際映像祭2009 10.31—11.29 新港ピア/BankART Studio NYK/東京芸術大学大学院映像研究科馬車道校舎他サテライト会場
美術手帖 933 白坂ゆり
読売 11.19 市原尚士
横浜市こどもの美術展44回 7.29

—8.3 横浜市民ギャラリー
吉野川紀行—吉野・宇智をめぐる交流と信仰— 4.18—6.14 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
4つの物語 コレクションと日本近代美術 6.27—9.23 川村記念美術館
4人の視座 1.20—1.25 埼玉県立近代美術館
米沢愛と義のまち 天地人博2009 1.24—1.11 米沢市上杉博物館
よみがえった文化財 琵琶湖文化館の収蔵品と修復の世界 11.21—1.17 滋賀県立安土城考古博物館
よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画展 9.19—11.8 江戸東京博物館
朝日夕刊 9.25 小渕洋子
朝日夕刊 9.30 西田健作
産経 10.27 生田誠
日経 10.21 小川敦生
毎日夕刊 10.6 岸桂子
読売 10.29 前田恭二
よみがえる江戸時代の西宮—西宮町のすがた— 7.18—8.30 西宮市立郷土資料館
甦るクメール文明—世界文化遺産 アンコール遺跡群— 8.1—8.30 奈良文化財研究所飛鳥資料館
よみがえる中世都市堺 発掘調査の成果と出土品 7.11—9.13 堺市博物館
よろいとかぶと—上州の甲冑勢ぞろい— 10.10—11.29 群馬県立歴史博物館
四大浮世絵師展 写楽・歌麿・北斎・広重 中右コレクション 11.7—12.13 宮崎県立美術館

(ラ)

ラグジュアリー：ファッションの欲望 4.11—5.24 京都国立近代美術館
日経夕刊 5.19 小川敦生
ラグジュアリー：ファッションの欲望 10.31—1.17 東京都現代美術館
AXIS 143 成実弘至
毎日夕刊 12.8 永田晶子

ラトビア芸術大学と東京芸術大学美術学部との国際交流展 4.9—4.26 東京芸術大学大学美術館陳列館
ラブラブショー 青森県立美術館×十和田市現代美術館 12.12—2.14 青森県立美術館／十和田市現代美術館

(リ)

リキテックス・ビエンナーレ入選作品展12回 2.6—2.11 スパイラルガーデン
陸の道と海の道の交差点 江戸時代の神奈川 横浜開港150周年記念 10.17—11.29 横浜市歴史博物館
リサイクルアートファニチャー展 2010 3.13—3.28 深川Labo
リトグラフィ・オリジナル—アーティストとアトリエMMGの夢と革命 1974—2007 4.12—5.24 宇都宮美術館
朝日夕刊 5.20 田中三蔵
リトグラフと画家—ポスターの印刷技術展— 4.16—6.28 川崎市市民ミュージアム
琉球絵画展—琉球王朝から近代までの絵画— 7.18—8.30 沖縄県立博物館・美術館
琉球コレクション—土器・瓦にみる島の文化史 3.28—8.9 東京大学総合研究博物館
琉球使節、江戸へ行く！—琉球慶賀使・謝恩使一行二、〇〇〇キロの旅絵巻— 10.6—11.29 沖縄県立博物館・美術館
龍—その多様な信仰と意匠— 10.17—11.23 福井県立歴史博物館
両洋の眼2009 第20回記念 1.27—2.1 三越(日本橋)
琳派にみる能 細見コレクション 12.23—2.21 国立能楽堂

(ル)

ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 2.28—6.14 国立西洋美術館(京都市美術館)
新美術新聞 1178 陳岡めぐみ 毎日夕刊 5.19 永田晶子

ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち 3.25—6.1 国立新美術館(国立国際美術館)
芸術新潮 712 編集部
東京夕刊 5.15 児島やよい
毎日夕刊 5.19 永田晶子

(レ)

冷泉家 王朝の和歌守[うたもり]展 10.24—12.20 東京都美術館(京都府京都文化博物館)
富士・沼津・三島3市博物館共同企画展13回 レール&ロード 富士・沼津・三島の交通ものがたり 9.12—11.29 富士市立博物館(三島市郷土資料館)
I Love Art 10 歴史の天使 3.20—5.10 ワタリウム美術館
毎日夕刊 4.21 高橋咲子
歴の会展 11.16—11.21 銀座スルガ台画廊
連作“馬鹿—もの”の世界 4.25—5.31 調布市武者小路実篤記念館

(ロ)

六耀会5回 6.15—6.20 銀座スルガ台画廊
ロシアの夢 1917—1937 革命から生活へ—ロシア・アヴァンギャルドのデザイン 10.10—12.6 埼玉県立近代美術館(岡崎市美術館、山形美術館)
毎日夕刊 10.19 三田晴夫

(ワ)

WILD LIFE ART—ワイルドライフアート企画展 4.28—5.10 港区立エコプラザ
毎日 4.2 沼上純也
若武者12人の茶碗展 5.1—6.7 市之倉さかづき美術館
陶説 677 井上隆生
ワクラバ 邂逅 10.19—10.24 b. TOKYO
夏休み子どもミュージアム わくわくどうぶつえん—動物の作品が大集合— 7.18—8.31 香川県立ミュージアム
技と工芸感III 伝統技術の応用によ

るイノベーション商品開発プロジェクト 上野タウンアートミュージアム2009 10.27—11.8 台東区立浅草公会堂

忘れえぬロシア リアリズムから印象主義へ 国立トレチャコフ美術館展 4.4—6.7 Bunkamuraザ・ミュージアム(岩手県立美術館、広島県立美術館、郡山市立美術館)
毎日 2.25、4.3、5.2 岸桂子
毎日 3.19 岸桂子／鈴木英生
毎日 4.29 高階秀爾
毎日夕刊 4.20 千足伸行
和装美人から洋装美人へ—大正・昭和の女性像— 10.2—11.29 京都府立堂本印象美術館
わたしが選ぶ いわき市立美術館 ザ・コレクション 11.14—12.13 いわき市立美術館

私たちの目 12.9—12.13 埼玉県立近代美術館

私の愛する一点展9回 11.21—1.24 東御市梅野記念絵画館

イラストレーター170人が描く“わたしの句読点” 6.6—7.5 たばこと塩の博物館

和のいろ・かたち—日本画と工芸作品を中心に 9.19—12.17 世田谷美術館

わび茶の誕生—珠光から利休まで— 10.10—11.29 茶道資料館

作家展

(ア)

アイ・ウェイウェイ展 何に困って？ 現代中国で最も刺激的なクリエイターの挑戦 7.25—11.8 森美術館
芸術新潮 718
朝日夕刊 10.7 大西若人
産経 11.4 (和)
日経 10.22 平野啓一郎
日経夕刊 8.11 (律)
毎日 8.26 岸桂子
レインボー喜寿 饅頭—版画作品を中心に— 1.6—2.11 三鷹市美術ギャラリー

朝日 1.21 佐藤清孝
朝日夕刊 1.14 大西若人
毎日 1.7 中村牧生
毎日夕刊 1.27 岸桂子
日常生活—相笠昌義の世界展 4.25
—5.24 茨城県つくば美術館
朝日夕刊 5.13 大西若人
MONUMENT FOR NOTHING II[会
田誠] 4.29—5.21 ギャラリー
RAKU
瓜生通信 47 田中靖子
没後10年「相原求一朗の世界」—
道一北の大地ひと筋 2.4—2.17
まるひろ(川越)
新美術新聞 1173 高橋玄洋
わたしの相原求一朗 一点展 6.6
—7.5 ギャラリー呼友館
東京 6.30 石井友恵
青木野枝 新作展 3.6—3.28
space355
芸術新潮 713
朝日夕刊 3.18 大西若人
青木龍山回顧展 寄贈記念 6.19—
7.20 佐賀県立九州陶磁文化館
青木陵子 オブジェクト・リーディ
ング 9.11—10.10 フォイル・
ギャラリー
美術手帖 931 能勢陽子
赤木美日個展 9.4—9.12 ぎやら
りい朋
赤地剛幸映像展「The Time of World」
12.18—12.27 PLSMIS
産経 12.23 (知)
追悼 赤塚不二夫のコンヤニヤチハ
展 1.17—2.22 杉並アニメーシ
ョンミュージアム
読売 1.28 松原靖郎
追悼 赤塚不二夫展—ギャグで駆け
抜けた72年 8.26—9.7 松屋(銀
座)
朝日夕刊 9.2
秋永邦洋 黒の立体陶・植物紋のか
たち 3.6—4.2 INAXガレリア
セラミカ
秋野不矩展 創造の小径 3.1—
5.17 海の見える杜美術館
新美術新聞 1179 森議弘
刻を超えて 秋野不矩・荘司福…輝
きの女性画家二人展 10.3—11.8

浜松市秋野不矩美術館
秋元珠江展 M7 viewing vol. 01
5.20—6.30 M7
産経 5.27 渋谷和彦
あるくゆく 日暮里—ヒグレー谷中
[秋山さやか] 5.20—6.21
HIGURE17—15cas
読売夕刊 6.8 (清)
産経 6.17
秋山陽展 10.27—11.21 アートコ
ートギャラリー
陶説 683 山中英之
芥川紗織展 鮮やかな色彩、奔放な
イメージ 2.14—3.22 横須賀美
術館(一宮市三岸節子記念美術館)
新美術新聞 1177 工藤香澄
美術手帖 920 高島直之
朝日夕刊 3.18 大西若人
浅井憲一展 真夜中のサーカス
8.8—8.21 ストライプハウスギ
ャラリー
産経 8.14
Emerging Artists 2009 新田友美・
浅井冴子・島崎りか 1.26—1.31
Gallery Q
朝海陽子 22932 3.27—5.2 無人
島プロダクション
美術手帖 922 藪前知子
産経 4.22 (和)
安座上真紀子展 Think Big! 9.
21—9.28 Shonandai MY Gallery
産経 9.27
ことば・感動を書に 浅田聖子 大
作展 9.15—9.20 東京銀座画廊
美術館
毎日夕刊 9.17 桐山正寿
浅野均展—アルカイックへの遡上—
10.2—12.23 奈良県立万葉文化
館
Contemporary Collection '09—浅野
弥衛を中心に— 4.6—4.18 名
古屋画廊(名古屋)
ロー・アスリッジ Goodnight
Flowers 2.20—4.26 ラットホ
ールギャラリー
芸術新潮 712
麻生三郎とそのコレクション 9.19
—11.3 神奈川県立近代美術館
(鎌倉)

日経 9.30 竹田博志
足立喜一郎個展 シャングリラ2
9.8—10.4 YUKA CONTEMPO
RARY
読売夕刊 10.16 (清)
厚地朋子展 ヘビノス 6.26—7.25
TARO NASU(東京)
朝日夕刊 7.15 大西若人
阿部大介展—モノ・コトの貌—
8.26—9.26 INAXギャラリー2
毎日 9.15
阿部岳史 project N37 4.11—6.
28 東京オペラシティアートギャ
ラリー
芸術新潮 714
あべ弘士動物交響楽—交差するいの
ちの詩— 7.18—10.4 北海道立
旭川美術館
阿部真理子 イラストレーション+
ディレクション 杉崎真之助
JAGDA TOKYO第10回 展覧会
6.30—7.4 JAGDA TOKYO
毎日夕刊 6.23 桐山正寿
進める荒井良二のいろいろ展 2.14
—3.29 世田谷文学館
毎日夕刊 2.12
荒川匡「リエゾン、ア・ナイヴ・
パシフィスト」 5.8—6.13 タカ
・イシイギャラリー京都
STUDIO VOICE 403 原久子
陶展 荒川智 10.10—10.21 ギャ
ラリー陶園
陶説 683 鈎真一
夏休みのアトリア まひるの夢[荒
木珠奈] 7.17—8.23 川口市立
アートギャラリー・アトリア
荒木経惟「遺作 空2」 12.19—
1.9 タカ・イシイギャラリー
産経 12.20
新正卓個展 frame & vision—
blessing in forest— 5.7—5.30
東京画廊+BTAP
芸術新潮 715
れんこんのなか[有馬かおる] 11.6
—12.12 ZENSHI
産経 11.18 (和)
栗津潔60年の軌跡 複々製に進路
をとれ 1.24—3.29 川崎市市民
ミュージアム

朝日夕刊 2.25 古賀太
産経 2.27 篠原知存
毎日夕刊 2.23 岸桂子
「和の会」展[安雲霽] 5.11—5.17
月光荘画室2
産経 5.10
グレッグ・アングス展—夢を見た、
そこには君がいた 9.3—11.25
カナダ大使館高円宮記念ギャラリー
—
読売夕刊 10.26 (市)
安斎重男作品展『Unforgettable Mo-
ments』 3.24—4.25 ツァイト
・フォト・サロン
毎日夕刊 4.7 岸桂子
安斎重男 by ANZAI レンズの中
の表現者達 10.23—11.23 多摩
美術大学美術館/多摩美術大学八
王子図書館アーケードギャラリー
スタン・アンダソン 東西南北天と
地—六合の一年 1.4—3.29 群
馬県立近代美術館
安藤忠雄建築展2009 一対決。水
の都 大阪 vs ベニス— 5.23
—7.12 サントリーミュージアム
(天保山)
新美術新聞 1186 岡田彰
安野光雅が描く 絵本平家物語の世
界 4.24—6.28 姫路文学館
安野モヨコ展 レトロモダンな世界
10.1—12.23 弥生美術館

(イ)

イ・スーキョン展 5.30—7.4 オ
オタファインアーツ
読売夕刊 6.15 (市)
余白の美 李禹煥、尹熙倉、イ・ブ
ル 2.17—3.29 静岡県立美術館
郷土在住作家 III 2009 飯尾寿夫展
5.20—6.10 大分市美術館
飯塚小环斎 収蔵作品展 太田市金
山地域交流センター開館記念
5.30—7.26 太田市金山地域交流
センター
飯塚小环斎 収蔵作品展 11.1—12.
23 太田市金山地域交流センター
池内晶子 10.22—11.15 gallery21
yo—j
池田龍雄 場の位相III—虚時空山水

—ミクロからマクロを透視して
9.7—9.30 ギャラリー東京ユマ
ニテ
池田学展 7.31—10.6 おぶせミュ
ージアム
朝日夕刊 9.30 西田健作
池田亮司 +／—[the infinite be-
tween 0 and 1] 4.2—6.21 東
京都現代美術館
AXIS 140 暮沢剛巳
芸術新潮 715
STUDIO VOICE 402 池田剛介
美術手帖 922 四方幸子
朝日夕刊 4.8 大西若人
毎日夕刊 6.15 岸桂子
イケムラレイコ ME ZA ME 10.
10—11.21 SHUGOARTS
美術手帖 932 沢山遼
恵俊彦展 6.1—6.6 銀座スルガ台
画廊
石井一雄展 2.10—2.22 ギャラリ
一枝香庵
産経 2.12 (和)
石井光楓 パリの青春 6.27—8.9
千葉市美術館
松本が松本のスタイルですvol.6
石井鶴三展—芸道は白刃の上を行
くが如し— 10.10—11.29 松本
市美術館
新美術新聞 1196 大島武
日経 11.18 竹田博志
石内都展 上州の風にのって 1976
／2008 4.4—6.28 大川美術館
朝日夕刊 6.24
毎日夕刊 6.8 岸桂子
石内都 Infinity∞ 身体のかくえ
4.25—6.14 群馬県立近代美術館
石上純也+杉本博司 8.1—8.29
ギャラリー小柳
朝日夕刊 8.5 大西若人
石川登写真展 disproportion 11.
13—11.25 マキイマサルファイ
ンアーツ
石川真生写真展「Laugh it off！」
1.30—2.28 TOKIO OUT of
PLACE
毎日 2.19 太田阿利佐
ふたつの世界—石阪春生・田中徳喜
作品選 新収蔵作品を中心として

平成21年美術展覧会(作ア、イ)

— 2.26—5.31 神戸ゆかりの美
術館
石田尚志作品野外上映 11.8—11.
15 豊田市美術館
映像をめぐる冒険vol.2 躍動する
イメージ。石田尚志とアブストラ
クト・アニメーションの源流
12.22—2.7 東京都写真美術館
美術手帖 934 藪前知子
石田光男・恵子2人展 6.8—6.14
銀座アートホール
毎日 6.11 合田月美
第24回平櫛田中賞受賞記念 石松
豊秋—夜想曲— 10.2—11.15
井原市立田中美術館
石本正 心の詩 1.2—3.15 石正
美術館
石本正 旅を描く 3.20—6.21 石
正美術館
石本正 ふるさとを描く 6.27—
9.27 石正美術館
石元泰博[多重露光] 5.11—6.14
武蔵野美術大学美術資料図書館
美術手帖 923 沢山遼
朝日夕刊 6.6 大西若人
日経夕刊 6.3 (敦)
泉啓司「脇から滝」 9.26—11.7 ア
ラタニウラノ
産経 10.7 (和)
変成態—リアルな現代の物質性VOL.
3 「のようなもの」の生成 泉孝
昭×上村卓大 7.25—9.5 ギャ
ラリーαM
備前 伊勢崎淳 作陶展 3.24—
3.30 三越(日本橋)
陶説 674 外館和子
磯崎有輔 Self Portraits 5.28—6.
13 島田画廊
磯部草丘 12.12—1.17 群馬県立
館林美術館
板谷波山をめぐる近代陶磁 4.18—
6.14 泉屋博古館分館
工芸の五月 酒亭そらまめの酒器展
[市川孝] 5.2—5.10 松本市美
術館
一ノ戸ヨシノリ展 水と光—異空間
へのアングル 1.28—4.12 北海
道立旭川美術館
伊藤遠平展 9.19—10.17 YUKARI

ART CONTEMPORARY
産経 9.30 (和)
伊藤公象 1974—2009 4.18—6.21
茨城県陶芸芸術館
毎日夕刊 5.18 岸桂子
伊藤公象 WORKS1974—2009 8.
1—10.4 東京都現代美術館
芸術新潮 718
新美術新聞 1192 森千花
陶説 679 外館和子
朝日夕刊 8.26 西田健作
読売夕刊 8.6 前田恭二
若冲ワンダーランド[伊藤若冲]
9.1—12.13 MIHO MUSEUM
日経 10.24 宝玉正彦/宮川匡
司
伊藤存「四月パカ」 4.11—5.16 タ
カ・イシイギャラリー
美術手帖 923 福永信
睡蓮池のほとりにて モネと須田悦
弘、伊藤存 10.28—2.28 大山
崎山荘美術館
伊奈英次 Contacts EMPEROR OF
JAPAN 10.24—11.28 ギャラ
リー・アートアンリミテッド
心の眼 稲越功一の写真 8.20—
10.12 東京都写真美術館
毎日夕刊 8.25
犬塚勉展 10.17—11.15 東御市梅
野記念絵画館
産経 11.4 (和)
レスポワール展43回 2009年新人
選抜 井上恵子個展 3.9—3.14
銀座スルガ台画廊
1 floor 2009「THREE DUBS」[井上
賢治] 9.12—9.27 神戸アート
ビレッジセンター
井上雄彦 最後のマンガ展 重版
(熊本版) 4.11—6.14 熊本市現
代美術館
視覚の現場 四季の綻び 3 ジ
ャクリヌ・ベルント
朝日夕刊 4.18 菅野みゆき
井上廣子 Inside—Out 4.3—4.25
フォイルギャラリー
朝日夕刊 4.15 大西若人
海上雅臣が推す 戦後美術の三人展
棟方志功 井上有ー 八木一夫
5.30—7.26 梅野記念絵画館

日経 7.8 竹田博志
伊庭靖子—まばゆさの在処[ありか]
— 2.14—3.22 神奈川県立近代
美術館(鎌倉)
朝日夕刊 3.4 古賀太
日経 2.25 宝玉正彦
毎日夕刊 3.9 岸桂子
読売夕刊 3.10 (清)
建築家 今井兼次の世界 III—祈りの
造形— 12.2—12.23 多摩美術
大学美術館
今井兵衛展 7.13—7.25 ギャラリ
ー無境
陶説 678 唐澤昌宏
人間国宝の名作陶磁展 酒井田柿右
衛門・今泉今右衛門・中里太郎右
衛門 人間国宝美術館所蔵 9.26
—11.20 薩摩伝承館
今泉毅展 6.29—7.11 ギャラリー
たち花
毎日夕刊 6.23
今田淳子展 6.20—8.2 熊本市現
代美術館
KAOLY個展—光の谷の風景—[今村
香織] 8.8—9.6 メタル・アー
ト・ミュージアム光の谷
今森光彦写真展 昆虫4億年の旅
7.4—8.30 静岡アートギャラリー
—
いもとようこ 絵本原画 8.20—8.
31 大丸ミュージアム(東京)
毎日 8.21 木村葉子
岩井尚子展 The Flowing Phenom-
enon 5.11—5.16 銀座スルガ
台画廊
郷土在住作家展II 2009 岩尾秀樹
展 2.1—2.22 大分市美術館
岩熊力也展 1.5—1.17 コバヤシ
画廊
芸術新潮 711
田中屋コレクション 小村雪岱×岩
崎勝平 ひとを極める 1.24—3.
22 川崎市立美術館
新美術新聞 1176 濱田千里
ちひろと一茶 出版記念展[いわさ
きちひろ] 3.1—5.12 安曇野ち
ひろ美術館
ちひろ・いのちの画集 出版記念展
5.15—7.7 安曇野ちひろ美術館

ちひろとローランサン 7.15—9.6
ちひろ美術館(東京)
わたしがえらんだ いわさきちひろ
展 7.18—8.30 平塚市美術館
(ウ)
ボヘミアの山と心 ヨゼフ・ヴァー
ハルとイジー・コルナトフスキー
の作品 9.26—10.12 高崎シテ
イギャラリー
呉強展 無上清涼 2.18—3.14 東
京画廊+BTAP
ウェイ・ジャ(韋嘉) In the Distant
Fields and Smoky Woods 10.10
—10.31 小山登美夫ギャラリー
ARTCOIL by 上田尚矢 10.30—11.
11 マキイマサルファインアーツ
正膳脂(金赤)の展開 上瀧勝治作陶
展 3.31—4.7 三越(日本橋)
陶説 675 唐澤昌宏
上野伊三郎+リチコレクション展
ウィーンから京都へ、建築から工
芸へ 1.6—2.8 京都国立近代美
術館(目黒区美術館)
芸術新潮 711
ジャポニスム研究 29 高波真知
子
産経 5.13 森村泰昌
上野慶一展 1.9—1.31 ギャラリ
ーなつか
帝展の若き道産子 上野山清貢・加
藤顕清・山口蓬春 7.11—10.18
北海道立近代美術館
上前智祐展—ぬい・縫・ヌイ—
6.1—6.19 日本画廊
上村松園・松篁・淳之 三代展
3.4—3.16 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1177 鬼頭美奈子
上村淳之展—喉禽を描く— 8.8—
9.27 武蔵野市立吉祥寺美術館
上村松園・松篁・淳之 三代展
3.4—3.16 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1177 鬼頭美奈子
上村松園 美人画の粋 没後60年
記念 5.23—7.26 山種美術館
毎日夕刊 5.19
幽玄の美を追ひ求め—松園・松篁の
芸術観を育てた能楽— 4.2—
5.31 松柏美術館

上村松園・松篁・淳之 三代展
3.4—3.16 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋(京都)、高島屋(横浜)、高島屋(名古屋))
東京夕刊 3.13 (寿)

収蔵作品展I 音を感じて—松園・松篁・淳之の世界に宿る響き—
6.9—7.26 松伯美術館

上村松園・松篁・淳之展—三度の壁を乗り越えて— 10.16—11.29
松伯美術館

上村松園・松篁・淳之 三代展
3.4—3.16 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1177 鬼頭美奈子

収蔵作品展II 白の魅力 白の画家と呼ばれた松篁作品をたどる
12.9—1.31 松伯美術館

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ
恵みの居場所をつくる 4.4—6.21
パナソニック電工汐留ミュージアム
日経夕刊 7.6 窪田直子
読売 3.31

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ展
in近江八幡 10.3—11.3 滋賀県近江八幡市

福島の新世代 2009 CLOSE TO YOU! —もっと近くに[宇田義久] 1.10—3.1 福島県立美術館
北海道立近代美術館所蔵高橋博信浮世絵コレクション部 ぶらり江戸めぐり—歌川国貞「百人美女」の世界— 5.15—6.7 北海道立帯広美術館

一勇斎国芳(1797—1861) 美人画展[歌川国芳] 6.30—10.4 日本浮世絵博物館

房総の広重—描かれた房総の風景—[歌川広重] 1.14—3.8 菱川師宣記念館
東京 2.4 岡村淳司

広重2画(1826—69)/江戸名勝所図会 3.31—6.28 日本浮世絵博物館

広重と巴水—日本の風景— 10.1—11.29 中山道広重美術館

内井昭蔵の思想と建築 自然の秩序を建築に 12.12—2.28 世田谷美術館

内田繁の厨子—新しい祈りのかたち— 9.17—10.12 デザインギャラリー1953
読売 9.16

銀座界限限ガヤガヤ青春ショー —言い出しっぺ横尾忠則— 灘本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠則4人展 9.2—9.29 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
毎日夕刊 9.24 岸桂子

梅津庸一「ゴールドデッサン」 7.11—8.22 アラタニウラノ
産経 8.12 (和)

上瀧浩一 陶芸展 4.22—5.5 高島屋(日本橋)
陶説 676 唐澤昌宏

(エ)

コレクションによるテーマ展XII
瑛九 フォト・デッサン—『真昼の夢』を中心に— 4.25—6.14
うらわ美術館

江口週展—記憶の構図— 4.13—4.25 ギャラリーせいほう

江口週彫刻展 第14回本郷新賞受賞記念 9.5—10.25 札幌彫刻美術館

エッシャー展 迷宮への招待[マウリッツ・エッシャー] 10.10—11.16 そごう美術館

榎本香葉子個展—闇に舞う声— 5.25—5.30 銀座スルガ台画廊

海老塚耕一 水の睡眠 2.18—2.27 せんたあ画廊

海老塚耕一 呼吸する風の肖像2 3.8—5.10 渋谷市美術館 桑原巨守彫刻美術館

海老塚耕一 呼吸する風の肖像2 4.20—5.3 Gallery Q

海老塚耕一展 9.24—10.10 養清堂画廊

オラファー・エリアソン あなたが会おうとき 11.21—3.22 金沢21世紀美術館
AXIS 143 上條昌宏

エルムグリーン&ドラッグセット「SUPERMODELS」 9.5—10.3
タカ・イシイギャラリー
産経 9.23 渋谷和彦

コレクション展 マックス・エルンストと日本のシュルレアリスム
1.8—3.22 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

円空・木喰展 『庶民の信仰』の系譜 9.4—10.25 奥田元宋・小由女美術館(美術館「えき」KYOTO、愛媛県美術館)

遠藤利克展 供養と空洞 5.23—6.28 国際芸術センター青森
毎日夕刊 6.15 三田晴夫

(オ)

大石芳野作品展「沖縄に生きる」 9.29—11.1 JCIフォトサロン
毎日 10.5 佐藤賢二郎

大石芳野写真展 祈りを織る ラオス—不発弾と生きる— 10.9—10.15 富士フィルムフォトサロン
毎日 10.5 佐藤賢二郎

大岩オスカル個展 ASIAN KITCHEN 5.16—7.5 東京画廊+BTAP

大河原邦男のメカデザイン ガンダム、ボトムズ、ダグラム 7.17—9.6 八王子市夢美術館

水彩画のパイオニア 大下藤次郎の世界展—島根県立石見美術館コレクションより— 9.12—10.18 郡山市立美術館

よみがえる前衛—太田昇の遺作— 9.5—11.8 練馬区立美術館

大竹利絵子「夢みたいな」 11.26—12.26 小山登美夫ギャラリー

生命[いのち]みつめて—大谷英之・淳子ふたり展 6.11—6.17 ポートレートギャラリー
毎日 6.11 江刺正嘉

新フランス物語 大津英敏展 10.7—10.13 三越(日本橋)

新美術新聞 1196 加藤貞雄
大津鎮雄—美しい風景を求めて・旅情を描いた画家の生涯— 2.28—7.5 サトエ記念21世紀美術館
新美術新聞 1183 江口健

レスポワール展43回 2009年新人選抜 大塚揚紀個展 3.30—4.4 銀座スルガ台画廊

レスポワール展43回 2009年新人
選抜 大塚昌和個展 1.12—1.17
銀座スルガ台画廊

大辻清司 Printed Matters 2009
6.22—7.17 横田茂ギャラリー

大西忠夫回顧展 9.22—10.4 香川
県文化会館(香川県立ミュージア
ム分館)

Mai Ohno "DENALI" 2nd Exhibition
[大野舞] 7.9—7.15 ギャラリ
ーコンセプト21
毎日 7.6

田原の美術 大羽梧郎・工藤和男・
仲谷孝夫「海を描く」 10.31—
12.6 田原市渥美郷土資料館

大庭みな子さんの絵 5.19—5.24
画廊宮坂
東京夕刊 5.19

大橋歩展 平凡パンチからアルネま
で アート・ファッション・ライ
フスタイル 1964年—2009年
10.24—12.6 三重県立美術館

大原瑩子展 パートII 4.18—7.3
Eiko OHARA Gallery
産経 5.6

大平弘展 6.29—7.11 ギャラリー
東京ユマニテ
芸術新潮 716

大森博之展 9.7—9.19 なびす画
廊

オーライタロー 3.3—3.14 ギャ
ラリー ツープラス

ジブリの絵職人 男鹿和雄展 9.19
—11.29 新潟県立万代島美術館

男鹿和雄『秋田、遊びの風景』展
9.30—2.1 三鷹の森ジブリ美術
館2階ギャラリー
朝日夕刊 11.4
産経 12.5 堀晃和
毎日 10.4 野口由紀

岡信孝展—花風土—高島屋美術部創
設百年記念 9.2—9.8 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 1193 橋秀文

岡義美展26回 滞仏40年 1.7—
1.20 小田急(新宿)
新美術新聞 1172 村瀬雅夫

岡崎和郎 林檎—ウィリアム・テル
によせて 3.2—3.27 横田茂ギ

ャラリー

岡崎乾二郎展 6.9—6.27 ガレリ
アフィナルテ

MOTコレクション 特集展示 岡
崎乾二郎 10.31—1.24 東京都
現代美術館
美術手帖 934 沢山遼

尾形一郎 尾形優写真展 HOUSE
10.16—11.2 フォイル・ギャラ
リー
芸術新潮 720

追悼 墨童 緒形拳書画展 6.11—
6.20 赤坂游ギャラリー
産経 6.6 村上智博

岡田裕子展「翳りゆく部屋」 10.21
—11.21 ミヅマアートギャラリー
—
毎日夕刊 11.2 岸桂子

尾形一郎 尾形優写真展 HOUSE
10.16—11.2 フォイル・ギャラ
リー
芸術新潮 720

岡村桂三郎展 3.9—3.21 コバヤ
シ画廊
産経 3.18

はまゆうの会[岡村まゆみ] 7.13—
7.18 銀座スルガ台画廊

『明日の神話』40年の軌跡[岡本太
郎] 2.25—6.28 岡本太郎記念館
東京 3.25 小川慎一

「岡本太郎の絵画」展 開館10周年
記念 4.18—9.23 川崎市岡本太
郎美術館
朝日夕刊 9.9 大西若人
産経 4.22 渋谷和彦

湧きあがるイメージ[岡本太郎]
7.1—10.25 岡本太郎記念館
産経 7.8 渋谷和彦
毎日夕刊 7.27 網谷隆司郎

武田浪・荻野丹雪二人展 12.15—
12.20 画廊ぐれごりお
陶説 683 梅田稔

奥の細道俳画展 荻原井泉水 生誕
125年記念 4.6—5.25 敦井美
術館

美術を遊ぶ展[奥田美樹] 10.24—
11.29 稲沢市荻須記念美術館

小口崇志展—、シロセカイ、クロセ
カイ、— 9.4—9.16 マキイマ

サルファインアーツ

小熊秀雄 豊島区新収蔵作品 3.5
—3.15 熊谷守一美術館

奥村幸弘展 不思議な楽園 7.26—
8.30 茅ヶ崎市美術館

レスポワール展43回 2009年新人
選抜 長船侍夢個展 3.2—3.7
銀座スルガ台画廊

小沢剛 透明ランナーは走りつづけ
る 8.1—9.27 広島市現代美術
館
日経 9.17

ジョージ・オズボルト 5.22—
6.20 TARO NASU(東京)
芸術新潮 715

小谷元彦 SP4 "the specter" in
modern sculpture 4.4—5.2 山
本現代
美術手帖 922 保坂健二郎
産経 4.29 (和)

「Hollow」小谷元彦展 12.17—3.28
メゾンエルメス8階フォーラム
芸術新潮 722
美術手帖 934 榎木野衣
美術の窓 318

ローズオニール キューピー展 誕
生100年 12.10—12.24 松屋
(銀座)
芸術新潮 722

shiseido art egg 3回 小野耕石展
古き頃、月は水面の色を変えた
3.6—3.29 資生堂ギャラリー
東京夕刊 1.16
読売夕刊 3.17 (清)

「横浜と全国百歳王『笑顔のクス
リ』」 1.3—1.18 有隣堂ギャラ
リー
産経 1.5

小野忠重展—昭和の自画像—生誕
100年 10.3—11.23 町田市立
国際版画美術館
朝日夕刊 11.11 田中三蔵

竹喬のまなざし 初公開作品を中心
として[小野竹喬] 7.18—10.18
笠岡市立竹喬美術館

小野竹喬展 生誕120年 11.3—12.
20 大阪市立美術館(笠岡市立竹
喬美術館、東京国立近代美術館)
毎日夕刊 12.1 上薊四郎

読売 12.10 木村未来
 小野友三 disappear 9.28—10.25
 エキジビション・スペース
 芸術新潮 719
 小野木学 ナヤミノタネ展 9.5—
 11.8 練馬区立美術館
 小原昌輝 写真展 LAKE 7.3—
 7.15 マキイマサルファインアー
 ツ
 ジュリアン・オピー展 10.16—
 11.14 SCAI THE BATHHOUSE
 産経 11.4 渋谷和彦
 日経 11.4 宝玉正彦

(カ)

ジャネット・カーディフ&ジョージ
 ・ピュレス・ミラー展 2.24—
 5.17 メゾンエルメス8階フォー
 ラム
 STUDIO VOICE 401 土屋誠一
 読売 3.26 菅原教夫
 ドウシャン・カーライの超絶絵本と
 ブラチスラヴァの作家たち展 ス
 ロヴァキアが生んだ色彩の魔術師
 11.21—1.11 板橋区立美術館(滋
 賀県立近代美術館)
 Varda Caivano The Inner Me [ヴァ
 ルダ・カイヴァーノ] 9.11—
 10.17 小山登美夫ギャラリー
 利部志穂 serendipity 妙のとき
 12.3—12.13 switch point
 美術手帖 933 吉原沙織
 kage exhibition UNCOVER OF KA-
 GE 5.22—6.3 マキイマサルフ
 ァインアーツ
 笥忠治—自画像を描き続けて80年
 —受贈記念 10.10—11.15 一宮
 市三岸節子記念美術館
 人間国宝 鹿児島寿蔵展 4.7—
 7.20 旧新橋停車場 鉄道歴史展
 示室
 笠井誠一内覧展—アートフェア東京
 個展にむけて— 3.27—3.31 名
 古屋画廊(名古屋)
 風間サチコ展 昭和残像伝 2.4—
 3.14 無人島プロダクション
 読売夕刊 3.3 (清)
 梶岡俊幸展 The Birth Canal—未
 来へのうねり 4.9—4.26 スパ

イラルガーデン
 産経 4.15
 榎木知子展 3.13—4.17 オオタフ
 ァインアーツ
 ART iT 24 小沢剛
 毎日夕刊 4.6 岸桂子
 片岡球子展 天に献げる地上の花
 追悼103歳 3.20—4.12 松坂屋
 美術館(高島屋(大阪)、岡山県立
 美術館、高島屋(日本橋))
 新美術新聞 1179 東真理子
 片岡鶴太郎展 '09 墨戯彩花 3.3
 —3.15 三越(池袋)
 産経 3.14 伊藤徳裕
 香月泰男と1940—50年代の絵画
 時代の造形詩—モダニズムから新
 たな地平へ 没後35年 2.5—3.
 22 下関市立美術館
 勝倉峻太作品展 「おはよう日本」
 8.26—9.5 フォト・ギャラリー
 ・インターナショナル
 産経 8.19
 加藤嘉六写真展「東京の里山—玉川
 上水—」 4.11—4.20 コニカミ
 ノルタプラザ
 毎日 4.15 明珍美紀
 帝展の若き道産子 上野山清貢・加
 藤顕清・山口蓬春 7.11—10.18
 北海道立近代美術館
 加藤孝造展 8.1—3.28 岐阜県現
 代陶芸美術館
 小池頌子・加藤孝造展 2008年度
 日本陶磁協会賞・金賞受賞記念
 8.31—9.5 壺中居
 陶説 680 唐澤昌宏
 加藤隆明個展 10.12—10.17 なび
 す画廊
 門田光雅 俯瞰する樹形図 5.7—
 5.24 遊工房アトスペース
 美術手帖 927 中島水緒
 金氏徹平 溶け出す都市、空白の森
 3.20—5.27 横浜美術館
 美術手帖 922 清水穰
 日経 5.9
 読売 4.2 前田恭二
 変成態—リアルな現代の物質性VOL.
 6 金氏徹平 11.28—12.26
 ギャラリーαM
 美術手帖 934 林央子

平成21年美術展覧会(作オ、カ)

毎日夕刊 12.8 岸桂子
 JUN KANEKO Exhibition in Mid-
 town Garden[金子潤] 7.18—8.
 2 東京ミッドタウン・ガーデン
 朝日夕刊 7.25 西田健作
 毎日夕刊 7.28
 読売夕刊 7.27 (菅)
 金子潤展 7.21—8.1 シンワアー
 トミュージアム
 新美術新聞 1190 乾由明
 朝日夕刊 7.25 西田健作
 産経 7.29 (和)
 毎日夕刊 7.28
 煌星会展[金子朋樹] 11.30—12.5
 銀座スルガ台画廊
 金重有邦—下戸の酒器展— 10.13
 —10.17 ギャラリーこちゅうき
 よ
 陶説 682 花里麻理
 加納光於[身振りのアルファベッ
 ト、あるいは跳ね馬のように]
 3.9—3.28 ギャラリー東京ユマ
 ニテ
 清方ノスタルジア 名品でたどる鎗
 木清方の美の世界 11.18—1.11
 サントリー美術館
 新美術新聞 1203 三戸信恵
 日経 12.19 小川敦生
 読売 12.31 高野清見
 鎗木昌弥の絵画 コレクション展 II
 10.1—12.27 福島県立美術館
 上条花梨展 「There... that sta-
 tion」 2.6—2.28 MEGUMI
 OGITA GALLERY
 毎日夕刊 2.17 岸桂子
 上條信山色紙展 6.11—6.21 国立
 新美術館
 変成態—リアルな現代の物質性VOL.
 3 「のようなもの」の生成 泉孝
 昭×上村卓大 7.25—9.5 ギャ
 ラリーαM
 三人三様 勅使河原蒼鳳 土門拳
 亀倉雄策 6.13—8.23 土門拳記
 念館
 日経 8.13
 神戸の美術家 亀高文子とその周辺
 8.8—10.18 神戸市立小磯記念美
 術館
 加山又造展 1927—2004 1.21—

3.2 国立新美術館(高松市美術館)
趣味の水墨画 238
新美術新聞 1175 西野華子
日経 1.20 宝玉正彦
日経 2.11 中島千波
日経 2.12 渡辺淳一
日経 2.13 古田亮
日経 2.21
毎日夕刊 2.2 岸桂子
柄澤齋—黒の劇場— 6.15—6.27
シロタ画廊
芸術新潮 716
マリオ・ガルシア・トレス 「Un-
spoken Dailies」 11.21—12.12
タカ・イシイギャラリー
産経 12.9 (和)
木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝
ブレッソン—東洋と西洋のまなざ
し 11.28—2.7 東京都写真美術
館
産経 12.23 篠原知存
遠くて身近な歴史—1968年そして
ホロコースト[イシャイ・ガルバ
シュ] 4.11—5.17 トーキョー
ワンダーサイト渋谷
読売夕刊 5.11 (前)
In My Mother's Footsteps[イシャイ
・ガルバシュ] 4.11—5.16 ワ
コウ・ワークス・オブ・アート
読売夕刊 5.11 (前)
MAM PROJECT 010 テレルヴォ
・カルレイネン+オリヴァー・コ
フタ=カルレイネン 11.28—
2.28 森美術館
エミール・ガレ 陶器のジャポニス
ム—フランスに花開く日本の美—
7.18—9.27 ふくやま美術館
ガラスの植物学者[ボタニスト] エ
ミール・ガレ展 9.26—11.29
茨城県陶芸美術館
川井健司新作展「おやすみ日本」
4.6—4.25 東邦画廊
THREAD[川尾朋子] 6.19—7.1
マキイマサルファインアーツ
澄生が愛したもの 煙管・時計・玩
具[川上澄生] 1.18—4.5 川上
澄生美術館
新収蔵作品展—富田・長谷川コレク

ションを中心に—[川上澄生]
4.11—5.31 川上澄生美術館
川上澄生展 文明開化を描いた版画
家 5.9—6.7 そごう美術館
川上澄生 ガラス絵と肉筆—絵筆か
ら生まれるもの— 9.5—11.8
川上澄生美術館
川上澄生が描いた女性—ノスタルジ
アを求めて— 11.14—1.11 川
上澄生美術館
川喜田半泥子のすべて 10.3—12.
23 岐阜県現代陶芸美術館(そご
う美術館、山口県立萩美術館・浦
上記念館、三重県立美術館)
芸術新潮 720
陶説 682 井上隆生
朝日夕刊 11.11 西田健作
川喜田半泥子のすべて 12.30—1.
18 松屋(銀座)
陶説 683 光井玄空
河口龍夫 言葉・時間・生命 10.
14—12.13 東京国立近代美術館
芸術新潮 720
新美術新聞 1201 大谷省吾
朝日夕刊 11.25 大西若人
産経 10.21 沢沢和彦
毎日夕刊 12.1 岸桂子
川口直次 舞台芸術—オペラ、バレ
エ、演劇、テレビ、映画から—
9.7—10.3 武蔵野美術大学美術
資料図書館
フロンティア展[川越良昭] 9.28—
10.3 銀座スルガ台画廊
川崎毅 陶展 5.27—6.6 Gallery
Tanaka・銀座
陶説 677 唐澤昌宏
富士に向き合う 川崎春彦 日本画
展 7.1—7.7 三越(日本橋)
新美術新聞 1187 川口直宜
美術の窓 310 瀧梯三
川島清 水量V 11.2—11.28 ギャ
ラリー東京ユマニテ
広重と巴水—日本の風景—[川瀬巴
水] 10.1—11.29 中山道広重美
術館
美術を遊ぶ展[川田英二] 10.24—
11.29 稲沢市荻須記念美術館
世界を翔ける版画家 河内成幸展—
桂から翔べ北斎までの軌跡—

10.10—11.23 南アルプス市立春
仙美術館
信州ゆかりの暁斎・暁翠展[河鍋暁
斎/河鍋暁翠] 4.24—5.25 信
州須坂豪商の館 田中本家博物館
芸術新潮 715
河野愛展—うたかたの家— 10.1—
10.24 INAXギャラリー2
文化資源としての炭鉱 Part.2—
川俣正コールマイン・プロジェク
ト 筑豊、空知、ルールでの展開
11.4—12.27 目黒区美術館
あいだ 166 編集部
THREAD[河村陽介] 6.19—7.1
マキイマサルファインアーツ
河本五郎展 生誕90年 4.4—5.31
愛知県陶磁資料館
陶説 675 井上隆生
川元陽子個展「for the present」 5.
16—6.13 NANZUKA UNDER-
GROUND
産経 6.3
カン・イング展—ガラスとワイヤー
の天地— 2.2—2.25 INAXギャ
ラリー2
神田日勝と1970年の美術 11.3—
12.6 神田日勝記念美術館
うつわ U-Tsu-Wa[エルンスト・ガ
ンペール] 2.13—5.10 21_21
DESIGN SIGHT
芸術新潮 712
朝日夕刊 2.25 秋山亮太
産経 2.21 沢沢和彦
毎日夕刊 4.23 永田晶子
Campo Baeza Architecture The
Creation Tree カンボ・バエザの
建築[アルベルト・カンボ・バエ
ザ] 6.25—8.29 ギャラリー・
間
毎日夕刊 7.14 永田晶子

(キ)

菊池契月展 生誕130年記念 9.5
—10.12 三重県立美術館(富山県
水墨美術館、美術館「えき」
KYOTO)
貴志真生也「リトルキャッスル」
5.30—7.11 児玉画廊
美術手帖 927 清水穰

画家岸田劉生の軌跡 油彩画、装丁画、水彩画などを中心に 1.15—2.11 笠間日動美術館
没後80年 岸田劉生 肖像画をこえて 4.25—7.5 損保ジャパン東郷青児美術館
朝日夕刊 6.10 田中三蔵
日経 4.18
日経 4.25 宝玉正彦
毎日夕刊 6.11 岸桂子
館林に生まれた日本画家 岸浪百草 居展—南画学習から写実を経て魚類画の名手に—一生誕120年 10.10—11.23 群馬県立館林美術館
木田安彦の世界 木版画「西国三十三所」 ガラス絵「日本の名刹」 11.26—12.10 京都府京都文化博物館(パナソニック電工汐留ミュージアム)
GITAI ART UNION—GITAI—“L”[擬態美術協会] 9.4—9.16 マキイマサルファインアーツ
魯山人の宇宙[北大路魯山人] 4.12—5.31 高崎市美術館
魯山人の宇宙 美と食 北大路魯山人の陶芸 9.18—11.8 八王子市夢美術館
北大路魯山人展 没後50年 9.19—12.13 滋賀県立陶芸の森(ふくやま美術館/ふくやま書道美術館、いわき市立美術館、北海道立帯広美術館、兵庫陶芸美術館)
朝日夕刊 11.11 西田健作
北郷悟 —From the Sky— 9.23—9.29 三越(日本橋)
新美術新聞 1195 武田厚
北島敬三 1975—1991 コザ/東京/ニューヨーク/東欧/ソ連 8.29—10.18 東京都写真美術館
朝日夕刊 9.9 大西若人
産経 9.30 篠原知存
日経 10.8 平野啓一郎
北詰真弓展 過去の未来は現在 8.17—8.22 銀座スルガ台画廊
ひみつ基地 木津文哉の不思議な時間 6.20—8.23 笠間日動美術館
木津文哉個展 9.25—10.4 日動画廊
橘田尚之 2.2—2.14 gallery21yo

—j
木戸修—SPIRAL II— 11.2—11.14 ギャラリーせいほう
城戸孝充 9.10—10.4 gallery21yo
—j
朝日夕刊 9.16 田中三蔵
絹谷幸二 情熱の色・歓喜のまなざし 2.4—2.16 高島屋(横浜)
情熱・PASSION 絹谷幸二展 3.31—4.14 三越(日本橋)
毎日夕刊 4.2 岸桂子
木下晋展 2.7—2.28 始弘画廊
朝日 2.11 佐藤清孝
コスチューム・イン・プレイ[キム・スージャ] 11.17—11.23 松本市美術館
霊を招き、霊と交わる[金秀男] 10.6—10.10 韓国文化院ギャラリーMI
読売夕刊 10.26
福島の新世代 2009 CLOSE TO YOU! —もっと近くに[金咲淑] 1.10—3.1 福島県立美術館
木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝ブレッソン—東洋と西洋のまなざし 11.28—2.7 東京都写真美術館
産経 12.23 篠原知存
現れの空間vol.5 木村太陽×ポール・マロ 1.13—1.24 ASK? art space kimura
読売夕刊 1.20 (清)
木村展之 作陶展 2.25—3.3 高島屋(京都)
陶説 675 梅田稔
横山大観と木村武山 3.14—5.17 講談社野間記念館
木村友紀「1940年は月曜日から始まる閏年」 10.10—11.7 タカ・イシイギャラリー
美術手帖 931 清水穠
夏休みのアトリア まひるの夢[木村幸恵] 7.17—8.23 川口市立アートギャラリー・アトリア

(ク)

権鎮圭 10.10—12.6 東京国立近代美術館
朝日夕刊 11.18 田中三蔵

平成21年美術展覧会(作キ、ク)。

毎日夕刊 11.17 岸桂子
権鎮圭 10.19—12.5 武蔵野美術大学美術資料図書館
朝日夕刊 11.18 田中三蔵
毎日夕刊 11.17 岸桂子
新世代への視点2009 釘町一恵展 7.27—8.8 なびす画廊
楠部弥弼 10.19—12.16 敦井美術館
久隅守景—加賀で開花した江戸の画家— 石川県立美術館開設50周年記念 9.26—10.25 石川県立美術館
日経 10.3 小川敦生
田原の美術 大羽悟郎・工藤和男・仲谷孝夫 「海を描く」 10.31—12.6 田原市渥美郷土資料館
描かれた哀愁—国吉康雄・野田英夫・ベン・シャーン— 7.3—9.27 大川美術館
久野和洋—地の風景— 6.5—7.20 練馬区立美術館
紙のジャポニスム「日本を感じる旅」[久保修] 9.23—9.29 伊勢丹(新宿)
産経 9.14
久保田博二「アジアの肖像：ダイトランスファー・コレクション」 6.29—7.3 清里フォトアートミュージアム
朝日夕刊 8.12 徳山喜雄
隈研吾展 Kengo Kuma Studies in Organic 10.15—12.19 ギャラリー・間
朝日夕刊 12.2 大西若人
日経 11.26
毎日 12.2 永田晶子
熊谷守一美術館 24周年展 5.26—6.14 熊谷守一美術館
産経 6.10
60年代—80年代の時代の息吹 熊切圭介写真展・女性を撮る・変革の渦 7.2—10.4 川崎市市民ミュージアム
世田谷区芸術アワード“飛翔”2008 美術部門受賞作品展 熊沢未来子作品展 10.27—11.8 世田谷美術館
プチファール・熊田千佳慕展—

99歳の細密画家 8.12—8.24
松屋(銀座)
朝日夕刊 8.19 西田健作
読売夕刊 8.17 (清)
春陽のもとに 久米桂一郎の留学時代 4.11—5.27 久米美術館
久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち 9.5—10.21 久米美術館
20 クラインダイサムアーキテクツの建築「アストリッド・クライン」 4.8—6.6 ギャラリー・間
朝日夕刊 5.27 大西若人
産経 5.25 篠原知存
倉岡雅展 5.18—5.23 銀座スルガ台画廊
マーティン・クリード 5.23—7.20
広島市現代美術館
STUDIO VOICE 403 大森俊克
クリスチャン 道(paper sculpture)「アブラハム・ダヴィット・クリスチャン」 9.7—10.2 横田茂ギャラリー
クリストの版画 12.1—1.31 福岡市美術館
クリムト、シーレ ウィーン世紀末展 ウィーン・ミュージアム所蔵「グスタフ・クリムト」 7.11—9.6 札幌芸術の森美術館(高島屋(日本橋)、サントリーミュージアム「天保山」、北九州市立美術館) 芸術新潮 719
聴竹居との出会い 栗本夏樹 漆芸展 5.22—5.31 聴竹居
日経 5.2
栗山斉 宇宙の中の私の宇宙 11.1—11.29 eN arts
美術手帖 933 栗田大輔
パウル・クレー 東洋への夢 5.16—6.21 千葉市美術館
日経夕刊 6.8 小川敦生
パウル・クレー 東洋への夢 7.14—8.30 静岡県立美術館
ジャポニスム研究 29 池田祐子
パウル・クレー 東洋への夢 9.5—10.18 横須賀美術館
芸術新潮 718
黒川英夫個展 7.6—7.11 みゆき画廊

毎日 7.8 合田月美
黒木一明写真展 The Planet of Flowers 花の惑星 9.8—10.4
宮崎県立西都原考古博物館
黒田清輝のフランス留学 3.3—4.12 東京国立博物館
朝日夕刊 4.1 小川雪
近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展 7.18—8.31 島根県立石見美術館
久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち 9.5—10.21 久米美術館
黒田征太郎展「核なき地球へのメッセージ」 11.21—4.4 第五福竜丸展示館
東京 11.21 小林由比
桑田卓郎展 9.11—10.16 TKGエディションズ(京都)
陶説 680 梅田稔
桑原盛行展 点から円へ—格子図上の旅 4.2—6.23 池田20世紀美術館
朝日夕刊 4.15 田中三蔵

(ケ)

マイク・ケリー “Photographs/Sculptures” 10.16—12.5 ワコウ・ワークス・オブ・アート
芸術新潮 720
読売夕刊 11.16 (前)
イザ・ゲンツケン OIL XV/XVI 10.2—12.27 ラットホールギャラリー
美術手帖 931 大森俊克
ウィリアム・ケントリッジ—歩きながら歴史を考える そしてドローイングは動き始めた…… 9.4—10.18 京都国立近代美術館(東京国立近代美術館、広島市現代美術館)
aica JAPAN 10 本江邦夫
東京夕刊 10.2 岡村恵子
毎日夕刊 9.14 高階秀爾
読売 10.15 木村未来
マイケル・ケナ写真展 風景に刻まれた記憶 8.29—11.11 北海道立釧路芸術館

(コ)

小穴恵子展 蘭の乱逆 7.17—7.29
マキイマサルファインアーツ
鯉江良二 RYOJI'n'HISHO—遊びをせんとや生れけむ— 11.1—12.22 Daiwa Press Viewing Room
美術手帖 932 清水穰
新世代への視点2009 古池潤也展 7.27—8.8 ギャラリー山口
読売夕刊 8.3 (清)
小池頌子・加藤孝造展 2008年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念 8.31—9.5 壺中居
陶説 680 唐澤昌宏
MAM PROJECT 009 小泉明郎 7.25—11.8 森美術館
美術手帖 930 榎木野衣
小磯良平作品選 VI—油彩、素描、版画— 1.24—4.5 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選 I—油彩、素描、版画— 4.10—6.7 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平作品選 IV—油彩、素描、版画— 10.24—1.11 神戸市立小磯記念美術館
小磯良平・聖書画の世界 11.14—1.24 とちぎ蔵の街美術館
台湾の心・台湾の情—廖修平・江明賢二人展— 4.7—5.17 渋谷区立松涛美術館
郷倉千靱展 9.12—11.23 富山県立近代美術館/射水市新湊博物館/太閤山ランドふるさとギャラリー
高僧光隆個展 3.2—3.8 銀座アートギャラリー
毎日夕刊 3.5
鴻池朋子展 インタートラベラー 神話と遊ぶ人 7.18—9.27 東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 8.19 田中三蔵
毎日夕刊 8.18 岸桂子
読売 8.13 高野清見
ゴーギャン展 我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか[ポール・ゴーギャン] 4.18—6.21 名古屋ボストン美術

館
新美術新聞 1181 馬場駿吉
ゴーギャン展 7.3—9.23 東京国立近代美術館
朝日夕刊 7.15 西田健作
毎日夕刊 8.3 永田晶子
読売夕刊 8.20 高野清見
読売夕刊 8.22
BODO KORSIG Exhibition “CLASH”
[ボードー・コーシク] 4.17—5.2 マキイマサルファインアーツ
コープ・ヒンメルブラウ 回帰する未来 9.19—12.23 NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]
AXIS 141 ぼむ企画
朝日夕刊 11.4 大西若人
三人展 古賀けい子・辻井ますみ・室井慶子 12.21—12.26 銀座スルガ台画廊
MIMOCA'S EYE vol.2 小金沢健人展 動物的 1.18—4.5 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
STUDIO VOICE 399 山辺冷
小島一郎—北を撮る 1.10—3.8 青森県立美術館
朝日夕刊 2.4 古賀太
読売 3.2 前田恭二
児島聖写真展 eye trap, second 6.5—6.17 マキイマサルファインアーツ
小島良栄 陶展 5.2—5.31 陶成アートギャラリー
陶説 676 鈎真一
小杉放菴と大親—響きあう技とこころ 2.21—3.22 出光美術館
日経 2.21
福島の新世代 2009 CLOSE TO YOU! —もっと近くに[KOSUGE 1—16] 1.10—3.1 福島県立美術館
小滝雅道展 12.3—12.15 コートギャラリー国立
Coppi個展 日々の発見のつらなり 12.11—12.25 マキイマサルファインアーツ
Aki Goto You Are The Universe[後藤 輝] 2.28—3.28 Take Nina-

gawa
美術手帖 921 工藤キキ
小西真奈「Portraits」展 2.28—4.4 アラタニウラノ
産経 3.4
コノキ・ミクオ展—変化と試みの画家—[此木三紅大] 4.4—5.24 東御市梅野記念絵画館
ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新 9.12—11.29 兵庫陶芸美術館(滋賀県立陶芸の森陶芸館、パナソニック電工汐留ミュージアム、岐阜県現代陶芸美術館、岩手県立美術館、静岡市美術館)
小鉢公史展 9.14—9.26 ギャラリー山口
産経 9.23 (和)
謎のデザイナー 小林かいちの世界伊香保保科美術館コレクション 7.11—8.23 ニューオータニ美術館
芸術新潮 718
日経 8.5 宝玉正彦
古径作品にみる秋の香り[小林古径] 9.12—11.29 小林古径記念美術館
陶・小林征児展 4.5—4.12 茨城県つくば美術館
陶説 675 外館和子
小林秀恒展 夭折の挿絵画家 1.3—3.29 弥生美術館
アート・ビジョンVOL.8 小林正人展—この星の絵の具 7.18—9.23 高梁市成羽美術館
美術手帖 928 蔵屋美香
日経 8.22 小川敦生
読売 9.17
MAM PROJECT 010 テレルヴォ・カルレイネン+オリヴァー・コフタ=カルレイネン 11.28—2.28 森美術館
駒井哲郎展 1.20—1.31 白銅鞮画廊
読売夕刊 1.27 (清)
長谷川潔と駒井哲郎 10.3—11.29 福岡市美術館
S氏コレクション 駒井哲郎PART I 11.20—11.28 ときの忘れもの
田中屋コレクション 小村雪岱×岩

平成21年美術展覧会(作コ、サ)

崎勝平 ひとを極める 1.24—3.22 川越市立美術館
新美術新聞 1176 濱田千里
小村雪岱とその時代 粋でモダンで繊細で 12.15—2.14 埼玉県立近代美術館
日経 12.19 小川敦生
読売 12.31 高野清見
小森忍 日本陶芸の幕開け 生誕120年記念 8.1—9.13 瀬戸市美術館
陶説 679 井上隆生
ゴヤの四大連作版画 姫路市立美術館所蔵[フランシスコ・デ・ゴヤ] 9.11—11.1 岐阜県美術館
書画と陶芸による遺作 小山富士夫塚本快示 小山岑一 三人展 3.13—3.19 万葉洞 七丁目店
小山やす子 品格とモダンの仮名 10.31—12.20 成田山書道美術館
毎日夕刊 12.10 桐山正寿
ボヘミアの山と心 ヨゼフ・ヴァーハルとイジー・コルナトフスキーの作品 9.26—10.12 高崎シェイギャラリー
アロイズ展[アロイズ・コルバス] 5.16—9.2 ワタリウム美術館
美術手帖 925 秋元康、長嶋一茂 談/山内宏泰 構成
朝日夕刊 7.8 西田健作
産経 6.3 渋谷和彦
東京夕刊 7.17 小林由比
日経 7.1 宝玉正彦
(サ)
齋藤逸郎 鉛筆画の異才 抽象への憧れ 2.24—3.29 藤沢市民ギャラリー
朝日夕刊 3.25
はまゆうの会[斉藤佳代] 7.13—7.18 銀座スルガ台画廊
齋藤真一展 賢女と哀愁の旅路 12.12—2.21 武蔵野市立吉祥寺美術館
斎藤ちさと 気体分子展 8.1—8.30 M7
芸術新潮 718
産経 8.19 (和)

齊藤典彦 新作展 4.29—5.6 数寄和
齋藤義重'09 複合体講義 4.8—5.16 T&S Gallery
From Above[ポーレ・サヴィアーノ] 3.13—4.12 Gallery ef(浅草)
毎日夕刊 3.13 前谷宏
佐伯健剛—陶— 5.9—5.17 祇をん 小西
陶説 677 梅田稔
人間国宝の名作陶磁展 酒井田柿右衛門・今泉今右衛門・中里太郎右衛門 人間国宝美術館所蔵 9.26—11.20 薩摩伝承館
坂上ちさと展 5.25—5.30 ギャラリー山口
産経 5.27
榊莫山展 詩・書・画の世界 3.25—3.31 高島屋(日本橋)
毎日夕刊 3.23 桐山正寿
フロンティア展[榊間弘勝] 9.28—10.3 銀座スルガ台画廊
建築家坂倉準三 モダニズムを生きる 人間、都市、空間 5.30—9.6 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
ART iT 24 橋本誠
朝日夕刊 8.27 大西若人
東京夕刊 8.14 五十嵐太郎
毎日夕刊 7.16 高階秀爾
読売 6.4 高野清見
建築家 坂倉準三展 モダニズムを住む 住宅、家具、デザイン 7.4—9.27 パナソニック電工汐留ミュージアム
朝日夕刊 8.27 大西若人
東京夕刊 8.14 五十嵐太郎
日経夕刊 7.6 窪田直子
毎日夕刊 7.16 高階秀爾
読売 8.7
サクサベウシオ展—浮波曲線2009— 4.28—5.24 メタル・アート・ミュージアム光の谷
佐久間香子個展 6.30—7.12 アートコンプレックス・センター
櫻田精一展—響きあう光・水・風を描く—生誕100年 11.28—1.24 千葉県立美術館
新美術新聞 1201 石崎千津子

櫻庭利弘油彩展—津軽の四季を描く— 10.12—10.18 ギャラリー近江
東京 10.15
下嶋知子展—眩しさの情景 11.15—12.13 奈義町現代美術館
笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン 10.9—11.8 茨城県つくば美術館
毎日夕刊 10.27 岸桂子
shiseido art egg 3回 佐々木加奈子展 Okinawa Ark 2.6—3.1 資生堂ギャラリー
東京夕刊 1.16
毎日夕刊 2.24 岸桂子
Drifted[佐々木加奈子] 2.13—3.14 MA2 ギャラリー
毎日夕刊 2.24 岸桂子
彫刻家・佐藤栄太郎と日本美術専門学校 11.12—3.14 サトエ記念21世紀美術館
佐藤敏「器飲房」展 7.14—7.19 ギャラリー紅
陶説 680 山中英之
佐藤潤絵画展 TREASURE 5.27—6.2 大丸(東京)
産経 5.27 村上智博
佐藤泰生展 揺れる時間 輝く時間 1.14—1.20 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋(名古屋)、高島屋(横浜))
新美術新聞 1172 中村隆夫
回顧 佐藤多持展—極限の美・水芭蕉曼荼羅— 9.12—9.21 コンテイナー
佐藤智美展—溶けゆく気配をいとおしんで— 10.10—11.8 奈義町現代美術館
天童が生んだ美術家シリーズ5 工芸家 佐藤正巳と日本画家 菅野圭文展 8.21—9.13 天童市美術館
perché—東北芸術工科大学院洋画3人展—[佐藤未希] 7.27—8.1 銀座スルガ台画廊
みんなだいすき“ばばあちゃん”さとうわきこ絵本原画展 6.19—8.2 天童市美術館
対照 佐内正史の写真 10.10—1.

11 川崎市岡本太郎美術館
美術手帖 932 松井みどり
朝日夕刊 12.16 大西若人
読売夕刊 12.28 (前)
セバスチャン・サルガド アフリカ 10.24—12.13 東京都写真美術館
朝日夕刊 11.27 会田法行
読売夕刊 12.7 (前)

(シ)

時空をこえたオブティミスト 建築家Borek Sipekの軌跡と作品展[ボジェック・シーベック] 9.16—10.7 東京芸術大学大学美術館陳列館
クリムト、シーレ ウィーン世紀末展 ウィーン・ミュージアム所蔵[エゴン・シーレ] 7.11—9.6 札幌芸術の森美術館(高島屋(日本橋)、サントリーミュージアム[天保山]、北九州市立美術館)
芸術新潮 719
ジェラティン展 4.11—5.9 小山登美夫ギャラリー
STUDIO VOICE 402
新収蔵品展 塩出英雄展—三溪園四季の歌— 5.28—7.8 三溪記念館
塩田千春展—流れる水 5.30—9.23 入善町下山芸術の森 発電所美術館
朝日夕刊 8.15 大西若人
鹿野貴司写真展 甦る五重塔 身延山久遠寺 7.2—7.8 キヤノンギャラリー銀座
毎日 7.3 松田嘉徳
式場庶子展 8.7—10.4 星と森の詩美術館
日経 9.2 竹田博志
レスポワール展43回 2009年新人選抜 重信拓也個展 穿—ugatsu— 2.9—2.14 銀座スルガ台画廊
重松あゆみ展 12.13—12.26 ギャラリー白3
陶説 683 外館和子
作家・庭園史家 重森三玲展 4.1—5.31 岡山県立美術館
篠原有司男展 8.17—9.5 ギャラ

リー山口
産経 8.26 洪沢和彦
毎日夕刊 8.25 岸桂子
読売夕刊 8.31 (清)
四宮金一展—浮遊空間から宇宙空間
に— 6.25—9.29 池田20世紀美
術館
NUDE!! NO NUDE!? by KISHIN
KISHIN×NADiff A/P/A/R/T
[篠山紀信] 4.1—4.22 NADiff
a/p/a/r/t
毎日 5.8
江戸の粋・明治の技—柴田是真の漆
×絵 エドソンコレクション初帰
国! 12.5—2.7 三井記念美術
館(相国寺承天閣美術館、富山県
水墨美術館)
新美術新聞 1204 小林祐子
東京夕刊 12.11 藤原工
日経 12.19
島崎庸夫展 見る目、生きた手、感
ずるころ。 2.8—3.29 高崎
市美術館
新美術新聞 1175 住田常生
美術の窓 308 高山淳
Emerging Artists 2009 新田友美・
浅井冴子・島崎りか 1.26—1.31
Gallery Q
島田鮎子展—たおやかな色と形—リ
ニューアル・オープン記念 4.25
—6.28 メナード美術館
嶋田しづ展 パリの詩情 “FRUC-
TUANT NEC MERGITUR” 東洋
と西洋との融和「パンドラの扉は
開かれる」 4.6—4.25 ギャルリ
ー東京ユマニテ
新美術新聞 1180 武田厚
毎日夕刊 4.16 岸桂子
島田忠幸彫刻展「Jerusalem」 11.
24—12.6 ギャラリーKINGYO
産経 12.2 (和)
現代日本の彫刻 金属を素材とした
作品を中心に—清水九兵衛と土谷
武 千葉市美術館の所蔵作品展示
10.31—1.17 千葉市美術館
東大寺と清水公照の世界 没後10
年 開館15周年記念 4.18—5.
31 姫路市書写の里・美術工芸館
The Creation 未開のモンゴル 清

水哲朗 写真展 11.26—12.2
キャノンギャラリー銀座
毎日 11.26 松田嘉徳
清水富美 染付のうつわ展 12.8—
12.13 ギャラリー字
まどかなる清水比庵 10.24—12.20
笠岡市立竹喬美術館
沈文燮展 4.8—4.25 村松画廊
読売夕刊 4.20 (菅)
大観・観山と日本美術院の画家たち
展[下村観山] 10.3—12.23 松
岡美術館
ローリー・シモンズ 5.23—6.20
小山登美夫ギャラリー
芸術新潮 715
描かれた哀愁—国吉康雄・野田英夫
・ベン・シャーン— 7.3—9.27
大川美術館
シャガールとルドン 春のコレクシ
ョン・版画展[マルク・シャガ
ール] 4.4—5.10 神奈川県立近代
美術館(鎌倉)
シャガールとパスキン 彷徨えるユ
ダヤの魂 10.28—2.11 北海道
立近代美術館
ドナルド・ジャッド展 — Donald
JUDD— 6.20—8.9 Fuji Xerox
Art Space
×Aプロジェクトno.8 首藤晃:ア
ンピヴァレント・オブジェクツ—
両義的な物体 9.11—3.22 青森
県立美術館
松花堂昭乗—先人たちへの憧憬—没
後三七〇年 10.24—12.13 八幡
市立松花堂美術館
庄司紗矢香展 5.22—6.13 ブンク
トゥム
日経 6.6
荘司福展 花、大地、山—自然を見
つめて 生誕100年 4.11—6.14
神奈川県立近代美術館(葉山)
新美術新聞 1181 橋秀文
刻を超えて 秋野不矩・荘司福…輝
きの女性画家二人展 10.3—11.8
浜松市秋野不矩美術館
祥洲の墨の世界2009—我、古典ヲ
愛ス— 3.20—4.1 マキイマサ
ルファインアーツ
下水道デー記念 地下探訪—足元に

広がる真実—[白汚零] 9.9—9.
12 池袋サンシャインシティアル
パ地下1階噴水広場
東京夕刊 9.9
白髪一雄—格闘から生まれた絵画—
4.25—6.14 安曇野市豊科近代美
術館(尼崎市総合文化センター、
碧南市藤井達吉現代美術館)
芸術新潮 722
新美術新聞 1185 澤田龍太郎
読売 6.4 高野清見
白髪一雄—格闘から生まれた絵画—
10.31—12.27 横須賀美術館
朝日夕刊 12.9 西田健作
日経 12.11 宝玉正彦
毎日夕刊 11.10 岸桂子
しりあがり寿展「ワシはもう寝る。」
12.7—12.26 ASK? art space
kimura
芸術新潮 722
神内康年展「On the floor」 6.23—
7.5 ギャラリーマロニエ
陶説 678 梅田稔

(ス)

浪速の絵師 菅楯彦の画業『職業婦
人絵巻』 4.1—5.17 関西大学博
物館
天童が生んだ美術家シリーズ5
工芸家 佐藤正巳と日本画家 菅
野圭文展 8.21—9.13 天童市美
術館
菅野由美子展 1.13—1.31 ギャル
リー東京ユマニテ
菅原健彦展 9.18—11.8 岡崎市美
術博物館
芸術新潮 722
日経 9.19
日経 10.14 宝玉正彦
菅原健彦展 11.15—12.27 練馬区
立美術館
朝日夕刊 12.2 田中三蔵
毎日夕刊 12.14 岸桂子
〈写生〉のイマジネーション 杉浦非
水の眼と手 11.22—1.17 宇都
宮美術館
阿部真理子 イラストレーション+
ディレクション 杉崎真之助
JAGDA TOKYO第10回 展覧会

6.30—7.4 JAGDA TOKYO
毎日夕刊 6.23 桐山正寿
杉村眞悟 日本画展 11.9—11.14
銀座スルガ台画廊
杉本博司 歴史の歴史 4.14—6.7
国立国際美術館
芸術新潮 713
視覚の現場 四季の結び 2 吉
村良夫
石上純也+杉本博司 8.1—8.29
ギャラリー小柳
朝日夕刊 8.5 大西若人
杉本博司—光の自然〔じねん〕 IZU
PHOTO MUSEUM 開館展 10.
26—3.16 IZU PHOTO MUSEUM
産経 11.2 篠原知存
東京夕刊 11.13 児島やよい
杉山明博造形の世界 親と子で遊ぶ
木のぬくもり 7.18—9.13 姫路
市書写の里・美術芸芸館
パチンコ誕生 シネマの世紀の大衆
娯楽 杉山一夫展 2.10—2.21
新井画廊
読売夕刊 2.17 (清)
鈴木新 旅のスケッチ展2009 晩
秋のバリ 9.29—10.4 アートス
ベースリバーナ
不二の志望—人間国宝・鈴木藏展
高島屋美術部創設百年記念 4.15
—4.21 高島屋(日本橋)
東京 4.16
鈴木かよ展 11.9—11.15 Oギャ
ラリー
美術手帖 932 弘中智子
琳派展XII 鈴木其一—江戸琳派の
風雲児— 9.19—12.13 細見美
術館
鈴木五郎の四都物語 志野 2.18—
2.24 高島屋(大阪)
陶説 675 柴辻政彦
鈴木五郎の四都物語 黄瀬戸 2.18
—2.24 高島屋(日本橋)
陶説 674 唐澤昌宏
書聖 鈴木翠軒展 生誕百二十年
6.20—8.16 田原市博物館/渥美
郷土資料館
鈴木卓展 2.3—2.10 SAVOIR VIVRE
陶説 673 唐澤昌宏
鈴木竹柏展 一気・象— 4.22—

4.28 高島屋(日本橋)(高島屋(大
阪)、高島屋(京都)、高島屋(名古
屋)、高島屋(横浜)、高島屋(米
子))
回顧 鈴木千久馬展 2.28—3.6
上野の森美術館
新美術新聞 1176 日野耕之祐
鈴木徹個展 新緑燃ゆる 5.16—
5.21 黒田陶苑
陶説 676 唐澤昌宏
鈴木富雄 志野八彩展 6.24—6.30
三越(日本橋)
産経 6.10
鈴木久雄 散距離 Scattered Dis-
tance 1.17—2.7 島田画廊
鈴木広志展「月ニテ、、、人間人
形ノ糸ヲ引ク」 12.11—12.25
マキイマサルファインアーツ
鈴木幹夫展 横たわる人たち
11.21—12.13 北九州市立美術館
鈴木涼子作品展 『ANIKORA—
Kawaii』 7.7—7.31 ツァイト・
フォト・サロン
芸術新潮 717
レスポワール展43回 2009年新人
選抜 須田千恵個展 3.23—3.28
銀座スルガ台画廊
睡蓮池のほとりにて モネと須田悦
弘、伊藤存 10.28—2.28 大山
崎山荘美術館
波打ち際 鷺見和紀郎 5.18—6.6
ギャラリーメスタージャ
諏訪敦 10.10—11.7 キドプレス
毎日夕刊 10.27

(セ)

関頌亭の世界 9.4—9.13 画廊岳
毎日 9.11 明珍美紀
関合正明展 慈しみのまなざし
1.4—3.22 神奈川県立近代美術
館(鎌倉別館)
関口正浩「うまく見れない」 5.30—
7.11 児玉画廊
美術手帖 927 清水穰
十日町のはたや 関口良一の手仕事
・回顧展 9.3—9.6 十日町市内
古民家町屋
日経 9.2 竹田博志
妹島和世による空間デザイン

COMME des GARÇONS 10.31
—1.17 東京都現代美術館
瀬谷容子展 永遠[とわ]なる色彩の
賛美 12.16—12.27 宇都宮美術
館
瀬谷豊—地平線— 10.16—10.28
マキイマサルファインアーツ
人間国宝 芹沢銈介と源流への旅路
ある染織家が求めた美のルーツ
1.9—2.15 岐阜県美術館
型絵染の骨格 芹沢銈介の型紙
6.6—8.30 静岡市立芹沢銈介美
術館
仙厓展 九州大学文学部所蔵中山森
彦コレクション 10.3—11.29
福岡市美術館

(ソ)

ミヒヤエル・ゾーヴァ展 描かれた
不思議な世界 9.4—9.27 そご
う美術館
コスチューム・イン・プレイ[曽根
裕] 11.17—11.23 松本市美術
館

(タ)

TRESOM 醍醐イサム・平澤重信
・ミズテツオ 4.17—4.29 ギャ
ラリー絵夢
醍醐イサム個展 5.28—6.2 Gal-
lery銀座一丁目
醍醐イサム個展 ヒトヒカリ 7.16
—7.28 紀伊国屋画廊
醍醐イサム個展 オトヒカリ 11.10
—11.22 Galleryクラマー
20 クラインダイサムアーキテク
ツの建築[マーク・ダイサム]
4.8—6.6 ギャラリー・間
朝日夕刊 5.27 大西若人
産経 5.25 篠原知存
大道あや展 けとばし山のおてんば
画家 生誕100年記念 3.4—4.13
佐喜眞美術館
朝日 3.17 田中京子
高木東扇展 没後十年 3.7—4.26
成田山書道美術館
2009コレクション展III 高島野十
郎—至福のであい 10.6—12.6
福岡県立美術館

田頭由起 陶展 1.21—1.27 高島屋(京都)
 陶説 674 梅田稔
 世田谷区芸術アワード“飛翔”2008
 美術部門受賞作品展 高田安規子、政子作品展 10.27—11.8 世田谷美術館
 生きること—高田博厚と実篤— 10.24—11.29 調布市武者小路実篤記念館
 世田谷区芸術アワード“飛翔”2008
 美術部門受賞作品展 高田安規子、政子作品展 10.27—11.8 世田谷美術館
 高梨豊 光のフィールドノート 1.20—3.8 東京国立近代美術館 毎日夕刊 2.17 飯沢耕太郎 読売 2.12 前田恭二
 高波壮太郎展 2.11—2.17 高島屋(日本橋) 日経 2.18 竹田博志
 高野文子挿絵展—ねたあとに— 3.20—4.2 朝日新聞東京本社コンコース 朝日 3.21
 高松次郎 | 鷹野隆大 “写真の写真”と写真 第5回太宰府天満宮アートプログラム 2.14—3.15 太宰府天満宮宝物殿 美術手帖 920 松井みどり
 高橋克之新作展 12.4—12.22 東邦画廊
 アート&テクノロジー—高橋匡太 / 疋田淳喜 / 吉岡俊直— 10.23—12.4 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009 光の航跡 高橋匡太 11.22—12.24 せんだいメディアテーク
 高橋節郎—時空のヴィジョン— ミュンスター漆工芸博物館企画 1.6—3.29 豊田市美術館 新美術新聞 1173 田境志保
 レスポワール展43回 2009年新人選抜 高橋朋子個展 4.20—4.25 銀座スルガ台画廊
 高橋治希—磁器の蔓草— 11.2—11.26 INAXギャラリー2 産経 11.11 (和)

高橋まゆみ創作人形展 故郷からのおくりものふたび 2.7—3.29 宮崎県総合博物館
 高橋まゆみ 創作人形—故郷からのおくりもの— 8.25—9.23 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
 高橋由一と日本近代洋画 12.5—3.26 笠間日動美術館
 高橋淑人個展 …and so what a beautiful day it is again, today 10.7—11.1 東京画廊+BTAP
 高橋留美子展 It's a Runic World 12.5—1.17 北海道立函館美術館
 高松和樹展—距離感主義— 4.24—5.23 ギャラリー戸村
 高松次郎 コレクション in Hiroshima 2.14—5.24 広島市現代美術館 美術手帖 920 松井みどり
 高松次郎 | 鷹野隆大 “写真の写真”と写真 第5回太宰府天満宮アートプログラム 2.15—3.15 太宰府天満宮宝物殿 美術手帖 920 松井みどり
 高山辰雄 文芸春秋表紙絵展 限りなき時の中に 11.2—11.8 シンワアートミュージアム 新美術新聞 1199 野地耕一郎
 瀧口修造の光跡! 「美というもの」 6.29—7.11 森岡書店
 はなたれ小僧は元気な子—さよなら 滝平二郎—遺作展 12.19—2.3 通信総合博物館 毎日夕刊 12.15
 滝波重人 第二期所蔵品展 7.11—9.27 横須賀美術館
 田口行弘 Über — performative sketch 10.6—11.7 無人島プロジェクト 産経 10.28 (和) 読売夕刊 11.2 (市)
 竹内紘三 作陶展 2.2—2.7 桃居陶説 673 唐澤昌宏
 早見芸術学園造形研究所NIHONGA塾 第13期生卒業制作展 View of expression[竹田圭葉] 2.12—2.21 ギャラリーなつか
 竹田大助・再考 7.1—7.31 白土

舎
 読売夕刊 7.6 (市)
 武田浪・荻野丹雪二人展 12.15—12.20 画廊ぐれごりお 陶説 683 梅田稔
 竹久夢二 山へよする物語 竹久夢二生誕125周年記念 5.23—3.20 竹久夢二伊香保記念館
 夢二装幀事始—夢二で見る近代日本装幀のあゆみ—[竹久夢二] 10.1—12.23 竹久夢二美術館 東京 12.5 中里宏
 千住閑屋の文人 建部巢光 3.15—5.17 足立区立郷土博物館 東京 4.4 中里宏
 太宰治と美術—故郷と自画像 生誕100年記念 7.11—9.6 青森県立美術館
 田嶋悦子展 9.30—10.19 高島屋(日本橋) 陶説 683 唐澤昌宏
 笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン 10.9—11.8 茨城県つくば美術館 毎日夕刊 10.27 岸桂子
 多田正美 風景の場・夏 10.10—11.1 SOH GALLERY K3
 多田美波展—光を集める人— 10.3—12.6 彫刻の森美術館 朝日夕刊 10.21 田中三蔵 産経 10.14 渋谷和彦 毎日 11.25 岸桂子
 館勝生展 1.26—2.1 Oギャラリー 産経 1.29 (和)
 館勝生 8.24—9.5 ギャラリー白
 立花英久 塑像展 5.16—5.24 サボア・ヴィーブル 芸術新潮 715
 造形家 立原道造 パステル画から自装詩集まで 10.6—3.14 立原道造記念館 産経 11.11 渋谷和彦
 建畠覚造展 2.16—2.28 ギャラリー一口 産経 2.22 渋谷和彦
 田所浩日本画展—ふるさと奈良・大和への想い— 5.28—8.2 奈良県立万葉文化館
 田名網敬一展 11.7—12.19 NAN-

ZUKA UNDERGROUND
産経 11.18 渋谷和彦
田中孝視 写真展—大地と躍動—
10.24—11.23 石神の丘美術館
ふたつの世界—石阪春生・田中徳喜
作品選 新収蔵作品を中心として
— 2.26—5.31 神戸ゆかりの美
術館
PIANISSIMO 田中みぎわ／留守玲
—冬の浜辺から— 12.13—2.14
茅ヶ崎市美術館
perché—東北芸術工科大学院洋画3
人展—[田中康祐] 7.27—8.1
銀座スルガ台画廊
谷内六郎展 思い出の散歩 9.9—
11.8 高崎市美術館
谷川夏樹展—ISLANDS IN BLOOM
— 12.14—12.25 ギャラリー新
居(東京)
美術の国徳島II 谷口董美、山下菊
二兄弟 故郷のイメージを描く
9.5—10.12 徳島県立近代美術館
谷口吉郎とノグチ・ルーム 10.6—
10.17 慶応義塾大学
東茅 断面の時代 横浜美術館開館
20周年記念 12.11—3.3 横浜美
術館(国立国際美術館)
新美術新聞 1202 逢坂恵理子
東茅 ハウス 12.20—2.14 ギャ
ラリー小柳
読売夕刊 2.10 (前)
田淵俊夫 智積院講堂襖絵完成記念
1.14—1.27 高島屋(日本橋)(高
島屋(大阪)、高島屋(横浜)、高島
屋(名古屋)、高島屋(京都)、今治
市大三島美術館)
毎日夕刊 1.22 岸桂子
田村淳一郎 写真展—昭和の農村—
酒田市土門拳文化奨励賞受賞記
念 9.19—10.18 石神の丘美術
館
田村能里子—美神たちのざわめき—
10.15—11.7 和光ホール
毎日夕刊 10.20 岸桂子
田村理恵子 写真展 1.8—1.29
丸の内ギャラリー
芸術新潮 711
ダリウス展 墨から光へ 7.17—
7.29 マキイマサルファインアー

ツ
多和田有希 「Missing Folklore」
4.10—5.9 TARO NASU(東京)
芸術新潮 714
朝日 4.27 杉本宏

(チ)

PARANOMIA[遅鵬] 2.21—5.10
DIESEL DENIM GALLERY
AOYAMA
STUDIO VOICE 401 編集部
智内兄助展 5.29—6.20 ギャルリ
ーためなが
芸術新潮 716
千葉勝展 トスカーナの風に抱かれ
て 12.12—2.14 岩手県立美術
館
スーザン・チャンチオロ「紫の山と
ライラックの空」 11.27—12.12
GALLERY SIDE 2
美術手帖 933 工藤キキ
スーザン・チャンチオロ「The wis
dom of flowers」 11.28—12.4
Vacant
美術手帖 933 工藤キキ
全光榮展 世界を魅了した韓紙アー
トの傑作 2.14—3.15 森アーツ
センターギャラリー
芸術新潮 712
美術手帖 921 鄭新永
朝日夕刊 3.11 大西若人

チョン・ジュンホ個展 「BLESS
YOU」 11.20—12.25 SCAI
THE BATHHOUSE
芸術新潮 722

Chim ↑ Pom 「広島！」 3.20—
3.22 Vacant
産経 3.13 猪谷千香
美術手帖 922 東谷隆司
美術手帖 922 松井みどり

(ツ)

ツァオ・フェイ Live in RMB City
10.27—12.20 資生堂ギャラリー
東京夕刊 11.27 岡部あおみ
毎日夕刊 11.2 岸桂子
読売夕刊 11.30 (清)
ツェ・スーメイ 2.7—5.10 水戸
芸術館現代美術ギャラリー

STUDIO VOICE 400 松本雅延
朝日夕刊 3.4 大西若人
日経 2.19
毎日夕刊 2.18 三田晴夫
読売夕刊 4.27 (前)
「和の会」展「越夢義」 5.11—5.17
月光荘画室2
産経 5.10
書画と陶芸による遺作 小山富士夫
塚本快示 小山岑一 三人展
3.13—3.19 万葉洞 七丁目店
塚本満 陶芸展 12.5—2.7 瀬戸
市美術館
陶説 684 井上隆生
芳年—「風俗三十二相」と「月百姿」—
[月岡芳年] 5.1—6.26 太田記
念美術館
佃弘樹個展 Recollections 9.26—
10.24 NANZUKA UNDER-
GROUND
産経 10.14 (和)
都路華香と京都の日本画 5.16—
7.12 笠岡市立竹喬美術館
三人展 古賀けい子・辻ますみ・
室井慶子 12.21—12.26 銀座ス
ルガ台画廊
津田直 果てのレラ 7.11—8.16
一宮市三岸節子記念美術館
土田麦僊 近代日本画の理想を求め
て 9.19—11.3 新潟県立近代美
術館
現代日本の彫刻 金属を素材とした
作品を中心に—清水九兵衛と土谷
武 千葉市美術館の所蔵作品展示
10.31—1.17 千葉市美術館
ドキュメンタリー作家 土本典昭
6.30—8.30 東京国立近代美術館
フィルムセンター
彫刻／／新時代vol.3 土屋仁応展
3.4—3.23 高島屋(日本橋)
毎日夕刊 3.17 岸桂子
フロンティア展「堤英郎」 9.28—
10.3 銀座スルガ台画廊
椿 昇 2004—2009 NOBORU
TSUBAKI : GOLD / WHITE /
BLACK 2.17—3.29 京都国立
近代美術館
視覚の現場 四季の綻び 1 吉
村良夫

STUDIO VOICE 400 新川貴詩
朝日 3.21 森本俊司
日経 3.1 郷原信之
読売 3.5 木村未来

(テ)

都市へ仕掛ける建築 ディナー&
ディナーの試み 1.17—3.22
東京オペラシティアートギャラリー

三人三様 勅使河原蒼風 土門拳
亀倉雄策 6.13—8.23 土門拳記
念館
日経 8.13

手塚治虫 未来へのメッセージ 生
誕 80 周年記念 4.18—6.21 江
戸東京博物館
読売夕刊 5.18 三浦しをん

手塚登久夫石彫展 9.19—10.25
小杉放菴記念日光美術館

出店久夫展 百個繚乱 7.4—7.26
双ギャラリー

ターシャ・テューダ展 7.19—8.30
高崎市美術館

ラウル・デュフィ展 4.18—6.28
三鷹市美術ギャラリー(足利市立
美術館、美術館「えき」KYOTO、
大分市美術館)

寺島みどり展—見えていた風景—
6.21—7.26 奈義町現代美術館

寺田真由美展 1.15—2.28 ペイス
ギャラリー

芸術新潮 711

寺本守 銀彩展 3.24—3.30 三越
(日本橋)

陶説 674 外館和子

(ト)

サンテリ・トゥオリ展 『命のすみ
か—森、赤いシャツ、東京』 9.9
—9.27 スパイラルガーデン

朝日夕刊 9.16 大西若人
東松照明展 —色相と肌触り 長崎
— 10.3—11.29 長崎県美術館
朝日夕刊 11.14 西正之

印象作品の表裏—本画と下絵—
12.4—3.7 京都府立堂本印象美
術館

21世紀の作家—福岡 bis2009[遠

山裕崇] 1.6—3.29 福岡市美術
館

〈人々のものがたり〉Part2 利根山
光人とマヤ・アステカの拓本
7.16—9.11 世田谷美術館

変成態—リアルな現代の物質性VOL.
2 揺れ動く物性 富井大裕×中
西信洋 6.13—7.18 ギャラリー
αM

福岡鉄斎と近代日本画—伝統と近代
的感性— 1.6—2.15 大和文華
館

鉄斎の器玩—匠との共演— 1.8—
3.8 鉄斎美術館

鉄斎—先賢を画く— 3.11—5.6
鉄斎美術館

鉄斎の粉本—本画にいたる道—
5.9—8.2 鉄斎美術館

鉄斎—書巻の気あふれる書— 10.7
—12.13 鉄斎美術館

福岡鉄斎—墨に戯れ、彩に遊ぶ—住
友コレクション 10.24—12.6

泉屋博古館
新美術新聞 1200 実方葉子

富田溪仙 京都画壇の風雲児 生誕
130年記念 8.8—9.23 茨城県
近代美術館(福岡市美術館)
毎日夕刊 9.1 岸桂子

土門拳の昭和 生誕100年記念
2.24—3.8 三越(日本橋)(高崎市
タワー美術館)

三人三様 勅使河原蒼風 土門拳
亀倉雄策 6.13—8.23 土門拳記
念館
日経 8.13

Blank Space [豊久将三] 11.7—
11.29 ポーラミュージアム ア
ネックス

東京 11.23 小林由比
毎日夕刊 11.19 岸桂子

島海茂雄写真展 The Autumnal
Equinox —秋分— 9.18—9.30
マキイマサルファインアーツ

(ナ)

写真と民俗学 内藤正敏の「めくる
めく東北」 10.3—11.8 武蔵野
市立吉祥寺美術館

内藤礼 すべて動物は、世界の内に

ちようど水の中に水があるように
存在している 11.14—1.24 神
奈川県立近代美術館(鎌倉)

永井一正の版画 1.6—2.15 福岡
市美術館

中井恒夫—東京 原爆— 7.13—
8.1 秋山画廊

長江録彌彫刻展 10.1—11.29 瀬
戸市美術館

産経 10.19

ねりまの美術 2009 中尾彰—津和
野・東京・夢科—展 2.21—3.29
練馬区立美術館(島根県立石見美
術館、茅野市美術館)

中岡真珠美展 4.28—5.31 アート
フロントグラフィックス

産経 5.20 (和)

微笑みの降る星 長倉洋写真—ぼ
くが会った子どもたち— 10.6
—10.12 三越(日本橋)

中畔千嘉展 6.29—7.4 銀座スル
ガ台画廊

21世紀の作家—福岡 bis2009[中
崎博之] 1.6—3.29 福岡市美術
館

中里太亀 酒と食の器2009 2.23
—2.28 万葉洞七丁目店

人間国宝の名作陶磁展 酒井田柿右
衛門・今泉今右衛門・中里太郎右
衛門 人間国宝美術館所蔵 9.26
—11.20 薩摩伝承館

永澤永信展 白の彩 8.29—9.27
明石市立文化博物館

長澤和仁展 6.20—7.26 ギャラリ
—なうふ

陶説 678 井上隆生

中沢研展 6.9—8.29 アンダーギ
ャラリー

毎日夕刊 7.15 三田晴夫

夏の個展2009 中ザワヒデキ
7.29—9.5 GALLERY CELLAR

NAGASAWA IN KAWAJIMA 長澤英
俊展—夢うつつの庭— 7.18—9.
23 遠山記念館

朝日夕刊 9.2 大西若人
産経 8.19 渋谷和彦

毎日夕刊 8.13 三田晴夫
読売 9.10 高野清見

長澤英俊 オーロラの向かう所

7.18—9.23 川越市立美術館／埼玉県立近代美術館(国立国際美術館、神奈川県立近代美術館(葉山)、長崎県美術館)
美術手帖 930 沢山達
朝日夕刊 9.2 大西若人
産経 8.19 沢沢和彦
毎日夕刊 8.13 三田晴夫
読売 9.10 高野清見

中島祥文 考えるデザイン 9.16—10.12 多摩美術大学美術館

古典織物の美 中島洋一展 3.14—3.21 数寄和(数寄和大津)
毎日夕刊 3.19 桐山正寿

釉裏銀彩 中田一於 作陶展 1.27—2.2 三越(日本橋)
陶説 672 唐澤昌宏

仲田光成・森田子龍展 7.28—8.2 東京セントラル美術館
毎日夕刊 7.30 桐山正寿

永田萌の世界—水の国の妖精たち— 12.20—12.26 成安造形大学(長浜文化芸術会館、藤樹の里文化芸術会館)

田原の美術新収蔵—仲谷孝夫展 愛と生 5.15—6.14 田原市博物館

五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009 霧と遊ぶ 28年目の《霧の彫刻》[中谷芙二子] 11.28—12.13 宮城県美術館

元永定正+中辻悦子絵本原画展 もーやんえっちゃん ええほんのえ 5.30—7.5 新潟市新津美術館(倉敷市立美術館、下関市立美術館)

中西夏之 習慣—日射の中で 1.13—1.31 ギャラリー21+葉

中西夏之 アーカイブ 作品“I字型—左右の停止—V”1986による 1.15—2.1 gallery21yo—j

変成態—リアルな現代の物質性VOL. 2 揺れ動く物性 富井大裕×中西信洋 6.13—7.18 ギャラリーαM

中西勝展 1.24—4.5 神戸市立小磯記念美術館

長野重一写真展 「色・いろいろ」 1.5—1.21 アイデムフォトギャラリー[シリウス]
読売夕刊 1.13 (前)

中野北溟個展 「津軽／TSUGARU」 1.6—1.31 東京画廊+BTAP
毎日夕刊 1.13 桐山正寿

中野北溟の世界 9.19—10.18 北海道立近代美術館
毎日夕刊 10.6 桐山正寿

中林忠良銅版画—すべて腐らないものはない— 6.27—8.2 町田市立国際版画美術館
新美術新聞 1187 河野実
朝日夕刊 7.9 田中三蔵

江戸時代尾張の絵画 巨匠 中林竹洞 4.1—5.6 名古屋城天守閣

変成態—リアルな現代の物質性VOL. 1 中原浩大 5.17—5.26 ギャラリーαM
美術手帖 923 榎木野衣
毎日夕刊 5.14 三田晴夫

中村征夫写真展 命めぐる海 7.4—9.6 秋田県立近代美術館

2008コレクション展III 中村琢二と風景画の魅力 2.21—4.12 福岡県立美術館

中村正展 Selfish garden 2.27—3.4 マキイマサルファインアーツ

小人たちの歌がきこえる—自然と戯れるなつかしく、心やさしい世界へ[中村都夢] 4.7—4.13 伊東屋(銀座)
毎日 4.4 滝野隆治

中村宏展—1955—2005— —墨・油彩・アクリル・版画・ブロンズ— 4.20—5.16 ギャラリー川船
日経 5.13 宝玉正彦

中村正義 画家のまなざし展 3.1—5.31 中村正義の美術館

21作品との新たな出会い[中村正義] 9.4—11.29 中村正義の美術館

田原の美術 大羽梧郎・工藤和男・仲谷孝夫 「海を描く」 10.31—12.6 田原市渥美郷土資料館

中山保夫—品格の洋食器— 4.7—6.28 岐阜県現代陶芸美術館
陶説 676 井上隆生

流政之展—建築と彫刻— 3.26—5.15 ギャラリーA⁴
産経 4.15

東京夕刊 5.1 五十嵐太郎

銀座界限限ガヤガヤ青春ショー —言い出しつ横尾忠則— 瀬本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠則4人展 9.2—9.29 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
毎日夕刊 9.24 岸桂子

奈良裕功素描展 12.5—2.15 秋田県立近代美術館

檜橋朝子写真展 2009／1989 「近づいては遠ざかる」 9.5—12.27 東京アートミュージアム
朝日夕刊 12.16 大西若人
日経 11.4 宝玉正彦

L_B_S／名和晃平展 6.19—9.23 メゾンエルメス8階フォーラム
芸術新潮 716
美術手帖 927 栗田大輔
産経 6.24 篠原知存
日経 8.20 平野啓一郎
毎日夕刊 7.7 岸桂子

(二)

愛と情熱の画家 鳩川誠一展—壁画「海女人名救助」— 日本メキシコ交流400周年事業 9.5—10.18 茂原市立美術館・郷土資料館

西尾康之個展 「DROWN」 1.10—2.7 山本現代
芸術新潮 711
産経 1.29 沢沢和彦

コスチューム・イン・プレイ[西尾美也] 11.17—11.23 松本市美術館

西澤諭志—写真／絶景— そこにあるもの— 5.1—5.27 INAXギャラリー2

西島直紀展 遠近と時間と 6.8—6.27 ギャラリー東京ユマニテ

西野達「バレたらどうする」 5.9—6.13 アラタニウラノ
美術手帖 925 保坂健二郎
産経 5.13 (和)
読売夕刊 5.18 (清)

西ノ宮佳代 大慶—Grand Celebration— 7.25—8.29 ギャラリー・アートアンリミテッド
芸術新潮 717

生き物たちと共に 西ノ宮佳代／吉

澤美香 12.5—12.26 ギャラリー
ー・アートアンリミテッド
西山英雄展 豪壮華麗な画風を拓い
た画家 没後20年 10.1—11.3
鹿児島市立美術館
広瀬光治と西山美なコの“ニットカ
フェ・イン・マイルーム” 4.29
—3.22 金沢21世紀美術館
日経夕刊 7.28 小川敦生
Emerging Artists 2009 新田友美・
浅井冨子・島崎りか 1.26—1.31
Gallery Q
榎木令子展—クロノス— 11.14—
12.6 SOH GALLERY K3

(ヌ)

ノエル・ヌエット展—東京を愛した
仏蘭西人— 没後40年 7.3—9.
27 ガスミュージアム
毎日 7.29
塗師祥一郎 油絵展 6.3—6.9 三
越(日本橋)
新美術新聞 1185 武田厚

(ネ)

根岸文子展 3.13—3.28 ときの忘
れもの

(ノ)

盧慶美 藍染 7.4—7.12 アート
コンプレックス・センター
美術コレクションⅠ イサム・ノグ
チ—空間と光との対話— 4.10—
5.13 香川県立ミュージアム
グラフィックデザイナー野口久光の
世界 香りたつフランス映画ポス
ター 生誕100年記念 11.28—
12.27 ニューオータニ美術館
東京 11.27
光 松本陽子／野口里佳 8.19—
10.19 国立新美術館
芸術新潮 718
美術手帖 928 光田ゆり
朝日夕刊 10.1 大西若人
日経 9.9 小川敦生
毎日夕刊 9.9 三田晴夫
野島康三 ある写真家が見た日本近
代 生誕120年 7.28—8.23 京
都国立近代美術館

日経夕刊 8.11 窪田直子
野島康三 肖像の核心 生誕120年
9.29—11.15 渋谷区立松涛美術
館
朝日夕刊 11.4 大西若人
産経 10.19 篠原知存
毎日夕刊 11.9 岸桂子
野田哲也展 日記：自選 4.8—4.
25 ギャラリー五辻
産経 4.8 (知)
描かれた哀愁—国吉康雄・野田英夫
・ベン・シャーン— 7.3—9.27
大川美術館
野田裕一—不在の記号— 10.5—
10.24 ギャラリー東京ユマニテ
地域の作家 野中章光・渡辺勲展
4.11—5.31 川上澄生美術館
早見芸術学園造形研究所NIHONGA
塾 第13期生卒業制作展 View
of expression[野堀佳代子] 2.12
—2.21 ギャラリーなつか
2009コレクション展Ⅰ 野見山暁治
—エソラのかたち 4.18—6.28
福岡県立美術館
野見山暁治 版画・ゴーフラージュ
10.5—10.17 みゆき画廊
毎日夕刊 10.13 岸桂子
野村仁 変化する相—時・場・身体
5.27—7.27 国立新美術館
芸術新潮 715
美術手帖 925 鷹見明彦
朝日夕刊 7.15
産経 7.1 渋谷和彦
東京夕刊 7.10 児島やよい
毎日夕刊 7.14 岸桂子
読売 7.2 前田恭二
野呂介石—紀州の豊かな山水を描く
— 10.27—12.6 和歌山県立博
物館

(ハ)

デール・バーニング たくさんの葉
とそのほかのビー玉のための入り
混じったアクセントによる練習曲
(サナエとウフェミ) 1.17—2.21
Take Ninagawa
STUDIO VOICE 399 杉原環樹
ハービー・山口写真展 ポートレ
ィ・オブ・ホープ—この一瞬を永

平成21年美術展覧会(作ニ〜ハ)

遠に— 6.20—8.16 川崎市市民
ミュージアム
毎日夕刊 6.16
イエツベ・ハイン 「Kuru Kuru」
1.16—2.28 SCAI THE BATH-
HOUSE
美術手帖 920 竹久佑
袴田京太郎展 6.29—7.11 コバヤ
シ画廊
産経 7.8 (和)
毎日夕刊 7.7 岸桂子
変成態—リアルな現代の物質性VOL.
5 袴田京太郎 10.24—11.21
ギャラリーαM
白隠の書画[白隠慧鶴] 9.24—11.
21 早稲田大学津八ー記念博物
館
ローマ 未来の原風景by HASHI
国立西洋美術館開館50周年記念
事業[橋村奉臣] 9.19—12.13
国立西洋美術館
橋本関雪展 4.25—6.7 姫路市立
美術館(富山県水墨美術館、島根
県立美術館、大丸ミュージアム
KYOTO)
趣味の水墨画 242
橋本聡 gift 5.9—6.7 CAMP/Otto
Mainzheim Gallery
美術手帖 927 中島水緒
シャガールとパスキン 彷徨えるユ
ダヤの魂[ジュール・パスキン]
10.28—2.11 北海道立近代美術
館
はまゆうの会[蓮田阿哉] 7.13—
7.18 銀座スルガ台画廊
鎌倉市名誉市民 蓮田修吾郎展
1.17—2.1 鎌倉芸術館
朝日夕刊 1.28 秋山亮太
長谷川潔展—パリのアトリエに遺さ
れた銅版画代表作と油絵— 5.14
—6.12 永井画廊
毎日夕刊 6.4 岸桂子
長谷川潔と駒井哲郎 10.3—11.29
福岡市美術館
長谷川三郎 日本抽象のパイオニア
1.4—2.8 明石市立文化博物館
蜂屋未来展 11.13—11.25 マキイ
マサルファインアーツ
戦争画の相貌—花岡萬舟連作—

6.15—7.11 早稲田大学會津八一
記念博物館
芸術新潮 716
花塚愛展—天地祝祭のかたち—陶の
粒子の万華鏡 やきもの新感覚シ
リーズ78回 7.10—8.4 INAXラ
イブミュージアム
陶説 678 井上隆生
江戸文化シリーズ25 —蝶リター
ンズ—元禄風流子 英一蝶の画業
—御赦免300年記念 9.5—10.12
板橋区立美術館
芸術新潮 718 安村敏信
趣味の水墨画 245
朝日夕刊 10.7 田中三蔵
日経 10.3 小川敦生
毎日 9.15 岸桂子
読売 9.10 前田恭二
馬場のぼる展 「11ぴきのねこ」が
やって来るニャゴ!ニャゴ!ニャ
ゴ! 7.29—9.6 青森県立美術
館
O〔馬場道浩〕4.20—5.17 Fireking
Cafe
毎日 4.29 明珍美紀
未公開の油彩作品群と、きらめく銅
版画 浜口陽三生誕100年記念
4.1—7.20 ミュゼ浜口陽三・ヤ
マサコレクション
芸術新潮 714
朝日夕刊 4.15 西田健作
浜口陽三 生誕百年記念 7.28—
8.30 和歌山県立近代美術館
銅版画の巨匠 浜口陽三 生誕100
年記念 9.1—10.3 城西国際大
学水田美術館
現代美術の発見III 浜田樹里 根源
の在処 あいちトリエンナーレ
2010プレイベント 8.28—10.25
愛知県美術館
濱田庄司の眼 アサヒビール創業
120周年記念 3.11—6.7 大山
崎山荘美術館
浜田泰介の世界 7.23—7.28 東武
(宇都宮)
新美術新聞 1188 ワシオトシヒ
コ
人間とは—探求する版画家 浜田知
明 4.24—5.17 大分市美術館

浜田知明—不条理とユーモア—
6.6—7.12 北九州市立美術館
濱野年宏展 —慈しみの世界観—
2.23—3.7 和光ホール
新美術新聞 1176 針生一郎
湘南と作家II 写真家濱谷浩の眼
没後10年 2.27—4.12 平塚市美
術館
えひめ発掘物語II&絵で見る考古学
—早川和子原画展— 4.25—6.14
愛媛県歴史文化博物館
風航路 早川義孝展 8.1—9.27
尾道市立美術館
新美術新聞 1191 安井収蔵
早川俊二展 Part I 3.24—4.8 ア
スクエア神田ギャラリー
日経 4.3 竹田博志
早川祐太/村岡佐知子 “from/to
#5” 7.16—8.8 ワコウ・ワー
クス・オブ・アート
芸術新潮 717
布で綴るフランスと日本〔林アメリ
ー〕 5.5—5.10 三越(日本橋)
毎日 4.27 合田月美
新宿・時代の貌—カストリ時代・文
士の時代— 林忠彦 写真展
10.31—12.19 新宿歴史博物館
東京 10.31 中沢穰
美術を遊ぶ展〔林真〕 10.24—11.29
稲沢市荻須記念美術館
keep distance 羽山まり子 7.24
—8.7 Joshibi Galleria nike
CLOSET 3 飯島真理子
速水御舟—日本画への挑戦—新美術
館開館記念 10.1—11.29 山種
美術館
新美術新聞 1196 平山郁夫
新美術新聞 1196 入江観
新美術新聞 1196 岡村桂三郎
美術手帖 932 榎木野衣
日経夕刊 10.10
毎日夕刊 10.13 岸桂子
読売 11.19 前田恭二
原憲司個展 3.28—4.2 黒田陶苑
陶説 674 唐澤昌宏
原研哉デザイン展 本 1.24—3.1
武蔵野市立吉祥寺美術館
朝日 2.10 寺下真理加
毎日 1.24 中村牧生

ルイス・バラガン邸をたずねる
9.9—1.24 ワタリウム美術館
日経 11.12 平野啓一郎
日経夕刊 7.6 窪田直子
毎日夕刊 12.24 永田晶子
読売 12.24 高野清見
NORIYUKI HARAGUCHI Society
and Matter〔原口典之展 社会と物
質〕 5.8—6.14 BankART Studio
NYK
美術手帖 923 暮沢剛巳
朝日夕刊 6.3 大西若人
産経 6.10 渋谷和彦
読売 5.21 菅原教夫
ヴェルナー・パントン 10.17—12.
27 東京オペラシティアートギャ
ラリー
芸術新潮 720

(ヒ)

稗田一穂展—風花春秋— 4.1—4.7
高島屋(日本橋)(高島屋(大阪)、
高島屋(京都)、高島屋(横浜)、高
島屋(名古屋))
毎日夕刊 4.1 岸桂子
日影眩新作展 9.10—9.29 東邦画
廊
産経 11.25 (和)
日影眩新作〈ザ・ニューヨーク・ス
トリート〉 11.4—11.28 東邦画
廊
変成態—リアルな現代の物質性VOL.
4 東恩納裕一 9.12—10.10
ギャラリーαM
東島毅展—絵画 光をまげる—
6.1—7.11 INAXギャラリー2
東山魁夷 大和春秋 10.23—11.29
市川市東山魁夷記念館
東山魁夷と昭和の日本画 没後10
年記念 開館記念特別展II 12.5
—1.31 山種美術館
果てしなき創造の欲望 ピカソの版
画展 11.12—12.23 下関市立美
術館
アート&テクノロジー—高橋匡太/
疋田淳喜/吉岡俊直— 10.23—
12.4 京都工芸繊維大学美術工芸
資料館
樋口朋之展 2.20—3.1 七針

ジョルジュ・ビゴー展 碧眼の浮世
絵師が斬る明治 7.11—8.23 東京
都写真美術館
東京 7.6
東京タ刊 8.4—6 三井圭司
日経 8.5 宝玉正彦
ワナー・ビショフ展 開館10周
年記念 2.28—4.19 昭和館
毎日 2.25 真野森作
「キタイギタイ」ひびのこづえ展—生
きもののかたち 服のかたち—
7.25—9.23 伊丹市立美術館
ビュフェとアナベル—愛と美の軌跡
展 ベルナル・ビュフェ没後
10年記念[ベルナル・ビュフ
エ] 7.29—8.31 そごう美術館
21世紀の作家—福岡 bis2009[平
岡昌也] 1.6—3.29 福岡市美術
館
平櫛田中 — 故郷 井原— 4.24—
6.21 井原市立田中美術館
TRESOM 醍醐イサム・平澤重信
・ミズテツオ 4.17—4.29 ギャ
ラリー絵夢
平田晃久 Flame frame 8.1—10.
31 タカ・イシイギャラリー
AXIS 141 川上典李子
現代美術の発見II 平田あすか“サ
ボテンノユメ” あいちトリエン
ナーレ2010プレイベント 6.12
—8.16 愛知県美術館
1 floor 2009「THREE DUBS」[平田
さち] 9.12—9.27 神戸アート
ビレッジセンター
五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009
平野治朗 137億光年の旅 11.18
—12.20 仙台市天文台
XEROXED—ZINEのような写真展
—[平野太呂] 9.19—9.27 ギャ
ラリーSLANT
美術手帖 931 高嶋雄一郎
平町公 大谷の図 3.15—3.30 上
野の森美術館
朝日夕刊 3.25 大西若人
平松礼二展 ジャパン・インパクト
3.2—3.28 ギャラリー桜の木
新美術新聞 1177 中村隆夫
平山郁夫と大いなるシルクロード
東西文化交流の架け橋—糸綱之路

の軌跡 パリ・三越エトワール婦
国記念 2.3—2.22 三越(日本
橋)
新美術新聞 1174 前田たつひこ
幕間 INTERVALLO展 アート/フ
ァッション/デザインのまくあ
い。[クリスティーネ・ビルクレ]
6.26—8.2 BankART Studio
NYK
毎日 7.22 永田晶子
廣江友和 Uneasy place 5.15—6.
13 MEGUMI OGITA GALLERY
芸術新潮 715
HIROKI個展 10.30—11.11 マキ
イマサルファインアーツ
廣瀬智央展 4.24—5.23 TKG代官
山
産経 5.6 (和)
郷土在住作家展II 2009 広瀬通秀
展 1.7—1.29 大分市美術館
広瀬光治と西山美なコの“ニットカ
フェ・イン・マイルーム” 4.29
—3.22 金沢21世紀美術館
日経夕刊 7.28 小川敦生
HIROMIX 早春、心の輝き 4.11
—5.16 hiromiyoshii
美術手帖 923 高橋瑞木

(フ)

Holly Farrell“Home and Sea” 3.17
—4.11 MEGUMI OGITA GAL-
LERY
芸術新潮 713
ハンス・フィッシャーの世界 メル
ヘンの国のマイスター 生誕100
年記念 4.10—5.17 天童市美術
館(山梨県立美術館)
ロブ・フィッシャー “Minimum
Maintenance Road”展 5.8—
5.14 東京工業大学世界文明セン
ター
FUKE[フウケイ]写真展—雪の鎮静
— 2.15—3.15 奈義町現代美術
館
ボワレとフォルチュニ—20世紀
モードを変えた男たち[マリアノ
・フォルチュニ] 1.31—3.31
東京都庭園美術館
THE OUTLINE 見えていない輪郭

展[深澤直人] 10.16—1.31 21
—21 DESIGN SIGHT
産経 11.25 渋谷和彦
日経 12.10 平野啓一郎
夏秋・洗山展 数田夏秋の拓本創作
表装と府川洗山の創作和装本
10.27—11.1 鳩居堂画廊
福沢一郎 大パノラマ展 4.11—
7.5 群馬県立近代美術館
福田豊四郎のデッサン力 2.7—
4.19 秋田県立近代美術館
福西三千春展—ブッダー 8.24—
8.29 銀座スルガ台画廊
福村龍哉展 2.9—2.28 ギャルリ
ー東京ユマニテ
—文字の肖像 藤井悦子の書 3.24
—3.29 徳島市立徳島城博物館
藤井孝次朗展—生成— 7.4—7.19
ぎやらりー由芽
画家としての藤井達吉—創作の原点
を求めて— 11.3—1.11 碧南市
藤井達吉現代美術館
THE OUTLINE 見えていない輪郭
展[藤井保] 10.16—1.31 21—
21 DESIGN SIGHT
産経 11.25 渋谷和彦
日経 12.10 平野啓一郎
藤井実佳 陶・記憶の生物 4.7—
5.2 INAXガレリアセラミカ
藤崎孝敏展 11.30—12.6 ギャラ
リー喜久田
美術の窓 317 (土)
藤城清治の世界展 光と影のファン
タジー 4.11—5.24 郡山市立美
術館
藤城清治 光と影の世界展 8.1—
9.23 京都府京都文化博物館
藤城清治展 光と影 9.11—10.18
銀座教文館 ウェンライトホール
芸術新潮 719
煌星会展[藤田和美] 11.30—12.5
銀座スルガ台画廊
藤田喬平展 ガラスの光彩—伝統と
創造— 1.17—2.22 千葉県立美
術館
新美術新聞 1173 金田雅成
毎日夕刊 2.19
文明と自然 藤田禅 11.21—12.13
北九州市立美術館

レオナルド・フジタ展—よみがえる
幻の壁画たち 6.12—7.21 そご
う美術館(松坂屋美術館、ベルナ
ール・ピュフェ美術館、大丸ミ
ュージアムKOBE)

日本画の巨匠VS陶画家・人間国宝
藤本能道 —美しき花鳥画の世界
— 7.30—11.30 人間国宝美術
館

朝日夕刊 11.18 田中三蔵

藤本能道展 命の残照のなかで
10.31—4.18 菊池寛実記念智美
美術館

朝日夕刊 11.18 田中三蔵

東京夕刊 11.14 (寿)

日経 12.23 竹田博志

日本芸術院会員記念 藤森兼明洋画
展 11.18—11.23 大和(高岡)
新美術新聞 1200 末永忠宏

新世代への視点2009 藤原彩人
7.28—8.9 gallery21yo—j

レスポワール展43回 2009年新人
選抜 船岳紘行個展 2.23—2.28
銀座スルガ台画廊

Robert Platt “huntorama 2” 4.25—
5.31 MUZZ PROGRAM SPACE
美術手帖 923 清水穰

トム・フリードマン展 Not Some-
thing Else 3.28—5.2 小山登美
夫ギャラリー京都
美術手帖 922 松井みどり

古川吉重の軌跡 米国に挑んだ抽象
画家 10.3—11.29 福岡市美術
館

古家万個展 “Real Imagination/現
想図Vol.1” 8.26—10.3 東京画
廊+BTAP

メアリー・ブレア展 ウォルトが信
じたひとりの女性。 7.18—10.4
東京都現代美術館
芸術新潮 717

読売 7.28

読売夕刊 9.19 ヨミウリ・ジュ
ニア・プレス取材班

ヨーゼフ・フレイシャーを中心とし
た 現代チェコ・ポスター展
3.23—5.1 京都工芸繊維大学美
術工芸資料館

(ヘ)

ジュゼッペ・ペノーネ展 7.7—
9.23 豊田市美術館
芸術新潮 717
朝日夕刊 7.29 西田健作

(ホ)

ヨーゼフ・ボイスの版画 2.17—
3.29 福岡市美術館

Beuys in Japan : ボイスがいた8日
間 10.31—1.24 水戸芸術館現
代美術ギャラリー

美術の窓 317 天野一夫

朝日夕刊 12.24 大西若人

毎日夕刊 12.24 三田晴夫

ホセ・グアダルーペ・ポサダ 名古
屋市美術館所蔵品による 7.4—
8.30 世田谷美術館

レスポワール展43回 2009年新人
選抜 星美加個展 4.13—4.18
銀座スルガ台画廊

星野富弘展 一枝の花とはいえ
6.6—6.28 川崎市市民ミュージ
アム

春らんまん—細川護熙 美の世界
4.28—5.6 常寂光寺
日経 5.20 竹田博志

細川護熙展 5.26—5.30 壺中居
陶説 677 光井玄空

ボナールの庭、マティスの室内—日
常という魅惑[ピエール・ボナ
ール] 9.12—3.7 ポーラ美術館

堀由樹子 車窓、午睡 3.28—4.18
パーソナルギャラリー地中海
産経 4.1

読売夕刊 4.6 (清)

堀内誠一 旅と絵本とデザインと
7.4—9.6 世田谷文学館
美術手帖 928 榎木野衣

レベッカ・ホルン 10.31—2.14
東京都現代美術館
芸術新潮 720

朝日夕刊 12.16 大西若人

ポワレとフォルチュニ—20世紀
モードを変えた男たち[ポール・
ポワレ] 1.31—3.31 東京都庭
園美術館

(マ)

クリスティーナ・マール 器—磁器
とガラス 7.29—8.4 高島屋(京
都)

陶説 679 梅田稔

前川俊一 陶芸展 10.13—10.18
堺町画廊

陶説 684 鈎真一

赤黒金銀緑青 前田正博の色絵
6.27—9.23 菊池寛実記念智美術
館

陶説 678 外館和子

毎日夕刊 8.17 岸桂子

前田正博の色絵いろいろ展 9.6—
9.13 現代陶芸寛土里
陶説 681 唐澤昌宏

牧島如鳩展 7.25—8.23 三鷹市美
術ギャラリー

朝日夕刊 8.12 大西若人

毎日夕刊 8.4 岸桂子

読売 8.7 前田恭二

牧野宗則展3回 北斎・広重から
の華麗なる展開 2.1—2.26 太
田記念美術館

正井和行展 月影さやかに—静かな
る心象 没後10年 5.16—6.21
明石市立文化博物館

真砂幽泉展 1.10—3.22 田辺市立
美術館

間島秀徳—Kinesis— 4.1—4.18
ギャラリーエアンドウ

間島秀徳 Kinesis/水の森—小杉
放菴とともに— 7.25—9.13 小
杉放菴記念日光美術館

マストワン個展 妖怪 6.27—8.1
NANZUKA UNDERGROUND
産経 7.22 (和)

増本泰斗 The World 9.2—9.13
ZAIMギャラリー
美術手帖 930 栗田大輔

松井守男を囲む コルシカのアーテ
ィスト展 10.1—10.4 スパイラ
ルガーデン
東京 10.3 久原穂

松浦寿夫—新作展— 1.13—1.30
なびす画廊

松尾敏男展 高島屋美術部創設百年
記念 10.14—10.20 高島屋(日

本橋(高島屋(大阪)、高島屋(名古屋)、高島屋(横浜)、高島屋(京都))
 新美術新聞 1197 草薙奈津子
 美術の窓 313 高山淳
 松岡映丘とその一門 1.6—3.1 山種美術館
 毎日夕刊 2.23
 松岡圭介—蠢くひとがた— 12.1—12.24 INAXギャラリー2
 芸術新潮 722
 シリーズ・ふるさとの群星Vol.7
 松倉唯司展—悠久の風景にいだかれて 6.20—8.31 太閤山ランドふるさとギャラリー
 松崎宏史個展 Studies on Everyday Flow—ers 3.6—3.18 マキイマサルファインアーツ
 松下誠子展 Mother's Voice 3.14—4.12 双ギャラリー
 レスポワール展43回 2009年新人選抜 松下雅寿個展 1.19—1.24 銀座スルガ台画廊
 松下由紀子「灰神楽」 9.18—9.30 マキイマサルファインアーツ
 松田啓佑個展 Words lie 12.19—1.17 eN arts
 美術手帖 934 清水穰
 松永真のポスター展—研ぎ澄まされた感性による力強いコミュニケーションの軌跡— 12.12—2.14 新潟県立万代島美術館
 松丸東魚の全貌—搜秦華漢の生涯— 毎日書道展61回特別展示 7.8—8.2 国立新美術館
 松村浩之展 6.8—6.13 銀座スルガ台画廊
 五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009 おとなの図工 松本秋則 奏でるかたち—サウンド・オブジェをつくる 11.21—12.10 宮城県美術館
 松本忠義 画家たちと青春 生誕100年記念 6.7—7.8 高崎市美術館
 松本哲男日本画展「地球を歩く」 9.30—10.6 三越(日本橋)
 美術の窓 313 編集部
 松本徳彦 しまなみ・ノルマンディ

—「二つの都市」写真展 しまなみ
 海道10周年記念 10.10—11.29 尾道市立美術館
 松本陽子 1.9—1.30 Hino Gallery
 芸術新潮 711
 光 松本陽子／野口里佳 8.19—10.19 国立新美術館
 芸術新潮 718
 美術手帖 928 光田ゆり
 朝日夕刊 10.1 大西若人
 日経 9.9 小川敦生
 毎日夕刊 9.9 三田晴夫
 松山俊彦個展 1.5—1.10 銀座スルガ台画廊
 マティスの時代 フランスの野生と洗練[アンリ・マティス] 4.21—7.5 プリヂストン美術館
 日経 4.29 竹田博志
 ボナールの庭、マティスの室内—日常という魅惑 9.12—3.7 ポーラ美術館
 詩意[チェマ・マドス] 5.14—8.1 セルバンテス文化センター東京
 産経 5.19 桑原聡
 真鍋修 上野の森美術館大賞展25 回絵画大賞 日本アイ・ビー・エム美術奨学賞受賞記念 2.17—2.26 上野の森美術館
 アレックス・マヨリー写真展 ONE JUMP! 9.2—10.4 リコーフォトギャラリー／RING CUBE
 産経 9.22
 フィリップ・マリニグ「お相撲さん」 4.2—5.16 東京日仏学院
 芸術新潮 713
 工芸の五月 松本・民芸・丸山太郎 生誕100年 4.25—5.31 松本市立博物館
 工芸の五月 丸山太郎の仕事 生誕100年 4.25—6.7 松本民芸館
 現れの空間vol.5 木村太陽×ボル・マロ 1.13—1.24 ASK? art space kimura
 読売夕刊 1.20 (清)
 (ミ)
 三浦泉展 9.14—9.19 みゆき画廊
 美術の窓 314 高山淳
 猫の時間 三浦幸子 8.21—9.5

数寄和(数寄和大津)
 三上誠の生涯—恐怖と寂寥が芸術を作る—生誕90年 没後37年 パンリアル60周年 1.16—2.8 星野画廊(京都)
 三木俊治彫刻展 090909 Extrasolar Earth 9.9—10.11 メタル・アート・ミュージアム光の谷
 三岸好太郎展 7.3—7.11 高輪画廊
 毎日夕刊 7.7
 日本近代洋画と三岸好太郎 Part 1 9.12—10.25 北海道立三岸好太郎美術館
 三沢厚彦の世界 アニマルズ in AAC 現代美術の発見! あいちトリエンナーレ2010プレイベント 3.24—5.24 愛知芸術文化センター／愛知県美術館
 レスポワール展43回 2009年新人選抜 三島祥個展 3.16—3.21 銀座スルガ台画廊
 TRESOM 醍醐イサム・平澤重信・ミズテツオ 4.17—4.29 ギャラリー絵夢
 工芸の五月 酒亭そらまめの酒器展「水垣千悦」 5.2—5.10 松本市美術館
 水野勝規—グレースケール・ランドスケープ— 1.7—1.28 INAXギャラリー2
 芸術新潮 711
 三瀬夏之介展「冬の夏」 1.15—2.22 佐藤美術館
 芸術新潮 712
 朝日夕刊 2.18
 毎日夕刊 1.26 岸桂子
 読売夕刊 2.3 (前)
 溝部秀二写真展 here and there—ソウル／東京— 7.11—7.21 コニカミノルタプラザ
 朝日夕刊 7.15 大西若人
 三井園子展 10.19—10.24 コバヤシ画廊
 芸術新潮 720
 見附正康 5.30—7.4 オオタファインアーツ
 芸術新潮 716
 THREAD[三友周太] 6.19—7.1

マキイマサルファインアーツ

吉田修一・南川史門「横道世之介」展

9.16—9.23 MISAKO&ROSEN

毎日夕刊 9.7

潮騒を描く—油絵50年の歩み—三

原捷宏展 2.19—3.8 はつかい

ち美術ギャラリー

美術の窓 308 (一井)

三原研 陶展 10.3—10.13 EN陶

REZ

陶説 681 梅田稔

TEAM15 MIHOKANNO 「Hello!

MIHOKANNO」 5.30—7.20 ト

ーキョーワンダーサイト渋谷

美術手帖 925 八木沢俊樹

宮崎進—漂泊 Wandering— 6.6

—7.20 多摩美術大学美術館

朝日夕刊 7.8 田中三蔵

日経 7.11 小川敦生

写真家・宮武東洋 4.16—6.28 川

崎市市民ミュージアム

shiseido art egg 3回 宮永愛子展

地中からはなつ島 1.9—2.1 資

生堂ギャラリー

東京夕刊 1.16

毎日夕刊 1.20 岸桂子

宮永亮「Wondjina」 7.18—8.29

児玉画廊

美術手帖 928 清水穰

現代美術の発見IV 宮永春香 陶の

表象—虚[そら]と骨からFEITICO

[フェティソ]まで— あいちトリ

エンナーレ2010プレイベント

11.6—12.20 愛知県美術館

宮本亜紀展—こころの中の風景—

11.23—11.28 銀座スルガ台画廊

宮本三郎展—留学・従軍・戦後期を

中心に—没後35年 10.24—1.11

神戸市立小磯記念美術館

宮本三郎 美を語る言葉 12.5—

3.22 世田谷美術館分館宮本三郎

記念美術館

宮本ルリ子 二十世紀の壺展 5.26

—5.31 ギャラリーすずき

陶説 678 鈎真一

ジャネット・カーディフ&ジョージ

・ビュレス・ミラー展 2.24—

5.17 メゾンエルメス8階フォー

ラム

STUDIO VOICE 401 土屋誠一

読売 3.26 菅原教夫

ジョアン・ミロ展 PARADE of

OBSSESSIONS 3.5—3.22 大

丸ミュージアム(東京)

十二代三輪休雪 陶 愛と死の融合

パリ・三越エトワール帰国記念

8.25—9.6 三越(日本橋)(三越

(福岡))

陶説 680 外館和子

朝日夕刊 8.29 中村俊介

毎日夕刊 8.31 岸桂子

(ム)

無縁寺心澄の描いた千葉—絵と写真

で見る昭和前期の千葉 10.14—

11.22 千葉市立郷土博物館

向井潤吉展 懐かしき日本の原風景

9.16—11.29 笠間日動美術館

武藤辰平—フランスの風— 11.19

—12.23 佐賀県立美術館

ムットーニワールド プレビュー

[武藤政彦] 2.11—2.25 八王子

市夢美術館

ムットーニワールド からくりシア

ター[武藤政彦] 5.30—7.5 八

王子市夢美術館

棟方志功—倭画と書の世界— 3.31

—6.14 日本民芸館

海上雅臣が推す 戦後美術の三人展

棟方志功 井上有一 八木一夫

5.30—7.26 梅野記念絵画館

日経 7.8 竹田博志

早川祐太/村岡佐知子 “from/to

#5” 7.16—8.8 ワコウ・ワー

クス・オブ・アート

芸術新潮 717

村上隆個展 inochi 4.3—4.16

Kaikai Kiki Gallery

芸術新潮 714

読売夕刊 4.13 (前)

村上友晴 pieta 12.14—1.22 横

田茂ギャラリー

村田省蔵展 9.2—9.8 三越(日本

橋)

美術の窓 312 高山淳

村山槐多 ガランスの悦楽 没後

90年 12.1—1.24 渋谷区立松

涛美術館

美術手帖 933 秋元康、中井美

穂 談/山内宏泰 構成

毎日夕刊 12.16 高階秀爾

村山留里子「色とマント」 5.16—

6.13 山本現代

産経 6.10

武留井義男個展 11.16—11.21 櫟

画廊

三人展 古賀けい子・辻井ますみ・

室井慶子 12.21—12.26 銀座ス

ルガ台画廊

室井東志生展 10.28—11.3 高島

屋(日本橋)

美術の窓 314 瀧梯三

(メ)

ヨナタン・メーゼ展 ミシマ・イズ

・バック 9.5—10.3 小山登美

夫ギャラリー

美術手帖 930 大森俊克

(モ)

ウィリアム・ド・モーガン 艶と色

彩—19世紀タイル・アートの巨

匠— 10.17—12.20 パナソニッ

ク電工汐留ミュージアム

円空・木喰展 『庶民の信仰』の系譜

9.4—10.25 奥田元宋・小由女美

術館(美術館「えき」KYOTO、愛媛

県美術館)

夢と記憶の画家 茂田井武展 生誕

100年 3.1—5.12 安曇野ちひ

ろ美術館

持塚三樹「キ」展 3.11—4.5

MISAKO&ROSEN

産経 3.25

本池秀夫 革の世界 2.22—3.29

米子市美術館(島根県立石見美術

館)

元永定正展 損保ジャパン東郷青児

美術館大賞受賞記念 1.10—2.22

損保ジャパン東郷青児美術館

朝日夕刊 2.4 大西若人

毎日夕刊 2.10 岸桂子

元永定正展 4.11—5.31 三重県立

美術館

元永定正+中辻悦子絵本原画展 も

ーやんえっちゃん ええほんのえ

5.30—7.5 新潟市新津美術館(倉

敷市立美術館、下関市立美術館)
 本橋松二 FIVE ELEMENTS 5.22—6.3 マキイマサルファインアーツ
 睡蓮池のほとりにて モネと須田悦弘、伊藤存 10.28—2.28 大山崎山荘美術館
 縹藍紺JAPANBLUE '09 5回 森くみ子展 5.15—5.23 ギャラリー新居(東京)
 伊勢和紙プリントによる森武史写真展 熊の修験 6.17—6.30 ギャラリーアピアント
 東京 6.19 丹治早智子
 森豪男 Hideo Mori 武蔵野美術大学教授退任記念 5.11—5.30 武蔵野美術大学美術資料図書館
 森仁志の世界 4.25—5.10 鹿追町民ホール
 森万里子「フラットストーン」 9.8—10.3 SCAI THE BATHHOUSE
 レスポワール展43回 2009年新人選抜 森ゆだね個展 4.6—4.11 銀座スルガ台画廊
 森口華弘・邦彦展—父子 友禪人間国宝— 9.25—10.4 三越(日本橋)
 ウィリアム・モリス展 ステンドグラス・テキスタイル・壁紙 デザイン 4.4—5.24 西宮市大谷記念美術館
 守住貴魚—御絵師・好古家・帝室技芸員 生誕二百年 10.17—11.23 徳島県立博物館
 仲田光成・森田子龍展 7.28—8.2 東京セントラル美術館
 毎日夕刊 7.30 桐山正寿
 東方彩夢 森田りえ子展 パリ・三越エトワール帰国記念 10.14—10.26 三越(日本橋)
 毎日夕刊 10.20 岸桂子
 森野彰人展 8.8—8.30 ギャラリー一器館
 陶説 681 鈎真一
 森本太郎展—つなぎとめるもの— 9.5—10.4 奈義町現代美術館
 森本美絵「Single Plural」 8.3—9.13 MISAKO&ROSEN
 産経 9.9 (和)

モンキー・パンチ展 MONKEY PUNCH EXHIBITION OTEMAE 2009 9.12—10.3 大手前アートセンター

(ヤ)

海上雅臣が推す 戦後美術の三人展 棟方志功 井上有一 八木一夫 5.30—7.26 梅野記念絵画館
 日経 7.8 竹田博志
 八木奇峰と二人の師匠 1.23—2.22 長浜市長浜城歴史博物館
 五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009 八木沢優記 シンクロするオーロラ 12.5—12.13 感覚ミュージアム
 矢島ヒサ展 6.18—6.30 たましんギャラリー
 美術の窓 309 高山淳
 昭和史のある風景—古事記のある風景—安井明光展 6.1—6.6 ギャラリー白百合
 美術の窓 309 編集部
 安井曾太郎の肖像画 10.31—1.17 ブリヂストン美術館
 新美術新聞 1199 貝塚健
 日経 12.24
 毎日夕刊 12.22 岸桂子
 ロビー展 保田春彦の世界—近作彫刻を中心に— 12.5—4.4 平塚市美術館
 安田靫彦展 没後三〇年 2.7—3.22 茨城県近代美術館
 新美術新聞 1174 中田智則
 朝日夕刊 3.11
 毎日夕刊 3.16
 大和(やまと)し美(うるわ)し 川端康成と安田靫彦 4.4—5.10 千葉市美術館
 朝日夕刊 4.22 西田健作
 毎日夕刊 4.8
 安富洋貴展 2.27—3.28 ギャラリーテオ
 朝日夕刊 3.25
 柳宗理展 7.7—8.31 横浜美術館
 やなぎみわ マイ・グランド・マザーズ 3.7—5.10 東京都写真美術館(国立国際美術館)
 美術手帖 922 秋元康、高岡早

紀 談/山内宏泰 構成
 産経 3.11 渋谷和彦
 東京夕刊 4.13 (姥捨山)
 東京夕刊 4.17 南島宏
 毎日夕刊 4.22 岸桂子
 読売夕刊 3.24 (前)
 やなぎみわ 婆々娘々[ポーポーニャンニャン]! 6.20—9.23 国立国際美術館
 柳宗悦の世界—生誕120年記念— 9.8—11.19 日本民芸館
 静岡の美術IX 柳澤紀子展—水邊の庭[スイヘンノニハ] 5.26—7.5 静岡県立美術館
 朝日夕刊 6.24 大西若人
 日経 6.10 宝玉正彦
 毎日夕刊 6.16 岸桂子
 柳原睦夫彩器展—浮き水指— 10.7—10.25 ギャラリー田澤
 陶説 682 梅田稔
 アンパンマンとやなせたかし展 3.19—3.29 三越(日本橋)
 やなせたかし展—『詩とメルヘン』からアンパンマンまで— 4.3—6.28 弥生美術館
 朝日夕刊 4.15
 産経 4.8 村上智博
 毎日 4.27 木村葉子
 読売夕刊 6.6
 ヤノベケンジ—絵本「トラやんの大冒険」原画展 3.7—3.29 豊田市美術館
 ヤノベケンジ ウルトラ 4.11—6.21 豊田市美術館
 美術手帖 923 榎木野衣
 朝日夕刊 6.3 西岡一正/大西若人
 毎日夕刊 6.3 手塚さや香
 読売 5.5 高野清見
 ジャイアント・トラやん[ヤノベケンジ] 4.16—8.9 東京都現代美術館
 朝日夕刊 6.3 西岡一正/大西若人
 動物画の奇才・荻内正幸の世界 4.4—5.24 武蔵野市立吉祥寺美術館
 夏秋・洗山展 荻田夏秋の拓本創作表装と府川洗山の創作和装本

10.27—11.1 鳩居堂画廊
 藪野健 青空に夢を刻む 府中市美術館所蔵作品による 6.16—6.28 府中市美術館
 早見芸術学園造形研究所NIHONGA 塾 第13期卒業制作展 View of expression[山形晴香] 2.12—2.21 ギャラリーなつか
 山川惣治展—少年王者・少年ケニヤのいた昭和—生誕100年 2.7—3.22 佐倉市立美術館
 山口伊太郎遺作 源氏物語錦織絵巻展 天上の織物 4.2—6.28 大倉集古館
 山口薫展 哀歎と詩情の画家 1.4—2.22 三重県立美術館
 京都画壇の画家シリーズIII 山口華楊展 8.4—9.30 松伯美術館
 山口長男 線と墨(カット作品)展 6.18—7.7 中長小西 芸術新潮 716
 山口瞳 絵画展『武蔵野写生帖』出版記念 3.11—3.17 丸善(日本橋) 芸術新潮 713
 帝展の若き道産子 上野山清貢・加藤顕清・山口蓬春 7.11—10.18 北海道立近代美術館
 山口安次郎作 能装束展—一心と技の饗宴— 9.14—12.6 承天閣美術館
 山崎阿弥展 [風の仕事場]消えゆく線をたどるように 1.29—2.10 現代 HEIGHTS Gallery DEN 美術手帖 920 中島水緒
 DIARY[山崎弘義] 8.20—9.6 UP フィールドギャラリー 毎日 8.26 内藤麻里子
 美術の国徳島II 谷口董美、山下菊二兄弟 故郷のイメージを描く 9.5—10.12 徳島県立近代美術館
 山下清 天才画家の旅景色 6.26—7.28 高崎市タワー美術館
 山下耕平展—ケルン・現在位置— 7.16—8.22 INAXギャラリー2 芸術新潮 717
 レスフォルム展43回 2009年新人選抜 山下孝治個展 1.26—1.31 銀座スルガ台画廊

山田和「陶展」 12.2—12.8 三越(日本橋)
 陶説 683 唐澤昌宏
 山田守破離展 8.3—8.8 銀座スルガ台画廊
 山田良 Vertical Landscape 4.25—11.8 札幌芸術の森美術館
 大和由佳展「存在の満ち欠け」 2.7—3.1 ニュートロン東京 産経 2.19 (知)
 山本晶展 窓を通して 3.3—3.21 ギャラリーエ・アンドウ 産経 3.11
 山本丘人—魂の抒情詩 生誕110周年記念 4.24—6.7 浜松市秋野不矩美術館(田辺市立美術館、茨城県天心記念五浦美術館、高島屋(日本橋))
 山本桂輔 起立 3.7—3.28 小山登美夫ギャラリー 芸術新潮 713 毎日夕刊 3.17 岸桂子
 山本太郎展—ニッポン画物見遊山— 5.22—6.14 美術館「えき」KYOTO 芸術新潮 715
 山本貞展 地の光景 10.21—10.29 日動画廊 新美術新聞 1198 武田厚
 日本画の今 山本直彰展 帰還する風景。 7.11—9.6 平塚市美術館 朝日夕刊 8.5 田中三蔵 日経 8.26 宝玉正彦 毎日夕刊 7.28 岸桂子
 山本正道展 刻まれた時の記憶 退任記念 1.8—1.25 東京芸術大学大学美術館 日経 1.21 宝玉正彦
 山本正道展—風・記憶・形— 開館40周年記念 5.16—7.12 箱根彫刻の森美術館 産経 6.17 洪沢和彦
 山本正道展 10.3—11.23 札幌芸術の森美術館
 山本六三—聖なるエロス— 3.24—3.31 Bunkamuraギャラリー
 perché—東北芸術工科大学院洋画3人展—[山本萌美] 7.27—8.1

銀座スルガ台画廊
 山本容子のワンダーランド 不思議の国の少女たち 12.19—3.7 ふくやま美術館(埼玉県立近代美術館)
 工芸の五月 酒亭そらまめの酒器展 [山本亮平] 5.2—5.10 松本市美術館
 矢柳剛個展 一日一生、365日の痕跡 そして今 6.5—6.27 東京画廊+BTAP
 楊福東—将軍的微笑[ヤン・フードン] 12.19—5.23 原美術館
 テオ・ヤンセン展 新しい命の形 1.17—4.12 日比谷パティオ 新美術新聞 1176 鳥尾新 産経 1.24 村上智博
 ムーミン展 タンペレ市立美術館・ムーミン谷博物館蔵—日本・フィンランド修交90周年—[トーベ・マリカ・ヤンソン] 4.29—5.18 大丸ミュージアム(東京)

(ユ)

湯浅克俊一版・モノクロームの深度 — 3.2—3.26 INAXギャラリー2
 柚木沙弥郎展 4.25—5.31 ギャラリーTOM 朝日夕刊 5.13 由里幸子
 弓岡勝美 時代きものコレクション 5.28—7.20 田中本家博物館
 余白の美 李禹煥、尹熙倉、イ・ブル 2.17—3.29 静岡県立美術館

(ヨ)

帰ってきた浮世絵 周延 CHIKANO-BU—米国スクリップス大学コレクションより—[楊洲周延] 1.13—3.19 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 毎日夕刊 3.10
 楊洲周延展 生誕170年記念 3.1—3.26 太田記念美術館 芸術新潮 713 毎日夕刊 3.10
 未完の横尾忠則—君のものは僕のものの、僕のものは僕のものの 8.1—11.3 金沢21世紀美術館

新美術新聞 1191 平林恵
朝日 10.3 大西若人
銀座界限隈ガヤガヤ青春ショー —
言い出しっぺ横尾忠則— 瀬本唯
人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠
則4人展 9.2—9.29 ギンザ・
グラフィック・ギャラリー
毎日夕刊 9.24 岸桂子
横尾忠則 東京Y字路 写真展
10.20—11.21 西村画廊
芸術新潮 720
朝日夕刊 11.4 大西若人
横前裕子 画集「私の女人源氏」刊行
記念展 8.3—8.8 井上画廊
小杉放庵と大観—響きあう技とここ
ろ[横山大観] 2.21—3.22 出光
美術館
日経 2.21
横山大観と木村武山 3.14—5.17
講談社野間記念館
耀きの色彩 横山大観展 9.19—
11.3 メナード美術館
大観・観山と日本美術院の画家たち
展 10.3—12.23 松岡美術館
横山大観の12ヶ月 12.1—2.28
足立美術館
レスポワール展43回 2009年新人
選抜 横山由美子個展 2.2—2.7
銀座スルガ台画廊
吉井忠展 生誕100年記念 1.24—
3.1 福島県立美術館
アート&テクノロジー—高橋匡太/
疋田淳喜/吉岡俊直— 10.23—
12.4 京都工芸繊維大学美術工芸
資料館
1floor 2009「THREE DUBS」[芳木
麻里絵] 9.12—9.27 神戸アー
トビレッジセンター
生き物たちと共に 西ノ宮佳代/吉
澤美香 12.5—12.26 ギャラリ
ー・アートアンリミテッド
吉田暁子個展「視/夜(しゃ) 意義
黎明」 3.25—4.18 東京画廊+
BTAP
煌星会展[吉田洋紀] 11.30—12.5
銀座スルガ台画廊
吉永マサユキ写真展 若き日本人の
肖像 5.9—5.24 リトルモア地
下

美術手帖 925 清水穰
吉野辰海展 6.15—6.27 ギャラリ
ー58
読売夕刊 6.22 (市)
吉野辰海新作展 8.31—9.19 東邦
画廊
朝日夕刊 9.16 田中三蔵
産経 9.16 (和)
顧みる45年吉野豊子展 4.28—5.4
熊本県立美術館分館
美術の窓 310 栗崎英男
吉増剛造展 光の棘 5.25—6.20
中京大学アートギャラリー・Cス
クエア
読売 5.29 前田恭二
吉本義人展 連態—壁態—依存
5.30—6.28 メタル・アート・ミ
ュージアム光の谷
米田知子 Rivers become oceans
9.5—10.3 SHUGOARTS
毎日夕刊 9.29 岸桂子
動物達—米山幸助展 2.27—3.4
マキイマサルファインアーツ
廉尚煜彫刻展 ‘自意識’ SELF—
CONSCIOUSNESS[ヨム・サンウ
ク] 3.9—3.14 Gallery Tsubaki
萬鉄五郎生涯展—新収蔵品と同時代
の画家たち— 4.25—7.12 萬鉄
五郎記念美術館

(う)

マーク・ライディン展 ザ・スノー
ヤク・ショー 2.7—2.28 小山
登美夫ギャラリー
芸術新潮 712
『間に合わせもの』ラウシェンバーク
へのオマージュ: 原美術館コレク
ション[ロバート・ラウシェンバ
ーク] 10.24—12.6 原美術館
純粋なる形象 ディーター・ラムス
の時代—機能主義デザイン再考
5.23—7.20 府中市美術館
朝日夕刊 6.24 大西若人
毎日夕刊 7.13 永田晶子
ルネ・ラリック 華やぎのジュエリ
ーから煌きのガラスへ 生誕150
年 6.24—9.7 国立新美術館
(MOA美術館)
東京 6.1 西野華子

平成21年美術展覧会(作ヨ〜ル)

東京夕刊 7.24 假屋崎省吾
東京夕刊 7.25 高波真知子
東京夕刊 7.27 ゴトウヒロシ
東京夕刊 7.29 新見隆
東京夕刊 7.30 南川三治郎
東京夕刊 8.7 五木寛之
ジム ランビー: アンノウン プレ
ジャーズ 12.13—5.10 原美術
館
日経 3.27 宝玉正彦

(り)

余白の美 李禹煥、尹熙倉、イ・ブ
ル 2.17—3.29 静岡県立美術館
李演個展 Snippet 2.21—3.21
山本現代
芸術新潮 712
うつわ U-Tsu-Wa[ジェニファー・
リー/ルーシー・リー] 2.13—
5.10 21_21
DESIGN SIGHT
芸術新潮 712
朝日夕刊 2.25 秋山亮太
産経 2.21 渋谷和彦
毎日夕刊 4.23 永田晶子
フランスの浮世絵師 アンリ・リヴ
ィエール オルセー美術館フラン
ス国立図書館所蔵 9.5—10.12
神奈川県立近代美術館(葉山)(石
川県立美術館、山口県立萩美術館
・浦上記念館)
東京夕刊 9.7 太田泰人
東京夕刊 9.8 朝木由香
東京夕刊 9.9 李美那
日経 9.23 小川敦生
台湾の心・台湾の情—廖修平・江明
賢二人展— 4.7—5.17 渋谷区
立松涛美術館

(ル)

ジョルジュ・ルオーと20世紀美術
「絵画の領域」美術コレクション
展II 1.24—4.5 香川県立ミュ
ージアム
ルオー収蔵作品展 色の秘密[ジョ
ルジュ・ルオー] 2.7—3.22 バ
ナソニック電工汐留ミュージアム
ルオーの祈り 絵画と版画 4.11—
6.14 町田市立国際版画美術館

ジョルジュ・ルオー 色彩の交響曲
4.12—5.31 青春白樺美術館
日経 4.15 竹田博志
ル・コルビュジエと国立西洋美術館
開館50周年記念 6.4—8.30 国立西洋美術館
東京夕刊 8.14 五十嵐太郎
PIANISSIMO 田中みぎわ/留守玲
—冬の浜辺から— 12.13—2.14
茅ヶ崎美術館
シャガールとルドン 春のコレクション・版画展[オディロン・ルドン]
4.4—5.10 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
オディロン・ルドン展 岐阜県美術館所蔵 7.10—8.30 姫路市立美術館

(レ)

幕間 INTERVALLO展 アート/ファッション/デザインのまくあいで。
[コロンバ・レディ] 6.26—8.2 BankART Studio NYK
毎日 7.22 永田晶子
Ren Jing(任 静)展「Mystery」 10.3—10.31 unseal contemporary
芸術新潮 720

(ロ)

ロートレック コネクション 愛すべき画家をめぐる物語[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]
11.10—12.23 Bunkamura ザ・ミュージアム
東京夕刊 11.9 木島俊介/宮澤政男
東京夕刊 11.18 巖谷國士
東京夕刊 11.19 横尾忠則
東京夕刊 11.20 高橋明也
東京夕刊 11.21 フランソワーズ・モレシヤン
東京夕刊 11.24 馬淵明子
ちひろとローランサン[マリー・ローランサン] 7.15—9.6 ちひろ美術館(東京)
マーク・ロスコ 瞑想する絵画
2.21—6.11 川村記念美術館
芸術新潮 712
朝日夕刊 4.1 大西若人

産経 3.4 渋谷和彦
毎日 2.11 前谷宏
毎日夕刊 3.17 三田晴夫
読売 3.12 前田恭二
六角鬼丈展 新鬼流八道の建築
1.8—1.25 東京芸術大学大学美術館

(ワ)

アンドリュウ・ワイエス—創造への道程[みち] 1.4—3.8 愛知県美術館
新美術新聞 1172 高橋秀治
幕間 INTERVALLO展 アート/ファッション/デザインのまくあいで。
[和井内京子] 6.26—8.2 BankART Studio NYK
毎日 7.22 永田晶子
wah すみだ川のおもしろい すみだ川アートプロジェクト 6.20—7.20 すみだリバーサイドホール
ギャラリー/アサヒビール本部ビル1階ロビー
XEROXED—ZINEのような写真展—
[若木信吾] 9.19—9.27 ギャラリーSLANT
美術手帖 931 高嶋雄一郎
郷土在住作家III 2009 脇坂秀樹展
6.13—7.5 大分市美術館
色彩の詩人—脇坂和 4.11—6.28
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(呉市立美術館、川越市立美術館)
五感の都市へ 仙台芸術遊泳2009
若生奇妙子 N. E. blood21 vol. 40 11.21—12.27 リアス・アーク美術館
和田的 作陶展「ようこそ!」 6.17—6.23 三越(日本橋)
陶説 677 唐澤昌宏
和田賢一展 1.27—2.22 府中市美術館市民ギャラリー
芸術新潮 712
和田三造展 9.12—10.25 姫路市立美術館
視覚の現場 四季の綻び3 田原由紀雄
銀座界隈隈ガヤガヤ青春ショー—
言い出しっぺ横尾忠則— 灘本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠

則4人展 9.2—9.29 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
毎日夕刊 9.24 岸桂子
わたせせいぞうの世界展—ハートカクテルなこころ— 2.18—3.2
大丸ミュージアム(東京)
地域の作家 野中章光・渡辺勲展
4.11—5.31 川上澄生美術館
渡辺華山と弟子たちの花鳥画 5.15—6.14 田原市博物館
渡辺華山の書 6.20—8.16 田原市博物館
渡辺香代子 個展 6.30—7.18 ギャラリー・トリニティ
美術手帖 927 中島水緒
渡辺剛 Universal Scope展 6.15—7.4 秋山画廊
産経 7.1 (和)
漆希展[渡辺希] 11.25—12.26 ギャラリーコエグジスト
読売 11.26
昭和から平成へ 未来へつなぐ伊勢神宮の美—文化功労者・写真家、渡辺義雄が追い続けた三度の式年遷宮— 10.28—11.29 神宮美術館
渡辺純价の世界 心のリズム 奏でるメモワール 5.31—7.1 札幌芸術の森美術館
肯定の目光[まなざし]に・王舒野の世界展—中国、日本・30年の歩みと今— 10.1—1.12 池田20世紀美術館
団体展

(ア行)

アート未来展14回 6.24—7.6 国立新美術館
新美術新聞 1191 (克)
美術の窓 312 高山淳
アジア創造美術展2009 1.21—2.2 国立新美術館
亜細亜現代美術展45回 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1190 (克)
美術の窓 311 高山淳
一期展44回 9.30—10.12 国立新美術館

新美術新聞 1200 (元)
 美術の窓 315 高山淳
 一陽展55回 9.30—10.12 国立新美術館
 新美術新聞 1200 (智)
 美術の窓 314 高山淳
 一水会展71回 9.18—10.3 東京都美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館、金沢21世紀美術館)
 新美術新聞 1198 (智)
 美術の窓 314 高山淳
 一水会新鋭展6回 明日の一水会を担う作家たち 3.16—3.22 東京銀座画廊
 一水会陶芸部展70回 5.29—6.3 ながの東急
 陶説 677 外館和子
 一線美術会展60回 10.5—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1200 (智)
 美術の窓 315 高山淳
 一創会展31回 2.28—3.5 東京都美術館
 新美術新聞 1180 (智)
 AJAC野外展3回 Go ahead! AJAC 10.29—11.8 国立新美術館
 旺玄展75回 5.21—5.30 東京都美術館
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖

(力行)

近代水墨展26回 6.23—6.29 東京都美術館
 美術の窓 311 高山淳
 近美展36回[近代日本美術協会] 11.1—11.12 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (智)
 美術の窓 316 高山淳
 近代美術協会展46回 8.20—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1195 (洋)
 美術の窓 313 高山淳
 群炎展48回 11.14—11.21 東京都美術館
 新美術新聞 1204 (元)
 ニュークリエイティブ展27回[現代手工芸作家協会] 12.1—12.7 東京都美術館

新美術新聞 1207 (克)
 現水展48回 10.5—10.14 東京都美術館
 美術の窓 315 高山淳
 現創展35回 12.8—12.14 東京都美術館
 新美術新聞 1207 (洋)
 美術の窓 317 磯部靖
 現代童画展35回 11.2—11.12 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (元)
 美術の窓 316 高山淳/磯部靖
 現代日本彫刻作家展3回 4.6—4.21 東京都美術館
 新美術新聞 1186 (元)
 美術の窓 309 小森佳代子
 現代パステル協会展21回 1.11—1.18 東京都美術館
 新美術新聞 1178 (智)
 現展65回[現代美術家協会] 5.27—6.8 国立新美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 311 高山淳
 元陽展40回 10.5—10.14 東京都美術館(大阪市立美術館、広島県立美術館)
 新美術新聞 1200 (元)
 美術の窓 315 高山淳
 行動展64回 9.16—9.28 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館、米子市立美術館、岡山県天神山文化プラザ)
 新美術新聞 1197 (克)
 美術の窓 314 高山淳
 光風会展95回 4.15—4.27 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館、岡山県天神山文化プラザ、石川県立美術館、新潟市津波、栃木県総合文化センター、京都市美術館)
 新美術新聞 1187 (元)
 美術の窓 309 高山淳
 光陽展57回 5.9—5.19 東京都美術館
 新美術新聞 1188 (智)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖
 国画展40回 11.30—12.7 東京都美術館

美術の窓 317 磯部靖
 国展83回 4.29—5.11 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
 新美術新聞 1188 (元)
 美術の窓 310 高山淳/小森佳代子/切刀知子/磯部靖
 i. m. a. 展35回[国際現代美術家協会] 10.16—10.31 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (元)
 国際書画展31回 1.21—2.2 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、兵庫県立美術館)
 国美芸術展34回[国際美術協会] 6.24—6.29 東京都美術館
 新美術新聞 1191 (克)
 国際墨画会展9回 6.24—7.6 国立新美術館(浙江西湖美術館)
 鞠展40回 5.31—6.10 東京都美術館
 美術の窓 311 高山淳

(サ行)

朔日会展78回 5.9—5.19 東京都美術館(茨城県近代美術館、名古屋市博物館)
 新美術新聞 1188 (克)
 美術の窓 310 高山淳
 サロン・デ・ボザール展37回 11.23—11.29 東京都美術館(京都市美術館)
 新美術新聞 1205 (克)
 三軌展61回 5.13—5.25 国立新美術館(山形美術館、愛知県美術館、京都市美術館、大分県立芸術会館、金沢21世紀美術館、東川町文化ギャラリー)
 新美術新聞 1190 (元)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖
 示現会展62回 4.1—4.13 国立新美術館(兵庫県立美術館王子分館、北九州市立美術館、熊本県立美術館分館、福岡県立美術館、和歌山県民文化会館県民ギャラリー、徳島県郷土文化館、福井県立美術館、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県美術館、山形美術館、京都市美術館、青森市民美術展示

館、長岡美術センター)
 新美術新聞 1186 (智)
 美術の窓 309 高山淳
写真画壇展37回 4.1—4.7 上野
 の森美術館
 新美術新聞 1187 (元)
 美術の窓 309 磯部靖
秋耕展34回 6.24—7.6 国立新美術
 館
 新美術新聞 1191 (智)
自由美術展73回 9.30—10.12 国
 立新美術館
 新美術新聞 1200 (元)
 美術の窓 315 高山淳
主体展45回 9.1—9.16 東京都美
 術館(愛知県美術館、京都市美術
 館)
 新美術新聞 1196 (元)
 美術の窓 314 高山淳
朱葉会展88回 3.26—4.4 東京都
 美術館
 新美術新聞 1184 (智)
 美術の窓 309 高山淳/磯部靖
朱葉会秋季選抜展2009 10.26—11.
 1 銀座アートホール
純展39回 5.9—5.19 東京都美術
 館
 新美術新聞 1188 (洋)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖
春陽展86回 4.15—4.27 国立新美
 術館(愛知県美術館ギャラリー、
 大阪市立美術館)
 新美術新聞 1187 (智)
 美術の窓 309 高山淳
女流画家協会展63回 5.21—5.30
 東京都美術館
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖
**銀粘土でつくるシルバークセサリ
 ーコンテスト展10回** 6.24—7.6
 国立新美術館
新槐樹社展53回 2.4—2.16 国立
 新美術館(大阪市立美術館、京都
 市美術館、東京都美術館)
 新美術新聞 1179 (克)
 美術の窓 307 高山淳
新協展52回 10.16—10.31 東京都
 美術館
 新美術新聞 1203 (元)

美術の窓 315 高山淳/切刀知
 子
極美展15回[新極美術協会] 9.18—
 10.3 東京都美術館
 新美術新聞 1198 (克)
新芸術展34回 11.13—11.21 東京
 都美術館
 新美術新聞 1204 (智)
 美術の窓 316 高山淳/磯部靖
新構造展81回 6.12—6.22 東京都
 美術館
 新美術新聞 1190 (克)
 美術の窓 311 高山淳
新興展59回 5.21—5.30 東京都美
 術館(京都市美術館)
 新美術新聞 1190 (元)
 新美術新聞 1204 (智)
 美術の窓 310 高山淳
新作家展16回 10.16—10.31 東京
 都美術館
 新美術新聞 1203 (智)
 美術の窓 315 高山淳
新匠工芸会公募展64回 10.18—10.
 30 東京都美術館
 新美術新聞 1204 (元)
 美術の窓 315 小森佳代子
新象展52回 6.1—6.10 東京都美
 術館
 新美術新聞 1190 (元)
 美術の窓 311 高山淳
新世紀展54回 4.6—4.21 東京都
 美術館(兵庫県立美術館「原田の森
 ギャラリー」、大阪市立美術館、
 岡山県天神山文化プラザ、北九州
 市立美術館、愛知県美術館ギャラ
 リー)
 新美術新聞 1186 (元)
 美術の窓 309 高山淳/切刀知
 子
新制作展73回 9.16—9.28 国立新
 美術館(京都市美術館、愛知県芸
 術文化センター8階ギャラリー、
 広島県立美術館県民ギャラリー)
 新美術新聞 1197 (元)
 美術の窓 314 高山淳/小森佳
 代子
新美展42回[新生美術会] 11.22—
 11.29 東京都美術館
 新美術新聞 1205 (克)

美術の窓 317 磯部靖
晨鳥社展62回 6.9—6.14 京都府
 立文化芸術会館
 美術の窓 311 小森佳代子
新院展41回[新日本美術院] 11.22
 —11.29 東京都美術館
 新美術新聞 1205 (克)
 美術の窓 317 磯部靖
新日美展33回 11.30—12.7 東京
 都美術館
 新美術新聞 1207 (元)
 美術の窓 317 磯部靖
新美術協会展56回 6.1—6.10 東
 京都美術館
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 311 高山淳
新洋画会展31回 5.20—5.30 東
 京都美術館
 新美術新聞 1190 (克)
水彩人展10回 1.10—1.18 東京都
 美術館
 新美術新聞 1178 (克)
水彩人展11回 10.4—10.14 東京
 都美術館
 新美術新聞 1200 (智)
水彩連盟展68回 4.1—4.13 国立
 新美術館
 新美術新聞 1186 (克)
 美術の窓 309 高山淳
青枢展36回 9.18—10.3 東京都美
 術館
 新美術新聞 1198 (克)
 美術の窓 314 高山淳
雪舟国際美術協会展16回 12.9—
 12.20 国立新美術館
全国水墨画展16回 8.5—8.17 国
 立新美術館
**全日本アートサロン絵画大賞展18
 回** 2.5—2.16 国立新美術館(大
 阪市立美術館)
全日肖展56回 7.28—8.3 東京都
 美術館
 新美術新聞 1194 (智)
**職美展63回[全日本職場美術協議
 会]** 6.12—6.22 東京都美術館
全日本水墨画秀作展33回 3.4—3.
 15 国立新美術館
全日本水墨画展32回 7.1—7.6
 東京都美術館

新美術新聞 1195 (智)
全展47回[全日本美術協会] 8.20—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1195 (洋)
 美術の窓 313 高山淳
東京春季創画展35回 2.25—3.2
 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 1183 (松)
創画展36回 10.16—10.31 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1201 (松)
 美術の窓 315 高山淳/切刀知子
蒼騎展49回 6.24—7.6 国立新美術館
 新美術新聞 1191 (元)
 美術の窓 312 高山淳
創型展58回 5.9—5.19 東京都美術館
 新美術新聞 1188 (智)
 美術の窓 310 高山淳
創元展68回 4.1—4.13 国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、京都市美術館、福岡市美術館、高松市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松)
 新美術新聞 1186 (元)
 美術の窓 309 高山淳
創彩展29回 5.9—5.19 東京都美術館
 新美術新聞 1188 (克)
創展43回[創作画人協会] 10.4—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1200 (智)
 美術の窓 315 高山淳
双樹展39回 9.1—9.16 東京都美術館
 新美術新聞 1196 (元)
 美術の窓 314 高山淳
蒼樹展34回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1181 (元)
 美術の窓 308 磯部靖
創造展62回 6.1—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1190 (洋)
 美術の窓 311 高山淳

(タ行)

第一美術展80回 5.27—6.8 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 311 磯部靖
大翔展33回 11.14—11.21 東京都美術館
 新美術新聞 1204 (元)
大潮展73回 12.1—12.14 東京都美術館
 美術の窓 317 磯部靖
大調和展48回 3.14—3.24 東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)
 新美術新聞 1181 (智)
 美術の窓 308 高山淳/磯部靖
太平洋展105回 5.13—5.25 国立新美術館(福岡市美術館、愛知県美術館、千葉県立美術館、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 310 高山淳/磯部靖
 朝日夕刊 5.13 大西若人
大洋展31回 11.22—11.29 東京都美術館
 新美術新聞 1205 (智)
 美術の窓 317 磯部靖
太陽美術展35回 11.22—11.29 東京都美術館
 新美術新聞 1205 (智)
 美術の窓 317 磯部靖
たぶろう展44回 6.10—6.22 国立新美術館
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 311 高山淳
中美展61回 11.2—11.12 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (元)
 美術の窓 316 高山淳/磯部靖
等迦展41回 2.4—2.16 国立新美術館
 新美術新聞 1179 (克)
 美術の窓 307 高山淳
東京展35回 9.18—10.3 東京都美術館
 美術の窓 314 高山淳
都展45周年記念[東京都民美術展運

営会] 11.2—11.12 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (元)

陶芸財団展2009 6.24—7.5 国立新美術館

東光展75回 4.23—5.7 東京都美術館(大阪市立美術館、岡山県天神山文化プラザ、鹿児島市立美術館、島根県立美術館、広島県立美術館、熊本県立美術館分館、長崎県立美術館、佐賀県立美術館、北九州市立美術館)

新美術新聞 1187 (智)
 美術の窓 310 高山淳

東方展43回 3.14—3.24 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館別館)

新美術新聞 1181 (元)
 美術の窓 308 高山淳

独立展77回 10.14—10.26 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、愛知県美術館、福岡市美術館)

新美術新聞 1201 (智)
 美術の窓 315 高山淳

土日会展34回 12.9—12.21 国立新美術館

新美術新聞 1208 (洋)
 美術の窓 317 高山淳

(ナ行)

南画院展63回 10.5—10.14 東京都美術館

新美術新聞 1200 (洋)

21美術展4回 11.13—11.21 東京都美術館

新美術新聞 1204 (智)

二科展94回 9.2—9.14 国立新美術館(愛知県美術館、大阪市立美術館、京都市美術館、広島県立美術館、鹿児島県歴史資料センター、福岡市立美術館)

新美術新聞 1196 (智)
 美術の窓 314 高山淳

二科会写真部展57回 9.2—9.14 国立新美術館

二紀展63回 10.14—10.26 国立新美術館(愛知県美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美

平成21年美術展覧会(団ナ行)

術館、長崎県美術館、金沢21世紀美術館、クリエート浜松)
 新美術新聞 1201 (元)
 美術の窓 315 高山淳
二元展48回 6.12—6.22 東京都美術館
 新美術新聞 1190 (元)
 美術の窓 311 高山淳
日洋展23回 5.27—6.8 国立新美術館(熊本県立美術館、広島県立美術館県民ギャラリー、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1190 (元)
 美術の窓 310 高山淳／磯部靖
日輝展34回 12.8—12.14 東京都美術館
 新美術新聞 1207 (智)
日春展44回 4.1—4.6 松屋(銀座)(大和(新潟)、高島屋(伊予鉄)、大丸(心斎橋)、松坂屋(名古屋)、大丸(福岡天神))
 新美術新聞 1183 (智)
日展41回 10.30—12.6 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館、大阪市立美術館、福岡市美術館、石川県立美術館、大分県立芸術会館)
 新美術新聞 1202 (智)／(元)
 美術の窓 316 高山淳／小森佳代子
日本画院展69回 4.23—5.7 東京都美術館
 新美術新聞 1187 (茂)
 美術の窓 310 高山淳
日府展56回[日本画府] 5.8—5.19 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1188 (智)
 美術の窓 310 高山淳
JAG展32回[日本芸術家協会] 11.13—11.21 東京都美術館
 新美術新聞 1204 (元)
 美術の窓 316 磯部靖
日本現代工芸美術展48回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、みなとびあ新潟市歴史博物館、神奈川県立県民ホール、金沢21世紀美術

館市民ギャラリーA、高松市美術館、身延町なかとみ現代工芸美術館)
 新美術新聞 1184 (茂)
 美術の窓 309 高山淳／小森佳代子
彩美展14回[日本彩美会] 11.14—11.21 東京都美術館
 新美術新聞 1204 (克)
 美術の窓 316 磯部靖
日本自由画壇展35回 6.10—6.22 国立新美術館
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 311 高山淳
日本新工芸展31回 5.13—5.24 国立新美術館(松坂屋美術館、京都市美術館、北九州市立美術館市民ギャラリー)
 新美術新聞 1190 (智)
 美術の窓 310 小森佳代子
日本新水墨派展34回 11.22—11.29 東京都美術館
 美術の窓 317 磯部靖
日本水彩展97回 6.1—6.10 東京都美術館(愛知県美術館、福屋(広島)、京都市美術館別館)
 美術の窓 311 高山淳
 新美術新聞 1190 (智)
日本水墨院展24回 6.10—6.21 国立新美術館
 新美術新聞 1190 (洋)
 美術の窓 311 高山淳
日本水墨画展42回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1184 (智)
清興展31回[日本清興美術協会] 12.8—12.14 東京都美術館
 新美術新聞 1207 (洋)
 美術の窓 317 磯部靖
国際美術大賞展35回[日本選抜美術家協会] 11.1—11.12 東京都美術館
 新美術新聞 1203 (智)
国際扇面展30回[日本扇面芸術協会] 3.26—4.4 東京都美術館
 新美術新聞 1184 (元)
日中水墨画合同展26回 2.4—2.16 国立新美術館
日彫展39回 6.24—7.6 国立新美

術館(石川県立美術館、愛知芸術文化センター)
 新美術新聞 1191 (元)
 美術の窓 312 高山淳／小森佳代子
日美絵画展10回 8.6—8.15 国立新美術館
総合水墨画展14回[日本通信美術学園] 8.6—8.15 国立新美術館
 美術の窓 313 高山淳
日本伝統工芸展55回 1.2—1.18 香川県立ミュージアム
日本伝統工芸展56回 9.25—10.4 三越(日本橋)(三越(名古屋)、高島屋(京都)、石川県立美術館、三越(仙台)、岡山県立美術館、島根県立美術館、香川県立ミュージアム、広島県立美術館、福岡天神岩田屋、三越(松山)、大丸本店)
 陶説 682 外館和子
日本南画院展49回 3.18—3.29 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)
 新美術新聞 1182 (洋)
 美術の窓 308 高山淳
板院展59回[日本板画院] 6.12—6.22 東京都美術館
 新美術新聞 1190 (元)
 美術の窓 311 高山淳／小森佳代子
日本版画会展50回 11.22—11.29 東京都美術館
 新美術新聞 1205 (智)
 美術の窓 317 磯部靖
版画展77回[日本版画協会] 4.6—4.21 東京都美術館
 新美術新聞 1186 (洋)
 美術の窓 309 高山淳／小池伊欧里
春の院展64回[日本美術院] 3.31—4.12 三越(日本橋)
 新美術新聞 1183 (松)
院展93回 3.12—3.29 茨城県天心記念五浦美術館
 東京 3.11 原田拓哉
院展94回 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心斎橋)、山形美術館、石川県立美術館、そごう美術館、天満屋(岡

山)、福屋(広島)、東武宇都宮百貨店、三越(名古屋)、長崎県美術館、北九州市立美術館分館、三越(松山)、今井美術館)
新美術新聞 1196 (松)
美術の窓 314 高山淳

日本アンデパンダン展62回[日本美術会] 3.18—3.30 国立新美術館
新美術新聞 1182 (茂)

日本表現派展53回 10.5—10.14
東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1200 (元)
美術の窓 315 高山淳

日象展36回 12.9—12.21 国立新美術館
新美術新聞 1208 (智)
美術の窓 317 高山淳

日本文人画府展38回 10.5—10.14
東京都美術館
新美術新聞 1200 (洋)
美術の窓 315 高山淳

日本遊印アート協会展18回 6.24—6.29 東京都美術館
新美術新聞 1191 (克)

日本和紙絵画展24回 11.23—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1205 (克)

NAU21世紀美術連立展10回 9.18—10.3 東京都美術館
新美術新聞 1198 (克)

(ハ行)

白亜展32回 12.8—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1207 (元)
美術の窓 317 磯部靖

白士会展45回 8.21—8.30 東京都美術館
新美術新聞 1195 (元)
美術の窓 313 高山淳/小森佳代子

白日展85回 3.18—3.30 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、鹿児島県歴史資料センター黎明館、近鉄アート館(大阪))
新美術新聞 1182 (智)
美術の窓 308 高山淳

汎美展2009 3.4—3.16 東京都美術館

美術文化展69回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)
新美術新聞 1184 (茂)
美術の窓 309 高山淳

从展35回 3.14—3.24 東京都美術館
美術の窓 308 佐久間智香子

風子会展33回 11.22—11.29 東京都美術館
新美術新聞 1205 (智)

風土展31回 9.14—9.20 東京セントラル美術館
美術の窓 314 高山淳

FAA富士美術展27回 4.23—5.7
東京都美術館
新美術新聞 1187 (茂)
美術の窓 310 高山淳

平泉展21回 1.21—2.2 国立新美術館
新美術新聞 1178 (茂)

(マ行)

モダンアート展59回 4.23—5.7
東京都美術館(福岡アジア美術館、愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、横浜市民ギャラリー)
新美術新聞 1187 (智)
美術の窓 310 高山淳

(ヤ行)

遙玄展36回 11.2—11.12 東京都美術館
新美術新聞 1203 (洋)
美術の窓 316 小森佳代子

(ラ行)

立軌展61回 2.4—2.16 国立新美術館
新美術新聞 1179 (智)
美術の窓 307 高山淳

流形展59回 11.30—12.7 東京都美術館
新美術新聞 1207 (元)

連展36回 12.3—12.7 東京都美術館

新美術新聞 1207 (克)
ローマン派美術協会展41回 12.8—12.14 東京都美術館
新美術新聞 1207 (智)

美術文献目録

凡 例

1. ここに採録した文献は平成21(2009)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」、「古美術」に改め、また、両分類に関わる記事については、「総説」、「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容を持つものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順とし、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後現れるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに()で図録名を補った。
8. 号数は主として通巻番号を採用した。なお、757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9. 1、3、6は、平成21年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
9. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[]で示した。
10. 欧文の分綴については、スペースの都合上、分綴法に従っていない場合がある。

収録定期刊行物誌名

(50音順)

ARK(秋田県立近代美術館)	明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	石見美術(島根県浜田市立石正美術館)	大阪文化財研究(大阪文化財センター)
art_icle		印度学仏教学研究	大津市歴史博物館研究紀要
ART iT	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	浮世絵芸術(日本浮世絵協会)	大津歴博だより
アート・ドキュメンテーション研究	跡見学園女子大学人文学フォーラム	浦添市文化部紀要 よのつち	大手前大学史学研究所紀要
アート・ドキュメンテーション通信	跡見学園女子大学文学部紀要	瓜生通信(京都造形芸術大学)	おおてみち(滋賀県立安土城考古博物館)
アートペーパー(名古屋市美術館)	aprire(岩手県立美術館)	Ouroboros(東京大学総合研究博物館)	大美和(大神神社)
ART LIBRARY(日本彫刻会)	アマリリス(静岡県立美術館)	AAC(愛知芸術文化センター)	岡崎市美術博物館研究紀要
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	アルカディア(岡崎市美術博物館)	永青文庫	岡山県立記録資料館紀要
aica JAPAN(美術評論家連盟)	飯田市美術博物館研究紀要	AS(アート・スクエアの会)	岡山県立美術館紀要
EYES(東京都写真美術館)	Equal(金沢アートイベントカレンダー)	エクラン 松本市美術館紀要	岡山県立美術館ニュース
あいだ	石川県立美術館紀要	エスプラナード(福岡市美術館)	岡山市立オリエン特美術館研究紀要
あいち(愛知県知事政策局広報広聴課)	石川県立美術館だより	絵解き研究	岡山大学文学部紀要
愛知教育大学研究報告	石川県立歴史博物館紀要	江戸東京博物館 NEWS	お札と切手の博物館ニュース
愛知県史研究	いしかわの遺跡(石川県埋蔵文化財センター)	愛媛県美術館年報・研究紀要	尾道大学芸術文化学部紀要
愛知県美術館研究紀要	板橋区立郷土資料館紀要・年報	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	オリエンテ(古代オリエン特博物館)
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要	えひめ視覚文化の会通信	オリエンテ(日本オリエン特学会)
愛知県立芸術大学紀要	一寸	鴨東通信(思文閣)	外交史料館報
愛知県立大学文学部論集	五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所)	大分県立芸術文化短期大学研究紀要	海港都市研究(神戸大学大学院人文学研究科海港都市研究センター)
青森県立郷土館研究紀要	出光美術館館報	大分県立歴史博物館研究紀要	海事博物館研究年報
赤れんが(産業技術記念館)	出光美術館研究紀要	大阪大谷大学博物館報告書	貝塚博物館紀要
秋田県立博物館研究報告	茨城県近代美術館だより	大阪教育大学紀要	香川県埋蔵文化財センター研究紀要
秋田県立博物館ニュース	茨城県立歴史館報	大阪城天守閣紀要	香川県立ミュージアムニュース
秋田美術(秋田県立近代美術館)	茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集	大阪成蹊大学芸術学部紀要	学習院大学史料館紀要
AXIS	イメージ&ジェンダー	大阪大学大学院文学研究科紀要	学習院大学人文学部論集
アジア文化交流研究(関西大学アジア文化交流研究センター)	入間市博物館紀要	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	学術研究(早稲田大学教育学部)
アジア遊学	岩手県立博物館研究報告		学叢(京都国立博物館)
			学鑑

- 鹿児島大学総合研究博物館
news letter
- 嶺山会報
- 鹿島美術財団年報・別冊
- 柏原市立歴史資料館館報
- 春日(春日大社)
- ガス燈(大川美術館)
- 華頂博物館学研究
- 神奈川県立近代美術館年報
- 神奈川県立博物館研究報告
- 神奈川県立歴史博物館だより
- かながわの考古学(かながわ考古学財団)
- 金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編
- 金沢大学考古学紀要
- 金沢大学歴史言語文化学系論集
- 金沢美術工芸大学紀要
- 金沢文庫研究
- 鎌倉(鎌倉文化研究会)
- 鎌倉遺文研究
- カリスタ(東京芸術大学美術学部美学研究室)
- Cultivate(文化環境研究所)
- 川崎市市民ミュージアム紀要
- 元興寺文化財研究所研究報告
- 関西大学哲学
- 関西大学東西学術研究所紀要
- 関西大学博物館紀要
- 漢字と情報(京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター)
- 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告
- 北区飛鳥山博物館研究報告
- 岐阜県博物館調査研究報告
- 岐阜県美術館年報
- 岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告
- 木村定三コレクション研究紀要
- ギャラリー(月刊)
- 九州産業大学芸術学会研究報告
- 九州史学(九州史学研究会)
- 九州歴史資料館研究論集
- 九歴だより
- 京都国立近代美術館研究論集
- 京都国立博物館だより
- 京都嵯峨芸術大学紀要
- 京都女子大学人文論叢
- 京都市立芸術大学芸術資料館年報
- 京都市立芸術大学美術学部研究紀要
- 京都精華大学紀要
- 京都大学総合博物館ニュースレター
- 京都美学美術史学(京都美学美術史学研究会)
- 京都府立総合資料館紀要
- 京都府立大学文化遺産叢書
- 紀要 Hokkaido Art Museum Studies
- 共立女子大学文芸学部紀要
- きよらさ(浦添市美術館)
- 金鯨叢書 史学美術史論文集(徳川黎明会)
- 近代(神戸大学)
- 近代画説(明治美術学会)
- 釧路論集(北海道教育大学釧路校)
- 熊本県立美術館研究紀要
- グリーンルーフ(鹿児島市立美術館)
- くるまいし(根室市歴史と自然の資料館)
- CLOSET(女子美術大学大学院美術研究科芸術表象ゼミ)
- 群馬県立近代美術館研究紀要
- 群馬県立女子大学紀要
- 群馬県立歴史博物館紀要
- 群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)
- 慶応義塾大学アート・センター年報
- 慶応義塾大学日記紀要
- 芸術学学報(金沢美術工芸大学芸術学研究室)
- 芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 芸術学研究(明治学院大学芸術学会)
- 芸術新潮
- 芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)
- 芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室)
- 芸大通信(東京芸術大学)
- 計量史研究
- 華厳
- 研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)
- 現代の眼(東京国立近代美術館)
- 建築雑誌(日本建築学会)
- 建築史学(建築史学会)
- 工学院大学共通課程研究論叢
- 皇学館大学神道研究所紀要
- 皇学館大学神道博物館館報
- 考古学雑誌
- 神戸市立博物館研究紀要
- 神戸市立博物館だより
- 高野山大学密教文化研究所紀要
- 高麗美術館館報
- 国学院雑誌
- 国学院大学紀要
- 国学院大学伝統文化リサーチセンター研究紀要
- 国語国文(京都大学文学部国語国文学研究室)
- 国語と国文学(東京大学国語国文学会)
- 国際日本学(法政大学国際日本学研究所)
- 国文学解釈と鑑賞
- 国文学研究資料館紀要
- 国文学研究資料館調査研究報告
- 国文学論考(都留文科大学国語国文学会)
- 国文研ニュース(国文学研究資料館)
- 国立国際美術館ニュース
- 国立国会図書館月報
- 国立新美術館ニュース
- 国立西洋美術館研究紀要
- 国立西洋美術館年報
- 国立民族学博物館研究報告
- 国立歴史民俗博物館研究報告
- 古代アメリカ(古代アメリカ学会)
- 古代文化(古代学協会)
- 古代文化研究(島根県古代文化センター)
- 国華
- 国華清話会会報
- 古文書研究(日本古文書研究)
- コリアナ(韓国国際文化協会)
- Corridart(横須賀美術館)
- 斎宮歴史博物館だより
- 斎宮歴史博物館研究紀要
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
- 埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要

美術文献目録

- 埼玉県立歴史と民俗の博物館だより
- 埼玉史談(埼玉郷土文化会)
- 採蓮 千葉県美術館研究紀要
- 堺市博物館報
- 佐賀県立博物館・美術館調査研究書
- SAZAE 通信(長谷川町子美術館)
- 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要
- ザ・ルーフ(郡山市立美術館)
- サントリー美術館・サントリーミュージアム合同研究紀要
- サントリー美術館ニュース
- 三の丸尚蔵館年報・紀要
- GMAT News(群馬県立館林美術館)
- jaic 会報(日本美術情報センター)
- 史淵(九州大学大学院人文科学研究科)
- Shiodome Museum REVUE(パナソニック電工汐留ミュージアム)
- 史学(三田史学会)
- 史学雑誌
- 視覚の現場 四季の結び
- 滋賀県文化財保護協会紀要
- 滋賀県立安土城考古博物館紀要
- 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要
- 市史研究 ふくおか(福岡市博物館市史編さん室)
- 静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要
- 静岡県立美術館紀要
- 静岡文化芸術大学研究紀要
- 死生学研究(東京大学大学院人文社会系研究科)
- 史迹と美術
- 思想
- 漆芸美術館だより
- 実践国文学
- 実践女子学園香雪記念資料館館報
- 実践女子大学美学美術史学
- 実践女子大学文学部紀要
- 実践女子大学文芸資料研究所年報
- 斯道文庫論集
- 島根県立石見美術館ニューズレター
- 島根県立石見美術館研究紀要
- 下関市立考古博物館研究紀要
- 下関市立美術館研究紀要
- ジャポニスム研究
- SHŪ(玉川大学教育博物館)
- 宗教文化研究
- 自由美術(自由美術協会)
- 主体美術(主体美術協会)
- 趣味の水墨画
- 純心人文研究(長崎純心大学)
- 巡礼記研究
- 商経論叢(神奈川大学経済学会)
- 城西国際大学日本研究センター紀要
- 正倉院紀要
- 聖徳(法隆寺)
- 昭和女子大学国際文化研究所紀要
- 続日本紀研究
- 書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)
- 女子美(女子美術大学)
- 女子美術大学研究紀要
- 書道界
- 書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)
- 書道文化(四国大学書道文化学会)
- 書陵部紀要
- 資料館だより(世田谷区立郷土資料館)
- 史林(京都大学文学部内史学研究会)
- 絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)
- 塵界(兵庫県立歴史博物館)
- 新美術新聞
- 人文学(同志社大学人文学会)
- 人文学研究所報(神奈川大学人文学研究所)
- 人文学報(京都大学人文科学研究所)
- 人文研究(神奈川大学人文学会)
- 人文論(関西学院大学人文学会)
- 人類学博物館紀要(南山大学人類学博物館)
- 水声通信
- 椋山女学園大学研究論集
- 朱雀(京都府京都文化博物館)
- STUDIO VOICE
- 墨
- 駿台史学
- 生活と文化(豊島区立郷土資料館)
- 成城美学美術史
- 成城文芸
- 西洋美術研究
- 世田谷美術館だより
- セラミック九州(佐賀県立九州陶磁文化館)
- 仙台市博物館調査研究報告
- 全文連会報(全国国宝重要文化財所有者連盟)
- 肝陵(関西大学博物館)
- 崇城大学芸術学部研究紀要
- 醍醐寺文化財研究所研究紀要
- たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)
- 大日光(日光東照宮)
- 太陽(別冊)
- 高梁市成羽美術館だより
- 竹中大工道具館研究紀要
- 辰馬考古資料館考古学研究紀要
- たばこと塩の博物館研究紀要
- 田原市博物館研究紀要
- たまのよこやま(東京都埋蔵文化財センター)
- たまび(多摩美術大学)
- 多摩美術大学研究紀要
- TARO(岡本太郎記念館)
- 淡交
- 千葉県の文書館
- 千葉県立中央博物館研究報告
- 千葉市美術館ニュース C'n
- ちひろ美術館・東京 美術館だより
- 地方史研究
- 茶の湯文化学
- 中国近現代文化研究
- 朝鮮学報(朝鮮学会)
- 潮流(下関市立美術館)
- 筑波大学芸術研究報告
- 筑波大学先史学・考古学研究
- 土浦市立博物館紀要
- 壺屋焼物博物館紀要
- 津山弥生の中
- デアルテ(九州芸術学会)

帝京大学山梨文化財研究所 研究報告	刀剣美術	名古屋博物館だより	日本文化史研究(帝塚山大学 奈良学総合文化研究所)
デザインの現場	同志社大学博物館学年報	名古屋造形大学・名古屋造 形芸術大学短期大学部紀要	日本歴史
哲学会誌(学習院大学哲学 会)	陶説	名古屋大学文学部研究論集	人間文化(滋賀県立大学人 間文化学部)
帝塚山学院大学研究論集	東風西声 九州国立博物館 紀要	那覇市歴史博物館紀要	年報非文字資料研究(神奈 川大学非文字資料研究セン ター)
帝塚山大学大学院人文科学 研究科紀要	東方学	鍋島報効会研究助成研究報 告書	野村美術館研究紀要
帝塚山大学考古学研究所研 究報告	東方学報京都(京都大学人 文科学研究所)	奈良学研究(帝塚山短期大 学)	博物館研究(日本博物館協 会)
鉄斎研究(鉄斎美術館)	東方学会報	奈良国立博物館だより	八戸市博物館研究紀要
テラス(飯田市美術博物館)	同朋大学仏教文化研究所紀 要	奈良女子大学文学部研究教 育年報	PATIO(高岡市美術館)
天開図画(山口県立美術館)	同朋大学仏教文化研究所報	奈良大学紀要	花椿(資生堂)
展覧会だより(奈良県立万 葉文化館)	東北芸術工科大学紀要	奈良文化財研究所紀要	林原美術館紀要・年報
天理参考館報	東北文化研究室紀要	南山考人(南山考古文化人 類学研究会)	版画芸術
東海大学紀要教養学部	東北歴史博物館研究紀要	南丹市立博物館だより	美愛真(調布市武者小路実 篤記念館)
東海大学国際文化学部紀要	東洋陶磁	南都仏教	美学
東京学芸大学紀要	東洋陶磁学会会報	新潟県立近代美術館研究紀 要	美学芸術学(同志社大学美 学芸術学研究室)
東京家政学院生活文化博物 館年報	東洋文化研究所紀要	新潟県立歴史博物館研究紀 要	美学美術史研究論集(名古 屋大学大学院文学研究科美 学美術史研究室)
東京芸術大学大学美術館年 報	東洋文庫書報	新潟市歴史博物館研究紀要	美学論究(関西学院大学文 学部美学研究室)
東京芸術大学美術学部紀要	どおむ(富山県立近代美術 館)	西アジア考古学	東アジアの古代文化(古代 学研究所)
東京芸術大学美術学部論叢	遠山記念館だより	西宮市大谷記念美術館 NEWS	東アジア文化交渉研究(関 西大学文化交渉学教育研究 拠点)
東京国立近代美術館研究紀 要	常盤山文庫中国陶磁研究会 会報	日仏美術学会会報	彦根城博物館研究紀要
東京国立博物館紀要	徳島県立近代美術館研究紀 要	日光山輪王寺	彦根城博物館だより
東京国立博物館ニュース	徳島県立博物館ニュース	日展ニュース	美史研ジャーナル(武蔵野 美術大学美学美術史研究 室)
東京造形大学研究報	徳島文理大学文学論叢	NICHIBUNKEN NEWS- LETTER	美術運動(日本美術会)
東京大学史料編纂所研究紀 要	栃木県立博物館研究紀要	日本学士院紀要	美術運動史研究会ニュース
東京大学史料編纂所附属画 像史料解析センター通信	富山考古学研究	日本画像学会誌	美術研究(東京文化財研究 所)
東京大学総合研究博物館標 本資料報告	豊田美術館紀要	日本研究(国際日本文化研 究センター)	美術史
東京都江戸東京博物館研究 報告	豊橋市美術博物館研究紀要	日本建築学会計画系論文集	美術史学(東北大学)
東京都現代美術館年報	長崎県美術館研究紀要	日本史研究	美術史研究(早稲田大学美 術史学会)
東京都写真美術館紀要	長崎歴史文化博物館研究紀 要	日本女子大学大学院人間社 会研究科紀要	
東京都埋蔵文化財センター 研究論集	長野県信濃美術館紀要	日本大学芸術学部紀要	
	長野県立歴史館研究紀要	日本の民芸(日本工芸館)	
	長浜城歴史博物館 博物館 だより		
	名古屋博物館研究紀要		

美術文献目録

美術史論集(神戸大学美術史研究会)	富士市立博物館館報	保存科学(東京文化財研究所)	民俗学研究所紀要(成城大学民俗学研究所)
美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)	Fuji Xerox Art Bulletin	北海道開拓記念館研究紀要	みんぱく(国立民族学博物館)
美術手帖	府中市郷土の森博物館紀要	北海道開拓の村研究紀要	民博通信(国立民族学博物館)
美術の窓	ふちゅへる(静岡市教育委員会)	埋文とやま(富山県埋蔵文化財センター)	無形文化遺産研究報告
美術フォーラム21	仏教芸術	マキエ(ポーラ文化研究所)	武蔵野美術大学研究紀要
美のたより(大和文華館)	仏教史学研究	待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)	ムゼイオン(立教大学学校・社会教育講座)
ビブリア(天理図書館)	仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	町田市立国際版画美術館紀要	明治大学博物館研究報告
姫路市立美術館研究紀要	仏教大学総合研究所紀要	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	明治村だより
姫路市立美術館だより	仏教大学文学部論集	三重大史学	明星大学研究紀要
非文字資料研究(神奈川大学21世紀 COE プログラム)	ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	瑞垣(神社司庁)	目の眼
百万塔(紙の博物館)	文化(東北大学文学会)	三田国文	文部科学広報
百科(月刊)	文化往来 美の風	三井美術文化史論集(三井記念美術館)	八雲立つ風土記の丘(島根県立八雲立つ風土記の丘)
氷華(北海道旭川美術館)	文学(隔月刊)	密教図像	野洲市歴史民俗博物館研究紀要
兵庫県立考古博物館研究紀要	文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)	密教文化	山形大学歴史・地理・人類学論集
兵庫県立美術館研究紀要	文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)	港郷土資料館だより	山口県史研究
兵庫陶芸美術館研究紀要	文化財研究紀要(東京都北区教育委員会)	美濃加茂市民ミュージアム紀要	山口県文書館研究紀要
平泉文化研究年報(岩手県教育委員会)	文化財保存学専攻保存修復彫刻年報(東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室)	MIHO MUSEUM 研究紀要	山口県立山口博物館研究報告
平出博物館ノート	文化史学	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	山口蓬春記念館研究紀要
美連協ニュース(JAAM 会報)(美術館連絡協議会)	文化資源学	宮崎大学教育文化学部紀要	大和文華(大和文華館)
広島県立美術館研究紀要	文化情報学(同志社大学文化情報学会)	MUSEUM(東京国立博物館)	山梨県立博物館研究紀要
広島県立美術館年報	文化と芸術(静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター)	MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)	山梨県立美術館研究紀要
広島県立歴史博物館研究紀要	文環研レポート(文化環境研究所)	ミュージアム調査研究報告(香川県立ミュージアム)	游美(茨城県立近代美術館友の会)
広島県立歴史民俗資料館研究紀要	文京ふるさと歴史館年報	MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)	雪椿通信(新潟県立近代美術館)
広島市立大学芸術学部紀要	文星紀要	MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)	ユネスコ世界遺産年報
フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)	文星芸術大学大学院研究科論集	ミルフイユ(せんだいメデアテーク)	ユリイカ
フェリス女学院大学文学部紀要	鳳翔学叢(平等院)	美をつくし(大阪市立美術館)	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)
福井県立若狭歴史民俗資料館館報	法政考古学	民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所)	横須賀市博物館研究報告
福岡市博物館研究紀要	北斎研究		横浜市歴史博物館紀要
藤女子大学紀要			横浜市歴史博物館調査研究報告
			横浜美術館研究紀要

横浜美術短期大学教育・研究紀要	歴史学研究	六所家総合調査だより	朝日夕刊
横山大観記念館館報	歴史地理教育	和歌山県文化財センター年報	産経
立正史学	歴史と地理	和歌山県立近代美術館ニュース	東京
栗東歴史民俗博物館紀要	歴史と民俗(神奈川大学常民文化研究所)	和歌山県立博物館研究紀要	東京夕刊
龍谷大学仏教文化研究所紀要	歴史評論(歴史科学協議会)	和歌山市立博物館研究紀要	日経
龍谷大学仏教文化研究所所報	歴博(国立歴史民俗博物館)	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要	日経夕刊
Lure(札幌芸術の森)	連盟ニュース(日本美術家連盟)	早稲田大学大学院文学研究科紀要	毎日
黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	和洋国文研究	毎日夕刊
黎明館調査研究報告	礫山美術館報	朝日	読売
			読売夕刊

美術文献目録

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に*を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要

浦添市文化部紀要 よのつち

鹿児島大学総合研究博物館 news letter

金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

岐阜県ミュージアムひだ研究事業報告

ギャラリー(月刊)

紀要 Hokkaido Art Museum Studies

金鯢叢書 史学美術史論文集

国学院大学伝統文化リサーチセンター研究紀要

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

採蓮 千葉市美術館研究紀要

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要

サントリー美術館・サントリーミュージアム合同研究紀要

静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東京大学総合研究博物館標本資料報告

東京都埋蔵文化財センター研究論集

東風西声 九州国立博物館紀要

長浜城歴史博物館 博物館だより

名古屋造形大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要

NICHIBUNKEN NEWSLETTER

日本女子大学大学院人間社会研究科紀要

百科(月刊)

仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文学(隔月刊)

文化財(月刊)

鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋文センター紀要*

よのつち*

鹿児島大学総合研究博物館ニュース*

金沢学院大学紀要*

北九州自然史歴史博報告*

ミュージアムひだ研究報告*

ギャラリー*

Hokkaido Art Mus. Studies*

金鯢叢書*

国学院大伝統文化研紀要*

埼玉県埋文調査団紀要*

採蓮*

札幌大谷大学紀要*

サントリー美術館・ミュージアム合同紀要*

静岡県埋文研紀要*

帝塚山大学院紀要*

東京芸大保存修復彫刻年報*

東大画像史料解析センター通信*

東大総研博標本資料報告*

東京都埋文センター論集*

東風西声*

長浜城歴博だより*

名古屋造形芸大紀要*

日文研 NEWS*

日本女子大学大学院紀要(人)*

百科*

仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*

ブリヂストン・石橋美術館報*

文学*

文化財*

鹿園雑集*

早大會津八一記念博紀要*

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

総 説	78
美 学	78
概 論	79
日本美術史	94
海外美術史(アジア)	96
海外美術史(その他)	96
保存修復	101
情報処理	107
文化財行政	108
美術教育	114
古 美 術	118
絵 画	118
図像・文様	133
地図・絵図	134
彫 塑	135
原始彫刻	140
面	140
書 蹟	140
古文書・古記録	143
金石文など	144
工 芸	145
宗教工芸	145
武具・馬具類	146
茶 道 具	146
装身具・化粧具	147
文 房 具	147
装潢・料紙装飾	147
陶 磁	148
土 器	152
瓦	153
金 工	154
鏡	155
青 銅 器	155
刀剣・刀装	156
染織・服飾	157
漆 工	158
石 工	159

石 器	160
木 竹 工	160
ガラス工	161
その他の工芸・民具	161
建 築	162
都市・集落	162
宮殿・官衙	163
宗教建造物	164
城 郭	166
住 宅・館	167
茶 室	168
その他の建造物	168
庭 園	168
墳 墓	168
建築部材など	169
建築に付随するその他	169
近現代美術	171
絵 画	171
漫画・アニメーション	172
版 画	174
写真・映像	175
彫刻・空間表現	176
工 芸	177
デ ザ イン	180
建 築	183
その他のジャンル	188
作 家	189
日 本	189
海 外	329
そ の 他	364
美術関係者	364
書 評	371
時 評	379
美術館・博物館・画廊	382
海 外 展	402

定期刊行物所載文献

総 説									
美 学									
「いき」の構造のアポーハ論的構造	上田 昇	印度学仏教学研究	119			ズルツァー『諸芸術の一般理論』における感覚と芸術—啓蒙時代的美学の一断面—	吉田 直子	東京芸術大学美術学部論叢	5
ベルクソン—アナロジ—の美学—	瀧 一郎	大阪教育大学紀要	57-2			ハーバーマスのシラ—『美育書簡』論—教育的公共性における「美的なるもの」のアクチュアリティに関する覚書(2)	西村 拓生	奈良女子大学文学部研究教育年報	6
「此性〔ヘクシアテイ〕」の体験—視覚と表象—	北澤 裕	学術研究	57			第3回日韓学術フォーラム報告 セッションII 東洋と西洋の「芸術」体制の比較のための時論	吳 晒南	日本学士院紀要	63-3
芸術と感動Bewegungs—J・G・ズルツァーにみる啓蒙主義芸術論	吉田 直子	カリスタ	16			場所の記憶と廃墟	西村 清和	美 学	234
『森鷗外氏講義 美学』(其之三)—本保義太郎筆記ノート(於東京美術学校)—	吉田 直子、井上 康彦	翻刻	〃	〃		芸術経験における〈自己=意味=像〉としての象徴の生成	大石 昌史	〃	〃
芸術行為を通じるカオスの克服—カオスからの解脱—	黄 禧晶	九州産業大学芸術学会研究報告	40			シュライアマハー〈図式論〉と〈言語の二重性〉—カントとシェリングの図式論との比較において—	桑原 俊介	〃	〃
芸術的精神の現象学 12 第五章「オリジナルと模倣」 第六章「実用物の諸構成要素の判定」	岩城 見一	京都国立近代美術館研究論集	2			「労働は心と身体を健康を驚くほど調節する」—十九世紀末の芸術をめぐる労働の科学と身体のリズム—	石谷 治寛	〃	〃
啓蒙主義の徒花か、ディスコの先駆か—色彩クラヴィアをめぐる狂騒—	杉山 卓史	京都美学美術史学	8			宇宙の持続と身体の論理—「共感の美学」としてのベルクソンスム—	山内 朋樹	〃	〃
「内部の世界だけが重要である」—ブルースト美学の根底—	武藤 剛史	共立女子大学文学部紀要	55			エドワード・プロウの「心理的距離」概念について	郡田 尚子	〃	〃
スタンダードと宗教 絵画—絵の中に神は見えるか?—	フィリップ・ベルティエ 岩本 和子 訳	近 代	102			例会・研究発表会要旨 東部会		〃	〃
〈視覚—触覚〉の言説とメディア理論(上)(下)	山口 裕之	思 想	1017、1018			平成二〇年度第四回例会 プラトンにおける創造と場の問題—『国家』と『ティマイオス』のあいだ—	関村 誠		
「日本の美学」の現代的可能性について ミカエル・リュッケンと稲賀繁美の言説をめぐって	椎原 伸博	実践女子大学文学部紀要	51			平成二〇年度第五回例会 私を変形させる他者たち—ポール・ヴァレリーの「錯綜体」概念—	伊藤 亜沙		
美しい行いと善い行い	榎本 庸男	人文論究	59-1			例会・研究発表会要旨 西部会		〃	〃
ガダマーと解釈学的循環の(現在)	嵩原 英喜	〃	59-2						
ハイデガーとエミール・ラスク	西尾 大樹	〃	〃						

第二七一回研究発表会 ハイデッガー『芸術作品の根源』フライブルグ講演における歴史性	近岡 資明				第13回 知の未来 from ハンス・ウル リッヒ・オブリス ト to 侯 瀚如 [ホウ ・ハンルウ]	ハンス・ウ ルリッヒ・ オブリスト	23
第二七二回研究発表会 荻生徂徠の礼楽思想—その「詩書礼楽」論の展開をめぐる—	陳 貞竹				第14回 日常のスケ クタクル from 侯 瀚如 [ホウ・ハン ルウ] to ハンス・ ウルリッヒ・オブ リスト	侯 瀚如	24
第二七二回研究発表会 メディアと親密性(intimacy)	吉岡 洋				Exhibition Reviews 01	〃	
共通感覚の射程—リ オターの『判断力 批判』解釈から—	小菊 裕之	〃	235		『Contemporary Australia: Optimi- sm』 ギャラリー ・オブ・モダン・ アート(プリズベ ン)	マイケル・ フィッツジ ェラルド	23
初期サルトルの芸術 論における想像と現実	森 功次	〃	〃		『One Day Sculp- ture』 ニュージ ーランド国内複数 会場	シャーロッ ト・ハドル ストン	24
第六十回美学会全国 大会報告 発表要旨		〃	〃		Exhibition Reviews 03	〃	
アクタイオンの韻 文—ジョルダナー ・ブルーノとペト ラルカ主義の伝統	岡本 源太				2008台北美術賞 台北市立美術館	岩切 みお	23
ベルクソン哲学に おけるメディア・ テクノロジー解釈	金子智太郎				『Distinguished Encounters: A Se- lection of Modern and Contemporary Art from Thai- land.』 ソムバット ・ブームブーン・ ギャラリー(バン コク)	ハリウッド ・ケトスワ ンナセン	24
プラトンにおける アイステーシス論 の創始—『パイ ドン』篇を中心に—	関村 誠				ソウル訪問—金達鎮 美術研究所を中心に—	田良島 哲	80
美学イデオロギー 再考	西 欣也				日本の美術雑誌—経 過報告	森 仁史 堀越洋一郎	83
美学論考 ヘラク レイトスの美学(中) (下)	新田 博衛	美術フォー ラム21	19, 20		「アート」の「文明批 判」を確かめたい	吉村 良夫 aica JAPAN	10
博士(文学)学位請求 論文審査報告要旨 「芸術の生理学」—ニ ーチェによる生の分 節化の試み—		早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	54		電撃と遠望 ヴェネ チア・ビエンナーレ 日本館への提言	榎木 野依 あいだ	156
博士論文概要 「芸 術の生理学」—ニ ーチェによる生の分 節化の試み—	山本 恵子	〃	〃		あいだのすみっこ不 定期漫遊連載	稲賀 繁美	〃
概 論							
特集 良いキュレ ーション、悪いキュ レーション 2008年ア ジア=パシフィック 10の国際展 完全比 較レビュー	編集部 構成	ART iT	22		第64回、第65回 古寂びを帯びる 《東の間》 フラン スから見る伊勢神 宮「日本の美学: 時の働き—痕跡と 断片」ミューリエル ・ラディックの著 書をめぐる公開円 卓会議より(1) (2)		157, 159
往復書簡		〃					
第12回 オバマ、 経済危機、ふたつ の現実、そして変 化 from 侯瀚如 [ホ ウ・ハンルウ] to ハンス・ウルリッ ヒ・オブリスト	侯 瀚如		22				

第68回 現代において「デッサン」とは「技法」なのか？—そうでないなら、「デッサン」には、いかなる可能性があるのだろうか？	162				逆転視における奥行知覚に関する一研究(XV) 2本または3本の垂直平行ロッドによる立体視実験	太田 雅夫	金沢学院大学紀要*	7
第70回 芸術という名の「枠組み」を問い直す—鼓常良Rahmenlosigkeit再考	165				工芸家と造形家における創造行為の論考	大場 吉美	〃	〃
コリアン・ディアスポラ美術の軌跡「アリアンの花の種—アジアの移住作家(Korean Diaspora Artists in Asia)」展についてのレポート	164	崔 在燦	あいだ		小さなスクリーンのトポス—ケータイのメディア考古学—	植田 憲司	川崎市市民ミュージアム紀要	21
野外展レポートI 里山で経験したこと、感じたこと(大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009)	166	武田 友孝	〃		研究報告 学舎を飾る 受け継がれてきた芸術作品—その再発見と再評価—	藤枝 和人	ミュージアムひだ研究報告*	H20年度
from the World 音楽とアートの祭典でテクノロジーとDIYが融合	141	永野 久美	A X I S		特集 アジアの美術都市		ギャラリー*	285
「あら、尖端的ね。」の表と裏	39	芳賀 徹	アルカディア		《シリーズ1》北京798芸術区を歩く			
あら、尖端的ね。—大正末・昭和初期の都市文化と商業美術	〃	千葉真智子	〃		《シリーズ1》北京798芸術区を歩く798の歴史、大山子798芸術区	謝 大仁		
画文交響の日本	42	芳賀 徹	〃		《シリーズ1》北京798芸術区を歩く「草場地」に集まる日本の画廊			
新・旧刊案内40 土方さんの翻訳書・その他	40	青木 茂	一寸		アート・トビックス Excitement		〃	
研究ノート 東西美術における水平線の上昇と下降	84	舟木 力英	茨城県近代美術館だより		ART @ AGNES 2009 FINAL 惜しまれつつも最終回			286
若桑みどり追悼特集 帝国主義とヌード	9	若桑みどり	イメージ&ジェンダー		六本木の街で行われる「一夜」限りのアートイベント			287
展覧会評 女性の芸術：ルネサンスからシュルレアリスムへ	〃	太田 岳人	〃		別府でアート？別府現代美術フェスティバル2009「混浴温泉世界」			288
真偽ではなく豊かな解釈を	74	出光佐千子 松本 郁代	鴨東通信		越後妻有アートトリエンナーレ2009 里山を背景に展開される大芸術祭			291
平成十九年度博士論文(課程)要旨 芸術と市民性 世紀転換期のドイツにおける「文化」の諸相	49	村田 美紀	大阪大学大学院文学研究科紀要		第4回福岡アジア美術トリエンナーレ 福岡にアジア美術が結集する			292
近代日本洋画とアメリカ美術—初期渡米作家の活動について—	26	安来 正博	鹿島美術財団年報・別冊		東京芸大と台東区がアートを通して連携			293
					水と土の芸術祭・市民サポーターズ会議の代表を務める小川弘幸			294
					まちと森をつなぐ野外アート展が11月1日から善福寺公園で開催			295

学生公募展via art 2009 『社会とア ートをつなぐ』	296	Pick-up ISE Cul- tural Foundation 「イセ文化基金が支 援する若手作家展」	296
特集 新・東京画廊 巡り	286	特集 公募展の現在 と未来! あなたも 出品してみませんか?	296
エリア1 浅草橋 ・東日本橋・馬喰 町・両国		特集 公募展の現在 と未来! あなたも 出品してみませんか?	296
エリア2 神保町		二科展	
エリア3 清澄白 河		独立展	
エリア4 茅場町		春陽会展	
エリア5 人形町 ・水天宮前・新日 本橋・三越前		水彩連盟展	
エリア6 上野周 辺		版画展	
アート・トピックス Statement		モダンアート展	
タイ東芝が行って きた絵画コンクー ルが昨年で20周年 を迎えた。その記 念に受賞者を日本 に招待した東芝国 際交流財団。	287	朱葉会展	
現代日本美術の指 針となるか「ART AWARD NEXT」— 新時代の担い手た ち明日への扉—	296	創展	
クウェート美術協会 会長サルマン氏来日 日本と中近東との文 化的な交流を求めて	288	国際会議講演報告 フロベールと東洋	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要 53
特集 素材からも危 機が迫る 和紙の現 状と風景 和紙生産 の現状	289	研究発表(要約) 縄 文土器と日本近代の 美術史学	春原 史寛 近代画説 18
特集 新古今アーカ イブ—美術街《京橋 ・日本橋》の奇跡を 巡る—	290	特集 見ること見ら れること 白鳥建二 『一緒にみる・言葉 でみる』	前池 由香、 内田 麻紀、 萬 翔子 インタビュー ・聞き手 CLOSET 2
Pick-up 美術家連 盟新人展	291	ACP 批評とは	真子 みほ
特集 新潟市が新た に立ち上げた 水と 土の芸術祭2009	293	作品が役立つとこ ろ	奥村 潤子
アート・トピックス Administration 文 化イベントを通し て、新たな都心コミ ュニティの形成を!	294	批評されることと 批評すること— ACPの活動を通し て—	「僕らは自分をは っきり知らないよ うに他人をはっき り知らない また 知らない結果、社 会の機構のなかで 互に固く手を握り 合っていて孤立す ることが出来ない。」—小林秀雄 の批評の射程
特集 アジアの美術 都市《シリーズ2》 インド・ニューデリ ーを歩く	295	研究小話	群馬の森 美術館ニ ュース
		アート・プロジェ クト見てある記	中島 幸子 136
		スキーと美術1— 猪谷六合雄と白樺 派—	谷内 克聡 137

スキーと美術2— 猪谷六合雄とマヴ オのうた—	谷内 克聡	138			〈連携〉する美術図 書館—『展覧会カ タログ総覧』から 見るアートライブ ラリの展開と課題	水谷 長志		
インタラクティブテ ィ	前田富士男	16	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報		MLA連携に向け た国立国会図書館 の取り組み	佐藤 毅彦		
フランスに渡った邦 人庭師—畑和助の軌 跡(上)	鈴木 順二	49・50	慶応義塾 大学日吉 紀要		コラム ポストミ ュージアムの試み—北 九州国際ビエンナー レとアートインスチ チュート北九州(AIK)	毛利 嘉孝	建築雑誌	1586
抽象絵画の構成要素 と印象評価の関連性 —病院空間における 比較検証を中心に—	吉岡 聖美	13	芸術学研 究(筑波)		特集 大学院におけ る建築設計教育III 全国大学院の修士設 計の現状2 修士設 計の位置づけ 今後 の展望 設計展の社 会的貢献—レモン展	松永 直美、 阿部 賢吉 談 入江 徹 聞き手 浅井 千春 文		1588
20世紀のプリミティ ヴィズムの意味と美 術教育への影響につ いて	渡部 晃子	"	"		まちに仕掛ける “柔らかなデザイン” によるまちの活性化 「パラソル」を使った 二つのまちづくり	千葉大学大 学院工学研 究科建築・ 都市科学専 攻都市計画 研究室	"	"
共同アトリエにおけ るアーティストによ る芸術支援活動—茨 城県つくば市アート ・スペース「テンカ ウント」を事例に	佐藤 恵美	"	"		特集 非線形・複雑 系の科学とこれから の建築・都市III 研 究者に聞く3 新し いデザイン原理とし ての生命	池上 高志 倉方 俊輔 聞き手	"	1590
特集 パリと骨董		712	芸術新潮		建築業界サイド・パ イ・サイド 平昌子 —PRから価値のあ るものを残したい	中田 千彦、 中田 元子 聞き手	"	1596
コラム サン・ジ ェルマンとアフリ カ美術	高橋 博				記念シンポジウム 古典建築書研究の諸 相	河田 克博、 永田 恵子、 溝口 明則、 麓 和善 溝口 正人 司会 清水 隆宏 副司会	建築史学	53
特別記事2「西洋 骨董」をめぐって	青柳 恵介				学芸員のノートから 91 “描かれた旧居 留地界限”雑感	金井 紀子	神戸市立 博物館だ より	95
頭髪フサフサだとこ んなに男前！ シェ イクスピア46歳 唯 一の生前肖像画発見	前橋 重二	"	"		談話室 浮世絵と国 際交流	藤澤 紫	国学院雑 誌	1227
invitation dvd 美術 品よらず取扱い指南 いたします		"	"		特集 続・絵画を読 み解く—文学との融 合 絵画と文学の融 合とは「画題」とい うもの—絵画と文学 を協働させてきたも の—	髙尾 尚子	国文学解 釈と鑑賞	936
インテリ青年像から 貫禄のでっぷり鑑ま で 即位500年のヘ ンリー8世人気	前橋 重二	"	"		美術資料の収集と提 供 3年目の課題と 展望	三木 哲夫、 平井 章一 談	国立新美 術館ニュ ース	9
贋作率99%の展覧会 も！ ロシア・アヴ アンギャルドの恐る べきニセモノ量産事 情	"	"	"		研究員レポート ア ートと経済波及効果	西野 華子	"	12
航空写真が透視した オールド・ヴェネツ ィア 地中に眠る古 代都市	"	"	"					
金属探知機で一攫千 金 お宝マニアが発 掘した未曾有の中世 財宝	"	"	"					
上野の杜の波瀾万丈 第7回 中国人留學 生一斉帰国	吉田千鶴子	18	芸大通信					
特集1〈連携〉する美 術情報		576	現代の眼					

旧松方コレクションの広がり 量的及び質的な拡大に関する一考察	小熊佐智子	国立西洋美術館研究紀要	13	時評5 芸術と共にサバイバルできるか	森山 貴之	〃	〃
芸術家の生き方・考え方	木村 雅信	札幌大谷大学紀要*	39	調査研究から2 河川文化(試論)―愛知県の場合―	木本 文平	〃	〃
日本におけるベルギー近代美術紹介	富田 章	サントリ一美術館・ミュージアム合同紀要*	2	調査研究から3 「ただいま」のある風景―スイートホームを探して―	後小路雅弘	〃	〃
特集―一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(一) 御下命による出品作の制作事業について	五味 聖	三の丸尚蔵館年報・紀要	14	展覧会から1 2009年のベルリン―「ベルリン89/09」「モデル・パウハウス」ほか	木村理恵子	〃	〃
時評7 リーマンショックからのサバイバル	加藤 義夫	視覚の現場 四季の綻び	1	展覧会から3 「水都大阪2009」の期間、私は中之島界隈をどう漂流していたか―シンポジウム/ピエンナーレ/ワークショップなど―	橋爪 節也	〃	〃
時評10 アール・ブリュット現代流行事情	中塚 宏行	〃	〃	展覧会から4 造園家のみるアートイベント―「森のアートフェスタ2009」をふりかえって―	河田 俊郎	〃	〃
調査研究から2 西洋絵画と比較して日本絵画には描かれなかった主題(画題)がある。何故だったのか、を追求することで、日本の美意識を探っていく	大須賀 潔	〃	〃	展覧会から10 あいちトリエンナーレ2010の現場で考えていること	坪戸 雅彦	〃	〃
調査研究から3 コードネームは「ニエズナーニ」	加須屋明子	〃	〃	パブリックアートと地域社会に関する学際的研究	森 俊太 川口 宗敏 的場ひろし	静岡文化芸術大学研究紀要	9
時評4 大阪検定公式テキスト『大阪の教科書』に執筆した気分―「大阪画壇」復活の背景にあったもの―	橋爪 節也	〃	2	大正初年・西洋古美術研究のネットワーク―下関市立美術館所蔵・古代オリエン・コレクションの背景―	岡本 正康	下関市立美術館研究紀要	12
時評6 キャラクターの時代	田島 達也	〃	〃	シンポジウム報告「日仏芸術交流の150年」	小泉 順也	ジャポニスム研究	29
時評11 障がい者とアートを通してコラボする	大坂 一成	〃	〃	シンポジウム報告「ひとつの京都学 美術・工芸・建築・都市」	林 久美子	〃	〃
調査研究から5 知性の再定義にむけて: 理論的還元の限界と、全体論的把握への誘惑とのはざままで	稲賀 繁美	〃	〃	研究ノート ジャパニーズ・ファンシー・フェア―十九世紀末・英国リヴァプールにおける日本紹介―	象 和沙	〃	〃
展覧会から6 「混浴温泉世界 別府現代芸術フェスティバル2009」[混浴の歩き方ツアー]参加レポート	三谷 理華	〃	〃	2008年研究講演会レポート 芥川喜好氏研究講演会「創造の自由について」	芥川 喜好 談 榎本香菜子 構成	主体美術	85
展覧会から7 「飛鳥から奈良へ―国際彫刻展序章」後記	南城 守	〃	〃	視覚伝達経路の特性を活かした色彩の癒し効果	坂田 勝亮	女子美術大学研究紀要	39
時評3 転換期の新聞社の展覧会事情	白鳥 正夫	〃	3	〈素朴さ〉と〈内面性〉ボードレールの美術批評について	森 繁	〃	〃

視覚造形における美的評価尺度の検討	筒井 亜湖 近江源太郎	女子美術 大学研究 紀要	39	1 前人未踏か、帰還不能かー第4回福岡トリエンナーレ	黒田 雷児	1192
色順応における非順応眼の感度変化	島倉 瞳	"	"	2 インドにおける「パブリック」なアートとは?	"	1195
「皆でアートをすること」は社会のくすりになるのか アーティストと社会の新しい関わり方	鈴木理恵子	"	"	3 釜山と福岡の間には深くて暗い海がある?	"	1198
年頭に際して 文化・芸術の尊重と発展こそが国の飛躍	浅木 正勝	新美術新聞	1172	4 カラチの人たち、がんばる! 国際舞台までの地道な努力	"	1201
PARIS発	安部 雅延	"	"	5 「自生」するパフォーマンス	"	1203
グローバルな視点		"	"	現在通信 From NEW-YORK	富井 玲子	"
FIAC 2009と21世紀美術の行方		"	1200	第三の心		1177
新美術時評		"	"	NYの日本		1191
身辺的フェミニズム考	外館 和子		1175	タージャマ		1193
リベラルアーツの姿勢でーある美術史家との対話	"		1178	AbExー逸話的に		1196
筆についてのコンセンサス、第一歩の「実験」	島尾 新		1179	サムライという難題		1202
「越境」の機会	外館 和子		1184	問屋街・馬喰横山周辺に現代アートギャラリー集結	"	1179
三つの水墨画展(上)(下)	島尾 新		1185、1188	全国美術館会議 第24回学芸員研修会開かれる	"	1180
「ネオテニー」の正体	外館 和子		1193	2 日間で55万人を動員 「六本木アートナイト」報告 「アートの街」印象づける多彩なプログラムを展開	土屋 隆英	1183
「天橋立図」と世界遺産	島尾 新		1197	横浜開港150周年「開国博150」が華々しく開催中 ペイエリアに登場の巨大グモのスペクタクルアートが話題 GW期間中に49万人の入場者を記録	"	1184
「言葉」に反映される価値観ースミスカレッジ美術館にて	外館 和子		1202	地方に“高速1000円”効果大 全国主要13美術館にGW緊急アンケート!!	"	"
「六本木アートナイト」開催へ	南條 史生	"	1175	街角アート 坂の途中のベンチー水平と垂直	星野 清一	1185
通信J to A アジアへ	"	"	"	R・レッシング氏の講演 「アートと知的財産権：クリエイティブ・コモンズの新たな役割」をめぐって 新しい時代の創造行為のために美術館が取り組むべき課題とは	辻 憲行	1186
48台湾ビエンナーレと台北ビエンナーレ	南條 史生		1176			
50日本は世界と協働し自らの歴史を開くべき	"		1182			
東南アジア編 2 ラオス・カンボジア 若者たちの目標も「職人」から「表現者」へ変化	花田 伸一		1187			
東南アジア編 3 ベトナム 厳しい検閲下のハノイとホー・チ・ミン	橋本 梓		1188			
東南アジア編 4 ミャンマー	日沼 禎子		1190			

美術市場レーダー	瀬木 慎一	"			木内 徹 司会 庸子、 三石 あおい、 森 西本あづさ、 山本 伸、 中地 幸、 坂下 史子 座談会 ポスト・ ソウル美学をめぐ って		
204美術業界と美 術館の天気図			1188				
205残酷な8月の 過去と将来			1192				
企業メセナ協議会の 緊急提言「ニュー・ コンパクト」につい て 地域活性化を中 心に公開フォーラム 開催される 総選挙 を目前に各政党の見 解も議題に		"	"		特集 ジョルジュ・ バタイユ	"	30
					現代美術的バタイ ユの使用説明書	荻野 厚志	
					バタイユにとって シュルレアリスム とは何か ジョル ジュ・バタイユ 『神話の不在 シ ュルレアリスム論 集』への序文	マイケル・ リチャード ソン 長谷川晶子、 鈴木 雅雄 訳	
「メセナアワード 2009」受賞企業・活 動7件決まる 企業 の主体性・継続性 ともなった活動が増 加メセナ大賞に第一 生命保険(相)、文化 庁長官賞に京阪電気 鉄道(株)		"	1197		特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、遊び たいおもちゃ200 TOY TOPICS おも ちゃとアヴァンギャ ルド	伊藤 亜紗	STUDIO VOICE 397
土佐の紙 大瀧紙に 描いた日本画展につ いて 文化的にも経 済的にも意味ある良 質な和紙の生産	浅木 正勝	"	1198		特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ 年代ソウカツ! 追 憶の00s ART		" 405
09年度「メセナ活動 実態調査」結果発表 回答企業の4割が 「経済悪化でメセナ 削減の方向」		"	1201		ゼロ年代アートソ ウカツ論	榎木 野衣	
色見本とデジタルス チルカメラを用いた 色言葉が指す色範囲 の測定手法の開発	畑田 明信	人文研究	169		ゼロ年代アート・ トピック5 溶け る境界、蘇る身体 —00年代芸術の知 覚と体感的効果 の発見	松井みどり	
インクプロット法に おける形態・色彩・ 濃淡の影響性を独立 的に扱う評定法の試 案	安田 傑 中澤 清	人文論究	59-2		ゼロ年代アート・ トピック5 退屈 な日常にトドメ	工藤 キキ	
ふたつの鏡《9》	松浦 寿夫	水声通信	28		ゼロ年代アート・ トピック5 「ユ ートピア」がかつ てないほど切実に 政治的にとらえら れた10年	長谷川祐子	
特集 ポスト・ソウ ルの黒人文化		"	29		ゼロ年代アート・ トピック5 オタ クや未成年ではな い、マテリアルの 動向	栗田 大輔	
ポスト・ソウル美 学 アフリカ系ア メリカ文学・文化 の新潮流	木内 徹				報告 エンブレム研 究の回顧と展望—第 8回国際エンブレム 会議に参加して—	松田美作子	成城文芸 206
新たな黒人の美学	トレイ・エ リス 木内 徹 訳				「姉妹芸術」と「詩画 一致」の類似性と相 違点—絵画思想の東 西比較—	堀内 圭子	" 208
ポスト・ソウル美 学を理論化する— 序論	バートラム ・D・ア ッシュ 坂下 史子 訳				特集 聖俗のあわい	西洋美術 研究	15

まえがき 聖と俗 のあわい 教会宝 物を一例として	秋山 聰			美術史ノワール 記 憶と追憶—愛する者 に先立たれた時	宮下規久朗 花 椿	714
研究ノート 西洋 中世における「ス ボリア」	木保 元一			世界の版画事情 ニ ューヨーク・アメリ カ 世界の版画芸術 の普及に貢献する IFPDA	長澤 泰子 版画芸術	143
研究ノート ガブ リエーレ・パレオ ッティの『聖俗画 像論』のために	高橋 健一			スティーヴ・ライヒ の「プロセスとして の音楽」—ポストミ ニマリズム美術との 連関—	篠田 大基 美 学	235
資料 文献リスト と解題	秋山 聰 編			第六十回美学会全国 大会報告 発表要旨 ウィリアム・シェン ストンの庭園論—姉 妹芸術論の観点から	岩佐 愛 " "	" "
美術史家の覚書(1) あきめくら	小佐野重利	西洋美術 研究	15	例会・研究発表要旨 東部会 平成二一年 度第一回例会 社会 美について	宮原浩二郎 " "	" "
うつりゆく日本女性 のからだ—明治初期 から戦前の裸婦作品 が映すもの	山梨絵美子	太陽(別冊)	158	文様研究の理論的基 礎—リーグルによる 『様式への問い』をめ ぐって—	加藤 哲弘 美学論究	24
リレーエッセイ 美 について—はずれの 輝き—	清田 義英	た ま び	53	二元論への抗いと境 界	田中 正之 美史研ジ ャーナル	6
新しさのつくり方— 形という記号が運ぶ 意味	濱田 芳治	多摩美術 大学研究 紀要	23	特集 アジア美術の 現代 インドネシア の現代美術とその障 害	M. ドウイ ・マリアン ト 山中宇佐夫 訳	美術運動 136
研究報告《フィール ド・ミュージアム・ ネット》の理論と実 践—多摩美術大学共 同研究報告	平出 隆 宮本 飛鳥 宮田 浩介 朴 文順 大室 佑介 石倉 敏明	" "	" "	「民衆の鼓動—韓国 美術のリアリズム 1945—2005」展を 開 催して	武居 利史 " "	" "
五感でアート—企画 展の視点から—	足立 圭	長野県信 濃美術館 紀要	3	「美しさ」の揺らぎの なかで 原爆の表象 をめぐる四つの断片	小沢 節子 美術運動 史研究会 ニュース	101
アートNPOの地平 (ライフレビューア ートへ)	鈴木 敏春	名古屋造 形芸大紀 要*	15	「De Kuroda à Fou- jita, Peintres Japo- nais à Paris(黒田 から 藤田まで—バビに 学んだ日本の洋画家 たち)」展最終報告	新関 公子 " "	" "
絵画における時空間 表現の質的観察とそ の多変量解析	長尾 寛子	" "	" "	養蚕をめぐる文化表 象の現在	山崎 明子 " "	102
研究報告 文化的景 観の輪郭と多様性	恵谷 浩子 清水 重敦 平澤 毅	奈良文化 財研究所 紀要	2009	フィリピン「の女性と アート—「トラウマ の中断」展をめぐっ て	小勝 禮子 " "	" "
シンポジウム報告 国際シンポジウム 「日仏芸術交流の150 年」傍聴記	陳岡めぐみ	日仏美術 学会会報	28	具体とニューヨーク	由本みどり " "	107
第41回日展を前にし て		日展ニユ ース	134	平成二十年度東支部 例会発表要旨 旧松 方コレクションに由 来するイタリア絵画 の調査報告	高梨 光正 美術史	166
私が見て来た日展 —昔、今、これから	瀧 梯三					
「棲み分け」を超え て	本江 邦夫					
日本史研究に望むこ と 歴史と文化	冷泉 為人	日本歴史	728			
鑑賞における「感じ る」体験をめぐって	堀内 美里	PATIO	27			

第六十二回全国大会
研究発表要旨 戦後
の国際美術シーンに
おける日本美術の展
開とジョン・D・ロ
ックフェラー三世の
役割

池上 裕子 " 167

史料翻訳 カーレル
・ファン・マンデル
『絵画の書』(一六〇
四)(一〇)

深谷 訓子 美術史学 29
尾崎 彰宏

SPECIAL FEATURE
いま読むべきアート
ブック300 アート
シーンを映す18のキ
ーワード×10冊の本

天内 大樹
栗田 大輔
石井 芳征
川崎 昌平
中島 水緒
難波 祐子
福住 廉
藤田 千彩
山内 宏泰
山本 さつき

美術手帖 917

SPECIAL FEATURE
いま読むべきアート
ブック300 アート
シーンを映す18のキ
ーワード×10冊の本
現代アートの未来を
考えるということ

福住 廉 " "

SPECIAL FEATURE
ネオ・トロピカリ
ア：ブラジルの創造
力 ブラジル・アート
の魅惑を食べる！

林 道郎、
長谷川祐子
談 集 部
編 集 部
構成

" "

SPECIAL FEATURE
就職サバイバル・ガ
イド2009 アートの
仕事 ここで働きたい！
アートの職場
案内

" 918

アートプロジェクト
越後妻有里山
協働機構事務局

白坂 ゆり

文化事業部 朝日
新聞社文化事業部

山内 宏泰

オークションハウ
ス シンワアート
オークション

藤田 千彩

社内プロジェクト
ANA

"

パブリックアート
タウンアート

白坂 ゆり

マネージメント
ユミコチバアソシ
エイツ

藤田 千彩

アートショプ
NADiff a/p/a/r/t

"

インテリアショッ
プ TIME&STYLE

"

音声ガイド制作・
運営 ART&PART

"

展示設営・施工
東京スタデオ

"

アートで生きる／ア
ートとかかわる 土谷真喜子
構成 "

15オクウィ・エン
ヴェゾー×杉田敦 918

16北澤憲昭×杉田
敦 920

SPECIAL FEATURE
アートファンのため
の超整理！ 日本の
アーティスト&ガイ
ドマップ

" 919

STAGE 1 BASICS
[基礎編]絵と彫刻
の基本から、イメ
ージの無限宇宙へ

保坂健二郎
中嶋水緒
石井芳征
福住廉
住吉智恵
宮村周子
白坂ゆり
栗田大輔
畠中実
カワイイフ
アクトリー

STAGE 2 INTER-
ACTS [応用編]
感覚と現象、社会
とアートのクロス
ポイント

"

STAGE 3 ADVAN-
CED [拡張編]ゼ
ロ年代を超える4
つの提案 美術評
論家4人による
「アートを、今考
える」モダンと
ポスト・モダンの
クロスロード

松井みどり

STAGE 3 ADVAN-
CED [拡張編]ゼ
ロ年代を超える4
つの提案 美術評
論家4人による
「アートを、今考
える」「日常」と
「無意味」の罫

清水 穰

STAGE 3 ADVAN-
CED [拡張編]ゼ
ロ年代を超える4
つの提案 美術評
論家4人による
「アートを、今考
える」原点のあ
りかとそのゆくえ

福住 廉

STAGE 3 ADVAN-
CED [拡張編]ゼ
ロ年代を超える4
つの提案 美術評
論家4人による
「アートを、今考
える」にゆーっ
するするする、こ
ろごろにやーん

榎木 野衣

SPECIAL FEATURE

アートの旅へ行こう！ ART TRIP 2 編集 部 美術手帖 921
麻生久美子さんと行く 瀬戸内海の楽園 直島・犬島の旅

アートの地殻変動03 篠田昭 " " "

REVIEWS 04 列品 桂 英史 " " 主義を解剖する光

REVIEWS EX GEI- 山内 宏泰 " " SAI #12 実況報告！

INFORMATION EX- 編集 部 " " HIBITION モナリザを描く展 障がいをもつアーティストと《モナリザ》との出会い

SPECIAL FEATURE アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう？ " 923

PART I アウトサイダー・アートの基礎知識 LESSON 01 キーワードで巡るアウトサイダー・アートの花道 小出由紀子 談 編集部 文

PART I アウトサイダー・アートの基礎知識 LESSON 03 ルーツと展開 小出由紀子 編集部

PART I アウトサイダー・アートの基礎知識 LESSON 04 もっと自由に アウトサイダー・アートを愛する方法 小出由紀子 談 編集部 聞き手

PART II もっと愛するための実践術！ アール・イマキュレ宣言 “無垢なる芸術”と暮らしの融合 アール・イマキュレと芸術人類学 中沢 新一

PART II もっと愛するための実践術！ 今、日本で アウトサイダー・アートに関わる、ということ。 日本のアウトサイダー・アートの現場から はたよしこ インタビュー 樋口ヒロユキ 聞き手

PART II もっと愛するための実践術！ 今、日本で アウトサイダー・アートに関わる、ということ。 「関係すること」が アートである 斎藤 環

INFORMATION PROJECT スカパー アート計画の裏舞台 スカパー東京メディアセンター アートワーク完成！ 沢山 遼 " 925

SPECIAL FEATURE アウトローの美学 アウトローの刻印 刺青の血脈 宮下規久朗 " 927

SPECIAL FEATURE 大地の芸術祭 " "

人はなぜ、大地の芸術祭に惹かれるのか？ 北川フラム インタビュー 永峰 美佳 構成

SPECIAL FEATURE 大地の芸術祭 水と土の芸術祭 白坂 ゆり

INFORMATION EVENT 「水都大阪 2009」 メイドイン大阪のイベントは「参加することに意義がある」 小吹 隆文 " "

SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL INTERVIEW 実録！ アーティストのセルフ・プロデュース術 ギャラリスト、小山登美夫さんに聞く！ アーティストとして生きることとは？ 渡辺 信 " 928

神戸ビエンナーレ 2009通信 "

vol. 02 注目の企画展「LINK」とは カワイイフアクトリ 取材・構成 "

vol. 03 神戸港のコンテナを使ったユニークなコンペ展とは？ 小吹 隆文 930

SPECIAL FEATURE 第14回芸術評論入選発表 審査を終えて 谷川 渥、榎木 野衣、松井みどり 談 " 928

INFORMATION PROJECT 「Regreen Project」の秋のイベント 無理せず始める、アートと緑との共生 上條 桂子 " "

REVIEWS02 清水 穰 月評第14回 中 国現代美術の第2ス テージ	清水 穰	"	930	巻頭特集 人体を描 く 美術解剖学でス テップアップ 見て 学ぶ!! 1 広瀬麻美 さんに聞く 人体の 発見とこれからの表 現へ	広瀬 麻美	"	314
芸苑雑事記	瀧 悌三	美術の窓		特集 物質性／マテ リアリティの可能性	佐藤 守弘 ジョルダン ・サンド	美術フォー ラム21	20
193女 展一人、 人、人			304	特集 物質性／マテ リアリティの可能性		"	"
195両洋の眼二十 年			306	仏像はいつ、彫刻 になったか?— 八七〇年代のモノ の変容	鈴木 廣之		
視点		"		物質と時間—痕跡 としての物質性	佐藤 啓介		
直島から瀬戸内へ	北川フラム		304	アメリカ日本美術協 会とは何か?	ジュリア・ ミーチ 佐藤 守弘 訳	"	"
KOTOBUKIクリエ イティブアクション 2008	橋本 誠	"	"	第1回公開研究会 非文字資料としての ポスターの保存と活 用	田島奈都子 廣田 元進 奥野 貴志 俊彦	非文字資 料研究	21
ヒロシマのアート ・シーンと西瀬戸 内芸術公園	竹澤 雄三		305	道北の美術24—美術 家たちの旭川・嵐山	中村 聖司	氷 華	51
第五十回記念展に 向けて	町田 泰宣		308	アメリカアート事情	後藤トキ子	美連協ニ ュース	
芸大が街を美術館 にする	保科 豊巳		313	ブルックリンのダ ンボ地区			101
トピックス エコー ル・ド・パリ—浮世 ・絵ルネサンス運動	編集部	"	306	「大統領の顔」裁判 に発展 ビカソ2 作品「返還なし」			102
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術		"		美術館に作品所有 権の危機			104
別府温泉につか り、現代美術を巡 る旅はいかが? 別府現代芸術フェ スティバル2009 「混浴温泉世界」			307	ヨーロッパアート事 情 パリを沸かせた 二つのイベント	今津 京子	"	102
六本木の街が美術 館に! 一夜限りの 「六本木アート ナイト」レポート			308	戦時下の統合美術雑 誌	藤原 義人	文化往来 美の風	4
今年の夏こそ越後 妻有アートトリエ ンナーレに行っ てみよう 「大地の 芸術祭」事務局鶴 谷ゆみさんに聞 きました!	鶴谷ゆみ		311	講演録 画家の息吹 き「十八人の自画像 と作品展」記念講演 会 顔と芸術	池内 紀	"	"
160組以上のアー ティストが集結! 「水都大阪2009」に 参加しよう プロ デューサー・北川 フラム氏にみど ころを聞く			313	文化庁主催「海外日 本古美術展」開催の 実務	齊藤 孝正	文化財*	546
テーマは「貧」!! GEISAI #13レポ ート			315	色彩と感性—感性と 色彩はどう一体化す るか?—	小町谷朝生	文星紀要	20
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部座談会 若き天才を見逃す な! 芸大・五美大 卒展で見つけた注目 の新人アーティスト	編集部	"	309	アール・ヌーヴオー 論	梅田 一穂	"	"
				美術家連盟と戦時下 の絵具配給	追内 祐司	文星芸術 大学大学院 研究科 論集	4

明治初期における「美術」概念の成立過程	野呂田純一	MUSEUM	618	私立図書館奮闘中 昭和初期の美術書所蔵 富山の「眉丈文庫」	増田 愛子	〃	4.19
欧米における国際展覧会実施運営の諸問題—第五回国際展覧会オーガナイザー会議報告	鬼頭 智美	〃	623	ブラダのアート展、ソウルで「変形」空間で魅了 映像・モード 多彩な表現を融合	高橋 牧子	〃	5.21
美術作品所蔵機関としての図書館	駒田亜紀子	MUSE- OLOGY	28	イケメン阿修羅に夢中 国立博物館すでに62万人「包容力ある」「カレにしたい」	小泉 信一	〃	5.22
喜多方の農耕絵馬	佐々木長生	民具マン スリー	490	戦争で略奪被害 6千点を回収 イラク国立博物館、公開へ	国末 憲人	〃	5.28
アートの「発見」から商品化まで プロジェクト：カナダにおける先住民芸術の歴史的展開と知的所有権問題—国立民族学博物館所蔵の北西海岸インディアンとイヌイトの版画の整理と分析を通して	齋藤 玲子	民博通信	127	海のエジプト展 2千年前のドラマ体感 発掘チームを指揮 フランク・ゴディオ氏に聞く	井上 秀樹	〃	6.6
日本・中国・台湾・韓国の美術大学学生による色彩感情の変化と動向—1995年度と2006年度の色彩感情に関する検査結果の比較研究—	千々岩英彰 白石 彰学	武蔵野美術大学研究紀要	39	仏像ブーム 最高潮 盛況の展覧会 若い世代で「実感重視」 関心、日本絵画から広がり	大西 若人	〃	〃
試論	宝木 範義	明星大学研究紀要	17	ニュースがわからん! ベネチア・ビエンナーレって何なの「芸術の五輪」。2年に1度、各国が競うんだ	今井 邦彦	〃	6.10
ささやかな日常感覚から見た古美術	山中 理	目の眼		ひと 阿修羅に旅をさせた奈良・興福寺 貫首 多川俊映さん	小滝ちひろ	〃	7.9
「神は細部に宿る 一虫の眼で見たらどうなるの」その四、その五			388,389	トリノ・エジプト展 ツタンカーメンが来た 19世紀、ザボイア家が収集／所蔵品 3万点超	井上 秀樹 西村 令奈	〃	7.31
「達磨大師の目頭 ってどんな形？」上、下			390,391	見えない世界に潜む 美 雲の形成・におい 感知する分子…	鈴木 彩子	〃	8.4
「人を信じるといふこと—卑弥呼の鏡に妖惑されて—」その一〜八			392~399	「現代〇〇」の謎 下 未来 新たな定型超えられるか 想像する力を基盤に	大西 若人 赤田 康和 石飛 徳樹 西田 健作 藤生 京子 吉田 純子	〃	8.15
美大生のキャリア意識	稲垣久美子	横浜美術短期大学教育・研究紀要	4	いまを生きる民芸 上、下	西田 健作 大西 若人	〃	11.16,17
芸術の脳	山本 三幸	連盟ニュース	429	21世紀のキーワード オーセンティシティ 文化財の価値問う「真正性」	大室 一也	〃	11.16
芸術と感性力	三浦 佳世	〃	430	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説1~3	田中 三蔵	朝日夕刊	3.16,17,19
観流 日仏芸術交流 150年機に新たな光	古賀 太	朝 日	1.15	ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち 小さな大人? 可愛い存在?	鹿島 茂	〃	4.21
焦点 focus 文化価値を理解 増える収蔵家 中国の作家 余秋雨氏	野嶋 剛	〃	2.17				

美の季想 古都の仏 たち 芸術の源、技 と心と場の力	高階 秀爾	"	5.20	アートで進化 馬喰 町 拠点築50年ビ ル 画廊やカフェ 続々	市川 千晴	"	2.18
私の収穫	多田 富雄	"		核心 仏像ブーム 盗人暗躍 寺院相次 ぎ受難 解決「氷山 の一角」 高値で拍 車 防犯に限界	丸山 崇志	"	3.13
1 平和の神		"					
2 天平ルネサンス		"	5.21				
週末の夜TVでゆっ たり美術観賞「美 の巨人たち」10年目	大室 一也	"	6.9	19日から「文化人・ 芸能人の多彩な美術 展」 90人の力作200 点ズバリ	山岸 利行	"	5.17
精神科医、現代美術 に向かう 収集・批 評・催し企画...	大西 若人	"	7.8	ゲストの言葉からス リリングな発見 NHK教育「日曜美術 館」キャスター姜尚 中氏		"	6.22
狙われた御所 古都 の戦争と平和 1～5	山田 理恵 村瀬 成幸 大村 治郎	"	8.10、12 ～14、17				
トリノ・エジプト展 セクシーな美に酔う 俳優・沢村一樹さん、 展示を語る「死への おおらかさも感じた」	岩本 哲生	"	9.7	サタデー発言 美術 品を守り、後世に伝 えよう	名古屋 覚	"	7.25
個性派、アート系古 書店 部数限定の本 にも注目 本と一緒 に空間を楽しむ 偶 然の出会いを本棚の 前で	蒔苗沙都子	"	9.8	芸術イベントで神保 町に活気を 明大生 が来月イベント計画	松村 裕子	"	11.6
芸術の息吹街を変え る 再生願って防犯 ツアーも 学生巻き 込み「50年計画」	加藤 千絵	"	9.15	ニュースがわかる 芸術家なぜ貧乏が多 い? お金より作品 創造を最優先	稲葉 千寿	"	11.15
今時トキワ荘夢かな えまず ノルマ作っ てやる気引き出す 漫画家の「卵」を支援 するNPO	浜田 奈美	"	12.19	神保町の魅力 アー トで発信 明大生ら イベント	松村 裕子	"	12.4
ココロのギャラリー ジャポニズムの魅力 1～7	山本 雅人 本多 香保里	産 経	1.20～ 25、29	コンパス 印象派と 日本人	(嶋)	東京夕刊	1.10
中国の美術品騒動 中仏関係の冷却化避 けられず 中国古美 術品の取引に波紋も フランス人は落胆し た中国人支持	宮野 弘之 山本 秀也 矢板 明夫	"	3.9	チャロー! インディ ア インド美術の新 時代展 伝わる雑踏 と熱気	柴原三貴子	"	1.30
一夜限り六本木アー ト祭典		"	3.18	“画塾”のいま 足場 支える師弟共同体	藤田 一人	"	4.3
邂逅 カルチャー時 評 中条省平「原 寸美術館」の醍醐味	中条 省平	"	8.16	浮世絵の街に 日本 橋変身 老舗のシ ャッターに広重、北 斎...	松村 裕子	"	4.15
丸の内ストリートギ ャラリー37年		"	10.7	日本芸術院を問い直 す 無批判、無関心、 無視	藤田 一人	"	7.27
空き店舗や民家利用 しアート展「墨東ま ち見世」 人情の町 で温かく気軽に	渋谷 和彦	"	12.2	基準は「ハート」 二 科展・絵画部が審査 公開	(寿)	"	9.2
コンパス トリエン ナーレの試練	(森)	東 京	2.7	館内の作品撮影に OKを出した南條史 生・森美術館館長に 聞く「作家が条件 を決定、1人の悪意 より999人の幸せ」	稲葉 千寿	"	9.14
				民家軒先の人形、街 角2人芝居... 谷中 に溶け込むアート 東京芸大生企画 体 験イベント		"	10.8

芸術文化の重要性を 確認 香港で「アジア 文化協力フォーラム」 10カ国・地域 から参加	稲葉 千寿	東京夕刊	10.20	維新の証人 ドイツ 商社 イリス150年 の歴史探訪、政商の ドラマに胸躍る	佐藤 剛志	"	6.3
不思議なリアリティー 「チャロー！イン ディア」展	宝玉 正彦	日 経	2.4	フォローアップ 文 化財ガード 悩む寺 社 放火・盗難対策 費重く 僧侶も近隣 も高齢者 防犯カメ ラに抵抗感 未指定 の文化財 補助の手 回らず		"	6.8
文化往来 世界不況 の影、公演延期や美 術展中止		"	2.11	時代の熱気 肌で感 じる 家族で楽しめ る産業遺産 坑道探 検、乗り物体験		"	6.20
子どもとみるアート 十選 1～10	小沢 剛	"	2.16、17、 19、20、 23、24、 26、27、 3.2、3	活字の海で 既存の 入門書では不足？ アート解説本が多様 化	富田 律之	"	6.21
経済教室 閉塞打 破、文化を起爆剤に 創造力の基盤強化を 地域からグローバル に発信	青木 保	"	3.5	アート作品 展示は カフェで ギャラリ ー化で集客 都内喫 茶店 費用も安く		"	7.1
名にし負う「丑」を探 求 オヤジがかけた 謎か、世界各地に多 種多様の形態	植村 丑	"	"	海辺の情景十選 1～ 10	谷川 晃一	"	7.16、17、 20、23、 24、27～ 31
せめぎあう著作権		"		森のガラス 1000年 の輝き 中世ヨーロ ッパを彩ったヴァル トグラスの製法調査	黒川 高明	"	7.27
1 NHK が出演者 「捜索」 ドラマ配 信に許諾の壁			3.23	勝手にアーティスト 十選 1～10	服部 正	"	8.3、4、6、 7、10、11、 13、14、 18、19
2「黒船」グーグル の衝撃 ネットで 本閲覧、対応迫る			3.24	文化往来 メセナ協 議会が政党の文化政 策検証		"	8.14
3 画家の権利に目 覚め 遺族ら訴訟 に踏み切る			3.25	企業の持つ名画一堂 に 社内に閉じこめ ず「出張」、14回で36 万人来場	松井 幹雄	"	8.18
4「親」不明の映画 救え 公正利用、 議論始まる			3.26	バレエ・リュス 20 世紀舞踊の礎 結成 100年 再評価の動 き	鈴木 晶	"	9.12
だまし絵「立体版」出 来た!! 「不可能立 体」70点制作、数理 工学研究の副産物	杉原 厚吉	"	3.30	うたの動物記 獅子 崇高なる半空想的存 在	小池 光	"	9.20
前衛誌のインターネ ット十選 1～10	西野 嘉章	"	3.30、 4.1、2、6、 7、9、10、 14、16、17	現代アート、アジア で発掘 福岡で祭典 10周年、共感持って 作品見守る	黒田 雷児	"	9.21
活字の海で「仏像 本」尽きない視点 現代感覚で出版ラッ シュ	富田 律之	"	4.5	革新的アーティスト 十選 1～10	佐藤可士和	"	10.12、 15、16、 19、20、 22、23、26 ～28
革新的アーティスト 十選 1～10	佐藤可士和	"	5.6、8、 11、12、 14、15、 18、19、 21、22	食堂に絵を飾る 空 間を演出する力	谷口 誠	"	10.22
ネットにミュージアム 障害者芸術 創作 後押し	白木 緑 富田 律之	"	5.30				

少女雑誌の衝撃十選 1～10	内田 静枝	"	10.29、 30、11.3、 5、7、10～ 13、16	知りたい！ 仏ミシ ュランが選んだ日本の 絶景 新宿御苑や 高尾山 京都と同格	福井 聡	"	2.21
エコノ探偵団 仏像 人気の立役者は？ LEDで国宝・重文 が展示可能に 傷め ず、美しく照らす	山川 公生	"	11.1	中国現代アート探訪 上海 工場跡から 「美」を発信	鈴木 玲子	"	4.1
世界 いまを刻む ベルリン、芸術の都 復活 「壁」崩壊20年 各国から担い手集結 成長の原動力 市民 にも活気	赤川 省吾	"	"	オフィスにバラリン アート レンタルビ ジネスで自立支援 収益の半分 障害者 に還元	遠藤 和行	"	4.28
「ヤマトの時代」今に 通じる社会 文化輸 入や官僚主導	千田 稔 竹内 義治 聞き手	"	11.15	アートの街を散策 米・ロサンゼルス 現代美術も印象派も 新名所が続々開館	明珍 美紀	"	4.29
国際フォーラム特集 基調講演 文化の受 容と融合 ジャパン クール 仏で定着	ジャン＝フ ランソワ・ デュフルト マ・シル デー	"	12.24	ローマ日本文化会館 催し物 集客低調 もっと広報を	藤原 章生	"	5.4
文化往来 企業メセ ナ堅調、文化政策に も積極提言	"	"	12.31	more楽 アーティ ストの創作現場をの ぞく 作家と交流 美術身近に	岸 桂子	"	5.9
新興国アート はじ ける個性 展覧会ブ ラジルなど際立つ	白木 緑 郷原 信之	日経夕刊	1.6	パウハウスを訪ねて ドイツ・ワイマール ーベルリン 街に息 づく機能美 創立90 周年で記念展	永田 晶子	"	5.27
さらりーまん生態学 [いきざまがく] 文 化国家の対応	高任 和夫	"	2.18	アートで地域振興 住民参加で多彩な催 し	岸 桂子	"	8.1
融合する科学と芸術 上 微生物が描く 「叫び」	"	"	4.6	「青梅アート・ジャ ム」あす開幕	袴田 貴行	"	9.19
日本のダリ 掘り起 こす動き 閉塞の時代 超現実に向かう	田村 広済	"	6.15	ブーム…というより 本領？ イタリア 入れ墨事情	藤原 章生	"	10.2
経済人・企業、名品 を収集 「数寄者」の 伝統脈々	"	"	7.10	質問なるほど 古 い絵の作者ってどう やって調べるの？ 細部の表現 他作品 と比較 印章や来歴 も手掛かりに	岸 桂子	"	11.7
広角鋭角 仏像のま わりで	森 均 田原 和政	"	"	芸術性高く評価 障 害者の作品を集めた 「ジャポネ展」が来年 バリで開催されま す。 絵画、陶芸… 64人の1000点出展	野沢 和弘	"	12.10
1 若い女性も「大 好き」 気軽にに出 会い楽しむ	"	"	11.4	無垢な芸術に魅力 バリの美術館が日本 の障害者作品展 マ ルティニス館長に聞 く	野沢 和弘 聞き手	"	12.24
2「癒やし系」彫刻 教室	"	"	11.5	考える耳 自己中心 的な「廃墟ブーム」 独善的な政治行為に なる恐れ	渡辺 裕	毎日夕刊	1.22
3 無人の寺で盗難 相次ぐ	"	"	11.6	都市の呼吸 池袋中 華街の萌芽 芸術が 都市を産む実例に	鈴木 博之	"	2.17
ブロムナード 芸術 家村	海野 弘	"	12.10				
倉庫をアトリエ 荒川 を芸術の街に 芸大 出身の若手ら創作活 動 「A+」地域の人 たちと交流し	合田 月美	毎 日	1.20				

今週の苦勞人 テレビ東京「美の巨人たち」プロデューサー	永田 浩一	毎日夕刊	4.10
盗難仏像の「価格」難航 2件で起訴「求刑に悩みそう」京都市地検など	熊谷 豪	"	4.11
似た世相1930年代美術に注目	前田 恭二	読 売	1.8
ブランド研究24 モンブラン 文化芸術活動を支援	竹之内知宣	"	2.18
緩急話題 サンローランの遺品「国宝」になった蛇口	河田 卓司	"	3.10
中国の文化財1800万件流出 国家文物局副局長に聞く	杉山 祐之	"	"
障害者アート 今や最先端 一流ブランドも独創性に注目	"	"	5.21
京都 大阪 明治政府の国家企画 博覧会を機に再興	木村 未来	"	7.2
上海の中国美術 博物館相次ぎ無料化 オークション活気戻る	菅原 教夫	"	7.28
森美術館「アイ・ウェイウェイ展」作品撮影フリーに著作権論議に一石	高野 清見	"	8.13
進化する美術館の照明 障子越しの光、和ろうそくの灯再現	市原 尚士	"	8.21
記者ノート 経済から文化へ 日本研究ますます盛ん	植田 滋	"	11.2
冷戦後の20年4 美術 鴻野わか菜氏 ロシア保守化表現に圧力	高野 清見	"	11.12
米国における日本研究 企業、研究者関心高めて	ダンカン・ウィリアムス 談 宮智 泉 聞き手	"	11.21
野心貫く米国美術館 経済危機越え拡大路線	岩渕 潤子	"	11.26
揺れる中国現代芸術 官製研究所に一流作家「投降」批判も	佐伯 聡士	"	12.9
韓国で「日本遺産」脚光 芸術施設などに再利用	森 千春	"	12.10
美術検定 あなたも「感動」案内人	菅谷 千絵	読売夕刊	8.13

うっとりアラサー・アラフォー仏像女子「かっこいい」「セクシー」本音は癒やし?

浜名 恵子 " 9.26

ズームアップ 独自の世界大胆に「アウトサイダー・アート」

田中 秀敏 " 12.28

日本美術史

《連載》戦時下日本の美術家たち

飯野 正仁 あいだ

第28回「共栄圏美術」1 〈南洋〉(1)

157

第32、33回(特別篇—1、2) 日本の従軍画家(中国戦線を中心に)

164、165

青森県における明治期の美術

對馬恵美子 青森県立郷土館研究紀要

33

秋田の美術によせて4—原始美術(1)—

河野 元昭 秋田美術

45

寄せ物・飾り物・模型—十九世紀金沢における造り物装飾の変容—

大門 哲 石川県立歴史博物館紀要

21

新・旧刊案内37「忘れぬうちに」集II

青木 茂 一寸

37

近代美術における茶の湯の研究—今泉雄作と正木直彦の茶会記について—

依田 徹 鹿島美術財団年報・別冊

26

南洋群島と日本近代美術—美術家・作品・美術史形成への関与—

滝沢 恭司 " "

"

近代美術と能

清水 玲子 " "

"

錫器の歴史と現在—製品の種類を中心に—

宮元 正博 関西大学博物館紀要

15

研究報告 岩滝地域の石仏

星文亜妃子 ミュージアムひだ研究報告*

H20年度

1950年代リアリズム再考—ルポルタージュ絵画を中心に—

鄭 賢娥 京都美学美術史学

8

美術家と朝鮮—『京城日報』の記事を通して(3)1922—1931来訪者補遺

井内佳津恵 Hokkaido Art Mus. Studies*

2009

札幌美術年譜(1)補遺4

苦名 直子 " "

"

特集 近代の彫刻・立体 関西美術会の活人画

石井 香絵 近代画説

18

群馬美術協会覚書 1941—1949年	染谷 滋	群馬県立 近代美術 館研究紀 要	5	実在工芸美術会1935 —1940:「用即美」の 工芸	木田 拓也	東京国立 近代美術 館研究紀 要	13
美術家の都市美への 意識と実践 1910年 代から30年代の都市 美運動の展開におけ る美術家参加の事例 とその意義について	浅野 智子	芸術学研 究(筑波)	13	宝物と模造をつなぐ もの—檜和琴と白石 火舎—森川杜園『正 倉院御物写』の世界 (3)—	稲田奈津子	東大画像 史料解析 センター 通信*	44
北美文化協会研究— 戦後日本美術の地方 的展開—	永宮 勤士	〃	〃	杜園と模写をめぐる 人々—森川杜園『正 倉院御物写』の世界 (4)—	〃	〃	45
art news 里帰り漆 器 世界選抜!		芸術新潮	709	旧岡山藩主池田家の 近代における文化財 管理の実態について	浅利 尚民	林原美術 館紀要・ 年報	3
小特集 見よ、ムン ムンと萌えいずる大 正「生命主義」		〃	716	戦場の黒髪—沖縄戦 と女性イメージ	奥間 政作	美術運動 史研究会 ニュース	104
一九一〇年代から三 〇年代の都市風景画 の展開について—近 代都市への眼差しと 美術家の社会参加へ の意識変化を中心に して	浅野 智子	芸 叢	25	第六十二回全国大会 研究発表要旨 日露 戦争における従軍画 家とその活動	向後恵理子	美 術 史	167
ROZO群考—一九七 〇年までの活動とそ の評価	永宮 勤士	〃	〃	SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイ と、日本美術を楽し く学ぶ! 一夜漬け 日本美術史		美術手帖	922
根岸党と根岸—江戸 と明治をつなぐもの	高橋寿美子	国際日本 学	7	一夜漬けの秘訣、 一ヶ条 日本美術 を体感せよ!	山下 裕二		
特集 続・絵画を読 み解く—文学との融 合 絵解き—紙芝居 の源流と展開	林 雅彦	国文学解 釈と鑑賞	936	五ヶ条、日本美術 の歴史学べ! 一 夜漬けでは歯が立 たない!?板倉聖哲 ×山下裕二による 日本美術史特別講 座	板倉 聖哲 山下 裕二		
国華余話(十三)索引	水尾比呂志	国華清話 会会報	13				
近代美術と明治天皇	古田 亮	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	14	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年 で創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 南画の変遷 と日本南画院の歴史	中野 中	美術の窓	313
2008年の歴史学界— 回顧と展望— 日本		史学雑誌	118-5				
古代七	皿井 舞						
中世一三 美術	吉村 稔子			傷痍軍人慰問画寄贈 について—兵庫関係 作品を中心に	平瀬 礼太	姫路市立 美術館研 究紀要	9
近世一六 美術	山下 善也						
近現代一七 美術	佐藤 香里			明治期における遺跡 と民衆—横浜市鶴見 区岩瀬山横穴群(「お 穴様」)をめぐる—	桜井 準也	横浜市歴 史博物館 紀要	13
新美術時評 「哀感 がある」写真役者絵 の物語	島尾 新	新美術新 聞	1191				
速水御舟 日本画を 「破壊」する ズ・アップ ローマ 日本美術展	勝山 滋	太陽(別冊)	161	俳画をめぐる近代画 家たちの活動—『ホ トトギス』誌を中心 に	佐藤 志乃	横山大観 記念館報	25
特集 自筆の茶会記 拝見 特集関連読み 物1 茶会記に見る 近代数寄者	谷 晃 淡 交		782	大正から昭和戦前期 におけるロシア美術 の紹介と受容—プロ レタリア美術運動を 中心に—	喜多 孝臣	早大會津 八一記念 博紀要*	10

東本願寺の至宝展 両堂再建の歴史 踊 る筆競う華	森本 俊司	朝日夕刊	3.17	訪問教授課外講座 文明大先生特別講義 韓国の仏教美術	陸 載和	美史研ジ ャーナル	6
深層新層 終戦前年 まで任命 “人間 国宝の前身” 「皇室技 芸員」を知っていま すか	小川 雪	〃	10.29	「日本画」の死—日本 統治時代における美 術発展の困難—	顔塚本 鷹 充	美術研究	398
NZで捕虜の日本兵 献身看護に感謝の絵 66年ぶり「贈り主に 返したい」	高橋 恒夫	東京夕刊	5.26	論文要旨《修士》日本 統治時代における台 湾工芸の発展につい て	江 若馨	美術史論 集	9
文化往来 素朴美の 系譜たどる不思議な 空気の企画展		日 経	1.5	SPECIAL FEATURE 第4回福岡アジアア トリエンナーレ 4つ のテーマで読み解 く!アジア美術の現 在	黒田 雷児	美術手帖	931
アートが語る日仏 150年 幕末以降の 関係を示すポスターや 版画など収集	クリスチ ャン・ボラ ック	〃	1.15	近東に於ける牛像文 化の誕生と発展に就 いて—古代美術に於 ける水牛と牛の研究 (2)—	ラブチュ ェフ・セル ゲイ	MIHO MUSEUM 研究紀要	9
文化往来 「蕪村全 集」全9巻、17年 か け完結へ		〃	4.28	史跡を歩く138 ア ヤソフィア(トルコ ・イスタンブール)	石出みど り	歴史地理 教育	741
美の美 モダン東京 —1930年代の夢 上	白木 緑	〃	5.3	美の履歴書107 な ぜ抱き合っているの か「カーラチャクラ ラ父母仏立像」作 者不詳	中村 俊介	朝日夕刊	5.20
入門講座 日本のや きもの美学	出川 直樹	日経夕刊		海外美術史(その他)			
2 織部焼 非対称 ・抽象文 新たな 美			11.12	世界帝国のオマー ージュハブスブルク 家の芸術コレクション	山之内克 子	ART RAMBLE	22
3 有田磁器 大ヒ ット商品各国が模 倣			11.19	あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第 66、67回 アカデ ミズムの世紀—フ ランス公式絵画再訪 島根県立美術館・開 館10周年記念『フ ランス絵画の19世 紀』に寄せて(1)(2)	稲賀 繁美	あいだ	160、161
4 古伊賀 我が国 独自の陶芸美			11.26	クリシタン文化と日 欧交流		アジア遊 学	127
検証「箸墓は卑弥呼 の墓」波紋を呼ぶ 歴博発表 懸念され る数値の独り歩き	伊藤 和史	毎日夕刊	6.8	クリシタンの(日 本)発見 いわゆる 『満月図』及びニ ュー・イヤーズ・ ギフト号の航海に ついて	タイモン ・スクリー ーチ		
『蕪村全集』17年が かりで完結 画期的 成果 新たな研究の 出発点	山下 一海	〃	10.27	クリシタンと近世 社会 日本に入っ たキリスト教絵解 き	原 聖		
江戸博蔵めぐり 流 行ねこのおんせん 作者不詳	西村 直子	読 売	9.4	特集 仮面と憑依 西洋美術に表現さ れた「仮面」	篠塚二三 男	跡見学園 女子大学 人文学フ ォーラム	7
記者ノート 外骨の 浮世絵再評価100年	前田 恭二	〃	12.31				
海外美術史(アジア)							
ジャガッダラで発見 された五祠堂型寺院 の最古の遺構	モシヤラ フ・ホセイ ン奥山 直 司 翻訳・解 説	高野山大 学密教文 化研究所 紀要	22				
現代中国巧芸事情32 中国民間芸術の花 楊家埠木版年画	仲 佑樹	書 道 界	231				
『サライ・アルバム (宮廷詩画帳)』(ト ブカブ宮殿美術館 蔵)に描かれた音楽 ・舞踏(4)	小柴はる み 松本奈 穂子	東海大学 紀要教養 学部	39				

2007年1月—12月発表概要 ロシア象徴主義美術と「女性性」—ロシアにおけるジャポニスム受容と「東」—	福岡	加容	イメージ&ジェンダー	9	イギリス人画家の渡印と英領インド美術	山本 緑	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	53
特集 「アート&ライフ」美術編 アーツ・アンド・クラフツ考	今井	美樹	A A C	61	銅版油彩画の誕生をめぐって	平川 佳世	京都美学美術史学	8
いわゆる〈人生の階段図〉に関する一考察—日本の絵解きとの比較研究の視座を模索する—	西岡	亜紀	絵解き研究	22	発表要旨 銅板油彩画の誕生をめぐって	〃	〃	〃
中世の支配者図像における冠—シュタウフェン朝の国王・皇帝図より—	田中	圭子	大分県立芸術文化短期大学研究紀要	46	ハルカルナッソスのマウソレイオンのアマゾン・フリーズ研究への再考	吉田 伴子	芸術学研究(筑波)	13
冷戦期におけるポーランド美術の果たした役割—全体主義と民主主義の狭間で—	加須屋	明子	鹿島美術財団年報・別冊	26	マルティンスヴァントのマクシミリアン主題と造形(四)	大原まゆみ	芸術学研究(明学)	19
タンジヴィレの奨励制作—自国史への関心と「フランス派」の形成—	田中	佳	〃	〃	ルネサンスの華 ルクレツィア・ボルジアの肖像画はこれだ!	前橋 重二	芸術新潮	710
1920年代末ソ連における芸術研究と教育—ギンフク(国立芸術文化研究所)での感性をめぐる実験について—	江村	公	〃	〃	C T スキャンが透視した 絶世のエジプト美女 皺隠しメイクアップ	〃	〃	714
行列と聖遺物—福音書記者聖ヨハネ大同信会の聖十字架連作をめぐって—	森田	優子	〃	〃	ラスコー洞窟より2万年先輩 旧石器人の造形力を見よ	〃	〃	716
《ベスティアリウム》写本挿絵の研究—挿絵サイクルの成立をめぐる一考察—	長友	瑞絵	〃	〃	ヴィラール画帖とサン・カンタン僧会聖堂平面に見る正五角形法	藤本 康雄	芸術文化研究	13
ベルリン美術館蔵「ソロモンの玉座としてのマリア」の図像学的考察—ストラスブール大聖堂西正面扉口周辺の図像プログラム研究の一環として—	小林	久見子	〃	〃	研究ノート ランスのアル・デコ	三田村哲哉	建築史学	53
コムーネの自己表象としての「正義」の擬人像研究—パドヴァのパラッツォ・デッラ・ラジョーネの壁面装飾解釈を中心に—	黒田	加奈子	〃	〃	学会展望 十九世紀ドイツ・オーストリア建築史研究	海老澤模奈人	〃	〃
BROOK TAYLORの透視図法	井村	俊一	金沢美術工芸大学紀要	53	12世紀シトー会写本の挿絵芸術—修道院長ステファヌスと「シトー派第一様式」	近藤 真彰	工学院大学共通課程研究論叢	47-1
中世建築の幾何学	愛宕	出	京都女子大学人文論叢	57	歴史の中の母と子たち 「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち」に寄せて	安来 正博	国立国際美術館ニュース	173
					横顔のアイコン—宗教改革前夜におけるキリストの「肖像」について	新藤 淳	国立西洋美術館研究紀要	13
					15—18世紀におけるメディチ家の古代コレクション	ファブリツィオ・パオルッチ 渡辺 晋輔 訳	〃	〃
					そして9つの神殿が残った—ペルー北部、アマカス複合遺跡の編年研究—	鶴見 英成	古代アメリカ	12
					連載 古代ローマの建築(1)(2)	堀 賀貴	古代文化	576, 577

研究資料 標本から美術へ—十九世紀の日本美術品蒐集、特にアンダーソン・コレクションの意義について	彬子女王国華	1360	特集 聖俗のあわい	西洋美術研究	15
古代イタリア都市ポンペイの発掘・学術調査15年—考古学的資料からみた産業と交易：海のシルクロード—	浅香 正史	77-4	俗と聖の接吻 中央ユーラシア新出の「ディオニュソスとアリアドネ」テラコッタを中心として古代地中海世界から中国まで	芳賀 満	
近代ロシア社会とツァーリ表象—絵入り雑誌「王室記事」の分析を中心に—	巽 由樹子	史学雑誌 118-9	空間的イコン コンスタンティノポリスにおけるホデトリア・イコンによる奇跡の儀式	アレクセイ・リドフ 秋山 聡 訳	
展覧会から1 アクシデントを招いたロシア美術史の空白—「青春のロシア・アヴァンギャルド展」に寄せて	田原由紀雄	視覚の現場 四季 1	宮廷と修道院の間で レオン王国の王女たちによる美術パトロネージと初期スペイン・ロマネスク	久米 順子	
公開・国際シンポジウム「聖遺物とイメージの相関性 東西比較の試み」		死生学研究 11	オランダ美術における聖と俗 静物画の勃興をめぐる	尾崎 彰宏	
聖遺物と造形イメージの相関性—東西比較の試み	秋山 聡		様式選択の聖と俗 二項対立からの逸脱	喜多崎 親	
黄金の肌、光を放つ骨—中世の知覚における聖遺物と聖遺物容器の融合	スコット・B・モントゴメリー 秋山 聡 訳		研究ノート タブロー・ヴィヴァン考 君主の入式式におけるその使用をめぐる	京谷 啓徳	
聖なる欠片からモノ(造形物)へ、あるいはその逆—初期中世の視覚文化における聖遺物とイメージ	エリック・トウノ 秋山 聡 訳		13世紀後半期のフィレンツェの十字架形板絵をめぐる—世紀前半期のビザ絵画との関係を中心に—	小野 迪孝	東海大学 紀要教養学部 39
公開・国際シンポジウム「礼拝像と奇跡 東西比較の試み」		" 12	ウィーン、シュテファン大聖堂の内部空間分析—後期ゴシックの段形ホール式プラン(Staffelhall)を巡る諸問題—	岩谷 秋美	東京芸術大学美術学部論叢 5
中近世ヨーロッパにおける奇跡像—芸術と信仰のはざまで	ゲアハルト・ヴォルフ 秋山 聡 訳		「生活と芸術—アーツ&クラフツ展」に寄せて	松原 龍一	陶 説 671
複製技術時代以降のキリスト教奇跡像を求めて	アイヴァン・ギヤスケル 金沢 百枝 訳		ポーラ美術館東洋陶磁常設展「フランスのみた東洋陶磁」展によせて	島本 英明	" 672
『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIII ^e siècle)彩飾写本研究：最初期の作例について	駒田亜紀子	実践女子大学美術史学 23	須磨コレクションの調査報告(一)	メルセデス・アゲダ・ビリャール 小倉 康之、楠根 圭子 訳	長崎県美術館研究 紀要 2
PARIS発 西洋美術に豊かさを与えたフランドル派	安部 雅延	新美術新聞 1203	スペイン美術と日本の関係	ピラール・カバーニャス・モレーノ 松田 健児 訳	" "
講演 ヴェネツィア、神の手で造られた都市	石鍋 真澄	成城文芸 206			

講演会 シヤルトル大聖堂の南薔薇窓一技法・修復・図像学	高野 禎子	日仏美術学会会報	28	19世紀のブタベストにおける国家モニュメント案の建築類型と配置計画に関する研究	水野 貴博	"	639
例会発表要旨		"	"	P・コナーの「インディアン・リバイバル」観について 1780年—1810年代の英国における幾つかのインド風建築群の特徴	高松 由子	"	645
第107回 例会：構造主義的解釈の諸問題：洞窟壁画の解釈をめぐる	小川 勝			19世紀の「酒飲み」風刺版画の画家たち バッカスの宴—酒飲み風刺版画に見る18—19世紀風俗	藤巻 和恵	版画芸術	144
第108回 例会：19世紀絵画における諸問題 ルイ・フィリップのスペインギャラリー—フランスにおけるスペイン美術受容の一側面として—	石井美佐子			第六十回美学会全国大会報告 発表要旨 アルテ・ボーヴェラと都市空間—一九六〇年代のトリノを例として	池野 絢子	美学	235
第109回 例会：18世紀フランス美術における彫刻をめぐる ダンジヴィレの奨励制作に見る「偉人」のイメージ	田中 佳			例会・研究発表要旨 東部会		"	"
第110回 例会：ゴシック聖堂と図像学—中世からブルーストヘーサン＝ドニ修道院聖堂の図像解釈の変遷—「最後の審判」に託されたメッセージ	新井 思郎			平成二一年度第一回例会 オランダ美術における聖と俗—静物画の勃興をめぐる—	尾崎 彰宏		
第110回 例会：ゴシック聖堂と図像学—中世からブルーストヘーエミール・マールから遠く離れて 中世教会建築をめぐるブルーストのデッサン	小黑 昌文			平成二一年度第三回例会 比喩を描く—余白挿絵詩篇に見られる本文と挿絵の構造	辻 絵理子		
ワークショップ 1920—30年代の美術史家と美術評論家—フランス美術史編纂の歴史研究試論	藤原 貞朗 吉田 紀子 飛嶋 隆信 阿部 成樹	"	"	シュジュールとサン＝ドニ修道院の図像起源—サン＝ヴィクトルのフーゴーによる「最後の審判」の解釈—	新井 思郎	美学芸術学	24
ケルン大聖堂リブ・ヴォールトNo. 90の幾何学的考察	木村 暁彦 五島利兵衛	日本建築学会計画系論文集	636	『教訓聖書』の成立とその寓意的解釈—オーストリア国立図書館所蔵『ウィーン二五五四番写本』におけるカインとアベルの図像—	木田紗弥佳	"	"
13世紀アナトリアにおける王朝儀礼とその空間的特質—年代記の考察を通してみたルーム・セルジュク朝期の建築文化—	川本 智史	"	637	モントワール、サン・ジル教会のロマネスク壁画	辻 佐保子	美学美術史研究論集	23
アルベルティやブルネレスキが採用した方法論の根本原理 サン・ピエトロ大聖堂再建事業におけるミケランジェロの計画案 その3	塩井かおり	"	"	《玉座の聖母子》への成立について 聖母タンバン彫刻を中心に	佐藤 笑子	美史研ジャーナル	6
				「第三の精神：アジアに思いを馳せるアメリカ人アーティストたち」展	由本みどり	美術運動史研究会ニュース	104
				ムティエ・サン・ジャンのロマネスク柱頭とクリュニーの西扉口彫刻	ダーリング 常田益代	美術史	166

「ベルギーノ風」ステンドグラス——五〇〇年前後のジェズアーティ会修道土工房とフィレンツェの画家たち——	伊藤 拓真	美術史	166	《カールシュティーンの黙示録》——十四世紀ボヘミアの黙示録壁画——	大野 松彦		
半開の扉—ヴィラ・ラティーナ・カタコンベ墓室F壁画図像解釈—	宮坂 朋	"	"	中世末期の「悪の美」の一表象—ピサのカンボサントの《死の勝利》を中心に—	絹川 陽子		
平成二十年東支部例会発表要旨		"	"	十五世紀末の教皇庁とシビュラのイメージ—あるドメニコ会士の小冊子をめぐって—	増田 千穂		
「地誌的[トポグラフィックな]」風景画の成立課程：十六世紀後半のアントワープの画家たちの活動とその意義	廣川 暁生			Maestro di prospettivaの表象と素材について—イタリア・ルネサンスのタルシア(木象嵌)の研究方法にふれて—	上田 恒夫		
火蜥蜴の王宮フォンテーヌブロー—フランソワ一世治世下(一五一五—一五四七)における中央集権権力の形成と図像プログラム—	岩井 瑞枝			ダンジヴィレの奨励制作とルーヴル美術館構想	田中 佳		
平成二十年西支部例会発表要旨 反復／再演される図像—聖史劇研究の成果をふまえて	杉山 博昭	"	"	フェイディアス作、《アテナ・パルテノス》(一)—賦与された機能と知覚される神性—	芳賀 京子	美術史学	29
第六十二回全国大会研究発表要旨		"	167	モンソネス、サン・クリストフ聖堂扉口彫刻の制作時期について	大森なお子	美術史研究	47
ウィーン、シュテファン大聖堂の建築空間—後期ゴシック建築におけるネット・ヴォールトの意味—	岩谷 秋美			セビーリヤ、サンタ・カリタド聖堂の装飾プログラム—四終の説教の視覚化をめぐって—	豊田 唯	"	"
中期ビザンティン余白挿絵詩篇の図像生成	辻 絵理子			西洋中世における造形イメージの生動性をめぐって	秋山 聡	美術史論叢	25
開閉式聖母像—Vierge ouvranteの制作年代と図像に関する考察	石井 真理			国家もしくは都市の顕彰装置としての自画像コレクションの歴史文化的研究	小佐野重利	"	"
モンソネス、サン・クリストフ聖堂扉口彫刻の制作時期について	大森なお子			私の空想美術館	栗津 則雄	美術の窓	
家庭の至福—十七世紀オランダ風俗画の中の家庭と家族のイメージ—	ジョン・ラフマン			59サン・イシードロ参事会聖堂			304
変化する子供のイメージ—ネーデルラント美術における子供の肖像画とその影響—	ミルヤム・ノイマイスター			60サント・ドミンゴ修道院聖堂の回廊			305
				61サン・ピエール修道院聖堂の浮彫り(モワサック)			306
				巻頭特集 手はすべてを語る ④技法講座VOL.15 手は語る キーワードでたどる名画の手		"	310
				視点 トリノ・エジプト展	近藤 二郎	"	312

特集 物質性／マテリアリティの可能性 ルネサンスの奉納像 —〈痕跡〉と〈分配されたパーソン〉	水野 千依	美術フォーラム21	20	世界と日本 大図解 シリーズNo.909 古代ローマ帝国	青柳 正規	"	10.4
モダニズム美術のパフォーマンス	加治屋健司	広島市立大学芸術学部紀要	14	「微笑み」美術	布施 英利	東京夕刊	6.12
一五世紀フィレンツェにおける美術と地理学—ベルリンギエリ『地理学の七日間』をめぐる—	石澤 靖典	文 化	384・385 (72-3・4)	美の美 ギリシャにかえれ1～4	内田 洋一	日 経	1.4、11、 18、25
1937年のパリにおける美術展—「フランス美術傑作」展のナショナリズム—	磯谷 有亮	待兼山論叢	43	自由へのまなざし十選1～10	尾崎 彰宏	"	1.22、23、 26、27、 29、30、 2.2、3、5、 6
古代装飾・モザイクの製作と素材—イタリア古都ラヴェンナ式技法について—	杉本さつき	民具マンスリー	491	黄金分割は「神話」だった 欧州での実地調査が生んだ、星形五角形の発見	関 隆志	"	3.10
特集 デルフト暮らし—見立てて楽しい阿蘭陀陶		目 の 眼	393	接吻十選1～10	西岡 文彦	"	4.20、21、 23、24、 27、28、 30、5.1、 4、5
10—11世紀イングランドの天文学書挿絵に関する覚書	小野寺玲子	横浜美術短期大学教育・研究紀要	4	オルセー美術館展 装飾芸術の首都から	フィリップ・ティエボー 談 前田 恭二 聞き手	読 売	9.9
世界史散歩1 史跡か名所か—「パルテノン神殿」	菊池 宏義	歴史地理教育	739	ウィーン世紀末展 クリムトの夢 シーレの現実 黄金期の一大パノラマ	千足 伸行	"	9.16
史跡を歩く149(最終回) チュニジアの古代ローマ遺跡ドゥッガ	大谷 猛夫	"	753	望遠鏡描いた最古の絵画	山田 哲朗	"	9.27
カストリア、アギイ・アナルギリ聖堂のコスマスとダミアノ—聖人像表現と伝記サイクルについて—	海老原梨江	早稲田大学大学院文学研究科紀要	54	保存修復			
奇想遺産 マチュピチュ ベルー	山盛 英司	朝 日	3.22	磨崖仏の保存修理後の経過II—大分元町石仏と岩屋寺石仏について—	山田 拓伸	大分県立歴史博物館研究紀要	10
壁と共に去来した芸術群 ベルリンの壁崩壊から20年		"	12.28	国学院大学伝統文化リサーチセンター資料館における山ノ神遺跡復元模型の製作について	加藤 里美	大 美 和	116
美の履歴書	宮代 栄一	朝日夕刊		神奈川県立歴史博物館所蔵十六羅漢図修理報告	梅沢 恵	神奈川県立博物館研究報告	35
120四角い顔はだれか「黄金の儀式用トゥミ」作者不詳			8.19	在外日本美術品、特に絵画に関する保存修復室の現地調査報告	荒木 恵信	金沢美術工芸大学紀要	53
128なぜ若いままなのか「アウグストゥスの頭部」作者不詳			10.21	海龍王寺五重小塔の外観塗装材料に関する調査	北野 窪寺	元興寺文化財研究所研究報告	2008
彩・美・風	青柳 正規	"	10.7、14	附章 元興寺五重小塔における創建期取り外し部材の外観塗装材料	北野 信彦	"	"
ボンベイから探るローマ帝国 古代ローマ帝国の遺産—栄光の都ローマと悲劇の街ボンベイ	佐藤 康夫	東 京	5.4	出土木製品保存処理における問題点の整理から実践への応用—特に樹種と劣化状態について—	木沢 植田	直子直見	"

調査・研究(概要)		元興寺文化財研究所研究報告	2008	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳の調査とその意義	塚原 二郎 江口 桂	考古学雑誌	93-1
文化財輸送の基礎的研究—輸送時に与えるストレスの解析と防振輸送台の開発—	雨森 久晃			ラマンイメージング装置による伊勢市版歌川派錦絵および版木の色材分析	小瀬戸恵美 ほか	国立歴史民俗博物館研究報告	153
文化財保存修復に用いる膠の生産に関する研究—牛皮膠と魚膠を対象として—	山内 章			史料紹介 「平安京」下層地形の復元	久世 康博	古代文化	578
近現代インク書き資料の保存に関する研究	近藤(金山) 正子			埼玉県白岡町タタラ山遺跡出土石製品の鉱物分析	奥野 麦生 大屋 道則	埼玉県埋文調査団紀要*	24
懸仏の製作技法に関する基礎的研究	日高(石井) 里佳			石器材料及び石器の理化学的分析値(4) —XRFによる黒曜岩分析値(2008年度)—	大屋 道則 上野真由美 早坂 広人 加藤 秀之	"	"
日韓(韓日)国際シンポジウム「文化財建造物彩色と壁画の保存修復」の開催	山内 章			平成十九年度収蔵品修理報告		三の丸尚蔵館年報・紀要	14
修復技術の伝承による壁画保存力向上プロジェクト—韓国の文化遺産を救う—	"			時評5 復元模写の試み	高梨 純次	視覚の現場 四季の綻び	2
出土木製品保存処理における問題点の整理から実践への応用—特に樹種と劣化状態について—	桃井 宏和			平成20年展示資料保存修理事業報告	高木 叙子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	17
アート・トピックス Statement 和紙が本来持つ信頼性を守るために立ち上がった美術商・浅木正勝の心意気	ギャラリ一*		286	修理報告 絹本着色 治王菩薩像・北村季吟詠草	藤本 淳三	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	25
太宰府所在薩摩塔の応急的保存修復処置	加藤 和歳	九州歴史資料館研究論集	34	原分古墳出土金属製造物の自然科学的調査の成果	大森 信宏 西尾太加二 村上 隆	静岡県埋文研究紀要*	15
研究ノート 金銀平脱双鳳文鏡の非破壊分析	山田 卓司	京都大学総合博物館ニューレター	23	正倉院伎楽面に用いられた貝殻由来炭酸カルシウム顔料	成瀬 正和	正倉院紀要	31
慶応義塾所蔵作品調査・保存活動	渡 部	慶応義塾大学アート・センター年報	16	年次報告	成瀬 正和 ほか	"	"
みる 浄土への架け橋	編集 部	芸術新潮	714	ベトナム北部の一括出土銭の調査研究 科学分析編	飯塚 義之 内田 純子 赤沼 英男 櫻木 晋一	昭和女子大学国際文化研究所紀要	12
修復トピックス 重要文化財 旧手宮鉄道施設(機関車庫三号)の保存修理工事について	前堀 勝紀	建築史学	52	「書跡」と修理のあり方に関する一考察—平家納経を中心として—	高田 智仁	書道学論集	6
修復トピックス 重要文化財 知恩院集会堂の保存修理工事について	竹下 弘展	"	"	地震被害と文化財・歴史資料の救出	矢田 俊文	絲綢之路	61
				霧ヶ峰・北八ヶ岳産黒曜石の記載岩石学的・岩石化学的検討とフィッシュン・トラック年代—黒曜石製造物の原産地推定法に関する基礎的研究—	杉原 重夫 長井雅史 田井徹 檀原 徹 岩野 英樹	駿台史学	136
				彫刻の彩色—白杵石仏群・古園石仏の大日如来坐像の彩色の復元をめぐる—	田原迫 華	崇城大学芸術学部研究紀要	2

— 103 —

特集 工芸史研究の 現在 20共同研究 高精細画像を活用し た美術作品研究装置 の開発	深井 純	美術フォー ラム21	19	平等院雲中供養菩薩 像模刻と鳳凰堂内壁 面懸架作業について	村上 清	"	"
作品の修復と保存 「日本の美術館名品 展」の作品チェック を通して	岩井希久子	美連協ニ ュース	103	石質含浸処理につい て—院元内祿12年茶 祖上林竹庵政重碑—	澤野 道玄 余江 岳央 徳永 陽子	"	"
鳥浜貝塚出土の縄文 前期漆塗り製品の科 学分析	四柳 嘉章	福井県立 若狭歴史 民俗資料 館館報	H20年度	重要文化財 浄土院 養林庵書院耐震改修 について	小幡 桂次 野島 千里	"	"
口絵解説 城下町の 地割と発掘調査	坂井 秀弥	文化財*	544	過去の高松塚古墳石 室内の温湿度変動解 析—保存施設稼動時 の気象条件の影響 と、発掘直後の仮保 護施設の影響—	小椋 大輔 鉾井 修一 李 輝 石崎 武志 三浦 定俊	保存科学	48
口絵解説 照度差ス テレオ法等を用いた 古墳壁画の高精度三 次元計測・復原	池内 克史 河野 一隆	"	547	ポーラ美術館におけ る室内空気清浄化の ための火山ガスの調 査	呂 俊民 佐野 千絵 内呂 博之 荒屋 透 舗	"	"
特集 古墳壁画の保 存と活用		"	"	紫外線照射装置を用 いた磨崖仏着生生物 の除去	森井 順之 川野 渉 山路 康弘 柏谷 博之	"	"
コラム キトラ古 墳壁画天文図の取 り外しについて	川野邊 渉			飯田市・永文寺石室 五輪塔における蘇苔 類の繁茂について	朽津 信明 二神 葉子	"	"
コラム 装飾古墳 の消毒現場から	石山 勲			二酸化炭素処理・酸 化エチレン処理がジ アソタイプ複写物に 及ぼす影響	加藤 雅人 木川 りか 坪倉 早智 中山 子俊介	"	"
装飾古墳の顔料	朽津 信明			色材の“デジタルカ メラ分光分析”に関 する基礎的検討	吉田 直人	"	"
特集 文化財の保存 と修理		"	553	三十三間堂の外観塗 装材料である赤色顔 料に関する調査	北野 信彦 窪寺 茂	"	"
文化財の保存と修 理—文化財建造物 を中心に—	村田 健一			敦煌莫高窟第285窟 北壁に描かれた如来 および菩薩の衣の彩 色材料及技法—赤色 表現を例として—	佐藤 香子 ほか	"	"
明治時代の煉瓦造 建築の保存修理— 同志社クラーク記 念館—	鶴岡 典慶			敦煌莫高窟第285窟 南壁龕楣の彩色材料 および技法	高林 弘実 倉橋 惠美 范 宇権 崔 強	"	"
沖縄独特の集落共 同用水施設の保存 修理—仲村渠樋川 —	向井 禅			敦煌莫高窟第285窟 壁画の保存状態	大場 詩野子 ほか	"	"
特集 唐招提寺金堂 —平成の大修理—		"	554	銅系緑色顔料の多様 性とその使用例	早川 泰弘	"	"
総論 文化財修理 に伴う調査	村田 健一			国宝高松塚古墳壁画 の材料調査の変遷	佐野 千絵 早川 泰弘 三浦 定俊	"	"
国宝唐招提寺金堂 の保存修理 保存 修理の内容	植田 哲司			桃山文化期における 輸入漆塗料の流通と 使用に関する調査 (II)	北野 信彦 ほか	"	"
国宝唐招提寺金堂 の保存修理 構造 解析と構造補強	今西 良男			熊本城「細川家舟屋 形」の保存環境調査	大塚 将英 福西 大輔 石崎 武志	"	"
国宝盧舎那仏・薬 師如来・千手観音 の保存修理 保存 修理の内容	神田 雅章						
平等院鳳凰堂 建築 装飾調査及復原	馬場 良治	鳳翔学叢	5				
平等院鳳凰堂天蓋蛇 骨子の漆芸技法	岡田 文男	"	"				

国宝高松塚古墳壁画 修理作業室の一般公開 時における環境測定	犬塚 佐野 木川 石崎 建石	将英 千絵 りか 武志 徹	〃	〃	伝統工芸技術の記録 と保存—江戸時代後 期の「葛布地道中着」 に用いられた素材の 復元を事例として—	深津 裕子	無形文化 遺産研究 報告	3
キトラ古墳保護覆屋 内の環境について (4)—周辺風環境の 解析および覆屋内環 境監視—	森井 犬塚 佐野 石崎	順之 将英 千絵 武志	〃	〃	金勝寺制札(延徳三 年)の年輪年代調査	大河内隆之	栗東歴史 民俗博物 館紀要	15
キトラ古墳の微生物 等の状況報告(2008)	木川 ほか	りか	〃	〃	講座—文化財修復 修復技術者	清水 真一	歴史と地 理	622
古墳等の高湿度作業 環境下での使用を想 定した木材保存剤の かび抵抗性試験とT VOC測定	間瀬 佐野 木川	創 千絵 りか	〃	〃	科学運動通信 五社 神古墳(神功皇后陵) の初の陵墓立ち入り 調査について	森岡 秀人	歴史評論	710
現地保存される古墳 ・遺構等における土 壌及び石材に対する 殺菌消毒剤の効果に ついて	間瀬 佐野	創 千絵	〃	〃	特集 史跡公園—も う一つの博物館— 考古学報道と史跡公 園	天野 幸弘	歴 博	153
昭和初期和紙の褐色 斑からの真菌分離お よび蛍光に関する報 告	吉川也 木川 関	志保 りか 正純	〃	〃	平成二十年度 修復 文化財(木造)材質調 査報告		鹿園雄集*	11
日光山輪王寺本堂に おけるオオナガシバ ムシPriobium cylindricumによる被 害事例について	小峰 ほか	幸夫	〃	〃	文化財建造物の保存 修理・調査		和歌山県 文化財セ ンター年 報	2008
穿孔抵抗測定法を用 いた文化財建造物の 構造部材の虫害評価 に関する一考察—日 光輪王寺における虫 害を事例として—	藤井 ほか	義久	〃	〃	重要文化財 天満 神社本殿ほか1棟 の保存修理	多井 忠嗣		
X線CTスキャナに よる虫損部材の調査	木川 ほか	りか	〃	〃	重要文化財 旧中 筋家住宅の保存修 理	増野 真衣		
「殺虫／殺菌処理、 防虫剤などについて の緊急アンケート」 調査結果について	木川 佐野 石崎	りか 千絵 武志	〃	〃	旧中筋家住宅 未 指定文化財等の保 存修理	〃		
展示公開施設の館内 環境調査報告—平成 19年度—	吉田 佐野 石崎	直人 千絵 武志	〃	〃	重要文化財 金剛 三昧院客殿及び台 所ほか1基の保存 修理	結城 啓司		
三重県における縄文 時代早期土器付着炭 化物の炭素14年代測 定	遠部 宮田	慎 佳樹	〃	〃	X R D F装置を用 いた服部コレクション の分析—小金銅仏を 例に—	櫻庭 裕介	早大會津 八一記念 博紀要*	10
井田川茶臼山古墳出 土鏡の保存処理と分 析	山田 山岡 大川	卓司 奈美 惠操	〃	〃	日曜ナントカ学 阿 修羅の旅支えた軍事 技術	小滝ちひろ	朝 日	3.29
宮崎県・熊本県にお ける赤色顔料の見え (研究ノート)—地下 式横穴墓・装飾古墳 の測色値について—	池田 橋本	朋生 英俊	〃	〃	印刷2強「美」残す仕 事 文化財保護に商 機 大日本印刷 画 集のノウハウ応用、 再製画 凸版印刷 デジタル映像で建築 物“再現”	寺西 和男	〃	8.6
					阿修羅さま軽くて丈 夫 九博、CTスキャ ン	中村 俊介	〃	8.13
					ひと 阿修羅の長旅 を支えた仏像運びの プロ 海老名和明さん	平野 圭祐	〃	11.20

地球異変 スフィンクス危機 塩害、遺跡の亀裂拡大	坪谷 英紀	朝日夕刊	1.17	大宰府遺跡 発掘調査40年 古代都市の姿明らかに「史跡守り まちづくりに」		日経夕刊	1.6
阿修羅像原型は細面C T調査で復元成功	中村 俊介	〃	9.8	応挙の障壁画鮮やかに再現 兵庫の大乗寺 デジタル技術駆使		〃	4.1
皇室財産と共に2板戸開け閉め絵を慣らす		〃	11.10			〃	
古書・古筆 鑑定に威力 炭素14法	牛田 久美 産 経	3.30		東西分断の壁 アートに再生		〃	6.17
尼門跡寺院の世界 皇女たちの信仰と御所文化		〃		広角鋭角 近代建築の未来3 「建学の精神」解体で喪失感	和歌山章彦	〃	8.28
修復・保護を支援			5.10	芸文余話 アーカイブ工場の誇り	古賀 重樹	〃	9.26
企業支援で文化財保護			5.13	広角鋭角 仏像のまわりで	森田原 均 和政	〃	
壮麗「大極殿」全貌現す		〃	9.23	4 地域の手で輝き再び			11.10
美術品劣化に先手 カビ早期発見にボランティア／保存袋を開発	小川 寛太	〃	11.15	6 費用節約に中国製も			11.13
熱気球[興福寺阿修羅立像、X線調査]		東 京	9.9	東女旧体育館保存をあすと20日 有識者の会が講演会	合田 月美	毎 日	5.13
椿山荘 山県有朋らにゆかりの木造建築修復し料亭などに		〃	11.20	日本文化財科学大会より C14濃度に局所的むら 年代測定「箸墓は卑弥呼の墓」説に難題	佐々木泰造	毎日夕刊	7.28
アテネ地下鉄は遺跡美術館 現代アートも随所に設定 写真パネルと映像で紹介	長谷川 栄	東京夕刊	4.24	アンコール遺跡パイロン寺院の修復 日本チーム 現地に紹介施設を開設	伊藤 和史	〃	〃
文化遺産修復にコンサート企画 沖縄・鳩間の島民		日 経	2.15	日本最古の人工顔料の使用わかる 1760年代、伊藤若冲の動植綵絵でプルシアンブルー	岸 桂子	〃	10.22
文化往来 ドイツの美術館秘蔵の能装束を修復・展示		〃	6.5	記者ノート 日本とギリシャ耐震の知恵	千田 龍彦	読 売	1.16
箸墓古墳は卑弥呼の墓!? 炭素年代法に考古学界揺れる「試料少ない」疑問も	松岡 資明	〃	7.4	建築望見 文化財級郵便局保存は一部	高野 清見	〃	2.12
文化往来 モンゴル最古の寺院、日本も調査に協力		〃	7.27	建築季評 価値優先の保存・改修を	中川 理	〃	3.26
若冲の「動植綵絵」平賀源内より早く国内の「プルシアンブルー」使用		〃	10.5	独で発見 能装束里帰り 江戸中期の姿に復元		〃	4.22
文化往来 広重の浮世絵、新発見の版木を再摺り		〃	10.12	読売あをによし賞 本賞 鍛冶 白鷹幸伯さん		〃	4.30
芦雪の虎 生き生き和歌山、障壁画デジタル複製		〃	10.29	読売あをによし賞 特別賞 一般社団法人 国宝修理装演師連盟		〃	〃
文化往来 イラク、文化財略奪や盗掘の傷癒えず		〃	12.28	読売あをによし賞 奨励賞 本藍染 森義男さん		〃	〃
				文化の舞台裏 高松塚古墳壁画	早川 保夫	〃	6.8

公立美術館 所蔵品 修復ままならず 管理 不十分人も予算も 削減	高野 清見	"	10.15	金属組成からみた 栗東「辻の鋳物師」 による技術伝播の 基礎的研究	川本 耕三 下野 聖		
文化の舞台裏 正倉 院・勅封	待田 晋哉	"	10.23	土方巽アーカイヴの 10年1 資料館から アーカイヴへ	森下 隆	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	16
博報堂旧本館「保存 を」「都市的遺産」 建築士ら要望	野村 昌玄	"	10.31	特集1〈連携〉する美 術情報		現代の眼	576
文化財保存、クリー ニング…「超臨界 流体」応用広がる	木村 達矢	読売夕刊	2.16	国立美術館版「想 —IMAGINE」の開 発	丸川 雄三		
明日へ 祇園を支え る5 伝統の景観 町衆が守る	渋谷聖都子	"	3.10	国立美術館所蔵作 品総合目録検索シ ステムと国立国会 図書館デジタルア ーカイブポータル (PORTA)との連携	柴田 昌樹		
芸術支える修復技術	横森萌々太 吉武 彰子 加藤あず佐	"	5.23				
情報処理				日本語美術書誌・資 料の英文化(第6回) 文献の題名(1)― 「探せる」という発想 からの概論	富井 玲子	jaic会報	17
英国V&A博物館と スコットランド国立 博物館所蔵浮世絵の デジタルアーカイブ	赤間 亮	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン研究	16	G I Sを利用した考 古学情報データベ ース作成―福岡市史考 古特別編における試 み―	宗 建郎	市史研究 ふくおか	4
東京国立博物館の収 蔵品管理システム	村田 良二	"	"	資料紹介 高橋秀吉 コレクションの姫路 古写真―デジタルデ ータによる記録化の 試み―	堀田 浩之	塵 界	20
事例報告 日本大学 総合学術情報センタ ーにおけるデジタル ・アーカイブ構築の 実践―貴重書撮影手 法の確立と今後の課 題―	中川 裕美	"	"	南山大学人類学博物 館蔵の「考古学研究 の研究」に関する 資料のアーカイブ化 に向けて 附・第一 展示室展示アルバム 作成メモ追記	吉田 泰幸	人類学博 物館紀要	27
第2回神戸大学海事 博物市民セミナー デジタル化と博物館 の未来―博物館所蔵 海図の電子化から拡 がる可能性―	末吉 敬子	海事博物 館研究年 報	36	中央アンデスの物質 文化の歴史的連続性 ／非連続性―友枝啓 泰アンデス民族学画 像コレクションに見 られる農具の分析を 中心に―	河邊 真次	"	"
語られる美術史―日 本美術のオーラル・ ヒストリー・アーカ イヴの構築に向けて ―	加治屋健司	鹿島美術 財団年報 ・別冊	26	研究報告 20世紀ボ スターコレクション のアーカイブ作成・ 公開に関する研究 (1)	山本 政幸	多摩美術 大学研究 紀要	23
アーカイブズの資料 保存―状態調査の視 点とマネジメントを 考える―	金山 正子	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2008	動向 文書館問題 文書館問題に関する 会員への意見募集の 結果について	文書館問題 検討委員会	地方史研 究	338
調査・研究(概要)		"	"	動向 日本アーカイ ブズ学会「Archives Japan 50―アーカ イブズ学からの照射 ―」参加記	大石三紗子	"	342
兵庫県加西市・一 乗寺の歴史資料 (巡礼札)の調査と データベース化	稲城 信子						
中近世の庶民信仰 絵画の自然科学的 ・実証的研究	高橋 平明						
ポータブル蛍光エ ックス線分析計を 活用した装飾大刀 の網羅的調査研究	橋本 英将						

「古地図・絵図所在 情報データベース」 への期待	平井 松牛	東大画像 史料解析 センター 通信*	46	文化往来 明大が漫 画・アニメ・ゲーム のアーカイブズ	〃	9.11
研究報告 デジタル 写真測量による遺構 の記録	番 光	奈良文化 財研究所 紀要	2009	公文書専門職の育成 急務 史料学・情報 科学…幅広い知識必 要	松岡 資明	〃 12.5
データベースからデ ジタルアーカイブへ	合庭 惇	日 文 研 NEWS*	74	文化往来 博物館・ 図書館・文書館、デ ジタル連携で鼎談	〃	12.25
特集 語りかける絵 画—イメージ・テク スト・メディア		文 学*	10-5	何ができる? 2次元 コード 中 作品の 奥深さに触れる	日経夕刊	4.21
奈良絵本・絵巻の デジタル化と研究	石川 透			映像や文書 「1000 年保存」 慶大・シ ャープ基礎実験成功	〃	6.15
デジタル時代の絵 巻研究によせて	楊 暁捷			都慰霊堂の関東大震 災資料 神奈川大が データベース化 惨 状伝える絵巻も発見	網谷利一郎 毎 日	7.17
特集 古墳壁画の保 存と活用		文化財*	547	ロシアの至宝デジタ ル化 プーシキン美 術館ネット公開 軍 の特殊技術活用	大木 俊治 毎日夕刊	9.29
九州国立博物館に よる装飾古墳のデ ジタルアーカイブ	赤司 善彦 河野 一隆			カタログ・レゾネ日 本でも 小磯良平・ 荻須高德・山口薫… 生涯の作品網羅	市原 尚士 読 売	6.11
3Dデジタルデー タによる文化財の 保存・分析・活用	池内 克史			文化財行政		
デジタル時代の文化 財写真『作成』と『保 存』『活用』について	中村 一郎	埋文とや ま	107	Gallerist Interview 彩鳳堂画廊本庄俊男	本庄 俊男 art_icle	
特集 思い出と博物 館 思い出をアーカ イブする—二〇〇二 年ソウルスタイル展 と李家—	佐藤 浩司	歴 博	152	文化発信無き国家 は滅亡します。 「国立メディア芸 術総合センター」 は果たして無駄遣 いか?		23
オピニオン 「アニ メの殿堂」考えるべ きことは 文化流出 繰り返さぬために 浜野保樹さん	小川 雪 聞き手 朝 日		6.28	「国立メディア芸 術総合センター」 の消滅と必要性 (その1)		25
市民の視点で身近に 町田ゆかりの美術家 70人 ウェブで紹介 市と地元大学	堂畑 圭吾 東 京		1.13	「国立メディア芸 術総合センター」 の消滅と必要性 (その2) 無限の 資源への資本投資 を		26
浮世絵デジタル化 ロシアで軍事技術応 用 プーシキン美術 館ネット公開目指す	中島 健二	〃	9.30	浦添市の文化財行政 について 1—文化財 行政の体制変遷を中 心に—	下地 安広 よのつち*	5
文化往来 公共施設 収蔵品、デジタル活 用の課題探る		日 経	2.2	研究ノート イスラ エルにおけるキリス ト教会堂遺跡の保 存と公開—パブリッ ク考古学の視点から —	岡田 真弓 オリエン ト	52-1
街かど人物館 写真 アーカイブ 函館の 記録編み上げる		〃	4.20	アート・トピックス Administration 経 済産業省が進める感 性価値創造イニシア ティブ	ギャラリ ー*	287
フロントライン 浮 世絵をデジタル書籍 に		〃	5.3			

福岡藩における大宰府跡の保護・顕彰について	一瀬 智	九州歴史資料館研究論集	34	「国立メディア芸術総合センター」は果たして無駄遣いか？実現すれば海外から注目度は多大	本庄 俊男	〃	1193
宇治の地域遺産と文化的景観		京都府立大学文化遺産叢書	1	新美術時評「国立メディア芸術総合センター」は準備不足	島尾 新	〃	1194
文化遺産からみた地域の記憶とイメージ—宇治地域を中心に—	菱田 哲郎			盛り上がる「東京文化発信プロジェクト」—文化は都市の魅力を測る新しい尺度— 世界に向けて発信 気になる「2016年オリンピック招致」の成否		〃	1195
都市域の文化的景観を考える—重要文化的景観「宇治の文化的景観」を中心に—	杉本 宏			動向 史料保存問題「公文書等の管理に関する法律」の成立によせて	学術体制小委員会	地方史研究	342
特集 建築年報2009(投稿論文) III建築界の動向と展望 デンマークから学ぶ近代建築遺産の保存活用	和田菜穂子	建築雑誌	1594	資料紹介 戦時下の文化財保護—愛知県史蹟名勝天然紀念物調査会主事、小栗鉄次郎の日記を中心として	梶山 勝	名古屋博物館研究紀要	32
「神道関係文化財」とは何か？—データベース構築の機軸として—	小島 優子	国学院大学紀要	47	韓国の木造文化財建造物における合成樹脂を用いた部材の修復について	趙 賢貞	日本建築学会計画系論文集	640
「神社祭礼に見るモノと心」プロジェクト 神社と文化財	池谷 浩一	国学院大伝統文化研紀要*	1	1954年ハーグ条約に基づく軍隊に対する文化財保護の教育と普及—「武力紛争の際の文化財の保護に関する条約」の履行状況とその課題 その3—	藤岡麻理子 平賀あまな 斎藤 英俊	〃	642
時評2 なぜ、大阪市立近代美術館は建たないか—二十年間も「まあだだよ」では、内田百閒じゃあるまいし—	橋爪 節也	視覚の現場 四季の綻び	1	文化遺産危機管理とユネスコ国際条約の統合的運用に関する研究 1954年ハーグ条約、1970年文化財不法輸出入等禁止条約、1972年世界遺産条約を中心に	高橋 暁	〃	〃
時評8 地域の作家と美術行政：ストロームの事例から	鷺田めろろ	〃	2	近世城郭の文化財保護と保存・活用の変遷に関する考察—歴史的記念物の保存・活用の変遷に関する研究 その1—	徐 旺佑	〃	643
時評4 芸術と地域のあいだ	上村 博	〃	3	小鹿田焼の里皿山における伝統的な生業の持続と文化的景観の保全に関する研究	山口 知恵 松本将一郎 西山 徳明	〃	644
展覧会から2 ベルリンの文化財オープン・ハウス・デー	桑原 節子	〃	〃	八女福島地区における屋根葺替え工事前後の瓦の形態変化に関する研究—街なみ環境整備事業地区及び重要伝統的建造物群保存地区を対象として—	玉井 悠嗣 木下 光	〃	〃
これからの世界遺産	松浦晃一郎	絲綢之路	59				
シルクロードの世界遺産推薦	安東 義雄	〃	61				
美術市場レーダー	瀬木 慎一	新美術新聞					
199経済不況下の文化と教育			1174				
206政権交代と現在の文化問題			1195				
柱は「文化芸術立国」の実現と文化発信		〃	1178				

ドイツにおける記念物周囲の保護手法について ドイツの記念物保護手法研究(2)	井川 博文	日本建築学会計画系論文集	645	歴史都市の破壊と発展—博物館の役割を再考する寧波宣言	水嶋 英治		"
農村集落における空間構成の変遷と景観保全の課題 岐阜県大野郡白川村荻町を対象として	麻生 希 増原 実樹 佐藤 睦美 西山 徳明	"	646	公益財団法人移行の道半ば	西村 雅典	"	493
タビオラ田園都市の保存に関する考察 フィンランドにおける二十世紀建築遺産保護に関する研究 その2	堀内 絢子	"	"	公益財団法人認定を取得して—その取組みの経緯などを振り返る—	樋口 浩道	"	"
フランスに於ける文化財建造物の防犯・防災に関する研究—内部専門組織を活用した安全計画のさらなる総合化—	鳥海 基樹 後藤 治 藤村 正浩 村上 竜太 大橋 竜太 関沢 愛	"	"	INFORMATION PROJECT 東京の新しい文化事業 東京の「人、まち、活動」をアートで結ぶ	沢山 遼	美術手帖	927
文化財レポート		日本歴史		視点「国立メディア芸術総合センター」は果たして無駄遣いか?	本庄 俊男	美術の窓	313
山城国分寺跡から恭仁宮跡へ—その保存と史跡指定の現状—	芝野 康之		729	柳の御所遺跡堀内部地区の建物復元(中間報告 その5)—史跡整備計画との関わりを中心に—	平泉遺跡群調査事務所	平泉文化研究年報	9
二〇〇七年度後期の史跡等の指定			734	「平泉文化総合的研究基本計画」策定の趣旨(その1)	岩手県教育委員会	"	"
二〇〇八年度前期の史跡等の指定			735	平泉文化の総合的研究基本計画	"	"	"
史跡池辺寺跡の調査とその保存・活用	網田 龍生		736	ヨーロッパアート事情 モン・サン＝ミシエルを本来の姿に「海の上の独立した島」計画始動	今津 京子	美連協ニュース	104
二〇〇八年度後期の史跡等の指定(上)(下)			737、738	特集 文化財の総合的な保存・活用とまちづくり		文化財*	544
古蹟保存の流行と日本歴史地理研究会	齋藤 智志	"	732	特集にあたって	荻谷 勇雄		
GHQ/SCAP文書にみる文化財保護法の成立過程	境野 飛鳥	"	736	文化財の総合的な保存・活用とまちづくりについて	田中 康成		
都道府県・政令指定都市における文化振興条例の動向と今後の展望についての一考察	横山 幸司	人間文化	25	文化財の総合的な保存・活用のためのQ&A	文化庁文化財部		
国際動向		博物館研究		歴史的風致形成建造物制度と歴史的環境形成総合支援事業について—歴史的な建造物の保存・活用への支援—	国土交通省		
台湾の博物館政策	水嶋 英治 栗原 祐司		491	歴史的風致を形成する農業用水への支援事業	農林水産省		
シンガポールの博物館事情—平成19年度「文部科学省委託事業」“地域と共に歩む博物館育成事業”博物館支援策にかかる各国等比較調査研究”の調査に参加して—	高橋 信裕 吉田 雅之		492				

文化財の総合的な 保存・活用をめざ して—文化財の種 別ごとの取り組み—	文化庁文化 財部			新選定の文化財 伝 統的建造物群	伝	〃	〃	
				新指定の文化財 記 念物	記	〃	〃	551
歴史文化基本構想 の策定とその課題	後藤 治			新選定の文化財 文 化的景観	文	〃	〃	〃
連載 文化財を記録 する		〃		新指定の文化財 建 造物	建	〃	〃	555
16伝統文化編 生 きている伝承を記 録する—無形の民 俗文化財の記録—	前田俊一郎	544		新選定の文化財 伝 統的建造物群	伝	〃	〃	〃
17美術工芸品編 刀剣の記録の歴史	伊東 哲夫	545		登録有形文化財(建 造物)— 覧 第62回 登録有形文化財(建 造物)		〃	〃	545
18美術工芸品編 工芸品の記録—染 織品—	小林 彩子	546		特集 古墳壁画の保 存と活用			〃	547
19美術工芸品編 書跡・典籍を記録 する—調査の方法 —	梅澤亜希子	547		座談会 古墳壁画 が現代の私たちに 語りかけるもの	藤本 強 永井 順 青柳 國 毛利 正規 和雄			
20美術工芸品編 古文書を記録する —調書のとり方—	横内 裕人	548		特集にあたって	文化庁古墳 壁画室			
21建造物編 建築 彩色を記録する	田中 禎彦	549		高松塚古墳・キト ラ古墳に関する保 存・活用事業の進 捗状況について	〃			
22建造物編 建造 物の構造を記録す る—模造—	清永 洋平	550		高松塚古墳仮整備 のための発掘調査	松村 恵司 廣瀬 覚			
23建造物編 集落 ・町並みを記録す る	西山 和宏	551		高松塚古墳壁画の 材料調査(進捗報 告)	肥塚 隆保			
24建造物編 土木 構造物を記録する	北河大次郎	552		茨城県虎塚古墳に おける装飾壁画の 保存と公開	鴨志田篤二			
25記念物編 「歴 史の道」を記録す る	三宅 克広	553		福岡県の装飾古墳 の保存と公開	吉田 東明			
26記念物編 保存 される遺跡の調査 を記録する	清野 孝之	554		キトラ古墳周辺地 区の国営公園化計 画	藤野 健一			
27記念物編 石垣 を記録する	市原富士夫	555		採掘・製造、流通・ 往来および居住に 関連する文化的景 観の保護について	鈴木 地平	〃		551
新指定の文化財 記 念物	文化庁文化 財部	〃	545	文化財の防災対策 について		〃		552
新選定の文化財 文 化的景観	〃	〃	〃	文化財の防火、防 犯における取り組 み	文化庁伝統 文化課文化 財保護調整 室			
新登録の文化財 記 念物	〃	〃	〃	重要文化財(建造 物)の防火、防犯 対策の近況	文化庁参事 官(建造物 担当)整備 活用部門			
新指定の文化財 民 俗文化財	〃	〃	546	重要文化財(建造 物)の耐震対策の 近況	文化庁参事 官(建造物 担当)震災 対策部門			
新登録の文化財 登 録有形民俗文化財	〃	〃	〃					
新指定の文化財 美 術工芸品	〃	〃	549					
新指定の文化財 建 造物	〃	〃	550					

卯之町の保存の歩み —在郷町・宇和町卯 之町—	一井 健二	文化財*	555	コラム 下野薬師 寺跡	賀来 孝代				
文化審議会答申 登 録有形文化財(建造 物)の登録		文部科学 広報	110	埋蔵文化財行政の 未来	禰宜田佳男				
文化芸術・スポーツ の振興 「文化芸術 立国」の実現と文化 発信		"	111	考古学遺跡とまち づくり—地域政策 の転換点を考える	宗田 好史				
2009年登録の世界遺 産全件リスト		ユネスコ 世界遺産 年報	15	コラム 石見銀山 遺跡	椿 真治				
特別対談 世界遺産 とともに歩んで—在 任10年の成果と今後 の課題	松浦晃一郎、 西村 幸夫	"	"	郵政、文化庁方針伝 えず 局舎保存 都 への説明	橋田 正城 朝 日	3.3			
データファイル 日 本の世界遺産4 平 城遷都1300年 古都 奈良の文化財	矢野 和之	"	"	国立アニメの殿堂 「パラマキの象徴」 「後世へ保存必要」 117億円に賛否	小川 雪 上野 創	"	6.14		
日本の世界遺産ニュ ース		"	"	オビニオン 「アニ メの殿堂」考えるべ きことは ハコモノ 脱し人材育成を 寺 脇研さん	小原 篤 聞き手	"	6.28		
第33回世界遺産委員 会ニュース	稲葉 信子	"	"	ニュースがわから ん! 「人間国宝」と はどんな人なんじ ゃ? 後世の日本に 残したい伝統技能を 持つ人たちさ	宮代 栄一	"	7.31		
コルビュジェの登録 延期から学ぶ		"	"	もっと知りたい! 盆栽枯死原因「雨と 屋根」? 特定は困 難 賠償見通せず	牧内 昇平 加藤真太郎	"	9.9		
シリアル・ノミネ ーションとは何か	"			社説 キトラの壁画 いつか四神を戻すに は		"	9.25		
「ル・コルビュジ エの建築と都市計 画」世界遺産登 録の難しさ	山名 善之			ニュースがわから ん! 国外へ盗まれ た文化財、取り戻せ る? ユネスコの条 約が適用されるが、 未解決も多い	小川 雪	"	11.21		
世界遺産基本情報		"	"	国立「アニメの殿堂」 マンガ・ゲームも収 集 発信拠点都心に 建設へ	小川 雪 上野 創	朝日夕刊	4.9		
利用者の立場からみ た歴史系博物館等へ の指定管理者制度導 入について—「小特 集 指定管理者制度 と歴史学」によせて	會田 康範	歴史学研 究	851	軍艦島は文化財か 長崎の炭鉱廃墟 公 開半年で上陸3万人 世界遺産推薦へ課題	中村 俊介	"	10.1		
小特集「陵墓」問題と 歴史学研究		"	857	芸大院生が都営交通 デザイン	奥田 嘉夫 産 経		4.25		
陵墓と日本古代史	佐藤 信			世界遺産登録「待っ た」国立西洋美術 館		"	5.13		
コメント 文化財 としての陵墓と公 開運動の今後	宮瀧 交二			見切り発車? アニメ の殿堂? 国立メデ ィア芸術総合センタ ー実現へ 「巨大な マンガ喫茶」と批判 も		"	5.30		
日本史のひろば		歴史と地 理							
近代化遺産 第4 回 世界遺産と産 業遺産	清水 慶一		622						
歴史博物館と指定 管理者制度—横浜 市歴史博物館の取 り組みをとおして	前澤 和之		630						
特集 史跡公園—も う一つの博物館—		歴 博	153						

イチから分かる “アニメの殿堂”問題 保存収集の拠点、 「無駄」批判も	堀	晃和	〃	6.10	「平泉」世界遺産へ再 挑戦 海外識者招き 会合 文化庁	〃	2.22
無駄か悲願か「アニメ の殿堂」 「マンガ はお上りかすもの」 研究資料を次 代に」	福田	哲士	〃	6.29	メガロリポート 不 景気下なぜ!? ゆかり の施設 園外、与謝 野晶子、北斎… 都 内自治体、相次ぎ計 画 文化力向上も精 査必要	鈴木 禎央	〃 3.7
先行き不安「アニメ の殿堂」 設立準備 委初会合 「スケジ ュールきつすぎ」「政 争の具に使うとは …」			〃	7.3	世界遺産登録 平泉 “絞って”再挑戦 文 化庁方針9資産を5 で 除外2市、反発 も	〃	4.5
金曜討論 “アニメ の殿堂”は必要か 「もったいない精神」 で	竹田	徹	〃	7.17	北海道新冠町がネッ ト競売 廃校、3000 万円で落札 美術館 に再利用へ	〃	6.3
“アニメの殿堂”は必 要か eアンケート 私も言いたい 公的 な介入は不要65%			〃	〃	アニメ・マンガ国立 施設 制作現場で賛 否両論 海外発信に 弾み まず人材育成 を	諸岡 良宣	〃 6.27
伝統工芸 師弟に手 当 荒川区、技術継 承を支援			〃	9.20	選択09 衆院選問う 託す “殿堂”論争現 場が批判 「アニメ 政治材料にしない で」 年収110万円若 手冷ややか	〃	8.22
「アニメの殿堂」建て ぬ 文科相明言 文 化庁に代替案要求			〃	9.23		〃	〃
東大寺南大門の敷居 板にペンキ			〃	9.24		〃	〃
伝統工芸士に弟子 続々 葛飾区 支援 制度で13人修業中			〃	10.23	万葉の地 祝祭へ 着々 歴史遺産 新 たな息吹	岡松 卓也	〃 11.15
世界遺産登録に理解 を 国立西洋美術館 台東区地元の応援求 め見学会 コルビュ ジェの設計や思い解 説	中里	宏	東 京	2.17	文化政策 「事業仕 分け」で貧困さ露呈 国・地方・企業・N PO・個人 振興へ 役割分担を	内田 洋一	〃 11.28
検討進む美術品の国 家補償制度 展覧会 の質向上、拡がりも	稲葉	千寿	〃	6.29	国際フォーラム特集	〃	12.24
作品収集など6項目			〃	8.7	文化の多様性と現 代美術—11月29日 大阪・国立国際美 術館	高階 秀爾 司会 キム・ヨン スン、 建畠 哲、 ビエル・ル イジ・タッ ツイ	
美術品の「国家補償 制度」 導入めざし 検討会発足	稲葉	千寿	東京夕刊	3.31			
「メディア芸術総合 センター」 漫画家 らが必要性訴え			〃	6.12	シルクロードと東 西交渉—11月15日 奈良・春日大社 感謝・共生の館 絹の道 寛容に通 ず	山内 昌之 座長 イセンビケ ・トガン、 王 柯、 小松 久男、 パフティヤ ール・ババ ジャンフ	
国の介入なじまない 発掘「資格」に賛否 公開性・透明性高め る 文化庁検討	栗原	淳	〃	7.22			
文化往来 海外美術 品の「国家補償制度」 導入を検討			日 経	1.29	メキシコの世界遺産 光と音のショー 考 古学者ら反発 「遺 跡傷つける」計画撤 回を要求		日経夕刊 1.26
壁画劣化究明へ 余 白を破壊分析 高松 塚で文化庁方針			〃	2.20			

貴重な文化財デジタル再現 文科省、5年かけ「博物館」映像や手触り体験	日経夕刊	2.7	気になる！世界遺産連続見送りのワケ	加納 昭彦	〃	6.30
学芸員を頼もしく博物館で資料収集・保存 文科省会議改革案 養成過程を拡充	〃	2.21	世界遺産「1500ぐらいが適正」見送る案件「概念整理し再挑戦を」松浦晃一郎・ユネスコ事務局長	鷺見 一郎	〃	8.7
世界遺産寺院群 修復めど立たず ジャワ島中部地震3年	〃	5.27	江戸の職人技守れ 荒川区が弟子養成事業	中村 隆	〃	10.1
広角鋭角 近代建築の未来 和歌山章彦	〃		日本郵政 東京中央郵便局 文化財登録目指す		読売夕刊	3.10
1「平凡」な局舎、保存に壁 機能美追求、理解されず		8.26	大手町博士のゼミナール 近代化産業遺産 国が認定観光の目玉に	河村 敏夫 金田 浩幸	〃	3.17
2 弘前市民、存続に先べん		8.27	美術教育			
4 隠れた価値発見、再生へ		9.1	特集 ニューコンセプト・ジャパン・スタイル 売り場から始めるデザイン教育—ナガオカケンメイ+D&DEPARTMENT 桑沢PROJECT		A X I S	137
5 戦後作品、評価基準に課題		9.2				
6 失われた広場の意味		9.4	産学共同の正しいやり方 プロジェクト13：女子美術大学と日南貿易の「仏壇デザイン」	今村 玲子	〃	141
歴史的価値、調査へ大田区 全長1.6キロ、「近代の土木遺産に」多摩川沿い 赤レンガ堤防 真野 森作 毎 日	3.9		特集「ワークショップを考える」		aprire	16
川端文科相「漫画通」アビール トキワ荘展を視察 「殿堂」中止もあって気配り？ 加藤 隆廣	〃	11.15	「見る」「触れる」体験を重視した授業づくりと入間市の博学連携—入間市博物館における博学連携事業の15年—	會田 敏正 鈴木 良一	入間市博物館紀要	8
古代の至宝6年ぶり復活 イラク国立博物館再開 高橋 宗男 毎日夕刊	2.24		浦添市美術館の実習教室活動について—実習教室活動と教育の循環—	又吉 紅子	よのつち*	5
考える耳 「国営マンガ喫茶」は無駄づかい か 「芸術」の概念にとらわれぬ議論を 渡辺 裕	〃	7.21	教育普及活動の実践と成果そして今後—講座における石膏版画の技法習得からの示唆—	大島 浩	エクラン松本市美術館紀要	1
日本「文化外交」の行方 広範な知的交流を 渡邊 啓貴 読 売	2.18		ワークショップにおける博物館連携の可能性について	足立 拓朗	岡山市立オリエンタル美術館研究紀要	23
試される知恵と工夫 大幅予算削減の豊田市美術館 高野 清見	〃	5.5	夏休み自由研究用ワークシートを活用した博物館利用と博物館連携	〃	オリエンテ	38
重文を守れ 防火・防犯調査へ 文化庁建物・美術1万点	〃	5.6	近代日本のデッサン教育言説について	荒木 慎也	カリスタ	16
指定管理者制度に疑問 公立美術館アンケート 高野 清見	〃	6.11				
海外美術品の差し押さえ防げ 国内へ借りやすく 自民が議員立法へ	〃	6.25				

研究報告 岐阜県美術館の親と子の鑑賞教室における「対話型鑑賞法」の試みについて(報告)	上屋美千弘	岐阜県美術館年報	26	芸術ですべてを語る フランス美術教育の現状	阿部明日香		
エデュケーショナル・スタディズ		京都国立近代美術館研究論集	2	美術教師、かく実践せり	編集部		
美術鑑賞における鑑賞者の論理とは「ギャラリー・ラボ」(書く)ことと(描く)ことの間」展の試行から	石川 誠			石けんで何ができるかな? エルプ美術館でワークショップを体験	"		
ギャラリー・ラボ 2007概要	河本 信治			子どもにとって美術教育とは?	"		
鑑賞者と美術館が創出する世界—京都国立近代美術館の学習支援活用による実践的研究—	越野 清実			特集 美術館と学校 II		現代の眼	574
子どもとおとなの「出会いと対話の場」となる美術鑑賞プログラムの提案—鑑賞の「タスク」から、「遊び」への転換をきっかけにして—	横田 香世			それぞれの「生きる力」と(美術)—美術館と学校の連携とその可能性—	長田 謙一		
研究報告 芸術系大学における初年次教育の取り組み	真下 知子 横田 博幸	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	53	学校と美術館の連携—鑑賞する子どもの発見を通して—	奥村 高明		
水墨画の教材化と日本美術についての一考察	登藤 珠実 佐々木 宰	鉦路論集	41	「みる」を楽しむ子どもたち—連携によって生まれる、充実した学び—	西村 德行		
中学校における鑑賞教育のカリキュラム開発に関する一考察	花輪 大輔	"	"	特集 国際化時代の建築教育システムへ		建築雑誌	1588
群馬県立近代美術館における学校との連携推進を中心とした教育普及活動の取り組みについて	熊谷ゆう子	群馬県立近代美術館研究紀要	5	II教育のグローバル化 教育のグローバル化にわが国の建築教育はどう立ち向かうのか	中島 正愛		
李順石とソウル大学校美術大学の設立	韓 希暎	芸術学研究(筑波)	13	VI隣国の動向(一足早いUIA対応と現在の動向) 韓国の建築学教育改革と問題	キム・ゴァン ンヒョン ホ・ジョン ウン 訳		
特別レポート ルーヴル美術館と子どもたち		芸術新潮	712	VII隣国の動向(一足早いUIA対応と現在の動向) 中国におけるグローバル化と建築教育の実践	李 暁東 易 磊 訳		
美術の見方、楽しみ方、教えます! ルーヴル美術館「子どものためのアトリエ」	編集部			特集 建築年報2009(投稿論文) II 視点 建築界における職域の「振幅」	戸田都生男	"	1594
ルーヴル美術館が打ち出した革新的な教育プロジェクト「クラス・ルーヴル」とは?	"			海外に学び日本に学ぶ 鍛えるべきは身体!?—アジア工科大学院	田中 麻里	"	"
				在外調査報告 フランスの美術館などにおける教育普及活動の現況	藤吉 祐子	国立国際美術館ニユース	171
				時評 8 美術教育の危機は子どもの危機	神吉 脩	視覚の現場 四季の綻び	1
				時評 9 小学校図工教師の嘆き	辰巳 三郎	"	"

時評9 子どもたちも今日は職人になる	神吉 脩	視覚の現場 四季の綻び	2	兵庫県立考古博物館の展示と体験学習活動	中村 弘 賢治 村上 賢治	博物館研究	491
時評10 表現できない人間	内海 公子	"	"	支部情報 東北支部／体験活動事業の実践を通して	平塚 幸人	"	496
時評6 美術教育のゆくえー化学を軸とした教育体系ではなく、美を軸にした教育体系にしなければ、平和な世界は訪れないー	藤田 睦也	"	3	支部情報 関東支部／千葉県立美術館における博学連携事業ー「美術館講座」についてー	渡辺 修一 荒井喜代美	"	497
時評7 学校における美術鑑賞授業の充実をねがって	神吉 脩	"	"	特集「一歩進める博学連携ー現状と課題ー」		"	499
中国の大学教育におけるデザイン教育の動向(その1)	黒田 宏治 佐井 国夫	静岡文化芸術大学研究紀要	9	進学学習指導要領と博物館の利用	小川 義和		
事例報告 美術鑑賞プログラム「たんけん!!はっけん!?カミサマの森」ー特別展「ふるさとの神々ー祝祭の空間と美の伝統」ー関連事業としてー	橋村 愛子 塵 界		20	図画工作・美術科における学校と美術館の連携	奥村 高明		
新美術時評 米国の美大・芸大事情に学ぶ	外館 和子	新美術新聞	1181	大多喜町立老川小学校における博物館との連携とその活用から	永島 絹代		
雑誌が谷田宣教師館における教育普及事業について	柳河加奈子	生活と文化	18	学校教育における地域博物館の活用ー戸田市立郷土博物館の事例からー	田嶋 俊彦		
生涯学習におけるIT活用に関する一考察	大嶋 淳俊	多摩美術大学研究紀要	23	アメリカの鑑賞教育紹介ーDBAE「学問性に基づいた美術教育」とVTS「視覚的思考法」	山本 成子	PATIO	27
美術教科書におけるビジュアル表現の研究に関する調査: 2008年度概報	金子 亨	東京学芸大学紀要	61	美術教育とジェンダー	山崎 明子	美術運動史研究会ニュース	
写真のデジタル化に対応した絵画教育内容の研究(1)ー基礎資料編ー	金子 亨 清野 泰行 藤井 康子	"	"	(6)女子の美術教育機関ー赤舛社女子絵画研究所			100
臨床科目の実施と課題ー平成20年度 美術教育臨床を通してー	太田 朋宏 片岡 眞幸 大根田友萌	"	"	(8)戦後美術教育のジェンダー枠組みの形成			105
回転版画による版画教育についての研究ー子ども講座での実践を通してー	清野 泰行	"	"	子どもと美術		美術手帖	
作品との関わり方としての鑑賞遊びー鑑賞の初歩的をめぐって	竹内 利夫	徳島県立近代美術館研究紀要	11	44 キッズキュレーター	藤田 千彩		917
五感でアートー教育普及活動の視点からー	足立 圭	長野県信濃美術館紀要	3	46 谷川俊太郎さんのワークショップ絵をみて詩を書こう	編集部		919
				49 ずこう寺子屋	拓植 響		922
				50 色とあそぶ	伊部 玉紀		923
				52 6月のさくら	"		927
				53 すけてるのお絵かき	"		928
				54 もうひとつの緑のカーテン	"		930
				55 キャラッキーのあんぐるぼくす	"		931

仲介の感性論		美術フォーラム21	19	美術と実演芸術のアウトリーチ活動の比較考察	山田 真一	〃	〃	
世界におけるヴィジュアル・エデュケーション その3	岩城 見一			中学校での授業 歴史『蒙古襲来絵詞』の謎に迫る	石上徳千代	歴史地理教育	751	
1 学校の自治推進のための国立機関—エミリア・ロマーニャ州部(イタリア)	クラウディア・ヴェシーニ、M・クリステイナ・グベツリーニシルヴィア・タルタリーニ 訳			教室レポート 総合的な学習の時間で博物館の「展覧会づくり」を学ぶ	會田 康範	歴史と地理	622	
2 インドネシアにおけるヴィジュアル・エデュケーションの歴史—美術館の成立と地域教育を事例に	水田 泉			新春特別企画 美術教育に関する座談会	田中康二郎 尚徳高明一 玲一 波彦 観一 誠一 寛文彦 成幸 文明助 宗弘 浩一 喜一 寛雄一	連盟ニュース	429	
3 インドネシアにおけるヴィジュアル・エデュケーション	アスムージョ・ジョーノ・イリアント 岩城恵美子 訳			現代美術を子どもたちに 作家・芸大生講師に教室	杉本 宏 朝 日		10.7	
当館における学習支援プログラム—子ども向けワークシートの作成—	田邊 英男	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	7	見巧者を育てよう これからの美術教育	神林 恒道	東京夕刊	7.15	
子どもと造形—表現を育てるために—	杉浦 篤子	藤女子大学紀要	46-2	漫画やアニメ 教育現場に活用 of 動き表現・読み解く力を磨く		日経夕刊	2.26	
フォーラム・連続公開インタビュー—美術館ワークショップの再確認と再考察—草創期を振り返る	河合 晴生 山脇江子 大月ヒロ正弘 橋直伸 黒沢 聡子 端山 千賀子 降旗	Fuji Xerox Art Bulletin	4	商業映画に芸大生進出 自ら出資者募り、製作・配給	窪田 直子	〃	3.17	
北海道立野幌森林公園自然ふれあい交流館における普及啓発事業の取組と展開—子どもレンジャー育成事業『森林公園たんてい団』にみる一考察—	松井 則彰 濱本 真琴 扇谷 真知子	北海道開拓の村研究紀要	2	高松市保育所に「芸術士」派遣 絵画や音楽に触れ表現力磨け！ 伊の幼児教育を参考		〃	10.31	
リチャード・ヒックマンの美術教育論にみる美術観と美術教育観の考察(3)	幸 秀樹	宮崎大学教育文化学部紀要	21	秋、アートを体感 美術館の体験型講座 人気 感性引き出す場に 能動的に見る目を養成	細川 貴代 毎 日		10.4	
対話型美術鑑賞アートモバイル—7年の取り組み—2001—2007	窪美西嘉子	ミュージアム調査研究報告	1	美術・博物館「教育」に活路 台所事情反映 収集よりも重視	菅原 教夫 読 売		4.30	
ウェブデザイン教育におけるe-Learningの可能性について	古性 淑子	横浜美術短期大学教育・研究紀要	4	教育ルネサンス 学びの情報基地2 美術館「体験型」に活路	京極 理恵	〃	7.30	
				文化芸術の研究拠点新設 京都造形芸術大と東北芸術工科大	市原 尚士	〃	11.17	

古 美 術

絵 画

中 国

元代版画の白眉、『全相平話五種』の挿絵群について(上)、(下)	瀧本 弘之	アジア遊学	123、124
陳箴筆鳥花山水図について—呂紀系花鳥山水図の明末蘇州画壇への流入—	西上 実	学 叢	31
『絵本三国志』の挿絵における合戦場面の「動」と「静」—『三国志演義』宝翰楼本の受容を中心に—	梁 蕓嫻	鹿島美術財団年報・別冊	26
黄帝像の受容をめぐる画と詩—『三皇図』を手掛かりとして—	水野 裕史	芸術学研究(筑波)	13
清朝宮廷における郎世寧の初期絵画とその活動	王 凱	国学院大学紀要	47
詹仲和一伝歴と作品	海老根聰郎	国 華	1366
(伝)李成「喬松平遠図」(澄懷堂美術館)について—唐代樹石画との関係を中心に—	竹浪 遠	"	1369
公開・国際シンポジウム「礼拝像と奇跡東西比較の試み」仏教における「霊験」—仏が感応する場と表象	長岡 龍作	死生学研究	12
水墨画の歴史を語る第一回～第八回	島尾 新	趣味の水墨画	241～246、248、249
アジア図像探検(66)～(71)西王母と牛首神(1)～(6)	杉原たく哉	書 道 界	236～241
美味珍膳十六 五感と心にしみわたる筆墨の美	小林 優子	"	240
文徴明の石湖図—《石湖花游曲詩画卷》(上海博物館蔵)をめぐる—	都甲さやか	デアアルテ	25
李迪筆紅白芙蓉図の時間表現についての一考察	鈴木 忍	美術史	166
平成二十年西支部例会発表要旨 (伝)李成「喬松平遠図」(澄懷堂美術館)について—その唐宋山水画史における位置—	竹浪 遠	"	"

江蘇省徐州市銅山県苗山漢墓墓門画像石再考

友田 真理 美術史研究 47

五代・北宋絵画の透視遠近法—伝統中国絵画の規範

小川 裕充 美術史論叢 25

研究ノート「黙して空山に坐せば花、天に墜つ」—詹景鳳「墨竹図」とその画賛について—

塚本 磨充 美のたより 167

研究ノート 仇英「仕女図巻」の北宋復古的色彩について—具色と細金による賦彩法—

" " 168

研究ノート「六道図(大和文華館蔵)」をめぐる

古川 攝一 " "

阿部コレクションの箱書二則

弓野 隆之 美をつくし 171

郎世寧の銅版画をめぐる

王 凱 武蔵野美術大学研究紀要 39

寧波のマニ教画 いわゆる「六道図」の解釈をめぐる

吉田 豊 大和文華 119

大和文華館蔵マニ教絵画にみられる中央アジア来源の要素について

Zsuzsanna GULACSI 田中 健一、柳 承珍 訳 " "

近年マニ教画と認定された大和文華館所蔵の絹絵についての覚え書き

Jorinde EBERT 吉田 豊 訳 " "

敦煌莫高窟北周時代の中心柱窟における窟内構想

濱田 瑞美 横浜美術短期大学教育・研究紀要 4

大観所蔵の中国絵画

板倉 聖哲 横山大観記念館館報 25

仏教文化講演会記録 大谷探検隊将来断片資料の追跡をめぐる

片山 章雄 龍谷大学仏教文化研究所紀要 48

美の履歴書135「秋景山水図」李士達

西田 健作 朝日夕刊 12.9

奈良・大和文華館所蔵「六道図」

吉田 豊 読 売 4.17

日 本

江戸時代における光琳像の変遷について(下—二)—酒井抱一—

安田 篤生 愛知教育大学研究報告 58

真長寺本十二天像の模写研究

阪野 智啓 愛知県立芸術大学紀要 38

絵画としてやってきた中国の禅僧たち—永井重良による江戸時代の頂相をめぐって—	中谷 伸生	アジア文化交流研究	4	皇帝へのあこがれ—足利義教期の室町殿行幸にみる	橋本 雄			
海を渡った李白像—中国から日本へ—	柴田 就平	"	"	アジアの怪奇譚 近世怪奇絵画—怪異なるものの表現史	相原 一士	"	125	
特集 古典キャラクターの展開 日中の古典		アジア遊学	118	《琴》の文化史—東アジアの音風景 III 王朝物語史の音風景『源氏物語』六条院の女楽をめぐって	高橋 亨	"	126	
鑑真和上の肖像—キャラクター形成と伝記叙述	蔵中しのぶ			キリシタン文化と日欧交流 キリシタンの翻訳と表象 キリシタンとキリスト教美術	宮内ふじ乃	"	127	
妖怪キャラクターの継承と近代趣味家	牧野 和夫			研究ノート 天保期の富士山図・谷文晁筆「富士山図屏風」をめぐって	飯田 真	アマリリス	93	
鬼を画いた「画鬼」 曉斎	及川 茂			前田利家画像に関する基礎的調査	村上 尚子	石川県立美術館紀要	19	
特集 朝鮮王朝の絵画—東アジアの視点から		"	120	玄々堂再見(二)松本保居の銅版技法 銅・石版画遺聞32	森 登 一 寸		37	
関東水墨画と朝鮮王朝の絵画	橋本 慎司			司馬江漢の《七里が浜図》をめぐって 銅・石版画遺聞33	"	"	38	
描かれた朝鮮通信使	黒川 修一			文人書画鑑賞 4 浦上玉堂筆「潑墨山水図」について	宗像 晋作	出光美術館報	147	
朝鮮通信使随行画員—日本人との関わり	郷司 泰仁			出光美術館蔵・田能村竹田作「松溪載鶴図」論	池澤 一郎	"	148	
江戸時代の朝鮮書画情報	五十嵐公一			館蔵品紹介「宇治橋柴舟図屏風」小考	廣海 伸彦	"	149	
コラム 朝鮮に行った画僧霊彩	橋本 雄			狩野光信の顔貌表現における特徴について	黒田 泰三	出光美術館研究紀要	14	
コラム 二つの水亭書斎図	相澤 正彦			末弘雲華の画業について—一蘭の専一画家としての側面を中心に	宗像 晋作	"	"	
コラム 狩野山雪筆「歴聖大儒像」をめぐって	北野 良枝			曼荼羅上の大日位と弥陀位の交替(居替)における台密から東密への影響	鍵和田聖子	印度学仏教学研究	117	
コラム 若冲と朝鮮絵画	福士 雄也			『融通念仏縁起』と融通念仏宗	戸田 孝重	"	119	
展覧会紹介「朝鮮王朝の絵画と日本—宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美」展	橋本 慎司			菱川師宣における古典の享受と変容	阿美古理恵	浮世絵芸術	157	
日本と《宋元》の邂逅—中世に押し寄せた新潮流		"	122	宮川長春及び宮川派の享受者層の考察	稲垣 朋子	"	"	
羅漢図の変容	石川 知彦			口絵解説 正月の門付けと浮世絵	藤澤 茜	"	"	
羅漢図における「生身」性とその受容	梅沢 恵			口絵解説「江の島詣」—鳥居清長筆	田辺 昌子	"	"	
アトリビュートとしての「芭蕉題詩」—懷素図・寒山図から郭子儀図へ	中本 大							
渡唐天神図像賛を読む—東福寺・与可心交賛の再検討	芳澤 元							

口絵解説 新吉原春 景図屏風—歌川豊春 筆	樋口 一貴	浮世絵芸 術	158	学習院大学史料館所 蔵「源氏物語色紙貼 交屏風」について	岡本 麻美	学習院大 学史料館 紀要	15
楊洲周延と神木隊に ついて—手記『夢も の語』に記された箱 館戦争での記録	鈴木 浩平	"	157	春信時代の等伯筆金 碧花鳥図屏風	山本 英男	学 叢	31
海外事情 最近の欧 文による浮世絵研究 文献 連載二、三	及川 茂	"	157、158	客坐掌記(天保三年) に描かれた肥満英国 人	松田 清	華山会報	22
吉原特集		"	158	画家渡辺崋山の心象 鍾植図	磯部奈三子	"	"
吉原俄の錦絵—安 永期から寛政四年 まで	浅野 秀剛			渡辺崋山『俳画冊』観 賞(4)	山田 哲夫	"	"
陰に咲く花—吉原 下級遊女考	日野原健司			画家渡辺崋山の心象	鈴木 利昌	"	23
描かれた花魁と吉 原細見による江戸 後期の妓楼の研究 —江戸町一丁目 泉屋平左衛門を例 として	日比谷孟俊			田原市博物館所蔵品 から 渡辺崋山筆 『客坐掌記(天保九 年)』1		"	"
中国美術と浮世絵	潘 力	"	"	中世真宗における掛 幅絵伝の受容と展開	村松加奈子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	26
住吉弘定(弘貴)筆源 氏物語図(子日遊・ 藤裏葉)について	三宅 秀和	永青文庫	65	小田野直武の洋風画 —落款にみるその成 立と制作期間につい ての考察—	山本 丈志	"	"
杉谷行直・雪樵父母 の「七滝図」について	"	"	67	狩野雅楽助(之信)と 元信の絆	松木 寛	"	"
所蔵品紹介 真山水 図 祥啓	渡邊 雄二	エスプラ ナード	155	室町期の禅宗社会に おける女性図像の特 色とその社会的受容 の研究—単独半身像 であらわされた「靈 照女図」を中心に—	山盛 弥生	"	"
「清水寺参詣曼荼羅」 の空間構成—(塔)が 果たす役割—	上野 友愛	絵解き研 究	22	雲谷等益の山水画様 式における金山寺図 の受容	福田 善子	"	"
研究の散歩道 江戸 の旅ブーム 広重と 英泉の街道絵シリー ズ	小澤 弘	江戸東京 博 物 館 NEWS	65	安永・天明期を中心 とする司馬江漢の画 業研究	金子 信久	"	"
松本山雪の花鳥画に ついて	長井 健	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	8	徳川美術館蔵「豊国 祭礼図屏風」につい ての研究	戸田 浩之	"	"
偽刻か 地域性の産 物か—磨製石斧に線 刻された絵画を考え る—	東 徹志	大阪文化 財研究	35	阿弥陀聖衆来迎図研 究—香雪美術館本と 三千院本との比較か ら—	仙海 義之	"	"
学芸員のノートから 皆川淇園の発掘報告 書でもある龍骨図	横谷賢一郎	大津歴博 だより	77	徳川美術館所蔵『豊 国祭礼図屏風』の研 究	筒井 忠仁	"	"
国際学術研究会「東 アジア海港都市の共 生論理と文化交流」		海港都市 研究	4	五雲亭(歌川)貞秀の 横浜鳥瞰図研究	桑山 童奈	"	"
司馬江漢の西洋画 法による日本風景 図について—《相 州鎌倉七里浜図》 を中心に—	橋本(深見) 寛子			「肥前名護屋城図屏 風」における空間の 構成と景観の表現	坂本 明子	"	"
幕末浮世絵におけ る西洋版画の受容 について—歌川国 芳を中心に—	安永 幸史			円山応挙の写生図に 関する調査研究	加藤 弘子	"	"
				伝祥啓筆「観音図」 (建長寺所蔵)三十二 幅の研究	村野 真作	"	"

江戸時代の絵画における「写意」の問題—池大雅山水図を中心に—	金 靖之	〃	〃	永青文庫所蔵《領内名勝図巻(御国中滝之図)》	井形 栄子	熊本県立美術館研究紀要	10
浮世絵・花火の表現の変遷とその歴史的背景	奥田 敦子	〃	〃	画賛と墨跡—戸方庵井上コレクションを中心に— 近世編	山田 烈	群馬県立近代美術館研究紀要	5
高山寺における華嚴経絵画の制作について	森實久美子	〃	〃	雁金屋御絵帳(万治四年・寛文三年)の研究(三)一年次別復元一覧表と文様の漸次移行的整理案	塚本 瑞代	群馬県立女子大学紀要	30
光信系小絵作品群に関する研究—光信様式研究と光信周辺小絵の位置づけ—	谷川 ゆき	〃	〃	研究小話 葛飾北斎《鯉図》の周辺	山田 烈	群馬の森美術館ニュース	135
狩野光信様式の展開と歴史的位置付けに関する研究—甲子園学院所蔵源氏物語絵巻を中心に—	三宅 秀和	〃	〃	小野通女筆「霊照女図」に関する一考察	中村 玲	芸術学研究(筑波)	13
特集「春日権現験記」奉納七〇〇年 春日日本の成立		春 日	82	勝川派の相撲絵と改版の影響に関する考察	大久保範子	〃	〃
金箔からみた文化度 金沢城二ノ丸御殿—『御造方日並記』を主要資料として	太田 昌子	金沢美術工芸大学紀要	53	イオニア海の島で大発見! 写楽の肉筆画と浮世絵タイムカプセル	前橋 重二	芸術新潮	716
新出の称名寺壁画断片とその諸問題について	向坂 卓也	金沢文庫研究	323	小野通女筆「霊照女図」の解釈をめぐって	中村 玲 芸 叢	〃	25
鎌倉の至宝(7)重要文化財 虚空蔵菩薩像 一幀 円覚寺蔵	村野 真作	鎌 倉	107	シンポジウム「江戸城と金沢城の御殿」報告要旨「文化度金沢城襖絵にみる画題配置と年頭儀礼」	太田 昌子	研究紀要 金沢城研究	7
狩野永泰筆《富山帯雲之図・海岩逆浪之図》(建仁寺久昌院蔵)	中谷 伸生	関西大学博物館紀要	15	龍と宝珠—神戸・性海寺蔵如意輪観音画像について—	川野 憲一	神戸市立博物館研究紀要	25
森一鳳筆《赤鬼青鬼図》(関西大学図書館蔵)	谿 季江	〃	〃	高麗美術館研究講座・抄録 中国・朝鮮と日本の壁画古墳	河上 邦彦	高麗美術館館報	81
資料紹介 天神縁起絵巻詞書 釈文	有川 宜博	北九州市自然史歴史博報告*	6	特集 歌謡の時代絵で読む流行歌謡	小野 恭靖	国学院雑誌	1231
資料紹介 岡田神社所蔵天神縁起絵巻	古谷 優子	〃	〃	「剣の枝」のある風景—西行が見た地獄絵と死出の山—	田村 正彦	国語国文	897
美濃飛騨ゆかりの書画会・展覧会資料の紹介	坂口 岩佐 浩之 伸一	岐阜県博物館調査研究報告	30	『後素集』の『帝鑑図説』利用—狩野一溪の画題理解に関する一考察—	小助川元太	〃	898
〈蝦夷国魚場風俗図巻〉について	五十嵐聡美	Hokkaido Art Mus. Studies*	2009	疱瘡絵本『雛鶴笹湯寿』考	津田 眞弓	〃	899
賢聖障子の研究—寛政度を中心に—	鎌田 純子	金鯢叢書*	35	「剣の枝」考—和泉式部と邪姪の刀葉林	田村 正彦	国語と国文学	1024
研究発表(要約)幕末期の書画鑑定における権威の在処—『古筆了伴／安西雲煙鑑定一件始末』を中心に—	佐藤 温	近代画説	18	「廿卷本『源氏物語絵巻』」詞書の本文史—「(撰閑家伝領本)群」と別本三分類案鼎立のために—	上原 作和	〃	1026
				フランクフルト本『源氏狭衣歌合絵巻』について	高橋 亨	〃	〃
				女訓と扇絵	徳田 和夫	〃	1028

平成21年定期刊行物所載文献(古／絵画)

後鳥羽院における源俊賴『後鳥羽院御口伝』から「俊賴影供」へ	吉野 朋美	国語と国文学	1030	図版三 上堂図	梅沢 恵		
特集 続・絵画を読み解く—文学との融合		国文学解釈と鑑賞	936	図版四 柿本人麿像	島尾 新		
絵巻の詞章と絵	五味 文彦			図版五 呉春筆 山水図屏風	河野 元昭		
女三の宮の立ち姿—絵と語りの生成	石井 正己			図版六 浦上玉堂筆 山水画帖	佐藤 康宏		
俳諧「四季の詞」と浮世絵—横題「水仙」の形象化	東 聖子			釈迦靈鷲山説法図	増記 隆介	〃	1360
仏教的教訓語の絵画化—「意馬心猿」の例—	腰尾 尚子			岩佐又兵衛筆 官女観菊図	飯島沙耶子	〃	〃
戯作と判じ絵	岩崎 均史			河鍋暁斎筆 武二郎涅槃図	安村 敏信	〃	〃
近世の地口絵	川越 仁恵			特輯「民芸」実用篇 図版四・五 泥絵長崎港 異人	前田麻衣子	〃	1361
服飾の文様は何を語るか	小池 三枝			華嚴海会諸聖衆曼荼羅についての考察—図様の源泉と思想背景を中心に—	森實久美子	〃	1362
続・「絵画と文学(古典)」研究文献目録(抄)—平成九年以降	大野 順子			与謝蕪村筆 秋景山水図	佐藤 康宏	〃	〃
語り物と絵画の交錯—絵入本『鳥帽子折』小考	宮腰 直人	〃	941	伊藤若冲筆 象と鯨図屏風	辻 惟雄	〃	〃
ことわざの図像学への招待	時田 昌端	〃	943	喜多川歌麿筆 納涼立美人図	浅野 秀剛	〃	〃
能《大江山》と「大江山絵詞」	小林 健二	国文学研究資料館紀要	35	研究資料 土佐光吉宛平家絵制作関連書状の再検討—狩野光信研究の視点から	三宅 秀和	〃	〃
『国冬本源氏物語』注釈書の試み—桐壺・少女・野分・柏木・鈴虫巻の物語世界を中心に—	山口(越野)優子	〃	〃	東洲斎写楽の肉筆扇面画	小林 忠	〃	1364
国立国会図書館『絵本武勇大功記』翻刻と解題	金 時徳	〃	〃	岩佐又兵衛伝再考—血縁関係の再検討を中心に—	畠山 浩一	〃	〃
研究ノート 御夢想の連歌と御夢想の肖像画—家光の家康追慕—	入口 敦志	国文研ニュース	16	研究資料 竹谷松平家に関わる江戸時代初期の狩野派作品	門脇むつみ	〃	〃
研究ノート 人間文化研究機構シンポジウム「百鬼夜行の世界」	香川 雅信	〃	17	法隆寺舍利殿障子絵について	泉 万里	〃	1365
弥生集落の祭祀機能と景観形成	小林 青樹	国立歴史民俗博物館研究報告	149	呉春筆 芙蓉小禽図	河野 元昭	〃	〃
特輯 新出逸品 第六集		国 華	1359	研究資料 公家日記の中の狩野山雪	五十嵐公一	〃	〃
図版一 墨描竹紋暖簾	水尾比呂志			随想 岩佐又兵衛は村重の子か孫か、母親は?—畠山氏の論を追考する—	辻 惟雄	〃	〃
図版二 山水図	橋本 慎司			命尊筆 仏涅槃図	関口 正之	〃	1366
				尾形光琳筆 裸図	河野 元昭	〃	〃
				織田瑟瑟筆 有明桜図	朝日美砂子	〃	1368
				研究資料 高田敏輔筆 信楽院天井画	國賀由美子	〃	〃
				酒井抱一筆 鶴懸松図	河野 元昭	〃	1369

宮川長春筆 歳旦遊女に充図	小林 忠	"	"	上州南画界の先駆者続・柿沼山岳(洋羨)加須市出身(一七七四—一八五九?)	原口 英雄 埼玉史談	297
研究資料 長沢芦雪筆 張旭揮毫図について	安井 雅恵	"	"	鳥居清長作品総目録、補遺	浅野 秀剛 採 蓮*	12
特輯 幕末維新期の絵画—狩野派を中心に		"	1370	サントリー美術館蔵「浄瑠璃絵巻」について	三戸 信恵	2
特輯に当たって	佐藤 康宏			調査研究から1 永徳画と「怪々奇々」について	武田 恒夫	2
近代日本画の成立脱狩野派の諸相	古田 亮			調査研究から2 禪宗方丈襖絵についての「違和感」と「見方」	鈴木 幸人	"
図版一 絵金筆 浮世柄比翼稲妻鈴ヶ森	大久保純一			豊臣秀吉画像模写事業報告	高木 叙子	17
図版二 菊地容斎筆 呂后斬戚夫人図	佐藤 康宏			死絵と画中画—肖像としての死絵	伊藤 紫織	11
図版三 小林永濯筆 菅原道真天拝山祈祷図	古田 亮			公開・国際シンポジウム「礼拝像と奇跡東西比較の試み」予告された“往生”の絵 清涼寺所蔵「迎接曼荼羅」をめぐる	加須屋 誠	12
図版四 河鍋峯斎筆 地獄極楽めぐり図	山下 善也			資料紹介 実践女子大学文学美術史学科所蔵「源氏物語図草稿」	仲町 啓子 岩佐 悠里 太田 有希 藤生 佳鈴 明日美	23
図版五 狩野芳崖筆 仁王捉鬼	古田 亮			「癸卯園遊会」関連資料紹介と山本芳翠「活人画」について	児島 薫 原 舞子	"
図版六 橋本雅邦筆 西行法師図	塩谷 純			文芸資料研究所蔵絵入版本『栄花物語』(一)—略解題・翻刻・影印—	横井 孝子 上野 英子	別冊12
図版七 渡辺省亭筆 びわに小禽	野地耕一郎			源氏物語特集 源氏物語千年記念実践女子大学公開講演会『「源氏物語」という文化」講演記録 源氏供養と普賢十羅刹女像	武笠 朗	28
逸品紹介		国華清話 会会報		花について—武蔵野図から—	椋木 賢治	10
狩野山雪筆 虎図屏風	松島 仁		13	大念仏上人—在家入道から無智入道へ—	神崎 壽弘	4
西川祐信筆 龍田川畔美人図	山本ゆかり		"	構図の妙 筆の冴え	江村 知子	趣味の水 墨画
懐月堂安度筆 鋳引之図	"		14	鋭敏な感覚と才知みなぎる筆—長沢芦雪		238
円山応挙筆 稲荷神祠図	鎌田 純子		"			
鑑賞の勘どころ(六)—仏画—	関口 正之	"	13			
鑑賞録 浮世絵の曲線	寺田 寅彦	"	"			
特集 二天の画		"	14			
座談会 宮本武蔵の画と人	細川 護熙 守安 島尾 收新					
武蔵の肖像画	守安 收					
館蔵資料紹介 西行物語絵巻	松田 珠美	斎宮歴史 博物館だ より	62			
館蔵「西行物語絵巻」に関する調査報告—資料の再検証から見えること—	松田 珠美	斎宮歴史 博物館研 究紀要	18			

文芸と絵画が織り なす美学—酒井抱 一—			239	アジア図像探検(62) ～(65)三国志と日本 (4)～(7)	杉原たく哉	書道界	232～235
江戸の機知、近代 への道程—鈴木其 一—			240	美味珍膳九 富岡重 憲が愛でた白隠蛤蜊 観音図	浅井 京子	〃	234
知られざる水墨画へ の招待	河野 元昭 編	趣味の水 墨画		史料紹介 稿本『玉 川三登鯉伝』につい て	武田庸二郎	資料館だ より	50
風流の人 増山雪 斎	道田 美貴		238	荻泉翁コレクション —芸に遊ぶ—	〃	〃	51
異色の山水画 雲 谷等爾	佐開津通彦		240	御室御記の中の尾形 乾山と狩野永敬	五十嵐公一	塵 界	20
河野元昭が選ぶ水墨 画50選	河野 元昭	〃		『源氏絵本 藤の縁』 (翻刻)一付、源氏物 語本文との対照—	岩坪 健	人文学	183
豊饒な造形の世界 —尾形光琳《紅白 梅図屏風》—			241	平安時代の「倭絵」— その成立と展開—	小林 学	人文論究	58-4
俊敏な視覚と練磨 された腕—俵屋宗 達《蓮池水禽図》—			242	『百物語評判』と西村 本	寺 敬子	〃	〃
華やかなさみしさが ただよう躑躅— 深江芦舟《躑躅図》—			243	熊野観心十界曼荼羅 とそのルーツ(V)— 「子は三界の首枷」考 —	宮川 充司	椋山女学 園大学研 究論集	40
微妙な光に対する 鋭い感覚—微光感 覚—酒井抱一《夏 秋草図屏風》—			244	源氏物語画帖の詞書 をめぐる考察	野口 剛	朱 雀	21
素朴な中に洗練さ れた美意識—尾形 乾山《花籠図》—			245	『都名所図会』に記さ れた名宝	市川 彰	〃	〃
伝統からは生まれ ない色感、独自の 形態感覚—鈴木其 一《夏秋溪流図屏 風》—			246	「箱根権現縁起絵巻」 の景観表現をめぐつ て	佐藤 直子	成城美学 美術史	15
のびのびと育った 越後美人の面影— 池田孤邨《百合図 屏風》—			248	失われたみちのく図 巻—谷元旦・大野文 泉の東北地方写生図 をめぐって—	内山 淳一	仙台市博 物館調査 研究報告	29
『玉葉』の「図絵春日 御社」参詣をめぐつ て—夢告に注目して—	藤原 重雄	巡礼記研 究	6	円山応挙の空間表現 —金刀比羅宮山水の 間を中心—to	一木 恵里	崇城大学 芸術学部 研究紀要	2
巡礼記としての『一 遍聖絵』—『聖絵』に おける縁起の位相—	阿部 泰郎	〃	〃	日光東照宮蔵三十六 歌仙扁額製作の経緯	山作 良之	大 日 光	79
失われた法隆寺壁画 の再現研究(十四)～ (十七)	松田 真平	聖 徳	199～202	平等院王朝の美 国 宝鳳凰堂の仏後壁		太陽(別冊) 平等院	
研究ノート 古代 「絵馬」祭祀論—難波 宮跡北西部と奈良県 日笠フシダ遺跡から 出土した「絵馬」を 中心に—	北條 朝彦	続日本紀 研究	381	仏後壁 新たな調 査から推し量れる 絵画的解釈	有賀 祥隆		
中世弁才天曼荼羅に みる神仏の化現 天 川弁才天図像を中心 に	中島 彩花	女子美術 大学研究 紀要	39	仏後壁 絵所絵師と絵仏師			
				仏後壁との関連性 本尊と、仏後壁の 尊像 彫刻と絵画 との関連	神居 文彰		
				column 浄土への 往生が約束された 情景—主題、新解 釈の可能性	渡邊 里志		

column 平安の色彩—配色の妙、紺丹緑紫				学位論文要旨 参詣曼荼羅の歴史学的研究	大高 康正	帝塚山大学大学院紀要	11
柴田是真 幕末・明治に咲いた漆芸の超絶技巧		"	163	新出の長祿元年「雪舟二字説」について	福島 恒徳	天開図画	7
漆絵 漆の技、絵画の技が一つに融けあう	永田 智世			雪舟と岳翁—「周文」の記憶—	城市真理子	"	"
是真画帖中、出色の出来。本誌にて初公開「漆絵画帖」二帖	永田 智世 安村 敏信 小林 祐子			もう一つの天橋立図—ギメ美術館蔵本について	島尾 新	"	"
絵画 画面に溢れる「驚き」と「おかしみ」	佐々木英理子			『島隠漁唱』に読む桂庵玄樹の動向と雪舟(後編)	渡邊 雄二	"	"
初期是真の傑作「郭子儀図」(大雄院障壁画)	中谷 伸生			鳥居清長の肉筆画を含む《徒然草画》(東洋画真蹟1262)について	古田 亮	東京芸術大学美術館年報	H19年度
是真のいる町 王子・浅草・谷中をあるく	森 まゆみ			妙心寺霊雲院方丈室中「四季花鳥図」の研究—元信画における解体と整合—	金子 明代	東京芸術大学美術学部論叢	5
写生・摺物・図案	安村 敏信			平常展見どころ案内 2009年2月・3月 重要文化財 仏涅槃図	沖松健次郎	東京国立博物館ニュース	693
是真の風景スケッチ	薩摩 雅登			特集陳列 平成20年度新収品 重文 般若菩薩像	小林 達朗	"	695
是真と榮太樓 江戸職人を支えた旦那衆	細田安兵衛			平常展見どころ案内 2009年8月・9月 重要文化財 後三年合戦絵巻(巻中)	"	"	696
『葛録』所載の外国の喫煙具図について	湯浅 淑子	たばこと塩の博物館研究紀要	9	表紙解説 加納夏雄筆「枝菩提樹図」(個人蔵)	萩原 守	刀剣美術	630
渡辺崋山の鍾馗図について	磯部奈三子	田原市博物館研究紀要	4	『東山遊楽図屏風』に見る茶屋の遊女たち	雨宮六途子	同志社大学博物館学年報	40
白隠禅師のメッセージ	芳澤 勝弘	淡 交	774	守綱寺・勝鬘寺蔵武士門徒肖像画	青木 馨	同朋大学仏教文化研究所紀要	28
江戸時代の茶花と園芸・博物学	横内 茂	"	776	遊行寺蔵『聖徳太子伝暦』と四天王寺蔵六幅本聖徳太子絵伝—聖徳太子絵伝の展開についての予備的考察—	脊古 真哉	"	"
浮世絵で見る江戸の喫茶道具	梅津あづさ	"	777	研究所調査記録		"	"
江戸浮世絵巻	伊藤 紫織	千葉市美術館ニュース C'n	51	研究所新収史料紹介 聖徳太子眷属及び法然親鸞連座図額装	渡辺 信和	同朋大学仏教文化研究所報	23
「清園寺縁起絵」小考—絵画様式を中心に	岡本 麻美	哲学会誌	33	『無声詩話』から見る日本南画小史	山田 烈	東北芸術工科大学紀要	16
狩野山雪筆「雪江水禽図屏風」の主題とその成立に関する一考察	薄田 大輔	"	"				
資料紹介 都幾山慈光寺所蔵近世近代絵画	藤元 裕二	"	"				
「鳥獣花木図屏風」の作者をめぐって—「樹花鳥獣図屏風」との比較を中心に—	藤井菜都美	"	"				

ライデン国立民族学博物館蔵川原慶賀筆『人の一生図』について—シーボルトコレクションを中心に—	原田 博二	長崎歴史文化博物館研究紀要	4	琳派試論—琳派と能楽—	榊原 吉郎		
長崎・聖福寺所蔵「涅槃図」	植松 有希	"	"	研究余録 金亀玉鶴新野古拙—幕末彦根の文化人—	高木 文恵	彦根城博物館だより	87
新館蔵資料紹介 絹本着色山水美人図 堀田正民画		長浜城歴史博物館だより*	34	教員随想 東京国立博物館「大琳派展」に思うこと—新出の酒井抱一筆「水葵に蜻蛉図」の紹介を兼ねて—	玉蟲 敏子	美史研ジャーナル	6
資料紹介 風流連理玉懸	桐原 千文	名古屋博物館だより	186	細見美術館蔵六観音像考—図像の特質と制作背景—	米沢 玲	美術史	166
資料紹介 松に鳩図扇	津田 卓子	"	187	大画面形式の源氏物語図屏風の成立について—いわゆる「隠岐配流図屏風」(キンベル美術館)を手がかりに—	鷺頭 桂	"	"
展示準備ノート 禅僧の肖像 妙心寺派の頂相	山田 伸彦	"	189	「平家納経」の思想と装飾プログラム—宝塔品紙背にみる四季絵と法華経二十八品大意絵との関わりから—	橋村 愛子	"	"
役行者の孔雀明王像	谷口 耕生	奈良国立博物館だより	68	平成二十年度例会発表要旨		"	"
「百鬼夜行絵巻」編集の系譜—情報学からの解明	山田 奨治	日本研究	40	鳥獣人物戯画の伝来について	藤岡摩里子		
十二のペアを推理する—国芳「唐土廿四孝」の制作過程について—	木佐 敬久	"	"	病草紙と『正法念処経』「身念処品」	山本 聡美		
フランス・イギリスにおける雪舟の認識をめぐって—1860年代から1920年代まで—[後編・論文編]	野呂 昭子	日本女子大学大学院紀要(人)*	15	平成二十年度東支部大会(ミニ・シンポジウム)発表趣旨 仏教絵画における和様化—切金文様の受容と変容—	有賀 祥隆	"	"
中間報告 北陸地方における宗達派草花図調査について	岡田 梓	"	"	中林竹洞の画境—最晩年の山水画にみる画風の変化をめぐって—	稲場 朋子	美術史	167
口絵 駿牛図 一巻	藤本 孝一	日本歴史	728	英一蝶「布晒舞図」の舞をめぐって—天衣をまとう歌舞伎役者—	池田 芙美	"	"
口絵 無外逸方(北畠政勝)寿像	小林 秀	"	734	依屋宗達筆「舞楽図屏風」の制作背景	本田 光子	"	"
変装道具としての市女笠	佐々木弘美	年報非文字資料研究	5	『堀江物語絵巻』諸本の再検討—岩佐又兵衛工房における絵巻制作の一様相—	筒井 忠仁	"	"
Editor's Eye 写楽の役者絵はなぜ迫真的だったのか?	松山 龍雄	版画芸術	144	狩野山楽筆「車争図屏風」(東京国立博物館)に関する一考察—「年中行事絵巻」との関係を中心に—	野田 麻美	"	"
特集 写楽の魅力 謎の天才浮世絵師の役者絵と肉筆画		"	"	第六十二回全国大会研究発表要旨		"	"
東洲斎写楽のミステリー	中右 瑛						
写楽肉筆画の真贋鑑定	浅野 秀剛						
例会・研究発表要旨		美学	235				
山水と表象—その宗教的機能を中心に	長岡 龍作						

益田家旧蔵「普賢十羅刹女像」について—様式と和装本における位置づけの検討—	中村 暢子			誰が雪舟を画聖にして来た(いる)のか?—画聖神話をめぐる近年の研究動向と今後の課題—	福島 恒徳	〃	〃	
遊行上人縁起絵巻における祖師と二祖の造形	中村 ひの			土佐光茂筆「車争図屏風」と都の図像	鷺頭 桂	美術史論叢	25	
「安徳天皇縁起絵伝」再考	佐藤 直子			SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、日本美術を楽しく学ぶ! 一夜漬け日本美術史 これから来る、注目アーティストを見逃すな!	編集部	美術手帖	922	
長谷寺銅版法華説相図の図様及び銘文に関する考察	田中 健一			Vol.01 狩野一信				
称名寺金堂壁画の制作について	高宮なつ美			Vol.03 式部輝忠				
中世聖徳太子絵伝にみる三国伝来観—鶴林寺聖徳太子絵伝をめぐって—	松村加奈子			SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、日本美術を楽しく学ぶ! 一夜漬け日本美術史四ヶ条、本物をじっくり見よ! 本格派美術館ガイド		〃	〃	
伊勢物語に見る「男」と「女」—二条の後の場合—	安田 篤生			伴大納言絵巻	黒田 泰三 談			
「無邪気な子供たち」を見る絵—唐子遊図をめぐって—	田島 達也			雪村 呂洞賓図	古川 攝一 談			
伊藤若冲筆《動植綵絵 老松白鳳図》における「もう一羽の鳥」—閑古鳥と諫鼓鳥—	中野 晶子			源氏物語絵巻				
伊藤若冲と朝鮮絵画—朝鮮通信使を背景として—	眞鍋 侑子			牧谿 漁村夕照図	松原 茂 談			
江戸初期「戦国合戦図屏風」の武装描写に関する一考察	須賀 隆章			SPECIAL FEATURE 日本の聖地、再発見!! 伊勢神宮 GUIDE 3 伊勢神宮と神々の美術 伊勢参詣曼荼羅	川崎 昌平	〃	925	
北野天満宮蔵「舞楽図」衝立について—古代末期〜中世初期の楽舞の状況から—	泉 武夫	美術史学	29	絵金祭り 地元で愛され続ける、絵金さんを巡る旅	山下 裕二 解説	美術手帖	927	
伝周文筆山水図屏風の研究—前田育徳会本と大和文華館本について—	松本 寛	〃	〃	絵金祭り 絵金とはいったい何者か	山下 裕二、 天明屋 尚 対談	〃	〃	
鉾形蕙斎筆「江戸一目図屏風」について	佐藤 琴	〃	〃	日本美術のスズメ 今月の逸品		美術の窓		
鎌倉時代の天皇影はいづ誰によって描かれたか—「天子拱関大臣御影」の内「天子巻」を中心に—	高橋 鋭	美術史研究	47	重要文化財「豊公吉野花見図屏風」	岡野 智子		306	
加藤信清筆「五百羅漢図」及び「神農図」の筆順に関する考察	鯨井 清隆	〃	〃	国宝「金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図」第九幀	石井 幸彦		307	
酒井抱一筆《白蓮図》(細見美術館所蔵)に関する一試論—仏画と花鳥画の關係に注目して—	木下明日香	美術史論集	9	重要文化財 長谷川等伯「列仙図屏風」	北原 洋子		308	
				重要文化財 英一蝶「四季日待図巻」	廣海 伸彦		310	
				東洲斎写楽「四代目松本幸四郎の加古川本蔵と松本米三郎の小浪」	浅野 秀剛		311	

狩野宗眼重信「帝鑑図・咸陽宮図屏風」	福士 雄也	312	1対1で味わいたい名宝 必見7因陀羅「禅機図断簡」	小林 優子
日本美術のススメ いろの景 其ノ一、二、四～六	島尾 新	美術の窓 308、309、311～313	1対1で味わいたい名宝 必見8能阿弥「蓮図」	高橋 範子
日本美術のススメ Special 江戸中期に出現した一大現象白隠 ニューヨークで開催された「白隠フォーラム」	広瀬 麻美	" 309	こころ静かなるひととき 必見9牧谿「漁村夕照図」	野口 剛
知られざる日本美術『しられざる刻の添景』から	神居 文彰	" "	こころ静かなるひととき 必見10芸阿弥「観瀑図」	"
巻頭特集 大江戸散歩 英一蝶ものがたり		" 312	水墨は腕力だ！ 必見11雪舟「四季山水図」	柴原 直樹
幫間一蝶、吉原風俗を描くノ巻	池田 芙美	談	花鳥画ダイナミズム 必見12狩野元信「四季花鳥図」	編集部
四季の風物を描くノ巻	廣海 伸彦	談	戦国時代のど迫力！ 必見13雪村「呂洞賓図」	古川 攝一
江戸は遠くになりけりノ巻	小野 恵	談	この郷愁はなんだろう 必見14等伯「松林図屏風」	松嶋 雅人
一蝶、流人の生活にも負けずノ巻	中島 洋平	談	幸せを呼ぶ?!宗達の笑う犬 必見15宗達「双犬図」	編集部
英一蝶・波乱の生涯と作品の楽しみ方	小林 忠	談	金×墨で魅せる匠の技 必見16光琳「竹梅図屏風」	"
「雑画帖」に秘められた一蝶の知的センスを理解しよう	横山 昭	談	剣豪・宮本武蔵の筆！ 必見17武蔵「布袋見聞鶏図」	"
御赦免三〇〇年記念！英一蝶リターンズ 一蝶伝説に迫る！	安村 敏信	談	癒される「お月見」絵画 必見18守景「夕顔棚納涼図」	村瀬 博春
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 第1章ニッポン全国墨絵めぐり		" 313	楽しくなくちゃ墨じゃない！ 必見19 仙厓「指月布袋画賛」	
元祖・ニッポンの墨絵 必見1「鳥獣人物戯画絵巻」	編集部		この存在感を見よ！ 必見20白隠「朱衣達磨」	
死ぬまでに見たい！輝ける墨絵 必見2応挙「遊虎図襖」	"		知られざる、大阪のオモシロ墨絵 必見21 耳鳥斎「地獄図巻」 必見22 林閑苑「鹿図」	
永遠の少年、若冲80歳の作！ 必見3 若冲「象と鯨図屏風」	岡田 秀之		ニッポンが誇る「ゆるキャラ」 必見23 南天棒「雲水托鉢図」	広瀬 麻美
人物画は、線を楽しめ！ 必見4 可翁「蜆和尚図」	編集部		この構図を見よ！ 必見24 芦雪「群猿図」	
人物画は、線を楽しめ！ 必見5 黙庵「布袋図」	"		この表情を見よ！ 必見25 蕭白「竹林七賢図」	道田 美貴
人物画は、線を楽しめ！ 必見6 梁楷「寒山拾得図」	"			

20コマの田舎暮らし賛歌 必見26大雅「十使帖」 必見27蕪村「十宜帖」				根津美術館蔵善光寺如來縁起絵	内田 啓一	〃	307
89歳にして最強の筆 必見28鉄斎「水墨清趣図」	奥田 素子			失人の嘆き—木村兼葭堂の憂鬱	水田 紀久	文 学*	10-3
文人画、最盛！ 必見29田能村竹田「亦復一楽帖」 必見30渡辺華山「陰文竹」				御霊としての伴大納言—今昔・絵巻・宇治拾遺—	薦尾 和宏	〃	10-4
名古屋城本丸御殿障壁面復元模写展によせて(前編)、(後編)	加藤 純子	〃	314、315	『好色一代男』巻四の四の挿絵をめぐって	梶尾 愛加	〃	〃
古碕研究(一) 画僧明誉古碕(1653～1717)の概要	マニー・ヒックマン 原田 平作 訳	美術フォーラム21	20	特集 語りかける絵画—イメージ・テキスト・メディア		〃	10-5
資料紹介 寛政期の東西の役者絵三種	浅野 秀剛	〃	〃	座談会 絵の読み方—イメージ・テキスト・メディア	太田 昌子、克、廣和明		
裏・表紙 作品・作家解説 歌川国輝《古今珍物集覧》	佐藤 守弘	〃	〃	法隆寺田絵殿本聖徳太子絵伝の二つのメディア—「絵」と「銘文」が絡み合っているように働きかけてくるか—	太田 昌子		
新発見の北斎	浅野 秀剛	美のたより	165	『釈迦の本地』の物語と図像—ボドメル本の提婆達多像から—	小峯 和明		
研究ノート 柿本宮曼茶羅図(大和文華館蔵)をめぐって	古川 攝一	〃	〃	後三年の合戦を絵に聞く—メディア的アプローチの試み	楊 曉捷		
『あやね竹』を描いた絵本画家・大森善清	浅野 秀剛	〃	166	鎌倉時代風景画への覚え書き—風景とその景観属性をめぐって	米倉 迪夫		
伝尾形光琳筆「松図」(扇面貼交朱宮)について 桃山・江戸の絵画展によせて	中部 義隆	〃	〃	鸚鵡の肖像—(花鳥画)と(美人画)の境界	今橋 理子		
中世南都・社寺の風景—春日宮曼茶羅と柿本宮曼茶羅— 東洋の風景画展によせて	古川 攝一	〃	〃	豊臣秀次・妻子像を読み解く	黒田 智		
吉原春秋二度の景物	浅野 秀剛	〃	167	院政期の行事絵と〈仮名別記〉・試論	藤原 重雄		
宇津保物語図屏風をめぐって 物語と絵画—文学と美術の出会い展によせて	宮崎 もも	〃	〃	『源氏物語絵詞』の言述	竹村 信治		
研究ノート「大織冠絵巻」(富美文庫蔵)と七左衛門尉安信	中部 義隆	〃	168	土佐光信のコミュニケーション—絵師と画料をめぐって	高岸 輝		
第2回公開研究会 江戸学とビジュアルカルチャー—異文化・美術・歴史—	タイモン・スクリーチ 出光佐千子 コメントーター	非文字資料研究	21	酒吞童子譚と古浄瑠璃—『義経地獄破り』を手がかりにして	宮腰 直人		
来迎阿弥陀と滅罪についての一試論	鈴木 雅子	フィロカリア	26	鈴木鄰松『戯画抜粹—蝶画譜』を国会図書館で読む	ミリアム・ワトルズ		
西大寺叡尊と弥勒来迎図 東京芸術大学美術館本を中心に	内田 啓一	仏教芸術	302	「朝比奈島遊び」を読む	斉藤 研一		
雲乗の十一面観音図様の成立について	山本 陽子	〃	304	文学のひろば 「詩」を建てる—ことばと絵の交響—	徳田 和夫	〃	〃

表紙解説「三宅八幡神社奉納子育て祈願絵馬」のうち「参詣行列図」絵馬(部分)	菊池 健策	文化財*	546	写楽に勝った!? 港区ゆかりの浮世絵師初代歌川豊国	小澤絵理子	港郷土資料館だより	64
表紙解説 特別史跡王塚古墳の装飾壁画	長谷川清之	"	547	研究ノート 孔雀明王の俱縁果をめぐって	沖松健次郎	MUSEUM	618
口絵解説 国宝 紙本墨画淡彩夜色楼台図	鬼原 俊枝	"	549	「鳩小禽等図」(東京国立博物館所蔵)の在外作品について—「鳥類写生図」(大英博物館所蔵)を中心に—	加藤 弘子	"	619
富美文庫蔵「ふしみときは」について	塩出貴美子	文化財学報	27	館史研究 3 扇面法華経冊子模本—岡倉天心・小堀鞆音と帝国博物館の模写事業—	恵美千鶴子	"	621
研究ノート 中村三近子から西川祐信『絵本清水の池』へ—保守化する「善念」と都市風俗—	和田 充弘	文化史学	65	「信春」印の鬼子母神十羅刹女像	松嶋 雅人	"	623
葛飾派の絵師北鷹について	永田 生慈	北斎研究	43	公開講演会 絵巻に見る江戸の庶民生活—二〇〇年前の日本橋繁昌絵巻『熙代勝覧』—	小澤 弘	民俗学研究所紀要	33
「藩士名寄」にみられる北鷹・水野善左衛門の履歴について	竹村 誠	"	"	江戸後期江戸名所の絵画表現における碑の役割	鶴岡 明美	武蔵野美術大学研究紀要	39
『手びき草』からみる北斎門人北鷹	根岸 美佳	"	"	小画面説話画における武者の顔貌表現について	山本 陽子	明星大学研究紀要	17
北鷹の款記印影	奥田 敦子	"	"	墨美の主宰たち	柴田 哲心	目の眼	
調査作品全目録	竹園 明子	"	"	十五 雪舟筆「柳鶴鶴図」 雪舟筆「芦葉達磨図」			388
漫画史の視点で見た『北斎漫画』	清水 勲	"	44	十六 雪舟筆「指月布袋図」 雪舟筆「袋図」			389
資料紹介		"	"	十七 雪舟筆「観音・寒山・拾得図」			390
15春朗画「天神図」	永田 生慈			十八～二十一 周文筆「雪中山水図」			391～394
16春朗画「俳諧おた巻 生類の部」	奥田 敦子			二十二 雪舟筆「円山水図」			395
17春朗画「水出し」	竹村 誠			二十三 雪舟筆「澹墨山水図」「破墨山水図」			396
18春朗画「新板おどりゑづくし」	根岸 美佳			最終回 雪舟筆「破墨山水図」対幅			397
新出『北斎漫画』初編の版本とその後	永田 生慈	"	"	はてな?おもしろ浮世絵	中右 瑛	"	
葛飾北斎が暮らした小梅村	五味 和之	"	"	271広重の「平安の美女」十二単ファッション			388
墨田区調査研究報告 明治期浮世絵関連新聞記事(7)—北斎記事—	竹園 明子	"	"	272旅ごころ女ごころ 菊川英山の「風流大井川」			389
バイエルン州立図書館蔵『源氏小かゝみ』(巻三)、(巻四)解題・翻刻	辻 英子	三田国文	49、50	273江戸のペット事情 お犬さま			390
『浦島太郎』奈良絵解題・影印	石川 透	"	49				
『鶏鼠物語・下』翻刻	"	"	50				
狩野探幽筆「新図十二品」	樋口 一貴	三井美術文化史論集	2				
山景をそなえた阿弥陀仏五十菩薩像について	小野 英二	密教図像	28				

274江戸のペット事情 鸚鵡の鸚鵡返し	391	東海道屏風・東海道絵巻の基礎的研究(二)	斉藤 司	横浜市歴史博物館調査研究報告	5
275江戸のペット事情 夏の風物詩・金魚玉と金魚	392	武器・武具の表現形態からみた「六波羅合戦巻」	平野 卓治	" "	"
276江戸のペット事情 不倫を感わず猫奇譚	393	絵画史料論と動物史—忘れられた馬の焼印をもとめて—	黒田 智	歴史評論	715
277江戸のペット事情 「猿舞わし」と「猿猴が月を愛でる」の故事	394	歴史への招待状 企画展示「錦絵はいかにつくられたか」	大久保純一	歴 博	152
278江戸のペット事情 大名のペット・初夢吉祥の鷹	395	人間文化研究機構連携展示 百鬼夜行の世界	常光 徹	"	155
279江戸のペット事情 ガラス細工の玩具ポッピン	396	平成十九年度 修復文化財関係銘文集成[絵画]		鹿園雑集*	11
280江戸のペット事情 絶世の美女「衣通姫」の見立美人画	397	野呂介石翁画話	榎本 邦雄	和歌山市立博物館研究紀要	23
281豊国の見立美人画「七小町」	398	岩瀬広隆研究序説(一)	近藤 壮	" "	"
物に執して 一一八、一二一、一二五	鈴木 皓詞	"	391、394、398	和歌山市立博物館寄託本『あだ物語』について	山下奈津子 " "
作品紹介 「近江八景図」屏風 吉村孝敬筆	行俊 勉	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	13	「鳥獣人物戯画」の伝来関係史料にみえる「開田殿」について	藤岡摩里子 早稲田大学大学院文学研究科紀要 54
特集 若冲		ユリイカ	574	修士論文概要	" "
〈動植綵絵〉・モザイク画・〈象と鯨図屏風〉…永遠に新しい絵師のすべて 21世紀の若冲書き換えられる日本美術史	辻 惟雄、山下 裕二 対談			狩野永岳研究—冷泉為恭の視点から—	角田奈緒幹
〈動植綵絵〉・モザイク画・〈象と鯨図屏風〉…永遠に新しい絵師のすべて 若冲展を思い出しながら	狩野 博幸			日本における二臂如意輪観音像の成立をめぐる問題	清水 紀枝
動物と植物に触れる 伊藤若冲の動植綵絵	石岡 良治			朝日新聞文化財団保護助成事業第1号 鳥獣戯画 残したいこの息遣い	天野 幸弘 朝 日 3.13
エンサークルメント 冲[むな]しきが若[ごと]し	高山 宏			北斎浮世絵 図録を発行 故モース氏収集の539点 論文も	杉本 宏 " 4.10
細部に宿る神 若冲とレオナルド	池上 英洋			美の履歴書	朝日夕刊
伊藤若冲のD4C	斎藤 環			096「瓢鮎図」如拙筆	古賀 太 2.18
伊藤若冲とサブカルチャー 京都、畸人たちのネットワーク	樋口ヒロユキ			111「四季日待図巻」英一蝶	田中 三蔵 6.17
				113「洛中洛外図屏風 上杉本」狩野永徳	西田 健作 7.1
				118「百鬼夜行図」狩野洞雲	小川 雪 8.5
				129「那智瀧図」	" 10.28

平成21年定期刊行物所載文献(古／絵画)

昭和史再訪 47年 (1972年)3月26日 高松塚古墳で「壁画 発見」	天野 幸弘	朝日夕刊	8.22					10.4、 10.11、 10.18、 10.25、 11.1、 11.8、 11.15、 11.22、 11.29、 12.6、 12.13、 12.20
聚楽第行幸 生々し く驚倒	狩野 博幸	"	9.24	等伯 画聖への道	岸 桂子	毎 日		
深層新層 若沖に 「非オタク」の一面 町年寄での活躍示す 新史料	西岡 一正	"	12.17					
思うままに 象と鯨	梅原 猛	東京夕刊	3.23	江戸博蔵めぐり		読 売		
江戸の相撲文化十選 1～10	竹内 順 日 経		1.5、1.6、 1.8、1.9、 1.12、 1.13、 1.15、 1.16、 1.19、 1.20	東京名所年中行事 正月かめいど初卯 詣 歌川広重・画	我妻 直美		1.16	
子どもとみるアート 十選6、8	小沢 剛	"	2.24、 2.27	角田川新梅屋敷之 図 歌川豊国・画	丸山はるか		2.6	
				疱瘡絵「みみずく と兔」歌川国芳・ 画	岡本 純子		3.6	
			3.5、3.6、 3.9、 3.10、 3.12、 3.13、 3.16、 3.17、 3.19、 3.20	「東海道五拾三次 之内 庄野 白雨」 歌川広重・画	我妻 直美		4.3	
松のやまと絵十選1 ～10	服部 真澄	"		東都名所二丁町芝 居繁栄之図 歌川 広重・画	丸山はるか		5.1	
				関ヶ原合戦絵巻	斎藤 慎一		7.17	
「九相図」に魅せられ て 鎌倉時代に出現 ・屍の白骨化描く、 文化の神髄感じる	山本 聡美	"	4.28	猫の歌舞伎出語り 図 歌川国芳・画	吉田奈緒子		9.25	
美の美 近江八景 上、中	古賀 重樹	"	8.16、 8.23	江戸城正月登城図 下絵 門前の賑い	阿部由紀洋		10.30	
語りかける大首絵十 選1～10	浅野 秀剛	"	9.24、 9.28、 9.29、 10.1、 10.2、 10.5～ 10.9	江戸名所百人美女 するがだい 三代 歌川豊国・二代歌 川国久画	橋本由起子		11.27	
文化 若沖は進取の 行動派—見えてきた 素顔	宝玉 正彦 宮川 匡司	"	10.24	妙心寺展 これぞ必 見	山下 裕二	"	2.10	
				朝 鮮				
				特集 朝鮮王朝の絵 画—東アジアの視点 から	アジア遊 学	120		
			11.17、 11.19、 11.20、 11.23、 11.24、 11.26、 11.27、 11.30～ 12.2	はじめに 朝鮮絵 画、東アジアとい う視点	板倉 聖哲			
貴人が愛した浮世絵 十選1～10	内藤 正人	"		韓国仏画の古典・ 高麗仏画—中国仏 画との比較から	鄭 于澤 中尾 道子 訳			
				高麗・朝鮮時代初 期の宮廷コレクション	塚本 磨充			
新発見の若沖「象鯨 図屏風」「前衛京 都」の気風映す	宮川 匡司	日経夕刊	2.9	朝鮮後期の桃源図 について	宣 承慧			
「秘仏」の開扉相次ぐ 今年 人身荒廃の現 世明るく照らすか	竹田 博志	"	3.3	コラム 朝鮮王朝 の花鳥画—その吉 祥性に焦点を当て て	吉田 宏志			

コラム 朝鮮前期 絵画における浙派 画風受容について	張 野田 辰城 麻美		55ミニチュール 「カシミール・シ ョールを織る職人 たち」		309
絵画史における明 宗朝一契会図と王 室発願仏画を中心 に	板倉 聖哲		60カシミール織の 服を着た貴人		314
朝鮮後期における 閭巷文人画家の創 作傾向	洪 石附 善杓 啓子		調査報告 スムダ・ チュン・ゴンパ	宮本 道夫	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要 53
鄭澈の真景山水画	石附 啓子		聖伝の素描—ボン教 の聖者シェンラブ・ ミボの降臨から子息 の誕生まで—	津曲 真一	国立民族 学博物館 研究報告 33-4
金弘道が見た光と 闇	中尾 道子		聖伝の素描—ボン教 の聖者シェンラブ・ ミボの布教から入滅 まで—	" "	34-2
蕙園・申潤福の美 人風俗画をめぐる 一考察	李 美林		第六十二回全国大会 研究発表要旨		美術史 167
コラム やきもの に咲いた梅竹—十 五世紀・青花梅竹 文壺の位置づけを めぐって	片山 まび		キジル石窟第一— 八窟の壁画図像— 頂生王説話と亀茲 初期仏教—	檜山 智美	
art news 民画だけ じゃないぞ 目から ウロコの朝鮮絵画		芸術新潮 709	中央チベットの大 仏塔壁画にみられ る「ラトゥ様式」に ついて	大羽 恵美	
傑作/名品 キム・ ホンドの《風俗図帖》 朝鮮時代の庶民の学 びと遊び	チン・ジュ ンヒョン	コリアナ 16-3	ギリシャ・ヘレニ ズム期の或る女人 墓碑試論—写実と 伝統的図像の融合 —	中村 るい	
話題の展覧会 朝鮮 虎展		趣味の水 墨画 249	『タントラ部集成』に 収録される秘密集会 曼荼羅について	張 雅静	密教図像 28
黒田家旧蔵『能淨一 切眼疾病陀羅尼經』 に関する考察	金 鍾珉	デアアルテ 25	ポウバー、それとも タンカ?—チベット 在住のネワール人た ちが発願した仏教絵 画—	吉崎 一美	密教文化 221
墓誌文化の伝播と変 容—高句麗安岳三号 墳墨書を中心に—	篠原 啓方	東アジア 文化交渉 研究 2	モノ・グラフ 怒れ る虎のペルソナ ボ ン教の聖者、タクラ ・メバル	津曲 真一	みんなく 381
高句麗古墳の角抵図 に登場する「西域人」 のイメージ	林 玲愛 守屋美佐子 訳	美術研究 397	大谷探検隊将来品に おいて新発見された 景教の特徴をもつ地 蔵麻布画についての 考察—高昌ウイグル 国時期の景教と仏教 の関係—	王孫 田村 訳	振芬、 恵珍 俊郎 龍谷大学 仏教文化 研究所紀 要 48
日本美術のススめ Special 宗達・若沖 も学んだ朝鮮王朝の 美術	板倉 聖哲	美術の窓 306			
日本美術のススめ 今月の逸品 李晟 「弥勒下生変相図」	大原 嘉豊	" 313			
高句麗古墳壁画中の 什器と墓主—凭几を 所有する意味—	門田 誠一	文化史学 65			
そ の 他			図像・文様		
今月の一冊 和蘭軍 装図	白岩 一彦	国立国会 図書館月 報 585	中 国		
平山郁夫シルクロ ード美術館コレクシ ョン	平山美知子	美術の窓	元末明初の景德鎮窯 青花磁器に描かれた 文様について—唐子 文様を中心として—	杉谷香代子	鹿島美術 財団年報 ・別冊 26

日 本

資料紹介 千光寺本『寛禪鈔』についての考察	井上 佳美	愛知県史研究	13
「摩伽羅」装飾の東漸—黄檗美術に見る霊獣の系譜—	磯部 直希	鹿島美術財団年報・別冊	26
キリシタン時代のメダイ図像研究	浅野ひとみ	〃	〃
「弘法大師様」の不動明王に関する一考察	見田 隆鑑	美学美術史研究論集	23
特別読物 唐草文様の東西	鶴岡 真弓	淡 交	783

そ の 他

クメール建築のベディメントとリンテルにみられる図像配置—バンテアイ・スレイにおけるナーガ装飾を中心に—	久保真紀子	鹿島美術財団年報・別冊	26
「創造」あるいは「再輸入」?—古代エジプト新王国時代における女神ケデシエの図像表現—	田澤 恵子	オリエン ト	52-1

地 図 ・ 絵 図

日 本

『自浪速至東都回路図解』(浪速から江戸大航海図)の現代比較(卒業研究論文から抜粋)	加藤 亮二	海事博物館研究年報	36
資料紹介 松永白洲記念館所蔵「船橋村絵図」について	安村 俊史	柏原市立歴史資料館館報	21
「江戸時代の地図・絵地図」展によせて—当館所蔵の江戸時代地図の紹介—	古宮 雅明	神奈川県立歴史博物館だより	181
資料紹介 館蔵資料「近江膳所城絵図」	神保 忠宏	滋賀県立安土城考古博物館紀要	17
『河内名所図絵』の面白さ	森田 恭二	宗教文化研究	4
資料紹介『篠山春日祭図会』	小栗栖健治	塵 界	20
研究ノート 寛永巡見使国絵図の記載内容とその成立時期—美濃国を事例として—	永井 哲夫	地方史研究	342

研究報告 シーボルトが収集した国絵図・出版図と和紙見本帳について—蒐集と公開の十九世紀—	杉本 史子 村岡 ゆかり 国木 田明子 高島 晶彦	東京大学史料編纂所研究紀要	19
公開研究集会「近世社会と地図作成」・シンポジウム「歴史の中の地図Ⅲ 近代国家形成と地図作成—比較史的視点から」参加記	田中 葉子	東大画像史料解析センター通信*	44
ディッピング・コレクションの長久保赤水「改正日本輿地路程全図」	松井 洋子 フランク・レクイン	〃	45
境界上の地名は誰のものか—競合する地名 絵図の時代(9)	杉本 史子	〃	〃
国立公文書館所蔵下総国元禄・天保国絵図調査報告1	杉本 史子 梅田 千尋	〃	46
国立公文書館所蔵下総国元禄・天保国絵図調査報告2	梅田 千尋 田中 葉子	〃	47
展示準備ノート 名古屋最古の村絵図? みつかる!	種田 祐司	名古屋市博物館だより	190
『寛永十年巡見使国絵図 日本六十余州図』の御殿・御茶屋	永井 哲夫	日本歴史	737
口絵 伊能忠敬測量図	地主 智彦	〃	739
検地絵図を読み解く—加賀藩の検地を事例として—	田上 繁	年報非文字資料研究	5
取り間違えられた火山噴火図—オランダ商館長が紹介した1783年天明浅間山噴火絵図—	北原 糸子	非文字資料研究	21
京都洛西山田浄住寺境内絵図の現地比定について	松尾 剛次 阿子 島 功	山形大学歴史・地理・人類学論集	10
研究ノート 慶応年間の長府藩作成地図—四境戦小倉口の戦備を読む—	井上 佑	山口県史研究	17
近世街道絵図「行程記」の路線図について	山田 稔	山口県文書館研究紀要	36
調査史料室だより 玉里島津家資料「上御屋鋪惣絵図面」について	崎山 健文	黎明	105
和歌山屋敷絵図の記載内容と市堀川	額田 雅裕	和歌山市立博物館研究紀要	23

彫 塑					
東 ア ジ ア					
平成二十年度東支部大会(ミニ・シンポジウム)発表趣旨	文 明大 美 術 史	166	資料紹介 荒子観音の円空仏	小島 梯次	愛知県史研究 13
韓国古代仏教美術の受容と変容			調査報告 幡豆町龍藏院の聖観音・毘沙門天・不動明王像一毘沙門・不動組合わせの一古例一	伊東 史朗	" "
中 国					
天龍山石窟第九窟の千仏表現について	神谷麻理子	愛知県立芸術大学紀要	「龍」彫刻からみた飯田市旧本町一丁目屋台の彫物師について一尾張名古屋彫物師・瀬川治助重定の可能性一	水野 耕嗣	飯田市美術館研究紀要 19
長崎に渡来した中国人仏師と唐様十八羅漢彫像一萬福寺を中心に一	桑野 梓	アジア文化交流研究	石塔からみた高倉寺観音堂および長念寺聖観音坐像の造立年代と時代背景について	小田部家秀	入間市博物館紀要 8
館蔵品紹介 唐代の加彩人物木俑一陳万里先生の没後四〇年に寄せて一	金沢 陽	出光美術館館報	慈恵大師(良源)像基礎資料集成1	寺島 典人	大津市歴史博物館研究紀要 16
孔望山摩崖造像における仏教図像の諸問題	金子 典正	鹿島美術財団年報・別冊	旧志賀町所在彫刻調査報告3[安養寺阿弥陀如来立像]	"	" "
木造菩薩立像	藤岡 穰	国 華	資料紹介 木造女神坐像一軀	山下 立	おおてみち 68
西安隋前期の石造菩薩立像に関する一考察	八木 春生	筑波大学芸術研究報告	調査報告 静岡・建徳寺の彫刻	浅湫 毅	学 叢 31
中国の鉛人	山内 紀嗣	天理参考館報	平安時代後期から鎌倉時代における仏菩薩像光背に関する研究	海野 啓之	鹿島美術財団年報・別冊 26
シンポジウムⅢ 中国北朝後期から隋唐期の山東仏教石刻と東アジア	氣賀澤保規	東方学会報	鎌倉の至宝(8)重要文化財十一面観音懸仏一面 長谷寺蔵	三浦 浩樹	鎌 倉 108
中国北朝期の「皇帝即如来」と仏教美術	岩井 共二	美学美術史研究論集	日光山と仏師民部一元祿から宝暦の修復事業を通して一	長谷 洋一	関西大学哲学 27
雲岡石窟第6窟中心柱の仏伝説話浮彫について「布施」図像の創出の問題を中心に	安藤 房枝	"	「宗像興聖寺の色定法師坐像」補記	井形 進	九州歴史資料館研究論集 34
中国降生像の成立について	松田 妙子	美 術 史	資料紹介 古神像の出現一宮若市・宮永八幡神社一	"	九歴だより 30
平成二十年度西支部例会発表要旨 中国山東省出土石仏の諸相一如来像を中心に一	岩井 共二	"	奈良・聖林寺と京都・観音寺の十一面観音像をめぐる諸問題一図像的特徴の検討を中心に一	田中 健一	京都美学美術史学 8
渤海の二仏並坐像	林 碩奎	仏教芸術	発表要旨 日本における初期の虚空蔵菩薩像: 朝廷と天体の関係	ヒラリー・ピーダセン	" "
中国・初期金銅仏の新例	村田 靖子	"	平等院鳳凰堂と音楽遺産一諸菩薩・諸尊は如何なる音楽を演奏しているか一	渡辺信一郎	京都府立大学文化遺産叢書 1
中国南朝造像に関する覚書一善光寺本尊像の源流を求めて一	藤岡 穰	"	大特集 リアルを超えた天才仏師		芸術新潮 709
日 本					
役行者と山梨の役行者像	田中 晴久	ART LIBRARY	運慶とその時代	山本 勉	

運慶への旅 東国篇、南都篇、高野山篇、京都篇	山本 勉 答える人			図版五 木造千手 観音菩薩立像	萩原 哉		
コラム1 ステイ タシンボルは池 と運慶	大澤 伸啓			図版六 木造慈眼 大師坐像	岩佐 光晴		
コラム2 ふたつ の仏頭と悩ましき 耳	水野敬三郎			図版七 木造五大 明王像	川瀬 由照		
コラム3 リアリ ズムはどこからき たのか?	根立 研介			図版八 厨子入木 造羅睺星立像	"		
コラム4 霊験仏 化する運慶	瀬谷 貴之			図版九 銅造釈迦 如来坐像	奥 健夫		
特集 興福寺創建 1300年記念 阿修羅 のまなざし		芸術新潮	711	表紙写真解説 猪に 乗った勝軍地藏(坂 戸市浅羽・長久寺)	大圖 口承 埼玉史談	296	
第1章 阿修羅と は何者か?	金子 啓明 丸山 士郎			浦和本太観音堂と本 尊聖観音について	青木 健	"	297
第2章 不死鳥興 福寺 興福寺の昨 日・今日・明日	多川 俊映			国学院大学旧服部コ レクション懸仏群調 査報告—紀年銘遺品 を中心に—	山下 立	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	17
第3章 国民的仏 像への道のり	武笠 朗			調査報告 守山市蓮 生寺薬師堂安置 木 造仏像断片	榊 拓敏	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	25
金堂平成大修理記念 特集 唐招提寺 よ みがえる天平の覺		"	720	公開・国際シンポジ ウム「聖遺物とイメ ージの相関性 東西 比較の試み」日本の 肖像彫刻と遺骨崇拜	根立 研介	死生学研究	11
鑑真渡来はいかに して千年物語とな ったか	上野 誠			公開・国際シンポジ ウム「礼拝像と奇跡 東西比較の試み」コ メント 日本彫刻史 の立場から	奥 健夫	"	12
ドキュメント金堂 大修理 仏像編 千手と千仏を慈し む日々	藤本 青一			黄檗信仰史七十五	江口 正尊	史迹と美術	796
小山登美夫の見た、 訊いた、買った les- son 9 陶俑をオリ エンタルアートで	小山登美夫	"	"	宮城県大崎市岩出山 絵図沢権現堂の風神 像懸仏	石黒伸一郎	"	798
古代における法隆寺 金堂の安置仏像	東野 治之	古代文化	577	グラビア解説		聖 徳	
特輯 新出逸品 第 六集 図版七 北魏 と唐、二つの金銅力 士像	田邊三郎助	国 華	1359	薬師三尊像[法隆 寺大講堂]	岩田 茂樹		199
箱根神社の神像群に ついて	薄井 和男	"	1360	聖僧坐像(伝観勒 僧正坐像)[法隆寺 西院経蔵]	鈴木 喜博		200
特輯 日光山の彫刻		"	1367	釈迦如来及び両脇 侍像[法隆寺上御 堂]	"		201
特輯に当って	田邊三郎助			地藏菩薩坐像[法 隆寺地藏堂]	"		202
図版一 木造千手 観音菩薩立像	浅井 和春			上総国分寺の太子像	小松 光江	"	199
図版二 木造五大 明王像	北口 英雄			頼朝尊崇の太子像と 古老に守られた太子 像	"	"	201
図版三 木造阿弥 陀如来及四菩薩坐 像	奥 健夫			平等院王朝の美 国 宝鳳凰堂の仏後壁	山本 勉 太陽(別冊)	平等院	
図版四 円珍様木 造四大明王像	田邊三郎助			和様成立—平等院 の彫刻			

定朝のひみつ					九州国立博物館所蔵 阿弥陀如来坐像—九 州所在木彫像基礎資 料二—	楠井 隆志 鳥越 俊行	東風西声*	4
高知県・須崎市上分 大日堂大日如来像の 周辺	青木 淳	多摩美術 大学研究 紀要	23					
久美浜泰平寺の地藏 菩薩立像について	駒井 優子	帝塚山大 大学院紀 要	11		調査報告 栃木県真 岡市・宗光寺藏薬師 如来坐像について	本田 論	栃木県立 博物館研 究紀要	26
小山寺蔵木造薬師如 来立像修復研究	東京芸術大 学大学院美 術研究科文 化財保存学 保存修復彫 刻研究室	東京芸大 保存修復 彫刻年報*	2008年度		越前国補陀洛山普門 寺の天妃媽祖観音像 とその縁起について —17世紀中期の長崎 と東アジアをめぐる 海域交流の一断面—	藤田 明良	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	4
個人蔵木造阿弥陀如 来立像修復研究 1 (建長銘)	"	"	"		銅造誕生釈迦仏立像 (正眼寺蔵)ノート	池田 洋子	名古屋造 形芸大紀 要*	15
個人蔵木造阿弥陀如 来立像修復研究 2	"	"	"		薬師寺金堂薬師如来 像台座異形像と『金 光明経』	戸花亜利州	奈良学研 究	11
長禅寺蔵木造十一面 観音菩薩立像(鎌倉 時代)修復研究	"	"	"		浄瑠璃寺吉祥天像に ついて	海老原真紀	"	"
長禅寺蔵木造十一面 観音菩薩立像(平安 時代)修復研究	"	"	"		研究報告 長徳寺木 造薬師如来坐像の年 輪年代調査	大河内隆之 児島 大輔	奈良文化 財研究所 紀要	2009
天現寺蔵木造善膩師 童子・吉祥天立像修 復研究	"	"	"		興福寺西金堂釈迦集 会像について	小林 裕子	南都仏教	93
天現寺蔵木造邪鬼修 復研究	"	"	"		目洗薬師調査報告書	高橋 久敬 瀧澤 龍雄	日光山輪 王寺	77
個人蔵木造杢羯羅童 子・制多迦童子立像 修復研究	"	"	"		感得された“力”—正 智院蔵木造不動明王 坐像の造形—	川野 憲一	美学芸術 学	24
善光寺蔵木造寶頭蔵 尊者坐像修復研究	"	"	"		醍醐寺薬師三尊像と 平安前期の造寺組織 (下)	皿井 舞	美術研究	398
青蓮寺蔵木造愛染明 王坐像調査報告	"	"	"		研究資料 脱活乾漆 造菩薩立像	津田 徹英	"	"
五島美術館蔵木造愛 染明王坐像調査報告	"	"	"		京都・清凉寺毘沙門 天立像の位置—その 造形と製作背景につ いて—	佐藤有希子	美術史	166
善光寺蔵木造阿弥陀 如来立像調査報告	"	"	"		東寺講堂諸像の機能 と『金剛頂経』	原 浩史	"	"
向嶽寺蔵木造釈迦三 尊像調査報告	"	"	"		平成二十年度東支部 例会発表要旨		"	"
六波羅蜜寺蔵木造広 目天立像調査報告	"	"	"		権崎寺伝来の大日 如来像と運慶	山本 勉		
大倉集古館蔵乾漆造 菩薩坐像調査報告	"	"	"		運慶作大威徳明王 像をめぐる二、三 の問題—鎌倉幕府 関係の造仏と鑑驗 仏信仰との関わり を中心に—	瀬谷 貴之		
雪隠寺蔵木造吉祥天 立像調査報告	"	"	"		建保・承久年間の 運慶と鎌倉	塩澤 寛樹		
特集陳列 平成20年 度新収品 重文十二 神将立像 申神	丸山 士郎	東京国立 博物館ニ ユース	694		平成二十年度西支部 例会発表要旨 第一 ・二指を捻じる転法 輪印阿弥陀如来像に ついて	北澤 菜月	"	"
東寺講堂大日如来像 の再興と檀越—銘文 の検討を中心に—	新見 康子	同志社大 学博物館 学年報	40					
法隆寺金堂持国天像 の牛頭人身形邪鬼に ついて	清水 真澄	"	"					

平成二十年度東支部大会(ミニ・シンポジウム)発表趣旨 仏教彫刻における和様化	水野敬三郎	美術史	166	東大寺法華堂天平期諸像の研究—尊像構成と機能について—	濱田 恒志	仏教芸術	302
両脇侍を伴う宝冠阿弥陀如来像に関する考察—鎌倉英勝寺阿弥陀三尊像龕を中心に—	平野 智子	"	167	日本古代仏像の着衣とその名称—袈裟・僧祇支・裙・右祖衫、及び偏衫・直裰・横被—	吉村 怜	"	305
第六十二回全国大会研究発表要旨 大仏殿様四天王像の成立—鎌倉期の東大寺再興造像に関する一考察—	吉田 文	"	"	平等院鳳凰堂雲中供養菩薩像にみる定朝工房の諸相	和澄 浩介	"	"
古代日本の「生身」観と造像	長岡 龍作	美術史学	29	新指定重要文化財紹介 京都・清凉寺木造毘沙門天坐像	奥 健夫	"	"
東大寺法華堂執金剛神像をめぐって—後戸安置と霊像化—	濱田 恒志	"	"	東大寺復興造営における大仏光背と中門二天像—東大寺巨大木彫群造像の背景—	赤川 一博	"	306
法然教団の勢至菩薩像について	村上 佳濃	美術史研究	47	善光寺信仰とその造像をめぐって	武笠 朗	"	307
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、日本美術を楽しく学ぶ！ 一夜漬け日本美術史四ヶ条、本物をじっくり見よ！ 本格派美術館ガイド 普賢菩薩騎象像	田中知佐子談	美術手帖	922	高清水善光寺阿弥陀如来像と中世の生身観	長岡 龍作	"	"
SPECIAL FEATURE 日本の聖地、再発見!! 伊勢神宮 GUIDE 3 伊勢神宮と神々の美術 神像	川崎 昌平	"	925	善光寺式阿弥陀および脇侍像現存作例一覧概要	古幡 昇子	"	"
日本美術のスズメ 今月の逸品 運慶「大日如来像」	竹下 正博	美術の窓	304	古代の四天王信仰と境界認識	近藤 謙	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	5
日本美術のスズメ Special 「孤独な静けさ」阿修羅という魅惑	"	"	308	知恩院「韋駄天立像」に見た正月二日	山西 泰生	"	"
福山市・胎蔵寺木造釈迦如来坐像胎内施入品資料目録(稿)	白井比佐雄	広島県立歴史博物館研究紀要	11	口絵解説 国宝阿弥陀如来像と像内納入の阿弥陀大小呪月輪	奥 健夫	文化財*	553
福山市・胎蔵寺木造釈迦如来坐像胎内施入品の奥書等について(一)	木村 信幸 清原 浩美	"	"	特集 文化財の保存と修理 平等院阿弥陀如来像・天蓋の保存修理	"	"	"
警固神社の木造徳川家康像について	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	19	口絵解説 唐招提寺盧舎那仏像	"	"	554
新指定文化財の答申 木造阿弥陀如来坐像 最明寺蔵	"	ふちゅ〜る	18	特集 唐招提寺金堂—平成の大修理 国宝盧舎那仏・薬師如来・千手観音の保存修理 保存修理による新知見	"	"	"
新指定文化財の答申 木造地藏菩薩坐像 地持院蔵	"	"	"	大仏師定覚	三宅 久雄	文化財学報	27
				石清水八幡宮祐清造立の阿弥陀像と解脱房貞慶—八幡市正法寺(八角院)阿弥陀如来坐像に関する一史料をめぐって—	杉崎 貴英	文化史学	65
				文化庁蔵の雲中供養菩薩像	伊東 史朗	鳳翔学叢	5

定朝第三世代の作風に関する一試論—京都即成院観音菩薩跪坐像を中心に—	浅湫 毅	〃	〃	興福寺創建1300年記念 国宝阿修羅展 アシュラそれは私	小滝ちひろ	〃	10.17
善光寺式阿弥陀三尊の模像製作について—滋賀新善光寺の善光寺式阿弥陀三尊像を例に—	松岡久美子	密教図像	28	聖地日和 異境・異形5 兵庫県丹波市・達身寺	伊藤 和史	毎 日	8.16
山形・立石寺根本中堂木造毘沙門天立像について	長坂 一郎	MUSEUM	618	朝鮮			
調査報告 六波羅蜜寺の仏像	浅見 龍介	〃	620	韓国軍威石窟阿弥陀如来像の形式について—初唐期におけるインド請来図像受容の一例	小野 英二	早稲田大学大学院文学研究科紀要	54
光得寺大日如来坐像のX線コンピュータ断層撮影(CT)調査報告	丸山 士郎	〃	621	その他			
調査報告 相国寺とその塔頭の仏像	浅見 龍介	〃	622	所蔵品紹介 金銅仏坐像	後藤 恒	エスプラナード	154
法隆寺金堂四天王立像・補遺	岩田 茂樹	〃	623	ベトナム・チャーキュウ出土リング祭壇基壇部の連続説話場面に対する新解釈	朴 亨國	仏教芸術	303
地藏寺廻国六十六仏群像について	三好 賢子	ミュージアム調査研究報告	1	アジアンター石窟寺院にみる授記説話図について—五、六世紀におけるガンダーラ美術の影響の一事例として—	福山 泰子	〃	304
『木食白導一代記』にみる白道の半生	近藤 暁子	山梨県立博物館研究紀要	3	世界遺産アンコールワット展 生きる喜び時を超えて	石澤 良昭	読 売	12.26
万年寺の文化財—小野寺から黄檗寺院万年寺へ—	松岡久美子	栗東歴史民俗博物館紀要	15	平成十九年度博士論文(課程)要旨 クシヤン朝の仏教彫刻に関する研究	高 廷銀	大阪大学大学院文学研究科紀要	49
日本史のひろば 運慶仏	山本 勉	歴史と地理	630	人文研のアーカイブス(18)ガンダーラ石彫 パキスタン・タレリ寺院址出土	向井 佑介	漢字と情報	18
特集 表象としての女性 観音像に見られる女性像	岩崎 和子	歴史評論	708	特輯MIHO MUSEUM 図版三 燃燈仏授記図浮彫り	宮治 昭	国 華	1363
兵庫県所蔵の天部形立像とその像底墨画について	鈴木 喜博	鹿園雑集*	11	南インド・アーンドラ地方の宗教美術の様相について—「なぜ菩薩像が造像されなかったか」を巡って—	永田 郁	崇城大学芸術学部研究紀要	2
円教寺奥院開山堂の性空上人坐像について	岩田 茂樹	〃	〃	平山郁夫シルクロード美術館コレクション	平山美知子	美術の窓	
平成十九年度 修復文化財関係銘文集成[彫刻]	〃	〃	〃	51奉獻板(ラクシュミー女神)			305
寛正四年康永作東光寺不動明王二童子像と熊野本宮	大河内智之	和歌山県立博物館研究紀要	15	56弥勒菩薩交脚坐像			310
ののちゃんの阿修羅探検 金子啓明先生	平野 圭祐	朝日夕刊	3.10	57仏陀坐像			311
美の履歴書	〃	〃	〃	58仏陀立像			312
103「中尊寺金色堂西北壇上諸仏」	宮代 栄一	〃	4.8	59青年像頭部			313
105「迦楼羅立像(八部衆のうち)」	田中 三蔵	〃	4.22	61菩薩像頭部			315
阿修羅像原型は細面CT調査で復元成功	中村 俊介	〃	9.8				

原 始 彫 刻

日 本

榛東村高塚古墳出土 武人埴輪について— 上毛野の武人埴輪の 系譜について—	杉山 秀宏	群馬県立 歴史博物 館紀要	30
土偶にみられる衣装 表現に関する一試論	吉田 泰幸	古代文化	578
歴史のしおり「土馬」 について	大和 修	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	9
シリーズ多摩の縄文 アらかると—土偶編	小葉 一夫	たまのよ こやま	78
イルカ形土製器	町田 賢一	富山考古 学研究	12
資料紹介 西野米雄 コレクション縄文土 偶の一例について	小笠原善範	八戸市博 物館研究 紀要	23
とやま発掘物語14 長山遺跡—県内、最 多の土偶出土—	神保 孝造	埋文とや ま	106
特集 前方後円墳 コラム 水鳥埴輪と 津堂城山古墳	賀来 孝代	歴 博	157

そ の 他

平山郁夫シルクロー ド美術館コレクショ ン 50コブウシ型土 偶／杜コブウシ文土 器	平山美知子	美術の窓	304
研究ノート アコリス 遺跡における「豊饒 の民間信仰」—土 製ヒト形小像から探 る—	花坂 哲	筑波大学 先史学・ 考古学研 究	20

面

日 本

特集陳列 平成20年 度新収品 能面 翁 ・三番叟	浅見 龍介	東京国立 博物館ニ ュース	695
井伊家伝来の能面切 型について	齋藤 望	彦根城博 物館研究 紀要	20
兵庫・浄土寺菩薩面 の制作者と造像背景 —快慶・迎講・生身 信仰—	古幡 昇子	仏教芸術	306
美の履歴書116「挂甲 武人」	宮代 栄一	朝日夕刊	7.22
美の美 世阿弥の花 下	内田 洋一	日 経	10.11

書 蹟

中 国

董其昌筆「行書論書 画法卷」について	尾川 明穂	芸術学研 究(筑波)	13
王澐の漢碑観—明末 および清初の書人との 比較を通して—	高橋 佑太	芸 叢	25
法帖所載の張旭の草 書に関する一考察	下田 章平	芸 叢	25
『篆隸萬象名義』にお ける俗字の研究(2) —魏晉から隋唐まで の楷書の俗字—	大柴 清圓	高野山大 学密教文 化研究所 紀要	22
王羲之 蘭亭序・八 柱第三本	菅野 智明	国 華	1368
法帖所載の懷素の草 書について	下田 章平	書芸術研 究	2
王鐸の臨書に関する 一考察—長条幅作品 の帖の選択方法を中心 に—	加茂奈々子	芸 叢	2
王澐書法理論の翁方 綱への影響について —二者の比較を通し て—	高橋 佑太	芸 叢	2
翻刻 抄本・豊坊 『南唐書画目』	六人部克典	芸 叢	2
『書法研究』総第七五 —四〇輯 総目録 (一九九七—二〇〇 八)	下田 章平	芸 叢	2
法帖しなさだめ20～ 31	田中 有	書道界	230～241
書道界ニュース 「法帖と帖学派」開催 —東博・書博で共同 企画	富田 淳 鍋島 稲子	芸 叢	232
表紙・新シリーズ解 題 移ろいゆく四山 II 大基山最新情報	日守菜穂子	芸 叢	236
西周金文における異 形文字の考察	角田 健一	書道学論 集	6
書体の成立とその記 号論的解釈について	八木 一絵	芸 叢	2
研究ノート 六朝写 経に見る落款の起源	中村 薫	芸 叢	2
記念講演 清朝書学 の奔流	菅野 智明	書道文化	5
書道今昔物語(二)～ (七)	長尾 秀則	墨	196～201
翰墨の縁(九)～(十 四)	静 妙 軒	芸 叢	2
書を知る12のリレー 授業 教えて先生! 書のきほん2「書体 史」	福田 哲之	芸 叢	196

ギャラリー	木 雞 室	"	日 本				
『宝墨軒本千字文』			196				
『中岳嵩高臺廟碑』			197				
『天成風字硯』傳大 由手拓本			199	日本と《宋元》の邂逅 一中世に押し寄せた 新潮流 長頭丸刊行 の「細字法華経」—江 戸前期の版経に甦っ た宋元の文化	村木 敬子	アジア遊 学	122
六舟手拓青銅器器 形拓帖			200				
扶風夫子廟堂碑殘 石			201	史料紹介 石川県立 歴史博物館蔵春日懷 紙・春日本万葉集解 説	田中 大士	石川県立 歴史博物 館紀要	21
短期集中連載 王羲 之・蘭亭序・現物図 版での比較考(一)、 (二)	表 立雲	"	197、199	古筆手鑑の調査報告 出光美術館蔵 手鑑 『浜千鳥』その4	別府 節子	出光美術 館館報	146
安国旧蔵「宋拓石鼓 文」と鑑蔵印—安国 が石鼓文に託した思 い	伊藤 滋	"	198	平安時代の仮名古筆 における表象性につ いて	笠嶋 忠幸	出光美術 館研究紀 要	14
パークレイ大学東亜 図書館蔵「三井聴水 閣旧蔵碑法帖拓本」 と聴水閣鑑蔵印	"	"	199	出光美術館蔵 古筆 手鑑『浜千鳥』につ いて	別府 節子	"	"
行書とはどういう書 体か	石川 九楊	"	200	細川幽斎筆の『新撰 和歌』	三宅 秀和	永青文庫	66
書論における行書と 簡牘中の行書につ いて	鶴田 一雄	"	"	西子市三瓶町地福寺 所蔵の『大般若経』に ついて	山本 信吉	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	14
書は人なり3 風電 を挙げて—唐太宗の 書	廣瀬 保雄	"	"	伝後伏見天皇筆「あ がた切」—進子親王 と『風雅和歌集』	羽田 聡	学 叢	31
特集 鑑賞2 清代 条幅の款書を読む	松村 茂樹	"	201	『破僧遠諫成勘文』の 翻刻と紹介(一)	道津 綾乃	金沢文庫 研究	322
碑法帖存疑 安思遠 所蔵「南宋拓石鼓文」 考	伊藤 滋	"	"	特集 京都千年のタ イムカプセル 冷泉 家のひみつ		芸術新潮	719
日明交流と雲南—初 期入明僧の雲南移送 事件と流転する「虎 丘十詠」—	伊藤 幸司	仏教史学 研究	52-1	仮名のきわみ 書 で味わう俊成・定 家	石川 九楊		
大谷文書の太公家教 —太公家教攷・補—	黒田 彰	仏教大学 文学部論 集	93	目指すは勅撰集撰 者 歌の家の流転 の書物たち	藤本 孝一 解説		
マンネルヘイム・コ レクションについて	西脇 常記	文化史学	65	図解 冷泉家の本 はこうなっている	"		
美の履歴書122「臨楊 大眼造像記横披」趙 之謙	宮代 栄一	朝日夕刊	9.2	初期冷泉家と定家本 『古今和歌集』	舟見 一哉	国語国文	895
書之美	富田 淳	毎 日		飛鳥井流和歌会作法 書『和歌条々』につ いて—諸本と伝授関係 の整理を中心に—	山本 啓介	"	903
九成宮醴泉銘			1.25				
始平公造像記			3.1				
柴茗帖			7.12	国文学研究資料館蔵 『伊勢物語』絵入板本 和古書マイクロフィ ーム解題(一)—慶長 —貞享—	藤島 綾	国文学研 究資料館 調査研究 報告	29
行書伏波神祠詩卷			7.26				
陶淵明飲酒二十首			10.4				
行書李白仙詩卷			11.1	伊達文化保存会蔵・ 伝後光厳院筆[物語 残簡](『雨やどり』) —解題・翻刻	石澤 一志	"	"
世説新書卷第六殘 卷			11.8				

平成21年定期刊行物所載文献(古／書蹟)

冷泉家時雨亭文庫蔵『範永朝臣集』(真親本)の表記について—宮内庁書陵部蔵本との比較を通して—	中川 美和	国文学論考	45	書は人なり4 酒を嘗める—醍醐天皇の書	廣瀬 保雄	"	"
東大寺献物帳(四)～(七)—正倉院宝物の原簿—	米田 雄介	古代文化	575～578	親鸞聖人七百五十回大遠忌記念 親鸞親鸞の生涯とその思想		太陽(別冊)	親鸞
図版解説 大島本源氏物語『柏木』袋装内朱点	藤本 孝一	"	578	『教行信証』と「三帖和讃」	梯 実圓		
出雲国風土記写本の調査(六)	野々村安浩	古代文化研究	17	『歎異抄』に語られた親鸞	佐藤 正英		
梅尾切	名児耶 明	国 華	1364	親鸞の手紙	浅井 成海		
古文書めぐり『金沢文庫文書』と『金沢文庫古文書』	永井 晋	古文書研究	67	小堀遠州「綺麗さび」のこころ 小堀遠州の書	名児耶 明	"	160
斎然将来蜀版大蔵經の刊記・印造記について	牧野 和夫	実践女子大学文学部紀要	51	和歌に学ぶ 古文とくずし字(一)～(十二)	笠嶋 忠幸	淡 交	773～781、783～785
源氏物語特集 調査報告九十 伝藤原為家筆『源氏物語』薄雲巻断簡の紹介	田中 登	実践女子大学文芸資料研究所年報	28	特集陳列 平成20年度新収品 書状 豊臣秀吉筆	高梨 真行	東京国立博物館ニュース	694
小野お通とお通流—系譜史料に見るお通流	小宮山 碧	書芸術研究	2	平常展見どころ案内 2009年6月・7月 国宝 上野国交替実録帳残巻(延喜式第三十二紙背)	島谷 弘幸	"	695
コラム 定家自筆の「勘返状」新発見		書 道 界	235	表紙解説 慈雲尊者筆「心外無別法」(個人蔵)	寺内 進	刀剣美術	627
大東文化大学所蔵日本書跡解題 本阿弥光悦書状(五月廿七日付)	根本 古谷 監修	書道学論集	6	表紙解説 高橋泥舟筆「徳不孤」(個人蔵)	寺内 進	"	633
研究ノート 空海書法観に対する一試論—『性霊集』を中心として—	金 周會	"	"	了庵製桃源住相国道旧疏について	今泉 淑夫	東風西声*	4
阿波の近世書道文化	太田 剛	書道文化	5	東大寺収蔵經卷調査報告(四)	東大寺図書館	南都仏教	94
源氏物語千年紀 かなと源氏物語	池田 和臣	墨	196	口絵 晋書列伝卷第五十一零巻	松川 博一	日本歴史	732
百花繚乱 古筆の散らし書き	高城 弘一	"	"	尾州家河内本源氏物語の書誌学的考察—室町期後補十三巻、及び後補書入の検討から—	岡寫偉久子	ビブリア	132
特別寄稿 遍昭集切のヒミツ	村上 翠亭	"	"	資料紹介(1)ケイセイ遺跡第7・8次調査出土の文字資料		ふちゅ～る	18
書論の広場 能筆の女流歌人宮内卿	横田 幸哉	"	"	特別講演 出土文献と仏教史研究—敦煌資料研究からの発言—	上山 大峻	仏教史学研究	52-1
書を知る12のリレー授業 教えて先生! 書のきほん		"	"	国学院大学図書館所蔵の上田秋成書簡幅の紹介	鈴木 淳 文 学*		10-1
仮名 臨書	杉浦 妙子		197	誠拙周楞閣関係資料の研究	遠藤 廣昭	横浜市歴史博物館調査報告	5
新発見 蜻蛉日記の鎌倉時代古写断簡玉津切	池田 和臣	"	199				
特集 敬礼と奔放 日本の条幅	財前 謙	"	201				

研究ノート 龍谷大学図書館蔵禿氏文庫 仏教関係書籍の調査研究	楠 淳證	龍谷大学 仏教文化 研究所所 報	33	仏舍利奉納願文	〃		6.14
				天長印信	〃		6.21
				筑後切本後撰和歌集	〃		6.28
統修正倉院古文書第五卷の習書—写経所文書の表裏関係—	野尻 忠	鹿園雑集*	11	法語	富田 淳		7.5
東泉院聖教の復元と『秘密源底口決』の発見—調査中間報告—	阿部 泰郎	六所家総合調査だより	5	泉涌寺勸縁起	島谷 弘幸		7.19
古筆にみられる美意識	和田 久雄	和洋国文研究	44	看読真詮榜	〃		8.2
冷泉家王朝の和歌守展		朝日夕刊		鶴下絵和歌巻	〃		8.9
千年の筆物語	名児耶 明		11.10	東行記	〃		8.16
百人一首の成り立ち	浅井 聡		11.21	和歌六義屏風	〃		8.23
日本文化源流への誘い	田中 順子		12.3	一行書	〃		8.30
美の履歴書134「貫之集 村雲切」 伝・寂然 加筆・藤原定家	宮代 栄一	〃	12.2	飲中八仙歌屏風	〃		9.6
書的美		毎 日		文語屏風	〃		9.13
三十六歌仙帖	島谷 弘幸		1.11	詩書屏風	富田 淳		9.20
李嶠雜詠断簡	〃		1.18	詩書屏風	島谷 弘幸		9.27
羯磨金剛目録	〃		2.1	七言律詩(夏日藤侯席上詩)	〃		10.11
金剛場陀羅尼經	〃		2.8	行草書羅漢贊等書卷	富田 淳		10.18
紫紙金字金光明最勝王經	〃		2.15	湊川詠史屏風	島谷 弘幸		10.25
賢愚經殘卷(大聖武)	〃		2.22	絵因果經	〃		11.15
藍紙本万葉集	〃		3.8	伴大納言絵巻詞書	〃		11.22
古今和歌集(元永本)	〃		3.15	大日経開題	〃		11.29
古今和歌集序	〃		3.22	天台法華宗年分縁起	〃		12.6
本願寺本三十六人集(順集)	〃		3.29	御堂関白記	〃		12.13
法華経譬喻品(久能寺経)	〃		4.5	稿本北山抄	〃		12.20
葦手絵和漢朗詠抄	〃		4.12	古文書・古記録			
平家納経	〃		4.19	日 本			
般若理趣経	〃		4.26	「仏日庵公物目録」成立に関する一考察	古川 元也	神奈川県立博物館研究報告	35
桂宮本万葉集	〃		5.3	源頼朝文書第一筆蹟について—筆跡研究の可能性—	林 譲	鎌倉遺文研究	23
倭漢抄下巻	〃		5.10	史料紹介 財団法人前田育徳会所蔵文書(一)、(二)	菊池 紳一	〃	23、24
高野切本古今和歌集巻第二十	〃		5.17	史料紹介 藤井永観文庫旧蔵「東寺長者補任」紙背文書の紹介	宮崎 肇	〃	24
和歌体十種	〃		5.24	史料紹介 宮内庁書陵部所蔵『東寺草創以来事』について—「東寺草創以来事」と「東宝記」—	貫井 裕恵	〃	〃
本阿弥切本古今和歌集	〃		5.31				
源氏物語絵巻詞書「鈴虫」	〃		6.7				

特集 京都千年のタイムカプセル 冷泉家のひみつ 冷泉家五つの国宝 歌聖が見つめた60年 異端の公家日記『明月記』を読む	五味 文彦	芸術新潮	719	4獅子は首が回るの巻 獅子鈕賞析	"	240
特集 歌謡の時代 馬場南遺跡出土木簡臆説—ヤマトウタを歌うこと—	上野 誠	国学院雑誌	1231	4獅子は首が回るの巻 中国の印鈕—高に大注目(孔・台・鈕)	伊藤 明	"
『芥舟学画編』套印書版零片考	陳 正宏	斯道文庫論集	43	美味珍膳十七(五ノ統)「鹿鳴」印—補遺	原 子朗	" 241
『枝葉抄』翻刻並解題(三)、(四)	馬淵 和夫	醍醐寺文化財研究所研究紀要	22	書の旅—砕かれた碑刻ルポ 山東省編(上)、(下)	高澤 浩一	墨 196、197
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 正倉院古文書—一万数千点に上る古代の古文書群	吉岡 眞之	歴 博	154	書を知る12のリレー授業 教えて先生! 書のきほん5 篆刻	蓑毛 个庵	" 199
朝鮮				「宇文述墓誌」と『隋書』宇文述伝—墓誌と正史の宇文述像をめぐって—	会田 大輔	駿台史学 137
韓国木簡研究の現在	橋本 繁	歴史評論	715	日本に伝来した宋版一切経の角筆加點—醍醐寺蔵宋版一切経の角筆加點と韓国の角筆加點との関連—	小林 芳規	醍醐寺文化財研究所研究紀要 22
金石文など				翁方綱『化度寺碑考』の再検討—京都大学人文科学研究所蔵本を中心として—	菅野 智明	筑波大学芸術研究報告 53
中国				前漢鏡銘の研究	岡村 秀典	東方学報 京都 84
『経籍訪古志』をよむ 8 越刊八行本『尚書正義』	山口 謡司	アジア遊学	121	前漢鏡銘集釈	「中国古鏡の研究」班	" "
日本と《宋元》の邂逅—中世に押し寄せた新潮流 南都西大寺所蔵の宋・元版の中国版経とその周辺	佐伯 俊源	"	122	北齊臨淮王像碑の試訳と初步的考察	倉本 尚徳	東洋文化研究所紀要 156
北朝石刻にみる「観世音仏」信仰	倉本 尚徳	印度学仏教学研究	119	墓誌の起源とその定型化	窪添 慶文	立正史学 105
唐末「支谶墓誌銘」と沙陀の動向—九世紀の代北地域—	西村 陽子	史学雑誌	118-4	日本		
『説文』篆文と出土簡牘帛書	杜 忠誥	書芸術研究	2	日本と《宋元》の邂逅—中世に押し寄せた新潮流 墨蹟と五山版—宋元代禅僧等書蹟資料としての五山版の序跋	落合 博志	アジア遊学 122
表紙・新シリーズ解題 鄭道昭摩崖碑移ろいゆく四山I 天柱山最新情報	日守菜穂子	書 道 界	230	叡福寺所蔵「太子御記文」の復元的研究	山口 哲史	関西大学博物館紀要 15
現代中国書法事情(204)	種谷 萬城	"	"	鉄剣銘「上祖」考 氏族系譜よりみた王統譜形成への一視角	義江 明子	国立歴史民俗博物館研究報告 152
現代中国巧芸事情38～42 連載「鈕ハ印ノ花ナリ」特別篇 中国印鈕史小話1～5	仲 佑樹	"	237～241	『金井沢碑』拓本における「三家子孫」の再検討	鈴木 晴美	続日本紀研究 383
鈕ハ印ノ花ナリ		"	"	鈕ハ印ノ花ナリ 2 友、南方より来たるありの巻 糸印談義	藪内左斗司 真鍋 井蛙	書 道 界 238
1 漢委奴国王、蛇をつまむの巻	久米 雅雄		237	東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(六)—漢学者・漢詩人の蔵書印—	中善寺 慎	東洋文庫書報 40
1～4 中国雕鈕作家列伝(一)～(四)	宏 風生		237～240			

研究余録 多胡碑の
朝鮮への流伝 杉村 邦彦 日本歴史 733

「漢委奴国王」について 倉本 一宏 東アジア
の古代文化 137

江戸時代唐船が中国
へ持ち帰った日本書
籍—安徽鮑氏『知不
足齋叢書』所収の日
本刻書 松浦 章 東アジア
文化交渉
研究 2

研究ノート 高麗の
偽経『現行西方経』に
ついて 山中 行雄 仏教大学
総合研究
所紀要 16

隅田八幡神社人物画
象鏡銘釈読考—末尾
十文字の新解釈— 石和田秀幸 文化財学
報 27

市島春城の蒐めた印
章 浅井 京子 早大會津
八一記念
博紀要* 10

朝鮮

大谷大学所蔵高麗版
大藏経について 馬場 久幸 印度学仏
教学研究 119

百済の都出土の「連
公」木簡 韓国・扶
余双北里遺跡一九九
八年出土付札 平川 南 国立歴史
民俗博物
館研究報
告 153

その他

チベット仏教と蔵外
文庫の木版テキスト
—文化の接触と受容
の観点から— 伏見 英俊 東アジア
文化交渉
研究 2

鈕ハ印ノ花ナリ 3
木は石に非ずの巻
世界の印鈕—アウト
・オブ・チャイナ— 伊藤 明 書道界 239

ペルシア帝国期サル
デイスの文化と社会 阿部 拓児 古代文化 577

工芸

日本

特輯「民芸」実用篇 国 華 1361

特輯に当って 水尾比呂志

随論 日本造形史
における工芸と
「民芸」

特集 工芸史研究の
現在 河上 繁樹 美術フォ
ーラム21 19

特集 新羅—蘇る古
代文化国家の遺宝— 目 の 眼 392

宗教工芸

中国

公開・国際シンポジ
ウム「聖遺物とイメ
ージの相関性 東西
比較の試み」舍利信
仰と王権 肥田 路美 死生学研究 11

日本

円覚寺仏舎利出府記
録 佐藤 清二 鎌 倉 107

東松山市利仁神社経
塚出土遺物について 水口由紀子 埼玉県立
歴史と民
俗の博物
館紀要 3

天竜の鰐口 足立 順司 静岡県埋
文研紀要* 15

鰐口の銘文(五)～
(十) 愛甲 昇寛 史迹と美
術 791、793、
795、798
～800

小海線沿線の梵鐘二
口 佐藤 郁太 796

府内出土《ヴェロニ
カのメダイ》をめぐ
る一考察 浅野ひとみ
後藤晃一
魯禎玟
平尾良
今野春樹 純心人文
研究 15

日光東照宮、山内忠
義公寄進金燈籠の鑄
物師 石塚 雄三 大 日 光 79

平等院王朝の美 国
宝鳳凰堂の仏後壁
勇壮にして華麗—平
等院の金工 加島 勝 太陽(別冊) 平等院

平常展覧どころ案内
2009年4月・5月
重文 火焰宝珠形舎
利容器 加島 勝 東京国立
博物館ニ
ュース 694

平安時代の梵鐘生産 古尾谷知浩 名古屋大
学文学部
研究論集 164

法隆寺の近世密教関
係遺品(六) 関根 俊一 奈良学研
究 11

諏訪大社の鉄鐸と薙
鎌 桐原 健 東アジア
の古代文
化 137

平成二十年度東支部
例会発表要旨 善通
寺蔵金銅錫杖頭考 萩原 哉 美術史 166

髪續当麻曼荼羅と空
念—近世前期の一僧
侶の活動とその意義— 日沖 敦子 MUSEUM 618

資料紹介 法隆寺金
堂天蓋の文字に関す
る新発見 東野 治之 鹿園雑集* 11

朝鮮

1400年の眠りから覚めた百済の舍利莊嚴具・弥勒寺址石塔利莊嚴の遺物を発掘
イ・グアン ヒョ コリアナ 16-3

現代日本語訳『新羅聖徳大王神鐘之銘』 濱田 耕策 史 淵 146

その他

バンコック・ヴェトナム系仏教寺院におけるヴェトナム系ならびにタイ系梵鐘について
西村 昌也 東アジア文化交渉研究 2

公開・国際シンポジウム「礼拝像と奇跡東西比較の試み」コメント ムスリム社会の聖遺物—聖遺物とイスラーム
大稔 哲也 死生学研究 12

聖地チベット ボタラ宮と天空の至宝
朝日夕刊 9.14

武具・馬具類

日本

研究報告 金銅装馬具の保有
金子奈美枝 元興寺文化財研究所研究報告 2008

今下神明社古墳出土の馬具—三河における古墳出土遺物の研究(IV)—
岩原 剛 豊橋市美術館研究紀要 16

特集 工芸史研究の現在 漆工史 平安後期の平胡録の意匠に関する考察
猪熊 兼樹 美術フォーラム21 19

般若寺と春日大社の弓矢
酒井 元樹 MUSEUM 619

益子天王塚古墳出土遺物の調査(2)—環頭大刀・馬具—
持田 中條 大輔 英樹 早大會津八一記念博紀要* 10

江戸博蔵めぐり
読 売 3.27

母衣
田原 昇 3.27

本小札濃勝系威二枚胴具足
沓沢 博行 5.29

その他

研究ノート 黒海北岸における細形馬面の特徴を考える
柳生 俊樹 オリエン ト 51-2

茶道具

日本

茶入茶碗写真帖について
三宅 秀和 永青文庫 68

中世東国の律院の茶—称名寺とその寺領・末寺を通じてみた鎌倉の茶—
永井 晋 鎌 倉 107

秀吉茶会における信長継承戦略—『天王寺屋会記』の「茶堂」を手がかりに—
田中 秀隆 金鯢叢書* 35

小堀遠州「綺麗さび」のころ
太陽(別冊) 160

小堀遠州の茶会
小堀 宗実

遠州の表装と仕覆について
"

小堀遠州の生涯
熊倉 功夫

江月の詩偈に見る遠州との交友
芳澤 勝弘

小堀遠州をめぐる人々
松澤 克行

逸話と茶会記のなかの小堀遠州
熊倉 功夫

小堀遠州の茶の美
中興名物の世界
竹内 順一

今月の表紙より 道具のなかの物語
道 宮崎 もも 淡 交

謡曲・高砂
773

林和靖と梅(詩話 総亀など)
774

胡蝶の夢(『莊子』齊物論)
775

謡曲・竹生島
776

薦の細道(『伊勢物語』第九段)
777

賢木(『源氏物語』第十帖)
778

猿猴捉月(『摩訶僧祇律』)
779

夕顔(『源氏物語』第四帖)
780

菊水(『風俗通義』など)
781

豊干・寒山・拾得(『景德伝灯録』ほか)
783

筒井筒(『伊勢物語』第二十三段)
784

琴高仙人(『列仙全伝』など)
785

寿ぎの意匠—福・禄・寿を中心に— 吉祥図案と文字
茶道資料館 " 773

大西浄雪と奥平了保
大西清右衛門 " 779

特集一自筆の茶会記
拝見 其の一 最古
の自筆本『天王寺屋
会記』 〃 782

幕末明治初期にお
ける伊勢国松坂の茶
の湯一本居信郷著『会
席附』を中心として 市村 祐子 茶の湯文 16
化学

資料一 桃山期の隠
れた武将茶人・八嶋
久右衛門 三好 一 〃 〃

蹲花入考 田部 隆幸 陶 説 681

井戸茶碗考 宇都宮 宏 日本の民 623
芸

大名・京極高和と御
室焼 武田 清明 野村美術 18
館研究紀
要

調査報告 羽箒と茶
人一形態から見る羽
箒への思い入れ 下坂 玉起 〃 〃

翻刻 野村得庵茶会
記(八) 野村美術館 〃 〃
学芸部

数寄大名池田治政と
その茶の湯 熊倉 功夫 林原美術 3
館紀要・
年報

SPECIAL FEATURE
茶の湯の美 クラシ
ック&モダン PART
2 CHANOYU CLA-
SSIC 茶の湯クラ
シック 茶の湯と数
寄のイロハ・入門 木村 宗慎 美術手帖 930
監修

資料紹介『唐物凡数
[からものおよその
かず]』(同志社大学
総合情報センター所
蔵)一孤本名物記一
その解題と翻刻 山田 哲也 文化情報 4
学

資料紹介 藪内休々
斎「東京日記」をめぐ
って一三井家と藪内
家と茶の湯一 嶋田 早苗 三井美術 2
文化史論
集

装身具・化粧具

日 本

婚礼の棚飾をめぐる
諸問題一加賀前田家
史料を題材とする事
例研究 田嶋 充子 芸術学学 15
報

七福神の意匠の成立
と根付制作について ニコロワ・ 芸 叢 25
タチアナ

日本古代の皇太子と
帯剣 山下 紘嗣 史 学 78-1・2

特集 日本列島 石
の流通史 コラム
平安京における石帯
生産の諸形態 平尾 政幸 文化財* 548

根付の意匠 吉田ゆかり 目の眼

四三「牛」 389

四四「栗穂に鶉」 391

四五「罔象」 395

四六「すり鉢に鯛
の頭」 397

特集 印籠一日本美
の結晶 印籠という
もの一印籠に宿る美
と技のエネルギー 栗原 直弘 〃 390
解説

江戸博蔵めぐり 黒
塗梅唐草丸に三階菱
紋散時絵女乗物 下 斎藤 慎一 読 売 1.9

文 房 具

中 国

アジア図像探検
(60)、(61) 三国志 杉原たく哉 書道界 230,231
と日本(2)、(3)

現代中国巧芸事情 仲 佑樹 〃

33上海市嘉定にお
ける明清竹雕芸術 232

36「端石百一眼硯」
のことなど 235

特別寄稿 宗教学上
の動物の存在と呪術
具としての筆一「聿」
形を要素とする文字
の再考 松宮 貴之 〃 240

文房四宝とは 筆墨
硯紙の歴史 玉村 霽山 墨 199

硯を味わう 楠 文夫 〃 〃

日 本

収蔵品ギャラリー
収蔵品 No. 18 獣脚付
円面硯一金沢市戸水
C 遺跡一 いしかわ 31
の遺跡

日本近世の書筆と画
筆一その相違に関す
る文献的研究一 村田 隆志 鹿島美術 26
財団年報
・別冊

西河原遺跡群におけ
る文書行政の在り方
について一硯の出土
を中心に一 濱 修 滋賀県文 22
木下 義信 化財保護
協会紀要

やきものの「澄泥硯」 柴辻 政彦 陶 説 671

物に執して 一二〇 鈴木 皓詞 目の眼 393

装演・料紙装飾

中 国

喪乱帖の表装裂一伝
来の謎に迫れるか 太田 彩 書道界 240

日 本

講演『西本願寺三十六人家集』の料紙について—唐紙を中心に—	亀石 二三	書道文化	5
情報記録媒体としての料紙装飾『西本願寺本三十六人家集』の加工料紙	古内 都	百万塔	133
江戸の卷子本	鈴木 淳	文学*	10-4

陶 磁

東 ア ジ ア

心に残る名碗十選7「黒楽茶碗 長次郎作 銘 俊寛」	小堀 宗慶	日 経	6.4
太平洋を渡った日本陶磁 江戸初期交易に中米ルート浮上	松岡 資明	日経夕刊	2.16

中 国

第二六四回水曜講演会 中国の陶俑—その魅力と謎—(上)	小林 仁	出光美術館館報	149
康熙官窯「五彩十二月花卉文杯」の制作背景—記された唐詩からみた一試論	柏木 麻里	出光美術館研究紀要	14
陶片資料紹介(9)インドネシア・トゥバン海域引揚げの青磁皿・碗	金沢 陽	" "	" "
文様の渡海—陶磁器における龍文	彭 丹	国際日本学	7
三彩 馬	弓場 紀和	国 華	1362
特輯MIHO MUSEUM 図版二 三彩 立女俑	片山 寛明	" "	1363
上林湖窯遺蹟訪問記	村上 泰昭	史迹と美術	798
中国やきもの入門		太陽(別冊)	中国やきもの入門
悠久の中国陶磁 鳥瞰	出川 哲朗		
中国陶磁 珠玉の小品	伊藤郁太郎		
土器・陶器の流れ	上田 秀夫		
column 中国陶磁の器形の名称	" "		
青磁の流れ 古越磁	今井 敦		
青磁の流れ	" "		
白磁の流れ	弓場 紀和		
青花の流れ	中澤富士雄		
三彩陶器の流れ	弓場 紀知		

磁州窯系陶器の流れ	守屋 雅史		
黒釉陶磁の流れ	長谷川祥子		
五彩の流れ	矢島 律子		
中国陶磁の謎10-1 器形の謎	山中 理		
中国陶磁の謎10-2 明器の謎	小林 仁		
中国陶磁の謎10-3 秘色青磁の謎	出川 哲朗		
中国陶磁の謎10-4 雨過天青 柴窯の謎	中澤富士雄		
中国陶磁の謎10-5 汝窯の謎	小林 仁		
中国陶磁の謎10-6 北宋官窯の謎	伊藤郁太郎		
中国陶磁の謎10-7 哥窯の謎	出川 哲朗		
中国陶磁の謎10-8 鈞窯の謎	" "		
中国陶磁の謎10-9 青花誕生の謎	中澤富士雄		
中国陶磁の謎10-10 龍文様の謎	" "		
中国陶磁のふるさと 越窯	小林 仁		
中国陶磁のふるさと 龍泉窯	森 達也		
中国陶磁のふるさと 耀州窯	出川 哲朗		
中国陶磁のふるさと 定窯	弓場 紀知		
中国陶磁のふるさと 磁州窯	守屋 雅史		
中国陶磁のふるさと 建窯	赤沼 多佳		
中国陶磁のふるさと 景德鎮窯	金沢 陽		
中国陶磁のふるさと 漳州窯	森村 健一		
欧米から見た中国陶磁	西田 宏子		
日本から見た中国陶磁	河原 正彦		
唐・宋・元時代の輸出陶磁	弓場 紀知		
明時代の輸出陶磁	西田 宏子		
日本に輸出された中国陶磁	井上喜久男		
韓国に輸出された中国陶磁	中澤富士雄		
東南アジアに輸出された中国陶磁	矢島 律子		

鉢で補修された元青花盤—内モンゴルから出土した元青花盤—	弓場 紀知	陶 説	671	中国の工芸展によせて 唾壺の形—大和文華館所蔵 青磁唾壺の位置—	瀧 朝子	美のたより	167
重要美術品 三彩獅子 一對	山田 正樹	"	675	新収品紹介 瑠璃釉白花文大皿	三笠 景子	MUSEUM	619
藍彩雑感	中澤富士雄	"	"	物に執して 一一六	鈴木 皓詞	目の眼	389
静嘉堂文庫美術館「唐三彩と古代のやきもの」展に寄せて	山田 正樹	"	"	特集 あこがれの白いやきもの 中国陶磁に見る「白」の魅力	伊藤 京子	"	394
東京国立博物館特別展「染付—藍が彩るアジアの器」に寄せて	今井 敦	"	677	唐代晩期多彩釉陶器の系譜—大和文華館所蔵の二件の晩唐期の多彩釉陶器を中心として—	弓場 紀知	大和文華	120
出光美術館「中国の陶俑—漢の加彩と唐三彩—」展に寄せて	金沢 陽	"	"	景德鎮における元代青花と釉裏紅の出現—釉下彩技術の発展からの一考察—	施塚本 静菲 磨充 訳	"	"
北京報告	弓場 紀知	"	"	呉越国における貢磁としての越窯秘色瓷の役割	瀧 朝子	"	"
その二—北京・首都博物館の「元代青花磁文化展」		"	"	美の美 清朝陶磁器の秘密 上～下	竹田 博志	日 経	5.17、5.24、5.31
その三—元・明代の龍泉窯発掘展		"	678	心に残る名碗十選5 「青磁茶碗 銘 馬蝗絆」	小堀 宗慶	"	6.1
大阪市立東洋陶磁美術館「中国陶磁に遊ぶ—入江正信コレクション」展に寄せて	小林 仁	"	"	江戸博蔵めぐり 青花龍図水注	斎藤 慎一	読 売	6.26
大阪市立東洋陶磁美術館 汝窯の謎—国際交流特別展「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」に寄せて—	"	"	681	日 本			
根津美術館 新創記念特別展第二部「根津青山の茶の湯—初代根津嘉一郎の人と茶と道具」より	編 集 部	"	"	古瀬戸焼成窯の生産構造	藤澤 良祐	愛知県史研究	13
中国・南京出土の三国呉の青瓷鉄絵に関する諸問題	小林 仁	東洋陶磁	38	古瀬戸の消費と流通	鈴木 正貴	"	"
南宋官窯窯址採集陶片について	長谷部楽爾	常盤山文庫中国陶磁研究会報	2	調査報告 鳳来寺山・鏡岩遺跡出土の陶磁器	柴垣 勇夫 中野 晴久 安井 俊則 青木 修	"	"
米内山陶片と南宋官窯	佐藤サアラ	"	"	特集 国境の歴史文化 古瀬戸時代と中世仏教	上川 通夫	愛知県立大学文学部論集	57
資料(米内山ノート)	佐藤サアラ 解説	"	"	白岩焼窯跡の調査	西谷 忠師 庄内 昭男 河野 輝樹 大本 将行	秋田県立博物館研究報告	34
特集 工芸史研究の現在 陶芸史 中国陶磁史研究の現況	弓場 紀知	美術フォーラム21	19	白岩焼の調査資料集成 I—紀年銘および製作者銘のある資料—	庄内 昭男 藤原 尚彦	"	"
特集 物質性／マテリアリティの可能性 日本へ渡来したある中国銅緑釉壺—桃山時代に始まる新たな色彩美学の源泉	ルイーズ・アリソン・コート 更井 貴子、中野 志保 訳	"	20	白岩焼の調査資料集成 II—押印のある破片資料—	庄内 昭男	"	"
				館蔵資料にみる急須の茶漉し穴の分類と変遷について	安部 清子	人間市博物館紀要	8
				近世渡瓶小考	江浦 洋	大阪文化財研究	35

土佐の陶工が見た京焼	ルイーズ・アリソン・コート 岡佳子 訳	大手前大学史学研究所紀要	7	特別読物 京焼の萌芽	原山 充志	〃	781
紀太家由緒書	森下 友子	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	5	琉球の赤絵の歴史について	垣花 隆夫	壺屋焼物博物館紀要	10
調査研究ノート vol. 5 焼物師林叟、屋島焼を高らかに宣し、長寿を生きる	古野 徳久	香川県立ミュージアムニュース	7	柿右衛門様式磁器に潜む『源氏物語』の意匠—語られなかった和様人物文様の意義—	山本紗英子	デアアルテ	25
唐三彩の与えた日本産陶器への影響力について—三彩錢と獣脚付短頸壺の関係を中心に—	吉澤 悟	鹿島美術財団年報・別冊	26	近江やきものがたり(五)~(十五)	滋賀県立陶芸の森	陶 説	670~676、678~681
九谷遺跡出土品から探る九谷色絵	佐々木達夫 酒井 中	金沢大学考古学紀要	30	織部扇面向付	宇野千代子	〃	672
澎湖群島・金門島発見の肥前磁器	廬野上 泰康 建紀	〃	〃	サンリツ服部美術館「食を愉しむ—鉢・皿・向付—」展	〃	〃	〃
「陶祖」言説の成立と展開	小宮木代良	九州史学	153	鍋島下絵図からみた藩窯活性期の考察	小木 一良	〃	〃
又十(またじゅう)の皿	猪熊 樹人	くるまいし*	24	重要文化財 色絵輪宝羯磨文香炉	前野 絵里	〃	673
art news 利休の幻の井戸茶碗 箱書とはなにか		芸術新潮	710	「日本のやきもの—桃山・江戸の茶陶」展開催にあたって	〃	〃	〃
紀伊徳川家の付家老新宮水野家の御庭焼「三楽園焼」考古学および自然科学分析からみたその実態	水本 和美 新免 修治 二宮	国立歴史民俗博物館研究報告	153	鍋島下絵図と一致する伝世作品	小木 一良	〃	〃
特輯「民芸」実用篇		国 華	1361	国宝 志野茶碗 銘卯花塙	赤沼 多佳	〃	674
図版一 九谷色絵蓮池翡翠紋大皿	鎌田 純子			三井記念美術館「三井家伝来 茶の湯の名品」展に寄せて	〃	〃	〃
図版六 伊万里染付山水紋大皿	桜庭 美咲			岐阜県陶磁資料館 武将たちに尊ばれた茶器 茶入と茶壺展	福井 沙織	〃	〃
図版七 信楽流釉茶壺	尾久 彰三			乾山 色絵竜田川図向付	砂澤 祐子	〃	676
図版八 唐津鉄絵芦紋壺	松島 仁			五島美術館「向付—茶の湯を彩る食の器—」展に寄せて	〃	〃	〃
図版九 瀬戸柳紋石皿	〃			京都市考古資料館 特別展示「京焼の萌芽」より—「軟質施釉陶器」について—	永田 信一	〃	677
古志戸呂の匣鉢詰め・窯詰め法	河合 修	静岡県埋文研紀要*	15	青木木米と下田氏	佐藤 節夫	〃	678
ヨーロッパの肥前陶磁器を訪ねて 5 英国の肥前磁器コレクションその4 ジェニンス(Jenyns)コレクション	田中 恵子	セラミック九州	45	桃山陶に描かれた文様装飾—それは聖なる意匠か、それともファッションか?	荒川 正明	〃	679
常滑と丹波の陶片自然釉色彩に関するデジタル画像分析	泉 滋三郎	多摩美術大学研究紀要	23	「バりに咲いた古伊万里の華」展に寄せて	大橋 康二	〃	〃
特別読物 九谷永楽とその継承者たち	中矢 進一	淡 交	778	幕末・明治の陶画—花鳥風月から開化絵まで—「皿多一郎コレクション 絵皿は語る」展に寄せて	仲野 泰裕	〃	〃

愛知県陶磁資料館 「志野・黄瀬戸・織 部のデザイン」展よ り(前)、(後)	井上喜久男	"	679、680	「宴の器」から「美 術品」へ—近代に おける肥前磁器の 評価	荒川 正明		
木米と椀斎	佐藤 節夫	"	681	京焼研究と近世考 古学	岡 佳子		
肥前の鉄絵	鈴田由紀夫	東洋陶磁	38				
学会叢報 二〇〇七 年の陶磁研究の回顧		"	"	特集 物質性／マテ リアリティの可能性 楽の建水と一枚岩的 誠実性の問題点	モーガン・ ビテルカ 林田 新 訳	"	20
東日本	平田 禎文						
西日本	梶山 博史			丹波焼の窯跡資料に ついて—当館所蔵の 杉本捷雄氏採集資料 から—	松岡 千寿	兵庫陶芸 美術館研 究紀要	4
口絵解説 観音平経 塚出土 古瀬戸四耳 壺	原 明芳	長野県立 歴史館研 究紀要	15	研究資料 珉平焼箱 書集成	梶山 博史	"	"
常設展この一品！ 笹島焼 手塩皿	野場 喜子	名古屋市 博物館だ より	186	出土の『布袋徳利』に 見る歴史像—遺跡学 から見た消費と生産 にかかわる人間集団 と地域性—	鈴木 重治	文化史学	65
柿右衛門様式磁器に みる和様人物文様の 意義・系譜	山本紗英子	鍋島報効 会研究助 成研究報 告書	4	古陶随伴録	三好 一 目 の 眼		
新発見資料 園部焼		南丹市立 博物館だ より	5	67京都禁裏御所 御用焼物師 栗田 焼 帶山与兵衛			388
古染付「型物向付」と 「型物香合」—型打ち 成形による器種を中 心に—	中路のぶ代	日本文化 史研究	40	68大阪府下三島町 桜井里焼			389
第六十二回全国大会 研究発表要旨		美術史	167	69真宗高田派本山 専修寺 宗旦古流 四休庵 閑鷗自作 茶碗から			390
尾形乾山「定家詠 十二ヶ月和歌花鳥 図角皿」に関する 一考察	柴橋 大典			70兵庫県淡路島 珉平焼			391
「古九谷様式」色絵 磁器の様式につい て	今井 敦			71稀有の焼物二題			392
元代青花磁器にお ける人物文の制作 背景について	和食 萌			72希有な焼物 大 田垣蓮月自作茶碗 金剛謹之輔筆画茶 碗			393
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイ と、日本美術を楽し く学ぶ！ 一夜漬け 日本美術史四ヶ条、 本物をじっくり見 よ！ 本格派美術館 ガイド		美術手帖	922	73文人達の陶芸 山本梅逸、田能村 直入、富岡鉄斎			394
曜変天目(稲葉天 目)	長谷川祥子 談			77舞子焼(兵庫県)			398
志野茶碗銘卯花塙	赤沼 多佳 談			78明石焼(兵庫県)			399
特集 工芸史研究の 現在 陶芸史		美術フォ ーラム21	19	小特集 美濃赤絵香 炉の謎	伊藤 宏見	"	389
茶陶研究と考古学	井上喜久男			物に執して 一一 七、一二二、一二三	鈴木 皓詞	"	390、395、 396
肥前陶磁史研究の 現在	鈴田由紀夫			小特集 古伊万里の 魅力	森 茂一	"	391
				古伊万里閑話 第一 回～第七回	松田 佳代 杉谷香代子	"	393～399
				特集 あこがれの白 いやきもの 蒐集を より楽しく有益にし てくれる仲間たちの 存在	小野 公久 小田部英勝 日下千恵子 六田 知弘 吉野 功高	"	394

特集 古九谷の生まれたところ		目 の 眼	395	タイの陶磁史(一)～(五)	向井 互 陶 説	675～679、681	
九谷古窯の色絵片出土に寄せて	中矢 進一			平山郁夫シルクロード美術館コレクション 54ウズベキスタンの陶器	平山美知子 美術の窓	308	
九谷の「古九谷」を 探す旅のはじまり	田嶋 正和 中矢 進一 正和 久佳 藤 平井 義一			ラスター彩群像図鉢	杉村 棟 国 華	1368	
土 器							
日 本							
東北近世窯における 窯道具の転換的原因	高橋 拓	山形大学 歴史・地理・人類 学論集	10	大分の弥生式土器編 年一早期～中期一 (上)	高橋 徹	大分県立 歴史博物館研究紀 要	10
帷幃の種類とその分 布	長谷川 昇	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	4	千葉市花輪貝塚出土 の埋設注口土器の系 譜(1)一関東地方に おける土壙出土の注 口土器集成から一	田中 英世	貝塚博物 館紀要	36
美の履歴書098「色絵 藤花文茶壺」野々 村仁清	秋山 亮太	朝日夕刊	3.4	資料紹介 川崎市宮 前区野川2935番地出 土の土器について	副島 藏人	川崎市市 民ミュージアム紀 要	21
太平洋を渡った日本 陶磁 江戸初期交易 に中米ルート浮上	松岡 資明	日 経	2.16	宇治と渡来人一宇治 市街遺跡の渡来人と 古代日朝関係一	井上 直樹	京都府立 大学文化 遺産叢書	1
心に残る名碗十選 1 ～4、8～10	小堀 宗慶	〃	5.25、 5.26、 5.28、 5.29、 6.5、6.8、 6.9	「祭祀遺跡に見るモノと心」プロジェクト		国学院大 伝統文化 研紀要*	1
朝 鮮							
展覧会への誘い「蓮 の精香一君子の花 浄土の花」に寄せて	片山真理子	高麗美術 館館報	83	縄文時代における 徳利形土器の祭祀 的側面の検討一中 期末葉の東北地方 を中心の一	阿部 昭典		
韓国国立中央博物館 美術館テーマ展 高 麗王室の陶磁器	姜 京男	陶 説	673	縄文時代後期のク マ表現一青森県を 中心として一	加藤 元康		
韓国陶磁つれづれ私 記(二十二)	吉良 文男	〃	〃	土器集積に関する 覚書	田中 大輔		
刷毛目茶碗 銘「新 両国」	鄭 銀珍	〃	676	研究ノート 所謂 「山内型式論」の形成 過程をめぐって一 「形式論」のためのノ ート(5)	大井 晴男	古代文化	575
大阪市立東洋陶磁美 術館「鈴木正男氏寄 贈一浅川伯教が愛し た韓国のやきもの」 展に寄せて	樋口とも子 鄭 銀珍	〃	〃	特輯 九州における 縄文から弥生へ		〃	577
高麗時代の鉄画瓷器 の成立と展開	張 吉良 詠 南原 文男	東洋陶磁	38	刻目突帯文土器と 無文土器系土器一 異系統土器共存の 実態一	宮地聡一郎		
心に残る名碗十選 6 「蕎麦茶碗 銘 花 曇」	小堀 宗慶	日 経	6.2	有明海北岸域にお ける弥生文化波及 期の様相一佐賀平 野の事例による検 討一	中野 充		
そ の 他							
クナ・ポー B-1 号 窯跡一発掘調査報告 書一クメール陶器研 究の歴史	杉山 洋	大阪大谷 大学博物 館報告書	55	学芸員ノート 謎の 縄文土器「寿能最下 層式土器」について	中島 宏	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館だより	10
資料紹介 館蔵タイ ・メナムノイ窯四耳 壺について	續 伸一郎	堺市博物 館報	28				

近江八幡市白王遺跡出土の縄文土器拓影	小島 孝修	滋賀県文化財保護協会紀要	22	研究ノート 豊栄窯跡群の成立と展開	向田 裕始	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	7
滋賀県出土の土器記号文について—弥生時代—古墳時代前期を中心として—	坂下 実	" "	"	南丹・壺ノ谷窯址出土のミニチュア農具形須恵器	門田 誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	5
ふたつの「野島」—長泉町梅ノ木沢遺跡の第Ⅱ群土器—	笹原千賀子	静岡県埋文研紀要*	15	発掘最前線 新潟県の八日市新保式土器	酒井 重洋	埋文とやま	108
大会特集Ⅰ 南九州の地域形成と境界性—都城からの歴史像—問題提起1 南九州縄文時代早期の貝殻文円筒形土器と押型文土器の関係について	山下 大輔	地方史研究	340	西都原古墳群「墳丘上出土」土師器の検討	吉本 正典	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	5
土浦市域の中世土器様相	比毛 君男	土浦市立博物館紀要	19	山口県岩国市用田古墳出土の朝鮮半島系土器について	三吉 幸泉 秀 充満夫	山口県立山口博物館研究報告	35
南武蔵型杯の成立について	鶴間 正昭	東京都埋文センター論集*	25	組織痕土器研究の現状	東 和幸	黎明館調査研究報告	22
北上川流域縄文時代中期から後期における土器の器形変化と地域性に関する研究	菅野 智則	東北文化研究室紀要	50	資料紹介 丁ノ町・妙寺遺跡の弥生土器—弥生時代中期最後の土器群—	田中 元浩	和歌山県文化財センター年報	2008
東北地方における縄文時代中期末葉から後期前葉に関する土器編年—宮城県石巻市山居遺跡の調査成果から—	相原 淳一	東北歴史博物館研究紀要	10	入門講座 日本のやきもの美学1 縄文火焔土器「造る喜び」から形に	出川 直樹	日経夕刊	11.5
楠本コレクションの調査 縄文土器編	丹羽 茂	" "	"	朝鮮			
研究報告 大官大寺の縄文土器(1)	加藤 雅士	奈良文化財研究所紀要	2009	韓国の土器窯集成(1)—京畿道・忠清道編—	植野 浩三	文化財学報	27
西之山式の突帯文土器についての一考察—馬見塚遺跡E地点井上吉貞氏採集資料の紹介—	松本 泰典	南山考人	37	その他			
研究ノート 新田古窯址の系譜に関する覚書—陶邑古窯址群と東山古窯址群との比較を通して—	角脇由香梨	" "	"	新収藏品紹介 灰色磨研水差し形土器	石田 恵子	オリエンテ	38
新潟県矢津遺跡出土土器の再検討	荒川 隆史	新潟県立歴史博物館研究紀要	10	新収藏品紹介 赤色磨研紡錘形土器	津本 英利	"	39
矢津遺跡から出土した縄文晩期前半の土器	渡邊 裕之	" "	"	「西方」のサマツラ土器—その地域性とハラフ土器の成立をめぐって—	小高 敬寛	オリエント	51-2
北奥の12世紀一堂ヶ平経塚の検討—	関根 達人	平泉文化研究年報	9	イスラエル国シャロン平野の鉄器時代I期—テル・ゼロール出土資料を視点に—	小野塚拓造	筑波大学先史学・考古学研究	20
12世紀奥羽における陶器の研究—平泉柳之御所遺跡を中心に—	鈴木 啓司	" "	"	東京大学総合研究博物館 考古美術(西アジア)部門所蔵考古学資料目録 第9部西アジア各地における購入・採集土器	有松 三國 小川 西秋 唯子 博子 やよい 良宏	東大総研博標本資料報告*	76
				瓦			
				日本			
				猿投窯型瓦塔の展開(2)—猿投窯型以前—	永井 邦仁	愛知県埋文センター紀要*	10

資料紹介 山城廃寺出土瓦	市本 芳三	大阪府立近つ飛鳥博物館報	12	特集・増上寺徳川家霊廟 もう一つの葵三代—台徳院霊廟跡地出土遺物より—	高山 優	港郷土資料館だより	64
学芸員のノートから92“瓦を楽しむ”	菅本 宏明	神戸市立博物館だより	96	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 瓦コレクション—瓦礫に秘められた歴史	村木 二郎	歴 博	153
五十戸と知識寺院—鳥坂寺跡出土篋書瓦の釈読から—	竹内 亮	古代文化	575	朝 鮮			
平安時代の瓦生産	古尾谷知浩	“	576	軍守里廃寺出土の文様埴	梁 淙鉉	帝塚山大学考古学研究所研究報告	11
屋瓦からみた草創期寺院の創建年代小考—豊浦寺、法隆寺若草伽藍、四天王寺の場合—	井内 潔	“	“	金 工			
製作技法・表現手法からみる東日本出土瓦塔	坂田 敏行	埼玉県埋文調査団紀要*	24	中 国			
鬼瓦百選(七十)~(七十九)	小林 章男	史迹と美術	791~800	特輯MIHO MUSEUM 図版五 円筒形馬車金具	片山 寛明	国 華	1363
「大伴五十戸」と記銘された軒丸瓦	山路 直充	駿台史学	137	金の道(一)~(五)	中野 徹	陶 説	675、676、678、680、681
遺稿 播磨美囊野正法寺山専志染丘瓦塔	高井悌三郎	辰馬考古資料館考古学研究紀要	6	日 本			
平安時代の緑釉瓦	鈴木 久史	帝塚山大学大学院紀要*	11	資料紹介 秋田で造られた江戸時代の銅銭	藤原 尚彦	秋田県立博物館ニュース	148
資料紹介 帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦	新井場 萌	“	“	調査報告 静岡県原分古墳出土品に探る古代金工技術—マイクロフォーカスX線CTによる調査を中心に—	村上 隆	学 叢	31
資料紹介 帝塚山大学大学院所蔵軒平瓦	木村 友紀	“	“	神奈川県内出土の弥生時代金属器(1)—鉄器集成—	弥生時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	14
初期瓦窯の造瓦技術—集上り瓦窯を例として—	清水 昭博	帝塚山大学考古学研究報告	11	毛利博物館所蔵の石州銀一括について	鳥谷 芳雄	古代文化研究	17
西摂地域の中世瓦の様相	木村 友紀	“	“	日本と中国の出土銭—北宋銭を中心として—	梅原 郁	東 方 学	118
平安宮出土軒瓦の新資料—政所政治郎手拓資料の紹介(1)—	網 植山 伸也 茂	“	“	研究報告 平城宮跡東院地区から出土した繒銭	和田一之輔	奈良文化財研究所紀要	2009
国分寺研究における諸問題	梶原 義実	名古屋大学文学部研究論集	164	マイクロスコープによる金印の表面観察とその検討	大塚 紀宜	福岡市博物館研究紀要	19
多摩地方における近世瓦生産の様相—町田市カワラ峯瓦窯と府中の寺社—	深澤 靖幸	府中市郷土の森博物館紀要	22	宮崎県出土の中近世の大型銭—日向国の銭貨流通実態に関する考察—	安藤 正純	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	5
出土瓦から見た讃岐国分寺の創建	松本 忠幸	仏教芸術	303	そ の 他			
特集 唐招提寺金堂—平成の大修理 国宝唐招提寺金堂の保存修理 鷗尾と瓦	植田 哲司	文化財*	554	ベトナム北部の一括出土銭の調査研究 研究編		昭和女子大学国際文化研究所紀要	12
奈良時代における住吉大社周辺の造寺とその背景	内藤 亮	法政考古学	35	ベトナムにおける銭貨研究史	阿部百理子		

『大越史記全書』中の 銭貨関連主要記事	菊池 誠一			古代日本における鏡 の宗教性—多紐細文 鏡と仏獣鏡を中心に—	有働 智英	国学院雑誌	1224
ベトナム史における 貨幣鑄造と使用	グエン・ヴァン・キム 阿部百里子訳			11世紀における天皇 權威の変化—内侍所 神鏡と伊勢神宮託宣—	斎木 涼子	古代文化	575
景興銭の分類	廣木由美子			有明海北岸出土の弥 生時代青銅器の研究 —弥生時代青銅鏡の 分布と地域性—	細川 金也	鍋島報効 会研究助 成研究報 告書	4
日越一括出土銭の 比較研究	櫻木 晋一			三角縁神獣鏡の製作 地論争・私記	奥野 正男	東アジア の古代文 化	137
東アジア銭貨流通 におけるベトナム 出土銭の位置づけ	三宅 俊彦			平等院鳳凰堂天井の 伏花鏡	久保 智康	鳳翔学叢	5
ベトナム一括出土 銭に見る清朝銭研 究の可能性	西川 和孝			伝持田古墳群出土の 甕龍鏡について	辻田淳一郎 東 憲章	宮崎県立 西都原考 古博物館 研究紀要	5
特輯MIHO MUSEUM 図版四 銀製貼金供 養盤	稲垣 肇	国 華	1363				

鏡

東 ア ジ ア

三角縁神獣鏡の振紋 の象徴的意味	小山田宏一	東アジア の古代文 化	137
---------------------	-------	-------------------	-----

中 国

資料紹介 画文帯仏 獣鏡	藤井 康隆	名古屋市 博物館だ より	191
-----------------	-------	--------------------	-----

魏の民間歌謡と鏡銘	岡村 秀典	東アジア の古代文 化	137
-----------	-------	-------------------	-----

三角縁神獣鏡に見ら れる長方形紐孔の出 現背景について	福永 伸哉	〃	〃
-----------------------------------	-------	---	---

第六十二回全国大会 研究発表要旨 中国 における線刻鏡(鏡 像)制作初期の様相 —五代・呉越国の崇 仏活動との関連より —	瀧 朝子	美術史	167
---------------------------------------------------------------------------------	------	-----	-----

美の履歴書130「金銀 錯嵌珠龍文鉄鏡」	中村 俊介	朝日夕刊	11.4
-------------------------	-------	------	------

日 本

池島・福万寺遺跡出 土小形仿製鏡につい て	湯本 飯田 整 浩光	大阪文化 財研究	34
-----------------------------	---------------	-------------	----

考古学の先駆者 赤 星直忠博士の軌跡 (6)—通称「赤星ノ ート」の古墳時代資 料の紹介—	古墳時代研 究プロジェ クトチーム	かながわ の考古学	14
-----------------------------------------------------------	-------------------------	--------------	----

謎多き「三角縁神獣 鏡」	村上 隆	京都国立 博物館だ より	163
-----------------	------	--------------------	-----

青 銅 器

中 国

館蔵中国青銅器実測 図・拓本選	徐 天進	出光美術 館館報	
--------------------	------	-------------	--

15鴟鵂卣			146
-------	--	--	-----

16饗養文尊			147
--------	--	--	-----

17直文卣			148
-------	--	--	-----

18夔鳳文棺飾			149
---------	--	--	-----

弥生青銅器祭祀の起 源と遼寧青銅器文化	小林 青樹	国学院大 伝統文化 研紀要*	1
------------------------	-------	----------------------	---

特集 工芸史研究の 現在 共同研究 高 精細画像を活用した 青銅器研究	廣川 守	美術フオ ーラム21	19
----------------------------------------------	------	---------------	----

「犧牛首」の物語—中 国美術の近代的鑑賞 の一例として— 花 と文人趣味展によせ て	塚本 磨充	美のたよ り	165
--------------------------------------------------------	-------	-----------	-----

日 本

考古学が語る古代出 雲王朝	梅原 猛	芸術新潮	718
------------------	------	------	-----

神庭荒神谷遺跡出土 の銅矛	境 靖紀	古代文化 研究	17
------------------	------	------------	----

ミニチュア鉄剣に関 する一考察	杉山 和徳	静岡県埋 文研紀要*	15
--------------------	-------	---------------	----

館蔵流水文銅鐸の保 存修理と同范銅鐸の 調査	青木 政幸	辰馬考古 資料館考 古学研究 紀要	6
------------------------------	-------	----------------------------	---

名古屋市博物館青銅 器資料紹介 1 四区 袈裟櫛文銅鐸	瀬川 貴文	名古屋市 博物館研 究紀要	32
-----------------------------------	-------	---------------------	----

日本美術のスズメ Special アジア・ 西洋にもっとも近い 日本 異文化交流が 生んだ、日本美術の 源流		美術の窓	313	特別重要刀剣 刀 銘 井上真改(菊 紋)延宝四年八月 日			629
朝鮮				特別重要刀剣 太 刀 無銘 栗田口 国友			630
朝鮮半島南部青銅器 時代の編年	庄田 慎矢	考古学雑 誌	93-1	特別重要刀剣 太 刀 銘 景秀			632
韓国と日本の鉄鐔に 関する一考察	高 慶秀	国学院大 伝統文化 研紀要*	1	重要刀剣 刀 無 銘 伝貞宗			633
嶺南地方の6~7世 紀代墳墓出土鉄鐔に 関する研究	金高 東淑 慶秀 訳	"	"	重要刀剣 短刀 銘 来国俊			634
弥生時代の倭・韓交 渉 倭製青銅器の韓 への移出	後藤 直	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	151	刀 銘 左近衛権 少将藤原氏貞 天 正三年二月吉日			635
刀剣・刀装				『上杉家刀剣台帳』か ら(その三)	福士 繁雄	"	624
日本				重要刀装具	飯田 解説 俊久	"	
資料紹介 銘「薩州 住正清」刀について	石川 武治	茨城県立 歴史館報	36	俱利伽羅龍図三所 物 無銘 祐乗 (附)元禄十年 代 千五百貫 廉乗折 紙			624
寛弘寺75号墳の振り 環付楔形柄頭大刀	高松 雅文	大阪府立 近つ飛鳥 博物館報	12	翁鑓唐人笠透鐔 無銘 彦三			625
小サ刀考	佐藤 豊三	金鯉叢書*	35	梅に鷹図三所物 小柄・筭 銘 石 黒政美(花押) 目 貫 無銘 石黒政 美			626
単龍環頭柄頭の終末 例一太田市南金井出 土例より一	杉山 秀宏	群馬県立 歴史博物 館紀要	30	牡丹獅子図縁頭 銘 利寿(花押)			627
新館蔵資料紹介 短 刀 銘 下坂住兼先 作		市立長浜 城歴史博 物館友の 会だより	34	風吹牡丹図鐔 銘 夏雄(花押)			628
名刀鑑賞	檜山 解説 正則	刀剣美術		松竹文象嵌鐔 銘 埋忠明寿			629
重要美術品 刀 銘 津田越前守助 広 延宝七年二月 日			624	菊花文鐔 銘 貞 栄作			630
重要美術品 刀 折返銘 貞綱			625	牧童図小柄 銘 夏雄(花押)			632
短刀 銘 備中国 住次直作文和四年 八月日			626	鉄刀木鞘金具合 口腰刀拵(大川貞 幹一作金具)			633
重要文化財 刀 銘 長曾祢興里入 道虎徹			627	鶴匠図小柄 棟銘 長常(花押)			634
重要文化財 剣 銘 重吉入道作 (梵字)元享四正月 七 阿闍梨頼宣 (附)三銘柄			628	花卉波頭図鐔 無 銘 古美濃			635
				蒲生助長刀と附書状 に見る本阿弥家の確 執について	近藤 邦治	"	625
				本部定例鑑賞会一月 ~七月、九月~十一 月		"	625~ 631、633 ~635
				刀装・刀装具初学教 室(170)~(180)	福士 繁雄	"	625~635

刀装具の画題	〃	〃		日本刀の切れ味	原田 一敏		
170千社詣			625	日本刀と祈り	尾崎 保博		
171咬合獅子			626	コラム 中世における刀剣の輸出	関 周一		
172竹に虎			627	コラム 日本刀の素材—和鉄と洋鉄—	高塚 秀治	〃	〃
173月に蝙蝠			628	そ の 他			
174草摺曳			629	カラス式短剣の成立と展開	松本 圭太	古代文化	576
175遠眼鏡(望遠鏡)			630	研究ノート ウラルトゥの長剣について—その系譜、分布と政治的背景—	津本 英利	オリエン ト	52-1
176子持勾玉			631	染織・服飾			
177楠木正成			632	中 国			
178馬洗い			633	特集 工芸史研究の現在 染織史 欧州意匠の中国染織品六作品を通してみる中国と日本における受容の様態	吉田 雅子	美術フォーラム21	19
179三聖吸酸			634	日 本			
180御幣猿			635	研究随想 秀吉に導かれて宝物に出会う—社寺調査の思い出—	河上 繁樹	学 叢	31
「南北朝期大太刀」についての一考察	宮崎 政久	〃	626	修理報告 紋縮緬地熨斗文友禅染振袖	山川 暁	〃	〃
「水戸刀」覚え書 続二—幕末水戸藩のたたら製鉄と武器製作について	宮本 三郎	〃	627	『西宮記』女装束条について—女子装束における褶衣と青色—	津田 大輔	古代文化 研究	17
仙台藩刀匠考(十二)～(十四)	佐藤 一典	〃	628～634	特輯「民芸」実用篇		国 華	1361
郷土刀紹介 安井仙知俊正の注文銘ある遠州横須賀三秀について	西尾 記一	〃	629	図版十 久留米緋城紋夜具地	山本ゆかり		
白川生まれの刀工・固山宗平	丸山 栄一	〃	630	図版十一・十二 革羽織「松喜」紋網目紋	白土慎太郎		
河内守祐定の代別についての一考察	小池 哲	〃	633	松竹梅模様小袖	丹羽理恵子	〃	1369
本阿弥家について—光二を中心に	奈良原和夫	〃	635	正倉院所蔵の組紐の組成技法について 附 クテ打組紐技法による古代角組の組成実技再現の試み	木下 雅子	正倉院紀 要	31
史料散歩 柳沢吉保と名刀真守	胡 光	日本歴史	733	小袖雛形本にみる源氏模様の展開	河上 繁樹	人文論究	59-1
刑部と王賜銘鉄剣と隅田八幡人物画像鏡	前之園亮一	東アジアの古代文化	137	初期友禅染に見られる露玉表現とその色彩的特徴について	高木香奈子	〃	〃
昭和44年度発掘調査出土の古津路銅剣について	大平 茂 種定 淳介	兵庫県立考古博物館研究紀要	2	伝徳川家康所用「白練緯地松皮菱竹模様小袖」について—近世染織史上における位置付けをめぐって—	福島 雅子	東京芸術 大学美術 学部論叢	5
装剣小道具の世界91～102	善財 一	目の眼	388～399				
特集 日本刀をみる すぐに使えるニセモノ看破法	田野辺道宏	〃	389				
特集 日本刀 五ヶ伝の旅 其の壱 大和五派 前編(千手院・当麻・手搦)	〃	〃	399				
大和物の作風とその展開 前編							
特集 日本刀		歴 博	156				
「サムライ」=「刀」は事実か?	近藤 好和						

辻が花一中世絞染模様に関する考察	小山弓弦葉	東京国立博物館紀要	44
『雍正十四年 納殿染賃例 大徳御殿』について	宮里 正子	那覇市歴史博物館紀要	1
歌舞伎衣裳にみられる歴史的・社会的対象の受容—「馬簾つき四天」「小忌衣」「蝦夷錦」「厚司」を事例として	森田登代子	日本研究	40
畳紙墨書より探る加賀藩主の能、そして富山藩の場合について—野村美術館・彦根城博物館所蔵能装束より—	村上 尚子	野村美術館研究紀要	18
「一日晴」の表袴考—池田光政所用「紅地雷文四菱繋ぎに泊蝶文様縹表袴」・「金茶地雷文菱繋ぎに九曜紋文様縹表袴」について—	宮尾 素子	林原美術館紀要・年報	3
平成二十年度西支部例会発表要旨 伝豊臣秀吉着用の陣羽織に関して	吉田 雅子	美術史	166
伝秀吉所用の花葉文刺繍ピロッド陣羽織—制作地、制作年代、制作背景の推定—	"	"	167
天寿国繡帳の制作時期について—繡帳銘文による検討—	近藤 有宜	美術史研究	47
日本美術のスズメいろの景 其ノ七 二階織 色彩と文様の積層が生む神の光	島尾 新	美術の窓	314
特集 工芸史研究の現在 染織史		美術フォーラム21	19
平安時代の錦はどこから来たのか—中国染織の受容と和様化	河上 繁樹		
禪と伝法衣 事実と作為と	山川 暁		
銘文のある染織品 国立歴史民俗博物館「[染]と[織]の肖像—日本と韓国・守り伝えられた染織品」展から	澤田 和人		
共同研究 東福門院の小袖を復元する 復元的研究の一事例	河上 繁樹		
表・表紙 作品・作家解説 《鳳凰牡丹唐草文通辞羽織》尾張徳川家伝来	吉田 雅子	"	"

髪繡に込めた祈り—漂泊僧空念の歩み—	日沖 敦子	仏教史学研究	52-1
表紙解説 濃茶麻地菊棕欄文様帷子	小林 彩子	文化財*	549
袈裟十二章のこと	加茂 正典	瑞 垣	212
特集 表象としての女性 コラム 小袖とジェンダー	菅原 正子	歴史評論	708
展示批評 企画展示「[染]と[織]の肖像—日本と韓国・守り伝えられた染織品—	河上 繁樹	歴 博	153
第三展示室ミニ企画展示 金箔と刺繍のきらめき—慶長小袖—野村コレクションより—	澤田 和人	"	156

朝鮮

韓国刺繍博物館・許東華館長講演会 世界の中の韓国の女性文化—チョガッポを中心にして—	許 東華	高麗美術館館報	81
--------------------------------------------	------	---------	----

その他

瀧澤久仁子コレクション 祈りをつづる染と織—タイの美しい布	田辺 昌子	千葉市美術館ニュース C'n	51
所蔵品紹介 クリシュナ物語図更紗壁掛	岩永 悦子	エスプラナード	157
平成十九年度博士論文(課程)要旨 織物に見るシルクロードの文化交流 トウルファン出土染織資料—錦綾を中心に	坂本 和子	大阪大学大学院文学研究科紀要	49
平山郁夫シルクロード美術館コレクション 52絹のピロッドのムルサク(コート)	平山美知子	美術の窓	306
特輯MIHO MUSEUM 図版七 サンクスコ絨毯	杉村 棟 国 華		1363

漆 工

中 国

竜瀹存星輪花盆	今井 敦 国 華		1364
特集 工芸史研究の現在 漆工史 東洋漆工芸研究の現在 中国・朝鮮・琉球	小池 富雄	美術フォーラム21	19

日 本

「琉球漆器名品展—美の極み・漆500年—」より		よのつち*	5
牽牛子塚古墳の夾紵棺片—植田兼司氏採集遺物—	植田 兼司 福庭万里子	関西大学博物館紀要	15

「Japan 蒔絵 ― 宮殿を飾る東洋の燦めき―」展を見て	小池 富雄	京都国立博物館だより	162	日本美術のスズメ いろの景 其ノ八 根来 肌合いが生む 塗りの色	島尾 新	美術の窓	315
表紙の言葉『黒漆葵紋菊螺鈿箱』	(岡本)	きよらさ	58	特集 工芸史研究の 現在 漆工史		美術フォーラム21	19
表紙の言葉『黒漆歌螺鈿硯箱』	(岡本)	"	59	「光悦蒔絵」の特質	内田 篤呉		
石山寺蒔絵源氏物語書物筆箱(根津美術館・重要美術品)について―源氏物語書物筆箱の系譜―	小池 富雄	金鯢叢書*	35	未詳の蒔絵師「不尽」について	竹内奈美子		
特輯「民芸」実用篇		国 華	1361	《松浦屏風》の画中資料である硯箱からわかること	近藤利江子		
図版二 黒根来柏紋瓶子	柏木 麻里			鳥浜貝塚出土漆塗り木製品について	櫛部 早瀬	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H20年度
図版三 螺鈿漆絵鍵紋菓子箱	杉山 淳司			物に執して 一一九、一二九	鈴木 皓詞	目の眼	392,399
楼閣山水花鳥螺鈿ナイフアーン	小松 大秀	"	1366	特集 根来 赤×黒対談 一人の目利きによる眼の集大成	田島 白洲	"	398
漆の小箱1 続々と見つかる江戸時代のクロメ鉢	四柳 嘉章	漆芸美術館だより	57	報告 横浜市西ノ谷遺跡出土漆器の科学分析	四柳 坂本	横浜市歴史博物館紀要	13
展覧会評「Japan 蒔絵―宮殿を飾る東洋の燦めき―」展	坂本 満	ジャポニスム研究	29	朝鮮			
柴田是真 幕末・明治に咲いた漆芸の超絶技巧		太陽(別冊)	163	展覧会への誘い「きらめく朝鮮の技―螺鈿漆器と象嵌青磁」展に寄せて	松浦 萌子	高麗美術館館報	82
最後の江戸職人 柴田是真	安村 敏信			石 工			
漆工品 江戸職人の粋と技、ここに極まる	小林 祐子			中 国			
是真漆工品の魅力	小松 大秀			洛陽橋宝篋印塔攷	村上 泰昭	史迹と美術	797
是真の技法	室瀬 和美、 永田 智世 樋渡 賢 変塗手版制作			研究報告 西安碑林博物館所蔵の石造物	今井 晃樹	奈良文化財研究所紀要	2009
漆塗の作業工程について	永田 智世			日 本			
「瀬戸の意茶入」は竹製か!?	高橋 豊			古墳時代村落と石製模造品	早野 浩二	愛知県埋文センター紀要*	10
是真が現代に残した伝統漆芸	室瀬 和美			下北半島尻屋崎の物見台遺跡の彫器について―風韻堂コレクションの旧石器紹介―	齋藤 岳	青森県立郷土館研究紀要	33
日本初公開! エドソンコレクションの粋	小林 祐子			学芸ノート「金足の里」から	嶋田 忠一	秋田県立博物館ニュース	148
是真伝	安村 敏信			飯田下伊那地方の中世五輪塔	岡田 正彦	飯田市美術博物館研究紀要	19
Q&A 蒔絵師 桃枝について教えてください	大橋 俊雄	徳島県立博物館ニュース	74	燈籠百話(3)、(4)	伊吹 順章	春日	81,82
飯島半十郎(虚心)「蒔絵師伝」の成立と漆工研究	高尾 曜	美術史	166	飛騨高山の石燈籠―五つの神社の事例から―	牛丸 岳彦	ミュージアムひだ研究報告*	H20年度

宇治神社宇治市域神社石燈籠調査報告—平野部の神社を中心に—	京都府立大学文学部考古学研究室	京都府立大学文化遺産叢書	1	参宮常夜燈後補記録(後篇)	荒井留五郎	"	"
宇治神社の石燈籠と清水屋次兵衛	東 昇	"	"	関東における題目板碑の諸相	阪田 正一	立正史学	106
宇治神社宇治の常夜燈	鷺田 紀子	"	"	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 碑の小径—歴博中庭への古代碑展示—	阿部 義平	歴 博	155
埼玉の中世石造遺物—五輪塔—鶴ヶ島市脚折善能寺所在の五輪塔の空風輪について—	小野 義信	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	3	特集 石の加工	"	"	"
口絵写真解説 莊厳体釈迦種子板碑(ときがわ町玉川慈眼寺)	四方田 悟	埼玉史談	296	中世石造物の普及をささえた技術	佐藤 亜聖		
口絵写真解説 勢至菩薩真言塔(小鹿野町合角)	四方田 悟	"	298	円礫による石製品の加工—中世後期の未成品から—	佐々木健策		
口絵写真解説 摩利支尊天文字塔(坂戸市浅羽野・土屋神社)	(大)	"	299	江戸の石をきる—伊豆石丁場遺跡—	栗木 崇		
表紙写真解説 慶安四年(一六五一)題目笠塔婆 川島町出丸下郷	四方田 悟	"	297	コラム 港に立つ石塔—長門国油谷二尊院	福島 金治		
表紙写真解説 一字—石経塔 川越市中老袋・薬師堂		"	299	朝 鮮			
近世からの関東々南城の石工たち	中村 守	"	"	傑作／名品 二頭の獅子が支える慈悲の灯り 高達寺跡 双獅子石燈	パク・ギョ ンシク	コリアナ	16-4
大津市域における近世の石工たち	田井中洋介	滋賀県文化財保護協会紀要	22	石 器			
大宰府所在の薩摩塔	井形 進	市史研究ふくおか	4	日 本			
奈良県山辺郡山添村北野・極楽院の石造層塔等について(上)～(下)	辻 俊和	史迹と美術	793～795	千葉県独鈷石・独鈷石形土製品(1)—流山三輪野山貝塚ならびに千葉市内野第1遺跡出土資料等から—	小澤 清男	貝塚博物館紀要	36
浮島十三重石塔と石川五右衛門	加藤 繁生	"	797	筑紫野地峡帯の旧石器	杉原 敏之	九州歴史資料館研究論集	34
特別読物 手水鉢のかたち—手水鉢の流れと加工手水鉢	中根 史郎	淡 交	775	墳墓副葬有茎式磨製石鏃の一考察	大庭 孝夫	"	"
常夜燈にみる善光寺信仰の広がり	黒岩 龍也	長野県立歴史館研究紀要	15	埼玉県文化財収蔵施設保管の石器—荒神脇遺跡出土の石器—	西井 幸雄	埼玉県埋文調査団紀要*	24
特集 日本列島 石の流通史 新発見の板碑石材採石遺跡—下里割谷板碑石材採石遺跡—	高橋 好信	文化財*	548	資料紹介 有舌尖頭器	川合 剛	名古屋博物館だより	189
調査報告 白龍山東覚寺旧蔵の「広群鶴」鐫刻銘入常夜燈		文化財研究紀要	22	石製模造品からみた古墳時代の祭祀	桜井 秀雄	平出博物館ノート	23
宇治橋供養塔について	石井 昭郎	瑞 垣	211	広島県北東部における後期旧石器時代初頭の石器文化について—下本谷遺跡範囲確認調査資料の再検討から—	戸田 正勝 三枝 健二	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	7
				木 竹 工			
				中 国			
				現代中国巧芸事情34 紫檀と円明園	仲 佑樹	書 道 界	233

日 本

〈琴〉の文化史—東アジアの音風景Ⅲ 王朝物語史の音風景 宮廷社会と楽器	豊永 聡美	アジア遊学	126
大阪府出土の木製農耕土木具—弥生時代・古墳時代の鉄鋤類を中心として—	黒須亜希子	大阪文化財研究	34
木製品の再利用—弥生時代・古墳時代の木製品転用に関する覚書—	〃	〃	35
木製品の結合方法—構造琴を中心に—	桃井 宏和	元興寺文化財研究所研究報告	2008
特輯「民芸」実用篇 図版十三 船簞笥 「室」紋	柏木 麻里	国 華	1361
佐賀県における弥生・古墳時代木製品の動向	天本 洋一	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	33
史料紹介 近世近江の太鼓張替史料 墨書銘と請負証文	中島 順子	人間文化	25
伊勢の皇大神宮(内宮)創建の年代—「御船代」から考える—	安本 美典	東アジアの古代文化	137
白絵箱の図様と表現—収納箱の事例から—	小井川 理	彦根城博物館研究紀要	20
資料紹介 井伊家伝来楽器の在銘資料(下)	齋藤 望	〃	〃
東京国立博物館所蔵笠形木製品の研究	鈴木 裕明 ほか	MUSEUM	622
朝 鮮			
「朝鮮の住まいと調度—木工家具にみる美意識」に寄せて	岩城嘉奈子	高麗美術館館報	84
そ の 他			
「五絃」の起源と柱制について	外村 中	古代文化	578
ガラス工			
日 本			
薩摩切子の輝き	土屋 良雄 談 内海 陽子 文・構成 雅美子 碇 聞き手	サントリ ー美術館 ニュース	223

Curator's eye—担当
学芸員が語るワンボ
イント 父・斉彬か
らの形見分け 無職
の薩摩切子大皿

土田ルリ子 〃 〃

日本美術のスズメ
Special まぼろし
の薩摩切子・ぼかし
の妙

美術の窓 307

日本美術のスズメ
いろの景 其ノ三
切子 重ねと削りが
生み出す涼やかなブ
ルー

島尾 新 〃 310

薩摩切子の手彫りで
はない

戸澤 道夫 目の眼 394

萩切子を知れば薩摩
切子が見えてくる

〃 〃 395

薩摩切子展を機に考
えたこと

〃 〃 396

薩摩切子も萩切子も
手彫りである

棚橋 淳二 〃 398

中村製薬館内硝子製
煉所について

中村 憲 黎明館調
査研究報
告 22

そ の 他

特輯MIHO MUSEUM
図版六 獅子頭形杯

東 容子 国 華 1363

その他の工芸・民具

日 本

自在掛

村上 豊隆 国 華 1365

「日本」を語る和紙

柳橋 眞 談
内海 陽子 サントリ
文・構成 ー美術館
碇 雅美子 ニュース
聞き手 226

Curator's eye—担当
学芸員が語るワンボ
イント 描かれた
「折形」に見る日本人
の暮らしと和紙

丹羽理恵子 〃 〃

福岡県の在来鞆—民
具から見た6—7世
紀の福岡県域—

河野 通明 商経論叢 44-1・2

奈良県の在来鞆—大
化改新政府の畿内向
けモデル鞆の復原—

〃 〃 45-1

正倉院伝来の貝製品
と貝殻—ヤコウガイ
を中心に—

木下 尚子 正倉院紀
要 31

通天牙笏小考

菅谷 文則 東アジア
の古代文
化 137

信濃紙文化史(十三)
~(十五)

河野 徳吉 百万塔 132~134

牛角から造られる「角紙」をめぐる一華角工芸展で見た「角紙」及び欧米で考案されたホーンブック—
小林 良生 百万塔 132

所蔵資料目録 浅井家資料目録 菊人形下絵・書画類・補遺編
川口 明代 文京ふるさと歴史館年報 11

お菓子のカタチたち形屋長七「萬形下絵帳」
大坪 潤子 港郷土資料館だより 63

建 築

日 本

木割書に記述される王子造りの技法とその概念について—日本建築の空間表現に関する研究(その1)—
山岸 吉弘 日本建築学会計画系論文集 641

木割書に記述される神社建築の基本的性格とそれより見た王子造りの特性について—日本建築の空間表現に関する研究(その2)—
" " 645

『家屋雑考』の流布と「寝殿造」の定着過程
加藤 悠希 " 646

歴史への招待状 企画展示「日本建築は特異なのか—東アジアの宮殿・寺院・住宅—」
玉井 哲雄 歴 博 154

朝 鮮

研究ノート 朝鮮半島における「古韓尺遺跡」
新井 宏 計量史研究 37

都市・集落

中 国

漢帝都長安の都市計画と造営理念
黄 曉芬 古代文化 577

特集 都市・都城からみる中国 隋唐長安城と世界史の構造
妹尾 達彦 歴史地理教育 741

日 本

謎の古寺“蓮生寺・真慈悲寺・長隆寺”
(大西、斎藤) たまのよこやま 78

新家遺跡古墳時代遺構群についての1、2の感想
入江 正則 大阪文化財研究 34

松原市城連寺地域の条里型地割について
河端 智 " 35

『金沢名所旧跡記』の新出写本について—金沢と鎌倉の近世地誌—(下)
山地 純 金沢文庫研究 322

京北条里と平城京
佐藤 亜聖 元興寺文化財研究所研究報告 2008

宇治の景観認識の変遷について—平等院・茶を中心に—
上杉 和央 京都府立大学文化遺産叢書 1

絵図から読み解く「八幡園町」の景観—林家文書から—
竹中友里代 " "

木津川河床遺跡の研究史
伊野 近富 " "

弥生時代の集落論 独立棟持柱建物と祖霊祭祀
設楽 博己 国立歴史民俗博物館研究報告 149

史料紹介「平安京」城の「水」関係堆積の分布
久世 康博 古代文化 576

下ッ道考—大和における正方位直線道路の成立時期をめぐる検討—
近江 俊秀 " 577

環状盛土遺構を有する遺跡の解釈
高梨 俊夫 千葉県立中央博物館研究報告 22

大会特集I 南九州の地域形成と境界性—都城からの歴史像—問題提起3 古代都城盆地の地域性と境界性
栗山 葉子 地方史研究 340

近世陣屋と町の形態に関する再検討—陸奥国南部を事例として—
土平 博 奈良大学紀要 37

平城宮北方遺跡の調査—第445・447次
国武 貞克 奈良文化財研究所紀要 2009

右京三条一坊八坪の調査—第448次
林 正憲 " "

中世平泉の建物軸方向の特徴からみた市街地形態に関する一考察
磯野 綾穂 日本建築学会計画系論文集 635

冷泉町の中溝 近世京都における中溝と町境の関係からみた長方形街区の形成過程
早見 洋平 " 636

近世京都・町境の諸相 境界装置・街区のかたち・直線か凹凸か
" " 639

萩往還佐々並市・明 木市の空間形成と機 能配置 防長市町の 空間と機能に関する 研究(1)	麻生 宮本	由季 雅明	"	646	講演録 平城宮の成 立と変容	岩永	省三	下関市立 考古博物 館研究紀 要	13
都市平泉の形成一飛 鳥から平泉へ一	前川	佳代	平泉文化 研究年報	9	ミヤドコロ雑考	稲垣	彰	続日本紀 研究	383
発掘最前線 古代の 有力農民の屋敷地? 一高岡市下佐野遺跡 一	越前	慶祐	埋文とや ま	106	建築単位からみた7 世紀末から8世紀初 頭の郡庁院建物遺構 について	室伏	徹	帝京大学 山梨文化 財研究所 研究報告	13
とやま発掘物語17 井口遺跡のころ	酒井	重洋	"	109	研究報告 平城宮跡 第一次大極殿復原一 扁額に関する研究一	速水 窪寺 清水 渡辺	侑子 茂 重敦 晃宏	奈良文化 財研究所 紀要	2009
文献・考古資料から みた出雲国造館	西尾 高屋	克己 茂男	八雲立つ 風土記の 丘	197	研究報告 平城宮跡 大極殿復原一四神彩 色の配置に関する研 究一	窪寺	茂	"	"
奈良・纏向「邪馬台 国」論争に新材料 古代ヤマト見えてき た	竹内 川本	義治 太郎	日 経	11. 11	藤原宮の調査			"	"
朝鮮					朝堂院の調査一第 153次	玉田 ほか	芳英		
18世紀朝鮮の新都市 水原華城の立地に関 する研究一三南大路 との関係を中心の一	金 西垣	炳周 安比古	日本建築 学会計画 系論文集	641	朝堂院東地区・南 面大垣の調査一第 152-7次	木村 加藤	理恵 雅士		
そ の 他					内裏西官衙地区の 調査一第152-6次	豊島	直博		
コー・ケー遺跡群と 「北東地域」をめぐる 議論一カンボジア、 コー・ケー遺跡群の 建築史的再考察(そ の1)一	佐藤 中川	桂 武	日本建築 学会計画 系論文集	639	甘樫丘東麓遺跡の調 査一第151・157次	豊島 石田 由紀 子 丹羽	直博 紀子 崇史	"	"
ディバと砂漠の遺跡 の第1次発掘調査	佐々木達夫		金沢大学 歴史言語 文化学系 論集	1	石神遺跡(第21次)の 調査一第156次	青木 小田 裕樹 石田 由紀子	敬 樹	"	"
イスラエル、テル・ レヘシュ遺跡第3・ 4次調査	巽	善信	天理参考 館報	22	平城宮跡等の調査概 要			"	"
カージャール朝期の テヘラーンにおける バーザール内商業施 設の建築形態に関す る考察	ソレマニエ 貴実也		日本建築 学会計画 系論文集	640	第一次大極殿院回 廊の調査一第431 ・432・436・437 ・438次	大林 森川 和田 今井 国武	潤 実 輔 樹 貞克		
宮殿・官衙					東方官衙地区の調 査一第429・440次	今井 神野 国武 渡辺 大林	晃樹 恵 貞克 宏潤		
中 国					東院南方遺跡の調 査一第434次	山本 森川 今井 島田 大河	崇 実 樹 敏男 内隆之		
研究報告 漢魏洛陽 城・北魏宮城2号門 の発掘調査	城倉	正祥	奈良文化 財研究所 紀要	2009	古代地方官衙政庁城 の空間構成	海野	聡	日本建築 学会計画 系論文集	645
日 本					正倉院宝庫「正倉」の 形態	阿部	弘	仏教芸術	302
「温明殿の成立」補考 一「温明殿」殿号の思 想的背景一	石野	浩司	皇学館大 学神道研 究所紀要	25	そ の 他				
斎王群行の雑舎	畑中	英二	滋賀県文 化財保護 協会紀要	22	阮朝フエ王宮におけ る隆徳殿の寸法計画 について	白井 中川	裕泰 武	日本建築 学会計画 系論文集	643

ベトナム中部地域の
伝統木造建築の部材
番付

林 英昭
中川・レ・ヴィン
・アン

日本建築
学会計画
系論文集

643

宗教建造物

中 国

中国唐代における法
華道場について

小林 順彦

印度学仏
教学研究

119

北京・穀積山三塔と
靈鷲禪寺

松木 民雄

東海大学
国際文化
学部紀要

2

契丹(遼)の立体曼荼
羅—中京大塔初層壁
面の語るもの—

藤原 崇人

仏教史学
研究

52-1

日 本

資料紹介 大須観音
宝生院所蔵「庭儀灌
頂図」について

稲葉 伸道

愛知県史
研究

13

日本と《宋元》の邂逅
—中世に押し寄せた
新潮流

野村 俊一

アジア遊
学

122

栄西の建築造営と
その背景—東大寺
鐘樓の意義をめぐ
って

箱崎 和久

近世東本願寺造営史
研究から見える諸課
題—徳川幕府治世下
の東本願寺造営—

小林 義孝

大阪文化
財研究

34

泉涌寺伽藍にみる
南宋建築文化

浪川 幹夫

鎌倉

108

近世東本願寺造営史
研究から見える諸課
題—徳川幕府治世下
の東本願寺造営—

橋本 虚舟

鎌倉遺文
研究

24

伊達正宗の葬墓(下)
—仏から人へ—

有川 宜博

北九州自
然歴史博
覧会*

6

英勝寺山門と境内諸
堂

梅原 猛

芸術新潮

718

偏界一覽亭

市 大樹

720

鎌倉初期の造東大寺
大勸進と周防国の経
営—行勇期を中心に
—

井上 章一

720

資料紹介『太宰管内
志』所収棟札銘の紹
介

鈴木 嘉吉

720

大特集 大胆歴史ロ
マン 梅原猛が解き
明かす 古代出雲王
朝

市 大樹

720

金堂平成大修理記念
特集 唐招提寺 よ
みがえる天平の甍

市 大樹

720

ドキュメント金堂
大修理 建築編
巨大伽藍の宿命に
挑む

市 大樹

720

唐招提寺から見え
ること、見えない
こと

市 大樹

720

手水作法からみた神
社と露地(茶庭)にお
ける空間構成の類似
に関する考察

浦崎 真一

芸術文化
研究

13

図書館・寺史研究所
だより

華 敏

90

中世における建長寺
方丈について

鈴木 亘

建築史学

52

修復トピックス 重
要文化財 龍福寺本
堂の保存修理工事に
ついて

高橋 好夫

53

興福寺の縁起と聖徳
太子信仰

谷本 啓

古代文化

576

伊勢神宮寺をめぐる
諸問題

山中由紀子

斎宮歴史
博物館研
究紀要

18

多田神社の建築—幕
府造営霊廟を辿る—
(中)、(下)

加藤 繁生

史迹と美
術

791, 792

特集 岩湧寺と光滝
寺の建築と美術(1)
岩湧寺の建築—石川
流域における天王寺
大工の足跡—

東野 良平

宗教文化
研究

4

文化財建造物修理現
場だより

全文連会
報

国宝慈照寺銀閣保
存修理工事につい
て

中尾 正治

72

重要文化財歎喜院
聖天堂保存修理工
事について

内海 勝博

73

真宗寺院勝興寺伽
藍の平成修理

賀古 唯義

74

平等院王朝の美 国
宝鳳凰堂の仏後壁

太陽(別冊) 平等院

頼通の求めた極楽
浄土—平等院をめ
ぐる時と所

村井 康彦

それにしても謎だ
らけ—平等院の建
築

上田 篤

親鸞聖人七百五十回
大遠忌記念 親鸞
平成の大修復完成
御影堂を寿ぐ

親鸞

宮城県登米市中田町
上沼八幡神社の本殿
について

関口 重樹

東北歴史
博物館研
究紀要

10

飛鳥寺の調査 第
152-2・152-3次

次山 淳

奈良文化
財研究所
紀要

2009

飛鳥寺南方の調査—
第152-5次

市 大樹

720

檜隈寺周辺の調査—
第155次

若杉 智宏
関広 尚世
石田由紀子

720

法華寺旧境内の調査 —第430・435・442 次	大林 潤 加藤 雅士 城 正祥 倉 敏男 島 壽生 田 西口	〃	〃	安芸蔽島(伊都岐島) 弥山水精寺の創建に ついて	妹尾 周三	〃	304
興福寺旧境内の調査 —第439・450次	西口 壽生 加藤 雅士 国武 貞克	〃	〃	東大寺法華堂八角二 重壇小考	奥 健夫	〃	306
喜光寺の調査—第 433次	加藤 雅士 今井 晃樹 城 正祥	〃	〃	特集 文化財の保存 と修理		文化財*	553
玉井家蔵「大仏殿再 建記」解説および史 料翻刻 第五回	島津 良子 坂東 俊彦	南都仏教	93	江戸時代前期の浄 土真宗巨大建築の 保存修理—本願寺 大師堂—	白石 悦二		
増上寺山内寺院の職 掌分化からみた建造 物の形式について 増上寺古記録と諸宗 作事図帳より	伊坂 道子 初田 亨	日本建築 学会計画 系論文集	636	桃山時代の装飾豊 かな社殿の保存修 理—大崎八幡宮本 殿・石の間・拝殿 —	武藤 正幸		
近世中期の伊勢神宮 における殿舎の考証 とその意義	加藤 悠希	〃	641	日本最古級の神社 本殿の保存修理— 生和神社末社春日 神社本殿—	菅原 和之		
台徳院霊廟修復記に みる増上寺南廟の様 相 修復に伴う儀式 についての考察と旧 台徳院霊廟惣門の屋 根材仕様変更	伊坂 道子	〃	642	特集 唐招提寺金堂 —平成の大修理—		〃	554
独立型拝所の建築形 式の特徴—若狭地方 の拝所の建築的研究 その1	多米 淑人 吉田 純一	〃	645	総論 唐招提寺金 堂平成大修理の概 要	鈴木 嘉吉		
旧多摩郡における三 間社の歴史的 성격に ついて	白井 裕泰	〃	〃	当初の姿とその後 の変遷	田中 泉		
長崎唐寺の媽祖堂と 祭神について—沿海 「周縁」地域における 信仰の伝播—	二階堂善弘	東アジア 文化交渉 研究	2	構造技法—柱の隅 延び—	山下 秀樹		
四天王寺慶長再建に ついて	木村 展子	美術史論 集	9	年輪年代測定調査 彩色調査	山谷 拓実 大山 明彦		
SPECIAL FEATURE 日本の聖地、再発見 !! 伊勢神宮 GUIDE 2 式年遷宮の心 式年遷宮への道のり	たかぎみ江 川崎 昌平	美術手帖	925	発掘調査	米川 裕治		
ADDITIONAL GUIDE 熊野とは、 何処なのか? なぜ 人々は熊野に向かっ たのか 神と仏の融 和に包まれる		〃	〃	表紙解説 竣工な った唐招提寺金堂	林 良彦		
六所家旧蔵棟札類の 概要	井上 卓哉	富士市立 博物館館 報	H20年度	片岡王寺と尼寺廃寺	東野 治之	文化財学 報	27
阿弥陀堂と九品曼荼 羅—平等院鳳凰堂・ 三千院本堂にあらわ れた密教要素の一解 釈—	富島 義幸	仏教芸術	303	寺院惣社の基礎的 研究—平安時代を中 心として—(後編)	吉澤 陽	文化史学	65
				幕股における建築装 飾の展開と日光東照 宮	北嶋 秀子	文星芸術 大学大学 院研究科 論集	4
				饗土橋姫神社につい て	音羽 悟	瑞 垣	211
				講演 神宮本殿形式 の成立と展開—縄文 時代から現代へ—	宮本長二郎	〃	〃
				東泉院の棟札類と建 築生産活動	建部 恭宣	六所家総 合調査だ より	4
				国史跡金剛峯寺境内 金剛三昧院の発掘調 査	菅原 正明	和歌山県 文化財セ ンター年 報	2008
				開羅神社文化財建造 物の調査	山本 新平	〃	〃

金剛三昧院客殿「持 仏の間」の変遷	下津健太郎	和歌山県 文化財セ ンター年 報	2008	イランの仏教遺跡	入澤 崇	印度学仏 教学研究	119
平城遷都と国家官寺 の移転	大橋 一章	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	54	古代ギリシア都市メ ッセネにおけるアス クレビオス神域の設 計法に関する研究	林田 義伸 伊藤 重剛	日本建築 学会計画 系論文集	636
幻の東照宮分社東本 願寺に 史料から焼 失前の姿よみがえる	森本 俊司	朝 日	3.18	ギリシア古代都市メ ッセネにおけるメッ セネ神殿の周柱の平 面に関する研究	安井 伸顕 伊藤 重剛 林田 義伸	"	638
朝鮮				城郭			
1400年の眠りから覚 めた百済の舍利莊嚴 具 弥勒寺址と弥勒 寺址石塔	キム・ボン ゴン	コリアナ	16-3	日 本			
研究報告 慶州・チ ョクセン遺跡の発掘 調査一日韓発掘調査 交流2008—	青木 敬	奈良文化 財研究所 紀要	2009	城塞的グスクにおけ る聖域の考察	武部 拓磨	よのつち*	5
そ の 他				神奈川の中世城館 (1)	中世プロジ ェクトチ ェム	かながわ の考古学	14
研究報告 カンボデ ィア・西トップ寺院 の調査—第9次—	杉山 洋智 石村 直博 豊島 由似 佐藤	"	"	筑前一嶽城と亀尾城 —国人領主・筑紫氏 の城郭としての視点 から—	岡寺 良	九州歴史 資料館研 究論集	34
研究報告 西トップ 寺院の建築調査— 2008年度の成果—	番 光潤 大林	"	"	九州における近世城 郭石垣の変遷につい て—筑前黒田家関連 城郭石垣にみられる 技術的系譜と画期—	市川 浩文	研究紀要 金沢城研 究	7
イースト・メボンに おける建物の寸法計 画と配置計画との関 係 施工手順からみ た10世紀のクメール 宗教建築における造 営手法の基礎的研究	小島 陽子 桐重 正夫 重枝 豊	日本建築 学会計画 系論文集	635	松山城にみる石垣構 築技術	楠 寛輝	"	"
ブ ラ ン 遺 構(The Prang)の造営尺度 クメール建築の造営 尺度と設計技術に関 する研究(3)	溝口 明則 中川 武桂 佐藤 一太 下田 大輔 古川	"	640	城に見る水口の中世 から近世—美濃部氏 城館・水口岡山城・ 水口城—	木戸 雅寿	滋賀県文 化財保護 協会紀要	22
クメールレンガ造建 築の構造技術の発展 過程に関する研究— ブレ・アンコール期 からアンコール初頭 期(7世紀初頭—10 世紀中葉)のレンガ 造祠堂の出入口上部 を中心として—	チエン ラ タ 正夫 片桐 重枝 豊	"	642	口絵写真解説 高松 城良(うしとら)櫓	中西 亨	史迹と美 術	798
ベトナムのフエ旧外 港集落の天后宮と関 聖殿の調査基礎報告	野間 晴雄 ほか	東アジア 文化交渉 研究	2	小堀遠州「綺麗さ び」のこころ 小堀 遠州の城郭・御殿の 建築と作庭	日向 進	太陽(別冊)	160
中央ガンダーラにお ける仏教寺院の仏塔 基壇の形態と変遷に ついて—ガンダーラ 仏教建築における仏 塔に関する研究 そ の1—	加藤 直子 矢谷 早 増井 正哉	日本建築 学会計画 系論文集	637	シンポジウム「太田 道灌と城館の戦国時 代」		東京都江 戸東京博 物館研究 報告	15
タキシラにおける仏 教寺院の仏塔基壇の 形態と変遷について —ガンダーラ仏教建 築における仏塔に関 する研究 その2—	"	"	640	葛西城と古河公方 足利義氏	谷口 榮		
				「後北条氏の城— 合戦と支配—」に ついて	浅野 晴樹		
				太田道灌と江戸城	齋藤 慎一		
				石神井城跡と練馬 城跡の発掘調査成 果	都築恵美子		
				深大寺城の調査	生田 周治		
				飛鳥・藤原宮跡等の 調査概要 飛鳥地域 等の調査 雷ギヲ山 城の調査—第152— 4次	石田由紀子 小田 裕樹	奈良文化 財研究所 紀要	2009

なんたん文化財めぐり 2 園部城(南丹市園部町)			南丹市立博物館だより	5	汐留遺跡に見る大名屋敷の造成 補遺1 一土留め竹柵・板柵一覽	石崎 俊哉	東京都埋文センター論集*	25
名古屋城大天守宝暦大修理に関する史料と修理計画について	麓加藤	和善香	日本建築学会計画系論文集	638	上東門第と小野宮第に於ける道長・頼通と実資の居所について—その違いの要因—	飯淵 康一	日本建築学会計画系論文集	635
金沢城三階櫓の再建計画に関わる史料の発見と考察	正見増田	泰達男	"	641	近世二条家の屋敷について—近世公家住宅の復古に関する研究1—	藤田 勝也	"	636
黒田官兵衛の城郭・城下町設計に与えた豊臣秀吉の影響	宇土高見	徹志	"	642	京都外縁の町家の農民住宅化—放射線炭素年代測定を用いた瀬川家住宅の再評価—	丸山中尾 俊明七重	"	638
名古屋城大天守宝暦大修理における仮設工事について	加藤麓	由香和善	"	644	京都の町家と江戸時代の保津川の筏	丸山 俊明	"	639
名古屋城大天守宝暦大修理における石垣工事について	麓加藤	和善香	"	645	福岡城御殿の変遷過程—福岡藩御殿に関する建築史的研究その1—	成田宮本 聖雅明	"	640
時評 伏見城跡(桃山陵墓地)の立入調査	山田中井	邦和均	日本史研究	565	江戸時代後期の京都の町家における二条番衆の寄宿形態	丸山 俊明	"	"
丸子城の特徴について	村田 修三	ふちゅへる	"	18	対馬の民家における平柱構法の特性—ホンヤ・ウマヤ・コヤの構法の比較検討—	小林久高 安藤邦廣	"	641
口絵解説 戸室石切丁場の石材採掘坑と金沢城跡の石垣	富田和氣夫	文化財*	"	548	江戸城本丸御殿大奥御殿向における殿舎構成の変遷と空間構成について	服部佐智子 篠野志郎	"	"
特集 日本列島 石の流通史 江戸城石垣石丁場関連遺跡	金子 浩之	"	"	"	近世期の最上川沿い米沢藩御蔵屋敷の空間構成に関する研究	相模 誓雄	"	"
戦国領主と城郭	千田 嘉博	文化財学報	"	27	臨時客の儀式空間—対の南面が用いられる要因—	飯淵 康一	"	642
とっておき埋文講座 城が語る天下統一	"	埋文とやま	"	109	東北地方の民家における主室名称と平面の関係	長田城治 小沢朝江	"	643
小特集「陵墓」問題と歴史学研究 コメント 陵墓と城郭研究	"	歴史学研究	"	857	中世『洛中洛外図』屏風に描かれた民家に関する試論 岩倉型民家の研究(その2)	丸山 俊明	"	644
住 宅 ・ 館					町家の二階建てに関する規制と命令	"	"	645
日 本					金沢藩東岩瀬の御旅屋と富山藩富山城下の本陣について 金沢藩、富山藩の武士休泊施設の研究(その1)	岡田永井 悟康雄	"	646
史料紹介 伊藤友勝家所蔵「天和三年当屋敷請取帳 附元禄七年添地帳共」にみる水戸藩前期の武家屋敷	笹目 礼子	茨城県立歴史館報	"	36	『百鍊抄』に記載される貴族住宅の呼称について	捧 奈緒美	"	"
鎌倉前半期における上層武家住宅の実態と変遷過程	藤田 盟児	建築史学	"	53				
修復トピックス 重要文化財 旧中筋家住宅の保存修理工事について	御船 達雄	"	"	"				
文化財建造物修理現場だより 重要文化財奥家住宅保存修理工事について	片桐 京司	全文連会報	"	71				
小祠にのこる住まいの記憶	森 隆男	阡 陵	"	59				

篠山における町家の形成と周辺農家との関係—大場修氏の「摂丹型町家」概念に対する批判的検討—

黒田 龍二 日本建築学会計画系論文集 646

特集 文化財の保存と修理 能登の大型民家の保存修理—時国家住宅—

小林 裕幸 文化財* 553

重要文化財旧慶光院客殿公開について

高橋 弘幸 瑞 垣 211

そ の 他

伝統的デザイン技術における屋根勾配と平面寸法 ベトナム中部の伝統家屋のデザイン技術の特質(その1)

林 英昭 中川 武 日本建築学会計画系論文集 638
レ・ヴィン・アン

梁行架構組の主要部材の設計 ベトナム中部の伝統家屋のデザイン技術の特質(その2)

" " 642

茶 室

日 本

第16回企画展記念講演録「書院から茶室へ」

中村 昌生 一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2008

小堀遠州「綺麗さび」のこころ 遠州の茶室

" 太陽(別冊) 160

茶の湯の空間—基礎の基礎 亭主の出入口

飯島 照仁 淡 交 784

その他の建造物

日 本

木戸門の控柱の発生時期—江戸時代の京都の木戸門の研究(その5)—

丸山 俊明 日本建築学会計画系論文集 646

特集 石の加工 コラム 九州・鹿児島
の石造アーチ橋

揚村 固 歴 博 155

庭 園

日 本

第3回館長と学ぶ—一乗学アカデミー—
一乗城下町の発掘された庭園を散策しよう

水野 和雄 一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2008

平等院王朝の美 国宝鳳凰堂の仏後壁
仏とともに観想する
景色—平等院阿彌陀堂池庭

小埜 雅章 太陽(別冊) 平等院

資料紹介・研究ノート 御対面所と西御殿—津山藩における大名庭園の展開過程—

乾 貴子 津山弥生の里 16

古代の苑池と王権

荒木 敏夫 東アジアの古代文化 137

講座 庭園史

歴史と地理

古代の庭園

小野 健吉 625

中世の庭園

龍居竹之介 627

近世の庭園

小野 健吉 630

墳 墓

中 国

考古遺跡・遺物からみた遼東郡 遼陽・瀋陽地域の後漢・魏・晋墓と副葬土器の基礎編年

石川 岳彦 国立歴史民俗博物館研究報告 151

特輯MIHO MUSEUM MIHO MUSEUM所蔵中国北朝石槨屏門闕の様式淵源と復元試論

稲垣 肇 国 華 1363

中国北朝石製葬具の発達とMIHO MUSEUM 石槨園屏門闕の復元試論

" MIHO MUSEUM 研究紀要 9

日 本

箸墓古墳は卑弥呼の墓か

藤田 憲司 大阪府立近つ飛鳥博物館館報 12

神領10号墳発掘調査3—大隅のフィールド調査—

橋本 達也 鹿児島大学総合研究博物館ニュース* 22

群馬県における7世紀型群集墳の一考察

三浦茂三郎 群馬県立歴史博物館紀要 30

関東の終末期古墳

土生田純之 考古学雑誌 93-1

桃花原古墳と羽生田古墳群

君島 利行 " "

装飾古墳の変遷と意義 霊魂観の成立をめぐって

広瀬 和雄 国立歴史民俗博物館研究報告 152

渡来人の墓—志賀古墳群と一須賀古墳群—

堀 真人 滋賀県文化財保護協会紀要 22

小特集 近江の横穴式石室実測調査報告

辻川 哲朗 重田 勉 真人 " "

縄文時代の木棺墓— 下関市御堂遺跡例の 検討—(上)	澤下 孝信	下関市立 考古博物 館研究紀 要	13
後佐保山陵覚書	西本 昌弘	続日本紀 研究	382
藤井寺陵墓参考地 における地中探査報告	陵墓調査室	書陵部紀 要	60
聖徳太子 磯長墓の 墳丘・結界石および 御霊屋内調査報告	"	"	"
来目皇子 埴生岡上 墓の墳丘外形調査報 告	"	"	"
来目皇子 埴生岡上 墓外堤南面にみられ た遺構について	奥田 尚	"	"
平成19年度 陵墓関 係調査報告	陵墓調査室	"	"
高松塚古墳の調査— 第154次	廣瀬 覚	奈良文化 財研究所 紀要	2009
律令期葬制の成立過 程—「大化薄葬令」の 再検討を中心に—	高橋 照彦	日本史研 究	559
口絵解説 加賀藩主 前田家墓所(前田利 長墓所)	栗山 雅夫	文化財*	545
特集 日本列島 石 の流通史 大王墓石 棺の工房—馬門石石 切場跡の調査—	高木 恭二 藤本 貴仁	"	548
小特集 「陵墓」問題 と歴史学研究 律令 期陵墓と大形前方後 円墳の相関	今尾 文昭	歴史学研 究	857
特集 前方後円墳		歴 博	157
前方後円墳とはな にか	広瀬 和雄		
東北の前方後円墳 —古墳時代の北縁 と続縄文文化	藤沢 敦		
九州の前方後円墳 —岩戸山古墳と筑 紫国造磐井—	宮元 香織		
朝鮮半島の前方後 円墳をながめる視 点	上野 祥史		
和歌山市井辺前山36 号墳について	植田 法彦 前田 敬彦	和歌山市 立博物館 研究紀要	23
楽浪・帯方郡埴室墓 の再検討 埴室墓の 分類・編年・および 諸問題の考察	高久 健二	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	151
観音松古墳の研究 1 墳丘及び墳丘外施設 の復元	安藤 広道	史 学	78-4

建造部材など

日 本

斗拱からみた高倉寺 観音堂の特徴につい て—関東地方におけ る中世禅宗様仏堂の 位置づけ—	坂本 忠規	入間市博 物館紀要	8
シンポジウム「江戸 城と金沢城の御殿」 報告要旨「幕府造営 の御殿の構造と装飾 —彫物を中心に—」	伊東 龍一	研究紀要 金沢城研 究	7
古代の「根焼き」につ いて	李 陽浩	建築史学	53
研究報告 茨木城出 土箆欄間について	黒坂 貴裕	奈良文化 財研究所 紀要	2009

建築に付随するその他

中 国

中国古典建築書『工 程做法則例』におけ る「挑金・溜金斗科」 「壹斗貳升交麻葉斗 科」「壹斗叁升斗科」 「參滴水品字斗科」 「内裏棋盤板上安裝 品字科」「隔架科」の 設計技法	陳 麗 新 和善	日本建築 学会計画 系論文集	636
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	----------------------	-----

日 本

金沢市内の凝灰岩石 工道具調査報告—戸 室石工道具の比較—	布尾 幸恵	研究紀要 金沢城研 究	7
資料紹介 全国穴太 ・石垣関係史料Ⅱ	白峰 旬	"	"
鋸鍛冶「中屋久作」に ついて	星野 欣也 船曳 悦子	竹中大工 道具館研 究紀要	20
建築部材刃痕にみる 古代の鑿の形状と工 作技術	植村 昌子	"	"
禅宗様斗拱の設計方 法について—『鎌倉 造営名目』における 斗拱木割の特質 そ の3—	坂本 忠規	日本建築 学会計画 系論文集	635
非六枝掛建築におけ る垂木割と三斗組の 寸法関係について	濱田 晋一 櫻井 敏雄 麓 和善	"	638
頭工と頭代の系譜に ついて—16—17世紀 における伊勢神宮の 工匠組織に関する研 究 その1—	浜島 一成 片桐 正夫	"	643

平成21年定期刊行物所載文献(古／建築)

近世相模国大山寺普請の内容的特質と明王太郎の行動及び役割について 山岸 吉弘 日本建築学会計画系論文集 644

飛騨国の番所普請に関する木取仕様帳について 江戸時代における建築寿命の実態 中村 琢巳 〃 646

朝鮮

高麗末期から朝鮮建国期における僧徒と建築技術 加藤 裕人 朝鮮学報 211

近 現 代 美 術

絵 画

一 般

絵画を問う一座談会 の後で	谷 新	aica JAPAN	10
絵画はいまどこに	水沢 勉	" "	" "
絵画棒論—絵画的知 性の擁護のために	峯村 敏明	" "	" "
実態は手法に	平井 亮一	" "	" "
キミ子方式と油彩肖 像画—方式の応用に 関する考察—	松本 明彦	愛知教育 大学研究 報告	58
伝統への彷徨[まよ い]	黄 欣	京都精華 大学紀要	35
絵画制作における3 DCGの有効性につ いての一考察	星 美加	芸術学研 究(筑波)	13
新美術時評「書画 の世界」について思 うこと	島尾 新	新美術新 聞	1173
抽象絵画を楽しむ— “分かる”ための入門—	瀬尾 千秋	PATIO	27
巻頭特集 今こそ裸 婦デッサンをもう一 度 ④技法講座VOL. 14 人体を描くには、 まず中身から		美術の窓	304
特集 物質性／マテ リアリティの可能性 擬写真論—肖像写真 の転生	佐藤 守弘	美術フォ ーラム21	20
1900年代から1920年 代の絵葉書アルバム 考	三浦 泰之	北海道開 拓記念館 研究紀要	37
花の心髄人の核心十 選 1～10	丸山 健二	日 経	8.20、21、 24、25、 27、28、 31、9.1、 3、4
赤ずきん絵本十選 1 ～10	松岡希代子	" "	12.15～ 18、21、 22、24、 25、28、29
明日へ 絵本を広め る 1～3	鳥居 晴美	読売夕刊	3.18、19、 23
日 本			
「本邦挿画家大番付」 (昭和十三年・井上 弥太郎作)	岩切信一郎	一 寸	40
戦争を考える絵本— 自らの制作に向けて—	五島 優	芸術学学 報	15

日本画制作における 麻紙の特性	守屋重矢子	芸術学研 究(筑波)	13
日本画における膠の 可能性	福田喜美子	" "	" "
特集 続・絵画を読 み解く—文学との融 合—近代の絵と文学 の融合—家庭小説の 挿絵と服飾—菊池幽 芳の「己が罪」と「乳 姉妹」	根本 由香	国文学解 釈と鑑賞	936
「絵画の庭」へのプレ リュード—一九九五 年という分水嶺	林 洋子	国立国際 美術館ニ ューズ	175
絵画の庭であそぶコ ツ	住吉 智恵	" "	" "
特輯 幕末維新期の 絵画—狩野派を中心 に—近代日本画の成 立—脱狩野派の諸相	古田 亮 国 華		1370
時評 2 日本画再考	加藤 類子	視覚の現 場 四季 の綻び	2
調査研究から 1 越 佐の画人たち	神林 恒道	" "	3
展覧会から 9 「絵 画の庭—ゼロ年代日 本の地平から」展、 目下準備中	島 敦彦	" "	" "
新収資料紹介 鈴木 コレクション(おも ちゃ絵・絵双六)	柿崎 博孝	S H U	32
中特集 現代の水墨 画2009 水墨表現の 現在地点	八木 宏昌	趣味の水 墨画	239
特集 水墨画の未来 へ—若手作家の自由 で豊かな表現	立島 恵	" "	243
西洋との出会い—渡 欧画家たちの作品に 見る裸体画	三浦 篤	太陽(別冊)	158
裸婦にふさわしい場 をさがして	山梨絵美子	" "	" "
コラム 男性の裸体	" "	" "	" "
コラム “ヘソ”から 眺める日本の裸婦	河田 明久	" "	" "
情感とエロティシズ ムの表出あるいは、 造形の実験	蔵屋 美香	" "	" "
コラム 浴場の湿り、 裸体の翳り	安村 敏信	" "	" "
日本画にみる裸婦	中村 麗子	" "	" "
コラム 刺青と裸体 芸術	宮下規久朗	" "	" "
日本の油絵の独自性 に向かって	児島 薫	" "	" "
コラム 女性画家と 裸婦	" "	" "	" "

Recommend Book
『1980年代のポップ・イラストレーション』

資料紹介 都幾山慈光寺所蔵近世近代絵画

女学生と「乙女」絵葉書

絵画的傾向を持つ大正・昭和初期の図案科卒業制作について

研究資料 珊瑚会資料集(補遺その二)

視点 生誕一〇〇年記念 太宰治と美術—故郷と自画像—

PREVIEW 21世紀・絵画・手の表現 手にこだわった14人の表現

新十津川町開拓記念館所蔵「玉置神社奉祀之景」絵馬の意義—その描かれ方と神社の立地をめぐる—

仮想世界 細密に描写「ネオ若冲」発表相次ぐ

美の季想 秋田発祥の蘭画 伝統と西洋画法を融合

「李王家の至宝」開封ソウルで「日本近代西洋画」展

文化往来 失われた記憶掘り起こした「新人画会展」

一世風靡の女十選 1～10

色ものがたり4「映画」看板昭和の輝き泥絵の具で懐かしさ演出

海外

翻訳 ヨーロッパにおける素描の歴史と技法(1)

翻訳 フレスコ画の技法と剥離処置

大城 譲司 デザインの現場 164

藤元 裕二 哲学会誌 33

山田 俊幸 帝塚山学院大学研究論集 44

島津 京 東京芸術大学大学美術館年報 H19年度

菊屋 吉生、塩谷 純 編 美術研究 398

鷹山ひばり 美術の窓 311

加藤 貞雄 " 313

池田 貴夫 北海道開拓記念館研究紀要 37

大西 若人 朝 日 1.14

高階 秀爾 朝日夕刊 11.25

稲葉 千寿 東京夕刊 1.9

日 経 1.6

勅使河原純 " 6.29、30、7.2、3、6、7、9、10、13、14

田中 洋史 読 売 3.20

シャルル・ド・トルナイ 森田 義之、上月 裕子 訳 五浦論叢 16

ウーゴ・ブロカッチ 森田 義之、鳥海 秀実 訳 " "

蠟人形・銅像・肖像画—中国近代における身体と政治の関係についての覚書(4)—

ウフィツィ・ギャラリー—東廊下天井装飾グロテスク文様の図像解釈

油彩風景スケッチの発展とローマのフランス・アカデミー

18世紀フランスにおける連作装飾画にみる絵画観の変化

15世紀フィレンツェにおけるタブロー画の成立—額縁との関連を中心に—

ローマのサンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂バオリーナ礼拝堂装飾の様式論的考察

描かれたリソルジメント—近代イタリアにおける英雄像の二つの流れ—

気になることども《親指の聖母》への幻想

壁画の国を訪ねてメキシコ 風景に溶け込む芸術

トレチャコフだより視線が交錯する楽しみ

漫画・アニメーション

一般

複製芸術としてのマンガ—視覚メディアにおけるキャラ表現の考察—

マンガ言語世界は(子ども)をどのように表現し得るか—(子ども)固有の実存の〈かなしさ〉を描くことについて—

「クール・ジャパン」の正体(中)—「カワイイ」の罫—

MANGA 研究家も熱狂 21世紀カルチャーを刺激する歌川国芳、ロンドンに見参

文学としてのマンガ 8—文学の新しい定義について—

遊佐 徹 岡山大学文学部紀要 51

和田 咲子 鹿島美術財団年報・別冊 26

小針由紀隆 " "

太田 みき " "

長谷川純子 " "

新保 淳乃 " "

尾崎有紀子 " "

森 雅彦 西洋美術研究 15

庭田 学 毎日 9.23

山下 裕二 毎日夕刊 5.9

可児 洋介 学習院大学人文学部論集 18

井上 康 京都精華大学紀要 35

沼田 知加 共立女子大学文芸学部紀要 55

前橋 重二 芸術新潮 714

山田 利博 宮崎大学教育文化学部紀要 20

日韓の感性が融合
共同制作のアニメ始
動 草下 健夫 産 経 7.25

練馬区と仏アヌシー
市、周辺自治体が協
定 アニメで産業交
流 田村 彰子 毎 日 4.30

マンガ50年 新しい
種2 留学生母国で
産業化志向 佐藤 憲一 読 売 1.21

日本の活力 最前線
は今2 マンガの聖
地へ夢描く " 1.29

スキャンレーション
無断翻訳マンガ横行
ネットに無数対応後
手 佐藤 憲一 " 8.18

日 本

亡霊の政治とコミュ
ニケーション—劇場
版『機動戦士Zガン
ダム』論 西田谷 洋 愛知教育
大学研究
報告 58

サイボーグ漫画のア
ニメ化に見る漫画作
品の受容と消費 足立 加勇 学習院大
学人文科
学論集 18

世代とライフコース
から見たマンガ文化
成立の意義(上) 中西 茂行 金沢学院
大学紀要* 7

滲む汗、溢れる墨、
熱血青春書道漫画。 橋本 麻里 芸術新潮 710

ライオンのごとく来
たり。将棋マンガ、
百花繚乱の春 " " 711

あそぶ ポニョを動
かす! 編 集 部 " 716

特集 続・絵画を読
み解く—文学との融
合 国文学解
釈と鑑賞 936

近代の絵と文学の
融合 漫画と児童
文学 竹内オサム

近代の絵と文学の
融合 近・現代小
説の漫画化・マン
ガ化 清水 勲

日本漫画史—近現
代(明治—現代) 中野渡淳一

FEATURE アニメ
ーション界で活躍す
る卒業生 た ま び 52

研究論文 戦前のア
ート・アニメーション
—アマチュア映画
作家のアニメーション
を巡る状況について 西村 智弘 多摩美術
大学研究
紀要 23

アニメーションの日
本表現 桑原 圭裕 美学論究 24

連載 エジソンを生
まない国6 漫画ば
かり読んでいると、
こんな大人になる 林 信吾 百 科* 556

マンガは世界革命を
目指すのか?—平岡
正明『昭和マンガ家
伝説』をめぐる 高取 英 " 558

われ発見せり ガン
ダムというしなやか
な柱 箭本 進一 ユリイカ 566

マンガ 強まる地域
色 小川 雪 朝 日 3.10

社説 マンガ・アニ
メ 新発想で大胆な
振興策を " 10.1

あるときアニメが変
わった 1981年新宿
で「アニメ新世紀宣
言」 小原 篤 " 10.17

すごいぞ日本 ファ
イル XII 創造力は
想像力1、2、4、
5 堀 晃和 産 経 1.17、18、
20、21

マンガアーカイブ
明治大学が設立へ " 10.23

「トキワ荘のヒーロ
ー」再び " 10.24

夢中……漫画14万冊
米沢嘉博記念図書館 " 11.1

テレ東アニメ「アニ
メ局」発足 半年
「土壌広がる」制作現
場も熱視線 三宅 陽子 " 12.5

週刊少年マンガ雑誌
の50年 民主主義の
象徴 ネット世代対
応が分岐点に 細萱 敦 東京夕刊 1.20

大波小波 漫画を散
逸させないために (ヨネヤン) " 2.7

マガジン・サンデー
50歳 日本の漫画文
化けん引 娯楽多様
化、陰りも " 3.14

漫画雑誌の明るいま
来誓う「サンデー」
「マガジン」創刊50周
年「大同窓会」 栗原 淳 " 3.26

大波小波 マンガの
マイノリティに光 (国際漫画) " 5.15

文化往来 低賃金、
アニメ界の先行きを
不安視 日 経 6.18

個展や画集出版に脚
光 漫画家の絵 美
術に昇華 諸岡 良宣 日経夕刊 5.11

マンガの時代 川内
康範作・桑田次郎画
「月光仮面」(1958年) 竹内オサム " 8.26

くらしナビ楽しむ Amusement 繊細 さ受けたマンガ「も う一つの日本」にも 興味	細川 貴代	毎 日	1.1	文化往来 可能性求 め続けるピクサーの アニメ作り		日 経	11.17
東京見聞録「トキ ワ荘」漫画家の卵 に密着 4畳半に詰 まった夢と不安	川崎 桂吾	"	2.19	日本の心「ATOM」に 注入「アトム」ハリ ウッドで生まれ変わ る	白木 緑	日経夕刊	9.7
アニメ、マンガ「ク ールジャパン」浸透		"	2.24	エストニアのアニメ 特集 38作品まとめ て上映 15日からラ ピュタ阿佐ヶ谷で 不条理なユーモア満 載	小林多美子	毎 日	3.5
「トキワ荘」近く 記 念碑除幕式 漫画の 聖地 思い寄せ	田村 彰子	"	4.5	心優しい科学の子 米で復活		"	10.21
マンガ界の「主役」中 高年層を狙え「ア トム」リメイク、帰 ってきた「ジョー」	太田阿利佐	"	4.27	マンガ50年 新しい 種3 米国版「ジャ ンプ」がクール	佐藤 憲一	読 売	1.22
知りたい! 劇画50 年 進む復刻 団塊 が支持	内藤麻里子 坂巻 士朗	"	6.1	版 画			
殿堂より育成を 人 材難 低賃金…苦境 アニメ業界	佐々木宏之	"	6.29	一 般			
「坂道のアポロン」 60年代青春漫画とジ ャズがコラボ	川崎 浩	毎日夕刊	10.20	変容する「版」—II 凹版における刷りの 可能性について(K KHにおける研修を 中心に)	田島 直樹	筑波大学 芸術研究 報告	53
マンガ50年		読 売		版画の買い方 最終 回 版画を長く楽し むためのコツ	友澤 宏子	版画芸術	143
少年週刊誌誕生1 ~4	小梶 勝男 市原 尚士		3.17~20	日 本			
「王者」の伝説2~ 4	市原 尚士		4.29~ 5.1	実地明細絵図から読 み解く明治の青森	安田 道	青森県立 郷土館研 究紀要	33
ジャンプ3、4	川村 律文		7.30、31	版元・佐藤章太郎の 出版一京都からの新 版画運動—	岩切信一郎	一 寸	39
少女漫画革命1、 2、4	西田 朋子		8.24、25、 28	収書から散書へ 銅 ・石版画遺聞34『万 国綱鑑録和解』東京 名家繁昌図録 式編』 など	森 登	"	"
燃えよ! スポーツ 4	片山 一弘		11.20	並べてうたかたなる —印刷資料諸々	森 仁史	"	"
サブカルチャー季評 2009 アニメの殿堂 議論の不毛	奥野 卓司	読売夕刊	7.11	薔薇楼蔵梓の顔末 銅・石版画遺聞35 『驚濤駭児回島記』と 『造化機論』	森 登	"	40
海 外				北海道版画協会創立 50周年記念展「北 の版画の揺りかご」 —歴史と現在を182 点で展覧	佐藤 友哉	新美術新 聞	1196
このアニメ、全部見 たい		芸術新潮	709	『日本大観京都巻』所 収、三間印刷所の広 告	中谷 哲二	天理参考 館報	22
PARIS 発 マンガと 美術の関係	安部 雅延	新美術新 聞	1175	メディアとしての近 代版画史 第1回 錦絵新聞—浮世絵が ニューメディアにな った!?	岩切信一郎	版画芸術	146
クロアチアの歴史 とアニメーション— クロアチアの人々 の心性とザグレブ派 アニメーションの変 遷	越村 勲	東京造形 大学研究 報	別冊8				
「鉄腕アトム」ハリウ ッドが映画化 世界 へ飛び立つ 日本の ATOM	戸津井康之	産 経	9.21				

よみがえる浮世絵 うるわしき大正新版 画展 郷愁への誘い	芳賀 徹	朝日夕刊	9.15
モダン浮世絵 古典 から漫画まで 江戸 の職人技絶やさぬ	吉田 薫	東京	7.30
海外所蔵の日本の染 型紙の調査研究—ド レスデンを中心に	柚花 文 田所 政江	目の眼	388
ピックアップ ペト ナム版画の豊かな世 界			

写真・映像

一般

写真についての考察	田口 真以	華頂博物 館学研究	16
映像断片の継時的群 化に関わる「アクシ ョン」の効果	井上 貢一 脇山 真治	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	40
特集1 ヴィデオを 待ちながら一映像、 60年代から今日へ		現代の眼	575
「ヴィデオを待ち ながら」を待ちなが ら	野々村文宏		
とぼける身体	伊藤 亜紗		
調査研究から4 報 道写真の修辞学—二 条城一件	岸 文和	視覚の現 場 四季 の綻び	2
特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コ ミュニケーションの 新次元! COLUMN 「映像」の過去・現 在・未来をめぐって	岡村 恵子	STUDIO VOICE	398
純粹映像 試論	井上 幸穂	東京芸術 大学美術 学部論叢	5
銀塩写真なんて怖く ない? 銀塩写真の 技術進化と写真文化 への貢献	山田 誠 大塚 秀一	日本画像 学会誌	182
写真コレクションを 始めよう 第3回 ヴィンテージ・プリ ントとモダン・プリ ントはどう違う?	秋田 真波	版画芸術	143
例会・研究発表要旨 東部会 平成二一年 度第二回例会 単一 瞬間、単一焦点—或 るメタ写真によって 解明される写真的知 覚構造	内野 博子	美学	235
写真対談:後藤繁雄 ×竹内万里子 写真 は新たなアートマー ケットを拓けるか	山内 宏泰 構成	美術手帖	927

INFORMATION
FESTIVAL ヨコハ
マで開催!新しい映
像祭 映画祭・美術
展の枠組みを超えた
フェスティバル「ヨ
コハマ国際映像祭
2009」開幕!

現代美術の歩き方
異論反論・現代美術
東京都写真美術館に
て恵比寿映像祭開幕
“映像体験の新次元”

1910年日英博覧会に
おけるアイヌ展示—
ハンマースミスとフ
ルハム文書館および
地域歴史センターに
おける写真資料を中
心に—

写真の今と「写真展」
というありかた 写
真の感—写真展的
10年試論

映像の「外側」何を見
る ヨコハマ国際祭
展示・上映会で問う

最新の3D映画 立
体感が向上「体感
する映像」革命起こ
せるか

喜劇王の秘蔵写真
400枚 京都で来月
公開

日本

近代日本仏教におけ
る異文化情報の受容
と発信—青木文教撮
影チベット写真資料
を中心に—

「横浜写真」研究

サブ特集 今こそ、
日本のフォトアー
ト!

「名所絵葉書」と郷土
へのまなざし—地域
博物館所蔵絵葉書の
整理にむけて—

文久二年遣欧使節団
関係古写真の年次的
研究

その一—在蘭古写
真コレクションを
中心にして—

その二—プロシア
滞在時の写真を中
心にして—

島貫 泰介 〃 930

岡村 恵子 美術の窓 305

宮武 公夫 北海道開
拓記念館
研究紀要 37

清水 有 ミルフイ
ユ 1

大西 若人 朝日夕刊 11.18

関原のり子 日経夕刊 3.24

読売夕刊 2.21

高本 康子 印度学仏
教学研究 119

林 みさき 鹿島美術
財団年報
・別冊 26

ギャラリ
ー 293

萩谷 良太 土浦市立
博物館紀
要 19

谷 昭佳 東大画像
史料解析
センター
通信 44

47

Sweet&Bitter：日本の(女の子写真)をめぐる考察	中村 浩美	東京都写真美術館 紀要	8	貴重フィルム発掘、公開 初の重文作、幻の国策映画…		読売夕刊	4. 17
史料としての写真絵葉書	田中 傑	非文字資料研究	21	海 外			
写真の今と「写真展」というありかた		ミルフィユ	1	蠟人形・銅像・肖像画—中国近代における身体と政治の関係についての覚書(5)—	遊佐 徹	岡山大学文学部紀要	52
写真を対象として見ない。それは初源的に私の内部に入っています。	石原 悦郎			第六十回美学会全国大会報告 発表要旨 チャールズ・ダーウィンの写真術—『人及び動物の情動表現』(一八七二)についての写真史的考察—	鈴木 恒平 美 学		235
印刷から展示へ—美術館での写真展示の20年	飯沢耕太郎			特集 物質性／マテリアリティの可能性 物としての写真／写真としての物	前川 修	美術フォーラム21	20
美の履歴書110 なぜ仏像に登っている「鎌倉の大仏」 撮影者不詳	大西 若人	朝日夕刊	6. 10	写真または他者の映像	北山 研二	ヨーロッパ文化研究	28
「写真集に方程式はない」赤々舎代表の姫野希美さん	篠原 知存	産 経	10. 25	視線 作家の家 創作の現場を訪ねて F・ブレモリ＝ドレー文、E・レナード写真、鹿島茂監訳、博多かおる訳	村山 由佳 朝 日		3. 15
暮らしを記録する 広がる写真保存運動	佐野 眞一	東京夕刊	4. 13	視線 アポロ11号 月面着陸から現代へ ビアーズ・ビゾニー著、日暮雅通訳	サエキけん ぞう		8. 2
育つ 市民の映像文化 「東京ビデオフェス」31年で幕、審査通し一翼担う	大林 宣彦	日 経	4. 8	視線 MICHAEL 1958—2009 「ライフ」誌特別編集、富原まさ江ほか訳			10. 11
墨色 日本の山 山岳写真同人四季著		"	4. 12	彫刻・空間表現			
文化往来 フィルムセンター所蔵作品、京都で定期上映		"	5. 8	一 般			
フロントライン 映像文化の批評誌創刊		"	8. 9	特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向—		ギャラリー	292
フロントライン 落語家の写真集をシリーズで		"	8. 16	多くの視点で捉えた現代の立体作家たち			
知りたい！ 映像のスローフード 銀塩写真を守れ プロが魅力アピール	岸 桂子	毎 日	1. 10	どう見る立体の動向	田中 譲 談		
『百舌鳥古墳群の陵墓古写真集』刊行 厳肅に装われていく変容 仁徳天皇陵で鮮明に	伊藤 和史	毎日夕刊	4. 30	特集 近代の彫刻・立体 明治廿二年伊国彫刻展覧会について 模刻による初めてのイタリア彫刻展	石井 元章	近代画説	18
写真文化の発信を狙い10日にシンポジウム「写真祭さがみはら」	高橋 咲子	"	10. 8	インスタレーション・アートの歴史化の(不)可能性—ミニマリズムにおける脱歴史の後に—	河合 大介	成城美学美術史	15
アート、映画に収まらぬ「映像祭」	前田 恭二	読 売	2. 16				
赤々舎から木村伊兵衛賞続々 写真家を機動力で発掘 リクルートの「1 WALL」展 公募賞面接で本気度チェック	高野 清見	"	3. 19				

GPSシステムを使った時間同期インスタレーションプロジェクト2008 野上 文天 東北芸術工科大学紀要 16

特集 物質性／マテリアリティの可能性 石膏像小史—起源と変容 金井 直 美術フォーラム21 20

世界近代彫刻シンポジウムの成立—東京オリンピックを背景とした野外彫刻運動の推進— 柴田 葵 文化資源学 7

日 本

口絵写真解説 ダイビルの装飾彫刻について 加藤 繁生 史迹と美術 795

街角アート 星野 清一 新美術新聞

天神さんと牛 1172

手で見る野外彫刻 1183

鎌倉大仏だってイケメンである 1188

明治は近くなりにつけり 1199

彫刻の風景—松本白樺工芸の山付登山人形について— 岸田 恵理 長野県立歴史館研究紀要 15

《八紘之基柱》の図像プログラム 千葉 慶 美術史 166

第六十二回全国大会研究発表要旨 近代日本における彫刻概念の形成過程—ラグーザと工部美術学校の彫刻教育の検証— 福江 良純 167

INFORMATION BOOK 銅像写真集が復刻 モニュメントに見る国家とパブリックの変遷 編集部 美術手帖 928

特集 物質性／マテリアリティの可能性 その後の井伊直弼銅像 木下 直之 美術フォーラム21 20

松井石根と興亜観音 山田 雄司 三重大史学 9

彩・美・風 秘仏の霊力 瀬戸内寂聴 朝日夕刊 4.1

工事現場は“動物園” 千葉 アートで困い彩り 浅田 晃弘 東京 10.22

遠みち近みち—偉人の功業と芸術の極致 安岡 崇志 日 経 9.13

鉄の町をアートの街に 北九州に国際的現代美術家の作品、20年来支援 小嶋 一碩 12.22

広角鋭角 仏像のまわりで5 フィギュアの世界でも 森田原 均 日経夕刊 11.12

建立史で見る近代日本 銅像700体の写真集復刻 神話・皇族から実業家へ題材変遷 高野 清見 読 売 7.16

海 外

from the World 国際パブリックアート・プロジェクト「コロッサル」—2000年 前の戦いの跡で 小町 英恵 A X I S 142

おぞましくもおそろべき 蠟細工の超絶テクニック 19世紀の人体標本ワールド 前橋 重二 芸術新潮 718

工 芸

一 般

平成20年度 金沢学院大学「公開講座」第III部 美術文化学部公開講座の概要 B部：情報デザイン学科主催 第6回 情報デザインシンポジウム 概要 テーマ：形の発する情報 高屋喜久子 金沢学院大学紀要* 7

海外所蔵の日本の染型紙の調査研究—ドレスデンを中心に 池田 祐子 京都国立近代美術館研究論集 2

作品研究 アメリカにおける「日本近代陶芸」の概念形成—浜田と魯山人の優位性 メガン・ジョーンズ 現代の眼 575

ウィロウパターン・ストーリー 岡 泰正 神戸市立博物館研究紀要 25

特集 工芸史研究の現在 19近代工芸 野蛮の復権—一九九〇年代以降の工芸 樋田 豊郎 美術フォーラム21 19

短期集中連載 第1回～最終回 オールド・ノリタケに描かれた美人画 井谷 善恵 目の眼 395～397

アンティーク・ジュエリー 397別冊

ハリウッドスターやセレブも愛する オールドカットダイヤモンド 田中 愛

“バレリーナ”とバレエ“ジュエルズ” 戸井田正己

コスチューム・ジュエリーのエレガントな装い 今、なぜコスチューム・ジュエリーなのか?	中村みゆき	目の眼	397別冊	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 コラム03 輪島に吹く新しい風	猪飼 尚司	デザインの現場	163
人形とその時代6 人形の交流	岩井 映子	"	"	VII 論文 伝統工芸産地の時空間メタボリズムに関する研究 その稿2: 沖縄の工芸文化II(陶器、漆器)	石井 廣志	東京家政学院生活文化博物館年報	19
特集 民芸という美の見かた 美を見抜く眼は、直観によって啓かれる	水尾比呂志 河野 元昭	"	397	陶磁デザインを視野に入れる—今後の陶磁協会に期待すること	外館 和子	陶 説	670
日本 匠のかたち 型染	石黒 知子	A X I S	139	館蔵品紹介 紅地雀稲穂秋草模様振袖	水上嘉代子	遠山記念館だより	37
熟練技術の伝承支援に向けて—漆器の上塗り工程の分析—	菅谷 克行 上野恵美子	茨城大学 人文学部 紀要人文 コミュニ ケーション 学科論 集	7	『着物柄にみる戦争』の後で	乾 淑子	美術運動史研究会 ニュース	99
黒織部茶碗に関する一試論—木村定三コレクションを中心として—	荒川 正明	木村定三 コレクシ ョン研究 紀要	2008年度	INFORMATION EVENT 茶の湯ってなんだろう? 美濃・京都の陶芸作家たちが作品を持ち寄り一座建立	沢田眉香子	美術手帖	917
特集2 現代工芸への視点—装飾の力 装飾の力—大学の「やきもの」から—	森野 彰人	現代の眼	578	日本美術のスズメ 今月の逸品 牙彫果物/無銘	村田 理如	美術の窓	314
調査研究から1「大阪にも工芸があったのか」	宮島 久雄	視覚の現場 四季の綻び	1	特集 工芸史研究の現在		美術フォーラム21	19
正倉院宝物関連資料紹介 東京国立博物館所蔵木漆工模造品	西川 明彦	正倉院紀要	31	15近代工芸 隠喩としての漆絵—蒔絵研究の現在が示唆する可能性	稲賀 繁美		
女子美術学校の刺繍教育 明治、大正期を中心に	大崎 綾子	女子美術大学研究紀要	39	16近代工芸 静かなるアクティヴィズム	北澤 憲昭		
美味珍膳11 蘇る明治伊万里	久保 善昭	書道界	235	17近代工芸 都市の“記憶”の幻影—街に漂う“工芸”的なもののイメージ	橋爪 節也		
新美術時評	外館 和子	新美術新聞		18近代工芸 一九三〇年代における工芸とナショナリズム—「伝統工芸」前史について	木田 拓也		
文化資源としての 大子漆			1196	特集 物質性/マテリアリティの可能性 薬の建水と一枚岩的誠実性の問題点	モーガン・ビテルカ 林田 新 翻訳	"	20
戦後漆芸史の転換期—60年代というエポック			1199	三宅八幡神社奉納子育て祈願絵馬について—平成20年度国指定重要有形民俗文化財	村上 忠喜	民具マンスリー	501
柴田是真 幕末・明治に咲いた漆芸の超絶技巧 バリ万博と日本工芸	海野 弘	太陽(別冊)	163	無形文化遺産としての工芸技術—染織分野を中心として—	菊池 理予	無形文化遺産研究報告	3
荒焼のカマチミ(窯詰め)とタムン(薪)について	赤嶺由紀子 嶺元 美奈	壺屋焼物博物館紀要	10				
墓から出土する古典焼—浦添市前田・経塚近世墓群の発掘調査事例より—	仁王 浩司	"	"				

近代京都の陶芸技術にみる古典へのまなざし—革新と復古の間で京焼陶工が目指したもの—

森下 愛子 " "

食器としての赤津焼の受容過程と流通機構に関わる諸問題

外山 徹 明治大学博物館研究報告 14

特集 マッチセーフ—発見!江戸金工師のマッチ入れ 日本のマッチセーフ—明治美術工芸の落胤

バロン信之介 目の眼 391

特集2 扇子を現代に活かす

編集部 " 399

歴史の証人 写真による収蔵品紹介 近代のキモノ—倉田家服飾資料

澤田 和人 歴 博 152

彩・美・風 世界へ紹介したい工芸の技

青柳 正規 朝日夕刊 10.28

幻の隅田焼 輸出向け 明治期に隆盛 名残の窯、横浜に現存 名古屋に愛好家も

榎本 哲也 東 京 12.3

幻の薩摩切子に光当て 幕末に短期間で消えたガラス製品求め研究

土屋 良雄 日 経 3.19

「寄せ木」外国人も心寄せ 小物から家具まで海を渡った寄せ木細工集め展覧会

金子 皓彦 " 7.20

名品探訪 薩摩切子 鹿兒島 和洋折衷 微妙な色合い

" 10.19

波頭旗頭 工芸作家、組織で高め合い 群馬 年3回展示会 売上高も拡大 旭川 知名度向上へ若手集う

村野 孝直 日経夕刊 1.15

「江戸ゆかた」人気 型紙3万枚集め復刻 江戸川の染め物工場「高常」文化の傑作 後世に

馬場 直子 毎 日 6.24

工芸の魅力伝える 所蔵作品120点公開 東京国立近代美術館

毎日夕刊 2.9

根来塗の器貸し出しを 塗師らが呼び掛け 21—23日和歌山の展覧会に出品 安土桃山時代に全国に散逸

藤頭 一郎 " 9.7

南部鉄器の酒器、信楽焼の雨水タンク… 伝統工芸 現代に生かす

読 売 1.22

色ものがたり2 ミカン染め古里の恵み 第二の人生 工房も設立

田中 洋史 3.18
安藤 二郎
斎藤 保

明日へ 紙園を支える1 時を彩る花かんざし

渋谷聖都子 読売夕刊 3.3

ぎやらりいモール 泉屋博古館分館「幻の京焼 京都瓢池園」から「色絵山鳩文花瓶」京都瓢池園

両角かほる " 12.1

海 外

インド西部ラバーリーの女神祭礼における刺繍布の変化について

上羽 陽子 鹿島美術財団年報・別冊 26

中央アジア・ウズベクの刺繍布(スザニ)—アイ・バラックと呼称される一群について—

福田 浩子 関西大学東西学術研究所紀要 42

蛇行する〈原住民工芸〉—台湾タイヤル族の織布文化、脱植民地化とモダニティ—

山路 勝彦 国立民族学博物館研究報告 34-1

シンポジウム報告 「フランスのジャポニスム—陶磁器を中心に」

長野 千裕 ジャポニスム研究 29

新美術時評 韓国陶芸の現在と挑戦

外館 和子 新美術新聞 1187

特集 LATIN AMERICAN ATTRACTION ラテン・アメリカ・コネクション MEX ART NOW

STUDIO VOICE 399

ウイチョール族

長屋 美保

オアハカン・ウッドカーヴィング

山本 敦子

平山郁夫シルクロード美術館コレクション53 ウズベキスタンの装身具

平山美知子 美術の窓 307

18世紀のヨーロッパにおけるもう一つの白いやきもの—クリムウェアがもたらした革新—

坂本 牧子 兵庫陶芸美術館研究紀要 4

コスチューム・ジュエリーのエレガントな装い コスチュームジュエリーの魅力—ハスケルにみるデザイン—の構成—

勝川 達哉 目の眼 397別冊

イギリスの失われた名窯 Swansea

" "

オルセー美術館展 パリのアール・ヌー ヴォー2 作者不詳 「フロア・スタンド 葦と蜻蛉の装飾」	遠藤 望 読 売	10.3	特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ 年代ソウカツ! 追 憶の00s DESIGN& ARCHITECTURE 脱シンプル・デザイ ンのパイアス	渡部 千春	"	405
情報館 サントリー 美術館「Japan 蒔絵 —宮殿を飾る東洋の 燦めき」から「楼閣山 水蒔絵コモド」	三戸 信恵 読売夕刊	1.13	「内造形力」—造形デ ザインにおける—	宇佐美陽一	崇城大学 芸術学部 研究紀要	2
ぎやらいりモール	"	"	特集 これだけは知 っておきたいデザイ ン大事典 まずここ から! デザイン史 事典1、2、3 3 つのポイントでわか るデザイン史 世界 デザイン会議	高島 直之	デザインの 現場	164
日本民芸館「西洋 家具の美—18世紀 の英国を中心に」 から「板差アーム チェア」イギリス	白土慎太郎	7.14	特集 これだけは知 っておきたいデザイ ン大事典 四コママ ンガで知る難解カタ カナ用語	柏木 博 監修 和智 立古 文	"	"
たばこと塩の博物 館「やすらぎのオ ーストリア」から 「ウィーン万国博 覧会展示用メアシ ャム製装飾パイプ ボウル」	湯浅 淑子	10.6	サンフランシスコに オープンした「NEW PEOPLE」	渡部 千春	"	167
デザイン			特集 魅せる小型グ ラフィック 目指せ ! 上級小グラ GRA PH	落合 崇 談 立古 文 和智	"	168
一般			インダストリアルデ ザイン分野における 研究課題創出と産学 官連携スキーム形成 に関する基礎的研究	玉田 俊郎 薄 靖彦	東京造形 大学研究 報	10
コラボレーション手 法による実践的なデ ザイン教育プログラ ムの展開	青木 幹太 九州産業 大学芸術 研究会 報告	40	五感をデザインする —その視点と手法の 探索—	平林 千春	東北芸術 工科大学 紀要	16
国際会議講演報告 棲息—あらゆる生命 体とともに エコデ ザインはデザインで ある。進化と遺産・ 文化と美学。	池上 俊郎 京都市立 芸術大学 芸術学部 研究紀要	53	第9回世界ポスター トリエンナーレトヤ マ2009第一次審査を 終えて	永井 一正、 勝井 三雄、 松永 真、 佐藤 晃一、 安西 水丸、 服部 一成、 片岸 昭二 談 稲塚 展子 編集	ど お む	107
オリンピックのビジ ュアルシンボルのデ ザイン研究 広州ア ジア大会を契機とし る地域アイデンティ ティ創出に向けて	張 強 芸術学研 究(筑波)	13	第9回世界ポスター トリエンナーレトヤ マ2009受賞作決定	片岸 昭二	"	108
デザインプロセスに おける「スケッチ」と 物理コンピューティ ング	長嶋 洋一 静岡文化 芸術大学 研究紀要	9	一九三〇年代デザイ ンを巡る4つの断章	松葉 一清	美史研ジ ャーナル	6
ユニバーサルデザイ ンの地域での実践に 向けて(その2)	古瀬 敏 敏行 " "	"	文化芸術デザインの すすめ	河原林桂一 郎	文化と芸 術	9
サスティナブルデザ インの基礎的研究	宮川 潤次 坂本 鐵司 鳥居 厚夫 伊坂 正人 佐井 国夫 三好 泉 羽田 隆志 古瀬 敏	" "	拝見しますそのデザ イン 世界で最も愛 されている書体	渡部 千春	産 経	2.1
金剛地デザイン研究 所が行く—DESIGN- TIDE TOKYOの巻—	金剛地武志 渡部 千春	STUDIO VOICE 397				

日 本							
インスピレーション グラフィック 日本の グラフィックにこ そ、「ジャーナル」を 「QUOTATION」	深沢 慶太	A X I S	137	大阪コレクションズ また合う日まで	岡田 彰	サントリ ー美術館 ・ミュー ジウム合 同紀要*	2
日光江戸村が放つ、 “新文化創造”の試み	〃	〃	138	雑誌と文字の散歩道 2～5	白田 捷治	墨	196～199
インスピレーション グラフィック “東 京らしさ”を醸し出 す共感型VI「To- kyo's Tokyo」	〃	〃	139	養護老人ホーム計画 におけるユニバーサ ルデザインの取り組 み—ワークショップ を取り入れた水俣市 恵愛園の設計プロセ スについて—	原田 和典	崇城大学 芸術学部 研究紀要	2
インテリア デザ イナーのハンドメ イド客室、クラス カ「D.I.Y. rooms」	川上典李子			つくば市サイン計画	西川 山本 早里	筑波大学 芸術研究 報告	52
ワールドスペースク リエイターズアワ ード2009 コンペのプ ロセスから知る、デ ザインへの期待	石黒 知子	〃	〃	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人		デザインの 現場	163
AXIS ギャラリー 卒業制作展レポート 2009	浦崎 篤子	〃	〃	コラム01 地方都 市でデザインする こと(岡山編)	編 集 部		
非線形という発想が 生み出すデザイン	平塚 桂	〃	140	コラム02 高岡・ 地場産業の革命児 たち	猪飼 尚司		
インスピレーション グラフィック デザ イン事務所発のもの づくりレーベル「ブ ランクトン」	深沢 慶太	〃	142	今、九州が面白い ! デザイン発信 の場の誕生「DE- SIGNING」展	石田 純子		
「リビング&デザ イン」展を訪ねる 大 阪に誕生した住宅・ インテリア・家具の 新しい繋がり	村田 臣矢	〃	〃	特集 これだけは知 っておきたいデザ イン大事典 教えてほ しい巨匠のこと。 デザイン界のバイオ ニア11人	〃	〃	164
装幀本談義、2	山田 俊幸	一 寸	37、38	特集 これだけは知 っておきたいデザ イン大事典 まずはこ こから! デザイン史 事典1、2、3 3 つのポイントでわか るデザイン史		〃	〃
明治四十年の書籍装 幀評	岩切信一郎	〃	38	民芸	柏木 博		
1920年代日本の広告 美術の黎明—「美人 画」ポスターからの 離脱とドイツデザ インの受容—	竹内 幸絵	鹿島美術 財団年報 ・別冊	26	日宣美	肴倉 睦子		
金沢の町を舞台にし た空間造形の研究— 金沢のまちと環境デ ザイン—	田中 寛志 坂本 英之 角谷 修 鏑 隆弘	金沢美術 工芸大学 紀要	53	ジャパニーズモダ ン	橋本 優子		
博物館活動報告 平 成20年度資料収集 飛騨の椅子について	南本 有紀	ミュージ アムひだ 研究報告*	H20年度	東京オリンピック	肴倉 睦子		
源氏香図パターン・ ジェネレータ	塚田 章	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	53	資生堂×サントリー パッケージデザイン 展 パッケージデザ インの源流をひもと く	藤田 千彩	〃	〃
				特集 文字のつくり かた		〃	165
				文字を知るコラム 02 江戸文字の世 界	大城 譲司		

「文字のつくりかた」講座 和文編 字游工房	杉瀬 由希								甲冑や家紋「派手」 「目立つ」戦国デザ インに注目	鷺見 一郎	"	8.28
文字を知るコラム 03 コミックのタ イトルロゴ	大城 譲司								デザイン季評 「デ コ盛り」官公認の時 代	生井 英考	"	11.26
POSTA COLLECT	鈴木 里子	デザインの 現場	166						海 外			
nendo が考える日用 品のデザイン	土田 貴宏	"	168						東西の接点に生まれ る21世紀デザインの 可能性 エストニア の現代デザインと芸 術大学の試み	岡田 栄造	A X I S	137
関西発のデザインイ ベント DESIGN- EAST	"	"	"						エンジニアがデザイ ナーになるというこ と マーケットを開 拓するロシアのデザ イナーたち	中島 恭子	"	"
第六十回美学会全国 大会報告 発表要旨 事務用家具の標準化 —木檜一郎の事務用 「家具」標準化と事務 管理論の「事務」用家 具標準化—	北田 聖子	美 学	235						台湾国際文化創意産 業展—伝統とデザイ ンのクロスオーバー をさらに超えたところ で	石橋 勝利	"	"
特集 物質性/マテ リアリティの可能性 N50li—持ち運べる 新世界としての携帯 電話	ジャイルズ ・リキター 松谷 容作 訳	美術フォ ーラム21	20						mater のプロダクト から考える インテ リア製品のサステイ ナビリティ	浦崎 篤子	"	"
視線 駅弁掛け紙も のがたり 古今東西 日本を味わう旅 上 杉剛嗣著	サエキけん ぞう	朝 日	2.22						from the World	"		
時代の精神あらわに 「氾濫するイメージ」 展	古賀 太	朝日夕刊	1.7						韓国パワーが炸裂 したロンドンデザ インフェスティバル	中島 恭子	"	"
戦後デザイン史映す グッドデザイン賞 製品以外にも対象拡 大		日 経	1.1						モスクワに乗り込 んだ企業イベント 「シンプリシティ」	"	"	"
都営車両や案内表示 デザインはお任せを 東京芸大生、採用め さす		"	3.11						ビジネスとともに、 新しいビジョンを 探る場として—ケ ルン国際家具見本 市	小町 英恵		138
more 楽 本の装丁 の魅力 著者と読者 を結ぶ存在	岸 桂子	毎 日	2.7						重苦しい世相への 反発から、新たな トレンドを—メゾ ン・エ・オブジェ 2009	上條 昌宏	"	"
「氾濫するイメージ」 展 視覚の秩序に挑 む「脱領域」	前田 恭二	読 売	1.22						ドイツらしさを伝 える小さなお土産 「ドイチュラント ・コレクション」	小町 英恵		141
色ものがたり	田中 安藤 齊藤	洋史 二郎 保	"						エクスペリメンタ デザイン 「ラッ プス・イン・タイ ム」	中島 恭子		142
3 工業地帯に「明 るい青空」 灰色 イメージ塗装で一 新			3.19						「メゾン&オブジ ェ」に見る、生活 シーンの未来像	上條 昌宏	"	"
5 「自分で選ぶ」 消費者心理 赤い 調理家電、27色パ ソコン			3.21						混沌の中から未来 への手がかりを探 せ—光州デザイン ビエンナーレ2009	石橋 勝利	"	"
江戸博蔵めぐり 雑 誌「工芸」全120冊	行吉 正一	"	4.17									
デザイン季評 メガ ネ自作教室地道な試 み	生井 英考	"	8.27									

香港ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク2008	〃	〃	138	特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 まずはここから! デザイン史事典 1、2、3 3つのポイントでわかるデザイン史	〃	〃		
サンテディエンヌ国際デザインビエンナーレ 都市計画に組み込まれた使命感	神吉 弘邦	〃	〃	ロンドン万国博覧会	井上 雅人			
特集 デザインはアドレナリン	〃	〃	139	イタリア未来派	鶴沢 隆			
求められるデザインの類型 英国が描く次代に向けたシナリオ	三宅由希子			デ・スタイル	橋本 優子			
デザイナーがリサーチャーとなるととき RCAデザインインタラクション学科とインテルのプロジェクト	中島 恭子			ロシア・アヴァンギャルド	高島 直之			
批評文化が培う、オランダの前向きなデザインの未来	樋口 歩			流線型	柏木 博			
セントラル・セント・マーティンズのデザイン・ラボラトリー 物語と感性のデザインを紡ぎ出す	土田 貴宏	〃	〃	ミッドセンチュリー	〃			
南アフリカ・デザインインダバ2009レポート “クリエイティブであること”に勇気を与える	石橋 勝利	〃	〃	北欧モダン	橋本 優子			
イギリス カントリーファニチャー「ウインザーチェア」の形態分析研究 そのVI(完)	平山 永	大樹 耕平	九州産業大学芸術学会研究報告	スイス・タイポグラフィ	奥定 泰之			
切手に見る世界建築	横山 正	建築雑誌	40	イタリア・ポストモダン	渡部 千春			
イタリアの建築家顕彰切手			1588	アメリカの最新デザインムーブメント 最終回 タイポグラフィ・デザイン	道添 進	〃	〃	
死の表象			1591	ロンドン・ヒースロー空港 ターミナル5のサイン計画	渡部 千春 三宅由希子	〃		165
現代の市門を描く			1594	現地取材 オーストラリアデザイン探訪	高橋 美礼	〃		167
EXTRA COLUMN SEOUL DESIGN OLYMPIAD 2008	編集部	STUDIO VOICE	397	Spiral 25周年キャンペーンを手がけた Thonic デザインの手法	川上典李子	〃		168
研究報告 シベリアの「生命デザイン」アムール沿岸の民族装飾からみるユーロ=アジア世界の造形表象	鶴岡 真弓	多摩美術大学研究紀要	23	展示評 バウハウス・デッサウ展	飯田 洋介	歴史学研究		857
MILANO がデザインの中心地である理由。	矢島みゆき	デザインの現場	163	旅 ソウル 韓国市内を巡りアート探し	藤田 希帆	東京夕刊		11. 12
特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 まずはここから! デザイン史事典 1、2、3 芸術と技術の統合を目指した教育機関 BAUHAUS とは?	橋本 優子	〃	164	建 築				
				一 般				
				小特集 茅葺きとい	塩澤 実	芸術新潮		713
				ういとなみ				
				特集 新景観		建築雑誌		1584
				III 論考 テクノ				
				スケープ発見の契	岡田 昌彰			
				機一発見と効果の				
				醸成術				
				V 論考 世界遺	中谷 礼仁			
				産を宇宙遺産に				
				特集 宗教建築は終	山下 王世	〃		1586
				わったのか IV キ				
				リストとイスラーム				
				東京モスクと現代ト				
				ルコのモスク事情				

海外に学び日本に学ぶ コロンビア大学 —新しい建築をめざす 知のDNA	渡邊 朗子	建築雑誌	1586	IV 年報外枠 生物指向「リカレント建築」実現への展望	河村 廣		
建築ロゴス再考 風景—某日、横浜を逍遙して公共財としての都市景観を思ふ	谷本 潤	"	"	建築ロゴス再考 カーテンウォール—低炭素社会の新しい潮流を追う	名知 博司	"	1595
特集 設計者は誰か III インタビュー2 ：彦根茂氏 グローバルな視点で「設計者」を捉える	芝田 義治 聞き手	"	1589	景観とまちづくり(3)	米田 公則	椋山女学園大学 研究論集	40
コラム 建築の社会学	北田 暁大	"	1590	特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ！ 追憶の00s DESIGN&ARCHITECTURE ゼロ年代建築のパスpekティヴ	五十嵐太郎	STUDIO VOICE	405
特集 非線形・複雑系の科学とこれからの建築・都市 I 解題	倉方 俊輔	"	"	特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 まずはこちら！ デザイン史大事典1、2、3 3つのポイントでわかるデザイン史 モダニズム建築	松葉 一清	デザインの現場	164
特集 インテリアを語る		"	1591	メディアとしての建築	小島 孜	日本建築学会 計画系論文集	642
III 建築とインテリアをめぐる思考 2 なぜ「建築家のインテリア」か	岡田 栄造			建築設計者の思考の連続—エスキスにおける設計プロセスに関する研究—	和田 浩一 府川 直人 西村 伸也 高橋 鷹志	"	645
III 建築とインテリアをめぐる思考 3 インテリアデザインと記号化について	新川 博己			特集 物質性／マテリアリティの可能性 ナンドの生産性—モノ空間のための補遺	中谷 礼仁	美術フォーラム21	20
VI まとめ 「インテリア」をとらえるための状況と言葉	入江 徹			彩・美・風	斉藤 理	朝日夕刊	1.14、21
特集 フィールドワーク・スタディ		"	1593	海外通信 渡(Crossing)—国際応急建築設計展 北京 災害への真摯な思考を反映	多田 麻美	"	6.24
I フィールドワークは何を目指したのか 解題	大田 省一			建築と植物出合いのかたち十選 1～10	五十嵐太郎	日 経	9.7、8、10、11、14、15、17、18、21、22
I フィールドワークは何を目指したのか 都市観察の美学—考現学とその子孫	ジョルダン・サント			建築季評 記憶引き継ぐ「空間」は文化	中川 理 読 売		12.18
II デザインワークとしてのフィールドワーク 「集落」を探して	及川 清昭			日 本			
III フィールドワークへの／からの問いかけ ティポロジアから都市史研究へ	恩田 重直			インスピレーション建築	ぼむ 企画	A X I S	
特集 建築年報2009 (投稿論文)		"	1594	ROUND ABOUT JOURNAL—ライブで建築を編集する			137
I 会長インタビュー 社会をつなぐ建築	佐藤 滋 五十嵐太郎、 倉方 俊輔 聞き手			若手建築家を支援する建築プロデュース			139

特集 プロジェクト・レポート一次なるキーワードを探せ 寿オ尔特ナティブ・ネットワークと神奈川大学曽我部研究室の「寿公園プロジェクト」—大きな「家」としての場づくり	神吉 弘邦	〃	140	II 巻頭インタビュー 宗教学は建築をどう捉えているのか?	島田 裕巳 談 五十嵐太郎 聞き手 平塚 桂 文		
from the World 橋梁初の国際コンペ、平和大橋歩道橋	加藤 孝司	〃	〃	III 建築家と施主 生きられる寺院空間の公共性—	佐幸 信介		
イメージ&ジェンダー研究会活動報告 2007年1月—12月発表概要 迎賓館赤坂離宮にみる東宮・東宮妃の内部空間と想定生活像—対称の平面・非対称の意匠—	小沢 朝江	イメージ&ジェンダー	9	III 建築家と施主 真如苑が挑戦する21世紀の聖地プロジェクトとは	岡本 忠治、 須田 豊 平塚 桂 聞き手・文		
岩手県内のコセミのある町家について	瀬川 菊池 菊池	修 憲夫 建 夫	岩手県立博物館研究報告	26	V 日本の宗教と冠婚葬祭 神社建築は変わるか	青井 哲人	
旧横浜正金銀行本店本館における創建時の金庫扉・スチールサッシ・スチールシャッターの残存状況について	丹治 雄一	神奈川県立博物館研究報告	35	建築ロゴス再考 住居と住宅の微妙な関係	平田 京子	〃	1588
カトリック金沢教会のステンドグラス「御復活」 ビジュアルコミュニケーション・メディアからの考察	山口 征三	金沢学院大学紀要	7	特集 設計者は誰か		〃	1589
資料紹介 近代化遺産—本学に係わる建造物—	石田 伊藤	成年 満	関西大学博物館紀要	15	II 解題・巻頭インタビュー 「設計者は誰か」を一般社会への対外的視点に立って考える	馬場 璋造 芝田 義治 聞き手	
すむ 東京からのボイソー	村島 正彦	芸術新潮	713	IV ルボ1 設計組織における設計者の位置付けと今後の展望 個人の力を引き出し川上を目指すために	守山 久子		
特集 新景観 IV ドボク・エンタテイメント		建築雑誌	1584	IV ルボ2 大型プロジェクトで求められる設計者の能力と立場 「設計者」の役割は多様化し、適材適所に配される	〃		
1—工場萌え 観光資源化する工場景観	八馬 智			会長就任の挨拶 建築界の中核として行動する日本建築学会に向けて	佐藤 滋	〃	1591
3—ダムと水門 ダムの魅力	萩原 雅紀			戦後建築オーラル・ヒストリー あのころの団地空間 小林明氏+富安秀雄氏	倉方 俊輔	〃	1592
特集 モノづくりの視点 II 技術者を育てるということ 学ぼうとする雰囲気はそこで働く人が作る	小川 三夫 談 名知 博司、 岡澤 岳 聞き手 大津なほ子 文	〃	〃	特集 建築年報2009 (投稿論文)		〃	1594
東京の建築地形を解説する TOKYO 商業潮流2008	島村美由紀	〃	〃	III 建築界の動向と展望 堀の向こうに見えるもの	横田 勉		
特集 宗教建築は終わったのか	〃	〃	1586	IV 年報外枠 沖繩から思考する建築	高原 千都	〃	1595
				特集 東京新地形論		〃	
				II 論考1 「新地形」を支える「旧地形」	石川 初		
				II 論考3 都市デザイン遺産としての坂道の構想力	中島 直人		

V 論考1 生物 学者のように東京 を語れたら。	青井 哲人				木骨コンクリート・ ブロック造とその成 立過程に関する研究 —移情閣と東亜セメ ントの事例を通じて—	塚原 淳 足立 裕司	" "	" "
特集 サントリー美 術館 新館建築	松崎 愛彦 竹中 勤 伊藤 昭 平山 尚吾 豊久 将三 呂 俊民 瀬古 繁喜 尾崎 文雄 弥田 俊男	サントリ ー美術館 ・ミュー ジウム合 同紀要*	2		『各省所管官有財産 目録』に見る明治時 代中期の各省所管官 舎について 明治時 代中期における官舎 建築の実態(その1)	藤木 竜也 河東 義之	" "	639
街角アート	星野 清一	新美術新 聞			熊本高等工業学校本 館の復元的研究	磯田 桂史 伊藤 重剛	" "	640
下駄履きにタキシ ード			1180		入れ子式能楽堂の普 及に関する考察	奥富 利幸	" "	643
かつてそこにあっ た			1191		近代実業家邸宅の能 楽場について—三井 邸・岡崎邸・碧雲荘 を通じて—	" "	" "	644
アナログ建築			1196					
公衆トイレのアンソ ロロジー	三星 宗雄	人文学研 究所報	42		昭和大礼における下 賜建物の宗教施設に おける転用過程	原戸喜代里 大場 修	" "	646
1920年代京都におけ る都市計画展覧会の 歴史的意義—都市計 画にみる歴史意識—	秋元 せき	人文学報	98		第六十回美学会全国 大会報告 発表要旨 —一九三九年開催ニュ ーヨーク万博におけ る「日本」表象—日本 館と国際館日本部に おける「ナショナリ ズム」と「モダニズ ム」—	山本 佐恵 美 学	235	
VIII 研究ノート 柏原町の穀箱	高尾 純宏	東京家政 学院生活 文化博物 館年報	19		表紙解説 卯建の上 がる伝統的町並みと 花みこし	菊谷 勇雄 文化財*	544	
隙間をうめるデザイ ン	温井 亨	東北芸術 工科大学 紀要	16		高島屋の建物がなぜ 重要文化財に指定さ れるのか	初田 亨	" "	550
研究報告 近代京都 における建築の継承 と復古—京都府近代 和風建築総合調査か ら—	清水 重敦	奈良文化 財研究所 紀要	2009		天領黒島の復興と町 並み保全—能登地方 で初の選定へ—	谷 明彦	" "	" "
研究報告 擬石・擬 木を用いた近代和風 庭園—琴ノ浦温山荘 園の庭園調査から—	栗野 隆	" "	" "		水辺と山辺の在方町 黒木—重要伝統的 建造物群保存地区の選 定に寄せて—	宮本 雅明	" "	" "
大正期から昭和初期 における官営八幡製 鐵所の工場建築と設 計者について 日本 における鉄骨構造建 築の導入と発展過程 に関する研究 その 3	開田 一博 尾道 建二	日本建築 学会計画 系論文集	635		表紙解説 高島屋東 京店	坊城 俊成	" "	" "
1981年—1996年に開 催された国内の建築 設計競技における設 計要項から提出作品 に至る設計者の計画 概念	北川 啓介 五十嵐弘樹	" "	637		近代の国宝誕生の意 味—旧東宮御所(迎 賓館赤坂離宮)の国 宝指定—	鈴木 博之	" "	555
入れ子式能楽堂の萌 芽に関する考察—金 剛能楽堂と宝生会能 楽堂を通して—	奥富 利幸	" "	" "		旧東宮御所(迎賓館 赤坂離宮)の意匠	飯田喜四郎	" "	" "
昭和大礼における御 造宮物の下賜過程	原戸喜代里 大場 修	" "	" "		表紙解説 旧東宮御 所(迎賓館赤坂離宮)	坊城 俊成	" "	" "
					A La Meiji—mura 無限の可能性を秘め て 大明寺聖パウロ 教会堂	明治村だ より	" "	55
					迎賓館・赤坂離宮・ 東宮御所		" "	57

江戸博蔵めぐり 子 米山 勇 〃 11.20
宝湯

海外

英国が誇る最新の空の玄関口 ヒースロー空港ターミナル5 上條 昌宏 A X I S 137

建築家による都市の未来像「グラン・パリ」 浦田 薫 " 141

特集 宗教建築は終わったのか IV キリストとイスラーム 建築雑誌 1586

「メガチャーチ」寡黙な巨大建造物 関谷 直人

イスラーム建築の近現代、そして未来へ 深見奈緒子

アガカーン賞に見るイスラームのアイデンティティ 様式としての「イスラーム建築」について マスミ・メイサム

特集 建築年報2009 (投稿論文) III 建築界の動向と展望「エクストリーム・トラディショナル」論 現代デンマーク建築に見る伝統的形式の継承 脇坂 圭一 " 1594

研究ノート J・ラスキン著「クリスタル・パレス開場」解題および訳 江本 弘 建築史学 53

現在通信 From NEWYORK ハイライオン 富井 玲子 新美術新聞 1188

中国福建沿岸部の色彩と景観 三星 宗雄 人文研究 169

ベトナムの木造建築と大工道具—ハナム省・トゥアティエンフエ省・ニントゥアン省における調査報告— 坂本 忠規 中川 武 中沢信一郎 林・ヴィン・アン 竹中大工道具館研究紀要 20

都市風景論 その(2) ドイツ植民地「青島」に表象された近代都市景観のアイデアオロジー 長谷川 章 東京造形大学研究報 10

日本統治時代の「台湾建築会」とその会誌について 呉 イクエ 大場 修 日本建築学会計画系論文集 639

世紀転換期のブタペスト中央市庁舎建設計画に関する研究 水野 貴博 " 645

世紀転換期ブタペストの王宮の丘のモニュメント計画に関する研究 " " "

第六十回美学会全国大会報告 発表要旨 空間としての書物/建築としての文字—C・N・ルドゥーによる建築書を中心に— 小澤 京子 美 学 235

二〇〇七年度同志社大学大学院修士論文梗概 エルムノンヴィル研究—「風景」paysages と「庭園」jardin を中心に— 日下 洋平 美学芸術学 24

国際 歴史の碑か 負の遺産か 併合100年—韓国に残る日本統治時代の建築物 復元・保存に根強い反発 大澤 西脇 文護 真一 毎 日 12.7

都市の呼吸 ころやかなロンドン 「新しい血」受け入れる 鈴木 博之 毎日夕刊 11.10

その他のジャンル

一般

文化を跨る身体—間文化的アートとしてのButoh 宮坂 敬造 慶応義塾大学アート・センター年報 16

メディアアートにおける社会性 鄭 智鴻 芸術学研究(筑波) 13

亀のボディ・ペインティングに絵筆で自活するゾウ 動物アーティストたちの現在 前橋 重二 芸術新潮 719

研究員レポート プログラミング言語 Processing—はじめの一步 室屋 泰三 国立新美術館ニュース 9

日本書の〈根源〉へ2書と三つの〈時〉の祝祭(前篇) 石川 翠 墨 199

メディアアートの発展とSUAC/日本の貢献 長嶋 洋一 文化と芸術 10

都会の夏の風物詩—トリックアートいかが「だまし絵」や万華鏡 涼しく楽しく遊ぶ 日 経 7.18

文化フォーラム 東京で始まる「メディア芸術」議論 " 11.14

日 本				作 家			
特集 プロジェクト・レポート次なるキーワードを探せデジタルパブリックアートプロジェクトの「空気の港」—公共空間を覚醒するメディアアートの新展開				遠藤 建	A X I S	140	
実験工房の舞台作品について—「バレエ実験劇場」と『月に憑かれたピエロ』を中心に				西澤 晴美	芸 叢	25	
例会・研究発表要旨 東部会 平成二一年度第三回例会 「ツアー・パフォーマンス」とは何か—《山口市営P》と《サンシャイン63》を例として				田中 均	美 学	235	
文化特捜隊					朝 日		
「メディア芸術」って何だ 「後発組」の総称 過渡期のくくり				小川 雪		7.11	
書道パフォーマンスなぜ流行 団体演技の意外性 派手さ心配の声も				宮代 栄一		9.5	
書道ブームの兆し 教育特区も設置?／漫画も人気				森本 昌彦	産 経	1.10	
先端技術が生む新しい視覚体験 音とCG連動／工学系参入「美術とは」問い直す機会				白木 緑	日 経	2.28	
国際フォーラム特集 メディア芸術—11月13日 東京国際交流会館プラザ平成 国境超越 表現の力				濱野座長 保樹 青木 保、 荒木 隆司、 ソル・キフ アン		12.24	
顔 アゼルバイジャンに日本庭園を造った造園会社社長 小杉左岐さん				崎長 敬志	読 売	12.4	
海 外							
イヴォンヌ・レイナー『トリオA』における反スペクタクル—見ることの困難をめぐって—				武藤 大祐	群馬県立女子大学 紀要	30	

日 本				作 家			
(ア)							
森羅万象 色でつかむ 虹の画家・贅囀の挑戦 「絵の否定」から出発				白木 緑	日 経	5.24	
情報館 三鷹市美術ギャラリー「レインボー喜寿 贅囀展」から「ルソーに捧ぐ」贅囀				富田 智子	読売夕刊	1.27	
新春スペシャル企画 画家の年賀状・丑 相笠昌義				相笠 昌義	美術の窓	304	
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写実技法と知られざる日本画 Part. 3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 ドイツルネサンスに憧れた男				"	"	308	
山下裕二の今月の隠し球55、56 相川勝「ここまでやるか、の『手焼きCD』を買う」(上)(下)				山下 裕二	"	310,311	
作家通信 自然風景を描く				相田 二樹	趣味の水 墨画	240	
セバスチャン・サルガド「アフリカ」瞳に世界が映る 報道写真家 会田法行氏				会田 法行	朝日夕刊	11.27	
画家阿以田治修 その逍遙する魂—作品《朝餐後》との旅—				稲石 瑠衣	文星芸術 大学大学院研究科 論集	4	
会田誠の「おんなのこしゃしん」 不定期連載第4〜7回				会田 誠	美術手帖	918~921	
INFORMATION GRADUATION 卒業制作で大型新人登場!? 会田誠の「えこひいき卒制評」				"	"	920	
私のアートスクール時代				"	"	924	
創造神話 会田誠の「美しい旗」 ハイブリッドな表現				菅原 教夫	読 売	6.11	
家族のこと話そう 父の書創作 根っこに母の力 相田一人さん[相田みつを]				野村由美子 聞き手	東 京	6.14	
この1点 贅光《グラジオラス》				Kt. K	Corridart	3	

永井潔さん追悼 永井さんのこと	青木 鮎美	美術運動	136	特集 若冲 〈動植綵絵〉・モザイク画・〈象と鯨図屏風〉…永遠に新しい絵師のすべて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選ぶこの一点 〈菜虫譜〉 青島千穂選	青島 千穂 ユリイカ	574
新・旧刊案内39 青木繁のスケッチ、土方定一の翻訳書について、近況報告など	青木 茂	一寸	39			
青木繁が天才として生きた時代と「海の幸」	三浦 康栄	A S	31			
裸婦にふさわしい場をさがして 青木繁 日本の神話を象徴的に、浪漫的に	山梨絵美子	太陽(別冊)	158	民芸運動と同志社大学—青田五良を中心に—	小谷 二郎 同志社大学博物館 学年報	40
本づくし どちらつかずの創造性が生み出した音楽形式に学ぶ『東京大学のアルバート・アイラー 東大ジャズ講義録・歴史編、キーワード編』 菊池成孔、大谷能生著	青木 淳	A X I S	141	SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL INTERVIEW 実録! アーティストのセルフ・プロデュース術 プレゼンテーションの方法とは?	青田 真也 美術手帖	928
特集 インテリアを語る III 建築とインテリアをめぐる思考 1 様相が内部空間の構成を食い破るとき—村野藤吾の現代性	〃	建築雑誌	1591	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 青柳ナツエ	高山 淳 美術の窓	307
ココロのギャラリー フランスを描く 上、下	青木 誠一	産 経	3.3,4	みんなのマンガ学 名探偵コナン 小道具でワクワク感刺激 [青山剛昌]	伊藤 遊 朝日夕刊	10.28
2009年はこのアーティストに注目! 青木野枝 空の粒子/西田尻		美術手帖	926	連載特集 追悼・山岸信郎10 山形での山岸さん	青山 光佑 あいだ	159
巻頭特集 散歩からはじめよう スケッチがもっと上手くなる ⑥技法講座 VOL. 16 青木美和と行く、江ノ電途中下車スケッチ		美術の窓	315	Faces 29 青山悟 刺す糸、縫う糸—感性と思考のミシン	内田 伸一 ART iT	24
実践! 絵画素材の科学27 アトリエ探訪 畠中光享	青木 芳昭	〃	313	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 アーティスト・イニシアティヴってどんな意味? THE ECHO 展—THE SIX を例に[青山悟]	編集部 美術の窓	307
実践! 絵画素材の科学28 最終回 アトリエ探訪・青木芳昭	〃	〃	314	ぎやらしいモール 茨城県天心記念五浦美術館「万葉集1250年記念 万葉のこころを描く」から「刻」 青山亘幹	武石 洋 読売夕刊	4.28
INFORMATION PEOPLE 青木良太 初オブジェ 青木良太の目指す、現代の“へうげもの”精神	沢山 遼	美術手帖	925		今泉 裕紗 青山ひろゆき 北村奈津子 タムラサトル 野口久美子	ザ・ルー フ 35
SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダン PART 3 CHANOUYU MODERN 茶の湯モダン 今に活かす茶の湯のココロ ヤン窯 ☆茶陶バトル 青木良太	沢田眉香子	〃	930	アートの変遷展を、ふりかえる。		
				FIRST LINE 赤石 隆明	STUDIO VOICE	403

銅人形が語る街の記憶 駅前や学校に300体、アートの力で地域に潤い	赤川 政由 日 経	6.26						1.7、14、21、28、2.4、18、25、3.4、11、18、4.1、8、15、22、5.13、20、27.6.3、10.17、24.7.1、8.15、22、29.8.5、19.26、9.2.9、16.30、10.7、14、21、28、11.4、11、18.25、12.2、9
SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダン PART 3 CHANOYU MODERN 茶の湯モダン 今に活かす茶の湯のココロ 「茶の箱」の反省…存在の開放	赤木 明登 美術手帖	930			歩きたい 赤瀬川原平の散歩の言い訳 第131回〜第173回	〃	毎日夕刊	
視線 The Myth AKASAKA TOMOAKI PHOTOGRAPHS in ALASKA, CANADA/1996-2006 赤坂友昭著	新井 敏記 朝 日	10.18			歩きたい 赤瀬川原平の散歩の言い訳 読者の反響特集 都心描いているのにささやかな日常感じる	〃	〃	8.12
素材を手の内に 漆一赤地友哉「はりぬき朱八角中次」・角偉三郎「溜漆椀」	諸山 正則 淡 交	774			歩きたい 赤瀬川原平の散歩の言い訳 今年を振り返る グンと強く、良さを感じる場所	宮田 哲	〃	12.16
100人の心に響いた絵本100 国内絵本16 わたしのうみべ	赤瀬川原平 太陽(別冊)	164			eye 歩きたい 赤瀬川原平の散歩の言い訳 カメラは釣り竿	赤瀬川原平	〃	2.12
邂逅 カルチャー時評 赤瀬川原平	〃 産 経	7.19、8.9、30、10.11			eye 三者三様の一体感 倉敷でのライカ同盟[赤瀬川原平]	森本 悟郎	〃	10.1
露地庵先生のアンボン譚 第30話 原平さんに会う	森村 泰昌	〃	10.14		赤瀬川原平さんの見たい ヨハネス・フェルメール「レースを編む女」ルーヴル美術館展より	赤瀬川原平	読 売	1.1
目玉に挑戦するだまし絵 実物見て納得、細密描写の極致	赤瀬川原平 東京夕刊	7.10			特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ! 追憶の00s ゼロ年代の死者たち 赤塚不二夫	坂本 龍一	STUDIO VOICE	405
ため息の効用 赤瀬川原平さんに聞く「ハー」は生活のアクセント 深くつけば疲労回復	足立 則夫 日経夕刊	5.21			この道27 赤塚先生	北見けんいち	東京夕刊	4.2
きらめく一点 「皇室の名宝」展から1 岩佐又兵衛「小栗判官絵巻」(部分) 剣豪の心得で味わう繊細さ 作家赤瀬川原平	赤瀬川原平	〃	10.20		この道46、47 師匠の死 上、下[赤塚不二夫]	〃	〃	4.24、25
記者の目 赤瀬川原平さんの散歩に同行して 自分だけの新発見をしよう 視線一つで膨らむ想像力	坂巻 士朗 毎 日	1.23			赤塚不二夫展 ギャグは不滅なのだ シュールさ爆発 人情味も	タケカワユキヒデ	読売夕刊	8.25
好きなもの	赤瀬川原平	〃	3.22		バカ田短期大学 最終回 『赤塚不二夫裏1000ページ』(上&下)発売記念対談!	細野 晴臣、赤塚りえ子 対談 三田 格 企画・編集	STUDIO VOICE	397

パパはパパなのだ 楽しくやろう 赤塚 不二夫さんの長女 野外展に作品[赤塚 りえ子]	萩尾 信也	毎 日	11.20	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 09 たまごにいちや ん[あきやまただし]	細江 幸江	太陽(別冊)	164
追悼 わが赤穴宏先 生逝く	渡辺 恂三	新美術新 聞	1190	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説5 殴 る走るナンセンス [秋山祐徳太子]	田中 三蔵	朝日夕刊	3.25
追悼 赤穴宏さんを 想う	荒井 茂雄	連盟ニュ ース	431	交遊抄 箱根のバリ	秋山祐徳太 子	日 経	11.7
青春ブレイバック 赤堀尚 鮮烈な色彩 と大胆なタッチ、見 たままを描く自然体	窪田 元彦	新美術新 聞	1199	eye 三者三様の一 体感 倉敷でのライ カ同盟[秋山祐徳太 子]	森本 悟郎	毎日夕刊	10.1
2009年日本建築学会 作品選奨 千葉市立 美浜打瀬小学校[赤 松佳珠子]		建築雑誌	1593	受賞作家アンケート ―「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」―	秋山 陽 陶 説		670
写眼 虚像をも視覚 化 秋田淳之助「浮 遊」(平成21年)	堀 晃和	産 経	8.29	art news 芥川沙織 が描いた 男と女の 神話		芸術新潮	711
神宮名品解説 神宮 美術館所蔵 日本画 「地の祈り」[秋野不 矩]	中村 潔	瑞 垣	214	鮮やかな色彩、奔放 なイメージ 芥川紗 織展―上、中、下―	工藤 香澄	東京夕刊	2.23~25
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 33 くものすおやぶ んとりものちょう [秋山あゆ子]	中務 秀子	太陽(別冊)	164	特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 浅井昭	編 集 部	美術の窓	307
特集 若冲 (動植 絢絵)・モザイク画 ・〈象と鯨図屏風〉… 永遠に新しい絵師の すべて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選 ぶこの一点 (隠元 豆・玉蜀黍図) 秋 山亜由子選	秋山亜由子	ユリイカ	574	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャ ーナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト11 浅井冴子	立島 惠	"	309
フェイス21世紀129 秋山泉 寡黙にして 豊饒な黒鉛の世界	袴田 智彦	新美術新 聞	1199	私のおかげ参り「伊 勢神宮」展7 写真 家 浅井慎平さん	早坂 礼子	産 経	8.3
丸亀をあるく―2008 年8月5日―10月14 日	秋山さやか	多摩美術 大学研究 紀要	23	伊勢神宮と神々の美 術 時をつなぐ工人 上 金工 浅井盛征 さん 道具づくりか ら精妙に		"	8.13
「ネオテニー・ジャ パン―高橋コレクシ ョン」展をより楽し むために―出品作家 ・秋山さやかさんに きく―	秋山さやか 談	雪椿通信	32	新・旧刊案内38 浅 井忠・柳源吉合作石 版画集について・近 況報告の二、三	青木 茂 一 寸		38
映画が映画になるた めに 本を本にうつ しとる―ベドロ・コ スタ『溶岩の家』スク ラップ・ブック	秋山 伸	ミルフイ ユ	1	バイオマス幼児用食 器/MISO CLUB: スタッキングウェア	浅井 治彦	明星大学 研究紀要	17
特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト 構築する 相同 書物と建築の あいだに[2] OMA/AMO 関連書	"	ユリイカ	567	テークオフ 美術家 浅井裕介さん 空間 の記憶、色テープで 再生	小川 雪	朝日夕刊	10.22
				きる 海辺のスカ― ト	浅生ハルミ ン	芸術新潮	710
				100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 34 きはなんにもい わないの	"	太陽(別冊)	164
				朝倉文夫の彫刻―作 品に見られる3つの 表現手法について―	緒方 信行	崇城大学 芸術学部 研究紀要	2

家族で撮る、家族を撮る 浅田政志の写真の現場	芸術新潮	713	
FIRST LINE 浅田政志 AKAABA	STUDIO VOICE	402	
INFORMATION PEOPLE 第34回 木村伊兵衛写真賞 受賞・浅田政志	山内 宏泰 美術手帖	922	
木村伊兵衛写真賞 現代の家族像 写す 浅田政志さん	西原 龍弥 朝 日	3.11	
浅田政志さん写真集「浅田家」現代家族像リアルに 木村伊兵衛賞 アサヒカメラに選評	青山 祥子	"	3.17
写眼 写真がつなぐ 家族 浅田政志「浅田家」	海老沢 類 産 経	4.18	
この人 木村伊兵衛写真賞を受賞 家族の写真撮り続ける 浅田政志さん	多比良孝司 東 京	4.5	
家族 深遠の温かみ撮る「記録者」写真新世代が追求[浅田政志]	富田 律之 日経夕刊	6.22	
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50 & ④テクニクつき Part 2 限られたスペースを上手に使おう! アトリエの工夫 アトリエ訪問 浅野修		美術の窓	306
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 浅野輝一	高山 淳	"	307
浅野均の頭の中、こころのうちとそと	福田 道宏 展覧会だより	40	
特集 東京デザインガイド コラム 浅葉克己の夜遊び遍歴 飲み屋で育つデザインカルチャー	倉西 幹雄 デザインの現場	166	
フェイス21世紀126 浅見千鶴 コツコツと追求を重ねる抽象表現	窪田 元彦 新美術新聞	1191	
Close-up 浅見哲一 生活者としての視点の中から自らの存在を見つめる絵画の時間	ギャラリー一	295	

特集 プロジェクト・レポート次なるキーワードを探せ 芦澤竜一の「グランディングプロジェクト01」一都市に食の生産機能をつくり出す循環型建築	上條 昌宏 A X I S	140	
アシスタントの店舗デザイン	猪飼 尚司 デザインの現場	168	
MADO LIBRARY 著者インタビュー 絵金[東學]		美術の窓	314
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	阿曾沼 明	"	309
人と墨11 足立正平 力強い筆勢を生み出す書で培った墨の扱い		趣味の水 墨画	241
作家通信 湘南くじら館での個展一残絲曲一	足立 正平	"	249
日々好日 日常のなかの僕	安達 博文 新美術新聞	1193	
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50 & ④テクニクつき Part 1 その他画材以外の活用編 1 その他 歯 ブラシ 安達博文		美術の窓	306
みんなのマンガ学 タッチ 青春とは迷い続けること[あだち充]	吉村 和真 朝日夕刊	8.19	
マンガ50年 ラブコメの風1 「タッチ」少女誌で磨いた技 [あだち充]	佐藤 憲一 読 売	10.6	
人・模・様 「写仏」の拠点開設目指す [安達原玄]	江森 敬治 毎日夕刊	6.8	
本づくし「美とは何から生まれるのか」『火の誓い』河井寛次郎著	安積 朋子 A X I S	141	
個性あふれる3点 銀座ショーウィンドー 自閉症者が絵画 [アトリエ AUTOS]	清水 優子 毎 日	10.16	
特集 フィールドワーク・スタディ II デザインワークとしてのフィールドワーク 1990年代以降の建築家によるフィールドワーク レム・コールハース、アトリエ・ワンの射程	南後 由和 建築雑誌	1593	

コミック DROPS
阿仁谷ユイジ(作)
5人姉弟の恋路“心
の指圧” 南 信長 朝 日 8.9

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
56 ほんとのおおき
さ動物園 姉崎 一馬 太陽(別冊) 164

作家通信 墨との対
話 阿部 清子 趣味の水
墨画 246

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人
今、九州が面白い!
九州デザインをリー
ドする若手6組 阿
部薫太郎 石田 純子 デザイン
の現場 163

アクリリックス・ワ
ールド52 阿部岳史 石井 芳征 美術手帖 923

特集 国際化時代の
建築教育システムへ
十大学院における建
築設計教育 インタ
ビュー: 米国から見た
日本の建築設計教育
阿部仁史 UCLA
建築・都市デザイン
学科学科長に聞く 阿部 仁史
談 小野田泰明、
入江 徹
聞き手 建築雑誌 1588

2009年日本建築学会
作品選奨 菅野美術
館[阿部仁史] 〃 1593

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
55 エゾオオカミ物
語[あべ弘士] 河合 雅雄 太陽(別冊) 164

本づくし「ファープ
ル先生と触覚の美」
『ファープル植物記
上・下』J.J. =H. フ
ァープル著/日高敏
隆、林瑞枝訳 阿部 雅世 A X I S 138

カバーインタビュー
／阿部雅世 谷口真佐子 〃 139

ムナーリのことば 阿部 雅世 百 科* 564

特集 春のアートフ
ェア 見逃せないこ
の画廊 この作品
現代美術 《Scene
no. 17》 ベイスギ
ャラリー 阿部末奈
子 ギャラリー
一* 287

コミック あまんち
ゅ! 1 天野こずえ
(作) まっすぐな輝
きに「萌える」 ササキバ
ラ・ゴウ 朝 日 10.18

人間発見 「視力
6.0」で見る大自然 1
〜5 環境写真家天
野尚さん 井上 亮
聞き手 日経夕刊 5.11〜15

顔 世界環境写真家
協会を設立した写真
家 天野尚さん 中島慎一郎 読 売 6.22

談話室 「追悼 平
山郁夫画伯」 天野 雅子
松本 達志
山本 珠貴
福島はる枝
田伏 正七 産 経 12.11

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 PART 2
PROFESSIONAL IN-
TERVIEW 実録!
アーティストのセルフ
・プロデュース術
展覧会開催の道のり
とは? しりあがり
寿、
タナカカツ
キ、
天久 聖一、
河井 克夫、
長尾謙一郎
佐久間 恵
構成・文 美術手帖 928

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
(特別企画)2010年で
創立50周年! 社団
法人日本南画院の歩
みと今 綾佳子 中野 中 美術の窓 313

古陶随伴録74 画家
と陶芸 宇鮮陶人 三好 一 目の眼 395
洋画家・新井謹也と
洋画家・太田喜二郎

特集 ULTIMATE
TOY BOX! いま、
遊びたいおもちゃ
200 TOY TOPICS
私を虜にした一品 あらみけい
いち STUDIO
VOICE 397

追悼 赤穴宏さんを
想う 荒井 茂雄 連盟ニユ
ース 431

表も裏 新井 淳一 ガ ス 燈 80

匠の技 能面に刻む
若き魂 表情豊か丹
精込め[新井達矢] 工藤 菜穂 読 売 6.28

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
47 たいようオルガ
ン[荒井良二] 祖父江 慎 太陽(別冊) 164

ふるさと 絵本作家
・イラストレーター
荒井良二さん 山形
市 絵で埋め尽くし
たノート 清川 仁 読 売 7.2
聞き手

作品研究 荒川豊蔵
の(志野) 唐澤 昌宏 現代の眼 574

資料紹介 I 清荒神
清澄寺と富岡鉄斎・
荒川豊蔵・森田子龍 森藤 光宣 美術フォ
ーラム21 19

明日へ 祇園を支え
る2 京の名所刷毛
で表現[荒木かおり] 渋谷聖都子 読売夕刊 3.5

ME&SV 荒木経惟 荒木 経惟 STUDIO
VOICE 400

視線 荒木経惟 ト
ーキー・アルキ
荒木経惟著 サエキけん
ぞう 朝 日 8.9

ニッポン人・脈・記 この一枚の物語6 愛とエロおれの生き 様[荒木経惟]	相場 郁朗	朝日夕刊	6.15	追悼 森田茂先生を 偲んで 言い尽くせ ぬほど大きな方	有馬 侃	新美術新 聞	1182
天才アラキー「遺 作」出版 昨年に 前立腺がん「自分 の写真、一番の薬」	大西 若人	〃	12.22	作品の周辺	有元 容子	実践女子 大学美学 美術史学	23
			1.10、17、 24、31、 2.7、14、 21.3.1、 8、15、22、 29、4.5、 12、19、 26、5.3、 10、17、 24、31、 6.7、14、 21、28、 7.5、12、 19、26、 8.2.9、 16、23、 31、9.6、 13、20、 27、10.4、 11、18、 25、11.1、 8、15、22、 29、12.6、 13、27	雑誌と文字の散歩道 7[栗津潔]	臼田 捷治	墨	201
				Recommend! Orbit- uary 追悼 栗津潔 デザインの実験王逝 く	榎本 了壺	デザインの 現場	166
				INFORMATION ME- MORIAL 追悼・栗 津潔 栗津潔追悼記	針生 一郎	美術手帖	923
アラキーがゆく	産 経			喪友記 栗津潔さん を悼む 美しい模型	篠田 正浩	日 経	5.4
				志は高く、視線は低 かった ヴィジュアル ・デザインの求道 者 栗津潔氏を悼む	勝井 三雄	毎日夕刊	5.12
				デザイン季評 快活、 明朗な「異端」[栗津 潔]	生井 英考	読 売	6.4
				invitation book 建 替え前にとどめてお きたい 歌舞伎座の すべて[安齋重男]		芸術新潮	719
アラキー絶賛「脳 に汗かいた」 ネオ テニー・ジャパン		〃	6.27	安西水丸さんとゆく 南青山裏道さんぽ		〃	〃
写真家・アラキー 前立腺がんを告白 「生」への欲望パワー アップ	重松 明子	〃	10.7	特集 保存版 愛す べきパートナー 筆 墨硯紙 楽しく付き 合う 文房具と絵と 書のこと	安西 水丸 談	墨	199
questions 8 荒木 経惟		日 経	12.10	100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 67 ハーモニカのめ いじんレンティル	安西 水丸	太陽(別冊)	164
2009年「この3冊」一 下 持田叙子3 荒木 経惟 つひのはてに フィリップ・フォレ スト著、澤田直・小 黒昌文訳	持田 叙子	毎 日	12.20	好きなもの	〃	毎 日	4.12
写真に書・絵生きる “欲情” アラーキー 「遺作 空2」 がん で「死」意識日常な ぞる	前田 恭二	読 売	12.22	帰りたい 私だけの ふるさと 千葉県千 倉町(現南房総市) 朝の逆光に透ける 海、その美しさ!	安西 水丸 小松やしほ 聞き手	毎日夕刊	5.7
2009年日本建築学会 作品選奨 菅野美術 館[新谷真人]		建築雑誌	1593	特集 日本発、ヴェ ネツィアへ! 安藤 忠雄×杉本博司 対 談:もうひとつの世 界をつくる一理想の 美術館建築とは?	安藤 忠雄 杉本 博司	ART iT	24
サタデー発言 でん でん太鼓で音づくり	有賀 忍	東 京	6.20	特集 プロジェクト ・レポート次なる キーワードを探せ 安藤忠雄の「Hミ ュージアム」一歴史と 向かい合い、感性を 引き出す別世界	上條 昌宏	A X I S	140
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 水性画材編 4 水性 土性顔料「CAPUT MORTUM」 有田巧		美術の窓	306				

from the World 新
たな文化アイコン 安
藤忠雄の設計による
「プンタ・デラ・ド
ガーナ」 A X I S 140

WORLD NEWS ヴ
ェネツィア4 フラ
ンソワ・ピノーと安
藤忠雄による“第二
の美術館”が誕生！ 伊東 豊子 美術手帖 925

安藤忠雄さん、ベネ
チアの歴史的建物を
再生 新旧の素材調
和にこだわり 西田 健作 朝 日 6.30

「東京五輪」盛り上が
らないなんて この
国に目標を。環境に
配慮した大会で、子
どもの目を輝かせた
い 招致委員会の理
事で建築家の安藤忠
雄さん 刀祢館正明
聞き手 ” 9.19

白一色の建築模型展
東京 安藤忠雄作品
など120点 大西 若人 朝日夕刊 1.7

現状に安住すること
なかれ トレーニン
グ 建築家安藤忠雄
さん ” 2.5

人、瞬間[ひととき]
建築家安藤忠雄さん
上、中、下 藤原 由梨 産 経 2.17~19

ベネチア新名所へ期
待 安藤忠雄氏が改
装、ピノー財団の新
美術館 山口 昌子 ” 6.10

「海の森」東京再生
建築家安藤忠雄さん
対談 水野和伸東京
新聞編集局長 東 京 5.30

博物館・美術館建設
ラッシュ 中東の「野
望」経済が影 安藤
忠雄氏、2館を設計
「計画進行は滞りな
く」 ジョルジー
ナ・アダム 日 経 1.24

交遊抄 良きライバ
ル[安藤忠雄] コシノヒロ
コ ” 5.9

私の履歴書23 安藤
忠雄、ノックアウト
世界デビューに乾い
た拍手 磯崎 新 ” 5.24

17世紀税関を現代美
術館に ベネチア、
安藤氏設計 ” 6.4

展覧会場 建築家が
演出 作品と調和、
空間見せる[安藤忠
雄] 小川 敦生
郷原 信之 日経夕刊 2.23

学びのふるさと
「つくることには覚
悟がいる」 通い詰
めた東大寺、大工の
働きに感銘 気概や
情熱、時代を超える
建築家安藤忠雄さん 杉垣 裕子
聞き手 ” 10.16

第55回学校読書調査
十兵衛に勇気もらっ
た 寄稿 建築家安
藤忠雄さん 安藤 忠雄 毎 日 10.27

建築 安藤忠雄 プ
ンタ・デラ・ドガー
ナ 五十嵐太郎 毎日夕刊 7.23

SPECIAL FEATURE
茶の湯の美 クラン
シック&モダン PART
3 CHANOYU MO-
DERN 茶の湯モダ
ン 今に活かす茶の
湯のココロ 茶事の
中に潜む芸術性 安藤 雅信 美術手帖 930

特集 2009年はこの
若手に注目！ 新鋭
デザイナー50人 注
目の若手デザイナー
が語る 上司から学
んだこと 02 安藤
基広 サン・アド 杉瀬 由希 デザイン
の現場 163

アートフェア東京
2009 安藤陽子 斉藤 博美 art _ icle 17

特集 新景観 II
インタビュー 映画
監督、庵野秀明の観
る『景観』 庵野 秀明、
五十嵐太郎、
石川 初 談 建築雑誌 1584
大西 正紀
文

EXTRA COLUMN
エヴァンゲリオン新
劇場版：破[庵野秀
明] ばるばら STUDIO
VOICE 404

PREVIEW 「新作
木のぼりの詩」他[安
野光雅] 大矢 軾音 美術の窓 308

日本一の街道に人生
の旅重ねる 今週の
案内人 画家 安野
光雅さん 何気ない
風景の透視が新鮮 安野 光雅 朝日夕刊 5.12

安野光雅が描く 日本 のふるさと 奈良	産	経	1. 11、18、 25. 2. 1、 8、15、22、 3. 1、8、 15、22、 29. 4. 5、 12、19、 26. 5. 3、 10、24、 31. 6. 7、 14、21、 28. 7. 5、 12、19、 26. 8. 2、 16、23、 30. 9. 6、 13、20、 27. 10. 4、 11、18、 25. 11. 1、 8、15、22、 29. 12. 6、 13、20、27	特集 記憶の中の画 家IV 飯田勇先生 のこと——姫中生の 思い出	浅見 勝也	文化往来 美の風	4
				時評1 あるパブリ ック・アートの顛末 [飯田善國]	木村 重信	視覚の現 場 四季 の綻び	1
				時評1 「木村重信 〈あるパブリック・ アートの顛末〉」をめ ぐって[飯田善國]	鍵岡 正謹	"	3
				美の履歴書114 な ぜ「己」を抑えるのか 「白錆花籃 銘『大 海』」 飯塚小玕齋	田中 三蔵	朝日夕刊	7. 8
				100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 04 ねぎぼうずのあ さたろう その1 [飯野和好]	俵 万智	太陽(別冊)	164
画家・安野光雅 パ ッションを語る NHK「生活ほっとモ ーニング」出演	植木 芳和	"	4. 14	第2回アーティクル 賞グランプリ発表 オーディエンス賞 飯野哲心	飯野 哲心	art _ icle	18
明日香村 安野光雅 著 あふれる繊細で 温かな詩情	岡部 伸	"	12. 13	飯村隆彦の舞踏映画 『あんま』と『バラ色 ダンス』のシネダン ス	アーロン・ カーナー	あ い だ	167
「日本のふるさと 奈良」連載を終えて いにしへの文化に感 慨	安野 光雅	"	12. 27	作家通信 第十二回 玉俊水墨画会合同作 品展を終えて	五十嵐玉俊	趣味の水 墨画	243
あすへの話題	"	日経夕刊		同じモチーフで競作 異なる分野驚きの発 想 マンガ家五十嵐 大介 作家伊坂幸太 郎	佐藤 憲一 聞き手	読 売	11. 20
ドービニーの庭			5. 21				
ピエンツァの絵			5. 28				
みんなのマンガ学 ハッピーマニア リ アルな恋愛 深い共 感[安野モヨコ]	倉持佳代子	朝日夕刊	6. 17	絵画における新しい 下地塗料の研究—白 亜地キャンパスの走 査型電子顕微鏡によ る観察—	白河 宗利 岩崎 友敬 田中 元偉 猪狩 雅則	愛知県立 芸術大学 紀要	38
ぎゃらりいモール 弥生美術館「安野モ ヨコ展レトロモダン な世界」から「鸚鵡師 IA」(『VOGUE NIP- PON』2009年6月号 掲載)安野モヨコ	堀江あき子	読売夕刊	11. 24	特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代 「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ー	井口 弘史	STUDIO VOICE	400
(イ)				中特集 巨匠展—今 そして未来2009— 出品作家インタビュ ー	池口 史子	美術の窓	308
東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技術材料・保存 修復に関する基礎的 研究VI[飯沢伝之丞]	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 桐野 文良 田中 智恵子 増田 久美	東京芸術 大学美術 学部紀要	46	トピックス 中国美 術館主催 池口史子 氏の個展盛大に	小森佳代子	"	312
ヒト 飯島直樹氏— JCDデザインア ワードを語る	杉浦 久子 聞き手 平塚 桂 文	建築雑誌	1591	異例の日本人個展 中国美術館で開く [池口史子]		日経夕刊	7. 15
第41回日展を前にし て 各科審査員より 霧の道の向こうに	飯泉 俊夫	日展ニュ ース	134	特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コ ミュニケーションの 新次元! COLUMN 美術とアーキテク チャの現在	池田 剛介	STUDIO VOICE	398

文化往来 エミール・賞 の美術監督「登場人物 になりきる」[池田 繁美]			日 経	12.30		ディズ 被告の姿感 じる生と死 法廷描 く画家が作品[池田 学]	三橋 麻子	朝日夕刊	7.4
情報館 松岡美術館 「美人画展—麗しの 女性美を求めて—」 から「桜舟」池田蕉園	後藤 修	読売夕刊	3.24		《善光寺街道絵巻》展 に寄せて	M. A. 池 田宗弘	自由美術	2009	
特集 文字のつくり かた 2016年、東京 での開催を目指して オリンピックロゴ、 勝手につくっちゃい ました。		デザインの 現場	165		彫刻家の現場から54 池田宗弘	武田 厚	美術の窓	313	
池田享史	池田 享史 談				特集 非線形・複雑 系の科学とこれからの 建築・都市 IV 建築への刺激 2 デ ザイン行為の新しい 様相	池田 靖史	建築雑誌	1590	
僕のロゴのつくり かた。	池田 享史				ぎやらりいモール 東京都現代美術館 「池田 亮司+/-」か ら「data. tron[3 SXGA+version]」	長谷川祐子	読売夕刊	5.19	
池田龍雄の脱領域的 活動—1950年代から 60年代を中心に	西澤 晴美	芸術学研 究(筑波)	13		マンガ50年 少女漫 画革命 3 70年代画 期的な名作登場[池 田理代子]	西田 朋子	読 売	8.27	
池田俊彦 銅版に腐 蝕される、人間最果 ての姿	友澤 宏子	版画芸術	145		わたしの宝もの50 木綿と指	池永 康晟	新美術新 聞	1191	
特集 アートな花が 咲くところ 札幌美 術展真冬の花畑 ア トリエ探訪02 躍動 する心と体を封じ込 めた作家の第2章 井桁雅臣		L u r e	90		巻頭特集 手はすべ てを語る ⑧技法講 座 VOL. 15 麻キヤ ンパスに日本画を描 く 池永康晟が描く 物語る女性たち		美術の窓	310	
特集 設計者は誰か III インタビュー3 ：池田昌弘氏 より 自由であるために責 任を引き受ける	芝田 義治、 倉方 俊介 聞き手	建築雑誌	1589		ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説9 「半刈り」でハンガ リー行[池水慶一]	田中 三蔵	朝日夕刊	4.1	
裏・表紙 作品・作 家解説 池田満寿夫 《仏塔—20》	湯浅 英雄	美術フォ ーラム21	19		作家訪問393 貝工 芸家 池村茂さん	編 集 部	目の眼	395	
池田満寿夫 「タエ コの朝食」(1963)	小橋 祥子	日 経	10.22		Pick-up 石井一男 展—画集「絵の家」出 版記念—		ギャラリ ー*	286	
Close-up 池田学 跳んで、隠れて、登 って、走り回って 童心が創り出す壮大 な世界		ギャラリ ー*	291		100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 54 森のイスくん [石井聖岳]	石津ちひろ	太陽(別冊)	164	
「明日はあしたの細 部を描く」池田学 のアドリブ超絶絵画 術					作家通信 挑戦！能 舞台	石井 松琴	趣味の水 墨画	243	
特集 若冲 〈動植 綵絵〉・モザイク画 ・〈象と鯨図屏風〉… 永遠に新しい絵師の すべて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選 ぶこの一点 〈池田 群虫図〉 池田学選	池田 学	ユリイカ	574		ある美術作家の遺品 資料を美術館に寄贈 するにあたっての経 緯[石井鶴三]	岩部 定男	あ い だ	166	
					若き石井鶴三の眼差 し	大島 武	エクラン 松本市美 術館紀要	1	
					石井鶴三が残したも の—作品資料整理・ 調査の途中現場から —	小林 純子	”	”	
					石井鶴三と信州 信 州の美術教育に多大 な影響	”	新美術新 聞	1197	

「宮本武蔵」の気合 石井鶴三の木版画 芸道は白刃の上を行 くが如し	大島	武	版画芸術	145	毎日芸術賞の人々 1 石内都展「ひろ しま」及び写真集『ひ ろしま』 石内都さ ん 62年後の「被爆」 を表現	岸	桂子	毎日夕刊	1.15
特集 新景観 IV ドボク・エンタテイ メント1ー工場萌え 工場鑑賞の未来	石井	哲	建築雑誌	1584	第50回毎日芸術賞 受賞者の喜びの声 写真家 石内都さん 世界中で紹介するつ もり	石内	都	〃	1.29
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 石井秀隣	編 集 部		美術の窓	307	望遠／広角『ひろ しま』を支えた人々 [石内都]	岸	桂子	〃	2.9
カバーインタビュー ／石井裕	石橋	勝利	A X I S	142	日々好日 心安らか な目覚め	石垣	定哉	新美術新聞	1194
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50 & ④テクニ ックつき Part 1 油性画材編 8 油性 ビュロー油絵具 石 井宝山			美術の窓	306	ヒト 石上純也氏	杉浦 久子 聞き手 のかたあき こ 文		建築雑誌	1586
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	石居	麻耶	〃	309	2009年日本建築学会 賞(作品) 神奈川工 科大学K A I T 工房 [石上純也]			〃	1593
巻頭特集 散歩から はじめよう スケッ チがもっと上手くな る ④技法講座 VOL. 16 身近な光 景をとられる2 高 校時代の帰り道編/ 色鉛筆 石居麻耶イ ンタビュー	石居 談	麻耶	〃	315	特集 京都千年のタ イムカプセル 冷泉 家のひみつ 第二章 仮名のきわみ 書で 味わう俊成・定家	石川	九楊	芸術新潮	719
視線 石井幹子 光 時空 MOTOKO LIGHT+SPACE+ TIME	村山	由佳	朝 日	11.29	書巻の気60 不朽の 古典を読み解き、書 表現の臨界を極める 石川九楊『石川九 楊源氏物語書巻五十 五帖』	白田	捷治	書道界	230
光時空 石井幹子著			日 経	11.8	書巻の気70 理路を 尽くした全体像構築 の金字塔 石川九楊 『近代書史』	〃	〃	〃	240
石井幹子さん 照明 作品集			読 売	11.19	日本書の(根源)へ3 書と三つの(時)の祝 祭(後篇)[石川九楊]	石川	翠	墨	200
50年後の「希望」写す やなぎみわさん「マ イ・グランドマザー ズ」	大西 若人 文 石内 都、 やなぎみわ 談	朝 日	4.21	第36回大佛次郎賞 『近代書史』 石川九 楊氏	宮代	栄一	朝 日	12.21	
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説10 美 共闘終わらぬ戦い [石内都]	田中	三蔵	朝日夕刊	4.2	語る 書家 石川九 楊氏 触覚の芸術、 近代史を追究			日 経	10.25
石内都、新写真集を 刊行「陰影」を追い 続けた軌跡	柳原	一哉	産 経	6.23	特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 福本という作家 愚 直の人	いしかわじ ゅん	ユリイカ		572
第50回毎日芸術賞 受賞者の業績 映像 II 部門(写真) 石内 都展「ひろしま」(広 島市現代美術館)及 び写真集「ひろしま」 (集英社) 石内都さ ん 浮かぶ世界の傷 跡	笠原美智子	毎 日	1.1	著者に聞きたい 秘 密の本棚 漫画と、 漫画の周辺 漫画家 が評論する漫画 い しかわじゅんさん	戸津井康之	産 経	7.5		

— 200 —

建築家の自邸評価… …泉幸甫 ホスピタ リティの住まい「面 邸(ジテイ)」	服部 泉	岑生 幸甫	建築雑誌	1584	板谷波山記念館「波 山陶芸の舞台裏—陶 片の語る世界」展よ り	荒川 正明	陶 説	680
中特集 作家の原点 泉谷淑夫	金原 瑞人		美術の窓	308	ぎやらりいモール 泉屋博古館分館「板 谷波山をめぐる近代 陶磁」から「葆光彩 珍果文花瓶」板谷波 山	両角かほる	読売夕刊	5.12
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 39 ルリユールおじ さん[いせひでこ]	永江 朗		太陽(別冊)	164				
新美術時評 巨匠た ちの姿勢[伊勢崎淳]	外館 和子		新美術新 聞	1190	市浦健設計「日光龍 頭山の家」に見るア ントニン・レーモン ドの影響	速水 清孝	日本建築 学会計画 系論文集	639
内なる力を秘めたリ アリティを求めて 磯江毅 Gustavo ISOE	編 集 部		美術手帖	919	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 市川皓	中野 中	美術の窓	313
内なる力を秘めたリ アリティを求めて 磯江毅 Gustavo ISOE リアリズム 絵画雄感	諏訪 敦		" "	" "				
『磯江毅 写真考』磯 江毅著			産 経	5.3	コミック 虫と歌 市川春子作品集 市 川春子(作) ジェン ル超えた生命の連環	山脇 麻生 朝 日		11.29
磯江毅 写真考 Gustavo ISOE's Works 1974—2007			日 経	4.26	フェイス21世紀128 市川裕司 (genetic) から(eschaton)へ	窪田 元彦	新美術新 聞	1196
特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト 徹底討議 シニシズムとスノビ ズムの間で	磯崎 浅田	新 彰	ユリイカ	567	市島桜魚 2007— 2008年 作品の解説	市島 桜魚	金沢学院 大学紀要*	7
大波小波 ネオポリ スの未来[磯崎新]	(古城)		東京夕刊	3.27	Close-up イチハラ ヒロコ クロッキー 帳で熟成されるイチ ハラ言語の愛と笑い		ギャラリ ー*	287
私の履歴書1〜30	磯崎 新		日 経	5.1〜6、8 〜31	写眼 心の色を映し 出す水 市原基「メ コンの小舟」	堀 晃和	産 経	3.21
2009年はこのアーテ ィストに注目! 磯 辺行久 古信濃川の 自然堤防跡はここに あった			美術手帖	926	彫刻家の現場から46 市村緑郎	武田 厚	美術の窓	305
PREVIEW 磯村敏 之遺作展	高山 淳		美術の窓	313	美術学部教員展図録 油画	井出創太郎	愛知県立 芸術大学 紀要	38
みんなのマンガ学 グラッパラー刃牙 技でなく力ずくの「強 さ」追求[板垣恵介]	表 智之		朝日夕刊	9.2	若桑みどり追悼特集 出光真子作《The Past Ahead》	若桑みどり	イメージ &ジェン ダー	9
特集 魅せる小型グ ラフィック Christ- mas Card Trial 2 板倉敬子×銅版印刷	大城 譲司		デザインの 現場	168	出光真子と岸本清子 《アニメス パート 2》における自由な 魂の交叉	北折 智子	美術運動 史研究会 ニュース	101
板谷波山の自然観察 蝶貝の形象—「苦小 牧市制60周年記念 板谷波山展」によせ て—	荒川 忠宏 金沢 陽		出光美術 館館報	148	SINGULAR DIA- LOGUES 伊藤篤宏	南部 真理	STUDIO VOICE	399
素材を手の内に 青 磁—板谷波山「霽青 磁牡丹彫文花瓶」 三浦小平二「青磁蓋 物 馬頭琴(ダツツ アンにて)」	唐澤 昌宏	淡 交		783	伊藤遠平		art _ icle	22
					特集 建築のデリバ リー		建築雑誌	1595
					I 解題	伊藤 香織		
					II デリバリーの 方法論 デリバリ ーの媒体	"		

III デリバリーの編集 事例1 区民や子供たちに／公共劇場を届ける／プレオープンング・プログラム 演劇的プロセスによって共有される劇場 座・高円寺	伊藤 香織 平塚 桂					コミック 伊藤潤二の猫日記 よん&むー 伊藤潤二(著) いちいち不気味な猫エッセー	南 信長 朝 日	4.5
III デリバリーの編集 事例2 子どもたちや教員に／学校を届ける／ワークショップ 専門家のコラボレーションで「体験」をつくる	"					作家通信 今秋の個展にむけて	伊藤 昌	趣味の水 墨画 247
III デリバリーの編集 事例3 多様なステークホルダーに／まちを届ける／アーバンデザインセンター 公民学連携のまちづくり拠点 UDC K(柏の葉アーバンデザインセンター)	"					ネオテニー・ジャパン高橋コレクション 作家10選 4 伊藤存	産 経	6.4
III デリバリーの編集 事例4 市民と各地の仲間に／港を届ける／施工のプロセス 海の市民がつくる7年都市 今治みなと再生	"					PREVIEW 伊藤高義絵画展—メキシコの大地に自然のドラマと人の生きる原点を求めた旅45年・70余回・旅ごとに新しい発見が—	編 集 部	美術の窓 309
IV インタビュー 建築空間のリアリティを深める体験が必要だ	鈴木 明 伊藤 香織、 平塚 桂 文					「私の版画自慢」 第8回	伊藤 卓美	版画芸術 143
舞台美術家 伊東清さん 高座の後ろ「芝居嘶」守る	長井 好弘	読売夕刊				日本人とこころ 伊東忠太と魑魅魍魎 上、下	篠原 知存	産 経 7.19、26
夜の梅	伊藤 圭	A S				特集 建築のデリバリー III デリバリーの編集 事例1 区民や子供たちに／公共劇場を届ける／プレオープンング・プログラム 演劇的プロセスによって共有される劇場 座・高円寺[伊東豊雄]	伊藤 香織 平塚 桂	建築雑誌 1595
無限遠	"	"				思想の言葉 誰のために現代建築はつくられるのか	伊東 豊雄	思 想 1018
BAD INTERVIEW 伊藤桂司	深沢 慶太	STUDIO VOICE				Recommend! Architecture 座・高円寺[伊東豊雄]	鈴木 紀慶	デザインの現場 166
自然を土に写し取る伊藤公象の不思議な造形 人為的な「芸術」を疑う	窪田 直子	日 経				フロントライン 3 人の建築家が展望示す[伊東豊雄]	日 経	7.12
特集 検証「批判的工学主義」—BUILDING Kから考える IV 多角的検証 検証・BUILDING K BUILDING Kの粗さについて	伊藤 暁	建築雑誌				文化往来 若手建築家育てる伊東氏のミュージアム	"	9.7
REVIEWS01 榎木野衣 月評第13回 日本グラフィック展の「起源」 作家・再考—伊東淳	榎木 野衣	美術手帖				建築 伊東豊雄・3歳の「ぐりんぐりん」風景になじんだ合理的造形	五十嵐太郎	毎日夕刊 1.7
						伊東豊雄さんに聞く自身の建築博物館建設が愛媛で進行	永田 晶子	" 9.15
						建築望見 伊東豊雄氏の「全仕事」公開	高野 清見	読 売 10.8
						100人の心に響いた絵本100 国内絵本49 うしお[伊藤秀男]	本橋 一成	太陽(別冊) 164
						制作記録 インタラクティブインスタレーションの制作3	伊藤 英高	金沢美術工芸大学 紀要 53

100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 40 ねこのなまえ [いとうひろし]	岩橋 淳	太陽(別冊)	164						
Recommend! Archi- tecture Piccolo Tea- tro[伊藤寛]	鈴木 紀慶	デザインの 現場	168						
中特集 風景 v.s. 光景 伊藤元子	高山 淳	美術の窓	309						
コミック シュートヘ ル1 伊藤悠(作) 時を超えて巡り合う ふたり	山脇 麻生	朝 日	4.12						
中特集 風景とイ メージ Part. 2 現代作家が描く風景 とイメージ 伊藤善 文	高山 淳	美術の窓	310						
座談会 第61回アン デパンダン展をふり かえって	山本 良三、 稲井田勇二、 森田 隆一、 十滝 歌喜 談 百瀬 邦孝 司会・記録	美術運動	136						
日本美術会はなぜア ンデパンダン展を開 催するか	いなおけん じ	〃	〃						
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 水性画材編 3 水性 リキテックス・ソフ トタイプ 稲垣考二		美術の窓	306						
素材を手の内に 型 絵染—芹沢銈介「縮 緬地型絵染着物 紙 漉村」稲垣稔次郎 「信州紬地型絵染着 物 風」	北村 仁美	淡 交	778						
写真家 稲越巧一さ ん 心で見た風景、 撮り続ける	中沢 一議	朝日夕刊	5.23						
悼む 稲越巧一さん 写真家 いつも心に ふるさと	土野 守	毎 日	4.15						
稲田全示 《隠され た神話—岩に秘めら れた尾道古代ロマン —》	稲田 全示	尾道大学 芸術文化 学部紀要	8						
デザイン展 5年目 名古屋の“機能美”発 信[稲波伸行]		日 経	11.23						
アクリリックス・ワ ールド53 稲葉まり	石井 芳征	美術手帖	927						
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 今、九州が面白い! 九州デザインをリー ドする若手6組 ENOUGH	的野 裕子	デザインの 現場	163						
交遊抄 心を動かす 極意[稲吉紘実]	熊谷 昭彦	日 経	3.9						
画集「稜線の風の如 く」が人気 早世の 画家・犬塚勉さん	袴田 貴行	毎 日	6.3						
彫刻家の現場から55 井上公雄	武田 厚	美術の窓	314						
特殊印刷加工トライ アル 第12回 井上 広一、広色域印刷に 挑戦!	杉瀬 由希	デザインの 現場	165						
巻頭特集 散歩から はじめよう スケッ チがもっと上手くな る ④技法講座 VOL. 16 井上武 【技法講座】鉛筆と ダーマトグラフで描 く、新橋・旧薬局跡		美術の窓	315						
フロントランナー 漫画家 井上雄彦さ ん 武蔵の最期の思 いに近づく	保科 龍朗	朝 日	5.9						
みんなのマンガ学 バガボンド 毛髪、 髪一本にも迫力[井 上雄彦]	吉村 和真	朝日夕刊	5.27						
中特集 風景 v.s. 光景 井上俊郎	瀧 悌三	美術の窓	309						
追悼 井上信道さん		自由美術	2009						
惜別	垣内 治雄								
彫刻家の魂	井上 寛子								
視線 Inside—Out 井上廣子著	新井 敏記	朝 日	5.24						
写眼 境界としての 「窓」 井上廣子「In- side—Out」	篠原 知存	産 経	4.11						
Inside—Out 井上 廣子著		日 経	6.7						
井上廣子写真集「In- side—Out」	(前)	読 売	4.12						
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その19 武 吉・my sky hole・ “箱”と“球”[井上武 吉]	林 紀一郎	新美術新 聞	1201						
特集 記憶の中の画 家IV 若き日に 出逢った画家	井上 雅彦	文化往来 美の風	4						

巻頭特集 手はすべてを語る ④技法講座 VOL. 15 インタビュー 井上護 手は顔よりも物語る—デッサンで自分の引き出しを増やすことで、タブローの可能性は広がる	井上 護	美術の窓	310	新刊紹介 今井政之作品集	陶 説	677
江戸博蔵めぐり 新橋ステーション夜 井上安治・画	白田 詠子	読 売	2.20	陶燈無尽—窯場に息づく心と技 鍋島焼	今泉今右衛門[十四代]談 梶山 博史 取材・文	淡 交 780
日本書の〈根源〉へ	石川 翠	墨		美の履歴書094 色絵に墨を加えたわけ「色絵吹重ね草花文鉢」13代今泉今右衛門	中村 俊介	朝日夕刊 1.28
3 書と三つの〈時〉の祝祭(後篇) [井上有一]			200	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(一) 今尾景年筆「春山花鳥図」—巴里に臨んだ花鳥画家—	齊藤 全人	三の丸尚蔵館年報・紀要 14
4 書と母なる音 あるいは無限クレオール(前篇)[井上有一]			201	美術学部教員展図録 デザイン	今尾 泰三	愛知県立芸術大学 紀要 38
特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 井上裕起 ジャパン・サラマンダー	和田 卓也 談	ギャラリー	292	作家通信 動く水墨画	今岡紫雲英	趣味の水墨画 248
100人の心に響いた絵本100 国内絵本28 おおガラス[井上洋介]	さとうわきこ	太陽(別冊)	164	巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50 & ④テクニックつき Part 1 日本画・水墨画用画材編 4 日本画・水墨画 青雲 今岡紫雲英		美術の窓 306
現代美術の歩き方 今月の一品 伊庭靖子 untitled	編 集 部	美術の窓	308	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレクション 今岡紫雲英	高山 淳	” 313
作家通信 馬	井原 優山	趣味の水墨画	246	2009年日本建築学会作品選奨 千葉市立美浜打瀬小学校[今川憲英]		建築雑誌 1593
みんなのマンガ学 百鬼夜行抄 華やかさと闇 異界にゾクッ[今市子]	倉持佳代子	朝日夕刊	8.12	アートフェア東京 2009 今津景	齊藤 博美	art _ icle 17
美術学部教員展図録 彫刻	今井 瑾郎	愛知県立芸術大学 紀要	38	Close-up 今野尚行 そこと、そのあいだ「ギリギリの限界点」を描く		ギャラリー 294
今井兼次共同研究報告—第1次3カ年計画[平成17—19年度]	山下 泉	多摩美術大学研究 紀要	23	速水御舟 日本画を「破壊」する 画塾からの出発 1909—1917 今村紫紅と新南画	鶴見 香織	太陽(別冊) 161
開館五十周年記念講演 建築家 今井兼次の世界—礫山美術館設計者のこころ—	今井 兼介	礫山美術館報	29	美の美		日 経
巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 画家が教えるデッサンの④ポイント 1.クロッキーは描き続けられ続けるほど面白くなる	今井 信吾	美術の窓	304	名作に開く花—近代日本画の粋2 [今村紫紅]	宝玉 正彦	3.8
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	今井 喬裕	”	309	近江八景 下 名所絵から風景画へ格闘する近代的自我[今村紫紅]	古賀 重樹	8.30
				海外に学び日本に学ぶ サロンのような教育の“場”	今村 創平	建築雑誌 1584

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本 太陽(別冊) 164

32 なつのいちにち 今森 光彦

35 わたしの庭
[今森光彦] 山田 和

ひと 第28回土門拳賞 今森光彦さん 近藤 浩之 毎 日 4.29

清志郎人気衰えず
個展、追悼ライブ… 飯塚 友子 産 経 7.25
[忌野清志郎]

第21回読書感想画
中央コンクール 絵本
作家いもとようこさん 自分色に描いて 木村 葉子 毎 日 9.19
聞き手

21世紀芸術研究所—
3 Key Words Re-
search— 入江明日香 ギャラリー 295

中特集 作家の原点
入江一子 高山 淳 美術の窓 308

PREVIEW 入江一子
個展「シルクロード
色彩自在」 編集部 〃 315

追悼 神戸文子さんの
思い出 入江 一子 連盟ニユ 431
ース

新「山種美術館」開館
記念特別展 速水御
舟—日本画への挑戦
— 存在することへ
の関心、生命あるも
のへの思い 入江 観 新美術新 1196
聞

視点 「IAAアジア
太平洋地域美術家
会議」を終えて 〃 美術の窓 314

座談会 アンケート
「作品の収納と管理
について」を終えて 入江 観、
上條 陽子、
絹谷 幸二、
久野 和洋、
佐々木 豊、
中根 寛、
福島 瑞穂、
小作 青史、
中林 忠良、
海老塚 耕一、
吉野 毅、
大成 浩 連盟ニユ 432
ース

特集 興福寺創建
1300年記念 阿修羅
のまなざし 《阿修
羅》名作アルバム
大和路のこころ(抜
粋) 入江 泰吉 芸術新潮 711

美術史から消えた
「労働者」 弾圧受
けたプロレタリア美術、
歴史の空白を追う
[入江比呂] 門田 秀雄 日 経 11.19

顔 演劇の本場、英
国で舞台美術賞を受
賞した 入口衛さん 鶴原 徹也 読 売 12.2

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ル グラフィック編
色部義昭 杉瀬 由希 デザイン
の現場 163

技法・材料にせまる
私の絵について 岩井 啓二 主体美術 85

子どもと美術45、47
岩井俊雄さん特別授
業… 2、3 白坂 ゆり 美術手帖 918、920

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 PART 1
アーティストの生き
る道 西野達 西野 達 談
優
岩井
インタビ
ュー 〃 928
山内
宏泰
構成

アンケートに答えて
Painting Plan 岩尾 善幸 自由美術 2009

版画実践講座 木版
画 描画マチエール
版技法 岩切 裕子 版画芸術 143

視線 ちょっとオラ
ンウータン 岩合光
昭著 サエキけん 朝 日 7.12
ぞう

ニッポン人・脈・記
この一枚の物語 4
セレンゲティへ行こ
う[岩合光昭] 相場 郁朗 朝日夕刊 6.11

カバーインタビュー
/岩崎一郎 谷口真佐子 A X I S 141

KDDI、携帯新ブラン
ド iida デザイン
重視 前衛芸術家
も起用、夏メドに3
機種[岩崎一郎] 日 経 4.4

超高品質なホコリ展
—ホコリはいかにし
てハイ・クオリティ
—を獲得するに至っ
たか 岩崎 貴宏 広島市立
大学芸術
学部紀要 14

「出版記念展 ちひ
ろと一茶」オープ
ニング対談 松本猛×
飯島ユキ 対談「ち
ひろと一茶をつなぐ
もの」[いわさきち
ひろ] 屋代 亜由 安曇野
ちひろ美術
館だより 56

故いわさきちひろさ
ん 夢のコラボ詩画
集に「いのちの大
切さ伝える」医師
・日野原重明さん 丹治早智子 東 京 1.31

平成21年度文化功
労者決まる 岩澤重
夫氏 日本画 草間彌
生氏 絵画・彫刻 新美術新 1201
聞

追悼 岩澤重夫先生
を偲んで 高越 甚 〃 1203

喪友記 岩沢重夫さ
んを悼む 日本画壇
の重鎮 中山 忠彦 日 経 11.25

作家通信 銀座鳩居
堂展 岩瀬 玉泉 趣味の水
墨画 242

特集 若き天才を見
逃すな! 新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ
注目の新人アーティ
スト44 岩田 壮平 美術の窓 309

Go! Artists Go! 38
岩坪賢 編集部 美術手帖 922

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 岩永勝彦 高山 淳 美術の窓 307

週刊コミックジャッ
ク「雨無村役場産
業課兼観光係」若
者の生き方に説得力
[岩本ナオ] 名越 康文 朝日夕刊 2.25

マンガ最前線 岩本
ナオ著『雨無村役場
産業課兼観光係』
女性向けに地方復権
の兆し 細萱 敦 東京夕刊 12.1

特集 レム・コール
ハース 行動のアー
キテクト ユリイカ 567

その戦略と実践
「ヴォイドの戦略」
の可能性 その同
型性を通して 難波 和彦
岩元 真明

資料 コールハー
ス主要著作解題 岩元 真明
編・執筆 丁 周磨
執筆

(ウ)

枝川公一の東京スト
ーリー アイヌの姿
見つめ続けて18年
思い通りじゃなくて
もいい[宇井真紀子] 枝川 公一 読 売 12.3

VOICE OF VOICE
大久保に国や国境な
どない。肉料理屋の
み ヴィヴィア ン佐藤 STUDIO
VOICE 398

畏友 中川美智夫を
偲ぶ 植田 寛治 主体美術 86

山下裕二の今月の隠
し球53、54 上田順
平「やきのもで暴
れる、元ヤンキー」
(上)(下) 山下 裕二 美術の窓 308,309

特集 Greatest Dead
どこよりも早いゼロ
年代ソウカツ! 追
憶の00s ゼロ年代
の死者たち 植田正
治 鈴木 行 STUDIO
VOICE 405

書のアート制作 上田 普 書道文化 5

上野伊三郎・リチの
「造形意志」 山野 英嗣 京都国立
近代美術館研究論
集 2

京都で教えた上野伊
三郎・リチ ウィー
ン工房流 個性重視
貫く 古賀 重樹 日経夕刊 4.28

幕末の志士・後藤象
二郎 洋装の写真発
見 長崎 上野彦馬
が撮影 錦織 佑一 毎日夕刊 9.5

SPECIAL FEATURE
茶の湯の美 クラシ
ック&モダン PART
3 CHANOYU MO-
DERN 茶の湯モダ
ン 今に活かす茶の
湯のココロ ヤン窯
☆茶陶バトル 植葉
香澄 沢田眉香子 美術手帖 930

連載特集 追悼・山
岸信郎2 さよなら
山岸さん 上原 二郎 あいだ 156

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 注
目の若手デザイナー
が語る 上司から学
んだこと 01 植松
晶子 日本デザイン
センター 杉瀬 由希 デザイン
の現場 163

港で出合う芸術祭—
神戸ビエンナーレ
2009公式ガイド そ
して、神戸でビエン
ナーレ 注目の招待
作家たち 植松奎二 美術手帖 929

港で出合う芸術祭—
神戸ビエンナーレ
2009公式ガイド そ
して、神戸でビエン
ナーレ 注目の招待
作家たち 植松琢磨 " "

平和への祈り 貫いて
平山さん 被爆体験
が根底に 国際人と
して功績 上村 淳之 産 経 12.3

上村松園・松篁・淳
之三代展 凛とした
気品脈々と 木村 未来 読売夕刊 3.3

大阪特派員小林毅
現代美術は何でもア
リや[植村佳菜子] 小林 毅 産 経 3.10

上村松園研究の一断
章—晩年期における
歌麿大首絵の遺響 廣海 伸彦 出光美術
館研究紀要 14

構図のはなし2 大
きな三角形と視線、
余白—人の人物像
[上村松園] 和田 宏子 趣味の水
墨画 242

日本美術のススメ 今月の逸品 上村松園「蜚」	高橋美奈子	美術の窓	309	TALK&CHAT !! 対談：ジャガー× 宇川直宏 元祖共 有型 MUSIC	宇川 直宏			
美の美 名作に開く 花—近代日本画の粋 2[上村松園]	宝玉 正彦	日 経	3.8	UKAWAMERICAN EXPRESS	宇川 直宏、 磯部 涼 談	〃		400
上村松園・松篁・淳 之三代展 凛とした 気品脈々と	木村 未来	読売夕刊	3.3	特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ 年代ソウカツ! 追 憶の00s 鼎談：宇 川直宏×佐々木敦× 三田格	前田 毅 文 砂波 針人 編集協力	〃		405
墨のある風景 上村 松篁—杜若	平井 鉄寛	趣味の水 墨画	241	東京都写真美術館 「イマジネーション 視覚と知覚を超える 旅」魅了するミッ キーの“影” 幻影装 置が生む美[宇川直 宏]	渋谷 和彦	産 経	1.25	
美術品等収集状況 新収蔵作品より 上 村松篁		広島県立 美術館年 報	H19年度	入門講座 イタリア ・ルネサンスの「未 完成」1～5	宇佐美圭司	日経夕刊	7.2,9、 16,23,30	
上村松園・松篁・淳 之三代展 凛とした 気品脈々と	木村 未来	読売夕刊	3.3	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	潮田 和也	美術の窓	309	
秋の叙勲376人に栄 誉 旭日双光章 日 本写真文化協会副会 長 植村泰三さん 写真文化多くの人に 発信		読 売	11.3	松代大本営と現代ア ート 第8回まつし ろ現代美術フェステ ィバル誌上展 潮田 友子《夕暮れの時間 の中で—松代09》	潮田 友子	美術運動 史研究会 ニュース	106	
SV ART PHOTO GALLERY 鵜飼悠	大木 裕之	STUDIO VOICE	400	牛田雞村『朝鮮旅行 日記』および『朝鮮 旅行スケッチ』(三溪園 蔵)について 前編	齋藤 里紗	横浜美術 館研究紀 要	10	
第二特集 ゼロ年代 ヴィジュアルランゲ ージ 高橋恭司×鵜 飼悠	編 集 部	〃	405	特別寄稿：UJINO AND THE ROTA- TORS: 21世紀的ア ートの流儀[宇治野 宗輝]	片岡 真実	ART iT	23	
学生企画—アーティ スト宇川直宏に聞く、 ハタチの頃	宇川 直宏	瓜生通信	47	追悼 『クレヨンし んちゃん』作者 臼 井儀人さん 美化せ ず「家族」描いた	中条 省平	産 経	10.4	
特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コ ミュニケーションの 新次元!		STUDIO VOICE	398	集う 臼井儀人さん 「思い出を語る会」 (11月30日、東京都 港区の青山葬儀所) 「人気継続の努力、 それが恩返し」	磨井 慎吾	〃	12.15	
TALK&CHAT !! 対談：ひろゆき× 宇川直宏 “共有 形態”の現在と未 来!!	前田 毅 編集協力			マンガ50年 ギャグ は爆発する4 停滞 した時代の「ヘタレ」 [うすた京介]	佐藤 憲一	読 売	2.20	
TALK&CHAT !! 鼎談：チン↑ポム ×宇川直宏 MAD 的アートフォーム、 タグ的発想法	前田 毅			つくる オーダー封 筒の愉しみ	宇田川一美	芸術新潮	718	
YOUTUBE: A NEW POINT OF VIEW 宇川直宏	宇川 直宏			ニューヨークを代表 するプロダクトデザ イナーとして 宇田 川信学の挑戦	石田 純子	デザインの 現場	165	
TALK&CHAT !! コンテンツハルマ ゲドン前夜の公開 実験現場としての EXILE	宇川 直宏 談							
TALK&CHAT !! 対談：菊地成孔× 宇川直宏 ニコ動 的空間に降り立つ 覚悟はあるか!?	さわやか							

特集 春のアートフェア 見逃せないこの画廊 この作品 現代美術《十方視野 NO. 077》ラディウム・レントゲンヴェルケ 内海聖史	ギャラリ一*	287				宇野亜喜良さん モノクロ作品集『MONO AQUIRAX+』半世紀のキャリアを概観する“完全版”	10.4
21世紀芸術研究所—3 Key Words Research— 内海聖史	〃	291				「inter infiltration 相互侵蝕」展報告	宇野 和幸 京都嵯峨芸術大学 34 吉岡まさみ 紀要
古陶随伴録76 情熱と習練の陶工 内島北朗	三好 一 目の眼	397				特集 設計者は誰かIII インタビュー1: 宇野享氏 拡張するパートナースhipの中で	芝田 義治、倉方 俊介 建築雑誌 1589 聞き手
永青文庫の昔の写真2 横浜から東京浅草に進出した上野彦馬の弟子・内田九一	田沼 武能 永青文庫	65				1987—卯野夏子&田村香織—	art _ icle 23
特集 インテリアを語る V インテリア教育をめぐる1 桑沢デザイン研究所のデザイン教育	内田 繁 建築雑誌 1591 入江 徹 聞き手 磯 達雄 文					PREVIEW 宇野満寿美 水彩画展— UNO—	磯部 靖 美術の窓 307
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニクつき Part 1 日本画・水墨画用画材編 5 日本画・水墨画 越前雲肌麻紙 内田青虹						中特集 風景 v.s. 光景 宇野満寿美	高山 淳 〃 309
別冊「版画芸術」ART COLLECTIONの作家 内田真理	秋田 真波 版画芸術	144				建築家の自邸評価…加茂紀和子+マニユエル・タルディッツ 凛とした緩い住まい—KITA houseの周縁	宇野 求 建築雑誌 1590
作家通信 八ヶ岳美術館「内田百音展」開催	内田 百音 趣味の水 墨画	240				特集 「廃校再生」の条件 III 論考1 学校のお葬式	〃 〃 1592
作家通信 心の古里に贈る大作を描いて	打矢 恵 〃	241				週刊コミックジャック「3月のライオン」闘うことは語らうこと[羽海野チカ]	名越 康文 朝日夕刊 1.7
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 うつゆみこ	後藤 繁雄 美術の窓	309				みんなのマンガ学 ハチミツとクロバー 美大生の恋と焦燥 リアルに[羽海野チカ]	表 智之 〃 4.8
週刊コミックジャック「うさぎドロップ」育児通して見る自分[宇仁田ゆみ]	藤本由香里 朝日夕刊	2.18				特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 海山俊亮	大輪 俊江 デザインの現場 163
青春の刻8 石の美を知り墨を知る・畝村石道						アート・トピックス Book Design 名作が衣替え 太宰治×梅佳代×祖父江慎	ギャラリ一* 294
視線 少女からの手紙 宇野亜喜良著	村山 由佳 朝 日	5.10				家族 深遠の温かみ撮る “記録者”写真新世代が追求[梅佳代]	富田 律之 日経夕刊 6.22
「あの時代」演劇に込め 宇野亜喜良がボスターや舞台美術「不良性ない」とまらない」	米原 範彦 朝日夕刊	12.14				梅阪篤里調査報告	打林 俊 東京都写真美術館 8 紀要
本紙連載小説の挿絵 宇野亜喜良氏 時代の息吹を感じ	海老沢 類 産 経	2.18				2009年日本建築学会作品選奨 三重県立熊野古道センター [梅沢良三]	建築雑誌 1593

子供と暴力—松本大洋『鉄コン筋クリート』、模図かずお『Rō-jin』、および『イアラ』続考—	高橋 明彦	金沢美術工芸大学紀要	53
アート・トピックス Goods 模図かずおの漫画が現代浮世絵版画に!		ギャラリ一*	293
現代の浮世絵師、模図かずおの展覧会!	編集部	美術手帖	927
視線 UMEZZ HOUSE 模図かずお・蜷川実花著	サエキけんぞう	朝 日	11.8
模図かずおさんのドキュメンタリー映画公開 映画の脚本執筆 監督にも意欲	戸津井康之	産 経	11.23
家族のこと話そう 父の昔話と母の絵が原点 模図かずおさん	市川 真 聞き手	東 京	11.1
人生は夕方から楽しくなる 創造には「孤独」が不可欠 赤白しましま服のマンガ家 模図かずおさん	國枝すみれ	毎日夕刊	12.19
マンガ界の鬼才模図かずおさん 遊びの世界全身で表現	佐藤 憲一	読売夕刊	11.30
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 梅田秀	中野 中	美術の窓	313
展覧会紹介 ルノワールと梅原龍三郎 その友情展	嶋田 華子	ジャポニスム研究	29
日本の油絵の独自性に向かって 梅原龍三郎「ルノワールの眼」と油彩技法を自分のものとして	児島 薫	太陽(別冊)	158
美の美 梅原とルノワール 上、中、下	小川 敦生	日 経	3.29、4.5、12
こころの玉手箱 ユニ・チャーム会長 高原慶一郎4 梅原龍三郎「ギリシア風景」	高原慶一郎	日経夕刊	7.30
資料紹介 梅村豊撮影歌舞伎写真	土田 牧子	無形文化遺産研究報告	3
特集 非線形・複雑系の科学とこれからの建築・都市 IV 建築への刺激1 予期せぬ生成を許容する建築	ジェシー・ライザー、梅本奈々子、倉方 俊輔 聞き手	建築雑誌	1590

作家通信 一年一年を過ごす。	浦上 義昭	趣味の水 墨画	249
ロボットは「心」を持つか—『PLUTO』から考えるロボットの「心」と人間の「心」— [浦沢直樹]	八 鐮 博敏	学習院大学人文科学論集	18
特集 メビウスと日本マンガ シンポジウム メビウス∞描線がつなぐヨーロッパと日本	メビウス、浦沢 直樹、夏目房之介、藤本由香里 司会	ユリイカ	568
オピニオン 「アニメの殿堂」考えるべきことは 気味悪い「国のお墨付き」 浦沢直樹さん	小原 篤 聞き手	朝 日	6.28
視線 遠野昨日物語 浦田穂一著	北澤 憲昭	〃	10.25
みんなのマンガ学 アタック No. 1 恋よりバレー未来開く [浦野千賀子]	倉持佳代子	朝日夕刊	9.30
視線 蝶の道 Butterflies 海野和男著	村山 由佳	朝 日	2.15
特集 正阿弥勝義—知られざる天才金工の眼と手 正阿弥勝義・海野勝義から起こったアール・ヌーヴォーへの波	村田 理如	目の眼	388

(エ)

DAIGO 姉の漫画家 家族をコミックエッセーに 孫娘だけが知る竹下登 [影木栄貴]	猪谷 千香	産 経	7.20
国際展レポート 日本人作家とタイ人作家の彫刻交流展の情景	永曾 郁夫	ギャラリ一*	286
日本とタイ きずな刻む 立川の永曾さん きょうから現地で彫刻シンボ「互い高め合う機会に」	末松 茂永	東 京	1.5
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編集 design office A4	猪飼 尚司	デザインの現場	163
受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	江口 勝美	陶 説	670
マンガ50年 ギャグは爆発する2 楽しませるため身を削り [江口寿史]	佐藤 憲一	読 売	2.18

特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 えぐちりか	大城 謙司	デザインの 現場	163	榎本敏雄写真集「陽 炎[かぎろひ] 櫻・ 京・太夫」	(前)	読 売	3.29
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年 で創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 江尻清音	中野 中	美術の窓	313	コミック 時間の歩 き方1 榎本ナリコ (著) 先輩助けにタ イムスリップ	南 信長 朝	日	4.19
2009年日本建築学会 作品選奨 大阪弁護 士会館[江副敏史]		建築雑誌	1593	美術作家江幡さん 味わい十部屋十色 高齢者の生活の場写 真に 高島平岡地内 で展示[江幡京子]	前谷 宏	毎 日	1.12
特集 SPECIAL IS- SUE Vol. 400 スタ ジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボイス」 400号アンケート	エドツワキ	STUDIO VOICE	400	SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 TALK SESSION 日本の美 術教育、徹底討論	村上 隆、 海老澤 功、 保科 豊巳 談 集 部 編 成	美術手帖	928
土門拳 鬼が撮った 日本 コラム「鬼の 土門」と「仏の土門」	江成 常夫	太陽(別冊) 土門拳		CAMP ベルリン	蝦澤 達夫	広島市立 大学芸術 学部紀要	14
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 1 アーティストの生き る道 榎忠	榎 忠 談 若木くるみ インタビュー 小吹 隆文 構成	美術手帖	928	座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野ルミ、 山本 貞 談 吹田 文明 司会	連盟ニュ ース	430
港で出合う芸術祭ー 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ		"	929	座談会 アンケート 「作品の収納と管理 について」を終えて	入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 中林 忠良、 海老塚耕一、 吉野 毅 談 大成 司会	"	432
インタビュー 海 で、美術館で作品 発表する 神戸の 美術家・榎忠	多田 智美			新・私のアルバム20 蝦名協子	小森佳代子	美術の窓	310
注目の招待作家た ち 榎忠				先輩に聞け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと 30 蝦名龍郎	石田 純子	デザインの 現場	164
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説9 「半刈り」でハンガ リー行[榎忠]	田中 三蔵	朝日夕刊	4.1	構図のはなし4 三 角形と四角形、緊張 と安定の組み合わせ ー複数の素材を新鮮 な視点で[海老原喜 之助]	和田 宏子	趣味の水 墨画	244
巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ スペシャル対談 島 村信之×榎俊幸「女 性美とは想像をかき たてるもの」	島村 信之、 榎 俊幸 談	美術の窓	311	視点 「K I A F 2009」を観て	海老原信幸	美術の窓	314
視線 陽炎[櫻・京・ 太夫] 榎本敏雄著	荒井 敏記	朝 日	2.1	わたしの宝もの49 マコーレー・カルキ ンと亡霊達	海老原 靖	新美術新 聞	1188
写眼 そっと見るよ うな憧れ 榎本敏雄 「暮張海岸にて」(平 成18年)	堀 晃和	産 経	7.18	SV CUT UP DE- SIGN BOOKS 『M/ M(Paris)』	渡部 千春	STUDIO VOICE	398
陽炎[かぎろひ][櫻・ 京・太夫] 榎本敏 雄著		日 経	2.1				

交遊抄 2つの気	江村 正光	日 経	1.12
特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 江本創 幻想標本ワールド!	青木 径、 仲村 信二	ギャラリ ー	292
21世紀芸術研究所— 3 Key Words Re- search— 江本創		"	294
日々好日 猫と塑像	遠藤 彰子	新美術新 聞	1179
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家 が語る岸田劉生の魅 力 「二人麗子図」	"	美術の窓	308
SV ART ART SPACE 混浴温泉世界 別府 滞在記!	遠藤 一郎	STUDIO VOICE	402
愛と平和と未来のた めに2	"	美術手帖	918
SPECIAL FEATURE アートの旅へ行こう ! PROJECT 2 遠藤一郎 別府現代 芸術フェスティバル 2009 別府と混浴温 泉世界	"	"	921
SPECIAL FEATURE 日本の聖地、再発見 !! 伊勢神宮 OPINION みんな それぞれが神様	"	"	925
制作記録 メキシコ ・ハラバにおける研 究活動 「2人の日 本人現代美術作家展」	遠藤 研二	金沢美術 工芸大学 紀要	53
(オ)			
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 41 グリンビースの いえ[及川賢治]	穂村 弘	太陽(別冊)	164
特集 水墨画の未来 へ 若手作家の自由 で豊かな表現 及川 聡子	立島 恵	趣味の水 墨画	243
指定研究 相互交流 可能なグローバル芸 術教育の実践的研究	及川 久男 永見 文人 大塚 智嗣 吉田 幸弘 笠原 浩	広島市立 大学芸術 学部紀要	14
アンケートに答えて 私の作品について	大石 尚	自由美術	2009
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 80 エリカ 奇跡の いのち	大石 芳野	太陽(別冊)	164

人生の贈りもの 写 真家大石芳野 1~5	永持 裕紀 聞き手	朝日夕刊	3.2~6
写眼 「夢」と「現実」 が交錯 大石芳野 「舟の進水式に餅を まく」(昭和47年)	堀 晃和	産 経	10.10
大石芳野写真集「(不 発弾)と生きる」	(良)	読 売	1.25
神宮名品解説 神宮 美術館所蔵奉納美術 品 洋画 「早朝」 [大内田茂士]	(中村)	瑞 垣	212
特集=大浦信行《遠 丘を抱えて》in 沖縄		あ い だ	161
1 25年後、望ま ざる火花(ショ ー ト)ふたたび 大浦信行氏に聞く	大浦 信行 談 集 部 聞き手		
2 沖縄のホット な初夏—「大浦信 行展」を終えて	上原 誠勇		
特別記事=大浦信行 《遠丘を抱えて》in 沖縄		"	
(2) 「教育的配 慮と自由裁量 天 皇題材作品非展示 をめぐる」 牧 野浩隆・沖縄県立 博物館・美術館館 長見解を読む	編 集 部		162
(3) 逆説の沖縄 —大浦作品排除問 題の背景 シンポ ジウム『アトミッ クサンシャイン』 沖縄展の検閲に抗 議する! から	仲里 効		164
コラム 日本の設計 事務所に未来はある か	大江 匡 五十嵐太郎 聞き手	建築雑誌	1597
Artist Interview Sprout 大江田依未 子		art _ icle	20
座談会 第四十一回 日展 審査を終えて	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 能島 和明、 小灘 一紀、 久保田 徹、 大角 勲、 池田 桂鳳 談 清水 透石 司会	日展ニュー ース	135
わたしの宝もの45 スケッチブック	大河原典子	新美術新 聞	1177
SV ART PHOTO GALLERY 鶴飼悠	大木 裕之	STUDIO VOICE	400
アトリエ雑感 教え 子の「主体展」初入選 に歓喜	大口 満	主体美術	85

視線 本日のスー 大久保ゆう子著	村山 由佳 朝 日	1.18	教員は語る 芸大へ の期待・抱負・提言 第11回	O J U N 野口千代光	芸大通信	19
ACP Artists×Critics CRITIC 9 生きる。 ということ「心の 蔵 The heart」大小 島真木作品	富澤たかみ CLOSET	2	たとえば、ブエノス アイレスのアパート について	O J U N	国立国際 美術館ニ ュース	175
	友倉 小 岡茂島山川子 大 前真前杉奥内 片 前真前杉奥内 前 真前杉奥内 真 本(悠)本本 木 松 杉		日々好日 昔のこと	大須賀 選	新美術新 聞	1196
ACP Artists Open Discussion[大小島 真木]			コミックガイド 家 族ランドマーク 大 澄剛[作]	南 信長 朝 日		1.25
			古陶随伴録74 画家 と陶芸 宇鮮陶人 洋画家・新井謹也と 洋画家・太田喜二郎	三好 一 目の眼		395
			追悼 さようなら 荻太郎先生	太田 久 連盟ニ ュース		432
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 77 こねこのチョコ レート[大社玲子]	松岡 亨子 太陽(別冊)	164	語る人 写真家 太 田順一さん 写真通 して見つめた命 懸 命に生きた娘から宿 題もらう 亡父の日 記から老いのレッ ス	久保 智祥 朝日夕刊		5.2
アンケートに答えて 旅立ち	大崎 和男 自由美術	2009	写真 極私的な普遍 的物語 太田順一 「父の日記」(平成20 年)	篠原 知存 産 経		3.28
アンケートに答えて 私の作品について	大澤 啓三		おはなしめぐり 生 きている限りチャレ ンジ 軍人嫌いで絵 の道へ・画業60年 太田大八さん	木村 葉子 毎 日		12.23
コミック ゴタ消し 大沢俊太郎(作) モ メ事を解決する裏交 渉人	南 信長 朝 日	5.3	建築みやげ・建築グ ッズ 取っ手付きの シビックブライド	太田 裕史 建築雑誌		1592
作家通信 大福帳で 膠彩画を展開	大沢 拓也 趣味の水 墨画	239	特集 SETONAIKAI ーアートに魅せられ た海ー Topics 2 直島銭湯 I♥湯	大竹 伸朗 ギャラ リー*		294
資料紹介 島根県立 石見美術館所蔵 大 下藤次郎日記(第3 回)	川西 由里 島根県立 石見美術 館研究紀 要	3	大竹伸朗 夜の生活 06	大竹 伸朗 花 椿		714
美の履歴書126 な ぜ点景人物が破調か 「秋の雲」 大下藤次 郎	田中 三蔵 朝日夕刊	10.7	大竹伸朗 直島銭湯 「I♥湯」 全体芸術 作品としての銭湯	浅田 彰 美術手帖		931
特集 文字のつくり かた ジャンル別・ 売上TOP10から見る 文字カタログ 映画 大島依提亜	大輪 俊江 デザイン の現場	165	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 大竹伸朗さん に聞きたい! 画家 志望ほか悩める若人 11人の問い	大竹 伸朗 美術の窓		309
特殊印刷加工トラ イアル 第14回 大島 依提亜、和紙フィル ムに挑戦!	杉瀬 由希	168	ことば 大竹伸朗さん (画家)	吉村 千彰 朝 日		3.31
PAPER IN MY WORK 125 大島 慶一郎 カタチにな る紙			島の再生物語る癒や しの場 香川・直島 の新作、大竹伸朗の 「I♥湯」を見る	浅田 彰 朝日夕刊		10.7
すむ	大島 健二 芸術新潮		土曜訪問 わたくし、 つまり Nobody 賞 大竹伸朗さん(画家)	稲葉 千寿 東京夕刊		3.14
透明な建築家		711				
ライトで一杯		714				

直島銭湯「I♥湯」完成 画家・大竹伸朗氏が工夫を凝らす	〃	〃	8.12		入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞徳、 小作 青史、 中林 忠良、 海老塚耕一、 吉野 毅、 大成 談 司会 浩		
交遊抄 NYと宇和島	大竹 伸朗	日 経	8.8	座談会 アンケート「作品の収納と管理について」を終えて		連盟ニユース	432
画家大竹伸朗 何もないから自分で創る地方には理屈超えた魅力ある	舘野 真治 聞き手	日経夕刊	1.14				
記者ノート 作品としての銭湯「I♥[アイラヴ]湯」[大竹伸朗]	市原 尚士	読 売	10.22	つかう	お一なり由子	芸術新潮	709、712、716
作家通信 水墨作家の集い—島尾新先生を囲む	大竹 卓	趣味の水 墨画	246	静けさに浮かぶ曲輪造 漆芸・大西勲の世界、記録映画に	米原 範彦	朝日夕刊	7.6
PREVIEW 新フランス物語 大津英敏展—バリ燦燦—	武田 厚	美術の窓	313	作品探訪1 前・後編 画家・太陽(大西浩仁)		ギャラリー一*	288、289
パリ朝陽 大津英敏未来を生きる元氣くれる	大津 英敏	日 経	1.1	人生の贈りもの 造形作家大西重成1〜4	永持 裕紀 聞き手	朝日夕刊	10.13〜16
PREVIEW 大津鎮雄展	江口 健	美術の窓	308	明日へ 茶の世界を作る1 時代の個性追い求め[大西清右衛門]		読売夕刊	11.24
大塚耕二『軍隊日記』(翻刻)	古家 良一	熊本県立美術館研究紀要	10	視線 人形記 日本人の遠い夢 佐々木幹郎著、大西成明写真	北澤 憲昭 朝 日	3.8	
指定研究 相互交流可能なグローバル芸術教育の実践的研究	及川 久男 永見 文人 大塚 智嗣 吉田 幸弘 笠原 浩	広島市立大学芸術学部紀要	14	特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 大西伸明	太田垣 實	美術の窓	309
作家通信 墨で楽しむ冬のはがき絵	大月 紅石	趣味の水 墨画	240	精神疾患抱え地域で暮らすため「患者の声伝えたい」写真家・大西さん国立であす講演会[大西暢夫]	斎藤三奈子	毎 日	2.20
EXTRA COLUMN まだ誰も見たことがない『AKIRA』[大友克洋]	氷川 竜介	STUDIO VOICE	398	写真家・大西暢夫さん 湖底に消えた岐阜・旧徳山村のお年寄りらの生活を記録 渋谷で巡回展、映画上映も	〃	〃	9.3
特集 メビウスと日本マンガ シンポジウム メビウスが語る、メビウスを語る	メビウス、 りんたろう、 大友 克洋 竹熊健太郎、 津堅 信之 司会	ユリイカ	568	インタビュー 師匠を持たない若手建築家たち	保坂 猛、 大西 麻貴 談 入江 徹 聞き手	建築雑誌	1594
日展会員賞制作意図「遙光」	大友 義博	日展ニュース	135	INTERVIEW MAKI ONISHI+YUKI HYAKUDA Architects[大西麻貴]	後藤 繁雄	花 椿	715
青春プレイバック 大成浩 芸術は「生きること」の希望の表現	袴田 智彦	新美術新聞	1196	建築みやげ・建築グッズ 人と企業を微笑ましくつなぐ折り紙建築	大西 正紀	建築雑誌	1589

建築ロゴス再考 保存・再生—この10年の苛立ち	大西 正紀	建築雑誌	1590	みんなのマンガ学 バクマン。マンガ 誌の内幕、如実に [大場つぐみ]	吉村 和真	朝日夕刊	12.9
中特集 巨匠展—今 そして未来2009— 出品作家インタビュー	大沼 映夫	美術の窓	308	invitation book 故 郷でたまたま開催中 ! 大橋歩展の楽し み方		芸術新潮	720
座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野ルミ、 山本 吹田 文明 司会	連盟ニユ ース	430	墨のある風景 大橋 翠石—菅原軸見送り 岩上猛虎之図	村田 隆志	趣味の水 墨画	249
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その10 大 野五郎・五郎さん・ 青春の相棒	林 紀一郎	新美術新 聞	1173	戦後建築オーラル・ ヒストリー 建築の 表情を写す 大橋富 夫氏	倉方 俊輔	建築雑誌	1594
座談会 国立新美術 館での自由美術展	大野 修、 小川 リエ、 長谷部 昇、 中島 一雄 談 中野渡みね 子	自由美術	2009	現代美術の歩き方 現代美術のみかた 現代美術の彫刻表現 の行方 物語が彫刻 のキーワード? [大 橋博]		美術の窓	305
研究部 新人画会と 今 新人画会展を見 て	大野 修	"	"	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレク ション 遙玄水墨画 協会 大島美津枝	武田 厚	"	313
神宮名品解説 神宮 美術館所蔵 工芸 「桑黒柿造小箱」[大 野昭和齋]	中村 潔	瑞 垣	214	大樋長左衛門 2007 —2008年 作品の解 説	大樋長左衛 門	金沢学院 大学紀要*	7
クリエイターズワー ク&ソウル 大野力		A X I S	140	陶燈無尽—窯場に息 づく心と技 大樋焼	大樋長左衛 門[十代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	773
中特集 風景 v.s. 光景 大野哲司	高山 淳	美術の窓	309	受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	大樋長左衛 門	陶 説	670
日々好日 伝統と創 造	大野 俊明	新美術新 聞	1191	日展会員賞制作意図 『琥珀雪山』 Amber White Mountain	大樋 年雄	日展ニユ ース	135
観流 建築家対談 「歴史重視」の危うさ 指摘[大野秀敏]	大西 若人	朝 日	2.28	つかう 「よろしく」 のかたち[大淵誠]	山村 光春	芸術新潮	714
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 大野瑞生	杉瀬 由希	デザインの 現場	163	特集 水墨画の未来 へ 若手作家の自由 で豊かな表現 大船 真言	立島 恵	趣味の水 墨画	243
制作記録 オリジナル テキスタイルによる スカーフデザイン	大野 悠	金沢美術 工芸大学 紀要	53	作家通信 繋がり合 うこと	大船 真言	"	247
巻頭特集 散歩から はじめよう スケッ チがもっと上手くな る @技法講座 VOL. 16 大場再生 と行く、横浜レトロ スケッチ散歩		美術の窓	315	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年 で創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 大前清高	中野 中	美術の窓	313
Faces 30 大庭大 介 移ろいゆく現代 の光	松浦 直美	ART iT	24	SPECIAL FEATURE アートの旅へ行こう ! PROJECT 5 大巻伸嗣 アートな 旅に持って行く本、 旅に誘われる本	藤田 千彩	美術手帖	921
				コラム 住宅のお墓	近江 隆	建築雑誌	1596

MADO LIBRARY 著者インタビュー PLEASE DO DIS- TURT 著・大森暁 生		美術の窓	312	文化往来 大山忠作 氏死去、戦後の日本 画壇に存在感	日 経	2.24
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代「スタジオ・ボ イス」400号アンケー ト	大森 克己	STUDIO VOICE	400	大山忠作さん(日本 画家) 楽しく描い て、日展と歩む	宝玉 正彦 日経夕刊	3.27
第二特集 ゼロ年代 ヴィジュアルランゲ ージ ホンマタカシ ×大森克己	ホンマタカ シ、 大森 克己、 町口 寛 談	"	405	悼む 大山忠作さん 日本画家 多彩な画 題 信念貫く	岸 桂子 毎 日	3.11
特別展『五姓田のす べて』岡山会場出品 作品について[大森 柳江]	廣瀬 就久	岡山県立 美術館紀 要	1	Recommend! New Designer 大山信満	編 集 部 デザイン の現場	167
研究ノート 大矢峻 嶺 はがき、封書に ついて	菊地 由花	美濃加茂 市民ミュー ジウム 紀要	8	小学校の同級生仏で 共演 国立美術館の 企画展に出席 日本の 魅力表現[大和田 里佳]	前谷 宏 毎 日	2.3
青春プレイバック 大矢紀 描く楽しさ と表現の喜び・画家 の遺伝子	高岡 忠雄	新美術新 聞	1202	日本の美術館名品展 岡鹿之助「遊蝶花」	高野 清見 読売夕刊	5.14
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 大谷喜男	高山 淳	美術の窓	307	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	岡 靖知 美術の窓	309
中特集 巨匠展—今 そして未来2009— 出品作家インタビュー	大藪 雅孝	"	308	巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ グラビアと作家のコ メントでみる美しい 女性たち 岡靖知	" "	311
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 大山和子	大山 和子	"	307	大韓機撃墜から26年 冷戦の悲劇忘れない で 息子夫妻失った 陶芸家 サハリンで 個展へ[岡井仁子]	東 京	5.31
特集 新景観 IV ドボク・エンタテイ メント 2—ジャンク ション ジャンクシ ョン鑑賞ツアーで考 えたこと	大山 顕	建築雑誌	1584	岡倉秋水伝	岡倉日出男 五浦論叢	16
建築みやげ・建築グ ッズ みんなの胸に ドボクを!	"	"	1597	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 31 ぼばーべぼびば っぶ[おかざきけん じろう]	江口 宏志 太陽(別冊)	164
追悼 大山忠作先生		新美術新 聞	1180	自費出版漫画からエ ミー賞ノミネート 「アフロサムライ レザレクション」[岡 崎能士]	戸津井康之 産 経	12.8
画壇に尽くされた 功績多大	鈴木 竹柏			日本画家岡崎忠雄と 「キリストの復活」	丸山 智 石見美術	7
古武士のような風 格のお姿	橋本堅太郎			視線 HOUSE 尾 形一郎+尾形優著	北澤 憲昭 朝 日	11.22
追悼 大山忠作先生 を偲ぶ	"	日展ニユ ース	132	尾形一郎・尾形優写 真集「HOUSE」	(前) 読 売	11.1
日本画家「五百羅漢」 大山忠作さん死去 酒を愛し「感動」を画 布に	村串 栄一	東 京	2.21	中特集 風景 v.s. 光景 岡田菊恵	高山 淳 美術の窓	309
				裸婦にふさわしい場 をさがして 岡田三 郎助 露な描写をさ けて	山梨絵美子 太陽(別冊)	158
				作家通信 初挑戦! 詩の朗読にあわせて 水墨画を描く	岡田 潤 趣味の水 墨画	245

特集 これからの本の のつくりかた 電子 メディアを考える 3 緒方壽人	猪飼 尚司	デザインの 現場	167	SPECIAL ESSAY 赤い視線と青い光が いつもー[岡本太郎]	和多利浩一	〃	〃	
会田誠の「おんなの こしゃしん」 不定 期連載第5回 岡田 裕子38歳ー24歳=14 歳	会田 誠	美術手帖	919	岡本太郎の“対極主 義”の成立をめぐつ て	大谷 省吾	東京国立 近代美術 館研究紀 要	13	
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーフェイ ル グラフィック編 岡田善敬	編 集 部	デザインの 現場	163	収蔵作品から 岡本 太郎「赤い兎」	渡辺希利子	ど お む	106	
コミック みどりの まきば1 御徒町鳩 (作) 小学5年生の 日常細やかに	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	4.26	INFORMATION 40 年ぶりに「壁画」に返 った岡本太郎《明日 の神話》		美術手帖	917	
みんなのマンガ学 地獄先生ぬーべー 子ども守る理想の教 師[岡野剛]	伊藤 遊	朝日夕刊	8.5	秋元康流“アートの すすめ” 第15回ゲ スト 篠田麻里子 [岡本太郎]	山内 宏泰	〃	931	
わたしたちの過去に、 未来はあるのか 第 52回ヴェネチア・ビ エンナーレ国際美術 展日本館	岡部 昌生	札幌大谷 大学紀要*	39	彩・美・風 岡本太 郎の芸術論	瀬戸内寂聴	朝日夕刊	4.22	
作品 岡部昌生 被 爆樹に触れて 第52 回ヴェネチア・ビ エンナーレ国際美術 展日本館「わたしたち の過去に、未来はあ るのか」	〃	〃	〃	日本人とこころ 岡 本太郎と爆発 上、 下	篠原 知存	産 経	11.8、15	
新「山種美術館」開館 記念特別展 速水御 舟ー日本画への挑戦 ー見たことも無い もの	岡村桂三郎	新美術新 聞	1196	美の美 岡本太郎の 時空ー近代を超えて 上、中、下	宝 玉 正彦	日 経	7.26、 8.2、9	
交遊抄 日本画とは	〃	日 経	7.18	あとがきのあと 「岡本太郎」平野暁臣 氏 生き様のすべて を語る		〃	11.1	
近代美術の眼 白象 図(2点組みの左) 岡村桂三郎	中林 和雄	説 売	3.13	美術史から消えた 「労働者」 弾圧受け たプロレタリア美術、 歴史の空白を追う [岡本唐貴]	門田 秀雄	〃	11.19	
最前線 ひと 近畿 大学文芸学部准教授 ・建築家 岡本清文 氏 病院で美術展開 催 闘う患者の一助 に		日 経	10.25	薩摩藩のガラス技法 書について(4)	岡本 文一	明星大学 研究紀要	17	
岡本隆史写真集 「DADAN」	(前)	説 売	10.4	世親への問いーIX・ Xー	〃	〃	〃	
岡本太郎「縄文土器 論」の背景とその評 価ー戦後日本の「美 術」と「縄文」をめぐ る動向についての一 考察	春原 史寛	芸 叢	25	巡回展報告 京都展	岡本 祐介	主体美術	85	
TARO'S ESSAY ア クトする空間	岡本 太郎	T A R O	1	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	岡山 伸也	美術の窓	309	
				墨のある風景 小川 芋銭ー水魅戯	中田 智則	趣味の水 墨画	245	
				資料紹介 小川一眞 撮影「凌雲閣百美人 人工着色写真アルバ ム」についての考察	岡塚 章子	東京都江 戸東京博 物館研究 報告	15	
				展覧会から7 小川 信治の新しい世界	平芳 幸浩	視覚の現 場 四季 の綻び	1	
				特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 小川タ星	切刀 知子	美術の窓	307	
				巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレク ション 小川タ星	高山 淳	〃	313	

クリエイターズワーク&ソウル 小川達也		A X I S	142			文人清遊—荻原井泉水のこと	細萱 禮子	エクラン松本市美術館紀要	1
受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	小川 待子	陶 説	670			夏季企画展 礫山物語Ⅴ「礫山 愛と美に生きる—新宿角筈時代—」記念講演 新宿時代の礫山[荻原守衛]	仁科 惇	礫山美術館報	29
人、瞬間[ひととき] 宮大工棟梁 小川三夫さん 上、中、下	牛田 久美	産 経	1.27~29			礫山研究 荻原守衛の蔵書書き込み(下)	幅谷 啓子	"	"
新しい働き方を考える—識者の提言 宮大工・小川三夫氏 人の育成ゆっくりでいい	小川 三夫	日 経	3.9			美術講座 ストーブを囲んで『彫刻真髓』を編纂し礫山の芸術を守った「戸張孤雁を語る」[荻原守衛]	武井 敏	"	"
受け継がれる匠の技、日本の美 日本千年の木の文化を伝える 宮大工小川三夫さん		"	4.10			特集 「市民の視点」で考える建築裁判	竹川 日置、 富田 忠芳、 荻原 雅晴、 古賀 裕、 細野 幸雄、 司会 保彦	建築雑誌	1596
座談会 国立新美術館での自由美術展	大野 修、 小川 リエ、 長谷部 昇、 中島 一雄 談 中野渡みね子	自由美術	2009			I 巨大すぎる建築を巡るトラブル誌上シンポジウム 1(近隣・環境問題) どうすれば悩み多きこの現状を打開できるのか			
連載特集 追悼・山岸信郎		あいだ	162			II 品質が低い住宅を巡るトラブル誌上シンポジウム 2(欠陥住宅問題) どうすれば悩み多きこの現状を打開できるのか			
18 私の在日18年を支えてくれた	ステラーク 沖 啓介 訳					追悼 三好正一さんを偲んで	奥田小由女	新美術新聞	1188
19 山岸さん、ステラーク、神田	沖 啓介					港で出合う芸術祭—神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド—そして、神戸でビエンナーレ 注目の招待作家たち 奥田善巳		美術手帖	929
画家 荻太郎のこと	山内 秀臣	新美術新聞	1200			特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 奥谷太一	本江 邦夫	美術の窓	309
追悼 さようなら 荻太郎先生	太田 久	連盟ニュース	432			特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 奥谷博	高山 淳	"	307
惜別 画家 荻太郎さん 人間への深い愛映すモダンイズム	田中 三蔵	朝日夕刊	10.10			没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写真技法と知られざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 天才の心	奥谷 博	"	308
悼む 荻太郎さん 愛と救いを求めて	加藤 貞雄	毎 日	12.9						
絵画における動物表現—擬人と戯画の観点から—	荻島 香織	芸術学研究(筑波)	13						
荻島安二作品との出会い—旧所蔵家、故中村正俊宅訪問を通して	菊地 潤	美術運動史研究会ニュース	100						
小木曾登 2007—2008年 作品の解説	小木曾 登	金沢学院大学紀要	7						
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニックつき Part 1 油性画材編 4 油性マツダ・スーパー油絵具 小木曾誠		美術の窓	306						

中特集 巨匠展—今そして未来2009—
出品作家インタビュー
奥谷 博 美術の窓 308

中特集 風景 v.s.
光景 奥野元子 高山 淳 " 309

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ
注目の新人アーティスト44
奥村 真美 " "

PREVIEW 奥村美
佳展 立島 恵 " 314

日本創造会議 会員
番号011 工業デザ
イナー奥山清行氏
地方企業こそ世界に
挑め 中山 淳史 日 経 12.24

人間発見 世界で勝
てるものづくり1~
4 工業デザイナー
奥山清行さん 小林 明 日経夕刊 3.2~5

特集 大学院におけ
る建築設計教育 III
全国大学院の修士設
計の現状 2 修士
設計の位置づけ 今
後の展望 緊密な関
係を取りうる研究室
制度 奥山 信一 建築雑誌 1588
談 入江 徹
聞き手 田代ひろ子
文

奥山民枝さんのこと 金子 敏也 尾道大学
芸術文化
学部紀要 8

作家通信 米寿の御
祝・初の春洗会水墨
画展 小倉 春洗 趣味の水
墨画 249

小森忍先生と父・小
倉千尋のこと 小倉 尋富 陶 説 678

第56回日本伝統工芸
展 漆芸 造形と技、
色彩が混然一体に
東京都知事賞 割貝
蒔絵桜花文飾箱 小
椋範彦 高橋 隆博 朝日夕刊 9.24

日本画にみる裸婦
小倉遊亀 鋭い造形
感覚で本質をとらえ
て 中村 麗子 太陽(別冊) 158

視線 トオヌッ
TO・NUP 小栗昌 新井 敏記 朝 日 4.26
子著

小栗昌子写真集
「トオヌッ」 (前) 読 売 4.26

写眼 明るいユーモ
ア感覚 刑部信人 海老沢 類 産 経 7.25
「COMIC」

展覧会から8 尾崎
実哉展「カタリ 伝っ
てアル」を観て 坂上義太郎 視覚の現
場 四季 1

版画技法講座 木版
リトグラフ 第1回
講師・小作青史「木
版リトグラフ」誕生
物語 小作青史氏に
聞く

版画芸術 144

入江 観、
上條 陽子、
絹谷 幸二、
久野 和洋、
佐々木 豊、
中根 寛、
福島 瑞穂、
小作 青史、
小林 忠良、
海老塚 耕一、
吉野 毅、
大成 浩
座談会 アンケート
「作品の収納と管理
について」を終えて 連盟ニユ
ース 432

特集 良いキュレー
ション、悪いキュレ
ーション 小沢剛イ
ンタビュー 内田 伸一 ART iT 22

Exhibition Reviews
04 樫木知子 オオ
タフインアーツ
(東京) 小沢 剛 " 24

2009年はこのアーテ
ィストに注目! 小
沢剛 かまぼこ型倉
庫プロジェクト か
まぼこ画廊 美術手帖 926

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 PART 2
PROFESSIONAL IN
TERVIEW 実録! ア
ーティストのセルフ
・プロデュース術
海外経験の心得とは
? 小沢 剛 " 928

ニッポン人・脈・記
前衛バカ伝説11「未
来の廃墟」から未来
へ[小沢剛] 田中 三蔵 朝日夕刊 4.3

ネオテニー・ジャパ
ン—高橋コレクショ
ン 作家10選 3 産 経 6.3
小沢剛

子どもとみるアート
十選 1~10 小沢 剛 日 経 2.16、17、
19、20、
23、24、
26、27、
3.2、3

EXTRA COLUMN
『GHOST IN THE
SHELL/攻殻機動
隊2.0』[押井守] 氷川 竜介 STUDIO
VOICE 397

EXTRA COLUMN
「映画を撮る」とは?
師弟対談 押井守×
神山健治 川本 ケン " 400

「アニメ美少女」とは何か?—押井守『機動警察パトレイバー』初期OVA版、劇場版2作品を中心に—

松野 敬文 美学論究 24

特集 クリント・イーストウッド カメラの前/後での闘い 奴隷の闘い『スカイ・クロラ』VS『スペースカウボーイ』 [押井守]

石井 義正 ユリイカ 566

ADDITIONAL GUIDE 熊野とは、何処なのか? 押江千衣子の語る「熊野」

押江千衣子 美術手帖 925

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44

尾島 守 美術の窓 309

コミックガイド 漂流ネットカフェ1 押見修造[作]

山脇 麻生 朝 日 3.15

映画「ONE PIECE」10作目公開 マンガ作者・尾田さんが製作総指揮「今、男の子に見せたい!」 [尾田栄一郎]

小原 篤 〃 11.21

みんなのマンガ学 ONE PIECE(ワンピース) 底抜けに明るく海賊王めざす [尾田栄一郎]

伊藤 遊 朝日夕刊 4.15

尾田栄一郎がアニメ製作の総指揮 現実にはないものを見せる六角形でも顔になる

諸岡 良宣 日 経 12.6

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 小田恵理子

中村 隆夫 美術の窓 309

所蔵品紹介 黒装織田広喜

三谷 理華 エスプラナード 156

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 織田廣喜

高山 淳 美術の窓 307

尾田龍「鉄をつくる」の背景

本丸 生野 姫路市立美術館研究紀要 9

INFORMATION AUTHOR この本の著者に聞きたい1980年代と今日の“深まるコントラスト”

小田島 等 美術手帖 925

特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 小谷元彦 多層なコンセプトを背景に、普遍的で印象深い作品

山本 裕子 ギャラリー 292

SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 ビジネスという枠におさまらないアーティストとギャラリストの関係

山本 裕子、小谷 元彦 美術手帖 918
山内 宏泰 取材・文

現代美術の歩き方 今月の一品 小谷元彦 SP4 the specter—What wonders around in every mind—

一井 健二 美術の窓 309

ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション 作家10選 2 小谷元彦

産 経 6.2

小田根五郎 2007年作品の解説

小田根五郎 金沢学院大学紀要* 7

写眼 切り取った「不意の出会い」 尾仲浩二「山口県岩国2009. 2」(平成21年)

堀 晃和 産 経 12.19

作家通信 身体と制作

尾長 良範 趣味の水墨画 245

100人の心に響いた絵本100 この十年を振り返って

小野 明 太陽(別冊) 164

小野耕石 永遠と一瞬の狭間にある「色」の層

岩坪 文子 版画芸術 144

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44

小野 仁良 美術の窓 309

芸術に生きた庶民版画家 生誕100年小野忠重 二列目の多面体—制作と研究による版画の探求者

瀧沢 恭司 版画芸術 145

小野環 《Wind—ow》

小野 環 尾道大学芸術文化学部紀要 8

報告 場と美術のかかわり—AIR 尾道における実践—

〃 〃 〃

報告 tina b. プラハ国際現代美術展に参加して

〃 〃 〃

生誕120年 小野竹喬と森谷南人子

中村麻里子 岡山県立美術館ニユース 86

特集 さりげない自然の心を描いた画家 小野竹喬の世界	上 菌 四郎	趣味の水 墨画	248	没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家 が語る岸田劉生の魅 力 赤土と青い空	"	"	308
墨のある風景 小野 竹喬一画	"	"	"		"	"	
ようこそ、新しい先 生 キャラクターデ ザイン学科教授 小 野日佐子	小野日佐子	瓜生通信	47	巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ グラビアと作家のコ メントでみる美しい 女性たち 小尾修	"	"	311
ラブ&ピースの極意 オノ・ヨーコ先生、 若者に説く「嫌悪 感も愛に変えよう」	大西 若人	朝日夕刊	1.10	写真家・織作峰子さ ん「アートの原点が ある」ネオデニー ・ジャパン		産 経	7.1
私の収穫 1~4	オノ・ヨー コ	"	11.18、 19、25、26	私のおかげ参り「伊 勢神宮」展1 写真 家 織作峰子さん	早坂 礼子	"	7.14
潜む神性「直感」で表 現 複雑化する世界、 芸術家の出番 前衛 芸術家オノ・ヨーコ さん	多田 明 聞き手	日経夕刊	10.7	オンの才人オフの達 人 織作峰子さん 撮影は自分との対話	織作 峰子	読 売	8.23
前衛芸術家オノ・ヨ ーコさん 愛の小石 投げよう	國枝すみれ	毎日夕刊	9.1	装幀本談義 恩地孝 四郎装『烟れる田園』 ・小村雪岱『月光集』	山田 俊幸	一 寸	40
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 小野里理平	小野里理平	美術の窓	307				
特集 国際化時代の 建築教育システムへ 十大学院における建 築設計教育 インタ ビュー：米国から見た 日本の建築設計教 育 阿部仁史UCL A建築・都市デザイ ン学科学科長に聞く	阿部 仁史 談 小野田泰明、 入江 徹 聞き手	建築雑誌	1588	日本画にみる裸婦 甲斐庄楠音 生身の 肉体、奥底にうごめ く情念	中村 麗子	太陽(別冊)	158
受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	小野寺 玄	陶 説	670	美の美 溝口健二の 神話3[甲斐庄楠音]	古賀 重樹	日 経	2.15
オノデラユキ オノ デラユキの迷宮	岡部 友子	版画芸術	146	甲斐庄楠音画集 ロ マンチック・エロチ スト		"	3.29
コミックガイド バ クマン。1 大場つ ぐみ[原作] 小畑健 [漫画]	山脇 麻生	朝 日	1.18	大正デカダンスの画 家甲斐庄楠音の画集 刊行 スクラップ帳 など収録	岸 桂子	毎日夕刊	6.9
みんなのマンガ学 バクマン。マンガ 誌の内幕、如実に [小畑健]	吉村 和真	朝日夕刊	12.9	甲斐庄楠音画集 ロ マンチック・エロチ スト	(前)	読 売	4.19
特集 これからの本 のつくりかた 私た ち、本屋はじめまし た! 尾原史和	立古 和智	デザインの 現場	167	寄贈作品紹介[海見 知子]	妹尾 克己	岡山県立 美術館ニ ューズ	87
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&⑥テクニ ックつき Part1 油性画材編 2 油性 ミノー油絵具	小尾 修	美術の窓	306	かがくいひろしさん 絵本作家 愉快な人 柄で笑顔に	木村 葉子	毎 日	10.28
				Art Chat Studio 3 加賀谷武×能島芳史	加賀谷 武、 能島 芳史 談	ギャラリ ー*	287
				日々好日 風景スケ ッチのこと	香川 猛	新美術新 聞	1192
				作家の目 香川猛	"	美術の窓	315
				中特集 作家の原点 垣内宣子	切刀 知子	"	308

追悼 井上信道さん
惜別 垣内 治雄 自由美術 2009

テークオフ 書家・
アーティスト柿沼康
二さん「書はアー
ト」完成させたい 宮代 栄一 朝日夕刊 10.1

PAPER IN MY
WORK 122 柿木
原政広「日本の
さじ加減」 杉瀬 由希 デザイン
の現場 165

空 掛井 五郎 ガス燈 80

追悼 大川榮二氏を
偲んで 〃 新美術新聞 1173

本づくし「時代が
成熟しきった今、再
びものごとのきっか
けにしたい」『にん
じんばたけのパピブ
ペポ』加古里子絵
・文 高橋 正実 A X I S 142

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
12 どうぐ[加古里
子] 山口 晃 太陽(別冊) 164

ひと 日本化学会特
別功労賞の絵本作家
加古里子さん 永山 悦子 毎日 3.24

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 注
目の若手デザイナー
が語る 上司から学
んだこと 02 安藤
基広 サン・アド
[葛西薫] 杉瀬 由希 デザイン
の現場 163

没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—そ
の写実技法と知られ
ざる日本画 Part.3
現代の評論家・画家
が語る岸田劉生の魅
力 岸田劉生につい
て 笠井 誠一 美術の窓 308

PREVIEW 一花と
静物—笠井誠一展 小森佳代子 〃 315

港で出合う芸術祭—
神戸ビエンナーレ
2009公式ガイド 所
して、神戸でビエン
ナーレ 注目の招待
作家たち 笠木絵津
子 美術手帖 929

やつと会えた義父
「治郎吉」横須賀・
画廊笠木和子さん
幻の水彩画を求めて
粘って譲渡かなう
空襲で国内消失[笠
木治郎吉] 篠ヶ瀬祐司 東京 10.18

指定研究 相互交流
可能なグローバル芸
術教育の実践的研究 及川
永見 久男
大塚 文人
吉田 智嗣
笠原 幸弘
浩 広島市立
大学芸術
学部紀要 14

江戸博蔵めぐり お
会式維司ヶ谷 笠松
紫浪・画 小山 周子 読 売 10.23

会場で広がった交流
の輪「いても立っ
てもいられず」と来
場の人々 ココロの
ギャラリー梶田達二
氏作品展に反響 山本 雅人 産 経 2.24

マンガ50年 劇画魂
3 高度成長期の男
の美学[梶原一騎] 小梶 勝雄 読 売 6.4

連載特集 追悼・山
岸信郎 20神田に芽
吹いた野草と夢想 柏原えつと あいだ 165

企画 加島祥造の世
界 生命の躍動を伝
える 編集部 墨 198

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 柏敬子 切刀 知子 美術の窓 307

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
現代水墨作家セレク
ション 柏雅子 高山 淳 〃 313

UNTITLED 08—III 柏木 弘 多摩美術
大学研究
紀要 23

平和への思い込め
被爆のグラフィック
デザイナー ポスタ
ー展[片岡脩] 森 禎行 毎日夕刊 11.13

赤富士 片岡球子 石川県立
美術館だ
より 310

視点 片岡球子・封
印した本音 武田 厚 美術の窓 310

美の履歴書102 な
ぜ、化け物と語るの
か「面構 浮世絵
師 勝川春章」片
岡球子 西田 健作 朝日夕刊 4.1

追悼 片岡球子展
80年間描き続けて
強い個性、めざまし
く開花 絵が語る画
家の一生 山梨 俊夫 〃 5.19

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
34 きはなんにもい
わないの[片山健] 浅生ハルミ 太陽(別冊) 164

特集 東京デザイン
ガイド 13エリア別
東京デザインスポッ
トガイド 青山 片山 正通 デザイン
の現場 166

ACP Artists×Critics CRITIC 2 可視的世 界から小さな宇宙へ 「elements」片山実季 作品	内田 麻紀	CLOSET	2						受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	"	"	670
ACP Artists Open Discussion[片山実 季]	友倉 小 大 前 真 杉 奥 内 洪 松 杉	岡 茂 島 山 川 子 野 田 村 田 谷 本 (悠) 本	"	"					FEATURE アニメ ーション界で活躍す る卒業生	野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治昇 吉田 たま 平原 さび 山本 さやか 山本 沙代		52
Recommend! Or- bituary 追悼 福田 繁雄 日本のグラフ ィックデザインを伝 えた道案内	勝井 三雄	デザイン の現場	164						INFORMATION MOVIE アカデミー 賞受賞作『つみきの いえ』監督・加藤 久仁生が問う「今を 生きる」意味	川崎 昌平	美術手帖	921
ひと 日本グラフ ィックデザイナー協会 新会長 勝井三雄さ ん	岸 桂子	毎 日	3.16						すごいぞ日本 ファ イル XII 創造力は 想像力3 アニメと アニメーション[加 藤久仁生]	堀 晃和	産 経	1.19
志は高く、視線は低 かった ヴィジュー アル・デザインの求道 者 栗津潔氏を悼む	勝井 三雄	毎日夕刊	5.12						この人 米アカデミ ー短編アニメ賞受賞 作「つみきのいえ」監 督 加藤久仁生さん	山下 修 東 京		2.25
写眼 鉄骨が語る人 の営み 勝田尚哉 「築く」	海老沢 類	産 経	8.15						学びのふるさと 殻 にこもらず外の世界 へ「作品は作れば 自分の手を離れる」 大学時代に指導を受 けた恩師の言葉 ア ニメーション作家加 藤久仁生さん	西堀 卓司 聞き手	日経夕刊	3.12
写眼 「9・11」後に 発見する人工線 勝 又邦彦「Skyline」	"	"	10.17						アカデミーダブル受 賞「映画の神がくれ た」加藤監督の両親 感激	福岡 静哉	毎 日	2.24
Recommend! New Designer 勝間田慎 也	編 集 部	デザイン の現場	164						アカデミーダブル受 賞「映画の神がくれ た」米作家も絶賛 [加藤久仁生]		"	"
Close-up 勝間田弘 幸 人間存在の在り 方を求めてさまざま な表現に出会う画家 の道程		ギャラリ ー*	285						クローズアップ2009 伝わった日本の今 アカデミー賞邦画ダ ブル受賞[加藤久仁 生]	吉富 裕倫 勝田 友巳 若狭 毅	"	"
マンガの国の「衣食 住」「電影少女」に 見る幻想の異性への 恋 思春期の健康的 現象[桂正和]	竹内オサム	毎 日	4.25						ひと アカデミー賞 短編アニメ賞を日本 人初受賞 加藤久仁 生さん	吉富 裕倫	"	"
ルポルタージュの時 代—そして60年後の いまは?	桂川 寛	あ い だ	160						記者の目 日本映画 2作アカデミー受賞 人間肯定の表現共感 呼ぶ 閉塞した米国 に励まし[加藤久仁 生]	勝田 友巳	"	2.26
素材を手の内に 漆 —赤地友哉「はりぬ き朱八角中次」・角 偉三郎「溜漆椀」	諸山 正則	淡 交	774						受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	加藤 孝造	陶 説	670
21世紀芸術研究所— 3 Key Words Re- search— 加藤泉		ギャラリ ー*	292						美濃・平柴谷の老子、 加藤孝造さんのこと	久保庭啓一 郎	"	677
鄭詔文さんのこと	加藤 静允	陶 説	676						加藤孝造試論	榎本 徹	"	"

中特集 風景とイメージ Part. 2 現代作家が描く風景とイメージ 加藤聖恩	高山 淳	美術の窓	310
「窯ぐれ三代展」に寄せて—加藤唐九郎・重高・高宏—「かまぐれ」三代の作陶[加藤重高]	唐澤 昌宏	陶 説	671
桃山陶 親子の軌跡 加藤唐九郎ら「窯ぐれ三代展」[加藤重高]	秋山 亮太	朝日夕刊	2.4
窯ぐれ三代—加藤唐九郎・重高・高宏—中 加藤重高「志野水指」	林家 晴三	東京夕刊	1.20
桃山は私の原点 「窯ぐれ三代展」加藤重高氏に聞く 技術の奥の思いを器に	稲葉 千寿	〃	2.6
「桃山」攻め抜いた意気 「加藤唐九郎・重高・高宏 窯ぐれ三代展」[加藤重高]	竹田 博志	日 経	1.14
「カトウジュンコと仲間たち展」と「三つの椅子—2008」	加藤 淳子	大阪成蹊大学芸術学部紀要	5
心象風景	加藤 鉦次	名古屋造形芸大紀要*	15
BRIDGE2009 3回目を迎えたバンコク日本現代絵画展	加藤正二郎	ギャラリー一*	293
「窯ぐれ三代展」に寄せて—加藤唐九郎・重高・高宏—「かまぐれ」三代の作陶[加藤高宏]	唐澤 昌宏	陶 説	671
桃山陶 親子の軌跡 加藤唐九郎ら「窯ぐれ三代展」[加藤高宏]	秋山 亮太	朝日夕刊	2.4
窯ぐれ三代—加藤唐九郎・重高・高宏—下 加藤高宏「志野茶碗」	花里 麻理	東京夕刊	1.21
「桃山」攻め抜いた意気 「加藤唐九郎・重高・高宏 窯ぐれ三代展」	竹田 博志	日 経	1.14
はしら[柱]—a pillar, a post, a column, a pole.	加藤 貴義	多摩美術大学研究紀要	23
マジックミラーでガラス工芸品制作 昭島の加藤さん[加藤千秋]	袴田 貴行	毎 日	12.3
アクリリックス・ワールド49 加藤千尋	石井 芳征	美術手帖	917

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&⑥テクニクつき Part.1		美術の窓	306
日本画・水墨画用画材編 6 日本画・水墨画 レジンドーサ 加藤哲男			
「窯ぐれ三代展」に寄せて—加藤唐九郎・重高・高宏—「かまぐれ」三代の作陶	唐澤 昌宏	陶 説	671
桃山陶 親子の軌跡 加藤唐九郎ら「窯ぐれ三代展」	秋山 亮太	朝日夕刊	2.4
窯ぐれ三代—加藤唐九郎・重高・高宏—上 加藤唐九郎「志野茶碗 銘 貫道」	唐澤 昌宏	東京夕刊	1.19
「桃山」攻め抜いた意気 「加藤唐九郎・重高・高宏 窯ぐれ三代展」	竹田 博志	日 経	1.14
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 加藤智啓	大輪 俊江	デザインの現場	163
素材を手の内に 陶磁—加藤土師 萌「青白磁鳥獣浮文鉢」・塚本快示「青白磁彫花鉢」	唐澤 昌宏	淡 交	775
中特集 ベストセレクション 加藤英	高山 淳	美術の窓	312
2009年日本建築学会作品選奨 黒松内中学校エコ改修(校舎棟)[加藤誠]		建築雑誌	1593
ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション 作家10選 5 加藤美佳		産 経	6.5
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレクション 加藤弥寿子	高山 淳	美術の窓	313
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 24歳的大型新人絵師 加藤ゆわインタビュー	加藤 ゆわ	〃	309
SPECIAL FEATURE 現代アートで巡るインド アジアの大国に魅せられた2人の闘士・徹底対談 インドとはどこか?	中島 岳志、加藤 好弘、談 福住 廉	美術手帖	918
写眼 街を赤く染め上げる 角尾敦志「GALACTICA」	海老沢 類	産 経	9.5

歌舞伎、演劇、イベント…支える舞台美術家 金井大道具4代目社長 金井勇一郎さん NY留学で得た斬新な手腕発揮	田中 冴子	東京タ刊	1. 17	人と墨13 金子朋樹 溢れる表現への衝動 を受け止める墨の存在	金重 晃介 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	784	245
ダウン症の書道家・大田区金沢さん 大作「風神雷神」建仁寺へ奉納 30日から作品展「気負いなく、無垢」と評価[金沢翔子]	丹治早智子	〃	10. 15	受賞作家アンケート 「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待すること」	金重 有邦	陶 説	670	
追悼 アニメーター・金田伊功さん 宮崎監督が「頭」と呼んだ男 シャープな原画 人をひき付ける魅力…「伝説の人でした」	堀 晃和	産 経	8. 14	特集 春のアートフェア 見逃せないこの画廊 この作品 現代美術 《弁当》 東京画廊 金田勝一		ギャラリー	287	
集う「金田伊功を送る会」故人の人格 楽しい思い出に笑い声	〃	〃	9. 2	近代日本画の構図決定格子(三)一由一、蕭白、芳崖―[狩野芳崖]	金子 一夫	一 寸	37	
寄贈作品紹介[金谷朱尾子]	中村麻里子	岡山県立美術館ニュース	87	特輯 幕末維新期の絵画―狩野派を中心に 図版五 狩野芳崖筆 仁王捉鬼	古田 亮	国 華	1370	
金守世士夫 米寿「湖山」	金守世士夫	版画芸術	144	墨のある風景		趣味の水 墨画		
金山平三の資料と作品	江上 ゆか	兵庫県立美術館研究紀要	3	狩野芳崖―枯木猿猴図	岡本 正康		242	
Faces 25 金氏徹平「1+1>2」の快楽	内田 伸一	ART iT	23	狩野芳崖―寿老人	川口 直宜		247	
21世紀芸術研究所―3 Key Words Research― 金氏徹平		ギャラリー	293	ほうがい余話「悲母観音への軌跡」展を終えて	井土 誠	潮 流	97	
SINGULAR DIALOGUES 金氏徹平	編 集 部	STUDIO VOICE	400	新出「観音 下図」の画稿について[狩野芳崖]	〃	〃	98	
ARTIST INTERVIEW 金氏徹平	清水 穰 聞き手	美術手帖	922	美の履歴書117 どこが「日本的」なのか「悲母観音」 狩野芳崖	大西 若人	朝日夕刊	7. 29	
テークオフ 現代美術家 金氏徹平さん 用途異なる材料「つなぐ」	西田 健作	朝日夕刊	5. 21	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説6 純金の鍵 シュールの魂[加納光於]	田中 三蔵	〃	3. 26	
ぎやらいいモール 横浜美術館「金氏徹平：溶け出す都市、空白の森」から「Tower (Movie)」 金氏徹平	木村絵理子	読売夕刊	4. 7	日本の油絵の独自性に向かって 鹿子木孟郎 正確な身体描写、アカデミズムを貫徹	児島 薫	太陽(別冊)	158	
峠の歴史 写真に収める 景色や伝説に魅了され、7年で国内500カ所以上	金ヶ江利行	日 経	11. 18	第2回アーティクル賞グランプリ発表 スポンサー賞 梶田ちひろ	梶田ちひろ 談	art _ icle	18	
作家通信 墨を通じてさらなる展開を目指して	金子 朋樹	趣味の水 墨画	243	鍋木清方筆《築地明石町》に関する考察	矢頭英理子	京都美学 美術史学	8	
				清方/Kiyokataノ スタルジア一名品でたどる鍋木清方の美の世界―		サントリ ー美術館 ・ミュー ジウム合 同紀要*	227	

鍋木清方の世界	宮崎 徹 談 内海 陽子 文・構成 碓 雅美子 インタビュー			EXTRA COLUMN 「映画を撮る」とは？ 師弟対談 押井守× 神山健治	川本 ケン	STUDIO VOICE	400
最後の絵師	山下 裕二 談 内海 陽子 文・構成 碓 雅美子 インタビュー			巻頭特集 人体を描く 美術解剖学でステップアップ 亀井 三千代さんに聞く 解剖学の現場、社会性を持つ皮膚の下に なにが眠るのか	亀井三千代 談	美術の窓	314
二〇〇七年度同志社 大学大学院修士論文 梗概「文字に依ら ざる傳記」としての 絵画—鍋木清方が肖像 画に込めた思い—	吉田みゆき	美学芸術 学	24	陶燈無尽—窯場に息 づく心と技 高取焼	亀井 楽山 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	783
日本美術のスズメ 今月の逸品 鍋木清 方「春雪」	三戸 信恵	美術の窓	315	文化財修理における 細部意匠整備 亀岡 末吉の文化財修理 その1	廣岡 幸義	日本建築 学会計画 系論文集	637
美の履歴書136 春 を待つところは 「春雪」 鍋木清方	小川 雪	朝日夕刊	12.16	土門拳 鬼が撮った 日本 最後の巨匠たち 勅使河原蒼鳳・ 土門拳・亀倉雄策の 三兄弟	重森 執氏	太陽(別冊)	土門拳
特集 2009年はこの 若手に注目！ 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 鎌田貴史	山本 高樹	デザインの 現場	163	東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技術材料・保存 修復に関する基礎的 研究 VI[亀山克巳]	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 桐野 文良 田中 智恵子 増田 久美	東京芸術 大学美術 学部紀要	46
中特集 風景とイメ ージ Part. 2 現 代作家が描く風景と イメージ 鎌田理絵	高山 淳	美術の窓	310	建築家の自邸評価… 加茂紀和子+マニュ エル・タルディッツ 漂とした緩い住まい —KITA houseの周縁	宇野 求	建築雑誌	1590
座談会 アンケート 「作品の収納と管理 について」を終えて	入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 小林 忠良、 海老塚 耕一、 吉野 毅、 大野 談 大成 浩 司会	連盟ニュー ース	432	加山又造 職人技を 究める旅	上藪 四郎	国立新美 術館ニュー ース	9
ヨーロッパに現存す る木製銅版画プレス 機の調査	神谷 佳男	金沢美術 工芸大学 紀要	53	美の履歴書097 な ぜ波は山より高い 「春秋波濤」 加山又 造	大西 若人	朝日夕刊	2.25
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 上村伊佐子	切刀 知子	美術の窓	307	「加山又造展」から 革新の美1 夜桜	中村 紘子	日 経	2.10
マンガの国の「衣食 住」「同棲時代」の 悲しみ 自由の陰の 倦怠、懐疑[上村一 夫]	竹内オサム	毎 日	5.30	パーキンソン病彫刻 家が再起 弼川仁平 さん 体に無理ない 「平面」に面白み	山本 哲正	東 京	2.4
みんなのマンガ学 ブラレス3 四郎 手 塚マンガの科学観継 承[神矢みのる]	伊藤 遊	朝日夕刊	6.10	アート・トピックス Book Design 柄澤 齊のミステリー小説 『ロンド』は今も文庫 本となって生き続け ている		ギャラリ ー*	290
				人と墨12 柄澤齊 墨は歴史の血液		趣味の水 墨画	243
				100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 29 セミくんいよいよ こんやです	カラスヤサ トシ	太陽(別冊)	164

アクリリックス・ワールド51 荻谷昌江	石井 芳征	美術手帖	921	「川喜田半泥子のすべて」展 異彩放つ自由の妙 心の赴くまま快活多才	〃	朝日夕刊	12.28
華やぎのジュエリーから煌きのガラスヘルネ・ラリック展1ハットピン ケシ 唯一無二の審美眼	假屋崎省吾	東京夕刊	7.24	みんなのマンガ学 沈黙の艦隊「海洋」から政治に一石[かわぐちかいじ]	表 智之	〃	10.7
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	河合 伊織	美術の窓	309	100人の心に響いた絵本100 国内絵本53 給食番長	川口 澄子	太陽(別冊)	164
SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART2 PROFESSIONAL INTERVIEW 実録! アーティストのセルフ・プロデュース術 展覧会開催の道のりとは?	しりあがり寿、タナカカツキ、天久 聖一、河井 克夫、長尾謙一郎 佐久間 恵 構成・文	美術手帖	928	特集1 河口龍夫 言葉・時間・生命		現代の眼	578
美の美 発見者 河井寛次郎 上、下	松岡 資明	日 経	4.19,26	「河口龍夫展」によって一視覚をこえて	市川 政憲		
2009年度新任教員紹介 情報デザイン学科専任講師 川合匠	川合 匠	瓜生通信	46	交叉する(言葉・時間・生命)一河口龍夫の伏流に沿って	馬場 駿吉		
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ 特別編 美男子図鑑 川井徳寛	川井 徳寛	美術の窓	311	語る 美術家 河口龍夫氏 時間感覚を視覚化する		日 経	10.4
「映画」から遠く離れて、「現代美術」に反対して一映像をめぐる三つのイベントとジャンルの問題について	河合 政之	あいだ	167	生老病死の旅路 河口龍夫さん 生と死 貫く「串」見極める	市原 尚之	読売夕刊	8.10
Artist Interview Sprout 川内真梨子		art _ icle	18	YOUNG ARTISTS JAPAN VOL. 2 / TAGBOAT AUTUMN AWARD	川久保ジョイ、池内 務 談	art _ icle	22
インフィニティー・アワード受賞 川内倫子さん 写真とより真剣に	前田 恭二	読 売	5.14	Exhibition Reviews 05 『島袋道浩展 美術の星の人へ』ワタリウム美術館(東京)	川崎 昌平	ART iT	23
アート・トピックス Book Design 伊津野雄二×藤岡陽子 彫刻家の作品が新人作家の小説、「良縁」で結ばれる! [川上成夫]		ギャラリー	293	VOICE OF VOICE みんなのNHK 二十一世紀のテレビの主役は誰か	〃	STUDIO VOICE	403
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル グラフィック編 川上俊	大城 譲司	デザインの現場	163	特集 本と旅する World Travelogue 旅へと誘う紀行文 まだまだ旅をするための55選 COMICS	〃	〃	404
半泥子と禅機[川喜田半泥子]	鈴木 皓詞	陶 説	680	BOOK REVIEW 平和への思考という衝撃	〃	美術手帖	922
「川喜田半泥子のすべて」展に寄せて	龍泉寺由佳	〃	〃	マンガ50年 燃えよ! スポーツ2 「スポ根」栄枯盛衰繰り返す[川崎のぼる]	片山 一弘	読 売	11.18
				日々好日 富士に思う	川崎 春彦	新美術新聞	1172
				特集 文字のつくりかた ジャンル別・売上TOP10から見る文字カタログ バックページ 河路ヨウセイ	大輪 俊江	デザインの現場	165

座談会 連盟の「新部門名」についての提案	酒井 忠康、佐藤 孝子、海老塚耕一、大沼 映夫、河嶋 淳司、中村 錦平、日比野ルミ、山本 貞 吹田 文明 司会	連盟ニュース	430	コミック ヘビ萆の缶詰 河内遙(作) 芸達者な新鋭の驚きの4冊	南 信長 朝 日	6.28
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 河島貞規子	切刀 知子	美術の窓	307	特集 古典キャラクターの展開 日中の古典 鬼を画いた「画鬼」暁斎[河鍋暁斎]	及川 茂 アジア遊学	118
巻頭特集 散歩からはじめよう スケッチがもっと上手くなる ⑧技法講座 VOL. 16 川嶋渉の地元、京都・伏見稲荷でスケッチ		"	315	特輯 幕末維新期の絵画—狩野派を中心に 図版四 河鍋暁斎筆 地獄極楽めぐり図	山下 善也 国 華	1370
芸術新潮特別企画 アートフェア東京 2009出展ギャラリー紹介 進取の美意識とともに 銀座 黒田陶苑の70年[川瀬忍]		芸術新潮	712	MADO LIBRARY 著者インタビュー 暁斎百鬼画談 安村敏信監修・解説		美術の窓 313
たてはな神話【連載】第三十五回～第四十六回	川瀬 敏郎	"	709～720	研究報告1. 河鍋暁翠「紫式部図」について	児島 薫	実践女子学園香雪記念資料館館報 6
江戸博蔵めぐり 東京十二月 三十間堀の暮雪 川瀬巴水・画	小山 周子	読 売	1.23	特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボイス」400号アンケート	河野 未彩	STUDIO VOICE 400
日々好日 湖北の思い	川瀬 鷹士	新美術新聞	1183	展覧会から4 川埜龍三—第10回ハバナ・ビエンナーレへ参加	上園 四郎	視覚の現場 四季の綻び 2
特集 水墨画の未来へ 若手作家の自由で豊かな表現 川瀬伊人	立島 恵	趣味の水 墨画	243	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(一) 川之邊一朝作「石山寺蒔絵文台・硯箱」について	五味 聖	三の丸尚蔵館年報・紀要 14
作家通信 絵を描きたくなる時	川瀬 伊人	"	249	SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダン PART 3 CHANOYU MODERN 茶の湯モダン 今に活かす茶の湯のココロ ヤン窯 ☆茶陶バトル 川端健太郎	沢田眉香子	美術手帖 930
わたしの宝もの47 フルオーダーの刷毛	"	新美術新聞	1183	100人の心に響いた絵本100 国内絵本42 たがや 落語絵本[川端誠]	村中 李衣 太陽(別冊)	164
作家通信 心・鏡	川添 早苗	趣味の水 墨画	245	Osamu's Invitation 19 川端実のカラージュ	原田 治	芸術新潮 712
近代美術の眼「ラスト・コスモロジー」より20世紀日本最後の日蝕—小笠原父島 川田喜久治	増田 玲	読 売	9.11	日本画にみる裸婦 川端龍子「会場芸術」を顕現させた裸体画	中村 麗子 太陽(別冊)	158
土地の息づかいを受け止めて 国際交流に取り組む画家 川田きし江さん	福沢 英里	東 京	7.29	美の美 南へ—楽園を描いた日本人画家下[川端龍子]	窪田 直子 日 経	11.1
第41回日展を前にして 各科審査員より“生き方”を表現する	川田 恭子	日展ニュース	134	みんなのマンガ学 笑う大天使[ミカエル] ギャグと恋心、絶妙なバランス[川原泉]	表 智之 朝日夕刊	12.16
本づくし 哲学と科学と、デザインの関係『哲学と科学』澤瀉久敬著	川田 学	A X I S	137			

コミックガイド 青 空エール 1 河原和 音[作]	南	信長	朝	日	2.22	アーカイヴと書簡— 河原温をめぐって	渡部	葉子	国立国際 美術館ニ ュース	173
invitation book 河 原久雄、文楽の“情 念”を写す	橋本	麻里	芸術新潮		716	美術学部教員展図録 彫刻	神田	每実	愛知県立 芸術大学 紀要	38
北九州市立美術館問 題 続々々々々報 トーナス・カボチャ ラダムス氏書簡 そ して誰もいなくなっ た! 2008年秋 北九 州(下)[川原田徹]	トーナス・ カボチャラ ダムス	あいだ			156	インスピレーション グラフィックカン ナアキコ協働から 生まれる最適解とし てのグラフィックデ ザイン	深沢	慶太	A X I S	138
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 川瀬水豊	中野	中	美術の窓		313	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファ イル グラフィック編 カンナアキコ	〃		デザインの 現場	163
ひと 神代文字で現 代アートを目指す書 家 川邊りえこさん	西川	恵	毎日		1.18	追悼 竹馬の友・神 戸文子さん	三吉	雅	新美術新 聞	1184
シンポジウム報告 「いま“日本”とは? —現代を疾走する3 人に聞く—」[川俣 正]	宮崎 嶋田	克己 華子	ジャポニ スム研究		29	追悼 神戸文子さん の思い出	入江	一子	連盟ニ ュース	431
「日本文化の発信」現 状は 自然体? いえ 「内向き」深刻[川俣 正]	古賀	太	朝日夕刊		2.10	「世界最長」の祈り 観音像100体、28 の版画 京都・東寺 に展示 9・11追悼、 ギネス申請中[観瀾 斎]			東 京	9.23
メディア 炭鉱は 「暗く悲惨」なのか [川俣正]	今野	勉	読 売		11.18	(キ)				
川村清雄《巨岩海浜 図》の寓意について (試論)	堀切	正人	アマリ リス		95	SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセル フ・プロデュース術 フォトグラファー、 木奥恵三さんが伝授 ! 作品撮影のコツ とは?	タカザワケ ンジ		美術手帖	928
特集 勝手メディア の台頭 IV 注目の メディア活動 総表 現社会を切り開く勝 手メディア NAP Times『今日の建築』 建築家2万字インタ ビュー	中村 柴原 川村	拓志 聡子 麻純	建築雑誌		1589	特集 これだけは知 っておきたいデザ イン大事典 教えてほ しい巨匠のこと。 菊地敦己×花森安治	宮岸 菊地 談 鈴 木 文	毅、 敦己 里子	デザイ ンの 現場	164
原爆症の妻を撮り続 けて 8ミリカメラ 回し41年、命が紡が れる喜び伝える	川本	昭人	日 経		7.8	特集 文字のつくり かた 2016年、東京 での開催を目指して オリンピックロゴ、 勝手につくっちゃい ました。			〃	165
陶芸家 河本五郎	大長	智広	陶 説		674	菊地敦己	菊地	敦己		
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 川本幸子	切刀	知子	美術の窓		307	僕のロゴのつくり かた。	菊地	敦己		
特集 菅野よう子— アニメ・映画・CM ・ゲーム…音の魔術 師のすべて!! 菅野 よう子の魅力 にぎ やかな神話と身体 のオーケストレーシ ョン	河森 飯田 聞き手	正治 一史	ユリイカ		569	特集 これからの本 のつくりかた 僕ら が本をつくる理由[わ け] 菊地敦己	宮下	哲	〃	167

菊池修さんがドキュメンタリー写真集「MONSTER」エイズと向き合い続けて	村上 智博	産 経	3.2
菊池修写真集「MONSTER」	(前)	読 売	1.11
美の美 南へ—楽園を描いた日本人画家中[菊池契月]	窪田 直子	日 経	10.25
特集 平凡社新書創刊10周年 知の(交差点)から(広場)へ【装幀者から】成熟期の新書とデザイン	菊池 信義	百 科*	560
墨のある風景 菊池芳文《小雨ふる吉野》	鶴見 香織	趣味の水 墨画	240
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 菊池光子	高山 淳	美術の窓	307
特輯 幕末維新期の絵画—狩野派を中心に 菊池容斎筆 呂后斬戚夫人図	佐藤 康宏	国 華	1370
連載 戦時下日本の美術家たち 第29回 菊畑茂久馬さんへの手紙	飯野 正仁	あ い だ	159
解説プログラム 二〇〇八年のアーティスト・トークから	菊畑茂久馬	現代の眼	574
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 岸ひろ子	切刀 知子	美術の窓	307
あとがきのあと「麗子と麗子像」岸田夏子氏 心の中に生きる生身の母		日 経	6.7
装幀本談義 和田英作の『小詩園』/岸田劉生の『詩集 南枝の花』	山田 俊幸	一 寸	39
Osamu's Invitation 21 二人の銀座[岸田劉生]	原田 治	芸術新潮	714
構図のはなし 5 独自の目で周囲を切りとる一人のいない風景[岸田劉生]	和田 宏子	趣味の水 墨画	245
速水御舟 日本画を「破壊」する 細密描写をつきつめる 1918—1924 速水御舟と岸田劉生	山崎 妙子	太陽(別冊)	161
美術教育とジェンダー(7)—岸田劉生『図画教育論』再考	山崎 明子	美術運動 史研究会 ニュース	103

没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—その
写真技法と知られ
ざる日本画 Part. 1
徹底分析! 劉生の技
法

美術の窓 308

小谷野 匡子氏(絵
画保存研究所社長)
に聞く 修復過程
から探る劉生「椿
花図」「麗子坐像」

巨匠から学んだ表
情のつくり方

表情は目と口で決
まる!? 麗子像を検
証しよう

劉生の技法分析
油彩編 生きるこ
との実現としての
劉生絵画

佐藤 一郎

劉生の技法分析
日本画編 劉生の
日本画

内呂 博之

没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—その
写真技法と知られ
ざる日本画 Part. 2
グラビアでみる劉生

” ”

没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—その
写真技法と知られ
ざる日本画 Part. 2
グラビアでみる劉生
岸田劉生 描き続けた
肖像画—内面のド
ラマを追う—

中島 啓子

” ”

没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—その
写真技法と知られ
ざる日本画 Part. 3
現代の評論家・画家
が語る岸田劉生の魅
力

” ”

ドイツルネサンス
に憧れた男

相笠 昌義

「二人麗子図」

遠藤 彰子

青春の記念碑

大野 俊治

天才の心

奥谷 博

赤土と青い空

小尾 修

岸田劉生について

笠井 誠一

人物画の筆触

斎藤 國靖

麗子弾絃図

佐藤 泰生

「麗子微笑」は日本
画である

天明屋 尚

「道路と土手と塀
(切通之写生)」

中島 健太

先駆者

野見山暁治

素材を手の内に 金欄一喜多川平朗「紫牡丹唐草文羅地金欄」北大路魯山人「蒔葱金欄手鳳凰文煎茶碗」	木田 拓也	淡 交	777	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル グラフィック編 木谷友亮	山本 高樹	デザインの現場	163
アート・トピックス Book Design 眠れる夜の恐ろしい話を桐生操と北川麻衣子がおくる		ギャラリー	296	作家訪問395 陶芸家 北野勝久さん	編集部	目の眼	397
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 北川麻衣子	山下 裕二	美術の窓	309	1枚に宿る時間の結晶 長時間露光で風景撮影、世界とのつながり実感	北野 謙	日 経	7.28
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	北川 瑠子	〃	〃	この道1~50	北見けんいち	東京夕刊	3.2~7.9 ~14.16 ~19.21、 23~31、 4.1~4.6 ~11.13 ~18.20 ~25.27、 28.30
松代大本営と現代アート 第8回まつしろ現代美術フェスティバル誌上展 北澤一伯《くりかえし対立する世界で白い壁はくりかえしあらわれる―「固有時と固有地」連作 No.4》	北澤 一伯	美術運動史研究会ニュース	106	技法の現場から10制作の現場から 着彩彫刻の意味づけ	北村 隆博	連盟ニュース	430
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニックつき Part 1 油性画材編 12油性油彩画筆6116番 北澤茂夫		美術の窓	306	アートの交差展を、ふりかえる。	今泉 裕紗 青山ひろゆき 北村奈津子 タムラサトル 野口久美子	ザ・ルー フ	35
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 北澤茂夫	功刀 知子	〃	307	「作品専修2009」ならびに「2009年日本建築学会作品選奨」先行報告	北山 恒	建築雑誌	1587
北島敬三 ゴザ/東京/ニューヨーク/東欧/ソ連1975—1991	北島 敬三 談小原 真史 インタビュー	E Y E S	62	特集 大学院における建築設計教育 II 横浜国立大学大学院 Y—G S A 横浜国立大学大学院/建築都市スクールY—G S Aの試み	北山 恒 人江 開 手 桂 平塚 文	談 徹 〃	1588
写眼 寡黙な肖像が語る時間 北島敬三「PORTRAITS」	海老沢 類	産 経	5.30	戦前と戦後の前衛絵画をつなぐものの一福沢一郎、鶴岡政男、北脇昇を例に	大谷 省吾	芸 叢	25
北島敬三写真集 THE JOY OF PORTRAITS	(前)	読 売	6.28	巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニックつき Part 1 油性画材編 3油性エアブラシ・コンプレッサー 木津文哉		美術の窓	306
私のいる風景 ホリゾント 撮り続ける「変わる生」北島敬三さん 写真家	前田 恭二	読売夕刊	10.17	陶燈無尽一窯場に息づく心と技 吉向焼	吉向十三軒 [八代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	778
模写による県内文化財研究と保存と継承 III	北田 克己 山谷 恭子 寺岡 昌子 横山由美子 森 ゆだね	広島市立大学芸術学部紀要	14	都開人 洋画家 城戸真亜子さん 再開発、街の歴史の記憶残して 新しく住む人の誇りに		日 経	5.20
日本画制作の現場 II	北田 克己	〃	〃				

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 鬼頭恭子	高山 淳	美術の窓	307	巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品					
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	鬼頭 智子	"	309	BEST50&④テクニックつき Part 1 デッサン・スケッチ 用画材編 2 デッサン・スケッチ ハイユニアートセット 木下晋			美術の窓	306	
特集2009年末回顧 美術界100人に聞く 仏様の膝元に抱かれて… 洋画家・絹谷幸二氏		新美術新聞	1203	芸術をケアに生かす 画家・木下晋さんら参加 NPOがワークショップ	稲葉 千寿	東京夕刊	12.9		
中特集 巨匠展—今そして未来2009— 出品作家インタビュー	絹谷 幸二	美術の窓	308	交遊抄 それでも男か	木下 晋	日 経	3.28		
『芸術は人生、人生は芸術』	"	連盟ニュース	431	阿修羅のフィギュアに挑む 海洋堂原型師「憂いの表情に苦心」[木下隆志]	猪谷 千香	産 経	4.15		
座談会 アンケート「作品の収納と管理について」を終えて	入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 中林 忠良、 海老塚 一、 吉野 毅、 大成 浩司	"	432	建築家の自邸評価… …木下道郎 木下道郎さんのドッグハウスの読んでみる	西村 伸也	建築雑誌	1593		
		"	432	100人の心に響いた絵本100 国内絵本19 みずまき [木葉井悦子]	谷川俊太郎	太陽(別冊)	164		
				巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品					
				BEST50&④テクニックつき Part 1 油性画材編 11油性油彩画筆8802・882番 木原和敏			美術の窓	306	
アートな匙加減	絹谷 幸二	産 経	1.18、 2.20、 3.26、 4.22、 5.27、 6.24、 7.29、 8.26、 10.2、 11.6、 12.4	この人 自作展覧会を開く 映画の手書き看板職人 紀平昌伸さん	堀尾 法道	東 京	7.2		
追悼 画家 平山郁夫氏 「文化芸術が平和の礎」の信念	"	"	12.9	美の美 南へ—楽園を描いた日本人画家下[儀間比呂志]	窪田 直子	日 経	11.1		
若い人たちの力に 絹谷幸二賞贈呈式 受賞の福永さんと坂本さんがあいつ作者の心を表わしたよい絵	岸 桂子 棚部 秀行 鈴木 英生	毎日夕刊	3.19	日本人とこころ 木村伊兵衛と酒脱 上、	篠原 知存	産 経	6.7、14		
invitation book 200 人の芸術家が石を手にして考えた[木之下晃]		芸術新潮	718	この人・この3冊 木村伊兵衛	金子 隆一	毎 日	3.29		
石を聞く肖像 木之下晃著		日 経	9.20	永井潔さん追悼 永井潔さんの絵画世界を読み解く	木村 勝明	美術運動	136		
音楽家の素の表情 石と共に 木之下晃氏初のポートレート集	松本 良一	読 売	12.31	想・創 映画美術監督 木村威夫 ああ、20年「夢のまにまに」1〜3	木村 威夫	毎日夕刊	1.6、13、20		
				追悼・木村恒久 吠え王 暁に逝く	矢田 卓	あいだ	157		
				INFORMATION MEMORIAL 追悼・木村恒久 キムラさんはすばらしい人だった。	南 伸坊	美術手帖	920		

福田繁雄さん・木村恒久さんを悼む 目にユーモア注ぐ	大西 若人 朝 日	1.17	
悼む 木村恒久さんグラフィック・デザイナー 新しい視覚表現追求	岸 桂子 毎 日	4.29	
グラフィックデザイナー木村恒久さん死去「都市はさわやかな朝を迎える」		読 売	1.7
コミック 殺手1 木村直巳(作) 昭和史の闇を生きた暗殺者	山脇 麻生 朝 日	6.7	
松代大本営と現代アート 第8回まつしろ現代美術フェスティバル誌上展	木村 仁	美術運動史研究会ニュース	106
「まつしろ現代美術フェスティバル」について			
木村仁《HA—NE Project2009》			
作家通信 相撲を描く	木村 浩之	趣味の水墨画	247
ぎやらりいモール 講談社野間記念館「横山大観と木村武山」から「慈母観音」木村武山	豊田 和平	読売夕刊	4.14
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 木村保夫	木村 保夫	美術の窓	307
特集 これからの本のつくりかた 木村裕治 GLOBE が新聞を変える	石田 純子	デザインの現場	167
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ 特別編 美男子図鑑 木村了子	木村 了子	美術の窓	311
ひと 全国で「野点」をする美術家・陶芸家 きむらとしろう じんじんさん	高橋 咲子 毎 日	12.10	
特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代「スタジオ・ボイス」400号アンケート	KYOTARO	STUDIO VOICE	400
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 京田徹夫	高山 淳	美術の窓	307
クリエイターインタビュー 清川あさみ	中西研太郎	E q u a l	8

SPECIAL FEATURE

アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう? PARTII もっと愛するための実践術! アロイーズ恋する女 空っぽな眼

清川あさみ 美術手帖 923

巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ グラビア&インタビュー 清川あさみ「女性だからこそ感じるコンプレックスも魅力です」

美術の窓 311

愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(33)

清塚 紀子 愛知県立芸術大学紀要 38

追悼 故清原啓一先生を偲ぶ

藤森 兼明 美術の窓 305

追悼文 故清原啓一先生 弔詞

寺坂 公雄 連盟ニュース 429

陶燈無尽—窯場に息づく心と技 京焼

清水六兵衛 [八代] 談 淡 交 775
梶山 博史 取材・文

清水六兵衛—建築で考える現代陶芸

柴辻 政彦 陶 説 672

特集 国際化時代の建築教育システムへ VI 世界の動向と日本 ポローニャ合意がヨーロッパ建築界にもたらす新しい波

吉良 森子 建築雑誌 1588

文楽の粋 スタンプに刻む 国立文楽劇場開館から原画手がけ25年

桐竹勘十郎 日 経 4.2

桐谷夫妻の一期一絵

桐谷 逸夫 読 売

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 木脇秀子

高山 淳 美術の窓 307

美術品等収集状況 新収蔵作品より 金城三代一 国斎[金城一 国斎]

広島県立美術館年報 H19年度

1.13、
2.3、17、
3.3、31、
4.14、28、
5.26、
6.9、23、
7.7、28、
9.8、22、
10.6、27、
11.10、
24、12.8、
22

(ク)

(ク)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 林 忠良、 海老塚 耕一、 吉野 毅、 大成 談 司 浩	連盟ニユ ース	432	スペイン階段 イ タリア				3. 15
座談会 アンケート 「作品の収納と管理 について」を終えて				建築家・隈研吾さん 新歌舞伎座と根津美 術館を語る 観る人 の気持ちを豊かに	生田 誠 産 経		11. 17	
本づくし 「今を言 語化し、さらに進ん でいくために」 『The Language of New Media』レフ ・マノヴィッチ著	久保田晃弘	A X I S	142	建築家の隈研吾さん がギャラリートーク 最新住宅など紹介	永田 晶子	毎日夕刊	6. 1	
アンケートに答えて 60年代 わがマグマ の時代	窪田 旦佳	自由美術	2009	建築 隈研吾 根津 美術館	五十嵐太郎	〃	10. 19	
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 久保田勝巳	高山 淳	美術の窓	307	建築家・隈研吾氏 快進撃を探る	前田 恭二、 高野 清見、 飯島 洋一、 二川 幸夫 談	読 売	12. 10	
写眼 写真家自身の 軌跡 久保田博二 「アメリカとビルマ」	篠原 知存	産 経	9. 12	視線 和更紗文様図 譜 熊谷博人著	村山 由佳 朝 日		4. 12	
座談会 第四十一回 日展 審査を終えて	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 能島 和明、 小灘 一紀、 久保田 徹通、 大角 勲、 池田 桂鳳 談 透石 司 会	日展ニユ ース	135	連載 小山登美夫の 見た、訊いた、買っ た lesson 7 熊谷 守一を柳ヶ瀬画廊で	小山登美夫	芸術新潮	718	
大臣賞制作意図 内 閣総理大臣賞「慈 恵」	久保田徹通	〃	〃	人と書36 熊谷守一 の書	真鍋 井蛙 目 の 眼		389	
特集 サントリー美 術館 新館建築 都 市の中の「居間」とし ての美術館	隈 研吾	サントリー 美術館・ミュー ジウム合 同紀要*	2	彩・美・風 誕生仏 は自画像か[熊谷守 一]	瀬戸内寂聴	朝日夕刊	4. 8	
金剛地デザイン研究 所が行く—M2の巻 [隈研吾]	金剛地武志 渡部 千春	STUDIO VOICE	399	日本人とこころ 熊 谷守一と「いのち」 上、下	飯塚 友子 産 経		8. 23、30	
INFORMATION MU- SEUM 新・根津美 術館開館 隈研吾建 築によりこの秋始動 する、南青山の新た な文化拠点	沢山 遼	美術手帖	930	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル プロダクト編 熊谷有記	猪飼 尚司 デザイン の現場		163	
奇想遺産	隈 研吾 朝 日			日本の森林再生へ more trees 清水慶 太+熊谷有記+小林 幹也	杉江 あこ 〃		165	
ヴィトゲンシュタ イン・ハウス オ ーストリア			1. 18	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル プロダクト編 熊谷彰博	高橋 美礼 〃		163	
ピットリオ・エマ ヌエレ2世のガレ リア イタリア			2. 15	中特集 作家の原点 熊沢淑	高山 淳 美術の窓		308	
				土門拳 鬼が撮った 日本 コラム 日本 工房時代の撮影指南 役	熊田千佳慕 太陽(別冊) 土門拳			
				99歳のプチファーブ ル 熊田千佳慕展 虫の目線で観察	福原 義春 朝日夕刊		8. 7	
				画家熊田千佳慕さん ファーブルの目で見 た世界	大貫 聡子 〃		9. 19	

日本のプチ・ファーブル 熊田千佳慕さんをしのぶ会に200人出席	岸 桂子	毎日夕刊	12.7	三保谷友彦が語る、ガラス、デザイン、試作展への思い [倉俣史朗]	浦川 愛亜		
永青洋画劇場—未知との遭遇— 久米民十郎「支那の踊り」の発見	奥田 亡羊	永青文庫	66	フォトグラファ—藤塚光政 時代を超えて、長くデザイン界に貢献[倉俣史朗]	藤塚 光政		
久米民十郎と「霊媒画」について—新出資料の紹介を中心に—(上)(下)	五十殿利治	美術運動史研究会ニュース	99,100	インテリア・アーキテクト近藤康夫 新しいデザインの開発に尽力する、職人を超えた職人 [倉俣史朗]	近藤 康夫		
洋画家と「殿」の交流 細川家に眠っていた久米民十郎の作品に光	奥田 亡羊	日 経	5.13	特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 教えてほしい巨匠のこと。小泉誠×倉俣史朗	長友 啓典、小泉 誠、倉西 文	デザインの現場	164
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 倉数 和文	倉数 和文	美術の窓	307	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 倉本仁	大輪 俊江	〃	163
マンガの時代 倉金章介「あんみつ姫」(1949—55年)	竹内オサム	日経夕刊	7.29	アートプロジェクトへの参加 桐生再演 14 群馬県桐生市	倉山 裕昭	京都嵯峨芸術大学紀要	34
人と人を繋ぐもの—蔵田周忠と森銃三	森 仁史	一 寸	40	こころの玉手箱 画家 久里洋二 1~5	久里 洋二	日経夕刊	3.30~4.3
元気のひみつ 減量で得た自信と積極性 漫画家倉田真由美さん	高山 敦子	朝 日	2.15	INFORMATION 写真家・操上和美の映画監督処女作は必見	編 集 部	美術手帖	920
			1.1,8,15,22,29,2.5,12,19,26,3.5,12,19,26,4.2,9,16,23,30,5.14,21,28,6.4,11,18,25,7.2,9,16,23,30,8.6,13,20,27,9.3,10,17,24,10.1,8,15,22,29,11.5,12,19,26,12.3,10,17,24,31	丹念に小さな音拾い ゆっくりと長回しで 写真家・操上和美が初映画	古賀 太	朝日夕刊	3.4
本音のコラム	倉田真由美	東 京		ニッポン人・脈・記 この一枚の物語 7 広告だって飛べるんだ [操上和美]	相場 郁朗	〃	6.16
				写眼 スナップで感性を確認 操上和美「Diary」	篠原 知存	産 経	8.1
				フォーカス 吉野豊子	栗崎 英男	美術の窓	310
				100人の心に響いた絵本100 国内絵本14 雲へ [黒井健]	立原えりか	太陽(別冊)	164
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	蔵野 春生	美術の窓	309	明日への夢展—美を継ぐ者たち II—East × 4 & West × 4 展	黒川 彰夫	新美術新聞	1193
作家通信 墨の織りなす表現に魅了されて	倉橋 利明	趣味の水 墨画	240	私の履歴書28 すれ違う国家と建築 黒川の訃報に日本を嘆く [黒川紀章]	磯崎 新	日 経	5.29
三保谷硝子店—101年目の試作展		A X I S	142	黒川雅之が70歳を越えて考えた“K”のこと、そして兄のこと	能勢 理子、聞き手	芸術新潮	712

黒崎彰の続・版画史
解剖 20世紀編[第
8、9、最終回]

黒崎 彰 版画芸術 143~145

公募展レポート 第
1回ワルシャワ国際
版画トリエンナーレ

" " " 143

東京の建築地形を解
読する URBAN
SMALL VOID—狭小
住宅という生き方

黒崎 敏 建築雑誌 1586

特集 黒田アキ

水声通信 28

黒田アキの「闇」

マルグリッ
ト・デュラ
ス 武田はるか
訳

黒田アキあるいは
絵画における勇気

フィリップ
・ラクーニ
ラバルト 桑田 光平
訳

Cosmogarden へ
ようこそ「空白
の愛」あるいは「飛
翔する city」

小林 康夫

無秩序と宇宙

黒田 アキ、
宮島 達男
対談 森 裕一
司会

象られた知

ジャン・ア
ルイユ 福田 桃子
訳

黒田アキを横断す
る

カミーユ・
ファラン 星野 太 訳

黒田アキ=メタモ
ルフォーゼ

本江 邦夫

モダニズムを継承
しないために 画
商による黒田アキ
試論

森 裕一

期待としての絵画

桑田 光平

この期に及んでア
ートなど

道家 洋

ドラえもん、レム
・コールハース、
黒田アキ

千種 成顕

特集 SPECIAL IS-
SUE VOL. 400 ス
タジオ・ボイスの時
代「スタジオ・ボ
イス」400号アンケー
ト

黒田 潔 STUDIO
VOICE 400

巨匠の悲哀—黒田清
輝の場合

森 仁史 一 寸 38

黒田清輝「昔語り」—
その構想と構成をめ
ぐって

金子 一夫 五浦論叢 16

裸婦にふさわしい場
をさがして 黒田清
輝 裸体画問題と関
い続けた

山梨絵美子 太陽(別冊) 158

近代美術の眼 落葉
黒田清輝

鈴木 勝雄 読 売 11.13

特集2 早川良雄—
“顔”と“形状” 早川
良雄先生のこと

黒田征太郎 現代の眼 579

人生の贈りもの イ
ラストレーター黒田
征太郎1~5

田中 啓介 朝日夕刊 11.30~
聞き手 12.4

シリーズ第2弾 地
方の美術運動を探る
今も生きる生活図画
運動の理念

黒田 孝 美術運動 136

素材を手の内に 螺
鈿—黒田辰秋「螺鈿
亥字香盒」佐々木
英「蒔絵彩切貝短冊
箱 尾瀬の朝」

木田 拓也 淡 交 784

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 黒田福女

編集部 美術の窓 307

中特集 ベストセレ
クション 黒田真由
美

高山 淳 " 312

SPECIAL FEATURE
茶の湯の美 クラシ
ック&モダン PART
3 CHANOYU MO
DERN 茶の湯モダ
ン 今に活かす茶の
湯のココロ ヤン窯
☆茶陶バトル栗田卓
郎

沢田眉香子 美術手帖 930

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
93 黒グルミのから
のなかに

桑原 弘明 太陽(別冊) 164

(ケ)

Recommend!
Graphic KEIKO+
MANABU の紙によ
る建築的空間

紫牟田伸子 デザイン
の現場 163

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
(特別企画)2010年
で創立50周年! 社団
法人日本南画院の歩
みと今 慶祐幸治

中野 中 美術の窓 313

特集 アジア美術の
現代 アヴァンギャ
ルド・チャイナー
(中国当代美術)二十
年—を見て思う事—

K. K 美術運動 136

特集 これだけは知
っておきたいデザイ
ン大事典 教えてほ
しい巨匠のこと。
辻村久信×剣持勇

松本 哲夫、
辻村 久信
談 鈴木 里子
文 デザイン
の現場 164

(コ)					特集 若き天才を見逃すな！新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44				
山下裕二の今月の隠し球49、50 古池潤也「あっけらかんと切ない『野菜涅槃図』」〈上〉〈下〉	山下 裕二	美術の窓	304,305		合田のぞむ	美術の窓	309		
小池頴子の〈SHELL〉—「色」と「かたち」に導かれたフォルム	唐澤 昌宏	陶 説	677		森 芳功	視覚の現場 四季の綻び	2		
美術家の戦争体験(2) 屍臭(僕の戦争)	小池 仁	美術運動	136		南 信長	朝 日	5.31		
Diagram 地図作成	小泉健太郎	多摩美術大学研究紀要	23		ササキバラ・ゴウ	"	5.24		
対岸の森	小泉 俊己	"	"						
つかう 箸とデザイン	小泉 均	芸術新潮	713			ギャラリ一*	285		
特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 教えてほしい巨匠のこと。小泉誠×倉俣史朗	長友 啓典、小泉 誠、倉西 文	デザインの現場	164			芸術新潮	717		
Recommend! Product 小泉誠「君の椅子」	土田 貴宏	"	166		福住 廉	美術手帖	928		
特集 大学院における建築設計教育 III 全国大学院の修士設計の現状 2 修士設計の位置づけ 今後の展望 横断的なリサーチから生まれる修士設計	小泉 雅生、入江 徹、平塚 桂 文	建築雑誌	1588		産 経	6.11			
テークオフ 美術家小泉明郎さん 矛盾が潜む強い映像狙う	大西 若人	朝日夕刊	9.10		宮川まどか	東京夕刊	11.21		
皇后さま51年前の肖像画 神戸できょうから公開「小磯良平」	塩野 浩子	朝 日	10.24		小川 敦生	日 経	7.19		
美の美 小磯良平が描いた人々 上、中、下	田村 広済	日 経	12.13、20、27		香山 壽夫	建築雑誌	1586		
情感とエロティシズムの表出あるいは、造形の実験 小出楯重 妥協のない眼が生んだ独自のデフォルメ	河崎 晃一	太陽(別冊)	158		明日へ 紙園を支える4 にぎやかに門出を祝う「小浦信博」	渋谷聖都子	読売夕刊	3.9	
短期連載 受け継がれるアート・スピリット—シリーズIII 2代続く日本画家を伝える道「郷倉和子」		ギャラリ一*	296		Gallery Art Composition 関和宏×佐藤令奈×興梠優護	関 和宏、佐藤 令奈、興梠 優護 談	art _ icle	22	
短期連載 受け継がれるアート・スピリット—シリーズIII 2代続く日本画家を伝える道「郷倉和子」		"	"		CAMP ベルリンにおける国際交流—移住するアートプロジェクト	古賀 太郎	広島市立大学芸術学部紀要	14	
					特集 「市民の視点」で考える建築裁判	竹川 忠芳、日置 雅晴、富田 幸雄、荻原 裕、古賀 保彦、細野 透 司会	建築雑誌	1596	

I 巨大すぎる建築を巡るトラブル誌上シンポジウム 1(近隣・環境問題) どうすれば悩み多きこの現状を打開できるのか									4.4,11、 18,25、 5.2,9、 16,23、 30.6.6、 13,20、 27.7.4、 11,18、 25.8.1、 8.15,22、 29.9.5、 12,19、 26,10.3、 10,17、 24,31、 11.7,14、 21,28、 12.5,12、 19,26
II 品質が低い住宅を巡るトラブル誌上シンポジウム 2(欠陥住宅問題) どうすれば悩み多きこの現状を打開できるのか									
Faces 23 小金沢健人「感情を運ぶ」映像キャラバン	内田 伸一	ART iT	22		建築業界サイド・バイ・サイド 小坂淳一 新しい宇宙図をめぐる探究	中田 千彦、田中 元子 聞き手	建築雑誌	1594	
Reviews: As I See It... 舞台『友達』	小金沢健人	"	"		姫路城 雄大さ切り出す 剪画で描き続け30年、新作のたび新たな発見に驚く	小坂 通泰	日 経	8.27	
みる 夢のあと	"	芸術新潮	713		特集 インテリアを語る II インテリアデザインとその手法5 企業に属し、先鋭的なクリエイションを指向する	小坂 竜 徹 入江 聞き手 平塚 桂 文	建築雑誌	1591	
旅するアーティスト 小金沢健人「未知の地」求め漂泊 記憶・歴史捨てて作る	白木 緑	日 経	3.8		Art Chat Studio 6 山中宣明×小澤基弘(前・後編)	山中 宣明、小澤 基弘 談	ギャラリー一*	291、292	
コミック 陽だまりのピニユ 全5巻 こがわみさき(作) 日々のかげがえのなさを実感	ササキバラ・ゴウ	朝 日	8.23		特集Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 越野邦夫	越野 邦夫	美術の窓	307	
SV ART ART SPACE 五木田智央	編 集 部	STUDIO VOICE	400		写眼 小津調の日常生活 小柴一良「坂」(平成20年)	堀 晃和	産 経	3.7	
INFORMATION ソニック・ユースと五木田智央ら日本人アーティストの豪華コラボレーション! 新作CDボックス発売	"	美術手帖	922		小特集 写真家・小島一郎が切り撮った“北国”		芸術新潮	711	
港で出合う芸術祭—神戸ビエンナーレ2009公式ガイド—そして、神戸でビエンナーレ 注目の招待作家たち 國府理		"	929		青森のミレーは写真家 早世の小島一郎、農民と自然の共存・戦いを撮る	高橋 しげみ	日 経	2.25	
					特集 大学院における建築設計教育 III 全国大学院の修士設計の現状 2 修士設計の位置づけ 今後の展望 モチベーションと建築家教育	小嶋 一浩 談 入江 徹 聞き手 平塚 桂 文	建築雑誌	1588	
こぐれひでこのおいしい画帳	こぐれひでこ	読売夕刊	1.8、15、 22、29、 2.5、12、 19、26、 3.5、12、 19、26		2009年日本建築学会作品選奨 千葉市立美浜打瀬小学校[小嶋一浩]		"	1593	
					漫画家・小島功 画業65周年展		朝日夕刊	4.8	

本づくし「不思議な関係で結ばれる、自然界のデザイン」『自然界の秘められたデザイン』イアン・スチュアート著／梶山あゆみ訳	小島 潤一	A X I S	142	小杉放菴「秋色山水長巻」—楽園イメー ジの源泉と「片ぼかし」の展開	〃	出光美術館研究紀要	14
特集 文字のつくりかた サン・アド小島潤一のロゴのつくりかた「ほうとう不動」	猪飼 尚司	デザインの現場	165	文化往来 町と美術、新たな関係見せた「墨東まち見世」[KOSUGE 1—16]		日 経	12. 29
児島善三郎の「日本の油画」—《鏡》をめぐる—	林田 龍太	鹿島美術財団年報・別冊	26	第41回日展を前にして 各科審査員より初心	小関 修一	日展ニュース	134
短期連載 受け継がれるアート・スピリット—シリーズII 祖父の絵画が伯父を経て、孫へ[児島善三郎]		ギャラリー*	295	特別展『五姓田のすべて』岡山会場出品作品について[五姓田義松]	廣瀬 就久	岡山県立美術館紀要	1
作品 磯土・深淵	小嶋 悠司	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	53	デザイナー×フォイルスター第2弾! POPSTAR by Foil-star 古平正義	酒井 千穂	デザインの現場	164
日々好日 私の生き方の御縁	〃	新美術新聞	1182	サタデー発言 のんびりと優しいセルビア	小高 敦子	東 京	10. 24
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル グラフィック編 小杉幸一	杉瀬 由希	デザインの現場	163	ブロムナード ある雑誌と編集者の思い出[小瀧達郎]	海野 弘	日経タ刊	12. 24
特殊印刷加工トライアル 第11回 小杉幸一、偏光パールに挑戦!	〃	〃	164	作家通信 波乗りと水墨	小滝 雅道	趣味の水 墨画	241
体験 LOVERS 第2回 小杉幸一+三島和夫	鈴木 里子	〃	167	2009年日本建築学会作品選奨 東京音楽大学100周年記念本館[児玉謙一郎]		建築雑誌	1593
青春ブレイバック 小杉小二郎 青春のバリ、孤独な創造に集中できる街	高岡 忠雄	新美術新聞	1191	児玉康兵 《天円地方の概念》、《とろける立方体=天と地》、《空 環—〇△□》、《希望》、《夢》	児玉 康兵	尾道大学芸術文化学部紀要	8
日々好日 飛べないチーズ	小杉小二郎	〃	1200	港で出合う芸術祭—神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド—そして、神戸でビエンナーレ 注目の招待作家たち 児玉靖枝		美術手帖	929
中特集 巨匠展—今そして未来2009— 出品作家インタビュー	〃	美術の窓	308	アンケートに答えて 時空を超えた“Drawing”の芸術性	後藤 拓哉	自由美術	2009
ひと 天平の仏像製作技法をよみがえらせた彫刻家 小杉三朗さん	磯貝 誠 朝 日		8. 22	華やぎのジュエリーから煌きのガラスヘルネ・ラリック展3ペンダント ニンフ 景色を魅惑の空間に	ゴトウヒロシ	東京タ刊	7. 27
第二六一回水曜講演会 大観と未醒/放菴 日本美術院再興の周辺[小杉放菴]	塩谷 純	出光美術館館報	147	座談会 第四十一回 日展 審査を終えて	中山 忠彦、 寺坂 公雄、 能島 和明、 小灘 一紀、 久保田 徹、 大角 勲、 池田 桂鳳、 談 清水司会	日展ニュース	135
館蔵品紹介 小杉放菴筆「南嶋帖」—若き日の放菴が抱いた大雅への憧れ—	出光佐千子	〃	148			透石	

テークオフ 画家
小西紀行さん 家族
の肖像 悩みの中か
ら織りなす

大西 若人 朝日夕刊 1.10

芸術をケアに生かす
画家・木下晋さんら
参加 NPOがワー
クショップ[小西ミ
ホ]

稲葉 千寿 東京夕刊 12.9

追悼 小西保文さん
の絶筆によせて

山本 貞 美術の窓 305

追悼文 燃え尽きた
画家魂 小西保文さ
んを偲んで

〃 連盟ニュー
ース 429

Close-up コノキミ
クオ 永遠の天才少
年・コノキミクオは
鉄塊に命を吹き込む

〃 ギャラリー
一 293

SINGULAR DIALOG-
UES ボクデス(小
浜正寛)

鈴木 真子 STUDIO
VOICE 399

欧文書体のつくりか
た 第2回~第7回

小林 章 デザイン
の現場 163~168

特集 文字のつくり
かた「文字のつくり
かた」講座 欧文
編 小林章

〃 〃 165

特輯 幕末維新期の
絵画一狩野派を中心
に 図版3 小林永
濯筆 菅原道真天祥
山祈禱図

古田 亮 国 華 1370

小林かいちの美術し
おり新たに発見

生田 誠 産 経 1.23

技法の現場から12
制作の現場から 彫
って摺る、ただそれ
だけのことです。

小林 敬生 連盟ニュー
ース 432

構図のはなし5 独
自の目で周囲を切り
とる一人のいない風
景[小林古径]

和田 宏子 趣味の水
墨画 245

美の美 名作に開く
花—近代日本画の粋
2[小林古径]

宝玉 正彦 日 経 3.8

「廃墟写真」まねされ
た 写真家が提訴
[小林伸一郎]

〃 読 売 1.10

ネオテニー・ジャパ
ン—高橋コレクション
作家10選 1
小林孝亘

〃 産 経 6.1

作家通信 水墨画を
引き継ぐ子供たち

小林 東雲 趣味の水
墨画 239

美術学部教員展図録
油画

小林 英樹 愛知県立
芸術大学
紀要 38

ファン・ゴッホ、遠
景の表現

〃 〃 〃

挿絵の生涯 小林秀
恒「怪人二十面相」
で注目集めた天逝の
夫を振り返る

小林 文枝 日 経 3.3

写眼 空、海、砂…
自然の表情 小林弘
依「大地の響き」(平
成21年)

堀 晃和 産 経 11.28

テロの傷 書で癒す
折 笑 NYで80点
[小林芙蓉]

小倉 孝保 毎 日 9.11

コミックガイド 青
春少年マガジン1978
—1983 小林まこと
[作]

南 信長 朝 日 1.11

小林まことさんが新
境地 初の時代劇漫
画「関の弥太っぺ」刊
行「キャリア30年
の集大成」

戸津井康之 産 経 10.5

マンガ50年 ラブコ
メの風4 読者吸い
上げヤング誌成長
[小林まこと]

佐藤 憲一 読 売 10.9

アート・ビジョン
VOL. 8 小林正人
展—この星の絵の具
対談 小林正人×澤
原一志

渡辺 浩美 高梁市成
羽美術館
だより 26

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ル プロダクト編
小林幹也

猪飼 尚司 デザイン
の現場 163

日本の森林再生へ
more trees 清水慶
太+熊谷有記+小林
幹也

杉江 あこ 〃 165

Osamu's Invitation
24 低山をゆく[小
林泰彦]

原田 治 芸術新潮 717

巻頭特集 人気画家
が教えます おすすめ
画材この逸品
BEST50&⑥テクニ
ックつき Part 1
水性画材編 1 水性
ミュー・グラウンド
小林裕児

〃 美術の窓 306

点鬼簿の作家像スケ
ッチ帳 その15 小
林和作・霞村・「槿
花一朝の栄」

林 紀一郎 新美術新
聞 1190

REVIEWS 「カメラ
ばあちゃん」の遺し
たもの

小原 真史 美術手帖 919

ニッポン人・脈・記
前衛バカ伝説8 炎
の志伝えるプレス機
[駒井哲郎]

田中 三蔵 朝日夕刊 3.30

中特集 風景 v.s. 光景 小松洋子	高山 淳	美術の窓	309
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 15 そして犬は走っ てゆきます[五味太 郎]	林家木久扇	太陽(別冊)	164
ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもた ち 絵本作家・五味 太郎さん「縁あれ ば、作品が声を掛け てくる」	山内 健	朝日夕刊	5.8
エッセイ・展評 初 めてのひとり展	小緑 淳子	美術運動	136
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART1 アーティストの生き る道 名和晃平	名和 晃平 小牟田悠介 インタビュー 小吹 隆文	美術手帖	928
装幀本談義 恩地孝 四郎装『烟れる田園』 ・小村雪岱『月光集』	山田 俊幸	一寸	40
連載 小山登美夫の 見た、訊いた、買っ た lesson 5 小村 雪岱を ギャラリー 紅屋で	小山登美夫	芸術新潮	716
特集 小村雪岱 た おやかな女性美と江 戸情緒		版画芸術	146
Editor's Eye 現代 にのみがえる小村 雪岱	松山 龍雄		
小村雪岱の版画と 装幀	山田 俊幸		
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、 日本美術を楽しく学 ぶ! 一夜漬け日本 美術史 これから来 る、注目アーティスト を見逃すな! VOL. 04 小村雪岱	編 集 部	美術手帖	922
美術家の戦争体験 (2) 私の戦時体験	小室 寛	美術運動	136
今また写真が面白い。	古茂田不二	えひめ視 覚文化の 会通信	2
小森忍先生と父・小 倉千尋のこと	小倉 尋富	陶 説	678
生誕120年記念「小森 忍一日陶芸の幕開 け」展について	矢島 律子	" "	" "
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アर्टイ スト44	小森 隼人	美術の窓	309

ACP Artists×Critics CRITIC 7 そこにあ る存在感「ココロ ノカビ」小森谷薫作 品	富澤たかみ	CLOSET	2
アンケートに答えて おもうこと	小山 勇	自由美術	2009
週刊コミックジャッ ク「宇宙兄弟」火 星旅行に適した素質 [小山宙哉]	名越 康文	朝日夕刊	3.11
作品 今義典 川口 のあけみ、独りゾン ビ	今 義典	札幌大谷 大学紀要*	39
特集 これからの本 のつくりかた デイ ター・ロートのア ーティストブック	近藤 一弥	デザインの 現場	167
Special Exhibition ベルリン+東京交流 展 折本立身[近藤 昌美]		ギャラリ ー*	292
三保谷硝子店—101 年目の試作展 イン テリア・アーキテク ト近藤康夫 新しい デザインの開発に尽 力する、職人を超え た職人	近藤 康夫	A X I S	142
特集 続・絵画を読 み解く—文学との融 合 中古・中世の絵 と文学の融合「お 伽草子の時代」を描 く漫画家 近藤よう こ	高遠奈緒美	国文学解 釈と鑑賞	936
コミックガイド つ つきはまた明日1 紺野キタ[作]	南 信長	朝 日	3.22
クリエイターズワー ク&ソウル 紺野弘 通		A X I S	139
(サ)			
日本漫画家協会賞大 賞 西岸良平さん受 賞	堀 晃和	産 経	6.22
孤月作品の落款をめ ぐる一試論[西郷孤 月]	澁田見 彰	エクラン 松本市美 術館紀要	1
探訪 日本画家斎藤 彰男先生を訪ねて 慈愛にみちた自然へ の眼差しを絵筆に託 す		游 美	61
作家訪問390 刀装 具職人 斎藤明徳さ ん	編 集 部	目の眼	392
特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、 遊びたいおもちゃ200 TOY BOX ドール	斎藤 亜弓	STUDIO VOICE	397

研究部 新人画会と 今 松本竣介におけ る絵画と技法の変遷	斎藤 國靖	自由美術	2009	
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家 が語る岸田劉生の魅 力 人物画の筆触	"	美術の窓	308	
青春プレイバック 齋藤香坡 横浜市港 北区自宅かたわらの 鶴見川河畔	宗像 克元	新美術新 聞	1174	
日々好日 ルーヴル 美術館で朝食を	斎藤 吾朗	"	1175	
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレク ション 遙玄水墨画 協会 齋藤澄子	武田 厚	美術の窓	313	
作家通信 我が山河、 個展のことなど	齋藤 隆	趣味の水 墨画	241	
マンガ50年 劇画魂 2 プロ根性「邪道」 を王道に[さいとう・ たかを]	石田 汗太	読 売	6.3	
齋藤千明 ヒトのカ タチ、装い、交差す る視点	岩坪 文子	版画芸術	143	
特集 Mizúについて ミズ氏へのラブレタ ー	斎藤 昇	自由美術	2009	
視点 東芝病院「パ サージュ展」	齋藤 典久	美術の窓	309	
秋元康流“アートの すすめ” 第4回ゲ スト サイトウ・マ コト	山内 宏泰	美術手帖	917	
表面上の美しさはい らない 顔観察 美 術家サイトウマコト さん		朝日夕刊	1.22	
特集 検証「批判的 工学主義」—BUILD- ING Kから考える II インタビュー2 エンジニアリングに ついて議論するプロ セスを「アーキニ アリング・デザイン」 から「批判的工学主 義」を見る	斎藤 公男 藤村 龍至、 大野 博史、 鈴木 悠子 聞き手	建築雑誌	1591	
建築みやげ・建築グ ッズ アルペロベッ ロのトゥルッリ	斎藤 公男	"	1596	
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	齋藤ゆりあ	美術の窓	309	

日々好日 私と江澤 館	斎藤 良夫	新美術新 聞	1190	
例会・研究発表要旨 東部会 平成二一年 度第一回例会 斎藤 与里(塩原錦秋)にお ける南画的表現	宇野 仁美	美 学	235	
ダンディで饗饌とし た品川工先生の思い 出	サイトウ良	新美術新 聞	1201	
PREVIEW 画業45 年 サイトウ良展	小森佳代子	美術の窓	314	
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! サイトオビ ン	刃刀 知子	"	307	
特集 若冲〈動植 綵絵〉・モザイク画 ・〈象と鯨図屏風〉… 永遠に新しい絵師の すべて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選 ぶこの一点〈芭蕉 叭々鳥図襖絵〉 佐 伯洋江選	佐伯 洋江	ユリイカ	574	
テークオフ 美術家 佐伯洋江さん シャ ーペンが導く豊かな 世界	西田 健作	朝日夕刊	7.9	
美味珍膳4、8 佐 伯祐三作品中の文字 群について、(2)	石原 太流	書 道 界	230、233	
野獣派どう受け止め たか「佐伯祐三と フランス」展に見る 日本の美、具象に結 実	古賀 太	朝日夕刊	2.18	
情熱的な軌跡 浮き 彫り「佐伯祐三と フランス」展	宝玉 正彦	日 経	1.7	
FEATURE アニメー ション界で活躍する 卒業生	野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治 吉田 昇 平原さやか 山本 沙代	た ま び	52	
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 25 ロンバーちゃん とふうせん[酒井駒 子]	坂本 久恵	太陽(別冊)	164	
ワークショップ報告	酒井 正	実践女子 大学美学 美術史学	23	
彩・美・風	坂井 直樹	朝日夕刊	8.5、12、 19、26	
現代アートシーン 酒井啓之写真集		日 経	2.8	

特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーフェイアル グラフィック編集 榮良太	杉瀬 由希	デザインの現場	163	近代美術の眼 豚坂本繁二郎	保坂健二郎	読 売	7.10
特集 魅せる小型グラフィック Christmas Card Trial 3 榮良太×欧文印刷	編集部	"	168	めざましカフェ この国の「適正規模」	さかもと未明	産 経	1.21
美術学部教員展図録 陶磁	榮木 正敏	愛知県立芸術大学 紀要	38	画家たちの美術史71 佐川晃司	中井 康之	美術手帖	917
ぎやらりいモール 東京芸術大学美術館「異界の風景」から「たかげた」杉全直	坂口 寛敏	読売夕刊	10.13	点鬼簿の作家像スケッチ帳 その14 佐川敏子・コバルト照射・詩魂	林 紀一郎	新美術新聞	1187
中特集 風景とイメージ Part. 2 現代作家が描く風景とイメージ 坂口富貴子	高山 淳	美術の窓	310	マンガの国の「衣食住」「ちびまる子ちゃん」の中の70年代 社交場だった駄菓子屋「さくらももこ」	竹内オサム	毎 日	6.27
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 今、九州が面白い! 九州デザインをリードする若手6組 坂下和長	石田 純子	デザインの現場	163	のる チンチン電車 で京の秋を楽しむ	櫻井 寛	芸術新潮	719
生誕120年 国吉康雄と坂田一男	妹尾 克己	岡山県立美術館 ニュース	86	カラーイメージング コンテスト 写真表現は新たなステージへ[櫻井裕子]	田中由紀子	美術手帖	927
21世紀芸術研究所— 3 Key Words Research— 阪本トクロウ		ギャラリー一*	296	特集 アートな花が咲くところ 札幌美術展真冬の花畑 アトリエ探訪03 アンティーク家具に囲まれた妖しい色彩の迷宮 櫻井マチ子		L u r e	90
第1回絹谷幸二賞贈呈式行われる 具象絵画の有望新人発掘の期待になう 受賞は福永大介氏(27歳)と坂本夏子氏(25歳)		新美術新聞	1182	Interview with the Brilliant Students 受賞学生インタビュー 第2回	櫻井 稔	芸大通信	19
第1回絹谷幸二賞奨励賞 名古屋市長、愛知県立芸術大学大学院生 坂本夏子さん	岸 桂子	毎 日	3.8	特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 櫻井康弘 清潔なエロティシズム	栗田 玲子	ギャラリー一*	292
若い人たちの力に 絹谷幸二賞贈呈式 受賞の福永さんと坂本さんがあいさつ 絵を中心にする勇氣にしたい	岸 桂子	毎日夕刊	3.19	コミック 変身 桜巻バーゲン(作) フランツ・カフカ(原作) おかしな現実 コメディーに	ササキバラ・ゴウ	朝 日	9.20
第2回絹谷幸二賞 来年2月に発表 第1回受賞の福永さん コツコツ描き続けた 奨励賞坂本さん 頑張っていく元氣も かった	岸 桂子	"	12.15	特集 プロジェクト・レポート—次なるキーワードを探せ 迫慶一郎の「春風日中友好小学校」— 仮設建築から恒久建築の実現へ	神吉 弘邦	A X I S	140
研究報告 坂本繁二郎と禅のテキスト	貝塚 健	ブリヂストン・石橋美術館 報*	57	ひと 四川大地震で倒壊した小学校再建を呼びかける建築家 迫慶一郎さん	市川 速水	朝 日	5.8
				作家通信 水墨画普及振興の一助に	笹川 春舂	趣味の水 墨画	245
				素材を手の内に 螺鈿—黒田辰秋「螺鈿 亥字香盒」 佐々木英「蒔絵彩切貝短冊 箱 尾瀬の朝」	木田 拓也	淡 交	784

SV ART PHOTO GALLERY 佐々木 加奈子	山内 宏泰	STUDIO VOICE	399		
惜別 写真家 佐々 木崑さん 生き物に 迫るやさしい目	佐々木正紀	朝日夕刊	6.20		
作品研究 皇居宮殿 の《瑞鳥》[佐々木象 堂]	木田 拓也	現代の眼	577		
マンガの国の「衣食 住」「動物のお医者 さん」と専門知識 楽しく好奇心刺激 [佐々木倫子]	竹内オサム	毎 日	3.21		
アンケートに答えて '60-'70・私の作品	佐々木正芳	自由美術	2009		
ニッポン人・脈・記 反逆の時を生きて4 ゴールデン街そこに 私も[佐々木美智子]	臼井 敏男	朝日夕刊	6.24		
青春プレイバック 佐々木豊 運命が交 差して火花が散った 瞬間	高岡 忠雄	新美術新 聞	1180		
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 デッサン・スケッチ 用画材編 1 デッサ ン・スケッチ 芯鉛 筆 佐々木豊				美術の窓	306
座談会 アンケート 「作品の収納と管理 について」を終えて	入江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 中林 忠良、 海老塚耕一、 吉野 毅、 大成 浩 司会	連盟ニュ ース	432		
作家訪問387 染織 家 佐々木律子さん	編 集 部	目の眼	389		
日々好日 芸術は経 済不況を救済できる か	佐々木良三	新美術新 聞	1187		
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 油性画材編 5 油性 フレイクホワイト No. 1 佐々木良三				美術の窓	306
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 51 はだかのカエル とはだかのライオン [ささめやゆき]	蜂飼 耳 太陽(別冊)		164		
巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 日本画・水墨画用画 材編 7 日本画・水 墨画 アートグルー 笹本正明					
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 佐治琴	佐治 琴	"	307		
コミック さよなら 群青1 さそうあき ら(作) 無人島育ち の少年 恋を知る	山脇 麻生 朝 日		10.4		
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 貞廣英明	編 集 部	美術の窓	307		
INFORMATION VOICE アーティスト からの発言 初作 品集『はつ恋』に思 うこと。	佐藤 充	美術手帖	925		
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.1 徹底分析! 劉生の技 法 劉生の技法分析 油彩編 生きること の実現としての劉生 絵画	佐藤 一郎	美術の窓	308		
中特集 風景 v.s. 光景 佐藤榮美子	高山 淳	"	309		
特集 プロジェクト ・レポート—次なる キーワードを探せ nendoの「361°(イ チド)」—日本のも のづくりの現場を緩 やかに繋ぐ試み[佐 藤オオキ]	土田 貴宏	A X I S	140		
特集 文字のつくり かた 対談 祖父江 慎×佐藤可士和 文 字における「超整理 系」と「だいたい系」	大城 譲司	デザインの 現場	165		
革新的アーティスト 十選 1~10	佐藤可士和	日 経		5.6,8, 11,12, 14,15, 18,19, 21,22	
読書日記	"	日経夕刊			
1 「うさこちゃ ん」シリーズ グ ラフィックデザイ ンの原点				3.4	
2 『男の作法、 大人の嗜み』言 葉がつむぐイメー ジ力知る				3.11	

3 『バカの壁』 「個性を追求」答え 見つかる				3. 18
4 『谷内六郎展 覧会』 郷愁呼び 起こす普遍の力				3. 25
毎日がアイデアの源 アートディレクター 佐藤可士和さん	横森 萌々太 高橋 叶 吉武 彰子 加藤 あず佐	読売夕刊		6. 6
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	さとうかよ	美術の窓		309
Art Chat Studio 2 佐藤杏子×真鍋武	佐藤 杏子、 真鍋 武 談	ギャラリー 一*		286
相馬市歴史民俗資料 館所蔵作品にみる佐 藤玄々の造形的特質	宮坂 慎司	芸術学研 究(筑波)		13
リレーエッセイ 美 について—新しいつ て何?—	佐藤 晃一	た ま び		52
月刊ネット時評 ある 漫画家の宣言 背景 に「ウェブ雑誌」の 難しさも[佐藤秀峰]	宇野 常寛	毎夕刊		4. 22
BOOK REVIEW 『パーゼルへの道』へ ルムート・シュミッ ト編著	佐藤 淳	瓜生通信		48
特集 新景観 IV ドボク・エンタテイ メント	佐藤 淳一	建築雑誌		1584
3—ダムと水門 巨大色面としての 水門				
4—ドボク・エン タテイメントの勃 興 ドボク・エン タテイメント・イン ヴェンション				
この人 日本写真協 会新人賞を受賞 佐 藤信太郎さん	岩川 洋成	東 京		5. 29
特集 アートな花が 咲くところ 札幌美 術展真冬の花畑 ア トリエ探訪01 母と 桜とパステルと優し い情熱が同居するア トリエ 佐藤泰子		L u r e		90
日々好日 散歩とス ケッチ	佐藤 泰生	新美術新 聞		1188
新春スペシャル企画 画家の年賀状・丑 佐藤泰生	"	美術の窓		304
PREVIEW どこへ ゆくのか、飄々と [佐藤泰生]	原田 光	"		"

没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家 が語る岸田劉生の魅 力 麗子弾絃図	佐藤 泰生	"		308
中特集 作家の原点 佐藤泰生	高山 淳	"		"
座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野ルミ、 山本 貞 談 吹田 文明 司会	連盟ニュー ース		430
特集 ニューコンセ プト・ジャパン・ス タイル 気配のある 方向へ点を打ってい く 佐藤卓インタビ ュー	山本 玲子	A X I S		137
特集 プロジェクト ・レポート—次なる キーワードを探せ 佐藤卓とひたちなか 市商工会議所の「ほ しいも学校」—“知 る”ことから、新た な“関わり”が生まれ る	高橋 美礼	"		140
特集 クリエイティ ブ・トークセッション 福岡伸一&佐藤 卓 動的平衡から学 ぶ生き方、考え方、 捉え方、そしてデザ イン	今村 玲子	"		141
デザインに精神込め る 人と物を結ぶ懸 け橋に デザイナー 佐藤卓氏 物の本質 伝える媒介に		日 経		1. 1
ラウンジ 佐藤卓さ ん 平仮名の質感彫 刻で表現	高橋 直彦	読売夕刊		2. 14
街角アート 自然が 生み出す造形美[佐 藤忠良]	星野 清一	新美術新 聞		1174
エッセイ・展評 二 人展 青木鮎美・硝 子&木炭・小池美紀	佐藤 勤	美術運動		136
大臣賞制作意図 文 部科学大臣賞「ひ ととき」	佐藤 哲	日展ニュー ース		135

特集 検証「批判的
工学主義」—BUILD-
ING K から考える
IV 多角的検証 検
証・BUILDING K
kusoを観察栽培する
時なんです

佐藤 敏宏 建築雑誌 1591

美術学部教員展図録
デザイン

佐藤 直木 愛知県立
芸術大学
紀要 38

特集 Greatest Dead
どこよりも早いゼロ
年代ソウカツ! 追
憶の00s DESIGN&
ARCHITECTURE
対談:佐藤直樹×松
本弦人

大城 諤司 STUDIO
VOICE 405

朔美さんと その8
馬喰横山

佐藤 直樹 た ま び 52
萩原 朔美

Gallery Art Composi-
tion 関和宏×佐
藤令奈×興梠優護

関 和宏、
佐藤 令奈、
興梠 優護
art _ icle 22

みんなのマンガ学
金田一少年の事件簿
本格推理展開、時代
築く[さとうふみや]

表 智之 朝日夕刊 10.21

新・アートの英語
1〜12

佐藤 実 ギャラリ
ー 285〜296

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
佐藤好彦 血の通う
「アート・エンジニア
リング」

池内 務 談 " 292

筆くわえ 夢や葛藤
描く 手足不自由な
青森・佐藤さん 激
痛で個展休止[いつ
か子供と2人展][佐
藤涼]

矢澤 秀範 毎 日 11.29

特集 ULTIMATE
TOY BOX! いま、
遊びたいおもちゃ
200 TOY TOPICS
私を虜にした一品

佐藤 玲 STUDIO
VOICE 397

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本

太陽(別冊) 164

03 ばばあさん
のおもちつき[さ
とうわきこ]

小泉 和子

28 おおガラス

さとうわき
こ

阿修羅と私

里中満智子 朝日夕刊 4.15

金曜討論 “アニメ
の殿堂”は必要か
収集や発信は国の仕
事[里中満智子]

堀 晃和 産 経 7.17

秋元康流“アートの
すすめ”第15回ゲ
スト 篠田麻里子
[佐内正史]

山内 宏泰 美術手帖 931

佐野昭の彫刻—白馬
会の彫刻をめぐって

吉田 朝子 近代画説 18

特集 文字のつくり
かた 2016年、東京
での開催を目指して
オリンピックロゴ、
勝手につくっちゃい
ました。

デザイン
の現場 165

佐野研二郎

佐野研二郎
談

僕のロゴのつくり
かた。

佐野研二郎

視線 佐野繁次郎装
幀集成

北澤 憲昭 朝 日 1.11

THE ハブスブルク
会話聞こえそう

佐野 めい 読 売 10.30

特集 若き天才を見
逃すな! 新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ
注目の新人アーティ
スト44

佐野 紀満 美術の窓 309

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 佐野未知

編 集 部 " 307

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
13 ねえとうさん
[佐野洋子]

嵐山光三郎 太陽(別冊) 164

特集 国際化時代の
建築教育システムへ
VI 世界の動向と日
本 すべての建築家
が共有すべきもの

佐野 吉彦 建築雑誌 1588

子どもと美術48 街
を重ねてみよう[佐
原和人]

藤田 千彩 美術手帖 921

会記づくりの楽しみ
2

佐村 憲一 淡 交 782

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
鮫島大輔 平面、立
体、インスタレーシ
ョンの境界をクロス
オーバー

藤井 万博 ギャラリ
ー 292

特集 若き天才を見
逃すな! 新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ
注目の新人アーティ
スト44

沙 来 美術の窓 309

女子美の絵いっぱい
運動について

澤岡 泰子 連盟ニュ
ース 431

わたしの宝もの52
自作のスケッチ用鉛
筆補助軸

澤田 志功 新美術新
聞 1196

港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 澤田知子		美術手帖	929	
すごいぞ日本 ファ イル XIII 「私」パワ ー	宮田 一雄	産 経		
1 ティアラはな ぜ輝くのか[澤田 知子]			2.20	
5 人は何に支え られるのか[澤田 知子]			2.24	
写眼 曖昧でいとお しい距離 沢渡朔 「Kinky」	三品 貴志	〃	12.26	
追悼文 沢村美佐子 さんを偲んで	馬越 陽子	連盟ニュ ース	429	
アートフェア東京 2009 ZAnPon	斉藤 博美	art_icle	17	
制作ノート 三本松 淳	三本松 淳	武蔵野美 術大学研 究紀要	39	
(シ)				
Pick-up C-DEPOT Exhibition 2009		ギャラリー 一*	291	
建築家の自邸評価… …梅沢良三(設計: 椎名英三)	脇坂 圭一	建築雑誌	1597	
特集 インテリアを 語る IV 私が推薦 する若手建築家2 領域をこじ開けるチ カラ、への期待[GE- NETO]	新川 博己	〃	1591	
岩絵具、中国に里帰 り 日本画学んだ留 学生、敦煌模写や「岩 彩画」で活躍	潮江 宏三	日 経	5.8	
特集 記憶のアート ／消滅のアート 塩 田千春 「声になら ない声」との対峙	飯田志保子	ART iT	23	
2009年はこのアー ティストに注目! 塩 田千春 家の記憶		美術手帖	926	
現代美術の歩き方 今月の一品 塩田千 春 不在との対話	編 集 部	美術の窓	310	
視点 記憶の窓、ト ラウマの海へ[塩田 千春]	岡部あおみ	〃	〃	
現代美術の歩き方 今月の一品 塩田千 春 流れる水	〃	〃	313	

「命の水」が流れると き 発電所美術館と 塩田千春	河尻 定 日 経	6.11		
作家通信 あくなき 挑戦	潮見 冲天	趣味の水 墨画	243	
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 潮見冲天	中野 中	美術の窓	313	
中特集 ベストセレ クション 鹿野洋子	高山 淳	〃	312	
街 鹿見喜陌		石川県立 美術館だ より	304	
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファ イル グラフィック編 重松淳也	深沢 慶太	デザインの 現場	163	
交遊抄 アラ還の恋 文[紫舟]	中島健治郎	日 経	6.26	
人・模・様 路上写 真家が海外で初個展 [シトウレイ]	大前 仁	毎日夕刊	11.28	
ダンディで矍鑠とし た品川工先生の思い 出	サイトウ良	新美術新 聞	1201	
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代 「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ート	篠崎 真紀	STUDIO VOICE	400	
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 篠崎美保子	高山 淳	美術の窓	307	
受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	篠田 義一	陶 説	670	
視線 ドン・キホー テの世界をゆく 篠 田有史・写真/工藤 律子・文	サエキけん ぞう	朝 日	9.13	
巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ	篠原 愛	美術の窓	311	
グラビアと作家の コメントでみる美 しい女性たち 篠 原愛				
グラビア&インタ ビュー 篠原愛に 聞く10の質問 Q& A				

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニクつき 篠原有司男「蛍光塗料」メデイウム、液体プラスチックに混ぜ合わせる		〃	306	視線 MAGIC 篠山紀信 at 東京ディズニーリゾート 篠山紀信著	サエキけんぞう	朝 日	3.22
ニッポン人・脈・記前衛バカ伝説5 殴る走るナンセンス [篠原有司男]	田中 三蔵	朝日夕刊	3.25	深層新層 写真表現に黄信号 篠山紀信氏事務所捜索 撮影行為を「わいせつ」	西田 健作	朝日夕刊	12.3
彩・美・風 ギューちゃんは永遠である [篠原有司男]	四方田犬彦	〃	5.27	『MAGIC』篠山紀信写真		産 経	2.22
交遊抄 モヒカン頭 [篠原有司男]	張替 眞宏	日 経	4.11	篠山紀信氏写真集 公然わいせつ容疑 表現の萎縮を反映/路上写真の危機 写真評論家飯沢耕太郎さんに聞く	篠原 知存	〃	11.18
篠原有司男「ヘラクレレスを押し倒す聖牛」		読 売	1.8	大物狙い萎縮促す? 篠山紀信氏ヌード作品に当局のメス 撮影から1年以上「表現の事前規制だ」	大野 孝志	東 京	11.19
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 四宮敏行	高山 淳	美術の窓	307	MAGIC 篠山紀信撮影		日 経	2.15
特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代「スタジオ・ボイス」400号アンケート	篠山 紀信	STUDIO VOICE	400	ヌードを撮って半世紀 制約との闘い、面白さ生む 写真家篠山紀信さん	富田 律之 聞き手	日経夕刊	5.27
SPECIAL FEATURE 篠山紀信 NUDE		美術手帖	920	語る 篠山紀信さん半世紀の軌跡まとめた大型写真集『NUDE by KISHIN』刊行 時代を体現した生命の礼賛	高橋 咲子	毎 日	5.21
篠山紀信インタビュー	篠山 紀信 談 斎藤 環 聞き手			ヌード写真集『NUDE by KISHIN』篠山紀信さん4月に刊行 50年間、時代に伴走 ギリギリのところまで撮ってきた	佐藤 由紀	毎日夕刊	2.4
「TDL」の「ヘアヌード」	斎藤 環			ヌードの観念揺るがす 篠山紀信さん重量級写真集 50年分の作品一気に	前田 恭二	読 売	4.16
SHINOYAMA KISHIN 撮影現場潜入記	Kaon Ho			篠山紀信 at 東京ディズニーリゾート MAGIC	(前)	〃	5.24
TALK 1 撮影対決! 篠山紀信×会田誠with明日花キララ	山内 宏泰			作家通信 第五回日中交流水墨画公募展に思う	芝 龍郎	趣味の水 墨画	238
TALK 2 新・決闘写真論! 篠山紀信×杉本博司	後藤 繁雄			美術学部教員展図録デザイン	柴崎 幸次	愛知県立 芸術大学 紀要	38
篠山紀信論 イメージによるクラスター爆弾 終着の浜辺で、そのとき写真は…	榎木 野衣			巡回展報告 名古屋展	柴田かよ子	主体美術	85
MAGAZINE MIX 「グラビアン魂」BT出張版 みうらじゅん×リリー・フランキー	新川 貴詩			新春スペシャル企画 画家の年賀状・丑	柴田賢治郎	美術の窓	304
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術『NUDE by KISHIN』ポップ・フォト写真の破裂	清水 穰	美術の窓	311	美の美 柴田是真一 漆芸の魔術師	小川 敦生	日 経	11.8

— 250 —

中特集 巨匠展—今そして未来2009— 出品作家インタビュー	島田 章三	〃	308	南條史生&清水朝子、 キャノン写真新世紀 を振り返る	南條 史生、 清水 朝子 談	〃	〃
会いたい キン肉マン 友情一筋30年 漫画家 嶋田隆司さん	加藤 聖大 木下倫太郎 瀧宮瑛里子	読売夕刊	3.7	清水朝子&宇宿允人 芸術家とは時間という 次元を飛び越える。	清水 朝子、 宇宿 允人、 編集部 談	〃	24
インスピレーション グラフィック シマ ダヒデアキによるマン ガ・グラフィック ス	深沢 慶太	A X I S	141	Close-up 清水朝子 メッセージが降り てくる瞬間があるん です。これを伝えて くださいという瞬間 が…		ギャラリー 一*	287
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 05 バムとケロのお かいもの[島田ゆか]	久保 純子	太陽(別冊)	164	日本の森林再生へ more trees 清水慶 太+熊谷有記+小林 幹也	杉江 あこ	デザインの 現場	165
Faces 24 島袋道 浩 美術星人、アラ ワル	山岸かおる	ART iT	22	家族 深遠の温かみ 振る “記録者”写真 新世代が追求[清水 コウ]	富田 律之	日経夕刊	6.22
ARTIST INTERVIEW SHIMABUKU 島袋 道浩	片岡 真実	美術手帖	919	清水志郎 薬束を磁 器溶液に浸して焼成 したら薬のまま磁化 した	柴辻 政彦	陶 説	674
港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド— そして、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 島袋道浩		〃	929	中特集 作家の原点 清水新也	切刀 知子	美術の窓	308
「島袋道浩展 美術 の星の人々へ」 わ けわからないまま他 者を思う	大西 若人	朝日夕刊	1.28	連載特集 追悼・山 岸信郎 4 わが虚無 的往還のかたわらで	清水 誠一	あいだ	157
島袋道浩 展覧会 「美術の星の人々へ」 浮き沈みある野菜	渋谷 和彦	産 経	2.13	特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代 「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ー	清水 正己	STUDIO VOICE	400
美術評 “対話”生む 予想外の展開 島袋 道浩展：美術の星の 人へ	児島やよい	東京夕刊	2.20	この本と出会った 若き日の手紙 駒井 哲郎著 芸術家の日 々に創造意欲もらう	志村 節子	産 経	6.7
アートの風 1月 ジム・ランビー展/ 島袋道浩展 際立つ デフォルメと置き換 えの妙	三田 晴夫	毎日夕刊	1.28	週刊コミックジャッ ク「青い花」ガ ールズラブの世界[志 村貴子]	藤本由香里	朝日夕刊	3.4
情報館 ワタリウム 美術館「島袋道浩展 ：美術の星の人々へ」 から「象のいる星」島 袋道浩	森 亜希子	読売夕刊	2.10	布に思うこと	志村ふくみ	たいせつ な風景	11
巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ スペシャル対談 島 村信之×榎俊幸「女 性美とは想像をかき たてるもの」	島村 信之、 榎 俊幸 談	美術の窓	311	素材を手の内に 紬 一宗廣力三「縞に丸 文どぼんこ染淡鼠地 緋着物」志村ふく み「紬織着物 月待」	今井 陽子	淡 交	781
「On her skin 清水 朝子展」自分の感 性を信じて	清水 朝子 談	art _ icle	16	惜別 下垣内登貴子 さんを偲ぶ	長尾 和	主体美術	85
				第三回星星会展を迎 えて 一下田義寛・ 竹内浩一・田淵俊夫 ・牧進一 今も生き る高山先生の心	浅木 正勝	新美術新 聞	1187
				ココロのギャラリー 華の競演 上、下 [霜島忍]		産 経	1.27、28

美の美 名作に開く 花—近代日本画の粹 4 [下村観山]	宝玉 正彦	日 経	3.22	新版 日本列島の20 億年 景観50選 写 真・白尾元理	(正)	読 売	3.15	
ココロのギャラリー 華の競演 上、下 [下村貢]		産 経	1.27、28	この1点 白髪一雄 《作品III》	Kd. K	Corridart	4	
作家通信 楽しんで 描く気持ちを大切に	下村 朱杏	趣味の水 墨画	241	絵画における新しい 下地塗料の研究—白 亜地キャンパスの走 査型電子顕微鏡によ る観察—	白河 岩崎 田中 猪狩	宗利 友敬 元偉 雅則	愛知県立 芸術大学 紀要	38
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	下山 直紀	美術の窓	309	美術と市場と地域の はざままで	白川 昌生	水声通信	29	
2009年日本建築学会 作品選奨 虎ノ門タ ワーズ[赤対清吾郎]		建築雑誌	1593	松代大本営と現代ア ート 第8回まつし ろ現代美術フェステ ィバル誌上展 白川 昌生《鳳仙花》	"	美術運動 史研究会 ニュース	106	
座談会 第61回アン デバンダン展をふり かえって	山本 良三、 稲井田勇二、 森田 隆一、 十滝 歌喜 百瀬 邦孝 司会・記録	美術運動	136	ニッポン人・脈・記 この一枚の物語 5 前人未到に命をはっ て[白川義員]	相場 郁朗	朝日夕刊	6.12	
日美ニュース —「美 術運動」誌のあり方 の検討について—	十滝 歌喜	" "	" "	美術学部教員展図録 デザイン	白木 彰	愛知県立 芸術大学 紀要	38	
特集 正阿弥勝義一 知られざる天才金工 の眼と手		目 の 眼	388	美術家の戦争体験 (2) 戦時下の画学 生	白木 博也	美術運動	136	
特集 正阿弥勝義一 知られざる天才金工 の眼と手 正阿弥勝 義・海野勝珉から起 こったアール・ヌー ヴォーへの波	村田 理如	" "	" "	作家通信 「傘寿、 弾ける私」に思う— 第37回秋田県墨絵芸 術協会展出品作に寄 せて	白澤 恵舟	趣味の水 墨画	244	
コミック 来世であ いましょう 1 小路 啓之(作) 狂騒を突 き抜けた先には	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	11.15	コミック 消え行く 少女 前・後編 白 土三平(作) 原爆問 題を率直に熱く表現	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	6.21	
企画 近ごろ巷で大 人気! 最新筆文字 事情 PART 2 大人 たちは… 書家が取 り組む商業書道[祥 洲]		墨	200	マンガの時代 白土 三平「忍者武芸帳 影 丸伝」(1959—62年)	竹内オサム	日経夕刊	9.30	
特集 古九谷の生ま れたところ 九谷の 「古九谷」を探す旅の はじまり	田嶋 正和 中矢 進一 正和 久佳 久藤 豊治 平井 義一	目 の 眼	395	「カムイ外伝」格差・ 命の再考 映画化や 連載再開[白土三平]	田中 優子	読 売	10.7	
すむ 濃厚三昧 渋谷 区立松涛美術館 [白井晟一]	平松 剛	芸術新潮	712	追憶の風景 富士山 山岳写真家 白旗史 朗 避けてもいつも 構図に入った	佐々木正紀	朝日夕刊	8.8	
特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト コールハ ースとは誰か? 不 可避な状況での楽観 主義	白井 宏昌	ユリイカ	567	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	白藤さえ子	美術の窓	309	
われ発見せり ロン ドン—契機としての 金融危機	"	"	569	しりあがり寿の勝手 にプロポーザル 第 5回〜第7回	しりあがり 寿	ART iT	22〜24	
				特集 「ワークショ ップを考える」 し りあがり寿的ワーク ショップ論	しりあがり 寿 談	aprire	16	

SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセル フ・プロデュース術 展覧会開催の道のり とは?	しりあがり 寿、 タナカカツ キ、 天久 聖一、 河井 克夫、 長尾謙一郎 佐久間 恵 構成・文	美術手帖	928
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 第2章鉛筆がわりに 墨を持て!—今すぐ 出来る水墨・実践編— しりあがり寿/ 家族でつくろう!で たらめ墨絵巻		美術の窓	313
プロセスをデザイン する私塾[城谷耕生]	田代かおる	A X I S	138
制作ノート 神彌佐 子	神 彌佐子	武蔵野美 術大学研 究紀要	39
研究ノート 戦後漆 芸史の転換期—発泡 スチロール胎乾漆オ ブジェの先駆者・新 海玉豊の試み	外館 和子	茨城県近 代美術館 だより	85
憂楽帳 100枚の油 絵[神宮和也]	永山 悦子	毎日夕刊	12.8
「自然の力でユート ピアを」造形作家新 宮さん[新宮晋]	神田 剛	朝日夕刊	5.14
Reviews: Book 都 築響—『着倒れ方丈 記』	辛酸なめ子	ART iT	22
特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、 遊びたいおもちゃ 200 TOY TOPICS 私を虜にした一品	"	STUDIO VOICE	397
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代 達人に学ぶコラ ムのエキス 泉麻人 ×辛酸なめ子	ばる ぼら 聞き手	"	400
秘宝手帖[辛酸なめ 子]	池松 江美	"	"
辛酸なめ子の今夜も ヒットパレード! 第1回~最終回	辛酸なめ子	"	401~405
SPECIAL FEATURE アートの旅へ行こう ! ART TRIP 3 辛 酸なめ子さんと行く 「マーク・ロスコ」展 セラピーの旅 辛酸 なめ子の旅日記	"	美術手帖	921
わが街わが友 1~9	"	東 京	6.3~5、 10~12、 17~19

帰りたい 私だけの ふるさと 埼玉県浦 和市(現さいたま市) テンション上がるお しゃれな美術館	辛酸なめ子 鈴木 梢 聞き手	毎日夕刊	11.12
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 30 もったいないば あさん[真珠まりこ]	ケロボンズ	太陽(別冊)	164
第56回日本伝統工芸 展 陶芸 作品に込 められた「今の時代」 朝日新聞社賞 堆磁 鉢 神濃巖	竹内 順一	朝日夕刊	9.24

(ス)

美術学部教員展図録 デザイン	水津 功	愛知県立 芸術大学 紀要	38
invitation book 闊 う少女マンガの努力 ・友情・勝利[末次 由紀]	橋本 麻里	芸術新潮	714
週刊コミックジャッ ク 「ちはやふる」 まっすぐさと情熱 [末次由紀]	藤本由香里	朝日夕刊	1.14
人・模・様 書に吹 き込む現代の命[末 廣博子]	上杉 恵子	毎日夕刊	10.31
連載特集 追悼・山 岸信郎 8 「山岸さ んは、」	菅 木志雄	あいだ	159
アート・トピックス Book Design 菅木 志雄が著作、制作し た『樹下草怨』。特装 本はアート作品が一 体となった芸術品!		ギャラリー 一*	286
Art Chat Studio 7 菅木志雄×室井俊二 (前・後編)	菅 木志雄、 室井 俊二 談	"	293、294
INFORMATION 菅 木志雄が本格ミステ リー小説刊行! 作 品がセットになった 特製版を限定販売	栗田 大輔	美術手帖	918
INFORMATION EVENT 菅木志雄 の庭づくり 開かれ た庭—観者の意識を アクティヴエイトす る	編 集 部	"	930
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その16 菅 創吉・牡丹江・満州 帰り	林 紀一郎	新美術新 聞	1192
特集 記憶の中の画 家 IV 菅創吉・無 言劇の美	森崎 秋雄	文化往来 美の風	4

SV ART PHOTO GALLERY 菅井健也	編 集 部	STUDIO VOICE	404
芸術×モノ作りの粋 情熱結集の作品 仏 ミレー記念展へ[菅 野敬一]	水越 直哉	東 京	6.12
人と墨9 菅原さち よ 素材と呼応して 変化する墨の魅力		趣味の水 墨画	238
菅原健彦展—水墨の 光と風—	千葉真智子	アルカデ イア	41
人と墨14 菅原健彦 宗達に挑んだ《雲龍 図》《雷龍図》		趣味の水 墨画	246
街角アート 知られ ざる傑作[菅原安男]	星野 清一	新美術新 聞	1202
アトリエ雑感 モチ ーフと私	菅原 陽子	主体美術	85
視線 壁の本 杉浦 貴美子著	北澤 憲昭	朝 日	9.27
「壁」からのぞく世界 杉浦貴美子さん異色 の写真集	海老沢 類	産 経	10.12
雑誌と文字の散歩道 6 [杉浦康平]	臼田 捷治	墨	200
喪友記 福田繁雄さ んを悼む あふれで る遊び心	杉浦 康平	日 経	1.20
文字の力を活用しよ う メール顔文字 も新鮮[杉浦康平]	小川 敦生 聞き手	日経夕刊	2.4
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 21 チリとチリリ	杉浦さやか	太陽(別冊)	164
みんなのマンガ学 杉浦茂ニコニコ大会 痛快明快レトロ・モ ダン	倉持佳代子	朝日夕刊	4.22
日本人とこころ 杉 浦茂と奔放 上、下 ヒト	三品 貴志	産 経	8.2、9
		建築雑誌	
石上純也氏	杉浦 久子 聞き手 のかたあき こ 文		1586
飯島直樹氏—J C Dデザインアワード を語る	杉浦 久子 聞き手 平塚 桂 文	"	1591
森田一義(タモリ) 氏—都市の地形を 豊かに読み解く感 性	南 泰裕、 杉浦 久子、 芝田 義治 聞き手 平塚 桂 文	"	1595
平田晃久—大きな 理論から、建築の 未来を生成する	杉浦 久子 聞き手 平塚 桂 構成	"	1597
特集 インテリアを 語る I 解題	杉浦 久子	"	1591

特集 インテリアを
語る II インテリ
アデザインとその手
法

1 森田恭通は本
当に“ヤンキーバ
ロック”なのか?

森田 恭通、
五十嵐太郎、
杉浦 久子、
入江 徹 談
平塚 桂 文

2 建築家に見る
倉俣史朗、杉本
貴志との共通点

橋本夕紀夫
杉浦 久子
聞き手
澤田 忍 文

3 Design in ac-
tion のデザイン

グエナエル
・ニコラ
杉浦 久子
聞き手
澤田 忍 文

4 コミュニケー
ションの可能性を
広げる空間デザイ
ン

李 明喜
杉浦 久子
聞き手
平塚 桂 文

特集 東京新地形論
VI まとめ 東京新
地形論をとおして見
えた「東京」

杉浦 久子 " 1595

特集 アルフォンス
・ミュシャ—没後七
〇年記念特集 光は
東方から、そして東
方へ ミュシャから
杉浦非水へ

金子 賢治 ユリイカ 570

プロムナード 杉浦
非水ふたたび

海野 弘 日経夕刊 12.17

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
杉浦誠「鳥の視点」
は木塊に大地を創り
出す

山田 聖子 ギャラ
談 ー* 292

「ルモンタージュ」杉
浦正和著

日 経 9.13

美の履歴書127 な
ぜカラリとなるのか
「たかげた」 杉全直

大西 若人 朝日夕刊 10.14

ぎやらりいモール
東京芸術大学大学美
術館「異界の風景」か
ら「たかげた」杉全直

坂口 寛敏 読売夕刊 10.13

サタデー発言 リト
アニアとの美術交流

杉本 尚隆 東 京 8.29

特集 日本発、ヴェ
ネツィアへ! 安藤
忠雄×杉本博司 対
談:もうひとつの世
界をつくる—理想の
美術館建築とは?

安藤 忠雄
杉本 博司 ART iT 24

起源の写真、その現
像としての事物—
『杉本博司 歴史の
歴史』によせて—

前川 修 国立国際
美術館ニ
ュース 171

「歴史の歴史」の始まりに立ち会って[杉本博司]	児島やよい	"	"	記者ノート 表具にも独特さ「収集家」杉本博司	前田 恭二	"	3.16
「杉本博司 歴史の歴史」展のために	中西 博之	"	"	永井潔さん追悼 哲学的人間・永井潔さんが遺したもの	杉本 博	美術運動	136
第21回高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者決まる 絵画部門として日本の写真家・杉本博司氏が受賞! リチャード・ロング氏(彫刻)・ザハ・ハディド氏(建築)ら5氏		新美術新聞	1197	作品 象・装う	杉本 昌裕	跡見学園女子大学人文学フォーラム	7
SPECIAL FEATURE 篠山紀信 NUDE TALK 2 新・決闘写真論! 篠山紀信×杉本博司	後藤 繁雄	美術手帖	920	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 杉山吉伸	高山 淳	美術の窓	307
REVIEWS02 終わらない歴史[杉本博司]	清水 穰	"	"	特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代「スタジオ・ボイス」400号アンケート	スケートシング	STUDIO VOICE	400
INFORMATION MUSEUM 静岡に新美術館 杉本博司設計の「IZU PHOTO MUSEUM」誕生	編集部	"	931	北海道主要樹木図譜名もなき画工の仕事[須崎忠助]	郷原 信之	日 経	11.12
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 杉本博司氏ディレクションによる大原美術館・有隣荘の新しい展開	柳沢 秀行	美術の窓	309	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 〈特別企画〉2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 鈴木安佐子	中野 中	美術の窓	313
「杉本博司 歴史の歴史」展 機略に満ちた「痕跡の美」	大西 若人	朝日夕刊	3.4	受賞作家アンケートー「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」ー	鈴木 藏	陶 説	670
第21回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔 あくなく表現への挑戦 時超えた写真の可能性 絵画部門 杉本博司		産 経	9.25	土曜訪問 現代の志野を焼いて50年 鈴木藏さん(陶芸作家)	森村 陽子	東京夕刊	1.24
話の肖像画 時を撮る 世界文化賞受賞写真家杉本博司 上、中、下	海老沢 類	"	9.29~10.1	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 鈴木勝之	高山 淳	美術の窓	307
写眼 カメラもレンズもない写真 杉本博司「放電場 119」(2009年)	篠原 知存	"	10.3	Close-up 鈴木紀和子 描きたい思いを大切に、描きたいものを描くだけ		ギャラリー一	295
世界文化賞 杉本さん盛大に祝福		"	10.25	Recommend! Diary 鈴木元の「試行錯誤」VOL. 6~11	鈴木 元	デザインの現場	163~168
世界文化賞絵画部門受賞 写真家の杉本博司さん講演「アートの起源」人間の意識の起源と同時に	磨井 慎吾	"	11.16	100人の心に響いた絵本100 国内絵本59 ガブリシ[スズキコージ]	大竹 昭子	太陽(別冊)	164
交遊抄 織細かつ大胆[杉本博司]	秋元 雄史	日 経	10.29	第14回日本絵本賞決まる	木村 葉子	毎 日	3.25
杉本博司著 現[うつつ]な像	田中 純	読 売	3.1	大賞「ブラッキンダー」スズキコージさん 心躍る極彩色の冒険			
				表現やスタイルが多様化 最終選考会 独自の持ち味期待[スズキコージ]			

特集 若冲 〈動植
綵絵〉・モザイク画
・〈象と鯨図屏風〉…
永遠に新しい絵師の
すべて カラー口絵
この若冲がすごい
現代の絵師たちが選
ぶこの一点 〈象と
鯨図屏風〉 鈴木志
保選

鈴木 志保 ユリイカ 574

[解説プログラム]二
〇〇八年のアーティ
スト・トークから

鈴木 省三 現代の眼 574

第2回アーティクル
賞グランプリ発表
グランプリ 鈴木伸
吾

鈴木 伸吾 art _ icle 18

鈴木太朗 時間とと
もに刻々とその姿を
変えていく、自然が
創り出す様々なかた
ち。それを具現化で
きるメディアアートの
魅力。

" 20

第二特集 ゼロ年代
ヴィジュアルランゲ
ージ 鈴木親

鈴木 親 談 STUDIO VOICE 405

追悼 大山忠作先生
画壇に尽くされた功
績多大

鈴木 竹柏 新美術新 1180

高島屋美術部創設百
年記念 一気・象一
鈴木竹柏展

仮谷 仁 " 1182

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 鈴木竹柏

高山 淳 美術の窓 307

PREVIEW 回顧
鈴木千久馬展 日本
的油彩を独自に熟成
—鈴木千久馬—いぶ
し銀の魅力

瀧 悌三 " 306

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 鈴木力

高山 淳 " 307

コンパス 名建築の
行く末[鈴木禎次]

(嶋) 東京夕刊 6.6

見ほれる 書の神髄
鈴木桐華遺作展—13
日から東京セントラ
ル美術館で開催

桐山 正寿 毎 日 10.3

視線 森の奥の動物
たち ロボットカメ
ラがとらえた森の精
霊たちの姿 鈴木直
樹著

村山 由佳 朝 日 10.4

巻頭特集 人気画家
が教えます おすすめ
め画材この逸品
BEST50&⑩テクニ
ックつき Part 1
デッサン・スケッチ
用画材編 5 デッサ
ン・スケッチ 木炭
ヤナギ中軸360番
鈴木望

美術の窓 306

特集 これからの本
のつくりかた エデ
イトリアルデザイナー
が語る本のこれか
ら 鈴木一誌

立古 和智 デザイン
の現場 167

工事現場の「利那」を
撮る 高速道路やビ
ルが放つエネルギー、
見えた「美」

鈴木 弘之 日 経 10.30

彫刻家の現場から56
鈴木武右衛門

武田 厚 美術の窓 315

天幕の下の人々はな
ぜ幸せそうなのか
[鈴木恂]

芸術新潮 709

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
48 鳥の巣ものがた
り[鈴木まもる]

北井 一夫 太陽(別冊) 164

羽田空港のパブリッ
クアート 空気の港
[鈴木康広]

白坂 ゆり デザイン
の現場 168

Recommend! New
Designer スズキユ
ウリ

猪飼 尚司 " 165

特集 本と旅する
World Travelogue
旅へと誘う紀行文
鼎談：鈴木理策×三
田格×幅充孝

小林 英治 STUDIO
VOICE 404

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
75 岸辺のふたり

鈴木 理策 太陽(別冊) 164

写眼 収まりきらない
“全体” 鈴木龍一
郎「リュリシーズ」
(平成20年)〈サンデ
イマウント海岸〉

三品 貴志 産 経 12.5

美の美 世阿弥の花
中 闘う生涯に深み
与えた禅 冷えたる
能に映る風の姿[須
田国太郎]

内田 洋一 日 経 10.4

eye 世界石巡礼
目指すは「古代の散
智」復興

須田 郡司 毎日夕刊 12.17

特集 春のアートフ
ェア 見逃せないこ
の画廊 この作品
古美術 《億劫屏風》
思文閣 須田剋太

ギャラリー
一 287

芸術新潮特別企画
アートフェア東京
2009出展ギャラリー
紹介 思文閣が推す
“墨の造形”須田剋太

芸術新潮 712

陶燈無尽一窯場に息
づく心と技 九谷焼

須田 菁華
[四代] 談
梶山 博史
取材・文

淡 交 774

特集「花」展 出品
作家 須田悦弘さん
インタビュー

須田 悦弘
談

Corridart 3

速水御舟 日本画を
「破壊」する エッセ
イ 御舟のリアリテ
イ

須田 悦弘

太陽(別冊) 161

ネオテニー・ジャパ
ン 高橋コレクション
作家10選 7
須田悦弘

産 経 6.9

中特集 作家の原点
須藤愛子

高山 淳

美術の窓 308

SPECIAL FEATURE
アウトローの美学
OUTLAW GUIDE
アウトロー・カルチ
ャー・ガイド 我が
アウトロー論02 須
藤昌人

須藤 昌人

美術手帖 927

仕事人 自衛隊をテ
ーマに描く画家 須
藤眞啓(58) 歴史の
局面切り取る

田中 幸美

産 経 4.19

フェイス21世紀119
砂川啓介 戦略たず
さえ、写真画壇へ挑
戦する

袴田 智彦

新美術新
聞 1174

惜別 写真家 砂守
勝巳さん 全存在か
け現場で自分凝視

佐久間文子

朝日夕刊 7.25

悼む 砂守勝巳さん
写真家 やさしい眼
の漂泊者

大島 洋

毎 日 7.15

特殊印刷加工トライ
アル 第10回 鷺見
陽、アルミ蒸着+モ
ノグラムコーティン
グに挑戦!

杉瀬 由希

デザインの
現場 163

ときの人2 東京ス
カイツリー・デザイ
ン監修 澄川喜一さ
ん 東奔西走で永遠
の60歳

新美術新
聞

1184

特集2009年末回顧
美術界100人に聞く
現代に通じる空間造
形—彫刻・澄川喜一
氏

〃

1203

視線 MY JOURNEY
TO SIBERIA シベ
リアから未来を考え
る 角田和夫著

村山 由佳

朝 日 6.7

作家訪問394 漆芸
家 酢谷喜輝さん

編集部 目の眼 396

わたしの宝もの46
伊藤晴雨のドロイー
ング

諏訪 敦 新美術新
聞 1180

内なる力を秘めたリ
アリティを求めて
磯江毅 Gustavo
ISOE リアリズム
絵画雑感

〃 美術手帖 919

巻頭特集 美しい女
性'09 エロス、輝
き、そして強さへ
グラビアと作家のコ
メントでみる美しい
女性たち 諏訪敦

〃 美術の窓 311

交遊抄 日本画とは
[諏訪直樹]

岡村桂三郎 日 経 7.18

(セ)

おやじのせなか や
りがいと楽しさを体
現[清家清]

清家 篤 篤
杉本 潔 朝 日 8.30
聞き手

清野賀子写真集「至
るところで心を集め
よ立っていよ」

(前) 読 売 10.18

特集——九〇〇年バ
リ万国博覧会出品作
(一) 三代清風興平
について(三)——九
〇〇年バリ万国博覧
会出品作をめぐる

岡本 隆志 三の丸尚
蔵館年報
・紀要 14

特集Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 瀬川明甫

切刀 知子 美術の窓 307

日々好日 ムービン
グ ストップ

瀬川富紀男 新美術新
聞 1203

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
27 ひな[瀬川康男]

木村衣有子 太陽(別冊) 164

中特集 ベストセレ
クション 関綾子

高山 淳 美術の窓 312

Gallery Art Compo
sition 関和宏×佐
藤令奈×興梠優護

関 和宏、
佐藤 令奈、
興梠 優護
談 art_icle 22

第45回主体展記念企
画 上野を語る1
東京都美術館の記憶

関 清明 主体美術 86

シリーズ・書を受す
る人へ4 関正人

墨 198

私のアートのスクール
時代 セキュリヲ

美術手帖 924

作家訪問389 陶芸
家 関川祥子さん

編集部 目の眼 391

マンガの国の「衣食
住」「ストップ!に
いちゃん」に見る「夢
のハワイ」[関谷ひさ
し]

竹内オサム 毎 日 8.29

Faces 32 SANAA 来るべき未来に向けて [妹島和世]	大西 若人	ART iT	24	日本人とところ 芹 沢銑介と無名 上、	三品 貴志	産 経	9.6、13 下
SANAA のロハスな パヴィリオンでロン ドンっ子、森林浴 [妹島和世]	伊東 豊子	芸術新潮	717	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 今、 九州が面白い! 九州 デザインをリード する若手6組 先崎 哲進	的野 裕子	デザインの 現場	163
シンポジウム報告 「いま“日本”とは? —現代を疾走する3 人に聞く—」[妹島和 世]	宮崎 克己 嶋田 華子	ジャポニ スム研究	29	千住博氏 家プロジ ェクト「石橋」母屋を 完成、公開へ ベネ ッセアートサイト直 島 “滝”に続き新た に“崖”をテーマに襖 絵14面描く		新美術新 聞	1199
The AsahiShimbun GLOBE Break- through 妹島和世 延々と模型を作りあ きらめずに迷う。 「私の使いやすさ」を 貫いて	大西 若人	朝 日	12.21	平和への祈り 貫いて 平山さん 被爆体験 が根底に あまりに 大きな存在	千住 博	産 経	12.3
「日本文化の発信」現 状は 自然体? いえ 「内向き」深刻[妹島 和世]	古賀 太	朝日夕刊	2.10	港で出会う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 善住芳枝			
ベネチア・ビエンナ ーレ建築展 最高責 任者に妹島和世さん		"	11.10			美術手帖	929
日本創造会議 会員 番号008 妹島和世 氏 建築家「薄」 「軽」建築は事件だ	窪田 直子	日 経	9.24	(ソ)			
開かれた建築感じて ほしい ベネチア・ ビエンナーレ建築展 企画責任者に妹島さ ん	高野 清見	読 売	12.17	マンガ最前線 惣領 冬実著「チェーザレ」 ルネサンスをめぐる 新視点	細萱 敦	東京夕刊	8.4
ぎやらいいモール 東京都現代美術館 「ラグジュアリー: ファッションの欲望」 展から「特別展示 妹島和世による空間 デザイン/コム・デ ・ギャルソン」	西川美穂子	読売夕刊	12.22	日々好日 サーカス のこと	副島 孝治	新美術新 聞	1185
invitation book 思 わず触れてみたくな る これも一種のだ まし絵? [瀬戸照]		芸術新潮	715	「これだ」を探し打ち 込め 若者の適職と は何か 彫刻家外尾 悦郎さん	田村 広済	日経夕刊	5.13
彫刻家の現場から48 瀬戸剛	武田 厚	美術の窓	307	交通・文化・産業輝 き増す ガウディの 夢 日本人が継ぐ 初の定期ミサ来年秋 にも[外尾悦郎]		"	6.15
サタデー発言 ヘル シンギの建築とデザ イン	瀬戸理恵子	東 京	8.1	SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセル フ・プロデュース術 海外経験の心得とは ?	曾根 裕	美術手帖	928
「セロテーブアート ®」—瀬畑亮 子ど もの「遊び」の「未来」 をつなぐ		東京夕刊	1.16	わたしの宝もの53 ローマングラス	傍島 幹司	新美術新 聞	1199
素材を手の内に 型 絵染—芹沢銑介「縮 緬地型絵染着物 紙 漉村」 稲垣稔次郎 「信州紬地型絵染着 物 風」	北村 仁美	淡 交	778	アート・トピックス Book Design 名作 が衣替え 太宰治× 梅佳代×祖父江慎		ギャラリ ー*	294
				100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 47 たいようオルガ ン	祖父江 慎	太陽(別冊)	164

特集 文字のつくりかた 対談 祖父江慎×佐藤可士和 文字における「超整理系」と「だいたい系」

大城 譲司 デザインの現場 165

特集 これからの本のつくりかた エディトリアルデザイナーが語る本のこれから 祖父江慎

鈴木 里子 〃 167

特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 100%DESIGN TOKYO/DESIGNTIDE TOKYO 話題の3組 SOMA DESIGN

高橋 美礼 〃 163

特集 春のアートフェア 見逃せないこの画廊 この作品 現代美術 《Circles》 西村画廊 曾谷朝絵

ギャラリー 287

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 曾谷朝絵 一室を使ったライブペインティング開催

美術の窓 308

第45回主体展記念企画 上野を語る2 「東京都美術館」の休館と改修後について

退町 勝治 主体美術 86

(タ)

PREVIEW 田井淳 展—無限の中へ—

二木伸一郎 美術の窓 315

巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 〈特別企画〉2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 田井久江

中野 中 〃 313

作家通信 衣服に物語を書く

平良 美樹 趣味の水墨画 248

高岡陽 《尾道市地域ナンバープレート》、《尾道市民センターむかいしま「ココロ」サイン計画》、《シネマ尾道C I》、《S. C. S. P》

高岡 陽 尾道大学芸術文化学部紀要 8

文化庁海外派遣で研修中の若い芸術家 尊敬するアーティストとの出会い—パリにて—

高木 彩 連盟ニュース 431

REALTOKYO Picks BOOK/DISC 高木正勝 『タイ・レイ・タイ・リオ』

中島 良平 ART iT 24

負の美「花盗人」シルクスクリーン版画

高北 幸矢 名古屋造形芸大紀要 15

追悼 岩澤重夫先生を偲んで

高越 甚 新美術新聞 1203

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&④テクニックつき Part 1 日本画・水墨画用画材編 3 日本画・水墨画 三連筆・中太片羽 高島圭史

美術の窓 306

資料紹介・高島北海 資料「植物細密画」

中村 美幸 下関市立美術館研究紀要 12

高島北海—その紹介と研究に関する最近の動向

岡本 正康 潮流 100

TRAVEL のブラックロック砂漠 サバイバルする旅

高城 剛 花 椿 714

港で出合う芸術祭—神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド—そして、神戸でビエンナーレ 注目の招待作家たち 高須賀昌志

美術手帖 929

写眼 人のように傍く 高田誠三「奥裾花」(平成12年)「日本の風景遺産」より

堀 晃和 産 経 1.19

特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル グラフィック編 高田唯

山本 高樹 デザインの現場 163

「風」の形 アートで体感 学校などに「出前」20年、紙片で即興芸披露 高田洋一

高田 洋一 日 経 3.24

中特集 作家の原点 高頭信子

高山 淳 美術の窓 308

追悼 高梨潔さん いよいよこれからの時のお別れ

丸毛 利久 新美術新聞 1186

写眼 バス目線の日常 高梨豊「草39」(Silver passin') (2008年)より

海老沢 類 産 経 2.23

高梨豊の silver passin' 人生通過するバスの旅「突然」の出会い撮る

白木 緑 日 経 1.18

eye 三者三様の一体感 倉敷でのライカ同盟[高梨豊]

森本 悟郎 毎日夕刊 10.1

みんなのマンガ学 田辺のつる 日常の中の「異人」の視点 [高野文子]

伊藤 遊 朝日夕刊 11.25

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 高橋英生	高山 淳	美術の窓	307	本づくし「時代が成熟しきった今、再びものごとのきっかけにしたい」『にんじんばたけのバビブベボ』加古里子絵・文	高橋 正実	〃	142
写眼 詩的に表現した「引力」高橋和海「HighTide Wane Moon」	篠原 知存	産 経	5.23	特集 東京デザインガイド コラム 高橋正実の墨田のここがスゴイ	猪飼 尚司	デザインの現場	166
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ グラビア&インタビュー 高橋和正「無防備さに一番魅力を感じます」	高橋 和正	美術の窓	311	ひと 高橋正実さん ラーメンと現代美術の融合 MoMAで売れるデザイナー	岡崎 明子	朝 日	7.11
ひと「会津のピカソ」と呼ばれる 高橋克幸さん	足立 朋子	朝 日	3.29	拓くひと 半歩先へ 高橋正実さん「ラーメンフオーク」のデザイナー モノも社会もイメージ次第	関口 圭	日経夕刊	9.30
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 高橋克芳	刃刀 知子	美術の窓	307	幕末から明治前期における油画面材に関する一考察—高橋由一を中心に—	重村 幹夫	芸術学研究(筑波)	13
第二特集 ゼロ年代ヴィジュアルランゲージ 高橋恭司×鶴飼悠	編 集 部	STUDIO VOICE	405	日本の美術館名品展 高橋由一「宮城県庁門前図」	高野 清見	読売夕刊	5.12
アンケートに答えて わたくしの作品	高橋 敬子	自由美術	2009	日々好日 白	高橋 幸彦	新美術新聞	1199
芸術家よ自在な遊び心を 高橋秀さんに聞く 留学成果より見聞広めよ 作品の「主張」が重要	竹田 博志	日経夕刊	11.26	特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コミュニケーションの新次元! YOU-TUBE: A NEW POINT OF VIEW 高橋ヨシキ	高橋ヨシキ	STUDIO VOICE	398
山下裕二の今月の隠し球57.58 高橋大輔『「抽象」への疑問と、マジに対峙する』(上)(下)	山下 裕二	美術の窓	312,313	みんなのマンガ学 うる星やつら 読めば楽しく、必ず元気に[高橋留美子]	倉持佳代子	朝日夕刊	11.11
週刊コミックジャック「スカイハイ」死んでやり直せるなら[高橋ツトム]	名越 康文	朝日夕刊	1.21	マンガの国の「衣食住」「めぞん一刻」の下宿生活[高橋留美子]	竹内オサム	毎 日	9.26
フォーカス 仏の歴史的建造物にフレスコ壁画描く 高橋久雄氏 自己表現の集大成に	古谷 茂久	日経夕刊	10.13	トークイベント「いのちと平和について考えようI」 ゲスト:高畑勲さん 聞き手:松本由理子	川口 恵子	ちひろ美術館・東京 美術館だより	166
青春の刻7 芸術と教育に情熱を傾けた日々・高橋英男		趣味の水墨画	238	100人の心に響いた絵本100 国内絵本01 よこむいてにこっ[高畠純]	滝井みなみ	太陽(別冊)	164
HIROCOLEDGE 新境地への挑戦[高橋理子]	高橋 美礼	デザインの現場	164	寄贈作品紹介[高原洋一]	妹尾 克己	岡山県立美術館ニュース	87
父と山頭火	高橋 正治	えひめ視覚文化の会通信	3	2009年日本建築学会作品選奨 さつき幼稚園[高間三郎]		建築雑誌	1593
特集 ニューコンセプト・ジャパン・スタイル 紙に植物の種子を印刷する—高橋正実と水上印刷	山本 玲子	A X I S	137				
アングル ようふくの本[高橋正実]		〃	138				

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	高松 和樹	美術の窓	309	中特集 ベストセレクション 宝田いすず	磯部 靖	美術の窓	312
作品研究 高松次郎の《日本語の文字》はなぜ版画でなければならなかったのだろうか?	大谷 省吾	現代の眼	576	カバーインタビュー／田川欣哉	上條 昌宏	A X I S	138
高松次郎の「塾」——九七一年度の活動——	藁科 英也	採 運*	12	滝川太郎の“セザンヌ素描”	丹尾 安典	美術運動史研究会ニュース	100
コラム 建築を描く	高松 伸	建築雑誌	1595	受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	滝口 和男	陶 説	670
大きな休息にいたるまで		ミルフィユ	1	館長コラム	滝沢 具幸	テ ラ ス	
ブリコラージュの時間—高嶺格の舞台裏	笹島 秀晃			陶芸・絵付けのことなど			81
ジレンマが醸成する明日のための不安[高嶺格]	清水 健人			南信州の山城に想う			83
瞬間の集積としての展覧会	高嶺 格、アテンドメンバー	談		作家通信 連続する風景	瀧田 亜子	趣味の水墨画	245
あなたがしているものは、あなたがそうだと思ったものではないかもしれない	高嶺 格、吉岡 洋	談		この道30 滝田ゆう	北見けんいち	東京夕刊	4.6
修羅の胎教[高嶺格]	高橋 瑞木			惜別 きりえ作家 滝平二郎さん 大衆美術家貫く華やかな黒	西田 健作	朝日夕刊	6.27
あとがきのあと「在日の恋人」高嶺格氏身近な人の問い、きっかけに		日 経	1.25	滝平二郎さん〈切り絵作家〉 庶民の姿詩情豊かに描く		日経夕刊	6.26
高村光太郎のセザンヌをめぐる造形と言葉	南 明日香	国語と国文学	1027	連載特集 追悼・山岸信郎5 山岸さんとあの世でバーボンを。	田窪 恭治	あいだ	157
彼らの第4 コーナー 高村光太郎 1~4	浦田 憲治	日 経	9.6、13、20、27	「風景芸術」	〃	国華清話会会報	13
わが逸品 呉市美術館 高村光太郎「手」曲線に宿る命	石山 公子	読 売	6.25	画家たちの美術史74 田窪恭治	林 洋子	美術手帖	920
特殊印刷加工トリアル 第13回 高柳雅人、レインボー蒸着フィルムに挑戦!	杉瀬 由希	デザインの現場	166	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 takram design engineering 新たなものづくりの手法を切り開く	川上典李子	デザインの現場	163
「平常展Ⅱ こどもたちのための高山辰雄展」美術の面白さ、奥深さを知るきっかけに こどもたちの鋭い感性に期待	吉田浩太郎	新美術新聞	1192	写眼 「安心感」絵に描いた構図 武井伸吾「星夜の親子」(平成18年)	海老沢 類	産 経	9.26
連載特集 追悼・山岸信郎11 山岸さん……	高山 登	あいだ	159	PREVIEW 武市斉孝 水墨画・墨彩画・日本画展	佐久間智香子	美術の窓	313
INFORMATION MEMORIAL 追悼・山岸信郎 田村画廊・山岸信郎の思い出	〃	美術手帖	918	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 〈特別企画〉2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 竹内暁月	中野 中	〃	〃

第三回星星会展を迎えて 一下田義寛・竹内浩一・田淵俊夫・牧進一 今も生きる高山先生の心	浅木 正勝	新美術新聞	1187	アトリエ雑感 自分の道	武田 和美	主体美術	85
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 竹内重行	高山 淳	美術の窓	307	体験LOVERS 第1回 田辺智子+武田双雲(書道家)	鈴木 里子	デザインの現場	165
近代の屏風—明治30—40年代の竹内栖鳳を中心に—	塙 萌衣	学習院大学人文科学論集	18	学びのふるさと「それじゃ伝わらないよ」音楽コンサートの益子監督から厳しく「心打つ表現」大切さ痛感 書道家武田双雲さん	服部 良祐 聞き手	日経夕刊	7.2
構図のはなし1 身近な素材から始めましょう—花、小動物、静物[竹内栖鳳]	和田 宏子	趣味の水墨画	241	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 竹田千鶴子	中野 中	美術の窓	313
茨城県近代美術館所蔵作品から 竹内栖鳳「水郷」	吉田 衣里	游 美	61	PREVIEW 武田敏雄展	高山 淳	〃	315
美の季想 異国で見る月 闇照らし出す卓抜な光[竹内栖鳳]	高階 秀爾	朝日夕刊	8.19	景色の呼ぶ声	武田 花	東京夕刊	3.16
美の履歴書124 恥ずかしそうなわけ「絵になる最初」 竹内栖鳳	小川 雪	〃	9.16	中特集 風景 v.s. 光景 武田広男	高山 淳	美術の窓	309
美の美 竹内栖鳳—京都・日本画の改革者 上、中、下	浦田 憲治	日 経	7.5、12、19	Pillars—木漏れ日	竹田 光幸	多摩美術大学研究紀要	23
美術学部教員展図録 彫刻	竹内 孝和	愛知県立芸術大学紀要	38	彫刻家の現場から49 竹田光幸	武田 厚	美術の窓	308
みんなのマンガ学 美少女戦士セーラームーン「オタク文化」一般に浸透[武内直子]	倉持佳代子	朝日夕刊	12.2	受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	竹中 浩	陶 説	670
連載特集 追悼・山岸信郎22 山岸さんの思い出—野外展のことなど	竹内 博	あいだ	167	李朝の水滴	〃	〃	676
100人の心に響いた絵本100 国内絵本41 グリンピースのいえ[竹内繭子]	穂村 弘	太陽(別冊)	164	文学史と房総 VII 歌ごころと房総 講演録3 竹久夢二と宵待草	門脇むつみ	城西国際大学日本研究センター紀要	3
現代美術の歩き方 今月一品 竹川宣彰 セミの羽化と私 3250#03	(細川)	美術の窓	306	コラム 破れかぶれと憂愁と—竹久夢二「青山河」	佐々木幹郎	太陽(別冊)	158
武腰敏昭 2007—2008年 作品の解説	武腰 敏昭	金沢学院大学紀要*	7	はてな? おもしろ浮世絵282 初公開夢二の油絵「扇を持つ女」	中右 瑛	目の眼	399
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	竹下 真澄	美術の窓	309	ニッポン人・脈・記 大逆事件残照1、2 [竹久夢二]	早野 透	朝日夕刊	5.19、20
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	武田 晶子	〃	〃	竹久夢二 楽譜大全集初の出版 今も歌い継がれる詩	生田 誠	産 経	8.29
				ふたつのふるさと ふたつのコレクション 竹久夢二展 岡山・群馬からロマン薫る	井上 芳子	読 売	8.26
				フェイス21世紀119 竹辺澄子 思考する人間の美しさ	袴田 智彦	新美術新聞	1172

平成20(2008)年度 日本及び東洋美術史 の調査研究報告 武 部白鳳筆『十二ヶ月 名画帖』—近代大阪 四条派の画帖をめく って—	柴田 就平	関西大学 博物館紀 要	15	人・模・様 展覧会 とコラボで親子クマ [たちもとみちこ]	川俣 享子	毎日夕刊	5.25
FIRST LINE たけ むら千夏	編集部 インタビュー ・文	STUDIO VOICE	405	巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ グラビアと作家のコ メントでみる美しい 女性たち 龍口経太	龍口 経太	美術の窓	311
クリエイターズワー ク&ソウル 田子学		A X I S	142	解説プログラム 二 〇〇八年のアーティ スト・トークから	辰野登恵子	現代の眼	574
PREVIEW 田澤茂 個展 民話に発する 世界の新たな展開	武田 厚	美術の窓	307	特集Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 辰巳明子	切刀 知子	美術の窓	307
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 36 ガオ[田島征三]	池内 紀	太陽(別冊)	164	コミックガイド 劇 画漂流(上・下) 辰 巳ヨシヒロ[作]	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	1.4
2009年はこのアー ティストに注目! 田 島征三 絵本と木の 実の美術館		美術手帖	926	第13回手塚治虫文 化賞 大賞「劇画漂 流」 辰巳ヨシヒロ さん	小川 雪	〃	4.19
第41回日展を前に して 各科審査員より 思い	田島奈須美	日展ニ ュース	134	ひと 第13回手塚 治虫文化賞でマンガ 大賞に決まった 辰 巳ヨシヒロさん	〃	〃	〃
写眼 物語のはざま に迷い込む 田代一 倫[Hijack]	海老沢 類	産 経	3.14	「完結まで書きき る」よしながさん「 ルンルン気分でした 」辰巳さん 手塚治 虫文化賞贈呈式	小原 篤	〃	6.6
学校と私 漫画家田 代しんたろうさん 創作意欲に燃えた高 校時代	井崎 憲 聞き手	毎 日	12.5	手塚治虫文化賞 受 賞者交えトークショ ー「マンガと劇画 対立しない」[辰巳 ヨシヒロ]	小川 雪	〃	6.9
連載特集 追悼・山 岸信郎12 Y氏への 手紙—桜の季節を前 に	田代 睦三	あいだ	159	劇画漂流上・下 辰 巳ヨシヒロ著	(魚)	毎 日	2.1
東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技術材料・保存 修復に関する基礎的 研究VI[多田光三郎]	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 桐野 文良 田中 智恵子 増田 久美	東京芸術 大学美術 学部紀要	46	マンガ50年 劇画魂 1 “忘れられた男” 欧米が絶賛[辰巳 ヨシヒロ]	石田 汗太	読 売	6.2
短期連載 受け継が れるアート・スピリ ット—シリーズI 父が創り、娘が広げ る絵画世界[橘天敬]		ギャラ リー	294	建築みやげ・建築グ ッズ 天動説型建築 観のウクレレ 建築 物ウクレレ化保存計 画	伊達 伸明	建築雑誌	1593
芸術新潮特別企画 アートフェア東京 2009出展ギャラリー 紹介 ギャラリー AYA が次代に伝える 橘天敬の芸術		芸術新 潮	712	特集Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 館礼子	切刀 知子	美術の窓	307
SECOUND LINE 立花文穂	大城 護司 インタビュー ・文	STUDIO VOICE	401	仕事人 新技術で伝 統を後世に 蒔絵師 立野敏昭(49)	今泉有美子	産 経	3.8
写真家の橘蓮二 1 人1冊の「作家」シ リーズ刊行	油井 雅和	毎日夕刊	10.13	作品を壊す…[建 畠 寛造]	建畠 哲	連盟ニ ュース	430
橘蓮二 写真集「作 家」第1弾は談志		読売夕刊	10.5	田所浩の世界—展 覧会に寄せて	大矢 頼音	展覧会だ より	38

コミック リバース エッジ大川端探偵社 1 ひじかた憂峰 (作) たなか亜希夫 (画) 「解決」の後に 残るものは」	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	12.13		フェイス21世紀130 田中葉奈 書道の普 及と可能性を探る若 き書芸アーティスト	窪田 元彦	〃	1202
田中一光のポスター 造形印象に関する研 究	曹 炯壽	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	40		アンケートに答えて 描いていて思うこと	田中 秀樹	自由美術	2009
EXTRA COLUMN ALTOVISION タナ カカツキ インタヴ ュー	編 集 部	STUDIO VOICE	398		特集 インテリアを 語る IV 私が推薦 する若手建築家1 建築的なだけではない、 建築家のインテ リア[田中正洋]	岡田 栄造	建築雑誌	1591
アクリリックス・ワ ールド50 タナカカ ツキ	石井 芳征	美術手帖	919		作家通信 いただい た言葉は宝もの	田中みぎわ	趣味の水 墨画	243
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、 日本美術を楽しく学 ぶ! 一夜漬け日本 美術史 タナカカツ キさんと行く東京国 立博物館	編 集 部	〃	922		絵画における新しい 下地塗料の研究—白 亜地キャンパスの走 査型電子顕微鏡によ る観察—	白河 宗利 岩崎 友敬 田中 元偉 猪狩 雅則	愛知県立 芸術大学 紀要	38
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセル フ・プロデュース術 展覧会開催の道のり とは?	しりあがり 寿、 タナカカツ キ、 天久 聖一、 河井 克夫、 長尾謙一郎 佐久間 恵 構成・文	〃	928		特集 友を語る 日 本画家田中路人 異 端の画家田中路人先 生の思い出	武藤 彬 游 美		63
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 43 トマトさん[田 中清代]	ひこ・田中	太陽(別冊)	164		フェイス21世紀125 棚澤寛 少女2人は なぜ飛ぶか?	袴田 智彦	新美術新 聞	1188
田中功起展 日常感 覚変える映像の「反 復」	大西 若人	朝日夕刊	2.18		特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	棚澤 寛	美術の窓	309
創造神話 田中功起 の作品 現実の多面 性 日用品で示す	菅原 教夫	読 売	2.19		特集 立体作家20 '09—ディーラーが 見る立体の動向— 棚田康司 正統派の 流れを組む木彫	三瀨 末雄 談	ギャラリ ー*	292
日韓の精神的融合 田中佐次郎氏がソウ ルで初個展	林屋 晴三	東京夕刊	11.12		「棚田康司 十一の 少年、一の少女」	(前)	読 売	3.1
亡くなられた先輩達	田中 淳	主体美術	85		素材を手の内に 竹 一田辺一竹斎「透し 編瓢形花籃」三代 田辺竹雲斎「方」	諸山 正則	淡 交	779
作家訪問392 陶芸 家 田中轟動子さん	編 集 部	目の眼	394		体験LOVERS 第1 回 田辺智子+武田 双雲(書道家)	鈴木 里子	デザイン の現場	165
クリエイターズワー ク&ソウル 田中千 尋		A X I S	138		美術家の戦争体験 (2) 私の兵隊日記	田辺 政雄	美術運動	136
田中長徳の「よもす がらモノおもふころ」 第37回~最終回	田中 長徳	〃	137~141		再び国際遺伝子貯蔵 庫と田辺光彰の彫刻 を考える	藤嶋 俊會	新美術新 聞	1183
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その20 田 中稔之 海潮音 円 環	林 紀一郎	新美術新 聞	1203		人 野生稲のもみを かたどった作品が “種子の方舟”に収蔵 される彫刻家 田辺 光彰さん(70) 「訴 えかけない作品は芸 術ではない」	津川 綾子	産 経	2.28
					連載特集 追悼・山 岸信郎18 山岸さん と駒井画廊、そして 私	谷 充央	あいだ	164

100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 20 どんなみち[谷 内こうた]	生田 麦秋	太陽(別冊)	164	田沼武能写真集「子 ども組伝統祭事の主 役たち」	(前)	読 売	10.11
Art Chat Studio 4 谷内康生×西村浩幸	谷内 康生、 西村 浩幸 談	ギャラリ ー*	288	画学校出仕について [田能村直入]	松尾 芳樹	京都市立 芸術大学 芸術資料 館年報	18
海辺の情景十選 1~ 10	谷川 晃一	日 経	7.16、17、 20、23、 24、27~ 31	古陶随伴録73 文人 達の陶芸 山本梅逸、 田能村直入、富岡鉄 斎	三好 一	目 の 眼	394
写真少年 1973— 1979 谷口昌良著		〃	4.19	21世紀芸術研究所— 3 Key Words Re- search— 東芋		ギャラリ ー*	290
art news 山下菊二 の画家兄弟仁義[谷 口董美]		芸術新潮	717	東芋さん「dolefull- house」日本初公開		朝 日	1.13
第41回日展を前にし て 各科審査員より 彫刻への思い	谷口 淳一	日展ニュ ース	134	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説11 「未 来の魔城」から未来 へ[東芋]	田中 三蔵	朝日夕刊	4.3
特集 メビウスと日 本マンガ 最強メビ ウスファン対談! われら、メビウスの 徒 その線、色、世 界に酔う	谷口ジロー 寺田 克也	ユリイカ	568	ネオテニー・ジャパ ン—高橋コレクション 作家10選 8 東芋		産 経	6.10
コミック センセイ の袍 1 川上弘美 (原作) 谷口ジロー (作画)	南 信長	朝 日	10.25	宮永愛子展 東芋展 はかなさの向こうに	岸 桂子	毎日夕刊	1.20
人間発見 欧州が見 えだしたマンガ1~ 5 漫画家 谷口ジ ローさん	藤巻 秀樹 聞き手	日経夕刊	8.24~28	陶燈無尽—窯場に息 づく心と技 萩焼	田原陶兵衛 [十三代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	781
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 100%DESIGN TO- KYO/DESIGNTIDE TOKYO 話題の3 組 谷尻誠	高橋 美礼	デザインの 現場	163	スピーカーにおける セラミックスの可能 性とU字筐体のデザ イン	田原迫 玄	名古屋造 形芸大紀 要*	15
美の美 モダン東京 —1930年代の夢 下 [谷中安規]	白木 緑	日 経	5.10	フェイス21世紀121 田原迫華 伝統的感 性と造形の冒険	袴田 智彦	新美術新 聞	1177
Osamu's Invitation 23 ガラスを吹く人 [谷道和博]	原田 治	芸術新潮	716	巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&⑥テクニ ックつき Part1 デッサン・スケッチ 用画材編 4デッサ ン・スケッチ クレ パススペシャリスト 田伏勉		美術の窓	306
建築のある掌話 幾 樓呀?(何階ですか ?)	谷本 潤	建築雑誌	1592	特集 素材からも危 機が迫る 和紙の現 状と風景 和紙とア ーティスト1 日本 画家 田淵俊夫	田淵 俊夫 談	ギャラリ ー*	289
永青文庫の昔の写真 2~5	田沼 武能	永青文庫	65~68	パリ&京都 古都に 華やぐ田淵俊夫の画 業40年		芸術新潮	709
第70回国際写真サロ ン 総評 作品講評	〃	朝 日	12.25	第三回星星会展を迎 えて 一下田義寛・ 竹内浩一・田淵俊夫 ・牧進— 今も生き る高山先生の心	浅木 正勝	新美術新 聞	1187
人間発見 子どもか ら世界を写す1~5 日本写真家協会会長 田沼武能さん	榎木 誠 聞き手	日経夕刊	12.14~ 18				
毎日写真コンテスト 総評 内面のテーマ 重要に	田沼 武能	毎 日	12.11				

中特集 田淵俊夫	編集 部 聞き手	美術の窓	304
「究極の表現」追求 東京芸大退任記念個 展 墨絵など60点 日本画家・田淵俊夫 さん	大西 若人	朝 日	1.13
平山郁夫氏を悼む 本質を描いた求道の 道 田淵俊夫	田淵 俊夫	日 経	12.3
田淵俊夫さん「に じみ」の映像性強調		読 売	1.16
神戸ビエンナーレ 2009通信 VOL. 01 神戸ビエンナーレっ て、何? [たほりつ こ]	カワイイフ アクトリー	美術手帖	925
港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち たほりつ こ		"	929
アーツ&クラフツ展 物を作って暮らす喜 びを エッセイスト ・画家玉村豊男さん		朝日夕刊	2.24
1987—卯野夏子&田 村香織—		art _ icle	23
アートの交差展を、 ふりかえる。	今泉 裕紗 青山ひろゆ き 北村奈津子 タムラサト ル 野口久美子	ザ・ルー フ	35
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 26 ランスロットと パブロくん[たむら しげる]	松田 哲夫	太陽(別冊)	164
中特集 作家の原点 田村敏子	高山 淳	美術の窓	308
インスピレーション 建築 建築家の登竜 門としての海外コン ペ[田村裕希]	ぼむ企画	A X I S	138
語り出した「北の写 真」 青森・小島一 郎 絵画的な構成美 函館・田本研造 記 録に徹す視線	前田 恭二	読 売	3.2
作家通信 大学の水 墨アートコース設立 に向けて	田家阿希雄	趣味の水 墨画	248
ひと 墨でモーター スポーツを描くイラ ストレーター 垂井 ひろしさん	原島由美子	朝 日	1.12

特集 文字のつくり かた「文字のつくり かた」講座 筆文 字編 だんきょうこ	杉瀬 由希	デザインの 現場	165
TANKA 「惑星地球 へのパスポート」	幕内 政治	art _ icle	26
幻の「平和公園」写真 丹下氏設計風景60年 ぶり 都内で発見 高さ60メートルアー チ構想も[丹下健三]		東 京	7.23
私の履歴書28 すれ 違う国家と建築 黒 川の訃報に日本を嘆 く[丹下健三]	磯崎 新	日 経	5.29
気になる! 異彩ピ ルモ「モード」[丹下 憲孝]	高野 清見	読 売	1.6
写眼 日常とかけ離 れたロマン 丹野章 「ミステイク」(昭和 32年)	堀 晃和	産 経	5.16
(チ)			
青春の刻 千葉玄象 ・紆余曲折の中でも 失われなかった創作 意欲		趣味の水 墨画	244
不器用な人間が大好 き 効率重視の今 努力する姿描く 漫 画家ちばてつやさん	諸岡 良宣	日経夕刊	4.22
マンガの時代 高森 朝雄・ちばてつや 「あしたのジョー」 (1968—73年)	竹内オサム	"	12.16
マンガ50年 燃えよ ! スポーツ3 打ち 込む「ジョー」大人も 魅了[ちばてつや]	片山 一弘	読 売	11.19
地方で制作を続ける こと	千葉奈穂子	あ い だ	158
2009年日本建築学会 賞(作品) 日本盲導 犬総合センター[千 葉学]		建築雑誌	1593
Recommend! Archi- tecture 地域に開か れたそこにしかない 形式「STITCH」[千葉 学]	鈴木 紀慶	デザインの 現場	165
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 16 わたしのうみべ [長新太]	赤瀬川原平	太陽(別冊)	164
特集 NEW DIS- COVERIES OF VIN- TAGE MIND 長大 作と椅子	渡部 千春	STUDIO VOICE	402

陶燈無尽一窯場に息づく心と技 薩摩焼	沈壽官[十五代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	777	港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そして、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 塚脇淳	美術手帖	929
インスピレーション アート なぜ広島の 空をピカッとさせて はいけないのか? [Chim ↑ Pom]	暮沢 剛巳	A X I S	139	江戸博蔵めぐり 太 田道灌初テ歌道ヲ志 ス図 大蘇芳年・画 [月岡芳年]	斎藤 慎一 読 売	5. 15
特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、 遊びたいおもちゃ 200 HOW TO PLAY Chim ↑ Pom のトイ ・ハンティング	湯浅 学 聞き手	STUDIO VOICE	397	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 月居和子	中野 中 美術の窓	313
特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コ ミュニケーションの 新次元! TALK& CHAT!! 鼎談:チ ン↑ボム×宇川直宏 MAD 的アートフォ ーム、タグの発想法	前田 毅	"	398	特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト 建築とい うフットプリント Universe beyond Universal Space 「ボルドーの住宅」に おける三層の世界	槻橋 修 ユリイカ	567
ME&SV Chim ↑ Pom	Chim ↑ Pom	"	400	マンガ50年 ジャン プ2 評価決める読 者アンケート[次原 隆二]	川村 律文 読 売	7. 29
Chim ↑ Pom Get The Lovehandle VOL. 1 『広島!』 展にて!	"	"	401	コミック 野田とも うします。1 柘植 文(作) 今どきでな い女子大生の生態	南 信長 朝 日	7. 26
SPECIAL REVIEW Chim ↑ Pom 「広島 !」ニゲルカ Chim ↑ Pomのこれからに ついて	林 靖高	美術手帖	922	紅花ルネサンス VOL. 1 山形→未来	辻 山崎 けい 和樹	東北芸術 工科大学 紀要 16
視点 ヒロシマの空 で二つのアート・イ ベント[Chim ↑ Pom]	竹澤 雄三	美術の窓	304	探訪 漆芸家辻徹先 生を訪ねて 黒朱の 耀き塗拭に込めて	游 美	63
現代美術の歩き方 今月一品 Chim ↑ Pom 「くるくる パーティ」「making of the 即身仏」	長谷川祐子	"	312	『PATINA 展 京都』 告知・展示のための デザイン制作と出品 作品制作の報告	辻 勇佑	京都嵯峨 芸術大学 紀要 34
原爆ドーム上空に 「ピカッ」表現・手 順、賛否の声 イベ ントや本で議論 [Chim ↑ Pom]	大西 若人	朝 日	7. 4	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 辻田粹邦	中野 中 美術の窓	313
(ツ)				特集 これだけは知 っておきたいデザイ ン大事典 教えてほ しい巨匠のこと。 辻村久信×剣持勇	松本 哲夫、 辻村 久信 談 鈴木 里子 文	デザイン の現場 164
アーティスト・ファ イル2009—現代の作 家たち 展覧会関連 イベントレポート 対談:津上みゆき× 佐野みどり	本橋 弥生	国立新美 術館ニユ ース	10	きく 験の仕業	津田 直	芸術新潮 714
素材を手の内に 陶 磁—加藤土師萌「青 白磁鳥獣浮文鉢」・ 塚本快示「青白磁彫 花鉢」	唐澤 昌宏	淡 交	775	SPECIAL FEATURE いま読むべきアート ブック300 INTER- VIEW: 2 津田直 をつくった10冊	片桐 功敦 聞き手	美術手帖 917
				あとがきのあと 「マブイの往来」津田 睦美氏 移民の苦難 と家族愛に光	日 経	9. 20

津高和ひと架空通信	坂上義太郎	美術運動史研究会 ニュース	102	シリーズ“私の風景誌”より VI (2006年—2008年)	坪井 勝人	名古屋造形芸大紀要*	15
100人の心に響いた絵本100 国内絵本06 でこちゃん[つちだのぶこ]	安藤 哲也	太陽(別冊)	164	特集 水墨画の未来へ—若手作家の自由で豊かな表現 妻木良三	立島 恵	趣味の水 墨画	243
日本画にみる裸婦土田麦僊 対象のうちにひそむものを追 い求めて	中村 麗子	〃	158	第三特集 カットアップ(ノー)フューチャー 都守美世	北沢 夏音 インタビュー・文	STUDIO VOICE	405
1枚の絵に見解三様植民地下の朝鮮描く「平牀」めぐり[土田麦僊]	小川 雪	朝日夕刊	12.16	ICANOF2009露口啓二写真集	(前)	読 売	12.20
ライトアップ[土田ヒロミ]		東京夕刊	8.3	コミック 童話迷宮(上・下) 釣巻和(漫画) 小川未明(原案) 名作童話に独自のスパイス	山脇 麻生 朝 日		7.5
美術学部教員展図録彫刻	土屋 公雄	愛知県立芸術大学 紀要	38	特集 諸星大二郎徹底討論 不定形な世界に魅せられて 諸星大二郎のうまさの底にあるもの	夏目房之介、 都留 泰作 談	ユリイカ	563
新刊紹介 ロス・ウォーカー、土井利一著『土屋光逸作品集』	岩切信一郎	浮世絵芸術	158	戦前と戦後の前衛絵画をつなぐもの—福沢一郎、鶴岡政男、北脇昇を例に	大谷 省吾 芸 叢		25
日本美術のススメ 知られざる日本美術 土屋光逸		美術の窓	315	(テ)			
特集 立体作家20'09—ディーラーが見る立体の動向—土屋仁応 光と影が織りなすエロス	山元 千秋、 荻田 徳穂 談	ギャラリー一*	292	特集 若冲〈動植綵絵〉・モザイク画・〈象と鯨図屏風〉…永遠に新しい絵師のすべて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選ぶこの一点〈鳥獣花木図屏風〉 D[di:]	D[di:]	ユリイカ	574
蓬春先生とのご縁	土屋 禮一 談	山口蓬春 記念館研究紀要	6	建築 TNA「方の家」「廊の家」ほか	五十嵐太郎	毎日夕刊	11.17
Reviews: Book 都築響一『着倒れ方丈記』	辛酸なめ子	ART iT	22	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 delibab	高橋 美礼	デザインの 現場	163
マンガの国の「衣食住」 「うしろの百太郎」のオカルト体験 [つのだじろう]	竹内オサム	毎 日	10.31	100人の心に響いた絵本100 国内絵本50 おふろ[出久根育]	松岡希代子	太陽(別冊)	164
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 〈特別企画〉2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 角田玉手	中野 中	美術の窓	313	手塚治虫の制作現場を大公開!		芸術新潮	709
ARTIST INTERVIEW 椿昇	楠見 清 聞き手	美術手帖	921	手塚治虫の実験アニメーションの表現方法	呉 恵京	国際日本 学	6
アートの地殻変動04 椿昇	編 集 部	〃	922	彩・美・風 手塚さんの思い出	四方田犬彦	朝日夕刊	5.20
総特集 昆虫主義 虫(屋)の現在 琥珀	椿 昇	ユリイカ	571	世界と日本 大図解シリーズ No. 917 没後20年“マンガの神様” 手塚治虫	竹内オサム	東 京	11.29
象の像だゾウ[椿昇]		産 経	6.24				

[illegible]

点鬼簿の作家像スケッチ帳 その11 寺田政明・居酒屋・生きものたち 林 紀一郎 新美術新聞 1176

この人 瀬戸焼などの個展をカナダの美術館で開催 寺田康雄さん 長谷 義隆 東京 8.5

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44 寺林 武洋 美術の窓 309

特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代「スタジオ・ボイス」400号アンケート テリー・ジョンソン STUDIO VOICE 400

照屋勇賢の世界 日用品に魔法をかけて 河尻 定 日 経 9.10

「描かれた武士[ヒーロー]たち 武者絵の世界展」開催記念トーク・ショー 天明屋 尚 兄二 長野県信濃美術館 紀要 3

SPECIAL FEATURE アウトローの美学 美術手帖 927

男伊達宣言 天明屋 尚

OUTLAW VISUAL アウトロー美学の系譜 天明屋 尚 選・文

OUTLAW TEXT 日本アウトローの歴史 天明屋 尚

OUTLAW FESTIVAL 絵金祭り 対談 絵金とはいったい何者か? 山下 裕二、天明屋 尚 談

アクリリックス・ワールド54 天明屋尚 石井 芳征 〃 930

現代美術の歩き方 今月の一品 天明屋尚 開魂 (細川) 美術の窓 304

没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写実技法と知られざる日本画 Part. 3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力「麗子微笑」は日本画である 天明屋 尚 〃 308

世界陸上・サッカー W 杯で“日本代表”アートを戦う[天明屋尚] 猪谷 千香 産 経 8.19

(ト)

夢と戯れ 布団アート 地図を描いたりイカを寝かせたり、布団職人三代目 土井 章広 日 経 3.20

100人の心に響いた絵本100 国内絵本21 チリとチリリ [どいかや] 杉浦さやか 太陽(別冊) 164

遠みち近みち—再びの挑戦[樋田洋子] 足立 則夫 日 経 11.1

2009年度新任教員紹介 空間演出デザイン学科教授 銅金裕司 銅金 裕司 瓜生通信 46

特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル グラフィック編 東京ビストル 松葉 紀子 デザインの現場 163

PREVIEW 道家彦 個展「シルクロードをゆく Part. XIV」 ジャパン→アフリカ 小森佳代子 美術の窓 314

奇縁まんだら116[東郷青児] 瀬戸内寂聴 日 経 12.20

野崎泉編 東郷青児 蒼[あお]の詩[うた] 永遠の乙女たち (前) 読 売 2.1

サタデー発言 陶芸から広がった出会い 藤内 龍彦 東京 8.15

セピア色の写真 東野 光生 日 経 2.22

仁和寺の襖絵を描いて 水の循環、季節の循環に想い馳せた『四季曼荼羅』 〃 毎日夕刊 4.6

対談録「長崎の美術—写真/長崎」展開催記念 対話: 長崎の「時」 東松 照明、今福 龍太、対談 伊藤 晴子 構成 長崎県美術館研究 紀要 2

ニッポン人・脈・記 この一枚の物語1 終わらぬ悲惨世に伝え[東松照明] 相場 郁朗 朝日夕刊 6.8

生々しい長崎の「色」 [東松照明] 読 売 11.12

調査研究から4 新資料・堂本印象《おばけ(花街の節分会)》について 山田由希代 視覚の現場 四季の綻び 3

第六十二回全国大会 研究発表要旨 堂本印象研究—寺院襖絵制作の背景— 土金 康子 美術史 167

追憶の風景 パチカン 画家 堂本尚郎 天井画我忘れ見つめた 古賀 太 朝日夕刊 1.13

2009年日本建築学会 作品選奨 三重県立熊野古道センター [戸尾任宏] 建築雑誌 1593

光のお絵描き PiKA-PiKA 感動伝えるライブの力[トーチカ]	河尻 定 日 経	11.12	ひと 政治漫画で第38回日本漫画家協会賞大賞 所ゆきよしさん	吉田 啓志 毎 日	6.12
「相方」の魅力 アートを楽しく 現代美術、2人組が活躍[トーチカ]	小橋 弘之	日経夕刊	2.10	所ゆきよしさん 漫画家協会大賞受賞 政局に踊る2等身描き続け四半世紀	" "
あいちトリエンナーレ2010 クリエイティブ・ユニット トーチカ・インタビュー	トーチカ 談	あいち	2009	ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《21》メディアアーティスト・土佐尚子「カルチュラル・コンピューティング」をめぐって	高橋 透 水声通信 32
SV ART PHOTO GALLERY 頭山ゆう紀『境界線13』	河合 泰児	STUDIO VOICE	398	デザイナーの第二言語勉強法 最終回 戸塚恵一	石橋 勝利 A X I S 140
みんなのマンガ学 幽☆遊☆白書 作者の苦しみ テーマに反映[富樫義博]	吉村 和真	朝日夕刊	5.20	荒ぶる桜島 絵筆で対峙「描ききった」との思い求め、山の声に耳傾け半世紀	鳥取 政昭 日 経 2.6
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 戸狩公久	高山 淳	美術の窓	307	写眼 時空を超えるスナップ 百々新「CASPIAN SEA」	篠原 知存 産 経 8.22
第41回日展を前にして 各科審査員より可能性を感じる作品を	時光 新吾	日展ニュース	134	収蔵品から《雨神チャックの世界》利根山光人	高橋 直裕 世田谷美術館だより 80
美の美 名作に開く花—近代日本画の粋4[徳岡神泉]	宝玉 正彦	日 経	3.22	「型染め」で描く日本橋の四季[鳥羽美花]	産 経 12.18
受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	徳田八十吉	陶 説	670	戸張孤雁の未発表の石膏像	幅谷 啓子 碌山美術館報 29
追悼抄 九谷焼作家 徳田八十吉さん「九谷は色」極み追い求め	多可 政史	読売夕刊	10.17	美術講座 ストープを囲んで『彫刻真髓』を編纂し碌山の芸術を守った「戸張孤雁を語る」	武井 敏 " "
作家訪問391 陶芸家 徳田吉美さん	編集部	目の眼	393	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 富岡千壽	中野 中 美術の窓 313
中特集 風景とイメージ Part. 2 現代作家が描く風景とイメージ 徳永芳子	高山 淳	美術の窓	310	Osamu's Invitation 16 鉄斎と宝船[富岡鉄斎]	原田 治 芸術新潮 709
インスピレーション グラフィック 訴求力のある情報ビジュアル—徳間貴志のダイアグラム作品	深沢 慶太	A X I S	140	墨のある風景 富岡鉄斎—富士山図	笠嶋 忠幸 趣味の水墨画 243
[特集2]現代工芸への視点—装飾の力「装飾の力」展に寄せて—《天女(まごころ)像》の僕より。	徳丸 鏡子	現代の眼	578	研究ノート 《鉄老斎印景》についての一考察	奥田 素子 鉄斎研究 72
平成20年度第6回研究会 自作を語る—アメリカ滞在制作を踏まえて	"	東洋陶磁学会会報	69	論考 富岡鉄斎の見た寿蘇会	柏木 知子 " "
建築業界サイド・バイ・サイド 野老朝雄—目の前の環境でできるわかりやすさ	中田 千彦、田中 元子 聞き手	建築雑誌	1597	日本美術のススめ Special 富岡鉄斎が目指した人文画	中部 義隆 美術の窓 304
				資料紹介	美術フォーラム21 19

I 清荒神清澄寺 と富岡鉄斎・荒川 豊蔵・森田子龍	森藤 光宣				若い世代の行動に期 待 地球環境を守る 「ガンダム」精神 ア ニメーション監督富 野由悠季さん	諸岡 良宣 日経夕刊	4.8
II 『鉄斎研究』・ 『鉄斎筆録集成』覚 書	奥田 素子				スイス・ロカルノ 日本アニメ「映画力」 発揮 「ガンダム」富 野監督を表彰	近藤 孝 読 売	8.27
富岡鉄斎と近代日本 画によせて 富岡鉄 斎筆「魚藻図」をめぐ つて	中部 義隆	美のたよ り	165		所蔵作品展「近代工 芸の名品一花」富本 憲吉の「花」—その描 線のジレンマについ て	富田 康子 現代の眼	574
古陶随伴録73 文人 達の陶芸 山本梅逸、 田能村直入、富岡鉄 斎	三好 一	目の眼	394		素材を手の内に	三上 美和 淡 交	
永青文庫の昔の写真 4 現存する最古の 写真館をつくった上 野彦馬の弟子、熊本 の富重利平	田沼 武能	永青文庫	67		色絵磁器—富本憲 吉「色絵金銀彩四 弁花染付風景文字 文壺」 藤本能道 「梅白釉釉描色絵 金銀彩鷺図扁壺」		780
視線 [新世界]透明 標本 New World Transparent Speci- mens 富田伊織著	北澤 憲昭 朝 日	12.20			陶磁—富本憲吉 「土焼刷毛目壺」 「白磁珈琲器」		785
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 第1章ニッポン全国 墨絵めぐり 南面で 旅する中国 必見34 富田溪仙「鶴船」	小倉 実子	美術の窓	313		2009年はこのアーテ ィストに注目! 富 山妙子 アジアを抱 いて 富山妙子の全 仕事展1950—2009	美術手帖	926
美の履歴書123 な ぜバリの美術館に? 「神庫」 富田溪仙	田中 三蔵	朝日夕刊	9.9		特集 興福寺創建 1300年記念 阿修羅 のまなざし 《阿修 羅》名作アルバム 民族の美6 天平時 代	土門 拳 芸術新潮	711
美の美 南へ—楽園 を描いた日本人画家 中[富田溪仙]	窪田 直子	日 経	10.25		invitation book 土 門拳の処女写真集は 早大卒業アルバム	"	719
特集 「市民の視点」 で考える建築裁判	竹川 忠芳、 日置 雅晴、 富田 裕、 荻原 幸雄、 古賀 保透 細野 司会	建築雑誌	1596		土門拳 鬼が撮った 日本	太陽(別冊) 土門拳	
I 巨大すぎる建 築を巡るトラブル 誌上シンポジウム 1 (近隣・環境問 題) どうすれば 悩み多きこの現状 を打開できるのか					コラム 日本工房 時代の撮影指南役	熊田千佳慕	
II 品質が低い住 宅を巡るトラブル 誌上シンポジウム 2 (欠陥住宅問題) どうすれば悩み多 きこの現状を打開 できるのか					写真家デビューの 仕事 早稲田大学 卒業アルバム公開 異色のエロティシ ズム		
巻頭特集 手はすべ てを語る ④技法講 座VOL. 15 実践 応用編 グレーズを 重ねることで繊細な 手の表情を生み出す	富所 龍人	美術の窓	310		戦後の社会的リア リズムの時代	岡井 耀毅	
					風の棲む町、酒田	佐高 信	
					土門先生によく怒 られました	名取 桑平	
					コラム 子どもが 好きだった人	池田 真魚	
					Domon Ken EPI- SODE I 1909— 1959 ぼくは日本 一の写真家になる のだ	阿部 博行	

コラム こうして 土門の肖像写真は 生まれた	藤森 武								コミック 珈琲時間 豊田徹也(作) 人生 の奥行きを味わう17 編	山脇 麻生 朝 日	12.27	
コラム 念の力	木幡 朋介								豊久将三さんの手掛 ける照明美一ボーラ 銀座ビル 乱数で踊 る13万個のLED	篠原 知存 産 経	12.2	
コラム まるでド ラマのようだった 撮影風景	"								鳥居敏文の画業と足 跡(1)(2)	山口 泰二	美術運動 史研究会 ニュース	106、107
最後の巨匠たち 勅使河原蒼風・土 門拳・亀倉雄策の 三兄弟	重森 執氏								美の至宝 伊勢神宮	鳥居 礼 瑞 垣		212
Domon Ken EPI- SODE II 1960— 1990 ぼくは写真 を撮り続けるのだ	阿部 博行								追想録 鳥海永行さ ん(アニメーション 監督)「ガッチャマ ン」で新風		日経夕刊	3.6
特別寄稿 「ヒロ シマ」と土門拳	柳田 邦男								コミックガイド ト ーキョー無職日記 トリバタケハルノブ [作]	南 信長 朝 日		2.8
特別寄稿 土門拳 さんの思い出	堀 文子								(ナ)			
特別寄稿 本物を 見る目を教えてく れた土門拳先生	浜 美枝								展覧会場 建築家が 演出 作品と調和、 空間見せる[内藤廣]	小川 敦生 郷原 信之	日経夕刊	2.23
土門拳の写真人生概 観 幻の「自選作品 集」復刊	篠原 知存 産 経	7.20							特別インタビュー： 内藤礼	編 集 部	ART iT	23
土門拳撮影 早大卒 業アルバム 巨匠の “処女作”復刻	"		"						土曜訪問 「世界と の連続性」主題に 内藤礼さん(アーテ ィスト)	稲葉 千寿	東京夕刊	11.7
美の美 鬼が愛した 美—土門拳 上、中、 下	富田 律之	日 経	9.6、13、 20						ひと 朝刊小説で絵 を描く現役最長老の 挿絵画家 中一弥さ ん	白石 明彦 朝 日		2.19
写真集土門拳の「早 稲田1937」	(前)	読 売	9.6						交遊抄 女性の美を 追う[中一弥]	末國 善己	日 経	3.14
座談会：いま、あえ て絵画を問う	戸谷 成雄、 市川 政憲、 松浦 寿夫 談 天野 一夫 司会 谷 新、 樋口 昌樹 オブザーヴ アー	aica JAPAN	10						教員インタビュー 仲裕次郎先生		文化財保 存学専攻 保存修復 彫刻年報	2008年度
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 11 どんどこももん ちゃん[とよたかず ひこ]	横山真佐子	太陽(別冊)	164						追憶の風景 阿波座 グラフィックデザイ ナー 永井一正 ぼ ろ家で仲間と語らっ た	西田 健作	朝日夕刊	8.22
特集 勝手メディア の台頭 V ボトム アップの設計ツール グラスホッピング！ —Rhinoと Grasshopper	豊田 啓介	建築雑誌	1589						語る グラフィック デザイナー 永井一 正 宇宙の摂理を感 じて		日 経	8.9
ひと まもなく101 歳 現役の画家 豊 田三郎さん	安藤 大介	毎 日	9.15						福田繁雄さん死去 グラフィックデザイ ナー グラフィック デザイナー永井一正 さんの話		読売夕刊	1.15
									永井潔さん追悼 永井潔さんが遺し たもの		美術運動	136
										北野 輝		

哲学的人間・永井 潔さんが遺したもの	杉本 博					写眼 瞳に映る重層 な歴史 長倉洋海 「馬と少年」(2004年)	堀 晃和 産 経	11.7	
永井潔さんの絵画 世界を読み解く	木村 勝明					地を駆ける 長倉洋 海著	日 経	10.11	
永井さんのこと	青木 鮎美					人・模・様 人間の 貌、写真の力[長倉 洋海]	奥村 博史 毎日夕刊	11.28	
写眼 どこかにあっ た沿線風景 中井精 也「ゆる鉄」	海老沢 類	産 経	6.20			ふるさと 写真家 長倉洋海さん 北海 道釧路市 紛争地で 気づいた「財産」	広中 正則 読 売	9.22	
連載特集 追悼・山 岸信郎9 「映像の 時代」を開いてくれ た	中井 恒夫 あ い だ	159				長倉洋海写真集「地 を駆ける」	(睦) "	10.25	
視線 テロメア Telomere 永石勝 著	新井 敏記 朝 日	3.1				特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 中畔千嘉	中畔 千嘉 美術の窓	307	
はてな?おもしろ浮 世絵271~282	中右 瑛 目 の 眼	388~399				広い家って本当に必 要? 3メートルキ ュープの家 現代の 方丈庵[長坂常]	足立 則夫 日 経	10.8	
惜別 下垣内登貴子 さんを偲ぶ	長尾 和 主体美術	85				SV ART PHOTO GALLERY 中里和 人『ULTRA』	川本 ケン STUDIO VOICE	398	
特集 水墨画の未来 へ 若手作家の自由 で豊かな表現 長尾 和典	立島 恵 趣味の水 墨画	243				闇を撮る	中里 和人 東京夕刊	2.24	
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセルフ ・プロデュース術 展覧会開催の道のり とは?	しりあがり 寿、 タナカカツ キ、 天久 聖一、 美術手帖 河井 克夫、 928 長尾謙一郎 佐久間 恵 構成・文					中里和人写真集 「ULTRA」	(前) 読 売	3.8	
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 中尾廣太郎	高山 淳 美術の窓	307				新刊紹介 NAKA- ZATO TAKASHI ut- suwa 中里隆著	小野 公久 陶 説	679	
ニッポン人・脈・記 この一枚の物語2 浅沼撮った男 人知 れぬ死[長尾靖]	相場 郁朗 朝日夕刊	6.9				陶燈無尽一窯場に息 づく心と技 唐津焼	中里太郎右 衛門[十四 代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	779
陶燈無尽一窯場に息 づく心と技 梁山焼	長岡住右衛 門[十一代] 談 梶山 博史 取材・文	淡 交	776			受賞作家アンケート ―「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」―	中里 逢庵 陶 説	670	
特集 インテリアを 語る IV 私が推薦 する若手建築家1 建築的なだけではない、 建築家のインテ リア[長岡勉]	岡田 栄造 建築雑誌	1591				逢庵先生の思い出― 感謝と惜別の辞―	東中川忠美 "	675	
日々好日 ゴーギヤ ンと我々は	中神 英臣 新美術新 聞	1197				中里逢庵さん(陶芸 家) 作陶も絵もた ゆまず探究	竹田 博志 日経夕刊	4.10	
畏友 中川美智夫を 偲ぶ	植田 寛治 主体美術	86				追悼抄 唐津焼作家 中里逢庵(本名・忠 夫)さん ルーツ探 し進化した陶芸	山田 和男 読売夕刊	5.2	
視線 地を駆ける 長倉洋海著	新井 敏記 朝 日	11.15				「はだしのゲン」続編 執筆断念 中沢啓治 さん白内障悪化で	小原 篤 朝日夕刊	9.17	
						続「はだしのゲン」幻 に 中沢啓治さん 漫画家引退 右目白 内障が悪化	東 京	9.16	

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44

中澤小智子 美術の窓 309

Close-up 中ザワヒデキ 知性的な作品を展開してきた中ザワヒデキ 作家を突き動かすのは「義憤」だった

ギャラリー一* 292

REVIEWS03 詩のアイデンティティー [新国誠一]

中ザワヒデキ 美術手帖 920

砂漠のミドリー「長澤英俊展—オーロラの向かう所」に寄せて—

峯村 敏明 国立国際美術館ニユース 174

「彫刻」の原初的な力 [長澤英俊]

中井 康之 " "

特集 NAGASAWA IN KAWAJIMA 長澤英俊展—夢うつつの庭—をふりかえって長澤作品制作記

山辺 寛史 遠山記念館だより 38

視線 昭和30年代モダン観光旅行 長澤均著

サエキけんぞう 朝 日 4.19

中路融人 2007—2008年 作品の解説

中路 融人 金沢学院大学紀要* 7

追悼 松島恒雄氏を偲んで 若い力が引き継ぐ老舗の伝統

" 新美術新聞 1181

座談会 国立新美術館での自由美術展

大野 修、小川 リエ、長谷部 昇、中島 一雄 自由美術 2009
談 中野渡みね子

フェイス21世紀123 中島健太 写真絵画を肯定し、写真絵画を未来へ拓く

袴田 智彦 新美術新聞 1183

没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写真技法と知られざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 「道路と土手と堀(切通之写生)」

中島 健太 美術の窓 308

巻頭特集 手はすべてを語る ⑥技法講座 VOL. 15 実践 応用編 全体の空気感、女性の透明感を油彩で表現

" " 310

江戸博蔵めぐり 東京両国橋川開大花火之図 永島春暁・画

大橋菜都子 読 売 8.7

マンガの時代 永島慎二「フーテン」 (1967—70年)

竹内オサム 日経夕刊 10.28

特集 素材からも危機が迫る 和紙の現状と風景 和紙とアーティスト2 日本画家 中島千波

中島 千波 ギャラリー一* 289

「加山又造展」から革新の美2 牡丹

中島 千波 日 経 2.11

美の美 名作に開く花—近代日本画の粋1 [中島千波]

宝玉 正彦 " 3.1

交遊抄 人を乗せる才

中島 千波 " 12.5

TCAF2009 永島千裕

art _ icle 24

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 中島敏明

高山 淳 美術の窓 307

巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 中島穂波

中野 中 " 313

彫刻家の現場から45 中島幹夫

武田 厚 " 304

invitation book エディトリアルデザイン語る「花椿」40年 [仲條正義]

芸術新潮 712

SV CUT UP DESIGN BOOKS 『花椿ト仲條』[仲條正義]

林 央子 STUDIO VOICE 399

特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 「シャッター&ラヴ」は再び起こりうるか? 永瀬沙世×飯沢耕太郎

編集部 " 400

中特集 風景とイメージ Part. 2 現代作家が描く風景とイメージ 中瀬千恵子

磯部 靖 美術の窓 310

— 276 —

座談会 アンケート「作品の収納と管理について」を終えて	人江 観、 上條 陽子、 絹谷 幸二、 久野 和洋、 佐々木 豊、 中根 寛、 福島 瑞穂、 小作 青史、 中林 忠良、 海老塚 耕一、 吉野 毅、 大成 浩	連盟ニユース	432	美術の窓	306		
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説8 炎 の志伝えるプレス機 [中林忠良]	田中 三蔵	朝日夕刊	3.30	指定研究 相互交流 可能なグローバル芸 術教育の実践的研究	及川 久男 永見 文人 大塚 智嗣 吉田 幸弘 笠原 浩	広島市立 大学芸術 学部紀要	14
美術家の戦争体験 (2) 1945年3月18 日	中原 健喜	美術運動	136	命めぐる海 中村征 夫写真展 海は大に ぎわい!?	三 浦 A R K	58	
Recommend! Book 『少女の友 中原淳 一 昭和の付録 お 宝セット』	大城 謙司	デザインの 現場	166	特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 中村英	高山 淳	美術の窓	307
中原淳一に魅せられ て ゆかりの立館山 でしのぶ集い	福島 五夫	朝日夕刊	4.13	中村岳陵《牡鹿啼く》 について—古典文学 主題再生の試み—	森 充代	静岡県立 美術館紀 要	24
奇縁まんだら111[中 原淳一]	瀬戸内寂聴	日 経	11.15	シンポジウム報告 「いま“日本”とは? —現代を疾走する3 人に聞く—」[中村一 美]	宮崎 克己 嶋田 華子	ジャポニ スム研究	29
子どもは見えていた— 戦争と娯楽 中 夢 愛読書から消えた 雑誌「少女の友」 強 まる軍事色…女学生 ら「読む気しなくな った」[中原淳一]	木村 葉子	毎 日	12.8	「日本文化の発信」現 状は 自然体?いえ 「内向き」深刻[中村 一美]	古賀 太	朝日夕刊	2.10
調査メモ 2点の「西 郷隆盛像」について [中原南溪]	山西 健夫	グリーン ルーフ	66	座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚 耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野 ルミ、 山本 貞 談 吹田 文明 司会	連盟ニユース	430
特集 これからの本 のつくりかた 電子 メディアを考える1 永原康史	石田 純子	デザインの 現場	167	日展会員賞制作意図 「夏の夜に舞う」	中村 賢次	日展ニユース	135
キュレトリアル・ス タディズ01 服/フ ァッションを考える [ナカヒガシ・C/E ・ユウコ]	中尾 優衣	京都国立 近代美術 館研究論 集	2	仲村進の四つの個展 について2—個展 [故里山河]と個展 [大地・牛哀歌]—	横村 洋介	飯田市美 術博物館 研究紀要	19
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 中坊定子	中野 中	美術の窓	313	明日へ 茶の世界を 作る4 ピカピカに 仕上げない[中村宗 哲]		読売夕刊	11.27
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 中前光雄	高山 淳	”	307	随想 妻から見た忠 二[中村忠二]	吉岡 雍	文化往来 美の風	4
中町力 2007—2008 年 作品の解説	中町 力	金沢学院 大学紀要*	7	コミック ちんまん 中村珍(作) 鼓動が 聞こえそうな痛切さ	南 信長 朝 日	11.8	

情感とエロティシズムの表出あるいは、造形の実験 中村彝生への渴望を裸婦像に塗り込めて	小泉 淳一	太陽(別冊)	158	ひと ヤン坊マー坊を描いて50年のアニメーター 中邨靖夫さん	横山三加子	毎 日	5.30
茨城県近代美術館所蔵作品から 中村彝「カルピスの包み紙のある静物」	"	游 美	63	カバーインタビュー／中村勇吾	上條 昌宏	A X I S	140
第45回主体展記念企画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	中村 輝行	主体美術	86	特集 クリエイティブ・トークセッション ジョン前田&中村勇吾 中村勇吾が今、ジョン前田と話したいこと	遠藤 建	"	141
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その18 ナオンド・風紋・セ・ラ・ヴィー[中村直人]	林 紀一郎	新美術新聞	1198	探訪 彫刻家中村義孝先生を訪ねて 無限の形象に手跡を残して		游 美	62
第13回手塚治虫文化賞 短編賞「聖☆おにいさん」 中村光さん	小川 雪 朝 日		4.19	きる 還暦を「折る」	中村 好文	芸術新潮	711
作家通信 やまと嗜好	中村妃佐子	趣味の水 墨画	247	特集 中村好文と訪ねる 建築家の究極のすまい	"	"	714
Close-up 中村宏常に時代と向き合って描く画家の50数年…今も不可解な時代に真っ向から立ち向かう		ギャラリー一*	288	フィリップ・ジョンソン邸へ行こう			
特集 勝手メディアの台頭 IV 注目のメディア活動 総表現社会を切り開く勝手メディア NAP Times『今日の建築』建築家2万字インタビュー	中村 拓志 柴原 聡子 川村 麻純	建築雑誌	1589	フィリップ・ジョンソン邸へ行こう ニューヨーク ジョンソン建築巡り			
特集 インテリアを語る IV 私が推薦する若手建築家1 領域をこじ開けるチカラ、への期待[中村拓志]	新川 博己	"	1591	特集 インテリアを語る IV 私が推薦する若手建築家1 建築的なだけではない、建築家のインテリア[中村竜治]	岡田 栄造	建築雑誌	1591
美味珍膳14 カリーを食して—中村屋と中村不折—	鍋島 稲子	書 道 界	238	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 中村龍介	切刀 知子	美術の窓	307
美術館への招待 台東区立書道博物館 書を造形芸術として[中村不折]	稲葉 千寿	東京タ刊	1.29	特集 春のアートフェア 見逃せないこの画廊 この作品 近代美術 《月》 靖雅堂夏目美術店 中本智絵		ギャラリー一*	287
共同研究「県展・市展の検証」2. 東京都ドキュメント・画家中村正義と「東京展」—「第1回東京展」開催のドラマ	笹木 繁男 編著	jaic 会報	15・16	100人の心に響いた絵本100 国内絵本07 そらまめくんのベッド[なかやみわ]	大平 一枝	太陽(別冊)	164
コラム 一枚の裸体画に秘められた物語—中村萬平と霜子	窪島誠一郎	太陽(別冊)	158	モダニズムノカケラ—中山岩太《福助足袋》をめぐる17~18	松実 輝彦	美術運動史研究会 ニュース	99、105、106
ヤン坊マー坊育てて50年 天気予報アニメの原画 1人で描き続ける	中邨 靖夫	日 経	6.17	中山岩太の「神戸風景」についての考察—神戸市観光課と『プレスアルト』を中心に—	相良 周作	兵庫県立美術館研究紀要	3
				前衛の旗手 再発見「甦る中山岩太」展 軌跡追う130点	古賀 太	朝日夕刊	1.21
				文化往来 中山岩太の写真、ニューブリントで甦る		日 経	1.9

特集 フィールドワーク・スタディ II
デザインワークとしてのフィールドワーク
デザイン・サーヴェイの意義と可能性—建築家・宮脇檀のサーヴェイ

中山 繁信 建築雑誌 1593

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑
2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 仲山姉妹

岡部あおみ 美術の窓 309

Art Chat Studio 1
深沢幸雄×星野美智子×中山隆右

深沢 幸雄、
星野美智子、
中山 隆右
談 ギャラリー 285

中山正 燦然たる奔馬
天馬の木版画アイコン

版画芸術 146

「第85回記念 白日中
会展」を迎えて
山忠彦氏に聞く

中山 忠彦 新美術新聞 1179

ときの人3 日展新理事
山忠彦さん 半世紀越す日展
愛の総仕上げ

〃 1186

座談会 第四十一回
日展 審査を終えて

中山 忠彦、
寺坂 公雄、
能島 和明、
小灘 一紀、
久保田 叔通、
大角 勲、
池田 桂鳳
談 日展ニュース 135
清水 透石

巻頭特集 今こそ裸婦
デッサンをもう一度 ⑥技法講座
VOL. 14 中山忠彦
二十代初めのクロッキー公開 Essay
デッサン小考

中山 忠彦 美術の窓 304

アートナウ 日展理
事長・中山忠彦氏に
聞く「日展のこれから」

中山 忠彦 〃 311

ひと 新理事長として
日展の体質改善に
取り組む洋画家 中山
忠彦さん

大西 若人 朝 日 10.30

喪友記 岩沢重夫さん
を悼む 日本画壇の
重鎮

中山 忠彦 日 経 11.25

特集 インテリアを
語る IV 私が推薦
する若手建築家1
建築的なだけではない、
建築家のインテリア
[中山英之]

岡田 栄造 建築雑誌 1591

ようこそ、新しい先生
情報デザイン学科
専任講師 中山博喜

中山 博喜 瓜生通信 47

中特集 作家の原点
中山雅子

高山 淳 美術の窓 308

SV ART PHOTO
GALLERY BABY
MSR[中山正羅]

編集部 STUDIO VOICE 403

特集 インテリアを
語る IV 私が推薦
する若手建築家2
領域をこじ開けるチ
カラ、への期待[永
山祐子]

新川 博己 建築雑誌 1591

美術品等収集状況
新収蔵作品より 名
柄正之

広島県立
美術館年
報 H19年度

新美術時評 巨匠た
ちの姿勢[流政之]

外館 和子 新美術新聞 1190

彩・美・風 流政之
の青春

瀬戸内寂聴 朝日夕刊 4.15

流政之の新作「IC-
CHORA」 寂聴作品
をモチーフに

(品) 東京夕刊 5.1

語る 彫刻家 流政
之 手触りで独自の
造形

日 経 1.11

特集 建築年報2009
(投稿論文) III 建
築界の動向と展望
英国における環境配
慮型建築の動向

南雲 要輔 建築雑誌 1594

夏目麻麦 記憶の蓄
積をミックスして描
いた、誰もでない人
物像

斉藤 博美 art _ icle 17

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 並河委佐子

切刀 知子 美術の窓 307

並河靖之と近代七宝
研究の現在

畑 智子 朱雀 21

作家の目 並木恒延

並木 恒延 美術の窓 309

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ル プロダクト編
奈良雄一

猪飼 尚司 デザインの現場 163

NY 地下鉄駅に落書
き 奈良美智さん逮
捕

産 経 3.11

写眼 浮遊感と緊張
感が同居 橋橋朝子
「ジュメイラビーチ、
ドバイ」(2009年)

篠原 知存 〃 10.31

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	成川 純子	美術の窓	309
日々好日 風景を求めて	成田 禎介	新美術新聞	1176
成田亨の美しい宇宙人 ウルトラン誕生秘話	石鍋 仁美	日 経	10.8
第三特集 カットアップ(ノー)フューチャー 成田舞	編集部インタビュー・文	STUDIO VOICE	405
建築業界サイド・バイ・サイド 鳴川肇 一新しい世界地図の発明から	中田 千彦、田中 元子 聞き手	建築雑誌	1593
行動するアーティスト: 名和晃平	住吉 智恵	ART iT	24
ようこそ、新しい先生 大学院芸術研究科准教授 名和晃平	名和 晃平	瓜生通信	47
学生企画—アートと共に生きる—アーティスト・名和晃平	〃	〃	48
SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART1 アーティストの生きる道 名和晃平	名和 晃平 談 小牟田悠介 インタビュー 小吹 隆文	美術手帖	928
現代美術の歩き方 今月の一品 名和晃平 (SCUM) Villus	編集部	美術の窓	311
ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション 作家10選 10 名和晃平		産 経	6.12
交遊抄 歩く彫刻	名和 晃平	日 経	5.30
特集 検証「批判的工学主義」—BUILDING K から考える II インタビュー 1 工学もデザインです	難波 藤村 和彦 龍至	建築雑誌	1591
特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト その戦略と実践「ヴォイドの戦略」の可能性 その同型性を通して	難波 和彦 岩元 真明	ユリイカ	567
中特集 風景 v.s. 光景 難波平人	高山 淳	美術の窓	309

(二)

第2回アール・ブリュット賞 グランプリ発表 スポンサー賞 新岡良平	新岡 良平 談	art_icle	18
-----------------------------------	---------	----------	----

無主題、無人称の詩としてのコンクリート・ポエトリー[新国誠一]	松井 茂	国立国際美術館ニュース	170
新国誠一研究の将来のために	中西 博之	〃	〃
REVIEWS03 詩のアイデンティティ [新国誠一]	中ザワヒデキ	美術手帖	920
SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダン PART 3 CHANOYU MODERN 茶の湯モダン 今に活かす茶の湯のココロ ヤン窯 ☆茶陶バトル 新里明士	沢田眉香子	〃	930
点鬼簿の作家像スケッチ帳 その17 新妻美・女・そして…	林 紀一郎	新美術新聞	1195
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 NIIMI	土田 貴宏	デザインの現場	163
INFORMATION 西尾康之、画集全2巻刊行! 「画集出版に思うこと」	西尾 康之	美術手帖	921
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 西岡一郎	高山 淳	美術の窓	307
展覧会から 1 高鳴った感激を淡々と寸劇風に色と形に代えて楽しむ西岡義一—言うなればそれは日本的というもののような気がする—	原田 平作	視覚の現場 四季の綻び	2
コミック ちょこらん 1 にしがきひろゆき(作) 小1男子の受難に含み笑い	南 信長 朝 日		11.22
特集 水墨画の未来へ 若手作家の自由で豊かな表現 西川芳孝	立島 恵	趣味の水墨画	243
Faces 32 SANAA 来るべき未来に向けて「西沢立衛」	大西 若人	ART iT	24
特集 プロジェクト・レポート—次なるキーワードを探せ 西沢立衛の「豊島アートプロジェクト」—アートと環境に調和する、建築の概念を超えた建築	土田 貴宏	A X I S	140
SANAA のロハスなパヴィリオンでロンドンっ子、森林浴 [西沢立衛]	伊東 豊子	芸術新潮	717

特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、 遊びたいおもちゃ 200 TOY TOPICS 私を虜にした一品	西島 大介	STUDIO VOICE	397	SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 1 アーティストの生き る道 西野達	西野 達 談 岩井 優 インタビュー 山内 宏泰 構成	美術手帖	928
特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コ ミュニケーションの 新次元! YOU- TUBE: A NEW POINT OF VIEW 西島大介	〃	〃	398	特集 春のアートフ ェア 見逃せないこ の画廊 この作品 近代美術《パレ ード》丸栄堂 西野 陽一		ギャラリー 一*	287
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代「スタジオ・ボ イス」400号アンケー ト	〃	〃	400	巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&⑥テクニ ックつき Part 1 油性画材編 10油性 フナオカ・キャンバ ス 西房浩二		美術の窓	306
特集 相対性理論 相対性理論の解法 4 西島大介	〃	〃	403	PREVIEW 西房浩 二 油絵展	瀧 梯三	〃	311
特集 タランティー ノ『イングリシア ス・パスターズ』の 衝撃 インタビュー 歴史を想像/創造す ることの倫理	クエンティ ン・タラン ティーノ 西島 大介 聞き手	ユリイカ	575	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 23 あいうえおはよ う[にしまきかやこ]	三宅 興子	太陽(別冊)	164
建築 西田司 オン デザイン「ヨコハ マアパートメント」	五十嵐太郎	毎日夕刊	9.14	視線 hi mi tsu ki chi 西宮大策著	新井 敏記 朝	日	8.23
西田伸一 2007— 2008年 作品の解説	西田 伸一	金沢学院 大学紀要	7	hi mi tsu ki chi 西 宮大策著		日 経	8.16
作家通信 最先端の 水墨リトグラフ	西田 壽夫	趣味の水 墨画	239	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 24 ゆうびんやさん のホネホネさん[に しむらあつこ]	和田 直人	太陽(別冊)	164
巻頭特集 手はすべ てを語る ⑥技法講 座 VOL. 15 実践 応用編 手の形態を しっかり把握し油彩 へおこす	西田 陽二	美術の窓	310	建築家の自邸評価… …木下道郎 木下道 郎さんのドッグハウ スを読んでみる	西村 伸也	建築雑誌	1593
特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 100%DESIGN TO- KYO/DESIGNTIDE TOKYO 話題の3組 西館朋央	高橋 美礼	デザインの 現場	163	サラリと描いて1万 回 作者、西村宗 さん語る	海老沢 類 産	経	6.8
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	仁科 新	美術の窓	309	「笑ってもらえる漫 画を」西村さん 連載1万回記念祝賀 会		〃	6.27
松代大本営と現代ア ート 第8回まつし ろ現代美術フェスティ バル誌上展 仁科 茂《メタファー》	仁科 茂	美術運動 史研究会 ニュース	106	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 57 バルバルさん [西村敏雄]	南谷 佳世	太陽(別冊)	164
銀座…アートで涼む [西野康造]	(和)	産 経	8.26	Art Chat Studio 4 谷内康生×西村浩幸 談	谷内 康生、 西村 浩幸 談	ギャラリ 一*	288
				モノリス・真下の宇 宙—1cm100年の土 のプロフィール	西本 剛己	明星大学 研究紀要	17
				表紙の解説 西山英 雄《薩摩雪》	山西 健夫	グリーン ルーフ	66

「静かなるドン」連載
1000回 極道通じ描
いた庶民賛歌[新田
たつお]

吉田 純子 朝日夕刊 3.10

ミュージアム・イン
タビユー 蛭川実花

aprire 15

特集 SPECIAL IS-
SUE VOL. 400 ス
タジオ・ボイスの時
代「スタジオ・ボ
イス」400号アンケ
ート

蛭川 実花 STUDIO
VOICE 400

視線 UMEZZ
HOUSE 模図かず
お・蛭川実花著

サエキけん 朝 日 11.8
ぞう

ニッポン人・脈・記
この一枚の物語3
「蛭川の娘」てめえで
咲いた

相場 郁朗 朝日夕刊 6.10

学びのふるさと 写
真の道の原点に「君
たちがやっているの
は美術」予備校で
怒られ基礎を磨く
写真家蛭川実花さん

服部 良祐 日経夕刊 5.21
聞き手

いま風金曜日 言葉
のアルバム 欲望
「瞬間」焼き付けたい
蛭川実花さん

蛭川 実花 読売夕刊 5.15
前田 恭二
聞き手

特集 SPECIAL IS-
SUE VOL. 400 ス
タジオ・ボイスの時
代「スタジオ・ボ
イス」400号アンケ
ート

式瓶 勉 STUDIO
VOICE 400

(ヌ)

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
(特別企画)2010年で
創立50周年! 社団
法人日本南画院の歩
みと今 沼田郁代

中野 中 美術の窓 313

沼田一雅について—
陶彫家の顔・彫刻家
の目—石川県との係
わりを併せて—

北澤 寛 石川県立
美術館紀
要 19

(ネ)

中特集 風景 v.s.
光景 根岸正

高山 淳 美術の窓 309

イイ顔めぐり逢い
バラ色の人生

根本 敬 STUDIO
VOICE 400

Recommend! New
Designer 根本崇史

編 集 部 デザイン
の現場 166

作家訪問386 陶芸
家 根本達志さん

目 の 眼 388

根本有華さん初の作
品集「アマレット」
故郷を探して旅へ

村上 智博 産 経 4.28

(ノ)

中山 忠彦、
寺坂 公雄、
能島 和明、
小灘 一紀、
久保田 徹、
大角 桂鳳
池田 透石
談 清水
司会

座談会 第四十一回
日展 審査を終えて

日展ニユ
ース 135

大臣賞制作意図 文
部科学大臣賞「敦
盛(黒川能)」

能島 和明 " "

日々好日 旅のよろ
こび

能島 征二 新美術新
聞 1178

彫刻家の現場から51
能島征二

武田 厚 美術の窓 310

アートの交差展を、
ふりかえる。

今泉 裕紗
青山ひろゆ
き 北村奈津子
タムラサト
ル 野口久美子
ザ・ルー
フ 35

海外に学び日本に学
ぶ ニューヨークと
日本の地方をつなぎ、
思考する

野口 健一 建築雑誌 1590

研究報告2.野口小嶺
「幽壑閑居図」につ
いて

山盛 弥生 実践女子
学園香雪
記念資料
館館報 6

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
野口哲哉 サブカル
チャーと古美術の混
血作品

玉屋 喜崇 ギャラリ
ー 292

2009年日本建築学会
作品選奨 東京音楽
大学100周年記念本
館[野口秀世]

建築雑誌 1593

ACP Artists×Critics
CRITIC 5 大地を異
化する「大地の鼓
動」野口佳枝作品

内田 麻紀 CLOSET 2

《太陽》の次へー野口
里佳の新作について

山田由佳子 国立新美
術館ニ
ュース 12

INFORMATION AU-
THOR この本の著
者に会いたい 野口
里佳の作品世界にた
っぷり浸れる一冊

山内 宏泰 美術手帖 920

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ル プロダクト編
NOSIGNER

高橋 美礼 デザイン
の現場 163

Art Chat Studio 3 加賀谷武、能島芳史
加賀谷武×能島芳史 談

PAPER IN MY WORK 123 野尻大作 紙と形状が導くデザイン 杉瀬 由希 デザインの現場 166

2009年日本建築学会作品選奨 沖縄県立博物館・美術館[能勢修治] 建築雑誌 1593

だいあろーぐ 東京彩人記「ペーパーアート」第一人者 野田亜人さん スパッと切り取り表現 井崎 憲 毎 日 2.18

新・私のアルバム19 野田とし子 小森佳代子 美術の窓 308

特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ! 追憶の00s ゼロ年代の死者たち 野田風 松本 弦人 STUDIO VOICE 405

中特集 巨匠展—今そして未来2009— 出品作家インタビュー 野田 弘志 美術の窓 308

美術学部教員展図録 デザイン 野田 理吉 愛知県立芸術大学紀要 38

「人間と祈り」追い37年 写真家 野町和嘉さん 読 売 4.28

収蔵作品から 野見山暁治「再び拍手」 中川美彩緒 ど お む 108

アトリエ日記62〜73 野見山暁治 美術の窓 304〜315

没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写真技法と知られざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 先駆者 〃 〃 308

追憶の風景 旧穂波村 画家 野見山暁治 消えたボタ山描きたい 大西 若人 朝日夕刊 11.14

交遊抄 絵本と漫画 野見山暁治 日 経 11.11

BAD INTERVIEW 野村佐紀子 山内 宏泰 STUDIO VOICE 397

INFORMATION AUTHOR この本の著者に会いたい 野村佐紀子が問う、モノクロ・カラー2冊の写真集 〃 美術手帖 919

視線 夜間飛行 野村佐紀子著 新井 敏記 朝 日 1.4

巻頭特集 散歩からはじめよう スケッチがもっと上手くなる ⑥技法講座 美術の窓 315
VOL. 16 野村重存【技法講座】色鉛筆で描く、郷愁の夕景

視線 遠い眼 野村次郎著 新井 敏記 朝 日 12.13

遠い目 野村次郎著 日 経 11.29

FEATURE アニメーション界で活躍する卒業生 野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治昇 吉田 さやか 山本 沙代 た ま び 52

国立新美術館×日本科学未来館 アート×サイエンス クロストーク VOL. 1 『野村仁 変化する相一時・場・身体』×『「おいしく、食べる」の科学展』 平井 章一、森田 由子 国立新美術館ニュース 11

ぎやらりいモール 国立新美術館「野村仁 変化する相一時・場・身体」から「正午のアナレンマ'90」 野村仁 平井 章一 読売夕刊 7.7

週刊コミックジャック 「とろける鉄工所」鉄と裸の付き合い[野村宗弘] 名越 康文 朝日夕刊 2.4

(ハ)

HOPE 空、青くなる ハービー・山口 著 日 経 7.19

ぎやらりいモール 川崎市市民ミュージアム「ハービー・山口写真展」から「Galaxy(『LONDON』より)」ハービー・山口 向野実千代 読売夕刊 7.28

交遊抄 変わらない人[龍島正雄] 島本 澣 日 経 7.23

特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 灰原愛 アニメやマンガ、仏像の影響がみられる正統派 森岡 光 談 ギャラリー 292

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44 灰原 愛 美術の窓 309

特集 NEW DISCOVERIES OF VINTAGE MIND 失われたロマン&ボルノ [波賀九郎]	大城 J G	STUDIO VOICE	402
わたしの宝もの51 マニ車	袴田京太郎	新美術新聞	1193
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレクション 遙玄水墨画協会 萩生田慧美子	武田 厚	美術の窓	313
奈良・興福寺の阿修羅像 宙空漂う「なぜ」の問いかけ	萩尾 望都	朝 日	5.18
みんなのマンガ学 ポーの一族 繊細な心理描写 文学に昇華 [萩尾望都]	倉持佳代子	朝日夕刊	4.1
ACP Artists×Critics CRITIC 1 主観的見方への問いかけ 「しんたいはっぶ」萩原綾乃作品	前池 有香	CLOSET	2
朔美さんと その8、9	佐藤 直樹 萩原 朔美	たまび	52、53
コミック 嫁姑の拳 函岬蒼(作) 前代未聞の嫁姑バトルに悶絶	南 信長	朝 日	6.14
通度寺霊山殿「妙法蓮華経・見宝塔品」壁画構造体からの考察	箱崎 睦昌 仲森本 有佳	京都嵯峨芸術大学紀要	34
江戸博蔵めぐり 髪梳ける女 橋口五葉・画	小山 周子	読 売	10.2
ローマ未来の原風景 by HASHI 過去と未来をつなぐHASHIの写真表現 [橋村奉臣]	新川 貴詩	美術手帖	931
特輯 幕末維新期の絵画—狩野派を中心に— 図版六 橋本雅邦筆 西行法師図	塩谷 純	国 華	1370
特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(一) 橋本雅邦筆「龍虎図」—『巴里萬国大博覧会出品録』からたどる博覧会出品の経緯	松谷 芙美	三の丸尚蔵館年報・紀要	14
古陶随伴録75 画家と陶芸 文人画家 橋本関雪	三好 一	目の眼	396
旧橋本関雪邸で火事 京都 2茶室全焼 不審火疑いも		読売夕刊	3.31
追悼 大山忠作先生 古武士のような風格のお姿	橋本堅太郎	新美術新聞	1180

追悼 大山忠作先生を偲ぶ	〃	日展ニュース	132
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイナル プロダクト編 橋本潤	倉西 幹雄	デザインの現場	163
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50 & ④テクニックつき Part 1 デッサン・スケッチ 用画材編 3 デッサン・スケッチ ソフトパステル 橋本清一(セイ・ハシモト)		美術の窓	306
東山魁夷と昭和の日本画展 朝陽桜 橋本明治 金泥地に詳細描写	山崎 妙子	読 売	12.29
特集 インテリアを語る II インテリアデザインとその手法 2 建築家に見る倉俣史朗、杉本貴志との共通点	橋本夕紀夫 杉浦 久子 聞き手 澤田 忍 文	建築雑誌	1591
蓮村泰子		art_icle	23
美術学部教員展図録 デザイン	長谷 高史	愛知県立芸術大学紀要	38
近代美術の眼 コップに挿した種子草 長谷川潔	都筑千重子	読 売	4.10
作家訪問388 ランブ作家 長谷川啓さん	編 集 部	目の眼	390
100歳の彫刻家長谷川さん 亡き娘の像 中野区へ 20年前制作「嫁に出す気持」 [長谷川鼎]		読 売	11.3
Go! Artists Go! 39 長谷川佐知子	編 集 部	美術手帖	925
日中戦争期における雲岡石窟と日本人美術家(2) 柳瀬正夢と長谷川三郎を中心に	五十殿利治	筑波大学芸術研究報告	53
再考—長谷川三郎—	河崎 晃一	兵庫県立美術館研究紀要	3
100人の心に響いた絵本100 国内絵本44 ホームランを打ったことのない君に [長谷川集平]	長友 啓典	太陽(別冊)	164
墨のある風景 長谷川沼田居—太陽花之図	江尻 潔	趣味の水墨画	244

特集Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 長谷川侑	高山 淳	美術の窓	307
日本人とこころ 長谷川利行と写生 上、下	三品 貴志	産 経	12.20,27
美の美 モダン東京—1930年代の夢 下 [長谷川利行]	白木 緑	日 経	5.10
制作ノート 長谷川冬香	長谷川冬香	武蔵野美術大学研究紀要	39
Osamu's Invitation 26 いじわるばあさん [長谷川町子]	原田 治	芸術新潮	719
サザエさんにみる日本の家族 [長谷川町子]	橋本野乃子	SAZAE 通信	9
サザエさんの洋服の変遷 [長谷川町子]	"	"	10
アポロ11号とサザエさん [長谷川町子]	"	"	11
特集 Mizú について Mizu を語る	長谷川由美	自由美術	2009
100人の心に響いた絵本100 国内絵本52 ぼくがラーメンたべるとき [長谷川義史]	桂 文我	太陽(別冊)	164
長谷川路可・チヴィタヴェッキア・1951年—1957年(1)	有田 巧	崇城大学芸術学部研究紀要	2
座談会 国立新美術館での自由美術展	大野 修、小川 リエ、長谷部 昇、中島 一雄 談 中野渡みね子	自由美術	2009
100人の心に響いた絵本100 国内絵本32 なつのいちにち [はたこうしろう]	今森 光彦	太陽(別冊)	164
インスピレーション 建築 30戸のバードハウスがつくる町 鳥たちの人気No. 1 は? [畑友洋]	ぼむ 企画	A X I S	140
SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART2 PROFESSIONAL INTERVIEW 実録! アーティストのセルフ・プロデュース術 コンペティション入選者に聞く! なぜ大賞を受賞できたの?	秦 雅則 編集 構成	美術手帖	928
[解説プログラム]二〇〇八年のアーティスト・トークから	畠山 直哉	現代の眼	574

実践! 絵画素材の科学27 アトリエ探訪 畠中光享	青木 芳昭	美術の窓	313
アトリエ訪問 キャラクターの時代に釈迦・経典を中心に、日本画の特質といえる形を豊かにする線・対比による鮮明な色彩・効果的なバックとしての余白などを追求してきた畠中光享	原田 平作	美術フォーラム21	20
マンガの国の「衣食住」「まんだら屋の良太」の「性春」「人生の回転ずし」見つめ [畑中純]	竹内オサム	毎 日	2.28
畑中良輔さん誕生日に芸術院会員を祝う会 ファンら400人が祝福	梅津時比古	毎日夕刊	2.23
特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボイス」400号アンケート	八谷 和彦	STUDIO VOICE	400
読書日記	"	日経夕刊	
1 『なつのロケット』 小学生にも出来たのだから			8.5
2 『銀座ミツバチ物語』 虫がたぐ人の縁			8.12
3 『だれも知らない小さな国』 妖精の声に耳をすませる			8.19
4 『無人島に生きる十六人』 希望から今日を始めよう			8.26
調査メモ 2点の「西郷隆盛像」について [服部英龍]	山西 健夫	グリーンルーフ	66
特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 エディトリアル・デザインはどうなる? 服部一成×松本弦人	ばるばる聞き手	STUDIO VOICE	400
アムドとカム地方にみる金属工芸と工房 少数民族・チベット族のデザインと工芸文化の国際共同調査	服部 等作	広島市立大学芸術学部紀要	14
《連載》戦時下日本の美術家たち 第34回 花岡萬舟一戦時画壇を舞い且つ走る	飯野 正仁	あいだ	167

「戦争画」花岡萬舟展
謎多い従軍画家、修復
約25作品

読 売 6.13

マンガの国の「衣食住」
「美味しんぼ」に見る飽食批判[花
咲アキラ]

竹内オサム 毎 日 7.25

コミック アイアム
アヒーロー1 花沢
健吾(作) ヘタレ男
の日常に不穏な影

南 信長 朝 日 9.13

現代美術の歩き方
今月の一品 花澤武
夫 暁露(Winter
Garden)

編 集 部 美術の窓 307

第8回全日本モノクロ
写真展 究める白
黒の美 手間と時間
惜しまずに

英 伸三 朝日夕刊 8.24

特集 これだけは知
っておきたいデザイ
ン大事典 教えてほ
しい巨匠のこと。
菊地敦己×花森安治

宮岸 毅、
菊地 敦己
談 鈴木 里子
デザインの
現場 164

写眼 早朝に輝く生
命の水玉 埴沙萌
「ヒノキの芽ばえ」
(昭和60年)

堀 晃和 産 経 6.27

アンケートに答えて
私の作品について

羽田 二郎 自由美術 2009

羽場文彦 2007—
2008年 作品の解説
と素材の研究

羽場 文彦 金沢学院
大学紀要* 7

REALTOKYO Picks
DESIGN『20 クラ
イン ダイサム ア
ーキテクトの建築』展

馬場 正尊 ART iT 23

写眼 端正…不思議
な静けさ 馬場道浩
「O」

篠原 知存 産 経 5.2

第45回主体展記念企
画 上野を語る1
東京都美術館の記憶

濱 哲郎 主体美術 86

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 濱實

高山 淳 美術の窓 307

みんなのマンガ学
浦安鉄筋家族 ギャ
グに稚気と元気あふ
れる[浜岡賢次]

吉村 和真 朝日夕刊 7.15

視点 浜口陽三・知
られざる油彩画の発
見

神林菜穂子 美術の窓 309

浜口陽三の油彩画確
認 独自の銅版画へ
試行錯誤

産 経 3.4

銅版画家・浜口陽三
初期の油彩画など新
発見

岸 桂子 毎 日 3.25

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
37 ぼくのかわい
くないもうと[浜田
桂子]

鳥越 信 太陽(別冊) 164

クリエイティブ・パ
ワー!—創造の現場
から— 第1回 美
術館テーマ展作家濱
田樹里氏インタビュー

T. M. 取材 A A C 62

テークオフ 日本画
家 濱田樹里さん
伝統を基盤に独自色
追求

西田 健作 朝日夕刊 12.10

『浜田知明—版画と
彫刻による人間の探
求』補遺

高浜州賀子 熊本県立
美術館研
究紀要 10

美の履歴書100 な
ぜ体だけ写したのか
「田植女」 濱谷浩

大西 若人 朝日夕刊 3.18

布との出会い

早川 重章 たいせつ
な風景 11

特集 『創造的対話
in パリ』最終章
後編

寺田 創一、
早川 俊二、
早川 結子 A S 31

独に渡った竹芸の粋
ハンプルクに初代尚
古斎の作品66点
100年経て無傷「帰国
展示を」[早川尚古
斎]

中里 宏 東京夕刊 12.2

「文化」支え50年 銭
湯ペンギン絵師逝く
庶民の至福彩り続け
[早川利光]

市川 千晴 東 京 6.1

特集2 早川良雄—
“顔”と“形状”

現代の眼 579

早川良雄先生のこ
と

黒田征太郎

イラストレーター
早川良雄のデザイ
ン

菅谷 富夫

Recommend! Orbi-
tuary 追悼 早川
良雄 デザインの醍
醐味を体現したマエ
ストロ

白田 捷治 デザイン
の現場 165

早川良雄さん(グラ
フィックデザイナー)
商業デザインの草分
け

日経夕刊 5.1

悼む 早川良雄さん
グラフィックデザイ
ナー 芳醇な作品と
人間性

中辻 悦子 毎 日 5.13

受賞作家アンケート
—「受賞の思い出」と
「今後の賞に期待す
ること」—

林 邦佳 陶 説 670

青春プレイバック 林敬二 横浜市西区 みなとみらい2-1 -1 日本丸(旧三菱 造船1号ドック)	高岡 忠雄	新美術新聞	1172
林さんが彫紙アート 展 動物や花の立体 作品23点[林敬三]	石丸 整	毎日	5.16
作家通信 巨樹を描く	林 孝二	趣味の水 墨画	248
第56回日本伝統工芸 展 漆芸 造形と技、 色彩が混然一体に 文部科学大臣賞 乾 漆蓮花食籠 林曉	高橋 隆博	朝日夕刊	9.24
港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ インタビュ ー ハヤシジュンジ ロウ	沢田眉香子	美術手帖	929
林忠彦が写した戦後 新宿歴史博物館で写真展		読 売	11.5
京都の大正文学 蘇 った想像力 河野仁 昭著 作家が京都に 求めたもの	林 哲夫	産 経	12.13
作家訪問397 額縁 屋 林友子さん	編 集 部	目の眼	399
特集 見ること見ら れること 羽山まり 子『keep distance』	倉茂なつ子、 奥村 潤子、 萬 翔子 インタビュー・聞き手	CLOSET	2
ACP Artists×Critics CRITIC 6 It is endless...『keep distance』羽山まり 子作品	倉茂なつ子	"	"
構図のはなし1 身 近な素材から始めま しょう—花、小動物、 静物[速水御舟]	和田 宏子	趣味の水 墨画	241
特集 速水御舟 日本 画への挑戦 対談 宮廻正明×古田亮		"	246
墨のある風景 速水 御舟—炎舞	山崎 妙子	"	"
新美術時評 新・山 種美術館の「速水御 舟展」を見て	島尾 新	新美術新聞	1200
速水御舟 日本画を 「破壊」する 画塾か らの出発 1909— 1917	山崎 妙子	太陽(別冊)	161
速水御舟 日本画を 「破壊」する 画塾か らの出発 1909— 1917		"	"

伝統的絵画になら う	高橋美奈子		
南画的手法の試み	"		
今村紫紅と新南画	鶴見 香織		
速水御舟 日本画を 「破壊」する 細密描 写をつきつめる 1918—1924	山崎 妙子	"	"
速水御舟 日本画を 「破壊」する 細密描 写をつきつめる 1918—1924		"	"
群青色に囚われて	高橋美奈子		
細密描写の限界に 挑む	勝山 滋		
神秘感漂う写真	櫛淵 豊子		
速水御舟と岸田劉 生	山崎 妙子		
五感でとらえた自然	櫛淵 豊子		
静物画的な風景	勝山 滋		
速水御舟 日本画を 「破壊」する 古典を 昇華する 1925— 1929	山崎 妙子	"	"
速水御舟 日本画を 「破壊」する 古典を 昇華する 1925— 1929		"	"
写真、装飾、象徴 の豊かな調和	櫛淵 豊子		
写真の琳派—御舟 の挑戦	古田 亮		
速水御舟 日本画を 「破壊」する 同時代 の表現者として 1930—1935	山崎 妙子	"	"
速水御舟 日本画を 「破壊」する 同時代 の表現者として 1930—1935		"	"
ヨーロッパ・アフ リカの印象	勝山 滋		
女性を描く	"		
自然を見つめなお す—花鳥画小品	櫛淵 豊子		
墨の魅力	高橋美奈子		
御舟の表現方法	宮廻 正明		
速水御舟 日本画を 「破壊」する		"	"
エッセイ 御舟の リアリティ	須田 悦弘		
エッセイ 魂[ブ シケー]と火焔	奥本大三郎		

エッセイ 散逸を まめがれた一大コ レクション	櫛淵 豊子				美の美 名作に開く 花—近代日本画の粋 3[速水御舟]	宝玉 正彦 日 経	3.15
クローズ・アップ 宋代院体花鳥画か らの影響	高橋美奈子				速水御舟の未完の大 作 初公開	小川 敦生 "	9.12
クローズ・アップ 人物画への挑戦— 《婦女群像》への道	"				視点	速水 史朗 美術の窓	
コラム 写生画卷 が語る御舟	櫛淵 豊子				彫刻が焼酎のラベ ルになった。		304
コラム 仏画、絵 巻の炎描写との比 較	"				善通寺借行社かふ え		306
コラム ヨーロッ パの鑑賞体験	勝山 滋				懐かしいよ洋食器 展		308
コラム 矢代幸雄 のイタリア美術鑑 賞メモ	高橋美奈子				かたの八郎からな まはげへ		310
コラム 北大路魯 山人との出会い	真田 邦子				かたの八郎からな まはげへ(後編)		311
対談 いま、御舟 の絵に向きあう	山下 裕二 松井 冬子				和菓子屋ホールで の個展		312
評伝 美でもなく、 醜でもなく	真田 邦子				なまはげがくれた もの(前編)		315
特別寄稿 父と過 ごした日々	吉田 和子				中特集 作家の原点 速水史朗	小森佳代子 "	308
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、 日本美術を楽しく学 ぶ! 一夜漬け日本 美術史 これから来 る、注目アーティスト を見逃すな! VOL. 02 速水御舟	編 集 部	美術手帖	922		PREVIEW 速水史 朗展—瓦と金箔—	" "	314
SPECIAL FEATURE 速水御舟 いまこそ、 その真価を問う! 対談 森村泰昌×山 下裕二	"	"	930		原勝四郎についての 覚書	寺口 淳治 和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	60
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 第1章ニッポン全国 墨絵めぐり 御舟17 歳 VS 御舟40歳 必 見35 36 御舟「瘤 取之巻」牡丹花(墨 牡丹)	高橋美奈子	美術の窓	313		みる 蛇腹でめぐる 7つの島	原 研哉 芸術新潮	718
日本美術のススメ Special 山種美術館 館長・山崎妙子氏に 聞く 速水御舟の線 への挑戦	山崎 妙子 談	"	314		特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 注 目の若手デザイナー が語る 上司から学 んだこと 01 植松 晶子 日本デザイン センター[原研哉]	杉瀬 由希 デザイン の現場	163
美の履歴書131 蛾 は何を意味するのか 「炎舞」 速水御舟	大西 若人	朝日夕刊	11.11		PAPER IN MY WORK 120 番外 編 TAKEO PAPER SHOW が2009年にリ ニューアルします!	原 研哉、 竹尾 欄 談 鈴木 里子 取材・文	" "
日本人とこころ 速 水御舟と先鋭 上、 下	篠原 知存	産 経	10.11、18		第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ イション受賞作品決 定 審査員のコメン ト	原 研哉 "	164
					日本のデザイン元気 印に[原研哉]	読 売	10.1
					特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	原 太一 美術の窓	309

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 原崇浩さんに聞きました 絵描きとして生きるって、ということ?	原	崇浩	〃	〃	美術学部教員展図録 デザイン	原田 鎮郎	愛知県立 芸術大学 紀要	38
男よ、“死人”の覚悟 持て 困難に立ち向かった後に喜び 漫画家原哲夫さん	諸岡	良宣	日経夕刊	6.3	日本一のコスモスにやすらぐ 今週の案内人 画家・グラフィックデザイナー 原田泰治さん 郷愁を感じる“すてきな脇役”	原田 泰治	朝日夕刊	9.15
SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダンPART 3 CHANOYU MODERN 茶の湯モダン 今に活かす茶の湯のココロ ヤン窯 ☆茶陶バトル 原菜央	沢田眉香子	美術手帖	930	本と私 画家 原田泰治さん 2人の画家との出会い	伏見 公男	読売夕刊	6.13	
特集 非線形・複雑系の科学とこれからの建築・都市 II 巻頭インタビュー 現代数学と私の40年史	原方 広司 倉方 俊輔 聞き手	建築雑誌	1590	研究発表〈要約〉《ドイツの少女》のC・プファフのこと [原田直次郎]	安松みゆき	近代画説	18	
特集 建築のデリバリー III デリバリーの編集 事例4 市民と各地の仲間に／港を届ける／施工のプロセス 海の市民がつくる7年都市 今治みなと再生[原広司]	伊藤 香織 平塚 桂	〃	1595	構図のはなし2 大きな三角形と視線、余白——一人の人物像 [原田直次郎]	和田 宏子	趣味の水 墨画	242	
作家通信 五里霧中—新たなる出発	原 博史	趣味の水 墨画	246	原田直次郎「騎龍観音」(一八九〇)における「帝国日本」の寓意—バヴァリアから護国寺へ—	長田 謙一	美術史	167	
特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 教えてほしい巨匠のこと。 平野敬子×原弘	青地 一與、 平野 敬子、 杉本友太郎 談 大城 譲司 文	デザインの 現場	164	「相方」の魅力 アートを楽しく 現代美術、2人組が活躍 [バラモデル]	小橋 弘之	日経夕刊	2.10	
CIGE2009 原游		art _ icle	17	交遊抄 モヒカン頭	張替 眞宏	日 経	4.11	
写眼 薄れゆく境界線描き残す 原芳市「幻の刻」	篠原 知存	産 経	7.4	特集 NEW MEDIA HORIZONS 視覚コミュニケーションの新次元! YOU-TUBE: A NEW POINT OF VIEW バルコキノシタ	バルコキノ シタ	STUDIO VOICE	398	
BAD INTERVIEW 原口典之	福住 廉	STUDIO VOICE	402	EXTRA COLUMN 『ウルトラマン』を見なおす! 監督・飯島敏宏インタビュー	バルコキノ シタ インタヴュー 編集部 文	〃	399	
Osamu's Invitation 16~27	原田 治	芸術新潮	709~720	特集 プロジェクト・レポート—次なるキーワードを探せ 坂茂の「ボンビドゥー・センター・メス」—異なる文化を軽やかに結ぶかたち	浦田 薫	A X I S	140	
どんな仕事? 漢字の楽しさ広げる 原田幹久さん		読売夕刊	11.21	インスピレーション インテリア 現代のL型モジュラーシステム 坂茂×アルテック「10ユニットシステム」	川上典李子	〃	〃	
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 原田規美恵	高山 淳	美術の窓	307	2009年日本建築学会賞(作品) ニコラス・G・ハイエックセンター[坂茂]		建築雑誌	1593	
受賞作家アンケート—「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」—	原田 拾六	陶 説	670					

HIDDEN DRAW- INGS 欧州のケバ ケバはジャングルの中 VOL. 1~3	半田 真規	STUDIO VOICE	397~399	明日へ 茶の世界を 作る2 親から子へ 重ねる技[飛来一閑]	読売夕刊	11.25
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 スタ ジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボ イス」400号アンケー ト	〃	〃	400	私の流した悔し涙 漫画家ひぐちアサさ ん	小林 慎 聞き手	毎日夕刊 3.26
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録! アーティストのセル フ・プロデュース術 海外経験の心得とは ?	〃	美術手帖	928	デザインワークラボ デザイン業界の転職 者に聞く4 ひぐち ゆきこ	井出 雅文	デザインの現場 165
人・街・声 版画家 ・歌人の半藤義英さ ん(97) なお衰えぬ 創作意欲	石塚 健司	産 経	12.3	コラム 2つの巨大 美術館	彦坂 尚嘉	建築雑誌 1589
視点 女流画家協会 '08ニューヨーク展 の報告	半那 裕子	美術の窓	305	シリーズ第2弾 地 方の美術運動を語る 武蔵野アンデパンダ ン展の43年	久村 進	美術運動 136
(ヒ)				中特集 作家の原点 飛澤行雄	高山 淳	美術の窓 308
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 58 ほくのかえりみ ち[ひがしちから]	田中 尚人	太陽(別冊)	164	「カーシム・サブテ ィー イラク―不死 鳥物語」展を見て	菱 千代子	美術運動 136
名古屋造形大学新C Iプロジェクト	東仲 雅明	名古屋造 形芸大紀 要*	15	土方巽著『病める舞 姫』のオリジンを探 る(第十三章による)	中村 文昭	日本大学 芸術学部 紀要 50
みる	東野翠れん	芸術新潮		美の美 南へ―楽園 を描いた日本人画家 下[土方久功]	窪田 直子	日 経 11.1
鉛筆と宝箱			709	近代日本画の構図決 定格子(四)―春草― [菱田春草]	金子 一夫	一 寸 38
静かな喜び			712	近代美術の眼 賢首 菩薩 菱田春草	中村 麗子	読 売 12.18
川端康成 蒐められ た日本の美		太陽(別冊)	157	別冊「版画芸術」の作 家 菱田俊子	秋田 真波	版画芸術 143
川端文学の世界 美についての十章 寒厳と祈りの美 [東山魁夷]	羽鳥 徹哉			PREVIEW 工藤健 ・日高頼子彫刻展	高山 淳	美術の窓 313
コラム 東山魁夷 と川端康成、魂の 交流	水原 園博			「放課後のほらっぱ」、 そこに込められた想 いとは!?[檀田伸也]	F.N.	A A C 62
東山魁夷と昭和の日 本画展		読 売		画家たちの美術史72 檀田伸也	林 洋子	美術手帖 918
満ち来る潮 緑青 と金際立つ華やか さ	高橋美奈子		12.25	この人 油絵で損保 ジャパン東郷青児美 術館大賞を受賞 檀 田伸也さん	森村 陽子	東 京 7.1
年暮る 年の瀬抒 情的に	山崎 妙子		12.26	巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品		
白い嶺 月下の舞 踏会	〃		12.30	BEST50&⑥テクニ ックつき Part 1 油性画材編 7 油性 シルバーホワイト 日野之彦		美術の窓 306
東山嘉事とタム・タ ム芸術集団	服部 正	ART RAMBLE	22			

SPECIAL FEATURE
アートの旅へ行こう！
PROJECT 1

日比野克彦 THE SEEDS TRIP 「種は船」 造船プロジェクト 種にのって種子島へ

ヒビノスベ
シャル 美術手帖 921フロントランナー
アーティスト 日比
野克彦さん 地域と
人をつなぐ種蒔く人

田中 三蔵 朝 日 8.8

日比野克彦氏日陶展
で講演

南田 奈穂 毎 日 4.19

段ボール船で大海原
へ 共鳴広がる参加
型アート[日比野克
彦]

石川 健次 毎日夕刊 4.2

福田繁雄さん悼む
驚かされた「ちゃめ
つけ」

日比野克彦 読 売 1.16

デザインに精神込め
る 人と物を結ぶ懸
け橋に コスチュー
ム・アーティストひ
びのこづえ氏 作り
手と買い手、発想共
有

日 経 1.1

座談会 連盟の「新
部門名」についての
提案酒井 忠康、
佐藤 孝子、
海老塚耕一、
大沼 映夫、
河嶋 淳司、
中村 錦平、
日比野ルミ、
山本 貞 談
吹田 文明
司会連盟ニュ
ース 430第15回土門拳文化賞
杉並の姫崎さん受賞
知的障害者との出会
い記録[姫崎由美]

釣田 祐喜 毎日夕刊 3.15

INTERVIEW MAKI
ONISHI+YUKI
HYAKUDA Archi-
tects[百田有希]

後藤 繁雄 花 椿 715

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
(特別企画)2010年で
創立50周年! 社団
法人日本南画院の歩
みと今 平井菱

中野 中 美術の窓 313

写眼 モノクロに浮
かぶ木々の群れ 平
尾千衣「新しい森」

海老沢 類 産 経 4.4

交遊抄 箱根のバリ
[平賀敬]秋山祐徳太
子 日 経 11.72009年日本建築学会
賞(作品) ニコラ
ス・G・ハイエク
センター[平賀信孝]

建築雑誌 1593

画家たちの美術史76
平川滋子

林 洋子 美術手帖 923

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
(特別企画)2010年で
創立50周年! 社団
法人日本南画院の歩
みと今 平川鶴男

中野 中 美術の窓 313

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 PART 2
PROFESSIONAL IN-
TERVIEW 実録!
アーティストのセル
フ・プロデュース術
コンペティション入
選者に聞く! なぜ
大賞を受賞できたの
?平川 ヒロ
編 集 部 美術手帖 928
構成芸術新潮特別企画
開光市 顔のラビリ
ンス

芸術新潮 714

特別展『五姓田のす
べて』岡山会場出品
作品について[平木
政次]廣瀬 就久 岡山県立
美術館紀 1
要没後80年 岸田劉生
もう一つの真実—そ
の写実技法と知られ
ざる日本画 Part. 3
現代の評論家・画家
が語る岸田劉生の魅
力 無形を写す心の
深さ

平澤 篤 美術の窓 308

平澤大暲の画業—大
正期を中心に[平沢
貞通]佐藤由美加 Hokkaido
Art Mus.
Studies* 2009特集 非線形・複雑
系の科学とこれから
の建築・都市 IV
建築への刺激3 秩
序／生命／建築

平田 晃久 建築雑誌 1590

ヒト 平田晃久—大
きな理論から、建築
の未来を生成する杉浦 久子
聞き手 桂 1597
平塚 構成Close-up 平田あす
か 自然体で、自身
の感性や想像に忠実
に制作 豊かな物語
性を含んだ夢の世
界!ギャラリー
一* 289素材を手の内に 衣
裳人形—平田郷陽
「洛北の秋」[長閑]

今井 陽子 淡 交 776

マンガ50年 劇画魂
4 弱者の怒りたた
き付ける[平田弘史]

市原 尚士 読 売 6.5

特集 コロナ・ブッ
クス創刊15周年 私
の好きなコロナ・ブ
ックス 小宇宙三景

平地 勲 百 科* 561

Close-up 平塚良一 絵を描くとは支持体 に色を接着したり、 削りとったりするこ と		ギャラリー 一*	296						週刊コミックジャッ ク「珈琲どりーむ」 コーヒの持つ若さ [ひらまつおさむ]	名越 康文	朝日夕刊	3.25
			1.16、30、 2.13、27、 3.13、 4.1、15、 5.13、27、 6.10、24、 7.8、22、 8.5、26、 9.9、30、 10.14、 28、 11.11、 25、12.9						特集 若き天才を見 逃すな！新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	平松 佳和	美術の窓	309
平野恵理子の身辺雑 貨	平野恵理子	読売夕刊							日々好日 あの日あ のとき	平松 礼二	新美術新 聞	1173
									新「山種美術館」開館 記念特別展 速水御 舟—日本画への挑戦 — 速水御舟展に寄 せて—凝縮した時を 駆け抜けた生涯	平山 郁夫	"	1196
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録！ アーティストのセル フ・プロデュース術 海外経験の心得とは ？	平野 薫	美術手帖	928						現代日本美術の最高 峰 平山郁夫氏 死 去		"	1203
ACP Artists×Critics CRITIC 3 見る人 によって変わる絵 「poetic license」平野 果林作品	張 智英	CLOSET	2						平和の祈り筆に込め 平山さん死去 文化 財保護に尽力		朝 日	12.3
美術品等収集状況 新収蔵作品より 平 野清		広島県立 美術館年 報	H19年度						平和の祈り筆に込め 平山さん死去 文化 財保護に尽力		"	"
									歴史理解 緻密な 絵画	梅原 猛 談		
									画家の枠超えた人 間力	高階 秀爾 談		
特集 これだけは知 っておきたいデザイ ン大事典 教えてほ しい巨匠のこと。 平野敬子×原弘	青地 一與、 平野 敬子、 杉本友太郎 談 大城 譲司 文	デザインの 現場	164						天声人語[平山郁夫]		"	12.4
									社説 平山さんを悼 む 文化財に平和を 託して		"	12.5
特集 文字のつくり かた ジャンル別・ 売上TOP10から見る 文字カタログ WEB 平野光太郎	山本 高樹	"	165						被爆国からのメッセ ージ3 核なき世界 へ 怒りではなく経 験を糧に[平山郁夫]	山根久美子 聞き手	朝日夕刊	8.3
									悠久ロマン雄大画境 平山郁夫さん死去 シルクロード・仏教 評伝	田中 三蔵	"	12.2
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ート	平野 太呂	STUDIO VOICE	400						平山郁夫さん死去 砂漠・人・遺跡 ふ れあい続け	渋谷 和彦	産 経	12.3
点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その13 ラ ンボーを愛した画家 平野遼	林 紀一郎	新美術新 聞	1182						平和への祈り貫いて 平山さん 被爆体験 が根底に		"	"
									平山郁夫さん死去 シルクロード、仏教 画		"	"
FEATURE アニメ ーション界で活躍す る卒業生	野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治昇 吉田 さやか 平原 沙代 山本	た ま び	52						追悼 画家 平山郁 夫氏「文化芸術が 平和の礎」の信念	絹谷 幸二	"	12.9
幕末から明治へ—平 福穂庵、作風の変化	太田 和夫	秋田美術	45						談話室 テーマ投稿 「追悼 平山郁夫画 伯」	天野 雅子 松本 達志 山本 珠貴 福島はる枝 田伏 正七	"	12.11

被爆原点「文化の赤ひげ」 平山さん死去 絵筆に平和の祈り 修復・保護へ世界奔走	稲葉 千寿 東京	12.3	日本文化の発信常に考え	松尾 敏男		
平山郁夫さん死去 日本画家 シルクロード描く		" "	現代的スタイル築く	尾崎 正明		
平山郁夫さんを悼む 垣間見た絵への執念 情熱的に駆け抜けた人生	田渕 俊夫 東京夕刊	12.3	評伝「菩薩行」多くの役割一身に	前田 恭二		
想うまに 諸行無常 平山郁夫氏を悼む	梅原 猛	" 12.14	平山郁夫さん死去 「功績は永遠に」 国内外から追悼の声		" "	
平山郁夫氏を悼む 本質を描いた求道の道 田渕俊夫	田渕 俊夫 日 経	12.3	平山郁夫と大いなるシルクロード 遠き旅路ロマン運ぶ「調和と安らぎ」パリの称賛	小宮 浩 読売夕刊	2.2	
平山郁夫さん死去 平和願い悠久描く 被爆体験が原点に 文化財保護にも情熱 仏教源流へ取材40万キロ	宝玉 正彦	" "	彫刻家の現場から47 平山隆也	武田 厚 美術の窓	306	
平山郁夫さん(日本画家)「魂の記録」薬師寺の壁画に	竹田 博志 日経夕刊	12.25	相撲取り組み文皿について[緒崎英朋]	佐々木守俊 町田市立国際版画美術館紀要	13	
平山郁夫さん死去	毎 日	12.3	鏡花の挿絵で花開く 錦木清方 小村雪岱 緒崎英朋 相次ぎ展覧会 埋もれた秀作に光	小川 敦生 日 経	12.19	
平和への祈り 貫き 画集、万里を駆ける	樋口 井上 岳 梢 後藤 多間 藤澤 茂人 石川 健次 梅原 健 猛		展覧会から5 「布の記憶／糸の時間」 一日中交流展一から	ひろいのふ ひこ 視覚の現場 四季の綻び	2	
シルクロード描く アジアに思い込め			つばき	廣崎 裕哉 陶 説	671	
余録[平山郁夫]	" "		廣島晃甫の生涯と彼を支えた人々ー廣島秀太郎、馬上孝太郎、八代京野兵衛門・葉子、廣島希求子と晃甫のつながりを軸にして	森 芳功 徳島県立近代美術館研究紀要	11	
特集ワイド この国はどこへ行こうとしているのか 画家 平山郁夫さん 「教育」が大切だ	小松やしほ 毎日夕刊	1.9	特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボイス」400号アンケート	ヒロ杉山 STUDIO VOICE	400	
平山郁夫さんを悼む 歴史のロマン追い求め	草薙奈津子	" 12.3	建築業界サイド・バイ・サイド 廣瀬大祐ー3Dモデリングとリアルなものづくりをつなぐ	中田 千彦、田中 元子 建築雑誌	1592	
平山郁夫さんの「漁夫」が故郷へ 尾道	柳沢 和寿	" 12.21	山下裕二の今月の隠し球59、60 広瀬美帆 「母であること、絵描きであること」〈上〉〈下〉	山下 裕二 美術の窓	314、315	
暴挙怒り一気素描 平山郁夫さんパーミヤン遺跡石仏メモ画	武田 良敬	" 12.28	鉄道撮り続け どこまでも 車両に加え車内の人も撮影して60年、時代の空気とらえる	広田 尚敬 日 経	10.22	
平山郁夫さん50作品 展示 目黒雅叙園80周年、来月14日から	奥村 登 読 売	1.20	SV ART PHOTO GALLERY Hiromix	Hiromix STUDIO VOICE	401	
平和の祈り「国民画家」 平山郁夫氏 被爆体験が原点 仏教、シルクロード描く	" "	12.3	ARTIST INTERVIEW HIROMIX	山内 宏泰 美術手帖	920	
平山郁夫さんを悼む	" "					

(フ)									
海のエジプト展 2 千年前の美に浸る 透ける衣なまめかし い 漫画家 細川智 栄子さん、美～みん さんと観賞	仲川 崇	朝日夕刊	8.24		第10回シャチハタ・ ニュープロダクト・ デザイン・コンペテ ーション受賞作品決 定 審査員のコメン ト	深澤 直人	デザインの 現場	164	
作品 窓	深沢 軍司	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	53		アーツ&クラフツ展 装飾は機能的芸術の 表現 プロダクトデ ザイナー深澤直人さ ん		朝日夕刊	2.27	
近代美術の眼 冬日 深澤素一・木版画	保坂健二郎	読 売	1.30		Art Chat Studio 1 深澤幸雄×星野美智 子×中山隆右	深澤 幸雄、 星野美智子、 中山 隆右 談	ギャラリ ー*	285	
巻頭特集 人体を描 く 美術解剖学でス テップアップ 巨匠 に学ぶ 深澤孝哉氏 に聞く 解剖学的人 体把握を制作に生か す 鑑賞者の目線の 位置を考える一正面 は五頭身、見上げれ ば八頭身	深澤 孝哉	美術の窓	314		特集 立体作家20 '09—ディーラーが 見る立体の動向— 深掘隆介 自由自在 の「金魚芸術」	竹松 千華 談	〃	292	
本づくし	深澤 直人	A X I S			年頭のごあいさつ	吹田 文明	連盟ニュ ース	429	
「豊かな時代と文 化に学びたい」 『縄文人の世界』 小林達雄著			137		座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野ルミ、 山本 貞 談 吹田 文明 司会	〃	430	
「余白が見えるこ と」『余白の芸術』 李禹煥著			138		巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ ワンポイント解説& グラビア 福井欧夏 表情豊かな女性を描 く「眼」と「口角」へ のこだわり	福井 欧夏	美術の窓	311	
「たくさんの気づ き」『火と水と木 の詩 私はなぜ建 築家になったか』 吉村順三著			139		特集 若き天才を見 逃すな！新人大図鑑 2009 評論家・ジャー ナリストが選ぶ 注目の新人アーティ スト11 福井江太郎	川口 直宜	〃	309	
「デザインとは物 の意味を与えるこ とである」『意味 論的転回—デザイ ンの新しい基礎理 論』 クラウス・ クリッペンドルフ 著／小林昭世ほか 訳			140		巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! これだけは見たい! 展覧会 福井江太郎 展「花」		〃	313	
「淡々と生きる」 『走ることについ て語るときに僕の 語ること』 村上 春樹著			142		人・模・様 植物の 生命の躍動を画集に [福井江太郎]	明 珍 美紀	毎日夕刊	5.2	
特集 クリエイティ ブ・トークセッション よしもとばなな &深澤直人 よしも とばななと深澤直人、 心に触れる「気づき」 を語る	浦川 愛亜	〃	141		特集 2009年はこの 若手に注目！ 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 福岡南央子	大城 謙司	デザインの 現場	163	
					作家随想1 きんた ま	福岡 道雄	視覚の現 場 四季 の綻び	2	

戦前と戦後の前衛絵画をつなぐもの—福沢一郎、鶴岡政男、北脇昇を例に	大谷 省吾 芸 叢	25	福田繁雄さん死去「視覚の魔術師」、大阪万博ポスターデザイン	毎 日	1. 16
神宮名品解説 神宮美術館所蔵 洋画「花」[福沢一郎]	中村 潔 瑞 垣	213	悼む 福田繁雄さんグラフィックデザイナー 色あせぬユーモア	岸 桂子 "	2. 18
Interview with the Brilliant Students 受賞学生インタビュー	福島沙由美 芸大通信	18	卓抜したアイデアとユーモア 福田繁雄さんを悼む	永井 一正 毎日夕刊	1. 20
中特集 作家の原点 福島隆壽	高山 淳 美術の窓	308	福田繁雄さん悼む 驚かされた「ちゃめつけ」	日比野克彦 読 売	1. 16
日々好日 25 Rue de Maubeuge, Paris (9e)	福島 瑞穂 新美術新聞	1201	福田繁雄さん死去 グラフィックデザイナー	読売夕刊	1. 15
新・私のアルバム22 福島瑞穂	小森佳代子 美術の窓	315	福田豊四郎の十代一遺されたスケッチが語るもの	山本 丈志 秋田美術	45
座談会 アンケート「作品の収納と管理について」を終えて	入江 観、上條 陽子、絹谷 幸二、久野 和洋、佐々木 豊、中根 瑞穂、小作 青史、中林 忠良、海老塚 耕一、吉野 毅、大成 司会	連盟ニュース 432	100人の心に響いた絵本100 国内絵本56 ほんどのおおきさ動物園[福田豊文]	姉崎 一馬 太陽(別冊)	164
研究部 新人画会と今 歴史における新人画会そして自由美術	福田 篤 自由美術	2009	構図のはなし 1 身近な素材から始めましょう—花、小動物、静物[福田平八郎]	和田 宏子 趣味の水墨画	241
街角アート 「遊気」凜凜—福田繁雄さんを偲ぶ	星野 清一 新美術新聞	1177	美術品等収集状況 新収蔵作品より 福田平八郎	広島県立美術館年報	H19年度
Recommend! Orbital 追悼 福田繁雄 日本のグラフィックデザインを伝えた道案内人	勝井 三雄 デザインの現場	164	美の美 名作に開く花—近代日本画の粋 1 [福田平八郎]	宝玉 正彦 日 経	3. 1
瀧口修造コレクションより—2 福田繁雄	稲塚 展子 ど お む	108	春の恐れ	福田 美蘭 東京夕刊	3. 3
福田繁雄さん・木村恒久さんを悼む 目にユーモア注ぐ	大西 若人 朝 日	1. 17	入門講座 印象派のなぜ 1～4	" 日経夕刊	2. 5、12、19、26
芸術 グラフィックデザイナー 福田繁雄さんを悼む 「面白さ」主役に喜と樂ふりまく	柏木 博 東京夕刊	1. 23	第1回絹谷幸二賞 選評 色に対し独自の感度	" 毎 日	3. 8
喪友記 福田繁雄さんを悼む あふれでる遊び心	杉浦 康平 日 経	1. 20	第14回日本絵本賞受賞作品 受賞作と講評 心開放する幸せ感じられる	" "	3. 25
福田繁雄さん(グラフィックデザイナー) 風刺と視覚トリック 一体	宝玉 正彦 日経夕刊	2. 20	今、思うこと	福田 玲子 主体美術	86
			茨城県つくば美術館の個展を迎えて 今、生きているということ	" 新美術新聞	1172
			第1回絹谷幸二賞贈呈式行われる 具象絵画の有望新人発掘の期待になう 受賞は福永大介氏(27歳)と坂本夏子氏(25歳)	"	1182
			ひと 第1回絹谷幸二賞に決まった画家 福永大介さん	岸 桂子 毎 日	2. 25

第1回絹谷幸二賞 神奈川県相模原市、 画家 福永大介さん	岸 桂子	毎日	3.8	賭博者(モラリス ト)としての「カイ ジ」	前田 豊		
第1回「絹谷賞」福永 さんに贈呈 今後も 創作誓う	岸 桂子	毎日	3.18	実写という「エス ポワール」	大森 美香 宇野 常寛 聞き手		
若い人たちの力に 絹谷幸二賞贈呈式 受賞の福永さんと坂 本さんがあいさつ 具現化する面白さ続 けたい	岸 桂子 棚部 秀行 鈴木 英生	毎日夕刊	3.19	特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 『黒沢』—闘争への序 曲		〃	〃
第2回絹谷幸二賞 来年2月に発表 第 1回受賞の福永さん コツコツ描き続けたい 奨励賞坂本さん 頑張っていく元気も らった	岸 桂子	〃	12.15	天はクズの上にク ズを造らず『最 強伝説黒沢』論 ガジェットと木偶 の坊 黒沢の最強 伝説にみられる戦 術について	杉田 俊介 池田 雄一		
青春ブレイバック 福本章 無頼をいく も酒と詩を愛する求 道士	窪田 元彦	新美術新 聞	1188	特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 僕等の手の在処		〃	〃
特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 対談 「ドル箱」いっ ぱいの愛を！ 勝ち 負けと、その先	福本 伸行 大槻ケンヂ	ユリイカ	572	賭博漫画と悪 福 本作品のリアリテ ィについて	酒井 信		
特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 福本という作家		〃	〃	決起の論理 『カ イジ』、『最強伝説 黒沢』、そして秋 葉原事件	白井 聡		
愚直の人	いしかわじ ゆん			心と世界が交互す るざわめき	中田健太郎		
“モテない男”にも 五分の魂	南 信長			ゆがみの図像学 「ぐにゃあ」と世界 が崩れたら	麻草 郁		
〈必然〉と〈偶然〉か らの福本伸行論	三浦 俊彦			「未来は僕等の手 の中」ブルーハ ーツと福本伸行	川島 章弘		
特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 『アカギ』あるいは、 〈理〉を超越する意志		〃	〃	リーダーはみんな のために 福本キ ャラと戦国武将に みるリーダーシッ プ	榎本 秋		
合理的な不合理主 義者としてのアカ ギ	とつげき東 北			特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 資料 福本伸行全著 作解題	市川 真人 編	〃	〃
『アカギ』あるいは、 〈理〉を超越する意 志 モル的な闘牌 赤木しげると桜井 章一	坂上 秋成			漫画「カイジ」映画化 原作者・福本さんに 聞く「自分を救う のは結局、自分」	戸津井康之	産 経	10.11
特集 福本伸行 『アカギ』『カイジ』 『最強伝説黒沢』…賭 けつづけるマンガ家 『カイジ』という祝祭 の場		〃	〃	甘やかさない 変化 の兆し 地道に働く 人間を笑う若者 漫 画家福本伸行さん	諸岡 良宣 聞き手	日経夕刊	10.14
				スペシャル 発見！ 藤雅三の油彩画《破 れたズボン》	高橋 秀治	美術の窓	306

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 PART 2
PROFESSIONAL IN-
TERVIEW 実録!
アーティストのセル
フ・プロデュース術
「地方」だからこそで
きる活動とは?

都市に集落発想取り
込め 建築からみる
社会の活気 藤井明
さんに聞く 無機的
な空間脱却を

SPECIAL FEATURE
第14回芸術評論入選
作発表 佳作 藤井
博論—もの・言葉・
時間—

われ発見せり ケー
キの切りかた

特集 Mizúについ
て Mizuを語る

フロントライン 藤
子・F・不二雄の大
全集

学びのふるさと
「東京に行く時期だ」
藤子・F・不二雄氏
の誘いでプロに 2
畳部屋で描いた月
100ページ 漫画家
藤子不二雄Aさん

マンガ50年 対談 藤
子不二雄Aさん×い
しかわじゅんさん

第56回日本伝統工芸
展 木竹工 曲線と
面の構成 高松宮記
念賞 樺栳漆判貫稜
線宮 藤寄一正

青春の刻 絵に傾け
る情熱がさまざまな
出逢いを生んだ・藤
崎千雲

交遊抄 歩く彫刻
[藤崎一]

裸婦にふさわしい場
をさがして 藤島武
二 裸体表現で試み
たこと

中特集 風景 v.s.
光景 藤島博文

藤城清治の影絵世界
カミソリで刻んだ60
年 昔話・祈り…広
がるテーマ

ADDITIONAL
GUIDE 熊野とは、
何処なのか? 藤代
冥砂が語る 人が聖
地に向かう理由

藤 浩志
坂 千秋
口 構成
美術手帖 928

清水 正巳 日経夕刊 12.17

石村 実 美術手帖 928

藤井 由理 ユリイカ 574

藤倉久美子 自由美術 2009

日 経 7.26

白石 透牙
聞き手 日経夕刊 7.9

読 売 12.30

唐沢 昌宏 朝日夕刊 9.24

趣味の水
墨画 242

名和 晃平 日 経 5.30

山梨絵美子 太陽(別冊) 158

高山 淳 美術の窓 309

田村 広済 日 経 8.30

藤代 冥砂
談 美術手帖 925

視線 砂漠 THE
DESERT 藤田一咲 村山 由佳 朝 日 7.5
著

素材を手の内に ガ
ラス—藤田喬平「虹
彩」「飾宮 菖蒲」 金子 賢治 淡 交 773

Art Chat Studio 5 山田 真巳、
山田真巳×藤田皓一 藤田 皓一 ギャラリ
(前・後編) 談 一* 289,290

第三特集 カットア
ップ(ノー)フューチ
ャー 浮舌大輔(20
TN!) 編集 部
インタヴュー・文 STUDIO
VOICE 405

《連載》戦時下日本の
美術家たち 第30回、
第31回「共栄圏美術」
(南洋)(2)
サイパン玉砕(1)
(2)[藤田嗣治] 飯野 正仁 あ い だ 160,161

藤田嗣治とモディリ
アーニー交友と影響
関係を中心に 石尾乃里子 Hokkaido
Art Mus. Studies* 2009

研究発表(要約)
「特攻」と「玉砕」—沖
縄戦と藤田嗣治をめ
ぐる一考察— 奥間 政作 近代画説 18

特別寄稿 藤田君代
さんの思い出[藤田
嗣治] 長谷川智恵子 芸術新潮 714

異国のまなざし—パ
スキンというミッシ
ング・リンク レオ
ナルド・フジタ(藤
田嗣治) なめらかな
肌をなでまわす感
覚の誘発 林 洋子 太陽(別冊) 158

コラム 藤田作品に
見る「タルク」の発見
と裸婦像の肌色 木島 隆康 " "

ドキュメント敗戦時
の記録3〜7—「藤
田嗣治・その生涯と
実像」調査から 笹木 繁男 美術運動
史研究会 ニュース 99〜103

視点 美術の窓

「フジタの消息が
不明!?」の記事 " 304

藤田嗣治、アメリ
カへの旅立ち " 305

藤田嗣治、渡来の
真実と新聞が伝える
経緯 " 306

相次ぐ、コモール
画廊藤田個展に対
する非難 " 307

一九五〇年藤田嗣
治のフランス到着
と取材騒動 " 308

藤田君代さんの思
い出[藤田嗣治] 長谷川智恵子 310

— 298 —

第44回主体展報告 第44回展審査について	藤本 卓	主体美術	85	達人に学べ 東京大 学教授の藤森照信さん 「西洋建築探偵」 と都内巡る	藤森 照信	毎 日	2.1
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代 「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ート	藤本やすし	STUDIO VOICE	400	本漫画 和田誠著 読書をテーマにした 「本好きの大人の絵 本」	藤森 照信	毎 日	2.1
特集 これからの本 のつくりかた 私た ち、本屋はじめまし て! 藤本やすし	立古 和智	デザイン の現場	167	近代書史 石川九楊 著 黒い線一本はこ こまで語りうるのか	藤森 照信	毎 日	9.27
特集 コロナ・ブッ クス創刊15周年 私 の好きなコロナ・ブ ックス ボクのセン スはコロナから	藤本やすし	百 科*	561	四コマ漫画一北斎 から「萌え」まで 清水 勲著 紙面左上に君 臨する「政権」の起承 転結	藤森 照信	毎 日	11.15
港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 藤本由紀 夫		美術手帖	929	特集 記憶の中の画 家 IV 彫刻家・山 口牧生	藤原 向意	文化往来 美の風	4
素材を手の内に 色 絵磁器—富本憲吉 「色絵金銀彩四弁花 染付風景文字文壺」 藤本能道「梅白釉軸 描色絵金銀彩鷺図扁 壺」	三上 美和	淡 交	780	ニッポン人・脈・記 この一枚の物語9 人の命あるがままに [藤原新也]	相場 郁朗	朝日夕刊	6.18
追悼 故清原啓一先 生を偲ぶ	藤森 兼明	美術の窓	305	土曜訪問 今こそ「メ メント・モリ」 藤 原新也さん(写真家 ・作家)	稲葉 千寿	東京夕刊	8.1
PREVIEW 藤森兼 明洋画展	高山 淳	〃	314	新幸福論 生き方再 発見 作家藤原新也 さん 喜びであれ悲 しみであれ「いい瞬 間」が勲章。	國枝すみれ	毎日夕刊	10.23
土門拳 鬼が撮った 日本 コラム こう して土門の仏像写真 は生まれた	藤森 武	太陽(別冊)	土門拳	本づくし 「ありの ままの事柄を上質な 情報へと昇華させる」 『住居空間の人類学』 石毛直道著	藤原 大	A X I S	140
写眼 撮れないもの を撮るには 藤森武 「葉隠」(2009年)	篠原 知存	産 経	10.24	インスピレーション 建築 藤原徹平の実 験—建築を超えるコ ミュニケーションと は?	ぼむ企画	〃	142
特集 東京新地形論 V 論考2 未知を 探る方法	藤森 照信	建築雑誌	1595	特集 インテリアを 語る V インテリ ア教育をめぐる2 桑沢デザイン研究所 の強み	藤原 俊樹 入江 徹 聞き手 磯 達雄 文	建築雑誌	1591
奇想遺産	〃	朝 日		荒川の竹工芸作家・ 武関さん 独の職人 らと文化交流へ あ すから現地所蔵の作 品調査も[武関翠篁]	中里 宏	東 京	10.10
カラニッシュのス タANDINGスト ーン イギリス			2.1	荒川・武関翠篁さん 独で竹工芸文化紹介 若者に日本の技術も 伝承	〃	〃	12.4
石の家 ポルトガ ル			3.1	独に渡った竹芸の粹 ハンプルクに初代尚 古斎の作品66点 100年経て無傷「帰国 展示を」[武関翠篁]	〃	東京夕刊	12.2
彩・美・風	〃	朝日夕刊	11.4、11、 18、25				
東京どんぶらこ 395 高尾山 日本 の風情ある名店	〃	東 京	9.12				
フロントライン 3 人の建築家が展示示 す[藤森照信]		日 経	7.12				

特集 フィールドワーク・スタディ I
フィールドワークは何を目指したのか
徹底して建築を見続けること

二川 幸夫
倉方 俊輔、大田 省一
聞き手

建築雑誌 1593

隔月建築雑誌「GA JAPAN」100号に「非効率でも全部見て撮る」「若い人に冒険心なく残念」 発行人の二川幸夫さん

大西 若人 朝日夕刊 10.21

二川幸夫さん「現代住宅全集」 建築家の考え 的確に撮る

高野 清見 読 売 4.9

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 武藤初雄

切刀 知子 美術の窓 307

写眼 日本人の心の源流求めて 船尾修「岩と稲」(平成15年)

堀 晃和 産 経 4.25

没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写実技法と知られざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 演出家としての劉生

舟木誠一郎 美術の窓 308

巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ グラビアと作家のコメントでみる美しい女性たち 舟木誠一郎

" " 311

この人 奥会津の過疎の村に定着した「織り姫」 舟木容子さん

小野塚未来 東 京 10.9

スペシャル・インタビュー 舟越桂 新作版画 見る人としてのスフィンクス

辺見 海 版画芸術 143

第50回毎日芸術賞 受賞者の業績 美術 I 部門(絵画・彫刻) 「舟越桂 夏の邸宅」(東京都庭園美術館) 舟越桂さん 人間の本质に迫る

高階 秀爾 毎 日 1.1

毎日芸術賞の人々 3 「舟越桂 夏の邸宅」 舟越桂さん 人間を肯定的にとらえ

岸 桂子 毎日夕刊 1.20

第50回毎日芸術賞 受賞者の喜びの声 彫刻家 舟越桂さん 答え提示し受賞にいたい

舟越 桂 " 1.29

特集 国際化時代の建築教育システムへ VI 世界の動向と日本 真のフィールド・ワークとは

布野 修司 建築雑誌 1588

コマ撮りアニメ制作 体験システムの研究 開発 「ワークショップコレクション」における

布山タルト 文星紀要 20

冬耳 冬 耳 art_icle 21

100人の心に響いた絵本100 国内絵本02 ともだちや[降矢なな]

久保田しげ子 太陽(別冊) 164

エッセイ・展評「タッチの差」、思いは伝わったか? —宮島昌子さんの「個展」に寄せて—

古川 武男 美術運動 136

伊勢神宮と神々の美術 時をつなぐ工人下 組みもの 古沢康史さん 20年ごと 織りなす伝統

産 経 8.14

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&⑥テクニクつき Part 1 その他画材以外の活用編 2 その他 アクリル板 古澤洋子

美術の窓 306

作家通信 山里は万華鏡の世界 古館 興 趣味の水 墨画 241

「古谷蒼韻作品集」 (菅) 読 売 11.15

特集 SPECIAL ISSUE VOL. 400 スタジオ・ボイスの時代 「スタジオ・ボイス」400号アンケート

古屋 兎丸 STUDIO VOICE 400

コミックガイド 幻覚ピカソ1 古屋兎丸[作]

南 信長 朝 日 3.8

大波小波 マンガ版『人間失格』[古屋兎丸]

(如是我聞) 東京夕刊 8.12

Recommend! New Designer 古屋貴広 編集部 デザインの現場 168

総特集 ペ・ドゥナ『空気人形』を生きてスウェットの女 ボン・ジュノにおけるペ・ドゥナ存在

古谷 利裕 ユリイカ 573

特集 若冲〈動植 綵絵〉・モザイク画 ・〈象と鯨屏風図〉… 永遠に新しい絵師の すべて 〈動植綵絵〉 熟観玩味「動植綵 絵」を観る複数の時 間	〃	〃	574	フェイス21世紀124 星美加 3DCGを 駆使して絵画の新た な可能性を模索	窪田 元彦	新美術新 聞	1185
特集 国際化時代の 建築教育システムへ III インタビュー 21世紀の建築家像と 制度としてのJABEE	古谷 誠章 談 南 泰裕 聞き手 久子 守山 談	建築雑誌	1588	SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、 日本美術を楽しく学 ぶ! 一夜漬け日本 美術史 ほしよりこ さんと行く 東京国 立近代美術館	編 集 部	美術手帖	922
特集 建築のデリバ リー III デリバリ ーの編集 事例2 子どもたちや教員に ノ学校を届けるノワ ークショップ 専門 家のコラボレーショ ンで「体験」をつくる [古谷誠章]	伊藤 香織 平塚 桂	〃	1595	EXTRA COLUMN UENO TOWN ART MUSEUM	保科 豊巳、 鷹見 明彦 談 集 部 編 文・構成	STUDIO VOICE	397
太郎さん100人描い てみたらふわこう いちろう]	村上 智博	産 経	1.23	SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 TALK SESSION 日本の美 術教育、徹底討論	村上 隆、 海老澤 功、 保科 豊巳 談 集 部 編 構成	美術手帖	928
(へ)				星野高志郎紙個展— 雲の通り路『海から 空へシリーズ』ギ ャラリーはねうさぎ	星野高志郎	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	5
惜別 写真家 平敷 兼七さん 沖縄の母 胎撮り続ける	八板 俊輔	朝日夕刊	10.31	100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 94 ウェン王子とト ラ	星野 博美	太陽(別冊)	164
OGインタビュー イラストレーター べつやくれいさん	べつやくれ い 談	女 子 美	163	視線 カリブー 極 北の旅人 星野道夫 著	新井 敏記	朝 日	9.20
特集 NEW DIS- COVERIES OF VIN- TAGE MIND 最も 軽いカメラ『写ルン です』[辺口芳典]	編 集 部	STUDIO VOICE	402	Art Chat Studio 1 深沢幸雄×星野美智 子×中山隆右	深沢 幸雄、 星野美智子、 中山 隆右 談	ギャラリ ー	285
(木)				別冊「版画芸術」ART COLLECTIONの作 家 星野美智子「絵 画は、沈黙する薔薇」	秋田 真波	版画芸術	145
特集 文字のつくり かた ジャンル別・ 売上TOP10から見る 文字カタログ 装丁 帆足英里子	大輪 俊江	デザインの 現場	165	大英博にマンガ堂々 「宗像教授」原画展11 月から 日本研究者 が縁結び[星野之宣]		朝日夕刊	10.24
画家たちの美術史75 法貴信也	中井 康之	美術手帖	921	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	細井美奈子	美術の窓	309
INFORMATION EX- HIBITION アートコ レクターに向けて、 BOME 作品の真価 を問う展覧会	あさのまさ ひこ	〃	931	近代美術の眼 薔薇 刑 作品32 細江英 公・撮影	増田 玲	読 売	5.8
第41回日展を前にし て 各科審査員より 日展初審査に臨んで	伯耆 正一	日展ニユ ース	134	細江英公『鎌鼬 普 及版』	(前)	〃	11.29
インタビュー 師匠 を持たない若手建築 家たち	保坂 猛、 大西 麻貴 談 入江 徹 聞き手	建築雑誌	1594	研究報告 飛騨の写 真家 細江光洋	南本 有紀	ミュージ アムひだ 研究報告*	H20年度
Go! Artists Go! 40 保坂毅	編 集 部	美術手帖	928	美術学部教員展図録 デザイン	細川 修	愛知県立 芸術大学 紀要	38

海のエジプト展 2 千年前の美に浸る 透ける衣なまめかしい 漫画家 細川智 栄子さん、芙へみん さんと観賞	仲川 崇	朝日夕刊	8.24	読 売 8.5	
invitation movie 草 食系だって闘う 21 世紀夏の陣[細田守]		芸術新潮	716		
長野県上田市 アニ メで初の町おこし 城下町の歴史肌で感 じて[細田守]	戸津井康之	産 経	8.3		
文化往来 注目の若 手、細田守監督アニ メが来月公開		日 経	7.28		
映画「サマーウオー ズ」対談 上、下 細田守監督×村上隆 氏	恩田 泰子 聞き手	読 売	7.29、30		
金曜討論 “アニメ の殿堂”は必要か 民間レベルで十分機 能[細野不二彦]	戸津井康之	産 経	7.17		
中特集 風景 v.s. 光景 阿美代子	高山 淳	美術の窓	309		
特集 魅せる小型グ ラフィック 手づく りが風合いを生む。 Bob Foundation	渡部 千春	デザインの 現場	168		
Go! Artists Go! 41 堀藍	編 集 部	美術手帖	931		
連載特集 追悼・山 岸信郎15 最初と最 後の山岸さん	堀 浩哉	あいだ	160		
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説10 美 共闘終わらぬ戦い [堀浩哉]	田中 三蔵	朝日夕刊	4.2		
土門拳 鬼が撮った 日本 特別寄稿 土 門拳さんの思い出	堀 文子	太陽(別冊) 土門拳			
追憶の風景 メキシ コ 日本画家 堀文 子 人間の本能感じ させた	大西 若人	朝日夕刊	2.24		
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 堀井克代	切刀 知子	美術の窓	307		
特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト 建築とい うフットプリント OMA のアーキテク トン 針と球、水平 性と垂直性、あるい は不動性と可動性	堀井 義博	ユリイカ	567		
第45回主体展記念企 画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	堀内 菊二	主体美術	86		
絵本作家・堀内誠一 再び脚光 初期の絶 版作品3点復刊					
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 堀江春美	中野 中	美術の窓	313		
学芸員のアート日記 アーティストと共同 制作 堀尾貞治さん とワークショップ	桐井 昇子	ど お む	106		
第56回日本伝統工芸 展 諸工芸 素材の 質生かす 日本工芸 会会長賞 横置椿円 研 堀尾信夫	横溝 廣子	朝日夕刊	9.24		
インタビュー 「地 方」と「前衛」のはざ まで 新潟現代美術 家集団(GUNの軌跡) 1967-75 前山忠+ 堀川紀夫氏に聞く	前山 忠、 堀川 紀夫 談	あいだ	158		
インタビュー 堀木 エリ子さん 和紙作 りそのものではなく、 空気や気配をどう創 りだすかにこだわ りたい		赤れんが	51		
特集 物質性/マテ リアリティの可能性 渡辺義雄による岡田 邸の写真[堀口捨巳]	ケン・タダ シ・オオシ マ 鈴木 恒平 訳	美術フォー ラム21	20		
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—そ の写実技法と知られ ざる日本画 Part.3 現代の評論家・画家 が語る岸田劉生の魅 力「見えなくてナ ンボ」	堀越 千秋	美術の窓	308		
2009年日本建築学会 作品選奨 さつき幼 稚園[堀場弘]		建築雑誌	1593		
巻頭特集 人体を描 く 美術解剖学でス テップアップ 対談 宮永美知子×本郷寛 美術解剖学の歴史と これから—美術解剖 学は人間を学ぶため の学問	宮永美知子、 本郷 寛 談	美術の窓	314		
木版画・本荘さん個 展[本荘正彦]		読 売	6.18		
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 本田久一郎	高山 淳	美術の窓	307		
第二特集 ゼロ年代 ヴィジュアルランゲ ージ ホンマタカシ ×大森克己	ホンマタカ シ、大森 克己、 町口 寛 談	STUDIO VOICE	405		

あとがきのあと「たのしい写真」ホンマタカシ氏 異論も覚悟、一石投じる 日 経 6.21

たのしい写真 よい子のための写真教室 ホンマタカシ著 田中 純 読 売 6.21

作家通信 自然 本間 法子 趣味の水 墨画 244

(マ)

インスピレーション インテリア 接ぐ、次ぐ、継ぐという思想 参の新提案2作品 川上典李子 A X I S 137

特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 参/MILE 土田 貴宏 デザインの現場 163

前史雄 2008年 作品の解説 前 史雄 金沢学院大学紀要 7

受け継がれる匠の技、日本の美 日本の美を塗面に彫る 沈金師前史雄さん 日 経 4.10

交遊抄 ズッコケ3人組[前川かずお] 坂井 宏先 〃 2.11

ACP Artists×Critics CRITIC 4 滑り落ちる視線「旅に出かけませんか」前川加奈作品 奥村 潤子 CLOSET 2

友倉小 岡茂島山川子野田村田谷本(悠)本 友倉小 前真前杉奥内洪松松杉 〃 〃

ACP Artists Open Discussion[前川加奈]

新・私のアルバム21 前川寿々子 小森佳代子 美術の窓 312

追悼 松井牧牛氏 松井先生を偲んで 前川 聖牛 新美術新聞 1200

写眼 美しい親鳥の姿と絆 前川貴行「ハクトウワシの親子」(平成20年) 堀 晃和 産 経 9.19

受賞作家アンケート「受賞の思い出」と「今後の賞に期待すること」 前田 昭博 陶 説 670

「前田昭博 白瓷の造形」展に寄せて 三浦 努 〃 680

ヤンキー建築 異形デザインの持つ力 [前田紀貞] 石鍋 仁美 日 経 7.9

第56回日本伝統工芸展 陶芸 作品に込められた「今の時代」日本工芸会総裁賞 色絵銀彩角鉢 前田正博 竹内 順一 朝日夕刊 9.24

みんなのマンガ学 ロボット三等兵 距離を置き、戦争を笑う[前谷惟光] 表 智之 〃 11.18

ACP Artists×Critics CRITIC 8 一片一片の感情の粒が作り上げた少女らしい空間「一喜一憂」前野里佳作品 張 智英 CLOSET 2

友倉小 岡茂島山川子野田村田谷本(悠)本 友倉小 前真前杉奥内洪松松杉 〃 〃

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 前畑省三 前畑 省三 美術の窓 307

特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 前原冬樹 リアリズムの極致と込められた詩情 横井 勝利 ギャラリー 292

《インタビュー》「地方」と「前衛」のはざままで 新潟現代美術家集団(GUNの軌跡) 1967—75 前山忠+堀川紀夫氏に聞く 前山堀川 忠、紀夫 あいだ 158

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&⑤テクニックつき Part 1 水性画材編 5 水性透明固形水彩絵具 真壁輝男 美術の窓 306

第三回星星会展を迎えて 一下田義寛・竹内浩一・田潤俊夫・牧進一 今も生きる高山先生の心 浅木 正勝 新美術新聞 1187

art news 神仏イブ ・ワン 牧島如鳩的 ユートピア		芸術新潮	714
文化往来 キリスト 教と仏教の集合、「牧 島如鳩展」		日 経	1.10
SPECIAL FEATURE 山下裕二センセイと、 日本美術を楽しむ学 ぶ！ 一夜漬け日本 美術史 これから来 る、注目アーティ ストを見逃すな！ VOL. 05 牧野邦夫	編 集 部	美術手帖	922
ひと 浮世絵の技法 を昇華させる木版画 家 牧野宗則さん	中根 正義	毎 日	2.7
大川栄二先生を偲ん で	馬越 陽子	ガ ス 燈	80
日々好日 永遠	〃	新美術新 聞	1184
海外の旅から(上) (下)	〃	〃	1195、 1196
PREVIEW 馬越陽 子の絵画世界一生そ して解放	中村 隆夫	美術の窓	304
追悼文 沢村美佐子 さんを偲んで	馬越 陽子	連盟ニュ ース	429
この人 廃校になっ た小学校の黒板にク レヨン画を描く 孫 内あつしさん	下山 純	東 京	9.9
作家通信 時の移ろ いを運に託して	正木 康子	趣味の水 墨画	238
コミック 御誂人情 幕ノ内 老 昌原光 一(著) 幸福な平凡 江戸の庶民生活	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	7.19
永青洋画劇場—未知 との遭遇— 正宗得 三郎「中国服を着た 女」の発見	石井 窓呂	永青文庫	66
作家通信 身体表現 と自然の関係につい て	間島 秀徳	趣味の水 墨画	242
特集 若き天才を見 逃すな！新人大図鑑 2009 評論家・ジャ ーナリストが選ぶ注 目の新人アーティ スト11 ましもゆき	清水 敏男	美術の窓	309
Close-up 増川卓嗣 メディアリテラシー の考察からリアルな 絵画に登場した「吹 き出し」		ギャラリー 一*	286
キャラクターデザイ ン学科の産学共同プ ロジェクト	増田 龍治 古賀 俊輔	瓜生通信	46

COVER GALLERY 増田龍治	増田 龍治	〃	〃
禅と庭に学ぶ 枅野 俊明さんに聞く 己 を磨き宇宙を表現 美・修行に完成はな い	河野 孝	日経夕刊	4.2
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録！ アーティストのセル フ・プロデュース術 プレゼンテーション の方法とは？	益村 千鶴	美術手帖	928
SPECIAL FEATURE アーティストになる 基礎知識 PART 2 PROFESSIONAL IN- TERVIEW 実録！ アーティストのセル フ・プロデュース術 コンペティション入 選者に聞く！ なぜ 大賞を受賞できたの ？	榎本 佳子 編 集 部 構成	〃	〃
巻頭特集 散歩から はじめよう スケッ チがもっと上手くな る ⑧技法講座 VOL. 16 増山修が 教える、風景スケッ チプロの技		美術の窓	315
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 17 でんしゃでいこ うでんしゃでかえろ う[間瀬なおたか]	梅原 淳	太陽(別冊)	164
第二特集 ゼロ年代 ヴィジュアルランゲ ージ ホンマタカシ ×大森克己	ホンマタカ シ、 大森 克己、 町口 寛 談	STUDIO VOICE	405
特集 若き天才を見 逃すな！新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	町田 至	美術の窓	309
巻頭特集 手はすべ てを語る ⑧技法講 座VOL. 15 町田久 美さんに聞く 手には 寡黙なイメージが ある	町田 久美 談	〃	310
ネオデニー・ジャパ ン—高橋コレクショ ン 作家10選 6 町田久美		産 経	6.8
特集 これからの本 のつくりかた 僕ら が本をつくる理由 [わけ] 町田寛	宮下 哲	デザインの 現場	167

青春の刻 町田泰宣 何ごとにも屈しなかつた絵への熱き思い		趣味の水 墨画	249	海外通信 「アムス テルダム内外」展 ニューヨーク マツ ザワの思想世界を紹介[松澤有]	富井 玲子	朝日夕刊	8.26
巻頭特集 これだけは 見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 町田泰宣	中野 中	美術の窓	313	PAPER IN MY WORK 121 松下 計 TAKEO PAPER SHOW 2009	杉瀬 由希	デザインの 現場	164
壁に刻む未来への願 い 人間テーマに壁 画を描く、踏み出す 勇気を与えたい	松井エイコ	日 経	11.17	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャ ーナリストが選ぶ注 目の新人アーティスト 11 松下雅寿	瀧 梯三	美術の窓	309
作家随想1 小舟に 乗って	松井 智恵	視覚の現 場 四季 の綻び	3	特集 勝手メディア の台頭 III ライブ に建築を編集する 音声メディアで建築 を伝える 建築系ラ ジオ	松田 達	建築雑誌	1589
速水御舟 日本画を 「破壊」する 対談 いま、御舟の絵に向 きあう	山下 裕二 松井 冬子	太陽(別冊)	161	海外に学び日本に学 ぶ バリ・ユルパニ スム研究所一建築家 が都市を学ぶ場所	"	"	1592
SPECIAL FEATURE いま読むべきアート ブック300 INTER- VIEW: 1 松井冬 子をつかった13冊	編 集 部 聞き手	美術手帖	917	特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト その戦略 と実践 プラットフ ォームに向かう思考 レム・コールハース 試論	"	ユリイカ	567
追悼 松井牧牛氏 松井先生を偲んで	前川 聖牛	新美術新 聞	1200	中特集 風景 v.s. 光景 松田千代子	高山 淳	美術の窓	309
第45回主休展記念企 画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	松井 豊	主体美術	86	人魚 松田尚之		石川県立 美術館だ より	303
作家通信 連載を終 えて	松井 陽水	趣味の水 墨画	246	designscape72~77	松田 行正	デザインの 現場	163~168
アート・トピックス Goods 松浦浩之の 立体作品「Windy Bunny」が1200限定 のハンディーサイズ で再現される		ギャラリ ー*	286	特集 これからの本 のつくりかた 僕ら が本をつくる理由 [わけ] 松田行正	宮下 哲	"	167
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 松浦正博	高山 淳	美術の窓	307	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 18 まいごのどんぐ り[松成真理子]	梶 よう子	太陽(別冊)	164
平山郁夫さんを悼む 日本文化の発信常に 考え	松尾 敏男	読 売	12.3	陶燈無尽一窯場に息 づく心と技 朝日焼	松林 豊斎 梶山 博史 取材・文	淡 交	785
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	松岡 歩	美術の窓	309	エッセイ・展評 府 中市美術館での企画 展を見て	松林 良政	美術運動	136
特集 文学者と美術 3 柳田國男[松岡 映丘]	甲斐 史子	文化往来 美の風	4	特別展『五姓田のす べて』岡山会場出品 作品について[松原 三五郎]	廣瀬 就久	岡山県立 美術館紀 要	1
インスピレーション 建築 建築家の登竜 門としての海外コン ペ[松岡聡]	ぼむ企画	A X I S	138	特集 国際化時代の 建築教育システムへ VI 世界の動向と日 本 後からは有利	松原 弘典	建築雑誌	1588
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 08 ぴょーん[まつ おかたつひで]	横田 重俊	太陽(別冊)	164				
Go! Artists Go! 36 松川はり	編 集 部	美術手帖	918				

特集 建築年報2009
(投稿論文) II 視点 依頼論文 知らない環を見せてくれる「窓」としての中国

松原 弘典 建築雑誌 1594

特集 立体作家20
'09—ディーラーが見る立体の動向—
松藤孝一 人間の動作と意識の原形を集約

武田美和子 ギャラリー* 292

作家通信 絵画と俳句の出会い

松村 響子 趣味の水 242

美術学部教員展図録
日本画

松村 公嗣 愛知県立芸術大学 38

フェイス21世紀127
松村公太 先人に見た生きぬく為の骨太の思想

宗像 克元 新美術新聞 1193

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44

松村 公太 美術の窓 309

巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!!
現代水墨作家セレクション 遙玄水墨画協会 松村幸代

武田 厚 313

人間

松村 浩之 多摩美術大学研究 23

音がこぼれるオブジェ
竹片やパイプ使い自動演奏、様々な場所で展示

松本 秋則 日 経 1.29

『版画アートコレクション』の作家 松本晃 「システム」の向こう側に生まれるアート

友澤 宏子 版画芸術 146

みんなのマンガ学
くるくるクルミちゃん 暗い時勢に底抜けの明るさ[松本かつち]

倉持佳代子 朝日夕刊 8.26

チョークアーティスト
松本佳菜子さん 祭イイベントで注目集める イタリア留学中。とりこに

松谷 譲二 毎 日 9.9

激を飛ばし続けてください!

松本 莞 ガ ス 燈 80

特集 SPECIAL IS-SUE VOL. 400
スタジオ・ボイスの時代 エディトリアル・デザインはどうなる? 服部一成×松本弦人

ばるばる聞き手 STUDIO VOICE 400

特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ! 追憶の00s

" 405

ゼロ年代の死者たち 野田風

松本 弦人

DESIGN&ARCHITECTURE 対談: 佐藤直樹×松本弦人

大城 譲司 構成

特集 これからの本のつくりかた 松本弦人 BCKKS ウェブブックがパソコンを飛び出す日

石田 純子 デザインの現場 167

研究部 新人画会と今 松本竣介における絵画と技法の変遷

斎藤 國靖 自由美術 2009

構図のはなし6 組み立てられた風景と人々の営み—一人のいる風景[松本竣介]

和田 宏子 趣味の水 246

平成二十年度西支部例会発表要旨 松本竣介『都会シリーズ』誕生の契機

山本 恵子 美術史 166

第六十二回全国大会研究発表要旨 「生きている画家」の戦後—松本竣介《彫刻と女》(一九四八年)を中心に—

坂本 育美 " 167

子供と暴力—松本大洋『鉄コン筋クリート』、模図かずお『Rōjin』、および『イアラ』続考—

高橋 明彦 金沢美術工芸大学 53

週刊コミックジャック「竹光侍」「緋」が支える表現[松本大洋]

藤本由香里 朝日夕刊 1.28

ザ仕事人 宮大工「歴史の空気」まで復元 道具、昔の彫り跡見て製作[松本高広]

浜 美佐 日経夕刊 1.6

特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 教えてほしい巨匠のこと。辻村久信×剣持勇

松本 哲夫、久信、辻村 久信、談 鈴木 里子 デザインの現場 164

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 松本信子

編集部 美術の窓 307

父の漫画息子が復刻「貸本」全盛期に活躍「松本正彦」

読 売 10.2

情熱と執念の仏400点 松本明慶さん彫刻展 池袋で

" 10.9

DATA GLASS PROJECT 2008/homo audience (homo sapiens audience)	松本 泰章	京都嵯峨芸術大学紀要	34	戦中最後の東大野球部主将 断たれた文武両道 無言館に遺作展示[丸尾至]	三浦 馨 産 経	8.15
ACP Artists×Critics CRITIC10 届けられた手紙、そして心の軌跡。「send one's complexity」松本悠美子作品	前池 有香	CLOSET	2	第13回手塚治虫文化賞 新生賞「パノラマ島綺譚」丸尾末広さん	小川 雪 朝 日	4.19
	友倉 小 岡茂島山川子野田村田谷本(悠)本本			週刊コミックジャック「パノラマ島綺譚」 絢爛たる別世界[丸尾末広]	藤本由香里 朝日夕刊	3.18
ACP Artists Open Discussion[松本悠美子]	友倉 小 岡茂島山川子野田村田谷本(悠)本本			ぎやらりいモール板橋区立美術館「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」 「鳥たち」丸岡慎一	高木 佳子 読売夕刊	8.4
松本陽子 ピンクの反転	阿部 真弓	国立新美術館ニュース	12	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説7 平和への軍旗「原爆の図」[丸木位里]	田中 三蔵 朝日夕刊	3.27
みんなのマンガ学 男おいどん 方言丸出しの主人公新鮮[松本零士]	吉村 和真	朝日夕刊	6.24	天安門事件の3連作を公開 埼玉・丸木美術館[丸木位里]	飯田 孝幸 東 京	6.20
話の肖像画 漫画家松本零士 1000年の復活 上、中、下	堀 晃和	産 経	12.15~17	イメージ&ジェンダー研究会活動報告 2007年1月~12月発表概要 《原爆の図》—ジェンダーの視点から—丸木俊の画業を中心に	小沢 節子 イメージ&ジェンダー	9
都開人 漫画家 松本零士さん 次世代の才能地域で育てる漫画・アニメ、世界と競争		日 経	4.15	ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説7 平和への軍旗「原爆の図」[丸木俊]	田中 三蔵 朝日夕刊	3.27
マンガの国の「衣食住」 「銀河鉄道999」のラーメンと4畳半庶民感覚の宇宙旅行[松本零士]	竹内オサム	毎 日	1.31	天安門事件の3連作を公開 埼玉・丸木美術館[丸木俊]	飯田 孝幸 東 京	6.20
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへグラビアと作家のコメントでみる美しい女性たち 松山賢	松山 賢	美術の窓	311	美の美 南へ—楽園を描いた日本人画家下[丸木俊]	窪田 直子 日 経	11.1
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	真鍋 修		309	「廃墟写真」まねされた 写真家が提訴[丸田祥三]	読 売	1.10
Art Chat Studio 2 佐藤杏子×真鍋武	佐藤 杏子、真鍋 武 談	ギャラリー*	286	特集 魅せる小型グラフィック Christmas Card Trial 1 丸橋桂×福寿産業	大城 譲司 デザインの現場	168
読みたい 本の現場 魔夜峰央さん 100冊を突破した人気ギャグ漫画シリーズ	内藤麻里子	毎日夕刊	12.8	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレクション 遙玄水墨画協会 丸本千尋	武田 厚 美術の窓	313
				特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 丸山司瑠	高山 淳	307
				フォービズムの洋画家故丸山妙子さん設立「70年会」が40回展	毎 日	9.28

巻頭特集 人気画家
が教えます おすすめ
画材この逸品
BEST50&⑥テクニ
ックつき Part 1
水性画材編 2 水性
ゴールドアクリリ
ックス 丸山勉

美術の窓 306

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
現代水墨作家セレク
ション 丸山東子

高山 淳 〃 313

松代大本営と現代ア
ート 第8回まつし
ろ現代美術フェス
ティバル誌上展 丸山
富之《作品》

美術運動
史研究会
ニュース 106

アートフェア東京
2009 丸山友紀

斉藤 博美 art _ icle 17

(ミ)

「ガラスの仮面」44巻
発売 美内すずえさ
さんに聞く「そろそ
ろまとめる時期」

宮代 栄一 朝 日 9.8

マンガ50年 少女漫
画革命3 70年代画
期的な名作登場[美
内すずえ]

西田 朋子 読 売 8.27

技法の現場から9
制作の現場から「聖
バルバラと達磨」

三浦 明範 連盟ニュ
ース 429

素材を手の内に 青
磁一板谷波山「雲青
磁牡丹彫文花瓶」
三浦小平二「青磁蓋
物 馬頭琴(ダツツ
アンにて)」

唐澤 昌宏 淡 交 783

視線 フィギュ和
みうらじゅんマガジ
ンVOL. 3 みうら
じゅん責任編集

サエキけん
ぞう 朝 日 1.25

視点 続々「原爆の
形象」

三浦 恒祺 美術の窓 311

展覧会から5 「三
上誠の生涯—恐怖と
寂寥が芸術を作る—」
展を終えて

星野 桂三 視覚の現
場 四季 1

特集 プロジェクト
・レポート次なる
キーワードを探せ
横浜市とみかんぐみ
の「市立あかね台中
学校」—環境に開か
れた学び舎として

神吉 弘邦 A X I S 140

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
三木サチコ 内面を
映し出した POP 像

松島英理香
談 ギャラリ
ー 292

芸術×モノ作りの粋
情熱結集の作品 仏
ミレー記念展へ[三
木俊治]

水越 直哉 東 京 6.12

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
三沢厚彦 動物彫刻
の実力派

西村 健治 ギャラリ
ー 292

SPECIAL FEATURE
日本の聖地、再発見
!! 伊勢神宮 OPI-
NION 彫刻家三沢
厚彦さんに聞く 木
の造形物としての神
宮

林 洋子 美術手帖 925

技法の現場から11
制作の現場から
「バクを彫る」

三沢 厚彦 連盟ニュ
ース 431

先輩に聞け! デザ
イナーが若いうちに
しておくべきこと
29 美澤修

石田 純子 デザイン
の現場 163

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ナル グラフィック編
三嶋章義

深沢 慶太 〃 〃

コミック 高校球児
ザワさん1 三島衛
里子(作) 新鮮 女
子高生が野球部員

南 信長 朝 日 5.17

マンガ最前線 三島
衛里子著『高校球児
ザワさん』 女子野
球選手の日常世界

細萱 敦 東京タ刊 10.6

特集 立体作家20
'09—ディーラーが
見る立体の動向—
三嶋りつ恵 透明で、
光を宿すガラス彫刻

佐谷 周吾 ギャラリ
ー 292

特集 Mizúについ
て

自由美術 2009

不思議が絵になる
[水島哲雄]

山岸 千冬

Mizu を語る[水島
哲雄]

藤倉久美子

ミズ先生と私[水島
哲雄]

國定 正彦

Mizu を語る[水島
哲雄]

長谷川由美

ミズ氏へのラブレ
ター[水島哲雄]

斎藤 昇

写眼 失われていく
景色 三栖幸生「町
田市原町田」(平成6
年)

堀 晃和 産 経 8.8

特集 記憶のアート ／消滅のアート 忘却を超える試み—7 人のアーティスト [水川千春]	編 集 部	ART	iT	23	第16回「VOCA 展 2009—新しい平面の 作家たち」VOCA 賞に三瀬夏之介氏決 まる	新美術新 聞	1173
朝日賞のみなさん 水木しげるさん 妖怪 の世界愛し愛され	小川	雪 朝	日	1.1	フェイス21世紀122 三瀬夏之介「日本 画」と「現代美術」の 狭間を探る	袴田 智彦	1180
心ゆたかな社会目指 し 3 賞受賞者スピ ーチ 朝日賞 漫画 家水木しげるさん			"	1.29	INFORMATION VOICE アーティ ストからの発言「J」 に寄せて	三瀬夏之介	美術手帖 920
ふるさとへの手紙 妖怪話を聞いて育っ た鳥取県境港市 水 木しげるさん	天野 剛志 聞き手		"	2.15	特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 新世代のトッ プアーティストにき く 三瀬夏之介	"	美術の窓 309
みんなのマンガ学 妖怪おもしろ大図解 楽しく怖く妖怪にリ アティー[水木し げる]	伊藤 遊	朝日夕刊		7.1	特集 若冲〈動植 綵絵〉・モザイク画・ 〈象と鯨図屏風〉…永 遠に新しい絵師のす べて カラー口絵 この若冲がすごい 現代の絵師たちが選 ぶこの一点〈雪中 錦鶏図〉 三瀬夏之 介選	"	ユリイカ 574
ゲゲゲの調布になる 原画展や昭和生活展 開催へ「ゲゲゲの 女房」ドラマ舞台 PR [水木しげる]	奥野 賢二	東京夕刊		9.2	here and there—ソ ウル/東京 溝部秀 二著		日 経 9.6
天井に妖怪ズラリ 鳥取の寺[水木しげ る]	小松原弘人	毎日夕刊		8.5	溝部秀二写真集 「here and there—ソ ウル/東京」	(前)	読 売 7.19
この人 自然環境を テーマに写真を撮り 続ける 水越武さん	牧野 俊樹	東 京		11.25	花摘みの証拠	三田 健志	多摩美術 大学研究 紀要 23
ホークスー筋62歳 酒豪の強打者 あぶ さん引退表明[水島 新司]		朝 日		3.20	特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 三谷青子	高山 淳	美術の窓 307
みんなのマンガ学 あぶさん 引退して も目が離せぬ62歳 [水島新司]	吉村 和真	朝日夕刊		10.14	海の詩 三谷吾一		石川県立 美術館だ より 308
特集 SPECIAL IS- SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ート	Mr.	STUDIO VOICE		400	彫刻家の現場から52 三谷慎	武田 厚	美術の窓 311
美の美 溝口健二の 神話1[水谷浩]	古賀 重樹	日 経		2.1	日本の油絵の独自性 に向かって 満谷国 四郎 装飾的で平面 的、寓意的な色面構 成	児島 薫	太陽(別冊) 158
古来の篆刻 次代に 印す 大卒後に家業 の修行、78歳のいま も技術を磨く	水野 恵	"		6.10	満谷国四郎《自画像》 の彷徨い—五姓田派 の所在を問うことの 意味—	角田 拓朗	美術研究 397
Faces 31 三瀬夏 之介 アートと呼ば ざるをえないもの	山岸かおる	ART	iT	24	『雲 III—equivalent をめぐる—』制作ノ ート	三橋 純	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要 4
人と墨10 三瀬夏之 介 白と黒で心を動 かす		趣味の水 墨画		239	新潟市役所2代目庁 舎と工学士・三橋四 郎	小林 隆幸	新潟市歴 史博物館 研究紀要 5

2009年日本建築学会 作品選奨 千葉市立 美浜打瀬小学校[光 本直人]			建築雑誌	1593					4 『傷はぜった い消毒するな』 自分の常識覆され る面白さ				10.28
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 湊圭子	高山	淳	美術の窓	307					印度の女 南政善		石川県立 美術館だ より	307	
特集 記憶のアート ／消滅のアート 琥 珀の心一消滅をめぐ る美術のごく小さな 歴史	港	千尋	ART iT	23					建築のある掌話 ヴ ォイス#1〜3	南	泰裕	建築雑誌	1589〜 1591
コラム 温室効果	"		建築雑誌	1591					ヒト 森田一義(タ モリ)氏一都市の地 形を豊かに読み解く 感性	南 杉浦 芝田 聞き手 平塚	泰裕、 久子、 義治 桂文	"	1595
作品 岡部昌生 被 爆樹に触れて 樹の 教え	"		札幌大谷 大学紀要*	39					特集 東京新地形論 I 解題	南	泰裕	"	"
写真の今と「写真展」 というありかた 展 覧会の遠近法	"		ミルフイ ユ	1					特集 レム・コール ハース 行動のアー キテクト 建築とい うフットプリント 傾いた柱 レム・コ ールハースの五つの 建築をめぐって				
活字再生一記憶から 創造へ	"		日 経	9.20					きる 聖なるラリッ クを求めて	南川三治郎	芸術新潮	716	
レヴィ=ストロース 氏を悼む 偉大なる 知性と感性	"		"	11.6					華やぎのジュエリー から煌きのガラスヘ ルネ・ラリック展5 立像 噴水の女神、 デルフューズ 水と 光 ハーモニーの妙	"	東京夕刊	7.30	
「レヴィ=ストロース の庭」文・写真 港千尋	(前)		読 売	2.15					わたしの宝ものの44 祖父の本棚	南館麻美子	新美術新 聞	1172	
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 話題の若手作 家の技法1 美浪恵 利	美浪	恵利	美術の窓	309					ふるさと 漫画家 みなもと太郎さん 京都市北区 授業料 から貸本漫画代	伊藤 史彦 聞き手	読 売	3.10	
南薫造の中学・美校 時代—1900年—1904 年までの2冊の日記 から	藤崎	綾	広島県立 美術館研 究紀要	12					点鬼簿の作家像スケ ッチ帳 その12 峰 村リツ子・童女・『女 の肖像』	林 紀一郎	新美術新 聞	1179	
From the Collection 南桂子《2人の少女 と花》1967年	伊藤	香織	GMAT News	30					64回目終戦の日 戦 禍の肖像 最後の個 展 僚友への鎮魂込 め 最前線の体験伝 える88歳[三橋国民]		日経夕刊	8.15	
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 97 セーラーとベッ カ、町へいく	南	伸坊	太陽(別冊)	164					中特集 風景 v.s. 光景 三原捷宏	高山	淳	美術の窓	309
INFORMATION ME- MORIAL 追悼・木 村恒久 キムラさん はすばらしい人だっ た。	"		美術手帖	920					彫刻家吉田三郎の作 品における肉づけに ついての一考察	三政	洋一	芸術学研 究(筑波)	13
読書日記	"		日経夕刊						人体塑造における量 の構成の研究	"	"	"	"
1 『正座と日本人』 意外な事実 に感じる喜び				10.7					Recommend! Archi- tecture コンクリ ートの屏風「house I」 [宮晶子]	鈴木	紀慶	デザインの 現場	164
2 『慢性疲労は 首で治せる!』 「自分の病気」は面 白い				10.14									
3 『寿命はどこ まで延ばせるか?』 学問のなせる境地 の死生観				10.21									

特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	宮井 麻奈	美術の窓	309						
巻頭特集 散歩からはじめよう スケッチがもっと上手になる ⑧技法講座 VOL. 16 スケッチブック見せて! 2 宮北千織/鉛筆による人物と筐のスケッチ	宮北 千織	〃	315						
小特集 小さなうつわの大きな宇宙[三宅一生]		芸術新潮	712						
きる 皮膚と一体化 [三宅一生]	編集部	〃	715						
a scent by issey miyake 「空気」をイメージしたイッセイミヤケの香水[三宅一生]	清水 早苗	デザインの現場	167						
コミックガイド 環状白馬線 車掌の英さん 都戸利津[作]	ササキバラ・ゴウ	朝 日	3.1						
トピックス 横浜・佐賀の子供達と宮崎曠代絵画展		美術の窓	313						
今月の読書 『旅芸人の手帖』 漂泊の後ろ姿が告げるヒトの生存の条件[宮崎進]	高岡 忠雄	新美術新聞	1183						
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 宮崎進	高山 淳	美術の窓	307						
没後80年 岸田劉生 もう一つの真実—その写真技法と知られざる日本画 Part. 3 現代の評論家・画家が語る岸田劉生の魅力 劉生と私	宮崎 進	〃	308						
第45回主体展記念企画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	宮崎 照雄	主体美術	86						
『ハウルの動く城』に見る魂の脱植民地化過程[宮崎駿]	深尾 葉子	明日の東洋学	21						
追悼 アニメーター・金田伊功さん宮崎監督が「頭」と呼んだ男 シャープな原画人をひき付ける魅力…「伝説の人でした」	堀 晃和	産 経	8.14						
とうきょうカフェ 宮崎アニメ	奥野 賢二	東 京	11.11						
「崖の上のポニョ」制作過程のDVD 宮崎監督手描きが原点	近藤 孝 読 売	11.18							
構想 無意識の下から 宮崎駿監督 米で語る	飯田 達人	読売夕刊	7.31						
特集 速水御舟 日本画への挑戦 対談 宮廻正明×古田亮		趣味の水墨画	246						
速水御舟 日本画を「破壊」する 同時代の表現者として 1930—1935 御舟の表現方法	宮廻 正明	太陽(別冊)	161						
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50 & ⑧テクニックつき Part 1 日本画・水墨画用画材編 1 日本画・水墨画 コリンスキー毛の面相筆 宮廻正明		美術の窓	306						
わたしの宝もの48 5寸の絵刷毛	宮下真理子	新美術新聞	1185						
特集 記憶のアート/消滅のアート 忘却を超える試み—7人のアーティスト [宮島達男]	編集部	ART iT	23						
特集 黒田アキ 無秩序と宇宙	黒田アキ、達男 宮島対談 森司会	水声通信	28						
芸術と人の命 表現することで輝く子どもの顔	宮島 達男	東京夕刊	8.6						
エッセイ・展評 「タッチの差」、思いは伝わったか? — 宮島昌子さんの「個展」に寄せて—	古川 武男	美術運動	136						
2008年度日本芸術院賞決まる 恩賜賞・小山やす子氏、藪野健氏、宮瀬富之氏が受賞		新美術新聞	1181						
特集 魅せる小型グラフィック 企業の意志を具現化するために ドラフト宮田識	大城 譲司	デザインの現場	168						
Osamu's Invitation 17 宮田重雄の挿絵作法	原田 治	芸術新潮	710						
大臣賞制作意図 内閣総理大臣賞「シュブリンゲン『悠』」	宮田 亮平	日展ニュース	135						

新・私のアルバム18 宮田亮平	小森佳代子	美術の窓	307
中特集 作家の原点 宮田亮平	〃	〃	308
アートナウ 「学長 と語ろうV 奏楽堂 トーク&コンサート」 開催 東京芸術大学 宮田学長、文化庁長 官青木保氏を迎えて	〃	〃	311
学長力 ときめき呼 び起こす 東京芸術 大 宮田亮平学長	葉山 梢 朝 日	1.5	
仕事中 おじやまし ます 行動派学長、 素顔の輝き 鍛金作 家 宮田亮平さん	小林 伸行	朝日夕刊	6.15
帰りたい 私だけの ふるさと 新潟県沢 根町(現佐渡市) 渡 し板踏むたび刻んだ 思い	宮田 亮平 西 和久 聞き手	毎日夕刊	2.12
ふるさと 東京芸術 大学長、金工作家 宮田亮平さん 新潟 県佐渡市 旅立ちの 朝イルカの群れ	杉野謙太郎 聞き手	読 売	3.3
ベルリン壁画 女性 画家修復 平和の願 い 再び絵筆に[宮 武貴久恵]	弓削 雅人	東京夕刊	9.12
顔「ベルリンの壁」 に自身が描いた絵を 修復した 宮武貴久 恵さん	三好 範英	読 売	10.6
art news Toyo's Cameraが捉えた強 制収容所という日常 [宮武東洋]		芸術新潮	713
日系収容所 笑顔写 した謎 宮武東洋が 隠し撮りした「日常」 を材料に記録映画	すずきじゅ んいち	日 経	2.5
カメラがとらえた強 制収容所 写真家・ 宮武東洋の映画公開 日系人社会苦しみ描 く		読売夕刊	4.11
特集 記憶のアート ／消滅のアート 宮 永愛子 「行ってい しまった今」あるいは 「永遠」	小池 一子	ART iT	23
SV ART ART SPACE 宮永愛子	小吹 隆文	STUDIO VOICE	400
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 22 おまえうまそう だな[宮西達也]	金柿 秀幸	太陽(別冊)	164
アンケートに答えて 私の作品について	宮原 茂	自由美術	2009

中特集 ベストセレ クション 宮原武義	高山 淳	美術の窓	312
特集 プロジェクト ・レポート次なる キーワードを探せ 宮本佳明の「屋根。 100年―澄心寺の未 来を考える―」スケ ルトンとしての屋根 から生まれる可能性	土田 貴宏	A X I S	140
特集 東京新地形論 II 論考2 土建空 間、東京	宮本 佳明	建築雑誌	1595
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 宮本玄雲	宮本 玄雲	美術の窓	307
こころの玉手箱 女 優 佐久間良子3 宮本三郎画伯が描い た肖像画	佐久間良子	日経夕刊	9.9
版画入門講座(木版 画) 最終回 作品 の完成まで	宮山加代子	版画芸術	143
私の履歴書30 建築 だけは食欲に 名誉 も地位も財産も求め ず[宮脇愛子]	磯崎 新 日 経	5.31	
特集 フィールドワ ーク・スタディ II デザインワークとし てのフィールドワー ク デザイン・サー ヴェイの意義と可能 性―建築家・宮脇愛 子のサーヴェイ	中山 繁信	建築雑誌	1593
甲冑の技、守り伝え 70年 室町時代から 続く一族、製作や名 宝修復1000領	明珍 宗恭	日 経	10.5
民芸・デザイン・染 色 三代澤本寿の仕 事―プロローグ―	武藤 美紀	エクラン 松本市美 術館紀要	1
薫る王朝アバンギャ ルド 古典美ここに 凝縮 精緻にして大 胆 三好和義写真集 12月中旬刊行予定	村瀬 成幸	朝 日	9.5
写眼 モノクロと印 画紙の底力 三好耕 三「SAKURA 櫻覧」 (2009年)	篠原 知存	産 経	12.12
受賞作家アンケート ―「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」―	三輪 休雪	陶 説	670
観流 三輪休雪展 萩の伝統が生んだ前 衛	中村 俊介	朝 日	3.21
人ひとこと 十二代 三輪休雪さん 梓超 え45年の集大成	〃	〃	8.5

三輪休雪展「陶」に
息づく情念 伝統超
える戦慄の「かたち」

石崎 泰之 朝日夕刊 8.24

ひと「白寿展」を2
日から開く萩焼の人
間国宝 三輪壽雪さ
ん

占部 正彦 朝 日 1.1

《野外展レポート》II
分裂した展覧会—花
かアートか、だんご
が先か

みわはるき あ い だ 166

(ム)

次世代人 作品と行
為 境界壊す 向井
山朋子

松本 良一 読売夕刊 8.1

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
現代水墨作家セレク
ション 武者素子

高山 淳 美術の窓 313

この人 フランスの
トランプ美術館で日
本画展示 武藤敏さ
ん

清水 俊郎 東 京 1.1

ひと 仏美術館が
「百人一首」の絵を購
入する画家 武藤敏
さん

西川 恵 毎 日 12.19

ぎやらいモール
八王子市夢美術館
『ムットーニワール
ドふらぐりシアター』
から「カンターテド
ミノ」[武藤政彦]

浅沼 壘 読売夕刊 6.16

棟方志功 壁の下に
も55年

芸術新潮 709

天馬の図 幻の棟方
志功の大壁画半世紀
振りに現れて

近藤 京嗣 陶 説 671

中特集 作家の原点
棟方志功

美術の窓 308

文字の力・書のチカ
ラ 下「妙真」棟方
志功

笠嶋 忠幸 読 売 1.21

素材を手の内に 紬
一宗廣力三「縞に丸
文どぼんこ染淡鼠地
絛着物」 志村ふく
み「紬織着物 月待」

今井 陽子 淡 交 781

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 宗雪孝夫

宗雪 孝夫 美術の窓 307

特集 Part. 2 現代
の作家が語る画家の
原点!! 村井とし子

編 集 部 " "

マンガ50年 ラブコ
メの風3 実験! 女
性編集者と「胸さわ
ぎ」[村生ミオ]

佐藤 憲一 読 売 10.8

第14回日本絵本賞受
賞作品 読者賞「ク
ラウディアのいのり」
村尾靖子さん

毎 日 3.25

構図のはなし8 画
面の形が引き出す題
材の魅力—縦長と横
長[村上華岳]

和田 宏子 趣味の水
墨画 249

美の美 名作に開く
花—近代日本画の粹
1、4[村上華岳]

宝玉 正彦 日 経 3.1、22

先輩を訪ねて 村上
清先生

文化財保
存学専攻
保存修復
彫刻年報 2008年度

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
現代水墨作家セレク
ション 遙玄水墨画
協会 村上志久

武田 厚 美術の窓 313

海外に学び日本に学
ぶ ゆったりと流れ
続ける時間と日常行
為としての議論

村上 心 建築雑誌 1593

特集 パリと骨董
特別記事1 世界の
ムラカミ、骨董を語
る[村上隆]

編 集 部 芸術新潮 712

連載 辻惟雄×村上
隆 ニッポン絵合せ

辻 村上 惟雄 隆 " 718~720

秋元康流「アートの
すすめ」第6回ゲ
スト 村上隆

山内 宏泰 美術手帖 919

INFORMATION
PROJECT《inochi》
フィギュア限定発売
! 村上隆《inochi》
に限りなく近いフィ
ギュア登場

あさのまさ
ひこ " 922

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識 TALK
SESSION 日本の美
術教育、徹底討論

村上 隆、
海老澤 功、
保科 豊巳
談 編 集 部
構成 " 928

SPECIAL FEATURE
茶の湯の美 クラシ
ック&モダン
PART 3 CHANOYU
MODERN 茶の湯
モダン 今に活かす
茶の湯のココロ 坂
田和實×村上隆 茶
に想う……美と価値
のパラダイムシフト

山内 宏泰 " 930

派手から一転、テー
マは「貧」 村上隆さ
んの GEISAI

大西 若人 朝 日 11.28

世界のムラカミの温
故知新 骨董 現代
美術家村上隆さん

朝日夕刊 1.8

彩・美・風 美術のあり方広げる村上隆	坂井 直樹	毎日夕刊	8.19						
映画「サマーウォーズ」対談 上、下 細田守監督×村上隆氏	恩田 泰子 聞き手	読 売	7.29、30						
コミック 星守の犬 村上たかし(作) 犬と一緒に人生の終点まで	山脇 麻生 朝	日	8.2						
「埋もれた天才」のことなど[村上為俊]	丹尾 安典 一	寸	38						
100人の心に響いた絵本100 国内絵本60 くじらのパス [村上康成]	金原 瑞人	太陽(別冊)	164						
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレクション 村木千里	高山 淳	美術の窓	313						
葬友記 村木与四郎さんを悼む 名相に名匠あり	野上 照代	日 経	10.30						
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 村岸良華	中野 中	美術の窓	313						
100年の時超え 屏風お披露目[村越向栄]		産 経	10.6						
足立区の千住 渋谷さん夫妻 琳派画家の屏風を寄贈 明治一大正に活躍 村越向栄 区立郷土博物館「郷土史的にも貴重な資料」	岡村 淳司	東 京	9.30						
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 村田一平	高橋 美礼	デザインの現場	163						
村田佳代子さん個展 日本人殉教者の信心感じて		読売夕刊	6.1						
村田省蔵 2007—2008年 作品の解説	村田 省蔵	金沢学院大学紀要*	7						
村谷聡志 2007—2008年 作品の解説	村谷 聡志	〃	〃						
特集 インテリアを語る III 建築とインテリアをめぐる思考1 様相が内部空間の構成を食い破るとき—村野藤吾の現代的性	青木 淳	建築雑誌	1591						
SPECIAL FEATURE アーティストになる基礎知識 PART2 PROFESSIONAL INTERVIEW 実録! アーティストのセルフ・プロデュース術コンペティション入選者に聞く! なぜ大賞を受賞できたの?									
日々好日 仏像と私	村松秀太郎	新美術新聞	1174						
青春ブレイバック 村松秀太郎 骨の髄からの「愛と生の讃歌」	袴田 智彦	〃	1185						
謎の大作《日曜の遊び》—描いたのは、村山槐多か山本鼎か	村松 和明	岡崎市美術館研究紀要	3						
彼の桜の樹には[村山槐多]	堀部 功夫	国語国文	898						
情感とエロティシズムの表出あるいは、造形の実験 村山槐多 槐多芸術のビッグバン—裸婦	窪島誠一郎	太陽(別冊)	158						
深層新層 村山槐多に新説・新資料 迫力ある水彩画の大作 少年時代投稿の詩...	田中 三蔵	朝日夕刊	12.16						
あの人に会う 日本近代史を訪ねて 村山槐多 1~6	岸 桂子	毎 日	7.12、19、26、8.2、9.16						
作家通信 「マンツーマンで学ぶ水墨画」連載を終えて	村山 華鳳	趣味の水 墨画	238						
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 村山華鳳	中野 中	美術の窓	313						
作家訪問396 陶芸家 村山健太郎さん	編 集 部	目の眼	398						
中特集 風景 v.s. 光景 村山陽	高山 淳	美術の窓	309						
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ グラビア&インタビュー 村山留里子「その時々自分を、ありのままに受け入れています」	村山留里子 談	〃	311						
情報館 府中市美術館「府中ビエンナーレ トゥール・カラズ」から「Untitled」村山留里子	成相 肇	読売夕刊	1.20						

コミック プラスデ ッド1 室井大資 (作) 暴力は“有効” という事実	南	信長	朝	日	12.6	マンガ50年 ジャン プ1 新人の「男一 匹」に賭ける[本宮ひ ろ志]	川村	律文	読	売	7.28
蒔絵に魅せられて一 室瀬和美氏(漆芸作 家・重要無形文化財 保持者)に聞く	安達 構成	正子	国華清話 会会報		13	日々好日 学生時代 の思い出	本山	唯雄	新美術新 聞		1177
柴田是真 幕末・明 治に咲いた漆芸の超 絶技巧			太陽(別冊)		163	巻頭特集 散歩から はじめよう スケッ チがもっと上手くな る ⑥技法講座 VOL. 16 身近な光 景をとられる1 あ の日の思い出編/水 彩 百瀬義行インタ ビュー	百瀬 談	義行	美術の窓		315
是真の技法	室瀬 永田	和美 智世				コミック 乙嫁語 [おとよめがた]り1 森薫(作) 19世紀 中央アジアの嫁入り	山脇	麻生	朝	日	11.1
是真が現代に残し た伝統漆芸	室瀬	和美				館蔵品研究 森寛斎 筆「赤壁之図」—山水 図にみる寛斎の南画 学習—	齊藤	全人	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要		14
顔 能登の自然を表 現した作品展を英国 で開く抒情書家 室 谷文音さん	村上	達也	読	売	1.18	コミック 自殺島1 森恒二(作) 死を突 きつけられ見えた生	山脇	麻生	朝	日	9.6
(モ)						PAPER IN MY WORK 124 森大 志郎 複数のオーダ ーが導く紙	杉瀬	由希	デザインの 現場		167
みんなのマンガ学 ゆうひが丘の総理大 臣 読者も癒やすバ ンカラ教師[望月あ きら]	表	智之	朝日夕刊		5.13	受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	森	陶岳	陶	説	670
マンガ50年 燃えよ !スポーツ1「根性」 「特訓」東京五輪が刺 激[望月あきら]	片山	一弘	読	売	11.17	仏の巨石群 創造力 の原点 遺構カルナ ックの表情、リトグ ラフや油絵計400点 に	森	仁志	日	経	3.18
コミック 東京怪童 1 望月ミネタロウ (作) 他人の脳に分 け入ると...	南	信長	朝	日	7.12	Recommend Book 『森正洋の全仕事』	大城	譲司	デザインの 現場		168
教員は語る 芸大へ の期待・抱負・提言 第10回	元倉 尾高	眞琴 忠明	芸大通信		18	美術学部教員展図録 デザイン	森	真弓	愛知県立 芸術大学 紀要		38
写眼 驚くほど饒舌 な黒 元田敬三 「MOTODABLACK」 (2008年)	篠原	知存	産	経	2.16	現代美術の歩き方 今月の一品 森万里 子 Flat Stone	飯田	高誉	美術の窓		314
解説プログラム 二 〇〇八年のアーティ スト・トークから	元永	定正	現代の眼		574	模写による県内文化 財研究と保存と継承 III	北田 山谷 寺岡 横山 森	克己 恭子 昌子 由美子 ゆだね	広島市立 大学芸術 学部紀要		14
土曜訪問 故郷の三 重で回顧展 元永定 正さん(画家)	森村	陽子	東京夕刊		5.16	特集 アジアの美術 都市《シリーズ1》 北京798芸術区を歩 く 森内敬子 北京 で活躍する日本人作 家			ギャラリ ー*		285
元永定正の不可解な 形 解き放たれて “成長” 絵本でも自 在に	小川	敦生	日	経	2.1	みんなのマンガ学 はじめの一步 現場 体験が支える描写 [森川ジョージ]	吉村	和真	朝日夕刊		11.4
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 49 うしお	本橋	成一	太陽(別冊)		164						
視線 バオバブの記 憶 本橋成一著	新井	敏記	朝	日	3.29						
コミック 熱病加速 装置 元町夏央(作) 読み手も発熱しそ うな感染力	南	信長	〃		12.20						

第45回主体展記念企画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	森川ユキエ	主体美術	86	特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 今、九州が面白い! 九州デザインをリードする若手6組 盛永省治	的野 裕子	デザイン の現場	163
森口華弘・邦彦展一 父子 友禅人間国宝 一 同じ友禅ながら全く違った雰囲気	桑山 俊道	新美術新聞	1182	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 森部美代	中野 中	美術の窓	313
森口華弘・邦彦展 父子友禅に革命	〃	読 売	9.24	森村泰昌・なにものかへのレクイエム 戦場の頂上の芸術	森村 泰昌	EYES	64
アトリエ訪問 着物にフランスで培った明快繊細にしてリズムミカルな造形文様を持ち込んだ森口邦彦	原田 平作	美術フォーラム21	19	展覧会から4 非自然な時代の、自然な創造—二〇〇九年によみがえるNCMと上野リチの世界	森村 泰昌	視覚の現場 四季の綻び	1
森下泰輔 アスベスト汚染を訴えるアート		art _ icle	24	SPECIAL FEATURE 速水御舟 いまこそ、その真価を問う! 対談 森村泰昌×山下裕二	編 集 部	美術手帖	930
森下裕美さんの4 コマ漫画ウチの場合は2000回超え	内藤麻里子	毎日夕刊	4.15	巻頭特集 手はすべてを語る (秘)技法講座 VOL. 15 学んでみよう名画の手『手の美術史』編著者・森村泰昌氏に聞く	森村 泰昌	美術の窓	310
追悼 森田茂先生を偲んで 言い尽くせぬほど大きな方	有馬 侃	新美術新聞	1182	閉塞感のほぐし方5 美術家・森村泰昌さんの提案 自分を笑う 気持ちに奥行き 戻る	大西 若人	朝日夕刊	4.15
第45回主体展記念企画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	森田 六男	主体美術	86	阿修羅と私	森村 泰昌	〃	4.21
特集 インテリアを語る II インテリアデザインとその手法1 森田恭通は本当に“ヤンキーバロック”なのか?	森田 恭通、五十嵐太郎、杉浦 久子、入江 徹 談 文 平塚 桂	建築雑誌	1591	露地庵先生のアンボン譚 第21話~第32話	〃	産 経	1.5、2.4、3.10、4.1、29、5.13、6.17、7.29、9.16、10.14、11.11、12.16
ヤンキー建築 異形デザインの持つ力 [森田恭通]	石鍋 仁美	日 経	7.9	森村泰昌 デュシヤンよゲームだ 複製づくしで勝負挑む	白木 緑	日 経	4.5
ときの人7 日本画家 森田りえ子さん 喝采のフランス展、国内4会場をめぐる		新美術新聞	1197	美術家森村泰昌「サガン」	森村 泰昌	〃	6.11
座談会 第61回アンデバンダン展をふりかえって	山本 良三、稲井田勇二、森田 隆一、十滝 歌喜 談 百瀬 邦孝 司会・記録	美術運動	136	美の美 アングル—アカデミスム最後の輝き4 [森村泰昌]	河野 孝	〃	6.28
生誕120年 小野竹喬と森谷南人子	中村麻里子	岡山県立美術館ニュース	86	美術家森村泰昌が見た映画	森村 泰昌	〃	7.9、8.20、9.10、10.22、11.12、12.10
写眼 観る人の思い引き出す 森永純「大雨の後」(平成8年)〈「水滴の風景」より〉	堀 晃和	産 経	2.2				
どぶ川の生命を撮る 汚いものにこそシャッターを向ける反骨人生	森永 純	日 経	2.19				

特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 森本紫雪	高山 淳	美術の窓	307
中特集 風景 v.s. 光景 森本紫雪	"	"	309
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セクション 遙玄水墨画協会 森本紫雪	武田 厚	"	313
中特集 巨匠展—今そして未来2009— 出品作家インタビュー	森本 草介	"	308
巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 現代水墨作家セクション 遙玄水墨画協会 森本美文	武田 厚	"	313
ボラロイドよさようなら 森山大道の楽しき写真の時間		芸術新潮	710
私の収穫 1～4	森山 大道	朝日夕刊	4.30、5.7、5.13、14
ニッポン人・脈・記 この一枚の物語8 路地裏を野良犬のように[森山大道]	相場 郁朗	"	6.17
「雄誌で鉦脈発見」 僕のブータロー時代	森山 大道	"	12.12
写眼 モノクロが伝える空気 森山大道「光と影」	海老沢 類 産 経		5.9
土曜訪問 デジタルで東京を撮る 森山大道さん(写真家)	久間木 聡	東京夕刊	10.10
善悪渦巻き 魅力放つ 街もまた生きている 写真家森山大道さん	小川 敦生 聞き手	日経夕刊	1.21
森山大道写真集「北海道」	(前)	読 売	1.18
森山大道写真集「にっぽん劇場1965—1970」	"	"	11.8
巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 画家が教えるデッサンの④ポイント 4. デッサンは見方を鍛える	森吉 健	美術の窓	304
特集 諸星大二郎		ユリイカ	563
インタビュー モロホシは一日にしてならず 奇妙なものの存在感をもとめて	斎藤 宣彦 聞き手・構成		

徹底討論 不定形な世界に魅せられて 諸星大二郎のうまさの底にあるもの	夏目房之介、都留 泰作 談		
資料 諸星大二郎 主要作品解題	蔓葉 信博 スズキトモユ 前田 久		
特集 諸星大二郎 天翔けるイメージネーション		"	"
諸星大二郎の反ユートピア	巖谷 國士		
『感情のある風景』のこと	春日 武彦		
特集 諸星大二郎 日常を異界化する／異界を日常化する		"	"
懐かしさと不気味さと 諸星大二郎の「原風景」	呉 智英		
ワン＆オンリーな作家	竹熊健太郎		
モロ☆先生の胸キュンな食卓 諸星作品における食・笑い・恋	ひと手間かけ子		
特集 諸星大二郎 ジャンルフィクションと諸星ワールド		"	"
「不安の立像」 読怪奇小説家・諸星大二郎の原風景	東 雅夫		
神話創生の現場への遡行 諸星大二郎におけるミステリと神話のメソッド	小森健太郎		
境界の散歩者 諸星作品におけるSFの詩的言語機能	海老原 豊		
諸星大二郎の太極『孔子暗黒伝』をめぐる読者におけるストーリー理解の問題	高橋 明彦		
一人称の暗い洞窟 諸星大二郎の小説を読む	永山 薫		
特集 諸星大二郎 諸星大二郎のマジカル・コ(ス)ミック!		"	"
エヴリタイム・アイ・ルック・アウェイ 『マッドメン』再読	伊藤 剛		

異界の構造と変わ っていく神話 諸 星大二郎の『マッ ドメン』について	石岡 良治				墨のある風景 安田 鞆彦《紅梅》	國賀由美子	趣味の水 墨画	239
顛倒への名づけ 諸星マンガの描く 宗教=哲学	師 茂樹				川端康成 蒐められ た日本の美 コラム 安田鞆彦、古美術の 世界へ誘う	水原 園博	太陽(別冊)	157
共同体の開かれ 無為なるものへの 想像力について	中田健太郎				大和[やまと]し美 [うるは]し 川端康 成と安田鞆彦	森 孝一	陶 説	673
みんなのマンガ学 妖怪ハンター 「知 る」で新境地 後輩 にも影響[諸星大二 郎]	表 智之	朝日夕刊	7.22		安田鞆彦筆《夢殿》— 明治期の聖徳太子顕 彰を手掛かりに—	三上 美和	美術史	167
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	諸星 美喜	美術の窓	309		オンの才人 オフの 達人 安彦良和さん 「本気」見せれば道開 ける	安彦 良和	読 売	5.24
					色ものがたり1 若 竹の青緑 心が晴れ た「これだ」画家へ の一本道[八十山和 代]	田中 洋史 安藤 二郎 齊藤 保	〃	3.17
(ヤ)								
内モンゴルの革工芸 再興 沿革を使って 50年以上制作、後進 の指導に当たる	八尾 緑	日 経	1.21		追悼・木村恒久 吠 え王 暁に逝く	矢田 卓	あいだ	157
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 谷貝文恵	高山 淳	美術の窓	307		特集 文字のつくり かた ジャンル別・ 売上TOP10から見る 文字カタログ CD 箭内道彦	大輪 俊江	デザイン の現場	165
受賞作家アンケート —「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待す ること」—	八木 明	陶 説	670		特集 これからの本 のつくりかた 僕ら が本をつくる理由 [わけ] 箭内道彦	宮下 哲	〃	167
柳生忠平 妖怪に憧 れ、会いたいから描 く	斉藤 博美	art_icle	20		巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレク ション 遙玄水墨画 協会 柳文子	武田 厚	美術の窓	313
みんなのマンガ学 釣りキチ三平 作者 の経験、描写に反映 [矢口高雄]	表 智之	朝日夕刊	7.29		新・旧刊案内38 浅 井忠・柳源吉合作石 版画集について・近 況報告の二、三	青木 茂	一 寸	38
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 矢島俊一	矢島 俊一	美術の窓	307		松代大本営と現代ア ート 第8回まつし ろ現代美術フェスティ バル誌上展 柳健 司	柳 健司	美術運動 史研究会 ニュース	106
日本の油絵の独自性 に向かって 安井曾 太郎 独自の写真論 で画風を模索	児島 薫	太陽(別冊)	158		特集 東京デザイン ガイド コラム 柳 宗理のパブリックデ ザイン	高橋 美礼	デザインの 現場	166
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 安井正子	切刀 知子	美術の窓	307		特集 日本発、ヴェ ネツィアへ!		ART iT	24
ひと 主婦から転身 した水墨画家 安枝 楠游さん	林 望	朝 日	11.27		やなぎみわインタ ビュー	編 集 部 聞き手		
2009年日本建築学会 作品選奨 東京工業 大学緑が丘1号館レ トロフィット[安田 幸一]		建築雑誌	1593		日本館コミッショ ナー 南郷宏イン タビュー[やなぎ みわ]	〃		
安田鞆彦旧蔵埴輪と 絵画—考古学と美術 史的視点から—	佐藤 美子 品川 欣也	川崎市市 民ミュー ジアム紀 要	21		やなぎみわ 自作 を語る			

作法と技法—やなぎ みわ論への序説	岩城 見一	国立国際 美術館ニ ュース	172	柳澤紀子「水邊の庭」 柳澤紀子「水邊の庭」 逍遙	馬場 駿吉	版画芸術	145
やなぎみわ「マイ・ グランドマザーズ」 から聴こえる声	丹羽 晴美	"	"	特集 2009年はこの 若手に注目! 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 柳谷志有	大城 謙司	デザインの 現場	163
SPECIAL FEATURE いま読むべきアート ブック300 INTER- VIEW: 3 やなぎ みわをつかった10冊	樋口ヒロユ キ 聞き手	美術手帖	917	90歳絵本に込めた家 族愛 やなせたかし さん 新作「ハルの ふえ」	斉藤 寛子	朝 日	4.26
ARTIST INTERVIEW やなぎみわ	藤原えりみ 聞き手	"	927	彩・美・風	やなせたか し	朝日夕刊	12.2、9、 16
50年後の「希望」写す やなぎみわさん「マイ・ グランドマザーズ」	大西 若人 文 石内 都、朝 日 やなぎみわ 談	朝 日	4.21	土曜訪問 90歳で 「たそがれ詩集」刊行 やなせたかしさん (漫画家・詩人)	三品 信	東京夕刊	7.11
この人 ベネチア・ ビエンナーレ日本館 に出品した美術作家 やなぎみわさん	斉藤 泰行	東 京	8.1	人間発見 ぼくの分 身アンパンマン1～ 5	榎木 誠 聞き手	日経夕刊	3.30～ 4.3
老いへの「希望」表現 [やなぎみわ]	(寿)	東京夕刊	4.17	ひと アンパンマン 誕生40年 やなせた かしさん	木村 葉子	毎 日	5.5
ベネチア・ビエンナ ーレ—虚構としての 文化性を越えて[や なぎみわ]	南 寛 宏	"	8.4	所ゆきよしさん 漫 画家協会大賞受賞 政局に踊る2等身 描き続け四半世紀 ヒトコマにかける漫 画家魂高く評価	やなせたか し	"	6.12
女性の老後観 年と ともに成長「なお 元気」から自然志向 へ 美術家やなぎみ わさん	小川 敦生	日経夕刊	3.25	やなせたかしロード 高知・南国の商店街 にお目見え	服部 陽	"	10.4
子どもと育つ 美術 家やなぎみわさん 宇宙人に会ってほ しい		"	12.8	松任谷由美プレミア 対談 yomiyori な話 第14回 やなせたか しさん	田中 誠 構成	読売夕刊	9.4
ワードローブ 美術 作家やなぎみわさん 長身シャープに強調 10代までのコンプレ ックスが「反作用」	反橋 希美	毎 日	11.5	柳瀬正夢とグロース、 長谷川如是閑の論評	柳瀬 信明	美術運動 史研究会 ニュース	99
やなぎみわさんが作 品集を刊行 ベネチ ア・ビエンナーレ日 本館代表	岸 桂子	毎日夕刊	11.12	柳瀬正夢と演劇	"	"	107
やなぎみわさん ベ ネチア出展 多彩な 女性像過激に	木村 未来	読 売	1.15	美の美 溝口健二の 神話2 [柳瀬正夢]	古賀 重樹	日 経	2.8
「旧中工場アートプ ロジェクト」Hiro- shima Art Project 2007	柳 幸典	広島市立 大学芸術 学部紀要	14	特集 ニューコンセ プト・ジャパン・ス タイル 産学を超え る、モノづくり機関 —京都造形芸術大学 の「ウルトラファク トリー」[ヤノベケン ジ]	原田 環	A X I S	137
ディレクション後記	"	"	"	アングル 「ウルト ラー黒い太陽」[ヤノ ベケンジ]		"	139
マンガ50年 ラブコ メの風2 等身大の 青春「翔んだ」人気に [柳沢きみお]	佐藤 憲一	読 売	10.7	ウルトラファクトリ ー2008年度活動報告 [ヤノベケンジ]	林 里佐子	瓜生通信	46
クリエイターズワー ク&ソウル 柳沢高 文		A X I S	140	SPECIAL REVIEW ヤノベケンジ《ウル トラ黒い太陽》		美術手帖	923

その太陽が落ちる まで	大場 美和			巻頭特集 これだけは 見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で 創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 山内きみよ	中野 中 美術の窓	313
「超越的彫刻」を地 上へと彫り落とす	ヤノベケン ジ			特集 立体作家20 '09—ディーラーが 見る立体の動向— 山内隆 笑いを大事 にし、魂や存在の根 源を表現	廣田登支彦 ギャラリ ー*	292
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説11 「未来の廃墟」から未 来へ[ヤノベケンジ]	田中 三蔵	朝日夕刊	4.3	アート・トピックス Administration 台 北で行われた山内龍 雄展を訪れた李登輝	ササキバラ 朝 日	288
強烈な驚き・感動と 共に 核兵器の廃絶、 アートで訴え アー ト作家ヤノベケンジ さん	田村 広済 聞き手	日経夕刊	12.2	コミックガイド 中 春こまわり君 山上 たつひこ[作]	竹内オサム 毎 日	3.29
第45回主体展記念企 画 上野を語る1 東京都美術館の記憶	八橋 誠滋	主体美術	86	マンガの国の「衣食 住」「がきデカ」の 破壊的ギャグ[山上 たつひこ]	読 売	11.28
鈕ハ印ノ花ナリ2 友、南方より来たる ありの巻 糸印談義	藪内佐斗司、 真鍋 井蛙 談	書 道 界	238	マンガ50年 ギャグは爆発する 1 少年誌の良識 に「死刑!!」[山上 たつひこ]	佐藤 憲一	2.17
萌芽研究「教育現場 における立体形状模 倣による空間認識の 研究—まねるはまな ぶ—」	藪内佐斗司	文化財保 存学専攻 保存修復 彫刻年報	2008年度	「王者」の伝説1 「がきデカ」苦悩の 執筆[山上たつひ こ]	市原 尚士	4.28
阿修羅と私	〃	朝日夕刊	4.18	作家通信 感謝して は頭を垂れ、わが絵 をみては頭を垂れる	山河 全 趣味の水 墨画	238
インタビュー 領空侵 犯 美意識・季節感 を取り戻す 伝統行 事は旧暦で 彫刻家 藪内佐斗司氏	足立 則夫 聞き手	日 経	11.30	特集 Mizúについて 不思議が絵になる	山岸 千冬 自由美術	2009
特集 建築年報2009 (投稿論文) IV 年 報外枠 「魔術的建 築」の展望—あるい は、非合理主義建築 の存在意義	藪下 明博	建築雑誌	1594	特集 春のアートフ ェア 見逃せないこ の画廊 この作品 現代美術 《はなす ことはこのやまほ ど》 ミヅマアート ギャラリー 山口藍	ギャラリ ー*	287
2008年度日本芸術院 賞決まる 恩賜賞・ 小山やす子氏、藪野 健氏、宮瀬富之氏が 受賞		新美術新 聞	1181	アート・トピックス Book Design 直木 賞作家・三浦しをん の『風が強く吹いて いる』に装丁画を描 いた画家・山口晃	〃	289
日々好日 ヴェズ レーの丘を描く	藪野 健	〃	1188	Stardust review of exhibitions 山口晃 天正10年のラストサ パー	芸術新潮	712
特集 ULTIMATE TOY BOX! いま、 遊びたいおもちゃ200 TOY TOPICS 私を虜 にした一品	ヤブノケン セイ	STUDIO VOICE	397	invitation book 脱 力上等、この人(た ち)を見よ! [山口 晃]	〃	718
鳥居敏文の画業と足 跡(2) 矢部友衛の 影響をうけて	山口 泰二	美術運動 史研究会 ニュース	107	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 12 どうぐ	山口 晃 太陽(別冊)	164
ひと 別府の現代芸 術祭「混浴温泉世界」 総合プロデューサー 山出淳也さん	吉野 園子	朝 日	5.1			
別府現代芸術フェス タ「混浴温泉世界」 「世界は自由だ」	山出 淳也	東京夕刊	5.22			

「描かれた武士[ヒーロー]たち 武者絵の世界展」開催記念トーク・ショー	天明屋 山口山下	尚 晃二 裕二	長野県信濃美術館 紀要	3	床の間のロートレアモン[山口八九子]	丹尾 安典	一寸	40
SPECIAL FEATURE 茶の湯の美 クラシック&モダン PART 1 CHANOYU PREMIUM 山口晃 茶の湯の美のスズメ	山口	晃	美術手帖	930	山口八九子資料 VII 一大正七年句録—	〃	早大津 八一記念 博紀要*	10
特集 物質性/マテリアリティの可能性 何度も何度も想像せよ—山口晃による (源頼朝像)の複製	手塚美和子 増田 翻訳	美術フォーラム21	20	山下裕二の今月の隠し球51、52 山口英紀「木更津のはずれで『水墨』を叫ぶ」(上)〈下〉	山下 裕二	美術の窓	306、307	
コミック すゞしろ日記 山口晃(作) 人気画家の“うまい”マンガ	南 信長	朝 日	8.30	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 第2章鉛筆がわりに墨を持って!—今すぐ出来る水墨・実践編— 山口英紀/応用編 こんな水墨もあるの!? 変わり種! 細密技法	山口 英紀	〃	313	
京都舞台に今昔混交「現代の絵師」山口晃が個展	高木 友絵	朝日夕刊	2.18	すむ 何気ない奇跡 Y.T.梅月館[山口文象]	磯 達雄	芸術新潮	712	
画家山口晃 伊勢を描く 上、中、下	猪谷 千香	産 経	8.10~12	蓬春先生とのご縁 [山口蓬春]	土屋 禮一 談	山口蓬春 記念館研 究紀要	6	
世界陸上・サッカーW杯で“日本代表”アートの戦う[山口晃]	〃	〃	8.19	山口蓬春と古陶磁に関する基礎研究	笠 理砂	〃	〃	
美のよりしろ十選 1~10	山口 晃	日 経	6.11、12、16、18、19、22~26	蓬春研究ノート(6) 画家の生活空間—山口蓬春邸(葉山)の変遷について	岡田 修子	〃	〃	
歴史の時間軸を揺さぶる山口晃 京都で個展開催	栗原 俊雄	毎日夕刊	2.17	山口蓬春宛書簡について(4)	笠 理砂	〃	〃	
今をつかむ すゞしろ日記 人気画家が漫画エッセー	岸 桂子	〃	9.1	山口蓬春の模写について	吉田 敬	〃	〃	
山口晃「さて、大山崎」	(清)	読 売	3.22	特集 記憶の中の画家 IV 彫刻家・山口牧生	藤原 向意	文化往来 美の風	4	
山口晃「すゞしろ日記」	(編集T氏)	〃	9.13	紅花ルネサンス VOL. 1 山形→未来	辻 山崎 けい 和樹	東北芸術 工科大学 紀要	16	
ニッポン人・脈・記 前衛バカ伝説 6 純金の鍵 シュールの魂[山口勝弘]	田中 三蔵	朝日夕刊	3.26	わたしの宝もの54 木通の生る庭	山崎 佳代	新美術新聞	1202	
Pick-up 山口啓介の空間 銅版画の呪縛から翔くアーティストの視点		ギャラリー一*	287	山崎静太郎設計の入れ子式能楽堂から見た能楽堂改良論の導入について	奥富 利幸	日本建築 学会計画 系論文集	639	
中特集 風景とイメージ Part. 2 現代作家が描く風景とイメージ 山口憲一郎	高山 淳	美術の窓	310	SECOND LINE 山崎博インタビュー	編集 部 インタヴ ュー・文	STUDIO VOICE	404	
アンケートに答えて 60—70年代のこと・芸術と時代について	山口 武	自由美術	2009	特集 立体作家20 '09—ディーラーが見る立体の動向— 山崎史生 空間を制する、静謐な世界	井村 優三 談	ギャラリー一*	292	
art news 折り紙のこころ[山口信博]		芸術新潮	720	海外に学び日本に学ぶ 問題意識を携えて海外へ渡ること	山崎 亮	建築雑誌	1596	
				美術品等収集状況 新収蔵作品より 山路商		広島県立 美術館年 報	H19年度	

連載特集 追悼・山岸信郎7 山岸信郎君との付き合い	山下 一郎	あいだ	159	早稲田大学新キャンパス竣工 収蔵される国際派日本画家山田真巳作品	山田 真巳、藤田 皓一	ギャラリー一*	288
art news 山下菊二の画家兄弟仁義		芸術新潮	717	Art Chat Studio 5 山田真巳×藤田皓一(前編)(後編)	山田 真巳、藤田 皓一	"	289,290
SPECIAL FEATURE アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう? PARTII もっと愛するための実践術! 私の、アウトサイダー・アートの愛し方01[山下清]	茂木健一郎	美術手帖	923	すむ 透明な建築家[山田守]	大島 健二	芸術新潮	711
「裸の大將」が見た横浜 巨大壁画再び注目[山下清]	佐藤 善一	朝日夕刊	7.15	山田守設計による京都タワービルの設計過程に関する研究	大宮司勝弘 淳 竹内 岩岡 岩田 竜夫 利枝	日本建築学会計画系論文集	636
Y子さんからのサクランボ	山下 成司	百 科*	563	收藏品から《点線糸目友禅着物「若麦文」》山田貢	村上 由美	世田谷美術館だより	81
コミック Love, Hate, Love. ヤマシタトモコ(作) 初々しくも古風な年の差の恋	南 信長	朝 日	9.27	親鸞聖人七百五十回大遠忌記念 親鸞我が親鸞像 遠い「哲人」	やまだ 紫	太陽(別冊)	親鸞
SPECIAL FEATURE 山下陽光十番勝負	山下 陽光	美術手帖	921	マンガ最前線 山田芳裕作「へうげもの」歴史の中に芸術文化を描く	細萱 敦	東京夕刊	7.7
Artist Interview Sprout 山下雅己		art _ icle	19	山田芳裕の茶道具愛 1~9	山田 芳裕	読 売	4.22、5.27、6.24、7.22、8.26、9.23、10.28、11.25、12.23
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ注目の新人アーティスト44	山田 彩加	美術の窓	309	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 大和屋巖	高山 淳	美術の窓	307
会田誠の「おんなのこしゃしん」 不定期連載第7回 山田郁予	山田 郁予	美術手帖	921	詩情に満ちた抽象木版画 山中現 詩情は、軽やかに木版を往還する	吉村 有子	版画芸術	146
特集 2009年はこの若手に注目! 新鋭デザイナー50人 新鋭デザイナーファイル プロダクト編 山田佳一朗	大輪 俊江	デザインの現場	163	特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 山中さとゑ	高山 淳	美術の窓	307
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&秘テク ニックつき Part 1 その他画材以外の活用編 4 その他 灯油 山田和夫		美術の窓	306	巻頭特集 人体を描く 美術解剖学でステップアップ 山中俊治氏に聞く 新しい人体表現の可能性 一内部構造から考える一	山中 俊治	"	314
山田純嗣 二次元を三次元に、三次元を二次元に……		art _ icle	21	特集 東京新地形論 III フィールドワーク 新しい東京の地形を触知する3つのフィールドワーク	山中新太郎	建築雑誌	1595
作家通信 偶然と新たな邂逅に導かれて	山田 大作	趣味の水墨画	242	Art Chat Studio 6 山中宣明×小澤基弘(前編)(後編)	山中 宣明、小澤 基弘	ギャラリー一*	291,292
日展会員賞制作意図「悠悠」	山田 朝彦	日展ニュース	135	明日への夢展—美を継ぐ者たち II—East × 4 & West × 4 展	山中 宣明	新美術新聞	1193
特集 Part. 2 現代の作家が語る画家の原点!! 山田展也	高山 淳	美術の窓	307				

巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 画家が教えるデッサンの④ポイント 3. 抽象表現にのっての裸婦デッサン	"	美術の窓	304	コミック ファイト じじいクラブ 山本 健太郎(作) 強く生 きる小1にシビレル	南 信長 朝 日	10.11
わたしの宝もの44 遊びの時間	山野 千里	新美術新聞	1174	FEATURE アニメ ーション界で活躍す る卒業生	野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治 吉田 昇 平原さやか 山本 沙代	た ま び 52
特集 これからの本の のつくりかた 僕ら が本をつくる理由 [わけ] 山野英之	宮下 哲	デザインの 現場	167	研究ノート 雪景色 の系譜 山元春華の 館蔵作品をてがかり として	枝松 亜子	西宮市大 谷記念美 術館 NEWS 22
画家 荻太郎のこと	山内 秀臣	新美術新聞	1200	報道画家・山本松谷 と「風俗画報」にみる 明治の美人	村田 孝子	マ キ エ 29
小説家とさし絵画家 のあいだ(七)最終回 一和田誠と山藤章二	重金 敦之	国華清話 会会報	13	江戸博蔵めぐり 東 京両国橋欄干折損の 図 山本松谷・画	市川 寛明	読 売 7.24
丑年の年男に聞く 下 イラストレータ ー山藤章二さん 小 言幸兵衛になろう 人の顔 均質化が気 になる	飯田 克志	東 京	1.14	巻頭特集 美しい女 性'09 エロス、輝 き、そして強さへ 特別編 美男子図鑑 山本タカト	山本タカト	美術の窓 311
生老病死の旅路 山 藤章二さん「今日 無事」の幸せに感謝	高野 清見 聞き手	読売夕刊	8.31	惑星、熊野 山本卓 蔵著		日 経 8.2
江戸博蔵めぐり 梨 園の華 七世松本幸 四郎の助六 山村耕 花・画	丸山はるか	読 売	10.16	ACP Artists×Critics CRITIC11 土に込め る「casket」山本健 史作品	倉茂なつ子	CLOSET 2
芸術学部メディアア ート学科主催 ズビ グニュー・リプチ ンスキー、山村 浩二 談 為ヶ谷秀一 司会	ズビグニュー ー・リプチ ンスキー、 山村 浩二 談 為ヶ谷秀一 司会	女 子 美	162	視線 ニッポン画物 見遊山 山本太郎著	北澤 憲昭	朝 日 6.28
第56回日本伝統工芸 展 染織 伝統に現 代融合 NHK 会長 賞 久留米絨着物 「薫風」 山村健	小笠原小枝	朝日夕刊	9.24	『ニッポン画物見遊 山』山本太郎著		日経夕刊 6.17
港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド— そして、神戸でビエン ナーレ 注目の招待 作家たち 山村幸則		美術手帖	929	追悼 小西保文さん の絶筆によせて	山本 貞	美術の窓 305
巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! (特別企画)2010年 で創立50周年! 社団 法人日本南画院の歩 みと今 山本和夫	中野 中	美術の窓	313	巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part 1 油性画材編 1 油性 ペーパーパレット 山本貞	山本 貞 談	" 306
謎の大作「日曜の遊 び」—描いたのは、 村山槐多か山本鼎か	村松 和明	岡崎市美 術博物館 研究紀要	3	PREVIEW 山本貞 展—地の光景—	小森佳代子	" 314
				追悼文 燃え尽きた 画家魂 小西保文さ んを偲んで	山本 貞	連盟ニュー ース 429
				座談会 連盟の「新 部門名」についての 提案	酒井 忠康、 佐藤 孝子、 海老塚耕一、 大沼 映夫、 河嶋 淳司、 中村 錦平、 日比野ルミ、 山本 貞 談 文明 司会	" 430

坂に建つ街 山本知克	石川県立美術館だより	313			
地球の息吹 カメラに火山活動の芸術「柱状節理」、全国を撮影行脚	山本 治之	日 経	9.9		
「癸卯園遊会」関連資料紹介と山本芳翠「活人画」について	児島 薫 原 舞子	実践女子大学美学美術史学	23		
美の美 南へー楽園を描いた日本人画家中[山本芳翠]	窪田 直子	日 経	10.25		
日々好日 夏	山本 正道	新美術新聞	1195		
特集 記憶のアート／消滅のアート 忘却を超える試みー7人のアーティスト[山本基]	編 集 部	ART iT	23		
第44回主体展報告 第44回展展示について	山本 靖久	主体美術	85		
巻頭特集 手はすべてを語る 技法講座 VOL. 15 特別編 短時間に作品として見せるコツを紹介 手のデッサンを描いてみよう!!	山本 雄三	美術の窓	310		
不思議の国の少女たち 山本容子 無垢なる少女たちの肖像	井上 芳子	版画芸術	146		
特集 アルフォンス・ミュシャー没後七〇年記念特集 ミュシャというメルクマール メメント・ミュシャ 死ぬまえにみるべきミュシャとは?	山本 容子	ユリイカ	570		
記者ノート 平安の姫君 山本容子の共感	木村 未来	読 売	8.7		
フロントライン 3人の建築家が展望示す[山本理顕]		日 経	7.12		
交遊抄 吞んで歌う	山本 理顕	"	7.25		
座談会 第61回アンデパンダン展をふりかえって	山本 良三、 稲井田勇二、 森田 隆一、 十滝 歌喜 談 百瀬 邦孝 司会・記録	美術運動	136		
特集 若き天才を見逃すな! 新人大図鑑 2009 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 矢本章子	武田 厚	美術の窓	309		

(ユ)

第44回主体展会場研究	結城 智子	主体美術	85		
世界と日本 大図解シリーズNo. 905 開館50周年 国立西洋美術館 会いたいときに会える名品たち	結城 昌子	東 京	9.6		
子どもの視点にハッとすると「美術館はぼくらの宝箱」展から	"	東京夕刊	6.26		
SACRED PLACES 第42回〜第44回	有 太 マン	STUDIO VOICE	397~399		
ありふれたものが醸す違和感 湯原和夫展	大西 若人	朝日夕刊	1.14		
ヨーロッパ・メディアアート・フェスティバルの報告	由良 泰人	大阪成蹊大学芸術学部紀要	5		
巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50& テクニクつき Part 1 油性画材編 9 油性レンブラント油絵具弓手研平		美術の窓	306		

(ヨ)

江戸博蔵めぐり 女礼式十二ヶ月寿語録 楊斎延一・画	橋本由起子	読 売	12.11		
壁画修復 ながい闘い 相模原の中央道 19年前の自作アートの町に再びフジ満開[與倉豪]	浅田 晃弘	東 京	10.1		
博物学的美術史 Final 横井弘三ほか ユルさ、アマチュア、素朴の美学	編 集 部	美術の窓	305		
invitation book ぜーんぶ健さん! 幻の横尾忠則入魂本		芸術新潮	718		
雑誌と文字の散歩道 7 [横尾忠則]	臼田 捷治	墨	201		
INFORMATION 横尾忠則「Y字路」シリーズ現場公開!	工藤 キキ	美術手帖	919		
SPECIAL FEATURE アウトローの美学 OUTLAW GUIDE アウトロー・カルチャー・ガイド 我がアウトロー論01 横尾忠則	横尾 忠則	"	927		

MADO 図書館 ぶる
うらんど 著横尾忠
則 編 集 部 美術の窓 305

特集 若冲 〈動植
綵絵〉・モザイク画・
〈象と鯨図屏風〉…永
遠に新しい絵師のす
べて 若冲2009
若冲の画法 横尾 忠則 ユリイカ 574

戦場の画家 アルト
ウーロ・ベレス・レ
ベルテ(著) 撮影者
と被写体 深遠な魂
の対話 " 朝 日 4.5

早世の天才画家 酒
井忠康(著) 短い生
を燃焼しつくした12
人 " " 6.7

過ぎ行く人たち 高
橋たか子(著) 「私」
の流れつく先はどこ
なのか " " 7.26

ジョルジュ・ブラッ
ク 絵画の探求から
探求の絵画へ ベル
ナル・ジュルシェ
(著) 「表現」を脱し
自由な境地に到達 " " 8.23

アルベール・カーン
コレクション よみ
がえる100年前の世
界 デイヴィッド・
オクエフナ(著) 時
代思想を超えた純粋
無垢な写真美 " " 9.20

パラダイスの乞食た
ち アーヴィング・
ステットナー(著)
芸術と生活体験の歯
がゆい不一致 " " 9.27

フリードリヒへの旅
小笠原洋子(著) 絵
に宿る精神を追う
「巡礼の書」 " " 11.15

醜の歴史 ウンベル
ト・エーコ(編著)
悪魔の想像力か 醜
は美を生む力 " " 11.22

写眼 「不在」のリア
リズム 横尾忠則
「東京Y字路」(平成
19年) 三品 貴志 産 経 11.14

あの人に迫る 額縁
にパレット 抽象化
への予感 横尾忠則
美術家 遠田 英樹 東京夕刊 9.4
聞き手

ロートレック 愛す
べき画家2 アンリ
・ド・トゥールーズ
=ロートレック「歓
楽の女王」 横尾 忠則 " 11.19

「奇縁まんだら」を語
る 芸術家の秘話
白日に 新たな魅力
増す輝き 瀬戸内寂聴、
横尾 忠則 日 経 5.23
対談

横尾忠則 創造の原
動力 連鎖する「未
完」の美 模写を突
き抜けて 小川 敦生 " 8.23

東京Y字路 横尾忠
則著 " 11.15

ちょっとデジタル
Y字路 無人の一瞬
逃さず 美術家横尾
忠則さん 日経夕刊 5.21

横尾忠則さん とび
職人になる 仮装で
公開作品制作 読 売 1.18

横尾忠則編「憂魂、
高倉健」 (前) " 6.21

横尾忠則写真集「東
京Y字路」 " " 11.22

写眼 記憶の底を撮
る 横谷宣「黙示録」
より(1995年) 海老沢 類 産 経 1.26

REALTOKYO Picks
BOOK/DISC 向井山
朋子+フィリップ・
メカニカス 『en
blanc et noir: 白と
黒で』(CD+写真集) ヨコミゾマ
コト ART iT 23

近代日本画の構図決
定格子 金子 一夫 一 寸

(五)一大観 東京
美術学校卒業まで
—[横山大観] 39

(六)一大観・美術
学校卒業後「流燈」
まで— 40

資料紹介 吉成英文
氏所蔵 岡倉寛三書
簡・横山大観講演録 清水恵美子 五浦論叢 16

第二六一回水曜講演
会 大観と未醒／放
菴 日本美術院再興
の周辺 塩谷 純 出光美術
館館報 147

巻頭特集 これだけ
は見たい墨絵100!!
第1章ニッポン全国
墨絵めぐり 美術の窓 313

奇跡の40メートル
必見31 大観「生
々流転」 編 集 部

くらべてみよう!
墨と色 必見37
大観「無我」 織奥かおり

横山大観「游刃有余
地」について—色彩
表現を中心に— 池田 博子 横山大観
記念館館報 25

美の美 名作に開く 花—近代日本画の粋 1[横山大観]	宝玉 正彦	日 経	3.1	Pick-up アーティ スト・吉川龍による ギャラリートーク 作家と美術愛好家を より深くつなげる機 会!	"	296
墨のある風景 横山 操《雪峽》	長嶋 圭哉	趣味の水 墨画	238	芸術新潮特別企画 アートフェア東京 2009出展ギャラリー 紹介 吉川龍“森”の 記憶	芸術新潮	712
美の履歴書092 な ぜ、うら寂しげなの か「TOKYO」横 山操	大西 若人	朝日夕刊	1.14	建築ロゴス再考 決 定—1954年の吉阪隆 正から	倉方 俊輔	建築雑誌 1597
マンガの国の「衣食 住」「鉄人28号」に 見る戦争の影[横山 光輝]	竹内オサム	毎 日	12.26	特集 若き天才を見 逃すな!新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	吉澤 知美	美術の窓 309
模写による県内文化 財研究と保存と継承 III	北田 克己 山谷 恭子 寺岡 昌子 横山由美子 森 ゆだね	広島市立 大学芸術 学部紀要	14	吉田克朗の1973年— 文化庁芸術家在外研 修員としての1年	山本 雅美	東京都現 代美術館 年報 2008年度
特集 記憶のアート /消滅のアート 忘 却を超える試み—7 人のアーティスト [横湯久美]	編 集 部	ART iT	23	日溜り 吉田三郎	石川県立 美術館だ より	312
第45回主体展記念企 画 上野を語る 1 東京都美術館の記憶	吉江 新二	主体美術	86	彫刻家吉田三郎の作 品における肉づけに ついての一考察	三政 洋一	芸術学研 究(筑波) 13
ひと ダム計画に揺 れる熊本・川辺川を 撮る写真家 吉岡功 治さん	阿部 峻介	朝 日	2.22	みんなのマンガ学 「伝染るんです。」 「不条理ギャグ」確立 [吉田戦車]	吉村 和真	朝日夕刊 9.16
art news カルティ エと吉岡徳仁 浮遊 する宝飾ストーリー		芸術新潮	713	マンガ50年 ギャグ は爆発する 3 4 コ マ革命「不条理」の追 求[吉田戦車]	佐藤 憲一	読 売 2.19
語る 吉岡徳仁さん 『みえないかたち』を 出版 自然の力や原 理 作品で表現	永田 晶子	毎 日	6.11	作品と場あるいは空 間との関係 2	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要 5
ART+ 「第2の自然」 問いかける[吉岡 徳仁]	(清)	読売夕刊	1.6	FEATURE アニメ ーション界で活躍す る卒業生	野村 辰寿 加藤久仁生 坂井 治 吉田 昇 平原さやか 山本 沙代	た ま び 52
「inter infiltration 相互侵蝕」展報告	宇野 和幸 吉岡まさみ	京都嵯峨 芸術大学 紀要	34	展示批評 歴史資料 としての可能性をひ らく「美しき九州の 旅—「大正広重」初三 郎が描くモダン紀行 —」[吉田初三郎]	有馬 学	地方史研 究 340
作家通信 三つの展 覧会を通して	吉賀あさみ	趣味の水 墨画	240	神戸ビエンナーレ 2009通信 VOL. 01 神戸ビエンナーレつ て、何?[吉田泰巳]	カワイイフ ァクトリー 取材・構成	美術手帖 925
特集 水墨画の未来 へ 若手作家の自由 で豊かな表現 吉賀 あさみ	立島 恵	"	243	港で出合う芸術祭— 神戸ビエンナーレ 2009公式ガイド そ して、神戸でビエン ナーレ インタビュ ー 吉田泰巳	"	929
石本先生から受けた 薫陶の数々そして自 作について(講演録)	吉川 弘	石見美術	7			
吉川龍		art _ icle	24			
特集 春のアートフ ェア 見逃せないこ の画廊 この作品 近代美術 《きらき らひかる》 日動画 廊 吉川龍		ギャラリ ー*	287			

受賞作家アンケート ―「受賞の思い出」と 「今後の賞に期待する こと」―	吉田 美統 陶 説	670							入江上綱、 綱谷久野、 佐々木中根、 福島小作、 林老成、 吉野司会	観、 陽子、 二、 幸和、 豊、 寛、 瑞徳、 青史、 忠良、 耕一、 談浩				
指定研究 相互交流 可能なグローバル芸 術教育の実践的研究	及川 久男 永見 文人 大塚 智嗣 吉田 幸弘 笠原 浩	14	広島市立 大学芸術 学部紀要			座談会 アンケート 「作品の収納と管理 について」を終えて				連盟ニユ ース	432			
特集 2009年はこの 若手に注目！ 新鋭 デザイナー50人 新 鋭デザイナーファイ ル グラフィック編 吉田ユニ	松葉 紀子	163	デザインの 現場			中特集 作家の原点 吉見公子	高山 淳	美術の窓	308					
《インタヴュー》わた しの「戦後」	ヨシダヨシ エ	163	あいだ			Sense of Japan 吉 村和敏著		日 経	10.4					
ちょっとデジタル ペンタブレットで下 書き 漫画家よした にさん		12.24	日経夕刊			「フランスの美しい 村」全踏破の旅 吉 村和敏著		〃	12.6					
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 53 給食番長「よし ながこうたく」	川口 澄子	164	太陽(別冊)			吉村弘と「sometimes press」	水沢 勉	神奈川県 立近代美 術館年報	2007年度					
第13回手塚治虫文化 賞 大賞「大奥」 よしながふみさん	小川 雪 朝 日	4.19				現代美術の歩き方 今月の一品 吉村芳 生「ケシ」新聞と 自画像	楳木 野衣	美術の窓	315					
「完結まで書ききる」 よしながさん「ル ンルン気分でした」 辰巳さん 手塚治虫 文化賞贈呈式	小原 篤	6.6	〃			表紙作品解説 吉原 治郎「帆柱」	水沢 勉	たいせつ な風景	11					
みんなのマンガ学 西洋骨董洋菓子店 イケメンの店でゆ る日常「よしなが ふみ」	倉持佳代子	7.8	朝日夕刊			巻頭特集 人気画家 が教えます おすすめ 画材この逸品 BEST50&④テクニ ックつき Part1 その他画材以外の活 用編 3その他 テ ィッシュペーパー よでん圭子								
特集 SPECIAL IS SUE VOL. 400 ス タジオ・ボイスの時 代「スタジオ・ボ イス」400号アンケ ート	吉永マサユ キ	400	STUDIO VOICE			特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! よでん圭子	功刀 知子	〃	307					
Recommend! Graphic 吉永マサ ユキ作品集『若き日 本人の肖像』	立古 和智	165	デザインの 現場			神宮名品解説 神宮 美術館所蔵奉納美術 品 彫塑「小さな キリン」[淀井敏夫]	(中村)	瑞 垣	212					
SPECIAL FEATURE アウトローの美学 OUTLAW GUIDE アウトロー・カルチ ャー・ガイド 我が アウトロー論03 吉 永マサユキ	吉永マサユ キ	927	美術手帖			2009年日本建築学会 作品選奨 北日本新 聞 創造の森 越中 座[米田浩二]								
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 吉野純	小森佳代子	307	美術の窓			朔美さんと その9 永代橋	米谷 清和 萩原 清和	た ま び	53					
						永代映し	米谷 清和	多摩美術 大学研究 紀要	23					
						青春プレイバック 米林雄一 東京都台 東区上野公園 東京 藝術大学・彫刻研究 室	林 茂樹	新美術新 聞	1177					

特集 近代の彫刻・
立体「彫塑」の実現
新発見の米原雲海作
品二点を介して

藤井 素彦 近代画説 18

土偶写真で縄文の旅
「王国」岩手で3000枚
超、味わい深い表情
が魅力

米山みどり 日 経 9.8

情感とエロティシズ
ムの表出あるいは、
造形の実験 萬鉄五
郎 エロスの匂いが
希薄な、造形的身体

蔵屋 美香 太陽(別冊) 158

寝る人・立つ人・も
たれる人—萬鉄五郎
の人体表現

東京国立
近代美術
館研究紀
要 13

図版解説 萬鉄五郎
《軽業師》および《太
陽と道》

田中 淳 美術研究 397

研究ノート 試論・
「新しい女」と「風船
を持つ女」—萬鉄五
郎《風船を持つ女》の
制作背景と表現—

〃 〃 398

第六十二回全国大会
研究発表要旨 萬鉄
五郎「裸体美人」(一
九一二)と「原人」の
身体—「もう一つの
前衛」の起点—

長田 謙一 美術史 167

美の履歴書115 女
性は寝ているのか
「裸体美人」 萬鉄五
郎

小川 雪 朝日夕刊 7.15

近代美術の眼 もた
れて立つ人 萬鉄五
郎

蔵屋 美香 読 売 6.12

(ラ)

こころの玉手箱 美
術評論家 林屋晴三
4 楽吉左衛門の世
界

林屋 晴三 日経夕刊 12.25

「HIDDEN MASTER-
PIECE—うもれた名
作500選(写真編)」

菅付 雅信、
山内 宏泰、
小原 真史、
良知 暁、
田澤 明子
選・文
STUDIO
VOICE 402

(リ)

特集 メビウスと日
本マンガ シンポジ
ウム メビウスが語
る、メビウスを語る

メビウス、
りんたろう、
大友 克洋
竹熊健太郎、
津堅 信之
司会
ユリイカ 568

(ロ)

「相方」の魅力 アー
トを楽しむ 現代美
術、2人組が活躍
[ログズギャラリー]

小橋 弘之 日経夕刊 2.10

クリエイターズワー
ク&ソウル 6D

A X I S 139

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファイ
ル グラフィック編
6D

松葉 紀子 デザイン
の現場 163

(ワ)

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人
WOW カテゴリー
を越えて進化する映
像集団

土田 貴宏 〃 〃

SPECIAL FEATURE
アーティストになる
基礎知識

美術手帖 928

PART 1 アーテ
ィストの生きる道
榎忠

榎 忠 談
若木くるみ
インタビュー
—
小吹 隆文
構成

PART 2 PRO-
FESSIONAL IN-
TERVIEW 実録
!アーティストの
セルフ・プロデュ
ース術 コンペテ
ィション入選者に
聞く! なぜ大賞
を受賞できたの?

若木くるみ
編集部
構成

特集 若き天才を見
逃すな! 新人大図鑑
2009 話題の若手作
家の技法2 若木く
るみ

若木くるみ 美術の窓 309

作品「双—最上川—
2007」—時間を刷り
とる—

若月 公平 東北芸術
工科大学
紀要 16

食べたかった限定ホ
ットケーキ

若山嘉代子 芸術新潮 716

100人の心に響いた
絵本100 国内絵本
46 ひまわり[和歌
山静子]

藤本 朝巳 太陽(別冊) 164

アトリエ雑感 家畜
運搬車

若山 保夫 主体美術 86

人生の贈りもの お
もちやデザイナー和
久洋三1~4

宮坂 麻子 朝日夕刊 11.24~
聞き手 27

装幀本談義 和田英作の『小詩園』/岸田劉生の『詩集 南枝の花』	山田 俊幸	一寸	39	特輯 幕末維新期の絵画—狩野派を中心に 図版七 渡邊省亭筆 びわに小禽	野地耕一郎	国 華	1370
東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技術材料・保存修復に関する基礎的研究 VI[和田三造]	佐藤 一郎 木島 隆康 大西 博 桐野 文良 田中 智恵子 増田 久美	東京芸術 大学美術 学部紀要	46	巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! (特別企画)2010年で創立50周年! 社団法人日本南画院の歩みと今 渡辺堂仙	中野 中	美術の窓	313
和田三造が描いたイエスの生涯画集 2冊出版	西田 健作	朝日夕刊	7.29	生命の記憶	渡辺 直彦	名古屋造 形芸大紀 要*	15
「和田三造 イエス・キリスト画伝」	(前)	読 売	5.3	ニッポン人・脈・記 反逆の時を生きて4 ゴールデン街そこに 私も[渡辺眸]	臼井 敏男	朝日夕刊	6.24
構図のはなし 1~8	和田 宏子	趣味の水 墨画	241~249	パラダイス・イデオ ロギー 渡邊博史著		日 経	1.11
小説家とさし絵画家 のあいだ(七)最終回 —和田誠と山藤章二—	重金 敦之	国華清話 会会報	13	100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 10 おどるねこさか な[わたなべゆうい ち]	丹治 史彦	太陽(別冊)	164
100人の心に響いた 絵本100 国内絵本 38 どんなかんじか な[和田誠]	遠藤 秀紀	太陽(別冊)	164	Go! Artists Go! 37 渡辺豊	編 集 部	美術手帖	920
本漫画 和田誠著 読書をテーマにした 「本好きの大人の絵 本」	藤森 照信	毎 日	2.1	サタデー発言 地域 に根ざしたアート広 がる	渡辺 好明	東 京	4.11
和田誠さん『本漫画』 を刊行 本紙連載 「一輪挿しの豪奢」一 冊に	斉藤希史子	毎日夕刊	2.2	特集 物質性/マテ リアリティの可能性 渡辺義雄による岡田 邸の写真	ケン・タダ シ・オオシ マ 鈴木 恒平 翻訳	美術フォ ーラム21	20
コミック パーサス ! 和田依子作品集1 和田依子(作) AV 業界のオンナの奮闘 記	山脇 麻生	朝 日	5.10	雑誌『ホトトギス』に 掲載された渡辺与平 のコマ絵について	遠山 景子	長崎県美 術館研究 紀要	2
ココロのギャラリー わたせせいぞうの世界 上、下	山本 雅人	産 経	2.21,22	巻頭特集 これだけ は見たい墨絵100!! 現代水墨作家セレク ション 遙玄水墨画 協会 渡辺礼子	武田 厚	美術の窓	313
特集 若き天才を見 逃すな! 新人大図鑑 2009 編集部が選ぶ 注目の新人アーティ スト44	渡辺おさむ	美術の窓	309	書評 綿引展子 手 のなかのこころ	小勝 禮子	イメージ &ジェン ダー	9
渡邊加奈子 現代社 会に消えていく「真 実」の痕跡	友澤 宏子	版画芸術	143	日々好日 私の銀金 彫刻	綿引 道郎	新美術新 聞	1202
特集 Part. 2 現代 の作家が語る画家の 原点!! 渡部かよこ	編 集 部	美術の窓	307	故毛利茂樹先生を偲 んで	渡 九兵衛	陶 説	671
写眼 心につながる 微妙なブレ 渡部さ とる「da. gasita 2009」	海老沢 類	産 経	7.11	100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 63 時計づくりのジ ョニー[エドワード ・アーディゾーニ]	長谷川摂子	太陽(別冊)	164
追悼 わが赤穴宏先 生逝く	渡辺 恂三	新美術新 聞	1190	Faces 26 ダレン ・アーモンド 旅と 定点の間で	松浦 直美	ART iT	23

海 外

(ア)

ARTIST INTERVIEW ダレン・アーモンド	飯田 高誉	美術手帖	918	奇想遺産 アンバリ ッド フランス[ジ ュール・アルドゥア ン=マンサール]	鈴木 博之 朝 日	2.8
建築家アルヴァ・ア ールトの建築遺産保 護の現状に関する考 察 フィンランドに おける二十世紀建築 遺産保存に関する研 究 その1	堀内 絢子	日本建築 学会計画 系論文集	639	私の空想美術館64 アルトドルファ ー「アレクサンドロ スの戦い」[アル ブレヒト・アル トドルファ ー]	栗津 則雄	美術の窓 309
Exhibition Reviews 06 『艾未未[アイ・ ウェイウェイ]: 紐 約[ニューヨーク] 1983—1993』三 影堂撮影芸術中心[サ ンインタンシャー インーシュチョン シ](北京)	マヤ・コヴ スカヤ	ART iT	23	調査研究から8 ブ ルドノフスキ野 外彫刻公園(ポー ランド)アルト ハメルの社会 彫刻[パペウ・ アルトハメル]	加須屋明子	視覚の現 場 四季 の綻び 3
ARTIST INTERVIEW アイ・ウェイウェイ	片岡 真実	美術手帖	930	アルバーニ家の子 どもたち[フラン チェスコ・アル バーニ]	宮島 綾子	国立新美 術館ニ ュース 10
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 スペシャル・インタ ビュー アイ・ウ ェイウェイさん	アイ・ウ ェイウェイ 談	美術の窓	312	この一点 国立ト レチャコフ美術 館展より アブラ ム・アルヒー ボフ「帰り道」	宮澤 政男 毎 日	4.18
北京五輪「鳥の巣」 設計助言 アイ・ウ ェイウェイ氏 伝 統と現代結び中国 表現	高野 清見	読 売	9.3	アルベルティの De re aedificatoria 第 十書における(in- staurare)の意味 [レオン・パッ ディスタ・アル ベルティ]	岡北 一孝 西田 雅嗣	日本建築 学会計 画系論 文集 644
ぎやらいいモール 森美術館「アイ・ウ ェイウェイ展—何に 因って?」 「フォー エバー」	片岡 真美	読売夕刊	8.18	中特集 作家の原点 安千龍	磯部 靖	美術の窓 308
特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ 年代ソウカツ! 追 憶の00s ゼロ年代 の死者たち リ チャード・ア ヴェドン	三田 格	STUDIO VOICE	405	「アングル展」を めぐって 『ラン トランシジャン』 紙におけるア ボリネール美術 批評への視点 (1) [ジャン =オーギュ スト=ドミニ ク・アングル]	佐藤 文郎	京都嵯峨 芸術大 学紀要 34
表・表紙 作品・作 家解説 ウジェー ヌ・アジェ《ゴ ブラン通りの衣 料品店(マ ネキン)》	前川 修	美術フォー ラム21	20	美の履歴書112 な ぜ背中が膨らむ のか「パフオ スのヴィー ナス」ア ングル、 デゴッ	小原 篤	朝日夕刊 6.24
特集 LATIN AMERICAN ATTRA CTION ラテン・ア メリカ・コネク ション MEX ART NOW カルロス・ア モラレス	志田 朝美	STUDIO VOICE	399	美の美 アングル ーアカデミ ズム最後の 輝き1~3	河野 孝 日 経	6.7、14、 21
特集 プロジェクト ・レポート一次 なるキーワード を探せ ロン・ア ラッドの「メ ディアシ ティ」先行 きが読めない 時代のアイ コン建築 の行方	中島 恭子	A X I S	140	アンソールの《愛 の園》: カーニ ヴァル、演 劇、ユート ピア [ジェ ームズ・ア ンソール]	鈴木 俊治	豊田市美 術館紀 要 2
				SPECIAL FEATURE 第14回芸術評 論入選作発表 第1席 レイ パー・ワーク ール・アンド レにおける 制作の概念	沢山 遼	美術手帖 928

(イ)

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
96 よじはんよじは
ん[イ・ヨンギョン]

ばくきょん
み 太陽(別冊) 164

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 013 ドロ
シー・イアンノーネ

藤森 愛実 美術手帖 927

ヨーゼフ・イスラエ
ルスの描く嘆き

太田 靖子 関西大学
哲学 27

Reviews: Art03
イム・ウォンジュ
『24 Seconds of Si-
lence』ユーレンス
現代美術センター
(北京)

マヤ・コヴ
スカヤ ART iT 22

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
80 エリカ 奇跡の
いのち[ロベルト・
インノチェンティ]

大石 芳野 太陽(別冊) 164

(ウ)

例会発表要旨 第
109回例会: 18世紀
フランス美術におけ
る彫刻をめぐる
生きているかのような
彫像の表象—アン
トワヌ・ヴァトー
の雅宴画を巡って—

杉山奈生子 日仏美術
学会会報 28

翻訳 ヴァランタン
[モイーズ・ヴァラ
ンタン]

カルロ・デ
ル・ブラー
ヴォ 甲斐 教行
訳・註解 五浦論叢 16

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
99 漂流物[デイヴィ
ッド・ウィーズナ
ー]

石田 千 太陽(別冊) 164

特集 記憶のアート
／消滅のアート 忘
却を超える試み—7
人のアーティスト
[アピチャップン・
ウィーラセタクン]

編集部 ART iT 23

オペラとビデオア
ート—ビル・ヴィオラ
によるトリクスタン・
プロジェクトをめぐ
って—

椎原 伸博 実践女子
大学美学
美術史学 23

奇想遺産 ヴィトゲ
ンシュタイン・ハウ
ス オーストリア[ル
ートヴィヒ・ヴィト
ゲンシュタイン]

隈 研吾 朝 日 1.18

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
83 赤いカヌーにの
って[ペラ・ペイカ
ー・ウィリアムズ]

赤木かん子 太陽(別冊) 164

Close-up ジャン・
クロード・ウータ
ース 「無」から生じ
「無」に向かう光の中
にたゆたう肖像

ギャラリー 296

ロヒール・ファン・
デル・ウェイデン作
《七秘蹟祭壇画》の制
作背景 フィレンツ
ェ公会議大勅書『エ
クスルターテ・デオ
Exultate Deo』からの
影響を中心に

本橋 瞳 美史研ジ
ャーナナル 6

ルイ14世の子孫も激
怒した ヴェルサイ
ユの現代アート第2
弾[グザヴィエ・ヴ
エイラン]

永島 章雄 芸術新潮 719

創立250周年記念ウ
ェッジウッド—ヨー
ロッパ陶磁器デザイ
ンの歴史 王侯貴族
に愛され250年 挑
戦続けた「英国陶工
の父」[ジョサイア・
ウェッジウッド]

ゲイ・ブレ
ーク・ロバ
ーツ 朝日夕刊 1.27

上野伊三郎・リチの
「造形意志」[上野リ
チ]

山野 英嗣 京都国立
近代美術館研究論
集 2

上野リチと稲葉七宝 松原 龍一 " "

京都で教えた上野伊
三郎・リチ ウィー
ン工房流 個性重視
貫く

古賀 重樹 日経夕刊 4.28

「埋もれたる天才」の
ことなど[チャール
ズ・デイター・ウェ
ルドン]

丹尾 安典 一寸 38

SPECIAL FEATURE
アウトサイダー・ア
ートの愛し方 “生
の芸術”ってなんだ
ろう? PARTI ア
ウトサイダー・ア
ートの基礎知識 LE-
SSON02 王国の10
大巨匠は誰だ? 01
アドルフ・ヴェルフ
リ

かないみき 美術手帖 923

特集 ポスト・ソウルの黒人文化 ポスト・ソウル世代と奴隷制 ヴィジュアル・アーティスト、キャラ・ウォーカーの世界	中地 幸	水声通信	29	ぎやらりいモール パナソニック電工汐留ミュージアム「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ」展から「関西学院中央芝生広場を囲む校舎群」ウィリアム・メレル・ヴォーリズ	福永 知代	読売夕刊	6.2
100人の心に響いた絵本100 海外絵本78 エルシー・ビドック、ゆめでなわとびをする[シャロット・ヴォーク]	今江 祥智	太陽(別冊)	164	チャロー!インディア インド美術の新時代 躍動する感情へマ・ウパディヤイ 人間のエゴ切り離す	前田 恭二	"	1.20
ぎやらりいモール 損保ジャパン東郷青児美術館「ベルギー近代絵画のあゆみ」から「雪の夜」ギョーム・ヴォーゲルス	小林 晶子	読売夕刊	9.29	特集 トミ・ウンゲラーのおかしな世界		芸術新潮	716
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ おすすめ夏の海外展 知られざるヴィクトリア朝画家ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス		美術の窓	311	トミ・ウンゲラーの美術館へ行こう!	編集部		
				作品篇 トミ・ウンゲラーの6つの顔	"		
				人生篇 ある放蕩息子 息子の長い長い旅	トミ・ウンゲラー 談		
				コラム 1~4	飛幡 祐規		
巻頭特集 美しい女性'09 エロス、輝き、そして強さへ おすすめ夏の海外展 知られざるヴィクトリア朝画家ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス Column 国内で見られるウォーターハウスの「宿命の女」	菅野 洋人	"	"	100人の心に響いた絵本100 海外絵本81 オットー 戦火をくぐったティンティン [トミ・ウンゲラー]	池上 彰	太陽(別冊)	164
					(エ)		
捨てられない人 アンディ・ウォーホルのダンボール612箱	前橋 重二	芸術新潮	719	ウォーカー・エヴァンズにおけるFSA活動とその意味	趙 東来	九州産業大学芸術学会研究報告	40
特集 聖俗のあいまい論文 アンディ・ウォーホル作品における聖と俗	宮下規久朗	西洋美術研究	15	WORLD NEWS ARTIST in Focus 今月のワールドスター No. 008 ウィリアム・エグルストン	藤森 愛実	美術手帖	918
平成二十年度修士論文要旨 アンディ・ウォーホルの作品における死に関する考察	赤川 俊範	美史研ジャーナル	6	第六十二回全国大会 研究発表要旨 レヒネル・エデン設計「郵便貯金局」の装飾におけるハンガリー性—ベルリン留学体験の関与をめぐる—	足立 純子	美術史	167
彩・美・風 渡米、ウォーホル、大量生産	坂井 直樹	朝日夕刊	8.5	INFORMATION WORK 虹のインステレーション オラファー・エリアソンの新作を恒久設置	編集部	美術手帖	931
小特集 初めて見るのに懐かしい ヴォーリズ建築に会いに行く[ウィリアム・メレル・ヴォーリズ]	佐野 由佳	芸術新潮	714	SV CUT UP PHOTO BOOKS エリック『中国好運 GOOD LUCK CHINA』	"	STUDIO VOICE	398

クリエーターズワーク&ソウル アマール・エルウィーニ	A X I S	138					(カ)		
Art Chat Studio 8 ダイアン・エルソン × 水井久美 (前編) (後編)	ダイアン・エルソン、 水井 久美 談	ギャラリー 一	295、256					美術手帖	926
中特集 風景 v.s. 光景 マックス・エルンスト「変容する 自然・地霊」			美術の窓	309					
	(オ)								
作家通信 テレビの 主題歌を制作	王 子江	趣味の水 墨画	248				猪飼 尚司	デザインの 現場	163
作家通信 色と墨の ハーモニー	汪 天介	〃	239					A X I S	141
巻頭特集 散歩から はじめよう スケッチ がもっと上手くなる ⑧技法講座 VOL. 16 大岩オス カール ニューヨー クよりスケッチ絵手 紙	大岩オスカ ール	美術の窓	315				越高 一夫	太陽(別冊)	164
Osamu's Invitation 20 サバービアの英 雄「ビル・オーエン ズ」	原田 治	芸術新潮	713				西田 健作	朝日夕刊	3. 11
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 74 ザスーラ[クリ ス・バン・オールス バーグ]	酒寄 進一	太陽(別冊)	164				増田 喜昭	太陽(別冊)	164
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 66 ぎゅつ[ジェズ ・オールバラ]	落合 恵子	〃	〃				富井 玲子	新美術新 聞	1183
第六十回美学会全国 大会報告 発表要旨 ジョージア・オキー フ作《マンハッタン》 に見るニューヨーク の都市表象について	玉井 貴子	美 学	235				江崎 聡子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	26
海外通信 「オキー フの抽象」展 ニュー ヨーク 独創性あ ふれる大胆さ	富井 玲子	朝日夕刊	11. 25					芸術新潮	719
美の履歴書104 子 供は、なぜ老け顔か 「学校の先生」アド リアーン・ファン・ オスターデ	大西 若人	〃	4. 15						
キャサリン・オビー はぐれ者の静寂を撮 る	由本みどり	芸術新潮	709				王 凱	武蔵野美術大学研 究紀要	39
クレス・オルデンバ ーグ 大阪万博のた めの氷枕をふたたび	〃	〃	715				石井 達朗	読 売	8. 6
現在通信 From NEWYORK ホイト ニーのオルデンバ ーグ	富井 玲子	新美術新 聞	1185				藤田 瑞穂	待兼山論 叢	43

現在通信 From
NEWYORK カブローの《ヤード》[アラ
ン・カブロー]

富井 玲子 新美術新聞 1199

特集 開館50周年
なるか、世界遺産
国立西洋美術館のす
べて 私の好きな西
美の1点 女流画家
に一目惚れ[マリー
=ガブリエル・カベ]

高橋 明也 芸術新潮 710

カラヴァッジオの絵
画における「クロー
ズアップの手法」に
ついての一考察 フ
ランク・ステラの解
釈を基に

船岳 紘行 芸術学研究(筑波) 13

私の空想美術館67
カラヴァッジオ『聖
母の死』

栗津 則雄 美術の窓 312

翻訳 カラッチ[ア
ゴスティーノ・カラ
ッチ/アンニーバレ
・カラッチ/ルドヴ
ィゴ・カラッチ]

カルロ・デ
ル・ブラー
ヴォ
甲斐 教行
訳・註解 五浦論叢 16

現代美術としてのソ
フィ・カルの写真—
モダニズム写真の枠
を超える写真表現と
して

姜 美賢 芸術文化研究 13

今日の写真小説[ソ
フィ・カル]

アントワー
ヌ・コンパ
ニオン
今井 勉 訳 水声通信 31

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 015 ソフ
ィー・カル

仁尾 帯刀 美術手帖 930

アカデミーダブル受
賞「映画の神がく
れた」米作家も絶賛
[ラウル・ガルシア]

毎 日 2.24

趣味が高じて生涯に
1800点 カルダールの
愉快な宝飾品たち
[アレクサンダー・
カルダー]

由本みどり 芸術新潮 710

現在通信 From
NEWYORK カルダ
ールのパリ時代

富井 玲子 新美術新聞 1174

PARIS 発 パリのカ
ルダー

安部 雅延 〃 1184

特集 LATIN
AMERICAN AT-
TRACTION ラテン
・アメリカ・コネク
ション MEX ART
NOW ミゲル・カ
ルデロン

志田 朝美 STUDIO VOICE 399

あいだのすみっこ不
定期漫遊連載 第69
回 エミール・ガレ
と万国博覧会—19世
紀末ガラス産業の社
会的認知闘争にまつ
わる備忘録メモ

稲賀 繁美 あいだ 164

オルセー美術館展
パリのアール・ヌー
ヴォー5 エミール
・ガレ「婦人用机“オ
ンベリユル”」

遠藤 望 読 売 10.14

PREVIEW 姜賢三
の世界展

磯部 靖 美術の窓 308

研究員レポート ヴ
ァシリール・カンディ
ンスキーの「抽象画」

長屋 光枝 国立新美
術館ニュー
ース 10

PARIS 発 カンディ
ンスキーと20世紀

安部 雅延 新美術新聞 1188

ART+ 「第2の自
然」問いかける[カン
パナ・ブラザーズ]

(清) 読売夕刊 1.6

(キ)

姿なきプリンセス
(上)(下)[アンゼル
ム・キーフアー]

保崎 裕徳 アート
ペーパー 80,81

自然を発見する?—
ロマン主義的表象の
再考—[アンゼルム
・キーフアー]

仲間 裕子 思 想 1026

特集 プロジェクト
・レポート—次なる
キーワードを探せ
マルティ・ギンシェ
の「セラミック・モノ
ブロック・ハウス」
—最古の建築材料で
未来に向かう

小町 英恵 A X I S 140

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 009 マル
ティン・キッペンベ
ルガー

廣 李果 美術手帖 919

連載特集 追悼・山
岸信郎19 わが真の
恩師、山岸信郎先生
!—追慕の文

金 在寛 あいだ 165

Recommend! New
Designer キム・ジ
ハン

編 集 部 デザイン
の現場 163

実存のノマディズム
の実行とウェブを利用
した逆説的批判:
二人の女性アーティ
ストの作品分析による
グローバリズム再
考[キム・スージャ]

ジョン・ヘ
スク
金 恵信 訳 イメージ
& ジェン
ダー 9

遺構の昔日 ペン画
で復活 韓国の文化
財建築、文献調べ創
建当時の姿を描く

金 栄澤 日 経 4.14

特集 本と旅する
World Travelogue
旅へと誘う紀行文
トーマス・キャンベ
ル インタビュー

江口 研一 STUDIO
VOICE 404

お札と切手の博物館
収蔵キヨッソーネの
版画作品

お札と切
手の博物
館ニュー
ス 26

SPECIAL FEATURE
アウトサイダー・ア
ートの愛し方 “生
の芸術”ってなんだ
ろう? PARTI ア
ウトサイダー・ア
ートの基礎知識
LESSON02 王国の
10大巨匠は誰だ?
02マッジ・ギル

伊東 豊子 美術手帖 923

第六十回美学会全国
大会報告 発表要旨
ギルランダイオ初期
作、プロツィの壁画
《聖会話》におけるフ
ランドル絵画の影響
—ペトルス・クリス
トウス作、プラドの
《聖母子》との関係に
ついて—[ドメニコ・
ギルランダイオ]

江藤 匠 美 学 235

(ク)

大宮殿展 上 画家
クーデンホーフ=カ
レルギーさん オ
ーストリアの魅力が凝
縮[ミヒャエル・ク
ーデンホーフ=カレ
ルギー]

クーデンホ
ーフ=カレ
ルギー 談 毎 日 11.1

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
68 満月をまっ
[バーバラ・クーニ
ー]

太田 治子 太陽(別冊) 164

権鎮圭展 権鎮圭の
回顧展に寄せて

松本 透 現代の眼 577

「権鎮圭」展によせて
権鎮圭とモデル、そ
して作品

朴 亨國 # 578

SINGULAR DIA-
LOGUES ビーター
・クック

藤村 龍至 STUDIO
VOICE 398

特集 国際化時代の
建築教育システムへ
IX UIA会長から
のメッセージ JA-
BEE 機構審査は歴
史的な出来事!

ルイーズ・
コックス
談 建築雑誌 1588
国広ジョー
ジ 聞き手

Faces 21 スポ
ード・グプタ「ブ
ーム」の冷静な観察者

チャイタニ
ャ・アンブ
ラーニー ART iT 22

チャロー!インディ
ア インド美術の新
時代 躍動する感情
スボード・グプタ
芸術の普遍性強調

前田 恭二 読売夕刊 1.20

REALTOKYO Picks
DESIGN 『20 クラ
イン ダイサム ア
ーキテクトの建築』
展[アストリッド・
クライン]

馬場 正尊 ART iT 23

デザイナーの第二言
語勉強法 第3回
アストリッド・クラ
イン

石橋 勝利 A X I S 139

アストリッド・クラ
インさん マーク・
ダイサムさん 建築
で東京を元気に

高橋 直彦 読売夕刊 5.23

「アラン・グラス」展
メキシコでシュルレ
アリスト再考

野中 雅代 東京夕刊 2.13

作曲家と画家たち—
エリック・サティの
場合4 カフェ=コン
セールとミュージ
ック・ホール[オー
ギュスタン・グラス
=ミック]

大谷 千正 文化往来
美の風 4

見つめあうアダムと
イヴ—クラナハの
「アダムとイヴ」に
おけるある新しいイ
メージ[ルーカス・
クラナハ]

齊藤 栄一 芸術学研
究(明学) 19

特集 聖俗のあわい
研究ノート 展覧会
評「クラナハ
(父)」展

平川 佳世 西洋美術
研究 15

art news 《忘れ
えぬ女》身辺調査[イ
ワン・クラムスコイ]

芸術新潮 714

美の履歴書106 挑
む視線なぜ引かれる
「忘れえぬ女」イ
ワン・クラムスコイ

小原 篤 朝日夕刊 5.13

この一点 国立トレ
チャコフ美術館展
より イワン・クラ
ムスコイ「忘れえぬ
女[ひと]」

宮澤 政男 毎 日 4.14

ARTIST INTERVIEW
マーティン・クリー
ド

大森 俊克 美術手帖 925
聞き手

平成二十年度西支部
例会発表要旨 カル
ロ・クリヴェッリと
その工房《カステル
・トロジョノ祭壇画》
再構成

上原 真依 美術史 166

特集 アルフォンス・ミュシャー没後七〇年記念特集 光は東方から、そして東方へ ミュシャとクリムト[グスタフ・クリムト]

千足 伸行 ユリイカ 570

フォルムが意味するもの—グスタフ・クリムトの「キス」

坂本 恭子 横浜美術館研究紀要 10

特集 ウィーン世紀末を彩る2人の画家[グスタフ・クリムト]

L u r e 89

クリムト ソウルを「誘惑」過去最大級110点余の作品展 息子の肖像画も公開

箱田 哲也 朝日夕刊 3.18

SPECIAL FEATURE

アートの旅へ行こう！ PROJECT3 アンティエ・グルメス プナ林を満たす“光”を求めて 越後妻有への内なる旅

アンティエ・グルメス 美術手帖 921

2009年はこのアーティストに注目！ アンティエ・グルメス内なる旅

" 926

100人の心に響いた絵本100 海外絵本76 おひさまバン[エリサ・クレヴェン]

高橋 直樹 太陽(別冊) 164

art news クレーへの償いから生まれた美術館と名物館長の物語[パウル・クレ]

芸術新潮 710

特集「パウル・クレ—東洋への夢」小林忠氏インタビュー

小林 忠 Corridart 4

博士論文要旨 パウル・クレの1916—1921年の文字絵—作品の構成、テキストの形式と内容を巡る考察—

野田由美意 成城美学美術史 15

パウル・クレの一九一七年の文字絵《Emilie》—テキストと図像の関係について—

" 美 学 234

中特集 風景とイメージ Part. 1

美術の窓 310

パウル・クレの風景とイメージ

パウル・クレの風景とイメージ 風景のありか—旅行画家/地景画家としてのパウル・クレ—

前田富士男

美の履歴書093 幾何学で表したのは「リズムカルな森のラクダ」 パウル・クレ

青山 祥子 朝日夕刊 1.21

エル・グレコ作《彫刻家の肖像(おそらくボンベオ・レオーニ)》をめぐる一考察—フェリペ二世の主席彫刻家ボンベオ・レオーニとの関係

門田 彩 美術史学 29

柳瀬正夢とグロス、長谷川如是閑の論評[ジョージ・グロス]

柳瀬 信明 美術運動史研究会ニュース 99

ジョージ・グロスの受容と評価(上)(中)(下)

山口 泰二 " 103~105

現在通信 From NEWYORK 水二題—クワックとカイユボット[郭善景]

富井 玲子 新美術新聞 1183

(ケ)

オビニオン2009 ヴァレリー・ケイシー(デザイナーズ・アコード創設者)

瀧口 範子 A X I S 139

森岡督行の「写真集を、どうぞ。」[1] 大竹昭子さんへ『ON READING』を。[アンドレ・ケルテス]

森岡 督行 百 科* 566

現代アート アレクサンダー・ゲルマン「ポスト・グローバル」今月末出版「ローカリズム」で日本の時代

喜多 由浩 産 経 10.20

自著を語る『ポストグローバル』アレクサンダー・ゲルマンさん(アーティスト)

東京夕刊 11.24

顔 漆のチェスで伝統工芸を世界に紹介するデザイナー アレクサンダー・ゲルマンさん

崎長 敬志 読 売 10.19

キュレトリアル・スタディーズ03 ウィリアム・ケントリッジ研究

河本 信治 京都国立近代美術館研究論集 2

Part I: 連続アーティスト・トーク

Part II: 新収作品
研究《やがて来るもの(それはすでに来た)》

特集1 ウィリアム・ケントリッジ—歩きながら歴史を考える—そしてドローイングは動き始めた…

ケントリッジを日本で視る

吉岡 洋

定点観測—ウィリアム・ケントリッジ《プロジェクトジョンのための9つのドローイング》について

土居 伸彰

ARTIST INTERVIEW
ウィリアム・ケントリッジ河本 信治
聞き手

現代の眼 579

美術手帖 931

(コ)

作家通信 「山水行・行山水」—山水芸術表現展を開いて

呉 一騏

趣味の水
墨画 249Close-up 呉之東
モノを描くという一貫した哲学を貫き表現技法を深めてきた具象の世界ギャラリ
ー* 285

日本における呉昌碩の受容—大正・昭和編(一)

松村 茂樹

中国近現代文化研究 10

作家通信 “気”をつけて写意する

顧 哲剛

趣味の水
墨画 247

特集 ゴーギャンという人生[ボール・ゴーギャン]

丹尾 安典

芸術新潮 715

特集1 ゴーギャン

現代の眼 577

タヒチというモデル—ゴーギャン、ランボー、そして写真

鈴木 和成

《我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか》をめぐって

岡谷 公二

特集 ゴーギャンの楽園 第1章 ゴーギャンと楽園

版画芸術 143

文明と未開を孤旅する魂—ゴーギャン再考

馬場 駿吉

ゴーギャンの遺言不朽の名作《我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか》

井口 智子

特集 ゴーギャンの楽園 第2章 ゴーギャンの版画

” ”

版画—最も親密なゴーギャンの世界

本江 邦夫

完全解説 木版連作《ノア・ノア》
ゴーギャンの楽園記録

秋田 真波

《ノア・ノア》には、3種類の刷りが存在する!?

”

ゴーガン没後の顕彰のゆくえ—ビエール・ジリウー《ゴーガンへのオマージュ》をめぐって

小泉 順也 美術史 167

ハーンの目とゴーギャンの寓意—見返される「海洋と島」への航海—

鶴岡 真弓 文学* 10-4

美の履歴書108 果実を摘むのはだれか「我々はどこから来たのか我々は何者か 我々はどこへ行くのか」 ボール・ゴーギャン

西岡 一正 朝日夕刊 5.27

美の美 作家を魅了した絵2 福永武彦とゴーギャン

浦田 憲治 日 経 11.22

美術館でのライブ・パフォーマンス—ART RULES KYOTO 2008[ダグラス・ゴードン]

京都国立近代美術館研究論集 2

2009年はこのアーティストに注目! アントニー・ゴームリー もうひとつの特異点

美術手帖 926

100人の心に響いた絵本100 海外絵本65 うろんな客[エドワード・ゴッリー]

緒川たまき 太陽(別冊) 164

ループル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 アドリアーン・コールテ「5つの貝殻」

前田 恭二 読売夕刊 4.17

特集 フィールドワーク・スタディ II デザインワークとしてのフィールドワーク 1990年代以降の建築家によるフィールドワーク レム・コールハース、アトリエ・ワンの射程

南後 由和 建築雑誌 1593

特集 黒田アキ ドラえもん、レム・コールハース、黒田アキ

千種 成顕 水声通信 28

EXTRA COLUMN PRADA TRANS- FORMER SEOUL [レム・コールハース]	松村 正人	STUDIO VOICE	405	特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト コールハースとは誰か?	"	"		
特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト		ユリイカ	567	コールハースを楕円的に読む	瀧口 範子 五十嵐太郎			
徹底討議 シニシズムとスノビズムの間で	磯崎 浅田	新彰		不可避な状況での楽観主義	白井 宏昌			
構築する相同 書物と建築のあいだに[2] OMA/AMO 関連書	秋山 伸			特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト イエスのその後		"	"	
特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト その戦略と実践		"	"	コールハースと設計プロセス「グーグル的建築家」をめざして	藤村 龍至			
コールハースと語る	浅田 彰			選択/淘汰の起こる場をいかに設計するか	濱野 智史			
「ヴォイドの戦略」の可能性 その同型性を通して	難波 岩元	和彦 真明		私の履歴書23 安藤忠雄、ノックアウト世界デビューに乾いた拍手[レム・コールハース]	磯崎 新	日 経	5.24	
プラットフォームに向かう思考 レム・コールハース 試論	松田 達			博士論文概要 ジャン・コクトーにおける神話の受容	家山也寿生	早稲田大学大学院文学研究科紀要	54	
特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト 建築というフットプリント		"	"	博士(文学)学位請求論文審査報告要旨 ジャン・コクトーにおける神話の受容		"	"	
傾いた柱 レム・コールハースの五つの建築をめぐる	南 泰裕			特集 国際化時代の建築教育システムへIX UIA会長からのメッセージ JABEE 機構審査は歴史的な出来事!	ルイーズ・コックス 談 国広ジョージ 聞き手	建築雑誌	1588	
OMAのアーキテクトン 針と球、水平性と垂直性、あるいは不動性と可動性	堀井 義博			入門講座 イタリア・ルネサンスの「未完成」3 コッサ「3月」「平面化」で輝く新境地[フランチェスコ・デル・コッサ]	宇佐美圭司	日経夕刊	7.16	
Universe beyond Universal Space 「ボルドーの住宅」における三層の世界	槻橋 修			ファン・ゴッホ、遠景の表現[フィンセント・ファン・ゴッホ]	小林 英樹	愛知県立芸術大学紀要	38	
ふつうではない建築のドキュメント	五十嵐太郎			構図のはなし4 三角形と四角形、緊張と安定の組み合わせ 複数の素材を新鮮な視点で[フィンセント・ファン・ゴッホ]	和田 宏子	趣味の水墨画	244	
特集 レム・コールハース 行動のアーキテクト 資料		"	"	オーヴェール=シュール=オワーズ 十二の疑問[フィンセント・ファン・ゴッホ]	小林 利延	文星紀要	20	
OMA 用語辞典	五十嵐太郎 編・執筆 東北大学・五十嵐太郎研究室 執筆							
コールハース主要著作解題	岩元 真明 編・執筆 丁 周磨 執筆							

ニッポン人・脈・記
前衛バカ伝説8 炎
の志伝えるプレス機
[フィンセント・フ
アン・ゴッホ]

田中 三蔵 朝日夕刊 3.30

美の美 作家を魅了
した絵3 小川国夫
とゴッホ

浦田 憲治 日 経 11.29

入門講座 印象派の
なぜ2 光輝くゴッ
ホの色彩 真つ暗な
一生 ただ一つの喜
び

福田 美蘭 日経夕刊 2.12

この人・この3冊
ファン・ゴッホ

五十殿利治 毎 日 4.26

ワイド視聴室 ゴッ
ホ最後の70日 ひま
わりの画家はあの日、
殺されたのか? 残
された絵から「自殺」
説を覆す

栗原 俊雄 毎日夕刊 9.12

わが逸品 山形美術
館 フィンセント・
ファン・ゴッホ「雪
原で薪を集める人び
と」 労働の厳粛さ
表現

岡部 信幸 読 売 6.23

「ハンス・コパー展
—20世紀陶芸の革新」
に寄せて

西田 桐子 陶 説 679

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
73 ゴールディーの
お人形[マリリン・
ブルック・ゴフスタ
イン]

木坂 涼 太陽(別冊) 164

ゴヤ「巨人」、実は弟
子が制作「準・真
作」も歴史的価値[フ
ランシスコ・デ・ゴ
ヤ]

宮下規久朗 日経夕刊 2.2

ゴヤ様式問い直すと
き「巨人」は助手の
作品

大高保二郎 読 売 2.19

ゴヤ作でなかった
「巨人」 助手のサイ
ン決め手 鑑賞者に
戸惑いも

菅原 教夫 " 3.10

平成二十年度西支部
例会発表要旨 ラフ
アエル・コランとフ
ォントネー=オ=ロ
ーズのアトリエをめ
ぐる一考察

三谷 理華 美術史 166

収蔵作品から ケー
テ・コルヴィッツ
「追悼エルンスト・
バルラッハを偲んで」

杉野 秀樹 ど お む 107

SPECIAL FEATURE

アウトサイダー・ア
ートの愛し方 “生
の芸術”ってなんだ
ろう? PARTII も
っと愛するための実
践術! アロイーズ
恋する女 空っぽな
眼[アロイーズ・コ
ルバス]

清川あさみ 美術手帖 923

例会・研究発表要旨
東部会 平成二一年
度第三回例会 コレ
ッジョ作(ユビテル
の愛)連作と一六世
紀エロティック絵画
の潮流—マントヴァ
宮廷における古代と
近代

小松健一郎 美 学 235

初期コレッジョとエ
ミリア地方の「早熟
な古典主義」—「周
縁」の芸術に関する
一試論—

" 美術史 167

展覧会評 「コレッ
ジョ」展

" 美術史学 29

1825—1828年のコロ
—オレヴァーノ風
景をめぐる一つのメ
モ[カミーユ・コロ
ー]

小針由紀隆 アマリリス 92

洋館が宿す 明治の
心意気 “日本の近
代建築の父”コンド
ルを訪ねて[ジョサ
イア・コンドル]

関口 圭 日経夕刊 6.13

特集 Now Mater
The Secret of Mini-
mal Music 第二陣
—SECOND WAVE
トニー・コンラッド

南部 真里 STUDIO VOICE 401

フォーカス 英国ビ
ジネス大使に就任し
たデザイナー T・
コンラン氏 優れた
音楽や意匠、世界へ
橋渡し[テレンス・
コンラン]

日経夕刊 5.27

(サ)

THE ハブスブルク
展 ザイゼネッガー
「チロル大公フェル
ディナントの肖像」
[ヤーコブ・ザイゼ
ネッガー]

前田 恭二 読売夕刊 10.7

米写真家が見た被災
者の64年 「長崎」
「東京」の肖像展 浅
草のギャラリー「感
情を写したかった」
[ポーレ・サヴィア
ーノ]

東京夕刊 3.14

学芸ノート ザッキンの「ボルクス」と「カストール」は男の双子なのか[オシップ・ザッキン]	山田真規子	姫路市立美術館だより	103	SV CUT UP ART がらくたの城、生命の泉 ジェラティンの人間的なコンセプトチュアルアート	松井みどり	STUDIO VOICE	401
100人の心に響いた絵本100 海外絵本86 恐竜時代 エンサイクロペディア 太古の世界[ロバート・サブダ]	鈴木 光司	太陽(別冊)	164	ARTIST INTERVIEW ジェラティン	松井みどり 聞き手	美術手帖	923
「カーシム・サブテイー イラクー不死鳥物語」展を見て	菱 千代子	美術運動	136	特集 アルフォンス・ミュシャー没後七〇年記念特集 積み重なる紙の束から… … シェレとミュシャ ポスター作家としての[ジュール・シェレ]	久保村里正	ユリイカ	570
セバスチャン・サルガド AFRICA—生きとし生けるものの未来へ—	セバスチャン・サルガド 談 丹羽 晴美 インタビュー	EYES	63	SV CUT UP ART ホセ・マリア・シンリャ『Sicilia—Recent Works—』	住吉 智恵	STUDIO VOICE	399
セバスチャン・サルガドさん 写真展「アフリカ」開催 厳しい社会や自然 崇高に		日経夕刊	11.19	100人の心に響いた絵本100 海外絵本82 マドレンカのいぬ[ピーター・シス]	コリーヌ・ブレ	太陽(別冊)	164
奇想遺産 スペイン階段 イタリア[フランチェスコ・デ・サンクティス]	隈 研吾 朝 日	3.15		Osamu's Invitation 27 光と雪のシスレー[アルフレッド・シスレー]	原田 治	芸術新潮	720
(シ)				シニャックとアナーキズム(2):《調和の時代》(下)[ポール・シニャック]	千足 伸行	成城文芸	207
この一点 国立トレチャコフ美術館展より イワン・シーシキン「ペテルホフのモルドヴィノフ伯爵夫人の森で」	宮澤 政男 毎 日	4.24		展覧会から8 「暴力の歴史」展への不出品[アルトゥール・ジミエフスキ]	加須屋明子	視覚の現場 四季の綻び	2
巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 Column シーレのデッサンの所有権[エゴン・シーレ]		美術の窓	304	シャガールとユダヤ美術[マルク・シャガール]	梶原麻奈未	鹿島美術財団年報・別冊	26
特集 ウィーン世紀末を彩る2人の画家[エゴン・シーレ]		Lure	89	情報館 ブリヂストン美術館「名画と出合う 印象派から抽象絵画まで」から「ヴァンスの新月」マルク・シャガール	中村 節子	読売夕刊	3.17
美の履歴書109 なぜ体をねじるのか「カール・グリュンヴァルトの肖像」エゴン・シーレ	小川 雪	朝日夕刊	6.3	フランス人浮世絵師ポール・ジャクレの文化史的研究—創作・販路と時代動向をめぐって—	新井 敏記 朝 日	6.21	
日本の美術館名品展 エゴン・シーレ「カール・グリュンヴァルトの肖像」	高野 清見	読売夕刊	5.11	視線 私とマリオ・ジャコメッリ〈生〉と〈死〉のあわいを見つめて 辺見庸著	泉田 英雄	建築史学	52
WORLD NEWS ARTIST in Focus 今月のワールドスター No. 011 謝徳慶	藤森 愛美	美術手帖	921	アルフレッド・チャールズ・シャストール・デ・ボアンヴィルの家系について	船岡(多田)美穂子	美術史	167
				シャルダン初期の静物画—自然模倣神話の再考—[ジャン＝パティスト＝シメオン・シャルダン]	栗津 則雄	美術の窓	313
				私の空想美術館68 シャルダン『オリヴァの瓶詰』			

Artist Interview Sprout 朱大熹(ジュデヒ)	art _ icle	16	ジョルジョーネ解説	エドガー・ウイント 森田 義之、 甲斐 教行 訳	五浦論叢	別冊美術 編07
SPECIAL FEATURE アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう? PARTII もっと愛するための実践術! 私の、アウトサイダー・アートの愛し方02[ジョセフ・フェルディナン・シュヴァル]	山崎ナオコ ーラ	美術手帖	923	THE ハブスブルク展 ジョルジョーネ「矢を持った少年」 特集 中村好文と訪ねる 建築家の究極のすまい フィリップ・ジョンソン邸へ行こう 特集 中村好文と訪ねる 建築家の究極のすまい フィリップ・ジョンソン邸へ行こう フィリップ・ジョンソンとは何者か ニューヨーク ジョンソン建築巡り ゴッガン没後の顕彰のゆくえービュール・ジリウー《ゴッガンへのオマージュ》をめぐる 作家通信 「論語」の世界を導いて 巻頭特集 これだけは見たい墨絵100!! 第2章鉛筆がわりに墨を持って!—今すぐ出来る水墨・実践編— 沈和年/水墨画超入門! 4コマで出来るプチ水墨 論考の主題とその構成にみるルドルフ・シンドラーの時代認識 (ス) 特集 開館50周年なるか、世界遺産国立西洋美術館のすべて 私の好きな西美の1点 林芙美子の守り神[シャイム・スーティン] 仏人画家が描く「日本神話の世界」[マークエステル・スキャルシャフィキ] 第六十回美学会全国大会報告 発表要旨「人間家族」展(一九五五年)の復元による意味の変遷について[エドワード・スタイクン] 連載特集 追悼・山岸信郎	前田 恭二 読売夕刊 9.28 中村 好文 芸術新潮 714 中村 好文 中村 好文 小泉 順也 美術史 167 沈 強 趣味の水墨画 242 沈 和年 美術の窓 313 末包 伸吾 日本建築学会系論文集 638 太田 治子 芸術新潮 710 産 経 9.9 土山 陽子 美 学 235 あいだ	読売夕刊 9.28 芸術新潮 714 " " 編 集 部 中村 好文 美術史 167 趣味の水墨画 242 美術の窓 313 日本建築学会系論文集 638 " " 710 9.9 235 162
ジュジョールの自筆図面に見る彼の創作態度 建築家ジュゼップ・マリア・ジュジョール研究(2)	池村 潤 入江 正之	日本建築学会系論文集	638			
BOOK REVIEW 『パーセルへの道』ヘルムート・シュミット編著	佐藤 淳	瓜生通信	48			
100人の心に響いた絵本100 海外絵本61 ゆき[ユリ・シュルヴィッツ]	松本 猛	太陽(別冊)	164			
スヌーピーもビックリ! チャールズ・M・シュルツの楽譜に込められた仕掛け [チャールズ・モンロー・シュルツ]	前橋 重二	芸術新潮	711			
舞台空間と身体編成への序説—バウハウスの舞台とオスカー・シュレンマー	柴田 隆子	学習院大学人文科学論集	18			
視線 オーダリーに魅せられて サブリナの日々 マーク・ショウ著、菊地浩司監訳	村山 由佳	朝 日	11.1			
ジョヴァンニ・ディ・パオロ作《天地創造と楽園追放》—図像解釈の試み—	峯近 慶子	美学芸術学	24			
二〇〇七年度同志社大学大学院修士論文梗概 ジョヴァンニ・ディ・パオロ作《天地創造と楽園追放》—図像解釈の試み—	"	"	"			
ラキブ・ショー 禍々しきメタリック時代絵巻	由本みどり	芸術新潮	711			
14世紀から現代にいたるまでのジョット絵画の評価の変遷 [ジョット・ディ・ボンドーネ]	ブルーノ・サンティ 田丸公美子 訳 小佐野重利 監訳	美術史論叢	25			

18 私に在日18年 を支えてくれた	ステラーク 沖 啓介 訳			
19 山岸さん、ス テラーク、神田	沖 啓介			
特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ 年代ソウカツ! 追 憶の00s ゼロ年代 の死者たち ダッシ ュ・スノウ	浅村香寿美	STUDIO VOICE	405	
マンガ50年 新しい 種1 ロシアで描く 日本の情景 人生変 えた「セーラームン ン」[チェジナ・スベ トラーナ]	小梶 勝男	読 売	1.20	

(セ)

新収作品 ジョヴァ ンニ・セガンディー ニ《羊の剪毛》	大屋 美那	国立西洋 美術館年 報	42	
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本 93 黒グルミのから のなかに[カルメン ・セゴヴィア]	桑原 弘明	太陽(別冊)	164	
あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第63 回 発散と収縮『セ ザンヌ主義:父と呼 ばれる画家への礼賛』 横浜美術館ほか[ポ ール・セザンヌ]	稲賀 繁美	あいだ	156	
高村光太郎のセザン ヌをめぐる造形と言 葉	南 明日香	国語と国 文学	1027	
展覧会から2 「セ ザンヌ主義 父と呼 ばれる画家への礼賛」 展	永井 隆則	視覚の現 場 四季 の綻び	1	
構図のはなし5 独 自の目で周囲を切り とる一人のいない風 景[ポール・セザン ヌ]	和田 宏子	趣味の水 墨画	245	
PARIS 発 南仏のピ カソとセザンヌ	安部 雅延	新美術新 聞	1194	
平成二十年西支部 例会発表要旨 ポー ル・セザンヌの絵画 理論『感覚の実現』 を中心に	秋丸 知貴	美術史	166	
美の履歴書091 妻 が不幸に見えるわけ 「青い衣装のセザン ヌ夫人」 ポール・ セザンヌ	古賀 太	朝日夕刊	1.7	
入門講座 印象派の なぜ1 セザンヌの 「狂った」デッサン 絵に「考え」を持ち込 む	福田 美蘭	日経夕刊	2.5	

「セザンヌ主義」展
「父」の影響力一目瞭
然に 岸 桂子 毎日夕刊 1.6

ポール・セリュジエ
作《タリスマン》とナ
ビ派の成立を巡って 金澤 清恵 成城美学
美術史 15

ゼンパーとパウハウ
スーハンス・マリア
・ヴィングラーのゼ
ンパー解釈-[ゴッ
トフリート・ゼンパ
ー] 阿部美由起 横浜美術
短期大学
教育・研
究紀要 4

奇想遺産 ウィーン
美術史美術館 オース
トリア[ゴットフ
リート・ゼンパー] 松葉 一清 朝 日 2.22

(ソ)

ミヒャエル・ゾーヴ
ァの世界と仕事 谷川 真美 文化と芸
術 10

ユーモアと小さな毒
ミヒャエル・ゾーヴ
ァ展 静止画の一部
分からドラマになる 本上まなみ 読売夕刊 4.28

Osamu's Invitation
22 小さな王様の無
言劇[オットー・ソ
グロー] 原田 治 芸術新潮 715

SV CUT UP PHOTO
BOOKS Alec Soth
『The Last Days of
W』[アレック・ソス] 編集部 STUDIO
VOICE 399

SV CUT UP PHOTO
BOOKS Mikhael
Subotzky『Beaufort
West』[ミハエル・
ソボツキ] " " 397

ジョヴァンニ・モレ
ッリ『イタリア絵画
論—ローマのボルゲ
ーゼ美術館とドーリ
ア=バンフィオリ美
術館』翻訳(8)—ロ
ンバルディア派(ベ
ルナルディーノ・ル
イーニからガウデン
ツィオ・フェッラー
リまで)[アンドレー
ア・ソラーリオ] 上田 恒夫 金沢美術
工芸大学
紀要 53

巨匠 孫大鉉 内に
秘められた美しい漆
器 バク・ヒョ
ンスク コリアナ 16-3

Artist Interview
Sprout 孫烽彩(ソ
ンボンチェ) art_icle 16

(タ)

SPECIAL FEATURE
アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう? PARTI アウトサイダー・アートの基礎知識
LESSON02 王国の10大巨匠は誰だ? 03ヘンリー・ダーガー

小出由紀子 美術手帖 923

親しき仲にも肖像画あり ジョージ王朝期の日常ポートレート[ウィリアム・ターナー]

内田 さり 芸術新潮 713

一九世紀初頭英仏風景画の比較から見るターナーの空間構成

出羽 尚 美 学 235

僧院から消えたヴァン・ダイク ちょうど200年後に無事帰還[アンソニー・ヴァン・ダイク]

前橋 重二 芸術新潮 712

ヴァン・ダイクの肖像画における「岩」のモチーフに関する一考察

二宮 洋輔 美術史学 29

REALTOKYO Picks DESIGN 『20 クライン・ダイサム アーキテクトの建築』展[マーク・ダイサム]

馬場 正尊 ART iT 23

アストリッド・クラインさん マーク・ダイサムさん 建築で東京を元気に

高橋 直彦 読売夕刊 5.23

ジェームズ・ダイソンの法則 その5〜10

ジェームズ・ダイソン A X I S 137~142

フォーカス 国際デザインコンテストで若手エンジニア発掘 J・ダイソン氏 デザインと技術の融合が理想

日経夕刊 5.18

MUSEUM で[ジム・ダイン]

ヴィンセント・カット岩本 正恵 花 椿 714

ブルーノ・タウトとベルリンの住環境—一九二〇年代後半のジードルンク建設を中心に—

北村 昌史 史 林 473

彩・美・風 街の「誇り」を見つめ直す[ブルーノ・タウト]

齊藤 理 朝日夕刊 1.28

ダゲレオタイプの美を生んだもの—発明者ダゲールが創作した、舞台のイリュージョンと最初の写真術の錯視的リアリズム[ルイ=ジャック=マンデ・ダゲール]

阿部 聡子 武蔵野美術大学研究紀要 39

収蔵品作品紹介 サルバドール・ダリ 《ダリの太陽》

村松 和明 アルカディア 41

アンドレ・ブルトンの1930年代におけるイメージの考察について—『通底器』におけるイメージの解説—[サルバドール・ダリ]

進藤 久乃 学習院大学人文科学論集 18

すむ 座るのはダリ?

編集部 芸術新潮 713

シュルレアリストたちの反カトリシズムと、ダリの《聖心》—アンドレ・ブルトンへの「癡癡」がダリに家族との断絶をもたらした—

松岡 茂雄 美術史論集 9

建築家の自邸評価…加茂紀和子+マニエール・タルディッツ 凛とした緩い住まい—KITA houseの周縁

宇野 求 建築雑誌 1590

アトリエ雑感 絵画について

グエン・デイン・ダン岡本紗衣子訳 主体美術 86

世界コミックス最前線 2 移民たちの時間 S・タンの『到着した人』[ショーン・タン]

小野 耕世 ユリイカ 574

特集 記憶のアート／消滅のアート 忘却を超える試み—7人のアーティスト[フィオナ・タン]

編集部 ART iT 23

100人の心に響いた絵本100 海外絵本98 ペンギンさん[ポリー・ダンバー]

島尾 伸三 太陽(別冊) 164

(チ)

Reviews: Art01 邱黯雄[チウ・アンション]『We Are The World』対比 窗芸術画廊[ドエビーチュアンイーシェーホアラン](上海)

ダイアナ・フロインドル ART iT 22

Exhibition Reviews

02 チェ・ジョンフ
ァ『Shine a Light』 片岡 真実 ART iT 24
韓国文化センター
UK(ロンドン)

枕なの?—芸術です
[チェ・ジョンフ] 朝日夕刊 6.22

訪ねたい 酔画仙
(ソウル)[張承業] 大澤 文護 毎日夕刊 12.14

INFORMATION

PEOPLE 国際派ス
ター作家 待望の新
作展 溢れ出る色彩
の旋律を五感で堪能
! ジャイナ・チェ
ッペ来日インタビュ
ー 松下 幸子 美術手帖 918

特集 記憶のアート
／消滅のアート 陳
界仁[チェン・ジエ
レン]「身体」の刻
印」が訴えるもの 岩切 みお ART iT 23

特集 春のアートフ
ェア 見逃せないこ
の画廊 この作品
近代美術《怜蓮》
ギャラリーためなが
チェン・ジャン・ホ
ン ギャラリー 287

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
94 ウェン王子とト
ラ[チェン・ジャン
ホン] 星野 博美 太陽(別冊) 164

特集 記憶のアート
／消滅のアート 忘
却を超える試み—7
人のアーティスト
[陳箴] 編集部 ART iT 23

特集 2009年はこの
若手に注目! 新鋭
デザイナー50人 新
鋭デザイナーファ
イル グラフィック編
程蔡 杉瀬 由希 デザイン
の現場 163

美術館でのライブ・
パフォーマンス—
ART RULES KYOTO
2008[チックス・オ
ン・スピード] 牧口 千夏 京都国立
近代美術館研究論
集 2

アントニオ・チッテ
リオが探究するスタ
ンダード 土田 貴宏 A X I S 142

from the World デ
ヴィッド・チッパー
フィールドによる新
博物館再建 小町 英恵 " 139

私の空想美術館65
チマブーエ「荘厳の
聖母(サンタ・トリ
ニタの聖母)」 栗津 則雄 美術の窓 310

実存的ノマディズム
の実行とウェブを利用
した逆説的批判:
二人の女性アーティ
ストの作品分析によ
るグローバリズム再
考[チャン・ヨンヘ
重工業]

ジョン・ヘ
スク 金 恵信 訳 イメージ
& ジェン
ダー 9

インタビュー メデ
ィアアーティスト チ
ョン・ヨンドウ(鄭
然斗) 忘れかけた
時間のかけらを探し
て

カン・スン
ワン コリアナ 16-4

(ツ)

特別対談: 蔡国強×
浅田彰 想像と破壊
の臨界点

隈 千夏 ART iT 22
構成

ARTIST INTERVIEW
蔡国強

楠見 清 美術手帖 917
聞き手

2009年はこのアー
ティストに注目! 蔡
國強 馬文 何処へ
行きつくなかわから
ない、でも何処にい
たのかはわかる?

" 926

視点 ヒロシマの空
で二つのアート・イ
ベント[蔡国強]

竹澤 雄三 美術の窓 304

アートの力、壁超え
る 現代美術家・蔡
國強さんに聞く

西 正之 朝 日 10.17

ニッポン人・脈・記
前衛バカ伝説4 日
本でイロハ五輪花火
[蔡国強]

田中 三蔵 朝日夕刊 3.24

Close-up 蔡國華
緊張感、リズム感、
伝わってくる空気…
この瞬間でなくては
生まれてこないもの。

ギャラリー 290

巻頭特集 今こそ裸
婦デッサンをもう一
度 ④技法講座
VOL. 14 画家が教
えるデッサンの④ボ
イント 2. 感動の瞬
間をとらえるため素
早く仕上げる訓練も
大事

蔡 國華 美術の窓 304

巻頭特集 散歩から
はじめよう スケッ
チがもっと上手くな
る ④技法講座
VOL. 16 スケッチ
ブック見せて! 1
蔡國華／ペンによる
人物スケッチ

蔡 國華 談 " 315

- ぎやらりいモール
原美術館『『原美術館
コレクション』展』から
「RMB City:セカ
ンドライフでの都市
計画」曹斐(ツァオ
フェイ)
- 安田 篤生 読売夕刊 9.1
- Faces 22 ツェ・
スーメイ 東西のル
ーツを響かせて
- 柳下 朋子 ART iT 22
- (テ)
- 作家通信 伝統の中
に真実がある—四君
子画授業
- 丁 長林 趣味の水
墨画 239
- ほんとうは美しかっ
た 初代大統領ワシ
ントンの「凡庸」なる
ファーストレディ
[マイケル・ディー
ズ]
- 前橋 重二 芸術新潮 712
- 翻訳 画家にして騎
士、ティツィアーノ
・ヴェチェッリオ・
ダ・カドーレの生涯
(1)
- カルロ・リ
ドフィ
森田 義之、
細野 喜代
訳 五浦論叢 16
- 外交手段としての美
術批評—アレティー
ノ書簡をつうじて
[ティツィアーノ・
ヴェチェッリオ]
- 加藤 志織 美 学 234
- タルクイニウスに凌
辱されるローマのル
クレティア—外交手
段としてのティツィ
アーノ作《タルクイ
ニウスとルクレティ
ア》—
- 細野 喜代 " "
- フォーカス 日中で
同時連載する中国の
売れっ子女性漫画家
丁冰氏「マンガは
世界の共通語」
- 日経夕刊 3.9
- 展覧会評 赤色のテ
ィントレット プラ
ドの展覧会[ヤコボ
・ティントレット]
- セルジョ・
マリネッリ
荒木 文果
訳 西洋美術
研究 15
- PARIS 発 デ・キリ
コの混迷[ジョルジ
ョ・デ・キリコ]
- 安部 雅延 新美術新
聞 1181
- 彩・美・風 魂を再
生へと導くもの[ジ
ョルジョ・デ・キリ
コ]
- 島村 菜津 朝日夕刊 6.10
- ポロックとデ・クー
ニング—そのライバ
ル関係と相互影響
[ウィレム・デ・ク
ーニング]
- 大島 徹也 愛知県美
術館研究
紀要 15
- 美の履歴書112 な
ぜ背中が膨らむのか
「パフォスのヴィー
ナス」 アングル、
デゴッフ[アレクサ
ンドル・デゴッフ]
- 小原 篤 朝日夕刊 6.24
- 特集 見ること見ら
れること Linda
Dennis『Blood, Sweat
& Tears』workshop
review [リンダ・デ
ニス]
- 倉茂なつ子 CLOSET 2
- デューラーにおける
自画像成立の過程の
研究(2)[アルブレ
ヒト・デューラー]
- 下村 耕史 九州産業
大学芸術
学会研究
報告 40
- マルセル・デュシャ
ン作《階段を降りる
裸体 No. 2》をめぐ
る—考察—同時代美
術との関わりから—
- 花澤 志 鹿島美術
財団年報
・別冊 26
- 森村泰昌 デュシャ
ンよゲームだ 複製
づくしで勝負挑む
- 白木 緑 日 経 4.5
- 100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
75 岸辺のふたり
[マイケル・デュド
ク・ドゥ・ヴィット]
- 鈴木 理策 太陽(別冊) 164
- 作品研究 ジャン・
デュビュッフェ《草
の茂る壁際》—主体
性と装飾
- 中林 和雄 現代の眼 575
- 美の履歴書125 子
どものように描くの
は「暴動」 ジヤ
ン・デュビュッフェ
- 西田 健作 朝日夕刊 9.30
- 陶器も版画もテキス
タイルも ラウル・
デュフィの大回顧展
- 羽生のり子、
永島 章雄
取材 芸術新潮 710
- 構図のはなし 8 画
面の形が引き出す題
材の魅力—縦長と横
長[ラウル・デュフ
ィ]
- 和田 宏子 趣味の水
墨画 249
- マルレーネ・デュマ
ス「おじいさんと
孫娘」(2006)
- 中西 博之 日 経 11.12
- ミシェル・ビュート
ールという銀河—ポー
ル・デルヴォーの絵
の中の物語をめぐつ
て—
- 内山 憲一 工学院大
学共通課
程研究論
叢 47-1
- (ト)
- 小特集 共に暮らし
つづける理由 フィ
ンランドのガラス器
たち[オイヴァ・ト
イッカ]
- 芸術新潮 715
- 博士論文要旨 指導
高畑常信教授 郭石
如、その人と芸術
- 鴨田 恒子 徳島文理
大学文学
論叢 26

収蔵品紹介 サイ・トウオンブリ作 版画集《イタリアの木々》(1975年)について	平井 直子	川崎市市民ミュージアム紀要	21	特集 インテリアを語る II インテリアデザインとその手法 3 Design in action のデザイン	グエナエル・ニコラ 杉浦 久子 澤田 忍 文	建築雑誌	1591
茨城県近代美術館所蔵作品から オノレ・ドーミエによるリゾートの諷刺画 2点「慰安旅行の列車12」「水辺のスケッチ 3」	山口 和子 游 美		62	Faces 28 カールステン・ニコライ 軽やかなジャンルの越境者	國崎 晋	ART iT	23
美の美 アングラー アカデミスム最後の輝き 4 [エドガー・ドガ]	河野 孝 日 経		6.28	彩・美・風 マーク・ニューソンの流線形	坂井 直樹	朝日夕刊	8.12
生の優しき耕人たち—世界の新しいパラダイムを求めて 第1回 子供が都市を治癒する日 フランチェスコ・トスッチのプロジェクト「子供たちの街」	多木 陽介	A X I S	137	特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ! 追憶の00s ゼロ年代の死者たち ヘルムート・ニュートン	富田 秋子	STUDIO VOICE	405
美の美 アングラー アカデミスム最後の輝き 2 [ウジェーヌ・ドラクロワ]	河野 孝 日 経		6.14	自然を発見する?—ロマン主義的表象の再考—[バーネット・ニューマン]	仲間 裕子 思 想		1026
特集 デザインはアドレナリン 製品は、椅子ではなく設計図 ニーナ・トルスターブとブエノスアイレス「ルガノ」プロジェクト	中島 恭子	A X I S	139	(又)			
特集 素材からも危機が迫る 和紙の現状と風景 和紙と海外アーティスト 4 彫刻家 クロディエヌ・ドレ	山中美恵子	ギャラリー*	289	日本で初の巡回展をするネパール人画家 テンジン・ヌルプさん	松本 由佳 読 売		11.24
戦後建築オーラル・ヒストリー 昭和30年代の日本へ遊学 フレッド・トンプソン氏	倉方 俊輔	建築雑誌	1595	(ネ)			
(ナ)				ぎやらしいモール 府中市美術館「ターナーから印象派へ—光の中の自然」から「クラモンド、エディンバラ近郊」パトリック・ネイスミス	志賀 秀孝	読売夕刊	12.15
SINGULAR DIA-LOGUES サマリ・ナーマンカ	渡部 千春 インタビュー・文	STUDIO VOICE	397	(ノ)			
「かたちは木が教えてくれる」永見眞一が守り続けるジョージ・ナカシマのデザイン		芸術新潮	709	100人の心に響いた絵本100 海外絵本 97 セーラーとベッカ、町へいく [ヨックム・ノードストリウム]	南 伸坊	太陽(別冊)	164
(二)				平和を謳い、大地を刻む彫刻家—イサム・ノグチ《モエレ沼公園》	岩崎 直人	ART LIBRARY	10
マンガ50年 新しい種 4 「外国産」モノマネ超えた[J.M. ケン・ニイムラ]	小椋 勝男	読 売	1.23	イサム・ノグチの備前焼作品と《ユネスコ本部の庭園》についての考察	山吹 知子	岡山県立美術館紀要	1
デザイナーの第二言語勉強法 第1回 グエナエル・ニコラ	石橋 勝利	A X I S	137	博物館活動報告 ミニ企画「イサム・ノグチ AKARI 展—光の表情—」について	竹内亜希子	ミュージアムひだ研究報告*	H20年度
				日本人とこころ イサム・ノグチと漂泊上、下	篠原 知存 産 経		12.6、13

現代アートにおける 美的価値と経済的価値—ダミアン・ハーストと村上隆を中心として—	(ハ)	文星芸術 大学大学院研究科 論集	4	コスチューム・ジュエリーのエレガントな装い ドラマティックジュエリー・ブランド ミリアム・ハスケル	渡辺 マリ	目の眼	397別冊
	山本 友美						
奇想遺産 ウィーン 美術史美術館 オーストリア[カール・フォン・ハーゼナウアー]	松葉 一清	朝 日	2.22	第21回高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者決まる 絵画部門として日本の写真家・杉本博司氏が受賞！リチャード・ロング氏(彫刻)ザハ・ハディド氏(建築)ら5氏	新美術新聞		1197
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本91 エドワード・セカイでいちばんおぞましいおとこのこ[ジョン・バーニングガム]	中川 素子	太陽(別冊)	164	第21回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔 あくなき表現への挑戦 妥協なき景観の流動性 建築部門 ザハ・ハディド	産 経		9.25
特集 記憶のアート／消滅のアート 海波[ハイ・ポー] 不在が語る「計り知れない物語」	マヤ・コヴ スカヤ	ART iT	23	高松宮殿下記念世界文化賞 建築部門ザハ・ハディド氏「革新」に時代が追い付く	野津 修敏	〃	10.5
100人の心に響いた 絵本100 海外絵本71 いつもだれかが…[ユッタ・パウアー]	横尾久美子	太陽(別冊)	164	奇抜な設計、忍耐で実現 建築家ザハ・ハディドさん会見 授賞式で来日	稲葉 千寿	東京夕刊	11.18
現代作家紹介 迫る 光—ミロスワフ・パウカの映像表現	加須屋明子	美術フォーラム21	19	作品 岡部昌生 被爆樹に触れて ヒロシマの後の芸術のために	ユジェン・バフチャル	札幌大谷大学紀要*	39
新収作品 ディルク・パウツ派《悲しみの聖母》	高梨 光正	国立西洋美術館年報	42	art news 庭をめぐる家 ルイス・バラガン邸をたずねる		芸術新潮	719
視線 アルベルト・カンボ・バエザ 光の建築 アルベルト・カンボ・バエザ著	北澤 憲昭	朝 日	7.26	第二特集 ゼロ年代ヴィジュアルラングージ ヒシャム・アキラ・パルーチャ談	ヒシャム・アキラ・パルーチャ	STUDIO VOICE	405
この人 韓流ラブコメ漫画「宮」の作者 バク・ソヒさん 日本語版100万部。日本の作品も描きたい	近藤 誠	東京	2.6	私の空想美術館70 フランス・ハルス『養老院の女理事たち』	栗津 則雄	美術の窓	315
記念対談「比較論・東洋の白磁」(前)[朴英淑]	李 禹煥 談 林屋 晴三 陶 聞き手	説	673	情報館 国立西洋美術館「ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画」から「リュートを持つ道化師」フランス・ハルス	幸福 輝	読売夕刊	3.3
白磁の粋 「朴英淑の白磁—月壺と李禹煥の絵皿」展を終えて	花里 麻理	〃	674	「見捨てられたユーモアで観客を楽しませたい」映画監督イジー・バルタチエコ人の屋根裏氣質	おかだみえこ 聞き手	芸術新潮	716
作家通信 お寺の襖絵を創作して	白 浪	趣味の水 墨画	244	SV ART PHOTO GALLERY ROGER BALLEEN[ロジャー・バレン]	伊東 豊子	STUDIO VOICE	402
異国のまなざし—パスキンというミッシング・リンク[ジュール・パスキン]	林 洋子	太陽(別冊)	158				

世界一有名な悪戯芸術家 パンクシーが地元美術館で大暴れ	前橋 重二	芸術新潮	716	サント・ヴィクトワール山のふもとピカソが眠る古城、初公開!	永島 章雄	芸術新潮	716
100人の心に響いた絵本100 海外絵本69 ヴァイオリニスト[ガブリエル・パンサン]	志茂田景樹	太陽(別冊)	164	PARIS 発 南仏のピカソとセザンヌ	安部 雅延	新美術新聞	1194
ヴィルヘルム・ハマスホイ研究—後期室内画の展開とその着想源について—[ヴィルヘルム・ハンマースホイ]	萬屋 健司	鹿島美術財団年報・別冊	26	キュビズムにおける現実(レアリテ)とレアリスム—ピカソとブラックの場合—	八重樫春樹	崇城大学芸術学部研究紀要	2
特集 開館50周年なるか、世界遺産国立西洋美術館のすべて 私の好きな西美の1点 ハンマースホイは語らない	檀 ふみ	芸術新潮	710	例会発表要旨 第107回例会:「構造」から読み解く ウィリアム・ルービンのパブロ・ピカソ	孝岡 睦子	日仏美術学会会報	28
(ヒ)				例会・研究発表会要旨 東部会 平成二〇年度第四回例会 パブロ・ピカソ 晩年をめぐる虚像と実像—一九五〇年代のフランスを中心に—	町田つかさ	美 学	234
霊山石鐘に迎えられたオランダ人彫刻家、クリス・ピーターソンの石彫	鳥谷 照雄	えひめ視覚文化の会通信	3	第六十二回全国大会研究発表要旨 パブロ・ピカソ《アルジェの女たち》再考	〃	美術史	167
絵画における空間表現—ピエロ・デッラ・フランチェスカの絵画空間についての一考察	狩野 宏明	芸術学研究(筑波)	13	ウィリアム・ルービンのパブロ・ピカソ	孝岡 睦子	美術史論集	9
ピエロ・デッラ・フランチェスカの祭壇画 伝統と創意	石鍋 真澄	成城美学美術史	15	巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 巨匠の裸婦デッサン イメージをいかに作り上げるか ピカソ		美術の窓	304
第六十回美学会全国大会報告 発表要旨 ピエロ・デッラ・フランチェスカ中期の編年と《聖十字架伝》の制作年代をめぐる一試論	林 克彦	美 学	235	研究報告 日本におけるピカソの受容と歴史的回顧—影響、批評、収集の軌跡	塚田美香子	ブリヂストン・石橋美術館報*	57
第六十二回全国大会研究発表要旨 セバスティアアーノ・ルチアーニ作《サン・ジョヴァンニ・クリストモ祭壇画》に関する一解釈[セバスティアアーノ・デル・ピオンボ]	須網美由紀	美術史	167	パブロ・ピカソ 晩年をめぐるその虚像と実像—一九五〇年代フランスを中心に	町田つかさ	早稲田大学大学院文学研究科紀要	54
「パリのアメリカ人」—1923年のジェラルド・マーフィー(II) [パブロ・ピカソ]	村田 宏	跡見学園女子大学文学部紀要	43	海外通信 「ピカソの銃士たち」展 ニューヨーク 晩年も衰えぬ巨匠の表現力	富井 玲子	朝日夕刊	5.27
収蔵品《女の顔》のモデル[パブロ・ピカソ]	濱元 良太	グリーンルーフ	67	美の美 アングルーアカデミスム最後の輝き4 [パブロ・ピカソ]	河野 孝	日 経	6.28
超人ピカソの「スターリン」	〃	〃	68	わが逸品 徳島県立近代美術館 パブロ・ピカソ「ドラ・マールの肖像」 印象的大きな瞳	友井 伸一	読 売	5.30
				カミーユ・ピサロの晩年期	鈴木 慈子	フィロカリア	26

わが逸品 埼玉県立
近代美術館 カミエ
ユ・ピサロ「エラニ
ーの牛を追う娘」光
あふれる世界

渋谷 拓 読 売 6.16

ビショフが撮った
「昭和」展[ワナー
・ビショフ]

山内 健 〃 2.22

第六十回美学会全国
大会報告 発表要旨
色光で描く—L・ヒ
ルシュフェルト=マ
ックの《Farbenlicht-
spiele(色光運動)》
[ルートヴィヒ・ヒ
ルシュフェルト=マ
ック]

山根 千明 美 学 235

絵画における複数の
視点をういた表現法
についての研究 ビ
ントウリッキオの《教
皇ピウス2世伝》を
中心に

遠藤 悦史 芸術学研
究(筑波) 13

(フ)

ヤン・ファープルの
快進撃 演劇的仕掛
け 現代を挑発

新川 貴詩 東京夕刊 7.17

巨匠 韓国の伝統履
物 風の靴 靴鞋匠
ファン・ヘボン

パク・ヒヨ
ンスク コリアナ 16-4

デューラーにおける
自画像成立の過程の
研究(2)[ヤン・フ
アン・エイク]

下村 耕史 九州産業
大学芸術
学会研究
報告 40

J. B. フィッシャ
ー・フォン・エルラ
ッハの空間構成の研
究—教会堂建築にお
ける十字形平面、及
び十字形と楕円形の
組み合わせ平面モチ
ーフの分析—[ヨハ
ン・ベルンハルト・
フィッシャー・フォ
ン・エルラッハ]

中村 恵三 日本建築
学会計画
系論文集 643

ぎやらりいモール
世田谷美術館「オル
セー美術館展」から
「ボンボン入れ“さく
らんぼ”」ウジュー
ヌ・フィヤートル

遠藤 望 読売夕刊 11.10

平成二十年度東支部
例会発表要旨 フラ
ンソワ・ブーシェに
よるボーヴェ製作所
のタピスリー連作
《神々の愛》—《アポ
ロンとクリュティエ》
をめぐって—

小林亜起子 美術史 166

第六十二回全国大会
研究発表要旨 フラ
ンソワ・ブーシェ
《ディアナの水浴》—
一七三二年版オウイ
ディウス挿絵本と投
影された恋のエピソ
ード—

安室可奈子 〃 167

私の空想美術館62
解体と表現—ファン
・デル・ブースをめ
ぐって[ヒューボ
ー・ファン・デル・フ
ース]

栗津 則雄 美術の窓 307

ジョヴァンニ・モレ
ッリ『イタリア 絵画
論—ローマのボルゲ
ーゼ美術館とドーリ
ア=バンフィーリ美
術館』翻訳(8)—ロ
ンバルディア派(ペ
ルナルディーノ・ル
イーニからガウデン
ツィオ・フェッラー
リまで)

上田 恒夫 金沢美術
工芸大学
紀要 53

マグリット発、フェ
ルメール行き 列車
でめぐる美術館[ヨ
ハネス・フェルメー
ル]

芸術新潮 716

美術記者こぼれ話
数年だけフェルメー
ルだった作品

大西 若人 国華清話
会会報 13

特集 アルフォンス
・ミュシャ没後七
〇年記念特集 “時”
はどこへ行った ミ
ュシャとフェルメー
ル

小林 頼子 ユリイカ 570

ルーブル美術館展
17世紀ヨーロッパ絵
画 ヨハネス・フェ
ルメール「レースを
編む女」

前田 恭二 読売夕刊 4.16

ルチオ・フォンタナ
における新しい空間
概念の萌芽—彫刻的
ヴォリュームの解体
と一九三〇年代イタ
リア合理主義建築の
影響—

谷藤 史彦 美術史 167

Artist Interview
Sprout マコト・フ
ジムラ

art _ icle 18

アンドレア・ペトル
リック・フセイノヴ
ィッチ「自作絵本を
語る」

柳川あずさ 安曇野ち
ひろ美術
館 美術
館だより 58

クロード・レヴィニ
ストロースの「ブッ
サンを見ながら」を
読む[ニコラ・ブッ
サン]

織田 春樹 石川県立
美術館紀
要 19

- 研究ノート 政治的
寓意としてのニコラ
・プッサン作《ネプト
ウヌスの勝利》(《ネ
プトウヌスとアンフ
イトリテの勝利》あ
るいは《ウエヌスの
勝利》)
- 望月 典子 日仏美術
学会会報 28
- ニコラ・プッサンに
おける古代美術とラ
ファエッロの受容
- 〃 美術史 167
- 第六十二回全国大会
研究発表要旨 プッ
サン作《羊飼いの礼
拝》に関する一考察
—デューラーの版画
に基づく「新奇な」主
題表現への志向—
- 倉持 充希 〃 〃
- 私の空想美術館69
プーサン『四季—冬
あるいは大洪水』
- 栗津 則雄 美術の窓 314
- 研究発表(要約)
《ドイツの少女》の
C・プファフのこと
[チェチリア・プフ
アフ]
- 安松みゆき 近代画説 18
- ロシアの前衛画家ブ
ブノワ作 イコン、
ニコライ堂で発見
宗教との結びつきに
謎[ワルワーラ・ブ
ブノワ]
- 西田 健作 朝日夕刊 5.2
- 倉庫に忘れられた幻
のイコン画 露女性
画家、80年前に献納
東京・ニコライ堂
[ワルワーラ・ブブ
ノワ]
- 杉尾 直哉 毎日 4.10
- 100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
84 おんぶはこりこ
り[アンソニー・ブ
ラウン]
- 中井 貴恵 太陽(別冊) 164
- フォード・マドック
ス・ブラウン画《ジ
ョン・オブ・ゴート
ンに自らの翻訳聖書
を読んで聞かせるジ
ョン・ウィクリフ》
における「キリスト
教的中世」の主題
- 近藤 存志 フェリス
女学院大
学文学部
紀要 44
- キュビズムにおける
現実(レアリテ)とレ
アリスム—ピカソと
ブラックの場合—
[ジョルジュ・ブラ
ック]
- 八重樫春樹 崇城大学
芸術学部
研究紀要 2
- 奇想遺産 テンピエ
ット イタリア[ドナ
ート・ブラマンテ]
- 鈴木 博之 朝 日 1.11
- アレッサンドロ・フ
ランキ作《聖家族》と
その銘文
- 甲斐 教行 五浦論叢 16
- 特集 パリと骨董
II アンティークス
タミゼのパリ 4 復
元について ブラン
クーシのアトリエ[コ
ンスタンティン・ブ
ランクーシ]
- 編集 部 芸術新潮 712
- 第六十回美学会全国
大会報告 発表要旨
運動を象る造形、剥
奪される形態—ブラ
ンクーシによる「空
間の鳥」作品群をめ
ぐって—
- 譽田 大介 美学 235
- 美の履歴書121 この
ジグザグって何? 「
雄鶏」 コンスタン
ティン・ブランクー
シ
- 大西 若人 朝日夕刊 8.26
- ひと 日本の伝統が
デザインを変えると
語る アンドレア・
ブランジさん
- 田嶋 徳弘 毎日 2.6
- サム・フランシス
「無題」(1985)
- 加藤 弘子 日 経 6.11
- ゴヤ「巨人」、実は弟
子が制作 「準・真
作」も歴史的価値[ア
センシオ・フリア]
- 宮下規久朗 日経夕刊 2.2
- 自然を発見する?—
ロマン主義的表象の
再考—[カスパー・
ダーフィット・フリ
ードリヒ]
- 仲間 裕子 思想 1026
- 連載 小山登美夫の
見た、訊いた、買っ
た lesson 6 ベル
ント・フリーベリを
craft_one で
- 小山登美夫 芸術新潮 717
- 100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
62 風が吹くとき
[レイモンド・ブリ
ッグス]
- 柳田 邦男 太陽(別冊) 164
- 美の美 作家を魅了
した絵1 野間宏と
ブリュゲル[ビー
テル・ブリュゲル]
- 浦田 憲治 日 経 11.15
- 塔・ギャラリーの建
築造形—1925年パリ
現代装飾美術・工芸
美術国際博覧会の展
示館に関する考察
その4—[シャルル
・ブリュメ]
- 三田村哲哉 日本建築
学会計画
系論文集 641
- SV ART ART SPACE
Olaf Breuning[オラ
フ・ブルーニング]
- 大森 俊克 STUDIO
VOICE 401
- 「木彫のミケランジ
エロ」ことアンドレ
ア・ブルストロンの
奇抜力
- 高橋 恵理 芸術新潮 713

現代美術の歩き方
今月一品 ヴァン
サン・フルニエ 火
星砂漠研究基地搭乗
員チーム54 アメリ
カユタ州ハンクスヴ
イル2006年11月

SPECIAL FEATURE
メアリー・ブレア展

メアリー・ブレア
の生涯

スタジオジブリで
色彩設計を手がけ
た保田道世氏に聞
く! ブレアの色
彩の魅力とは?

ウィリアム・ブレ
イクの個展—《レビヤ
タンを導くネルソン
の霊的姿》と《ベヘ
モットを導くビットの
霊的姿》を中心に—

invitation book 挿
画ウィリアム・ブレ
イク 幻の豪華本が
ついに実現

ウィリアム・ブレ
イク『無垢の歌』の題
一その図像と解釈に
関する考察—

美の美 作家を魅了
した絵4 大江健三
郎とブレイク

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
79 悲しい本[クエン
ティン・ブレイク]

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
90 ねこのせんち
ょう[マドレーヌ・フ
ロイド]

(細川) 美術の窓 305

美術手帖 925

増田 春雄

山内 宏泰

山口 真弓

鹿島美術
財団年報
・別冊 26

芸術新潮 713

安永 幸史

美術史論
集 9

浦田 憲治

日 経 12.6

中上 紀

太陽(別冊) 164

さわださち
こ

〃 〃

(へ)

第六十回美学会全国
大会報告 発表要旨
フランシス・ペー
コン《ベラスケス作(教
皇インノケンティウ
スX世)による習作》
(一九五三年)に関
する一考察

梶田 倫広

美 学 235

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 007 フラ
ンシス・ペイコン

伊東 豊子

美術手帖 917

アヴァンギャルドに
おける反マスメディ
アの身体の表象[ハ
ナナ・ヘービ]

小松原由理

人文研究 167

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
95 パセリともみの
木[ルドウィッヒ・
ペーメルマン]

土井 章史

太陽(別冊) 164

衛生学者、医学者、
主婦らとの議論にみ
る1920年代末から
1930年代初頭にか
けてのフーゴー・ヘ
ーリンクの住宅設計
における注視点

中江 研

日本建築
学会計画
系論文集 640

トマス・ヘザウィ
ックの建築プロジェ
クト

中島 恭子

A X I S 141

15世紀後半ヴェネ
ツィアの祭壇画に関
する事例研究—サン
・ミケーレ・イン・イ
ーゾラ聖堂由来 ジ
ョヴァンニ・ペッリ
ーニ《キリストの復
活》を中心に—

佐々木千佳

鹿島美術
財団年報
・別冊 26

SPECIAL FEATURE
日本の聖地、再発見
!! 伊勢神宮 OPI
NION 永遠の若々
しい命

マンジョッ
ト・ペディ

美術手帖 925

特集 LATIN
AMERICAN AT-
TRACTION ラテ
ン・アメリカ・コネ
クション MEX
ART NOW VENA 2

志田 朝美

STUDIO
VOICE 399

伊彫刻家 ジュゼッ
ペ・ベノーネ氏 人
間自然と作用し合う
大規模個展日本で12
年ぶり

高野 清見

読 売 7.9

美の履歴書133 世
継ぎがはかなげなの
は「皇太子フェリ
ペ・プロスペロ」
ディエゴ・ベラスケ
ス

小川 雪

朝日夕刊 11.25

THE ハプスブルク
はかない運命を予感
[ベラスケス]

中野 京子

読 売 10.28

THE ハプスブルク
展 ベラスケス「皇
太子フェリペ・プロ
スペロ」

前田 恭二

読売夕刊 9.30

特集 アジア美術の
現代 宗教画を通し
て貧困問題を問う
フィリピン画家
ジョーイ・ベラスコ

古沢ゆりあ

美術運動 136

art news 写真嫌
いのプロイセン画家
幕末日本の蔵出しス
ケッチ[アルベルト
・ベルク]

芸術新潮 719

平成二十年度東支部
例会発表要旨 ビッ
ティ宮のベルギー
作《哀悼》におけるフ
ランドル絵画の影響
ーディルク・パウツ
作《フォスカリ家の
祭壇画》との関係を
中心にー

江藤 匠 美術史 166

Artist Interview
Sprout インゲ・ヘ
ルupp

art _ icle 19

教皇ウルバヌス8世
と大天使ミカエル:
ベルニーニの《バル
ダッキノ》に關する
一考察[ジャン・ロ
レンツォ・ベルニー
ニ]

佐藤 仁 成城美術学
美術史 15

「ベルニーニ《聖女テ
レサの法悦》に關する
考察」

栗城まどか 哲学会誌 33

奇想遺産 アムステ
ルダム南開発 オラ
ンダ[ヘンドリック
・ペトルス・ベルラ
ーへ]

松葉 一清 朝 日 1.25

観流 建築家対談
「歴史重視」の危うさ
指摘[ドミニク・ペ
ロー]

大西 若人 " 2.28

この一点 国立トレ
チャコフ美術館展よ
り ワシーリー・ペ
ローフ「眠る子ども
たち」

宮澤 政男 毎 日 4.16

第六十二回全国大会
研究発表要旨 ベル
ナルド・ペロット作
《ヴェネツィア行政
官の衣装を着た自画
像》に關する一考察
ー対作品《神殿から
商人たちを追ひ払う
キリスト》との関係
についてー

金沢 文緒 美術史 167

(ホ)

この人 日本の地方
食の魅力を韓国紙で
紹介する著名漫画家
許英万さん

築山 英司 東 京 5.21

マンガ最前線 ホ・
ヨンマン作『食客』
韓国グルメマンガ
“再上陸”

細萱 敦 東京夕刊 9.1

ヨーゼフ・ボイスの
「経済」

河尻 定 日 経 10.22

創造神話 ヨーゼフ
・ボイスを思う「友
愛」、霊性の目覚め

菅原 教夫 読 売 12.10

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
92 としょかんライ
オン[ケビン・ホー
クス]

川本 裕子 太陽(別冊) 164

from the World ト
ード・ボーンチェが
新教授に。世代交代
の進むRCA

中島 恭子 A X I S 141

第二特集 ゼロ年代
ヴィジュアルランゲ
ージ マーク・ボズ
ウィック

マーク・ボ
ズウィック
STUDIO
VOICE 405

ホックニーの写真コ
ラージュ作品ー「逆
遠近法」から記憶の
集積へー[デイヴィ
ッド・ホックニー]

田中 麻帆 美術史研
究 47

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 014 デイ
ヴィッド・ホックニ
ー

伊東 豊子 美術手帖 928

ボッティチェッリの
後期作品における都
市景観ーその図像源
泉と思想背景ー[サ
ンドロ・ボッティチ
ェリ]

石澤 靖典 鹿島美術
財団年報
・別冊 26

クリエイターズワー
ク&ソウル ベルト
ヤン・ポット

A X I S 137

エドワード・ホッパ
ーの記録帳ーホッパ
ー像を形成した夫婦
の軌跡ー

広田 由美 芸術学学
報 15

視線 エドワード・
ホッパー アメリカ
の肖像 ヴィーラン
ト・シュミット解説、
光山清子訳

北澤 憲昭 朝 日 4.5

奇想遺産 サン・ジ
ャン・ド・モンマル
トル教会 フランス
[アナトール・ド・
ボドー]

鈴木 博之 " 3.8

ベルギー近代絵画の
あゆみ 下 太陽の
光一身に浴びて ビ
エール・ボナル
《逆光の中の裸婦》

小林 晶子 読 売 9.17

チャック・ホバーマ
ン インタビュー
トランスフォーマブ
ル・デザインからア
ダプティブ・デザイ
ンへ

大谷 和利 A X I S 138

INFORMATION ク
リスチャン・ホルス
タッドの作品集が2
年の歳月を経て完成
!

工藤 キキ 美術手帖 930

特集 記憶のアート
／消滅のアート ク
リスチャン・ボルタ
ンスキー講演 大き
な歴史と小さな歴史

ART IT 23

今日の写真小説[ク
リスチャン・ボルタ
ンスキー]

アントワー
ヌ・コンバ
ニョン
今井 勉 訳

水声通信 31

創造神話 レベッカ
・ホルン歴史の浄化
ナチスの暗黒と向き
合って

菅原 敦夫

読 売 11.16

この一点 国立トレ
チャコフ美術館展よ
り ワシリー・ボ
レーノフ「モスクワ
の中庭」

宮澤 政男

毎 日 4.23

ポロックとデ・クー
ニングーそのライバ
ル関係と相互影響
[ジャクソン・ポロ
ック]

大島 徹也

愛知県美
術館研究
紀要 15

美の履歴書119 絵
の具が絡み合うわけ
「緑、黒、黄褐色の
コンポジション」
ジャクソン・ポロ
ック

西田 健作

朝日夕刊 8.12

ジャクソン・ポロ
ック「緑、黒、黄褐
色のコンポジション」
(1951)

赤松 祐樹

日 経 8.20

特集 若き天才を見
逃すな！新人大図鑑
2009 編集部が選ぶ
注目の新人アーティ
スト44

彭 偉新

美術の窓 309

巻頭特集 美しい女
性'09 エロス、輝
き、そして強さへ
特別編 美男子図鑑
彭偉新

〃

〃 311

松代大本営と現代ア
ート 第8回まつし
ろ現代美術フェステ
ィバル誌上展 ホン
・オボン《動く彫刻》

ホン・オボ
ン美術運動
史研究会
ニュース 106

オルセー美術館展
パリのアール・ヌー
ヴォー3 リュシアン
・ボンヴァレ、カル
デヤック社「銀製
品“現代美術”芥子文
コーヒーポット」

遠藤 望

読 売 10.6

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
72 あかちゃんのゆ
りかご[レベッカ・
ボンド]

三輪 哲

太陽(別冊) 164

(マ)

2009年はこのアー
ティストに注目！ 蔡
國強 馬文 何処へ
行きつくなかわから
ない、でも何処にい
たのかはわかる？

かないみき 美術手帖 926

「パリのアメリカ人」
—1923年のジェラ
ルド・マーフィー(I)
(II)

村田 宏

跡見学園
女子大学
文学部紀
要 42(1・2)、
43

クリエイターズワー
ク&ソウル マリア
ノ・マエストロ

A X I S 141

特集 クリエイティ
ブ・トークセッシ
ョン ジョン前田&中
村勇吾 中村勇吾が
今、ジョン前田と話
したいこと

遠藤 建

〃 〃

クリエイターズワー
ク&ソウル モキナ
・マキカ

〃 137

マグリット発、フェ
ルメール行き 列車
でめぐる美術館[ル
ネ・マグリット]

芸術新潮 716

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
87 アンジェロ[デ
ビッド・マコーレイ]

細谷 亮太

太陽(別冊) 164

C. R. マッキント
ッシュにおける壁面
デザインの手法論の
研究[チャールズ・
レニー・マッキント
ッシュ]

川口 佳子

鹿島美術
財団年報
・別冊 26

特集 ポスト・ソウ
ルの黒人文化 大衆
文化の中の二人の
「レイス・マン」
アーロン・マッグル
ーダー、トゥバック
・シャクールとポ
スト・ソウル美学

三石 庸子

水声通信 29

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
67 ハーモニカのめ
いじんレンティル
[ロバート・マッ
ク罗斯キー]

安西 水丸

太陽(別冊) 164

世界コミックス最前
線 新連載 五〇歳
からのオデッセイ
D・マッツァーケー
リの『アステリオス・
ポリープ』[デヴィ
ッド・マッツァーケー
リ]

小野 耕世

ユリイカ 572

特集 聖俗のあわい
論文 美術館からの
距離 マティスのヴ
ァンスでの試み[ア
ンリ・マティス]

関 直子

西洋美術
研究 15

所蔵資料から マテ
ィスの紹介状

伊藤 陽子

美 愛 眞 17

- マチスの『ジャズ』における祝祭的プログラム—図像主題をめぐって— 大久保恭子 美術史論集 9
- 巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 巨匠の裸婦デッサン イメージをいかに作り上げるか マティス 美術の窓 304
- ヨーロッパアート事情 数奇な運命、60年ぶりの返還 “MNR”マティス《ピンクの壁》 今津 京子 美連協ニユース 101
- アンリ・マティス「リュート」(1943) 島本 英明 日 経 12.10
- ふたつの鏡《10》《11》[エドゥアール・マネ] 松浦 寿夫 水声通信 31,32
- ぎやらりいモールボーラ美術館「肖像の100年」から「ベンチにて」エドゥアール・マネ 岩崎余帆子 読売夕刊 6.9
- アルトゥーロ・マルティーニ『観想』—その造形性の意味— 森 佳三 美 学 235
- 私の空想美術館66 シモーネ・マルティーニ『受胎告知』 栗津 則雄 美術の窓 311
- 日展にベルシャの彩り イラン人画家3年連続入選 「同胞の励みになれば」[コルドバッチェ・マンズール] 横溝 崇 読 売 11.11
- 第六十回美学会全国大会報告 発表要旨 マンテーニャ作《サン・ゼーノ祭壇画》に関する一考察[アンドレア・マンテーニャ] 池田 郁 美 学 235
- (ミ)
- ミース・ファン・デル・ローエの内観モンスタージュにおける空間表現の形式的特質について—ミース・ファン・デル・ローエのモンスタージュ表現とその特質に関する研究 その2—[ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ] 岩田 足立 章 吾 裕 司 日本建築学会計画系論文集 637
- 対角線の共線性：ミース・ファン・デル・ローエのカラー・ジュによる室内パースの構成手法 佐野 潤一 “ ” 644
- 例会・研究発表要旨 東部会 平成二一年度第一回例会 ミース・ファン・デル・ローエにおける生命の分節の問題 後藤 文子 美 学 235
- ミケランジェロの造形的特性—制作過程と方法—[ミケランジェロ・ブオナローティ] シヤルル・ド・トルナイ 森田 義之、平谷奈緒子 愛知県立芸術大学紀要 38
- 天才の超若描きか？ミケランジェロ13歳の怪物模写の真贋 前橋 重二 芸術新潮 715
- アメリカアート事情 ミケランジェロ初期の絵画 後藤トキ子 美連協ニユース 103
- はみ出し歴史ファイル ミケランジェロ 欠落した愛を追いかめた天才 渡辺 修司 朝日夕刊 9.12
- 入門講座 イタリア・ルネサンスの「未完成」2 ミケランジェロ「ロンダニーニのピエタ」破壊が導く未知の扉 宇佐美圭司 日経夕刊 7.9
- 1818—21年のアシル＝エトナ・ミシャロン—歴史的風景画家のアイデンティティはどのように形成されたのか？— 小針由紀隆 静岡県立美術館紀要 24
- 知っておきたい有名版画家7 アルフォンス・ミュシャ 藤田 千彩 版画芸術 143
- 特集 Mucha ミュシャ アル・ヌーヴォーの華 “ ” 145
- Editor's Eye ミュシャはなぜ日本で愛されているのか？ 松山 龍雄
- ミュシャ時代を築いたグラフィック・アーティスト 富田 章
- 特集 アルフォンス・ミュシャ没後七〇年記念特集 ユリイカ 570
- ミュシャというメルクマル・メント・ミュシャ死ぬまえにみるべきミュシャとは？ 山本 容子
- 「聖都」巡礼案内 アルフォンス・ミュシャ作品解説 島田 紀夫
- 特集 アルフォンス・ミュシャ没後七〇年記念特集 “時”はどこへ行った “ ” “ ”

[illegible]

SPECIAL FEATURE

いま読むべきアート
ブック300 Column
2 ムナリーの本い
っぱい! 絵本、ア
ート、デザイン、グ
ラフィック理論……。
[ブルーノ・ムナリー
リ]

難波 祐子 美術手帖 917

ムナリーのことば
インスピレーション
アート ブラジルに
まつわる印象的な2
つの展覧会[ヴィッ
ク・ムニース]

阿部 雅世 百 科* 564

暮沢 剛巳 A X I S 138

04年強奪、2年後に
発見…左下に残るシ
ミ 傷癒えぬ「叫び」
公開[エドワルド・
ムンク]

土佐 茂生 朝 日 5.9

(メ)

invitation movie 運
命の二人の愛と死を
見つめて[ロバート
・メイブルソープ]

芸術新潮 712

INFORMATION

MOVIE ジェームズ
・クランプ監督『メ
イブルソープとコレ
クター』メイブル
ソープと、その名声
の陰で忘れ去られた
アート界の貴公子の
物語

住吉 智恵 美術手帖 919

記者ノート メイブル
ソープ没後20年の
感慨

前田 恭二 読 売 3.27

WORLD NEWS

ARTIST in Focus
今月のワールドスタ
ー No. 012 シル
ド・メイイレレス

仁尾 帯刀 美術手帖 923

第三特集 カットア
ップ(ノー)フューチ
ャー ヨナタン・メ
ーゼ

大森 俊克 STUDIO
インタビュー ヴェ
ー・文 VOICE 405

美術記者こぼれ話
数年だけフェルメー
ルだった作品[ハン・
ファン・メーヘレン]

大西 若人 国華清話
会会報 13

REALTOKYO Picks
BOOK/DISC 向井山
朋子+フィリップ・
メカニカス 『en
blanc et noir : 白と
黒で』(CD+写真集)

ヨコミゾマ ART iT 23
コト

特集 メビウスと日
本マンガ

ユリイカ 568

BD∞マンガ メ
ビウス線の本質と
ライブな衝撃につ
いて

夏目房之介

最強メビウスファ
ン対談! われら、
メビウスの徒、そ
の線、色、世界に
酔う

谷口ジロー
寺田 克也

特集 メビウスと日
本マンガ シンポジ
ウム

” ”

メビウス∞描線が
つながヨーロッパ
と日本

メビウス、
浦沢 直樹、
夏目房之介、
藤本由香里
司会

メビウスが語る、
メビウスを語る

メビウス、
りんたろう、
大友 克洋、
竹熊健太郎、
津堅 信之
司会

特集 メビウスと日
本マンガ メビウス
ショックとはなんだ
ったのか

” ”

ジャン・ジロー＝
メビウスとの会話

小野 耕世

静かな革命

田中 秀臣

翼よ、あれが日本
のマンガだ。メ
ビウスを迎え入れ
た日本マンガの時
代背景

竹熊健太郎

ポップ、メビウス、
アメリカ

小田切 博

特集 メビウスと日
本マンガ メビウス
の深奥へ

” ”

メビウス・インサ
イド……

ヌマ・サド
ウール 古永 真一
訳

メビウスとの対話

メビウス
ヌマ・サド
ウール 古永 真一
聞き手 古永 真一
訳

特集 メビウスと日
本マンガ メビウス
/ジャン・ジローの
無限円環

” ”

アルザック、ある
いは夢の臍

斎藤 環

『ブルーベリー』と
はなにか メビウ
スのもう一つの顔

原 正人

メビウス—視るこ
とへの贈り物

竹川 環史

メビウスの環

暮沢 剛巳

『インサイド・メ
ビウス』は「自伝」
なのか?

古永 真一

動かないBDが動くとき	海老原 豊				こころの玉手箱 東北大学名誉教授 西沢潤一 モネ「睡蓮」	西沢 潤一	〃	5.18
メビウスはいかにメビウスとなったのか	中里 修作				眼福 モネの日の出	高野 清見	読 売	1.1
特集 メビウスと日本マンガ 資料		〃	〃		日本の美術館名品展 クロード・モネ「ジヴェルニーの積みわら、夕日」	〃	読売夕刊	5.9
メビウス/ジャン・ジロー主要作品 解題	古永 真一 原 正人				ぎやらりいモール 東京都美術館「日本の美術館名品展」から「ジヴェルニーの積みわら、夕日」クロード・モネ	中原 淳行	〃	6.23
メビウス・パイオグラフィー	原 正人 編				モランディと時代—個人的体験を通じて—[ジョルジオ・モランディ]	伊藤 厚美	A S	32
文化往来 日本マンガに影響与えたメビウス来日		日	経	5.21	ニューヨークで太鼓判のモランディ「凱旋」回顧展	高橋 恵理	芸術新潮	711
メビウス氏 フランスコミックの巨匠 世界の作家刺激 マンガにも理解	石田 汗太	読	売	5.20	特集 これだけは知っておきたいデザイン大事典 まずはここから! デザイン史事典1、2、3 3つのポイントでわかるデザイン史 ウィリアム・モリス	渡部 千春	デザインの現場	164
私の空想美術館63 メムリンクの聖母子像[ハンス・メムリンク]	栗津 則雄	美術の窓		308	タペストリー「果樹園あるいは四季」[ウィリアム・モリス]	松原 龍一	陶 説	671
奇想遺産 ビットリオ・エマヌエレ2世のガレリア イタリア[ジュゼッペ・メッソンーニ]	隈 研吾	朝 日		2.15	ウィリアム・モリスの制作論における「家造り」と「庭造り」の問題	杉山 真魚	日本建築学会計画系論文集	639
(モ)					ウィリアム・モリスのデザイン モリスの「アーツ&クラフツ」運動の夢	松山 龍雄	版画芸術	144
藤田嗣治とモディリアアーニ交友と影響 関係を中心に[アメデオ・モディリアーニ]	石尾乃里子	Hokkaido Art Mus. Studies*		2009	二〇〇七年度同志社大学大学院修士論文梗概 ウィリアム・モリスのケルムスコット・プレス本研究—Architectural Analogy建築とのアナロジーを手がかりに—	浅見 究	美学芸術学	24
大阪コレクションズ 国立国際美術館のモディリアーニ	島 敦彦	サントリー美術館・ミュージアム合同紀要*		2	美の履歴書095 力強い輪郭の源は「森」 ウィリアム・モリス	秋山 亮太	朝日夕刊	2.4
訪ねたい モンパルナスの灯(パリ)[アメデオ・モディリアーニ]	福原 直樹	毎日夕刊		7.13	生活と芸術—アーツ&クラフツ展 モリスの魅力さぐる デザイン・工芸・詩作…多彩な業績	藤田 治彦	〃	3.6
特集 開館50周年 なるか、世界遺産 国立西洋美術館のすべて 私の好きな西美の1点 印象派の“名優”[クロード・モネ]	中村吉右衛門	芸術新潮		710	Recommend! Product ミラノサローネでのジャスパー・モリゾン	土田 貴宏	デザインの現場	165
構図のはなし3 視線の力、姿の語り—二人以上の人物像 [クロード・モネ]	和田 宏子	趣味の水 墨画		243				
入門講座 印象派のなぜ4 同じ絵を何枚も描いたモネ 移ろう光 連作で表現	福田 美蘭	日経夕刊		2.26				

ギュスターヴ・モロー《ラ・フォンテーヌの寓話》連作における画家の新たな試みについて

横山由起子

鹿島美術財団年報・別冊 26

巻頭特集 今こそ裸婦デッサンをもう一度 ④技法講座 VOL. 14 巨匠の裸婦デッサン イメージをいかに作り上げるか モロー

美術の窓 304

「やる気のない庭」をめぐって

尹 熙倉

多摩美術大学研究紀要 23

画家たちの美術史73 尹熙倉

倉林 靖

美術手帖 919

100人の心に響いた絵本100 海外絵本64 ドアがあいて... [ノルマン・ユンク]

手塚 眞

太陽(別冊) 164

(ラ)

(ヤ)

ロシア(移動展派)の画家ヤロシエンコの女性像—《至るところに生あり》《女優ストレペトヴァ》《クルシストカ(女学生)》を中心に—[ニコライ・ヤロシエンコ]

川島 静

イメージ&ジェンダー 9

海外通信 「モナリザの葬儀」パリ本物とコピーの奇妙な反転[ヤン・ペイミン]

阿部明日香

朝日夕刊 4.22

特集 ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソンのすべて

富原 眞弓 談

芸術新潮 713

その1 ムーミン物語 はじまりと終わりの秘密

その2 さまざまなトーヴェ

特集 ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソンのすべて トーヴェ・ヤンソンと私

ベル・ウロフ・ヤンソン 談

カメラ嫌いの姉

ソフィア・ヤンソン 談

伯母のいたずら

ボウエル・ヤンソン 談

600ページの思い出

彼女の雷

富原 眞弓

(ユ)

作家通信 伝統と現代の再模索

游 肇基

趣味の水墨画 244

この一点 国立トレチャコフ美術館展より コンスタンチン・ユーオン「三月の太陽」

宮澤 政男

毎日 4.15

invitation movie 天オアニメ作家のホームレス以前、以後 [ライアン・ラーキン]

芸術新潮 718

特集 非線形・複雑系の科学とこれからの建築・都市 IV 建築への刺激1 予期せぬ生成を許容する建築

ジェシー・ライザー、梅本奈々子、倉方俊輔 聞き手

建築雑誌 1590

すむ ライトで一杯 [フランク・ロイド・ライト]

大島 健二

芸術新潮 714

特集 東京デザインガイド 13エリア別 東京デザインスポットガイド 池袋[フランク・ロイド・ライト]

大輪 俊江

デザインの現場 166

帝国ホテルの『耐震神話』検証[フランク・ロイド・ライト]

谷川 正己

明治村だより 55

ライトのガラス

〃 〃

A La Meiji—mura 光の交響曲 帝国ホテル中央玄関[フランク・ロイド・ライト]

〃 〃

100人の心に響いた絵本100 海外絵本86 恐竜時代 エンサイクロペディア 太古の世界[マシュー・ラインハート]

鈴木 光司

太陽(別冊) 164

特集 Greatest Dead どこよりも早いゼロ年代ソウカツ! 追憶の00s ゼロ年代の死者たち ロバート・ラウシェンバーク

楠見 清

STUDIO VOICE 405

特集 デザインはアドレナリン 空間への飽くことのない実験精神 ラウムラボアベルリンの取り組み

小町 英恵

A X I S 139

特集 良いキュレーション、悪いキュレーション ラクス・メディア・コレクティブ インタビュー	チャイタニヤ・アンブラーニー	ART iT	22	
460年前に被災 10年かけてよみがえったラファエロの優美な筆致[ラファエロ・サンツィオ]	前橋 重二	芸術新潮	709	
ラファエロは父に鍛えられた 生誕地で浮上した新事実	高橋 恵理	"	714	
ドストエフスキーとの旅 39 ラファエロと「白痴」	亀山 郁夫	日 経	9.27	
入門講座 イタリア・ルネサンスの「未完成」4 ラファエロ「アデネの学徒」500年を閉じこめ完成に向かう	宇佐美圭司	日経夕刊	7.23	
ガレージに眠っていた マルティン・ラミレス 最晩年の130点	前橋 重二	芸術新潮	710	
SPECIAL FEATURE アウトサイダー・アートの愛し方 “生の芸術”ってなんだろう? PARTI アウトサイダー・アートの基礎知識 LESSON02 王国の10大巨匠は誰だ? 04マルティン・ラミレス	藤森 愛実	美術手帖	923	
小特集 より少なく、より良く ディーター・ラムスのデザイン哲学		芸術新潮	709	
ディーター・ラムスとドイツデザイン	渡部 千春	デザインの現場	165	
きる 聖なるラリックを求めて[ルネ・ラリック]	南川三治郎	芸術新潮	716	
ルネ・ラリックジュエリー制作の舞台裏	長谷川珠緒	国立新美術館ニュース	11	
アンティーク・ジュエリー 光の詩人ラリックのジュエリー	池田まゆみ	目の眼	397別冊	
華やぎのジュエリーから煌きのガラスヘルネ・ラリック 美神にささげた装飾品	"	東 京	3.2	
オルセー美術館展 バリのアール・ヌーヴォー1 ラウル・ラルシュ、シオ社「シャンデリア」	遠藤 望	読 売	10.2	

SPECIAL FEATURE

就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 CASE STUDY 1 2 展覧会を作る人々 ジム・ランビー、滞在制作の記録

坂口 千秋 美術手帖 918

くらくらっ ランビーの魅力 原美術館で不思議体験

渋谷 和彦 産 経 4.8

アートの風 1月 ジム・ランビー展/島袋道浩展 際立つデフォルメと置き換えの妙

三田 晴夫 毎日夕刊 1.28

(リ)

記念対談「比較論・東洋の白磁」(前)(後)

李 禹煥 談 陶 説 673,674
林屋 晴三 聞き手

ニッポン人・脈・記前衛バカ伝説4 日本でイロハ五輪花火[李禹煥]

田中 三蔵 朝日夕刊 3.24

創造神話 李禹煥の評価 故国と世界埋めがたい隙間

菅原 教夫 読 売 10.15

巻頭特集 人気画家が教えます おすすめ画材この逸品 BEST50&秘テク ニックつき Part 1 油性画材編 6 油性ムッシーニ 李曉剛

美術の窓 306

特集 インテリアを語る II インテリアデザインとその手法4 コミュニケーションの可能性を拡げる空間デザイン

李 明喜 杉浦 久子 建築雑誌 1591
聞き手 平塚 桂 文

リー・ソーユン 異国の地で積み重ねられていく新しい私の想像の世界

土田 環 art _ icle 16
聞き手

連載 小山登美夫の見た、訊いた、買った lesson 3 ルーシー・リーを水戸忠交易で

小山登美夫 芸術新潮 714

art news エマニュエル・リヴァ 彼女のヒロシマ・モナムール

" 711

視線 HIROSHIMA 1958 港千尋+マリニークリスティーン・ドゥ・ナヴァセル 編、エマニュエル・リヴァ写真、関口涼子訳

北澤 憲昭 朝 日 2.8

art news エッフェル塔はパリの富士山！ アンリ・リヴィエールの見た夢		芸術新潮	720						
作家通信 墨と新たな材料との出会い	里	燕	趣味の水 墨画	244					
Osamu's Invitation 18 リキテンスタインの光る海[ロイ・リキテンスタイン]	原田	治	芸術新潮	711			長屋 光枝	10.20	
PARIS 発 ルネッサンス美術の大輪[フー・フィリップ・リッピ]	安部	雅延	新美術新聞	1186					
自然を発見する？—ロマン主義的表象の再考—[ゲルハルト・リヒター]	仲間	裕子	思想	1026			八波 浩一	出光美術館研究紀要	14
芸術学部メディアアート学科主催 ズビグニュー・リブチンスキー・山村浩二氏特別対談		ズビグニュー・リブチンスキー、山村 浩二 談 為ヶ谷秀一 司会	女子美	162			(増子)	Shiodome Museum REVUE	11
ジュゼペ・デ・リベラの署名について	川瀬	佑介	鹿島美術財団年報・別冊	26			和田 宏子	趣味の水 墨画	242
平成二十年度東支部例会発表要旨 ジュゼペ・デ・リベラの署名に関する一考察			美術史	166					
THE ハプスブルク展 リベラ「聖痕を受けるアッシジの聖フランチェスコ」[ホセ・デ・リベラ]	前田	恭二	読売夕刊	10.5					
肖像画家としてのディエゴ・リベラ	深谷	克典	アート ペーパー	82			編集部	芸術新潮	710
鈕ハ印ノ花ナリ5 作鈕至難獅子の巻 中国雕鈕作家列伝(五)林清卿	宏	風生	書道界	241					
(ル)									
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア=パンフィーリ美術館』翻訳(8)—ロレンバルディア派(ペルナルディーノ・ルイーニからガウデンツィオ・フェッラーリまで)	上田	恒夫	金沢美術工芸大学紀要	53			呉谷 充利	日本建築学会計画系論文集	638
100人の心に響いた絵本100 海外絵本85 カクレンボ・ジャクソン[デイヴィッド・ルーカス]	辻本	順子	太陽(別冊)	164			仲野 康則 小林 克弘 三田村哲哉	朝日夕刊	7.1
THE ハプスブルク展 ルーベンス「キリストの哀悼」[ピーテル・パウル・ルーベンス]	前田	恭二	読売夕刊	10.3					
ぎやらりいモール 国立新美術館「THE ハプスブルク」から「梅俣のマグダラのマリアと姉マルタ」	長屋	光枝		10.20					
ルオーの連作油彩画《受難》とシュアレス著『受難(パッション)』—ルオーにおける原画・版画・油彩の関係に関する一考察[ジョルジュ・ルオー]	八波	浩一		14					
Bonjour! Georges 第九話 ローマ賞[ジョルジュ・ルオー]				11					
構図のはなし2 大きな三角形と視線、余白—人の人物像[ジョルジュ・ルオー]	和田	宏子	趣味の水 墨画	242					
例会発表要旨 第108回例会：19世紀絵画における諸問題 アルフォンス・ルグロ(Alphonse Legros)が描いた母子像—《海の祝別式(La Bénédiction de la Mer)》をめぐって	安藤	智子	日仏美術学会会報	28					
特集 開館50周年 なるか、世界遺産 国立西洋美術館のすべて 第2章 ル・コルビュジエの美術館誕生！	加藤	道夫	建築雑誌	1595					
建築みやげ・建築グッズ モデュロールの世界戦略[ル・コルビュジエ]									
ル・コルビュジエにおける身体 ル・コルビュジエの建築制作に関する研究 その14	呉谷	充利	日本建築学会計画系論文集	638					
ル・コルビュジエの20年代の建築思想と作品における民俗性についての考察	仲野	康則 小林 克弘 三田村哲哉		645					
「近代建築の父」業績は評価 コルビュジエ作品群 世界遺産「見送り」22資産の構成・保存管理に課題	小川	雪	朝日夕刊	7.1					

曲線の絵 名建築家の
原点 モダニズム
建築のコレビュジェ、
終生描いた作品を追う

林 美佐 日 経 10.14

収蔵品から《フリ
ュマンス・ビッシュ
の肖像》アンリ・ル
ソー

清水 真砂 世田谷美術館だより 79

建築のヒエログリフ
ークロード・ニコラ
・ルドゥーによる都
市構想—

小澤 京子 思想 1026

構図のはなし7 形
の量とエネルギーの
表現—群れを描く
[オディロン・ルド
ン]

和田 宏子 趣味の水
墨画 248

ルーブル美術館展
17世紀ヨーロッパ
絵画 ル・ナン兄弟
「農民の家族」

前田 恭二 読売夕刊 4.15

特集:「ルノワール
＋ルノワール展」関
連シンポジウム ジ
ャン・ルノワールの
現在 討議と質疑応
答 オーギュストと
ジャン、絵画と映画
[ピエール＝オーギ
ュスト・ルノワール]

青岩藤石 山城井田 京都国立
近代美術館研究論
集 2

キュレトリアル・ス
タディーズ02 ルノ
ワール／モードの画家

深井 晃子 " "

特集 開館50周年
なるか、世界遺産
国立西洋美術館の
すべて 私のおきな西
美の1点 父とルノ
ワール

藤山覚一郎 芸術新潮 710

通俗的と無視されが
ちだった ルノワ
ール晩年の真価を問う

阿部明日香 " 720

PARIS 発 晩年も輝
くルノワール

安部 雅延 新美術新
聞 1197

巻頭特集 今こそ裸
婦デッサンをもう
一度 ④技法講座
VOL. 14 巨匠の裸
婦デッサン イメ
ージをいかに作り上
げるか ルノワール

美術の窓 304

美の履歴書101 少
女がほほ笑むのは
「すわるジョルジエ
ット・シャルパンテ
イエ嬢」 オーギ
ュスト・ルノワール

青山 祥子 朝日夕刊 3.25

海外通信 「20世紀
のルノワール」展
見過ごされた「後期」
再評価

阿部明日香 " 9.30

美の美 梅原とルノ
ワール 上、中、下

小川 敦生 日 経 3.29、
4.5、12

入門講座 印象派の
なぜ3 ルノワールの
「甘い絵」 暗うつ
な世 画面明るく

福田 美蘭 日経夕刊 2.19

わが逸品 群馬県立
近代美術館 ピエ
ール＝オーギュスト
・ルノワール「読書す
るふたり」 幸福の
空気柔らか

定松 晶子 読 売 6.13

(レ)

17世紀オランダの女
流画家の星 ユディ
ット・レイステル回顧
展

由本みどり 芸術新潮 720

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
100 ちいさなあな
たへ[ピーター・レ
イノルズ]

汐見 稔幸 太陽(別冊) 164

2009年はこのアー
ティストに注目! ク
ロード・レヴエック
静寂あるいは喧噪の
中で

美術手帖 926

この一点 国立トレ
チャコフ美術館展よ
り イリヤ・レーピ
ン「画家レーピンの
息子、ユリーの肖像」

宮澤 政男 毎 日 4.22

トレチャコフだより
目も心も安まる「あ
ぜ道にて」[イリヤ・
レーピン]

ガリーナ・
チュラク 毎日夕刊 5.8

市浦健設計「日光龍
頭山の家」に見るア
ントニン・レーモン
ドの影響

速水 清孝 日本建築
学会計画系論文
集 639

エル・グレコ作《彫
刻家の肖像(おそらく
ボンベオ・レオー
ニ)》をめぐる一考
察—フェリペ二世の
主席彫刻家ボンベオ
・レオーニとの関係

門田 彩 美術史学 29

ジョヴァンニ・モレ
ッリ『イタリア絵画
論—ローマのボルゲ
ーゼ美術館とドーリ
ア＝バンフィーリ美
術館』翻訳(8)ーロ
ンバルディア派(ペ
ルナルディーノ・ル
イーニからガウデン
ツィオ・フェッラー
リまで)[レオナル
ド・ダ・ヴィンチ]

上田 恒夫 金沢美術
工芸大学
紀要 53

裏面からスケッチ発
見 ダ・ヴィンチ作
品と動物たちのミス
テリー

前橋 重二 芸術新潮 711

決め手は指紋のみならず 1万9000ドルの19世紀絵画がレオナルドの真筆となるまで

前橋 重二 芸術新潮 720

視点「ラロックの聖母」—レオナルド派か、本人か

池上 英洋 美術の窓 313

入門講座 イタリア・ルネサンスの「未完成」

宇佐美圭司 日経夕刊

1 レオナルド・ダ・ヴィンチ「三王の礼拝」 7.2

5 レオナルド・ダ・ヴィンチ「大洪水」 7.30

巨匠の傑作 デジタル化[レオナルド・ダ・ヴィンチ] 読 売 10.4

「パリのアメリカ人」—1923年のジェラルド・マーフィー(II) [フェルナン・レジェ] 村田 宏 跡見学園女子大学文学部紀要 43

当館所蔵レンブラント作《十字架からの降下》(1633, B. 81 II: 版画582)について[レンブラント・ハルメンス・ファン・レイン] 熊澤 弘 東京芸術大学美術館年報 H19年度

ルーブル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 レンブラント・ファン・レイン「縁なし帽をかぶり、金の鎖をつけた自画像」 前田 恭二 読売夕刊 4.14

(ロ)

特集 これからの本のつくりかた デイター・ロートのアーティストブック 近藤 一弥 デザインの現場 167

「ロートレック・コネクション」展 大胆な構図と色彩の単純化[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック] 鹿島 茂 東京 11.2

マーク・ロスコ晩年の作品における様式の意味—1950—60年代のアメリカ美術との関連性をめぐって— 芦田 彩葵 鹿島美術財団年報・別冊 26

寄稿 マーク・ロスコと茶の湯 林 寿美 淡 交 777

マーク・ロスコの「ダーク・ペインティング」—その造形と源泉について— 芦田 彩葵 美術史 167

WORLD NEWS
ARTIST in Focus
今月のワールドスター No. 010 マーク・ロスコ 伊東 豊子 美術手帖 920

SPECIAL FEATURE
アートの旅へ行こう! ART TRIP 3
辛酸なめ子さんで行く「マーク・ロスコ」展セラピーの旅 編集部 〃 921

空間と作品の一体化 礼拝堂さながらの荘厳さ マーク・ロスコ展 宮下規久朗 東京夕刊 3.6

ぎやらいいモール 川村記念美術館「マーク・ロスコ 瞑想する絵画」から「無題」 林 寿美 読売夕刊 4.21

ギリシア美術史と現代彫刻(3)「若さ」の造形[オーギュスト・ロダン] 中山 典夫 ART LIBRARY 10

他者/自己を見る目—ムーアによるロダン批評 南 美幸 アマリリス 94

特集 開館50周年 なるか、世界遺産 国立西洋美術館のすべて 私の好きな西美の1点 わがロダンは永久に不滅です 丹尾 安典 芸術新潮 710

ロダン研究IV—モークレールのロダン 高橋 幸次 日本大学芸術学部紀要 50

大理石より丈夫で、板絵より優雅 ロッピアー族のテラコッタ魂[ルカ・デッラ・ロッピアー] 高橋 恵理 芸術新潮 712

ルーブル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 クロード・ロラン「クリュセイヌを父親のもとに返すオデュッセウス」 前田 恭二 読売夕刊 4.13

第21回高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者決まる 絵画部門として日本の写真家・杉本博司氏が受賞! リチャード・ロング氏(彫刻)ザハ・ハディド氏(建築)ら5氏 新美術新聞 1197

第21回「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞者の素顔 あくなき表現への挑戦 世界を歩き自然と対話 彫刻部門 リチャード・ロング 産 経 9.25

高松宮殿下記念世界文化賞 彫刻部門リ
チャード・ロング氏
故郷の荒々しい自然
が原点 中曽根聖子 〃 10.4

芭蕉と石庭アートに
影響[リチャード・
ロング] 市原 尚士 読売夕刊 11.25

(ワ)

追悼 アンドリュー
・ワイエス 時代に
迎合しない画家が描
いた心に響く世界 高橋 秀治 美術の窓 306

A・ワイエス氏を悼
む 対象の本質見据
えた絵 〃 東京夕刊 1.29

文化往来 自然と人
の情感を描き続けた
ワイエス 日 経 1.20

A・ワイエス氏死去
米絵画の巨匠「クリ
スティーナの世界」 読 売 1.17

A・ワイエス氏を悼
む 時間を凝縮させ
た深み 高橋 秀治 〃 1.20

100人の心に響いた
絵本100 海外絵本
70 たいせつなこと
[レナード・ワイス
ガード] 香曾我部秀
幸 太陽(別冊) 164

人・模・様 市民と
再建した「竹の家」
[王文志] 小川 直樹 毎日夕刊 11.16

巻頭特集 手はすべ
てを語る ⑧技法講
座 VOL. 15 実践応
用編 明るい肌色で
少女の肌を表現する 王 培 美術の窓 310

子供たちの輝き 岩
絵の具で 中国人日
本画家・王培さん 読売夕刊 7.6

from the world マ
ルセル・ワンダーズ
が提案する温故知新
のクリエイション 樋口 歩 A X I S 138

(ン)

子どもと美術51 み
んなの風鈴[キング
スレー・ング] 拓植 響 美術手帖 925

そ の 他
美術関係者

日 本

(ア行)

佐渡山本家所蔵會津八一書簡について	三宮 千佳	早大会津八一記念博紀要*	10
印と書めぐり風雅な交流 書家會津八一から篆刻家松丸東魚へ 書簡15通見つかる	桐山 正寿	毎 日	7.24
あの人に会う 日本近代史を訪ねて 會津八一1~6	"	"	8.23、30、9.6、13、20、27
ラウンジ 青木保さん 不況下こそ文化振興	三浦 真	読売夕刊	2.21
私の収穫1~4	青柳 正規	朝日夕刊	8.19、20、26、27
彩・美・風 端正な文机が似合う空間	"	"	10.21
紛争ものかは美術交流 セルビアの陽気でシャイな若手作家たち紹介 秋川伸子	秋川 伸子	日 経	3.25
旧東京科学博物館の建築計画について一秋保安治の動的博物館一	湯本 桂 清水 慶一	日本建築学会計画系論文集	645
明日へ 踏ん張る「美術館人」5 じっくり成長人気館に[秋元雄史]	菅原 教夫	読売夕刊	11.6
新美術時評 秋山光和さんの訃報に接して	島尾 新	新美術新聞	1182
追悼 秋山光和先生 秋山光和先生を偲びて	高階 秀爾	日仏美術学会会報	28
二〇〇九年追悼・秋山光和先生		仏教芸術	307
調査の思い出	関口 正之		
秋山先生と『仏教芸術』	百橋 明徳		
大阪市立東洋陶磁美術館「鈴木正男氏寄贈—浅川伯教が愛した韓国のやきもの」展に寄せて	樋口とも子	陶 説	675
大阪市立東洋陶磁美術館「鈴木正男氏寄贈—浅川伯教が愛した韓国のやきもの」展に寄せて	樋口とも子 鄭 銀珍	"	676

絵はがきで眺める尾道史 坂の町の昔の姿、100枚以上集めて本に

天野 安治 日 経 3.6

明日へ 美を売る4 無名写真家一途に発掘[綾智佳]

菅原 教夫 読売夕刊 1.8

自著を語る『粟津則雄著作集』(全7巻) 粟津則雄さん(文芸評論家)

東京夕刊 1.16

粟津則雄氏著作集完結 出たところ勝負で作品と対す「批評は文士の裏芸」ではない

松本 良一 読 売 2.12

人生は夕方から楽しくなる 世界を救うでたらめなキノコ「タコ足」主義の写真評論家 飯沢耕太郎さん

國枝すみれ 毎日夕刊 8.8

あとがきのあと「壊れても仏像」飯泉太子宗氏 修復の経験が生む距離感

日 経 7.19

著者来店「壊れても仏像」飯泉太子宗さん

川村 律文 読 売 6.21

アートの地殻変動05 池田修

福住 廉 美術手帖 925

東大寺大仏 銅の里 追って 日本最古の山口・長登銅山、木簡や茶碗など出土

池田 善文 日 経 4.23

幕末明治の男 ハイポーズ 榎本武揚や板垣退助…肖像写真を親子二代で収集

石黒 敬章 " 4.24

板垣鷹徳の写真・映画制作について

白政 晶子 美術史研究 47

修士論文概要 板垣鷹徳研究—戦時下の思考と活動—

" 早稲田大学大学院文学研究科紀要 54

遠みち近みち—芸術家を励ます理由[伊藤謙介]

森 一夫 日 経 10.25

ニュージーランドの土となる伊東成憲さん

小野 公久 陶 説 672

SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 自分てつくる、自分の仕事 修復家 岩井希久子さん

山内 宏泰 美術手帖 918

「薬茶同源」の歴史追う お茶は薬、医薬書の原典調べ逸話や薬効を本に

岩間眞知子 日 経 9.28

喜捨の心で現代美術 収集 妻と211点寄 贈、作品に惚れて唯 一の楽しみ	上田 國昭	〃	7.3	資料紹介 吉成英文 氏所蔵 岡倉寛三書 簡・横山大観講演録	清水恵美子	〃	〃	
明日へ 美を売る5 作家を育て笑顔見 たい[上田雄三]	菅原 教夫 木村 未来	読売夕刊	1.9	天心一大観・春草に おける西洋近代美術 史観(上)	天野 一夫	豊田市美 術館紀要	2	
画布にまつわる話い ろいろ	歌田 眞介	たいせつ な風景	11	はみ出し歴史ファイ ル 岡倉天心 遊び 心と平静失わぬ思想 家	野呂 肖生	朝日夕刊	8.8	
表も裏[大川栄二]	新井 淳一	ガ ス 燈	80					
絵キチの先輩大川さ んを偲んで	梅野 隆	〃	〃	あの人に会う 日本 近代史を訪ねて 岡 倉天心1～6	岸 桂子	毎 日	4.12、19、 26、5.3、 10、17	
空[大川栄二]	掛井 五郎	〃	〃					
大川栄二さん	窪島誠一郎	〃	〃	アジア初のF I A F 会長に就任 東京国 立近代美術館フィル ムセンター主幹 岡 島尚志さん	堀 晃和	産 経	6.21	
大川栄二先生を偲 んで	馬越 陽子	〃	〃					
激を飛ばし続けてく ださい! [大川栄二]	松本 莞	〃	〃					
大川さんという理念	本江 邦夫	〃	〃	顔 国際映画保存団 体の会長に就任した 岡島尚志さん	近藤 孝	読 売	7.2	
追悼 大川栄二氏を 偲んで	掛井 五郎	新美術新 聞	1173					
追悼 大川栄二先生 「あと30分」が3時間 の大川節	新井 博	〃	1174	第60回読売文学賞受 賞6氏と作品 評論 ・伝記賞 岡田温司 「フロイトのイタリ ア」	松浦 寿輝	〃	2.1	
ひと 美術史から消 えた、精密な美術品 の流れを追う 大熊 敏之さん	雨宮 徹	朝 日	6.4	読売文学賞の人4 評論・伝記賞「フロ イトのイタリア」岡 田温司さん	浪川 知子	〃	2.5	
ときの人1 横浜美 術館館長 逢坂恵理 子さん 5代目指名 を受けて立つ		新美術新 聞	1181	土曜訪問 杉浦佐助 描きと辻哲郎賞 岡 谷公二さん(美術研 究者)	栗原 淳	東京夕刊	4.4	
キャリアの軌跡 横 浜美術館館長逢坂恵 理子さん 美術家タ レル氏に鍛えられ		日経夕刊	10.26	この人 NYメトロ ポリタン美術館で大 規模な武具展を開く 小川盛弘さん	宇野 隆哉	東 京	10.5	
明日へ 踏ん張る 「美術館人」2 眼力 養う努力の細腕[逢 坂恵理子]	菅原 教夫	読売夕刊	10.30	ひと NYメトロポリ タン美術館「侍の 芸術」展を企画 小 川盛弘さん	小倉 孝保	毎 日	12.2	
顔 戦前の映画フィ ルムの復元に取り組 む大阪芸大教授 太 田米男さん	富野 洋平	読 売	6.25	顔 メトロポリタン 美術館で「侍の芸術」 展を企画した 小川 盛弘さん	吉形 祐司	読 売	11.25	
文化往来 理念実現 に力尽くした大原美 術館2代目[大原總 一郎]		日 経	9.14	人らんだむ 京都国 立近代美術館・新館 長 尾崎正明氏 学 芸員生活30余年、伝 統の前進に手助け		新美術新 聞	1195	
アメリカとアジア： 岡倉研究の将来に向 けてーガーナ美 術館とハーヴァード 大学における研究会 報告[岡倉天心]	清水恵美子	あ い だ	161					
資料紹介 岡倉天心 による「泰西美術史」 講義(明治二十九年) についての考察(そ の二)	廣瀬 緑	五浦論叢	16	第20回「倫雅美術奨 励賞」決まる 美術 史研究部門 西山純 子氏 美術評論部門 貝塚健氏		〃	1172	

(力行)

ときの人8 公益財 団法人サントリー芸 術財団専務理事サン トリー美術館支配人 勝田哲司さん 公益 法人化で更なる満足 度アップを目指す		新美術新 聞	1200		地域再生に美術の力 アートディレクター 北川フラムさんに聞 く「現代美術と過 疎地結んだ」	西田 大西	健作 若人	朝日夕刊	7.22
アートの地殻変動06 加藤種男	永峰 美佳	美術手帖	928		交遊抄 新潟の芸術、 前へ[北川フラム]	篠田	昭 日 経		8.25
写真集 2万点 魂の 宝庫 自宅の寺で内 外から収集、日本独 自の伝統探る 金子 隆一	金子 隆一	日 経	12.15		愛書家の夢、パリで 実現 急逝した気谷 誠さんの蔵書『悪 の華』初版など競売 に	佐藤 鹿島	由紀 茂	毎日夕刊	4.14
美術品の“健康”お任 せ 保存・修復や温 度・湿度管理まで、 西洋美術対象に28年	河口 公男	”	11.2		アートの地殻変動08 木下直之	永峰 美佳	美術手帖		931
風刺画家セムにほれ て 作品集出版で仏 から勲章 郡山の川 島さん 700点収集 「おれがやらなきゃ」 [川島利夫]		東 京	7.10		アート・トピックス Statement 千葉市 美術館の副館長に就 任した木村悦雄 サ ラリーマンコレクタ ーから美術館へ		ギャラリ ー*		289
川端康成 蒐められ た日本の美		太陽(別冊)	157		視点 サラリーマン コレクターからの発 信:独断的?「立野 清遺作展」開催論	木村 悦雄	美術の窓		312
作家が愛した美、 作家に愛された美 一絶望を希望に転 じ、生命の輝きを見出す	羽鳥 徹哉				「先見の明」—久志卓 真先生	関根 秀吉	陶 説		681
川端文学の世界 美についての十章 寒厳と祈りの美	”				不屈のひみつ 美術 館主・作家 窪島誠 一郎さん 愛する絵 仲間と見る喜び	堀内 佑二	読 売		1.18
川端康成コレクシ ョンのすべて	平山 三男				SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガ イド2009 アートの 仕事 自分でつくる、 自分の仕事 ディレ クター、インディペ ンデント・キュレー ター 窪田研二さん	白坂 ゆり	美術手帖		918
コラム 東山魁夷 と川端康成、魂の 交流	水原 園博				SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガ イド2009 アートの 仕事 自分でつくる、 自分の仕事 展覧会 企画、書籍編集・翻 訳、ギャラリー運営 小出由紀子さん	”	”	”	”
コラム 美を見出 す眼	”				柴田是真 幕末・明 治に咲いた漆芸の超 絶技巧 是真雄感 四十数年の研究生活 をふりかえって	郷家 忠臣	太陽(別冊)		163
コラム 安田靉彦、 古美術の世界へ誘 う	”				「日本インターナシ ョナル建築会」にお ける香野雄吉の活動 と建築理念について	笠原 一人	日本建築 学会計画 系論文集		644
資料初公開!文豪、 展覧会にあらわる	田村 充正 福田 淳子				小林秀雄「慶州」から 「骨董」まで—「骨董 いちり」の認識論へ—	石川 則夫	国学院雑 誌		1225
川端文学、美の反 響	真田 邦子				小林秀雄・〈形姿〉と いう文体—その生起 をめぐって—	”	国学院大 学紀要		47
評伝 孤独と向き 合って	川端香男里								
特別寄稿 川端康 成と美の世界									
大楽人 古代エジプ ト美術館館長 菊川 匡さん 大学院生と して遺物分析も	五十嵐亮平	毎日夕刊	12.11						
アートの地殻変動01 北川フラム	編 集 部	美術手帖	919						

追憶の風景 厳島神社 古筆学者 小松茂美 大上 朝美 朝日夕刊 3.3

明日へ 美を売る1 芸術家の卵世界へ発信[小山登美夫] 菅原 教夫 読売夕刊 1.5

今和次郎は終わらない 宮代 栄一 朝 日 1.25

この夏開催 3 古代文明展 歴史ロマン 輝く至宝 2つのエジプト展を監修 近藤 二郎 〃 8.21

悼む 近藤義郎さん 考古学者・岡山大名 山成 孝治 毎 日 11.11
誉教授 多くの研究者育成も

(サ行)

彩・美・風 建築を通して街を知る 斉藤 理 朝日夕刊 1.7

ときの人5 世田谷美術館長 酒井忠康さん 公立美術館の明日を見据える 新美術新聞 1192

樹皮紙は世界をつなぐ 古文書修復で出合った古代史の源流をたどる 坂本 勇 日 経 9.4

明日へ 踏ん張る「美術館人」1 「バガボンド」で入館者増[桜井武] 菅原 教夫 読売夕刊 10.29

人生のフナ旅は大漁屋号「鮎金」にちなみ 日本画・置物…グッズー網打尽 笹生 貞介 日 経 2.11

この夏開催 3 古代文明展 歴史ロマン 輝く至宝 黄金の都シカン展 30年かけ発掘 島田 泉 朝 日 8.21

この人 四コマ漫画の歴史をまとめた漫画研究家 清水勲さん 増村 光俊 東 京 8.29

The AsahiShimbum GLOBE Break-through 清水敏男 誰の目にもいつも本物を。公共の空間に「美」を橋渡しする交渉人 長沢美津子 朝 日 11.2

夏季展 白洲正子と細川護立—最後の目利きから学んだもの— 仲宇佐ゆり 永青文庫 67

この人 奈良県立橿原考古学研究所の5代目の所長に就任する 菅谷文則さん 角本 信介 東 京 2.5

フォーカス 奈良県立橿原考古学研究所の5代目の所長に 菅谷文則氏 “冬の時代”でも現場重視貫く 日経夕刊 3.10

ひと 奈良県立橿原考古学研究所の5代所長菅谷文則さん 林 由紀子 毎 日 2.17

竜安寺石庭の謎 追う原風景求め旅、「五台山文殊菩薩」図にたどり着く 杉尾伸太郎 日 経 7.22

眼光紙背の杉山定敏さん 小野 公久 陶 説 671

輝く女性 美研インターナショナル専務 鈴木章子さん 上、下 読 売 11.15、16

交遊抄 実体のない句会 鈴木 博之 日 経 11.21

江戸の小袖 衰えぬ美と粋 町家に遺された染織品、300点を初めて公開 鈴木 元彦 〃 5.12

中廊下史研究30年の歩み 海外移入説に疑問、師の遺志を継ぎ検証本 鈴木 義弘 〃 6.19

この人 国立民族学博物館館長に就任 須藤健一さん 左方 倫陽 東 京 4.28

ひと 国立民族学博物館館長に就任する 須藤健一さん 山成 孝治 毎 日 3.28

史料紹介 外務省外交史料館所蔵「須磨弥吉郎関係文書」について 原口 邦紘 外交史料館報 23

特集2 染野夫妻陶芸コレクション—リーチ・濱田・豊蔵・壽雪— 現代の眼 577

「染野夫妻陶芸コレクション展」によせて[染野義信/染野啓子] 渡辺 浩男

染野夫妻の陶芸収集—表現者との邂逅 石崎 泰之 〃 〃

(タ行)

SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 自分でつくる、自分の仕事 プレス平昌子さん 藤田 千彩 美術手帖 918

テークオフ 東京工業大学准教授 高岸輝さん 絵巻とヒーロー考察 小川 雪 朝日夕刊 4.2

フォーカス バリの邸宅売却、美術収集品もオークションに 高田賢三氏 自然体貫き「原点を再確認」 小林 明 日経夕刊 6.3

紆余曲折コレクター 高橋龍太郎が語る ネオデニーという希望 芸術新潮 715

ときの人4 精神科医 高橋龍太郎さん コレクションという病に取り付かれて… 新美術新聞 1188

彩・美・風 高橋龍太郎 朝日夕刊 3.4、11、18、25

人・模・様 現代アートに魅せられて [高橋龍太郎] 岸 桂子 毎日 6.20

瀧口修造の「安全週間」 岩崎美弥子 実践国文学 75

新幹線と散歩 建昌 哲 日経 8.9

明日へ 踏ん張る「美術館人」6 館の数より活動充実を [建昌哲] 菅原 教夫 読売夕刊 11.9

展覧会から7 田中恒子コレクションの寄贈を受けて 雪山 行二 視覚の現場 四季の綻び 3

視点 軽井沢現代美術館それは「フジタ」から始まった 谷川 憲正 美術の窓 304

研究者紹介42 都市史から日本建築史へ、そして東アジア比較建築史へ 玉井 哲雄 歴博 154

私の収穫1〜5 辻 惟雄 朝日夕刊 9.16、17、24、30、10.1

好きなもの 〃 毎日 4.5

明日へ 踏ん張る「美術館人」3 作品の魅力広げる喜び [都筑正敏] 菅原 教夫 読売夕刊 11.2

(ナ行)

会いたい人 東京理科大学理学部教授中井泉さん 強力なX線で考古試料を分析 物質から過去を読む 五十嵐亮平 毎日 5.22

テークオフ NPO法人プラス・アーツ理事長 永田宏和さん 防災を楽しくアートと公共性両立 小川 雪 朝日夕刊 1.17

西林昭一さん『中国書道文化辞典』刊行 新出土・新発見盛り込み8000項目 桐山 正寿 毎日 11.4

明日へ 美を売る3 やめられない理由がある [西村建治] 菅原 教夫 読売夕刊 1.7

第20回「倫雅美術奨励賞」決まる 美術史研究部門 西山純子氏 美術評論部門 貝塚健氏 新美術新聞 1172

故宮60年 4 [新田棟一] 野嶋 剛 朝日 2.20

特集 自筆の茶会記 拝見 淡交 782

其の二 京都の数寄者・野村得庵の茶会記 谷 晃 監修

特集関連読み物2 野村得庵の茶会記 谷 晃

人・模・様 銀座の画廊を気軽な空間に [野呂洋子] 田後 真理 毎日夕刊 8.15

(ハ行)

こころの玉手箱 美術評論家 林屋晴三 1〜4 林屋 晴三 日経夕刊 12.21、22、24、25

「清廉」一三溪翁 [原三溪] 関根 秀吉 陶説 676

千宗屋の茶のある暮らし 無私の人原三溪 千 宗屋 朝日夕刊 11.5

巻頭エッセイ 土方定一著『近代日本文学評論史』、『近代日本洋画史』について 雑感 青木 茂 近代画説 18

惜別 写真評論家・九州産業大学教授 平木収さん 現物見て人と語る行動家 大西 若人 朝日夕刊 5.30

不屈のひみつ 空間メディアプロデューサー 平野曉臣さん 太郎さんの勢い「神話」修復 高野 清見 読売 4.26

土曜訪問 全国のお寺を巡る 仏像ガールさん [廣瀬郁実] 嶋津 栄之 東京夕刊 6.20

瓦に浮かぶ古人の情景 寺院などから収集、ギャラリ兼喫茶店運営 広瀬 博人 日経 6.29

この人 彫刻家リーメンシュナイダー作品写真集を初めて自費出版 福田緑さん 平野 恵嗣 東京 5.18

アートの地殻変動02 福武總一郎	編 集 部	美術手帖	920
アートの地殻変動07 福原義春	永峰 美佳	"	930
追悼 交流二十五年 —老朋友藤慶之さん	瀧 悌三	美術の窓	305
美術館・博物館照明 のプロ 藤原工さん 作品の隠れた魅力に光	稲葉 千寿	東京夕刊	6.19
刀剣回顧談 第四回 ～第七回[細川護立]	阿部 純子	永青文庫	65～68
夏季展 白洲正子と 細川護立—最後の目 利きから学んだもの—	仲宇佐ゆり	"	67

(マ行)

連載特集 追悼・山 岸信郎	あ い だ		
2 さよなら山岸 さん	上原 二郎		156
3 恰好の演習場	平井 亮一		"
4 わが虚無的往 還のかたわらで	清水 誠一		157
5 山岸さんとあ の世でバーボンを。	田窪 恭治		"
6 2008年8月3 日、山岸信郎邸。	弘中 智子		158
7 同学のよしみ	前田 正明		"
7 山岸信郎君と の付き合い	山下 一郎		159
8 「山岸さんは、」	菅 木志雄		"
9 「映像の時代」 を開いてくれた	中井 恒夫		"
10 山形で山岸 さん	青山 光佑		"
11 山岸さん……	高山 登		"
12 Y氏への手紙 —桜の季節を前に	田代 睦三		"
15 最初と最後の 山岸さん	堀 浩哉		160
16 「万年青年」を 生きた—山岸信郎 を回想する	尾嶋 義之		161
18 私の在日18年 を支えてくれた	ステラーク 沖 啓介 訳		162
19 山岸さん、ス テラーク、神田	沖 啓介		"
18 山岸さんと駒 井画廊、そして私	谷 充央		164
19 わが真の恩師、 山岸信郎先生！— 追慕の文	金 在寛		165

20 神田に芽吹い た野草と夢想	柏原えつと む	"	
21 山岸さんとぼ く—真木・田村画 廊の思い出	北澤 憲昭		166
22 山岸さんの思 い出—野外展のこ となど	竹内 博		167
23(資料篇)『展 評』(ほぼ)総目次	編 集 部	"	
正木直彦と『十三松 堂観摩録』	杉村 邦彦	書道文化	5
顔 世界遺産を地震 から守るため研究を 続ける立命館大教授 益田兼房さん	富浪 俊一	読 売	11.5
人間発見 鉄腕アト ムは終わらない1～ 5 手塚プロダクシ ョン社長 松谷孝征 さん	中山 淳史 聞き手	日経夕刊	4.20～24
明日へ 踏ん張る 「美術館人」4 学芸 員の調査 館の基盤 [光田由里]	菅原 教夫	読売夕刊	11.4
明日へ 美を売る2 「日本の作品」で北京 へ[三瀧末雄]	菅原 教夫 木村 未来	"	1.6
SPECIAL FEATURE いま読むべきアート ブック300 Column 1 大人になったら 批評を読む いま こそ美味しい「宮川 淳」の読み口	足立 元	美術手帖	917
読みたい 本の現場 宮永美知代さん 顔 と骨格からみた名画 の美女たち	佐藤 由紀	毎日夕刊	6.2
彙報 追悼 村井崑 雄先生	古谷 毅	考古学雑 誌	93-4
日本陶磁協会筑豊支 部長 毛利茂樹先生 を悼みて	光井 玄空	陶 説	671
顔 美術準備室に勤 めて25年、「デザイ ンの松戸」を育てた 森仁史さん	高橋 直彦	読 売	3.27
この人 マンガ図書 館設立を進める明治 大准教授 森川嘉一 郎さん	山本 浩史	東 京	12.21
特集 自筆の茶会記 拝見		淡 交	782
其の三 名古屋の 数寄者・森川如春 庵の茶会記	小川 幹生 監修		
特集関連読み物3 森川如春庵の茶会 記に見る道具組	小川 幹生		

(ヤ行)

ときの人6 刺繍カ フェ企画者、ギャラ リーオーナー 矢崎 順子さん 針と糸で 広がる新しい世界		新美術新 聞	1194
あとがきのあと 「近世宗教美術の世 界」矢島新氏 江戸 の豊かな表現発見		日 経	3.1
平成十九年度博士論 文(課程)要旨 民芸 運動の理論と実践— 柳宗悦の台湾観と沖 縄観を中心に—	林 承緯	大阪大学 大学院文学研究科 紀要	49
特集 民芸という美 の見かた		目 の 眼	397
「眼の人」—柳宗悦 の歩んだ道	杉山 享司		
理知が勝る時代だ からこそ見たい直 観の美[柳宗悦]	(杉 山)		
再読柳宗悦の民芸論 —その理論化の過程	藤嶋 俊會	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	4
戦後建築オーラル・ ヒストリー 住まい の記録、人の記憶 山口廣氏	倉方 俊輔	建築雑誌	1593
SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガ イド2009 アートの 仕事 自分でつくる、 自分の仕事 アート プロデューサー 山 口裕美さん	山内 宏泰	美術手帖	918
コレクション展「絵 はぼくを思索に誘う」	山下 透	A S	32
「九相図」に魅せられ て 鎌倉時代に出現 ・屍の白骨化描く、 文化の神髄感じる	山本 聡美	日 経	4.28
給料で集めた絵画 1300点 コレクター 歴30年山本冬彦さん 「手の届く本物」に夢 中	千葉恵理子	朝 日	12.30
初心者向けに画廊巡 り指南 サラリーマ ンコレクター・山本 さん「アートソムリ エ」本出版 「何を買 うべきか」銀座など のマップも	松村 裕子	東 京	8.10
ニューライフ マイ ライフ 「アートの ソムリエ」山本冬彦 さん 美術館で収集 品展示	稲熊 均	〃	12.9

追悼 横田洋一氏へ
の思い

河野 実 浮世絵芸 157

彙報 吉田章一郎先
生のご逝去を悼む

田村 晃一 考古学雑 93-4

吉田千鶴子さん『近
代東アジア美術留学
生の研究』出版

生田 誠 産 経 3.18

著者に会いたい へ
ええなるほどなあつ
て思う 吉本隆明
全マンガ論 表現と
してのマンガ・アニ
メ 吉本隆明著

浜田 奈美 朝 日 7.26

(ラ行)

特集 京都千年のタ
イムカプセル 冷泉
家のひみつ インタ
ビュー 冷泉為人・
貴実子「しげき想ひ
をたれか知るらん」
夫婦で歩んだ冷泉家
のいま

芸術新潮 719

ひと 時雨亭叢書84
巻を完結させた冷泉
家25代当主 冷泉為
人さん

田中 順子 朝 日 8.30

(ワ行)

若桑みどり追悼特集

イメージ
&ジェン
ダー 9

「猫に鯉節」……追
悼若桑みどり

上野千鶴子

若桑みどり先生と
の36年

上村 清雄

自由への信念を学
問で実践した自由
人

カン・テヒ
金 恵信 訳

ジェンダー文化論
への情熱—若桑み
どりさんを送る

坂本 満

追悼若桑みどりさ
ん

丹羽 雅代

追悼若桑みどり先
生

皆川満寿美

弔辞 イコノロジ
ーとジェンダー研
究の総決算を遺し
て旅立った友へ

森 洋子

追悼メッセージ

稲賀 繁美
香川 檀
笠原美智子
小勝 禮子
小林 緑
田中 厚子
西山千恵子
藤木 直実

海外

「芸術家」の収入が低いのは神聖化する神話のため 経済学者のアビンギンさんに聞く[ハンス・アビンギン]

小川 雪 朝日夕刊 12.9

不況の今アート探求英「ICA」芸術監督エコウ・エシュンさん

大西 若人 〃 5.20

topic 2 Okwui Enwezor インタビュー[オクイ・エンウェゾー]

杉田 敦 CLOSET 2

日本美術のことなどドナルド・キーン氏聞き書き—

水尾比呂志 国華清話 13
聞き手 会報

この夏開催 3 古代文明展 歴史ロマン輝く至宝 海のエジプト展 発掘者 フランク・ゴディオさん

フランク・ゴディオ 朝 日 8.21

フォーカス 25周年迎えたカルティエ財団率いる現代美術の目利き エルベ・シャンドス氏 常設展せず、芸術発信に新風

野見山祐史 日経夕刊 4.7

絵画からの「イメージ」解釈 美術史家・ストイキツァ氏[ヴィクトル・ストイキツァ]

前田 恭二 読 売 4.14

鄭詔文さんのこと

加藤 静允 陶 説 676

ひと トリノ・エジプト博物館の入館者を倍増させた「やり手館長」 エレーニ・バジリカさん

井上 秀樹 朝 日 8.20

ひと オーストリア王宮家具博物館館長イルゼビル・バルタさん

岸 桂子 毎 日 11.28

フェノロサ研究の貴重な資料 英文著作集出版[アーネスト・フェノロサ]

山上 直子 産 経 4.7

特集 良いキュレーション、悪いキュレーション ニコラ・ブリオー インタビュー

松井みどり 22
聞き手 ART iT

語る 文化地理学者オギュスタン・ベルク 風土の考察、地球規模に

日 経 9.27

ジェームズ・ロード・ボウズー日英の架け橋として—

象 和沙 日本女子大学大学院紀要(人)* 15

研究ノート ヨエ・ホロウハーチェコの日本美術コレクター—

宮崎 もも 美のたより 166

art news 1940年、日本—ある米国青年の「新版画」買い物旅行[ロバート・ムラー]

芸術新潮 718

みる 女性コレクターがかなえた“プラハの春”[メーダ・ムラーデク]

編集部 〃 719

忘れ得ぬ人、G・ワグネル[ゴットフリート・ワグネル]

佐藤 節夫 陶 説 672

書評

和 書

『アーティストの言葉 美の創造主たちの格言』ビエ・ブックス編集部編

ワシオトシヒコ 産 経 12.13

『アート・インダストリー 究極のコモディティを求めて』辛美沙著

芸術新潮 712

『アートを始めるまえにやっておくべきこと』椿昇・後藤繁雄著

飯田 高誉 瓜生通信 46

『秋田蘭画の近代 小田野直武「不忍池図」を読む』今橋理子著

日 経 6.7

〃

田中 優子 毎 日 6.28

〃

中村 桂子 〃 12.20

〃

黒岩比佐子 読 売 6.28

『遊べる浮世絵 体験版・江戸文化入門』藤沢紫著

小澤 弘 浮世絵芸術 157

『アトリエの巨匠に会いに行く ダリ、ミロ、シャガール…』南川三治郎著

産 経 8.30

『荒川修作の軌跡と奇跡』塚原史著

日 経 4.26

『アルベール・カーン コレクション よみがえる100年前の世界』デイヴィッド・オクエフナ著、別宮貞徳監訳

横尾 忠則 朝 日 9.20

〃

日 経 8.23

- 『伊賀焼[伊賀の七不思議]』谷本光生著 陶 説 677
- 『イギリスに花開くヘレニズム パルテノン・マーブルの光と影』西山清著 森松 健介 学 鑑 106-1
- 『異国の表象 近世輸出漆器の創造力』日高薫著 坂本 満 歴 博 152
- 『石内都展 ひろしま／ヨコスカ』目黒区美術館編 芸術新潮 710
- 『伊勢神宮 魅惑の日本建築』井上章一著 " 715
- " 柄谷 行人 朝 日 6.28
- 『イタリア建築の中世主義—交錯する過去と未来—』横手義洋著 福田 晴虔 建築史学 53
- 『一枚の絵から 日本編』高畑勲著 日 経 12.20
- 『意味論的転回 デザインの新しい基礎理論』クラウス・クリッペンドルフ著、小林昭世・川間哲夫・國澤好衛・小口裕史・蓮池公威・西澤弘行・氏家良樹訳 深澤 直人 A X I S 140
- 『印象派はこうして世界を征服した』フリップ・フック著、中山ゆかり訳 柄谷 行人 朝 日 9.27
- " 小倉 孝誠 東 京 8.9
- " 宮下規久朗 日 経 8.30
- 『院政期の王家と御願寺—造営事業と社会変動—』丸山仁著 美川 圭 史学雑誌 118-7
- 『歌麿 抵抗の美人画』近藤史人著 美術の窓 307
- 『現な像』杉本博司著 橋爪 紳也 朝 日 2.22
- " 田中 樹里 産 経 3.14
- 『運慶 天下復た彫刻ナシ』根立研介著 渡部 裕明 " 9.20
- 『映画の建築 建築的映画』五十嵐太郎著 高島 直之 東 京 6.14
- 『描かれた技術 科学のかたち サイエンス・イコノロジーの世界』橋本毅彦著 金子 務 日 経 2.1
- 『描かれた戦国の京都 洛中洛外図屏風を読む』小島道裕著 古川 文夫 産 経 11.14
- 『絵で読む歌舞伎の歴史』服部幸雄著 藤澤 茜 浮世絵芸術 158
- 『絵解きでわかる 聖書の世界 旧約外典偽典を読む』秦剛平著 日 経 4.12
- 『絵解き 幕末諷刺画と天皇』奈倉哲三編 稲垣 進一 浮世絵芸術 157
- 『江戸モードの誕生 文様の流行とスター絵師』丸山伸彦著 石上 英一 朝 日 1.4
- 『エドワード・ホッパー アメリカの肖像』ヴィーラント・シュミート著、光山清子訳 北澤 憲昭 " 4.5
- 『NHK 迷宮美術館 巨匠の言葉 この「一枚の絵」は何を語っている?』NHK「迷宮美術館」制作チーム著 (希) 毎 日 12.6
- 『岡本太郎 「太陽の塔」と最後の闘い』平野暁臣著 産 経 10.11
- 『奥の細道』宇野亜喜良著 芸術新潮 716
- 『鬼がゆく 江戸の華 神田祭』木下直之・福原敏男編 " 715
- 『思い出を切りぬくとき』萩尾望都著 (叙) 毎 日 12.6
- 『オリエンタリストの憂鬱 植民地主義時代のフランス東洋学者とアンコール遺跡の考古学』藤原貞朗著 芸術新潮 711
- " 井上 章一 日 経 12.27
- 『尾張の絵画史研究』吉田俊英著 朝日美砂子 日本歴史 739
- 『絵画の変—日本美術の絢爛たる開花』並木誠士著 山下 裕二 日 経 4.12
- " 井上 章一 日経夕刊 3.25
- " 片山 杜秀 読 売 4.12
- 『解剖学者がみたミケランジェロ』篠原治道著 布施 英利 東 京 3.8
- 『過激な隠遁 高島野十郎評伝』川崎淡著 福原 義春 産 経 1.10
- 『画商の「眼」力 真贋をいかにして見抜くのか』長谷川徳七著 本郷 和人 読 売 3.8
- 『かたち三昧』高山宏著 田中 純 " 10.11
- 『河童芋銭 小説小川芋銭』正津勉著 窪島誠一郎 東 京 2.15

- 『カプリ島 地中海観光の文化史』河村英和著 日 経 1.11
- 『臥遊 中国山水画—その世界』小川裕充著 (才) 毎 日 5.31
- 『カワイイパラダイムデザイン研究』真壁智治・チームカワイイ著 篠原 知存 産 経 10.25
- 『感覚のレッスン』梅原賢一郎著 芸術新潮 717
- 『農作王ダリ シュールでスキャンダラスな天才画家の真実』スタン・ラウリセン著・楡井浩一訳 藤田 一人 産 経 2.15
- 『京都美術鑑賞入門』布施英利著 三品 信 東 京 5.10
- 『キリシタン時代の偶像崇拜』浅見雅一著 本郷 和人 読 売 5.3
- 『銀座画廊物語—日本一の画商人生』吉井長三著 芸術新潮 709
- 〃 日 経 1.25
- 『近世御用絵師の史的研究—幕藩制社会における絵師の身分と序列—』武田庸二郎・江口恒明・鎌田純子共編 長坂 良宏 史学雑誌 118-1
- 〃 大倉 隆二 日本歴史 732
- 『近世宗教美術の世界 内なる仏と浮世の神』矢島新著 (前) 読 売 3.22
- 『近世都市空間の関保構造』岩本馨著 登谷 伸宏 建築史学 53
- 『近世武家地の住民と屋敷管理』渡辺理絵著 藤川 昌樹 〃 52
- 『近代建築史』鈴木博之編著・五十嵐太郎・横手義洋著 田所辰之助 〃 〃
- 『近代工芸運動とデザイン史』デザイン史フォーラム編・藤田治彦責任編集 小野 公久 陶 説 672
- 『近代書史』石川九楊著 藤森 照信 毎 日 9.27
- 〃 張 競 〃 12.13
- 〃 高橋のぶ子 〃 〃
- 〃 池内 紀 〃 〃
- 『近代日本の建築活動の地域性—広島近代建築とその設計者たち』李明・石丸紀興著 西澤 泰彦 建築史学 52
- 『近代日本の陶磁器業 産業発展と生産組織の複層性』宮地英敏著 小野 公久 陶 説 678
- 『グラウンド・ツアー』藤森照信著 芸術新潮 711
- 〃 日 経 2.8
- 『クレーの食卓』林綾野・新藤信・日本パウ・クレー協会編著 芸術新潮 713
- 〃 北澤 憲昭 朝 日 5.3
- 〃 渋谷 和彦 産 経 4.18
- 『「芸術」の予言!! 60年代ラディカル・カルチュアの軌跡』「季刊フィルム」コレクション・編集部編 上野 昂志 東 京 8.2
- 〃 田中 純 読 売 7.26
- 『激動期の美術』辻惟雄編著 日 経 1.18
- 『現代アートの舞台裏 5カ国6都市をめぐる7日間』サラ・ソーントン著・鈴木泰雄訳 〃 7.26
- 『現代美術場外乱闘』都築響一著 芸術新潮 717
- 『現代美術のキーワード100』暮沢剛巳著 高橋 咲子 毎 日 5.10
- 『建築家安藤忠雄』安藤忠雄著 日 経 2.1
- 『建築・権力・記憶 ナチズムとその周辺』ヴィンフリート・ネルディンガー著・海老澤模奈人訳 芝田 勝茂 産 経 3.1
- 『建築史に何ができるか 町並み調査と町づくり』西和夫著 荻谷 勇雄 文化財* 544
- 『建築美学講義』上村祐二著 吉田 綱市 建築史学 52
- 『恋する西洋美術史』池上英洋著 浜田 奈美 朝 日 3.22
- 『皇后の肖像 昭憲皇太后の表象と女性の国民化』若桑みどり著 千葉 慶 イメージ&ジェンダー 9
- 『広告の親王 赤天狗参上! 明治のたばこ王 岩谷松平』たばこと塩の博物館編 高野 弘之 地方史研究 338
- 『国宝 久能寺経の歲月 駿州秘抄』良知文苑著 日 経 2.1

[illegible]

- 『1980年代のポップ・イラストレーション』前 一太 美術手帖 927
- 『戦場の画家』アルトウーロ・ベレス・レベルテ著、木村裕美訳 日 経 4.19
- 『戦争がつくる女性像 第二次世界大戦下の日本女性動員の視覚的プロパガンダ』若桑みどり著 池川 玲子 イメージ&ジェンダー 9
- 『草庵に暮らす』楠莫山著 桐山 正寿 毎 日 3.1
- 『早世の天才画家 日本近代洋画の十二人』酒井忠康著 美術の窓 311
- 『装幀思案』菊地信義著 横尾 忠則 朝 日 6.7
- 『大正・昭和の乙女デザイン ロマンチック絵はがき』山田俊幸・永山多貴子・竹内貴久雄著 岸 桂子 毎 日 6.7
- 『高橋由一 鴨図 授業で使える美術館みる・しる・しらべるコレクション vol. 2』山口県立美術館編著 (前) 読 売 8.30
- 『たのしい写真 よい子のための写真教室』ホンマタカシ著 芸術新潮 716
- 『旅する写真』東京都写真美術館編著 (前) 読 売 7.26
- 『丹波の名陶』中西薫編集 森 陶 説 681
- 『茶室をつくった。佐川美術館楽吉左衛門館5年間の日々を綴った建築日記』楽吉左衛門著 " " 676
- 『茶の本』岡倉天心著、立木智子訳 田原由紀夫 毎 日 3.22
- 『中国乙類図像漫遊記』武田雅哉著 伊藤 友子 A S 31
- 『中国唐代国家の形成と青銅兵器』下田誠著 栗原裕一郎 東 京 11.22
- 『中国石刻関係図書目録(一九四九—二〇〇七)―附『石刻史料新編』(全四輯)書名・著者索引―』高橋繼男編 江村 治樹 歴史学研究 855
- 『中世寺院勢力論―悪僧と大衆の時代―』細川 武稔 " 118-8
- 『超・美術鑑賞術／お金をめぐる芸術の話』森村泰昌著 美術の窓 304
- 『ディス・デイ「希望の一日」 THIS DAY OF CHANGE』クーリエ・ジャポン編集部編 日 経 5.10
- 『中国名窯名瓷シリーズ6 定窯瓷 鑑賞と鑑定』王莉英・穆青著、富田哲雄訳 小野 公久 陶 説 678
- 『デザインするな』藤崎圭一郎著 大城 譲司 デザインの現場 165
- 『デザイン豚よ木に登れ』都築響一著 芸術新潮 717
- 『デジタルアーカイブにおける「資料基盤」統合化モデルの研究』研谷紀夫著 富山日出夫 アート・ドキュメンテーション通信 83
- 『手塚治虫 知られざる天才の苦悩』手塚眞著 日 経 6.21
- 『手の美術史』森村泰昌編著 北澤 憲昭 朝 日 5.31
- 『TOKYO 大学博物館ガイド』大坪寛著 読 売 10.6
- 『東西交流の陶磁史』西田宏子著 小野 公久 陶 説 673
- 『東寺宝物の成立過程の研究』新見康子著 阿諏訪青美 日本歴史 731
- 『東照宮の近代 都市としての陽明門』内田祥士著 石上 英一 朝 日 8.30
- 『銅像写真集 偉人の倂』田中修二監修・解説 鈴木 博之 日 経 8.16
- 『トーヴェ・ヤンソンとガルの世界 ムーミンとロールの誕生』富原真弓著 芸術新潮 717
- 『都市計画家 石川栄燿 都市探求の軌跡』中島直人・西成典久・初田香成・佐野浩祥・津々見崇共著 " 716
- 『都市の記憶を失う前に 建築保存待ったなし!』後藤治・オフィスビル総合研究所「歴史的建造物保存の財源確保に関する提言」プロジェクト著 倉方 俊輔 " 52

『都市美運動 シヴィックアートの都市計画史』中島直人著	橋爪 紳也	朝 日	3.22	『パウル・クレー 絵画と音楽』ハーヨ・デュヒティング著、後藤文子訳		日 経	8.30
『なぜ広島のをピカッとさせてはいけないのか』Chim ↑ Pom・阿部謙一編	川崎 昌平	美術手帖	922	『博物館への挑戦—何がどこまでできたのか』日高真吾・園田直子編	森田 稔	民博通信	126
〃	高野 清見	読 売	4.9	『幕末明治の肖像写真』石黒敬章著	池内 紀	毎 日	3.1
『鍋島 III 後期の作風を視る』小木一良著	小野 公久	陶 説	671	〃	(前)	読 売	5.17
『男色の景色—いはねばこそあれ—』丹尾安典著		芸術新潮	713	『恥の美学』秋山祐徳太子著	八巻 香澄	美術の窓	312
『南米キリスト教美術とコロンアリズム』岡田裕成・齋藤晃著	横山和加子	歴史学研究	849	『パフォーマンスの美学』エリカ・フィッシャー・コリヒテ著、中島裕昭・平田栄一朗・寺尾格・三輪玲子・四ツ谷亮子・萩原健訳		日 経	12.6
『肉体の迷宮』谷川渥著		芸術新潮	714	『林忠正 浮世絵を越えて日本美術のすべてを』木々康子著		〃	6.14
『錦絵が語る江戸の食』松下幸子著	北澤 憲昭	朝 日	8.30	『バラダイスの乞食たち』アーヴィング・ステットナー著、本田康典・三保子ステットナー訳	横尾 忠則	朝 日	9.27
『日中美術考古学研究』山本忠尚著	菅谷 文則	日本歴史	733	『薔薇のイコノロジー』若桑みどり著	新保 淳乃	イメージ&ジェンダー	9
『日本建築史図集 新訂第二版』日本建築学会編	山岸 常人 川本 重雄 黒田 龍二	建築史学	53	『「バロン・サツマ」と呼ばれた男 薩摩治郎八とその時代』村上紀史郎著	稲賀 繁美	日 経	4.5
『日本写真集史 1956—1986』金子隆一・アイヴァン・ヴァルタニアン著	サエキけんぞう	朝 日	12.6	『バンコクの高床式住宅—住宅に刻まれた歴史と環境』岩城考信著	大田 省一	建築史学	52
〃		読 売	12.3	『ピカソの世紀 キュビズム誕生から変容の時代へ 1881—1937』ビュール・カバンス著、中村隆夫訳	松本 透	毎日夕刊	3.18
『日本荘園絵図聚影 積文編—古代』東京大学史料編纂所編	鈴木 景二	史学雑誌	118-4	『菱川師宣と浮世絵の黎明』浅野秀剛著	内田 欽三	浮世絵芸術	158
『日本植民地建築論』西澤泰彦著	青井 哲人	建築史学	52	〃	石上 英一	朝 日	2.8
『日本人は世界一開きやかな美術品コレクター』新美康明著		ギャラリー一*	288	『美術批評の先駆者、岩村透 ラスキンからモリスまで』田辺徹著	五十殿利治	日 経	2.8
『日本庭園—空間の美の歴史』小野健吉著	菊谷 勇雅	文化財*	547	〃	黒岩比佐子	読 売	3.1
『日本美術史ハンドブック』辻惟雄・泉武夫編		芸術新潮	715	『火と水と木の詩 私はずなぜ建築家になったか』吉村順三著	深澤 直人	A X I S	139
『日本文化のかたち 百科』小町谷朝生・細谷治夫・宮崎興二編著	池田 政治	学 鏡	106-2	『火の誓い』河井寛次郎著	安積 朋子	〃	141
『人形記 日本人の遠い夢』佐々木幹郎著、大西成明写真	北澤 憲昭	朝 日	3.8	『日々是写真』清水穰著		日 経	7.12
〃		日 経	3.8				
〃	田中 純	読 売	3.22				

- 『一〇〇年前の世界一周—ある青年が撮った日本と世界』ワルデマール・アベグ写真・回想録、ボリス・マルタン文、岡崎秀訳 (睦) 読 売 12.6
- 『百鬼夜行絵巻の謎』小松和彦著 野上 暁 産 経 2.2
- 〃 田中 優子 毎 日 1.11
- 『美を生きるための26章 芸術思想史の試み』木下長宏著 林 道郎 あ い だ 165
- 『ファッションから名画を読む』深井晃子著 芸術新潮 714
- 〃 日 経 4.12
- 『ファン・ゴッホ 自然と宗教の闘争』園府寺司著 芸術新潮 715
- 〃 田原由紀雄 視覚の現場 四季の綻び 2
- 〃 千足 伸行 日 経 5.31
- 〃 田原由紀雄 毎 日 5.3
- 『フェノロサ英文著作集』山口静一編集・解説 東京夕刊 3.27
- 『フォトネシア 眼の回帰線・沖縄』仲里効著 倉石 信乃 東 京 11.1
- 『藤田嗣治「異邦人」の生涯』近藤史人著 渡辺 孝雄 A X I S 137
- 『藤田嗣治 手しごとの家』林洋子著 (叙) 毎 日 11.29
- 『負の遺産で街よみがえる 縮小都市のクリエイティブ戦略』三宅理一著 日 経 10.4
- 『フランフランを経営しながら考えたこと Francfranc からデザインビジネスの可能性を拓けるパルスの戦略』高島郁夫著 廣井 幹也 A X I S 139
- 『フリードリヒへの旅』小笠原洋子著 横尾 忠則 朝 日 11.15
- 『〈プリミティヴィズム〉と〈プリミティヴィズム〉 文化の境界をめぐるダイナミズム』大久保恭子著 日 経 9.20
- 『文化財と古文書学 一筆跡論—』湯山賢一編 佐藤 雄基 史学雑誌 118-12
- 『文士と骨董 やきもの随筆』森孝一著 小野 公久 陶 説 676
- 『北京の四合院』北京四合院研究会編 高村 雅彦 建築史学 52
- 『偏愛ムラタ美術館』村田喜代子著 日 経 11.22
- 『ポール・セザンヌ《サント・ヴィクトワール山》』ゴットフリート・ペーム著、岩城見一・實瀬洋次訳 永井 隆則 日仏美術学会会報 28
- 『ぼくの絵本美術館』堀内誠一著 美術の窓 310
- 『北海道の出版文化史—幕末から昭和まで—』北海道の出版文化史編集委員会編 田端 宏 地方史研究 338
- 『マルセル・デュシャン書簡集』フランシス・M・ナウマン、エクトール・オパルク編、北山研二訳 日 経 11.15
- 『満身これ学究 古筆学の創始者、小松茂美の闘い』吉村克己著 中島誠之助 産 経 3.21
- 『見えない音、聴こえない絵』大竹伸朗著 日 経 2.15
- 『密教空間史論』富島義幸著 藤井 恵介 建築史学 53
- 『みてまわる日々 Japon France』堀井和子著 浜田 奈美 朝 日 3.22
- 『三豊市の文化財』三豊市教育委員会編 橋詰 茂 地方史研究 341
- 『宮脇檀の住宅設計 プランニングからディテールへ』宮脇檀建築研究室・山崎健一・中山繁信著 小島 文代 A X I S 141
- 『ミュージアムと記憶 知識の集積/展示の構造学』スーザン・A・クレイン編著、伊藤博明監訳 田中 純 読 売 3.15
- 『未来のモノのデザイン ロボット時代のデザイン原論』ドナルド・A・ノーマン著、安村通見・岡本明・伊賀聡一郎・上野晶子訳 暦本 純一 A X I S 138
- 『見る 眼の誕生はわたしたちをどう変えたか』サイモン・インクス著、吉田利子訳 茂木健一郎 日 経 3.8

『ミンガリング・マイクの妄想レコードの世界 アウトサイダーソウルアート』ドリ・ハダー著、鈴木望訳		芸術新潮	714							『余白の芸術』李禹煥著	深澤 直人	A X I S	138	
”	サエキけんぞう	朝	日	5.17						『よみがえる金沢城2—今に残る魅力をさぐる—』石川県金沢城調査研究所編	木越 隆三	地方史研究	339	
『ムナーリのことば』ブルーノ・ムナーリ著、阿部雅世訳	池内 紀	毎	日	12.13						『四コマ漫画—北斎から「萌え」まで』清水勲著	藤森 照信	毎	日	11.15
”										”	渡辺 靖	読	売	10.1
『名画鑑賞事典 美の系譜』デヴィッド・ギャリフ著、藤村奈緒美・鈴木尚子訳		美術の窓	308							『Light&Color 絵画表現の深層をさぐる』井手誠之輔・城野誠治・山梨絵美子著、東京文化財研究所編集		芸術新潮	720	
『明治維新 廃城一覧』森山英一著	木下 直之	日	経	3.1										
『明治の皇室建築 国家が求めた(和風)像』小沢朝江著	奈良岡聰智	朝	日	1.18						『楽園創造 書割スイス文化史』ペーター・クリスティアン・ペーナー、ダニエル・シュミット著、阿部日奈子訳		”		718
『明治版画史』岩切信一郎著		芸術新潮	719											
”		日	経	11.8										
『もうひとつの国へ』森山大道著	(太)	毎	日	2.1						『リートフェルトの建築』奥佳弥著	堀田 典裕	建築史学	53	
『文字の美・文字の力』杉浦康平編	臼田 捷治	書	道	界	232					『利休にたずねよ』山本兼一著	渡辺 保	毎	日	3.15
『「モナリザ」の微笑み 顔を美術解剖する』布施英利著	(希)	毎	日	11.8						『ル・コルビュジェ 近代建築を広報した男』暮沢剛巳著	古屋 裕子	産	経	6.14
『ものが語る歴史16 壺屋焼が語る琉球外史』小田静夫著	小野 公久	陶	説	671						『ルネサンス美術館』石鍋真澄監修		芸術新潮	710	
『ものづくりには夢がある 世界を変えるデザイン』シンシア・スミス編、槌屋詩野監訳、北村陽子訳	中沢 孝夫	日経夕刊	11.4							『冷泉家・蔵番ものがたり「和歌の家」千年をひもとく』冷泉為人著		産	経	10.18
『桃山・江戸のファッションリーダー 描かれた流行の変遷』森理恵著	仲町 啓子	イメージ&ジェンダー	9							『ロスコ 芸術家のリアリティー美術論集—マーク・ロスコ著、クリストファー・ロスコ編、中林和雄訳	高村 薫	朝	日	4.5
”										”		日	経	3.29
『森山大道、写真を語る』森山大道著	平松 洋子	朝	日	5.3						”	松山 巖	読	売	5.3
”		産	経	5.17						『ロマネスクの宇宙 ジローナの《天地創造の刺繍布》を読む』金沢百枝著	村上 司樹	史学雑誌	118-6	
”	黒岩比佐子	読	売	5.3										
『やきものは男の本懐である。古陶から近代巨匠まで、巨陶今昔ものがたり』黒田草臣著	小野 公久	陶	説	675						『わが浮世絵』高橋誠一郎著	渡辺 保	毎	日	12.20
『やきもの、人、花。陶芸作家の工房を訪ねて。』近藤小桃著		”	670							『若き日の手紙「夢」の連作から「マルドロオルの歌」へ』駒井哲朗著、加藤和平・駒井美子編	志村 節子	産	経	6.7
『「邪馬台国=畿内説」[箸墓=卑弥呼の墓説]の虚妄を衝く!』安本美典著	(栗)	毎	日	10.11						『和装本のつくりかた』村上翠亭・山崎曜著		芸術新潮	719	

『わたしたちがみた
当世美術館事情3』
福のり子・山下里加
責任編集、京都造形
芸術大学芸術表現・
アートプロデュース
学科編著

竹内万里子 瓜生通信 47

海外刊行書

David Travers, Art
& Architecture, 1945
—54: The Complete
Reprint, Taschen,
2008

柳本 浩市 STUDIO
VOICE 397

Nienke Bakker, Leo
Jansen, Hans Luij-
ten, Vincent van
Gogh: The Letters :
The Complete illus-
trated edition,
Thames&Hudson,
England, 2009

関府寺 司 毎日夕刊 10.20

時 評

前年度分

新美術時評 2008年
一様々な「主役」たち

外館 和子 新美術新
聞 1172

2008年展覧会入場者
ベスト30 フェルメ
ール堂々の首位、薬
師寺の日光・月光菩
薩像が迫る

〃 1174

当年度分

09年後半の主な展覧
会の話題から 若冲
らの「皇室の名宝展」
と「THE ハブスブル
ク展」が健闘 「阿修
羅」巡回展なお好調、
「仏像」癒しブーム続
く

〃 1203

特集2009年末回顧
美術界100人に聞く

〃 〃

特集2009年末回顧
美術界100人に聞く

〃 〃

疾走するアジアと
グローバルな世界、
国際展も競争・淘
汰の時代へ

南條 史生

「国宝 阿修羅展」
歴史的動員の舞台
裏

継続する強さをも
った場所づくり
2009年の活動をふ
りかえて

福武總一郎

時代／世代の交差
と転換—アート・
シーン北海道2009
「札幌 ビエンナー
レ」構想の議論が
本格化

久米 淳之

2009年東北地域の
アートの状況 ア
ートイベントの定
着と発信、作品と
「場」の関係に注目

三上 満良

2009年関西・中国
地方の美術状況
イベント的な展覧
会の開催 地道な
調査研究による企
画展示

出原 均

2009年の九州ア
ート状況を振り返
り作り手の交流が
新しい活動を作り出
す

宮本 初音

回顧2009 美術 物
や場所つなぐ表現目
立つ 日本美術では
阿修羅ブーム

大西 若人 朝 日 12.8

回顧2009 美術 デ
ザイン展で広がり

小川 敦生 日 経 12.5

この1年

毎日夕刊

建築 軽やかな妹
島建築に高い評価
一方で都市的、技
術的ビジョン欠如
の問題も

鈴木 博之 12.3

書 大ベテランが
次々 充実の個展
毎日書道図書館が
開館

桐山 正寿 12.7

マンガ “マンガ
家マンガ”から壮
大な物語まで 多
彩な充実を示す

村上 知彦 12.10

写真 目立つ中堅
・ベテランの充実
近代写真史回顧で
新鮮な切り口も

飯沢耕太郎 12.15

考古学 邪馬台国
論争に新資料 奈
良・纏向遺跡で大
型建物跡確認

佐々木泰造 12.16

美術 光った美術
館連携の企画展
地域密着の展覧会
も成長 作家では
ベテラン健闘

岸 桂子 12.17

回顧2009アート

読 売 12.17

仏像ブーム「阿修
羅展」盛況 地方
の美術館 連携で
成果

高野 清見

写真 アート作品
広がり充実 川内、
志賀に米から朗報

前田 恭二

受賞・美術賞

「炭素」はどれだけ掘り下げられたか—コクヨ・デザイン・アワード2008 山本 玲子 A X I S 137

アルミが変えていく生活—SUSアルミニウムアワード2008 " "

from the World “経験”をプレゼントするデザインコンペが示した、次世代へのメッセージ 上條 昌宏 " "

第18回 ART BOX 大賞展 ギャラリー一* 285

アート・トピックス Administration 第12回を迎えた文化庁メディア芸術祭 " 286

EXTRA COLUMN graniph Tshirts Design Award. 09 編集部 STUDIO VOICE 405

第10回シャチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション受賞作品決定 川上典李子 デザインの現場 164

日本陶磁協会賞に期待する 榎本 徹 陶 説 670

日本陶磁協会賞の重みと励み 唐澤 昌宏 " "

日本陶磁協会賞に期待すること 井上 隆生 " "

Tokyo Midtown Award2008 アートコンペ受賞者決定! 藤田 千彩 美術手帖 917

INFORMATION COMPETITION TAGBOAT スプリング・アワード2009 @Gallery TAGBOAT によるアワードの結果発表! 編集部 " 921

INFORMATION AWARD 若手作家の新登竜門 創設された「絹谷幸二賞」。初の栄誉は福永大介に " " 922

INFORMATION AWARD 次世代作家集まれ! 「Tokyo Midtown Award 2009」作品募集中 審査員・中山ダイスケが期待することとは 藤田 千彩 " 923

SPECIAL FEATURE
アーティストになる基礎知識 PART 2
PROFESSIONAL INTERVIEW 実録!
アーティストのセルフ・プロデュース術
Tokyo Midtown Award 2009 アートコンペの審査を見る! コンペの審査はどのように行われるのか?

" " 928

第21回世界文化賞に5氏 絵画部門に杉本博司氏 高松宮殿下記念 産 経 9.25

世界文化賞 受賞者個別懇談会 日本はすばらしい国 " 10.22

世界文化賞 晴れやか美の創造者たち " 10.23

第20回日本陶芸展 選び抜かれた力作 応募総数988点 入選率12%の狭き門 岸 桂子 毎 日 2.13

第14回日本絵本賞受賞作品 受賞作と講評 " 3.25

絹谷賞に奨励賞も設置 三井物産が協賛 27候補を選出 来月下旬に発表 岸 桂子 毎日夕刊 1.14

若い人たちの力に 絹谷幸二賞贈呈式 受賞の福永さんと坂本さんがあいさつ 岸 棚部 鈴木 桂子 秀行 英生 " 3.19

美術市場

特集 アジアの美術都市《シリーズ1》
北京798芸術区を歩く 中国アートシーンを活性化させる 北京・保利オークション ギャラリー一* 285

ART@AGNES アグネスホテルアートフェアファイナル 有終の美を飾る—そして次のステップへ " "

Auction Auction " "

好調なスタートからの急減速 とまどう市場 " "

2 中国・保利オークションの社長来日 286

2 AJC オークションイブニングセール後、12月15日突然のクローズ宣言。 " "

3底打ち感? 値ごろ感? 市場に戻りつつあるコレクター。	287	Korea International Art Fair (KIAF)			
4 第2回エストウエストオークション in 香港を迎えるにあたって	288	サブ特集 銀座×アート×クリスマス Xmas アートフェスタ 銀座からのおくりものー	"	296	
11エストウエストオークションズ・インタビュー 3 回目の香港セールについて、関敬社長に聞く	295	研究発表〈要約〉 美術市場の形態と価格	宗藤 綾子	近代画説	18
特集 春のアートフェア 見逃せないこの画廊 この作品 アートフェア・プレビュー どんな作品が出品されるのだろう	"	パリの豪華アパルトマンを飾った イヴ・サンローランの遺品大放し		芸術新潮	709
アート・トピックス Statement	"	小特集 アートフェア東京 今年の実力	南條 史生 幸 美沙	"	712
韓国画廊協会の会長に就任した PYO, Mi-Sun 会長来日。今年のアートフェア KIAF の抱負を語る。	288	40億円で「カラ落札」 円明園ブロンズ彫刻の美術的価値はいかほど?	前橋 重二	"	713
今秋に第二回を迎えるアートフェア「ウルトラ」 若手ディレクター達の「個」の力がぶつかり合う	291	時評 6 アジアは美術の中心地になり得るか	天野 和夫	視覚の現場 四季の綻び	1
国内初の国際的な写真アートフェアを9月に開催	292	時評 1 活況を呈するアジアの現代美術市場をめぐる	安永 幸一	"	2
神戸発のホテルアートフェア初開催	293	PARIS 発 イヴ・サンローランの遺品	安部 雅延	新美術新聞	1178
中国・北京 春の国際アートフェアレポート 2009 CIGE と ART BEJING09	"	通信 J to A アジアへ49 金融危機後の美術市場のこと	南條 史生	"	1179
真夏のアジア二大ホテルアートフェア ART OSAKA/Asia Top Gallery Hotel Art Fair	"	美術市場レーダー	瀬木 慎一	"	
サブ特集 アートフェア Review&Preview	"	201嵐のなかのサン・ローランの閃光			1180
Review India Art Summit		203国際的に見た日本市場の今			1186
Preview ULTRA 002		207グローバル化の希望と苦しみ			1198
サブ特集 秋のアジア アートフェア Preview&Review	"	208日本丸の行方と中国			1201
TCAF2009		209金と金の時代のアート			1203
ShContemporary		「アートフェア東京 2009」開催 会場拡大、約45000人入場、総売り上げ約10億円で前年維持。「アキバ」も盛り上がる		"	1183
		SV CUT UP ART Art Basel Miami Beach/NADA Art Fair	ジェフリー・イアン・ローゼン 文 飯田まりえ 翻訳	STUDIO VOICE	398
		日本陶磁協会のこれから	青山 光雅	陶 説	670

URGENT FEATURE
アートマーケットで、
いま何が起っているのか?

美術手帖 920

Part 1 金融危機
以前と以後のマー
ケットを、ギャラ
リストが徹底検証小山登美夫、
吉井 仁実
談 集 部
編 集 部
構成Part 2 新たな道
を模索するアート
フェアの取り組み辛 美沙 談
編 集 部
構成Part 3 シフトチ
ェンジを始めたオ
ークションハウスの戦略石坂 泰章
談 集 部
編 集 部
構成WORLD NEWS ニ
ューヨーク 金融危
機から半年余、揺れ
るアメリカ・アート
界マナー事情

藤森 愛実

" 922

現代美術の歩き方
異論反論・現代美術
日本初の写真専門
アートフェア 東京
フォト2009を終えて
東京フォト実行委員
会代表・原田知大氏
に聞く原田 知大
談

美術の窓 314

視点 インドのア
ートフェア Part 1、2

山本美知子

" 314,315

小特集 スペシャル
レポート 東美ア
ートフェア秋

編 集 部

目の眼 388

スペシャルプレビ
ュー 大美術特別展

"

" 390

特集 中国古美術の
最先端 中国古美術
の来し方行く末

浦上 満

" 396

特別レポート 中国
古美術オークション
最新事情1 カウン
シル古書画オークシ
ョンを訪ねる

井藤 汽水

" "

故宮60年1 国宝級、
どつと中国回帰 背
景に経済の成長

野嶋 剛 朝 日

2.17

経済危機異聞2 美
術品バブル崩壊 台
北・香港 悪い慣行
「改める機会」

"

" 5.16

文化財の「海外流出」
論争「美術品は最
高の大使」クリス
ティーズ・山口さん
に聞く

小川 雪

朝日夕刊 7.1

絵画 我が家に彩り
値ごろ作品中心 ネットで作家発掘 百貨店も均一価格で無名の画家にも発表の機会拡大

小山登美夫

日 経 6.3

裏読み WAVE 美術
品、量より質の時代
?

小林 明

" 7.11

独自の鑑識眼 作家
と真剣勝負 美術品
収集、コレクターが
指南

富田 律之

日経夕刊 8.10

文化の舞台裏 オ
ークション 嵐の中
国・韓国へ針路

高野 清見

読 売 3.9

創造神話 中国現代
美術の台頭 東アジ
ア交流重要に

菅原 教夫

" 4.16

東アジア美術交流
新しい価値発見の契
機

"

" 10.14

美術館・博物館・画廊

一般

特集 良いキュレー
ション、悪いキュレ
ーション

ART iT 22

Good/Bad キュレ
ーティング物語新川 貴詩
監修キュレーター鼎談
：東と西のキュレ
ーション片岡 真実、
三木あき子、
神谷 幸江
談

" "

「日・中・韓・博物
館円卓会議」報告

水嶋 英治

アート・
ドキュメ
ンテーシ
ョン通信 81特集 ニューコンセ
プト・ジャパン・ス
タイル デザインミ
ュージアムのその先
を見据えたプランニ
ングエンジンという
発想—デザイン・プ
ラットフォーム・ジ
ャパン

原田 環

A X I S 137

展示におけるヒー
ロースポットの活用
について

守屋 幸一

板橋区立
郷土資料
館紀要・
年報 紀要17/
年報20・
21プラットフォームと
しての展示

松本 文夫

Ouroboros 36

小特集 博物館を考
える 博物館で何を
みるか

湯沢 威

学習院大
学史料館
紀要 15公立ミュージアムは
誰のものか 設置者
責任とミュージアム
経営 公立ミュージ
アムの存在理由水嶋 英治、
栗原 祐司
談 高橋 信裕
聞き手

Cultivate 33

アジアにおけるミ
ュージアム連携の現在

" 34

アジアにおける美
術館の連携と国際
交流

建畠 哲

ラオスにおけるミュージアムの発展	トンサ・サヤフオンカムディ			大阪コレクションズ「大阪コレクションズ」は「夢」で終わってよいのか	熊田 司	サントリ一美術館・ミュージアム合同紀要*	2
ミュージアムの中心的価値と地域遺産	張 仁卿			時評 7 展示のジレンマ—阿修羅展を通して	並木 誠士	視覚の現場 四季の綻び	2
社会的調和に向けた博物館	安 来順			時評 2 昨今の美術館博物館の問題点—現時点での雑感を述べてみる	原田 平作	〃	3
博物館の国際化と東アジアの博物館連携を考える	大堀 哲			アメリカのハンズ・オンミュージアムを訪ねて	早瀬 和宏	女子美術大学研究紀要	39
日中韓のリーダーシップとアジアの博物館の国際化	張安水嶋司会 仁卿、談英治			現在通信 From NEWYORK 美術館の新しい顔—旧年の回顧にかえて	富井 玲子	新美術新聞	1172
近現代系美術館の国際連携の現在	南條 史生 談栗原祐司、高橋信裕インタビュー			通信 J to A アジアへ47 香港のデザイン会議とカオルーンウエスト再開発計画	南條 史生	〃	1173
発掘された日本列島展への道	坪井 清足	元興寺文化財研究所研究報告	2008	美術市場レーダー 202 美術展入場者数をめぐる騒動	瀬木 慎一	〃	1183
平成20年度博物館実習報告—受講生のレポートから— 地域博物館の問題点と今後	秋山 裕貴	関西大学博物館紀要	15	第48回全国美術館会議総会開かれる 懸案の「美術品国家補償制度」を討論、認識深める		〃	1185
博学連携事業における博物館資料の活用「くらしのタイムカプセル—戸畑商家大森家資料が語る明治—昭和—」展を通して	上野 晶子	北九州自然史歴史博報告*	6	『日本の美術館名品展』開催記念 シンポジウム『公立美術館はいま』開かれる 美連協加盟124館のアンケートからその現状と課題を探る		〃	1186
特集 2009美術館展覧会ガイド 美術館の活動2009 今年も多くの展覧会が行われる		ギャラリー*	288	09年春の大型企画展の話題から 東博「国宝阿修羅展」94万人 西美「ルーヴル美術館展」77万人 上野 2館記録破り!!		〃	1187
ミュージアムの受容—近代日本における「博物館」の射程	村田麻里子	京都精華大学紀要	35	PARIS 発 9月以降、パリの主な展覧会	安部 雅延	〃	1191
マインズーオン型展示を通したデザインの改善に関する考察 デザイナー・H氏の展示を通して	尹 泰九	芸術学研究(筑波)	13	美術館マナー守ってますか? 携帯、ゲーム機はマナー違反? 作品撮影へ新たな傾向		〃	1193
ゴッホ展から巨大倉庫まで パーゼル美術館紀行		芸術新潮	715	「美術館連絡協議会2009年度総会」開かれる 「日本の美術館名品展」成果の総括を主に 新たに3館が加盟、合計127館の連合体へ		〃	1200
保存版大特集 これだけは見ておきたいエジプト美術世界一周 VII まだまだあるぞエジプト美術館	近藤 二郎	〃	717				

美術館とイルミネーション 六本木・赤坂、上野、横須賀、信州佐久、長崎、水戸… 歳末のアートイベントとして各地で定着		新美術新聞	1202			マレーシアの博物館事情—平成19年度「文部科学省委託事業」“地域と共に歩む博物館育成事業「博物館支援策にかかる各国等比較調査研究”の調査に参加して—	高橋 信裕 吉田 雅之	488
博物館で資料を観察するということ—南山大学人類学博物館所蔵「上智大学西北タイ歴史・文化調査団」コレクション整理作業を通して—	木田 歩	人類学博物館紀要	27			オーストラリアの博物館事情—平成19年度「文部科学省委託事業」“地域と共に歩む博物館育成事業「博物館支援策にかかる各国等比較調査研究”の調査結果より—	里見 親幸 石川 貴敏	489
レポート 資料の収集と収蔵庫の整備	福岡 直子	生活と文化	18			ASEMUS総会とフィリピン博物館	水嶋 英治 栗原 祐司	490
動向 博物館問題		地方史研究	339			特集「第56回全国博物館大会報告」	〃	489
地域博物館とは？そして「日本」の学芸員とは？	石山 秀和					巻頭エッセイ 全国博物館大会を終えて	矢内高太郎	
全日本博物館学会二〇〇八年度 第三回研究会「あらためて考える博物館の存在価値とコレクション」参加記	鎮目 良文					シンポジウム「地域に活きる魅力ある博物館」	布谷 知夫	
明治末期の北海道における博物館展示(上)—「札幌博物館案内」をめぐる一試論—	沖野 慎二	東海大学国際文化学部紀要	2			パネルディスカッション「指定管理者制度」部会報告	佐久間 豊	
遺構露出展示の今日の課題	平澤 高妻 高妻 洋成	奈良文化財研究所紀要	2009			パネルディスカッション「新公益法人制度への移行と博物館」に参加して	瀧端真理子	
シリーズ 新自由主義時代の博物館と文化財		日本史研究				虎ノ門だより 平成21年度 文部科学省・文化庁における博物館振興施策の概要について	〃	〃
大阪府における博物館群の問題—遺跡教育の中で—	一瀬 和夫		565			学芸員養成の充実方策について(博物館法施行規則改正)	栗原 祐司	490
神奈川県における埋蔵文化財保護の課題—所謂「埋蔵文化財の神奈川問題」の経緯と今後—	神奈川の文化財の未来を考える会		567			巻頭エッセイ 「公立ミュージアムのガバナンスと評価」	佐々木 亨	493
日本史研究に望むこと ミュージアムは生きている	高岸 輝	日本歴史	728			特集「平成20年度研究協議会報告」	〃	〃
特集「学芸員館務実習」 地方国立大学における博物館実習の現状と課題—岡山大学の事例から—	松本 武彦	博物館研究	488			美術部門「街と美術館—美術館の新たな可能性」	金井 紀子	
地域の博物館連携組織を主体とする「展示活動」—滋賀県博物館協議会25周年記念事業を例として—	戸田 孝	〃	〃			庶務・管理部門「制度改革に対応した博物館経営」	佐々木秀彦	
国際動向		〃				特集「博物館における照明」	〃	494
						巻頭エッセイ 博物館展示照明における不可視的要素	豊久 将三	

美術館における作品・空間・光	安田 篤生				博物館法は変えられるか?	名児耶 明		
巻頭エッセイ 文化庁から文化省へ—博物館局を創設—	金子 量重	"	495		まとめにかえて	根立 研介		
特集「野外博物館」		"	"		INFORMATION JOURNAL ギャラリーでアート合コン アートを肴に男女の交流	編集部	美術手帖	930
野外博物館の役割と限界—歴史的発展と現代社会における可能性—	水嶋 英治				美術の窓110 美術館政策・施策への提言	浅野 秀剛	美のたより	167
野外博物館の現状と直面する課題	安田 恭子				ヨーロッパアート事情 フランスの美術館 活発化する資金集め	今津 京子	美連協ニュース	103
「国際博物館の日」に博物館まつりはいかが	寺田 仁志	"	"		ミュージアムコミュニケーション概念の有効性—ミュージアムとメディアの時代—	光岡 寿郎	文化資源学	7
支部情報 北海道支部／「ミュージアムメイト」制度について—北海道開拓記念館の試み	東 俊佑	"	"		公立博物館運営の新たな選択肢と課題—「地方独立行政法人」への取組みと背景—	高橋 信裕	文環研レポート	27
特集「公立博物館における非常勤学芸員」		"	497		第三者的な立場から博物館を評価し、格付けする試み	"	"	28
非常勤学芸員に関する諸問題	安高 啓明				今、博物館に必要なこと	吉田 雅之	"	"
非常勤学芸員の業務実態と課題	小林 央				指定管理者制度下における博物館運営 1—野外博物館北海道開拓の村にみるボランティア活動の取組—	中島 宏一	北海道開拓の村研究紀要	2
学芸員養成課程の現場から	有元 修一				博物館施設および資料の活用から、老人福祉施設との関連性についての実践的研究	平井 宏幸	"	"
特集「博物館における調査・研究」		"	498		新井重三先生(1920—2004)の博物館学思想	青木 豊	MUSEUM STUDY	20
巻頭エッセイ 美術館人生50年—地域美術館像を求めて—	嶋崎 丞				地域博物館の展示調査研究	吉田 優	"	"
地域の歴史博物館における「調査・研究」の現状と課題	長谷川 伸				棚橋源太郎とその博物館学(1)	矢島 國雄	"	"
科研費を活用した調査・研究、企画展の開催についての事例紹介	木村理恵子				特集・日本の地域博物館シンポジウム6		MUSEOLOGIST	24
地方公立館における自主企画展の危機と調査研究	知念 理				第6回日本の地域博物館シンポジウムについて	吉田 優		
登録博物館・相当施設における指定管理者制度導入情況について	浅草 澄雄	"	"		地域博物館の展示と地域像	渡辺 嘉之		
特集「一歩進める博学連携—現状と課題—」今、休館日が注目されている美術館	小口 弘史	"	499		地域博物館と常設展示	吉田 優	"	"
支部情報 東海支部／「博物館の達人」創出と博物館評価の未来型	高橋 修	"	"		考古資料の取り扱いをめぐる二者—博物館学芸員と埋蔵文化財担当専門職員—	倉田恵津子	ムゼイオン	55
平成二十年度東西合同シンポジウム				美術史	166			

「博物館実習ガイドライン」と「博物館見学実習」について—2009年度博物館実習(見学)の実践を通じて—	石井 輝義	ムゼイオン	55	木馬の時間 俵万智美術館にて	俵 万智 東京	2.7
博物館における展示の近代化(1)—低予算での展示物製作—	嶋村 拓実	山口県立山口博物館研究報告	35	川崎から発信 アート拠点に複合施設空き店舗にギャラリー	北条 香子	8.12
特集 博物館展示と歴史学—展示叙述の可能性—		歴史学研究		集客増へスタンプラリー 東京・港区の3私立美術館 特別展にあわせて初企画	松村 裕子	11.26
(I)歴史展示と歴史表象	黒沢 浩		854	大波小波 悩ましい公益法人	(閑暇老人) 東京タ刊	3.26
(I)展示評の問題と可能性—アリゾナ記念碑を中心に—	矢口 祐人		"	いま美術館フィギュアが面白い	(寿)	5.8
(I)平和のための博物館と歴史学	山辺 昌彦		"	中国の博物館事情 リニューアル 新館ラッシュ 全国1400カ所以上年内無料へ	小林 仁	7.3
(II)歴史研究の展示へのまなざし	上野 祥史		855	おすすめの企業博物館 産業の歩み肌で感じる 体験や実演 楽しみながら	日 経	1.17
(II)歴史展示のポストモダニズム	白井 哲哉		"	博物館・美術館建設ラッシュ 中東の「野望」経済が影	ジョルジーナ・アダム	1.24
日本史のひろば 飛鳥の博物館・資料館	杉山 洋	歴史と地理	625	米国の美術館・博物館 寄付金減り運営危機 不況で広がる解雇 所蔵品売却も浮上 民間が担う米、経済の影響すぐに	三木 美裕	3.14
特集 思い出と博物館		歴 博	152	東京都心で新築相次ぐ 私立美術館 発信力磨く 地域の文化拠点に	小川 窪田 敦生 直子 律之	10.17
「思い出がもたらす博物館・利用者・社会のコミュニケーション」	佐藤 優香			産業・文化尽きぬ資源 歴史映す企業博物館 近代産業の流れ概観	日経タ刊	7.10
歴博対談49 人々の記憶と博物館展示	布谷 知夫 安田 常雄			同時開催の美術・博物館続々 特色出し あい旅心も刺激	窪田 直子	8.4
個人の思い出から社会の思い出へ—思い出の心理学と博物館—	野島 久雄			期待感そそる工夫・演出を 美術館はデイスニーランドに学べ 金沢21世紀美術館長秋元雄史さん	田村 広済 開き手	9.16
「昭和ノスタルジー」という思い出	金子 淳			展示ユニーク 大学付属の博物館 秋の文化巡り 懐にも優しく	鈴木 淳	10.24
博物館法第23条と公立博物館入館料	寺西 貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	23	芸文余話 資料利用で「MLA」連携	松岡 資明	11.14
日本の西洋美術コレクション、どう展開 将来見据えた収集を	古賀 太 朝 日		3.4	芸文余話 博物館 年末年始の知恵	宮川 匡司	12.26
閉館、所蔵品販売・・・美術館にも金融危機余波 米、寄付減少で運営難		産 経	1.31	more 楽 美術観賞ガイドに「進化形」 関連映像 端末で紹介	岸 桂子 毎 日	11.7
芸術の「春」 上野が熱い 企画展連日盛況		"	4.25			
銀座で楽しむ新鋭アート「新世代への視点2009」12画廊で開催	渋谷 和彦	"	8.5			

酒井忠康さんの見せたい 日本の美術館
名品展 酒井 忠康 読 売 1.1

美術館ゆるく愛して キャラ、B級ゆえ「立場」に差も 高野 清見 " 2.5

博物館の評価活動 積極活用で運営改善 アピール効果にも期待 菅原 教夫 " 2.21

生活わいど 博物館 企画住民が参加 前田 利親 " 11.3

日 本

(ア行)

誕生の原点 故郷で感じる 漫画家記念館で名作の世界を体験[青山剛昌ふるさと館] 福山絵里子 日経夕刊 4.11

館長登場 いま美術館は—秋田県立近代美術館・河野元昭館長 山本ゆかり 国華清話 会報 13

朝倉彫塑館を60年代の姿に 文夫没後の増築物撤去 4年休館 相関真樹子 朝 日 2.21

彫刻家の家 本来の姿に 朝倉彫塑館4年休館し改修工事 木造部分も見学可能に 中里 宏 東 京 2.15

ちひろ美術館の国際交流活動[安曇野ちひろ美術館] 松方 路子 安曇野ちひろ美術館だより 59

特集・日本の地域博物館シンポジウム6 区立博物館での住民・団体との関係および常設展示改修の事例から[足立区立郷土博物館] 多田 文夫 MUSE- OLOGIST 24

視点 いつもとは違った視点で楽しむ展覧会[足立美術館] 織奥かおり 美術の窓 311

INFORMATION SPACE 東京の新しい“遊び場”[@btf] 編集部 美術手帖 928

アミューズが浅草進出 ミュージアム、1日オープン コンセプトは「もったいない」 築43年のビル改装 最初の企画展・青森の“ぼろ”[アミューズミュージアム] 井上 幸一 東 京 10.29

アミューズ創業者大里さん ミュージアム浅草に開設 展示第1弾故郷・青森の民俗資料[アミューズミュージアム] 高野 清見 読 売 10.22

特集「公立博物館における非常勤学芸員」巻頭エッセイ 荒川ふるさと文化館における非常勤学芸員 野尻かおる 博物館研究 497

特集・日本の地域博物館シンポジウム6 地域博物館学芸員の仕事—地域研究と運営研究を考える—[荒川ふるさと文化館] " MUSE- OLOGIST 24

美術館への招待 安野光雅美術館 繊細なタッチを原画で 中村 陽子 東京夕刊 1.8

イサム・ノグチ庭園 美術館が開館10周年 イベント 毎日夕刊 10.1

museum 北から南 28 今も息づく石橋正二郎の情熱 石橋美術館 森山 秀子 新美術新聞 1182

美術館の風景12 IZU PHOTO MUSEUM ギャラリー 296

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 杉本博司氏が手がけた IZU PHOTO MUSEUM 10月26日 オープン！ 小原 真史 美術の窓 315

視点 三十周年でロゴマーク作成[板橋区立美術館] 安村 敏信 " 311

アート・トピックス Change 京橋から新橋に移転した、いつき美術画廊 ギャラリー 287

museum 北から南 33 県立美術館の先進館—60年余の歴史と珠玉のコレクション 茨城県近代美術館 荒木扶佐子 新美術新聞 1187

常設展示リニューアルに向けて—市民アンケートにみる常設展示への要望—[入間市博物館] 浅見 泰志 入間市博物館紀要 8

世界の染織品、個人美術館に 東京・目黒岩立さん 40年以上かけて7500点収集 [岩立フォークテキスタイル・ミュージアム] 大村 美香 朝 日 11.13

museum 北から南から21 岩手の戦後美術を支えた作家や現在活躍中の作家を中心に 岩手県立美術館	根本 亮子	新美術新聞	1174	記者ノート 大岡さんの文学館は「祝祭空間」[大岡信ことば館]	市原 尚士	読 売	10.9
秋元康流“アートのすすめ”第12回 ヴァンジ彫刻庭園美術館	新川 貴詩 構成	美術手帖	927	連載 ミュージアムの暮らし十二月2～12[大阪くらしの今昔館]	谷 直樹	百 科*	555～565
文書館・史料館めぐり 上田市立博物館	塩崎 幸夫	日本歴史	729	平成十九年度 大阪城天守閣新収蔵資料紹介	松尾北川宮本跡部瀬島	信裕 央裕次 信宏計	大阪城天守閣紀要 37
museum 北から南31 伊豆の自然に囲まれた美術館 上原近代美術館	土森 智典	新美術新聞	1185	時評3 「なぜ、大阪市立近代美術館は建たないか」に思う	山野 英嗣	視覚の現場 四季の綻び	2
巻頭エッセイ 源氏物語のまちづくり 紫式部文学賞から源氏物語ミュージアム 歴史文化都市へ[宇治市源氏物語ミュージアム]	五艘 雅孝	博物館研究	491	公立ミュージアムは誰のものか 設置者責任とミュージアム経営 公立ミュージアム経営の新たな可能性[大阪市立自然史博物館]	山西 良平 談高橋 信裕 聞き手	Cultivate	33
美術館の風景10 宇フォーラム美術館		ギャラリー*	294	美術館への招待 大阪市立東洋陶磁美術館 自然光が映す輝き	三品 信	東京夕刊	2.12
浦添市美術館のさわれる漆器について	岡本 亜紀	よのつち*	5	特集 博物館展示と歴史学—展示叙述の可能性—(II)「城下町大坂」展—大阪大学総合学術博物館と大阪歴史博物館との連携企画展の経験から—	鳴海 邦国 大澤 研一	歴史学研究	855
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第25回 うらわ美術館学芸員 森田一	斉藤 博美	ギャラリー*	287	大阪博物館—「楽園」の盛衰[大阪府立大阪博物館]	後々 田寿徳	東北芸術工科大学紀要	16
春季展 近代絵画、セザンヌから梅原・安井まで[永青文庫]	仲宇佐ゆり	永青文庫	66	博物館活動 こどもと博物館の「ものづくり」—こどもファーストデイから面白い・楽しい・やってみたい「ものづくり」を求めて—[大阪府立近つ飛鳥博物館]	三又 耕三	大阪府立近つ飛鳥博物館報	12
コレクション/越前市武生公会堂記念館 寺内コレクション	小林 博之	博物館研究	498	巻頭エッセイ 大阪府立博物館はいま!	工楽 善通	博物館研究	488
特集 建築年報2009 (投稿論文) IV 年報外枠 江戸 東京 [江戸東京たてもの園]	森田 元志	建築雑誌	1594	特集 博物館展示と歴史学—展示叙述の可能性—(II)「城下町大坂」展—大阪大学総合学術博物館と大阪歴史博物館との連携企画展の経験から—	鳴海 邦国 大澤 研一	歴史学研究	855
光と視覚 不思議体験 ライト・[イン] サイト展[NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]]	古賀 太	朝日夕刊	1.21	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第27回 太田記念美術館学芸員 渡邊晃	齊藤 博美	ギャラリー*	289
「対話」に基づくワークシートプログラムの改善と実践について(報告)[愛媛県美術館]	鈴木 有紀	愛媛県美術館年報・研究紀要	8	特集 SETONAIKAI—アートに魅せられた海—			294
アトリエの10年を振り返って[愛媛県美術館]	田代亜矢子 石崎三佳子	" "	" "				
museum 北から南39 所蔵名品展国宝 紅白梅図屏風 MOA美術館	尾西 勇	新美術新聞	1203				

Topics 1 システ ィーナ歌舞伎[大 塚国際美術館]						新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第24回 沖縄県立博 物館・美術館博物 館班主任学芸員 知 念幸子	斉藤 博美	ギャラリー 一*	286
art spot guide 1 大塚国際美術館						沖縄県立博物館・美 術館 開館後の活動 状況と今後の方針に ついて	萩尾 俊章	博物館研 究	491
支部情報 四国支部 ／大塚国際美術館に おける教育普及一 市・大学・美術館の 三者連携による取組 みー	喜井 智子	博物館研 究	491			博物館展示のいま17 沖縄県立博物館・美 術館 沖縄の自然・ 歴史・文化・芸術を 一堂に集める[博物 館を中心として]	崎原 恭子	歴 博	156
間奏曲 響き渡る 「駒音」[大塚国際美 術館]	三品 信	東京夕刊	3.6			美術館の風景6 お ぶせミュージアム・ 中島千波館		ギャラリー 一*	290
(財)大原美術館 メ モリアル・イヤー企 画など発表 今夏 生誕100年記念展「大 原総一郎の美術館創 造」開催へ		新美術新 聞	1188						
才能が育つアトリエ 大原美術館の滞在制 作	小川 敦生	日 経	8.20			小特集 博物館を考 える 学習院大学史 料館における教育普 及活動(一)ー社会が 学習院大学史料館に 求めるものー	長佐古美奈 子	学習院大 学史料館 紀要	15
美術館創造 大原總 一郎生誕100年 上、下	高橋 咲子	毎日夕刊	9.9、10			憩いの名園 笠間芸 術の森公園(茨城県 笠間市) 文化薫る 空間をつくる	高橋 淳	東 京	8.8
「大山忠作美術館」が 福島県二本松市に開 館		〃	10.26			コレクション／柏崎 ふるさと人物館	池田 孝博	博物館研 究	489
岡崎市美術博物館の 展示手法ーアクリル 製ケースの使用例ー	荒井 信貴 鈴村 正則	岡崎市美 術博物館 研究紀要	3			美術館の風景9 カ スヤの森現代美術館		ギャラリー 一*	293
SPECIAL ESSAY		T A R O	1			旧角川邸を一般開放 05年寄贈、改修 杉 並区が5月 一句一 服楽しんで[角川庭 園・幻戯山房ーすぎ なみ詩歌館ー]	小川 慎一	東京夕刊	2.17
粹な返礼[岡本太 郎記念館]	榎木 野衣					『神奈川県立近代美 術館 所蔵作品総目 録1991ー2005』(2007 発行)の編集後記に 代えて	初山 昌夫	神奈川県 立近代美 術館年報	2007年度
企画展展示叙述 「近代おかやまの博 覧会」[岡山県立記録 資料館]	矢野 香織	岡山県立 記録資料 館紀要	4			アート・トピックス Change 東北地方 関係の作家だけの画 廊をオープン[画廊 アートJFC]		ギャラリー 一*	288
連載 アジアの美術 を楽しむ24 岡山県 立美術館の中国絵画 コレクション	守安 收	アジア遊 学	122			新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第28回 川崎市岡本 太郎美術館学芸員 仲野泰生	斉藤 博美	〃	290
公立ミュージアムは 誰のものか 設置者 責任とミュージアム 経営 独自の歴史と 文化を掘り起こし新 たな沖縄像を描く [沖縄県立博物館・ 美術館]	牧野 浩隆、 比嘉 政夫、 新里 正次 開 梨香 聞き手	Cultivate	33			研究ノート 美術館 で漫画を扱うことに ついてー設立当初の 理念を見るー[川崎 市市民ミュージアム]	金澤 韻	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	21

研究ノート 博物館における考古資料の展示と活用[北区飛鳥山博物館]	大塚由利子	北区飛鳥山博物館研究報告	11	博物館におけるボランティア活動の展開と課題—九州国立博物館を事例に—	永田 香織	" "	" "
コラム 記憶の資源化、活用と地域回想法—思い出を共有し、活かしていくこと [北名古屋歴史民俗資料館]	市橋 芳則	歴 博	152	特集 博物館展示と歴史学—展示叙述の可能性— (I) 歴史展示、「伝えること」の難しさ [九州国立博物館]	橋本 雄	歴史学研究	854
動向 資料館問題 岐阜県歴史資料館の機能縮小について	森田 晃一	地方史研究	341	千宗屋の茶のある暮らし 困惑の阿修羅下 [九州国立博物館]	千 宗屋	朝日夕刊	10. 15
アート・トピックス Change 武蔵野美術大学のプロジェクト「αM」 gallery αM が7年の時を経て再始動 [ギャラリーαM]		ギャラリー一*	290	美術館への招待 九州国立博物館 歴史を語り、創る心意気	稲葉 千寿	東京夕刊	3. 12
「下町画廊」に仲間入り 武蔵野美大が東神田に開設 [ギャラリーαM]	杉本 宏	朝 日	4. 18	帝国京都博物館の西洋陶磁収集 [京都国立博物館]	尾野 善裕	学 叢	31
若手作家応援の場に東神田に学外ギャラリー ビル地下倉庫を改装 武蔵野美大 [ギャラリーαM]	松村 裕子	東 京	4. 26	女坂と博物館 [京都国立博物館]	杉本秀太郎	日 経	8. 23
武蔵美が学外ギャラリー 非営利「広く作家育成」 [ギャラリーαM]	高野 清見	読 売	4. 22	時評3 京都市美術館で国際的なアート・フェアーを開催してみたいかがか	原田 平作	視覚の現場 四季の綻び	1
Gallerist Interview 15澤玄昭 [ギャラリー風]		ギャラリー一*	292	museum 北から南から26 春の一日 「時空を旅する」 京都市美術館	吉中 充代	新美術新聞	1180
アート・トピックス Change 銀座「ギャラリー21+葉」が自由が丘「gallery21yo-j」に		"	291	京都府立総合資料館・京都府立大学共同研究成果の公表について— 京都府立大学との共同研究成果の掲載に寄せて	井口 和起	京都府立総合資料館紀要	37
Gallerist Interview 21廣田龍思 [ギャラリー広田美術]		"	295	museum 北から南38 「人間の家」をめざして 熊本市現代美術館	本田代志子	新美術新聞	1200
アート・トピックス Change 古美術から現代美術までを手掛けるギャラリー紅屋 モリハナエビルから新天地に移転		"	289	公立ミュージアムは誰のものか 設置者責任とミュージアム経営 市民生活のインフラとしての公立ミュージアム [倉敷市立美術館]	岸野 裕人 談 高橋 信裕 聞き手	Cultivate	33
Renewal Open 時代の逆風を超えてギャラリーためながの40周年		"	288	特集 Part. 1 作家の原点を探しに個人美術館へ— こだわりの美術館— この1点 日本の油絵の原点 黒田清輝の「湖畔」に会いに、上野にある黒田記念館へ		美術の窓	307
変化 [チェンジ] する平常展—文化交流展室の挑戦— [九州国立博物館]	金井 裕子 川添 梓 渡辺 朗子 河野 一隆 小野 裕子	東風西声*	4	秋元康流「アートのすすめ」 第7回ゲスト 彦摩呂 [群馬県立近代美術館]	山内 宏泰 構成	美術手帖	920
「市民共生の博物館」におけるイベント事業の意義 [九州国立博物館]	元永 行英	"	"	新・学芸員の企画展 キュレーションの壺 第31回 群馬県立自然史博物館館長 長谷川善和	斉藤 博美	ギャラリー一*	293

アート・トピックス Change 原宿の有名 マンションにアート スペース誕生[月下 の果実会]	〃	292	第1章 松方コレ クションを知って いますか?	前橋 重二			
古伊万里に魅せられ 墨田で資料館開館20 年 自動車整備士で 館長・應後さん 蛸 唐草文様中心に1000 点[古伊万里資料館]	岡村 淳司	東京 11.6	第3章 名画に笑 い、迷画に泣いた 50年	編 集 部			
企画展観覧者の傾向 と関心について—平 成十八年度博物館学 芸員課程卒業展示で の調査報告—[皇学 館大学佐川記念神道 博物館]	砥山 洗一	皇学館大 学神道博 物館館報 19	第4章 西美のふ しぎ Q&A	〃			
museum 北から南 から24 戦後高知の 美術の出来事をたど る「戦後高知の美術 シーン」展 高知県 立美術館	河村 章代	新美術新 聞 1178	第5章 西美では たらく人々	〃			
高知県立美術館の事 業評価プロジェクト と地域連携の取り組 み	〃	博物館研 究 490	開館50周年を迎える 国立西洋美術館 青 柳正規館長に聞く 新たな50年への展望		新美術新 聞 1181		
美術館への招待 小 海町高原美術館 若 き日の夢、馬に託し	栗原 淳	東京夕刊 3.26	世界と日本 大図解 シリーズ No. 905開 館50周年 国立西洋 美術館		東京 9.6		
連載 アジアの美術 を楽しむ27 高麗美 術館の「朝鮮美術コ レクション」	片山真理子	アジア遊 学 126	上野・国立西洋美術 館の世界遺産登録延 期勧告 地元広がる 落胆 来月の「逆 転」に期待も	田村 彰子 馬場 直子	毎 日 5.13		
平成二十年度東西合 同シンポジウム イ ンタナシップの活 用—国立国際美術館 のケースから	加須屋明子	美術史 166	国立西洋美術館50周 年記念し祝賀会開く 「ル・コルビュジェ の理想実現」と祝辞 も	永田 晶子	毎日夕刊 6.29		
調査研究から5 国 立新美術館のJAC プロジェクト	平井 章一	視覚の現 場 四季 の綻び 3	国立西洋美術館が開 館50周年 青柳正規 館長に聞く 拡充進 むコレクション 将 来の世界遺産化に期 待	〃	〃 7.2		
「開館3年目を迎える 国立新美術館…その 総括と今後の展望」	林田 英樹、 福永 治、 西田 佳二 談	新美術新 聞 1173	文化往来 民博の常 設展示、アフリカ・ 中東を刷新[国立民 族学博物館]	井上 由佳 久留島 浩	日 経 3.20		
卒業生による活動報 告 国立新美術館	長谷川玉緒	MUSE- OLOGY 28	研究ノート 国立歴 史民俗博物館第3展 示室リニューアルに 伴う試行展示とその 評価に関する考察	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	150		
DOMANI・明日展 お値打ち海外帰りの 「幕の内弁当」[国立 新美術館]	秋山 亮太	朝日夕刊 1.21	総合展示の新構築	歴 博			
フランス所在の国立 西洋美術館関係資料 調査	川口 雅子	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信 80	第4室 民俗学で 「景観」を読み解く [国立歴史民俗博物 館]	青木 隆浩 内田 順子	152		
特集 開館50周年 なるか、世界遺産 国立西洋美術館のす べて		芸術新潮 710	第6室 現代生活 の出发点—高度経 済成長期の生活変 化とその意味[国 立歴史民俗博物館]	新谷 尚紀	154		
			第6室 展示「戦 争と平和」の基本 的視点[国立歴史 民俗博物館]	安田 常雄	155		
			第6室 占領期と いう時代[国立歴 史民俗博物館]	原山 浩介	157		

展示室から Topics 第5展示室「近代」の 充実に向けて[国立 歴史民俗博物館]	〃	歴 博	157	三井寺展を記念 信 仰と歴史語る 執事 ・福家さん講演[サ ントリー美術館]	川俣 享子	毎 日	2.15
古代エジプト 渋谷 で堪能 国内初の専 門常設美術館[古代 エジプト美術館]		日 経	7.24	時評4 敗軍の将、 兵を小聲で語る[滋 賀県立近代美術館]	尾野 正晴	視覚の現 場 四季 の綻び	1
Gallerist Interview 02児玉公義[児玉画 廊]		ギャラリー 一*	285	公立ミュージアムは 誰のものか 設置者 責任とミュージアム 経営 主体的な人の つながりで琵琶湖地 域をゆるやかにつな ぐ[滋賀県立琵琶湖 博物館]	川那部浩哉、 布谷 知夫 談 高橋 信裕 聞き手	Cultivate	33
museum 北から南 から20 「北海道は この原点」画家と共 に歩む 後藤純男美 術館		新美術新 聞	1172	シリーズ 新自由主 義時代の博物館と文 化財 滋賀県立琵琶 湖文化館の経緯・現 状と今後の課題につ いて	井上 優	日本史研 究	566
ピックアップ 入門 者にこそ見てほしい 紙のほけ展[古美術 祥雲]		目 の 眼	393	研究所をひらくー普 及公開活動を通して これからの研究所の あり方を探るー[静 岡県埋蔵文化財調査 研究所]	北野 寿一	静岡県埋 文研紀要*	15
SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガ イド2009 アートの 仕事 ここで働きたい！ アートの職場 案内 ギャラリー 小山登美夫ギャラリー 一	白坂 ゆり	美術手帖	918	静岡県立美術館事業 評価システムの現状 と今後について	村上 敬	博物館研 究	490
(サ行)				銀座にキラリ 美の 空間 資生堂ギャラ リー、時代の先端切 り取り90年	三上 豊	日 経	10.8
帰りたい 私だけの ふるさと 埼玉県浦 和市(現さいたま市) テンション上がるお しゃれな美術館[埼 玉県立近代美術館]	辛酸なめ子 鈴木 梢 聞き手	毎日夕刊	11.12	芸術に触れ 小腹満 たす お金を使わず 「銀ブラ」したい お 得な情報にアンテナ 巡らせ[資生堂ギャ ラリー]	遠藤 和行	毎 日	12.12
Gallerist Interview 19本庄俊男[彩鳳堂 画廊]		ギャラリー 一*	294	資生堂ギャラリー90 周年記念展		読 売	9.24
文書館・史料館めぐ り 佐賀県立九州陶 磁文化館	藤原 友子	日本歴史	736	大学博物館訪問 実 践女子学園 香雪記 念資料館	宇野 慶	S H U	32
クレパス画 日本発 の美 油絵の具の代 用、プロ画家の名作 発掘し展覧会[サク ラアートミュージアム]	清水 靖子	日 経	6.16	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第33回 渋谷区立松 涛美術館学芸員 光 田由里	斉藤 博美	ギャラリー 一*	295
museum 北から南 から25 郷土の作家 とオランダ文化を紹 介 佐倉市立美術館	山口 真宏	新美術新 聞	1179	美術館の風景5 白 木谷国際現代美術館		〃	289
美術館めぐり 札幌 芸術の森		ART LIBRARY	10	型破りな個人美術館 白木谷国際現代美術 館	ヨシダ・ヨ シエ	〃	290
アート・トビックス Change 茅場町に 写真を中心とした現 代美術ギャラリー オープン[サナギフ アインアーツ]		ギャラリー 一*	293	文書館・史料館めぐ り 市立函館博物館	保科 智治	日本歴史	737
文書館・史料館めぐ り 真田宝物館	松下 愛	日本歴史	738	Gallerist Interview 17白田貞夫[シロタ 画廊]		ギャラリー 一*	293
				御即位二十年記念特 別展示[神宮徴古館]	深田 一郎	瑞 垣	212

神宮徴古館新春企画展「神宮の刀」を振り返って	〃	〃	213
佐伯祐三のアトリエ記念館 新宿区が来春公開[新宿区立佐伯祐三アトリエ記念館]		日 経	9.19
Gallerist Interview 01畑中昭彦[新生堂]		ギャラリー一*	285
アート・トピックス Change 逆風の中名古屋で現代美術画廊がオープン [STANDING PINE—cube]		〃	294
美術館の風景7 すどう美術館		〃	291
町工場画廊に衣替え 築60年くつろぎ空間 [S—TRAIN]	佐々木大輔	読 売	2.19
展示批評 すみだ郷土文化資料館開館十周年記念特別展「隅田川文化の誕生—梅若伝説と幻の町・隅田宿—」	斉藤 照徳	地方史研究	341
コラム 東京空襲体験者の記憶・表現と博物館の役割—すみだ郷土文化資料館での取り組みから	田中 禎昭	歴 博	152
「すみだ北斎美術館」 「公式シンボルロゴマーク」募集 最優秀賞に30万円	岡村 淳司	東 京	8.13
北斎の図録完成 ビーター・モース収集、浮世絵539点スカイツリー開業機に、美術館開館 墨田区[すみだ北斎美術館]	〃	東京夕刊	4.13
Gallerist Interview 06夏目進[靖雅堂夏目美術店]		ギャラリー一*	287
「神社祭礼に見るモノと心」プロジェクト 明治神宮内外苑の造営と阪谷芳郎—近代東京の「神苑」におけるモノと心— [聖徳記念絵画館]	佐藤 一伯	国学院大伝統文化研究紀要*	1
特集 SETONAIKAI—アートに魅せられた海— art spot guide 3 犬島アートプロジェクト「精錬所」		ギャラリー一*	294
美術館の風景3 関口美術館・東館		〃	287

特集・日本の地域博物館シンポジウム6 地域博物館における史料研究活動について [世田谷区立郷土資料館]	武田庸二郎	MUSE-OLOGIST	24
地域における文学館の可能性—「文学を体験する空間」をつくる [世田谷文学館]	瀬川 ゆき	博物館研究	491
アート・トピックス Change 小金井の双ギャラリーが、ニュースペースを吉祥寺にオープン! [SOH GALLERY K3]		ギャラリー一*	295
(タ行)			
Gallerist Interview 07川田哲也[泰明画廊]		〃	288
INFORMATION SPACE 高橋コレクション 日比谷オープン 東京・日比谷で現代アートとの新たな出会いが生まれる	編集部	美術手帖	922
日本の現代美術を支えたコレクション 高橋龍太郎さん、日比谷に展示スペースをオープン [高橋コレクション 日比谷]	渋谷 和彦	産 経	5.6
誕生の原点 故郷で感じる 漫画家記念館で名作の世界を体験 [宝塚市立手塚治虫記念館]	福山絵里子	日経夕刊	4.11
文書館・史料館めぐり 武雄市図書館・歴史資料館	川副 義敦	日本歴史	732
脈打つ大工職人の心意気 2万超す道具を収集・展示、伝統の技術を後世に [竹中大工道具館]	赤尾 建蔵	日 経	11.24
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第29回 多摩美術大学美術館学芸員 小林宏道	斉藤 博美	ギャラリー一*	291
特集「野外博物館」 指定管理者による野外博物館—千葉県立房総のむらについて—	立和名啓人	博物館研究	495
連載 アジアの美術を楽しむ26 二峯・山本梯二郎と中国書画 [澄懷堂美術館]	井後 尚久	アジア遊学	125
彫刻の森で記念式典 「町のオアシス」40周年 [彫刻の森美術館]		産 経	8.2

膨らむ想像力 美術への誘い 作品に触れる「体感アート」を家族で[彫刻の森美術館]	羽田 洋子	日経夕刊	8.8	大学美術館所蔵エジプトコレクションと美術教育(1)―その保存と活用のために―[東京芸術大学大学美術館]	鈴木まどか 木島 隆康	東京芸術大学美術学部紀要	46
特集・日本の地域博物館シンポジウム6 文献資料の整理と研究活動―展示の前と後―[千代田区立四番町歴史民俗資料館]	滝口 正哉	MUSEOLOGIST	24	明大に「国際マンガ図書館」14年度設立へ 原画など200万点[東京国際マンガ図書館]	井上 俊樹	毎日夕刊	10.23
Gallerist Interview 04石原悦郎[ZEIT―FOTO SALON]		ギャラリー	286	特集2 平成20年度の新収蔵作品		現代の眼	
コレクション/鶴岡アートフォーラム	那須 孝幸	博物館研究	488	(1)平成20年度の新収蔵作品(美術作品)について[東京国立近代美術館]	増田 玲		575
DESIGN FESTA GALLERY		art _ icle	20	(2)平成20年度の新収蔵作品(工芸作品)について[東京国立近代美術館]	金子 賢治		576
裏原アート城 画廊アパート 世界の名所に 丸ごとキャンパス[デザイン・フェスタ・ギャラリー]	市川 千晴	東京	3.20	Treasure×Pleasure ―東京国立博物館の展示デザイン―	木下 史青	文化資源学	7
新・学芸員の企画術キュレーションの壺第34回 東京おもちゃ美術館館長 多田千尋	斉藤 博美	ギャラリー	296	館史研究		MUSEUM	
すむ おもちゃの学校[東京おもちゃ美術館]	編集部	芸術新潮	711	2「東京皇室博物館学芸課日誌(仮称)」に見る戦時下の博物館[東京国立博物館]	田良島 哲		619
Gallerist Interview 13山本豊津[東京画廊+BTAP(東京)]		ギャラリー	291	3 扇面法華経冊子模本―岡倉天心・小堀鞆音と帝国博物館の模写事業―[東京国立博物館]	恵美千鶴子		621
連載 アジアの美術を楽しむ25 芸大コレクション案内[東京芸術大学大学美術館]	古田 亮 芹生 春菜	アジア遊学	123	文化往来 モースが発見、大森貝塚出土の遺物展示[東京大学総合研究博物館]		日 経	12.2
講演会記録「芸大コレクションの歴史」[東京芸術大学大学美術館]	薩摩 雅登	石川県立美術館だより	311	秋元康流「アートのすすめ」第10回ゲスト 藤岡藤巻[東京都現代美術館]	山内 宏泰 構成	美術手帖	923
特集 開かれた芸大の窓口 大学美術館と奏楽堂、一〇年の展開		芸大通信	19	現代美術館 初の改装 レストラン、トイレにアート[東京都現代美術館]		読 売	4.2
特集座談会[東京芸術大学大学美術館]	薩摩 雅登、 古田 亮、 大石 泰、 松島 穆 談			新・学芸員の企画術キュレーションの壺第26回 東京都写真美術館学芸員 三井圭司	斉藤 博美	ギャラリー	288
軌跡と展望 大学美術館[東京芸術大学大学美術館]	関 出			美術館への招待 東京都美術館 ―日本の美術館名品展 窮状打開へ最初の一步	稲葉 千寿	東京夕刊	6.25
museum 北から南27 芸大コレクションの魅力に触れる 東京芸術大学大学美術館	島津 京	新美術新聞	1181	わが町日本一 最大の銅鐸 滋賀県洲本市[銅鐸博物館]	松瀬 晴行	東京	7.5

コレクション/東北
大学総合学術博物館
「東洋文庫」守り広め
る 国内最大の学術
資料収蔵、一般の人
にも公開へ

永広 昌之 博物館研
究 495
楨原 稔 日 経 2.3

museum 北から南
32 人間像の変容を
見渡すコレクション
徳島県立近代美術館

安達 一樹 新美術新
聞 1186

特集 人と美術、そ
して美術館 Person
3 今治市ところミ
ュージアム大三島名
誉館長 所敦夫

所 敦夫 談 ギャラリ
ー* 291

特集 SETONAIKAI
ーアートに魅せられ
た海— art spot
guide 4 ところミ
ュージアム大三島

〃 294

豊島区立郷土資料館
の展示活動と来館者
動向

秋山 伸一 生活と文
化 18

「茶の湯の美」展を終
えて[栃木県立美術
館]

鈴木さとみ 出光美術
館館報 147

museum 北から南
37 地方美術館四館
による“美の競演”
[豊橋市美術博物館]

大野 俊治 新美術新
聞 1198

膨らむ想像力 美術
への誘い 作品に触
れる「体感アート」を
家族で[トリックア
ート美術館]

羽田 洋子 日経夕刊 8.8

SPECIAL FEATURE
アートの旅へ行こう
! ART TRIP 1 成
宮寛貴さんと行く
十和田市現代美術館
の旅

編 集 部 美術手帖 921

(ナ行)

Gallerist Interview
09永井龍之介[永井
画廊]

ギャラリ
ー* 289

公立ミュージアムは
誰のものか 設置者
責任とミュージアム
経営 都市政策との
連動がまちに交流と
にぎわいを生み出す
[長崎県美術館]

藤 泉、
大堀 哲、
米田 耕司
談 信裕
高橋 信裕
聞き手
Cultivate 33

長崎県美術館の活動
報告

米田 耕司 博物館研
究 490

公立ミュージアムは
誰のものか 設置者
責任とミュージアム
経営 都市政策との
連動がまちに交流と
にぎわいを生み出す
[長崎歴史文化博物
館]

藤 泉、
大堀 哲、
米田 耕司
談 信裕
高橋 信裕
聞き手
Cultivate 33

アート・トピックス
Change 銀座に誕生
した画廊「中長小西」
のコンセプト 文化
史ピークの時代にト
ップクラスの作品を
求めて

ギャラリ
ー* 285

業務報告 長野県立
歴史館中長期目標の
策定について

福島 正樹 長野県立
歴史館研
究紀要 15

美術館への招待 中
村研一記念 小金井
市立はけの森美術館
武蔵野への温かい視
線

石井 敬 東京夕刊 5.21

美術館の風景4 中
村正義の美術館

ギャラリ
ー* 288

老舗の伝統のもと
「現代」を表していき
たい[名古屋画廊]

中山 真一 〃 293

museum 北から南
から23 人に寄り添
う美術館—20年の歩
み 名古屋市美術館

角田美奈子 新美術新
聞 1177

コレクション/滑川
市立博物館

野末 浩之 博物館研
究 499

資料保存利用施設の
紹介—成田山霊光館
について—

矢嶋 毅之 千葉県の
文書館 14

新潟市美術館問題を
考える

笹木 繁男 jaic 会報 18

サタデー発言 危機
に直面する新潟市美
術館

名古屋 覚 東 京 12.19

土アートのはじめ
夜間空調ストップ水
気でカビ?発生 新
潟 巨大すぎ対応に
苦慮[新潟市美術館]

黒田阿沙子
岸 桂子 毎日夕刊 7.31

コレクション/西田
美術館

柳原 奈緒 博物館研
究 491

Gallerist Interview
11西村健治[西村画
廊]

ギャラリ
ー* 290

GINZA たうん 日
動画廊 400作品・・
・・「老舗の空間」

石井那納子 産 経 2.4

特集 東京デザイン
ガイド 13エリア別
東京デザインスポッ
トガイド 渋谷[日
本民芸館]

立古 和智 デザイン
の現場 166

SPECIAL FEATURE
就職サバイバル・ガ
イド2009 アートの
仕事 ここで働きたい!
アートの職場
案内 ギャラリー、
カフェ&ダイニング
neutron

小吹 隆文 美術手帖 918

アート・トピックス Statement 南青山 ・根津美術館がリニ ューアル 東洋古美 術の魅力を今に伝え る	ギャラリー 一*	295	日本史のひろば 子 供たちが遊ぶ兵庫県 立考古博物館	石野 博信	歴史と地 理	627
art news 東洋美術 の宝箱、新装オープ ン! 根津美術館 今昔ものがたり	芸術新潮	719	リニューアル後の展 覧会観覧者の動向に ついて—入館者アン ケートの分析から— [兵庫県立歴史博物 館]	足立 龍彦	塵 界	20
“新創”根津美術館10 月7日開館 東洋の 美と伝統を次世代に 伝えるために オープ ニング展は「新・ 根津美術館展—国宝 那智瀧図と自然の造 形」	新美術新 聞	1196	支部情報 中国支部 地域団体との連携に よる展覧会の開催— 「姫谷焼—備後に花 開いた初期色絵磁器 —」展の経緯—[広島 県立歴史博物館]	鈴木 康之	博物館研 究	490
新創根津美術館と根 津青山の茶の湯	西田 宏子	淡 交 784	平成二十年度東西合 同シンポジウム 指 定管理制度と学芸員 —広島市現代美術館 の事例を基に	出原 均	美術史	166
根津美術館 都心の 美術館攻めの秋 改 築・移転新たなスタ ート	西田 健作	朝日夕刊 10.14	視点 広島市現代美 術館の二十年とこれ から	松岡 剛	美術の窓	308
(ハ行)			オリジナルプリント が人気 アート系写 真ギャラリーの老舗 PGIが設立30年[フ ォト・ギャラリー・ インターナショナル]	篠原 知存	産 経	5.19
平成二十年度東西合 同シンポジウム 白 鶴コレクションに寄 り添えた幸せ[白鶴 美術館]	山中 理	美術史 166	特集「博物館におけ る照明」 福井県立 歴史博物館の展示照 明	瓜生 由起	博物館研 究	494
コレクション/箱根 写真美術館	遠藤 詠子	博物館研 究 490	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第32回 福岡アジア 美術館学芸課長 黒 田雷児	斉藤 博美	ギャラリ 一*	294
山里を装うラリック フランス工芸の粋 1500点、あふれる自 然と一体に[箱根ラ リック美術館]	簾 功泰	日 経 7.13	美術館への招待 福 岡アジア美術館 お 国柄まで見える	稲葉 千寿	東京夕刊	6.11
museum 北から南 29 春を彩る書画と 茶道具—開館45周年 記念展より[畠山記 念館]	水田至摩子	新美術新 聞 1183	開館10周年迎えた福 岡アジア美術館 充 実した「否西欧」コレ クション 近代的「美 術」概念を問い直す	後小路雅弘	毎日夕刊	8.20
特集 人と美術、そ して美術館	ギャラリ 一*	291	museum 北から南 36 ひろがるコレク ション、ふかまるコ ネクション 福岡市 美術館	山口 洋三	新美術新 聞	1191
Person 1 八戸市 美術館名誉館長 鈴木継男	鈴木 継男 談		museum 北から南 35 アートの遠近 美術館のすべて 福 島県立美術館	佐治ゆかり	〃	1190
八戸市美術館・学 芸員の視点 鈴木 コレクション寄贈 の意味	山田 泰子 談		支部情報 東京支部 /参加・体験型人文 系展示の新しい試み —府中市郷土の森博 物館リニューアル事 業—	深澤 靖幸	博物館研 究	498
「命の水」が流れると き 発電所美術館と 塩田千春	河尻 定	日 経 6.11				
学芸ノート 展覧会 におけるボランティア の活躍 版画の技法 ミニトークの実施 [姫路市立美術館]	田島奈都子	姫路市立 美術館だ より 102				

museum 北から南から22 「名画と出会う」多彩なコレクション ブリヂストン美術館	中村 節子	新美術新聞	1175	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術アートとテレビの新たな関係 「マジカルテレビ」とは何だ!? magical, ART-ROOMが3周年を迎え新たな出発	美術の窓	306
名画に合わせ名曲演奏 ピカソとクレール展でバイオリン [Bunkamura ザ・ミュージアム]	横山 萌々太 前川 リラ 紺野 雅子	読売夕刊	3.14	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第23回 町田市立国際版画美術館学芸員 滝沢 司	斉藤 博美	ギャラリー一* 285
Gallerist Interview 23大西利勝[ベイスギャラリー]		ギャラリー一*	296	わが町日本一 内外の名品網羅 市の宝 版画美術館 東京都町田[町田市立国際版画美術館]	堂畑 圭吾	東京 11.1
巻頭エッセイ 愛知発…最後的美術館 [碧南市藤井達吉現代美術館]	木本 文平	博物館研究	492	支部情報 北信越支部 松本まるごと博物館の取り組みについて	窪田 雅之	博物館研究 488
特集 SETONAIKAI アートに魅せられた海一		ギャラリー一*	294	美術館の風景1 松山庭園美術館	ギャラリー一*	285
Topics 3 ベネッセハウス	福武 総一郎			museum 北から南30 未来への贈りもの一岡田文化財団寄贈作品展[三重県立美術館]	石崎 勝基	新美術新聞 1184
art spot guide 2 ベネッセハウス				特集 東京デザインガイド 13エリア別 東京デザインスポットガイド 東京[三菱一号館美術館]	原田 環	デザインの現場 166
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第30回 ベルナール・ビュフェ美術館主任学芸員 木村由香	斉藤 博美	〃	292	SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 ここで働きたい! アートの職場案内 新美術館準備室 三菱一号館美術館 開設準備室	藤田 千彩	美術手帖 918
栃木 カメラ博物館 今月限り 所蔵品1万点全国に散る[ペンタックスカメラ博物館]		読売夕刊	7.28	INFORMATION JOURNAL 東京駅 前の美術館 丸の内に登場した「三菱一号館」[三菱一号館美術館]	編集部	〃 931
美術館の風景11 ほくさい美術館		ギャラリー一*	295	東京・丸の内に三菱一号館美術館 往時しのぶ赤レンガ…歴史と現代出会う 注目の写真家による完工記念展が開催中	渋谷 和彦	産 経 10.7
アート・トピックス Goods 日本美術工芸の幅広いコレクションを持つ京都・細見美術館ならではのオリジナル		〃	287	街に、人に、開かれた建物へ 来年4月開館「三菱一号館美術館」(東京・丸の内)	高橋 明也	東京 12.7
特集「学芸員館務実習」 大学博物館における学生教育の意義と課題—北海道大学総合博物館を事例として	湯浅 万喜子	博物館研究	488	アート・トピックス Change ミヅマアートギャラリー 市谷田町に新スペース	ギャラリー一*	296
(マ行)						
SPECIAL FEATURE 就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 ここで働きたい! アートの職場案内 ギャラリー magical, ARTROOM	山内 宏泰	美術手帖	918			

SPECIAL FEATURE
就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 ここで働きたい! アートの職場案内 美術館 水戸芸術館現代美術センター

山内 宏泰 美術手帖 918

人らんだむ ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクショ館長 濱口道雄氏 浜口陽三生誕100年、未知の魅力も公開

新美術新聞 1182

村松画廊、年末に閉廊

朝日夕刊 12.24

村松画廊 惜しまれ「終宴」

(市) 読売夕刊 12.21

SPECIAL FEATURE
就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 ここで働きたい! アートの職場案内 ギャラリーメゾンエルメス8階フォーラム

藤田 千彩 美術手帖 918

美術館の風景2 METAL ART MUSEUM HIKARINO-TANI[メタル・アート・ミュージアム光の谷]

ギャラリー一* 286

コレクション／茂木本家美術館

茂木 瓊子 博物館研究 494

コレクション／盛岡市遺跡の学び館

相場 容子 〃 496

SPECIAL FEATURE
就職サバイバル・ガイド2009 アートの仕事 CASE STUDY 1 展覧会をつくる人々「チャロー! インディア:インド美術の新時代」展の舞台裏ドキュメント[森美術館]

白坂 ゆり 美術手帖 918

森美術館、写真撮影OK

東京 7.25

展覧会 撮影OK 六本木・森美術館著作権論争に一石

日経夕刊 7.25

(ヤ行)

特集「野外博物館」野外博物館としての八雲立つ風土記の丘

本間恵美子 博物館研究 495

美術館の風景8 谷津現代美術館

ギャラリー一* 292

文書館・史料館めぐり 八代市立博物館未来の森ミュージアム

林 千寿 日本歴史 733

アート・トピックス Statement 新生・山種美術館 近代日本画の魅力、再発見

ギャラリー一* 294

みる 一足お先に新・山種美術館へ

編集部 芸術新潮 717

美術館への招待 山種美術館 さようなら千鳥ヶ淵

稲葉 千寿 東京夕刊 4.16

名画の闇に迫る照明デザイン 山種美術館「速水御舟」展鑑賞術

藤原 工 〃 10.9

視点 三十周年をむかえた「ミレーの美術館」[山梨県立美術館]

賀川 恭子 美術の窓 306

topic 3 鍾水青年美術館 インタビュー

鍾飯島真理子、岩永英子インタビュー・聞き手 CLOSET 2

再生に揺れる 市民の誇り 夕張市美術館、危機から3年目の春

白木 緑 日経夕刊 5.18

秋元康流「アートのすすめ」第8回ゲスト 和田秀樹[横須賀美術館]

山内 宏泰 美術手帖 921

おすすめ! スポット観音崎の自然に囲まれアートな時間を楽しむ 横須賀美術館(横須賀市)

東京夕刊 1.31

特集「学芸員館務実習」横浜市歴史博物館の複線型博物館実習―集中型と分散型の試み―

刈田 均 博物館研究 488

アート・トピックス Statement 横浜美術館に4月1日から就任した逢坂恵理子新館長 横浜トリエンナーレも視野に入れて活動開始

ギャラリー一* 290

アートナウ 温かみのある美術館を目指して 横浜美術館新館長に逢坂恵理子氏が就任

美術の窓 309

(ラ行)

文化往来 龍谷大、仏教の総合博物館を2011年に開設[龍谷ミュージアム]

日経 7.3

アート・トピックス Statement 革命的な先進ツールでもど のように使うかが重要[ルーヴル—DNP ミュージアムラボ]		ギャラリ 一*	285	特集 「アート&ラ イフ」美術編 アー ツ・アンド・クラフ ツ考 世界初!美術 館内のレストラン ヴィクトリア&アル バート美術館「グリ ーン・ダイニングル ーム」	M.M.	A A C	61
視点 ルーヴル— DNP ミュージアム ラボ 美術作品への 新たなアプローチ	ステファニー・オルリ ック	美術の窓	305	1980年代以降におけ るウフィツィ美術館 自画像コレクションの 拡張—取得作品に 関する資料紹介—	浦 一章	美術史論 叢	25
アート・トピックス Change 銀座の増保 美術が秋葉原の「LO- WER AKIHABA.」へ [LOWER AKIHABA- RA. MASUHO& KOGURE OFFICE]		ギャラリ 一*	286	ウフィツィ美術館に おける現代作家の自 画像コレクションの 拡充とその意義	田中 正之	" "	" "
(ワ行)							
museum 北から南 34 コレクションの 魅力 和歌山県立近 代美術館	奥村 一郎	新美術新 聞	1189	エルミタージュ何色 ? 緑それとも黄色 外壁の塗り替え大論 争[エルミタージュ 美術館]	浜砂 雅一	読 売	6.16
特集 人と美術、そ して美術館		ギャラリ 一*	291	海外通信 王立美術 院第241回夏季展覧 会 ロンドン 美術 家の層の厚さ実感	菅 伸子	朝日夕刊	7.29
Person 2 若山美術 館理事長 若山 徳光	若山 徳光 談			「後期印象派」変革の 軌跡 オルセー美術 館展来年春から 近 代絵画傑作集う		日 経	5.29
若山美術館館長 武田文 若山美術 館の想いと今後の 展望	武田 文			オルセー美術館展来 年5月から 東京・ 国立新美術館で開催 本社調印 ゴッホ・ ルソーなど百十数点	野見山祐史	" "	" "
特輯 MIHO MUSE- UM MIHO MUSEUM 特輯に当って	辻 惟雄 国 華		1363	Gallerist Interview 24Richard Chang [Galerie Grand Sie- cle]		ギャラリ 一*	296
海 外				デスピナ・ゼルニオ ティさんの見せたい 東洲斎写楽筆「四代 目松本幸四郎の加古 川本蔵と松本米三郎 の小浪」一写楽 幻の肉筆展より— [ギリシャ国立アジ ア美術館]	デスピナ・ ゼルニオテ イ	読 売	1.1
Gallerist Interview 12アニー・ウォン・ リユン・キット・ワ ー[Art Beatus Gal- lery]		ギャラリ 一*	290	Gallerist Interview 10クリストファー・ カット[Chistopher Cutts Gallery]		ギャラリ 一*	289
Gallerist Interview 18Marjorie Chu[Art Forum]		"	293	特集 LATIN AMERI- CAN ATTRACTION ラテン・アメリカ・ コネクション MEX ART NOW クリマ ンスット	アナ・エレ ナ・マレ 志田 朝美 訳	STUDIO VOICE	399
Gallerist Interview 22Yun Chea Gab [Arario Gallery]		"	295				
Gallerist Interview 20Li Liang[EAST- LINK GALLERY Shanghai]		"	294				
THE ハブスブルク 王家華麗な美の遺産 ウィーン美術史美術 館 サビーネ・ハー グ総館長		読 売	9.17				

研究員レポート 京都グラーツのクンストハウス[クンストハウス・グラーツ]	宮島 綾子	国立新美術館ニュース	11	現在通信 From NEWYORK ロスのザ・ハンディントン	富井 玲子	新美術新聞	1180
オピニオン2009 ヴィム・デ・ヴィット(ゲティ・リサーチ・インスティテュート シニア・キュレーター)[J・ポール・ゲティ美術館]	瀧口 範子	A X I S	141	新アクロポリス博物館完成 さて英国はバルテノン彫刻を返還すべきか否か	前橋 重二	芸術新潮	717
ターザンは究極のエコ戦士だった! ケ・ブランリー美術館の新趣向	永島 章雄	芸術新潮	717	レプリカ展示で英に對抗 ギリシャに新博物館開館[新アクロポリス博物館]	南島 信也	朝日夕刊	6.22
2つの故宮交流へ 北京の収蔵品台北で今秋展示[故宮博物院(台北)]	野嶋 剛 朝 日		1.28	英国博物館の再編と「信託管理」の確立—一八三〇—七〇年代のイギリスの文化政策—[大英博物館]	伊東 剛史	史学雑誌	118-2
台北博物院長 初訪中終え帰台 二つの故宮展に道筋も[故宮博物院(台北)]	長谷川周人 産 経		2.20	19世紀末の大英博物館における日本美術展示について—アンダーソン・コレクシヨンによる「中国日本絵画展」—	加藤 弘子	東京芸術大学美術学部論叢	5
文化の「中台融和」へ 博物院長が交流 共同研究を検討 学術的成果分かち合いを台湾・故宮博物院 周功鑫院長に聞く[故宮博物院(台北)]	栗田 秀之 東 京		1.25	博物館展示のいま 16 大英博物館の新しい日本展示	久留島 浩 歴 博		153
故宮の院長、周功鑫さんに聞く 12年の南院開館、産業育成センターなど 国際舞台へ新出へ新構想も[故宮博物院(台北)]	桐山 正寿	毎日夕刊	5.7	再現する@バンコク 私設美術館 4 平方メートルに関ヶ原の合戦[タイ現代美術館]	山本 大輔 朝 日		5.16
支部情報 九州支部 中国北京故宮博物院との連携をとおして[故宮博物院(北京)]	千木良芳範	博物館研究	494	Gallerist Interview 03 ロバート・バーネル[TimeZone 8]		ギャラリ 一*	285
2つの故宮交流へ 北京の収蔵品台北で今秋展示[故宮博物院(北京)]	野嶋 剛 朝 日		1.28	文化 台湾博物館の日本人追う 礎築いた学者たち、100周年機に再評価	小坂 史子 日 経		4.6
特集 バリと骨董 II アンティークス タミゼのバリ 5 骨のなればかた 国立自然史博物館	編集部	芸術新潮	712	特集 ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソンのすべて トーヴェからの贈り物 タンペレ市美術館ムーミン谷博物館	編集部	芸術新潮	713
特集 バリと骨董 I 古道具坂田のバリ 5 ふたりのロマネスク 国立中世美術館	"	"	"	海外通信 「新中国美術60年」展 北京 充実していた「大衆芸術」部門[中国美術館]	多田 麻美	朝日夕刊	10.28
Gallerist Interview 08 Sappho Ma [Connoisseur Art Gallery]		ギャラリ 一*	288	調査研究から 7 ロンドン美術館巡り—テート・モダンを訪れて	小川 知子	視覚の現場 四季の綻び	3
Gallerist Interview 16 Geetha Mehra [Sakshi Gallery]		"	292	特集 博物館展示と歴史学—展示叙述の可能性— (I) 歴史展示のポリティックス—ドイツ歴史博物館をめぐる論争—	相馬 保夫	歴史学研究	854

バラ色の町アルビと トゥールーズの美術 館「ロー・トレック ・コネクション」展 [トゥールーズ・ロ ー・トレック美術館]	ダニエル・ ドゥヴァン ク	東京タ刊	12.4					読 売	9.17
特集 アジアの美術 都市《シリーズ1》 北京798芸術区を歩 く 東京画廊+BTAP 798芸術区の「老舗」 として[東京画廊+ BTAP(北京)]		ギャラリ ー*	285					STUDIO VOICE	399
Gallerist Interview 14田畑幸人[東京画 廊+BTAP(北京)]		"	291					ギャラリ ー*	286
この夏開催 3 古代 文明展 歴史ロマン 輝く至宝 トリノ・ エジプト展 博物館 長 エレーニ・バシ リカさん[トリノ・ エジプト博物館]	エレーニ・ バシリカ	朝 日	8.21						
保存版大特集 これ だけは見ておきたい エジプト美術世界一 周 コラム凄腕女性 館長のミュージアム 再生物語[トリノ・ エジプト美術館]		芸術新潮	717						
Gallerist Interview 07Peter Nagy[Na- ture Morte]		ギャラリ ー*	287						
遺産の宝庫 イタリア 美術館訪問1 ナ ポリ国立考古学博物 館	佐藤 康夫	東京タ刊	10.13						
美術館の考えるデザ インの未来 形ない 概念も集める[ニュ ーヨーク近代美術館]	パオラ・ア ントネッリ	日 経	1.1						
from the World 膨 大な歴史的デザイン 資料を公開一パウ ハウス・デッサウ財団 資料館	小町 英恵	A X I S	140						
遺産の宝庫 イタリア 美術館訪問5 バ チカン美術館	佐藤 康夫	東京タ刊	10.17						
通信J to A アジア へ 東南アジア編1 タイ 待望のアート 施設 バンコクにオ ープン[バンコク芸 術文化センター]	吉岡 憲彦	新美術新 聞	1184						
遺産の宝庫 イタリア 美術館訪問3 フ イレンツェ国立考古 学博物館	佐藤 康夫	東京タ刊	10.15						
ブタペスト国立西洋 美術館からの名作の 数々	小林 明子	国立新美 術館ニ ュース	12						
THE ハプスブルク 王家華麗な美の遺産 ブタペスト国立西洋 美術館 バーン・ラ スロー総館長									
特集 LATIN AMERI- CAN ATTRACTION ラテン・アメリカ・ コネクション MEX ART NOW プロジ ェクトス・モンクロ バ									
Gallerist Interview 05Meg Maggio[pe- kin fine arts]								ギャラリ ー*	286
遺産の宝庫 イタリア 美術館訪問2 ポ スコレーレ・アン ティクアリウム	佐藤 康夫	東京タ刊	10.14						
現代美術とデザイン の垣根を越える— MAD ミュージアム の挑戦[ミュージア ム・オブ・アーツ& デザイン]	由本みどり	美術運動 史研究会 ニユース	99						
特集 LATIN AMERI- CAN ATTRACTION ラテン・アメリカ・ コネクション MEX ART NOW MUAC [メキシコ現代美術 大学美術館]	アナ・エレ ナ・マレ 上松エリサ 訳	STUDIO VOICE	399						
ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもた ち	大西 若人	朝 日							
時空を超え優しい視 線			3.15						
ロワレット館長語 る 7 部門の壁越 え願い実現			3.21						
記者ノート 2つの ルーヴル美術館展	前田 恭二	読 売	1.8						
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵 画 “黄金の世紀”へ 航海	ブレイズ・ デュコス	"	2.15						
from the World ア ートとサイエンス、 食とデザインが出会 う場所[ル・ラボラ トワール]	浦田 薫	A X I S	137						
遺産の宝庫 イタリア 美術館訪問4 ロ ーマ皇帝広場博物 館	佐藤 康夫	東京タ刊	10.16						
調査ノート ロンド ン博物館訪問記— 「ロンドン炎上」展を 見学して	宇野 慶	S H U	33						

海外展

(ア行)

WORLD NEWS ア
テネ+テッサロニキ
今、ひそかにギリシ
ヤが熱い! 2 大都
市で見るビエンナー
レとその周辺[第2
回アテネ・ビエンナ
ーレ「ヘブシ」、エス
ブラナーデ・ビルデ
イング、オリンピッ
ク・コンプレックス
ほか市内数か所、6
/15-10/4]

かないみき 美術手帖 927

香港、文化ハブへ
西九龍文化区計画か
ら 美術館中心の生
活空間を構想[A
Blow to the Every-
day, osage kwun
tong、10/10-11/
29]

長谷川祐子 東京タ刊 12.11

国際美術展「ヴェネ
チア・ビエンナーレ」
つないで紡ぐ新たな
世界像[第53回ヴェ
ネツィア・ビエンナ
ーレ、ジャルディー
ニ、アルセナーレ他、
6/7-11/22]

大西 若人 A X I S 141

やさしく楽しく平等
に 今年のビエンナ
ーレは草食系

越谷 真久 芸術新潮 716

WORLD NEWS ヴ
ェネツィア いよいよ
開幕間近のヴェネ
ツィア・ビエンナー
レ 今年の注目株を
速報チェック!

伊東 豊子 美術手帖 922

WORLD NEWS ヴ
ェネツィア1 ヴエ
ネツィア・ビエンナ
ーレ開幕! メイン企
画展を斬る—アート
と世界の関わりでは、
世界に支援せよ

遠藤 水城 " 925

WORLD NEWS ヴ
ェネツィア2 アー
ト界のオリンピック、
いちばんホットな国
別パビリオンは?!

伊東 豊子 " "

現代美術の歩き方
異論反論・現代美術
第53回ヴェネツィア
・ビエンナーレ現地
レポート

鈴木杜幾子 美術の窓 314

第53回ベネチア・ビ
エンナーレ開幕 変
化進むアートの祭典
発想や会場も枠外へ

西田 健作 朝 日 6.27

ベネチアに「具体」旋
風 関西での発足か
ら半世紀「見れば
笑い起きる」海外で
高評価

" 朝日夕刊 7.2

現代美術の祭典ベネ
チア・ビエンナーレ
開幕 新しい世界構
築する意志

逢坂恵理子 日経夕刊 6.30

第53回ベネチア・ビ
エンナーレを見て
豊饒さの中に死の気
配

南條 史生 毎日夕刊 6.24

ベネチア・ビエンナ
ーレから見えたもの
交錯する不安と希望

石川 健次 " 7.22

報告ベネチア・ビエ
ンナーレ

前田 恭二 読 売

上 世界像尊重す
る「多元主義」祝
祭より制度の色味

6.18

下 黒テント日本
館エネルギー噴出

6.19

創造神話 第53回ベ
ネチア・ビエンナー
レ 東洋美術に通じ
る空気

菅原 教夫 " 7.9

(カ行)

韓国の陶芸展 二〇
〇九京畿道世界陶磁
ビエンナーレ[利川
・広州・驪州の3会
場、4/25-5/24]

外館 和子 陶 説 676

topic 1 第7回韓国
光州ビエンナーレ
[第7回光州ビエン
ナーレ、「年次報告
—展覧会の一年」、
ビエンナーレ展示館、
光州市立美術館、毅
齊美術館、大仁市場、
光州劇場、9/5-
11/9]

張 智英 CLOSET 2

(サ行)

WORLD NEWS サ
ンパウロ 資金難に
試行錯誤するサンパ
ウロ・ビエンナーレ
[第28回サンパウロ
・ビエンナーレ: 生
きた接点、ビエナル
館、10/26-12/6]

仁尾 帯刀 美術手帖 917

from the World ス
タンボット・メット
・ローデコールー日
本人クリエイターに
よる作品展[ロイド
ホテル、アムステル
ダム、11/13—11/
23]

樋口 歩 A X I S 142

世界書芸全北ビエン
ナーレ報告 上 目
立った日本書の多彩
さ[第7回2009世界
書芸全北ビエンナー
レ、韓国ソリ文化の
殿堂ほか全州市一帯、
9/19—10/10]

桐山 正寿 毎日夕刊 10.21

(タ行)

米作家の「アジア」探
る NY「第三の心」
展 吸収・変容を視
覚化[第三の心 ア
ジアを瞑想するアメ
リカの作家たち1860
—1989、グッゲンハ
イム美術館、1/30
—4/19]

富井 玲子 朝日夕刊 3.11

アメリカの陶芸展
タッチファイアー—
女性陶芸家による現
代日本陶芸展
[Touch Fire—Con
temporary Japanese
Ceramics by Women
Artists、スミスカレ
ッジ美術館、10/9
—2010/2/28]

外館 和子 陶 説 681

文化往来 ミエール
大アートギャラリー
で茶の湯展[茶の旅
路：日本の茶文化今
昔、イエール大学美
術館、1/20—4/
26]

日 経 4.16

WORLD NEWS ロ
ンドン「アルター
モダン」の時代？
テート・トリエンナ
ーレ開催[テート・
トリエンナーレ2009、
テート・ブリテン、
2/2—4/26]

伊東 豊子 美術手帖 920

WORLD NEWS テ
グ(大邱) 韓国第3
の都市大邱で写真ビ
エンナーレ開催[テ
グ写真ビエンナーレ
2008：今・昔—未来
の記憶、見本市会場
「EXCO」、テグ文化
芸術センター他、10
/31—11/16]

飯沢耕太郎 " 917

WORLD NEWS ア
テネ+テッサロニキ
今、ひそかにギリシ
ヤが熱い！ 2大都
市で見るビエンナー
レとその周辺[第2
回テッサロニキ・ビ
エンナーレ「実践：
不確実性の時代のア
ート」、テッサロニ
キ港湾地区ほか市内
各所、5/24—9/
27]

かないみき " 927

大英博物館の片隅で
ひそやかな Dogu 人
気[土偶の力 古代
日本の陶像、大英博
物館、9/10—11/
22]

伊東 豊子 芸術新潮 719

謎多き土偶 あせぬ
魅力 大英博 秋、
名品67件一堂に[土
偶の力 古代日本の
陶像]

宮代 栄一 朝日夕刊 7.15

大英博物館 日本各
地の土偶、一堂に
[土偶の力 古代日
本の陶像]

日経夕刊 5.25

(ハ行)

革命の国キューバ
ハバナ・ビエンナー
レ2009[ハバナ・ビ
エンナーレ2009 統
合と抵抗、グローバ
ル時代に、ラ・カヴ
ァナ、ハバナ旧市街
地他、3/27—4/
30]

和田友美恵 ギャラリー 289

WORLD NEWS ハ
バナ 灼熱のキュー
バーハバナ・ビエン
ナーレ2009[ハバナ
・ビエンナーレ2009
統合と抵抗、グロー
バル時代に、ラ・カ
ヴァナ、ハバナ旧市
街地他、3/27—4
/30]

" 美術手帖 922

WORLD NEWS バ
リ 日本の写真家
130人がずらり。
写真フェア「パリフ
ォト2008」[カルー
セル・デュ・ルーヴル、
11/13—11/16]

伊東 豊子 " 918

WORLD NEWS バ
ングラデシュ アジ
ア最古の国際展 バ
ングラデシュ・ビエ
ンナーレ[第13回バ
ングラデシュ・ビエ
ンナーレ「場が語る
もの」、バングラデ
シュ国立博物館、オ
スマニ記念ホール、
バングラデシュ・シ
ルバカラ・アカデミ
ー、10/21—11/19]

植松 由佳 " 921

WORLD NEWS プ
 ライトン 戦場から
 の写真を検証する
 ブライトン・フォト
 ・ビエンナーレ[ブ
 ライトン・フォト・
 ビエンナーレ2008、伊東 豊子 美術手帖 918
 ブライトン大学ギャ
 ラリー、バラント・
 ハウス・ギャラリー、
 ライトハウスほか市
 内各所、10／3—11
 ／16]

WORLD NEWS ソ
 ウル キーワードは
 時間と身体 プラッ
 トフォーム・ソウル
 開催[プラットフォ
 ーム・ソウル2008、ア
 ートソング・セン
 ター、旧ソウル駅ほ
 か市内全12か所、10
 ／25—11／23] 吉崎 和彦 " "

(ラ行)

INFORMATION EX-
 HIBITION ルイ・
 ヴィトンのアート展
 [「ルイ・ヴィトン—
 創造への情熱」展、
 香港芸術館、5／22
 —8／9] 生駒 芳子 美術手帖 927

(ワ行)

WORLD NEWS ロ
 ンドン2 草間の水
 玉にロンドンっ子が
 遊ぶ!? 体感型アー
 ティスト10人の夏企
 画[「私の心の中を歩
 きながら」展、ヘイ
 ワード・ギャラリー、
 6／23—9／23] 伊東 豊子 " "

漫画家の「8・15」展
 中国で初開催 南京
 [私の八月十五日展、
 南京大虐殺記念館、
 8／15—11／14] 読売夕刊 8.12

美術展覧会図録所載文献

企画展

(ア行)

アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち— 国立新美術館

ベーター・ボーゲルス	平井 章一
平川滋子 光合成の木	南 雄介
《空気が危ない?》—われわれを囚【とりこ】にする環境	平川 滋子
石川直樹	加藤 絢
金田実生	福永 治
であいつながらはじまり【宮永愛子】	本橋 弥生
村井進吾	福永 治
大平實	〃
齋藤芽生	本橋 弥生
津上みゆき	加藤 絢

街かど美術館2009 アート@つちざわ【土沢】 岩手県花巻市東和町土沢商店街と晴山商店街を中心とした地域75カ所

明日への期待を込めて	平野 広
アートのまち 土沢 もう孤独と貧乏はおしまいにするべ 鉄五郎さん	武政 文彦
土沢というアートの磁場	平澤 広
たくさんの萬さん—土沢よ、心地よく、油断なく、目覚め、起伏せよ	水沢 勉
循環の器	松井 貞文
時空の海へ	川口 直子
ツチザワ—ここまで—ここから—	長谷川 誠
萬鉄五郎—“足裏”から“足元”へ	吉増 剛造
§ 作家の言葉 §	吉澤 美香
〃	藤原 靖子

映像作品「お尋ねします2009」撮影のこと

千葉奈穂子

作品への思い

アニアス・ワイルダー
小原ナオ子
訳

場所の力 土地の声

北澤 一伯

晴山を下りた熊は猿ヶ石川に入る

山本 英治

切り取られ、過ぎ去る日々

久 紹

§ 作家の言葉 §

岡田 卓也

“It's my creation.”

森山 恒逸

おふだプロジェクト in アート@つちざわ《土沢》「芸術商店街美降臨門前弘」

橋本 尚恣

シンポジウム 今年の街かど美術館、今後の街かど美術館

原田 光
水沢 勉
平澤 広
武政 文彦
菅沼 緑

クロスアート2 Art のメリーゴーランド 岐阜県美術館

神戸智行インタヴュー

奥村晃史インタヴュー

大巻伸嗣インタヴュー

長谷川喜久インタヴュー

村瀬恭子インタヴュー

傍島幹司インタヴュー

吉本作次インタヴュー

アートプログラム青梅2009 空間の身振り／PREMIUM OME 青梅市立美術館／青梅織物工業協同組合施設／吉川英治記念館

“空間の身振り”というタイトル

大橋 紀生

秋の光と歩みだす、街の影の劇場

鷹見 明彦

地域とアート

原田 丕

水

吉野 辰海

拾遺青梅縁起

水上 嘉久

「埋井戸」をめぐって

戸谷 成雄

かたちのアノマリ

山口 啓介

「空間の身振り」ということ

作間 敏宏

青梅3年あるいは7年

母袋 俊也

§ 作家の言葉 §

重政 啓治

〃

尾長 良範

〃

平田 星司

光闇の器／風と水の景

大竹 敦人

memory — 青梅第一小学校プロジェクト

斎藤美奈子

スタンスと由来と最近の事

牛島 達治

シンポジウム「地域が動く」

池田 修、
長田 謙一、
原田 丕、
水上 嘉久
大橋 紀生
司会

座談会「場との関わり」

大橋 紀生
作間 敏宏
鷹見 明彦
原田 丕
水上 嘉久
山口 啓介

「風に路を用意する」—4 大学学生展プログラム2009 評

鷹見 明彦

「オフ・ミュージアム」での鑑賞体験

武居 利史

愛と美の女神ヴィーナス ギリシア神話から現代へ 名古屋ポストン美術館

美神のヌード—ヴィーナスと裸体表現はどう結びついたか

田中 咲子

アイヌの美—カムイと創造する世界— ロシア民族学博物館・オムスク造形美術館所蔵資料 市立函館博物館他

ロシア民族学博物館のアイヌコレクション	V. V. ゴルバーチョヴァ I. A. カラペートヴァ	Column 西金堂本尊像と運慶	浅見 龍介	尼門跡寺院の開山と中興をたたえて肖像画(頂相)とゆかりの品々	〃
樺太アイヌの工芸—くらしにみる服飾と木彫の世界—	長谷部一弘	八部衆像と十大弟子像の表情	丸山 士郎	皇女から尼僧へ尼門跡のライフサイクル	花房 美紀
平沢屏山とその時代	霜村 紀子	華原磐の獅子と龍	加島 勝	尼門跡における年中行事	モニカ・ペーテ
I BELIEVE: 日本の現代美術 富山県立近代美術館		阿修羅像東京初出展	神辺 知加	仏前とその周辺	〃
「信じる」ことについて—日本の美術家7人をめぐって	麻生 恵子	アスカヤマ・遊山弁当箱プロジェクト 伝えたい日本の美 北区飛鳥山博物館	北区飛鳥山	尼門跡の禅画と墨蹟	バトリシア・フィスター
信じ合いながら	折元 立身	花より弁当	金子 皓彦	観音信仰	〃
\$ 作家の言葉 \$	河井 美咲	Column 名所の景観のなかに現れた弁当箱	石倉 孝祐	霊鑑寺上段の間	古田 亮
見ることの在り処	関根 直子	Column 花見の弁当と料理	〃	天皇家・将軍家からの拝領品・お手回りの調度品	横溝 廣子
\$ 作家の言葉 \$	村瀬 恭子	Column 江戸の名所・飛鳥山と行楽文化	〃	尼門跡の御人形たち	田中 正流
〃	山川 冬樹	Column 近世後期の王子の料理屋	〃	文学サロンとしての尼門跡	モニカ・ペーテ
青葉緑日3 アppetopp遊技場		アトリエの末裔あるいは未来5回		重要文化財「林丘寺手鑑」	羽田 聡
せんだいメディアテーク		上野タウンアートミュージアム2009 旧平橋田中邸/台東区立書道博物館 (『彫刻アートプロジェクト2009』)		尼門跡寺院に伝わる皇女の教養とあそび道具 香道具・貝合わせ・カルタ・双六	横溝 廣子
子どもがおとなになる日、おとなが子どもに還る場	工藤 彩子	「アーティストの旧宅を訪ねて」	椎原 晶子	東福門院と昭憲皇太后	花房 美紀
青い体験	清水 建人	ギャラリートーク	金井 直聞き手	仏法の娘たち—信仰に身を投じ、美術と文化を創造した四人の皇女尼僧	バトリシア・フィスター
青葉緑日3 「あつべとつべ遊技場」の会場構成Q & A	谷口みのり 清水 有聞き手	アフリカの美—ピカソ、モディリアーニたちを魅了した造形— MOA美術館		尼門跡と尼僧の信仰	真鍋 俊照
Homo ludens (ホモ・ルーデンス) 一無意味なことに意味を見いだす人間たち	清水 有	「アフリカの美」に眼をこらす	吉田 憲司	尼門跡における染織品	モニカ・ペーテ
灯りの情景—灯りと人の物語— 川崎市市民ミュージアム		名前のない美術—西欧におけるアフリカ美術の受容—	大久保恭子	つなぎとめられた縁—円照寺蔵 葡萄棚文様小袖地打敷からみる世界	山川 暁
はじめに	高橋 典子	アフリカのテキスタイル—クバのラフィア布・調査ノートから	井関 和代	東福門院と尼門跡たち	花房 美紀
国宝 阿修羅展 興福寺創建1300年記念 東京国立博物館他		語り始めたアフリカ—アフリカ美術の新たな動き	川口 幸也	霊鑑寺 書院障壁画について	古田 亮
創建千三百年の興福寺	多川 俊映	尼門跡寺院の世界 皇女たちの信仰と御所文化 東京芸術大学大学美術館		尼門跡ゆかりの品々に見る文様	横溝 廣子
興福寺中金堂再建—天平空間の復元に向けて	鈴木 嘉吉	尼門跡の歴史—「比丘尼御所」から「尼門跡」へ	バトリシア・フィスター	尼門跡の略歴	バトリシア・フィスター 花房 美紀
興福寺西金堂と阿修羅像—仏教の精神的理解と彫刻表現—	金子 啓明			アメリカの見た夢 1920—30年代の絵画、写真、デザインと日本 島根県立石見美術館	
Column 鎮壇具	伊藤 信二				
Column 脱活乾漆造	丸山 士郎				
Column 迦楼羅	〃				

日本とアメリカ 対岸の合わせ鏡と して	森 仁史	アントワープ・フ アッションとは何 か “これが現実 なんだ”	キャシー・ ホリン 平芳 裕子 訳	いけばな 歴史を彩る日本の美 京 都府京都文化博物館他	
コラム1 渡米画 家は「大自然」を描 かない	真住 貴子	日本から見たアン トワープ・ファッ ション	高木 陽子	「いけばな」の成立 と展開	村井 康彦
コラム2 「パリ は死んだ、ニュー ヨーク万歳！」ー クレア・マッカー ディルと「アメリ カンルック」の登 場	南目 美輝	視線、仮面、仮装	キャロライ ン・エヴァ ンス 成実 弘至 訳	江戸の文化として の「いけばな」	松原 清耕
コラム3 アメリ カをまとった日本 女性ーハリウッド 女優とモダンガ ール	川西 由里	おどろくほどの美 しさ：マルタン・ マルジェラとアン トワープ派	バルバラ・ ヴィンケン 成実 弘至 訳	COLUMN いけば な ふたつの源流	植山 茂
1930年代の日本が 見たアメリカー国 立工芸指導所の産 業工芸とアメリカ の工業デザイン	河野 克彦	異界の風景 東京芸大油画科の現在 と美術資料 東京芸術大学大学美術 館		COLUMN 南北朝 期の「花勝負」ー秘 かに集まり夢中にな る人々ー	横山 和弘
「あら、尖端的ね。」ー大正末・昭和 初期の都市文化と商業美術ー 岡崎 市美術博物館		異界の風景に立つ ー「異界の風景」東 京芸術大学油画科 の現在と美術資料 ー	坂口 寛敏	COLUMN いけば なと江戸時代の女 性たち	洲鎌佐智子
小出橋重の「尖端」 文化論	芳賀 徹	見える風景、見 い出される風景、問 い返す風景ー風景 論的にみた芸大コ レクションと東京 芸術大学油画科ー	鷹見 明彦	COLUMN 江戸の 園芸と花の文化	橋本由起子
尖端生活の諸相と 都市の中の商業美 術	千葉真智子	\$ 作家の言葉 \$	絹谷 幸二	COLUMN 小袖模 様にみるいけばな	林 智子
今和次郎の震災バ ラック調査・バラ ック装飾社活動か ら考現学の創始へ	荻原 正三	“まぼろし”の風景 をめぐる断章取義	小山穂太郎	COLUMN いけば なの花留	庄司 信洲
疾走する眼玉 吉 田謙吉	飯野 正仁	\$ 作家の言葉 \$	坂口 寛敏	COLUMN IKEBA- NAの書ーコンド ルとボウズ	畑 智子
マヴォと商業美術	滝沢 恭司	”	齋藤 芽生	COLUMN 西川一 草亭と夏目漱石	橋本由起子
大正・昭和初期の 着物ファッション	青木美保子	THERE IS HERE, HERE IS THERE	保科 豊巳	アイコンー聖像画の世界 玉川学園創 立80周年記念 玉川大学教育博物 館	
百貨店がつくりだ した商品世界 子 ども用品の意味す るもの	神野 由紀	\$ 作家の言葉 \$	坂田 哲也	アイコン	西山 重徳
阿波の木偶門付け芸 城博物館	徳島市立徳島	”	O JUN	アイコンとの出会い	高橋 保行
輝く資料との出会 い	辻本 一英	黒の系譜 駒井哲 郎・中林忠良・東 谷武美	東谷 武美	アイコンの制作につ いて	柿崎 博孝
6+アントワープ・ファッション 東京オペラシティアートギャラリー		ある眺め	三井田盛一 郎	石空間展6 '09夏 高島屋(日本橋)	
アントワープ・フ アッション・アカ デミー 地方の既 製服舞台衣装デザ イン学校から、国 際的なファッショ ン・アカデミーへ	カート・デ ボ 高木 陽子 訳	\$ 作家の言葉 \$	工藤 晴也	「石空間展」の20年 ーなぜ石なのか	武田 厚
		”	佐藤 一郎	コンセプト「風の 地平線ー蜃気楼」	大成 浩
		”	池田 嘉人	\$ 作家の言葉 \$	石井 尚志
		池田光政 林原美術館開館45周年 池田光政生誕400年記念 林原美術 館		”	岩崎幸之助
		寛永文化と池田光 政	熊倉 功夫	”	大成 哲
		池田光政小伝	倉地 克直	”	菅 利光
				”	菊地 伸治
				”	きくちまこ と
				”	芝田 典子
				”	柴山 京子
				”	鈴木 茂
				”	土屋 勝
				”	原 透

§ 作家の言葉 §	吉原 周	伊勢神宮と神々の美術	東京国立博	アントニオ・ファエー
〃	渡辺 忍	博物館他		ティ 萱野 有美
〃	藁谷 収	伊勢の神宮と式年遷宮	清水 潔	イラストレーショ ンの地平
FROM IZUSHI 出石の磁器、純白		コラム 神宮の成り立ち	大口 裕子	一丁倫敦と丸の内スタイル 三菱一
〔しろ〕から広がる無限の世界	兵庫 陶芸美術館	コラム 斎宮	〃	号館竣工記念 三菱一号館
FROM IZUSHI 出石から発信、磁器の現在形	マルテル坂本牧子	コラム 神宮への神宝奉獻	金原さやこ	丸の内のあゆみ 岡本 哲志
出雲国誕生と奈良の都	平城遷都一三〇〇年	コラム 祭祀遺跡にみる古神宝	〃	旅人コンドル—イスラムや東洋のデザインのとおりくみ 陣内 秀信
島根県立古代出雲歴史博物館		コラム 神宮の御装束神宝	松平 乗昌	コンドルに続く人たち 藤森 照信
コラム 出雲で文字が使用されはじめた	野々村安浩	伊勢神宮と仏教	原田 一敏	コンドルが目指した建築技術の導入と確立 河東 義之
コラム 出雲国大税賑給歴名帳と横穴墓からみる出雲西部の古代社会	西尾 克己	社寺参詣曼荼羅	沖松健次郎	曾禰達蔵—丸の内の生んだ建築家 平井 ゆか
コラム 出雲に律令制がやってきた	野々村安浩	寛文九年式年遷宮—神宮における神仏分離と幕藩権力者の思想—	井上 智勝	丸の内オフィス街をつくったコンドルの弟子・保岡勝也 内田 青蔵
コラム 山陰道の解明を目指して	森田喜久男	伊勢と和歌—神へ捧げる法楽和歌—	大口 裕子	河鍋暁斎とコンドル 河鍋 楠美
コラム 「出雲国計会帳」からみた天平の出雲	〃	伊勢を訪れた人々	吉田さち子	コンドルが遺したもの 岡本 哲志
コラム 平城京と平城宮	鳥谷 芳雄	伊勢物語 狩の使と斎宮 開館20周年・国史跡斎宮跡指定30周年記念		ジョサイア・コンドルの日本庭園論 渡辺 俊夫
コラム 正倉院と正倉院宝物	〃	斎宮歴史博物館		コンドルの庭園構成手法 栗野 隆
コラム 古代銭貨をめぐる今昔	〃	〈対談〉『伊勢物語』第六十九段「狩の使」の解釈をめぐる	泉 紀子 松田 珠美 聞き手	三菱一号館執務空間の再現—資料の発見 福島 正和
コラム 山陰地方の後期・終末期古墳と支配領域	仁木 聡	『伊勢物語』の時代背景とその享受	榎村 寛之	輸出漆器と芝家具 小林 淳一
コラム 山陰地域の評について 因幡・出雲地域の事例	平石 充	イタリア美術とナポレオン	鹿児島 市立美術館他	家具とオフィスビル—明治中期における芝家具の発達と三菱一号館 川越 仁恵
コラム 出雲国庁跡の発見	角田 徳幸	華麗なるフェッシー枢機卿コレクション	フィリップ・コスタマニヤ	「鹿鳴館食堂の椅子」ものがたり 大久保利泰
出雲国府跡と湯川秀樹博士	内田 律雄	フェッシー宮の歴史	グザヴィエ・トロジャニ	都市空間の近代化 岡本 哲志
コラム 律令制と手工業生産	松尾 充晶	イタリアボローニャ国際絵本原画展		ビジネスマンの郊外生活 〃
コラム 地域の須恵器生産	平石 充	2009 板橋区立美術館他 (『Illustrators annual 2009』)		丸の内と新聞社 野口 孝一
コラム 古代の台所セットからみた出雲世界	岩橋 孝典	イラストレーター	ハーメ・ルン文化協会	日本の発明狂時代 近森 基
コラム 律令祭祀と出雲	松尾 充晶	の自由 ロベルト・インノチェンティに聞く	編 萱野 有美 訳	サラリーマンの誕生 天野 隆子
コラム 出雲国府の仏教行事	野々村安浩	「偉大さ」について	トム・ピーターソン 萱野 有美 訳	伝統技術による復元 〃
				淑女のお出かけスタイル 〃
				ファッションの創造 近森 基

バラの香りは永遠に—ポール・スミスのインスタレーション「21世紀の丸の内スタイル」	児島やよい	「アート×□=∞」 —新しい価値を探 って	大城 仁美	〃	関谷 隆志
メッセージ	ポール・スミス	いのりのかたち—善光寺信仰展 善光寺御開帳記念	長野県信濃美術館	〃	藤田 圭二
丸の内の再構築	恵良 隆二	善光寺前立本像と 善光寺式阿弥陀三尊像	武笠 朗	〃	山脇 勇大
丸の内開発の原点 ・三菱一号館の復元	岩井 光男	IMAGE×INAGE イメージ×イナゲ		〃	田村 綾野
都市計画と旧三菱 一号館	山極 裕史	千葉大学普遍教育科目「展示をつくる b」	千葉市民ギャラリーいなげ	〃	金子 弘
復元設計の考え方 と根拠史料	野村 和宣	稲毛のイメージ	半田 滋男	〃	〃 審査所感 〃
復元設計の概要	野田 郁子	イメージをめぐる冒険 20世紀巨匠 たちの挿絵本 ピカソ、マティス、 シャガール…	山梨県立美術館	〃	上村 淳之
美術館としての活用 ・防災計画	江島 知義	リーヴル・ダルテ イストと20世紀の 画家たち	和田佐知子	〃	岡村桂三郎
構造設計	小川 一郎	岩手県所蔵美術作品選	岩手県立美術館	〃	佐野 めい
復元工事総括、煉瓦 の製造と施工	清家 正樹	解説	根本 亮子	〃	鈴木 民保
部材の再現、保管 部材の活用	鈴木 高明	インド近代美術の夜明け—カンパ ニー絵画 ニューデリー国立近代美術 館コレクションによる	福岡アジア 美術館	〃	土屋 禮一
ジョサイア・コン ドル建築図面のデ ジタルアーカイブ 化について	植村 和文	インドの伝統細密 画について	山本 裕子	〃	日野耕之祐
三菱一号館からは じまる丸の内の未 来	岡本 哲志	カンパニー絵画の 時代—融合する造 形	ラジーヴ・ ローチャ ン、 ラティカ・ クマリ 棕本由起子 訳	〃	山本 文彦
移動と表現 変容する身体・言語・ 文化 美術館開館1周年記念 沖縄 県立博物館・美術館		名もなき絵師たち の近代—インドの カンパニー絵画	堀川 理沙	VOCA展2009 現代美術の展望—新 しい平面の作家たち	上野の森美術 館
はじめに	翁長 直樹	ヴィデオを待ちながら—映像、60年 代から今日へ	東京国立近代美術館	選考所感	高階 秀爾
占領と文化	〃	不純なる媒体 1970年前後の映像	三輪 健仁	〃	酒井 忠康
生きるために描く	ジェーン・ デュレイ 土江真樹子 訳	ウィンター・ガーデン：日本現代美 術におけるマイクロポップ的想像力 の展開	原美術館	絵画の時代	建畠 哲
思い出のニシムイ	スタンレー・ スタイン パーク 土江真樹子 訳	ウィンター・ガ ーデン 日本現代美 術におけるマイク ロポップ的想像力 の展開	松井みどり	収縮について	本江 邦夫
北森(ニシムイ、 1948—1950)へ 向 かって	土江真樹子	上野の森美術館大賞展27回 明日 をひらく絵画	上野の森美術館他	選評	逢坂恵理子
移動と表現—北米 に関して	比嘉 良治	〃 作家の言葉 〃	眞鍋 享子	奇妙な豊かさに抗 して	南 寛 宏
沖縄 アルゼンチ ン：ある円環	リナ・カベ クララ・ミ ヤザト 訳			浮世絵百華—平木コレクションのす べて—	たばこと塩の博物館
東アジア、沖縄の 表現の可能性	与儀 武秀			平木コレクション について	佐藤 光信
				浮世絵とは何であ ったか	鈴木 俊幸
				美しきアジアの玉手箱—シアトル美 術館所蔵 日本・東洋美術名品展 サントリー美術館他	
				シアトル美術館 東洋美術コレク ションの歴史	白原由起子
				鹿下絵和歌巻—修 復とデジタル画像 事業	〃
				鳥図屏風—日本美 術の意匠性・装飾 性をめぐって	河合 正朝
				「竹に芥子図屏風」 について	仲町 啓子
				漢画系人物図の鑑 賞と制作—シアト ル美術館所蔵の 「琴棋書画図」と 「囲碁図」をめぐ って	河合 正朝

梅花の譜—漢詩・中国絵画・中国陶磁に咲いた花—	ミミ・ガードナー・ゲイツ 柏木 麻里 訳	植物染で和紙を染める	吉岡 幸雄	カメオ・セルヴィス	ヤン・ヴィレンスキー
文微明筆「金焦落照図寄詩」	姚進莊 柏木 麻里 訳	かみ、祈るがごとし	小林 康生	セーヴル王立製作所	〃
海の見える杜美術館至宝展 The STORY 偉才のコレクター梅本禮暉の軌跡 海の見える杜美術館		伝統の襖	鈴木 源吾	聖ゲオルギー・セルヴィス	イリーナ・バグダサーロワ
父・梅本禮暉の横顔	梅本 博予	和紙の「折紙」と「折り紙」について	高木 智	フランツ・ガルドネル磁器製作所	〃
大コレクター梅本禮暉氏	田中日佐夫	栄光のルネサンスから華麗なロココ 石川県立美術館他	アルノ・ブレジョン・ド・ラヴェルニエ	サンクト・ペテルブルグ帝室磁器製作所	〃
西洋から見た近代の日本画	高階 秀爾	序文		エコ&アート 近くから遠くへ—アートを通して地球環境を考える— 群馬県立館林美術館	
名筆、名品の誘い	財津 永次	描かれた紀伊山地の霊場と参詣道 世界遺産登録五周年記念 和歌山県立近代美術館		アートを通して地球環境を考える試み—近くから遠くへ—	松下 和美
館蔵の名品《奈良絵本・絵巻》によせて	石川 透	本州最南端と五人の画家をめぐる 原田直次郎、富田溪仙、鹿子木孟郎、浜地清松、藤島武二	宮本 久宣	作家の言葉	篠原 誠司
「海の見える杜美術館」の浮世絵コレクション	浅野 秀剛	煙樹ヶ浜と画家・近藤浩一路	寺口 淳治	〃	石川 直樹
「海の見える杜美術館」コレクション所感	辻 惟雄	近代期における熊野の風景認識	神田 孝治	月を盗んだワタリガラス	平田 五郎
竹内栖鳳 そして「海の見える杜美術館」との縁	今井 淳	竹橋と麦僊の初期風景画の位相—同時時代の画壇の動向と評価を中心に—	北川 久	作家の言葉	高谷 史郎
新出《岩倉具視関係文書》をめぐる	佐々木 克	描かれた城下町—水都発見— 徳島市立徳島城博物館		もう一つのエコロジー—DO MORE WITH LESS—	梶川 泰司
中国民衆絵画の精華	青木 隆幸	描かれた城下町—水都発見— 根津 寿夫		作家の言葉	国府 理
平和の香り	マルティース・シャザル	エカテリーナ2世の四大ディナーセツト—ヨーロッパ磁器に見る宮廷晩餐会 国立エルミタージュ美術館所蔵 東京都庭園美術館他		〃	三分一博志
創設者 梅本禮暉先生のまなざし	松野 静香	磁器、政治、権威—エカテリーナ2世の祝宴用セルヴィス	リジャ・リヤーホフ 久野 康彦 訳	〃	サウンドバム
浦上蒼穹堂30周年記念展 浦上蒼穹堂		ヨーロッパ食卓芸術と磁器の創成	池田まゆみ	〃	日比野克彦
『北斎漫画』について 『北斎漫画』40年1300冊の蒐集を通して	浦上 満	ベルリン・デザート・セルヴィス	リジャ・リヤーホフ	江戸園芸花尽し 太田記念美術館	
余談・こぼれ話	〃	ベルリン王立磁器製作所	〃	世界に誇れる江戸の園芸	大場 秀章
美しの和紙—天平の昔から未来へ— サントリー美術館		聖アンドレイ・セルヴィス	〃	コラム 江戸っ子たちの園芸買物事情	日野原健司
和紙の素顔と化粧顔	柳橋 眞	マイセン磁器製作所	〃	コラム 役者絵にみる園芸文化—展示作品を中心に—	渡邊 晃
伝えられてきた和紙、伝えていきたい和紙	丹羽理恵子	グリーン・フロッグ・セルヴィス	〃	コラム 園芸文化を牽引する徳川家	日野原健司
和紙のはじまり	湯山 賢一	ウェッジウッド	〃	浮世絵に描かれた園芸文化	〃
『楮のひみつ』	増田 勝彦			陶磁器に見る植木鉢の歴史	大橋 康二
				江戸の幟旗—庶民の願い・絵師の技— 渋谷区立松涛美術館	
				江戸の幟旗	北村 勝史
				幟の思い出	鈴木 忠男
				幟に魅せられて	林 直輝

江戸のMODE—浮世絵美人の総合ファッションガイド— 那珂川町馬頭
広重美術館江戸MODE 女性
たちの憧れ・白い
肌と黒髪之美 村田 孝子美人画入門—浮世
絵の場合— 市川 信也江戸のファッション
リーダーたち—
遊女の生活とファ
ッション— 長井 裕子絵の力—絵の具の魔術—武蔵野美術
大学80周年記念 武蔵野美術大学
美術資料図書館

展覧会を企画して 長沢 秀之

肉体について 本江 邦夫

絵画における物質
と表現 斎藤 國靖透明性／不透明性
をめぐる 田中 正之恵比寿映像祭1回 オルタナティヴ
・ヴィジョンズ “映像体験の新た
元” 東京都写真美術館第1回総合テーマ
オルタナティヴ・
ヴィジョンズ 岡村 恵子映像の遠近、映像
のオルタナティヴ 松本 俊夫
岡村 恵子
聞き手

§ インタビュー § 古郷 卓司

” チャン・ヨ
ンへ重工業

§ 作家の言葉 § 岡田 憲一

” 王 兵

あり得べき「映像」
体験を希求【もと】
めて 岡村 恵子第8代エルギン伯爵と絵画工芸品展
日英友好150年の礎を築く 神奈川
県立歴史博物館日英外交と文化交
流—第8代エルギ
ン伯爵の日本滞在
3週間— 嶋村 元宏円空大賞展5回 創造の原野を切り
ひらく 岐阜県美術館第5回円空大賞展 榎本 徹
に寄せて大型建物から見えてくるもの—弥生
時代のまつりと社会—弥生建物から
探る 滋賀県立安土城考古博物館近江の弥生集落と
大形建物 伊庭 功土器から見た「近
江」の地域性—弥
生時代中期後半か
ら後期後半を中心
に— 松室 孝樹古墳時代の大型建
物と首長居館に関
する予察 細川 修平大坂夏の陣と明石藩成立 明石市市
制90周年・明石築城390周年記念
明石市立文化博物館大坂の陣と小笠原
秀政・忠脩・忠政 三宅 正浩小笠原忠政の明石
入部 ”

大阪の宝物 出土品が歴史を語る

大阪府立弥生文化博物館

COLUMN 1 向か
い合う馬—絵馬の
谷COLUMN 2 三片
の文字瓦COLUMN 3 菅平
右衛門の最期COLUMN 4 395
年前の出来事COLUMN 5 文字
のはじまりと広が
りCOLUMN 6 仮面
のまつりCOLUMN 7 難波
宮に響いた箏の調
べCOLUMN 8 穿孔
か それとも…—
鳥形木製品の小さ
な孔を考える—大信楽焼(Oh!Shigarakiyaki)展—出
土資料を中心に— 滋賀県立安土城
考古博物館考古学からみた信
楽焼大浜てらまち 碧南市藤井達吉現代
美術館中世大浜の信仰世
界 青木 馨大浜てらまちの仏
像—出品作品を中
心に— 土生 和彦大原美術館コレクション展 名画に
恋して 福岡県立美術館今を生きる人々に
とって意義あるこ
と。美術館は生き
て成長してゆくも
の。文化が汗をか
く世紀。 柳沢 秀行人が主役の美術館
になるために—
「名画」と睡蓮の池
のほとりで 川浪 千鶴岡本豊彦から小野竹喬展—岡山にお
ける四条派の系譜 笠岡市立竹喬美
術館

四条派の系譜 上 蘭 四郎

小野竹喬と四条派 ”

おがわは苦集に見る鉄砲小道具の用
と美 板橋区立郷土資料館他鉄砲の伝播と軍用
化への道—上杉家
の砲術と直江兼統
の役割— 宇田川武久徳川家の火縄銃と
高松松平家 胡 光火縄銃装具の多様
性と芸術性 須川 薫雄鉄砲小道具の用と
美—特に火薬入・
口薬入を中心に— 小西 雅徳

資料解説 ”

おどり衣裳のコスモロジー—日芸コ
レクション—伝六代目尾上菊五郎の
衣裳を中心に 芸術学部ORCNANA
プロジェクト交流展 日本大学文理
学部日本大学芸術学部
所蔵舞踊衣裳につ
いて 鈴木 保彦オブジェの方へ—変貌する「本」の世
界 開館10周年記念 うらわ美術
館オブジェの方へ—
展覧会の入口あた
りの断片的な話 森田 一

お水取り 奈良国立博物館

東大寺二月堂とお
水取り 西山 厚おもろいやつら 人間像で見る関西
の美術 徳島県立近代美術館徳島のコレクショ
ンに関する一考察
関西の美術をもと 吉川神津夫

阿蘭陀とNIPPON—レンブラントからシーボルトまで— 日蘭通商400周年記念展 長崎歴史文化博物館他

日蘭交流のなかの人物 ケンペルからカッテンディーケヘ 芳賀 徹

VOCと日本 日本の貨幣経済政策とオランダ東インド会社 ポール・ベリエン

花柄の着物を着るオランダで大流行した日本の着物 マーガレット・プレウキンク＝ペーズ

窯業物語 日蘭通商400周年記念に寄せて:ポイマンス・ファン・ベウニンゲン博物館(Museum Boijmans Van Beuningen)の陶磁器に見る異文化和合の歴史 アレクサンドラ・ハバ＝ファン・ドンゲン

ものと知のクロスロード 東西知識交流における長崎・出島 平岡 隆二

たばこを巡る阿蘭陀とNIPPON 谷田 有史

考古資料からみた日蘭の生活文化とVOC 小林 克

オルセー美術館展 パリのアール・ヌーヴォー—19世紀末の華麗な技と工芸— 世田谷美術館他

アール・ヌーヴォー期におけるパリの高級産業 フィリップ・ティエボー 小泉 順也 沢

住まわれる装飾空間—邸宅におけるアール・ヌーヴォーとその意味 遠藤 望

「画家たち」とアール・ヌーヴォー—ビングの「アール・ヌーヴォー」の室内装飾を中心に 福満 葉子

ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ 宮本真希子

おん祭と春日信仰の美術 奈良国立博物館

おん祭と雅楽 笠置 侃一

平城京を彩った舞楽 清水 健

宮廷絵師・高階隆兼 //

(力行)

カーデザインの歴史—NISSAN 情熱と機能の美— 平塚市美術館

日本のカーデザインはどのように発展したか? 藤本 彰

絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡 北海道立帯広美術館他

「絵画と写真の交差」展に寄せて ジョナサン・クレリー

光の仲間たち、絵画と写真—光学探求が生み出した技術・表現のシステムと視覚革命 岡部 昌幸

不確かな領域への接近—絵画と写真の関係をめぐって 横江 文憲

印象派 視覚の革命 視線の創意または眼差しの発見—写真との蜜月時代 五木田 聡

第1章 見えるものと見えないもの—視覚装置のアルケオロジー 森山 朋絵

第2章 写真の誕生 横江 文憲

第3章第1部 印象派誕生前夜 細萱 禮子

第3章第2部 森の画家と写真家たち 鎌田 亨

第3章第3部 ジャポニスム・浮世絵・誕生期の日本の写真—広重(名所江戸百景)を中心に 岩崎 直人

第4章 印象派の誕生 原沢 暁子

第5章 ドガと写真 モデルとしての写真、モデルとしての絵画 渡辺 純子

第6章 “光の印象から主観の象徴へ”—“運動”としてのビクトリアリズムの展開 竹葉 丈

第7章 絵画主義を越えて—カメラ・ワークから光の造形へ //

第8章 絵画と写真の交差展 エビログ 岡部 昌幸

絵画の、あつみ—日本の絵画はうすっぱらか? コレクションによる企画展 練馬区立美術館

「あつみ」と、枠と、境界—絵画と額縁について 上山 陽子

貝塚に学ぶ—考古学者・酒詰仲男と地球環境— 板橋区立郷土資料館

酒詰仲男先生の人と業績 石部 正志

父、酒詰仲男のこと 酒詰 治男

酒詰仲男の貝塚研究 武井 則道

酒詰仲男『貝塚地名表1959』『食料総説1961』にみる先史縄文の世界 金子 浩昌

香る大名文化—旧高崎藩主・安藤家の至宝 高崎市タワア美術館

開催に寄せて 安藤 綾信

大名文化をのぞき見る 野本 淳

画家の眼差し、レンズの眼 近代日本の写真と絵画 神奈川県立近代美術館(葉山)

絵画と写真を結ぶ回路—接近と離反 山梨 俊夫

I章「写す」ということ—油画と写真の草創期 //

II章 写真のような絵、絵のような写真—「みづゑ(水彩画)」とビクトリアリズム 橋 秀文

III章 画家の眼、レンズの眼 III—1 構図と構成 長門 佐季

III章 画家の眼、レンズの眼 III—2 光と影 //

輝きははじめた女性たち 旅する化粧品 道具 ポーラ・コレクション 福井県立美術館

輝きははじめた女性たち—西洋 富澤 洋子

輝きははじめた女性たち—日本 村田 孝子

革命とファッション 亡命ロシア、
美の血脈 アレクサンドル・ワシリ
エフコレクション 多摩美術大学美
術館

革命とファッショ
ン 亡命ロシア、
美の血脈 アレクサン
ドル・ワシ
リエフ

かたちは、うつる 国立西洋美術館
所蔵版画展 国立西洋美術館

かたちは、うつる 新藤 淳

甲冑 西と東—西洋甲冑と日本甲冑
・南蛮胴具足— 板橋区立郷土資料
館

ルネサンス期の西
洋甲冑と南蛮胴具
足 三浦 権利

日本甲冑と西洋甲
冑の比較：新米ア
メリカ人甲冑師か
らの見識 アンドリュ
ー・マンカ
ベリ

狩野派—四〇〇年の栄華— 栃木県
立博物館

新出の浙派「雪景
山水図」(鏤阿寺
蔵)について 本田 諭

CAF. ネビュラ展2009 埼玉県立近
代美術館

いのちの尊さ 村田慶之輔

「アートがやわら
かい」—ゲストの
若者、荒木茉莉、
金田菜摘子、戸張
晴菜、三井美幸 吉岡友次郎

鎌倉の日蓮聖人—中世人の信仰世界
— 神奈川県立歴史博物館

日蓮の法華経信仰
と伝統 中尾 堯

鎌倉の日蓮をめぐ
る三つの日付 寺尾 英智

中世日蓮教団と足
利尊氏の残像—摩
利支天画像の添状
から— 古川 元也

日蓮筆「不動愛染
感見記」について 梅沢 恵

相模国の法華寺院
と信仰の道 望月 真澄

ガラス工芸の精華—ガレから現代ま
で—北海道立近代美術館ガラスコレ
クション 瀬戸市美術館他

ガラス工芸の精華
—ガレから現代ま
で—北海道立近
代美術館のガラス
コレクション 水田 順子

「Story of...」カルティエクリエシ
ョン—めぐり逢う美の記憶 東京国
立博物館表慶館

Story of... 吉岡 徳仁

生き続ける記憶 ビエール・
レネロ

「嗅覚記憶」という
能力について マチルド・
ローラン

川上澄生と民芸—浜田庄司・芹沢銈
介・塚田泰三郎・棟方志功と共に—
川上澄生美術館

栃木県の民芸運動
黎明期を探る 柏村 祐司

河内平野の集落と古墳 謎の4世紀
を探る 大阪府立近つ飛鳥博物館

四世紀の東アジア
とヤマト王権の変 白石 太一郎

国宝 鑑真和上 唐招提寺金堂平成
大修理記念 奈良国立博物館

唐招提寺の美術と
歴史 鷲塚 泰光

歴史の中の鑑真和
上 東野 治之

戒律思想上の鑑
真和上 末木文美士

中世唐招提寺の復
興と覚盛・慶円 細川 涼一

金堂の歴史と修理 鈴木 嘉吉

唐招提寺金堂の解
体修理現場から 田中 泉

瓦からみた唐招提
寺 前園実知雄

正倉院に見る鑑真
和上の足跡 三宅 久雄

鑑真和上の書状 西山 厚

菊池ビエンナーレ展3回 現代陶芸
の〈今〉 菊池寛実記念智美術館

第3回菊池ビエン
ナーレについて 金子 賢治

北川原コレクション 神奈川県立近
代美術館(鎌倉別館)

北川原コレクショ
ンに触れて 山梨 俊夫

創造的創作活動か
ら生まれた鳥海青
児作《修理のある
家 沖縄風景》 橋 秀文

キトラ古墳壁画四神—青龍白虎—
奈良文化財研究所飛鳥資料館

I. キトラ古墳壁
画四神—青龍白虎 加藤 真二

II. 韓国の龍 張 龍俊
朴 宣映、
高田 寛太
沢 訳

龍虎コラム 加藤 真二

加藤 真二
井上 直夫

加藤 真二

木の文化II—古墳時代の木器— 下
関市立考古博物館

総説 澤下 孝信

階級格差を示す木
工技術—墨壺— 上原 真人

九州ゆかりの日本画家たち 熊本市
現代美術館

九州ゆかりの日本
画家たち 本田代志子

作家の言葉 § 大塚 浩平

加来 万周

川口 恵

木村 みな

佐藤和歌子

徳留 永子

比佐 水音

山下 孝治

山本 太郎

京都画壇の華 京都市美術館所蔵名
作展 宮城県美術館

「京都画壇」 尾崎 真人

画家たちの京都—
宮城「遠藤速雄の
京都」 庄司 淳一

画家たちの京都—
宮城「安井曾太郎
の宮城」 加野 恵子

京都御所ゆかりの至宝—甞る宮廷文
化の美— 京都国立博物館

近世宮廷美の担い
手とその底力—旧
桂宮家伝来の作品
を通して— 太田 彩

異国趣味の茶道具
—桂宮家別荘の座
敷飾り— 尾野 善裕

御所を飾った障壁画—狩野派の活躍—	山本 英男
御所の引手金具意匠—旧東福門院御所の建物・障壁画の議論をめぐって—	久保 智康
売立目録と近世天皇の宸翰	羽田 聡
巨匠展—今そして未来2009 (日本橋)他	三越
絵画の強度	本江 邦夫
金GOLD 黄金の国ジバングと甲斐金山 山梨県立博物館 (『甲斐金山 KAI GOLD MINE』)	
日本の初期金山	萩原 三雄
総合調査の経緯と湯之奥金山博物館	谷口 一夫
金属生産遺跡としてみた甲斐金山遺構群—その調査のあり方—	村上 隆
金貨・甲州金の鑑別	西脇 康
近代日本美術の精華 東京芸大美術館コレクションを中心に 石川県立美術館	
芸大コレクションと東京芸術大学大学美術館	薩摩 雅登
東京美術学校と石川	西田 孝司
石川県の工芸界と東京美術学校—近代を中心に—	敷田 弘子
近代の東アジアイメージ—日本近代美術はどうアジアを描いてきたか 豊田市美術館	
序—日本近代美術の無意識としての東アジア	天野 一夫
白頭山・承德・ハルハ河畔：偽満州国の文化象徴とその表象	稲賀 繁美
夢に楽土を求めたり(前衛写真と報道写真の狭間で)	藤村 里美
第1章 明治期段階—文人画・歴史画から現実へ	天野 一夫
第2章 エキゾチシズムの諸相	〃

第3章 アジアの女性像	〃
第4章 東アジアで開花した「日本美術」	〃
第5章 カメラアイを通して	〃
第6章 場末への眼差し	〃
第7章 内的荒野・大地からの幻影	〃
第8章 現代にて	〃
久世光彦展 時を呼ぶ声 世田谷文学館 (『久世光彦の仕事』)	
インタビュー 久世瓊子氏に聞く	
国の花、華やぐ 宮内庁三の丸尚蔵館	
国の花、華やぐ 太田 彩	
児玉希望と琳派—《四季草花図》を通して	松谷 英美
熊野三山の至宝—熊野信仰の祈りのかたち— 和歌山県立博物館	
熊野信仰の祈りのかたち 大河内智之	
群馬の美術1941—2009—群馬美術協会の結成から現代まで— 群馬県立近代美術館	
県展60年 未来への回顧 染谷 滋	
慶応義塾をめぐる芸術家たち 慶応義塾創立150年記念 国立国際美術館	
「留別」の精神と芸術家たち—コロニーとしての慶応義塾	前田富士男
駒井哲郎の装画—ホームグラウンドで遊ぶ	渡部 葉子
はじまりとしての《無》—イサム・ノグチの円環彫刻をめぐって	橋本 梓
激動の明治国家建設特別展 衆議院憲政記念館	
激動の明治国家建設をめぐって 伊藤 隆	
源氏物語と宮廷文化へのあこがれ 徳島市立徳島城博物館	
渡辺広輝・守住貫魚と源氏物語	小川 裕久

現代絵画の展望—12人の地平線— 東京ステーションギャラリー	
「現代作家絵画の展望」展 12名と出品作について	田中 晴子
現代工芸への視点—装飾の力 東京国立近代美術館工芸館	
装飾：過剰のメンタリティー	金子 賢治
§ 作家の言葉 §	青木 克世
〃	青野 千穂
〃	磯崎真理子
〃	十四代今泉 今右衛門
〃	植木 寛子
〃	上田 順平
〃	植葉 香澄
〃	大槻 智子
〃	大原れいら
〃	梶木 奈穂
〃	川端健太郎
〃	北村 純子
〃	越川久美子
〃	齋藤 大輔
〃	佐合 道子
〃	篠崎裕美子
〃	鈴木 秀昭
〃	染谷 聡
〃	高石 次郎
〃	高村 宜志
〃	田中 知美
〃	徳丸 鏡子
〃	富田美樹子
〃	中村 牧子
〃	服部真紀子
〃	花塚 愛
〃	榎本 佳子
〃	村上 愛
〃	森野 彰人
現代日本彫刻展23回 UBEビエンナーレ'09 宇部市ときわミュージアム	
第23回UBEビエンナーレ開催にあたって	中原 佑介

現代の水墨画2009 水墨表現の現在

地点 富山県水墨美術館他

「現代の水墨画」に寄せて	内山 武夫
「水墨画」…重き流れの中から	八木 宏昌
新たな眼差しで「水墨」を見てみる	野地耕一郎
アンケート	伊藤 彬
〃	中野 嘉之
〃	箱崎 睦昌
〃	正木 康子
〃	八木 幾朗
〃	呉 一騏
〃	尾長 良範
〃	浅見 貴子
〃	マツダジュンイチ
〃	三瀬夏之介
〃	田中みぎわ

現代美術も楽勝よ。 水戸芸術館現代美術ギャラリー

「現代美術も楽勝よ。」によせて	浅井 俊裕
Nadegataが水戸で本当にやったこと	高橋 瑞木
十人十色の鑑賞プログラム	森山 純子 竹久 侑

工芸のいま 伝統と創造—九州・沖縄の作家たち— 九州国立博物館

“伝統と創造”を博物館で	三輪 嘉六
風は西から 九州・沖縄工芸のいまと明日	中島 宏 伊藤 嘉章 開書き
「西部工芸」群像列伝	平野 公憲
工芸カタログの作り方—そこから見えてきた九州・沖縄の工芸のいまと明日	伊藤 嘉章

皇室の名宝—日本美の華 御即位20年記念特別展 東京国立博物館

皇室コレクション、平成の歩み—新たな展開とこれから	太田 彩
帝室技芸員たちと宮殿を彩った近代の美術品	五味 聖
大和絵屏風の伝統	太田 彩

正倉院宝物の成り立ちと保存 成瀬 正和

朝廷と和紙—図書寮紙屋院を中心に 高橋 裕次

大本山光明寺と浄土教美術—法然上人八百年大御忌記念— 鎌倉国宝館

鎌倉時代と光明寺 宮林 昭彦
総説 村野 真作

国際漆展・石川2009 めいてつエムザ他

「国際漆展・石川2009」審査結果発表・特別座談会
漆の新しい広がり

栄久庵憲司、大西 長利、小松 暁一、権 相五、前 史雄、モニカ・コブリン、山村 真一、棒田 和夫 司会

国立美術館名作選 明治・大正・昭和100年の名画 香川県立ミュージアム他

「洋画と日本画」再考 山野 英嗣

五姓田GOSEDA—明治新潟の人々を描いた絵師—展 新潟市歴史博物館

新潟における五姓田派の活躍をたどる 大森 慎子

KOSODE 百・華・繚・乱—丸紅所蔵衣裳名品展— 石川県立歴史博物館

「丸紅コレクション」について 杉浦 勉

古代カルタゴとローマ展—きらめく地中海文明の至宝— チュニジア世界遺産 仙台市博物館他

古代地中海世界とカルタゴ 本村 凌二

地中海の都市国家カルタゴ モハメッド・ハシン・ファンタール

カルタゴ建国神話

ポエニ時代の人々の生活と暮らし 佐藤 育子

ローマが羨んだカルタゴの富 栗田 伸子

モザイクの技法 瀧本 みわ

ポエニ戦争とハンニバル 栗田 伸子

カルタゴの宗教と神々 佐藤 育子

カルタゴ：葬送の世界 ハビビ・ベン・ユニス

北アフリカのモザイク：技術的發展から芸術的成熟へ アイシャ・ベン・アベド

ハイドラ ファトヒ・ベジャウイ

古代九州の国宝 九州国立博物館開館4周年記念 九州国立博物館

古代の九州—多様な文化、その先進性と辺境性の重なり— 赤司 善彦

古代祭祀の世界 兵庫県立考古博物館

一 祭祀遺跡・祭祀遺物とは何か 大平 茂

二 宗像・沖ノ島祭祀遺跡 〃

三 都城遺跡 〃

四 兵庫県内の祭祀遺跡 〃

遺物から見た古代祭祀の継承と断絶 〃

古代の出雲と吉備の名宝—青銅と鉄と玉と— 広島県立歴史民俗資料館

はじめに 出雲と吉備—その心と文化— 伊藤 実

第1章 出雲と吉備—交流の始まり— 〃

第2章 出雲と吉備—それぞれの世界— 〃

第3章 出雲と吉備—その後— 〃

おわりに 出雲と吉備—これからの交流— 〃

吉備から見た出雲・中国山地 間壁 葎子

出雲から見た吉備—中国山地—弥生時代中期後半の動きから— 田中 義昭

中国山地と出雲と吉備—古代史の点と線— 伊藤 実

古代ローマ帝国の遺産 国立西洋美術館他

アウグストゥスのローマ帝国 青柳 正規

アウグストゥスの帝国 その都市計画・建築・美術	ステファーン・デ・カーロ 清水 里香 訳
ヘルクラネウムとボンペイにおける装飾美術 アウグストゥスの政治イデオロギーが与えた影響	ウンベルト・パッパラルド 絹川 陽子 訳
アウグストゥス広場	ルクレツィア・ウンガロ 野中 夏実 訳
アウグストゥス時代の装飾美術の輝き	ロザリーア・チャルデイエロ 飯塚 隆 訳
大プリニウスの命日	高梨 光正
第III様式と第IV様式の壁画における装飾フリーズ	飯塚 隆
ローマ世界のギリシア彫刻 人の像と神の像	芳賀 京子
こども+おとな+夏の美術館 まいにち・アート!! 群馬県立近代美術館	
「まいにち、アート!!」をめぐって	中島 幸子
コドモノクニと童画家たち 手のひらのモダン 横須賀美術館	
『コドモノクニ』概説	中田 貴絵
戦前期の女性童画家	上 笙一郎
この場所で一終わりと始まりをつなぐ、しずおかー 静岡アートギャラリー (『THE LIBRARY「本」になった美術 この場所で一終わりと始まりをつなぐ、しずおかー』)	
「THE LIBRARY+この場所で」展	静岡アートギャラリー
\$ 作家の言葉 \$	関野 宏子
〃	三田村光土里
〃	ワタリドリ計画
〃	石上 和弘
〃	乾 久子
〃	本原 玲子

安倍奥アートプロジェクト「仙侶分校」	稲垣 立男
安倍奥アートプロジェクトの構想—玉川地区、口仙侶—奥仙侶から	森谷 紗世
コレクションの誕生、成長、変容—芸大美術館所蔵品選— 東京芸術大学大学美術館	
東京美術学校と初期のコレクション	島津 京
東京藝術大学保管の法隆寺伝来の裂について	横溝 廣子
《金錯狩獵文銅筒》の美術学校収蔵をめぐって	芹生 春菜
来歴未詳の西洋人の絵画：最初期の西洋画収集の特異例	熊澤 弘
岡田三郎助旧蔵刀子・小刀コレクション	横溝 廣子
「田中コレクション」から見えるもの	古田 亮

(サ行)

再考・幻の画聖たち—故・大川栄二館長追悼展— 大川美術館	
再考・幻の画聖たち—故・大川栄二氏追悼展に寄せて—美の伝道師・大川栄二—	林 紀一郎
展覧会について	小此木美代子
埼玉県歴代芸術院会員油彩画展—川口で初めて出会う四人の巨匠— 川口総合文化センター・リリア	
埼玉県歴代芸術院会員油彩画展に寄せて	平林 博
戦後の洋画壇を担い芸術院会員として活躍した埼玉ゆかりの4人の巨匠たち	中村 誠
桜島と鹿児島ゆかりの画家たち展—鹿児島市立美術館・鹿児島県歴史資料センター黎明館所蔵による— 尼崎市総合文化センター	
桜島を描いた画家たち	山西 健夫

札幌第二中学の絆—本郷新・山内壮夫・佐藤忠良・本田明二—展 札幌彫刻美術館

札幌第二中学の絆で結ばれた4人の彫刻家—本郷新・山内壮夫・佐藤忠良・本田明二— 井上みどり

THEハプスブルク 華麗なる王家と美の巨匠たち 国立新美術館他

ウィーン美術史美術館絵画館の歴史	カール・シュッツ 長屋 光枝 訳
ブダペスト国立西洋美術館古典絵画館の歴史	バログ・イロナ 千速 敏男 訳
ウィーン的美術収集室[クンストカンマー]の歴史	サビーネ・ハーグ 松井 隆夫 訳
重厚な外観、軽快な画面—近世絵画史からみた初里帰りの画帖—	山下 善也
ハプスブルク・コレクションの開祖ルドルフ2世とその周辺	千足 伸行

ティツィアーノ作《イル・ブラーヴオ》にみる「ティツィアーノらしさ」—ロドヴィーコ・ドルチェ『アレティーノまたは絵画問答』(1557年)を手がかりとして 小林 明子

工芸のシンクロ—日本からみたハプスブルク工芸— 久保 智康

オーストリアに伝わるミカドの贈り物—明治新政府の文化外交— 永島 明子

サムライの美学—甲冑師明珍宗恭とそのコレクション— 早稲田大学津八一記念博物館

明珍宗恭コレクションに寄せて	石田 謙司
甲冑修復の精神史—近世における修復二例を中心に—	児島 大輔
明珍コレクションについて	三宮 千佳

THE YOSHIDA FAMILY展 世界をめぐる吉田家4代の画家たち 三鷹市美術ギャラリー

吉田家の画家たち	瀬木 慎一	『近江栗太郡志』の 編纂と中川泉三	大西 稔子	激変の45年—カナ ダ・イヌイト再 訪	武田 剛
言霊の版画家—吉 田穂高	本江 邦夫		橋本 唯子 門脇 正人 三井 義勝 大木祥太郎	北西海岸先住民 の100年の変化	岩崎グット マン・まさ み
芸術家の「家」—下 落合の吉田邸につ いて—	富田 智子	『近江愛智郡志』の 編纂と中川泉三		神話の記憶—カナ ダ北西海岸の旅に て	赤阪 友昭
「インターナシヨ ナル吉田版画アカ デミー」について	吉田 司	鹿と人のアンソロジー—神になった 鹿、人と共生した鹿—	島根県立八 雲立つ風土記の丘資料館	疾走する日本車[アート]—1960年 代を主軸とする国産車の軌跡—	島 根県立石見美術館他
画家の家に生まれ て	吉田亜世美	平所埴輪窯跡調査 のころ	三宅 博士	今も輝く“美”の源 泉を探る	西村 直樹
世界をめぐる吉田 家の旅と作品	富田 智子	「見返りの鹿」は知 っている	椿 真治	クルマの未来を予 見したコンセプト	伊東 和彦 西村 直樹
三峰窯の思い出—宮様とやきもの		古代の鹿崇拜と出 雲	平林 章仁	B C戦争を制した 3代目コロナ	西村 直樹
宮内庁三の丸尚蔵館		「穴」—カノシシと イノシシ—	高屋 茂男	トヨタのデザイン 尊重精神	〃
宮様とやきもの— 三峰窯概説	岡本 隆志	時空の街—街の音—彫刻アートプロ ジェクト 上野タウンアートミュー ジウム2009 テブコ浅草館 (『彫刻 アートプロジェクト2009』)		日米の多くのファ ンに愛されたZ	〃
加藤土師萌と三峰 窯	〃	ギャラリートーク	北郷 悟、 野口 玲一 司会	象徴となった “サーフィンライ ン”	〃
『玉葉流芳』本文再 録	加藤土師萌	自然のこえ 命のかたち—カナダ先 住民の生みだす美	国立民族学博物 館	打倒コロナ！が旗 印	〃
史学は死学にあらず 中川泉三没後 70年記念 長浜市立長浜城歴史博 物館／滋賀県立安土城考古博物館／ 栗東歴史民俗博物館／愛荘町立歴史 文化博物館／米原市近江はにわ館		自然と生命を尊ぶ 共生の思想 カナ ダ先住民の環境、 歴史、そして生き かた	岸上 伸啓	端麗なフォルム誕 生の秘密	〃
中川泉三の生涯	蔭山 兼治	カナダ文明博物館 の歩みと現代カナ ダ先住民の関係 地質調査団から知 識の協働管理施設 へ	J・L・ビロン、 N・プリンス、 I・ディック、 A・ラフォレ 伊藤 敦規 訳	ハイウェー時代の 若者に向けて	〃
滋賀県の地方史編 纂	〃	イヌイト・アー トの世界 「変身 の美学」のダイナ ミズム	大村 敬一	ロータリー四十七 士の活躍	〃
章斎文庫の設立と 公開・維持	〃	北西海岸先住民の アートの世界 「象徴の森」のルネ ッサンス	齋藤 玲子	S500誕生前夜のホ ンダ造形室 元デ ザイナー、河村雅 夫氏と佐藤允弥氏 に聞く	伊東 和彦 西村 直樹
久米邦武	青谷 美羽	大地と近代世界シ ステムのはざまに 生きる カナダ・ イヌイトの歴史 と現代	スチュアー ト・ヘンリ	パーソナルユース を目指して	西村 直樹
歴史学者・研究者	〃	民博所蔵の北米北 部先住民資料につ いて	小谷 凱宣	新しい潮流、イタ リアに求めた美	〃
黒田惟信	〃	カナダ先住民版画 の原点	田主 誠	実録！“漫画少年”誌—昭和の名編集 者・加藤謙一伝—	文京ふるさと歴 史館
徳富蘇峰	高木 叙子			『八大伝』にみるマ ンガ表現—薄墨と 匡郭外図様から見た 時の経過の表現—	平野 恵
下郷傳平久成	太田 浩司			『月とスツボンチ』 から見た読者と雑 誌の関係	齊藤 智美
日野町志の人びと	高木 叙子			コラム 明けない 夜はない—吉川英 治と神州天馬侠—	加藤 元信
里内勝治郎	大西 稔子				
丸橋茂平	橋本 唯子				
小野湖山	太田 浩司				
谷村伊平・中川俊 三	青谷 美羽				
中川泉三をとりま く滋賀県の人びと	〃				
『近江坂田郡志』の 編纂	太田 浩司				
長浜町志の編纂	〃				
『近江蒲生郡志』の 編纂	高木 叙子				
蒲生郡内の町志編 纂と中川泉三	〃				

コラム 照る日く
もる日—大佛次郎
と角兵衛獅子— 加藤 元信

子どもたちの夢を
かなえる—編集長
加藤謙一の仕事— 加藤 丈夫

文京の野球文化—
子規から『野球少
年』へ— 加藤 芳典

手塚治虫を中心と
した日本物語マン
ガ略史 関川 夏央

写真と幻想 ベルギー近代の美術
コレクションでたどる姫路市立美術
館の25年 姫路市立美術館

姫路市立美術館の
ベルギー美術 高瀬 晴之

写楽 幻の肉筆画 ギリシャに眠る
日本美術—マノスコレクションより
日本・ギリシャ修好110周年記念
江戸東京博物館

ゴルフ市、その風
景とゴルフ・アジ
ア美術館 デスピナ・
ゼルニオテ
イ

ギリシャで発見さ
れた写楽の肉筆画 小林 忠

野に群れ遊ぶ馬た
ちを描いた二つの
屏風—狩野探幽筆
「御本丸御屏風」を
めぐって— 河合 正朝

写楽の肉筆扇面画
発見までの経過に
ついて ニコル・ク
ーリジ・ル
マニエール

祝祭の衣装展 ロココ時代のフラン
ス宮廷を中心に 目黒区美術館

祝祭の衣装展 ロ
ココ時代のフラン
ス宮廷を中心に 矢内みどり

祝祭の衣装展≡20
の小さな物語 浜田久仁雄

フランス式生活芸
術の基盤ができあ
がった時代 北山 晴一

ローヴ・ア・ラ・
フアンセーズを復
元して 伊豆原月絵

華やぎの扇—ロコ
コからエンパイア 津田 紀代

ロココのメイクア
ップ&ヘアモード //

日本の新進作家展vol.8 出発—6
人のアーティストによる旅 尾仲浩
二+百瀬俊哉+石川直樹+百々武+
さわひらき+内藤さゆり 東京都写
真美術館

アーティスト・ス
テイトメント 旅 尾仲 浩二

アーティスト・ス
テイトメント 写 百瀬 俊哉

アーティスト・ス
テイトメント こ 石川 直樹

アーティスト・ス
テイトメント 同 百々 武

アーティスト・ス
テイトメント 旅 さわひらき

アーティスト・ス
テイトメント 旅 内藤さゆり

アーティスト・ス
テイトメント
「思い出すのは、
あの日見た場所。
だれかではなく、
どこか。」

遠くへいきたい 藤村 里美

将軍綱吉と元禄の世—泰平のなかの
転換— 江戸東京博物館

元禄文化を生み出
した社会 高埜 利彦

『御意之振』にみる
綱吉の政治と朝幕
関係 夏目 琢史

肖像画にみる加賀藩の人々 石川県
立歴史博物館

加賀藩における肖
像画の種々相 北 春千代

肖像の100年 ルノワール、モディ
リアーニ、ピカソ ポーラ美術館

伝統と革新—近世
から近代初期のフ
ランスの肖像画を
めぐって 大野 芳材

肖像の100年—19
—20世紀のフラン
スの肖像の展開 岩崎余帆子

特集1 肖像画と
写真 //

特集2 女性像と
ファッション //

焦土からの復興 戦中・戦後を生き
た市民たち 水戸市立博物館

混乱のなかの民主
化 酒井はるみ

称名寺の庭園と伽藍 神奈川県立金
沢文庫

総説 称名寺の庭
園と伽藍 西岡 芳文

上毛三山—赤城・榛名・妙義の歴史
と信仰— 安中市ふるさと学習館

上毛三山と群馬学
—赤城・榛名・妙
義3神の由来を例
として— 熊倉 浩靖

上毛三山の成りた
ち—その火山体
の一生をさぐる— 中島 啓治
中村 庄八

赤城山南麓の遺跡
群—南麓回廊から
豪族の奥津城へ— 前原 豊

古代首長による開
発と経営—榛名山
麓遺跡の歴史的理
解— 若狭 徹

妙義山麓に挑む人
々—山麓はどのよ
うに利用されてき
たか— 大工原 豊

上毛三山と山岳信
仰 時枝 務

上毛三山の信仰と
古道 近藤 義雄

上毛三山と近現代
の教育 森田 秀策

縄文人の道具箱 野首遺跡 十日町
市博物館

岡本太郎の“縄文
発見” 山下 裕二

縄文を撮る—いつ
の間にか25年余— 小川 忠博

群馬・長野県の焼
町土器—そして新
潟県への影響— 長谷川福次

火焔型土器と野首
遺跡 寺崎 裕助

叙情と幻想のイメージ—古賀春江、
神原泰、北脇昇、三岸好太郎、伊藤
久三郎、鶴岡政男、藤井令太郎、小
山田二郎— 大川美術館

「叙情と幻想のイ
メージ」をめぐつ
て 小此木美代
子

女性アーティストと、その時代 資
生堂ギャラリー開館90周年記念
資生堂ギャラリー

§ 作家の言葉 § 青木 野枝

// イワタリ

// 北原 愛

〃	キムスージヤ	ロシアの中央アジア探検隊所獲品と日本学者	高田 時雄	決断の集積、そして軽やかな覚悟	八巻 香澄
サム・テイラー・ウッド	クレイグ・バーネット	人生儀礼の世界 松戸市立博物館		世阿弥の時代—義満をめぐる芸能と丹後— 能「丹後物狂」智恩寺上演記念 京都府立丹後郷土資料館	
§作家の言葉§	辰野登恵子	民俗調査報告Ⅰ 八ヶ崎の人生儀礼	田中 斉	世阿弥の時代—能「丹後物狂」の誘う世界—	吹田 直子
〃	西山美なコ	民俗調査報告Ⅱ 千駄堀の人生儀礼	〃	静寂と色彩：月光のアンフラマンス 川村記念美術館	
ビピロッティ・リスト	カリン・ザインゾート	民俗調査報告Ⅲ 紙敷中内薄蒲の人生儀礼	小野 博史	アンフラマンスタは外部の断面	北山 研二
§作家の言葉§	森 万里子	民俗調査報告Ⅳ 松戸市における助産婦の活動	田中 斉	宇宙のどこかに、私の「それ」がある	吉川 静子
〃	米田 知子	神話—日本美術の想像力— 奈良県立美術館		見ることの不思議さ	平井 達郎
、	ローラ・オーエンズ	近代神話画の誕生と消滅—あるいは歴史と神話の分離—	島田 康寛	アートを越えて…	アントン・C・マイヤー
資料展示から	三上 豊	水中考古学の世界—びわこ湖底の遺跡を掘る— 滋賀県立安土城考古博物館		エンマ・クンツの美術作品	〃
ギャラリー・トーク「資生堂ギャラリーと女性アーティストたち」より抜粋	三上 豊 岡部あおみ	琵琶湖湖底遺跡から見た縄文時代	小島 孝修	静寂と色彩 月光のアンフラマンス	鈴木 尊志
女性の美—近代美人画名作展 福富太郎コレクション 唐津市近代図書館	福富 太郎	遺構・遺物から見た琵琶湖の湖底・湖岸遺跡	小竹森直子	聖地チベット—ポタラ宮と天空の至宝— 九州国立博物館他	
美人画との因縁	〃	日本の美・発見1 水墨画の輝き—雪舟・等伯から鉄斎まで 出光美術館		仏教の聖地チベットの歴史と芸術	曾布川 寛
好きなものを蒐める	〃	日本水墨画の興隆と展開—室町時代の諸相	宗像 晋作	ポタラ宮とその至宝	ポタラ宮管理処
白樺派の愛した美術 『白樺』誕生100年 京都府京都文化博物館他		日本水墨画の新しさ—長谷川等伯の場合	黒田 泰三	チベット仏教文化の中の密教—日本密教とチベット密教との比較を通じて—	頼富 本宏
『白樺』の熱と波	山梨 俊夫	スウェーディッシュ・ファッション—新しいアイデンティティを求めて 東京都現代美術館		コラム1 ミンドウリン寺	基信 祐爾
西洋美術受容における「白樺」の果たした役割	古谷 可由	はじめて 新しいアイデンティティを求めて	マリア・ベン・サード	コラム2 サキヤ寺	曾布川 寛
『白樺』派の画家たち—「自己の為の芸術」とその「道程」—	濱崎 礼二	菅生神社の文化財 堺市立みはら歴史博物館		コラム3 ペンコルチューデ	〃
『白樺』と京都—黒田重太郎、須田国太郎、国画創作協会をめぐって—	長舟 洋司	菅生神社の歴史とご神宝	高橋 平明	コラム4 外八廟の魅力	頼富 本宏
白樺主催展覧会新資料の考察—「白樺主催第五回美術展覧会」場内の写真	初山 昌夫	ステッチ・バイ・ステッチ 針と糸で描くわたし 東京都庭園美術館		チベット軸装仏画(タンカ)の制作手順	小野田俊蔵
日記に見る『白樺』 同人の交遊と創作の背景—岸田劉生と木下利玄の牡丹を巡って—	嶋田 華子	ステッチが現代美術へ変容するとき—ハンド・メイドとレディメイドの間で	木村 覚	チベットの服飾と演劇	古田 真一
シルクロード 文字を辿って—ロシア探検隊収集の文物— 京都国立博物館				チベットの彫刻をめぐって	基信 祐爾
19世紀末から20世紀初頭におけるロシアの中央アジア探検隊	I.F.ポボヴァ 岩本 明美 訳			聖地寧波 日本仏教1300年の源流—すべてはここからやってきた— 奈良国立博物館	
				総説 聖地寧波をめぐる信仰と美術	谷口 耕生

宋版一切経の輸入	斎木 涼子	史跡観音寺城跡の調査	伊庭 功	東洋の染付の諸相	今井 敦
阿育王塔信仰と日本	内藤 栄	戦国ふあつしょん—武将の美学—		染野夫妻陶芸コレクション—リー	
寧波と博多を行き交うもの	吉澤 悟	徳川美術館／名古屋市蓬左文庫		チ・浜田・豊藏・壽雪—	山口県立
「寧波仏画」の居場所	北澤 菜月	「戦国ふあつしょん」の世界へ	並木 昌史	萩美術館・浦上記念館他	
大徳寺伝来五百羅漢図試論	井手誠之輔	絵画から読み解く武将のよそおい	吉川 美穂	染野義信・啓子コレクションにまつわって	十二代三輪休雪
泉涌寺僧と普陀山信仰—観音菩薩坐像の請来意図	西谷 功	南蛮ファッションと戦国武将	小池 富雄	染野義信の壽雪「縄文的」茶碗論—近代的陶芸論的アプローチ	金子 賢治
寧波と禅	西山 厚	千年の祈り 石見の仏像	島根県立		
「大道和尚像」再考—中国絵画の余光の中で	中島 博	石見美術館		染野ご夫妻について	ギゼラ・ヤーン マグダレナ・コウオジ エイ 訳
新安沈没船とその周辺	岩戸 晶子	総説「石見の仏像」	長谷 洋一	自然と生命の讃歌—荒川芸術の世界	染野 義信
世界のアートな玩具たち 春日明夫玩具コレクション	八王子市夢美術館	線 of 巨匠たち—アムステルダム歴史博物館所蔵 素描・版画展	東京芸	休雪讃 未来派の「縄文」茶陶	〃
はじめに	春日 明夫	アムステルダム歴史博物館所蔵の版画・素描コレクション	ノルベルト・E・ミッデルコープ 川瀬 佑介 訳	(タ行)	
脊振山の南と北で—吉野ヶ里遺跡をとりまく国々と伊都国	伊都国歴史博物館	素描をコレクションする—黄金の世紀のオランダの場合	熊澤 弘	大・開港展 徳川将軍家と幕末明治美術	横浜美術館
吉野ヶ里、三雲・井原遺跡と交河故城	西谷 正城	ネーデルラントの素描力と古代への挑戦—ホルツィウスの《ファルネーゼのヘラクレス》	尾崎 彰宏	大・開港展—大リストラの時代を越えて	柏木 智雄
京都学 前衛都市・モダニズムの京都 1895—1930 京都新聞創刊130年記念 京都国立近代美術館		レンブラントのエッチングの受容—17世紀から19世紀にかけて	佐藤真実子	徳川将軍家と幕末・明治	柳田 直美
ひとつの京都学—モダニズム都市・京都への視点	山野 英嗣	線の迷宮「ラビリンス」・番外編 響きあい、連鎖するイメージの詩情—70年代の版画集を中心に	目黒区美術館	開港と輸出工芸	沼田 英子
「モダニズムの京都」における田村宗立の位置	〃	版画の時代—眼球で知るとのしみ	降旗千賀子	遣欧使節とスフィンクス	八柳 サエ
前衛都市・京都—工芸の近代化への一側面	松原 龍一	増上寺 徳川家霊廟	港区立港郷土資料館	大正期・再興院展の輝き—大観・観山・靱彦・古径・御舟—日本画創造の苦悩と歓喜—	滋賀県立近代美術館他
善光寺信仰—流転と遍歴の勸化—長野県立歴史館		増上寺徳川家霊廟の建築…記憶を紡いで	伊坂 道子	大正時代と再興院展について	尾崎 正明
展示概説		増上寺徳川家霊廟建築物の塗料・顔料と色彩観について	北野 信彦	今村紫紅筆《熱国之巻》について	古田 亮
聖徳太子信仰と善光寺信仰	新川登亀男	芝増上寺徳川家霊廟の奉献石灯籠…研究可能性の整理として	石神 裕之	日本美術院と近江	國賀由美子
善光寺信仰と遍歴する聖たち	牛山 佳幸	染付—藍が彩るアジアの器	東京国立博物館	大正期の荒井寛方	橋本 慎司
戦国の城—安土城への道 滋賀県立安土城考古博物館				大正ロマン・昭和モダンの抒情画家たち	中右 瑛
総論 戦国の城—安土城への道	松下 浩			大正ロマン・昭和モダンと「抒情」の系譜	小泉 淳一
特別史跡安土城跡の調査	仲川 靖				

タイの美しい布 祈りをつづる染と織 瀧沢久仁子コレクション 千葉市美術館

瀧沢久仁子さんからの贈り物 新井 淳一

一枚の布— そのルーツを辿りながら 瀧沢久仁子

布から衣へ—インドシナの衣服にみる人と布との関わり 吉村 紅花

民族の記憶をつづる布 坂本 真里

大名庭園展 知られざるサムライ・アート 広島県立美術館

大名庭園の魅力をさぐる 佐藤 豊三

上田宗箇の庭 齋藤 忠一

徳川将軍と庭・大名庭園の変容 原 史彦

紀伊徳川家の庭園「西園」 近藤 壮

松平定信と築地浴恩園 杉本 竜

栗林荘に遊ぶ—高松藩儒中村文輔著「栗林荘記」を読む— 御厨 義道

「兼六公園」の時代 本康 宏史

芸州浅野家ゆかりの中国絵画 板倉 聖哲

作展記 知念 理

一鳳凰鳴き文化の華ひらく—高岡の名宝展—前田家と瑞龍寺・勝興寺を中心に— 高岡市美術館

利長・利常と高岡 見瀬 和雄

一鳳凰鳴き文化の華ひらく—「高岡の名宝展」によせて 遠藤 幸一

高岡美術百科—先人たちの近代—高岡開町400年記念・高岡市美術館開館15周年記念 高岡市美術館

はじめに「高岡美術百科」の考え 藤井 素彦

高島屋史料館所蔵名品展 泉屋博古館分館

高島屋資料館とその所蔵作品 川口 直宜

竹久夢二と大正ロマン・昭和モダンとちぎ蔵の街美術館

大正ロマン・昭和モダンの抒情画家たち 中右 瑛

竹久夢二—恋と彷徨の人生— ”

高島華宵—美少年・美少女—理想の世界— ”

館林でつつじの絵を 世界一のつつじの名所に全国から名画を迎えて 群馬県立館林美術館

日本絵画に描かれた躑躅[つつじ] 河野 元昭

第1章 ツツジを描いた作品の系譜 松下 由里

第2章 ツツジとは—園芸品種の歴史的發展を中心に— ”

第3章 館林「つつじが岡」のツツジ ”

館林市つつじ研究所の歩み 島野 好次

ツツジの栽培と品種改良の歴史 倉重 祐二
小林 伸雄

ツツジの代表的な園芸品種と野生種 ”

伊達政宗とみちのく文華 仙台市博物館・神奈川県立金沢文庫交流 神奈川県立金沢文庫

伊達政宗と仙台市博物館 小井川百合子

仙台城と慶長遣欧使節 内山 淳一

コレクション展第1部「旅」 東方へ 19世紀写真術の旅 東京都写真美術館 (『旅する写真』)

異境へのまなざし 金子 隆一

コレクション展第2部「旅」 異郷へ 写真家たちのセンチメンタル・ジャーニー— 東京都写真美術館 (『旅する写真』)

9人の旅人の軌跡 藤村 里美

コレクション展第3部「旅」 異邦へ 日本の写真家たちが見つめた異国世界 東京都写真美術館 (『旅する写真』)

旅人は巡る—写真家たちの「ディスカヴァー・ワールド」 神保 京子

多摩川で／多摩川から、アートする アートの現場としての多摩川 観光芸術研究所から球体写真まで 1964—2009 府中市美術館

多摩川で／多摩川から、アートする—地理的視点からの現代美術記述の試み 神山 亮子

だまし絵 名古屋美術館他

だまし絵とは何か—あるいは視覚の詐術について 谷川 渥

トロンブルイユ「往還する眼」 木島 俊介

20世紀の「だまし絵」? マグリット、エッシャー、デュシャンと「うそつきのパラドックス」 速水 豊

日本のだまし絵、あるいはトリックアートについて 山下 裕二

多摩美術大学博士課程展2009 多摩美術大学美術館

§ 作家の言葉 § 姜 愛蘭

” 鄭 然暎

” 傍島 義雄

” ハマグチ・ロレナ・セシリア

木彫刻の心技体 三宅 一樹

§ 作家の言葉 § 李 準美

近くてなつかしい昭和展—夢・希望・未来を見つめた日々— 香川県立ミュージアム

コラム「近くてなつかしい昭和」と博物館・資料館 田井 静明

チベット ボン教の神がみ 国立民族学博物館他

チベットの基層文化を知る 長野 泰彦

チベットの歴史とボン教の形成 石川 巖

ボン教とはどのような宗教か 立川 武蔵

ボン教とマンダラ ”

ボン教とチベット仏教 ”

シェンラブ・ミボ—生涯の物語— 津曲 真一

十二儀軌の神がみ	森 雅秀	出光美術館コレク ションと茶道具	鈴木さとみ	コラム5 日本に おける中国趣味と 玉器	〃
ボン教の悪趣清浄 マンダラ	立川 武蔵	飯塚琅玕斎の竹工 芸	〃	中国現代美術との出会い—日中当代 芸術にみる21世紀の未来— 栃木 県立美術館	
歴史上の人物	三宅伸一郎	茶の湯のものづくりと世界のわざ 千家十職×みんぱく	国立民族学博 物館	ある日本人コレク ターの洞察力—石 原悦郎氏の中国現 代絵画コレクショ ンについて	肖 小蘭 張 穎 訳
ボン教の神がみ	森 雅秀	博物館を創造に活 かす試み	八杉 佳穂	絵空事?されど我 が愛 石原悦郎氏 インタビュー	小勝 禮子 聞き手
ボン教寺院	三宅伸一郎	過去と未来とのほ さまに	奥村吉兵衛	上海断章[フラグ メンツ]	山本 和弘
現代に生きるボン 教の僧侶と僧院	小西 賢吾	未知なる紙への挑 戦	〃	中国の陶俑—漢の加彩と唐三彩— 出光美術館	
ボン教僧院の生活 と修行	脇嶋 孝彦	竹に添い、竹を極 める	黒田 正玄	中国の陶俑	長谷部楽爾
チベットの「ヤン を呼ぶ」儀礼	長野 禎子	道具に添うように 人に添うように	土田 友湖	中世の港湾都市六浦	神奈川県立金 沢文庫
ボン教の典籍	三宅伸一郎	意外な出会い	永樂善五郎	中世六浦の世界— 武家の都鎌倉を支 えた港湾都市—	永井 晋
敦煌出土の古代シ ャンシュン語文献	武内 紹人	アフリカンドリー ム	樂吉左衛門	椿会展 2009 Trans—Figurative 資 生堂ギャラリー	
茶人 逸翁—茶の湯文化と小林—三 — 逸翁美術館		見えないものを見 る「目」	大西清右衛 門	春の訪れに弦の詩 を聞く	岡部あおみ
近代数寄者として の小林逸翁	熊倉 功夫	形に魅せられて	飛来 一閑	庭園の記憶—与謝野晶子の「松戸の 丘」と園芸学校の絵画— 松戸市戸 定歴史館	
古筆切	伊井 春樹	無限のつながり	中村 宗哲	文化の庭園として の第二次「明星」	木股 知史
逸翁の茶会	筒井 紘一	異文化にふれて	吉田 一三	与謝野寛(鉄幹)未 発表資料 一板倉 鼎・須美子結婚に 際しての代筆誓詞 と板倉打太郎宛書 簡一通について—	川崎キヌ子
懷石「辻留」	辻 義一	金物師第十一代中 川浄益氏のこと	佐野 恵子	堀江正章の《室内 草花図》について	田中 典子
逸翁を憶う	冷泉 為人	千利休における好 み道具の成立	筒井 紘一	千葉大学園芸学部 のキャンパスと庭 園	藤井英二郎
細川幽斎あて千宗 易書状	村井 康彦	千家十職の歴史と 特質	熊倉 功夫	戸定が丘歴史公園 と千葉大学松戸キ ャンパス	齊藤 洋一
須磨懷古図扇面	戸田 勝久	世界のものづくり —創造のキッカケ を動詞で試みる	小林 繁樹	赤星先生像をめぐ って	田中 典子
「棚物と四季の取 合せ展」の思い出	池田 巖	シリーズ山東文物8 中華のかがや き—中国山東省古玉器— 山口県立 萩美術館・浦上記念館		手紙 成田山書道美術館	
古染付と水指と祥 瑞の菓子鉢	森川 恵昭	山東の古代玉器	肖 貴田	手簡拝見	高橋 利郎
鼎談 「逸翁の茶 の湯」	久田 宗也 生形 貴重 岡田 彰子	山東地域から中原 地域に広がった玉 器・牙璧の歴史	徳留 大輔	萩翁翁コレクション—芸に遊ぶ— 世田谷区立郷土資料館	
「逸翁の茶会」		コラム1 玉とは 何か?	〃	小林克弘氏を偲ぶ	武田庸二郎
CHACHACHA—茶処三様お茶めぐ り— MACHI—YATAI PROJECT 2009 上野タウンアートミュージ アム2009 台東区下町風俗資料館 ／谷中防災広場 初音の森／玉林寺 脇路地		コラム2 玉の道 —都から遠く離れ た玉の産地	〃		
お茶会×座談会 『建築の「軽さ」に ついて』	五十嵐 淳 橋本 純 金田 充弘 棚橋 玄 コーディネ ーター	コラム3 日本の 玉文化—塊状耳飾 について	〃		
座談会 『まちに 住むということ』	松山 巖 森 まゆみ 元倉 眞琴 聞き手	コラム4 賞玩と 家具調度品として の玉器	〃		
茶の湯の美 出光美術館コレクショ ンの至宝 栃木県立美術館					

画賛を読んで絵画を楽しむ—俳画・浮世絵・文人画—	池澤 一郎	アダチ版画研究所インタビュー「残すこと」と「守ること」の違い	瀧 将仁、平野 拓也、聞き手	コラム2 東奈良遺跡1号流水紋銅鐸石製鋳型の精密計測	豊岡 卓之
画賛の重要性を考える—款識に「再書」とある文晁作品を手がかりに—	武田庸二郎		池田 良二、ジュリー・アーヴィング	銅鐸の鋳造	難波 洋三
慶応二年東宮御殿造営にみる障壁画の制作とその転用	江口 恒明	国際シンポジウム 私たちが漂泊している「表現」はどこに向かうのでしょうか	門田けい子、ミヒヤエル・シュナイダー	唐古・鍵遺跡における青銅器鋳造	藤田 三郎
立原春沙筆「秋卉野鶏図」について	木下はるか		張 袁帆、松下山田盛一郎	大福遺跡の青銅器鋳造関連遺物	丹羽 恵二
全漢詩文訓読並びに注釈	重野 宏一			脇本遺跡の青銅器鋳造関連遺物	北井 利幸
照沼コレクション展 茨城県近代美術館		『伝統と現代』3年を振り返って	三井田盛一郎	東北の群像—みちのく祈りの名宝—東北歴史博物館	
版画について—コレクター照沼毅陽氏への密やかな敬意と感謝にかえて	市川 政憲	東京サテライト 2009 くぼた	ギャラリー	水神社蔵線刻千手観音等鏡像雑攷	清水 健
照沼コレクションと清宮質文	荒木扶佐子	『TOKYO 宇宙主義』宣言	田所 一紘	道楽絵はがき—コレクターたちの粋すぎた世界— 大津市歴史博物館	
天地人—直江兼続とその時代—NHK大河ドラマ特別展 美術館他	サントリー	共通テーマ『対話』について	須見 裕子	三粋人との出会い—「道楽絵はがき展」の出来るまで—	木津 勝
上杉景勝・直江兼続の生涯と豊臣政権	北川 央	道教の美術 TAOISM ART—道教の神々と星の信仰— 知られざるタオの世界 三井記念美術館他		大正14年のオタクマップ	藤野 滋
「直江状」について	前嶋 敏	道教とはなにか	坂出 祥伸	スタンプと蒐集家一日付と場所を記念すること—	細馬 宏通
上杉本洛中洛外図屏風について	石田 佳也	今日の道教研究について	丸山 宏	粋も技法 木版職人	竹中 健司
桃山時代の能装束	長崎 巖	道教の美術	齋藤 龍一	国宝 土偶展 文化庁海外展 大英博物館帰国記念 東京国立博物館	
直江兼続の茶会—『宗湛日記』を読む	瀬山 里志	道教と書法 漢—唐	弓野 隆之	土偶の造形表現と祭祀の“かたち”	原田 昌幸
伝統と現代 刷りもの・摺りもの—伝統の未来形— 上野タウンアートミュージアム2009 旧坂本小学校／台東区立浅草公会堂		道教像の出現とその展開	齋藤 龍一	コラム 大英博物館と坪井正五郎—土偶研究の黎明期—	〃
		中国絵画と道教	宮崎 法子	コラム 切手や駅になった土偶たち	〃
		星宿信仰—日本における展開—	清水 実	コラム 土偶研究最前線 C T スキャン	阿部 千春
		正安三年銘の木造妙見菩薩立像をめぐって	清水 眞澄	コラム いろいろな文様	品川 欣也
		地獄十王思想と道教	鷹巣 純	コラム 縄文時代の仮面	〃
		江戸時代の長崎と媽祖・黄檗寺院	原田 博二	コラム 縄文時代の動物形土製品	〃
		岡倉覚三と道教	木下 長宏	土偶の出土状態からみたその役割と縄文人の精神世界	井上 洋一
		銅鐸—弥生時代の青銅器生産— 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館		徳川四天王 井伊家の至宝展—関ヶ原から幕末まで、武と風雅の歴史絵巻— 香川県立ミュージアム	
		銅鐸—弥生時代の青銅器生産—	北井 利幸		
		コラム1 本展覧会における銅鐸の三次元形状計測	奥山 誠義		

彦根藩井伊家十四代一徳川將軍を支えた譜代筆頭の大名家—	野田 浩子
コラム1 井伊直政と「赤備え」軍団	〃
コラム2 彦根城と博物館	渡辺 恒一
コラム3 高松松平家昇進ものがたり	御厨 義道
コラム4 彦根屏風の魅力と伝来	高木 文恵
コラム5 井伊直亮—コレクター兼プロデューサー—	〃
コラム6 松平頼恭の博物図譜	松岡 明子
コラム7 井伊直弼の茶の湯	小井川 理
コラム8 弥千代の婚礼道具と雛道具	〃
コラム9 井伊直弼と弥千代姫	胡 光
高松松平家と彦根井伊家の儀礼をめぐる関係	御厨 義道
溜詰大名と幕末の政局—井伊直弼と松平頼胤を中心に—	胡 光
独創性への道標—ロダン・高村光太郎・本郷新一展	札幌彫刻美術館
青年・本郷新の道標となった高村光太郎	井上みどり
どすこい 出雲と相撲	松江開府四〇〇年祭 島根県立古代出雲歴史博物館
雲州お抱え力士と松江藩の財政再建	岡 宏三
カミゴトとしての相撲	品川 知彦
DOMANI・明日展2009 未来を担う美術家たち	文化庁芸術家在外研修の成果 国立新美術館
§ 作家の言葉 §	久保田繁雄
〃	吉仲 正直
〃	栗本 夏樹
〃	伊庭 靖子
〃	安田佐智種
〃	吉田 暁子
〃	磯崎真理子

〃	呉 亜沙
〃	三田村光土里
〃	浅見 貴子
〃	高野 浩子
〃	藤原 彩人
豊臣期大坂図屏風—大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭締結記念 大阪城天守閣	
エッゲンベルグ城所蔵「豊臣期大坂図屏風」について	内田 吉哉
トリック・アートの世界	豊橋市美術博物館他
名画と遊ぶ?—福田美蘭と《ラス・メニーナス》—	加藤 哲弘
トリック・アート 概論	川西 弘一
トリノ・エジプト—イタリアが愛した美の遺産—	東京都美術館他
トリノ・エジプト博物館の歴史	エレニ・ヴァシリカ
ディール・アル＝マディーナの職人の町	近藤 二郎
ドローイング—思考する手のちから	武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
素描論のためのマドリガル	鷹見 明彦
日本の絵における「線」の形象	玉蟲 敏子
ドローイング、すなわちディゼーニョ、素描をめぐる	長尾 重武
永遠[とわ]に花咲く庭	17—19世紀の西洋植物画 名古屋ポストン美術館
永遠に花咲く庭 17—19世紀の西洋植物画	ナンシー・キラー
(ナ行)	
名古屋市美術館20年のあゆみ展 開館20周年記念	名古屋市美術館
座談会「名古屋市美術館の20年」	浅野 徹、木下 直之、山脇 一夫、神谷 浩
対談「鈴木昭男＋藤本由紀夫」	角田美奈子 進行

よみがえる四〇〇年前の輝き—名古屋城本丸御殿障壁画復元模写展	名古屋ポストン美術館
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写の概要	
那須の横穴墓	栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県の横穴墓	池上 悟
那珂川流域の横穴墓について	鈴木 勝
謎の横穴墓・長岡百穴	秋元 陽光
横穴墓から読み取る古代の那須	眞保 昌弘
奈良県万葉日本画大賞展4回	奈良県立万葉文化館
審査員講評・所感 講評	岡 信孝
審査員講評・所感 所感	岩倉 壽
〃	那波多目功一
〃	宮廻 正明
〃	山崎 啓次
いま、万葉歌を日本画で描くということ	平岡 照啓
何の意ぞ碧山に栖む—祖母・傾山系の弥生社会—	宮崎県立西都原考古博物館
豊と日向を結ぶ道	高橋 徹
五ヶ瀬川上流域出土の工字突帯文系土器	甲斐 貴充
霧島連山北—南東麓地域の弥生社会	吉本 正典
肉筆浮世絵と江戸のファッション—町人女性の美意識—	ニューオータニ美術館
江戸時代町人女性のファッション—小袖の変遷と肉筆浮世絵における服飾描写—	長崎 巖
右田年英《新橋元祿舞》について	家田 奈穂
錦絵はいかにつくられたか	国立歴史民俗博物館
浮世絵の版木	浅野 秀剛
版元「伊勢市」の板木群	岩切友里子

ラマン分光法と文化財測定用携帯型ラマンイメージング装置
坂本章
落合周吉

美のプロムナード 20世紀フランス絵画の精髓 山形美術館・服部コレクション 明石市立文化博物館

フランス近代絵画の流れ
加藤千明

日蓮と法華の名宝一華ひらく京都町衆文化— 京都国立博物館

日蓮『立正安国論』の伝統一京都の法華信仰—
中尾堯

日蓮法華宗美術試論
大原嘉豊

光悦・楽・乾山—日蓮法華宗と「やきもの」作り—
尾野善裕

日本画 京都府京都文化博物館

一九八五—八六 欧米巡回 現代日本画展
内山武夫

文化勲章受章 日本画家三十八人展 明石市立文化博物館他

文化勲章受章 日本画家三十八人展によせて
内山武夫

近代日本画の展開と文化勲章
島田康寛

日本画にみる世界遺産の旅 茨城県天心記念五浦美術館

“世界遺産”を描く—岡倉天心に導かれた新たな日本画のテーマ—
中田智則

日本近代洋画への道—山岡コレクションを中心に— 茅ヶ崎市美術館他

「幻の」山岡コレクション
青木茂

日本建築は特異なのか—東アジアの宮殿・寺院・住宅— 国立歴史民俗博物館

コラム 平安神宮模型
藤井恵介

コラム 長安・平安京・ソウル(漢城)—東アジアの都城比較—
玉井哲雄

コラム 平等院鳳凰堂組物の原寸模型
藤井恵介

コラム 東アジア住宅史調査風景
玉井哲雄

コラム 造営法式と匠明

N+N 日本大学芸術学部美術学科教職員展 練馬区立美術館

新しい風が立ったか—N+N展に寄せて—
高橋幸次

日本陶芸展20回 大丸ミュージアム(東京)他

大賞・桂宮賜杯 今泉穀 黒彩の器
唐澤昌宏

準大賞・日本陶芸展賞 森克徳 銀の痕跡
榎本徹

優秀作品賞・文部科学大臣賞 織田達也 青白磁掛分組鉢
高満津子

優秀作品賞・毎日新聞社賞 美崎光邦 瀬水青瓷鉢
乾由明

優秀作品賞・毎日新聞社賞 泉田之也 折
黒川雅之

特別賞・茨城県陶芸美術館賞 清水一二 吹泥金紅線文彩八角器
竹内順一

特別賞・池田満寿夫賞 和田的ザ! オブジェ
石崎泰之

特別賞・TOTO賞 多々納真 外鉄砂釉深組呉須釉鉢
柏木博

第1部審査所感 金子賢治

第2部審査所感 武田厚

第3部審査所感 水尾比呂志

日本の自画像 写真が描く戦後1945—1964 世田谷美術館他

太陽を凝視する マーク・フューステル

写真家紹介開取り帖 木村伊兵衛 秋田、そしてアンリ・カルティエ・ブレッソン
田沼武能 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 土門拳 築地明石町
池田真魚 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 濱谷浩 日本の風土とともに
都筑弘雄 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 林忠彦 時代の風と感応してきた人
林義勝 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 石元泰博 ニューバウハウスから桂離宮へ
石元泰博 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 長野重一 二つの夢を見た時代
長野重一 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 田沼武能 日方 戦後復興の行
田沼武能 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 東松照明 長崎 白いうなじ
東松照明 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 奈良原一高 集中心の人、生きる意味を考えた人
奈良原恵子 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 川田喜久治 [地図The Map] 1960—1965
川田喜久治 高橋直裕 聞き手

写真家紹介開取り帖 細江英公 土方巽と三島由紀夫
細江英公 高橋直裕 聞き手

日本の宝・斎宮 斎宮歴史博物館

対談:『古代都城研究と斎宮研究の意義』
栄原永遠男 榎村寛之 聞き手

日本の美 国宝との出会い—京都国立博物館所蔵品展— 富山県水墨美術館

美術に親しむとつかかり
山本英男

旅する画家の記録・記憶—池大雅の三岳記行図屏風から—
山下善也

京都国立博物館の歴史と館蔵品のなりたち
羽田聡

日本の美術館名品展 美連協25周年記念 東京都美術館

あいさつにかえて—共感への礎—
酒井忠康

山梨県立美術館—ミレーの美術館とコレクションの変遷—
向山富士雄

愛知県美術館の西洋絵画コレクション形成史
牧野研一郎

神奈川県立近代美術館のコレクションについて
水沢勉

三重県立美術館—日本近代洋画コレクションの形成—
毛利伊知郎

茨城県近代美術館 —日本画コレクションの形成	藤本 陽子
京都市美術館—公立美術館初めてのコレクションと常設展示「断じて貸室業に墮する勿れ」	尾崎 真人
東京都現代美術館のコレクション	加藤 弘子
いわき市立美術館のコレクション形成について	平野 明彦
町田市立国際版画美術館のコレクション概要とその形成史	滝沢 恭司
兵庫県立美術館の彫刻コレクション形成史	江上 ゆか
公立美術館の歩み、現在、展望—ジャーナリストの視点から	菅原 教夫
『日本のわざと美』展—重要無形文化財とそれを支える人々—	長野県信濃美術館
無形文化財の保存と伝承	
仁徳陵古墳築造—百舌鳥・古市の古墳群からさぐる—	堺市博物館
仁徳陵古墳築造	樋口 吉文
沼尻墨僊—城下町の教育者	土浦市立博物館
コラム1「沼就道書」銘の胤光の刀	中澤 達也
沼尻墨僊と私塾「時修斎」「天章堂」	高橋 敏
唐様の書—その成立と展開—	鍋島 稲子
コラム2 襖の下張りから発見された「鑿井図」	山崎 圭子
コラム3 要略西枕日記—老先生、旅に出る	木村 利栄
沼尻修平—墨僊に影響を与えた従兄	木塚久仁子
コラム4 もう一つの教育の柱、藩校「郁文館」	宮本 礼子
能に見る日本の女性像	能装束・能面の世界 田原市博物館
能装束の特色	山口 朋子

(ハ行)

芭蕉〈奥の細道〉からの贈りもの 出光美術館	
『おくのほそ道』の旅のなかで—白河の関・武隈の松	宮脇 真彦
芭蕉の書—変化するものとその底にあるもの	別府 節子
花展—美と生命のイメージ 近代日本美術の名品でたどる	横須賀美術館
花の表現—その成立の条件	富田 康子
シュルレアリスムの中に咲く花	立浪佐和子
花・風景 モネと現代日本のアーティストたち—大巻伸嗣、蜷川実花、名和聡子—	熊本市現代美術館
花・風景 モネと現代日本のアーティストたち	桜井 武
「花・風景」展によせて	大巻 伸嗣
§作家の言葉§	蜷川 実花
〃	名和 聡子
原三溪と美術—蒐集家三溪の旧蔵品 横浜開港一五〇周年記念	三溪記念館
三溪のおくりもの—蒐集美術品、その後—	林 進
三溪旧蔵品史料『美術品買入覚』・『三溪帖』・『松風閣蔵品展覧図録』について	清水 緑
パリに咲いた古伊万里の華 日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念	東京庭園美術館他
パリに咲いた古伊万里の華	大橋 康二
目指した2009年	碓井 文夫
哈爾濱〔ハルビン〕金代文化展—12世紀の中国、北方の民族が建国する—	新潟市歴史博物館
多民族国家金王朝とその文化	佐藤 貴保

パレットのある展覧会—ピカソ、マティスから地域ゆかりの作家まで—
うらわ美術館

知っているようで、知らないパレットのこと 森田 一

版画にみる戦後ドイツの美術—E. マタレーからA. D. クリスチャン—
Fuji Xerox Art Space

反映／省察 E. マタレーからA. D. クリスティアンまで 水沢 勉

ビエンナーレOME 2009 青梅市立美術館

ビエンナーレOME 2009選評 瀧 梯三

ピカソと20世紀美術の巨匠たち
ルートヴィヒ美術館所蔵 愛媛県美術館他

ピカソからウォーホルまで—ルートヴィヒ美術館所蔵の作品 シュテファーン・デーダリヒ

それはピカソから始まった—ピカソと20世紀モダニズム絵画の展開— 松田 弘

筆墨の美—水墨画展 第二部 山水・人物・花鳥 静嘉堂文庫美術館

水墨画と着色画—その世界観・素材 小川 裕充 美

筆墨論—中国絵画における意義 西上 実

卑弥呼死す、大いに冢をつくる—前方後円墳の成立— 大阪府立近つ飛鳥博物館

卑弥呼の死と前方後円墳の誕生 白石 太郎

変革期の墓の形と埋葬施設 小栗 梓

変革期の土の造形を見る—土器と特殊器台・特殊壺— 廣瀬 時習

鏡の世界 鹿野 星

墳墓の年代と各地の動向 高松 雅文

前方後円墳の成立 都出比呂志

百万石の大名展 前田育徳会・尊經閣文庫の所蔵品から 石川県立美術館

加賀藩成立期の歴史と文化 嶋崎 丞

百鬼夜行の世界 国立歴史民俗博物館／国文学研究資料館

- Column 1 お化け研究が始まった頃 荒俣 宏
- Column 2 妖怪行列、狐火 徳田 和夫
- Column 3 真珠庵本の祖本を情報学で探る 山田 奨治
- Column 4 行列する妖怪たち 若杉 準治

Beyond the Wall—アートで、超える。 秋吉台国際芸術村

- Beyond the Wall—アートで、超える。 原田真千子

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 歌麿・写楽から幕末バラエティーまで 高崎市タワー美術館 他

- 東海道浮世絵グラフィティ 中右 瑛
- 浮世絵Q&A 歌川広重「東海道五拾三次」の謎と魅力 中右 瑛 話

広島湾頭をめぐる歴史群像 広島市制施行一二〇周年記念事業・広島城築城四二〇周年記念事業 広島城

- 広島湾頭をめぐる歴史群像 総論 玉置 和弘

福岡と雲谷派—城郭襖絵「梅に鴉図」の謎— 福岡市美術館

- 城郭襖絵「梅に鴉図」の謎 渡邊 雄二
- 初期雲谷派の諸相 福田 善子

福澤諭吉展 未来をひらく 慶応義塾創立150年記念 東京国立博物館表慶館他

- 福澤諭吉と現代 西村 稔
- 福澤諭吉の『文明論之概略』におけるアジア、日本およびヨーロッパ アネッテ・シャート＝ザイフェルト
- 家族とは何か 西沢 直子
- たしかめる共感—福澤門下生による美術コレクション 前田富士男
- さまざまな福澤諭吉—福澤著作の読まれ方 松沢 弘陽

福澤の本質的な哲学パラダイム デヴィッド・A・ディルワース

- 福澤諭吉、フランス、そして世界…今その時 クリスティアン・ガラシ
- 異端と先導 鈴木 孝夫
- 「恋愛」のはじまりと福澤諭吉 宋 恵敬
- 「福澤山脈」、その苦き勝利 小室 正紀
- 『時事新報』の先導性—独立不羈 鈴木 隆敏
- オランダ・ユトレヒトに残されていた福澤諭吉写真—Geldmuseum 所蔵文久二年遣欧使節団写真アルバムについて— 谷 昭佳

福澤諭吉のロシア訪問—文久遣欧使節団ロシア訪問記 アンドリイ・ナコルチエフスキー

- 中国における福澤諭吉のイメージ 劉 群芸
- 福澤諭吉における西洋とアジア 小熊 英二
- 松永安左衛門と松永コレクション 尾崎 直人

福澤諭吉と神奈川—すべては横浜にはじまる— 神奈川県立歴史博物館

- 福澤諭吉が遺したもの 西沢 直子
- 福澤諭吉の横浜旅行 寺崎 弘康
- 海外体験とその影響 西沢 直子
- 神奈川の東西にそびえる福澤山脈 寺崎 弘康
- 神奈川とあゆむ慶応義塾 都倉 武之

富士川を渡る歴史 富士市立博物館

- 江戸時代の富士川渡船—岩淵村を中心に 若月 正巳

筆の美—木村山陽コレクションを中心に— 五島美術館他 (『遺愛の筆』)

- 遺愛の筆—筆と書画表現の相関性 村田 隆志

フランス絵画の19世紀 島根県立美術館他

アカデミズムと近代性

- ドラクロワをめぐる19世紀前半のフランス絵画とアカデミズム ブリュノー・フカル 藤原 貞朗 訳
- 19世紀後半のフランス絵画におけるアカデミズムと近代性—エドゥアール・マネを中心に— バルデレミー・ジョベール 小泉 順也 訳
- 19世紀フランスにおける風景画の展開 三浦 篤
- 起源の探求—コルモンとゴーガン、時代と空間のプリミティヴィスム 新畑 泰秀
- 19世紀フランスのアカデミズム絵画と日本近代洋画家たち 三浦 篤

プレス・カメラマン・ストーリー 東京都写真美術館

- 雑誌メディアのプレス・カメラマン 山崎 幸雄
- 誰の目で見えるのか プレス・カメラマンの葛藤と作家性 戸田 昌子
- 展覧会開催にあたって 鈴木 佳子

Fresco 時を航るフレスコ II ユーラシアのフレスコ技法と現代へのアプローチ 多摩美術大学美術館

- 西洋の壁画の魅力 青柳 正規
- フレスコの魅力と現代性 室越 健美
- 総論 大野 彩
- ズグラフィート 松味 利郎
- 生きる喜びを伝えるエトルリアの壁画 諸川 春樹
- ルーマニアビザンチン法の発生とその歴史的背景 館崎麻衣子
- ポンペイの壁画には四つの段階があった 諸川 春樹
- ブオン・フレスコについて 丹羽 洋介
- 敦煌の壁画について 高林 弘実
- 高松塚古墳壁画 星山 晋也

古代エジプトの壁画の特徴	吉村 作治	イ・バル(その口)としての夕張	中森 敏夫	第VI章 竹久夢二とふくしま	〃
フレスコの世界	大野 彩	岡部昌生+吉岡宏高インタビュー「炭鉱の皮膜として擦り出される日本近代」	正木 聞き手 基	近代美術にとっての地方—喜多方美術倶楽部と会津を例に—	〃
フレスコ画「目減りしない耐久性」の力	仙仁 司	吉増剛造インタビュー「石狩河口に坐し、夕張で女坑夫に出遇った頃」	〃	ベルギー近代絵画のあゆみ	ベルギー王立美術館コレクション 山梨県立美術館他
『文化』資源としての『炭鉱』展 目黒区美術館		〈第3章〉解題	〃	ベルギーの印象派からフォーヴまで	ノエミ・ゴールドマン 賀川 恭子 訳
〈第1章〉解題	正木 基	中山陽インタビュー「筑豊に住み、筑豊を撮り続ける」	〃	ベルギー王立美術館：その歴史の概要	ミシェル・ヴァン・カルク
千田梅二論	ジャスティン・ジェスティー 徳永 恵太	企画された「不親切」としての記録集—『写真万葉録・筑豊』	土屋 誠一	ヘルシンキ・スクール写真展 風景とその内側	資生堂ギャラリー
山本作兵衛「炭坑記録画」	森本 弘行	宮松宏至 上野英信と〈約束の楽土〉	正木 聞き手 基	ヘルシンキ・スクール	ティモシー・パーソンズ
【切羽で乾杯—作兵衛と英信】	上野 朱	大橋弘インタビュー「1972年、軍艦島で…」	〃	4名の作家たちによるダイアログ	豊田 佳子
インタビュー う えだ・ひろし	ジャスティン・ジェスティー 徳永 恵太 聞き手	萩原義弘インタビュー「1980年代夕張から見えてくる炭鉱写真」	〃	自然とアブストラクト—21世紀の写真の行方をめぐって	後藤 繁雄
野見山暁治インタビュー『『廃坑』を描いた頃』	正木 聞き手 基	〈第4章〉解題	正木 基	放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち	名古屋市美術館／愛知県美術館
常磐の炭鉱と美術をめぐって—いわき地区を中心に—	杉浦 友治	炭坑・ポスター・デザイン考	肴倉 睦子	櫃田伸也—風景の導くままに	小西 信之
北海道・炭鉱・美術	佐藤 友哉	〈第5章〉解題	正木 基	遮るものと溢れるもの—櫃田伸也の絵画	金井 直
北海道炭鉱労働者の共同制作 1950年の《人民裁判事件記録画》をめぐって	ジャスティン・ジェスティー	映像作品における炭鉱というモチーフ	石川 翔平	櫃田伸也様	中西 夏之
〈第2章〉解題	正木 基	本橋成一インタビュー「炭鉱で写真を撮る・炭鉱の映画を見る」	正木 聞き手 基	はらっぱ、その豊かな可能性	中村 史子
九州派とサークル村—その関係性をめぐるノート	山口 洋三	文化の力—福島と近代美術 開館25周年記念 福島県立美術館		櫃田伸也という画家とキャンパスに夢を込めた若者たち	笠木日南子
富山妙子インタビュー「炭鉱から広げた『美術』と『世界』」	正木 聞き手 基	文化の力—福島と近代美術	酒井 哲朗	北摂の戦国時代 高山右近 高槻市立しろあ歴史館	
池田龍雄インタビュー「炭鉱とルポルタージュ・アート」	〃	第I章 中村彝と白河南湖に集った芸術家たち	増渕 鏡子	北摂の戦国時代 高山右近	中西 裕樹
菊畑茂久馬インタビュー「美学校での山本作兵衛作品模写壁画制作のこと」	〃	第II章 結城素明を支えた白河	堀 宜雄	ポップ・アート 1960's—2000's	長野県信濃美術館他
滝純一インタビュー「風と軍艦島」	〃	第III章 本宮・蛇の鼻別荘と石井柏亭、勝田蕉琴	〃	21世紀ポップ・アート	広本 伸幸
多田美波インタビュー「建築・美術・炭鉱—炭労会館の作品『炭鉱』」	〃	第IV章 喜多方美術倶楽部と芋銭、恒友、三良	増渕 鏡子	北方騎馬民族のかがやき—三燕文化の考古新発見—	奈良文化財研究所 飛鳥資料館
		第V章 会津の山河を描く…水彩画と版画	〃		

I. 日中共同研究の歩み	小林 謙一
II. 遼寧西部の三燕と日本の古墳文化	田立坤 加藤真二 訳
III. 三燕の金属製品—金製歩揺・帯金具・銅製容器—	丹羽 崇史
IV. 三燕の馬具	花谷 浩
V. 三燕の鉄製武器	豊島 直博
VI. 三燕の土器・陶器	金田 明大
VII. 朝陽北塔にみる三燕故都「龍城」	成田 聖
VIII. 東アジアにおける三燕文化	臼杵 勲

ボルゲーゼ美術館展 京都国立近代美術館他

シビオーネ・ボルゲーゼと17世紀初頭のローマにおける芸術作品	クラウドディオ・マッシモ・ストリナーティ 田口かおり 訳
ボルゲーゼ家、歴史とパトロネージのあいだ、コレクションの誕生	アルド・マストロヤンニ 杉山 博昭 訳
ボルゲーゼ・コレクション、個人収集から公共の美術館へ	フェデリーカ・パービ 河田 淳 訳
サン・ジョヴァンニ・バッティスタ・カラヴァッジョ	ロッセッラ・ヴォドレ 秦 明子 訳
作者を捜せ！—ボルゲーゼ美術館とふたりの目利き	岡田 温司

THE LIBRARY「本」になった美術
現代美術作家45名の手に取れる本の世界 静岡アートギャラリー
『THE LIBRARY「本」になった美術
この場所で—終わりと始まりをつなぐ、しずおか—』

「本」になった美術をめぐって	篠原 誠司
「THE LIBRARY+この場所で」展	静岡アートギャラリー

(マ行)

マッキアイオーリ イタリアの印象派 ふくやま美術館他

マッキアイオーリ、イタリア、リアリズムの巨匠たち	フランチェスカ・ディエーニ 平泉 千枝 訳
マッキアイオーリとは？	井関 正昭
ピッティ宮殿近代美術館所蔵のマッキアイオーリ作品にみる技法と画材	ムリエル・ヴェルヴァット 牟田 行秀 訳
マッキアイオーリ後期における浮世絵版画の影響—1870年代以降のイタリア絵画空間と葛飾北斎「三つわりの法」—	谷藤 史彦

真冬の花畑 札幌美術館 札幌芸術の森美術館

冬を彩る花の輝き	吉崎 元章
§ 作家の言葉 §	川上 勉
〃	西村 明美
〃	白鳥 信之
〃	鳴海 伸一
〃	高 幹雄
Only the wind knows the answer	岡本 和行
悠久のいとなみ	工藤 悦子
桜との出会い	佐藤 泰子
たしかにそこにあった花と光	井桁 雅臣
§ 作家の言葉 §	杉田 光江
〃	櫻井マチ子
北の花へんろ—2009	佐々木小世里

魔法の美術館 ようこそ。ここは光のワンダーランド 高崎市美術館

Concept	近森 基 久納 鏡子
〃	森脇 裕之
〃	そがあやの
〃	宮本 和奈
〃	山内 哲也
〃	田中 敬一
〃	柏原エリナ

幻の京焼 京都瓢池園 泉屋博古館他

京都瓢池園の諸相	大槻 倫子
----------	-------

京都瓢池園をめぐ る廣瀬家と河原家	末岡 照啓
東京瓢池園小史	両角かほる

一瞬のきらめき まぼろしの薩摩切子 サントリー美術館他

島津斉彬と薩摩切子	土屋 良雄
江戸明治前期の切子の文様—江戸好みと薩摩好み	棚橋 淳二
島津斉興の中村製菓館事業	中村 憲
薩摩切子の諸問題—今後の研究のために—	岡 泰正

マンガ百花繚乱—いわての漫画家50の表現— 萬鉄五郎記念美術館／石神の丘美術館

岩手の風土とマンガ文化	斎藤 環
色とりどりの花咲く—「岩手」と「マンガ」、その状況をめぐって	斎藤 桃子
草創期の岩漫	小田ひで次 粉味(ちばこなみ)

万葉のこころを描く 奈良県立万葉文化館所蔵 万葉集1250年記念 茨城県天心記念五浦美術館他

「万葉のこころ」を描く画家たち	武石 洋
古代のコスモポリタン	井上さやか

道草—彫刻の風景— 彫刻アートプロジェクト 上野タウンアートミュージアム2009 上野の森美術館他
『彫刻アートプロジェクト2009』

アーティストトーク	片村 信、 小塚 照己、 鈴木 貴雄、 武内 優記、 龍野 大輔、 林 武史、 山本 司会
あとがき	林 武史

エコロジーの先駆者 南方熊楠の世界 和歌山市立博物館

南方熊楠の神社合祀反対運動	武内 善信
---------------	-------

みほとけの貌[かたち]—熊本県南部
の仏像— 八代市立博物館未来の森
ミュージアム

熊本県南部におけ
る慶派の仏像 大倉 隆二

『肥後国誌』にみる
肥後南部の仏像 鳥津 亮二

妙心寺 開山無相大師650年遠諱記
念 東京国立博物館他

妙心寺 竹貫 元勝

妙心寺の古文書 羽田 聡

近世前期妙心寺派
墨蹟の特色 丸山 猶計

初期妙心寺の頂相 救仁郷秀明

妙心寺と狩野元信 山本 英男

妙心寺屏風、友松
・山楽絵画の輝き 山下 善也

白隠 民衆教化の
絵画 福島 恒徳

妙心寺の頂相彫刻 浅見 龍介

ふたつの棄丸坐像
—天正十九年の豊
臣秀吉 浅湫 毅

唐物銅器とその
「和物化」—妙心寺
伝来仏具を中心に 久保 智康

みんなのアート・ミュージアム
2009 富山県立近代美術館

アーティストと共
同制作 堀尾貞治
さんとワークショ
ップ 桐井 昇子

富山大学人間発達
科学部連携事業
スマイルフェステ
イバルin近代美術
館 隅 敦

向付 茶の湯を彩る食の器 五島美
術館

向付の位置づけを
考え直す 田中 仙堂

向付—茶の湯を彩
る食の陶磁器— 砂澤 祐子

無声時代ソビエト映画ポスター 東
京国立近代美術館フィルムセンター
所蔵《袋一平コレクション》より 東
京国立近代美術館フィルムセンター
他

旅の終わり—袋一
平とソビエト映画
ポスター 岡田 秀則

ロシア革命以後の
ポスター「新しい
ものでも、古いも
のでもなく、必要
なもの」 五十殿利治

ロシア・アヴァン
ギャルドの映画ポ
スター—東京国立
近代美術館フィル
ムセンターのコレ
クションからステ
ンペルグ兄弟を中
心に 初山 昌夫

日本におけるソビ
エト映画ポスター
の受容—ポスター
展を中心に 川畑 直道

ムラから見た古墳時代—古墳時代前
期・中期を中心として— 栃木県立
しもつけ風土記の丘資料館

栃木における古墳
時代前期のムラに
ついて 橋本 澄朗

メキシコ20世紀絵画展 日本メキ
シコ交流400周年記念 世田谷美術
館

メキシコ近代絵画
の楽しみ方と、日
本の画家との交流
について 加藤 薫

近代化への道のり
20世紀メキシコ美
術 ラウラ・ゴ
ンザレス・
マトゥーテ
北條ゆかり
訳

CAMKコレクション vol. 3 メリー
・ゴー・ラウンド—煌めきと黄昏—
熊本市収蔵作品展 熊本市制120周
年記念 熊本市現代美術館

転換する身体—メ
リー・ゴー・ラウ
ンドの世界によ
うこそ— 芦田 彩葵

収蔵作品展と、収
蔵作品とその作用
について 富澤 治子

眼をとじて—“見ること”の現在 茨
城県近代美術館

展覧会によせて—
見る作家とつくる
「観客」 市川 政憲

未来を見るために 河口 龍夫

§ 作家の言葉 § 鈴木 省三

透明な闇 エミコ・サ
ワラギ・ギ
ルバート

§ 作家の言葉 § 長沢 秀之

” 岡村桂三郎

「眼をとじて—“見
ること”の現在」展
をめぐる覚え書き 日高理恵子

§ 作家の言葉 § 小林 孝亘

「見ること」の構造 水谷イズル

もう一つの青銅器世界—変わる銅鐸
への想い— 荒神谷博物館

埋納銅矛論のいま 武末 純一

荒神谷の遺跡—埋
納地周辺の遺跡を
めぐって— 平野 芳英

文字の力・書のカラ—古典と現代
の対話 出光美術館

感じ取ることから
始まる書の鑑賞 萱 のり子

文字の力・書のカ
ラ—古典と現代
の対話から 笠嶋 忠幸

百舌鳥・古市 大古墳群—巨大古墳
の時代— 大阪府立近つ飛鳥博物館

百舌鳥・古市古墳
群とヤマト王権 白石太一郎

中国の帝陵 町田 章

高句麗・百済・新
羅・加耶の王陵 東 潮

大王のカリスマに
支えられた時代 高松 雅文

倭の五王とその時
代 上田 正昭

もの・ワザ・情報—古の匠に挑む—
古墳時代金工品の復元 元興寺文化
財研究所

論考 初期馬具の
製作技法の解明—
轡の復元製作を通
じて— 塚本 敏夫

(ヤ行)

躍動する魂のきらめき 日本の表現
主義 栃木県立美術館他

なぜ今、表現主義
なのか—1900年代
からの流路 森 仁史

洋画における表現
主義の予兆 速水 豊

建築のかたち—ポ
スト歴史主義の課
題 梅宮 弘光

ヒュウザン会の成
立と岸田劉生 根本 亮子

大正の個性派 速水 豊

国画創作協会と大正期の日本画	加藤 弘子	やすらぎのオーストリア カフェと たばこにみるウィーンの文化史 た ばこと塩の博物館		古墳時代の金工品 にみる龍文様 千賀 久	
大正初年の版画熱	西山 純子	オーストリアたば こ専売 1784年— 1939年	ザビーネ・ フェルナー	山梨に眠る秘蔵の日本美術 開館三 十周年記念 山梨県立美術館	
彫刻の印象主義と 表現主義	田中 修二	ウィーンのコーヒ ーハウス	ゲオルク・ ティエル	お宝を掘り当てる 醍醐味 安村 敏信	
絵画主義的写真の 展開	竹葉 丈	ウィーンにきた異 邦人	樺山 紘一	山梨ゆかりの近代 日本画と昇仙峡の 絵画 平林 彰	
影響と自立	大谷 省吾	柳川・立花家の至宝 福岡県立美術 館		ユートピア—描かれし夢と楽園 出 光美術館	
尾竹竹坡と玉村方 久斗	加藤 弘子	立花家の至宝—大 名道具のイメージ 植野かおり		コラム1 蘇軾の 残夢と芭蕉の残夢 池澤 一郎	
「デア・シュトゥ ルム木版画展覧 会」の前夜	西山 純子	ながさき地域シリーズ 邪馬台国へ の道 荻岐 長崎歴史文化博物館		コラム2 絵画の 夢世界 笠嶋 忠幸	
表現主義の受容— デザイン	森 仁史	魅る 海の王都 「一支国・原の辻」 —荻岐の弥生時代 のすがた— 松見 裕二		コラム3 満開の 桜—和歌と絵画の 間 佐々木孝浩	
森谷延雄の留学体 験	本橋 浩介	古墳時代の荻岐 田中 聡一		コラム4 山水と ユートピア 宗像 晋作	
「病的」な彫刻表現 の躍動	田中 修二	朝鮮・琉球関係の なかの荻岐 深瀬公一郎		コラム5 寿老人 と理想郷 出光佐千子	
写真の表現主義	竹葉 丈	山寺—歴史と祈り— 山形県立博物 館		夢と追憶の江戸—高橋誠一郎浮世絵 コレクション名品展—慶応義塾創立 150年記念 三井記念美術館	
ユートピアのかた ち	梅宮 弘光	山寺の風景 押切 智紀		高橋浮世絵コレク ションと、高橋の 浮世絵観 内藤 正人	
法悦境から霊楽堂 へ	〃	山寺の歴史と庶民 信仰 野口 一雄		浮世絵と高橋誠一 郎の肖像 樋口 一貴	
舞踊と築地小劇場	木村理恵子	山寺の遺跡と石造 文化財 佐藤 庄一		高橋誠一郎先生を しのんで 服部禮次郎	
音楽における「個」 の表出	後藤 暢子	山寺と死者供養 鈴木 岩弓		夢みるアジア—アジアの伝統的大衆 芸術と現代美術— 福岡アジアコレ クション 高知県立美術館	
『血と霊』狂った 一頁『十字路』	佐相 勉	日本の美・発見2 やまと絵の譜 出光美術館		夢見ることは見ら れること—グロー バル化のなかの 「アジア美術」の三 様態	
南画の再評価	加藤 弘子	やまと絵の譜— 「いま」と「ここ」の 表象 廣海 伸彦		『アジア的』とのあ らたな出会い—福 岡アジア美術館の 現代美術コレクシ ョンを見て— 影山 千夏	
工芸の生命主義	森 仁史	やまと絵の変貌と 風俗画—新たな絵 画誕生 黒田 泰三		ゆるめく日常 アートの交差展—新 進アーティストの視点— 郡山市立 美術館	
市場への流出	〃	倭人がみた龍—龍の絵とのかたち— 大阪府立弥生文化博物館		過去と現在の架け 橋 天使が誘うノ スタルジー 富岡 進一	
リアリティのかた ち	梅宮 弘光	COLUMN 1 龍と 竜		ステートメント 青山ひろゆ き	
S/O —日本近代 絵画史における 「表現主義」の台頭 と変質	北澤 憲昭	COLUMN 2 弥生 絵画のながれと龍		日常からの目覚め 富岡 進一	
洋画における表現 主義	速水 豊	COLUMN 3 龍の 土器の出土範囲			
〈霊楽堂の草案〉と 〈霊楽堂〉について 山田耕筈「音楽の 法悦境」をめぐる 川喜田煉七郎の音 楽堂計画案と舞台 演出案	梅宮 弘光	エッセー 龍を味 わった夏の孔甲 金関 恕			
写真の表現主義— 主観を巡る模索の 展開	竹葉 丈	ヒサゴのシンボリ ズムと龍 辰巳 和弘			
ドイツ表現主義の 舞台芸術と日本	木村理恵子				
生命と身体：神原 泰と山田耕筈	石原 耕太				

ステートメント	北村奈津子
意味の不在／不在の意味	富岡 進一
ステートメント	タムラサトル
時間と空間の境 String oscillation	富岡 進一
ステートメント	野口久美子

夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 II. 中部・近畿・中国地方編
東京都写真美術館

写真術とプロイセンの日本遠征(1860—61)	セバスティアン・ドブソン
展覧会ノート	三井 圭司
松崎晋二著『写真必用 写客の心得』について	田中 里実
松崎晋二著『写真必用 写客の心得』[客が写真を撮られる時の心得]	田中 里実 現代語訳

妖怪展—神・もののけ・祈り— 青森県立郷土館

序論—「妖怪」とは何か—	小山 隆秀
異界探求と津軽の国学—平尾魯仙筆「稲生物怪録」とその周辺	本田 伸

ヨーロッパ・ポスター芸術の開花
アール・ヌーヴォーから20世紀初頭まで 宮城県美術館・三浦コレクションによる 徳島県立近代美術館

宮城県美術館の三浦コレクションについて	有川 幾夫
---------------------	-------

横浜開港百五十年—神奈川・世界との交流— 神奈川県立歴史博物館

アジアの中の日本 開国—日米修好通商条約締結前史再考—	嶋村 元宏
--------------------------------	-------

吉野川紀行—吉野・宇智をめぐる交流と信仰— 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

吉野川紀行—吉野・宇智をめぐる交流と信仰—	
吉野川流域のその他の信仰の世界	大西 貴夫
吉野川流域の縄文文化	松田 真一

方形板革綴短甲を有する宇智の前期古墳「大墓」	前坂 尚志
------------------------	-------

4つの物語 コレクションと日本近代美術 川村記念美術館

4つの物語 近代への道	赤松 祐樹
-------------	-------

米沢愛と義のまち 天地人博2009
米沢市上杉博物館 (『直江兼続 人と時代』)

総論 兼続とその時代	阿部 哲人
米沢天地人博リレー講演1 東アジアの文化伝統と兼続	小島 毅
米沢天地人博リレー講演2 豊臣政権と直江兼続	中野 等
米沢天地人博リレー講演3 奥羽越の「関ヶ原」と直江兼続	山田 邦明
米沢天地人博リレー講演4 「直江状」の世界	八鍬 友広

よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画展 江戸東京博物館

ロバート・ムラー：現実的なロマンチスト	ジェームズ・ユーラック
シマ・アートカンパニー (Shima Art Company, Inc.) の歴史	住居晃太郎
新版画の誕生とその展開—版元渡邊庄三郎の活動を中心に	小山 周子

(ラ行)

ラグジュアリー：ファッションの欲望 京都国立近代美術館他

歴史の中のラグジュアリー、豪奢と快適の間で、18—20世紀	フィリップ・ペロー 徳井 淑子 訳
ラグジュアリー／ファッションの欲望	深井 晃子
抵抗としてのラグジュアリー：川久保玲	長谷川祐子

ゴールドの逆説：漆黒に寄り添う装飾のラグジュアリー	鶴岡 真弓
---------------------------	-------

真の贅沢さとはなにか—ハプスブルク家の宝物コレクションから大学博物館の学術コレクションまで	西野 嘉章
-----------------------------------------------	-------

ラブラブショー 青森県立美術館×十和田市現代美術館 青森県立美術館／十和田市現代美術館

WHAT IS THIS THING CALLED LOVE LOVE SHOW—「ラブラブショー」とは何でしょう	工藤 健志
鈴木理策×遠山裕崇：「花」	〃
岡崎京子×伊藤隆介：「ジオラマボーイ パノラマガール」	村雨ケンジ
曾我部恵一×奥村雄樹：「本日は晴天なり」	板倉 容子
立石大河亜×松村泰三：「観光—光を観る」	原田 真紀
斎藤義重×菊地敦己：「ポジとネガ」	茂田 有徳
ロビン西×KIMURA：「漫×技」	山貝・M・征典
吉田初三郎×秋山さやか：「地図と移動をめぐる表現」	山貝征典⑤
ステイトメント	西澤 徹夫 寶神 尚史
〃	assistant

ラブラブショーにささげる (LOVE LOVE SHOW DICTIONARY)	山貝 征典
------------------------------------------	-------

リキテックス・ビエンナーレ入選作品展12回 スパイラルガーデン

第12回リキテックス・ビエンナーレ選評座談会	城戸真亜子 榎木 野衣 寺門 孝之 水谷 孝次 千葉 成夫
------------------------	-------------------------------------------

リトグラフィ・オリジナル—アーティストとアトリエMMGの夢と革命
1974—2007 宇都宮美術館

MMG	ロペール・ランク 有木 宏二 訳	「レンブラントのヨーロッパ」における世界周航、庭園、科学革命	ブレーズ・デュコス 今井 澄子 訳	冷泉家 王朝の和歌守〔うたもり〕展 東京都美術館他	
MMGの創設	益田 祐作	伝統を教えるということ—17世紀のヨーロッパ美術におけるオリジナルとコピー	カール・ゴールドスタイン 新畑 泰秀 訳	冷泉家—文化の「蔵番」	冷泉 為人
リトグラフィの「生命」	有木 宏二	南蛮美術と方向付け／17世紀日本における方位と世界	中谷 至宏	型的美、冷泉家の和歌	冷泉貴実子
琉球絵画展—琉球王朝から近代までの絵画—	沖縄県立博物館・美術館	江戸のゼウクシス—写実をめぐる日蘭交流	幸福 輝	冷泉家時雨亭文庫の勅撰集と私家集	片桐 洋一
「琉球絵画」の今日的意義	岡本美奈子	ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち 国立新美術館他		コラム1 冷泉家時雨亭叢書	上野 武
「琉球の絵画」	西村 貞雄	ルーヴル美術館のコレクションで迎える子どものイメー		コラム2 『明月記』のなかの京都	横山 和弘
首里城那覇港鳥瞰図の系譜	安里 進	ジ		コラム3 『明月記』の紙背文書	田中 倫子
絵師たちの近代	後田多 敦	古代エジプトの子ども		コラム4 集付と勅撰集	田中 登
研究ノート 琉球絵画の形—孔子像のイコノロジー—	平川 信幸	古代オリエントの子ども		コラム5 西行の書写	〃
琉球美術史研究と美術団体	新城 栄徳	古代ギリシャの子どもたちの表現		コラム6 定家と百人一首	赤瀬 信吾
鎌倉資料の果たした役割	波照間永吉	ゴシック美術におけるキリストの幼年時代：信仰と日常生活の間		乞巧奠 星に願いを—和歌の上手になれますように—	冷泉貴実子
八重山蔵元絵師たち	石垣 博孝	ルネサンス末期のイタリアにおける芸術家と子ども		コラム7 関東武士と歌	小林 一彦
「琉球絵画」人名事典	仲村 顕	幼いプットーをめぐる—ブッサン、デュケノワからプーシェへ—		コラム8 奥書と本の姿	藤本 孝一
琉球使節、江戸へ行く！—琉球慶賀使・謝恩使一行二、〇〇〇キロの旅		18世紀フランスにおける子どもの表現：啓蒙時代の肖像と風俗画		コラム9 定家様	〃
絵巻—	沖縄県立博物館・美術館	子どもへの眼差し—シャルダンをめぐる—		コラム10 定家と物語	橋本 正俊
展示概観「琉球使節、江戸へ行く！—琉球慶賀使・謝恩使一行二、〇〇〇キロの旅絵巻—」	崎原 恭子	19世紀美術における幼少期—優しさと親密さ：社会的役割と経済的機能—		コラム11 宮中歌会	赤瀬 信吾
「江戸上り」から「江戸立」へ—琉球使節像の転回—	豊見山和行			写本の製作と修理	藤本 孝一
琉球使節の文化交流—文学・芸能—	崎原 綾乃			コラム12 霊元天皇と冷泉家	〃
江戸幕府と琉球使節—東照宮参詣を中心—	真栄平房昭			コラム13 細部に宿る女性らしさ	岸本 香織
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 国立西洋美術館他				連作「馬鹿—もの」の世界 調布市武者小路実篤記念館	
序文 17世紀ヨーロッパ文化にひそむ陰の領域	ブレーズ・デュコス 陳岡めぐみ 訳			“馬鹿—もの”—繰り返す生きる意義への問いかけ	伊藤 陽子
17世紀ヨーロッパにおける絵画と政治	ヘンドリック・ツイーグラ 栗田 秀法 訳			ロシアの夢 1917—1937 革命から生活へ—ロシア・アヴァンギャルドのデザイン 埼玉県立近代美術館他	
				ロシア・アヴァンギャルド、または、夢とユートピアへの献身	亀山 郁夫
				革命と芸術—クルツィスの場合—	前山 裕司

プロパガンダの芸術	ユリヤ・デミデンゴ 久野 康彦 訳
構成主義から 生産主義へ	岡部 信幸
「プロパガンダを行うための絵」としてのポスター	エレナ・バルハトヴァ 久野 康彦 訳
アヴァンギャルド演劇の《記憶》	桑野 隆
ヴフテマスの夢	千葉真智子
ロシア・アヴァンギャルド建築、その正統の余白に	八束はじめ
ソヴィエト・テキスタイル	前山 裕司
ロシア・アヴァンギャルドの音楽	梅津 紀雄

(ワ行)

忘れえぬロシア リアリズムから印象主義へ 国立トレチャコフ美術館展 Bunkamuraザ・ミュージアム他

リアリズムから印象主義へ	ガリーナ・チュラク 福岡 加容 訳
恩寵とカオスの彼方から—トレチャコフ美術館断想	亀山 郁夫
パーヴェル・トレチャコフの美術館	タチアナ・ユデンコワ 宮澤 政男 訳

私たちの目 埼玉県立近代美術館

出会いが紡ぐ可能性	三澤 一実
シンボジウム「障害者アートの魅力と可能性」	三澤 一実 コーディネーター

作家展

(ア行)

レインボー喜寿 蠶嘸—版画作品を中心に— 三鷹市美術ギャラリー

〈ノート・レインボー喜寿・展〉	蠶 嘸
AY—Oさんとわたしと版画	助田 憲亮

虹のコレクション (虹の根元にある金の壺)	森 秀貴
Rainbow #77—レインボー喜寿—	富田 智子

青木龍山回顧展 寄贈記念 佐賀県立九州陶磁文化館

父 青木龍山	青木 清高
龍山作品の特徴と展開	鈴木由紀夫

芥川紗織展 横須賀美術館他

芥川(間所)紗織の作品	中原 佑介
芥川(間所)紗織の歩み	工藤 香澄

麻生三郎とそのコレクション 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

この無言の確立を見よ—麻生三郎コレクションをめぐって	水沢 勉
麻生三郎コレクションに寄せて—私の視点から	麻生 マユ

あべ弘士動物交響楽—交差するいのちの詩— 北海道立旭川美術館

「あべ弘士動物交響楽」展を終えて	小菅 正夫
あべ弘士の獺祭と絵本の世界	中村 聖司

進める荒井良二のいろいろ展 世田谷文学館

ようこそ ぼくの展覧会へ	荒井 良二
後記	矢野 進

栗津潔60年の軌跡 複々製に進路をとれ 川崎市市民ミュージアム

展覧会によせて	栗津 ケン
栗津潔と川崎市市民ミュージアム	平井 直子

だれが話そうとかまわないではないか、だれかが話したのだ:「栗津潔」の全体像にかえて

複々製に進路をとれ、あるいはコピーのユートピアへ	植田 憲司
--------------------------	-------

模倣と独創	吉岡 洋
栗津潔の現在性	不動 美里

対談:中村信夫×栗津ケン

視覚伝達デザインという言葉の出自 及部 克人

栗津潔と『デザイン批評』 室賀 清徳

グラフィックと映像 松本 俊夫

K・栗津の歓喜と放心 岩槻 歩

栗津潔と映画 江口 浩

「すてたろう」をめぐる考察—栗津潔が試みたマンガ表現 金澤 韻

栗津潔の「写真」の位相 深川 雅文

師父・栗津潔 三嶋 典東

松本が松本のスタイルですvol. 6

石井鶴三展—芸道は白刃の上を行くが如し— 松本市美術館

[豊かな時間] 辻井 喬

鶴三版画 池内 紀

中丸回顧 長原ルリヤ

素描は鶴三芸術のエッセンス 大島 武

石井鶴三と挿絵 小林 純子

鶴三の周辺 細萱 禮子

石内都展 上州の風にのって

1976/2008 大川美術館

回帰する記憶 楠本 亜紀

ワーレントラスの橋 石内 都

石内都展について 小此木美代子

石内都 Infinity∞ 身体のゆくえ

群馬県立近代美術館

身体の悲しみ 石内 都

石内都の「身体」1988—2008 佐藤 聖子

彼女あるいは私の分身—《Mother's》とその他の連作 倉石 信乃

石内都《Mother's》《ひろしま》—「肉親の喪失」という影 林 洋子

映像をめぐる冒険vol. 2 躍動するイメージ。石田尚志とアブストラクト・アニメーションの源流 東京都写真美術館

躍動するイメージ。石田尚志とアブストラクト・アニメーションの源流	岡村 恵子	\$ 作家の言葉 \$	金氏 徹平	伊藤公象/巽なるものと土のパロック・エロスの思考が切り開いた存在の原基—	谷 新
“Spirit”ではない、“Eternal Recurrence”を! もしくは石田尚志について	足立 智美	\$ 作家の言葉 \$	鬼頭 健吾	recycle/rebirth 伊藤公象—制作の転生	井野 功一
石元泰博[多重露光] 武蔵野美術大学美術資料図書館		\$ 作家の言葉 \$	半田 真規	多軟面体への道—「公象」以前の伊藤公象—	森 千花
石元泰博、カラー多重露光を語る	石元 泰博 森山 文責	第一回シンポジウム「変成態—リアルな現代の物質性」	天野 一夫 金氏 徹平 上村 卓大 富井 信洋 中西 信洋 袴田京太郎 東恩納裕一	若冲ワンダーランド[伊藤若冲] MIHO MUSEUM	
生成する時間へのまなざし……パウハウスの伝統から未来へ	伊藤 みろ	アーティストトーク 富井大裕×中西信洋	天野 一夫 富井 大裕 中西 信洋	伊藤若冲のワンダーランド	辻 惟雄
石元泰博の「見る方法」……シカゴにおける石元の初期の経験	中森 康文	アーティストトーク 泉孝昭×上村卓大	天野 一夫 泉 孝昭 上村 卓大	私の伊藤若冲	宇佐美英機
石元泰博という写真家……経歴紹介に代えて	森山 明子	アーティストトーク 東恩納裕一	天野 一夫 東恩納裕一	修復の現場から—象と鯨図屏風	岡田 秀之
変成態—リアルな現代の物質性 VOL.2 泉孝昭×上村卓大 ギャラリーαM		第二回シンポジウム「現代における造形感覚」	天野 一夫 鬼頭 健吾 高柳 英樹 中村 真規	若冲の歌を聴け	狩野 博幸
変成態—リアルな現代の物質性	天野 一夫	アーティストトーク 袴田京太郎	天野 一夫 袴田京太郎	ワンダーランドの共住者たち 蕪村・大雅・応挙・蕭白・蛇玉	岡田 秀之
変成態のために—「彫刻」の現在	〃	アーティストトーク 鬼頭健吾	天野 一夫 鬼頭 健吾	1floor 2009 「THREE DUBS」[井上賢治/平田さち/芳木麻里絵] 神戸アートビレッジセンター	
擬態と変成	沢山 遼	アーティストトーク 金氏徹平	天野 一夫 金氏 徹平	\$ 作家の言葉 \$	井上 賢治
中原浩大インタビュー	天野 一夫 聞き手	アーティストトーク 半田真規	天野 一夫 半田 真規	〃	平田 さち
異物感に溢れショートした場	天野 一夫	第三回シンポジウム「近代を遠くながめて」	天野 一夫 金氏 徹平 田中 真規	〃	芳木麻里絵
揺れ動く動性	〃	一ノ戸ヨシノリ展 水と光—異空間へのアングル 北海道立旭川美術館		井上雄彦 最後のマンガ展 重版(熊本版) 熊本市現代美術館	
作られるものの定義	富井 大裕	前衛の祭り/一ノ戸ヨシノリの半世紀	中村 聖司	\$ 作家の言葉 \$	井上 雄彦
私にとってのものを見ることは	中西 信洋	一ノ戸ヨシノリ—「写像空間シリーズ」から水と光の異空間を求めて	光岡 幸治	「井上雄彦 最後のマンガ展 重版(熊本版)」美術館に何が起こったか	桜井 武
「のようなもの」の生成	天野 一夫	伊藤公象 WORKS 1974—2009 茨城県陶芸美術館他		連続講演会—載録 1 「井上雄彦 最後のマンガ展」というマンガ、その特徴について	富澤 治子
最近の出来事と作品	泉 孝昭	伊藤公象の世界—土の現象と構造について—	乾 由明	連続講演会—載録 2 井上雄彦と日本水墨画史	山下 裕二
やさしさに包まれているから	上村 卓大			連続講演会—載録 3 武蔵・どうしてそんなに男前肖像の変遷	島田 真祐
皮膜—生と死	天野 一夫			連続講演会—載録 4 井上雄彦と「最後のマンガ展」を語る	伊藤比呂美
\$ 作家の言葉 \$	東恩納裕一				
明るいウィルス	天野 一夫				
「つくる」ということについて	袴田京太郎				
交通的造形	天野 一夫				

連続講演会—載録 5 何のために人を斬るのか—『赤胴鈴之助』から『忍者武芸帳』、『バガボンド』まで—	宮本 大人	上野伊三郎+リチコレクション展 ウィーンから京都へ、建築から工芸へ 京都国立近代美術館他		窓からの眺め—神戸女学院岡田山キャンパスに見るヴォーリズの美学	濱下 昌宏
連続講演会—載録 6 図書館とマンガ	藏座 江美	上野伊三郎+リチコレクション ウィーンから京都へ、建築から工芸へ	山野 英嗣	豊郷小学校の建築意義	川島 智生
伊庭靖子—まばゆさの在処[ありか]— 神奈川県立近代美術館(鎌倉)		上野リチと稲葉七宝	松原 龍一	朝吹別荘とその移築保存	松岡 温彦
ものみな光に侵されて—伊庭靖子展に際して	山梨 俊夫	京都市立美術大学における上野伊三郎先生、リチ先生の指導について	鈴木 佳子	旧八幡郵便局舎の再生	石井 和浩
まばゆさの在処[ありか]—伊庭靖子の現在	水沢 勉	建築家上野伊三郎—その活動の足跡—	笠原 一人	ピアソン記念館とヴォーリズ	伊藤 悟
伊庭靖子インタビュー	是枝 開 聞き手	日本インターナショナル建築会とブルーノ・タウトの邂逅、得られたもの	川島 智生	ヴォーリズネットワークの活動	土井 祥子
具体的な物象との距離—インタビューを終えて	是枝 開			座談会 ヴォーリズさんを慕って	林 一、 吉田 弘、 矢野 義幸、 芹野 与幸司会
建築家 今井兼次の世界 III—祈りの造形— 多摩美術大学美術館		ウィリアム・メレル・ヴォーリズ 恵みの居場所をつくる パナソニック電工汐留ミュージアム		コラム ヴォーリズの窓	石田 忠範
今井兼次の建築とキリスト教精神	上松 佑二	コラム ヴォーリズの暖炉	石田 忠範	内井昭蔵の思想と建築 自然の秩序を建築に 世田谷美術館	
今井兼次の教会建築	石川 恒夫	コラム ヴォーリズの照明器具	〃	あいさつにかえて	酒井 忠康
今井兼次共同研究会の活動について	山下 泉	コラム ヴォーリズの階段	〃	「内井昭蔵の思想と建築」展ノート	橋本 善八
今田淳子展 熊本市現代美術館		コラム ヴォーリズの扉	〃	内井昭蔵の建築と、彼の建築史観との関わり	長谷川 堯
絶え間ない祈り	今田 淳子	理想を形に—ミッションスクールの建築	山形 政昭	「内井昭蔵の思想と建築」展によせて	梅原 猛
田中屋コレクション 小村雪岱×岩崎勝平 ひとを極める 川越市立美術館		『吾家の設計』とヴォーリズの住宅	〃	昭蔵と暮らした43年	内井 乃生
小村雪岱	折井 貴恵	ミッションに生きる—ヴォーリズ建築を生み出したもの	奥村 直彦	自由と平等の調停：マスターアーキテクト方式	北尾 靖雅
岩崎勝平	濱田 千里	ヴォーリズ建築のころとかたち	石田 忠範	芸術・社会貢献建築家 内井昭蔵	仙田 満
呉強展 無上清涼 BTAP	東京画廊+	スパニッシュなヴォーリズ	藤森 照信	環境建築 意匠の伝道師	西川 幸治
復古は新しさになり 寂寞は画になり—呉強の山水画にみる美学	梅 鶴圃 小山ひとみ 訳	ヴォーリズとモダン都市	海野 弘	長谷木記念幹の建築をめぐる	長谷川晴一
至上なる清涼	潤 松 小山ひとみ 訳	アメリカ建築史から見たヴォーリズ	福田 晴虔	失ったアイコン	内井 昭蔵
ウェイ・ジャ(韋嘉) In the Distant Fields and Smoky Woods 小山登美夫ギャラリー		軽井沢とヴォーリズ	内田 青蔵	江口週彫刻展 第14回本郷新賞受賞記念 札幌彫刻美術館	
ひとりの男の闘い、ひとりの男の和解 ウェイ・ジャ個展「はるかな地、かすんだ森で」について	孫 暁彤	ヴォーリズの恩恵	阿川佐和子	第14回本郷新賞を受賞するにあたって	江口 週
		ヴォーリズと関西学院—重なり合うそれぞれのあゆみ	田淵 結	選考所感	酒井 忠康
				オラファー・エリアソン あなたが出会うとき 金沢21世紀美術館	
				あなたが出会うとき	オラファー・エリアソン

円空・木喰展 『庶民の信仰』の系譜
奥田元宋・小由女美術館他

円空と木喰一作仏 聖の系譜	宮治 昭
「庶民の信仰」の系 譜 円空仏・木喰 仏	小島 梯次
円空の作品と生涯	〃
木喰の作品と生涯	〃

大岩オスカル個展 ASIAN KIT-
CHEN 東京画廊+BTAP

「こんにちは！」	大岩・オス カール
オスカルメガネ	鎮西 芳美
大岩オスカルー 都市への眼差し	アンジェロ ・ブッチ
大岩オスカルの 絵画について一署 名性と気象の行方	峯村 敏明

大河原邦男のメカデザイン ガンダ
ム、ボトムズ、ダグラム 八王子市
夢美術館 (『メカデザイン for1/1
メカニックデザイナー大河原邦男』)

大河原ティスト	富野由悠季
大河原さんの展覧 会に寄せて	高橋 良輔
大河原さんの描く メカは優しい。	安彦 良和
§展覧会によせて §	出淵 裕
〃	カトキハジ メ
〃	樋口 真嗣
大河原邦男インタ ビュー メカデザ インの思想と原 点。	
デザイナーとして の大河原邦男	浅沼 塁

よみがえる前衛—太田昇の遺作—
練馬区立美術館

遊走する形象—太 田昇のドローイン グ	加納 光於
---------------------------	-------

大竹利絵子「夢みたいな」 小山登美
夫ギャラリー

止まり木が鳥でも あるような—大竹 利絵子の木彫に寄 せて—	峯村 敏明
-----------------------------------------	-------

大津鎮雄—美しい風景を求めて・旅
情を描いた画家の生涯— サトエ記
念21世紀美術館

西欧の誘惑—美し い風景を求めて—	江口 健
----------------------	------

大橋歩展 平凡パンチからアルネま
で アート・ファッション・ライフ
スタイル 1964年—2009年 三重
県立美術館 (『大橋歩 わたしの時
代』)

イラストレーター の仕事	大橋 歩
男に生まれてくれ ばよかった	〃
「大橋歩」が歩き出 す	〃
ファッションを描 くということ	〃
一歩ではなく、半 歩先くらいで	〃

淀川美代子×大橋
歩 雑誌の時代、
ファッションの時
代

§作家の言葉§	大橋 歩
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃

大橋歩 等身大の
背伸び

美術を遊ぶ展「奥田美樹／川田英二
／林真」 稲沢市荻須記念美術館

美術を遊ぶ展につ いて	日野 幸治
§作家の言葉§	林 真
〃	川田 英二
〃	奥田 美樹

shiseido art egg 3回 小野耕石展

古き頃、月は水面の色を変えた 資
生堂ギャラリー (『第3回セイド
ウアートエッグ 宮永愛子 佐々木
加奈子 小野耕石』)

第3回 shiseido
art egg賞 審査実
施報告

小野忠重展—昭和の自画像—生誕
100年 町田市立国際版画美術館

版の人生	池内 紀
------	------

「小野版画ノ守忠
重」と尊称された 人 村田 哲朗

実像をさがして—
再考、小野忠重と
プロレタリア美術
運動 滝沢 恭司

造型版画協会の航
路 加治 幸子
編

主要著作目録 和南城愛理

小野竹喬展 生誕120年 大阪市立
美術館他

自然の心を描く—
小野竹喬が目指し
た芸術 上蘭 四郎

COLUMN 1 竹内
栖鳳塾での修行 徳山亜希子

COLUMN 2 祖父
・白神澹庵、兄・
竹桃(益太郎) 徳山亜希子

COLUMN 3 竹喬
における西洋絵画
の受容 鶴見 香織

COLUMN 4 国画
創作協会の創立 〃

COLUMN 5 近世
文人画への憧れ 弓野 隆之

COLUMN 6 竹喬
と俳句 上蘭 四郎

COLUMN 7 竹喬
と平八郎、神泉 弓野 隆之

COLUMN 8 茜空
の意味するもの 上蘭 四郎

COLUMN 9 墨彩
画への挑戦 弓野 隆之

小野竹喬《島二作》
《郷土風景》につい
て 鶴見 香織

小野竹喬の渡欧を
めぐって 徳山亜希子

[参考資料]小野竹
喬自筆原稿より
「私の歩いた道」/
「貧乏の頃」 笠岡市立竹
喬美術館
編

小野木学 ナヤミノタネ展 練馬区
立美術館

余命を知った画家
は何を描いたか 上矢 津

小野木学にみる私
たちの風景 小野 寛子

(力行)	加藤孝造・求道の造形 榎本 徹	若き日のガレの躍進と陶芸作品の魅力 鈴木 潔
ドウシャン・カーライの超絶絵本と ブラチスラヴァの作家たち展 スロ ヴァキアが生んだ色彩の魔術師 板 橋区立美術館他	加藤孝造の作陶に みる原点 立花 昭	
スロヴァキアのイ ラストレーション	変成態—リアルな現代の物質性[泉 孝昭他]VOL.6 金氏徹平 ギャラ リーαM	グランヴィル『生 きている花々』— エミール・ガレが 少年時代に出会っ た本— 宮内ちづる
カーライ先生に聞 く	清方ノスタルジア 名品でたどる鎚 木清方の美の世界 サントリー美術 館	エミール・ガレと 葛飾北斎—深化し た日本解釈— 高橋 哲也
Iwan・ヤン チャール 木村 英明 記	清方のノスタルジ ア 思い描いた時 代 懐かしの光景 —続きの地平— 三戸 信恵	ガラスの植物学者[ボタニスト] エ ミール・ガレ展 茨城県陶芸美術館
Varda Caivano The Inner Me [ヴァ ルダ・カイヴァーノ] 小山登美夫 ギャラリー	清方の絵に託され た情意 《春雪》に 至る過程と後世代 へのことづて 宮崎 徹	エミール・ガレの 超えたもの—アー ル・ヌーヴォーの 波とともに— 土田ルリ子
ヴァルダ・カイヴ アーノ	生き証人・福富太 郎に訊く清方 福富 太郎、二 山下 裕二	日本のガレ受容を めぐる三つの種子 —「日本人のガレ 好き」はいつから 始まったのか?— 花井 久穂
Varda Caivano — Exploring “ Unti- tled ” Games of Painting	清方と春章 二人 の美人画をつなぐ もの 内藤 正人	川上澄生展 文明開化を描いた版画 家 そごう美術館(横浜)
片岡球子展 天に献げる地上の花 追悼103歳 松坂屋美術館他	清方面にみる江戸 絵画の影響—西 鶴、京伝、歌麿 池田 芙美	川上澄生 その生 涯と作品 原田 敏行
絵画への情熱に貫 かれた一生 山梨 俊夫	変成態—リアルな現代の物質性[泉 孝昭他]VOL.3 泉孝昭×上村卓大 ギャラリーαM	黒船館主吉田正太 郎に宛てた川上澄 生の書簡—吉田と の交流により創作 された川上作品— 森谷 美保
片岡球子(面構)め ぐり 鍵岡 正謹	神戸の美術家 亀高文子とその周辺 神戸市立小磯記念美術館	川上澄生が描いた女性—ノスタルジ アを求めて— 川上澄生美術館
もう一つの片岡球 子論 奥岡 茂雄	文子の絵の歩み— 横浜・東京・神戸 ・西宮 太田 素子	川上澄生が描いた 女性—ノスタルジ アを求めて— 臼井佐知子
教育者として一片 岡球子先生の思い 出 片岡球子先生 と疎開児童 中橋 教徹	亀高文子の絵画 辻 智美	川喜田半泥子のすべて 岐阜県現代 陶芸美術館他
教育者として一片 岡球子先生の思い 出 裸婦デッサン 指導と口紅 佐野 めい	加山又造展 1927—2004 国立新 美術館他	半泥無茶 高橋 睦郎
教育者として一片 岡球子先生の思い 出 追悼 片岡球 子 山本 直彰	加山又造について 尾崎 正明	川喜田半泥子の陶 芸 榎本 徹
香月泰男と1940—50年代の絵画 時代の造形詩—モダニズムから新た な地平へ 没後35年 下関市立美 術館	加山又造—屏風絵 から工芸、デザイ ンへ 西野 華子	半泥子の書と絵画 毛利伊知郎
香月泰男の1940— 50年代と(シベリ ア・シリーズ) 安井雄一郎	加山又造—美の変 遷 川西 弘一	半泥子慶世羅々々 の生涯 千早耿一郎
香月泰男・1940— 50年代の展開—モ ダニズムから新た な地平へ— 濱本 聡	木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝ ブレッソン—東洋と西洋のまなざし 東京都写真美術館	半泥子陶芸の技法 と素材 石崎 泰之
加藤孝造展 岐阜県現代陶芸美術館	東洋と西洋のまな ざし、その相違と 相似 金子 隆一	半泥子と写真 榎本 徹
	エミール・ガレ 陶器のジャポニス ム—フランスに花開く日本の美— ふくやま美術館	関係者インタビュ ー 半泥子を語る 種蒔く人 半泥子 三輪 壽雪 小野 公久 聞き手
		関係者インタビュ ー 半泥子を語る 一期一会の心 二代小西平 内 小野 公久 聞き手

関係者インタビュー — 半泥子を語る 心のままに	坪島 主平 小野 公久 聞き手	“異彩”川口直次氏 の舞台美術の世界	寺崎 裕則	木田安彦の世界 木版画「西国三十 三所」 ガラス絵「日本の名刹」 京 都府京都文化博物館他	
関係者インタビュー — 半泥子を語る 乾山以上の人	赤坂 政次 小野 公久 聞き手	バレエの美術	川口 直次	デザイン都市KYO- TOから	三宅 一生
関係者インタビュー — 半泥子を語る 道具具は腐って当 たり前	松平 紫子、 飯田 玲子 小野 公久 聞き手	紀伊国屋ホールと 南座	川口 直次	あとがき	木田 安彦
財団法人石水会館 について	飯田 俊司	吾が敬愛する美術 監督、川口直次君	深町 幸男	北大路魯山人展 没後50年 ふく やま美術館／ふくやま書道美術館他	
河口龍夫 言葉・時間・生命 東京 国立近代美術館		大河ドラマ	川口 直次	北大路魯山人—そ の芸術家としての 歩み	中ノ堂一信
星座をつくる人	大谷 省吾	美味い魚と旨い酒	吉村 芳之	魯山人の刻字と書	石永 益三
河口龍夫—未来形 の芸術	松本 透	テレビの美術	川口 直次	須田菁華窯と魯山 人	須田 菁華
「精神の冒険」とし ての芸術—関係の こちら側からの記 憶の断片としての 覚書	河口 龍夫	映画の美術	〃	魯山人の絵画	平野 明彦
作品解説(ギャラ リートーク風に)	大谷 省吾	「生きてる」美術	浜本 正機	魯山人の陶芸	梶山 博史
交響曲としての展 覧会	〃	広重と巴水—日本の風景—[川瀬巴 水] 中山道広重美術館		宮永東山窯と魯山 人	宮永 東山
§ 作家の言葉 §	河口 龍夫	近代日本版畫の潮 流と渡邊版畫店	渡邊章一郎	星岡茶寮の器	大槻 倫子
〃	〃	「広重と巴水—日 本の風景—」によ せて	福田 訓子	遊部商店と魯山人 魯山人と漆芸 そ の1	遊部 文吾
〃	〃	美術を遊ぶ展[奥田美樹／川田英二 ／林真] 稲沢市荻須記念美術館		金重陶陽と魯山人 の備前焼	金重 晃介
〃	〃	菊池契月展 生誕130年記念 三重 県立美術館他		陶工・山本興山と 魯山人	山本 興山
川口直次 舞台芸術—オペラ、パレ エ、演劇、テレビ、映画から— 武 蔵野美術大学美術資料図書館		日本画家・菊池契 月—その“美”の背 景	渡辺 美保	魯山人の漆芸	鎌田 亨
退任展に際して	川口 直次	京都から見る契月	吉中 充代	辻石斎と魯山人 魯山人と漆芸 そ の2	辻 石斎
2つのトスカ	〃	契月のみた欧州	道田 美貴	北島敬三 1975—1991 コザ／東京 ／ニューヨーク／東欧／ソ連 東京 都写真美術館	
川口直次舞台美術 展に寄せて	アントネッ ロ・マダウ ニディアツ 田口 道子 訳	菊池契月と京都市 立絵画専門学校— 教育者としての足 跡—	鈴木 博喬	特急写真の事故現 場—北島敬三の 「写真特急便」をめ ぐって	榎木 野衣
日本人による「蝶 々夫人」	川口 直次	館林に生まれた日本画家 岸浪百草 居展—南画学習から写実を経て魚類 画の名手に—生誕120年 群馬県立 館林美術館		ニューヨークの北 島敬三	四方田犬彦
地方オペラについ て	〃	岸浪百草居の歩み —近代美術の流れ と照らし合わせて—	中田 宏明	キタッチのタッチ とチック	島田 雅彦
オーチャードホール と新国立劇場の 椿姫	〃	中島定司が生まれ た館林、岸浪翠溪 が学んだ館林	岡屋 紀子	封印の解かれたス ナップショット 北島敬三 1975— 1991	岡部 友子
新国立劇場のスラ イディングステー ジ	〃	小杉放菴から見た 岸浪百草居	田中 正史	変成態—リアルな現代の物質性[泉 孝昭他]VOL.7 鬼頭健吾 ギャラ リーαM	
音楽教育とオペラ	〃	楠瀬日年刻岸浪百 草居用印	伊藤 明	木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝ ブレッソン—東洋と西洋のまなざし 東京都写真美術館	
日本のオペラ	〃	楠瀬日年小伝 1888(明治21)— 1960(昭和35)	野中 穎僊		
オペレッタの美術	〃				

権鎮圭 東京国立近代美術館／武蔵野美術大学美術資料図書館他

感情と構造—権鎮圭の彫刻	松本 透
権鎮圭造形論	柳 枝延
権鎮圭—ブルデルの「後裔」	黒川 弘毅
権鎮圭と日本	劉 俊相
権の思い出	仙名 秀雄
戸嶋靖昌かく語りき	執行 草舟
権鎮圭評伝	朴 亨國

久隅守景—加賀で開花した江戸の画家— 石川県立美術館開設50周年記念 石川県立美術館

久隅守景の画業—《納涼図》への道	村瀬 博春
------------------	-------

描かれた哀愁—国吉康雄・野田英夫・ベン・シャーン— 大川美術館

国吉康雄、ベン・シャーン、野田英夫と哀愁	小此木美代子
----------------------	--------

久野和洋—地の風景— 練馬区立美術館

《地の風景》について	久野 和洋
ジョッテスキとしての久野和洋	小野 寛子

クリムト、シーレ ウィーン世紀末展 ウィーン・ミュージアム所蔵[グスタフ・クリムト／エゴン・シーレ] 札幌芸術の森美術館他

私にはウィーンが必要だ……エゴン・シーレ ウィーンにおける芸術生活の諸段階—リアリズムから表現主義へ—	ハンネス・エッツルス トルファー ナロック・ハイコ 訳
-----------------------------------------------------	-----------------------------------

双頭の鷲のもとに：ウィーン世紀末の夢と現実	千足 伸行
-----------------------	-------

I リアリズムから情緒印象主義へ	ハンネス・エッツルス トルファー 松井 隆夫 訳
------------------	--------------------------------

II クリムトとそのサークル	〃
----------------	---

III エゴン・シーレ	〃
-------------	---

IV 分離派とウィーン工房	〃
---------------	---

V 自然主義 vs. 表現主義

パウル・クレー 東洋への夢 千葉市美術館他

芸術刷新の原動力となったジャポニスム	隠岐由紀子
--------------------	-------

クレーと東洋美術	奥田 修
1916年の文字絵制作に至るパウル・クレーと東洋の関係	野田由美意

出品作品をめぐる	奥田 修
----------	------

黒田清輝のフランス留学 東京国立博物館

黒田清輝のフランス留学	山梨絵美子
-------------	-------

桑原盛行展 点から円へ—格子図上の旅 池田20世紀美術館

桑原盛行の図上の旅	瀬木 慎一
-----------	-------

ウィリアム・ケントリッジ—歩きながら歴史を考える—そしてドローイングは動き始めた…… 京都国立近代美術館他

展覧会を紹介する—待ちながらウィリアム・ケントリッジを考える—	河本 信治
---------------------------------	-------

ジェーン・テイラー 永田 絵里 訳	芸術家の肖像
-------------------	--------

身体の介在、イリュージョンとリアリティー：映画とメリエスへのオマージュ	神谷 幸江
-------------------------------------	-------

ウィリアム・ケントリッジ講演	
----------------	--

台湾の心・台湾の情—廖修平・江明賢二人展— 渋谷区立松涛美術館

台湾現代版画の旗手廖修平の記号シリーズ版画	王 秀雄
-----------------------	------

廖修平の版画と思想	瀬木 慎一
-----------	-------

台湾版画史中の廖修平	味岡 義人
------------	-------

江明賢—郷土への憧憬と現代水墨画の新境地	潘 福
----------------------	-----

「台湾古跡風情之美」に魅せられて	森 美根子
------------------	-------

悠久、深淵な歴史に筆を託す—江明賢の水墨世界 潘 示福

鴻池朋子 インタートラペラー 神話と遊ぶ人 東京オペラシティアートギャラリー (『鴻池朋子 死者と遊ぶ人』)

生命讃歌の旅人	高階 秀爾
---------	-------

死者と遊ぶ人	鴻池 朋子
--------	-------

物語の解体から神話の起源へ	飯田志保子
---------------	-------

千のナイフと一匹の狼	中沢 新一
------------	-------

ゴーギャン展 我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか 名古屋ポストン美術館

ブルターニュ以前のゴーギャン	ジョージ・T. M. シヤックルフォード
----------------	----------------------

ブルターニュでのゴーギャン	〃
---------------	---

ゴーギャン最初のタヒチへの旅	〃
----------------	---

フランスへの帰国 1893—95	〃
------------------	---

我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか	〃
-------------------------------	---

タヒチからマルキーズ諸島へ	〃
---------------	---

ゴーギャン展 東京国立近代美術館

ゴーギャンへの試論	中林 和雄
-----------	-------

《我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか》解説	鈴木 勝雄
-----------------------------------	-------

小島一郎—北を撮る 青森県立美術館

北を撮る—小島一郎論	高橋しげみ
------------	-------

小杉放菴と大観—響きあう技とこころ 出光美術館

コラム 放菴が持ち帰った東洋的な線—「片ぼかし」	出光佐千子
--------------------------	-------

コラム 放菴と大観の変わらぬ友情	〃
------------------	---

コラム 出光佐三と放菴—清雅な美による交流	〃
-----------------------	---

コラム 岩野平三 郎の麻紙と放菴	〃	「斎藤義重'09複合 体講義」企画にあ たって	市野 泰通	角川春樹事務所 書百話・解説	外山滋比古
放菴と大観	田中 正史	重力と恩寵	千石 英世	佛	榊 莫山
小杉放菴と大観— 響きあう技とこころ	出光佐千子	斎藤義重'09複合 体講義レポート	村上 宇内	野	〃
コノキ・ミクオ展—変化と試みの画 家—[此木三紅大] 東御市梅野記念 絵画館		遺してくれたもの (Aについて)	斎藤 史門	建築家坂倉準三 モダニズムを生き る 人間、都市、空間 神奈川県立 近代美術館(鎌倉)	
現代を呼吸するシ ニカルなユーモア —此木三紅大の少 年時代と今日・明日	ワシオ・ト シヒコ	手が考ええるとい うこと	飯塚 一朗	人間のための建築	高階 秀爾
コノキ・ミクオ展 にあたり	此木三紅大	複合体という座標 を巡って	中川 猛	坂倉準三の居場所	磯崎 新
ハンス・コパー展—20世紀陶芸の 革新 兵庫陶芸美術館他		もうひとつの斎藤 義重	井口 大介	時代をリードし た、坂倉先生の歴 史認識と国際性	菊竹 清訓
ハンス・コパーの 芸術—20世紀陶芸 における静かなる 革新	乾 由明	斎藤義重先生関係 の映像資料につい て	狩野 邦彦	パリ万博日本館と 神奈川県立近代美 術館について	二川 幸夫
ハンス・コパーの 位置	西田 桐子	マケット再制作に あたって	溝部 礼士	追想—準三先生	北村 脩一
ハンス・コパー “うつわ”を越えた 20世紀陶芸の革新	三浦 弘子	エッセー1 戦後 日本美術における 斎藤義重の位置	針生 一郎 井口 大介 関き手	坂倉準三の建築— その都市と公共空 間へのまなざし	松隈 洋
ハンス・コパーの 「建築時代」—スウ イントン・コミュ ニティー・スクー ルの「ディスク」を 中心に—	村山 閑	エッセー2 斎藤 義重先生との会話	内山 博子	難波・渋谷・新宿 —戦後都市と坂倉 準三のターミナル プロジェクト群	青井 哲人
S氏コレクション 駒井哲郎PART I ときの忘れもの		エッセー3 斎藤 先生との思い出な ど	織茂 一行	ル・コルビュジエ のもとでの修行時 代—坂倉準三がア トリエで作成した 図面を通して	山名 善之
コレクションの異 端—S氏駒井哲郎 コレクションにつ いて思うこと	瀧沢 恭司	エッセー4 雑感 1980年代美術と斎 藤義重	近藤 幸夫	建築家 坂倉準三展 モダニズムを 住む 住宅、家具、デザイン パナ ソニック電工汐留ミュージアム	
田中屋コレクション 小村雪岱×岩 崎勝平 ひとを極める 川越市立美 術館		エッセー5 解体 を踏まえた生成	中村 英樹	坂倉準三の木造モ ダニズム	藤森 照信
小村雪岱とその時代 粋でモダンで 繊細で 埼玉県立近代美術館		エッセー6 作る ことの手前	野村 知子	坂倉準三の住宅作 品にみる「構成の 精神」	田路 貴浩
雪岱挿絵私考	平山 都	エッセー7 斎藤 義重のおもしろさ	長谷川 宏	ネットワークカーそ してデザイナーと しての坂倉準三	柏木 博
(サ行)		エッセー8 15年 戦争下斎藤義重の 自在な創造と弾圧	日夏 露彦	坂倉準三の審美眼	坂倉竹之助
斎藤真一展 警女と哀愁の旅路 武 蔵野市立吉祥寺美術館		エッセー9 空虚 を体して	平井 亮一	パリの坂倉準三坊 ちゃん	竹村眞一郎
警女の絵に魂をわ し掴みにされて	瀬戸内寂聴	エッセー10 斎藤 義重さんと「白い 空間」	松本 武	坂倉住宅に備わる 品格について	萬代 恭博
斎藤義重'09 複合体講義 T&S Gallery		エッセー11 構築 と崩壊	守屋 行彬	坂倉準三の家具へ の取り組み	大村理恵子
		榊莫山展 詩・書・画の世界 高島 屋(日本橋)		工芸造形の軌跡と 椅子の系譜—人間 と技術の美学	北村 紀史
		莫山先生の時間と 空間	瀬木 慎一	櫻田精一展—響きあう光・水・風を 描く—一生誕100年 千葉県立美術館	
		ひとりトボトボ五 十年	榊 莫山	櫻田精一先生 自 然との対峙	塗師祥一郎
		四季草庵	〃		
		夢	〃		

日本美術学校、鮮
展出品の頃の櫻田 金田 雅成
精一について

初のヨーロッパ滞
在 石崎千津子

笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フ
ラワー・ガーデン 茨城県つくば美
術館

豊潤なる外向性の
造形—田嶋悦子と
笹井史恵の表現 外館 和子

漆芸史における発
泡スチロール胎乾
漆オブジェの登場
と意義 //

shiseido art egg3回 佐々木加奈子
展 Okinawa Ark 資生堂ギャラリ
ー (『第3回シセイドウアートエッ
グ 宮永愛子 佐々木加奈子 小野
耕石』)

第3回 shiseido
art egg賞 審査実
施報告

佐藤泰生展 揺れる時間 輝く時間
高島屋(日本橋)他

時空に臨在する画
家 本江 邦夫

線が踊り、色が跳
ねる……佐藤泰生
さんの世界 高樹のぶ子

天童が生んだ美術家シリーズ5 エ
芸家 佐藤正巳と日本画家 菅野圭
文展 天童市美術館

佐藤正巳の作品 池田 良平
菅野圭文の作品 //

みんなだいすき“ばばあちゃん”
さとうわきこ絵本原画展 天童市美
術館

メッセージ さとうわき
こ

リアリティーとメ
ッセージ 川崎 康男

石ころ さとうわき
こ

月刊科学絵本(か
がくのとも)とば
ばあちゃん 小杉 亨

対照 佐内正史の写真 川崎市岡本
太郎美術館

付け足り 村田慶之輔

セバスチャン・サルガド アフリカ
東京都写真美術館

生きとし生けるも
のの未来へ—起源
を探るセバスチャ
ン・サルガドの写
真 丹羽 晴美

「道に迷うアフリ
カ」を写しとった
サルガド 松本 仁一

ジャーナリストで
あり芸術家である
希有なカメラマン 西原理恵子

クリムト、シーレ ウィーン世紀末
展 ウィーン・ミュージアム所蔵
[グスタフ・クリムト/エゴン・
シーレ] 札幌芸術の森美術館他

作庭家・庭園史家 重森三玲展 岡
山県立美術館

作庭家・庭園史家 齋藤 武郎
重森三玲

重森三玲意匠の書
院復元(2007年7
月—2009年3月) 山吹 知子

四宮金一展—浮遊空間から宇宙空間
に— 池田20世紀美術館

四宮金一—画家の
舞台— 村田慶之輔

§作家の言葉§ 四宮 金一

江戸の粋・明治の技—柴田是真の漆
×絵 エドソンコレクション初帰
国! 三井記念美術館他 (『柴田是
真の漆絵』)

あいさつ キャサリン
& トーマス
・エドソン 安村 敏信

柴田是真の生涯と
作品 小林 祐子

もうひとつのトリ
ックアート—是真
の「だまし漆器」と
その諸相

島田鮎子展—たおやかな色と形—リ
ニューアル・オープン記念 メナ
ーD美術館

§作家の言葉§ 島田 鮎子

島田鮎子展によせ
て 富山 秀男

温潤たる風韻 増崎 隆広

描かれた哀愁—国吉康雄・野田英
夫・ベン・シャーン— 大川美術館

松花堂昭乗—先人たちへの憧憬—没
後三七〇年 八幡市立松花堂美術館

松花堂昭乗の人物
表現について—
「先賢図押絵貼屏
風」をめぐる— 中部 義隆

荘司福展 花、大地、山—自然を見
つめて 生誕100年 神奈川県立近
代美術館(葉山)

時を透かして見え
るものを描く—荘
司福の絵画 山梨 俊夫

旅と思索の画家—
荘司福 橋 秀文

白髪一雄—格闘から生まれた絵画—
安曇野市豊科近代美術館他

アルフレッ
ド・バック
マン 小川 隆久
訳

祭儀的な画家白髪
一雄

白髪一雄のアクシ
ョン・ペインティ
ング 平井 章一

白髪一雄の作品計
画帳(1956年)に関
する一考察 工藤 香澄

『水滸伝』と白髪一
雄 三澤 新弥

白髪一雄の「資質」
と「シリーズ」につ
いて 植松 篤

時代と記憶—1954
—1972白髪一雄 浅野 泰子

浪速の絵師 菅楯彦の画業『職業婦
人絵巻』 関西大学博物館

菅楯彦の画業 山口 卓也

天童が生んだ美術家シリーズ5 エ
芸家 佐藤正巳と日本画家 菅野圭
文展 天童市美術館

菅原健彦展 岡崎市美術博物館他

行きては到る水の
窮まる処 坐して
は見る雲の起こる
時 芳賀 徹

荒ぶる絵筆の先に
—菅原健彦の絵画
思考 野地耕一郎

菅原健彦—日本的
なるもの 千葉真智子

〈写生〉のイマジネーション 杉浦非
水の眼と手 宇都宮美術館

〈写生〉のイマジネ
ーション 杉浦非
水の眼と手 前村 文博

杉浦非水と富本憲
吉の時代 山田 俊幸

『非水百花譜』の出版—写生は私の眼の記録—	岩切信一郎	高木東扇を語る	橋本根本 白井孝 田中雲峰 高木厚人	田中みぎわインタヴュー	小川 稔 聞き手
杉浦非水のヨーロッパ体験—遺された滞欧日記から—	伊藤 伸子	心に生き続ける東扇先生		留守玲 インタヴュー	〃
夫人・杉浦翠子について—非水による絵手紙を中心に—	野々山三枝	生きること—高田博厚と実篤—	調布市武者小路実篤記念館	美術の国徳島Ⅱ 谷口董美、山下菊二兄弟 故郷のイメージを描く 徳島県立近代美術館	
書聖 鈴木翠軒展 生誕百二十年		生きること—高田博厚と実篤—	福島さとみ	谷口、山下兄弟展に向けて—辻のこと、義兄谷口のこと、山下の思い出など	山下 昌子 談 江川 佳秀 聞き手
田原市博物館／渥美郷土資料館		高梨豊 光のフィールドノート	東京国立近代美術館	私感・董美と菊二	辻本 一英
漢字とかな書とを融合した稀有の書人 鈴木翠軒	田宮 文平	光のフィールドノート	増田 玲	東芋 断面の時代 横浜美術館開館20周年記念 横浜美術館他	
鈴木翠軒とふるさと 渥美	天野 敏規	高山辰雄 文芸春秋表紙絵展 限りなき時の中に	シンワアートミュージアム	断面の世代	東 芋
鈴木幹夫展 横たわる人たち	北九州市立美術館	廻る四季	高山由紀子	《団地層》	〃
横たわる「人」たち	重松 知美	絵画の先に在るもの	福島 昌子	《悪人》	〃
関合正明展 慈しみのまなざし	神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)	去りゆく風景の断片[かけら]	野地耕一郎	《油断髪》	〃
一隅を照らす—関合正明のまなざし	水沢 勉	限りなき時の中に	浅木 正勝	《団断》	〃
関合さんの思い出	辻 惟雄	瀧口修造の光跡I「美というもの」	森岡書店	《ちぎれちぎれ》	〃
関合さんのこと	檀 ふみ	瀧口修造「美というもの」(講演記録)	土渕 信彦 解説	《BLOW》	〃
瀬本容子展 永遠[とわ]なる色彩の賛美	宇都宮美術館	太宰治と美術—故郷と自画像	生誕100年記念 青森県立美術館	特別対談 東芋×吉田修一 世代論二重奏 なぜ「断面の世代」か	阿部 謙一 構成
手技を通して花舞う時	瀬本 容子	太宰治・自画像の文学	安藤 宏	断絶と集合—断面の世代が生まれた時代	木村絵理子
瀬本容子さんのこと	福島 直	太宰治と美術	池田 亨	東芋 外と内の往還	植松 由佳
人間国宝 芹沢銈介と源流への旅路ある染織家が求めた美のルーツ	岐阜県美術館	笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン	茨城県つくば美術館	千葉勝展 トスカーナの風に抱かれて	岩手県立美術館
収集の思い出—芹沢作品と心に残ったものたち—	宗廣 陽助	館勝生 ギャラリー白		作家・千葉勝	千葉 郁世
芹沢デザインの力	正村 美里	テロルの夢……館勝生の作品に寄せて	天野 太郎	千葉勝の生涯と作品	吉田 尊子
仙厓展 九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション	福岡市美術館	滝の裏に洞穴いくつ?	石崎 勝基	千葉勝さんの思い出	佐々木英也
中山森彦博士の生涯と仙厓蒐集	川上 貴子	館勝生の絵画—現在形で	尾崎信一郎	千葉勝の用いた素材と技法	小谷野匡子
(タ行)		館勝生君	吉澤 敬子	ツァオ・フェイ Live in RMB City 資生堂ギャラリー	王国維 胡 昉
高木東扇展 没後十年	成田山書道美術館	PIANISSIMO 田中みぎわ／留守玲—冬の浜辺から—	茅ヶ崎市美術館	ツェ・スーメイ 水戸芸術館現代美術ギャラリー	
父のこと、母のこと	高木 厚人	田中みぎわと留守玲がつくる風景に添えて	小川 稔	「見立て」の手法	浅井 俊裕
				名人—川端康成に捧ぐ	ツェ・スーメイ

冷蔵庫 ツェ・スーメイ
芳年—「風俗三十二相」と「月百姿」—
[月岡芳年] 太田記念美術館
芳年 晩年の境地
—「風俗三十二相」と「月百姿」— 日野原健司
土田麦僊 近代日本画の理想を求めて
新潟県立近代美術館
土田麦僊—東洋的な、そうして古典的な— 横山 秀樹
土田麦僊の初期作品について—《島の女》をととして— 平賀 麻子
麦僊の舞妓—《三人の舞妓》から《明粧》まで 池田 珠緒
未完の「晩年」—昭和期の麦僊について 長嶋 圭哉
椿 昇 2004 — 2009 NOBORU
TSUBAKI: GOLD/WHITE/
BLACK 京都国立近代美術館
欲望のメタフィジックス[椿昇論] 岩城 見一
都市へ仕掛ける建築 ディナー&
ディナーの試み 東京オペラシ
ティアートギャラリー
都市へ仕掛ける建築 ディナー&
ディナーの試み ディナー
手塚治虫 未来へのメッセージ 生
誕80周年記念 江戸東京博物館
手塚治虫の謎 その
デビューの意味
と意義 石上三登志
宮崎駿インタビュー
「手塚治虫を語る」 石田 汗太
聞き手
「手塚治虫」の誕生 萩尾 望都
いつも手塚治虫に
勇気もらった 夢枕 獏
人間・手塚治虫 手塚 眞
手塚登久夫石彫展 小杉放菴記念日
光美術館
手塚登久夫インタ
ビュー: 今市のア
トリエから 迫内 祐司
聞き手
ラウル・デュフィ展 三鷹市美術ギ
ャラリー他
ラウル・デュフ
ィ、あるいは色彩
の光の探求 マイテ・ヴ
アレズ=ブ
レッド

21世紀の作家—福岡 bis2009 [遠
山裕崇/中崎博之/平岡昌也] 福
岡市美術館
困難な状況下で 山口 洋三
〈人々のものがたり〉Part2 利根山
光人とマヤ・アステカの拓本 世田
谷美術館
利根山光人「生命
の源を訪ねる旅」 高橋 直裕
変成態—リアルな現代の物質性[泉
孝昭他]VOL.2 富井裕大×中西信
洋 ギャラリーαM
富田溪仙 京都画壇の風雲児 生誕
130年記念 茨城県近代美術館他
「春郊牧童」と「若
菜摘」—溪仙の模
索時代の異色作— 古川 智次
富田溪仙の画業に
ついて—その四つ
の時代— 山本香瑞子
資料紹介: フラン
ス国立美術館文書
資料室所蔵の《神
庫》寄贈関連文書 三谷 理華

(ナ行)

内藤礼 すべて動物は、世界の内に
ちようど水の中に水があるように存
在している 神奈川県立近代美術館
(鎌倉)
緒言—あいさつに
代えて 山梨 俊夫
ブネウマの訪れ—
内藤礼のいまへ 水沢 勉
内なる自然がうた
う愛 三本松倫代
ねりまの美術2009 中尾彰—津和野
・東京・蓼科一展 練馬区立美術館
他
中尾彰—若き日々
の回想—「老年歌
・望郷歌」より 横山 勝彦
中尾彰 島根との
関わりを中心に 真住 貴子
中尾彰の愛した蓼
科 前田 忠史
21世紀の作家—福岡 bis2009 [遠
山裕崇/中崎博之/平岡昌也] 福
岡市美術館
永澤永信展 白の彩 明石市立文化
博物館

作者のことば 永澤 永信
NAGASAWA IN KAWAJIMA 長澤英
俊展—夢うつつの庭— 遠山記念館
Nagasawa in
Kawajima 遠山 公一
〈夢うつつの庭〉に
立つ 峯村 敏明
長澤英俊インタビ
ュー 田代かおる
聞き手
長澤英俊 オーロラの向かう所 川
越市立美術館/埼玉県立近代美術館
アイデアとポエジー 建畠 哲
ブルーノ・
コラ
三本松倫代
訳
長澤英俊の見えな
い力の空間 パブロ・J
・リコ
野中 明 訳
長澤英俊インタヴ
ュー 是枝 開
聞き手
宇宙の琴線の響き
—インタビューを
終えて 是枝 開
《オフィールの金》 中井 康之
繰り返されるモチ
ーフの変遷 濱田 千里
重力の真理に触れ
るために 平野 到
元永定正+中辻悦子絵本原画展
もーやんえっちゃん ええほんのえ
新潟市新津美術館他
絵とコトバのコラ
ボレーション 建畠 哲
色たち、言葉たち 坪内 稔典
大きな海と静かな
木陰で生まれた絵
本たち 作田真知子
ユニークな絵と言
葉が踊る絵本たち 坂上義太郎
変成態—リアルな現代の物質性[泉
孝昭他]VOL.2 富井裕大×中西信
洋 ギャラリーαM
中西勝展 神戸市立小磯記念美術館
「中西勝展」によせ
て 中西 勝
中西勝の人と芸術
について 廣田 生馬
中野北溟の世界 北海道立近代美術
館

方形の海、ふたたび 佐藤庫之介

カレワラ鑑賞の葉 小泉 保

中野北溟―「近代詩文書」を中心に 齊藤千鶴子

「カレワラ」から「津軽」まで―中野北溟の仕事の特質 武田 厚

中野北溟／原風景の書の軌跡 田宮 文平

北溟の書(浪ばかり)から 名児耶 明

叙事詩「原郷創造」に寄せて 原子 修

「カレワラ」展を挟んで―遡求の北溟像三つ― 平原 一良

江戸時代尾張の絵画 巨匠 中林竹洞 名古屋城天守閣

中林竹洞―型と理想の人 朝日美砂子

変成態―リアルな現代の物質性[泉孝昭他]VOL.1 中原浩大 ギャラリーαM

中村征夫写真展 命めぐる海 秋田県立近代美術館

「命の海」と謙虚にむきあう人 椎名 誠

中村征夫さんの海の詩 岡本 行夫

優しさの中の闘志 紺野美沙子

僕の住所は海の中 中村 征夫

海で見る夢 塚本勝巳×中村征夫

広瀬光治と西山美なコの“ニットカフェ・イン・マイルーム” 金沢21世紀美術館

Message 広瀬 光治

” 西山美なコ

“ニットカフェ・イン・マイルーム”というかたち 村田 大輔

光 松本陽子／野口里佳 国立新美術館

序文「光 松本陽子／野口里佳」展について 南 雄介

光の思い出 未来の光 野口 里佳

野口里佳 光速を超える写真 南 雄介

序文「光 松本陽子／野口里佳」展について 南 雄介

制作の地平 松本 陽子

松本陽子 絵画のイメージ 南 雄介

野島康三 ある写真家が見た日本近代 生誕120年 京都国立近代美術館 (『野島康三 作品と資料集』)

序―もうひとつの「野島康三」像 牧口 千夏

絵画主義からモダニズムへの移行：1920―27年の野島康三の作品写真について フィリップ・シャリエ

1920年代の野島康三と富本憲吉 中尾 優衣

中原悌二郎と野島康三 越前 俊也

都市新中間層にとつての「でろり」―1922年岸田劉生個人展覧会における麗子像の展示を中心に― 中間 志織

野島康三 肖像の核心 生誕120年 渋谷区立松涛美術館

野島康三 無口な求道者 光田 由里

野島康三の作品 ”

生い立ちから作家的決心へ ”

展覧会と出版プロデュースの仕事 ”

兜屋画堂を中心に ”

新しい写真運動―『光画』の時代 ”

野々宮ビルをめぐる ”

国画会と戦後 ”

野島康三宛書簡 ”

描かれた哀愁―国吉康雄・野田英夫・ベン・シャーン― 大川美術館

野村仁 変化する相―時・場・身体 国立新美術館

野村仁作品における宇宙・生命・言語の共振 小林 信之

自然は時間と共に真の姿をあらわすか 野村 仁

「フェノメノン音楽」と「Chromatist Painting」 岩城 見一

ソーラーカー《サンストラクチャー》プロジェクト 森 司

「光合成」のトリニティ―野村仁の植物作品をめぐって― 金井 直

地上から宇宙へ―野村仁の「世界」― 平井 章一

野村仁―身体とメディア― 長屋 光枝

野呂介石―紀州の豊かな山水を描く― 和歌山県立博物館

野呂介石の画業と文人交流 安永 拓世

コラム1 野呂家の屋敷地について 前田 正明

コラム2 天池石壁図の付属資料 安永 拓世

(ハ行)

変成態―リアルな現代の物質性[泉孝昭他]VOL.5 袴田京太郎 ギャラリーαM

橋本関雪展 姫路市立美術館他

橋本関雪展に寄せて 内山 武夫

橋本関雪の世界 島田 康寛

―我が制作は鈴(けん)で全うする―橋本関雪と印 直良 吉洋

長谷川三郎 日本抽象のバイオニア 明石市立文化博物館

長谷川三郎の歩んだ道 川崎 晃一

長谷川等伯展―信春から等伯への軌跡 生誕地・没後400年記念前年祭 石川県七尾美術館 (『長谷川等伯展のあゆみ』)

三つの鬼子母神十羅刹女図―長谷川信春の仏画とその造形 松嶋 雅人

戦争画の相貌―花岡萬舟連作― 早稲田大学會津八一記念博物館

戦争画の展示をめぐって 丹尾 安典

花岡萬舟―異例の戦争画家 河田 明久

花岡萬舟略歴 喜夢 孝臣

馬場のぼる展 「11ぴきのねこ」が
やって来るニャゴ!ニャゴ!ニャ
ゴ! 青森県立美術館

馬場のぼるの絵本 佐藤 英和

馬場のぼるの漫画 多田ヒロシ

「ばばネコ」を、
禁じ手にせよ」一
序説・馬場のぼる
一 豊田きいち

馬場のぼるがいた 板倉 容子

浜口陽三 生誕百年記念 和歌山県
立近代美術館

本展に寄せて 雪山 行二

浜口陽三コレクシ
ョンの形成につい
て 寺口 淳治

浜口陽三の魅力 井上 芳子

浜口陽三の紙一二
つの洋紙 坂本 雅美

美術を遊ぶ展[奥田美樹/川田英二
/林真] 稲沢市荻須記念美術館

速水御舟—日本画への挑戦—新美術
館開館記念 山種美術館

日本美術史にとっ
ての御舟—その功
罪 山下 裕二

速水御舟—日本画
への挑戦 山崎 妙子

速水御舟の渡欧資
料をめぐって 高橋美奈子

二代目館長・山崎
富治 山種美術館
の御舟コレクショ
ン誕生を語る 楠淵 豊子
聞き手

原研哉デザイン展 本 武蔵野市立
吉祥寺美術館

自分を無心に見る 原 研哉

原田宗典の本 "

長野オリンピッ
ク開会式プログラム "

CHAMBER of CU-
RIOSITIES "

一冊の本 "

RE DESIGN "

紙とデザイン "

HAPTIC "

FILING "

TOKYO FIBER'07
SENSEWARE "

DESIGNING DE-
SIGN "

SHIGERU BAN "

NAOTO FUKA-
SAWA "

白 "

NORIYUKI HARAGUCHI Society
and Matter[原口典之展 社会と物
質] BankART Studio NYK

原口典之×木幡和
枝

変成態—リアルな現代の物質性[泉
孝昭他]VOL.8 半田真規 ギャラ
リーαM

ヴェルナー・パントン 東京オペラ
シティアートギャラリー

日本の皆さまへ マリアンネ
・パントン

色彩のかたち デ
ザイナー ヴェル
ナー・パントン マティアス
・レメレ 有賀 萌 訳

ヴェルナー・パン
トン—生涯は「ノ
マディック・デザ
イン・ツアー」 橋本 優子

パントン・チェア
—立体「S」型構造
チェアの物語— "

『色についての考
察』を読み解く "

マティアス・レメ
レによるパゾン・
ブロックへのイン
タビューより 福田 肇 訳

その後のパントン 橋本 優子

稗田—穂展—風花春秋— 高島屋
(日本橋)他

春秋の風情 稗田 一穂

変成態—リアルな現代の物質性[泉
孝昭他]VOL.4 東恩納裕一 ギャ
ラリーαM

果てしなき創造の欲望 ピカソの版
画展 下関市立美術館

ピカソ伝説—20世
紀のヤヌス、ある
いは悪魔と天使 中村 隆夫

ジョルジュ・ピゴ—展 碧眼の浮世
絵師が斬る明治 東京都写真美術館

ジョルジュ・ピゴ
ーの全貌 及川 茂

懐古と写真 三井 圭司

多角的視覚報道と
いう事件 "

21世紀の作家—福岡 bis2009 [遠
山裕崇/中崎博之/平岡昌也] 福
岡市美術館

平櫛田中—故郷 井原— 井原市立
田中美術館

平櫛田中と故郷・ 青木 寛明
井原

平櫛田中書簡 青木 寛明
編

現代美術の発見II 平田あすか“サ
ボテンノユメ” あいちトリエン
ナーレ2010プレイベント 愛知県
美術館

すこしだけせつか
ちな作家論《平田
あすか》“ユメの
果実”—サボテン
がうまれるまで— 高橋 綾子

1 floor 2009 「THREE DUBS」[井上
賢治/平田さち/芳木麻里絵] 神
戸アートビレッジセンター

平町公 大谷の図 上野の森美術館
《大谷の図》につい
て 平町 公

広瀬光治と西山美なコの“ニットカ
フェ・イン・マイルーム” 金沢21
世紀美術館

ハンス・フィッシャーの世界 メル
ヘンの国のマイスター 生誕100年
記念 天童市美術館他

ハンス・フィッ
シャー展によせて さとうわき
こ

ハンス・フィッ
シャーの絵本覚書 松居 直

アンナ・バーバラ
が絵本をもらった
わけ、あるいは、
「たんじょうび」
が、どうやって出
来上がったか。 ハンス・フ
ィッシャー

絵本「こねこのび
っち」解説 カスパール
・フィッシャ
ー

絵本の演出家 ハ
ンス・フィッシャ
ー 松居 直

フィス=ハンス・
フィッシャー 武居 利喜

娘が見た父フィス
の思い出 ウルスラ・
フィッシャ
ー

ピアンカを訪ねて 武居 利喜

フィス リー・エン
ゲッサー

フィスの思い出	ヴィリー・アルブレヒト	息吹の部屋	アンリ＝クロード・クソー	interview ボイスは修行僧のようで、政治問題とかに関わりながらも、もつとも世俗から離れている感じ	若江 漢字
多面体のアーティスト＝ハンス・フィッシャーさんの版画作品をめぐって	松本 育子	流動する彫刻—ジュゼッペ・ペノーネへのインタビュー—	ディディエ・スマン 聞き手	interview 空港でバラの花を渡したら、フィッシャーマンズベストの胸ポケットにすっと差してくれました	若江 栄厚
ボワレとフォルチュニ—20世紀モードを変えた男たち[ポール・ボワレ/マリアノ・フォルチュニ]		目に見える時—ジュゼッペ・ペノーネの思考のアトリエ	ジャン＝クリストフ・バイイ	アートをみんなで支えるしくみを	椿 昇
東京都庭園美術館		ジュゼッペ・ペノーネの地上と天空の庭	カトリース・グルニエ	地域のオルタナティブなあり方を模索すること	白川 昌生
ボワレとフォルチュニ 共有された時代、そして向き合う個性	能澤 慧子	自然との交感	北谷 正雄	ストリートで生きのびてゆく拡張されたアート＝アクティヴィズム	小田マサノリ
「デルフォス」に魅せられて	河島 一恵	Beuys in Japan : ボイスがいた8日間[ヨーゼフ・ボイス] 水戸芸術館現代美術ギャラリー (『ヨーゼフ・ボイス よみがえる革命』)			
「超える」デザイナー「ボワレと」装飾芸術	南目 美輝	今こそ、ボイスの思想が必要だ	坂本 龍一	ドイツ現代思想におけるヨーゼフ・ボイス＝ロマン派、反芸術、そしてエコロジー	仲正 昌樹
コルセットをめぐる冒険	浜田久仁雄	祈りの残影—1984年のヨーゼフ・ボイス、日本	高橋 瑞木	神話と創造性—西武セゾン文化とヨーゼフ・ボイス	毛利 嘉孝
画家としての藤井達吉—創作の原点を求めて— 碧南市藤井達吉現代美術館		ボイスの作品を展示すること、解説すること	オイゲン・ブルーム	ヨーゼフ・ボイスのユートピア思想、あるいは総合芸術としての社会	山本 和弘
画家としての藤井達吉	木本 文平	interview ボイスは、社会彫刻について、つまり未来の社会をどうしたらいいのかを話したかったんだと思う	宮島 達男	すべての人はアーティスト＝アクティヴィストである	小田マサノリ
藤田喬平展 ガラスの光彩—伝統と創造— 千葉県立美術館		interview アーティストが社会的なことに関わり、世界を変えていくということにひじょうに驚きました	長谷川祐子	ニューヨークで本当に起こったこと—ヨーゼフ・ボイスのアクション(私はアメリカが好き、アメリカも私が好き)	レネ・ブロック 高木 瑞木 訳
藤田喬平—ガラスの遺産	武田 厚	interview 本人が来たかどうかより、いまボイスの思想について、議論されているかどうかが問題だ	三島 憲一	interview 「ボイスが成田に着いてから飛び立つまで、映像で全部押さえよう」という使命感が出てきた	泉 秀樹
回顧展に寄せて	藤田 潤	interview 政治と芸術の区別は、究極的にはないという考え方を、ボイスによって知った	針生 一郎	interview ボイスがどうだったかより、段取りよく物事が進んでほしい、とばかり思っていました	石原 恒和
藤田喬平の戦後の創作活動について	金田 雅成	interview チョークを持っている手の先に、すごいエネルギーが入っているのわかるような描き方なんです	和多利恵津子	interview 「人間は誰もが芸術家なんだ」という言葉が飲み込めるためには、絵を描く必要があるかもしれない	畠山 直哉
文明と自然 藤田禅 北九州市立美術館					
文明と自然—絵から伝わるもの—	片渕 富子				
自然との共生—すべてのものに感謝—	藤田 禅				
藤本能道展 命の残照のなかで 菊池寛実記念智美術館					
対談 命の残照のなかで—藤本能道への想い	菊池 林屋 晴三				
藤本能道の色絵磁器 写実の構築とそこからの解放	花里 麻理				
ジュゼッペ・ペノーネ展 豊田市美術館					

interview ポスト
モダン思想も流行
っていたし、当時
の人はボイスの難
解さを楽しんでる
気がしました

榊山 寛

interview 影響を
受けたというよ
り、「宿題を出さ
れたまま、答えが
出ない!」みたい
な感じです

今野 裕一

ホセ・グアダルーベ・ボサダ 名古
屋市美術館所蔵品による 世田谷美
術館

あいさつにかえて

酒井 忠康

ボサダに乾杯!—
ボサダに挑発され
た芸術家たち—

山田 諭

二〇世紀初頭の演
劇とグアダルーベ
・ボサダ

吉川恵美子

ボサダの時代のメ
キシコ建築

尾形 一郎

民衆メディアの誕
生と発信するボサ
ダ

加藤 薫

右であれ左であれ

岩崎 清

おきあがる骸骨
(カラベラ)

竹田鎮三郎

一九五五年・日本
・ボサダ・二〇〇
九年

野田 尚稔

ボナールの庭、マティスの室内—日
常という魅惑[ピエール・ボナール
/アンリ・マティス] ポーラ美術
館

マティスと室内

天野 知香

「モネの庭」から
「ボナールの庭」へ

島本 英明

堀内誠一 旅と絵本とデザインと
世田谷文学館

多田北鳥とサン・
スタジオ

前村 文博

現場の証言 堀内
さんがつくった
『アンアン』[対
談]村松仁美×新
谷雅弘

ホリウチと絵本

堀内 路子

『年を歴た鰐の話』
まで

安野 光雅

いつも楽しかった
仕事

岸田 衿子

パロディの美学

木村 帆乃

パリでの生活

こぐれひで
こ

パリでの仕事

ベルナール
・ペロー
益子 実穂
訳

堀内さんとわたし

出口 裕弘

旅人・堀内誠一

巖谷 國士

二冊の本

植田 実

レベッカ・ホルン 東京都現代美術
館

黒い森に住むタオ
イスト

長谷川祐子

乱流の零地点にて
—ある旅行記—

ドリス・フ
オン・ドラ
ーテン
清水 穰 訳

繭から拘束服へ:
レベッカ・ホルン
の映像作品につい
て

セルジオ・
エデルスタ
イン
木下 哲夫
訳

Biography 略歴

関 直子

ボワレとフォルチュニ—20世紀
モードを変えた男たち[ポール・ボ
ワレ/マリアノ・フォルチュニ]
東京都庭園美術館

(マ行)

牧野宗則展3回 北斎・広重からの
華麗なる展開 太田記念美術館

§ 作家の言葉 §

牧野 宗則

伝説と創作が融合
し完成した「創作
伝統版画」

永田 生慈

作家の言葉

牧野 宗則

正井和行展 月影さやかに—静かな
る心象 没後10年 明石市立文化
博物館

月影さやかに「月
の画家」正井和行

吉田 洋一

間島秀徳 Kinesis/水の森—小杉
放菴とともに— 小杉放菴記念日光
美術館

未醒と覚醒—流動
する水の宇宙—

佐藤 道信

創造の小径 間島
秀徳—絶え間なく
壊される秩序—

篠原 聡

間島秀徳氏の作品
についての覚書

田中 正史

松丸東魚の全貌—搜秦摹漢の生涯—
毎日書道展61回特別展示 国立新
美術館

搜秦摹漢の生涯—
東魚の篆刻・試論—

松丸 道雄

松丸東魚先生の刀
法

關 正人

松丸東魚と中国の
学者文人たち

稲畑耕一郎

松丸東魚と呉昌碩

松丸 茂樹

近世木活字版と東
魚文版

高山 節也

松丸東魚の人と芸
術—搜秦摹漢の生
涯—

笠井 篤堂、
關 正人、
那須 大脚、
松丸 道雄、
田宮 文平
司会

松本忠義 画家たちと青春 生誕
100年記念 高崎市美術館

越境者の夢

岡田 芳保

松本徳彦 しまなみ・ノルマンディ
ー「二つの都市」写真展 しまなみ海
道10周年記念 尾道市立美術館

松本徳彦 故郷を
撮る

田沼 武能

あとがき

松本 徳彦

光 松本陽子/野口里佳 国立新美
術館

ボナールの庭、マティスの室内—日
常という魅惑[ピエール・ボナール
/アンリ・マティス] ポーラ美術
館

真鍋修 上野の森美術館大賞展25
回絵画大賞 日本アイ・ビー・エム
美術奨学賞受賞記念 上野の森美術
館

§ 作家の言葉 §

真鍋 修

三上誠の生涯—恐怖と寂寥が芸術を
作る—生誕90年 没後37年 パンリ
アル60周年 星野画廊(京都)

日本画変革の原点
としての三上誠

針生 一郎

後記

星野 桂三

日本近代洋画と三岸好太郎 Part 1
北海道立三岸好太郎美術館

二人の道産子の情
熱—匠秀夫、三岸
好太郎を書く

苦名 直子

宮崎進一漂泊 Wandering— 多摩
美術大学美術館

漂泊と自由 旅芸 赤松 祐樹
人から鳥へ

宮崎進 思春期と
青年期の体験 私 仙仁 司
論

shiseido art egg3回 宮永愛子展
地中からはなつ島 資生堂ギャラ
リー 《第3回シセイドウアートエ
ッグ 宮永愛子 佐々木加奈子 小
野耕石》

第3回 shiseido
art egg賞 審査実
施報告

宮本三郎展—留学・従軍・戦後期を
中心に—没後35年 神戸市立小磯
記念美術館

宮本三郎の芸術—
戦前・戦中・戦後
を中心に— 廣田 生馬

武藤辰平—フランスの風— 佐賀県
立美術館

不器用で真面目に
生きた父 武藤 良平

フランスの風を故
郷に—武藤辰平の
画業と作品 野中 耕介

村山槐多 ガランスの悦楽 没後
90年 渋谷区立松涛美術館

村山槐多の浪漫性
について 瀬尾 典昭

ウィリアム・ド・モーガン 艶と色
彩—19世紀タイル・アートの巨匠
— パナソニック電工汐留ミュージ
アム

ウィリアム・ド・
モーガンと「アー
ツ・アンド・クラ
フツ」 吉村 典子

円空・木喰展 『庶民の信仰』の系譜
奥田元宋・小由女美術館他

本池秀夫 革の世界 米子市美術館
他

はじめに 本池 秀夫

革の人形 //

革の動物 //

革 絵／タペスト
リー／人体 //

本池秀夫作品展に
寄せて 杵島 隆

本池秀夫の革の人
形とその時代 諸山 正則

元永定正展 三重県立美術館

元永定正さんのこ
と 安藤 忠雄

元永定正—ユーモ
アと色かたちリズ
ムの世界 毛利伊知郎

§ 作家の言葉 § 元永 定正

元永定正+中辻悦子絵本原画展
もーやんえっちゃん ええほんのえ
新潟市新津美術館他

森豪男 Hideo Mori 武蔵野美術大
学教授退任記念 武蔵野美術大学美
術資料図書館

ポップであること
の批評的詩学、あ
るいは庭園の香気
について—森豪男
の仕事に— 新見 隆

森豪男との対話—
遠ざかる家具、記
憶の時間— 板屋 緑

守住貴魚—御絵師・好古家・帝室技
芸員 生誕二百年 徳島県立博物館

一 守住貴魚の生 大橋 俊雄

二 好古家として
の貴魚 //

三 近世—近代初
期の阿波における
歴史研究の様相 長谷川賢二

モンキー・パンチ展 MONKY
PUNCH EXHIBITION OTEMAE 20
09 大手前アートセンター

こだわり その1
「コマ」くやしい
けど、漫画は動い
てくれない… モンキー・
パンチ

漫画を語る2 漫
画はクリエイター
の基本 //

(ヤ行)

八木奇峰と二人の師匠 長浜市長浜
城歴史博物館

山縣岐鳳の生涯 森岡 榮一

八木奇峰と二人の
師匠 //

安井曾太郎の肖像画 プリヂストン
美術館

安井曾太郎の肖像
画—リアリズムと
絵画的美しさ 貝塚 健

安田靉彦展 没後三〇年 茨城県近
代美術館

安田靉彦、絵画の
芳[かぐわ]しさに 市川 政憲
ついて

没後三〇年の父を
偲んで 安田 建一

安田靉彦—古人
[いにしえびと]の
ところと触れるそ
の芸術 中田 智則

やなぎみわ マイ・グランド・マザ
ーズ 東京都写真美術館他

§ 作家の言葉 § やなぎみわ

マイ・グランドマ
ザーズ 共鳴する 丹羽 晴美
記憶

女性の四年期 無
邪気、欲望、忘却、
覚醒の肖像 デイヴィッ
ド・エリオ
ット 木下 哲夫
訳

やなぎみわ、まな
ざしの先にあるも
の 植松 由佳

静岡の美術 IX 柳澤紀子展—水邊の
庭[スイヘンノニハ] 静岡県立美術
館

a pink dog— 柳澤
紀子に。 吉増 剛造

柳澤紀子—大地的
な活力の画家 本江 邦夫

身体と版画—柳澤
紀子氏の作品につ
いて 堀切 正人

対談録：柳澤紀子
×建畠哲

ヤノベケンジ ウルトラ 豊田市美
術館

《ウルトラ—黒い
太陽》—「終わりの
始まり」と「始まり
の終わり」の物語 都筑 正敏

山川惣治展—少年王者・少年ケニヤ
のいた昭和—一生誕100年 佐倉市立
美術館

山川惣治の生涯と
作品 本橋 浩介

山口伊太郎遺作 源氏物語錦織絵巻
展 天上の織物 大倉集古館

「ゑ」の魂、「織」の
魂 高橋 睦郎

西陣の技術の歴史 藤井 健三
と山口伊太郎

伊太郎源氏縁起 野中 明

美術の国徳島Ⅱ 谷口董美、山下菊
二兄弟 故郷のイメージを描く 徳
島県立近代美術館

山田良 Vertical Landscape 札幌
芸術の森美術館

ヴァーティカル・
ランドスケープ 岩崎 直人

山本丘人—魂の抒情詩 生誕110周
年記念 浜松市秋野不矩美術館他

山本丘人展に寄せ
て 山本由美子

師弟の思い出 稗田 一穂

山本丘人先生につ
いて 上村 淳之

山本丘人の遠い眼
差し—魂の抒情 中村 隆夫

心の風景を詠う—
丘人風景画の到達
点— 永宮 勤士

山本丘人に関係す
る美術団体と展覧
会 三谷 渉

日本画の今 山本直彰展 帰還する
風景。 平塚市美術館

作家対談 絵画に
精神を求めて 山
本直彰 vs. 草薙奈
津子

山本直彰—帰還す
る風景 土方 明司

帰還 山本 直彰

山本正道展 刻まれた時の記憶 退
任記念 東京芸術大学大学美術館

刻まれた時の記憶 益子 義弘

対談：山本正道×
酒井忠康

山本正道展 札幌芸術の森美術館

展覧会によせて 山本 正道

山本正道の彫刻
フォルムと素材の 吉崎 元章
詩

山本六三—聖なるエロス—
Bunkamuraギャラリー

「閉ざされた夢の
館の主人へ」 林 由紀子

マチエールとメチ
エ 山本六三展に
寄せて 宮川 尚理

山本容子のワンダーランド 不思議
の国の少女たち ふくやま美術館他

死の匂い 小林 恭二

油彩画 山本 容子

山本容子の初期銅
版画：怪やかな躍
動を描く 谷藤 史彦

不可思議国とその
主についての随想 前山 裕司

ワンダーランドを
旅するアリスと姫
君 大前 勝信

生成の予感 平野 到

楊福東—将軍的微笑[ヤン・フード
ン] 原美術館

§ 作家の言葉 § 楊 福東

外部世界はいかな
るものか？—楊福
東を手がかりに文
化と理解の関係を
考える 李 振華
秋山 珠子
訳

楊福東：ファイ
ンダー越しのまな
ざし 青野 和子

未完の横尾忠則—君のものは僕のも
の、僕のものは僕のもの 金沢21世
紀美術館

不安定で不穏で動
的なもの 保坂 和志

未完の横尾忠則 秋元 雄史

ようこそ、新しい
浮世絵 エリック・
シャイナー
小山 克昌
訳

未完の日々、未完
の芸術 平林 恵

横前裕子 画集「私の女人源氏」刊行
記念展 井上画廊

抽象と感情世界 一井 建二

出会い—あとがき
にかえて— 横前 裕子

小杉放菴と大観—響きあう技とここ
ろ[横山大観] 出光美術館

耀きの色彩 横山大観展 メナード
美術館

祖父大観の思い出 横山 隆

横山大観のこと 尾崎 正明

1 floor 2009 「THREE DUBS」[井上
賢治／平田さち／芳木麻里絵] 神
戸アートビレッジセンター

廉尚煜彫刻展 ‘自意識’ SELF—
CONSCIOUSNESS[ヨム・サンウ
ク] Gallery Tsubaki

存在の結び イ・ソンヨ
ン

(ラ行)

ルネ・ラリック 華やぎのジュエ
リーから煌きのガラスへ 生誕150
年 国立新美術館他

ルネ・ラリック—
情熱、野心、創造 池田まゆみ

オルセー美術館所
蔵「ラリック・ア
ーカイヴ」資料に
ついて フィリップ
・ティエボ
ー 鶴飼 敦子
訳

コラム：ルネ・ラ
リックのジュエ
リーを愛した顧客
たち 長谷川珠緒

コラム：アール・
ヌーヴォーから
アール・デコ時代
へ—女性とモー
ド、車 柏木 聖子

コラム：モダニ
ズム建築におけるガ
ラスの系譜—透明
性の冒険 米田 尚輝

芸術としての蒐集
—カール・グ
ルペンキアン美術
館 ジョアオン
・カステル
＝ブランコ
・ペレイラ
長谷川珠緒
訳

ラリックからラリ
ック社へ 西野 華子

フランスの浮世絵師 アンリ・リヴ
イエール オルセー美術館フランス
国立図書館所蔵 石川県立美術館他

ヴァレリー
・シュウ
＝エルメ
ル 太田 泰人
訳

アンリ・リヴィエ
ール 画家＝版画
家・絵師

—ジャポニズムの
画家が残した浮世
絵—アンリ・リヴ
イエール浮世絵コ
レクション 藤村 忠範

アンリ・リヴィエ
ールの写真：デッ
サン、版画の副次
的手段として フランソワ
ーズ・エル
＝ブラン
朝木 由香
訳

アンリ・リヴィエールと近代のバリ	カロリーヌ・マチュー 飯山 雅英 訳
アンリ・リヴィエールの罫[こだま]—林忠正・杉浦非水・富本憲吉	李 美那
アンリ・リヴィエールを通して見た日本と西洋	飯山 雅英
台湾の心・台湾の情—廖修平・江明賢二人展—	渋谷区立松涛美術館
ルオーの祈り 絵画と版画	町田市立国際版画美術館
ジョルジュ・ルオーと日本人との出会い	村田 哲朗
透視者ルオー	田中 淳一
繰り返されるテーマ—ルオーの描いた「王」をめぐる—	杉野 秀樹
版画と絵画のはざまに—ルオーとヴォーラルの関係を中心に—	高木 幸枝
ル・コルビュジエと国立西洋美術館開館50周年記念	国立西洋美術館
ル・コルビュジエ建築との出会い	高階 秀爾
ル・コルビュジエの来日：1955年11月、彼は日本に何を見たのか	松隈 洋
ル・コルビュジエの設計協力者	倉方 俊輔
《国立西洋美術館本館》の免震化について	岡田 恒男
《国立西洋美術館》建設を振り返る	寺島 洋子
ル・コルビュジエが蒔いた一粒の種子：《国立西洋美術館》にはじまる建築連鎖の物語	松隈 洋
ル・コルビュジエの壁画	林 美佐
芸術の光、あるいは光の芸術：ル・コルビュジエによる「光」の探求と芸術空間	千代章一郎
ル・コルビュジエの《無限成長美術館》	山名 善之
PIANISSIMO 田中みぎわ／留守玲—冬の浜辺から—	茅ヶ崎市美術館

オディロン・ルドン展	岐阜県美術館
館所蔵 姫路市立美術館	
オディロン・ルドン、人と芸術—「黒」の時代を中心に—	山本 敦子
ロートレック・コネクション 19世紀末パリ・ロートレックと仲間達 [アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]	Bunkamuraザ・ミュージアム他
ロートレックとその仲間たち	ダニエル・ドゥヴァンク 宮澤 政男 訳
ロートレックと『ルヴュ・ブランシュ』誌、そして魅力のミシア	木島 俊介
I 画学生時代—出会いと影響—	ダニエル・ドゥヴァンク 廣川 暁生 訳
II モンマルトル—芸術の坩堝—	〃
III 前衛集団の中	〃
マーク・ロスコ 瞑想する絵画	川 村記念美術館
私にはロスコの声がか聞こえる—ドリー・アシュトンとの対話	林 寿美 聞き手
光の影 マーク・ロスコ晩年のシリーズ	アヒム・ボルヒャルト＝ヒューム 木下 哲夫 訳
マーク・ロスコの生涯	村田 真
「対幻想」としてのカラー・フィールド	加治屋健司
保存修復から見たシーグラム壁画	レズリー・カーライル、ヤープ・ボーン、メアリ・バステイン、パトリシア・スミゼン 木下 哲夫 訳
絵画と空間 ロスコ・チャペルの経験	林 道郎

六角鬼丈展 新鬼流八道の建築 東京芸術大学大学美術館

新鬼流[じきる]と八道[はいど]の陳述 六角 鬼丈

(ワ行)

wah すみだ川のおもしろい すみだ川アートプロジェクト すみだリバーサイドホールギャラリー／アサヒビル本部ビル1階ロビー

反対です、に賛成です。—新たなアートで、隅田川再生をめざす— 加藤 種男

隅田川を10倍おもしろくする(だけじゃない) 村田 真

トークイベント：AAS × AAF SUPER JUNE 「すみだ川のおもしろい！」 松島 茂 南川 憲二 増井 宏文

色彩の詩人—脇田和 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館他

絵画に導かれて描く 松村 円

和田三造展 姫路市立美術館

閑話休題 映画と和田三造

閑話休題 1937年パリ万国博覧会

閑話休題 朝鮮総督府壁画

閑話休題 和田三造とアトリエ

和田三造と南風、その前後—帰国まで 平瀬 礼太

昭和から平成へ 未来へつなぐ伊勢神宮の美—文化功労者・写真家、渡辺義雄が追い続けた三度の式年遷宮— 神宮美術館

渡辺義雄と伊勢神宮 松本 徳彦

§ 展覧会によせて § 木村 恵一

〃 高橋 則英

渡会純价の世界 心のリズム 奏でるメモワール 札幌芸術の森美術館

渡会純价の世界—心のリズム、奏でるメモワール 岩崎 直人

「一本の線」が奏で
るもの—渡会ワ
ルドの楽しみ 金子 国彦

肯定の目光[まなざし]に・王舒野の
世界展—中国、日本・30年の歩み
と今— 池田20世紀美術館

§作家の言葉§ 王 舒野

王舒野の思念の絵
画 瀬木 慎一

王舒野の高次元へ
の旅 光田 由里

詩的精神と時空意
識の原点としての
天地、生死 王 舒野

文革後期と改革初
期、美術の道に //

多様な触れ合いと
模索 //

《北 京 四 壇・圓
融・五壇—游街新
語》の発表 //

“黙修十年”、「間
在」に到る //

《即》と《時空ス
ード》、絶対的肯定
性とそれに同体す
る永遠無限の詩性
を展開する視覚の
瞬間瞬間への探求
と実験 //

大合作「地球・爆
—Earth Attack」
の参加 //

§作家の言葉§ //

// //

// //

団 体 展

(力行)

現代童画展35回 東京都美術館

現代童画と深沢邦
朗 安井 収蔵

行動展64回 国立新美術館他

吉川家永さんを偲
んで 田中 茂生

酒とタバコ片手に
駆け抜けた画才中
島裕さん 新美 哲也

高木恭子さんを偲
んで 畑 千秋

山田亨さんを偲ん
で 木寺 明

(サ行)

水彩人10回記念展 東京都美術館

水彩画史雑感 瀧 悌三

(タ行)

東京展35回 東京都美術館

私説東京展—中村
正義の反日展がも
たらしたもの 安井 収蔵

東京展草創期の頃 笹木 繁男

(ハ行)

白日展85回 国立新美術館他

白日会の写真 第
85回記念展に寄せ
て 瀧 悌三

物 故 者

索 引 (50音順)

赤 穴 宏(洋)	6月3日	87歳	新制作協会会員、千葉大学名誉教授。情念的な抽象作品を描く。469
秋 山 光 和(学)	3月10日	90歳	美術史家、東京大学名誉教授。日本での美術品光学調査の先駆的研究を行う。463
栗 津 潔(デ)	4月28日	80歳	グラフィックデザイナー。地図や指紋、判子等、土俗的な題材を反復させた作風。466
安 藤 崑 光(書)	2月3日	86歳	毎日書道展参与会員。	
石 川 三 友(デ)	9月2日	86歳	武蔵野美術大学名誉教授、専門は視覚伝達デザイン学。	
石 川 義(日)	9月12日	78歳	日展評議員、金沢学院大学名誉教授。2001年、文部科学大臣賞。日本の自然景を描き続ける。475
一 色 一 成(写)	4月9日	72歳	水前寺清子や太地喜和子ら女優の写真集を手がける。	
伊 東 傀(彫)	2月1日	90歳	東京藝術大学名誉教授。対象の形を幾何学的形態として再構築する作風。459
稲 越 功 一(写)	2月25日	68歳	芸能人や歌舞伎役者の肖像写真に定評。1980年「男の肖像」で講談社出版文化賞。461
今 井 寿 恵(写)	2月17日	77歳	フォトポエムと評される作品を経て、競走馬をめぐる撮影で新たな評価を確立。459
今 関 一 馬(洋)	6月10日	82歳	明るい色調で対象への感興を率直に示す風景画を描く。1999年、小山敬三美術賞。470
岩 澤 重 夫(日)	11月7日	81歳	日本芸術院会員、文化功労者、日展顧問。1993年、日本芸術院賞。477
牛 川 喜 幸(学)	2月16日	73歳	元奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部長、2003年から日本遺跡学会の初代会長を務める。	
臼 井 儀 人(漫)	9月11日	51歳	人気漫画「クレヨンしんちゃん」の作者。	
大 隅 俊 平(工)	10月4日	77歳	刀匠、日本刀制作の重要無形文化財保持者。476
太 田 静 六(学)	10月8日	98歳	九州大学名誉教授。建築史を研究。1988年、『寝殿造の研究』で角川源義賞。	
大 山 忠 作(日)	2月19日	86歳	日本芸術院会員、日展会長。1973年、「五百羅漢」で日本芸術院賞。2006年文化勲章受章。460
荻 太 郎(洋)	9月2日	94歳	和光大学名誉教授。バレリーナや裸婦をモチーフにした作で親しまれる。474
海 津 忠 雄(学)	7月21日	78歳	西洋美術史研究者、慶應義塾大学名誉教授。北方ルネサンス美術を研究。471
かがくいひろし(その他)	9月28日	54歳	絵本作家。2005年、『おもちのきもち』で講談社絵本新人賞。「だるまさん」シリーズでヒット。	
加 藤 大 碩(書)	5月17日	82歳	毎日書道会参事、毎日書道展参与会員。金子鳴亭に師事。東海地方の書の発展に尽くす。	
金 田 伊 功(その他)	7月21日	57歳	アニメーター。「宇宙戦艦ヤマト」「風の谷のナウシカ」などの原画制作に参加。	
鹿 野 琢 見(美関)	10月23日	90歳	弁護士、竹久夢二美術館・弥生美術館・立原道造記念館各理事長。	

物故者(平成21年)

神 戸 文 子(洋)	3月24日	83歳	女流画家協会委員。1961年、新日展で特選。	
鬼 頭 墨 浦(書)	8月12日	94歳	毎日書道展名誉会員。	
国 井 誠 海(書)	12月27日	92歳	1954年より全国総合書展、毎日展、読売展、産経展の審査員を歴任。	
国 川 喜 祥(書)	9月5日	81歳	読売書法会参与。	
熊 田 千佳慕(その他)	8月13日	98歳	虫や花の細密画で、「日本のプチ・ファール」と称され親しまれる。473
黒 沢 吉 蔵(日)	2月22日	80歳	創画会会員。	
小 谷 喬之助(学)	7月28日	83歳	日本大学名誉教授。新国立劇場など多くの劇場・ホールの計画に携わる。	
近 藤 攝 南(書)	5月20日	87歳	日展参事、新書派協会会長。1979年に日展内閣総理大臣賞、91年に日本芸術院賞。	
近 藤 義 郎(学)	4月5日	84歳	岡山大学名誉教授。1967年、『日本の考古学』で毎日出版文化賞。	
斎 藤 清 策(日)	7月7日	89歳	日展会員。	
佐 川 美代太郎(漫)	10月30日	85歳	元日本漫画家協会常務理事。1999年、『絵で読む阿弥陀経』で日本漫画家協会賞大賞。	
佐々木 崑(写)	3月27日	90歳	木村伊兵衛に師事、昆虫や小動物を接写した写真を発表し、自然科学写真の先駆となる。465
佐 野 丹 丘(書)	6月13日	83歳	産経国際書会名誉顧問。2004年、第21回産経国際書展内閣総理大臣賞。	
品 川 工(版)	5月31日	100歳	恩地孝四郎に師事。「光の版画」シリーズ等、版画の原理に基づく実験的作品を制作。468
杉 原 元 人(日)	6月29日	97歳	日展参与。1993年、文部大臣賞。	
砂 守 勝 巳(写)	6月23日	57歳	プロボクサーから転身。1996年、『漂う島とまる水』で土門拳賞。471
高 梨 潔(洋)	5月6日	78歳	太平洋美術会会長。	
高 橋 敬 典(工)	6月23日	88歳	鍍金家、茶の湯釜制作の重要無形文化財保持者。代表作に「波文筒釜」「平丸釜」。470
滝 平 二 郎(その他)	5月16日	88歳	きりえ(切り絵)作家、版画家。絵本『花さき山』『モチモチの木』挿画を担当。467
竹 内 風 聲(書)	3月17日	85歳	毎日書道展参与会員。	
田 実 栄 子(学)	1月3日	81歳	染織研究家。大名家遺品をはじめ、型染、小千谷縮、辻が花等の調査研究を行う。457
館 勝 生(美)	1月16日	44歳	大きなストロークによる有機的な形態の平面作品を発表。1994年、VOCA 展奨励賞。458
田 中 日佐夫(学)	5月15日	77歳	日本美術史研究者、美術評論家。1989年、『竹内栖鳳』で芸術選奨文部大臣賞。467
田 淵 安 一(洋)	11月24日	88歳	パリ画壇で活躍。奔放なフォルムと鮮やかな色彩による生命感溢れる表現を展開。477
鶴 田 武 良(学)	1月18日	71歳	中国絵画史の研究者。とくに近代美術についての論考を『美術研究』誌上等に発表458
砥 上 賢 治(美)	7月15日	60歳	パネの張力で身体を拘束するパフォーマンスやパネと鉄板や金属を組み合わせた作品を展開。	
徳 田 八十吉(工)	8月26日	75歳	彩釉磁器の重要無形文化財保持者。九谷焼に現代的な色彩と造形感覚をもたらす。473
中 井 史 朗(書)	3月29日	93歳	毎日書道展名誉会員。	
中 里 逢 庵(工)	3月12日	85歳	唐津焼陶芸家、日本芸術院会員。作陶の傍ら唐津焼の起源を精力的に研究。464

中 島 徳 博(評	3月22日	61歳)	1970年から兵庫県立近代美術館(現、兵庫県立美術館)学芸員(2003年まで)。	
中 西 立 太(その他	1月11日	74歳)	歴史復元画家。1964年、シリーズ『人類の誕生』で産経児童出版文化賞大賞。	
畑 麗(学	6月25日	55歳)	日本美術史家、東京都江戸東京博物館学芸員。専門は日本近世絵画史。471
濱 田 一 堂(書	6月10日	81歳)	毎日書道展参与会員。	
早 川 良 雄(デ	3月28日	92歳)	グラフィックデザイナー。「形状」シリーズで優れた色彩感覚と構成力を発揮。465
平 木 収(評	2月24日	59歳)	写真評論家、九州産業大学教授。1994年まで川崎市市民ミュージアム学芸員。460
平 山 郁 夫(日	12月2日	79歳)	シルクロードを描き続けた日本画家。国際的な文化財保護に尽力。1998年文化勲章受章。478
深 沢 邦 朗(その他	1月8日	85歳)	童画家、童画芸術協会長。	
福 田 繁 雄(デ	1月11日	76歳)	グラフィックデザイナー。ユーモア精神に溢れるポスターや彫刻等で広く人々を魅了。457
平 敷 兼 七(写	10月3日	61歳)	写真展「山羊の肺 沖縄一九六八-二〇〇五年」で2008年伊奈信男賞。沖縄の人々の生を撮影。476
眞 板 雅 文(美	3月9日	64歳)	立体造形で独自の試みを展開。1986年、ヴェネツィアビエンナーレ出品。462
増 田 静 江(美関	1月29日	77歳)	ニキ美術館名誉館長。ニキ・ド・サンファールの作品を蒐集し、1994年にニキ美術館を開館。	
増 田 三 男(工	9月7日	100歳)	彫金の重要無形文化財保持者。日本伝統の自然をイメージした小作品を制作。475
松 下 芝 堂(書	5月25日	82歳)	日展参事、読売書法会常任総務。1998年、日本芸術院賞、恩賜賞。	
松 本 昇(洋	6月4日	78歳)	日展会員、光風会理事・評議員。	
三 岸 黄太郎(洋	12月27日	79歳)	三岸好太郎・節子の長男。フランスと日本を往来し、詩情をたたえた風景画を描く。	
宮 内 嘉 久(評	12月13日	83歳)	建築評論家。著書に『建築ジャーナリズム無頼』、『前川國男 賊軍の将』等。	
室 伏 哲 郎(評	10月26日	78歳)	社会政治評論から美術評論まで幅広いジャンルで活躍。美術雑誌『プリント21』の発行人。	
森 田 茂(洋	3月2日	101歳)	日本芸術院会員。1966年、日展出品作『黒川能』で文部大臣賞。93年文化勲章受章。461
矢尾板 賢 吉(漫	7月5日	69歳)	漫画集団“JAPUNCH”の一員として2001年度文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞。	
やまだ 紫(漫	5月5日	60歳)	京都精華大学教授。雑誌『COM』、『ガロ』等で活躍。女性誌や文芸誌にエッセー等も発表。	
山 本 曠(工	6月10日	97歳)	ガラス工芸家、元日本工芸会理事。	
四 田 昌 二(彫	12月13日	84歳)	元国会画事務局長。	
渡 辺 寒 鷗(書	2月1日	77歳)	毎日書道会常任顧問。刻字の発展に力を注ぐ。	
渡 辺 好 明(美	11月4日	54歳)	東京藝術大学教授。ろうそくやガラス、水等を用いたインスタレーション作品を発表。	

凡例:

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成21年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ()内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。

日:日本画家、洋:洋画家、版:版画家、彫:彫刻家、工:工芸家、デ:デザイナー、映C:映像・CG作家、漫:漫画家、書:書家、写:写真家、建:建築家、学:美術史研究者、評:美術評論家、美関:美術関係者、その他:絵本作家・イラストレーター等、美:美術家(前記の範疇に属せず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)

4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈 〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

荒川—荒川	正明	学習院大学(東京文化財研究所無形文化遺産部客員研究員)
江村—江村	知子	東京文化財研究所企画情報部
河合—河合	大介	東京文化財研究所企画情報部
菊池—菊池	理予	東京文化財研究所無形文化遺産部
塩谷—塩谷	純	東京文化財研究所企画情報部
田中—田中	淳	東京文化財研究所企画情報部
土屋—土屋	貴裕	東京国立博物館
中村—中村	明子	東京文化財研究所企画情報部
原田—原田	一敏	東京藝術大学大学美術館(東京文化財研究所無形文化遺産部客員研究員)
増田—増田	玲	東京国立近代美術館
三上—三上	豊	和光大学(東京文化財研究所企画情報部客員研究員)
安来—安来	正博	国立国際美術館
山崎—山崎	剛	金沢美術工芸大学(東京文化財研究所無形文化遺産部客員研究員)
山梨—山梨	絵美子	東京文化財研究所企画情報部

「物故者」 ページ (457～479 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.457-479)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印刷 平成24年3月10日

発行 平成24年3月25日

---

日本美術年鑑 ©

——平成22年版——

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-43  
電話 (03) 3823-2241

製作 中央公論美術出版  
東京都中央区京橋2-8-7  
電話 (03) 3561-5993

~~~~~  
出版助成 株式会社 東京美術倶楽部
東京美術商協同組合